2026年度

シラバス 経済学部

Faculty of Economics

明海大学

2026年度

シラバス

経済学部

Faculty of Economics

共通科目（基礎教育・人間力形成教育・キャリア形成教育・特別科目）

専門科目

目　次

共通科目

基礎教育

学修の基礎Ⅰ …… 相川野々香 10
阿方由紀枝 10
稲田　環菜 10
遠藤　信一 10
大黒　章子 10
佐々木文彦 10
杉浦　雄策 10
高野　紀子 10
中村　元紀 10
萩尾由貴子 10
濱﨑あゆみ 10
吉田　　敦 12
学修の基礎Ⅱ …… 小野寺樹璃 14
髙橋　眞人 14
髙橋亜里沙 14
高柳　奈月 14
富樫　里真 14
中村　佑衣 14
荷見　美有 14
藤本　陽子 14
小野寺樹璃 16
高柳　奈月 16
荷見　美有 16
学修の基礎Ⅲ-a（データリテラシー　数理・推論）… 相川野々香 18
遠藤　信一 18
後藤　英樹 18
佐々木文彦 18
高橋　奈佳 18
中村　元紀 18
萩尾由貴子 18
前田新太郎 18
渡部　綾子 18
学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）… 相川野々香 20
遠藤　信一 20
後藤　英樹 20
佐々木文彦 20
高橋　奈佳 20
中村　元紀 20
萩尾由貴子 20
前田新太郎 20
渡部　綾子 20
学修の基礎Ⅲ-a（データリテラシー　数理・推論）… 相川野々香 22
中村　元紀 22
萩尾由貴子 22
学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）… 相川野々香 24
遠藤　信一 24
中村　元紀 24
萩尾由貴子 24

人間力形成教育

人間存在の課題 …… 中根　弘之 26
社会生活と倫理 …… 中根　弘之 28
文学の世界 …… 川勝　麻里 30
森　　晴彦 32
人類と文化 …… 山本早良紗 34
美とは何か …… 髙久　　馨 36
記号と論理 …… 土屋　真一 38
コミュニケーション論 …… 小野寺樹璃 40
海谷　千波 42
心理学 …… 中嶋　一恵 44
林　　哲也 46
からだと健康 …… 宮澤　　慶 48
日本人の生活意識 …… 中根　弘之 50
堀内　貴子 52
性格とは何か …… 樋口　倫子 54
生命と遺伝子 …… 桑山　秀一 56
スポーツ科学講義 A …… 杉浦　雄策 58
矢島ますみ 60
スポーツ科学講義 B …… 杉浦　雄策 62
矢島ますみ 64
スポーツ科学演習 A …… 杉浦　雄策 66
矢島ますみ 68
矢島ますみ 70

スポーツ科学演習 B …… 杉浦　雄策　72
矢島ますみ　74
矢島ますみ　76
ボランティア講義 …… 小川　正純　78
人間形成ゼミナール …… 伊藤　直樹　80
樋口　倫子　82
矢島ますみ　84
矢島ますみ　86
ボランティア活動 A …… 単位認定科目　88
ボランティア活動 B …… 単位認定科目　90
日本の歴史 …… 野田有紀子　92
国際関係論 …… 東　夢子　94
国際貢献論 …… 小川　正純　96
民族と宗教 …… 岩田　成就　98
異文化コミュニケーション論 …… 岡田　麻唯　100
日本語と日本文化 A …… 川勝　麻里　102
日本語と日本文化 B …… 川勝　麻里　104
フランス語とフランス文化 A …… 馬越　洋平　106
西村　美穂　108
フランス語とフランス文化 B …… 馬越　洋平　110
西村　美穂　112
ドイツ語とドイツ文化 A …… 諏佐ランカ　114
ﾘｰｽｻｰ ﾌﾗﾝｸ ﾍﾞｰﾀｰ　116
ドイツ語とドイツ文化 B …… 諏佐ランカ　118
ﾘｰｽｻｰ ﾌﾗﾝｸ ﾍﾞｰﾀｰ　120
スペイン語とスペイン文化 A …… ｺﾞﾝｻﾞﾚｽ ｶﾞﾌﾞﾘｴﾙ　122
スペイン語とスペイン文化 B …… ｺﾞﾝｻﾞﾚｽ ｶﾞﾌﾞﾘｴﾙ　124
韓国語と韓国文化 A …… 全 イジョング　126
韓国語と韓国文化 B …… 全 イジョング　128
中国語と中国文化 A …… 于　明明　130
中島　祝　132
中国語と中国文化 B …… 于　明明　134
中島　祝　136
英語文化研究 A …… 諏佐ランカ　138
英語文化研究 B …… 諏佐ランカ　140
国際理解ゼミナール …… 小川　正純　142
異文化実地研修 A・B …… 単位認定科目　144
法学 …… 櫻井　博子　145
日本国憲法 …… 吉田　成利　147
経済のしくみ …… 野口　尚洋　149
社会と生活 …… 櫻井　博子　151
田川　麻央　153
政治のしくみ …… 河野　武司　155
社会思想史 …… 上野　大樹　157
日本企業論 …… 粟沢　尚志　159
地理と環境 …… 池田　和子　161
小野寺樹璃　163
自然環境論 …… 磯田　尚子　165
都市と生活 …… 中嶋　久人　167
生活と安全 …… 笠嶋　義夫　169
行動科学 …… 樋口　倫子　171
データのまとめ方 …… 新井　啓　173
数理の世界 …… 中島　達洋　175
中島　達洋　177
身近な物理 …… 中島　達洋　179
現代物理のはなし …… 中島　達洋　181
身近な化学 …… 藤井　大輔　183
笠嶋　義夫　185
科学技術と社会 …… 遠藤　信一　187
社会生活ゼミナール …… 新井　啓　189
中島　達洋　191

キャリア形成教育

キャリアプランニング Ⅰ …… 阿方由紀枝　193
稲田　環菜　193
大黒　章子　193
高野　紀子　193
濱﨑あゆみ　193
阿方由紀枝　195
小野寺樹璃　197
行田　悦子　197
髙橋亜里沙　197
林　苗　197
範　弘宇　197
小野寺樹璃　199
範　弘宇　199
キャリアプランニング Ⅱ …… 阿方由紀枝　201
稲田　環菜　201
大黒　章子　201
高野　紀子　201
濱﨑あゆみ　201
大道　和夫　203
荷見　美有　205
範　弘宇　205

キャリアプランニングⅢ…… 阿方由紀枝 207
稲田 環菜 207
大黒 章子 207
高野 紀子 207
濱﨑あゆみ 207
大道 和夫 209
荷見 美有 211
範 弘宇 211
キャリアデザイン …… 阿方由紀枝 213
稲田 環菜 213
高野 紀子 213
濱﨑あゆみ 213
大道 和夫 215
範 弘宇 217
インターンシップ A・B・C・D…… 単位認定科目 219
特別聴講科目 A・B・C・D …… 単位認定科目 221
ビジネススキル A・B・C・D…… 単位認定科目 222
ツーリズム概論 …… 松山 豊浩 223
エアライン概論 …… 松山 豊浩 225
航空サービス論 …… 大嵜史眞子 227
フライトアテンダント・グランドスタッフ研究… 青地 香里 229
ホスピタリティ論Ⅰ（ホスピタリティ基礎・マナー演習）… 大嵜史眞子 231
ホスピタリティ論Ⅱ（ホスピタリティと産業）… 井元 千穂 233
ビジネスコミュニケーション A・B ‥ 豊田 順子 235
資本市場の役割と証券投資…… 廣部 恒忠 236
はじめての起業講座（Start up Basics）… 飯田 信一 238

特別科目

アカデミック日本語Ⅰ …… 富樫 里真 240
高柳 奈月 242
髙橋亜里沙 244
荷見 美有 246
範 弘宇 246
堀内 貴子 246
アカデミック日本語Ⅱ …… 林 苗 248
富樫 里真 250
髙橋亜里沙 252
小野寺樹璃 254
行田 悦子 254
荷見 美有 254
アカデミック日本語Ⅲ …… 範 弘宇 256
林 苗 258
沈 伽迪 260
小野寺樹璃 262
髙橋亜里沙 262
田川 麻央 262
アカデミック日本語Ⅳ …… 荷見 美有 264
髙橋亜里沙 266
藤本 陽子 268
小野寺樹璃 270
行田 悦子 270
範 弘宇 270

専 門 科 目

フレッシュパーソンゼミⅠ …… 経済学部教員 274
フレッシュパーソンゼミⅡ …… 経済学部教員 276
プレゼミⅠ …… 経済学部教員 278
プレゼミⅡ …… 経済学部教員 280
専門ゼミ1 …… 飯田 信一 282
池田 晋 284
呉 東錫 286
大石 隆介 288
岡村 龍輝 290
小黒 曜子 292
影山 純二 294
蟹澤 啓輔 296
工藤 克宜 298
佐藤 崇章 300
田浦 元 302
友利 厚夫 304
永井 攻治 306
永井 攻治 308
中澤 栄一 310
中平 千彦 312
萩原 里紗 314
廣部 恒忠 316
水谷 浩之 318
宮崎 礼二 320
吉田 敦 322

専門ゼミ２（卒業論文を含む。）…… 飯田　信一　324
池田　　晋　326
呉　　東錫　328
大石　隆介　330
岡村　龍輝　332
小黒　曜子　334
影山　純二　336
蟹澤　啓輔　338
工藤　克宜　340
佐藤　崇章　342
下田　直樹　344
田浦　　元　346
友利　厚夫　348
永井　攻治　350
永井　攻治　352
中澤　栄一　354
中原　寛子　356
中平　千彦　358
萩原　里紗　360
廣部　恒忠　362
水谷　浩之　364
宮崎　礼二　366
吉田　　敦　368
経済学概論Ⅰ …… ｻﾏﾄﾞ ｱﾌﾞﾄﾞｽ　370
永井　攻治　370
中原　寛子　370
中平　千彦　370
廣部　恒忠　370
吉田　　敦　370
経済学概論Ⅱ …… ｻﾏﾄﾞ ｱﾌﾞﾄﾞｽ　372
永井　攻治　372
中原　寛子　372
中平　千彦　372
廣部　恒忠　372
吉田　　敦　372
経営学総論Ⅰ …… 飯田　信一　374
呉　　東錫　374
岡村　龍輝　374
黒木　英昭　374
水谷　浩之　374
経営学総論Ⅱ …… 飯田　信一　376
呉　　東錫　376
岡村　龍輝　376
黒木　英昭　376
水谷　浩之　376
ミクロ経済学Ⅰ …… 王　　佳星　378
小黒　曜子　378
永井　攻治　378
萩原　里紗　378
ミクロ経済学Ⅱ …… 王　　佳星　380
小黒　曜子　380
永井　攻治　380
萩原　里紗　380
マクロ経済学Ⅰ …… 粟沢　尚志　382
島本　昌和　382
中平　千彦　382
マクロ経済学Ⅱ …… 粟沢　尚志　384
島本　昌和　384
中平　千彦　384
実践経済学Ⅰ …… 影山　純二　386
島本　昌和　386
下田　直樹　386
友利　厚夫　386
池田　　晋　388
実践経済学Ⅱ …… 影山　純二　390
島本　昌和　390
下田　直樹　390
友利　厚夫　390
池田　　晋　392
経済・経営数学入門Ⅰ …… 小黒　曜子　394
中島　達洋　396
廣部　恒忠　398
永井　攻治　400
経済・経営数学入門Ⅱ …… 小黒　曜子　402
中島　達洋　404
廣部　恒忠　406
統計学入門Ⅰ …… 新井　　啓　408
田浦　　元　410
吉田　　敦　412
統計学入門Ⅱ …… 新井　　啓　414
田浦　　元　416
吉田　　敦　418
簿記論Ⅰ …… 大坪　史治　420

簿記論Ⅱ …… 大坪　史治　422
簿記特別演習Ⅰ …… 大坪　史治　424
簿記特別演習Ⅱ …… 大坪　史治　426
経営管理論Ⅰ …… 水谷　浩之　428
経営管理論Ⅱ …… 水谷　浩之　430
データサイエンスⅠ …… 王　佳星　432
田浦　元　434
データサイエンスⅠ／情報処理入門Ⅰ… 高橋　奈佳　436
データサイエンスⅠ …… 高橋　奈佳　438
データサイエンスⅠ／情報処理入門Ⅰ… 渡部　綾子　440
データサイエンスⅠ …… 渡部　綾子　442
データサイエンスⅡ …… 王　佳星　444
田浦　元　446
データサイエンスⅡ／情報処理入門Ⅱ… 高橋　奈佳　448
データサイエンスⅡ …… 高橋　奈佳　450
渡部　綾子　452
データサイエンスⅡ／情報処理入門Ⅱ… 渡部　綾子　454
海外研修Ⅰ …… 大石　隆介　456
サマド　アブドス　456
海外研修Ⅱ …… 大石　隆介　458
サマド　アブドス　458
統計学Ⅰ …… 高橋　奈佳　460
廣部　恒忠　462
統計学Ⅱ …… 高橋　奈佳　464
廣部　恒忠　466
ビジネス英語Ⅰ …… 大石　隆介　468
サマド　アブドス　468
ビジネス英語Ⅱ …… 大石　隆介　470
サマド　アブドス　470
税法総論…… 工藤　克宜　472
国際経済学Ⅰ …… シャルチ　エンシエ　474
中原　寛子　476
国際経済学Ⅱ …… シャルチ　エンシエ　478
中原　寛子　480
日本経済論Ⅰ …… 田浦　元　482
日本経済論Ⅱ …… 田浦　元　484
社会保障論Ⅰ …… 下田　直樹　486
社会保障論Ⅱ …… 下田　直樹　488
経営組織論Ⅰ …… 水谷　浩之　490
経営組織論Ⅱ …… 水谷　浩之　492
経営戦略論Ⅰ …… 岡村　龍輝　494
経営戦略論Ⅱ …… 岡村　龍輝　496
財政学Ⅰ …… 蟹澤　啓輔　498
中平　千彦　500
財政学Ⅱ …… 蟹澤　啓輔　502
中平　千彦　504
金融論Ⅰ …… 大石　隆介　506
金融論Ⅱ …… 大石　隆介　508
経済政策論Ⅰ …… 宮崎　礼二　510
経済政策論Ⅱ …… 宮崎　礼二　512
企業法（ビジネス法）Ⅰ …… 酒巻　雅純　514
企業法（ビジネス法）Ⅱ…… 酒巻　雅純　516
労働経済論Ⅰ …… 萩原　里紗　518
労働経済論Ⅱ …… 萩原　里紗　520
日本経済史…… 吉田　敦　522
経済学史Ⅰ …… 佐藤　崇章　524
経済学史Ⅱ …… 佐藤　崇章　526
西洋経済史Ⅰ …… 佐藤　崇章　528
西洋経済史Ⅱ …… 佐藤　崇章　530
簿記論Ⅲ…… 池田　晋　532
簿記論Ⅳ…… 池田　晋　534
簿記特別演習Ⅲ …… 池田　晋　536
簿記特別演習Ⅳ …… 池田　晋　538
工業簿記Ⅰ …… 蟹澤　啓輔　540
工業簿記Ⅱ …… 蟹澤　啓輔　542
情報処理検定講座 …… 山本　祥弘　544
民法…… 酒巻　雅純　546
キャリア講座Ⅰ …… 佐伯　祥子　548
永井　攻治　548
都甲　裕文　550
若林　優子　552
キャリア講座Ⅱ …… 佐伯　祥子　554
都甲　裕文　556
若林　優子　558
キャリア講座Ⅲ …… 佐伯　祥子　560
サマド　アブドス　562
永井　節　564
キャリア講座Ⅳ …… サマド　アブドス　566
永井　節　568
人口経済学Ⅰ …… 貴志　匡博　570
人口経済学Ⅱ …… 貴志　匡博　572
アメリカ経済論Ⅰ …… 宮崎　礼二　574
アメリカ経済論Ⅱ …… 宮崎　礼二　576
ヨーロッパ経済論Ⅰ …… 佐藤　崇章　578
ヨーロッパ経済論Ⅱ …… 佐藤　崇章　580

アジア経済論Ⅰ …… サマド アブドス 582
アジア経済論Ⅱ …… サマド アブドス 584
サービス経済論Ⅰ …… 大石 隆介 586
サービス経済論Ⅱ …… 大石 隆介 588
会計学総論Ⅰ …… 蟹澤 啓輔 590
会計学総論Ⅱ …… 蟹澤 啓輔 592
会社法Ⅰ …… 酒巻 雅純 594
会社法Ⅱ …… 酒巻 雅純 596
中級ミクロ経済学 …… 友利 厚夫 598
中級マクロ経済学 …… 友利 厚夫 600
国際金融論Ⅰ …… 小黒 曜子 602
国際金融論Ⅱ …… 小黒 曜子 604
開発経済論Ⅰ …… 中澤 栄一 606
開発経済論Ⅱ …… 中澤 栄一 608
計量経済学Ⅰ …… 中澤 栄一 610
計量経済学Ⅱ …… 中澤 栄一 612
地方財政論Ⅰ …… 永井 攻治 614
地方財政論Ⅱ …… 永井 攻治 616
公共経済学 …… 佐藤 晴彦 618
産業組織論 …… 田浦 元 620
交通経済論Ⅰ …… 宮田 淳 622
交通経済論Ⅱ …… 宮田 淳 624
経営分析Ⅰ …… 呉 東錫 626
経営分析Ⅱ …… 呉 東錫 628
社会関連会計 …… 大坪 史治 630
証券論 …… 酒巻 雅純 632
マーケティング論Ⅰ …… 飯田 信一 634
マーケティング論Ⅱ …… 飯田 信一 636
国際経営学Ⅰ …… 飯田 信一 638
国際経営学Ⅱ …… 飯田 信一 640
人的資源管理論Ⅰ …… 黒木 英昭 642
人的資源管理論Ⅱ …… 黒木 英昭 644
原価計算Ⅰ …… 蟹澤 啓輔 646
原価計算Ⅱ …… 蟹澤 啓輔 648
生産管理論Ⅰ …… 岡村 龍輝 650
生産管理論Ⅱ …… 岡村 龍輝 652
財務会計論Ⅰ …… 霞 晴久 654
財務会計論Ⅱ …… 霞 晴久 656
管理会計論Ⅰ …… 蟹澤 啓輔 658
管理会計論Ⅱ …… 蟹澤 啓輔 660
監査論Ⅰ …… 池田 晋 662
監査論Ⅱ …… 池田 晋 664
税務会計論Ⅰ …… 霞 晴久 666
税務会計論Ⅱ …… 霞 晴久 668
地域研究Ⅰ …… 廣部 恒忠 670
吉田 敦 670
地域研究Ⅱ …… 廣部 恒忠 672
吉田 敦 672
英語Ⅰ -a …… ｱﾌﾞﾃﾞﾙﾜﾍﾄﾞ ﾍﾝｼﾞﾘﾙ 674
ｸﾘｽﾄﾌｧ ﾏﾀﾞｽｽｷｰ 674
ｺﾏﾝﾄﾞｭﾘ ｼﾘｰｼｬ 674
ｼﾞｪﾗﾙﾄﾞ ﾗｲﾄ 674
ﾃｨﾓｼｰ ｸﾚｲｼﾝｶﾞｰ 674
ﾃﾞﾋﾞｯﾄﾞ ﾏｸﾞﾇｿﾝ 674
ﾊﾙﾌﾞﾄﾞ ﾌﾞﾙﾒﾙ ｴｽﾃｨｵ 674
ﾏｯﾄ ﾋﾟｰﾀｰｾﾝ 674
英語Ⅰ -b …… ｱﾌﾞﾃﾞﾙﾜﾍﾄﾞ ﾍﾝｼﾞﾘﾙ 676
ｸﾘｽﾄﾌｧ ﾏﾀﾞｽｽｷｰ 676
ｺﾏﾝﾄﾞｭﾘ ｼﾘｰｼｬ 676
ｼﾞｪﾗﾙﾄﾞ ﾗｲﾄ 676
ﾃｨﾓｼｰ ｸﾚｲｼﾝｶﾞｰ 676
ﾃﾞﾋﾞｯﾄﾞ ﾏｸﾞﾇｿﾝ 676
ﾊﾙﾌﾞﾄﾞ ﾌﾞﾙﾒﾙ ｴｽﾃｨｵ 676
ﾏｯﾄ ﾋﾟｰﾀｰｾﾝ 676
英語Ⅱ -a …… ｱﾌﾞﾃﾞﾙﾜﾍﾄﾞ ﾍﾝｼﾞﾘﾙ 678
ｺﾏﾝﾄﾞｭﾘ ｼﾘｰｼｬ 678
ｼﾞｪﾗﾙﾄﾞ ﾗｲﾄ 678
ﾀﾞﾆｴﾙ ﾌﾞﾛｶﾞﾝ 678
ﾃｨﾓｼｰ ｸﾚｲｼﾝｶﾞｰ 678
ﾏｰｸ ﾛｲ ｸﾞｯﾄﾞﾋｭｰ 678
松堂 啓子 678
英語Ⅱ -b …… ｱﾌﾞﾃﾞﾙﾜﾍﾄﾞ ﾍﾝｼﾞﾘﾙ 680
ｺﾏﾝﾄﾞｭﾘ ｼﾘｰｼｬ 680
ｼﾞｪﾗﾙﾄﾞ ﾗｲﾄ 680
ﾀﾞﾆｴﾙ ﾌﾞﾛｶﾞﾝ 680
ﾃｨﾓｼｰ ｸﾚｲｼﾝｶﾞｰ 680
ﾏｰｸ ﾛｲ ｸﾞｯﾄﾞﾋｭｰ 680
松堂 啓子 680
英語Ⅲ -a …… ｸﾘｽﾄﾌｧ ﾏﾀﾞｽｽｷｰ 682
ｼﾞｪﾗﾙﾄﾞ ﾗｲﾄ 682
ﾀﾞﾆｴﾙ ﾌﾞﾛｶﾞﾝ 682
ﾃｨﾓｼｰ ｵﾋﾟﾂ 682
ﾃﾞﾋﾞｯﾄﾞ ﾏｸﾞﾇｿﾝ 682
ﾋﾟｴｰﾙ ｱﾚｯｸ 682
ﾏｯﾄ ﾋﾟｰﾀｰｾﾝ 682

英語Ⅲ -b …… ｸﾘｽﾄﾌｧ ﾏｸﾞｽｷｰ 684
ｼﾞｪﾗﾙﾄﾞ ﾗｲﾄ 684
ﾀﾞﾆｴﾙ ﾌﾞﾛｶﾞﾝ 684
ﾃｨﾓｼｰ ｵﾋﾞﾂ 684
ﾃﾞﾋﾞｯﾄﾞ ﾏｸﾞﾇｿﾝ 684
ﾋﾞｴｰﾙ ｱﾚｯｸ 684
ﾏｯﾄ ﾋﾟｰﾀｰｾﾝ 684

［共通科目］

○基礎教育

○人間力形成教育

○キャリア形成教育

○特別科目

学修の基礎 I

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2026 年度入学生のみ履修可能

相川　野々香（あいかわ　ののか）・**阿方　由紀枝**（あがた　ゆきえ）・**稲田　環菜**（いなだ　かんな）・**遠藤　信一**（えんどう　しんいち）・**大黒　章子**（おおくろ　あきこ）・**佐々木　文彦**（ささき　ふみひこ）・**杉浦　雄策**（すぎうら　ゆうさく）・**高野　紀子**（たかの　のりこ）・**中村　元紀**（なかむら　げんき）・**萩尾　由貴子**（はぎお　ゆきこ）・**濱﨑　あゆみ**（はまさき　あゆみ）

▌授業の概要

この科目は「スタディ・プロモーション」を目的とし、新入生のみなさんが明海大学での４年間をどのように過ごし、どのような自分をつくっていくのかを考えるための授業です。大学について知り、自分自身を理解し、周囲と協力しながら学ぶ姿勢を育てます。授業では、自己理解を深めるワークや大学理解に加えて、探究型 PBL（IBL：Inquiry Based Learning）を取り入れた学生主体のグループワークを行います。自ら問いを立て、調べ、話し合い、解決策を導く経験を通して、課題解決力を高め、有為な人材として成長するための基盤を築いていきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：明海大学の建学の精神のキーワードである「社会性」「創造性」「合理性」が、社会に貢献するための課題解決の鍵となることを理解する。大学での主体的な学び方を身につけ、探究型 PBL（IBL）を含むグループワークを通じて、課題解決に取り組むための基礎的なスキルを養うことを目標とする。

個別目標：①明海大学について理解を深め、建学の精神に掲げる「社会性」「創造性」「合理性」について説明できる。
②自らの考えを整理し、相手に伝わるようにわかりやすく説明できる。
③自分の特性を理解し、それを踏まえて「なりたいじぶん」の姿を描くことができる。
④大学生活を通じて「なりたいじぶん」を実現するためのロードマップを設計できる。
⑤探究型 PBL（IBL）を通じて、問いを立て、調べ、話し合い、解決策を導く力を身につける。

▌履修条件

2026 年度新入生（アカデミック日本語の履修対象者を除く）

▌評価基準・方法

①提出物、プレゼンテーションスライドなどの作成　40 %
②発表など　40 %
③授業中の活動などアクティブラーニングの評価　20 %
（提出日時、所定のルールを守らないものは評価しない）
発表資料などが間に合わない場合は、「事前学修」「振り返り」が出来ていないものと判断し、減点する
※なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba を通して行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によって協働ワークを実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （自分のノートパソコンを持参すること）

▌教科書

特にないが、manaba を通してコンテンツを配信する。
毎回自分のノートパソコンを持参すること。

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション／学び方（ノートテイキング），図書館の利用方法** 授業内容：授業の目的や進め方を理解し、大学での学びに必要な姿勢を確認します。効果的なノートテイキングの方法，図書館を利用した情報収集方法などを学び、今後の授業で活用できる基礎を身につけます。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、授業の目的や進め方を確認する。大学での学びに対する不安や期待を整理しておく。 事後学修 2.0hr：学んだノートテイキングを使い、授業内容をまとめる。今後の学び方の改善点を振り返る。
2 回	**授業テーマ：大学からのメッセージ１　学長講話** 授業内容：学長から明海大学の理念や教育方針について話を聞き、大学で学ぶ意義を考えます。大学生活を主体的に過ごすための視点を得る機会とします。 事前学修 2.0hr：明海大学の建学の精神について事前に調べ、疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：学長講話で印象に残った点をまとめ、大学での学びの意義を自分なりに言語化する。講演で印象に残ったことを記録する。
3 回	**授業テーマ：大学からのメッセージ２　特別講演「グアムの文化と歴史」（課題探究のための予備学修）** 授業内容：第 10 回～ 12 回の探究学修で取り上げるグアムについての予備知識を学ぶために、グアム政府観光局、JTB による特別講演を聴きます。 事前学修 2.0hr：グアムの観光地などについて調べる。 事後学修 2.0hr：講演で印象に残ったことを記録する。
4 回	**授業テーマ：自己を知る１　PROG テスト受験** 授業内容：PROG テストを受験し、自分の思考力・人間力の現状を把握します。今後の成長目標を考えるための基礎データとして活用します。PC を必ず持参してください。 事前学修 2.0hr：PROG の目的を理解し、自分の強み・弱みを予想しておく。 事後学修 2.0hr：受験の感想をまとめ、今後伸ばしたい力について簡単に整理する。
5 回	**授業テーマ：大学での学びの方法１　学修ポートフォリオの記入・探究型 PBL（IBL）の導入** 授業内容：ポートフォリオの書き方を学び、自己理解を深めます。探究型 PBL（IBL）の考え方を導入し、課題解決のプロセス (明海スパイラルメソッド) を理解します。 事前学修 2.0hr：ポートフォリオの意義を確認し、自己理解に関するメモを準備する。 事後学修 2.0hr：PBL の特徴を振り返り、探究における自分の課題や役割を整理する。
6 回	**授業テーマ：大学での学びの方法２　グループワーク開始・コーチングスキル（教育用カードゲームを活用）** 授業内容：教育用カードゲームを用いて、相手の話を引き出すコーチングスキルを学びます。IBL に向けた協働の基礎をつくり、グループワークを開始します。 事前学修 3.0hr：コーチングの基本姿勢（傾聴など）について簡単に調べておく。 事後学修 2.0hr：カードゲームで得た気づきをまとめ、グループでの関わり方を振り返る。

7回	**授業テーマ：大学での学びの方法３　IBL ①「身近なものを比較する」１ 課題設定** 授業内容：身近なテーマから問いを立て、比較の視点を設定します。IBL の第一歩として、課題設定の重要性を理解し、グループでテーマを１つに決め、解決案を探ります。 事前学修 3.0hr：身近な比較テーマをいくつか考え、問いの候補を準備する。 事後学修 2.0hr：設定した課題の妥当性を振り返り、必要な追加調査を整理する。
8回	**授業テーマ：大学での学びの方法４　IBL ②「身近なものを比較する」２ 分析・議論・解決策立案** 授業内容：集めた情報をもとに分析し、グループで議論を深めます。比較から見える特徴を整理し、解決策や提案をまとめていきます。提案するための発表スライドを作成します。 事前学修 3.0hr：比較対象に関する情報を集め、何によって分析するのか、制約条件などを考えておく。 事後学修 2.0hr：発表スライドを完成させ、提案の根拠となるデータや視点を補強する。
9回	**授業テーマ：大学での学びの方法５　IBL ③「身近なものを比較する」３ 成果発表・立案・フィードバック** 授業内容：グループごとに成果を発表し、他者からのフィードバックを受けます。比較の視点や分析の深さを振り返り、次の探究に活かします。 事前学修 3.0hr：発表スライドの最終確認を行い、伝えたいポイントを明確にする。 事後学修 3.0hr：聴衆に伝わったか否かなど、受けたフィードバックをまとめ、次の探究に活かす改善点を整理する。
10回	**授業テーマ：大学での学びの方法６　IBL ④「社会課題に取り組む」１ 課題設定** 授業内容：グアム島が抱える社会課題について、みなさんに解決策を考えてもらいます。観光や地域経済の課題を IBL のプロセス (明海スパイラルメソッド) で探究します。まず、現状の課題を整理し、問題が生じた背景や要因をグループで設定します。 事前学修 3.0hr：グアム島の観光地の現状や観光課題について簡単に調べ、疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：設定した社会課題の背景を深掘りし、追加で調べるべき視点をまとめる。
11回	**授業テーマ：大学での学びの方法７　IBL ⑤「社会課題に取り組む」２ 分析・議論・解決策立案** 授業内容：グアム島が抱える社会課題の背景を調べ、原因や影響を分析します。分析と議論を行い、実現可能な解決策を立案し、グアム島を活性化させるための発表スライドを作成します。 事前学修 2.0hr：テーマを１つに絞るための話し合いをグループでしておく。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションを行うための発表スライドを完成させる。
12回	**授業テーマ：大学での学びの方法８　IBL ⑥「社会課題に取り組む」３ 成果発表・立案・フィードバック** 授業内容：グアム島を活性化させる提案内容を発表し、他グループからのフィードバックを受けて改善点を明確にし、社会課題に向き合う姿勢を養います。 事前学修 2.0hr：発表内容を整理し、伝わりやすい構成を確認する。 事後学修 2.0hr：フィードバックを受けて提案の改善点を明確にし、学びの成果を記録する。
13回	**授業テーマ：自己を知る２　PROG の返却とフィードバック 行動指針の策定** 授業内容：PROG の結果を受け取り、自分の強みと課題を確認します。結果を踏まえて、今後の大学生活で意識する行動指針をつくります。 事前学修 2.0hr：PROG 結果の見方を確認し、振り返りの準備をする。 事後学修 3.0hr：返却結果をもとに、自分の行動指針を文章化し、今後の学びに反映させる。
14回	**授業テーマ：ポートフォリオ記入・ロードマップ作成** 授業内容：これまでの学びをポートフォリオに整理し、「なりたい自分」に向けたロードマップを作成します。成長の軌跡を可視化します。 事前学修 2.0hr：これまでの学びを振り返り、ロードマップに入れたい内容を整理する。 事後学修 2.0hr：作成したロードマップを見直し、実行可能な行動に落とし込む。
15回	**授業テーマ：ロードマップ記入・リフレクション+学びの言語化** 授業内容：ロードマップを完成させ、１年間の学びを振り返ります。経験を言語化し、今後の大学生活で活かす視点を明確にします。 事前学修 2.0hr：1 年間の学びを振り返り、言語化したい経験を整理する。 事後学修 2.0hr：完成したロードマップをもとに、今後の大学生活で実践する行動を明確にする。

学修の基礎Ⅰ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前/後　｜　備考：再履修クラス

吉田　敦（よしだ　あつし）

▌授業の概要

経済学部の「学修の基礎Ⅰ」単位未修得者を対象に、経済学への関心を深める為、主に貿易データ分析（毎回 B5 版 2 枚程度の報告書作成）を行って頂く。すなわち本科目では全授業がアクティブラーニング形式である。これにより社会へ出た際に必要な問題解決力、自己表現力及びコミュニケーション能力を育成する。なお下記のように世界各国の貿易データを分析することから、本学の掲げる、国際社会での活躍へのモチベーションアップに繋げたい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：①経済学、或いは本学経済学部に対する関心が高まる。
　　②貿易データ分析を通じて、データ分析力を向上させることができる。
個別目標：①経済学を学ぶ意義、或いは本学経済学部で学ぶ意義を説明できる。
　　②データ分析の特質、有用性を説明できる。

▌履修条件

全授業に出席する事が望ましい。

▌評価基準・方法

上述のように全授業がアクティブラーニング形式であり、ほぼ毎週 B5 版 2 枚程度の報告書提出を義務付ける。なお当然の事ではあるが、資料中のデータに論及しないものは認めない。すなわち Web 上の文書のコピー＆ペーストは報告書と認めない。
※５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

報告書については、次週授業冒頭において、教員が受講生 1 人 1 人へコメントしつつ返却する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （全授業において長文の報告書提出）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （貿易データについて Excel を用いての分析）

▌教科書

特になし。毎回資料を配付する。

▌参考書

『日本国勢図会 2024/25』（2024 年 6 月、矢野恒太記念会）。同『2025/26』（2025 年 6 月、同左）。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス (15 回分の授業の進め方についての説明など)** 授業内容：画像資料などを用いて、授業の進め方に関するイメージを持って頂く。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、授業全体の流れを確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
2回	**授業テーマ：集団面談** 授業内容：出席者に対して、2025 年度の各自の出席状況などについて確認し、今後の学生生活の指針などについて話し合う。 事前学修 2.0hr：履修状況を確認し、担当教員の質問に対して回答できるようにしておく。 事後学修 2.0hr：授業中に指導した内容を中心に「履修の手引」を再読する。
3回	**授業テーマ：2022 年と 2023 年の日本の貿易概要の変化に関するデータ分析** 授業内容：両年の日本の対世界の貿易品目、それらの価額比率、貿易収支等の変化について分析する。特に新型コロナウイルス感染症流行後の経済社会の変化について考察する。 事前学修 2.0hr：第 2 回授業時に指示された事項について確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
4回	**授業テーマ：2022 年と 2023 年の対中国・アメリカ貿易の変化に関するデータ分析** 授業内容：両年の日本の対中国、及び対アメリカの貿易品目、それらの価額比率、貿易収支等の変化について分析する。特に新型コロナウイルス感染症流行後の経済社会の変化について考察する。 事前学修 2.0hr：第 3 回授業時に指示された事項について確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
5回	**授業テーマ：2022 年と 2023 年の対韓国・台湾貿易の変化に関するデータ分析** 授業内容：両年の日本の対韓国、及び対台湾の貿易品目、それらの価額比率、貿易収支等の変化について分析する。特に新型コロナウイルス感染症流行後の経済社会の変化について考察する。 事前学修 2.0hr：第 4 回授業時に指示された事項について確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
6回	**授業テーマ：2022 年と 2023 年の対オーストラリア・タイ貿易の変化に関するデータ分析** 授業内容：両年の日本の対オーストラリア、及び対タイの貿易品目、それらの価額比率、貿易収支等の変化について分析する。特に新型コロナウイルス感染症流行後の経済社会の変化について考察する。 事前学修 2.0hr：第 5 回授業時に指示された事項について確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
7回	**授業テーマ：2022 年と 2023 年の対 UAE・サウジアラビア貿易の変化に関するデータ分析** 授業内容：両年の日本の対アラブ首長国連邦、及び対サウジアラビアの貿易品目、それらの価額比率、貿易収支等の変化について分析する。特に新型コロナウイルス感染症流行後の経済社会の変化について考察する。 事前学修 2.0hr：第 6 回授業時に指示された事項について確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
8回	**授業テーマ：2022 年と 2023 年の対ドイツ・ベトナム貿易の変化に関するデータ分析** 授業内容：両年の日本の対ドイツ、及び対ベトナムの貿易品目、それらの価額比率、貿易収支等の変化について分析する。特に新型コロナウイルス感染症流行後の経済社会の変化について考察する。 事前学修 2.0hr：第 7 回授業時に指示された事項について確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
9回	**授業テーマ：2022 年と 2023 年の対インドネシア・香港貿易の変化に関するデータ分析** 授業内容：両年の日本の対インドネシア、及び対香港の貿易品目、それらの価額比率、貿易収支等の変化について分析する。特に新型コロナウイルス感染症流行後の経済社会の変化について考察する。 事前学修 2.0hr：第 8 回授業時に指示された事項について確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。

10回	**授業テーマ：インターンシップ研究** 授業内容：総合教育センター及び経済学部主催の単位認定インターンシップについて受講者各自で調べ、発表する。 事前学修 2.0hr：明海大学のパンフレットや Web ページ、あるいは既にインターンシップ単位修得済みの先輩への聞き取りを行う。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
11回	**授業テーマ：ボランティア研究** 授業内容：学生支援課などで管轄している、単位認定ボランティアについて受講者各自で調べ、発表する。 事前学修 2.0hr：明海大学のパンフレットや Web ページ、あるいは既にボランティア単位修得済みの先輩への聞き取りを行う。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
12回	**授業テーマ：海外研修研究** 授業内容：明海大学で設定している 2 種類の海外研修について受講者各自で調べ、発表する。 事前学修 2.0hr：明海大学のパンフレットや Web ページ、あるいは既に海外研修単位修得済みの先輩への聞き取りを行う。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
13回	**授業テーマ：資格取得研究** 授業内容：明海大学で設定している単位認定対象の「資格」について受講者各自で調べ、発表する。 事前学修 2.0hr：明海大学のパンフレットや Web ページ、あるいは既に資格取得により単位認定された先輩への聞き取りを行う。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
14回	**授業テーマ：ロードマップ発表** 授業内容：口頭ではなく、パワーポイントや配付資料などを用いて、各自のロードマップを発表して頂く。 事前学修 2.0hr：第 10～13 回の授業を参考にしてロードマップを作成する。 事後学修 2.0hr：ロードマップの修正
15回	**授業テーマ：ロードマップへのフィードバックと修正版ロードマップの発表** 授業内容：標記テーマの内容のほか、出席者に対し面談を行い、前学期の出席状況の確認や、後学期の目標を設定させる。 事前学修 2.0hr：上記の内容を確認し、担当教員の質問に対して回答できるようにしておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。

学修の基礎Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：2026 年度入学生のみ履修可能

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**髙橋　眞人**（たかはし　まさと）・**髙橋　亜里沙**（たかはし　ありさ）・**高柳　奈月**（たかやなぎ　なつき）・**富樫　里真**（とがし　りま）・**中村　佑衣**（なかむら　ゆい）・**荷見　美有**（はすみ　みゆう）・**藤本　陽子**（ふじもと　ようこ）

▌授業の概要

広く社会に目を向けると、様々な立場の人、背景の異なる人がいて、相互理解を図るためにコミュニケーションが欠かせないことが分かります。親しい人であっても自分とは異なる他者です。大学生として新たに身につけて欲しいのは、このような自分とは異なる他者と一緒に共同体や社会を作っていくためのコミュニケーション力です。そのために、他者の言ったことや書いたことを正しく論理的に理解する力や、自分の考えや主張を理由や根拠を示して他者に正しく論理的に伝達する力が必要です。この授業では、読解、文章作成、会話などの活動を通して、それらの力を育成します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：社会問題に対して自分の意見を持ち、その意見を論理的な文章によって分かりやすく表現したり、他者に正しく理解されるような発表ができる。
入門書レベルの文章を一定の時間内に論理性に注意して正しく読み取ることができる。
大学の教員や職員、インターンシップや就職活動で出会う社会人など、大学生が実際に接する機会が多い目上の人との対面コミュニケーションにおいて適切な会話スタイルで相互理解を図ることができる。

個別目標：支持する理由や根拠を複数あげて、社会問題に対する自分の意見を書くことができる。資料やデータ、論文などの先行研究を正しい引用方法で引用することができる。読解力(文の基本構造を把握する力、指示代名詞・省略された語を把握する力、含意関係・同義文を判定する力、基本的知識と推論により文の意味を理解する力、図やグラフを参照して内容を理解する力、定義を読み合致する具体例を認識する力)を身につける。場面情報、言語情報を正確に把握したうえで、人間関係を保持しつつ自分の伝達意図を伝えることができる。

▌履修条件

期限までに課題の提出をしてください。授業内の活動に積極的に参加してください。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とします。
課題提出(小テスト・事前学修・事後学修・授業内課題・学修のふりかえり）60%、最終レポート 10 %、最終試験 30 %で評価します。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プロセスライティングで文章作成を学ぶ。その中で、ピアレビュー、自己点検、発表を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文章作成にワードを、テーマ決めや主張を支える証拠を探すために Web 検索をし、発表資料作成にパワーポイントを使用する。）

▌教科書

『学生のコミュニケーション・スキルの学び　グローバル社会を生きるためのレッスン』実教出版

▌参考書

必要な時に授業で指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス：コミュニケーションとは** 授業内容：本授業の概要についての説明を行う。また、事前テストを実施する。 事前学修 2.0hr：自分の経験から、良いコミュニケーション(文章・会話)には何が必要かを考える。 事後学修 2.0hr：コミュニケーション(文章・会話)について自分の考えを整理し、まとめる。
2回	**授業テーマ：情報を調整する** 授業内容：文章作成では、情報を調整する方法を学ぶ。会話では、感謝の伝え方を学ぶ。読解では基礎問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第１回 事後学修 2.0hr：読解基礎問題の復習をする。
3回	**授業テーマ：段落の構成を理解する** 授業内容：文章作成では、段落構成について学ぶ。会話では、延期の依頼の伝え方を学ぶ。読解では基礎問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第２回 事後学修 2.0hr：読解基礎問題の復習をする。
4回	**授業テーマ：要約する** 授業内容：文章作成では、要約の方法を学ぶ。会話では、書類の提出時の会話を学ぶ。読解では基礎問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第３回 事後学修 2.0hr：読解基礎問題の復習をする。
5回	**授業テーマ：文章の構造を理解する** 授業内容：文章作成では、文章の構造を学び、文章の構造が理解できることを目指す。会話では、手順の質問の場面の会話を学ぶ。読解では基礎問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第４回 事後学修 2.0hr：読解基礎問題の復習をする。
6回	**授業テーマ：プランニング１(アイディアの抽出と整理)** 授業内容：文章作成では、文章の構想を練るプランニングを学ぶ。会話では、会議の場面で司会の話し方について学ぶ。読解では基礎問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第５回 事後学修 2.0hr：読解基礎問題の復習をする。
7回	**授業テーマ：プランニング２(アイディアの構造化)** 授業内容：文章作成では、自分の文章のプランニングを行う。会話では、遅刻の連絡場面での話し方を学ぶ。読解では中級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第６回 事後学修 2.0hr：読解中級問題の復習をする。
8回	**授業テーマ：主張を検討する** 授業内容：文章作成では、自分の作成したプランニングの検討として、自分とは異なる主張の立場から見る方法を学ぶ。会話では、会議の場面で、自分の意見の適切な述べ方を学ぶ。読解では中級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第７回 事後学修 2.0hr：読解中級問題の復習をする。

9回	**授業テーマ：理由を検討する** 授業内容：文章作成では、自分の作成したプランニングの主張を支える理由の妥当性を考える。会話では、仕事などの進捗状況を責任者等に報告する際の伝え方を学ぶ。読解では中級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第８回 事後学修 2.0hr：読解中級問題の復習をする。
10回	**授業テーマ：証拠となる客観的資料を探す** 授業内容：文章作成では、自分のプランニングを見て、主張を支える理由の証拠となる資料を探す方法を学ぶ。会話では、会議の場面で結論を導くための話し方を学ぶ。読解では中級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第９回 事後学修 2.0hr：読解中級問題の復習をする。
11回	**授業テーマ：論理的なつながりを検討する** 授業内容：文章作成では、自分の文章のプランニングを見て、主張、理由、証拠となるデータが論理的に適切につながっているかを検討する。会話では、企画について話し合う場面で、建設的な相談の話し方を学ぶ。読解では上級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第１０回 事後学修 2.0hr：読解上級問題の復習をする。
12回	**授業テーマ：原稿を作成する** 授業内容：文章作成では、自分のプランニングに基づいて、意見文の文章作成を行う。会話では、その場にいない人に対する伝言を残す際の話し方を学ぶ。読解では上級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第１１回 事後学修 2.0hr：読解上級問題の復習をする。
13回	**授業テーマ：資料を作成する** 授業内容：文章作成では、自分の意見を発表する際の資料を作成する。会話では、就職活動等で自己 PR を述べる際の話し方を学ぶ。読解では上級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第１２回 事後学修 2.0hr：読解上級問題の復習をする。
14回	**授業テーマ：発表、コメントをする** 授業内容：文章作成では、自分の意見を発表する。また他者の発表を聞いて改善のための建設的なコメントを行う。会話では、就職活動等で志望動機を述べる際の話し方を学ぶ。読解では上級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第１３回 事後学修 2.0hr：読解上級問題の復習をする。
15回	**授業テーマ：論理的な思考力・表現力とは** 授業内容：最終試験を行う。コース全体の振りかえりをする。文章作成ではライティングプロセスを振り返り、工夫した点や改善をした点について再度検討を行う。また、会話や読解で学んだことをまとめる。 事前学修 2.0hr：試験の準備を行う。 事後学修 2.0hr：これまでの復習をする。

学修の基礎Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：再履修クラス

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**高柳　奈月**（たかやなぎ　なつき）・**荷見　美有**（はすみ　みゆう）

▌授業の概要

日本語の運用能力の向上をめざし、論理的な思考力、表現力の育成をはかる。また、漢字・語句練習による語彙力の育成、談話完成練習による会話力の育成をはかる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：論理的で分かりやすい文章で意見を述べることができる。
その際に、基本的な漢字・語句を正しく使い、正しい引用方法で先行研究やデータを利用することができる。
短文の文章を正しく読み取ることができる。
また、適切な対面コミュニケーションができる。

個別目標：基本的な漢字・語句について正しく理解、表現できるようになる。
論理的な思考により、伝えたい内容を分かりやすく表現できるようになる。
入門書レベルの文章を読んで大意を把握できるようになる。
場面情報、言語情報を正確に把握したうえで、適切な対面コミュニケーションができるようになる。

▌履修条件

期限までに課題の提出を行うこと。授業内の活動に積極的に参加すること。遅刻や欠席をしないこと。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。
課題提出(小テスト・事前学修・事後学修・授業内課題・学修のふりかえり) 60%、最終レポート 10 %、期末試験 30 %で評価する。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プロセスライティングで文章作成を学ぶ。その中で、ピアレビュー、自己点検、発表を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文章作成にワードを、テーマ決めや主張を支える証拠を探すために Web 検索をし、発表資料作成にパワーポイントを使用する。）

▌教科書

『学生のコミュニケーション・スキルの学び　グローバル社会を生きるためのレッスン』実教出版

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス：コミュニケーションとは** 授業内容：本授業の概要についての説明を行う。また、事前テストを実施する。 事前学修 2.0hr：自分の経験から、良いコミュニケーション(文章・会話)には何が必要かを考える。 事後学修 2.0hr：コミュニケーション(文章・会話)について自分の考えを整理し、まとめる。
2回	**授業テーマ：情報を調整する** 授業内容：文章作成では、情報を調整する方法を学ぶ。会話では、感謝の伝え方を学ぶ。漢字・語句では、送り仮名のつけ方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１回
3回	**授業テーマ：段落の構成を理解する** 授業内容：文章作成では、段落構成について学ぶ。会話では、延期の依頼の伝え方を学ぶ。漢字・語句では、送り仮名のつけ方２を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第２回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第２回
4回	**授業テーマ：要約する** 授業内容：文章作成では、要約の方法を学ぶ。会話では、書類の提出時の会話を学ぶ。漢字・語句では、敬語の基本の形を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第３回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第３回
5回	**授業テーマ：文章の構造を理解する** 授業内容：文章作成では、文章の構造を学び、文章の構造が理解できることを目指す。会話では、手順の質問の場面の会話を学ぶ。漢字・語句では、敬語の特別な形を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第４回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第４回
6回	**授業テーマ：プランニング１(アイディアの抽出と整理)** 授業内容：文章作成では、文章の構想を練るプランニングを学ぶ。会話では、会議の場面で司会の話し方について学ぶ。漢字・語句では、ウチとソトを意識した敬語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第５回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第５回
7回	**授業テーマ：プランニング２(アイディアの構造化)** 授業内容：文章作成では、自分の文章のプランニングを行う。会話では、遅刻の連絡場面での話し方を学ぶ。漢字・語句では、間違えやすい敬語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第６回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第６回
8回	**授業テーマ：主張を検討する** 授業内容：文章作成では、自分の作成したプランニングの検討として、自分とは異なる主張の立場から見る方法を学ぶ。会話では、会議の場面で、自分の意見の適切な述べ方を学ぶ。漢字・語句では、改まった表現について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第７回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第７回
9回	**授業テーマ：理由を検討する** 授業内容：文章作成では、自分の作成したプランニングの主張を支える理由の妥当性を考える。会話では、仕事などの進捗状況を責任者等に報告する際の伝え方を学ぶ。漢字・語句では、熟語の構成について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第８回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第８回

10回	**授業テーマ：証拠となる客観的資料を探す** 授業内容：文章作成では、自分のプランニングを見て、主張を支える理由の証拠となる資料を探す方法を学ぶ。会話では、会議の場面で結論を導くための話し方を学ぶ。漢字・語句では、漢字の構成について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第9回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第9回
11回	**授業テーマ：論理的なつながりを検討する** 授業内容：文章作成では、自分の文章のプランニングを見て、主張、理由、証拠となるデータが論理的に適切につながっているかを検討する。会話では、企画について話し合う場面で、建設的な相談の話し方を学ぶ。漢字・語句では、四字熟語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１０回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１０回
12回	**授業テーマ：原稿を作成する** 授業内容：文章作成では、自分のプランニングに基づいて、意見文の文章作成を行う。会話では、その場にいない人に対する伝言を残す際の話し方を学ぶ。漢字・語句では、四字熟語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１１回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１１回
13回	**授業テーマ：資料を作成する** 授業内容：文章作成では、自分の意見を発表する際の資料を作成する。会話では、就職活動等で自己 PR を述べる際の話し方を学ぶ。漢字・語句では、対義語と誤字訂正を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１２回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１２回
14回	**授業テーマ：発表、コメントをする** 授業内容：文章作成では、自分の意見を発表する。また他者の発表を聞いて改善のための建設的なコメントを行う。会話では、就職活動等で志望動機を述べる際の話し方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１３回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１３回
15回	**授業テーマ：論理的な思考力・表現力とは** 授業内容：コース全体の振りかえりをする。文章作成ではライティングプロセスを振り返り、工夫した点や改善をした点について再度検討を行う。また、会話や漢字・語句で学んだことをまとめる。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」巻末問題 事後学修 2.0hr：これまでの復習をする。

学修の基礎Ⅲ-a（データリテラシー　数理・推論）

開講学科等：日英中経不 HT 保　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前/後

相川　野々香（あいかわ　ののか）・**遠藤　信一**（えんどう　しんいち）・**後藤　英樹**（ごとう　ひでき）・**佐々木　文彦**（ささき　ふみひこ）・**高橋　奈佳**（たかはし　なか）・**中村　元紀**（なかむら　げんき）・**萩尾　由貴子**（はぎお　ゆきこ）・**前田　新太郎**（まえだ　しんたろう）・**渡部　綾子**（わたべ　あやこ）

▌授業の概要

数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度 (MDASH) の導入編として位置付け、新入生がＢＹＯＤの学修環境で学ぶためのスキルの育成をはかる。なお、本科目では、データサイエンスの基礎として、

・Microsoft 365 の活用方法を通じて、ＢＹＯＤの学修環境で学ぶための基礎的素養を身につけること

・データの利活用のための分析スキルの基礎知識を習得すること

・データを利活用しながら、建学の精神を柱とした問題解決学習・プレゼンテーション技法を身につけること

を目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：「データリテラシー」の基礎的素養を身につけ、ICT ツールを用いて情報を分析し、分析結果を表現して伝えるためのスキルを身につける。

個別目標：1. ＢＹＯＤの学習環境で学ぶための基礎的素養を身につける（例えば、パスワード管理、フィッシング詐欺の回避、公共 Wi-Fi 利用時の注意、ソフトウェア更新の重要性などを含む）

2. 文字入力や、ファイル操作、ネットワーク利用などの基本操作ができる。

3.Word による報告書の作成、Excel による実データの分析と可視化ができる。

4.PowerPoint を用いたプレゼンテーション資料の作成と適切な発表ができる。

5. データ分析や可視化に必要な数理的な能力の基礎を身につける。

▌履修条件

授業は毎回必ず出席して課題を提出し、事前事後学修もしっかり行うこと。

数理課題は必ず取り組むこと。

Microsoft 365 の Word、Excel、PowerPoint を授業外でも使えることが望ましい。

▌評価基準・方法

課題（85%）、数理課題（15 %）の合計点で評価する。

なお、4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

提出物の評価および、フィードバックは授業内、もしくは manaba で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によって異なるが実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （各自のパソコンを必ず持参する）

▌教科書

保本正芳『基礎から始めるデータサイエンス』noa 出版（2022）（電子テキスト）

ISBN：978-4-908434-76-1

▌参考書

参考となる図書やウェブページがある場合は別途指示する。

担当教員によって授業方法・進行が異なります。詳細は担当教員に確認してください。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション 1 ／ PC 利用の基礎・Gmail 設定・Microsoft 365、（数理課題なし）** 授業内容：本科目の目的を理解する。また、大学の Gmail 設定をし、大学や社会で必要なメールの書き方を学修する。 ＢＹＯＤの学習環境を整備する（例えば、パスワード管理、フィッシング詐欺の回避、公共 Wi-Fi 利用時の注意、ソフトウェア更新の重要性などを含む）。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：PC を使って授業内容を復習し、自分で使えるようにする。
2回	**授業テーマ：オリエンテーション 2 ／ウェブポータルシステム・manaba・START、（数理課題なし）** 授業内容：Windows の概要と基本的な操作方法を確認する。合わせて、大学で利用している Web ポータルシステム、manaba、START の利用方法を確認する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って参考資料などを確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
3回	**授業テーマ：PowerPoint 1（プレゼンテーションの基礎）、数理課題（割合・比）** 授業内容：スライド作成の基本操作を学び、伝わりやすい構成の考え方を身につける。テーマ設定、レイアウト選択、文字と画像の配置、配色の基礎など、プレゼン資料づくりの土台となる操作とデザイン原則を実践的に習得する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：Microsoft365 をインストールする。すぐ使えるように PowerPoint をセットアップする。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
4回	**授業テーマ：PowerPoint 2（効果的なプレゼンテーション）、数理課題（表・集合）** 授業内容：視覚的に訴える資料作成のコツを学ぶ。アニメーションや図解の活用、情報の強弱づけ、話し手の意図を支えるスライド構成を実践。短い発表演習を通して、資料と話し方の一体化を体験する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：PowerPoint の機能について、予め調べておく。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
5回	**授業テーマ：Word 1（報告書作成）、数理課題（場合の数）** 授業内容：基本的な文書作成スキルを身につける。ページ設定、フォントや段落の整え方、箇条書き、表の挿入、ヘッダー・フッターなど、報告書に必須の機能を実践的に学ぶ。整ったレイアウトを作るための基礎操作を確実に習得する。 事前学修 2.0hr：Word の機能について予め調べておく。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
6回	**授業テーマ：Word 2（レポート作成の基礎）、数理課題（確率）** 授業内容：レポート形式の文書を題材に、スタイル設定、目次の自動作成、引用と参考文献リスト、図表番号の付与など、より高度な機能を扱う。論理的で読みやすい文書構成を意識し、学術的なレポート作成に必要な Word 操作を体系的に学ぶ。 事前学修 2.0hr：Word の機能について予め調べておく。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。

7回	**授業テーマ：Excel の基礎①：セル操作、SUM・AVERAGE などの関数、数理課題(図形と空間)** 授業内容：セルの入力・編集・コピー、相対参照など基本操作を学ぶ。SUM・AVERAGE など代表的な関数を使い、簡単な集計表を作成することで Excel の基礎的な仕組みを理解する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
8回	**授業テーマ：Excel の基礎②：表の操作と編集、数理課題(論理・命題)** 授業内容：データの並べ替え、フィルター、書式設定など、表を扱うための基本機能を学ぶ。見やすい表に整える編集方法を実践し、業務で使える表作成スキルを身につける。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
9回	**授業テーマ：Excel の基礎③：グラフと可視化１　グラフの種類と使い分け、数理課題(グラフ 1)** 授業内容：棒・折れ線・円グラフなど主要なグラフの特徴と使い分けを学ぶ。データに適したグラフを選ぶ判断力を養い、基本的なグラフ作成操作を実践する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
10回	**授業テーマ：Excel の基礎④：グラフと可視化２　見やすい資料作成のコツ、数理課題(グラフ 2)** 授業内容：軸設定、色の選び方、強調の仕方など、見やすく誤解のないグラフを作るための編集技法を学ぶ。資料として伝わるグラフに仕上げるポイントを実践的に習得する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
11回	**授業テーマ：Excel の基礎⑤：グラフと可視化３　グラフの読み方・見せ方、数理課題(グラフ 3)** 授業内容：公的統計データや実際のデータを用いて作成したグラフを読み取り、特徴や傾向を文章で説明する練習を行う。データの意味を正しく解釈し、簡潔に報告する力を養う。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
12回	**授業テーマ：Excel の基礎⑥：グラフと可視化４　グラフの読み方・見せ方、数理課題(グラフ 4)** 授業内容：公的統計データや実際のデータを用いてグラフを作成し、複数グラフの比較、誤解を招く表現の回避、情報量の調整など、より高度な「見せ方」を学ぶ。読み手に配慮した可視化の実践力を高める。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
13回	**授業テーマ：Excel の基礎⑦：簡単な分析１　標準偏差・相関係数、数理課題(相関・回帰)** 授業内容：標準偏差や相関係数の意味を理解し、Excel で計算する方法を学ぶ。公的統計データや実際のデータを用いて、データのばらつきや関係性を読み取り、簡単な分析ができる基礎力を身につける。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。また、数理課題について復習する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
14回	**授業テーマ：Excel の基礎⑧：簡単な分析２　ピボットテーブル・条件付き書式、数理課題(まとめ 1)** 授業内容：大量データを整理・集計するピボットテーブルの基本操作を学ぶ。条件付き書式によるデータの強調も扱い、分析結果を視覚的に示すスキルを習得する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
15回	**授業テーマ：ロードマップ記入・リフレクション+学びの言語化、数理課題(まとめ 2)** 授業内容：ロードマップを記入する。授業の最後に、授業全体のまとめと、この授業の到達度について評価する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.5hr：本科目の到達・個別目標を再確認し、これまでの学修内容を復習する。 事後学修 2.0hr：学修内容を復習する。また、数理課題について復習する。

学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

相川　野々香（あいかわ　ののか）・**遠藤　信一**（えんどう　しんいち）・**後藤　英樹**（ごとう　ひでき）・**佐々木　文彦**（ささき　ふみひこ）・**高橋　奈佳**（たかはし　なか）・**中村　元紀**（なかむら　げんき）・**萩尾　由貴子**（はぎお　ゆきこ）・**前田　新太郎**（まえだ　しんたろう）・**渡部　綾子**（わたべ　あやこ）

▌授業の概要

数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度 (MDASH) の発展編として位置付け、前学期のⅢ-a で身につけた基礎的知識をもとに、データ分析や AI を活用するためのスキルを育成する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：データサイエンス・生成 AI に関する知識、情報モラル・セキュリティの知識、「データを読む、説明する、扱う」能力などを踏まえて情報・データの利活用ができる力を身につける。

個別目標：1. 情報社会で必要な判断ができる…個人情報やプライバシーの重要性を理解し、SNS や AI 利用時に適切な判断と行動ができる。(例えば、検索結果の信頼性評価、SNS 情報の真偽判断、データの出典確認、バイアスや操作的可視化の見抜き方など)
2. 生成 AI を目的に応じて使い分けできる…要約・分類・質問応答など、生成 AI の特性を踏まえて適切なプロンプトで活用できる。
3. データを可視化し、読み取りができる…Excel や BI ツールを使い、データを整理・可視化し、指標の意味や傾向を読み取って説明できる。
4. データから課題を発見し、仮説を立てられる…駅カルテなどの実データを分析し、地域や社会の課題を見つけ、根拠ある仮説を設定できる。
5. 分析結果をもとに提案をまとめ、発表できる…データに基づく改善案を資料として構成し、根拠を示しながらわかりやすく発表できる

▌履修条件

授業は毎回必ず出席して課題を提出し、事前事後学修もしっかり行うこと。
Microsoft 365 の Excel、PowerPoint を授業外でも使えることが望ましい。

▌評価基準・方法

課題により評価する。
なお、4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

提出物の評価および、フィードバックは授業内、もしくは manaba で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によって異なるが実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （各自のパソコンを必ず持参する）

▌教科書

なし

▌参考書

参考となる図書やウェブページがある場合は別途指示する。
担当教員によって授業方法・進行が異なります。詳細は担当教員に確認してください。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：情報モラル：個人情報とプライバシー　SNS 事例，データの扱い方，法律との関係** 授業内容：本科目の目的を理解する。 SNS 事例を通して、個人情報の扱い方やプライバシー保護の重要性を理解する。データ流通の仕組みや関連する法律にも触れ、情報社会で必要な判断力とリスク認識を身につける(例えば、検索結果の信頼性評価、SNS 情報の真偽判断、データの出典確認、バイアスや操作的可視化の見抜き方など)。 事前学修 2.0hr：SNS や個人情報に関するニュースを 1 つ調べ、気づきを整理する。 事後学修 2.0hr：授業で学んだリスクと対策を自分の行動に照らしてまとめる。
2回	**授業テーマ：生成 AI ①：基礎と仕組み　ChatGPT、Copilot など生成 AI の概要、言語モデルの概要** 授業内容：生成 AI の特徴や活用領域を概観し、言語モデルの基本的な仕組みを学ぶ。ChatGPT、Copilot など身近な AI を例に、入力と出力の関係、得意・不得意を理解し、適切な使い方の基礎をつかむ。 事前学修 2.0hr：生成 AI に関する記事を読み、疑問点をメモする。 事後学修 2.5hr：生成 AI の仕組みについて理解した点を短くまとめる。
3回	**授業テーマ：生成 AI ②：活用と体験　実際に使ってみる(要約、分類、質問応答など)** 授業内容：要約・分類・質問応答など複数のタスクを実際に試し、プロンプトの工夫による出力の違いを体験する。自分の関心に沿ったテーマで生成 AI を操作し、適切な使い方を理解することを目的とする。 事前学修 2.0hr：生成 AI で試したい作業(要約・質問など)を考えておく。 事後学修 2.5hr：体験して得た気づきと、活用できそうな場面を整理する。
4回	**授業テーマ：BI ツール(Power BI)体験①：見せ方の工夫と操作体験** 授業内容：BI ツール(Power BI)を用いてデータを可視化し、見せ方による印象の違いを体験する。基本操作を学びながら、グラフや指標の選び方が意思決定に与える影響を理解する。 事前学修 2.0hr：身近なグラフを 1 つ探し、良い点・気になる点を考える。 事後学修 2.5hr：作成した可視化の工夫点と改善点を振り返る。
5回	**授業テーマ：BI ツール(Power BI)体験②：ストーリーテリングと提案づくり** 授業内容：BI ツール(Power BI)を用いてデータから読み取れるストーリーを構築し、提案につなげる演習を行う。可視化と説明の組み合わせを学び、データを根拠にした説得力ある資料作成を体験する。 事前学修 2.0hr：伝えたいテーマを 1 つ選び、理由を整理する。 事後学修 2.5hr：データから導いたストーリーを短く文章化する。
6回	**授業テーマ：駅カルテ①：データの読み取り— 実際の駅データから指標の意味を理解する** 授業内容：実際の駅データを用いて、人口・乗降客数・商業施設などの指標の意味を理解する。データから現状を把握する力を養い、地域分析の基礎を身につける。 事前学修 2.0hr：対象駅の周辺情報を簡単に調べておく。 事後学修 2.5hr：扱った指標の意味と気づいた特徴をまとめる。
7回	**授業テーマ：駅カルテ②：課題発見 — 駅周辺の課題をデータから読み解く** 授業内容：駅周辺の課題をデータから読み解き、仮説を立てる演習を行う。数値の背景を考え、地域の状況を多角的に捉える思考力を育てる。 事前学修 2.0hr：前回のデータを見返し、気になる点を整理する。 事後学修 2.5hr：立てた仮説の根拠と背景を文章化する。

8回	**授業テーマ：駅カルテ③：仮説検証― Excel で分析し、仮説を検証する** 授業内容：Excel を使ってデータを分析し、前回立てた仮説を検証する。分析結果をグループで共有し、解釈の違いや新たな視点を学ぶ。 事前学修 2.0hr：Excel の基本操作を復習しておく。 事後学修 2.5hr：分析結果と仮説の関係を整理し、次回に向けて課題を明確にする。
9回	**授業テーマ：駅カルテ④：提案づくり ― 改善案を考え、資料にまとめる** 授業内容：分析結果をもとに改善案を考え、資料としてまとめる。根拠と提案を結びつけ、読み手に伝わる構成を意識した資料作成を行う。 事前学修 2.0hr：改善案の方向性を個人で考えておく。 事後学修 2.5hr：資料の構成案を整え、発表準備を進める。
10回	**授業テーマ：駅カルテ⑤：発表とフィードバック　グループ発表と相互評価を実施する。** 授業内容：グループごとに提案を発表し、相互評価を行う。データに基づく説明力やプレゼンテーション力を高め、他者の視点から学びを深める。 事前学修 2.0hr：発表内容を最終確認し、役割分担を明確にする。 事後学修 2.5hr：他グループの良い点を参考に、改善点を振り返る。
11回	**授業テーマ：社会課題とデータ活用①　各学部あるいは学部を横断した課題とデータの関係を考える。** 授業内容：各学部の専門領域に関連する社会課題，あるいは学部を横断した社会課題を取り上げ、データがどのように理解や解決に役立つかを考える。学問とデータ活用の接点を体感する。 事前学修 2.0hr：自分の学部に関係する社会課題を 1 つ調べる。 事後学修 2.5hr：課題とデータの関係について気づいた点を整理する。
12回	**授業テーマ：社会課題とデータ活用②** 授業内容：第 11 回での意思決定に応じて，課題探究を深める。汎用的な内容とする場合は、複利計算などデータを使った意思決定のプロセスを体験する。 事前学修 2.0hr：前回扱った課題の追加情報を調べておく。 事後学修 2.5hr：意思決定にデータがどう役立つかをまとめる。
13回	**授業テーマ：自分の生活とデータ①　課題とデータの可視化** 授業内容：自分の生活に関するデータ(時間、行動、支出など)を収集し、可視化する。日常のパターンを客観的に捉え、気づきを得るための基礎をつくる。 事前学修 2.0hr：1 日の行動や時間の使い方を簡単に記録する。 事後学修 2.5hr：可視化したデータから得た気づきを整理する。
14回	**授業テーマ：自分の生活とデータ②　データから自分の行動を振り返る。メタ認知活動** 授業内容：可視化したデータをもとに、自分の行動や習慣を振り返る。改善点や新たな目標を考え、データを使った自己理解とメタ認知を深める。 事前学修 2.0hr：前回の可視化データを見返し、気になる点を考える。 事後学修 2.5hr：行動改善のアイデアや今後の目標をまとめる。
15回	**授業テーマ：まとめと展望　　学びの言語化，今後の学びへの接続** 授業内容：これまでの学びを言語化し、データ活用・AI 活用の可能性を再確認する。今後の学びやキャリアへのつながりを考え、学修成果を整理して締めくくる。 事前学修 2.5hr：これまでの学びで印象に残った内容を振り返る。 事後学修 2.0hr：今後の学びに活かしたい点を言語化し、提出する。

学修の基礎Ⅲ-a（データリテラシー　数理・推論）

開講学科等：日英中経不 HT 保　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前/後　｜　備考：再履修クラス

相川　野々香（あいかわ　ののか）・**中村　元紀**（なかむら　げんき）・**萩尾　由貴子**（はぎお　ゆきこ）

▌授業の概要

【再履修クラス】数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度 (MDASH) の導入編として位置付け、新入生がＢＹＯＤの学修環境で学ぶためのスキルの育成をはかる。なお、本科目では、データサイエンスの基礎として、

・Microsoft 365 の活用方法を通じて、ＢＹＯＤの学修環境で学ぶための基礎的素養を身につけること

・データの利活用のための分析スキルの基礎知識を習得すること

・データを利活用しながら、建学の精神を柱とした問題解決学習・プレゼンテーション技法を身につけること

を目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：「データリテラシー」の基礎的素養を身につけ、ICT ツールを用いて情報を分析し、分析結果を表現して伝えるためのスキルを身につける。

個別目標：1. ＢＹＯＤの学習環境で学ぶための基礎的素養を身につける（例えば、パスワード管理、フィッシング詐欺の回避、公共 Wi-Fi 利用時の注意、ソフトウェア更新の重要性などを含む）

2. 文字入力や、ファイル操作、ネットワーク利用などの基本操作ができる。

3.Word による報告書の作成、Excel による実データの分析と可視化ができる。

4.PowerPoint を用いたプレゼンテーション資料の作成と適切な発表ができる。

5. データ分析や可視化に必要な数理的な能力の基礎を身につける。

▌履修条件

授業は毎回必ず出席して課題を提出し、事前事後学修もしっかり行うこと。

数理課題は必ず取り組むこと。

Microsoft 365 の Word、Excel、PowerPoint を授業外でも使えることが望ましい。

▌評価基準・方法

課題（85%）、数理課題（15 %）の合計点で評価する。

なお、4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

提出物の評価および、フィードバックは授業内、もしくは manaba で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によって異なるが実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （各自のパソコンを必ず持参する）

▌教科書

保本正芳『基礎から始めるデータサイエンス』noa 出版（2022）（電子テキスト）

ISBN：978-4-908434-76-1

▌参考書

参考となる図書やウェブページがある場合は別途指示する。

担当教員によって授業方法・進行が異なります。詳細は担当教員に確認してください。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション 1 ／ PC 利用の基礎・Gmail 設定・Microsoft 365、（数理課題なし）** 授業内容：本科目の目的を理解する。また、大学の Gmail 設定をし、大学や社会で必要なメールの書き方を学修する。 ＢＹＯＤの学習環境を整備する（例えば、パスワード管理、フィッシング詐欺の回避、公共 Wi-Fi 利用時の注意、ソフトウェア更新の重要性などを含む）。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：PC を使って授業内容を復習し、自分で使えるようにする。
2回	**授業テーマ：オリエンテーション 2 ／ウェブポータルシステム・manaba・START、（数理課題なし）** 授業内容：Windows の概要と基本的な操作方法を確認する。合わせて、大学で利用している Web ポータルシステム、manaba、START の利用方法を確認する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って参考資料などを確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
3回	**授業テーマ：PowerPoint 1（プレゼンテーションの基礎）、数理課題（割合・比）** 授業内容：スライド作成の基本操作を学び、伝わりやすい構成の考え方を身につける。テーマ設定、レイアウト選択、文字と画像の配置、配色の基礎など、プレゼン資料づくりの土台となる操作とデザイン原則を実践的に習得する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：Microsoft365 をインストールする。すぐ使えるように PowerPoint をセットアップする。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
4回	**授業テーマ：PowerPoint 2（効果的なプレゼンテーション）、数理課題（表・集合）** 授業内容：視覚的に訴える資料作成のコツを学ぶ。アニメーションや図解の活用、情報の強弱づけ、話し手の意図を支えるスライド構成を実践。短い発表演習を通して、資料と話し方の一体化を体験する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：PowerPoint の機能について、予め調べておく。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
5回	**授業テーマ：Word 1（報告書作成）、数理課題（場合の数）** 授業内容：基本的な文書作成スキルを身につける。ページ設定、フォントや段落の整え方、箇条書き、表の挿入、ヘッダー・フッターなど、報告書に必須の機能を実践的に学ぶ。整ったレイアウトを作るための基礎操作を確実に習得する。 事前学修 2.0hr：Word の機能について予め調べておく。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
6回	**授業テーマ：Word 2（レポート作成の基礎）、数理課題（確率）** 授業内容：レポート形式の文書を題材に、スタイル設定、目次の自動作成、引用と参考文献リスト、図表番号の付与など、より高度な機能を扱う。論理的で読みやすい文書構成を意識し、学術的なレポート作成に必要な Word 操作を体系的に学ぶ。 事前学修 2.0hr：Word の機能について予め調べておく。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。

7回	**授業テーマ：Excel の基礎①：セル操作、SUM・AVERAGE などの関数、数理課題(図形と空間)** 授業内容：セルの入力・編集・コピー、相対参照など基本操作を学ぶ。SUM・AVERAGE など代表的な関数を使い、簡単な集計表を作成することで Excel の基礎的な仕組みを理解する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
8回	**授業テーマ：Excel の基礎②：表の操作と編集、数理課題(論理・命題)** 授業内容：データの並べ替え、フィルター、書式設定など、表を扱うための基本機能を学ぶ。見やすい表に整える編集方法を実践し、業務で使える表作成スキルを身につける。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
9回	**授業テーマ：Excel の基礎③：グラフと可視化１　グラフの種類と使い分け、数理課題(グラフ 1)** 授業内容：棒・折れ線・円グラフなど主要なグラフの特徴と使い分けを学ぶ。データに適したグラフを選ぶ判断力を養い、基本的なグラフ作成操作を実践する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
10回	**授業テーマ：Excel の基礎④：グラフと可視化２　見やすい資料作成のコツ、数理課題(グラフ 2)** 授業内容：軸設定、色の選び方、強調の仕方など、見やすく誤解のないグラフを作るための編集技法を学ぶ。資料として伝わるグラフに仕上げるポイントを実践的に習得する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
11回	**授業テーマ：Excel の基礎⑤：グラフと可視化３　グラフの読み方・見せ方、数理課題(グラフ 3)** 授業内容：公的統計データや実際のデータを用いて作成したグラフを読み取り、特徴や傾向を文章で説明する練習を行う。データの意味を正しく解釈し、簡潔に報告する力を養う。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
12回	**授業テーマ：Excel の基礎⑥：グラフと可視化４　グラフの読み方・見せ方、数理課題(グラフ 4)** 授業内容：公的統計データや実際のデータを用いてグラフを作成し、複数グラフの比較、誤解を招く表現の回避、情報量の調整など、より高度な「見せ方」を学ぶ。読み手に配慮した可視化の実践力を高める。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
13回	**授業テーマ：Excel の基礎⑦：簡単な分析１　標準偏差・相関係数、数理課題(相関・回帰)** 授業内容：標準偏差や相関係数の意味を理解し、Excel で計算する方法を学ぶ。公的統計データや実際のデータを用いて、データのばらつきや関係性を読み取り、簡単な分析ができる基礎力を身につける。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。また、数理課題について復習する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
14回	**授業テーマ：Excel の基礎⑧：簡単な分析２　ピボットテーブル・条件付き書式、数理課題(まとめ 1)** 授業内容：大量データを整理・集計するピボットテーブルの基本操作を学ぶ。条件付き書式によるデータの強調も扱い、分析結果を視覚的に示すスキルを習得する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
15回	**授業テーマ：ロードマップ記入・リフレクション+学びの言語化、数理課題(まとめ 2)** 授業内容：ロードマップを記入する。授業の最後に、授業全体のまとめと、この授業の到達度について評価する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.5hr：本科目の到達・個別目標を再確認し、これまでの学修内容を復習する。 事後学修 2.0hr：学修内容を復習する。また、数理課題について復習する。

学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：再履修クラス

相川　野々香（あいかわ　ののか）・**遠藤　信一**（えんどう　しんいち）・**中村　元紀**（なかむら　げんき）・**萩尾　由貴子**（はぎお　ゆきこ）

▌授業の概要

【再履修クラス】生成 AI の登場により、データサイエンスの分野も大きく変革を遂げようとしている。本学の学生として身につけるべき基礎教養として、Society5.0 社会・ビッグデータ・IoT・AI・ロボットなどについて学ぶ。なお、本科目では、データサイエンスの基礎として、

・生成 AI の利活用とその前提として必要な情報モラルについて理解すること
・データの利活用に関わる安全対策、情報モラルについて理解すること
・データの利活用のための分析スキルの基礎知識を習得すること
・データの利活用し、建学の精神を柱とした問題解決学習・プレゼンテーション技法を身につけること

を目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：データサイエンス・生成 AI に関する知識、情報モラル・セキュリティの知識、「データを読む、説明する、扱う」能力などを踏まえて情報・データの利活用ができるようになること。

個別目標：1. データの利活用、AI(生成 AI を含む) 利活用の役割と事例を具体的に説明することができる。
2. データ利活用の倫理、セキュリティについて的確に説明することができる。
3. 文字入力や、ファイル操作、ネットワーク利用などの基本操作ができる。
4.Excel による実データの分析と可視化ができる。
5.PowerPoint を用いたプレゼンテーション資料の作成と適切な発表ができる。

▌履修条件

授業は毎回必ず出席して課題を提出し、事前事後学修もしっかり行うこと。
Microsoft の Excel、PowerPoint を授業外でも使えることが望ましい。

▌評価基準・方法

課題で評価する。
なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

提出物の評価および、フィードバックは授業内、もしくは manaba で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によって異なるが実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （情報処理演習室を利用する）

▌教科書

保本正芳『基礎から始めるデータサイエンス』noa 出版（2022）
ISBN：978-4-908434-76-1

▌参考書

参考となる図書やウェブページがある場合は別途指示する。
担当教員によって授業方法・進行がことなります。詳細は担当教員に確認してください。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス：講義の概要と進め方・インターネットの利活用** 授業内容：学修の基礎Ⅲ-b での授業の目的を理解する。また、大学のメール設定をし、大学や社会で必要なメールの書き方を学修する。合わせて、大学で利用している LMS である「manaba」の利用方法を確認する。タイピング練習方法を確認する。 現在進行中の社会変化(第４次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)について学ぶ。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：シラバスおよび担当教員の指示内容を確認する。
2回	**授業テーマ：Windows の基礎：Windows の概要とウィンドウやファイルなどの操作方法・データサイエンスの役割** 授業内容：Windows の概要と基本的な操作方法を確認する。合わせて、データや AI の活用によって起きている社会の環境の変化について確認する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って参考資料などを確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。タイピング練習を行う。
3回	**授業テーマ：情報モラルと情報セキュリティ：データを扱う上での留意事項** 授業内容：データ・生成 AI を扱う際の留意事項や、それらに対する取り組みについて学修する。また、データの中には機密情報や個人情報も多く含まれていることから、データを守るための原則と方法を確認する。 事前学修 2.0hr：データの扱いについて調べる。 事後学修 2.5hr：授業内容を復習する。
4回	**授業テーマ：ビッグデータと生成 AI(1)：ビッグデータと生成 AI の活用領域と利活用のための技術** 授業内容：データ・生成 AI が利活用される領域・分野は広がりを見せている。そこで、データ・生成 AI が利活用される領域について学修する。また、生成 AI などを利活用する上で必要な留意点について学ぶ。 収集したデータを活用するために、データを解析する方法や技術について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ビッグデータ・生成 AI の活用事例を調べる。 事後学修 2.5hr：授業内容を復習する。
5回	**授業テーマ：ビッグデータと生成 AI(2)：ビッグデータと AI の課題解決への活用場面と最新動向** 授業内容：人がどのようにデータ・生成 AI を利活用しているのかについて具体的な例を確認し、利活用の方法や可能性について学修する。また、データ・生成 AI が活用されている最新のビジネスモデルや用語、技術を確認する。中でも生成 AI 等を活用した新しいビジネスモデル (シェアリングエコノミー、商品のレコメンデーションなど) などについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：ビッグデータ・生成 AI の活用したビジネスモデルを調べる。 事後学修 2.5hr：授業内容を復習する。

6回	**授業テーマ：Excel（1）：Excel の基本** 授業内容：ビッグデータ、IoT 、生成 AI などによる社会の変化とデータ量の増加、計算機の処理性能の向上、AI の最新技術の活用例などを学び、データ解析と推論や流通システム、金融等におけるデータ・生成 AI 利活用事例などについて学ぶ。 データ分析には Excel を用いる。その前段階として、Excel の基本であるデータ入力、セル操作、ワークシート操作・計算式について説明し、実際に操作し、理解する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
7回	**授業テーマ：Excel（2）：相対参照と絶対参照・基本の関数** 授業内容：Excel でデータを分析するときに利用する「関数」と、セル参照を使った計算方法について演習形式で説明し、実際に操作し、理解する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
8回	**授業テーマ：Excel（3）：「データを説明する、扱う」方法（顧客分析）** 授業内容：データ分析の練習として、データの集計（和、平均、代表値を計算したのち、グラフを作成する。グラフ作成では、優れた可視化と不適切なグラフ表現があるため、これについて理解し、「データを説明する、扱う」ための演習を実施する。。 事前学修 2.0hr：データの種類について調べておく。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
9回	**授業テーマ：Excel（4）：「データを読む」方法・タイピング試験（仕入れ体験）** 授業内容：データの種類（量的変数、質的変数）・データの分布 (ヒストグラム)、代表値・代表値の性質の違い・データのばらつき、データに含まれる誤差の扱い、相関関係・相関係数について理解する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。これまでの課題の修正をする。
10回	**授業テーマ：Excel（5）：データを用いたデータ分析（公的統計データ）** 授業内容：POS データや公的統計データから実践的なデータ分析の演習を行う。タイピング試験を実施する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
11回	**授業テーマ：Excel（6）：データを用いたデータ分析（公的統計データ）** 授業内容：POS データや公的統計データを用いて、実践的なデータの集計の演習を行う。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
12回	**授業テーマ：Excel（7）：実データを用いたデータの可視化と考察（公的統計データ）** 授業内容：第 11 回授業で集計したデータを可視化し、これまで学修した内容を踏まえてデータ分析の結果を考察する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
13回	**授業テーマ：PowerPoint（1）：プレゼンテーションの概要、スライド作成・編集** 授業内容：学修の基礎 I に関連させ、明海大学独自の問題解決メソッドによりながら、プレゼンテーションで利用する PowerPoint の基本的な操作を学修したのち、スライドのレイアウト、わかりやすいプレゼンの展開、色の表現方法などについて理解する。 その際、建学の精神との関連に留意する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
14回	**授業テーマ：PowerPoint（2）：プレゼンテーションの適切な準備** 授業内容：第 15 回授業で発表するためのスライドを作成する。スライド作成には、第 13 回の授業で学修した内容を活用する。 なお、スライド作成にあたっては、建学の精神との関連に留意する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。発表練習をする。
15回	**授業テーマ：PowerPoint（3）：プレゼンテーションの適切な実行・まとめ：到達度の自己評価** 授業内容：第 14 回で作成したプレゼンテーションをグループで発表し、相互評価を行う。授業の最後に、授業全体のまとめと、この授業の到達度について評価する。 事前学修 2.5hr：発表練習をする。本科目の到達・個別目標を再確認し、これまでの学修内容を復習する。 事後学修 2.0hr：学修内容を復習する。

人間存在の課題

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中根　弘之（なかね　ひろゆき）

▌授業の概要

現代は様々な物質的発達の影で人間のあり方が問われている時代であると言うことができる。なぜなら「生きるために物質的に豊かになる」という本来の手段と目的が逆転し、「物質的に豊かになるために生きる」という状況に、人間性が押しつぶされるような状況が生じているからである。本講義では、西洋哲学・思想を中心に学習しながら、自己と世界のあり方を反省し、生きるの意味を自ら問いただすために必要な事項について講義する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：　合理的思考力形成のため西洋哲学の基礎的思考をたどり、世界と人間に対してどこまでも論理的に考える思考力を身に着ける。さらに実存思想に属する哲学を学ぶことで自身が置かれた環境の中で自発的に考えることの大切さを学び、主体的に思考して自分自身を創造するという視点を獲得する。

個別目標：（1）西洋哲学の基礎的術語や諸命題について説明することができる。
（2）実存思想に属する哲学者の思想の特徴を説明することができる。
（3）過去の哲学的諸問題を論理的に現代社会に当てはめて考えることができる。

▌履修条件

主体的に自己のあり方、世界のあり方を考え、哲学思想を学ぶ意志のある学生であること。

▌評価基準・方法

中間テスト点３０点
まとめテスト点７０点
このほか、自主学習のため manaba を用いて、課題を３回出すので、２回以上の提出を求める。

▌フィードバック方法

学期進行中に実施する中間テストの点数は、要望に従い学生に公開する。
同様に課題についても全体コメントを講義内で講評し、要望があれば学生個々に manaba の個人指導コレクションを用いて指導する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

指定しない。プリント資料は教室で配布する。

▌参考書

指定しない。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：西洋哲学思想とは何か　導入** 授業内容：単位取得の条件の確認、および西洋哲学の学問範囲、分類などの全体を概括する。 事前学修 2.0hr：哲学と呼ばれている学問について自分なりに調べる 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容の確認と自身が調べた内容の違いをノート学習する
2回	**授業テーマ：哲学入門　認識論１** 授業内容：真理判断に用いられる基準について学ぶ。具体的には対応説、整合説、有用説、合意説の 4 つであり、それぞれの該当する真理概念について検討する。 事前学修 2.0hr：「真理」と呼ばれるものの成立条件は何かを考える 事後学修 2.0hr：「真理」に関する様々な立場を説明できるようにノート整理を行う
3回	**授業テーマ：哲学入門　認識論２** 授業内容：認識の起源論として合理論と経験論、そしてカントの認識論雄それぞれについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：「物を知る」条件とは何かを考える 事後学修 2.0hr：経験論の限界について自分なりにまとめる
4回	**授業テーマ：哲学入門　認識論３** 授業内容：認識の妥当範囲について学ぶ。また実在論の中から、哲学の歴史的論争となった「普遍論争」について検討する。 事前学修 2.0hr：「何を知る」のかその対象となる範囲について考える 事後学修 2.0hr：実在論と観念論の違いについて自分なりに答えられるようにしておく
5回	**授業テーマ：哲学入門　存在論１　アリストテレスのカテゴリー論** 授業内容：アリストテレスの『形而上学』を中心として、「存在」の条件について検討する。 事前学修 2.0hr：アリストテレスの存在論について調べておく 事後学修 2.0hr：カテゴリーについて全て答えられるように自主学習する
6回	**授業テーマ：哲学入門　存在論２　存在の量について** 授業内容：一元論や多元論といった存在の量的差異の検討を行う。また、二元論から生じる「機会原因論」についても取り上げて検討する。 事前学修 2.0hr：一元論と多元論についてあらかじめ事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：種々の立場の主張の問題点をノート学習で自分なりに整理する
7回	**授業テーマ：哲学入門　存在論３　存在の質について** 授業内容：存在の質についても門愛代から唯物論とその批判、そして観念論と唯心論について検討する。 事前学修 2.0hr：唯物論と唯心論について事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：種々の立場の主張の問題点をノート学習で自分なりに整理する
8回	**授業テーマ：中間まとめとテスト** 授業内容：ここまで講義で扱ってきた西洋哲学の基本的な考えについて要点をまとめ、中間テストを実施する。 事前学修 2.0hr：これまで講義で扱った認識論と存在論雄範囲について自分で復習しておく 事後学修 2.0hr：中間テストの出来を自分で思い出し、理解度の足りなかった部分を確認する
9回	**授業テーマ：人間存在の学としての実存思想…サルトルの問題提起** 授業内容：実存思想、実存主義について、これまで学んだ認識論的、存在論的な前提からどの点で変更がなされたか、サルトルの思想を軸に検討する。 事前学修 2.0hr：実存思想について事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む

10回	**授業テーマ：パスカルの思想** 授業内容：パスカルの『パンセ』を軸に、実存思想の先駆けとなったモラリストの思想的特徴を紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：B. パスカルについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
11回	**授業テーマ：ニーチェの思想** 授業内容：「神は死んだ」に代表される「ニヒリズム」の思想とそこから生じる実存的な価値世界について紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：F. ニーチェについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
12回	**授業テーマ：キェルケゴールの思想** 授業内容：実存思想の代表的人物であるキェルケゴールの思想について「不安」「絶望」の概念を軸に紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：S. キェルケゴールについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
13回	**授業テーマ：ヤスパースの思想** 授業内容：ヤスパースの「実存哲学」を軸に、「限界状況」などよく知られているヤスパースの思想について紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：K. ヤスパースについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
14回	**授業テーマ：ハイデガーの思想** 授業内容：ハイデガーの主張する「死に臨む存在」としての人間のあり方を「頽落」いているとされる「世人」のあり方から検討する。 事前学修 2.0hr：M. ハイデガーについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
15回	**授業テーマ：まとめと平常テスト** 授業内容：実存思想、実存主義の思想について要点をまとめ、期末テストを平常テストで実施する。 事前学修 2.0hr：１４回までの講義で習ったことをノート整理して学習する 事後学修 2.0hr：講義全体から人間存在のあるべき姿について考え、自分なりにまとめる。

社会生活と倫理

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中根　弘之（なかね　ひろゆき）

▌授業の概要

今日、価値観が多様化し、「善」について確固とした意見を持つことが困難になってきている。しかし、そうした状況にあっても我々は生きている限り「どのように生きるべきか」考え、自ら「よい人生」を選びとらなければならない。成熟した人格を持つ個人として社会生活をよりよく生きるため、本講義では西洋倫理学で用いられる概念を講じ、複雑な現代社会にあっても「よく生きること」へのヒントを提示したいと考える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：　今日の社会で発生する倫理的諸問題を西洋倫理学の基礎的諸議論から合理的に整理し、自分と社会の人々が「よく生きること」を可能とするために何が必要なのかを自身で考えることができる。

個別目標：(1)倫理学の問題領域についての基礎知識を身に付け、説明することができる。
(2)「良心」について複数の視点から説明することができる。
(3)「他者」認識について複数の視点から説明することができる。
(4)「徳」について現代的意義を踏まえながら説明することができる。
(5)「幸福」について個人的「幸福」と社会的「幸福」の違いと関係性を説明することができる。

▌履修条件

主体的に善と悪を考え、倫理思想を学ぶ意志のある学生であること。講義時のノート作成に加え、日々の生活に対する洞察と反省を必要とするので、積極的に「よく生きること」について考える学生が望ましい。

▌評価基準・方法

中間テスト点３０点
まとめテスト点７０点
このほか、自主学習のため manaba を用いて、課題を３回出すので、２回以上の提出を求める。

▌フィードバック方法

学期進行中に実施する中間テストの点数は、要望に従い学生に公開する。
同様に課題についても全体コメントを講義内で講評し、要望があれば学生個々に manaba の個人指導コレクションを用いて指導する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

教室でプリントした講義資料を配布する。

▌参考書

指定しない

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：倫理思想への導入…「よさ」と「よい人生」について** 授業内容：単位取得の条件の確認、および西洋倫理学の対象、範囲、分類などの全体を概括する。 事前学修 2.0hr：「倫理的」と形容される事件、事故、事象について考えておく 事後学修 2.0hr：講義で扱った事例と身の回りのことを照らしてノートを整理する
2回	**授業テーマ：良心について(1)…現象としての良心の分析** 授業内容：「良心」の働きを概括し、東洋思想と西洋思想に由来する概念としての「良心」の検討する。 事前学修 2.0hr：「良心」と呼ばれるものについて自分なりに考えておく 事後学修 2.0hr：講義で習った術語をノートの整理を通して行う
3回	**授業テーマ：良心について(2)…良心の働き方の諸相** 授業内容：石川文康の『良心論』に基づき、「共知」の構造と法則性を検討する。 事前学修 2.0hr：「良心」の働き方について、自身の経験を通して考えておく 事後学修 2.0hr：良心のあり方、働きの法則について復習する
4回	**授業テーマ：良心について(3)…良心を中心にした倫理思想について** 授業内容：良心を中心にしたデカルトとカントの倫理思想について概括する。 事前学修 2.0hr：先週まで学んだことを整理し、良心を巡る議論の問題点を考えておく 事後学修 2.0hr：デカルトとカントの倫理思想についてまとめておく
5回	**授業テーマ：他者について(1)…他者問題の諸相について** 授業内容：「他者認識」にまつわる問題性と他者の把握についての方法論の整理を行う。 事前学修 2.0hr：他者の存在について、自分の人間関係の諸相を反省しておく 事後学修 2.0hr：他者問題について学んだ術語についてノート整理を通して行う
6回	**授業テーマ：他者について(2)…「人格」の要件と「同感」について** 授業内容：一般的な「人格」概念として 4 つのポイントを紹介し、「感情移入」理論とヒュームとスミスの「同感」に基づく道徳感覚理論を紹介、検討する。 事前学修 2.0hr：「人格」存在の必要要件を自分なりに列挙してみる 事後学修 2.0hr：「人格」存在と「同感」について学んだことを自分の生活に当てはめて検討する
7回	**授業テーマ：他者について(3)…「関係」概念にもとづく他者理解について** 授業内容：自我と他者の「関係」概念に注目したブーバーとレヴィナスの「間主観性」理論を紹介、検討する。 事前学修 2.0hr：抽象的な他者と具体的他者の違いについて自分なりに整理する 事後学修 2.0hr：ブーバーとレヴィナスの思想について自分の考えをまとめておく
8回	**授業テーマ：中間まとめとテスト** 授業内容：「良心」と「他者」概念を中心に、これまで学習した理論のまとめと習熟度を測る中間テストを実施する。 事前学修 2.0hr：これまで講義で扱った良心と他者の範囲を自分なりにまとめておく 事後学修 2.0hr：中間テストの出来を自分で思い出し、理解度の足りなかった部分を確認する
9回	**授業テーマ：徳について(1)…徳倫理学の歴史と諸相について** 授業内容：「徳」概念の基本をおさえ、東洋思想上の「徳」と「卓越性」を指す西洋的「徳」について紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：「徳」と呼ばれる語について自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：社会に望まれる人間諸性質の共通点についてまとめておく

10回	**授業テーマ：徳について（2）…具体的な徳目の理解** 授業内容：具体的な「徳目」を東洋思想と西洋思想、そして我が国の古典的な「徳目」を挙げて検討する。 事前学修 2.0hr：「徳」に数え入れるものが何かを具体的に考えておく 事後学修 2.0hr：講義で扱われた様々な徳目を整理し、現代日本の徳目を自分なりにまとめる
11回	**授業テーマ：徳について（3）…ギリシアの徳倫理学について** 授業内容：ソクラテス、プラトン、アリストテレスの「徳倫理学」について、紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：ソクラテス、プラトン、アリストテレスについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：徳倫理学の特徴についてノートを整理し、自身が身についている道徳観との差をまとめる
12回	**授業テーマ：幸福について（1）…幸福の定義とその諸相** 授業内容：前回のアリストテレスの主張から「幸福主義」の倫理学を紹介し、「快楽主義」との違いを明示したうえで、「快楽主義」について紹介する。 事前学修 2.0hr：「幸福」と呼ばれる事項について公共概念と合わせて考えておく 事後学修 2.0hr：「幸福」中身について自身の定義をはっきりさせておく
13回	**授業テーマ：幸福について（2）…個人の快楽主義** 授業内容：キュレネ派の倫理思想からエピクロス派の独自の倫理まで個人を軸にした「快楽主義」の展開を概括する。 事前学修 2.0hr：個人を軸にした幸福追求にまつわる問題を検討しておく 事後学修 2.0hr：ヘゲシアスの「識見」について、自分ならどのようなものが当てはまるかを考えておく
14回	**授業テーマ：幸福について（3）…公共の福祉と功利主義** 授業内容：「功利主義」を中心に社会規模で考えられる「快楽主義」について、その問題を含めて検討する。 事前学修 2.0hr：個人の幸福追求の限界について考えておく 事後学修 2.0hr：「社会の幸福」という概念について功利主義の主張を吟味しておく
15回	**授業テーマ：まとめと平常テスト** 授業内容：「徳倫理学」と「功利主義」を軸にした倫理思想の特徴点をまとめ、期末テストを平常テストで実施する。 事前学修 2.0hr：テストに備え、これまで学習したないようについてまとめておく 事後学修 2.0hr：テスト後に、自身の解答から社会生活と倫理の全体像を構築する

文学の世界

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：留学生クラス

川勝　麻里（かわかつ　まり）

▌授業の概要

海外でも高く評価されるノーベル賞作家・川端康成について学ぶ。日本人で初めてノーベル文学賞を受賞できたのはなぜなのか。孤児としての生い立ちや、数々の仰天エピソードも交えながら、作家像を知る。また、代表作『伊豆の踊子』を、映画を理解の補助として、映画→小説→映画→小説の順に読み進め、松本清張の短編小説と比較しながら、川端の名作がいかに読み継がれていくのか考えていく。その他、短編もいくつか取り上げ、それまでの文学にない、独特の擬人法や、映画的表現を学ぶことで、今なお新しさを失わない新感覚派小説の面白さを味わい、川端作品の幅広さを知る。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：日本文学や日本文化の知識を学び、それを生かすことができるようになる。日本を代表する作家について、簡単な言葉で他者にも説明できるようになる。川端康成という作家を通して、日本の文学史の一端を学ぶ。

個別目標：原作をより深く理解し、名作が読み継がれていく過程を知る。実際の作家の生い立ちと、作中に描かれた事柄を区別しつつ、小説ならではの構造を読み解くことが出来るようにする。

▌履修条件

くわしくは授業で指示する。なお、この授業で扱う松本清張は『日本語と日本文化B』(担当：川勝麻里)でも扱っているので、あわせて受講すると理解が深まる。

▌評価基準・方法

授業内の作業 40%、試験 60%の結果に基づき総合的に評価する。授業内の作業にはリアクションペーパーの提出が含まれる。
課題等のフィードバックは、教室内での質疑応答の形で行う。

▌フィードバック方法

manaba を使った課題の実施をおこない、その場で講評をおこなう。また、リアクションペーパーに対してのコメントや回答を授業内でフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パソコンはあれば便利だが、スマートフォンがあればよい。）

▌教科書

詳細は授業内で指示する。

▌参考書

授業で指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：はじめに** 授業内容：授業のガイダンスと、川端康成についての簡単な紹介。 事前学修 2.0hr：シラバスをよく読み、授業目的を理解して参加。 事後学修 2.0hr：授業内で示したキーワードをもとに半期の学習計画を立てる。
2回	**授業テーマ：川端康成について(生い立ち、ユニークな人物像、文壇状況、交友関係など)** 授業内容：孤児の生い立ち、無口、動物好き、読書の名人、文壇政治家、ゴーストライターによる代作、そして、川端を取り巻く人間関係について説明する。まずは作家に興味を持ち、これから読んでいく小説にさらに興味を持って取り組めるようにする。 事前学修 2.0hr：川端康成の年譜事項について見ておく。 事後学修 2.0hr：プリントや授業の話をまとめておく。
3回	**授業テーマ：川端康成と『伊豆の踊子』：実在モデルと小説の違い** 授業内容：『伊豆の踊子』のモデルとなった少女とその兄の実際の姿は、小説にえがかれている姿とは、ことなっている。そこで、その違いを読み解きながら、小説では何が描かれているのかを考える。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：モデルと実像の違いについて理解する。
4回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(１)旧制高等学校と踊り子について** 授業内容：『伊豆の踊子』の主人公の学生は、エリート学生であり、踊り子たちのような社会的に差別されている。そうした社会の中での違いをふまえて、小説を読んでいく。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：差別される踊り子とエリート学生主人公の格差を理解する。
5回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(２)主人公の金銭感覚について** 授業内容：主人公は茶屋で大金を支払っているが、それが当時の日本で、どれくらいの高額だったのか、同時代の資料から考える。また、そうした多くのお金を払ったのはなぜなのかを、読み解く。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を音読できるようにしておく。 事後学修 2.0hr：学習内容を箇条書きにしてまとめておく。
6回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(３)踊り子への差別について** 授業内容：踊り子たちが、どのような差別を受けているのか考える。小説を読む補助として、映画の DVD も視聴。 事前学修 2.0hr：小説を細かいところまで理解できるようにする。 事後学修 2.0hr：学習内容を箇条書きにしてまとめておく。
7回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(４)踊子のモデルと小説の違い** 授業内容：モデルと小説の違いを理解し、純文学として、この小説がどのように理想的につくられているのかを考える。 小説は現実をそのまま描いているわけではないので、その点について考える。 事前学修 2.0hr：『伊豆の踊子』を再度、読んでくる。 事後学修 2.0hr：モデルと実像の違いについて理解する。
8回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(５)孤児根性について** 授業内容：孤児根性を持って伊豆の旅に出てきた主人公は、孤児であることに必要以上にこだわっていた気持ちを捨てて、素直に自分と向き合うことができるようになる。孤児根性から癒されていく心の動きについて考える。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：孤児根性という言葉の意味を理解し、小説内でそれが解消されていく様子を理解する。
9回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(６)風景描写について** 授業内容：景色と主人公の感情が、どのように連動してうごいているのかを考える。 事前学修 2.0hr：再度、『伊豆の踊子』全体を読んでくる。 事後学修 2.0hr：主人公が孤児根性から癒されていく過程を、風景と結びつけて理解する。

10回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(7)リメイク小説：松本清張『天城越え』の風景描写** 授業内容：『天城越え』は『伊豆の踊子』を意識しながら書かれた小説なので、2作品を比べながら、風景描写を読んでいく。 同じ伊豆半島を舞台とし、同じ大正15年が背景となっているにもかかわらず、風景の描き方がちがっていることがわかる。主人公の心の変化と風景には関係があるということを学ぶ。 事前学修 2.0hr：プリントで『天城越え』の一場面を読んでくる。 事後学修 2.0hr：『天城越え』が『伊豆の踊子』をどのように意識して書かれたか共通点を理解する。
11回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(8)リメイク小説：松本清張『天城越え』の金銭感覚** 授業内容：2つの小説を比較しながら、金銭感覚の違いが、純文学かミステリーかで、異なることに注目して、読み解く。 事前学修 2.0hr：プリントで『天城越え』の一場面を読んでくる。 事後学修 2.0hr：金銭感覚その他、『天城越え』と『伊豆の踊子』の正反対な部分を理解し、作品を深く学ぶ。
12回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(9)リメイク小説：松本清張『天城越え』の心理的動機** 授業内容：松本清張が、川端康成をのりこえようとして、名作『伊豆の踊子』に対して、『天城越え』を執筆したということについて考える。 事前学修 2.0hr：プリントで『天城越え』の一場面を読んでくる。 事後学修 2.0hr：『天城越え』の犯行動機を理解し、小説全体の読解をまとめる。
13回	**授業テーマ：もう1つの『伊豆の踊子』を読む―西河克己の2つめの『伊豆の踊子』(吉永小百合版)** 授業内容：授業前半では、DVD で西河克己監督の映画「伊豆の踊子」(山口百恵版) を見たが、後半からは、この監督がまったく同じタイトルで、別の女優をつかって撮影した映画「伊豆の踊子」(吉永小百合版) を見ていく。 事前学修 2.0hr：西河克己の『伊豆の踊子』(山口百恵版)を復習しておく。 事後学修 2.0hr：踊り子一行に対する差別について理解する。
14回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：まとめ。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：これまでのプリントをまとめておく。
15回	**授業テーマ：試験** 授業内容：試験。 事前学修 2.0hr：試験に備えた学習。 事後学修 2.0hr：試験問題の不明点の復習。

文学の世界

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

森　晴彦（もり　はるひこ）

▌授業の概要

文学は国内・外を通じ多様な形で存在し、研究されているが、本授業では身近にある広告等の表現技巧とその源泉を古典文学に求め、そこから文学的表現の世界に分け入り、本文批評や文学研究の諸方法を俯瞰した上で、物語の話型を学び、それがドラマにまで通底する点を見たい。童話の改変・分析の問題に触れ、次に引用の美学を確認、さらにリアリティ獲得の方法を、歴史小説や自然主義、私小説と非私小説に見、作品生成の背景や成立の場を考える。対立する作家論・テクスト論の方法を自在に用いて作品を追究、言語・思想・社会の影響下に織りなされる文学に言及する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：(1)広告表現のしくみ、物語の話型・しくみ、創作過程のしくみ、など「文学のしくみ (構造)」を知ることができる
　　(2)文学の果たす機能や役割を説明できる
個別目標：(1)文学作品について説明できる
　　(2)著名な作品・作家について説明できる

▌履修条件

特になし。
※第 1 回から出席・学修支援システム manaba を使用できるスマホを含む電子機器を持参してください。

▌評価基準・方法

定期試験 60 %、課題として前半 7 回後に manaba から提出する学修内容振り返りシート（前半まとめ）30%、授業内における参加姿勢及び発言等 10 % 及び到達目標・一般目標の達成度に基づき、総合的に評価する。また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等の提出やフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業で毎回プリントを配布する。

▌参考書

必要に応じて授業内で掲示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：広告言語の構造〜身近にある表現技巧の源泉** 授業内容：第 1 回は、広告言語と呼ばれるコマーシャルのコピーについてです。コマーシャルの言葉の使い方はレトリックと呼ばれる技巧が施されています。そのため、その使い方を含めてポスターのコピーや商品名のネーミングなども含め、日本古典文学の技法が活用されています。そのあたりを紐解いていきます。　※受講人数によって〈授業を受けるためのガイダンス〉の説明が長くなった場合、第 1 回内容を第 2 回まで延長する場合あります。承知おきください。 事前学修 2.0hr：身近にある CM で言語的技法と思うものを 1 つピックアップしておく。 事後学修 2.0hr：本時を踏まえ、技法的な CM を探してみる。
2回	**授業テーマ：文学作品の生成と本文批評** 授業内容：第 2 回は、文学作品の生成と本文批評（ほんもんひひょう）です。初めての用語でしょうから丁寧に解説します。作者自身で書きかえる場合もあれば、時代を経て作品が改変されてしまう場合もあります。それを文献学や本文批評によって、より古い形はどのようなものだったのか、が探索できるわけです。皆さんの知る著名な作品の結末が違うなど例に見ていきます。 事前学修 2.0hr：書誌学・文献学について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントを再読する。
3回	**授業テーマ：物語の生成〜竹取物語を例に** 授業内容：第 3 回は、日本で最古の物語 (900 年頃か) といわれる『竹取物語』を例にして、作品の生成過程を追うことで物語の構造 (しくみ) を学びます。同時に、第 2 回の本文批評を用いて、「思想の作品への影響」についても考えてみます。 事前学修 2.0hr：竹取物語のストーリーについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントを読んでおく。
4回	**授業テーマ：物語の変容〜グリム童話初版から第 7 版に至る改変** 授業内容：第 4 回は、皆さんが「知っている」『グリム童話』を取り上げ、皆さんが「知らない」『グリム童話』の元の姿をお見せします。今回も第 2 回の本文批評を用いて、「作品の原初の形」(最初の姿、元の姿) を学びます。私たちの読んだテキストは物語が変容したものであることが判ります。 事前学修 2.0hr：グリム童話について簡潔に調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリント（明治時代刊行のシンデレラ）を読む。
5回	**授業テーマ：童話分析の諸問題〜歴史社会・神話解釈・精神分析の問題点** 授業内容：第 5 回は、前回で読んだ『グリム童話』の作品や、読んではいませんが皆さんが知っている『グリム童話』を取り上げ、テキストの変容（本文批評／テキストクリティーク）をないがしろにすると分析も変わってしまう例を、歴史社会・神話解釈・精神分析の各方法と問題点を見ていきます。 事前学修 2.0hr：前回配布のストーリーを確認してくる。 事後学修 2.0hr：本時で扱った方法を整理しておく。
6回	**授業テーマ：物語の構造〜プロップの 31 機能を中心に現代に及ぶ** 授業内容：今回は、「話型学」という、物語や小説の、「話しの骨格」について学びます。話型とは服を脱がせれば人間の骨格は同じです。服によって見え方が違います。水戸黄門も浅見光彦も、骨格は同じ一「同じ話型」となる例です。著名な話型の形を紹介した後、プロップの 31 分類について説明し、物語の形の構造があることを学びます。 事前学修 2.0hr：プロップについて調べておく。 事後学修 2.0hr：物語や映画やゲームの展開と比較してみる。
7回	**授業テーマ：引用の織物〜本歌取から芭蕉・漱石、啄木と谷村、長渕とあいだの場合** 授業内容：第 7 回は、「文学における引用という技法」を取り上げます。引用が当たり前の時代から、博学主義などといわれる近代を経て、現代ではオマージュとかリスペクトと呼ばれる類のものです。しかし、著作権やプライオリティの確保から、現代では、引用は出典を明記して断らないと盗作です。今回はその「引用」に関わる文学の世界を見ていきます。 事前学修 2.0hr：オマージュ、インスパイアという単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：本時で出てきた概念を時代別に整理しておく。7 回終了後 manaba から前半振り返りのまとめを出してもらいます。

8回	**授業テーマ：歴史小説の構造〜高瀬舟執筆の目的** 授業内容：第 8 回は明治の二大文豪(夏目漱石と森鷗外)の一人、森鷗外の『高瀬舟』という小説について学びます。『高瀬舟』の執筆目的とはなにか、考えていきます。資料にそって解説していきます。 事前学修 2.0hr：歴史小説、森鷗外について調べておく。 事後学修 2.0hr：本時配布のプリントを精読する。
9回	**授業テーマ：原話に付加される近代的自我〜芥川龍之介の作品を中心に** 授業内容：第 9 回は、原作を利用しながら、単なる脚色に終わらず、近代的な自我によって新たな「文学」となった芥川龍之介の作品を見たいと思います。芥川の苦悩が原話を変えた、というのが結論となります。また、一度書いた結末を書き換えている点についても言及します。それらを資料で確認しながら追究します。 事前学修 2.0hr：芥川について調べておく。 事後学修 2.0hr：本時配布のプリントを精読する。
10回	**授業テーマ：原作を改変する内面的世界〜中島敦・太宰治 1** 授業内容：中島敦の『山月記』について考えます。唐代の伝奇説話『人虎伝』を原作に書かれた小説です。『高瀬舟』も『羅生門』も『山月記』も原作のある小説です。それらの「新たな読み直し」をこの授業では志向しています。『山月記』には独自の運命観が出ているところがあります。その生成の背景と独自性について考察します。後半は、来週読む太宰治の生涯についても言及します。 事前学修 2.0hr：中島敦、太宰治について調べておく。 事後学修 2.0hr：本時配布のプリントを精読しておく。太宰治について調べておく。
11回	**授業テーマ：自伝脚色を駆使する私小説的装置〜太宰治 2、事実と虚構と自立するテクストと** 授業内容：多くの読者は、太宰の小説は太宰の実人生が書かれている、と思っているところです。私小説と多くの人は理解しています。太宰自身は、作品を自分の伝記のように読ませたい、という点をねらっています。そこでこの太宰の方法を、私小説的装置と名付け、事実と虚構の対比から、太宰ワールドに迫ってみようとします。 事前学修 2.0hr：太宰治について調べておく。 事後学修 2.0hr：本時を踏まえて『富嶽百景』を構築された作品として読みを更新する。
12回	**授業テーマ：自然主義小説・私小説とアンチ私小説〜柳美里・福島次郎 VS 村上春樹・江國香織等** 授業内容：日本の自然主義と呼ばれる小説は、現実をそのままリアルに描写し、実際に起きたことをそのまま小説化することでリアリティを持たせるスタイルで、現代の私小説に繋がっています。他方、すべて想像から創る小説、すべてを零から作り上げる小説があります。小説世界は、この両極の間を、どちらに近づくか、になりますが、そのあたりを具体的に学びます。 事前学修 2.0hr：日本の自然主義とは何かしらべておく。 事後学修 2.0hr：小説の二潮流を念頭に作品を読み分ける。
13回	**授業テーマ：作品の詩と真実 短編の長編化〜蛍とノルウェイの森、事実と虚構** 授業内容：村上春樹の『ノルウェイの森』と『螢』を比較し、村上の初期の創作方法を探求します。『螢』は村上作品の繰り返す青年期のノスタルジックな世界の断片であり、その世界に触発され、その後を書き加えようと、『ノルウェイの森』を執筆するあたりを見ていきます。 事前学修 2.0hr：村上春樹について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントを精読する。
14回	**授業テーマ：著名な翻案小説〜その原作の存在** 授業内容：知らない人は少ないはず、という皆さんが読んだことのある著名な小説には、外国文学の原作があり、原作とほぼ同じストーリーなのはあまり知られていません。誘発する事件も作品の背景にあります。それらを皆さんが知ることが難しい、しかし、作品成立の根幹に当たりますから、ぜひ知っておいてほしいと強く思いまして取り上げます。 事前学修 2.0hr：過去に読んだ感動や美談の小説はないか考えておく。 事後学修 2.0hr：配布のプリントを精読する。翻案小説とは何か理解する。
15回	**授業テーマ：翻訳文学の世界〜翻訳文学の基礎的諸問題／授業のまとめ** 授業内容：翻訳文学の基礎的諸問題として、訳者の文体とは、にこだわってみます。ひいては訳した人の感覚というものにまで言及します。　村上春樹訳『キャッチャー・イン・ザ・ライ』(サリンジャー作、2006 年) を「窓」(入り口)として話を進めます。また、授業の総まとめについても行います。 事前学修 2.0hr：上田敏、村上春樹翻訳小説を調べておく。今までの授業内容を総復習しておく。 事後学修 2.0hr：文学について各自切り込み方が深化したか考え直してみる。

人類と文化

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

山本　早良紗（やまもと　さらさ）

▌授業の概要

本授業では、文化人類学にかんする基礎的な知識を学びます。文化人類学とは、「文化」という概念を手がかりに、多様な人間の行動や思考、制度などの差異に注目し、それらを多様性と普遍性という観点からとらえ、「人間とは何か」について考える学問です。そして文化人類学の研究手法や視点は、いわば「常識」を相対化し、これまでとは少しちがった世界やものごとの見方・切り取り方を教えてくれるものです。日々目まぐるしく変化するこの現代において、そうした新しい認識の仕方は、自身の生き方や考え方の幅を広げるものとして、有効な知識・知恵となるはずです。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：私たちにとって身近な問題関心である、人間の〈生〉の営みに関連するさまざまなテーマをとりあげながら、文化人類学の考え方を学びます。さらに、それらの知識をもとに、個別の事例に照らし合わせて比較検討する視座を養います。具体的には、既存の考え方や自身の価値観を相対化する視点を獲得するとともに、現代を生き抜く術として、〈他者〉との共生のあり方について、みずから考える力を養うことを目標とします。

個別目標：知識を習得するだけでなく、授業から離れた日々の生活の場においても、文化人類学的な考え方を用いて、これまでとはちがったものの見方ができるよう、実践につなげていくことを目指します。また、普段は「当たり前のこと」として気に留めないような事柄についても、改めて主題化し、問い直していく視座を身に付けることを目標とします。

▌履修条件

履修条件は、講義を聞き、学ぶ意思のある者。出席回数を稼ぐためだけに在室し、授業中にスマホ操作や私語、居眠りを繰り返すといった、講義を聞く意思のない者の受講はお断りします（常習者には注意喚起のうえ、開講途中であっても、受講をお断りする場合があります）。本授業は、「出席した回数」よりも、受講態度や授業への関心の高さ、授業内容の理解度を重視した評価を行います。そうした本授業の主旨を十分理解・了承したうえでの受講をお願いします。

▌評価基準・方法

【試験（約 5 割）＋平常点（約 5 割）】により評価を行います。平常点には、①毎授業後に manaba に提出されたコメントの内容から、理解度・関心の高さ・取り組みの姿勢を判断し算出する「コメント点」、および②授業の受講態度の２点が含まれます。出席するだけで得られる「出席点」は設けません。学期末に行う試験は、半期の講義内容すべての総まとめとなり、持ち込みは不可とします。また、試験を無断で欠席した場合、不正行為が行われた場合には、評価の対象外となります。

▌フィードバック方法

授業内容について質問や不明点があった場合には、教室で直接教員にたずねるか、manaba で提出するコメントに記載してください。内容によって、コメントに返信するかたちで回答、もしくは翌週の授業内でとりあげ、解説します。授業内容以外のことについて質問や相談がある場合には、manaba の個別指導コレクションを利用してください。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必須ではありませんが、PC を使ってメモを取ることを推奨しています。）

▌教科書

指定しない。

▌参考書

授業内で適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の概要、予定、進め方、評価方法など、授業内容および授業運営にかんする基本的事項について解説します。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、本授業に期待する内容、学びたいことについて考え、まとめる。 事後学修 2.0hr：興味をもったテーマに関連する書籍を探し、読んでみる。
2 回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：文化人類学とはどのような学問かについて、近接する学問分野との比較を通して解説し、学問としての位置づけ、および全体像を理解することを目指します。 事前学修 2.0hr：文化人類学とはどのような学問か、みずから調べ予習する。 事後学修 2.0hr：文化人類学がどのような学問なのかについての理解を定着させるため、授業内容の要点および重要箇所をまとめる。
3 回	**授業テーマ：文化人類学におけるものの見方・考え方（1）** 授業内容：文化人類学が得意とするものの見方、およびその見方を実践するための研究手法について解説し、学問の特徴を大まかに理解することを目指します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：文化人類学に特徴的なものの見方についての理解を定着させるため、授業内容の要点および重要箇所をまとめる。
4 回	**授業テーマ：文化人類学におけるものの見方・考え方（2）** 授業内容：身近な事例をとりあげながら、文化人類学のものの見方・考え方について、より具体的に考える機会を設け、文化人類学という学問のあり方、特徴をしっかりと理解することを目指します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：文化人類学に特徴的なものの見方についての理解を定着させるため、授業内容の要点および重要箇所をまとめる。
5 回	**授業テーマ：文化人類学におけるものの見方・考え方（3）** 授業内容：文化人類学がめざす〈他者理解〉のあり方について解説するとともに、さらに身近な問題に引きつけて、〈他者〉との接合の仕方について考えます。 事前学修 2.0hr：文化人類学にかんする諸理論について、みずから調べ予習する。 事後学修 2.0hr：文化人類学が目指す自己と他者とのあり方についての理解を定着させるため、授業内容の要点および重要箇所をまとめる。また、文化人類学のものの見方を身近な事例に当てはめ、自分なりに問い直してみる。
6 回	**授業テーマ：文化人類学の理論（1）** 授業内容：文化人類学の学問としての歴史について学ぶ 1 回目として、初めての体系的な理論となった「文化進化論」について学びます。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。

7回	**授業テーマ：文化人類学の理論（2）** 授業内容：文化人類学の学問としての歴史について学ぶ 1 回目として、「文化進化論」の衰退後から現在にいたるまで、学問を支える理論となっている「文化相対主義」について学びます。とくに「文化進化論」とのちがいをおさえながら、この理論の概要を解説します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
8回	**授業テーマ：文化相対主義（1）** 授業内容：文化人類学を理解するうえで欠かせない「文化相対主義」の考え方について、しっかりと理解を定着させるために、この回では、映像像資料を用い、具体的な事例をもとにその考え方について細かく解説します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
9回	**授業テーマ：文化相対主義（2）** 授業内容：前回の映像像資料の内容をふまえて、文化相対主義の考え方を実践するための具体的な方法について解説します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。また第５～９回全体を通して復習し、文化人類学の理論の通時的な流れを理解する。
10回	**授業テーマ：フィールドワーク（1）** 授業内容：文化人類学にとって欠かせない研究手法である「フィールドワーク」について、その歴史、および特徴や方法について解説します。 事前学修 2.0hr：人類学的フィールドワークとはどのようなものか、みずから調べ予習する。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
11回	**授業テーマ：フィールドワーク（2）** 授業内容：実際のフィールドワークの様子を、教員自身のフィールドワークの事例を用いて紹介します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。また第８～９回全体を通して復習し、人類学的フィールドワークの主眼および特徴を理解する。第１０～１１回全体を通して復習し、要点および重要箇所をまとめる。また、授業でとりあげた事例以外で、「結婚」にかんして自身のなかにどのような「あたりまえ」があるか改めて問い直し、相対化してみる。
12回	**授業テーマ：フィールドワーク（3）** 授業内容：前回の授業で紹介した、教員のフィールドワークの事例をふまえて、文化人類学的な問いの立て方やものごとの捉え方について、具体的に解説していきます。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
13回	**授業テーマ：「死」の人類学（1）** 授業内容：最後は、個別のテーマをもとに、文化人類学のものの見方・考え方を実践してみることを目的として、人間にとって普遍的な事象である、「死」をめぐる問題をとりあげます。「死」をめぐって、自分自身のなかにある「あたりまえ」に気付き、改めて主題化することを目指します。この回では、わが国における「死」のとらえ方・考え方、「死」をめぐる事象や葬送・葬儀の方法について考えます。 事前学修 2.0hr：文化人類学において、これまで「死」というテーマがどのように扱われてきたかを調べ、それをふまえて自身の問題意識を醸成させる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
14回	**授業テーマ：「死」の人類学（2）** 授業内容：前回の内容をふまえ、続いて諸外国における「死」をめぐるさまざまな事例を紹介します。比較の視点を用いることで、自身の「あたりまえ」を相対化し、人間の〈生〉の営みの多様性を学びます。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を振り返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：第１３～１４回全体を通して復習し、要点および重要箇所をまとめる。また、授業でとりあげた事例以外で、「死」にかんして自身のなかにどのような「あたりまえ」があるか改めて問い直し、相対化してみる。
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：授業全体の理解度をはかるため、まとめのテストを実施します。 事前学修 4.0hr：これまでの授業内容をふり返り、重要なポイントを整理してまとめ、理解を深めておく。 事後学修 1.0hr：テストを振り返り、理解が不足していた点を補う。また全授業をふり返り、人類学的なものの見方を用いて、社会におけるさまざまな問題や身近な出来事をとらえ直してみる。

美とは何か

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

髙久 馨（たかく かおる）

▌授業の概要

芸術家たちは真に迫ったリアルな表現を目指して顔や人体を研究してきたが、同時に、芸術的、美的効果をあげるために、解剖学的正確さをあえて無視して、顔や人体をさまざまに誇張、変形、省略してきた。本講義ではまず第 10 回まで、顔や人体が人種、年齢、性別によってどのように違うか、それらの違いが古今東西の絵画、彫刻の中でどのように表現され、どのような印象、効果を見る者に与えているかを考察する。第 11 回目からは、美の諸問題について、西洋美術史や美学、精神分析などさまざまな観点から講義していく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ◎/M3 ◎）

一般目標：(1)顔や人体の人種、年齢、性別による違いを知り、それらの違いが美術作品ではどのように表現されているかについて自ら観察する姿勢を身に着け、感じたことを言語化できるようになる。
(2)芸術作品を通じて、主に日本文化やヨーロッパ文化のエッセンスを学び、同時に芸術的感性の涵養と異文化の理解に努める。

個別目標：(1) 顔や人体の性差・人種差・年齢差について説明することができる。
(2) 芸術理論や作品に接したとき、常に自分の経験や美意識に引き付けて考えていく習慣を身に着け、美的感受性を練磨していく。

▌履修条件

(1) 授業中の居眠り、携帯・スマホの使用は厳禁。
(2) 思ったことや感じたことを臆せず発言しようという気持ちがある者。授業内容に関係することであれば、どのような意見、発言も歓迎します。

▌評価基準・方法

・期末試験 (50 %)、授業態度(授業に参加、協力しようとする姿勢) (20 %)、manaba の事前学修とリアクションペーパーの内容 (30 %) で評価する。また、授業回数の 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。
・授業態度や manaba の事前学修の出来も重要な評価対象となる。

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （口頭発表、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

使用せず。適宜プリントを配布し、美術作品はスライドで紹介する。

▌参考書

中尾喜保「生体の観察」、メヂカルフレンド社。 村澤博人「顔の文化を考える」(新潟大学ブックレット「顔から学ぶ」所収)。
宮下規久朗「ウォーホルの芸術」、光文社新書。 鈴木晶「図説フロイト」、河出書房新社。
その他の西洋近現代美術関連の参考文献については授業内で紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション：授業の内容、進め方、評価方法等について詳しく説明。** 授業内容：授業の内容、進め方、評価方法等について詳しく説明する。 事前学修 1.5hr：シラバスを読み、本講義に期待する内容や興味をひかれたことを考えておく。 事後学修 1.5hr：もう一度シラバスに目を通し、特に本講義の到達目標を強く意識する。
2回	**授業テーマ：顔と人体の美(1)性差について** 授業内容：主に顔、頸の男女の性差について詳しく説明する。また、あまり知られていない身体における性差についても述べる。 事前学修 2.0hr：顔と人体における性差にどのようなものがあるか調べておく。 事後学修 2.0hr：顔と人体(特に頸)の性差について具体的に説明できるようにする。
3回	**授業テーマ：顔と人体の美(2)顔の経年変化について(前半)** 授業内容：頭部と目もとの経年変化について、乳幼児期から老年期にいたるまでどのように変化していくのか詳述する。 事前学修 2.0hr：頭部と目もとにおける年齢差にどのような特徴があるか調べておく。 事後学修 2.0hr：頭部と目もとの経年変化について具体的に説明できるようにする。
4回	**授業テーマ：顔と人体の美(3)顔の経年変化について(後半)** 授業内容：口もとや顔の輪郭の経年変化について、乳幼児期から老人期にいたるまでどのように変化していくのか詳述する。 事前学修 2.0hr：顔の輪郭と口もとにおける年齢差にどのような特徴があるか調べておく。 事後学修 2.0hr：顔の輪郭と口もとの経年変化について具体的に説明できるようにする。
5回	**授業テーマ：顔と人体の美(4)魅力的な顔とは？** 授業内容：顔面における子どもの特徴、大人の特徴をふまえつつ、多くの人が魅力的と感じる顔の特徴とは何かについて述べる。 事前学修 2.0hr：自分はどのような顔が魅力的だと思うか、具体例をあげて述べられるようにしておく。 事後学修 2.0hr：多くの人が魅力的に感じる顔とはどのような顔か、また顔における幼児性と成熟さの特徴について説明できるようにする。
6回	**授業テーマ：顔と人体の美(5)「かわいらしさ」(幼児性)について** 授業内容：動物行動学者 K・ローレンツのベビー図式を紹介して、「かわいらしさ」とは何かについて述べる。また、日本人を理解するうえで重要なキーワードの一つとなって久しい「ネオテニー」についても紹介する。 事前学修 2.0hr：ヒトや動物のどのような形態的特徴をわれわれは「かわいらしい」と捉えるのか、事前に考えておく。 事後学修 2.0hr：ベビー図式の応用例を具体的に身近なものから探し出してみる。授業でとりあげた以外のネオテニーの例を調べる。
7回	**授業テーマ：顔と人体の美(6)目もとにおける上瞼の重要性** 授業内容：目と眉の間が広いか狭いかで目もとの印象はまったく違う。それぞれどのような印象を与えるのか、美術作品にはどのように利用、表現されているのかを詳述する。 事前学修 2.0hr：目と眉の間の長短でどのように目もとの印象が違うか、述べることができるようにしておく。 事後学修 2.0hr：目もとにおける上瞼の重要性について、具体例をあげて説明できるようにする。
8回	**授業テーマ：顔と人体の美(7)人種差、あるいは日本人の成り立ちについて** 授業内容：人種によって顔や身体にどのような違いがあるのか、その違いの理由は何かを詳述する。あわせて、現代日本人はどのような人種的特徴があるのか、どのような顔を「いい顔」ととらえてきたのかについても述べる。 事前学修 2.0hr：人種による体形、顔だちの違いについて、簡単に述べられるようにしておく。 事後学修 2.0hr：人種による体形や顔だちの違い、特に北方アジア系、南方アジア系のそれらの違いを説明できるようにする。

9回	**授業テーマ：顔と人体の美(8)左右対称・非対称の美** 授業内容：顔の造りや表情、身体だけでなく、広く建築物、庭園、衣服をも例にとりあげながら、左右対称・非対称がどのような印象を見る者に与えるのかを考察する。 事前学修 2.0hr：身の周りにあるもの(建築物、工業製品、衣服 etc)で左右対称・非対称のものを見出す。 事後学修 2.0hr：左右対称・非対称の美点・マイナス点について説明できるようにする。
10回	**授業テーマ：顔と人体の美：まとめ(ディスカッション)** 授業内容：9 回までの講義とはまた別の観点から顔と人体の美についての考察を深めてくれるようなエッセイを選び、それを受講者全員で読み、各自疑問に思ったことを出しあう。その後、それらのいくつかについて全員でディスカッションを行う。 事前学修 2.5hr：あらかじめ指定されたエッセイを事前に読んでおく。 事後学修 2.0hr：人間にとって顔とは何なのか、他者との関係において顔はどのように機能するのかについて考察を深める。
11回	**授業テーマ：美の追求にひそむ危険(口頭発表、ディスカッション)** 授業内容：美に追求にひそむ危険に関する小論文を読み、その具体例を、実在の人物や小説、マンガ等の登場人物からさがし出し、受講者の前でそれについて各自口頭発表(5-10 分程度)してもらう。その後、受講者全員でディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：美の追求にひそむ危険に関する小論文を熟読し、それにあてはまる具体例をさがし、口頭発表にまとめる。 事後学修 2.0hr：美の追求において特に問題になりうる点とは何かについて理解を深める。
12回	**授業テーマ：個性とオリジナリティ(１)** 授業内容：芸術家や芸術作品における個性とオリジナリティについて、近代とそれ以前ではどのように変わったか、主に西洋美術を例に詳述する。 事前学修 2.0hr：キリスト教やギリシャ神話を題材にした西洋美術の古典的な傑作をいくつか紹介するので、そのテーマについて調べる。 事後学修 2.0hr：スライドで見た作品の中で、特に印象に残ったものについて感じたこと、思ったことを言語化する。
13回	**授業テーマ：個性とオリジナリティ(２)** 授業内容：芸術家や芸術作品における個性とオリジナリティについて、ポップアートを例に、それ以前とどのように変わったか、また現代にどのような影響を及ぼしたか詳述する。 事前学修 2.0hr：宮下規久朗「ウォーホルの芸術」の指定された箇所を読んでおく。 事後学修 2.0hr：スライドで見た作品の中で、特に印象に残ったものについて感じたこと、思ったことを言語化する。
14回	**授業テーマ：美と精神分析** 授業内容：フロイトの夢と無意識についての理論を紹介し、それらがシュルレアリスムという芸術運動にどのような影響を与えたのかについて述べる。あわせて、現代におけるシュルレアリスムの影響についても考察する。 事前学修 2.0hr：鈴木晶「図説フロイト」の特に夢と無意識に関する箇所を読んでおく。ダリ、マグリット、キリコの画集に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：スライドで見た作品の中で、特に印象に残ったものについて感じたこと、思ったことを言語化する。
15回	**授業テーマ：まとめと試験対策** 授業内容：どのような問題が試験で問われるのか、またその意義は何かについて詳述する。そうすることであわせて、これまでの講義のおさらいとする。 事前学修 2.0hr：全講義のノートと配布物に目を通し、それらを持参して講義に臨むこと。 事後学修 4.0hr：試験対策授業でふれた箇所をいま一度重点的に復習して試験に備える。

記号と論理

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

土屋　真一（つちや　しんいち）

▌授業の概要

本授業では接続表現の使い方、さまざまな論法を組み立てる方法、議論の構成の仕方などの事例を通して、論理学の基礎を養うことを目的としている。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：基礎的な論理の知識を身につけ、自分の思考を論理的に表現することを目標とする。

個別目標：・議論・論文の基本構成（接続表現・パラグラフ・アウトライン・論法・反論など）を理解し、説明することができる。

・記号論理の基礎的な知識を理解することができる。

▌履修条件

・遅刻や欠席をしないこと。（但し、やむを得ない場合は、事前に manaba で理由等を連絡すること。）

・期限までに課題の提出を行うこと。

・授業内の活動に積極的に参加すること。

・リーディングタスク等、授業の準備を怠らないこと。

・教科書を必ず購入すること。（毎回授業で使用するため。）

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。

課題等提出物による評価 40%、授業への参加・協力度 20%、最終試験 40%の割合で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba 或いは対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、授業内発表、コメントシート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba による資料参照、課題等提出（スマホでも対応可））

▌教科書

篠澤和久、松浦明宏、信太光郎、文景楠（2020）『はじめての論理学 – 伝わるロジカル・ライティング入門』有斐閣

▌参考書

参考書等については、必要に応じて適宜紹介していく。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：シラバスや配布資料をもとに、概要、目標、評価基準、授業および課題提出などについての説明を行う。 事前学修 2.0hr：シラバスに目を通し、講義概要を把握する。 事後学修 2.0hr：シラバスとテキストの内容を照らし合わせ、今後の事前学修に備える。
2回	**授業テーマ：論理とはなにか** 授業内容：論理を言葉の作法の一種と捉え、人間にとって普遍的な知を求める姿勢が、論理につながることを考察する。 事前学修 2.0hr：①自分自身にとって、身近な作法やマナーとは何か考えておく。②リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
3回	**授業テーマ：日本語と論理** 授業内容：普段使っている日本語のなかで、どのような場面で論理という作法（マナー）が要求されるかを明らかにする。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
4回	**授業テーマ：文と文のつながり**⑴ 授業内容：議論における接続表現の重要性および、前提と結論の関係を示す接続表現（順接）について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返りつつ、テキストを見直しておく。
5回	**授業テーマ：文と文のつながり**⑵ 授業内容：与えられた内容を明瞭に理解する接続表現および、議論の構造を複雑化する接続表現について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：前回と今回の授業内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
6回	**授業テーマ：パラグラフと論文のしくみ** 授業内容：パラグラフと論文の構成ならび、論文の仕組みについて。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
7回	**授業テーマ：アウトラインの活用** 授業内容：論文やレポートを作成する手順および、アウトラインの活用について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
8回	**授業テーマ：論証の典型的パターン**⑴ 授業内容：論証の一般的な型（単純論証、合流論証、結合論証）および、三段論法について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返りつつ、テキストを見直しておく。
9回	**授業テーマ：論証の典型的パターン**⑵ 授業内容：説得のための論法および、条件文による論法について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：前回と今回の授業内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
10回	**授業テーマ：反論の典型的パターン** 授業内容：論争の要素が含まれる議論のなかで、必要とされる反論の仕方について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。

11回	**授業テーマ：反論の実践**(1) 授業内容：適切に反論するための３つの視点について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返りつつ、テキストを見直しておく。
12回	**授業テーマ：反論の実践**(2) 授業内容：検証型反論をおこなう方法について。第 8 回から 11 回までの授業の総括。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：前回と今回の授業内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
13回	**授業テーマ：記号論理**(1) 授業内容：論証の型と論理語、論理語としての「ない」、「または」、「ならば」、「そして」について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返りつつ、テキストを見直しておく。
14回	**授業テーマ：記号論理**(2) 授業内容：論証の記号化について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：前回と今回の授業内容を振り返ったうえで、第 9 章の演習問題を解く。10 章の部分は授業の内容を振り返りつつ、テキストを見直しておく。
15回	**授業テーマ：記号論理**(3) 授業内容：三段論法による議論について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：前回と今回の授業内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。

コミュニケーション論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：留学生クラス

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）

▌授業の概要

コミュニケーション論(留学生クラス)では、コミュニケーションに対する理解を深めるため、自己理解、他者理解、社会スキル、異文化理解、議論の観点からコミュニケーションの基礎的知識について学ぶ。また、企業活動やエンターテイメント、災害などの分野を取り上げ、コミュニケーションが果たす役割について考えていく。そして、実際の会話データを用いて会話分析を行い、調査・研究の基本的な方法や姿勢を学ぶ。授業は、グループワークに取り組みながら進めていき、自らのコミュニケーション能力について客観的に捉えつつ、コミュニケーション技術を磨いていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ●/M2 ○/M3 ○）

一般目標：コミュニケーション学の基礎を理解し、現実社会ではどのように反映されているかを分析・考察する力を習得する。
自らのコミュニケーション能力向上のために必要な力を客観的に考察できるようになる。
コミュニケーションに必要な日本語力を向上させる。
授業活動を他者と協力して成しとげることの重要性を認識し、協働する力を身につける。

個別目標：コミュニケーション学に関する基本的な文章を日本語で理解し、その内容をまとめて説明できる。
コミュニケーション学の基礎を理解し、現実場面にどのように生かせるかを分析できる。
自らの日本語によるコミュニケーション能力を理論に照らし合わせて客観的に判断できる。
日本語によるコミュニケーション能力を高め、学び考えたことを的確に表現できる。
他者の意見を的確に理解し、異なる意見を認めることができる。

▌履修条件

留学生を対象とする科目である。
毎回出席し、指定された課題を行うこと。
授業では、積極的に発言し、活動に参加すること。

▌評価基準・方法

最終レポート 40 %、授業内課題 20 %、授業活動 20 %、振り返り 20 %で評価する。
また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価対象とする。

▌フィードバック方法

授業中、または manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （(ディスカッション、グループワーク)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『大学 1 年生からのコミュニケーション入門』ナカニシヤ出版

▌参考書

『コミュニケーション論をつかむ』有斐閣
『会話データ分析の実際：身近な会話を分析してみる』ナカニシヤ出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　大学生の学びとコミュニケーション** 授業内容：自己紹介をする。自分のコミュニケーションについて考える 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、理解する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
2回	**授業テーマ：コミュニケーションとは何か** 授業内容：コミュニケーションの基本概念 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
3回	**授業テーマ：自己理解を深める** 授業内容：自己とは何か。自分というものがどのように形成されるか 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
4回	**授業テーマ：自分の考えを整理し、伝える** 授業内容：自分の考えをわかりやすく伝えるために大切なこと。議論の必要性 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
5回	**授業テーマ：様々なコミュニケーション　①社会スキル ②アサーション** 授業内容：社会スキルについての基本的な知識とアサーションの考え方 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
6回	**授業テーマ：コミュニケーションと異文化理解** 授業内容：異文化間コミュニケーションについて考える 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
7回	**授業テーマ：議論の考え方** 授業内容：議論の基礎、情報収集、ディベートについて学ぶ 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
8回	**授業テーマ：他者の意見を聞き、評価する** 授業内容：反論の仕方について考え、反論されたときの対処方法を学ぶ 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート

9回	**授業テーマ：マーケティング・コミュニケーション** 授業内容：マーケティング・コミュニケーションの特徴と内容を理解し、議論する 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
10回	**授業テーマ：コーポレート・コミュニケーション** 授業内容：コーポレート・コミュニケーションの特徴と内容を理解し、議論する 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
11回	**授業テーマ：バーチャル空間のコミュニケーション** 授業内容：バーチャル空間におけるコミュニケーションの特徴と内容を理解し、議論する 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
12回	**授業テーマ：情報社会とコミュニケーション・ネットワーク** 授業内容：情報社会とコミュニケーション・ネットワークの特徴と内容を理解し、議論をする 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
13回	**授業テーマ：災害とコミュニケーション** 授業内容：災害時におけるコミュニケーションの特徴と内容を確認し、議論をする 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
14回	**授業テーマ：初対面会話(接触場面)の二者会話・三者会話の比較分析** 授業内容：接触場面における初対面会話の映像・会話スクリプトを見て、特徴を分析する 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
15回	**授業テーマ：授業の振り返りと総括** 授業内容：本授業の学びを総括する 事前学修 2.0hr：自分の学びについてまとめてくる 事後学修 2.0hr：期末レポート作成

コミュニケーション論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

海谷　千波（かいや　ちなみ）

▌授業の概要

1．対象：「そもそもコミュニケーションとは何か」と疑問を持つ者、あるいは疑問を持ってみたい者。
2．目的：「コミュニケーション」に関する現象・言説を批判的に捉え、実践できる。
3．内容：(ア)「コミュニケーション」や諸問題に関する「常識」・「当然」・「当たり前」と、(イ)これらのこと「に／を」コミュニケートする可能性について学ぶ。
4．授業形式：(ア)概念・定義・構成要素・課題等を［再］整理し、(イ)グループやクラス全体で議論する。
ただし、履修登録者数や学生の学修状況に応じて、学修内容や活動に修正が加えられることもある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ●/M2 ○/M3 ○）

一般目標：「コミュニケーション」現象からのメッセージや問いかけに向き合い、その意味を見出し、応答できるようになる。
個別目標：1．知識・技能：「コミュニケーション」に関連する基本的な考え方を知り、説明できる。
2．思考・判断・表現：「コミュニケーション」に関連する諸問題について自ら考え、判断し、表現したり行動したりできる。
3．主体性・多様性・協働性：他者と関わる(コミュニケートする)ことで、多様性を認め合い、人間性を高め合おうとする。

▌履修条件

1．初回授業へ参加する(※　班編成と座席表作成のため)
2．初回授業で交わされた約束を守る
3．ノート PC、又はタブレット(※　キーボードを準備)を持参する
4．科目担当者が開講する「異文化コミュニケーション概論 a・b」と内容の一部が重複することを理解する

▌評価基準・方法

評価基準・方法
1．講義・議論(60 %：授業外学修 30 %を含む)
2．グループ発表(40 %：実演だけでなく、準備や他グループ発表評価も含む)
以上、1及び2により総合的に評価する。
【※　単位修得の条件として、12 回以上の「出席」が必要。遅刻2回で欠席1回とする。】

▌フィードバック方法

必要に応じて、授業や manaba で課題を点検したり、コメントしたりする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッションとプレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba 入力(レポート：授業の振り返り、発表の評価・コメント；プロジェクト：発表資料の作成)）

▌教科書

宮原哲(2006)．『入門コミュニケーション論』(新版)．松柏社.

▌参考書

板場良久・池田理知子編(2011)．『よくわかるコミュニケーション学』．ミネルヴァ書房.
池田理知子編(2010)．『よくわかる異文化コミュニケーション』．ミネルヴァ書房.
鈴木敏恵(2012)．『課題解決力と論理的思考力が身につくプロジェクト学習の基本と手順』．教育出版株式会社.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション：授業方針と課題・評価等** 授業内容：(1)シラバスと補足資料にしたがい、授業方針・内容・方法・評価の要点について理解するとともに、授業外学修の具体的な方法を知るとともに、(2)「何のためにコミュニケーションを学びたいか」について考えたり、意見交換したりする。 事前学修 2.0hr：シラバス、とりわけ「授業の概要」、「履修条件」、「評価基準・方法」を熟読し、理解するとともに、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：シラバスとオリエンテーションを振り返り、「何のためにコミュニケーションを学びたいのか」についてまとめる。
2回	**授業テーマ：人間コミュニケーションの基本的な基本的な考え方** 授業内容：(1)そもそも「コミュニケーション」とはどのような現象なのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
3回	**授業テーマ：ことばとコミュニケーション** 授業内容：(1)コミュニケーションと言語メッセージがどのように関係し合っているのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
4回	**授業テーマ：ノンバーバル・コミュニケーション** 授業内容：(1)コミュニケーションと非言語メッセージがどのように関係し合っているのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
5回	**授業テーマ：認識コンピテンス** 授業内容：(1)自己内コミュニケーションがどのように行われるのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
6回	**授業テーマ：人を動かすコミュニケーション・コンピテンス** 授業内容：(1)説得がどのように行われるのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。

7回	**授業テーマ：対人コミュニケーション・コンピテンス** 授業内容：(1)1対1の人間関係がどのように構築されるのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
8回	**授業テーマ：小集団コミュニケーション・コンピテンス** 授業内容：(1)グループにおける合意形成やリーダーシップがどのように行われるのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
9回	**授業テーマ：組織内コミュニケーション・コンピテンス** 授業内容：(1)組織がどのように運営されるのか、その要点を理解するとともに、(2)学生自ら提起する関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
10回	**授業テーマ：異文化間コミュニケーション・コンピテンス** 授業内容：(1)文化相互理解がどのように行われるのか、その要点を理解するとともに、(2)学生自ら提起する関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
11回	**授業テーマ：グループ発表準備(1)：テーマ設定と文献調査** 授業内容：(1)グループ発表の方針、内容、方法等について理解し、(2)グループで解決すべきテーマを設定し、マインド・マップを使ってキーワードを考えながら、発表の全体像をつくる。 事前学修 2.0hr：トピックや関連情報について調べ、要点や自分の意見をまとめる。 事後学修 2.0hr：グループで検討した文献や情報を調べ、熟読し、要点・概要をまとめる。
12回	**授業テーマ：グループ発表準備(2)：現状把握と課題設定** 授業内容：(1)グループで持ち寄った情報を整理したあと、(2)テーマに関する現状を把握し、課題を設定し、(3)現状と課題に関する発表資料を作成する。 事前学修 2.0hr：グループで決めたテーマについて、現状や課題に関する情報を収集する。 事後学修 2.0hr：授業での議論に基づき、発表原稿を推敲する。
13回	**授業テーマ：グループ発表準備(3)：原因追及と改善案提示** 授業内容：(1)テーマに関する現状と課題を整理したあと、(2)原因・理由・背景を突き止め、改善案を考えて、(3)原因・理由・背景と改善案に関する発表資料を作成する。 事前学修 2.0hr：原因や改善案に関する情報を収集する。 事後学修 2.0hr：授業での議論に基づき、発表原稿を推敲する。
14回	**授業テーマ：グループ発表(1)：第1グループの発表と評価** 授業内容：第1グループが発表を実演する。聴衆はメモをとりながら発表を聞いた後、評価シートに評価やコメントを書き込む。 事前学修 3.0hr：発表原稿を完成させ、リハーサルを行う。 事後学修 1.0hr：他のグループ発表について振り返り、今後、自分がどのように「コミュニケーション」を図るかをまとめる。
15回	**授業テーマ：グループ発表(2)：第2グループの発表と評価** 授業内容：第2グループが発表を実演する。聴衆はメモをとりながら発表を聞いた後、評価シートに評価やコメントを書き込む。 事前学修 3.0hr：発表原稿を完成させ、リハーサルを行う。 事後学修 1.0hr：他のグループ発表について振り返り、今後、自分がどのように「コミュニケーション」を図るかをまとめる。

心理学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中嶋　一恵（なかしま　かずえ）

▌授業の概要

人の心は、知覚、記憶、思考、言語など、様々な機能を持っている。心の働きを科学的に解明する心理学は、それに応じて様々な専門分化した研究がなされている。

本講義では、心理学の成り立ち、人の心の仕組み及び働き、その概観について理解し、周囲の人との関わりの中で活用していくことができる力を養うことを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：基礎的な心理学に関する諸理論を学ぶことにより、人の心や行動の基盤を理解する。また、心理学で学んだ内容を、日常生活で生かせる力を身につける。

個別目標：1)基礎的な心理学の理論や知識を習得し、人の心の動きを科学的に理解できる。
2)日常生活において起こる諸問題に対して、心理学の知識を応用できる。
3)自己・他者の多様性を理解し、穏やかで円滑な人間関係の形成に関与できる。

▌履修条件

1)第 1 回講義のガイダンスで説明する履修条件を理解し、順守できること(第 1 回講義の出席を必須とする)。
2)授業では個別指導とアクティブラーニングの手法も取り入れていくため、自主的・積極的に学ぶ意欲があること。
3)授業方法の特性上、第 1 回講義時に提出する履修動機を基に履修者を決定する(約 50 名程度)ため、第 1 回講義に必ず出席すること。
4)本講義では、多様な背景や特性を持つ履修者が共に学ぶことを前提としている。必要に応じて合理的配慮を行うため、合理的配慮を希望する場合は、事前に担当教員または障がい学生支援室に相談すること。

▌評価基準・方法

※原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。
1)授業内で提示する課題(50 %)
2)最終試験・レポート(50 %)
以上をもとに、総合的に評価する。

▌フィードバック方法

毎回の課題、質問や意見共有などに対してのフィードバックは、翌週以降の授業内または学習支援システム manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （学習支援システム manaba を使用しての意見共有）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （学習支援システム manaba を使用した意見共有、フィードバック、レポート作成 など）

▌教科書

指定なし

▌参考書

丹野義彦他著　「初めて出会う心理学」　有斐閣 2020
ジョエル・レビー著　「心理学の基礎講座」　NEWTON PRESS 2022

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：本講座の目的、授業の進め方、課題の取組み方、評価基準についてガイダンスを行う。また、心理学の位置づけについて理解する。 事前学修 2.0hr：履修動機を明確にし、心理学についての関心があることをまとめる。 事後学修 2.0hr：心理学についての自分の考えをまとめる。
2回	**授業テーマ：心理学入門** 授業内容：心理学とは何か、人の心を研究する意味、歴史的背景などについて理解する。 事前学修 2.0hr：心理学の歴史について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、心理学の概要について自分の考えをまとめる。
3回	**授業テーマ：遺伝的気質特性** 授業内容：遺伝的気質の特徴について理解する。また、遺伝的気質の特徴とこれまでの自分自身の行動やコミュニケーションの特徴などについて理解する。 事前学修 2.0hr：遺伝的気質について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の遺伝的特性をまとめる。
4回	**授業テーマ：心理的発達** 授業内容：遺伝と環境との関係、新生児や子どもの能力・発達について理解する。 事前学修 2.0hr：遺伝と環境の関係について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、遺伝と環境との関係、自身の特性と発達との関係をまとめる。
5回	**授業テーマ：感覚** 授業内容：心と関係の深い脳や感覚器官のはたらき、仕組みについて理解する。 事前学修 2.0hr：脳機能について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、心と脳の関係についてまとめる。
6回	**授業テーマ：感情** 授業内容：感情が生じるメカニズムや社会的機能について理解する。 事前学修 2.0hr：感情について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り、自身の特性との関係についてまとめる。
7回	**授業テーマ：記憶** 授業内容：記憶研究についての流れや、記憶のメカニズムについて理解する。 事前学修 2.0hr：記憶について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
8回	**授業テーマ：心理的ストレス** 授業内容：心理的ストレスについて、ストレス状態のメカニズムについて理解する。 事前学修 2.0hr：ストレスについて、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。

9回	**授業テーマ：性格と遺伝的気質の違い** 授業内容：性格とは何か、構造や役割について理解する。また、遺伝的気質との違いを、前半の講義で習得した理論や知識と照らし合わせて理解する。 事前学修 2.0hr：性格について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の性格と特性についてまとめる。
10回	**授業テーマ：社会的認知①** 授業内容：コミュニケーションの入口としての印象形成の理論について理解する。 事前学修 2.0hr：印象形成の理論について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
11回	**授業テーマ：社会的認知②** 授業内容：コミュニケーションとは何かについて理解する。 事前学修 2.0hr：コミュニケーションについて、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
12回	**授業テーマ：社会的認知③** 授業内容：コミュニティ形成における、自己・他者理解について理解する。 事前学修 2.0hr：コミュニティ心理学について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
13回	**授業テーマ：社会的認知④** 授業内容：パーソナリティ理論について理解する。 事前学修 2.0hr：パーソナリティ理論について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
14回	**授業テーマ：様々な心理学** 授業内容：各分野における心理学の特徴について理解する。 事前学修 2.0hr：関心のある心理学分野について調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、興味のある分野についてまとめる。
15回	**授業テーマ：復習とまとめ、試験・レポート** 授業内容：全講義内容を振り返り、心理学の知識と理論をまとめる。また、今後、自分の生活にどのように活かしていくのかを考える。 事前学修 2.0hr：本講義の内容を振り返り、疑問点などを明確にする。 事後学修 3.0hr：本講義の内容を振り返り、最終レポートにまとめる。

心理学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

林　哲也（はやし　てつや）

▌授業の概要

人間の歴史は多様性を知る歴史でもある。交通、通信の発達などにより、人間はより多様な価値観や社会現象との遭遇を繰り返してきた。現代社会はインターネットという技術を得て、その多様性との遭遇はさらに高速化、日常化している。そうした背景の中で、私たち一人ひとりの心も動揺させられやすく、健康との関連がより深まる時代となっている。一方人間は古くから「心とは何か」への探求を行ってきた。近年は心理学という学問領域が成立し、多くの知見から、複雑化する社会における私たちの心のあり方への応用も盛んに議論されている。

本講義では、心理学の理論を紹介しつつ、現代社会の捉え方や私たちの健康へいかに応用させていくかについての理解を深め、実践していける力を養うことを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：心理学の基礎的な理論を参照しながら、心と現代社会との関係、健康との関係について、生活実感をともなった理解をする。

個別目標：1) 自らの心理に影響を与えている身体の機能や社会との関係について理解を深め、説明することができる。
2) 日常生活における、自らの心理的特性や行動傾向についての理解を深め、説明することができる。
3) 健康で充実した生活を過ごすための、心理的なセルフケア行動を実践することができる。

▌履修条件

1）初回の授業に必ず出席し、履修上の諸注意を順守できること（特に不要な授業途中の入退室、私語は慎むこと）。2）授業ではアクティブラーニングの手法も取り入れていくため、自主的、積極的に学ぶ意欲があること。3）アクティブラーニングの実効性の観点から履修者が多数の場合は履修動機、履修意欲を記述するレポートをもとに履修者を選抜する可能性がある。

▌評価基準・方法

1) 授業への取り組みと、授業内で提示する質問や理解度チェックへの応答、授業ごとの小課題の作成（60 %）　2) 最終課題（レポート）（40 %）をもとに総合的に評価する。

※原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とするが出席のみでの評価点は設けない。あくまで授業内での取り組み、提出された課題の内容を踏まえて評価をする。

▌フィードバック方法

毎回の小課題、授業中に行った respon による意見共有などに対するフィードバックを、学習支援システム manaba を通じて、あるいは翌週以降の授業内でのコメントによって行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （学習支援システム manaba、respon を使用した意見共有、フィードバック、ディスカッションを中心に行う。受講人数、受講生の理解度も参考にしながらグループワーク、PBL（課題解決型学習）を用いることもある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （学習支援システム manaba、respon を使用した意見共有、フィードバック、ディスカッションを行う。スマホ、タブレットでも可。）

▌教科書

授業内でレジュメを配布。

▌参考書

無藤隆（他著）「新版　心理学」有斐閣　2018

下山晴彦（編）「よくわかる臨床心理学［改訂新版］」ミネルヴァ書房 2009

宗像恒次（他著）「ＳＡＴ法を学ぶ」金子書房 2007

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・心理学とは―本講義の目的―** 授業内容：履修にあたっての諸注意と講義の進め方についてのガイダンスを行う。また心理学の学術的な位置づけについて概説を行い、自身がもつ心理学のイメージとの対比について考える。 事前学修 2.0hr：履修動機と意欲、心理学について自分自身が持っている関心についてまとめる。 事後学修 2.0hr：自身がもつ心理学のイメージと学術的な心理学の位置づけについて、重なる点、異なる点についてまとめる。
2回	**授業テーマ：心理学の全体像―心理学の歴史とさまざまな分野―** 授業内容：心に対する探求は古代から哲学や宗教を中心に行われ、近年では実験、調査などの科学を中心とした心理学が発展している。その心理学の歴史と研究対象とするさまざまな分野の広さについて概説し、身近な問題との関連を考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心理学の歴史的・社会的な位置づけと研究対象となるさまざまな分野などについてまとめる。
3回	**授業テーマ：感覚と知覚－脳・神経の働きと環境の認識―** 授業内容：心と不可分の関係にある脳や周囲の環境の安全や危険を認識する感覚器官のはたらき、仕組みについての概説を行い、身近な心理的問題を取り上げて、身体機能の視点も踏まえた多角的な解釈を試みる。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心と脳の関係、環境を認識する感覚器官のはたらきについてまとめる。
4回	**授業テーマ：感情と社会―喜怒哀楽の機能と制御―** 授業内容：感情が生じるメカニズムや社会的な機能について概説を行い、身近な問題を取り上げて多角的に自己理解、他者理解を試みる。また自分の心のコントロール、他者との良好なコミュニケーションについても考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：感情の心理学的基礎理論と現代社会における感情の問題についてまとめる。
5回	**授業テーマ：心理的ストレスとは何か** 授業内容：思い通りに進まない事柄や突発的な出来事などから生じるストレス状態のメカニズムについて概説し、ストレス社会と言われる現代社会の構造から受ける影響、自身の健康を維持するための対処法について考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心理的ストレスの概念と、関連する社会問題についてまとめる。
6回	**授業テーマ：心理学と日常生活―身近な問題への応用―** 授業内容：第２回から第６回の内容を復習し、その理解をもとに日常生活で起こりがちな心理的問題を考える。教員から提示する事例、ケースに対してどのように思考し対処するか、セルフワークまたはグループワークを通じて学ぶ。 事前学修 2.0hr：ここまでの授業の内容を踏まえ、自身の日常生活に応用して新たな理解を得られる場面があるか考える。 事後学修 2.0hr：第 6 回の授業を踏まえて、自身の日常生活場面について、さらに多角的な理解を試み、まとめる。

7回	**授業テーマ：社会的認知ー印象形成の理論ー** 授業内容：コミュニケーションの入口ともいうべき他者に対する印象形成のメカニズム、行動から他者の特性を推論する帰属のバイアスなどについて概説を行い、その理解を踏まえて自身が経験してきた人間関係を振り返る。また今後の他者理解について考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：印象形成、帰属バイアスについての理論を自身の経験と関連づけてまとめる。
8回	**授業テーマ：社会的影響①ー他者・集団との関係ー** 授業内容：人が個人として選択しているように思える思考、行動も、他者や文化といった社会的影響を受けており、また何らかの影響を他者や文化に与えてもいる。社会心理学の観点を踏まえた心の理解について概説し、身近な問題と関連させて自身の心の経験を考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心理学的理論を応用させながら、他者、集団、組織、規範など、個人に及ぼす社会的影響についてまとめる。
9回	**授業テーマ：社会的影響②ー人間関係とコミュニケーションー** 授業内容：人生の豊かさや楽しみをもたらす一方で、葛藤や嫌悪が生じてしまうこともある人間関係。親密さや攻撃性を生み出すメカニズム、良好なコミュニケーションの構成要素について概説し、自身の人間関係やコミュニケーション傾向について考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心理学的理論を応用させながら身近な人間関係について考察し、現代社会の問題も踏まえてまとめる。
10回	**授業テーマ：ライフサイクルと心理的問題** 授業内容：人間は生まれてから死ぬまで常に変化している。その中で生じる一定の時期に応じた発達段階ごとの心理的課題について、特に青年期、高齢期を取り上げて概説する。その理解を踏まえて自身の現在の心理的な発達課題、将来的に直面するであろう発達課題について考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：生涯発達の視点から、各ライフステージにおける心理的問題についてまとめる。
11回	**授業テーマ：心理学と社会生活ー社会との関係への応用ー** 授業内容：第７回から第１０回の内容を復習し、その理解をもとに社会との関連で自身が抱える心理的問題を考える。教員から提示する事例、ケースに対してどのように思考し対処するか、セルフワークまたはグループワークを通じて学ぶ。 事前学修 2.0hr：ここまでの授業の内容を踏まえ、自身が感じる社会との関係の問題に応用して、新たな理解を得られる場面があるか考える。 事後学修 2.0hr：第 11 回の授業を踏まえて、自身がもつ社会と関連した心理的課題について、さらに多角的な理解を試み、まとめる。
12回	**授業テーマ：自己と社会ー自分とは何かー** 授業内容：「自分のことなのによく分からない」といった現象のように、社会心理学の主要なテーマとして扱われる「自己」に関する理論について概説を行い、その理解を踏まえて自身の経験を重ね、自己理解の基礎づくりを試みる。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：自己に関する理論について整理し、自身を対象として「自己」についての新たな気づきについてまとめる。
13回	**授業テーマ：パーソナリティ理論** 授業内容：同じ人間であっても一人ひとりに無意識に行いがちな思考や行動の傾向がある。人格、性格を探究するパーソナリティ理論の概説と質問紙を使ったセルフワークを通して自己理解を深め、健康な生活に資する自分らしいセルフケアについて考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：パーソナリティ理論と自らのパーソナリティーについての気づきをまとめる。
14回	**授業テーマ：気質と本質的欲求** 授業内容：生まれもった遺伝的、生得的な要因である気質に基づく個性と、行動の基となる根源的な欲求についての理論を概説し、質問紙を使ったセルフワークを通して自己理解を深め、健康な生活に資する自分らしいセルフケアについて考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：気質、本質的欲求についての理論と気質コーチングを通じた自身の特性の気づきをまとめる。
15回	**授業テーマ：心理学と学生生活ー復習とまとめー** 授業内容：学生生活における心理的課題の理論について概説を行うとともに、これまでの授業の復習を行う。シラバスの個別目標について、各自の到達度を自己評価する。 事前学修 2.0hr：第 14 回までの内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業の内容と自らの生活を重ねて総合的に振り返る。

からだと健康

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

宮澤　慶（みやざわ　けい）

▌授業の概要

現代社会に生きる人間にとって健康は大切なものであり、かけがえのない財産である。自己実現のためにも、健康の保持・増進は重要である。本講義は、学生がからだの仕組みを理解し、健康に関する基本的知識を有する事を目的として、講義を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：学生が健康的な生活を送るための基本的な知識を持ち、自己の健康を管理でき、健康に関して科学的又は医学的な考え方ができるようになることを到達目標とする。

個別目標：(1) 各臓器の機能、役割について説明できる。
(2) 健康問題にかかわる要因について説明できる。
(3) 健康維持増進および病気の予防について説明でき、実践することができる。

▌履修条件

健康や栄養について興味をもつもの。

授業中の私語、入退室及び携帯電話の使用等の授業妨害行為、並びに不適切な行為を慎める者。問題のある行為が認められた受講停止を求める。原則遅刻・早退を認めない。

▌評価基準・方法

中間テスト(2 回)の成績、出席ペーパー(12 回)、学修態度に基づき総合的に評価する (おおよその目安：期末 60 %、中間テスト 15 %、出席ペーパー 20 %、出席 5 %程度)。5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。(欠席事由等については『履修の手引』を参照すること。

▌フィードバック方法

出席ペーパーの回答が十分でない部分は講義時もしくは manaba 上で追加説明を行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （課題(出席ペーパー)等を用いて実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パワーポイントを使用して講義を行なう。）

▌教科書

適宜、資料を配布する。

▌参考書

今村裕行ら他 8 名著　「健康増進科学概論 －運動・栄養・休養－」(東京教学社) 2015

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：人体・医学・倫理・健康科学** 授業内容：講義に臨む態度について。 医学の進歩と払われた犠牲について。 事前学修 2.0hr：現代生活の特徴と QOL(生活の質)について考察しておく。未来にむけた医療のあり方について考える。 事後学修 2.0hr：医学の進歩とその意義について理解する。受講ルールをよく理解して遵守できるようにする。
2 回	**授業テーマ：人体と健康(肺)** 授業内容：呼吸について。 呼吸運動について。 喫煙と関連疾患について。 COPD について。 肺がんについて。 禁煙方法について。 事前学修 2.0hr：COPD と肺の健康について調べる。 事後学修 2.0hr：エネルギーを引き出す呼吸の仕組みやその調節機構および肺の健康について復習する。
3 回	**授業テーマ：人体と健康(心臓)** 授業内容：心臓について。 血液循環について。 血液の成分と働きについて。 循環調節について。 血圧について。 事前学修 2.0hr：心臓の役割や血液の循環について復習する。 事後学修 2.0hr：全身に栄養や酸素をめぐらす心臓のポンプ作用や血管の構造について復習する。
4 回	**授業テーマ：人体と健康(脳)　栄養と健康** 授業内容：神経について。 脳の構造について。 自律神経について。 脳卒中について。 神経系の病気について。 アルツハイマー症について。 事前学修 2.0hr：脳卒中・脳出血・脳梗塞について調べる。認知症について調べる。 事後学修 2.0hr：情報をコントロールする脳・神経系の働きや記憶・学習の仕組みについて復習する。
5 回	**授業テーマ：中間テスト 1　　1 回から 4 回の講義内容確認** 授業内容：第 1 回から第 4 回までの授業内容をテストする。 事前学修 3.0hr：中間テスト 1 を行なうので第 1 回から第 4 回までの授業内容を復習する。 事後学修 3.0hr：テストの内容を復習する。
6 回	**授業テーマ：応急手当と健康** 授業内容：心肺蘇生法について。 AED の使用法について。 RICE 処置などさまざまな救急法について。 歯の脱臼時の対応について。 バイタルサインについて。 事前学修 2.0hr：救急蘇生法と AED について調べる。 事後学修 2.0hr：心肺蘇生の方法や AED の使い方、および簡単な応急手当法について復習する。

7回	**授業テーマ：人体と健康(消化器)** 授業内容：消化器官について。 唾液について。 胃の構造と働きについて。 小腸について。 大腸について。 急性虫垂炎について。 大腸がんについて。 事前学修 2.0hr：食生活の飽食化・欧米化・簡便化について調べる。 事後学修 2.0hr：胃・腸の役割について復習する。
8回	**授業テーマ：人体と健康(肝臓)** 授業内容：栄養の消化について。 肝臓の構造と働きについて。 胆嚢の役割について。 膵臓の構造と働きについて。 肝炎とその種類について。 飲酒について。 事前学修 2.0hr：日本人の肝疾患のリスクファクターについて調べる。 事後学修 2.0hr：肝臓の役割、肝疾患について復習する。
9回	**授業テーマ：食事と健康** 授業内容：五大栄養素について。 ビタミンについて。 ビタミン欠乏症について。 食塩摂取と高血圧や脳血管疾患との関係について。 BMI について。 食事バランスガイドについて。 事前学修 2.0hr：五大栄養素について調べる。ビタミン欠乏症について調べる。食育について調べる。 事後学修 2.0hr：生命を維持するための栄養素がどのようにエネルギーや生体成分に変換されるかを復習する。
10回	**授業テーマ：中間テスト 2　 6 回から 9 回の講義内容** 授業内容：第 6 回から第 9 回までの授業内容をテストする。 事前学修 3.0hr：中間テスト 2 を行なうので第 6 回から第 9 回までの授業内容を復習する。 事後学修 3.0hr：テスト内容を復習する。
11回	**授業テーマ：人体と健康(腎臓)** 授業内容：腎臓の構造と働きについて。 泌尿器系にみられる疾患の種類について。 人工透析について。 糖尿病について。 事前学修 2.0hr：糖尿病の自覚症状と合併症について調べる。人工透析について調べる。 事後学修 2.0hr：腎臓の構造と尿を作る仕組みについて復習する。
12回	**授業テーマ：生活習慣病と健康** 授業内容：日本人の死因について。 メタボリックシンドロームについて。 特定健診について。 骨粗しょう症について。 痛風について。 事前学修 2.0hr：日本人の死亡原因について調べる。ヘルスプロモーションについて調べる。 事後学修 2.0hr：生活習慣病の種類や発症および予防対策について復習する。
13回	**授業テーマ：感染症予防と健康** 授業内容：感染について。 感染源と感染経路について。 ワクチンについて。 性感染症について。 動物や節足生物からの感染症について。 手洗いについて。 事前学修 2.0hr：新興感染症と再興感染症について調べる。STD について調べる。 事後学修 2.0hr：感染症対策について復習する。
14回	**授業テーマ：高齢化社会と健康** 授業内容：健康について。 生活習慣病予防について。 ヘルスプロモーションについて。 国際生活機能分類(ICF)について。 事前学修 2.0hr：日本の人口の問題点について調べる。 事後学修 2.0hr：ノーマライゼーションとバリアフリーについて復習する。
15回	**授業テーマ：テスト対策　歯科疾患と健康　まとめ** 授業内容：う蝕について。 歯周病について。 顎顔面領域の外傷について。 マウスガードについて。 期末テスト対策を行なうので第 1 回から第 14 回までの授業内容を復習する。 事前学修 3.0hr：第 1 回から第 14 回までの講義を復習する。 事後学修 3.0hr：全ての講義内容を復習し、期末テストに臨む。　からだの仕組みを理解し、自分の健康管理ができるようにする。

日本人の生活意識

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中根　弘之（なかね　ひろゆき）

▌授業の概要

我々人間は、ほぼ意図することなく一定の世界観・価値観に従って日々の生活を送っている。この世界観・価値観は日常生活において顧みられることなく、広義の「世間知」として習得されてきたものである。本講義はカントの人間学的な観点から、さまざまな現代日本の生活にまつわる「世間知」についてより深く反省を加え、成熟した人間になるために必要なことは何かを考える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：**M1 ◎/M2 ○/M3 ◎**）

一般目標：　現代日本を取り巻く社会問題を学び、自身の身の回りで起きていることを複数の視点で合理的に思考し、断片的にではなく全体の構図から自分の言葉で説明することができる。

個別目標：１）現代日本が直面している誕生と死にまつわる現状とその問題点について説明することができる
２）コミュニケーション能力の定義を理解し、日本のコミュニケーション空間の変質と現状について説明することができる
３）日本の宗教意識の特徴点を列挙し、説明することができる
４）価値の諸相について理解し、使用価値と交換価値の違いについて日本の現状から説明することができる

▌履修条件

新聞やニュースなどに関心を持ち、主体的に世の中の動きや自分自身のあり方について考える意志のある学生であること。

▌評価基準・方法

中間テスト点３０点
まとめテスト点７０点
このほか、自主学習のため manaba を用いて、課題を３回出すので、２回以上の提出を求める。

▌フィードバック方法

学期進行中に実施する中間テストの点数は、要望に従い学生に公開する。
同様に課題についても全体コメントを講義内で講評し、要望があれば学生個々に manaba の個人指導コレクションを用いて指導する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

教科書は指定しない。
資料は教室で配布する

▌参考書

ＮＨＫ放送文化研究所『現代日本人の意識構造』[第九版]、２０２０他、必要に応じて提示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：導入　人間学と日本人の意識** 授業内容：単位取得の条件の確認、およびこの講義で扱う日本を取り巻く問題圏とカントの「人間学」の視点を紹介し検討する。 事前学修 2.0hr：自分の人生のあり方を死ぬ瞬間まで考えてみる 事後学修 2.0hr：身の回りの「世間知」について考えて列挙する
2回	**授業テーマ：誕生と死　誕生にまつわる現状と意識** 授業内容：少子化の現状を様々なデータから紹介し、それにまつわる意識調査の情報を共有する。 事前学修 2.0hr：人間の誕生に関してどのようなことが問題になるのか考える 事後学修 2.0hr：誕生にまつわる現状と課題を整理し、望ましい誕生のあり方をまとめる
3回	**授業テーマ：誕生と死　死にまつわる現状** 授業内容：高齢、長寿化の現状について様々なデータを紹介し、それにまつわる意識調査の情報を共有する。 事前学修 2.0hr：自身の経験したあるいは想像する死にまつわることがらについて列挙する 事後学修 2.0hr：死にまつわる現状と課題を整理し、望ましい死のありかたをまとめる
4回	**授業テーマ：誕生と死　死に向かうということ** 授業内容：尊厳死や安楽死といった新しい形の死についての紹介とそれにまつわる意識調査のデータを共有し、人間学的な視点から少子高齢化問題をまとめる。 事前学修 2.0hr：死に直面した時の状況について考えてみる 事後学修 2.0hr：死に直面した時の自身の心の動きと命の重みを重ね合わせ、人間の生について思うところをまとめてみる
5回	**授業テーマ：孤独と仲間　孤独と仲間をめぐる現状** 授業内容：コミュニケーションの現状とそれに伴う意識調査の内容を紹介し、情報を共有する。 事前学修 2.0hr：現代のコミュニケーション状況の特徴について自分の考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：コミュニケーション不調の場合にみられる諸特徴について列挙しておく
6回	**授業テーマ：孤独と仲間　コミュニケーション能力の定義とコミュニケーション空間の変質について** 授業内容：コミュニケーション能力についていくつか具体的な定義を紹介し、スマートフォンを用いた SNS の各種サービスの使用現状を概括する。 事前学修 2.0hr：コミュニケーション能力と呼ばれているものについて自分の考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：コミュニケーション能力の様々な定義についてまとめておく
7回	**授業テーマ：孤独と仲間　孤独病と承認要求について** 授業内容：片田珠美『孤独病』を軸に孤独感が強すぎてコミュニケーション不調について検討する。 事前学修 2.0hr：孤独感が強すぎることによって生じるコミュニケーション障害について列挙しておく 事後学修 2.0hr：孤独感と承認欲求の関係について自分なりにまとめておく
8回	**授業テーマ：孤独と仲間　仲間と呼べるものは誰か** 授業内容：鴻上尚志『世間と空気』を軸に日本的集団意識の問題点や特徴を取り上げ、検討する。 事前学修 2.0hr：仲間集団についてその必要条件について自分なりにまとめておく 事後学修 2.0hr：「世間」集団を形成する時に守られるべきルールを自分なりにまとめておく
9回	**授業テーマ：中間まとめとテスト** 授業内容：これまで講義で扱った「誕生と死」、「孤独と仲間」の内容をまとめ、習熟度の確認のために中間テストを実施する。 事前学修 2.0hr：これまで学習した内容のポイントを自分なりにまとめ、テストに備える。 事後学修 2.0hr：中間テストの出来を自分で思い出し、理解度の足りなかった部分を確認する

10回	**授業テーマ：神と仏　宗教をめぐる現状について** 授業内容：日本の宗教意識の現状について、各種の意識調査のデータを紹介し、共有する。 事前学修 2.0hr：日本の宗教の現状について自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：諸宗教のデータをまとめ、日本の宗教の動向をまとめておく
11回	**授業テーマ：神と仏　神道と仏教** 授業内容：日本の宗教において中心を占める神道と仏教について簡単に歴史をまとめ、自身の宗教理解を反省する。 事前学修 2.0hr：自分の身の回りの宗教的儀礼や行為について考え、ノートに列挙する 事後学修 2.0hr：自身が行ってきた宗教儀礼、宗教的行為を分類し整理する
12回	**授業テーマ：神と仏　日本的宗教意識について** 授業内容：日本の宗教意識を特徴づける「神仏習合」、「現世利益」、「祖先崇拝」の 3 つを軸に日本的宗教意識のあり方について検討する。 事前学修 2.0hr：超越的な存在について自分の考えをノートにまとめておく 事後学修 2.0hr：現世利益、祖先崇拝、神仏習合などの大事な概念についてまとめておく
13回	**授業テーマ：お金と価値　交換価値と使用価値** 授業内容：使用価値と交換価値の違いを具体的に検討した後、日本の平均収入の変化や経済的な豊かさについての意識調査を紹介し、情報共有する。 事前学修 2.0hr：お金で買えるものと買ってはいけないものの違いについて考えておく 事後学修 2.0hr：講義内容をまとめ、お金の歴史について調べておく
14回	**授業テーマ：お金と価値　資本主義の精神と疎外 -S. ゲゼルの思想-** 授業内容：ヴェーバーの『プロテスタンティズムの倫理と資本主義』の末尾に見られる未来図と、ゲゼルの価値を減じる貨幣システムについて学び、人間学的にまとめる。 事前学修 2.0hr：ヴェーバーの主張と地域通貨について調べておく 事後学修 2.0hr：理想的な交換価値と使用価値のあり方について考えておく
15回	**授業テーマ：まとめのテストと振り返り** 授業内容：「人間的な生き方」を軸にこれまで扱ってきた諸問題をまとめ、まとめのテストと振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：テストに備え、１４回までの講義内容をまとめておく 事後学修 2.0hr：これまでの講義内容を踏まえ、人間学的に自分自身の生活の「世間知」について考える

日本人の生活意識

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：留学生クラス

堀内　貴子（ほりうち　たかこ）

▌授業の概要

日本人の生活意識(留学生クラス)では、日常の会話でなにげなく使われる言葉について書かれた文章を読む。そして、その内容を、自分の経験や自国の文化と比較しながら、日本人の感じ方や考え方について理解する。
また、理解したことを言語化し、クラスメートと話し合ったり、文章にまとめたりする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：日本人の言動に内在する価値観を理解し、それに対し、自らの考えを述べることができる。
個別目標：・日本語の文章を読んで、内容を正確に読み取ることができる。
・日常の会話でなにげなく使われる言葉に内在する日本人の考えや価値観を捉えることができる。
・日本人の考えや価値観に対する自分の考えを論理的に説明したり、文章にまとめたりすることができる。
・他者と意見交換をしながら、さらに自分の考えを深めることができる。

▌履修条件

留学生対象のクラスである。
事前事後課題を必ず行い、授業活動に積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

試験 40 %・授業内評価 (小テスト、授業課題、振り返り)50 %、態度(授業への参加姿勢及び発言等) 10 %。

▌フィードバック方法

授業内または manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

森田六郎『改訂新版　日本人の心が分かる日本語』アスク出版　ISBN：9784866393773

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーションと事前テスト** 授業内容：オリエンテーション、事前テスト 事前学修 2.0hr：テキストを読む 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
2回	**授業テーマ：内と外を分ける：内と外、世間** 授業内容：「内と外」「世間」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
3回	**授業テーマ：内と外を分ける：しつけ、けじめ** 授業内容：「しつけ」「けじめ」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
4回	**授業テーマ：内と外を分ける：素直、甘える** 授業内容：「素直」「甘える」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
5回	**授業テーマ：他人の目を意識する：人目、恥、照れる** 授業内容：「人目」「恥」「照れる」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
6回	**授業テーマ：周囲に配慮する：遠慮、気をつかう** 授業内容：「遠慮」「気をつかう」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
7回	**授業テーマ：周囲に配慮する：人並み、空気を読む** 授業内容：「人並み」「空気を読む」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
8回	**授業テーマ：人間関係を大切にする：つきあい、愛想、礼儀** 授業内容：「つきあい」「愛想」「礼儀」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
9回	**授業テーマ：人間関係を大切にする：本音と建て前、おかげさま** 授業内容：「本音と建て前」「おかげさま」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
10回	**授業テーマ：表現を押さえる：控えめ、ほのめかす、角を立てない** 授業内容：「控えめ」「ほのめかす」「角を立てない」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。

11回	**授業テーマ：精神主義を好む：がんばる、根性、無理** 授業内容：「がんばる」「根性」「無理」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
12回	**授業テーマ：精神主義を好む：修行、武士道** 授業内容：「修行」「武士道」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
13回	**授業テーマ：日本人の価値観：品、やまとなでしこ、派手・地味** 授業内容：「品」「やまとなでしこ」「派手・地味」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
14回	**授業テーマ：日本人の価値観：恩・義理、いさぎよい、もったいない** 授業内容：「恩・義理」「いさぎよい」「もったいない」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
15回	**授業テーマ：総まとめ** 授業内容：今まで学んできたことについて、総復習を行う。 事前学修 2.0hr：今まで学んだことを確認する。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。

性格とは何か

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

樋口　倫子 (ひぐち　のりこ)

▌授業の概要

性格(パーソナリティ)は、「人となり」や「その人らしさ」を指します。言動に現れるものから、内面に隠されたものまで、その人の人間性のすべてが、パーソナリティに含まれます。多くの人々は、自分自身のパーソナリティに関して悩んだり、自分と相手のパーソナリティの違いによって人間関係障害を体験したりします。本講義では、性格を固定的な特性として理解するのではなく、状況・関係・行動の中で立ち上がるプロセスとして捉えることを重視します。さらに、性格理論、自己効力感、気質、ニューロダイバーシティ、ストレス行動特性などの知見をもとに、対話とリフレクションを通じて、自身の考えを更新し続ける姿勢を養うことを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：パーソナリティに関する理論的理解を基盤として、自己理解・他者理解を深め、状況に応じた判断や行動選択、補完し合える人間関係を構築する力を涵養する。

個別目標：1）性格(パーソナリティ)に関する主要な概念や理論を、具体的な事例や文脈に即して解釈し、その有効性や限界を踏まえて説明できる。
2）ニューロダイバーシティ(脳多様性)の概念を理解し、特性を固定的なラベルとしてではなく、状況や環境との相互作用として捉え、他者との関係性を調整する視点を持つことができる。
3）自らの性格(パーソナリティ)について、一つの答えとしてではなく仮説として捉え、経験や対話を通して見直しながら、自己調整や意思決定に活かす視点を持つことができる。
4）自他の性格(パーソナリティ)の違いを把握し、一致や理解を急がず、違いが存在したまま対話を続ける姿勢を持ち、状況に応じた関わり方を選択できる。

▌履修条件

授業は、ピア・インストラクションやグループによるダイアローグなどのクリエイティブ・ラーニングの手法で行われる。
そのため、仲間と共に学習し合う雰囲気を心がけてほしい。不得意な場合は、必ず相談のこと(一緒に考えます)。
履修者多数の場合、履修動機を基に履修者を決定する(最大受講人数 70 名程度)ため、第 1 回の講義に必ず出席すること。
また、本講義では、多様な背景や特性をもつ履修者が共に学ぶことを前提とする。必要に応じて、学修方法や参加の在り方について合理的配慮を行うため、配慮を希望する場合は、事前に担当教員または障がい学生支援室に相談すること。

▌評価基準・方法

1)講義内での質問や応答(20%)と　学習の成果物①:講義ごとの小課題(60%)、学習の成果物②:最終課題(レポート)(20 %)によって総合的に評価します。

▌フィードバック方法

講義終了時の質疑応答、次回講義冒頭での課題についての全体コメント、manaba 上での個別コメントで行います。
個別指導は、ワークブックへのコメントを以って行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （講義形式に加えて、Think － Pair － Share、Think － Group － Share、ダイアローグ、リフレクティング・トーク等のアクティブ・ラーニング手法を用いて実施する。 理論の理解にとどまらず、自らの考えの変化や揺らぎを言語化する過程を重視する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レスポンの質問への回答　デジタル資料閲覧　データ共有）

▌教科書

①性格とは何かワークブック(￥600)
　購入方法については、講義内や manaba で案内いたします。
②配布資料

▌参考書

岡田康伸・他：パーソナリティの心理学　有斐閣

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス　　パーソナリティ心理学入門** 授業内容：1．このコースの学習の進め方をイメージする。 2．この講義では何を学ぶのかを理解する。 3．自分の性格や周りの人の性格の悩みなど、身近な問題を考える。 事前学修 2.0hr：履修動機と自分自身の性格について理解していることをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ視点から、自分自身の性格に関する気づきをまとめる。
2回	**授業テーマ：パーソナリティの把握(TAT)** 授業内容：TAT という投影法を用いた性格検査を実施して、自己分析を行う。 その結果を、Think-Pair-Share によって共有し、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック「TAT を使った自己イメージの理解」を読み、セルフチェックを実施し、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：自己イメージに関する気づきをまとめ、考察する。
3回	**授業テーマ：パーソナリティと自己効力感** 授業内容：行動と自己効力感について理解する。 自らの自己効力感について把握する。 自己効力感を高めること、成長型マインドセットについて話し合う。 安易に自己効力感を高めることのデメリットについて、話し合う。 事前学修 2.0hr：ワークブック「3．自己効力感」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：成長型マインドセットがパーソナリティ形成に与える影響についてまとめる。
4回	**授業テーマ：パーソナリティの諸理論(類型論と特性論)** 授業内容：パーソナリティの諸理論を理解する。 類型論タイプと特性論タイプのパーソナリティチェックを実施する。 Think-Pair － Share で気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章「遺伝的気質　あるがままの自分を活かす」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：類型論と特性論、それぞれのパーソナリティのとらえ方についてまとめる。

5回	**授業テーマ：類型論①　遺伝的気質で知るあるがままの自分** 授業内容：類型論の一つである、遺伝的気質の自己チェックを行う。 人格気質とストレス気質の特徴やセルフケアについて理解する。 Think-Pair-Share で、人格気質の違いについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章「遺伝的気質　あるがままの自分を活かす」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：気質の特徴から自らの強みと弱点を理解し、自らの能力を生かすセルフケアをまとめる。
6回	**授業テーマ：類型論②　気質コーチング（あるがままの自分と相手を生かすためのマネジメント）** 授業内容：6 つの気質の組み合わせのパターン毎の重複気質について理解する。 気質コーチングチャートに従って、ペアワークで重複気質の特徴とセルフケアを説明し合う。 Think-Pair-Share で、気質の違いについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章「遺伝的気質　あるがままの自分を活かす」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：気質コーチングチャートを活用し、協力者を得てコーチングを実施する。
7回	**授業テーマ：ニューロダイバーシティー（脳多様性を尊重する）** 授業内容：ADHD 特性と自閉スペクトラム特性について理解する。 ２つの特性のチェックシートを実施し、自らの特性を振り返る。 講義や Think-Pair-Share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 5 章 「ニューロダイバーシティ（脳多様性）を活かしあう」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：それぞれのニューロダイバーシティの活かされる環境とかかわりを考える。
8回	**授業テーマ：前半の内容についてのまとめ** 授業内容：コースの前半で実施した内容（自己効力感・気質・ストレス行動特性）について、総合的に振り返る。 ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコース前半で学んだ重要なことを３つ選択する。 「それはなぜ重要と考えたのか」「今後どのように活用するのか」について、Think-group-share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：第 1～7 回までの講義内容を復習し、ポートフォリオのレポートを振り返る。 事後学修 2.0hr：ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコース前半で学んだ重要なことを３つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、レポートをまとめる。
9回	**授業テーマ：パーソナリティとストレス①（ストレス行動特性）** 授業内容：ストレスを生み出しやすい特性と、ストレスを活用できる特性について理解する。 ストレス行動特性を実施し、自らの特性を理解する。 講義や Think-Pair-Share によって、気づきを深める。 事前学修 1.0hr：ワークブック 6 章「ストレス行動特性からレジリエンス型特性へ」をよく読み、疑問点を明確にする。 事後学修 3.0hr：自分自身のストレスパーソナリティの特徴をまとめ、考察する。理解が不十分であった内容を、再度復習する。
10回	**授業テーマ：パーソナリティとストレス②　（メンタルヘルスコーチング）** 授業内容：メンタルヘルスコーチングをガイドラインを参考に、相手のストレス行動特性について説明する。 相手に対し、どのようなストレス反応が生じやすく、それはどのようなストレス行動特性が関連しているのかについて説明する。 事前学修 2.0hr：ワークブック 8 章「メンタルヘルスティーチング＆コーチング」をよく読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：メンタルヘルスコーチングを協力者 2 名に実施し、その結果を考察する。
11回	**授業テーマ：ストレス反応とストレスコーピング** 授業内容：ストレス反応の種類、よいストレスと悪いストレス、ストレスコーピングについて理解する。 自分自身のストレスコーピングは、問題解決型か否か、情動コントロール型か否かについて振り返る。 ストレスコーピングの気づきを、Think-Pair-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 7 章 「ストレス反応とストレスコーピング」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：実行可能な積極的対処型のストレスコーピングを具体的に考えて、レポートにまとめる。
12回	**授業テーマ：タイムマネジメントによるストレスマネジメント** 授業内容：なりたい自分、ありたい自分について考えてみる。 有限な時間を、何を大事に生きるかに見通しを持つ。 ストレス関数によるストレスマネジメント理論を理解する。 具体的なストレスマネジメントを考え、Think-Pair-Share で気づきを深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック９章 「タイムマネジメントによるストレスマネジメント」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.5hr：レジリエンスを高める対処を復習し、実践する。
13回	**授業テーマ：Well-being のためのストレスマネジメント** 授業内容：気分が落ち込んだ時やストレスを抱えた時のセルフマネジメントの理論を理解する。 4 種類のストレスマネジメントシートを、セルフワークで実施する。 セルフワークでの気づきを、Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 10 章 「Well-being のためのストレスマネジメント」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.5hr：講義内で実施したワークを再度実施し、どのような気づきを得たのかをまとめる。
14回	**授業テーマ：Healthy Personality を育む** 授業内容：どのような要素が Healthy Personality につながるかを理解する。 自分自身のサヴァイヴァル型のパーソナリティ特性を振り返る。 なりたい自分・ありたい自分に必要な共生型パーソナリティ特性を考える。 気づきを Think-Group-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 11 章「Healthy Personality を育む」を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.5hr：なりたい自分・ありたい自分に必要な共生型パーソナリティ特性に関する気づきをまとめる。
15回	**授業テーマ：コース全体のまとめ** 授業内容：コース全体の内容を振り返る。 ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコースで学んだ重要なことを３つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、Think-group-share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ポートフォリオに目を通し、自らがこのコースで学んだ重要なことを３つ選択し、まとめてくる。 事後学修 3.0hr：前向きなライフキャリアにつながるパーソナリティの成長についての最終課題（レポート）を仕上げる。

生命と遺伝子

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

桑山　秀一（くわやま　ひでかず）

▌授業の概要

すべての生物には遺伝子が含まれています。遺伝子の構造は同じであることから、遺伝子の機能はすべての生物の存続にとって必須であることがわかります。本講義の前半では、まず生命の基本単位である細胞の構造や機能を学びます。さらに遺伝子の構造と機能について理解し、「遺伝子と生命」について学修します。中盤では、生命の誕生や進化の歴史を俯瞰しながら、単細胞からヒトのような高度な多細胞体の特徴に至るまでを順を追って学修します。終盤においては、「遺伝子と病気」や「遺伝子と地球環境」をテーマに遺伝子と社会の接点について学修します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：どのような学問においてもそれを行う主体が人間であるかぎり、生物に関する理解は必須です。本講義では、生命の営みに必須である遺伝子の構造や機能、その重要性について理解します。遺伝子を理解することにより、「生命とは何か？」という基本的かつ根源的な問いに対して自分なりの考察できるようになることを一般的な目標にします。

個別目標：授業を理解することにより、まず「生命とは何か？」という問いに興味を持つことを目標とします。本授業を履修することにより、「遺伝子と自分」との接点について考察し、今後自らの専攻する学問分野における諸問題を生物学的視点で考察できるようになることを個別目標とします。

個別目標：授業を理解することにより、まず「生命とは何か？」という問いに興味を持つことを目標とします。本授業を履修することにより、「遺伝子と自分」との接点について考察し、今後自らの専攻する学問分野における諸問題を生物学的視点で考察できるようになることを個別目標とします。

▌履修条件

生物や生命現象に興味があることを履修条件とする。

▌評価基準・方法

成績は、定期試験（70 %）とその他（出席、事後学修（レポート、授業態度）（30 %）の結果に基づき総合的に判断する。

単位取得の最低条件は、講義の 5 分の 4 以上（15 回の講義中 12 回）の出席（講義の出席と学習支援システム『manaba』によるレポートの提出により完結）と定期試験（『manaba』上で行う）の参加とする。

▌フィードバック方法

講師への質問や要望、欠席連絡等は、講師への電子メールや学習支援システム『manaba』の個別指導コレクションを通じて行うことができる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業中における講師から聴講生への質問や学生間における討論）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

なし

▌参考書

Biology: A Global Approach、Global Edition、Molecular Biology of the Cell 第７版、ゲノム（Genomes）第４版等

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イダンス、および「生命」とは何か？ という問いに対する最初の考察** 授業内容：ガイダンス（本講義の目的と概要） 本講義の目的と概要についての説明。 「生命とはなにか？」について一緒に考察する。 事前学修 2.0hr：自分が知っている生命現象をまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
2 回	**授業テーマ：細胞の構造** 授業内容：細胞の構造について学修する。 事前学修 2.0hr：細胞とは何かについて、自分の知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
3 回	**授業テーマ：細胞の機能** 授業内容：細胞の機能について学修する。 事前学修 2.0hr：細胞内では一体何が起こっているのかを自分なりに考察しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
4 回	**授業テーマ：遺伝子とは何か？** 授業内容：遺伝子とは何か？ ついて一緒に考察する。 事前学修 2.0hr：現在の遺伝子に関する知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
5 回	**授業テーマ：遺伝子 DNA の構造** 授業内容：遺伝子 DNA の構造について学修する。 事前学修 2.0hr：自身の DNA に関する知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
6 回	**授業テーマ：遺伝子 DNA の機能** 授業内容：遺伝子 DNA の機能について学修する。 事前学修 2.0hr：DNA の働きに関する知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
7 回	**授業テーマ：タンパク質の構造** 授業内容：タンパク質の構造について学修する。 事前学修 2.0hr：タンパク質の構造に関する知識について整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
8 回	**授業テーマ：タンパク質の機能** 授業内容：タンパク質の機能について学修する。 事前学修 2.0hr：タンパク質の機能に関する知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解

9回	**授業テーマ：細胞が環境を感じるしくみ** 授業内容：細胞が環境を感じるしくみについて学修する。 事前学修 2.0hr：細胞が環境を感じるしくみについてまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
10回	**授業テーマ：細胞が動くしくみ** 授業内容：細胞が動くしくみについて学修する。 事前学修 2.0hr：細胞が運動するためには何が必要かを考察しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
11回	**授業テーマ：がん細胞** 授業内容：がん細胞について学修する。 事前学修 2.0hr：がんとは何かを生物学的に考察しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
12回	**授業テーマ：幹細胞とは何か？** 授業内容：幹細胞や iPS 細胞とは何か？ とそれらの医学的、社会的意義について学修する。 また、これらの事を理解するために細胞分化についても学修する。 事前学修 2.0hr：幹細胞や iPS 細胞について事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
13回	**授業テーマ：多細胞体生物の特徴と構造** 授業内容：多細胞体生物の特徴と構造について学修する。 また、単細胞から多細胞への生物進化に必要な細胞機能とその意義を学修する。 事前学修 2.0hr：単細胞と多細胞の違いをまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
14回	**授業テーマ：遺伝子と地球環境** 授業内容：遺伝子と地球環境との関わりについて討論する。 事前学修 2.0hr：遺伝子と地球環境についてまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
15回	**授業テーマ：「生命と遺伝子」についての討論** 授業内容：各人の専門分野と「生命と遺伝子」との関連についての討論 事前学修 2.0hr：自身の興味や専攻分野と生命あるいは遺伝子との関わりを考察しておく。 事後学修 2.0hr：講義前と講義後で自身の遺伝子に対する考え方の変化をまとめる。

スポーツ科学講義 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

杉浦　雄策（すぎうら　ゆうさく）

▌授業の概要

＜アスリートの科学＞
世界で活躍するアスリートの心・技・体に焦点を当てる。実在するアスリートやその実話をもとに「競技スポーツ」の知られざる全貌に迫る。いまや、トップアスリートにとってスポーツ科学の導入は、必要不可欠である。試合の結果のみならず、そこに辿りつくまでのプロセスも実に興味深い。これを知れば、スポーツを「みる」ときの楽しさが倍増するだろう。授業では、動画、スライド、資料を存分に活用し、「アスリートの科学」を学ぶ。授業は、アカディミックアプローチによる interacitve な対話形式で行なう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：競技スポーツを「みる」ことで「人生を歩んでいくためのヒントを得る」ことができるようになる。
個別目標：正解のない問いに挑む。

▌履修条件

履修登録修正期間の登録は、原則認めない。
但し、特段の事情のある者は、担当教員に直接コンタクトをとること。
教科書の購入を必須とする。

▌評価基準・方法

5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。
授業への参加姿勢・課題レポート・教科書の活用度・アカディミックアプローチ (50%) および最終アカディミックアプローチ or 最終レポート (50%) の結果に基づき、総合的に判断する。

▌フィードバック方法

講義時の質疑応答、次回講義冒頭での全体コメントによる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （教科書・授業資料を活用した対話(アカディミックアプローチ)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

杉浦 雄策 日常生活に活かすスポーツ科学リテラシー（ライフ出版社）

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の具体的な進め方および留意点 事前学修 2.0hr：講義概容を読み、その内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：教科書　1 章・6 章・7 章・8 章・9 章を読み、授業内容の総論について、理解する。
2 回	**授業テーマ：スポーツを考える** 授業内容：競技スポーツとは 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「スポーツの力」について、自分の意見や考えをまとめる。
3 回	**授業テーマ：スポーツとアスリート** 授業内容：競技スポーツにおける science and art 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「競技スポーツにおける science and art」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
4 回	**授業テーマ：スポーツリテラシー** 授業内容：体育とスポーツの連続体 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「体育とスポーツの連続体」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
5 回	**授業テーマ：アスリートの驚異の肉体** 授業内容：アスリートの心を探る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「アスリートの心を」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
6 回	**授業テーマ：アスリートの驚異の肉体** 授業内容：アスリートの技を探る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「アスリートの技」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
7 回	**授業テーマ：アスリートの驚異の肉体** 授業内容：アスリートの体力・運動能力を探る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「アスリートの体力・運動能力」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
8 回	**授業テーマ：アスリートの驚異の肉体** 授業内容：アスリートの才能を考える 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「アスリートの才能」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
9 回	**授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影** 授業内容：走高跳びのイノベーション 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「走高跳びのイノベーション」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
10 回	**授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影** 授業内容：水着のイノベーション 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「水着のイノベーション」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。

11回	**授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影** 授業内容：陸上競技アンダーハンドパスのイノベーション 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「陸上競技アンダーハンドパスのイノベーション」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
12回	**授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影** 授業内容：ドーピングとアンチドーピング 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「ドーピングとアンチドーピング」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
13回	**授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影** 授業内容：テクノロジーの発達と人間の真価 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「テクノロジーの発達と人間の真価」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
14回	**授業テーマ：スポーツの未来学** 授業内容：スポーツ文化を知る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「スポーツ文化」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
15回	**授業テーマ：スポーツ科学リテラシー** 授業内容：人生を歩くヒントを得る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：スポーツ科学・アスリートから、人生を学ぶ

スポーツ科学講義 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆講義授業◆【映像に学ぶエンターテイメントの世界】～ステージとエンターテイメント産業～(前学期 月 1)
本講義は、ショービジネスやエンターテインメント産業の発展を、社会の変遷(歴史)とともに学んでいく授業です。 主な内容として、ダンスやミュージカルの発展、ウォルト・ディズニーの人生と偉業、ミュージックビデオの歴史、伝統芸能、そして巨大なエンタメイベント(グラディエーター、オリンピック等)について取り扱います。 映像資料を通じて、クラウド・ネット時代におけるこれからのエンタメ産業の将来を考えていきましょう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：エンターテインメントや舞台表現の発展史を学ぶことで、人間の「遊び」「欲望」「楽しさ」の本質について考察します。その上で「今後どのようなエンターテインメントが流行るのか？」という問いへの答えを探求していきます。多くの歴史的な映像資料や AI が持つ最新の知見を活用しながら、時代の先を読む力(将来を見つめる力)を養うことを目標とします。
個別目標：①歴史の把握：古代から現代までのエンタメ史の流れを理解し、その時代の背景を説明できる。
②偉業に学ぶ：ウォルト・ディズニーの生涯と、彼が生んだ革新的なビジネスモデルを解説できる。
③遊びの考察：「楽しさ」や「遊び」の視点から、エンタメが社会に果たす役割を自分の言葉で論じられる

▌履修条件

映像やステージを観るのが好きな方、エンタメの裏側を知りたいと思う方をお待ちしています。感性を豊かにしたいという意欲的な学生を歓迎します。

▌評価基準・方法

本講義は定期試験(テスト期間中の試験)を行わず、日々の取り組みを重視して評価します。
授業ごとの課題(60%)： 毎回の授業内で行う記述課題
事前・事後学習(40%)： manaba を利用した予習・復習課題
【重要：評価の条件】
全 15 回のうち、12 回以上(4/5)の出席が成績評価(D ～ S)の必須条件です。
定期テスト期間中にテストがない分、毎回の授業課題と manaba での学習にしっかりと取り組んでください。

▌フィードバック方法

本講義では、授業への感想や意見を manaba の「プロジェクト」欄に投稿してメンバー全員で共有し、お互いの投稿にコメントし合うことなどで、多角的な視点からフィードバックを行います。 教員サイドからも、皆さんの投稿やコメントに対して授業内で紹介したり、補足解説を行ったりすることで、全体の理解度を高めていきます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業中に manaba を利用しますので、スマホ、タブレット、PC 等をご持参ください。）

▌教科書

特段にありません。

▌参考書

適宜、ご紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：授業の説明、エンタメ産業、そして映像の世界** 授業内容：エンターテイメント産業とは？ どんなジャンルがあるのか？ 授業の全体を概観します。 事前学修 2.0hr：シラバスを理解してくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
2回	**授業テーマ：エンターテイメントを創る！　東京ディズニーランド開園とディズニー作品の成長の秘密** 授業内容：東京ディズニーランドがどのように浦安の地に存在するようになったのか？、ディズニーの作品の成長の秘密も考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：ディズニー作品がヒットする秘密を考えてみる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
3回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーの生涯を知る「ミッキーマウスの誕生」と 1920 年代** 授業内容：ウォルト・ディズニー(1901-1966)の生涯を理解してまいりましょう。その１　ミッキーマウスが誕生する 1920 年代。 事前学修 2.0hr：1920 年代のアメリカ社会を理解してくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
4回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーの生涯を知る「アニメーションのパイオニア」と 1930 年代** 授業内容：ウォルト・ディズニー(1901-1966)の生涯を理解してまいりましょう。その２　ディズニーといえばアニメーション！「白雪姫」誕生。 事前学修 2.0hr：1930 年代　50 年代のアメリカ社会を理解してくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
5回	**授業テーマ：授業テーマ：ウォルト・ディズニーの生涯を知る「戦争と混乱の時代」と 1940・50 年代** 授業内容：ウォルト・ディズニー(1901-1966)の生涯を理解してまいりましょう。その３　ウォルトも社会も戦争に影響され混とんとした年代。 事前学修 2.0hr：1940、50 年代のアメリカを理解してくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
6回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーの生涯を知る「"夢の国" ディズニーランド」と 1960 年代** 授業内容：ウォルト・ディズニー(1901-1966)の生涯を理解してまいりましょう。その４　夢の国の完成(1955)、そして、、、。 事前学修 2.0hr：1960 年代のアメリカを理解してくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
7回	**授業テーマ：ディズニーの挑戦：ディズニーシーとディズニーファンタジースプリングス** 授業内容：世界唯一のコンセプトを持つ「東京ディズニーシー」の独創性と、最新エリア「ファンタジースプリングス」が提示する次世代の没入体験を分析します。ゲストの期待を超え続けるための絶え間ない革新とブランド戦略を考察します。 事前学修 2.0hr：ファンタジースプリングスの作品の世界観を予習してください。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
8回	**授業テーマ：日本のアニメがなぜ世界中で愛されているのか。** 授業内容：アニメが「日本という国」のイメージをどう変え、世界を動かしているのかを考えます。 事前学修 2.0hr：現代に流行っているアニメの内容がどのようなものか調べてきてください。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。

9回	**授業テーマ：エンターテイメント産業とアニメ：アメコミの世界と日本のアニメ** 授業内容：アメリカンコミックス、特にマーベルはどのように発展したのか？　社会状況の変化とともに理解していきます。 事前学修 2.0hr：世界におけるアニメの発展状況について調べてみる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
10回	**授業テーマ：ヒップホップの発祥は、いつ、どこで？** 授業内容：アメリカの貧困街で生まれた音楽が、なぜ世界中の若者の「代弁者」になったのか。SNS 時代の新しい「声」の上げ方を学びます。 事前学修 2.0hr：ヒップホップ音楽、ラップは、何を言おうとしているのか触れてきてください。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
11回	**授業テーマ：アイドルってなんでしょう。** 授業内容：そもそもアイドルって何でしょう。日本のアイドル文化との違いや、国を挙げた「推し」ビジネスの凄さを分析します。 事前学修 2.0hr：世界のアイドル事情につてい予備知識を入れてきてください。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
12回	**授業テーマ：ミュージックｖｉｄｅｏの登場：KING OF POP マイケル・ジャクソンと音楽の表現者たち** 授業内容：アーティスト(歌手・俳優等)の社会へのメッセージを読み解く：マイケル・ジャクソンは何を残したのか？ 事前学修 2.0hr：ご自身の好きなアーティスト(歌手・俳優等)の社会へのメッセージとは何か考えてくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
13回	**授業テーマ：ダンスの歴史を知る「ザッツ・ダンシング！」と映画産業** 授業内容：映像産業の歴史を理解する。ダンスはいつごろからはじまった？ ダンスの発展について理解します。 事前学修 2.0hr：今流行っているダンスはどんなダンス？ ダンスの発展について考えてくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
14回	**授業テーマ：古典の伝承：歌舞伎　市川團十郎　そして新作歌舞伎** 授業内容：日本には、多くの古典芸能・伝統芸能があります。能(のう)・狂言(きょうげん)歌舞伎(かぶき)等々。特に日本の代表的な舞台作品として「歌舞伎」があります。近年では、アニメの題材を用いたり。変化する歌舞伎世界についても理解していきます。 事前学修 2.0hr：歌舞伎の映像を見てくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
15回	**授業テーマ：将来に残したい記憶・記録・出来事　まとめのテスト** 授業内容：後世に残したい記憶・記録・映像・出来事ってどんなことでしょう。過去を理解し、そして未来を紡ぐ。エンタメ世界の視点からまとめてまいります。 事前学修 2.0hr：将来に残したい記憶・記録・出来事をあげてみましょう。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。

スポーツ科学講義 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

杉浦　雄策（すぎうら　ゆうさく）

▌授業の概要

＜健康スポーツの科学＞
スポーツの魅力は、「する」ことにあるといってよい。もともとスポーツには、遊び感覚で身体を動かすこと、それ自体に楽しさがある。また、体力年齢の低下を緩やかにしたり、生活習慣病も予防できる。実際にスポーツを実践している人たちは、心身共に健康な生活を送るために、日常生活の限られた時間の中で、真剣に楽しみ一所懸命に遊んでいる。授業ではスライド、資料を存分に活用し、「健康スポーツ科学」を学ぶ。なお、本授業は、社会の情勢を鑑み、学生対応(対面・遠隔)を機動的に行なう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：健康スポーツを「する」ことで、人生を歩んでいくときに欠かせない健康と体力をキープしていくことの重要性が理解できる。また、生涯を通じて実践するスポーツ種目の KNOW HOW と、身体とスポーツとの関係についても考えることができる。そして、「わたしの健康スポーツ(種目)の実践を考える」について、まとめられる。
個別目標：正解のない問いに挑む。

▌履修条件

履修登録修正期間の登録は、原則認めない。
但し、特段の事情のある者は、担当教員にコンタクトをとること。
教科書の購入を必須とする。

▌評価基準・方法

5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。
授業への参加姿勢・課題レポート・教科書の活用度 (50%) および最終レポート (50%) の結果に基づき、総合的に判断する。

▌フィードバック方法

講義時の質疑応答、次回講義冒頭での全体コメントによる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （教科書・授業資料を活用した対話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

杉浦 雄策 日常生活に活かすスポーツ科学リテラシー（ライフ出版社）

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の具体的な進め方と留意点 事前学修 2.0hr：講義概容を読み、その内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：教科書　1 章・2 章・3 章・4 章・5 章・9 章を読み、授業内容の総論について、理解する。
2回	**授業テーマ：スポーツと健康・体力** 授業内容：運動不足と生活習慣病　健康と体力を考える 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「運動不足と生活習慣病　健康と体力を考える」について、自分の意見や考え、思いをまとめる。
3回	**授業テーマ：身体をつくる** 授業内容：スタミナのある身体 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：「スタミナのある身体」について、自分の意見や考えをまとめる。
4回	**授業テーマ：身体をつくる** 授業内容：力強い身体 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：「力強い身体」について、自分の意見や考えをまとめる。
5回	**授業テーマ：身体をつくる** 授業内容：しなやかな身体 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：「しなやかな身体」について、自分の意見や考えをまとめる。
6回	**授業テーマ：身体を都整える** 授業内容：骨・筋肉　女性の「やせすぎ」にご用心 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「骨・筋肉　女性のやせすぎ」について、自分の意見や考えをまとめる。
7回	**授業テーマ：身体を整える** 授業内容：脂肪　肥満を考える 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「脂肪　肥満を考える」について、自分の意見や考えをまとめる。
8回	**授業テーマ：身体を整える** 授業内容：水分　熱中症を予防する 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「水分　熱中症を予防する」について、自分の意見や考えをまとめる。
9回	**授業テーマ：身体を動かす** 授業内容：代表的な有酸素系・フィットネススポーツ 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「代表的な有酸素系・フィットネススポーツ」について、自分の意見や考えをまとめる。
10回	**授業テーマ：身体を動かす** 授業内容：楽しくスポーツをする 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「楽しくスポーツをする」について、自分の意見や考えをまとめる。

11回	**授業テーマ：スポーツの未来学** 授業内容：スポーツは文化　スポーツと健康寿命社会　スポーツとまちづくり 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「スポーツは文化　スポーツと健康寿命社会」について、自分の意見や考えをまとめる。
12回	**授業テーマ：スポーツの未来学** 授業内容：フィジカル・リテラシー 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「フィジカル・リテラシー」について、自分の意見や考えをまとめる。
13回	**授業テーマ：スポーツの未来学** 授業内容：スポーツの未来を育てる① 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「スポーツの未来を育てる①」について、自分の意見や考えをまとめる。
14回	**授業テーマ：スポーツの未来学** 授業内容：スポーツの未来を育てる② 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：「スポーツの未来を育てる②」について、自分の意見や考えをまとめる。
15回	**授業テーマ：科学知を生活知へ** 授業内容：わたしの健康スポーツ(種目)の実践を考える 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「わたしの健康スポーツ(種目)の実践を考える」について、自分の意見や考えをまとめる。

スポーツ科学講義 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆講義授業◆【映像に学ぶメディアとしての身体】～社会とともに変化する身体～（後学期 月 1）
本講義では、医学の進歩や価値観の変化によって、私たちの「身体（からだ）」のあり方がどう変わってきたかを考察します。「ネット社会における身体」「整形やサイボーグ化する身体」「男らしさ・女らしさとジェンダー」「命の尊厳」など、現代を生きる私たちの体の「今」を、豊富なビデオ資料を通じて探ります。 身近なテーマから、自分という存在や社会のあり方を一緒に考えていきましょう。（※進行やクラスの状況により、内容を調整する場合があります）

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：人生を豊かにする「身体への視点」と「思考力」を養う授業。
本講義では、自分の「身体（からだ）」を広く豊かに捉え直すための、しなやかな感性と考える力を身につけます。 映像資料を通じて感じたことや考えたことを言葉にし、他者の意見に触れることで、さらに自分の考えを深めていく「探求する力」を高めていくことを目標とします。
個別目標：①社会の課題に気づく：医療や人権など、ニュースになるような社会問題が「自分たちの体」にどう関わっているかを理解できる。
②身近な変化を見つける：自分の周りにある「体の悩み」や「価値観の変化」を、社会のルールや環境と結びつけて発見できる。
③自分の考えを言葉にする：正解のない複雑な問題に対して、自分なりに考えをまとめ、文章で表現できる。

▌履修条件

「なぜだろう？」と考えることが好きな方、自分の意見を大切にしたい方を歓迎します。正解を求めるのではなく、自分なりの答えを探しながら、前向きに授業に参加してくれる皆さんをお待ちしています。

▌評価基準・方法

成績評価の基準 定期試験（テスト期間中の試験）は行わず、毎回の積み重ねを評価します。
授業ごとの課題（60%）：毎回の授業内での記述課題
事前・事後学習（40%）：manaba を利用した予習・復習課題
【重要：評価の条件】
全 15 回のうち、12 回以上（4/5）の出席が成績評価（D～S）の必須条件です。定期テスト期間中のテストがない分、毎回の課題にコツコツ取り組むことが、良い成績への近道です。

▌フィードバック方法

授業内容への意見や感想を授業メンバーと manaba のプロジェクト欄を使って共有し、manaba の小テスト欄を有効に利用しながら互いにコメントすることによって、授業課題や授業のフィードバックをしていきます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業中に manaba を利用しますので、スマホ、タブレット、PC 等をご持参ください。）

▌教科書

適宜、提示いたします。

▌参考書

適宜、提示いたします。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション：授業の進め方　ネット時代　SNS　誹謗中傷** 授業内容：学習の進め方の説明。現代社会が抱える身体をめぐる課題の視点を説明し、授業全体を概観する授業です。身体は、科学技術の進歩によっていよいよ変化し、新しい生活スタイルが創造されていく可能性を持っています。さて、これからの身体と社会は？ 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する。 事後学修 2.0hr：授業中に記入したメンバーの全記述を読み、意見、評価を行う。
2回	**授業テーマ：ネット社会１：性の欲望　デジタル技術 “解放” か “堕落” か** 授業内容：ネットの時代。AI の技術によっても “性欲のバーチャル化” が進み、新たな幸福感が生み出されつつあります。ネット社会と人間特有の「性の欲望」について考えてまいります。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェックする。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
3回	**授業テーマ：ネット社会２：オンラインカジノ 底知れぬ闇** 授業内容：オンラインカジノは、インターネットを通じて賭け事を楽しむことができる場所ですが、日本ではオンラインカジノは法律で禁止されています。無意識に巻き込まれてしまうネット社会の闇。考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
4回	**授業テーマ：身体を知る１：テストステロン～謎多き男性ホルモン～** 授業内容：AI やデジタル化によって身体をめぐる環境はいよいよ変わってきています。しかしながら、生身の体は、そうは簡単にコントロールできません。特に男性の生活様式に大きな影響を与えている、男性ホルモンといわれるテストステロンについて、理解していきます。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
5回	**授業テーマ：身体を知る２：生殖レース：受精までの闘い** 授業内容：” 精子と卵子” の出会いは、意外に大変。現在、結婚希望年齢は「29.4 才」、出産希望年齢は「30.9 才」とのこと。最近では、妊娠を望んでいてもなかなか妊娠できず、不妊に悩んでいる話も多くなっています。受精という視点から人って何だろう？ と改めて考えてみます。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
6回	**授業テーマ：身体を知る３：女性の生殖メカニズム** 授業内容：男性と女性の体の違い。一般的には、生殖のメカニズムが大きく異なります。今回は、女性の身体と生活について、理解してみましょう。同時に、「社会的な性」という視点でジェンダーという言葉があります。多様性についても考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。

7回	**授業テーマ：生命の意味１：幸せのかたち　出生前診断の現場** 授業内容：出生前診断は、妊娠中におなかの赤ちゃんについて先天性の病気や形態の異常がないかを調べる検査です。最近は簡便に検査ができるようにもなってきました。女性の体に宿った命、赤ちゃんの命、命の選別への懸念。多面的に考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
8回	**授業テーマ：生命の意味２：性と人権：性加害、性的同意を考える** 授業内容：近年　社会の話題となっている性加害。事例を紐解きながら、互いの存在の尊厳について考えてまいりしょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
9回	**授業テーマ：生命の意味３：人の命を守る方法：こうのとりのゆりかご　アメリカの政治と中絶** 授業内容：望まれる妊娠、望まれない妊娠、生む女性の権利、赤ちゃんの人権。日本では、妊娠 21 週 6 日までは、医師の同意があれば中絶が合法的に行われていますが、中絶は多くの国で非常に議論の多い問題となっており、政治的な課題とも言えます。考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
10回	**授業テーマ：生きる価値観をめぐって１：尊厳死　安楽死(日本の場合)** 授業内容：人は自分の最後を決めることができるのか？ その１。現在の日本では、安楽死は認められていませんが、安楽死(または医師補助自殺)が合法とされている国や地域にはいくつかあります。基本的な知識を身に着けてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
11回	**授業テーマ：生きる価値観をめぐって２：尊厳死　安楽死 (海外の場合)** 授業内容：人は自分の最後を決めることができるのか？ その２。 世界では、安楽死の合法化に関して大きな動きがあります。オランダ, ベルギー(2002 年), ルクセンブルク:(2009 年) に安楽死が合法化されました。スイスでは、安楽死は明確には認められていませんが、自殺幇助は広く行われそのため、終末期の医療を考慮する日本人がスイスでその選択を求めることがあるようです。考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
12回	**授業テーマ：生きる価値観をめぐって３：脳死　移植医療** 授業内容：日本では脳死に関する認識によって、臓器提供者が少ない現状があります。人の死の定義について考えてみましょう。海外では臓器移植は自国の自給自足に務め、移植ツーリズムを禁止するといった流れもあります。移植医療について考えてみましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
13回	**授業テーマ：生きる価値観をめぐって４：死刑　生きること、生きる権利、そして法整備** 授業内容：人は人を裁くことができるのか？ 考えていきます。多くの諸外国が、死刑を実施しない傾向にあります。日本と世界の死刑制度とを比較しながら考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
14回	**授業テーマ：生きる価値観をめぐって５：サイボーグと人間、オーダーメイド・ベビー** 授業内容：ゲノム編集ってなにをすることでしょう。CRISPR-Cas 9(クリスパー・キャス・ナイン)とは？ どこまで人は人の身体を操作・改造してよいのでしょうか？ 考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
15回	**授業テーマ：まとめ－身体は 21 世紀に何が求められているのか？ 生きること、生きる権利　差別** 授業内容：人の命、生活、法律、、、多様性社会における人の存在について考えていきます。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。

スポーツ科学演習 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

杉浦　雄策（すぎうら　ゆうさく）

▌授業の概要

＜ビギナーズ ゴルフ＞

10～20 歳代のプロゴルファーの活躍によって、ゴルフのイメージは大きく変わりつつある。ウェアーも華やかになり、ゴルフ場でプレーする女性も増えている。「紳士の社交場」としての景色も変わり、いまや性別・年齢を問わず、多くの人々が、健康スポーツとしてゴルフを楽しむようになった。ゴルフは基礎からきちんと習うと、意外にも短時間で上達する。まずはクラブを握り、振ってみることから、ゴルフの面白さ体験してみる。なお本授業は、社会情勢を鑑み、授業内容に対して機動的な対応を行なう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：ゴルフが教養や趣味として、あるいは将来のために、役立つようにする。これから経験するであろうさまざまな場面（余暇、仕事の一環 “つきあい・接待” としてなど）、ゴルフ場でプレーできる基本的なマナーや、技術などの初歩的な実践能力が身につく。また授業を通じて、相互の協働関係を築いていくことができる。

個別目標：ゴルフを健康スポーツとし実践するために、個々のレベルに応じた楽しみ方およびコミュニケーション能力を習得する。

▌履修条件

ガイダンスに出席し、教員の指示に従うこと（人数調整を行なうので必ず出席すること）。集合教室は、別途指示する。

履修登録修正期間の登録は、原則認めない。但し、特段の事情のある者は、担当教員にコンタクトをとること。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。

ゴルフに関する基本的な知識や技能の習得とそれに基づく実践の完成度 (50%) およびコミュニケーション能力 (50%) を総合的に判断する。

▌フィードバック方法

演習時の質疑応答、次回演習

冒頭での全体コメントによる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業資料を活用した対話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜、資料を配布する。

▌参考書

Lecture ゴルフの基礎

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の具体的な進め方および留意点 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、その内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：授業計画について、確認する。
2回	**授業テーマ：「ゴルフとのつきあい方」を考える。** 授業内容：健康・趣味。社交・仕事など 事前学修 2.0hr：「ゴルフ」について、興味をもち、調べる。 事後学修 2.0hr：「ゴルフのつきあい方」について、自分の目標を明確にする。
3回	**授業テーマ：「ドライバー・アイアン・パターの性能」について、学ぶ。** 授業内容：道具の特性について 事前学修 2.0hr：「ゴルフの用具」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「ドライバー・アイアン・パターの性能」について、理解し、まとめる。
4回	**授業テーマ：クラブ（アイアン）を正しく握って、とりあえず振ってみる。** 授業内容：身体感性を高める 事前学修 2.0hr：クラブ（アイアン）を正しく握れるよう、調べる。 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
5回	**授業テーマ：スイング動作を学習する（正面・背後）。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用① 事前学修 2.0hr：スイング動作における身体の動かし方を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
6回	**授業テーマ：スイング動作を学習する（正面・背後）。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用② 事前学修 2.0hr：まちがいのないスイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
7回	**授業テーマ：スイング動作を撮影する（正面・背後）** 授業内容：思考脳と作業脳の活用③ 事前学修 2.0hr：まちがいのないスイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
8回	**授業テーマ：スイング動作を分析する（エラーの発見および矯正）。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用④ 事前学修 2.0hr：撮影された動画を繰り返し、再生する。 事後学修 2.0hr：スイング動作のエラーを理解する。
9回	**授業テーマ：スイング動作を完成する。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用⑤ 事前学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
10回	**授業テーマ：学内のグリーンで、 “パター動作” 経験する（パター）。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用⑥ 事前学修 2.0hr：パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング

11回	**授業テーマ：ゴルフ練習場で、“打ち放し” を経験する(アイアン・ドライバー)。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用⑦ 事前学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
12回	**授業テーマ：ゴルフ独特の「ルールやマナー」を学ぶ。** 授業内容：ルールとレギュレーション 事前学修 2.0hr：試合の進行に関するルールやマーナーについて、理解する。 事後学修 2.0hr：試合の進行に関するルールやマーナーについて、まとめる。
13回	**授業テーマ：宿泊形式で、ゴルフを実践する(ショート・コース)** 授業内容：コミュニケーション能力を養う① 事前学修 2.0hr：スイング/パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング/パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
14回	**授業テーマ：宿泊形式で、ゴルフを実践する(ショート・コース)** 授業内容：コミュニケーション能力を養う② 事前学修 2.0hr：スイング/パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング/パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
15回	**授業テーマ：「ゴルフ・人とのつきあい方」** 授業内容：非認知能力の向上 事前学修 2.0hr：ゴルフに関する知識・技能の確認、コミニュケーション能力とは 事後学修 2.0hr：ゴルフ・人とのつきあい方をまとめる

スポーツ科学演習 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆実技授業◆ 【コアトレーニング＆リズムタップダンス(動ける身体作り)ベーシック】前学期 火 4 ／水 3
動ける身体とリズム感を身につけたい人向けの講座です。授業では、〇ウォーミングアップとストレッチ　〇コアトレーニングで体幹・姿勢・安定性を強化　〇タップダンスやカスタネットを用いたフラメンコなどの基礎ステップ習得　〇簡単なステップを組み合わせて、みんなで楽しんで踊るセッションを行います。授業の流れは「up&コアトレーニング」→「ダンスムーブメント」→「リラクゼーション」です。ダンス未経験者も安心して参加できます。
●初回火曜 4（4/7）あるいは水曜 3（4/8）に、指定の【教室】で人数調整し名簿を作成いたします（10 名～15 名程度）。授業風景は manaba をご覧ください。初回時に、2 回目の持ち物や集合場所等をご案内します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：リズムの学習を基礎に、多様なダンスの身体の動かし方を習得し、コアトレーニングを通して、健康で美しく動ける身体づくりと意識の向上を目標とします。仲間とコミュニケーションを図り、クラス全体でスキルアップします。
個別目標：①基本的なリズムの取り方や、コア（体の中心軸）を意識した身体の動かし方ができる。
②身体の機能を理解し、自らのボディイメージを作り、活動に活かせる。
③クラスのメンバーと協力し、効果的な学習活動に参加できる。

▌履修条件

定員：10 名～15 名程度
希望者は必ず初回授業に出席してください。初回は、火曜 4（4/7）水曜 3（4/8）に指定教室で行います。
初回に人数調整を行い、明海クラブの入館名簿を作成します。またタップシューズのサイズ合わせも行います。
本授業は、技術を習得する実技授業です。欠席せず、一歩一歩積み重ねながら学んでいきましょう。

▌評価基準・方法

授業への参加姿勢：70 %（毎回の授業に積極的に取り組むこと）
クラス仲間とのコミュニケーション：20 %（協力して学ぶ姿勢やチームワーク）
学習の達成度：10 %（技術の習得や学んだことを実践できるか）
※この比重を基本に、授業全体での取り組みを総合的に評価します。
※授業に前向きに参加し、仲間と一緒に楽しみながら学ぶことが大切です。

▌フィードバック方法

授業中の実技映像を manaba で共有し、振り返りやコメントを通して課題達成をサポートします。
学生同士のフィードバックや教員からのアドバイスを活用し、技術向上に役立てます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （スタジオで仲間同士支え合いながら、課題の身体技術を実際に体験・習得します。 協力しながら学ぶことで、技術だけでなくコミュニケーション能力や表現力も向上します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜、資料配布いたします

▌参考書

適宜、資料紹介いたします

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション：教室でのガイダンス（人数調整）** 授業内容：授業内容を確認し、明海クラブの収容人数に合わせて人数調整。名簿作成、タップシューズサイズ合わせ、リズムの取り方の基礎を実施。 ●中心課題：授業全体の流れを理解し、自分の目標課題を設定する。 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する 事後学修 2.0hr：自分の目標課題を見つける。
2回	**授業テーマ：自分の体と向かい合うエクササイズ理論を習得** 授業内容：Up（準備運動）→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（タップダンス＋カスタネット）→ Down（クールダウン） ●中心課題：明海クラブの設備を利用し、実際に動きながら体の感覚をつかむ。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
3回	**授業テーマ：ストレッチの理論とストレッチポールの使い方を習得** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：ダンスのリズムの基礎を学び、チューブを用いたコアトレーニングを習得する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
4回	**授業テーマ：リズムを身体で刻む方法や身体のパーツの動かし方を習得** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：ジャズリズムの基礎と、ステップ台を使ったコアトレーニングを体感し、動きの精度を高める。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
5回	**授業テーマ：シンプルなリズムで、乗り方と踊り方を学習１（シャッフルステップとフラップ）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：カスタネットとタップダンスの基礎・応用を習得し、スライドボードを使ったコアトレも実践する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
6回	**授業テーマ：シンプルなリズムで、乗り方と踊り方を学習２（連続ターン）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（プラスα技術）→ Down ●中心課題：カスタネット・タップダンスの基礎・応用を習得し、チューブを使ったコアトレーニングで体幹を鍛える。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。

7回	**授業テーマ：シンプルなリズムで、乗り方と踊り方を学習３（タイムステップ）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（プラスα技術）→ Down ●中心課題：カスタネット・タップダンスの基礎・応用を習得し、ステップ台を使って連動した動きを体得する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
8回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する１（基本の動き）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（プラスα技術）→ Down ●中心課題：カスタネット・タップダンスの一連の動きを学び、チューブで体幹の動きを確認する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
9回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する２（連続した動き）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：一連の動きを学び、ステップ台で体の正確な動きを確認する。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
10回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する３（音楽に合わせる）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：基礎の動きを音楽に合わせて踊り、スライドボードで体幹を強化する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
11回	**授業テーマ：ダンススキルを高める１（コンパクトに動く）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（応用技術）→ Down ●中心課題：カスタネット・タップダンスの一連の動きを学び、コンパクトに体を動かす技術を習得する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
12回	**授業テーマ：ダンススキルを高める２（動きの繋ぎに注意）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（プラスα技術）→ Down ●中心課題：ひとつひとつの動きを繋ぎ、流れのあるダンスを体現する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
13回	**授業テーマ：ダンススキルを高める３（全体の動きに抑揚をつける）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：一連の動きに抑揚をつけ、表現力を向上させる。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：できなかった動きのポイントを復習
14回	**授業テーマ：仲間と踊る１（息を合わせる）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：動きの完成度を高め、仲間と合わせる協調性を養う。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：できなかった動きのポイントを復習。
15回	**授業テーマ：仲間と踊る２（チームでお互いに見せ合う）** 授業内容：Up →コアトレ→発表会→ Down ●中心課題：チームごとにダンスを見せ合い、互いに評価し合い、自分の課題と今後の目標を明確にする。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：自分の課題を確認し、今後の目標をみつける。

スポーツ科学演習 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆実技授業◆ 【ストレッチ＆リズムタップダンス（身体感覚向上）ベーシック】前学期 水 4
柔軟でしなやかな身体を作りながら、リズムに乗って踊る楽しさを体験する講座です。授業では、〇身体を整えるストレッチとウォーミングアップ 〇タップダンスやカスタネットを用いたフラメンコなどの基礎ステップ習得　〇簡単なステップを組み合わせて、みんなで楽しんで踊るセッションを行います。授業の流れは「ストレッチ」→「ダンスムーブメント」→「リラクゼーション」です。ダンス未経験者も安心して参加できます。
●初回水曜 4（4/8）に、指定の【教室】で人数調整し名簿を作成いたします（10 名〜15 名程度）。授業風景は manaba をご覧ください。初回時に、2 回目の持ち物や集合場所等をご案内します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：自分の身体のイメージを創り、しなやかで強い身体づくりの基礎を学びます。特にこのクラスでは、多様なダンスの基本的なテクニックを身につけることを重視します。仲間とコミュニケーションを図りながら、楽しみつつスキルアップを目指します。
個別目標：①基本的なダンスのリズムを理解し、リズムに乗ることができる（カスタネットを奏でながら踊るテクニック、タップダンスの基礎を含む）
②体のストレッチやリラクゼーションの方法を理解し、実践でき
③クラスのメンバーと協力し、効果的な学習活動に参加できる。

▌履修条件

定員：10 名〜15 名程度
希望者は必ず初回授業に出席してください。初回は　水曜 4（4/8）に指定教室で行います。
初回に人数調整を行い、明海クラブの入館名簿を作成します。またタップシューズのサイズ合わせも行います。
本授業は、技術を習得する実技授業です。欠席せず、一歩一歩積み重ねながら学んでいきましょう。

▌評価基準・方法

授業への参加姿勢：70 %（毎回の授業に積極的に取り組むこと）
クラス仲間とのコミュニケーション：20 %（協力して学ぶ姿勢やチームワーク）
学習の達成度：10 %（技術の習得や学んだことを実践できるか）
※この比重を基本に、授業全体での取り組みを総合的に評価します。
※授業に前向きに参加し、仲間と一緒に楽しみながら学ぶことが大切です。

▌フィードバック方法

授業中の実技映像を manaba で共有し、振り返りやコメントを通して課題達成をサポートします。
学生同士のフィードバックや教員からのアドバイスを活用し、技術向上に役立てます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （スタジオで仲間同士支え合いながら、課題の身体技術を実際に体験・習得します。 協力しながら学ぶことで、技術だけでなくコミュニケーション能力や表現力も向上します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜、資料配布いたします

▌参考書

適宜、資料紹介いたします

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション：教室でのガイダンス（人数調整）** 授業内容：授業の進め方を確認、明海クラブの収容人数に合わせて名簿作成、タップシューズサイズ合わせ、リズムの取り方の基礎を実施。 ●中心課題：授業への意欲を高め、自分の目標を設定する 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する 事後学修 2.0hr：自分の目標課題を見つける。
2回	**授業テーマ：身体のパーツとストレッチとリズム（1）** 授業内容：Up（準備運動）→リズムバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネット）→ Down ●中心課題：正しい姿勢と足首・腰の柔軟性を意識しながら、明海クラブで実際に動いてみる。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
3回	**授業テーマ：身体のパーツとストレッチとリズム（2）** 授業内容：Up（準備運動）→リズムバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネット）→ Down ●中心課題：ダンスのリズムの基礎を学ぶ。バランスの良い体幹を感じながら動く 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
4回	**授業テーマ：身体のパーツとストレッチとリズム（3）** 授業内容：Up（準備運動）→リズムバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネット）→ Down ●中心課題：ジャズのリズムの基礎を学ぶ。用具を使ったコアトレーニングの方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
5回	**授業テーマ：ダンスムーブメント（1）リズムにのって踊る** 授業内容：Up（準備運動）→リズムバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネット）→ Down ●中心課題：音楽のリズムを感じ、軽やかに体を動かす楽しさを体感する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
6回	**授業テーマ：ダンスムーブメント（2）ステップを覚える** 授業内容：Up（準備運動）→リズムバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネット）→ Down ●中心課題：ステップを意識してリズムに合わせ、動きをつなげる。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。

7回	**授業テーマ：ダンスムーブメント(3)バランスをとる** 授業内容：Up（準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：バランスを意識して、安定した動きと体幹の感覚を高める。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
8回	**授業テーマ：タップダンス＆カスタネットの技術(1)音を出す** 授業内容：Up（準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：タップとカスタネットでリズム感を養い、音楽に合わせて軽やかに動く。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
9回	**授業テーマ：タップダンス＆カスタネットの技術(2)音を出しながら動く** 授業内容：Up（準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：ステップの基本をマスターし、体にリズムを刻む感覚を養う。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
10回	**授業テーマ：タップダンス＆カスタネットの技術(3)動きを繋ぐ** 授業内容：Up（準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：ステップを組み合わせて、流れるような動きを意識する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
11回	**授業テーマ：タップダンス＆カスタネットの技術(4)簡単な一連の動きで踊って** 授業内容：Up（準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：一連の動きをつなげ、全体の流れで踊る感覚を身につける。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
12回	**授業テーマ：ダンス・コンビネーション(1)音楽を通して踊る** 授業内容：Up（準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：音楽を通して、リズムや表現力を意識しながら動く。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
13回	**授業テーマ：ダンス・コンビネーション(2)友達と合わせて踊る** 授業内容：Up（準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：ペアやグループで息を合わせ、協調性と表現力を高める。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
14回	**授業テーマ：ダンス・コンビネーション(3)演技を見せあう** 授業内容：Up（準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：自分の踊りを披露し、仲間の演技を観察して学ぶ。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：できなかった動きのポイントを復習。
15回	**授業テーマ：リズム感が良くなりましたか？ 表現力がつきましたか？** 授業内容：Up →発表会→ Down ●中心課題：ダンス作品を見せ合い、自己評価と他者評価を通じて成長を確認する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：自分の課題を確認し、今後の目標をみつける。

スポーツ科学演習 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

杉浦　雄策（すぎうら　ゆうさく）

▌授業の概要

（Sport in Life に挑戦）
健康管理の手段および生涯スポーツとしての身体活動について、考え実践する。身体活動（スポーツ）を、日常生活の中に採り入れる工夫を個々で行なう。「いかに楽しんで、身体を動かすか」によって、意外なほど簡単に身体活動（スポーツ）を実践できることを体得し、今後の健康・体力づくりに活かしていく。なお授業は、アカディミックアプローチによる interactive な対話形式で行なう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：健康・体力づくりのひとつの手段として、自分に合った運動種目を選定し、実践する。身体を動かすことの達成感や新しい自分とので出会いを経験する。また授業を通じて、相互の協働関係を築いていく。
個別目標：個々に応じた「運動習慣の確立」を目指す。

▌履修条件

ガイダンスに出席し、教員の指示に従うこと（人数調整を行なうので必ず出席すること）。集合教室は、別途指示する。
履修登録修正期間の登録は、原則認めない。但し、特段の事情のある者は、担当教員に直接コンタクトをとること。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。
健康スポーツに関する基本的な知識や技能の習得とそれに基づく実践の完成度 (50%) およびコミュニケーション能力 (50%) を総合的に判断する。

▌フィードバック方法

演習時の課題に対する指導、次回演習冒頭での全体コメントによる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業資料を活用した対話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

杉浦 雄策 日常生活に活かすスポーツ科学リテラシー（ライフ出版社）

▌参考書

必要に応じて資料を配付する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の具体的な進め方 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、その内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：授業計画について、確認する。
2回	**授業テーマ：「健康スポーツ」について考える。** 授業内容：健康体力 事前学修 2.0hr：「健康・体力」について、興味をもち、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツとのつきあい方」について、自分の目標を明確にする。
3回	**授業テーマ：「運動種目①」について、学ぶ。** 授業内容：一人で実践するスポーツとは 事前学修 2.0hr：「一人で実践するスポーツ」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「運動種目の特性」について、理解し、まとめる。
4回	**授業テーマ：「運動種目②」ついて、学ぶ。** 授業内容：複数で実践するスポーツとは 事前学修 2.0hr：「複数で実践するスポーツ」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「運動種目の特性」について、理解し、まとめる。
5回	**授業テーマ：「日常における活動量」を知る。** 授業内容：身体活動とは 事前学修 2.0hr：「身体活動」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
6回	**授業テーマ：「日常における活動量」を知る。** 授業内容：生活活動とは 事前学修 2.0hr：「生活活動」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
7回	**授業テーマ：「健康スポーツ種目の実践①」を考える。** 授業内容：適切な強度・時間・頻度とは 事前学修 2.0hr：「スポーツ種目」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
8回	**授業テーマ：「健康スポーツ種目の実践②」を考える。** 授業内容：適切な強度・時間・頻度とは 事前学修 2.0hr：「スポーツ種目」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
9回	**授業テーマ：「積極的に、動く①」を考える。** 授業内容：アプリケーションソフトを使って個人の記録をとる① 事前学修 2.0hr：「身体活動量」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
10回	**授業テーマ：「積極的に、動く②」を考える。** 授業内容：アプリケーションソフトを使って個人の記録をとる② 事前学修 2.0hr：「身体活動量」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
11回	**授業テーマ：「アプリケーションソフトを使って、動く①」を考える。** 授業内容：アプリケーションソフトを使って、グループで記録をとる① 事前学修 2.0hr：「身体活動量」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「「アプリケーションソフトを使って、スポーツ・運動」を実践する。

12回	**授業テーマ：「アプリケーションソフトを使って、動く②」を考える。** 授業内容：アプリケーションソフトを使って、グループで記録をとる② 事前学修 2.0hr：「身体活動量」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「アプリケーションソフトを使って、スポーツ・運動」を実践する。
13回	**授業テーマ：「フィジカルリテラシー①」を考える。** 授業内容：体育とは 事前学修 2.0hr：「フィジカルリテラシー」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「フィジカルリテラシー」を実践する。
14回	**授業テーマ：「フィジカルリテラシー②」を考える** 授業内容：スポーツとは 事前学修 2.0hr：「フィジカルリテラシー」について、深める 事後学修 2.0hr：「フィジカルリテラシー」を実践する。
15回	**授業テーマ：「スポーツとのつきあい方」について学ぶ。** 授業内容：Sport in Life に挑戦 事前学修 2.0hr：「スポーツの意義」「健康・体力」について、再考する。 事後学修 2.0hr：スポーツと健康について、まとめる。

スポーツ科学演習 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆実技授業◆【コアトレーニング＆リズムタップダンス（動ける身体作り）リズムセッション】後学期 火 4 ／水 3
動ける身体とリズム感を磨き、踊る楽しさを深める講座です。授業では、〇ウォーミングアップとストレッチ　〇コアトレーニングで体幹・姿勢・安定性を強化　〇タップダンスやカスタネットを用いたフラメンコなどのステップ習得　〇学期の後半には、学んだ動きを組み合わせて、みんなで作品として踊るセッションを行います。授業の流れは「up&コアトレーニング」→「ダンスムーブメント」→「リラクゼーション」です。どなたでも安心して参加できます。
●初回火曜 4（9/15）あるいは水曜 3（9/16）に、指定の【教室】で人数調整し名簿を作成いたします（10 名～15 名程度）。授業風景は manaba をご覧ください。初回時に、2 回目の持ち物や集合場所等をご案内します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：リズム感を活かし、多様なダンスの身体表現を習得するとともに、コアトレーニングで体幹・姿勢・安定性を強化し、動ける身体と表現力をさらに高めます。学んだ動きを組み合わせて、作品として踊る楽しさを体験します。仲間と協力しながら、クラス全体でスキルアップを目指します。
個別目標：①基本的なリズムの取り方やコア（体の中心軸）を意識した動きができる。
②身体の機能を理解し、自らのボディイメージを作り、表現に活かせる。
③クラスのメンバーと協力し、作品として踊る活動を通して学習できる。

▌履修条件

定員：10 名～15 名程度
希望者は必ず初回授業に出席してください。初回は、火曜 4（9/15）水曜 3（9/16）に指定教室で行います。
初回に人数調整を行い、明海クラブの入館名簿を作成します。またタップシューズのサイズ合わせも行います。
本授業は、技術を習得する実技授業です。欠席せず、一歩一歩積み重ねながら学んでいきましょう。

▌評価基準・方法

授業への参加姿勢：70 %（毎回の授業に積極的に取り組むこと）
クラス仲間とのコミュニケーション：20 %（協力して学ぶ姿勢やチームワーク）
学習の達成度：10 %（技術の習得や学んだことを実践できるか）
※この比重を基本に、授業全体での取り組みを総合的に評価します。
※授業に前向きに参加し、仲間と一緒に楽しみながら学ぶことが大切です。

▌フィードバック方法

授業中の実技映像を manaba で共有し、振り返りやコメントを通して課題達成をサポートします。
学生同士のフィードバックや教員からのアドバイスを活用し、技術向上に役立てます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （スタジオで仲間同士支え合いながら、課題の身体技術を実際に体験・習得します。 協力しながら学ぶことで、技術だけでなくコミュニケーション能力や表現力も向上します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜、資料配布いたします

▌参考書

適宜、資料紹介いたします

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション：教室でのガイダンス（人数調整）** 授業内容：授業内容の確認、明海クラブ収容人数に合わせた人数調整、名簿作成、タップシューズのサイズ確認、リズムの取り方の基礎確認する。 ●中心課題：後期の到達目標を明確にし、自分の課題を再設定する。 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する 事後学修 2.0hr：自分の目標課題を見つける。
2 回	**授業テーマ：自分の体と向き合うエクササイズ理論の再確認** 授業内容：Up（準備運動）→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（基礎タップ・カスタネット）→ Down ●中心課題：明海クラブの設備を活用し、身体の軸と重心を意識して動く。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
3 回	**授業テーマ：ストレッチ理論とリズム** 授業内容：Up（準備運動）→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（基礎タップ・カスタネット）→ Down ●中心課題：ダンスのリズムの基礎と応用を理解し、チューブを使ったコア強化を行う。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
4 回	**授業テーマ：リズムを身体で刻む方法や身体のパーツの動かし方をチェック** 授業内容：Up（準備運動）→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（基礎タップ・カスタネット）→ Down ●中心課題：ジャズリズムの強弱を体で表現し、ステップ台を使ったコア連動を体得する。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
5 回	**授業テーマ：いろいろなリズムで、乗り方と踊り方を学習 1（シャッフルステップとフラップ）** 授業内容：Up（準備運動）→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（基礎タップ・カスタネット）→ Down ●中心課題：基礎動作を着実にできるように、スライドボードで下半身の安定性を高める。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。

6回	**授業テーマ：いろいろなリズムで、乗り方と踊り方を学習２(連続ターンと体幹の安定)** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(基礎タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：連続ターンを安定させ、チューブを用いた体幹強化を行う。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
7回	**授業テーマ：いろいろなリズムで、乗り方と踊り方を学習３(タイムステップの深化)** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：リズムの正確性とスピードの安定を目指す。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
8回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する１(セビジャーナスを踊る)** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：基礎から応用へ発展させ、音と動きを一致させる。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
9回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する２(フレンド・ライク・ミーで踊る)** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：カスタネットおよびタップダンスの一連の動きを学ぶ。用具を使ってコアトレーニング(ステップ台)。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
10回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する３(動きの繋がりをスムーズ)** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：音楽との一体感を高め、表現力を向上させる。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
11回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する４(コンパクトに動く技術)** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：無駄のない動きで音を明確に出す。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
12回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する５(作品のまとまり)** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：動きの間を意識し、滑らかな構成に仕上げる。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
13回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する６(抑揚と構成美)** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：作品全体に強弱・緩急をつける。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
14回	**授業テーマ：仲間と作品を踊る** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：チームでの完成度を高める。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：できなかった動きのポイントを復習。
15回	**授業テーマ：チーム発表・相互評価** 授業内容：Up →コアトレ→発表会→ Down ●中心課題：作品を発表し、相互評価を通して今後の課題を明確にする。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：自分の課題を整理し次の目標を設定する。

スポーツ科学演習 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆実技授業◆ 【ストレッチ＆リズムタップダンス（身体感覚向上）リズムセッション】後学期 水 4
柔軟でしなやかな身体を作りながら、リズムに乗って踊る楽しさをさらに深める講座です。授業では、〇身体を整えるストレッチとウォーミングアップ　〇タップダンスやカスタネットを用いたフラメンコなどのステップ習得　〇学期の後半には、学んだ動きを組み合わせて、みんなで作品として踊るセッションを行います。授業の流れは「ストレッチ」→「ダンスムーブメント」→「リラクゼーション」です。どなたでも安心して参加できます。
●初回水曜 4（9/16）に、指定の【教室】で人数調整し名簿を作成いたします（10 名～15 名程度）。授業風景は manaba をご覧ください。初回時に、2 回目の持ち物や集合場所等をご案内します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：自分の身体のイメージを創り、しなやかで強い身体づくりの基礎をさらに発展させます。多様なダンスの基本テクニックを活かし、学んだ動きを組み合わせて、作品として踊る楽しさを体験します。仲間と協力しながら、より表現力豊かにスキルアップを目指します。
個別目標：①基本的なダンスのリズムを理解し、リズムに乗って踊ることができる（カスタネットを奏でながらの演奏・タップダンスを含む）。
②体のストレッチやリラクゼーションの方法を理解し、実践できる。。
③クラスのメンバーと協力し、作品として踊る活動を通して学習できる。

▌履修条件

定員：10 名～15 名程度
希望者は必ず初回授業に出席してください。初回は、水曜 4（9/16）に指定教室で行います。
初回に人数調整を行い、明海クラブの入館名簿を作成します。またタップシューズのサイズ合わせも行います。
本授業は、技術を習得する実技授業です。欠席せず、一歩一歩積み重ねながら学んでいきましょう。

▌評価基準・方法

授業への参加姿勢：70 %（毎回の授業に積極的に取り組むこと）
クラス仲間とのコミュニケーション：20 %（協力して学ぶ姿勢やチームワーク）
学習の達成度：10 %（技術の習得や学んだことを実践できるか）
※この比重を基本に、授業全体での取り組みを総合的に評価します。
※授業に前向きに参加し、仲間と一緒に楽しみながら学ぶことが大切です。

▌フィードバック方法

授業中の実技映像を manaba で共有し、振り返りやコメントを通して課題達成をサポートします。
学生同士のフィードバックや教員からのアドバイスを活用し、技術向上に役立てます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （スタジオで仲間同士支え合いながら、課題の身体技術を実際に体験・習得します。 協力しながら学ぶことで、技術だけでなくコミュニケーション能力や表現力も向上します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜、資料配布いたします

▌参考書

適宜、資料紹介いたします

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション：教室でのガイダンス（人数調整）** 授業内容：授業内容の確認、明海クラブ収容人数に合わせた人数調整、名簿作成、タップシューズのサイズ確認、リズムの取り方の基礎確認。 ●中心課題：後期の到達目標を明確にし、自分の課題を再設定する。 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する 事後学修 2.0hr：自分の目標課題を見つける。
2 回	**授業テーマ：身体のパーツとストレッチとリズム（1）** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス・カスタネット）→ Down ●中心課題：明海クラブの設備を活用し、身体の軸と重心を意識して動く。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
3 回	**授業テーマ：身体のパーツとストレッチとリズム（2）** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス・カスタネット）→ Down ●中心課題：ダンスのリズムを理解し、体幹の安定感を高める運動をする 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
4 回	**授業テーマ：身体のパーツとストレッチとリズム（3）** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス・カスタネット）→ Down ●中心課題：ジャズリズムの強弱を体で表現し、ステップ台を使ったコア連動を体得する。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
5 回	**授業テーマ：ダンスムーブメントで軽やかに（1）リズムにのって** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス・カスタネット）→ Down ●中心課題：基礎動作を応用へ発展させ、スライドボードで下半身の安定性を高める。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
6 回	**授業テーマ：ダンスムーブメントで軽やかに（2）ステップを使って** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス・カスタネット）→ Down ●中心課題：連続ターンを安定させ、チューブを用いた体幹強化を行う。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。

7回	**授業テーマ：ダンスムーブメントで軽やかに(3)バランスを使って** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：バランスを意識し、安定した動きと体幹の感覚を向上させる 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
8回	**授業テーマ：タップ&カスタネットで軽やかに(1)技術を正確に** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：タップとカスタネットでリズム感を養い、音楽と体を一体化する 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
9回	**授業テーマ：タップダンス&カスタネットで軽やかに(2)ステップを体に** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：ステップをマスターし、体にリズムを刻む感覚を身につける 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
10回	**授業テーマ：タップダンス&カスタネットで軽やかに(3)動きをつないで** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：ステップを連結し、滑らかで表現力のある動きをつくる 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
11回	**授業テーマ：タップダンス&カスタネットで軽やかに(4)一連の動きで踊って** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：一連の動きを組み合わせ、全体の流れで踊る楽しさを体感する 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
12回	**授業テーマ：ダンス・コンビネーション(1)音楽を通して踊る** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：音楽に合わせ、リズム・表現力・体の動きを連動させる 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
13回	**授業テーマ：ダンス・コンビネーション(2)友達と合わせて踊る** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：ペアやグループで息を合わせ、協調性と表現力を高める 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
14回	**授業テーマ：ダンス・コンビネーション(3)演技を見せあう** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：自分の踊りを仲間に見せ、フィードバックを受けて表現力を磨く 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：できなかった動きのポイントを復習。
15回	**授業テーマ：チーム発表・相互評価** 授業内容：Up →発表会→ Down ●中心課題：ダンス作品を見せ合い、自己評価と他者評価を通じて成長を確認する 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：自分の課題を整理し次の目標を設定する。

ボランティア講義

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

小川 正純（おがわ まさずみ）

▌授業の概要

ボランティアに興味はあるが、何をすればいいのかわからない、本当に意味があるのか不安、と感じたことはありませんか。本講義では、身近なボランティアから海外での活動までを題材に、ボランティアの意義を考えます。本講義は正解のボランティアを教える授業ではありません。グループワーク、プレゼンテーションを通じて、社会とどう関わるかを、自分で考え続けるための視点を身につける授業です。ボランティアとは誰のための行為なのか、善意は本当に相手のためになっているのか、という問いを持ち続けながら学びます。この講義は「国際貢献論」の内容と一部関連・重複する部分があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：ボランティアのあり方と意義、実際にボランティアをする際に自分が考えて行うべき知識・スキルを身につける。

個別目標：1．ボランティアの意義や役割、社会との関係を理解し、説明できる。

2．ボランティアは誰のために何をするのか、社会とどう向き合うべきかを考え、実践を想定しながらボランティアを行う視点を養うことができる。

グループワークで他者と協力して課題に取り組み、気づきを得るとともに、自分の考えを説明できる。最終プレゼンテーションでは、社会課題を整理し、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。

▌履修条件

1．国内外のボランティアや社会課題に関心を持ち、学ぶ意欲があること。
2．グループワークや発表に、積極的に挑戦する意欲があること。
3．専門知識や経験は不要であり、初めて学ぶ学生も歓迎する。

▌評価基準・方法

グループワーク、プレゼンテーションへの関与度合い 45 %、毎回のレポート 45 %、授業における参加姿勢 10 %を基に総合的に評価する。考えようとする姿勢を重視し、グループ内での役割分担や協力姿勢も評価する。
原則として5分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

授業時間内での総評及び manaba の個別指導（コレクション）などでフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （ただし、プレゼンテーション資料の作成及び発表は PC の利用が好ましい。）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション：ボランティアとは何かについて** 授業内容：講義の目的、授業、到達目標、評価方法の説明とともに、ボランティアの定義、必要条件、どのような活動があるかについて解説し、授業テーマについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：ボランティアの関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。課題レポート作成。
2回	**授業テーマ：ボランティアの歴史と社会との関わり** 授業内容：日本におけるボランティアの歴史とボランティアと社会の関わり、大学生としてできるボランティアの活動について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、考えを言語化する。 事前学修 2.0hr：ボランティアの歴史について関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
3回	**授業テーマ：スーパーボランティアについて学ぶ** 授業内容：スーパーボランティア尾畠春夫さんの行動や生き方について解説した後、なぜ人は無償で他者を助けるのか、私たち自身にできる社会への関わり方とは何かについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：尾畠春夫さんについて関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
4回	**授業テーマ：援助する前に考えよう** 授業内容：ワークショップを通して、開発途上国でものやお金を送る援助、援助が現地に与える影響等について考える。その後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、他者の視点と比較する。 事前学修 2.0hr：国際協力を行うボランティアの関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
5回	**授業テーマ：阪神・淡路大震災と東日本大震災のボランティア** 授業内容：阪神・淡路大震災と東日本大震災を契機とした日本におけるボランティア活動の広がりについて解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：阪神・淡路大震災と東日本大震災のボランティアについて関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
6回	**授業テーマ：地方創成・地方活性化のボランティア** 授業内容：地域・地方の現状と課題、地方創生においてボランティアや外部人材が果たす役割について解説した後、支援する側／される側ではなく、地域と共に生きる関係性（共助）の重要性について意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：地方創成・地方活性化のボランティアについて関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
7回	**授業テーマ：国際協力とボランティア** 授業内容：国際協力やボランティアが、現地社会・参加者本人・国際社会にどのような影響を与えるかについて解説した後、授業テーマについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：国際協力を行うボランティアの関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。

8回	**授業テーマ：人の人生・尊厳とボランティア** 授業内容：海外で活動するボランティアの事例から、他者の人生・尊厳と向き合うことの意味を考える。授業テーマについてグループディスカッションを行い、考えを言語化する。 事前学修 2.0hr：国際協力を行うボランティアの関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
9回	**授業テーマ：JICA 海外協力隊について** 授業内容：JICA 主催の JICA 海外協力隊セミナーを実施し、海外協力隊の事業概要、海外協力隊経験者体験談を聞き、海外協力隊がどのようなものかについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：JICA 海外協力隊の関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
10回	**授業テーマ：ボランティア・コーディネーション** 授業内容：ワークショップを通してボランティア・コーディネーションの重要性と、「される側から見たボランティア」について考える。その後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、多様な意見に触れる。 事前学修 2.0hr：ボランティア・コーディネーションについての関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
11回	**授業テーマ：在日外国人を支援するボランティア** 授業内容：日本にいる外国人を支援するボランティアに関する課題及び支援の必要性と意義について解説した後、授業テーマについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：在日外国人の現状についての関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
12回	**授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの準備** 授業内容：開発途上国でボランティア活動をする際の支援内容について学ぶ。グループワークにより支援内容と裨益効果を考え、第 14 回、15 回の授業で発表するプレゼンテーションの準備を行う。 事前学修 2.0hr：関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーション作成の準備。講義の復習。レポート作成。
13回	**授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの作成** 授業内容：グループワークによりプレゼンテーション資料を作成する。発表資料は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。発表資料の作成により、自分の意見を表現する力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。 事後学修 2.0hr：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。
14回	**授業テーマ：プレゼンテーション①** 授業内容：プレゼンテーションは第 14 回と第 15 回の授業で分けて行う。発表は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。自分の意見を発表することにより、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
15回	**授業テーマ：プレゼンテーション②** 授業内容：第 14 回授業に続き、プレゼンテーションと意見交換を行う。発表は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。自分の意見を発表することにより、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。 事後学修 2.0hr：授業全体のふりかえり。レポート作成。

人間形成ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

伊藤　直樹 (いとう　なおき)

▌授業の概要

本講義は、対話し、議論し、発表する授業です。映画や漫画や自分たちで決めたテーマを題材にして、それについてグループでディスカッションし、その結果をプレゼンテーションしたり、文章にしたりします。
受講生は最初は初対面ですが、他学部であっても、だんだんと知り合いになり、テーマをとおしての議論も深まります。
また、他人に向けて問いを発するさいに、水平的にのみ問うのではなく、垂直的に、つまり深掘りし哲学的に問うことにも注意を払います。機を見て哲学的な話題を取りあげます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：**M1 ◎/M2 ◎/M3 ○**）

一般目標：対話する力を養うことです。他人の話しを聞き、それに対して自分の考えを話す。そして自分の考え方を相対化し、深めてゆくことです。
　　そしてそれを文章にする。
個別目標：質問する力をつけることです。人の話を聞くときに、ただ聞くのではなく、質問するつもりで聞く。
　　そしてその質問を自分にも振り向けます。すると、考え方が深まります。そしてそれを文章にする。それが「考えること」になるのです。
　　この作業をあるテーマでおこなったり、「映画」でおこなったりします。

▌履修条件

ディスカッションし、対話し、プレゼンテーションすることが授業内容です。言語は日本語を用いますので、それに十分な日本語力があることが条件です。また人前で話すことになりますので、それができることも条件です。ただ、人前で話すのがあまり得意でない人は、この授業をとおして、それを身に付けるというふうに考えてもよいでしょう。

▌評価基準・方法

グループ討議報告レポート 60 %、授業貢献度 40 %です。
レポートは、課題として出されたものの 2 ／ 3 以上を提出しなければ、カウントされません。
「授業貢献度」とは、出席や授業での討論への自発的参加などです。「聞く」だけの受け身的態度では評価は下がってしまいます。
また、4／5以上の出席がないと単位は取れません。
課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌フィードバック方法

manaba を用いておこないます。
適宜、前回の授業を取り上げて、再び議論をします。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループ討議・発表）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文章は PC での作成を推奨しています。）

▌教科書

教科書として使用しませんが、次の書籍を参考にします。
梶谷真司『考えるとはどういうことか』幻冬舎新書
梶谷真司『書くとはどういうことか』飛鳥新社

▌参考書

関連する書籍、作品などは授業中に紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：講義内容の説明** 授業内容：講義内容について説明します。単位の取得の条件、授業の展開、心構えなどについての説明です。 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで、本講義に期待する内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：議論することなどについて、自分なりのイメージをつくる。
2回	**授業テーマ：自己紹介と質問ゲーム：自己紹介を質問ゲームを使って行います。** 授業内容：自己紹介を、質問ゲームで行います。紹介者に質問をしますが、よりよい質問のみが、紹介者によって答えられます。どのような質問をすれば、答えてもらえるかを考えながら質問します。 事前学修 2.0hr：自己紹介する内容を考えておく 事後学修 2.0hr：コメントを書く
3回	**授業テーマ：哲学対話についての説明：哲学対話とはどのようなものかを説明します。またレポートの書き方についても説明します。** 授業内容：哲学対話について、紹介ビデオを観ながら説明します。哲学対話のテーマを決めます。 残った時間で、レポートの書き方についても説明します。 事前学修 2.0hr：哲学対話について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。
4回	**授業テーマ：第 1 回「哲学対話」：設定されたテーマについて、みなで議論します。** 授業内容：前回決めた哲学対話のテーマを、問いのかたちにし、それについて議論します。 事前学修 2.0hr：テーマについて予め、自分なりの考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：議論したテーマについてエッセイ・レポートを書く
5回	**授業テーマ：前回の哲学対話の内容を文章にします。** 授業内容：文章を書くとはどういうことかを説明した上で、前回の哲学対話の内容を文章にする作業をします。 事前学修 2.0hr：テーマについて予め、自分なりの考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：テーマについてのレポートを仕上げます。
6回	**授業テーマ：あるテーマについてレポートを作成する** 授業内容：課されたテーマについてレポートを作成します。 事前学修 2.0hr：テーマについてあらかじめ自分なりの考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：テーマについてのレポートを仕上げる
7回	**授業テーマ：映画を観て、議論する　第 1 回：議論の題材となる映画を観ます。** 授業内容：映画を観て議論する作業をおこないます。 第 1 回目は、議論するテーマを示したうえで、映画鑑賞をおこないます。 事前学修 2.0hr：映画についての自分なりのイメージをもっておく 事後学修 2.0hr：感想シートの記入

8回	**授業テーマ：映画を観て、議論する第１回続き：映画の続きを観ます。** 授業内容：前回の映画鑑賞の続きです。 すこし時間が余りますので、映画の内容についておさらいします。 事前学修 2.0hr：前回までの映画内容の確認 事後学修 2.0hr：設定されたテーマについて考えておく
9回	**授業テーマ：映画を観て、議論する。第１回の続きです。：設定されたテーマについて議論します。** 授業内容：予め与えられていたテーマに沿って、映画について議論します。 事前学修 2.0hr：議論するテーマについて考えておく 事後学修 2.0hr：議論内容についての報告レポート作成
10回	**授業テーマ：ディベート：議論をディベート形式で行います。** 授業内容：ディベートを行います。 ディベートは、予め、賛成／反対の立場を決めたうえで、その立場から議論するものです。 事前学修 2.0hr：設定されたテーマについて考えておく 事後学修 2.0hr：議論内容についての報告レポート作成
11回	**授業テーマ：映画を観て、議論する第２回：映画鑑賞** 授業内容：映画を観て議論する作業をおこないます。 今回も、議論するテーマを示したうえで、映画鑑賞をおこないます。 事前学修 2.0hr：映画について自分なりのイメージをもっておく 事後学修 2.0hr：感想シートの記入
12回	**授業テーマ：映画を観て、議論する第２回続き：前回の映画の続きを観る** 授業内容：前回の映画鑑賞の続きです。 すこし時間が余りますので、映画の内容についておさらいします。 事前学修 2.0hr：設定されたテーマについて考えておく 事後学修 2.0hr：感想シートの記入
13回	**授業テーマ：映画を観て、議論する第２回：設定されたテーマについて議論する** 授業内容：予め与えられていたテーマに沿って、映画について議論します。 すこし時間を残して、次回の哲学対話のテーマを決めます。 事前学修 2.0hr：設定されたテーマについて考えておく 事後学修 2.0hr：テーマについてのレポート
14回	**授業テーマ：第２回「哲学対話」：設定されたテーマについてみなで議論します。** 授業内容：決めてあったテーマについて議論をします。 事前学修 2.0hr：あらかじめテーマについて考えておきます 事後学修 2.0hr：テーマについてのレポートを書く
15回	**授業テーマ：レポート講評会：前回書いたレポートを発表し、みなで講評します。** 授業内容：前回のテーマについてのレポートをみんなでもちより、講評会をします。 事前学修 2.0hr：前回書いたレポートを発表できるようにしておきます 事後学修 2.0hr：感想シートの提出

人間形成ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

樋口　倫子 (ひぐち　のりこ)

▌授業の概要

【対話で学ぶピアサポート】
このゼミナールでは、ピアサポーターに求められる基礎的な関わり方として、傾聴および省察に着目し、対人支援における基本姿勢を学ぶことを目的とします。ピアサポートとは、年齢や立場、経験などにおいて比較的近い立場にある人同士が、対等な関係のもとで互いに支え合う実践を指します。専門職による支援とは異なり、「援助する側／される側」という固定的な役割分担ではなく、相互性や共感、経験の共有を基盤とする点に特徴があります。具体的には、他者の語りを評価や解釈を加えずに受け止めること、自身および相手の感情や経験を振り返り言語化すること、助ける・助けられるという一方向的関係ではなく、相互性を基盤とした関係性として支援を捉えることを学びます。本ゼミでは、こうしたピアサポートの基礎的理解と実践的態度の形成を目指します。ここでは、専門的知識の習得そのものよりも、日常の中にあふれている支援場面における姿勢や関わり方、そして気づきのプロセスを重視します。対話を通して生まれる小さな変化や揺らぎを丁寧に振り返ることを通して、他者とともにある在り方を探究していきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：対話的姿勢に基づくピアサポートの理論と実践を統合し、他者との相互性を尊重しながら、大学という場において支え合いを創出できる基礎的な実践力を身につける。
個別目標：・傾聴・リフレクティング・オープンダイアローグの基本姿勢を説明できる。
・感情・身体感覚・内的対話に気づき、それを言語化できる。
・「助ける／助けられる」という一方向的関係ではなく、相互的関係として支援を捉えることができる。
・困難場面においても、不確かさにとどまりながら対話を継続する態度を示せる。
・学内資源や合理的配慮の視点を踏まえ、必要に応じて「つなぐ」判断ができる。
・小規模なピアサポート企画を立案・実践し、そのプロセスを省察できる。

▌履修条件

他者と共に学習し合う雰囲気を工夫できること。不得意な場合は、必ず相談のこと(一緒に考えます)。
履修希望者が多数の場合は、履修動機をもとに受講者を決定します(最大受講人数 15 名程度)。受講を希望する者は、第 1 回の講義に必ず出席してください(初回に人数調整を行います)。なお、本ゼミでは時間外の課外活動への参加が必要となります。
また、本講義は、多様な背景や特性をもつ履修者が共に学ぶことを前提としています。学修上の困難さがある場合には、個人の努力のみで解決を求めるのではなく、学修環境や参加方法を調整する合理的配慮を行います。配慮を希望する場合は、事前に担当教員または障がい学生支援室に相談すること。

▌評価基準・方法

本科目では、学修の過程と省察を重視し、ラーニングポートフォリオを用いて評価を行う。
各回のリフレクションや最終回の講義での統合的振り返りをもとに、対話を通して形成された学びを総合的に評価する。
あわせて、自己評価および授業への参加状況を評価に含める。

▌フィードバック方法

講義終了時の質疑応答、次回講義冒頭での課題についての全体ダイアローグとコメントにより実施します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Think-Pair-Share Think-Group-Share　フィールドワーク　ダイアローグ　リフレクティング）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

なし

▌参考書

講義内で、適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーションと学習環境づくり** 授業内容：・このゼミの目的・進め方の共有 ・安心して話すためのルール確認 ・ミニ・リスニング体験(導入) 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、印象に残った言葉を拾う。 事後学修 2.0hr：今日の授業で、安心して話せたもしくは話しにくかった場面を振り返り、感じたことを記述する。
2回	**授業テーマ：「聴く」とは何か** 授業内容：・傾聴の基本 ・「聞く」と「聴く」の違い ・リスニングワーク① 事前学修 2.0hr：「聴いてもらえた」と感じた経験を思い出し、良かった点を整理する。 事後学修 2.0hr：ワークで難しかった点・できた点を整理し、気づきを記述する。
3回	**授業テーマ：大学におけるピアサポート** 授業内容：・大学での実践例 ・専門職支援との違い ・ピアサポートの意義と限界 事前学修 2.0hr：学内で学生同士が支え合っている場面を想像し、知っている点・知らない点を書く。 事後学修 2.0hr：ピアサポートと専門職支援の違い、大学で行う意味を整理する。他大学のピアサポート事例を調べる。
4回	**授業テーマ：感情に注目して聴く** 授業内容：・事実と感情を区別する ・感情・身体感覚への気づき ・リスニングワーク②(感情から期待や要求を明確にする) 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読む。最近の出来事を一つ選び、事実と気持ちを分けて書いてみる。 事後学修 2.0hr：感情から期待や要求を明確にする聴き方を試し、レポートにまとめる。

5回	**授業テーマ：リフレクティング(会話に関する会話)** 授業内容：・内的会話と外的会話 ・話す・聴くを分ける ・リフレクティングワーク 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：リフレクティングの体験をまとめる。
6回	**授業テーマ：当事者性と対等性** 授業内容：・「同じ立場」とは何か ・分かったつもりの危うさとわからないを深める力 ・わかったつもりのダイアローグ 事前学修 2.0hr：「わかる」と言われ違和感の経験を振り返り、まとめてくる。 事後学修 2.0hr：当事者性のメリット・難しさ、対等な関係について整理する。
7回	**授業テーマ：中間リフレクション** 授業内容：前半の学びを Think-Pair-Share で言語化する。 これまでの学びの整理／変化の振り返り／リフレクティング② リフレクティング・トークの気づきを、全体でシェアする。 事前学修 2.0hr：第 1 ～ 6 回の manaba のリフレクションを読み返し、自分の変化を見つける。 事後学修 2.0hr：ピアサポートの基本姿勢や聴き方・関わり方の変化と今後の課題をまとめる。
8回	**授業テーマ：困ったときの対応とつなぎ** 授業内容：・一人で抱え込まない ・相談と連携 ・学内資源の活用 事前学修 2.0hr：困ったとき誰に相談してきたかを振り返る。 事後学修 2.0hr：相談・連携についての気づきをまとめる。
9回	**授業テーマ：支援者のセルフケア** 授業内容：・感情労働とは ・こころのセルフケア(レジリエンスとストレスマネジメント)の理論と実践 ・セルフワークやペアワークで、ストレスマネジメントを体験する。 事前学修 1.5hr：これまでに、こころのセルフケアとして、自分なりにどのようなことをやってきたかを振り返る。 事後学修 2.5hr：こころのセルフケアを 1 週間続けてみる(トライアル)。その結果についてまとめる。
10回	**授業テーマ：２つの問題対処** 授業内容：・2 種類の問題対処力(ポジティヴ・ケイパビリティとネガティヴ・ケイパビリティ)について理解する。 ・ポジティヴ・ケイパビリティによる問題対処法について、セルフワークを通して身に着ける。 ・ネガティヴ・ケイパビリティによる問題対処法について、ダイアローグを通して、考える。 事前学修 1.5hr：ポジティヴ・ケイパビリティとネガティヴ・ケイパビリティに関する資料を事前に読み、疑問点を明らかにしてくる。 事後学修 2.5hr：ポジティヴ・ケイパビリティとネガティヴ・ケイパビリティを日常の中で活用し、その事例についてまとめる。
11回	**授業テーマ：オープンダイアローグ** 授業内容：・オープンダイアローグの基本的考え方(概要) ・「答えを出さない」「不確かさにとどまる」姿勢 ・ミニ・ダイアローグ体験(話す人／聴く人／観察者) 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：今日の対話で印象に残った「沈黙」や「言葉」を振り返り、オープンダイアローグ的な聴き方についての気づきを記述する。
12回	**授業テーマ：障がいと合理的配慮** 授業内容：・公正な社会(差別や抑圧のない社会)と多様性尊重社会について考える。 ・新しい社会における障害支援やピア・サポートを考える。 事前学修 1.5hr：日本や世界の多様性尊重社会の取り組みや背景について調べてくる。 事後学修 2.5hr：新しい社会における障害支援やピア・サポートに関する考えをまとめる。
13回	**授業テーマ：ピアサポートを実践する①** 授業内容：・これまでの学びを踏まえ、学内でのピアサポート企画を立案する。 ・目的・対象・方法・ルールを検討する。 ・合理的配慮の視点を含めた参加設計を考える。 ・グループ間でリフレクティングを行い、改善点を整理する。 事前学修 2.0hr：これまでの学びを振り返り、実践したいテーマを考えてくる。 事後学修 2.0hr：企画の強みと改善点を整理し、次回に向けた目標をまとめる。
14回	**授業テーマ：ピアサポートを実践する②** 授業内容：・ピアサポート企画を実践する。 ・実践後、リフレクティングを行う。 ・対話の中で起きたことを共有し、学びを統合する。 事前学修 2.0hr：自分の役割を確認し、想定される困難を整理する。 事後学修 2.0hr：実践を振り返り、気づきと今後の課題をまとめる。
15回	**授業テーマ：ピアサポート実践のまとめとリフレクション** 授業内容：・実践の中で生じた気づき、関係の変化、困難への対応を共有する。 ・対話的姿勢や相互性の観点から、自身の学びを整理する。 ・今後の学内でのピアサポートの可能性を検討する。 事前学修 1.5hr：実践時の記録やポートフォリオを読み返し、印象に残った場面を整理する。 事後学修 2.5hr：ピアサポート実践を通して得た学びと今後の課題をまとめ、最終レポートとして提出する。

人間形成ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆少人数トークゼミ◆【エンターテイメント文化研究ゼミ～ディズニーの経営学を中心に～】(前学期 月２　/後学期 月２)
このゼミでは、ディズニーの「おもてなし」や「組織のしくみ」に関するテキストを読み解きながら、これからのエンタメ産業や遊びの文化がどう変わっていくのか、テキストのプレゼンや仲間との対話を通じて自分の考えを深めていきます。
「ディズニーについて語りたい」「経営の基本を知りたい」「エンタメビジネスに興味がある」という方の参加をお待ちしています。
重要(人数調整)：初回に 12 名～ 15 名程度の人数調整を行いますので、履修希望者は必ず出席してください。
初回日程：【前学期】4 月 6 日(月 2)／【後学期】9 月 14 日(月 2)

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：ゼミナール【Seminar】とは、少人数の学生が集まり、教員の指導のもとで自ら調査・研究を行い、発表や討論を通して理解を深めていく授業形態です。
本ゼミでは、ディズニーを中心としたエンターテイメント文化と、その背景にある経営学およびマネジメントの考え方について学びます。トーク形式の議論を重ねることで、物事を多角的に分析する力を養い、エンターテイメントを社会・経済・文化の視点から捉える広い視野を身につけることを目標とします。
個別目標：① アミューズメント産業およびエンターテイメント産業の現状について、基礎的な知識をもとに説明することができる。
② 米国ディズニーの経営システムを理解し、その考え方を他の分野や事例に応用する視点をもつことができる。
③ 仲間と協働しながらテーマに沿って対話・ディスカッションを行い、その内容を整理してプレゼンテーションすることができる。

▌履修条件

履修者は 12 名～15 名程度。ディズニーが好きな方、エンターテイメント産業の経営に強い興味・関心をもつ方を歓迎します。
履修を希望する学生は、前期は 4 月 6 日(月 2)、後期は 9 月 14 日(月 2)の初回授業に必ず出席してください。
本ゼミは少人数のトークゼミであるため、原則として欠席を避け、継続的に参加しながら、一歩一歩学びを積み重ねていきましょう。

▌評価基準・方法

成績評価は、授業への参加姿勢(60 %)、クラス仲間とのコミュニケーション(30 %)、および学修内容の理解や到達度(10 %)を基準とし、総合的に評価します。

▌フィードバック方法

個人またはグループでの発表を予定しているため、manaba のプロジェクト機能や小テスト機能を活用し、情報や意見の共有を行いながら、授業内容に対するフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回メンバー同士のディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （発表担当者はプレゼン資料を作成し、プレゼンしていただきます）

▌教科書

「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法 (日経ビジネス人文庫) 」ディズニー・インスティチュート (著) を利用しますが、教員が用意します。

▌参考書

「どんな人も活躍できる ディズニーのしくみ大全」大住 力 (著)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：セレクション(人数調整)とミーティング** 授業内容：初回授業では、セレクション(人数調整)およびオリエンテーションを行い、授業内容について確認します。履修希望者が定員(12 名～15 名程度)を超えた場合は、志望動機等を確認したうえで、適正な人数に調整します。 メンバー決定後は、各自の興味・関心について情報交換を行い、今後の授業の進め方やゼミの展開について確認します。 事前学修 2.0hr：シラバスを理解してくる。 事後学修 2.0hr：自分の好きな分野の遊び文化の状況をリサーチする。
2回	**授業テーマ：遊びの文化とはなにか？ アミューズメント産業・エンターテイメント産業とはなにか？** 授業内容：「遊びの文化とは何か」「アミューズメント産業およびエンターテイメント産業とは何か」をテーマに、基礎的な概念についてディスカッションを行います。あわせて、テキスト『ディズニーが教える お客様を感動させる最高の方法(日経ビジネス人文庫)』を用いた学修を開始します。 事前学修 2.0hr：遊び(Play) の定義について考えてくる。 事後学修 2.0hr：遊びの定義をまとめる。
3回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーを知る(1)―ミッキーマウスの誕生―** 授業内容：ディズニー研究の基礎として、創業者であるウォルト・ディズニー(Walt Disney、1901 年– 1966 年)について理解します。本回では、ウォルト・ディズニーの人物像と、ミッキーマウス誕生の背景を中心に取り上げます。あわせて、テキスト『ディズニーが教える お客様を感動させる最高の方法(日経ビジネス人文庫)』について、今後の発表分担を決定します。 事前学修 2.0hr：興味のある遊びネタ・話題を調べる。 事後学修 2.0hr：アミューズメント産業・エンターテイメント産業の広がりをまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
4回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーを知る(2)―アニメーションの創造―** 授業内容：ディズニー研究の基礎として、引き続きウォルト・ディズニーについて理解を深めます。本回では、ディズニーにおけるアニメーション創造の卓越性と、その背景にある発想や価値観について考察します。あわせて、テキストの発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：ウォルト・ディズニーの実績(作品)について調べてくる。 事後学修 2.0hr：ウォルト・ディズニーの作品を観てくる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
5回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーを知る(3)ー混乱の社会における表現ー** 授業内容：ディズニー研究の基礎として、引き続きウォルト・ディズニーについて理解を深めます。本回では、戦争という時代背景のもとでの表現活動や、社会の混乱の中で示されたウォルト・ディズニーの生き方や思想について考察します。あわせて、テキストの発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：ディズニー社の歴史的展開を調べてくる。 事後学修 2.0hr：ウォルトが残した格言について調べておく(発表担当はプレゼン資料を作成)。
6回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーを知る(4)ディズニーランドの建設** 授業内容：ディズニー研究の基礎として、引き続きウォルト・ディズニーについて理解を深めます。本回では、1955 年に開園したディズニーランドの建設過程と、「夢の国」が誕生するまでの構想や挑戦について考察します。あわせて、テキストの発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：ウォルトの人となりをまとめておく(発表担当はプレゼン資料を作成)。

7回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(1)ゲストロジーとゲストとの約束** 授業内容：テキストの内容をもとに、「ゲストロジー」および「ゲストとの約束」という概念について理解を深めます。また、ディズニーリゾートとユニバーサル・スタジオ・ジャパンの強みを比較し、エンターテイメント施設における顧客体験の特徴について考察します。あわせて、テキストの発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
8回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(2)第一印象** 授業内容：テキストの内容をもとに、「第一印象」の重要性について理解を深めます。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについて、メンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して考察を深めます。あわせて、テキストの発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
9回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(3)サービスのカスタマイズ** 授業内容：テキストの内容をもとに、「サービスのカスタマイズ」という視点から、ディズニーにおける顧客対応の特徴について理解を深めます。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについてメンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して考察します。あわせて、テキスト内容に関する発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
10回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(4)セットとは** 授業内容：テキストの内容をもとに、「セット」という概念について理解を深め、ディズニーにおける空間演出や体験設計の特徴について考察します。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについてメンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して理解を深めます。あわせて、テキスト内容に関する発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
11回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(5)効果と五感** 授業内容：テキストの内容をもとに、ディズニーの演出が生み出す「効果」と五感を通した顧客体験について理解を深めます。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについて、メンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して考察します。あわせて、テキスト内容に関する発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
12回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(6)ゲストの不満** 授業内容：テキストの内容をもとに、ゲストの不満やクレームへの対応の重要性について理解を深めます。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについて、メンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して考察します。あわせて、テキスト内容に関する発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：担当するフィールドワーク研究対象の調査方法・段取りを考えてくる。
13回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(7)不満を解消する** 授業内容：テキストの内容をもとに、ゲストの不満をどのように解消し、感動体験に変えていくかについて理解を深めます。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについて、メンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して考察します。あわせて、テキスト内容に関する発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
14回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(8)クオリティ・サービス** 授業内容：テキストの内容をもとに、ディズニーが提供するクオリティの高いサービスについて理解を深めます。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについて、メンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して考察します。あわせて、テキスト内容に関する発表およびディスカッションを行います。。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
15回	**授業テーマ：まとめ：ディズニー社はどこにいくのか？** 授業内容：全体を通じて学んだ内容をまとめます。本回では、ウォルト・ディズニー(Walt Disney、1901 年− 1966 年)の功績を振り返るとともに、ディズニー社が今後どのように発展していくのか、またエンターテイメント産業の将来像について考察し、ディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：ウォルト・ディズニーとディズニー社の歴史・功績についてまとめてくる。 事後学修 2.0hr：アミューズメント＆エンターテイメント産業についてまとめる。

人間形成ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆少人数トークゼミ◆【劇場文化研究ゼミ】ミュージカルを見に行こう！（前学期 火3 /後学期 火3）
本ゼミでは、ミュージカルや 2.5 次元舞台、歌舞伎などの舞台表現を題材に、実際に舞台を鑑賞する体験を通して、東西の劇場文化の特徴や面白さを語り合うクラスです。鑑賞する舞台には、「美女と野獣」「アナと雪の女王」「アラジン」「ミュージカル『SPY × FAMILY』」などがあります。
また、テキスト『2.5 次元舞台へようこそ ミュージカル『テニスの王子様』から『刀剣乱舞』へ』を用いて、順番にプレゼンテーションを行いながら、現代の舞台表現について考えていきます。演劇やミュージカル、舞台芸術・表現に関心のある方を歓迎します。
初回授業では、人数調整（12 名〜15 名程度）を行いますので、前期は 4 月 7 日（火 3）、後期は 9 月 15 日（火 3）に必ず出席してください。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：ゼミナール【Seminar】とは、大学で少人数の学生が集まり、教員の指導のもとで自ら研究し、発表や討論を通して理解を深めていく授業形態です。本ゼミでは、実際に舞台を鑑賞する体験を行い、その経験を踏まえながら、テキストやゼミ仲間との議論を通して舞台や表現について語り合います。これにより、西洋と日本の舞台の特徴を理解し、説明できる力を養います。
個別目標：①日本と西洋の舞台表現の歴史を理解し、その特徴を説明できるようにします。
②日本文化と西洋文化の発展の歴史を比較し、概略を整理して述べられるようにします。
③仲間と協力してフィールドワークを行い、その成果を有効にプレゼンテーションできる力を身につけます。

▌履修条件

定員は 12〜15 名程度です。舞台・芸能・ダンスに関心のある方や、経験のある方、そしておしゃべりが大好きな方を歓迎します。
履修を希望する方は、初回授業の人数調整に必ず出席してください。前期は 4 月 7 日（火 3）、後期は 9 月 15 日（火 3）です。本ゼミは少人数で運営するため、原則として欠席せず、一歩一歩学びを積み重ねてまいりましょう。
また、ゼミの中心であるフィールドワーク（観劇活動）には、チケット代などの費用がかかります。大学の活動助成金を申請予定ですが、ある程度の自己負担が必要になることをご承知おきください。

▌評価基準・方法

本ゼミの評価は、授業への参加姿勢（60 %）、クラス仲間とのコミュニケーション（30 %）、学習達成度（10 %）**を基本の比重として、総合的に行います。

▌フィードバック方法

授業のほか、授業外で観劇活動をしていただきますので、manaba のプロジェクトや小テスト機能を有効に利用しながら情報・意見交換や授業内容のフィードバックをしていきます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回メンバー同士のディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （発表担当者はプレゼン資料を作成し、プレゼンしていただきます）

▌教科書

2.5 次元舞台へようこそ ミュージカル『テニスの王子様』から『刀剣乱舞』へ (星海社新書) （教員が用意します）

▌参考書

適宜、資料紹介いたします

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：セレクション（人数調整）とガイダンス** 授業内容：授業の目的・進め方を確認します。履修希望者が多い場合は志望動機を確認し、ディスカッションに適正な人数への選抜を行います。メンバー決定後、自己紹介および鑑賞希望作品についての意見交換を行います。 事前学修 2.0hr：シラバスを熟読し、本授業の目的を理解しておく。 事後学修 2.0hr：今期鑑賞可能な舞台情報を収集し、候補を絞り込む。
2回	**授業テーマ：舞台の魅力の探求** 授業内容：舞台芸術にはどのような種類があるのか？ その魅力とは何かをディスカッションします。各自、鑑賞候補作品をリストアップし、スケジュールを確認します。 事前学修 2.0hr：興味のある舞台ジャンルについて、最新の上演スケジュールを調べる。 事後学修 2.0hr：鑑賞候補作品の上演期間・場所・チケット代金を具体的に確認する
3回	**授業テーマ：身体・思想・メッセージ：西洋と日本の比較** 授業内容：日本と西洋の舞台における表現技法や思想の違いについてディスカッションします。テキスト『2.5 次元舞台へようこそ』を配布し、今後の輪読計画を立てます。 事前学修 2.0hr：伝統芸能（歌舞伎等）と現代演劇（ミュージカル等）の表現の違いを調べておく。 事後学修 2.0hr：鑑賞作品を決定し、チケットの手配を開始する。
4回	**授業テーマ：ミュージカルと 2.5 次元舞台の表現構造** 授業内容：ミュージカルの三要素（歌・ダンス・演劇）の特徴と、2.5 次元舞台が何を表現しようとしているのかを考察します。テキストの発表担当を決定します。 事前学修 2.0hr：自身の鑑賞予定作品のあらすじを確認する。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
5回	**授業テーマ：2.5 次元舞台の定義と現状** 授業内容：テキスト「第 1 章 2.5 次元舞台とは」の発表とディスカッション。現代のエンターテインメントにおける 2.5 次元の位置づけを考えます。※鑑賞済みの学生は随時報告を開始 事前学修 2.0hr：テキスト第 1 章を読み、疑問点を抽出する。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
6回	**授業テーマ：テニスの王子様：ムーブメントの原点** 授業内容：テキスト「第 2 章 すべてはミュージカル『テニスの王子様』から始まった」の発表とディスカッション。鑑賞作品の具体的な見どころを整理します。 事前学修 2.0hr：第 2 章の精読、発表資料の作成。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
7回	**授業テーマ：宝塚歌劇と 2.5 次元のミッシングリンク** 授業内容：古典としての歌舞伎の要素を孕みつつ、少女漫画を舞台化した宝塚の影響を考察。テキスト「第 3 章 2.5 次元舞台誕生前夜」の発表とディスカッション。 事前学修 2.0hr：宝塚歌劇団の歴史について概要を調べておく。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。

8回	**授業テーマ：舞台表現の革命：弱虫ペダルの衝撃** 授業内容：自転車を使わずに自転車レースを表現した手法など、2.5 次元特有の演出を考察。テキスト「第 4 章 劇場から飛び出した舞台『弱虫ペダル』の誕生」の発表とディスカッション。 事前学修 2.0hr：歌舞伎や 2.5 次元舞台における「見立て」の技法を調べる。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
9回	**授業テーマ：舞台を支える役者たちの身体性** 授業内容：前半戦の振り返りと個人活動状況の確認。テキスト「第 5 章 2.5 次元舞台の可能性を信じる役者たち」の発表とディスカッション。 事前学修 2.0hr：注目の舞台俳優やそのトレーニング方法について調べる。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
10回	**授業テーマ：観客が作る舞台空間** 授業内容：舞台と観客の関係性について。テキスト「第 6 章 2.5 次元舞台を観てみませんか」の発表とディスカッション。鑑賞活動プレゼン。 事前学修 2.0hr：舞台批評やファンの感想ブログなどを読み、観客の反応を分析する。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
11回	**授業テーマ：刀剣乱舞：メディアミックスの極致** 授業内容：ゲームから舞台、そして社会現象へ。テキスト「第 7 章 『刀剣乱舞』という全方位のコンテンツ」の発表とディスカッション。鑑賞活動プレゼン。 事前学修 2.0hr：メディアミックス戦略の成功事例を調べておく。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
12回	**授業テーマ：受け手の視点と愛の形** 授業内容：舞台を愛するファンの心理と消費行動について。テキスト「第 8 章 2.5 次元舞台を愛する受け手の視点」の発表とディスカッション。鑑賞活動プレゼン。 事前学修 2.0hr：推し活やファンコミュニティのあり方について考える。 事後学修 2.0hr：最終レポートの完成度を高める。
13回	**授業テーマ：和魂洋才の舞台構造：西洋と日本の融合** 授業内容：鑑賞活動とテキストの学びを総括し、日本独自の舞台表現の構造についてディスカッションします。 事前学修 2.0hr：西洋演劇と日本演劇の構造的特徴を比較検討する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションの内容を反映し、レポートを最終化する。
14回	**授業テーマ：未来の舞台芸術：トレンドの予測** 授業内容：現代の観客が求めているテーマとは何か？ 今後の舞台芸術のトレンドについてメンバーで予測・討論します 事前学修 2.0hr：近年のヒット作に共通する要素を抽出しておく。 事後学修 2.0hr：自身の「理想の舞台」についての意見をまとめておく。
15回	**授業テーマ：デジタル社会と生のパフォーマンス** 授業内容：コロナ禍を経て進化したネット配信と、劇場での生の体験の価値。今後の舞台芸術の発展可能性についてまとめます。 事前学修 2.0hr：14 回までの学習内容全体を振り返る。 事後学修 2.0hr：本講義全体を通した自己評価を行う。

ボランティア活動 A

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

国内における社会貢献活動（ボランティア活動）の成果に対して単位を認定する科目である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：自己実現に向け努力することができるよう、ボランティア活動という経験を通して、社会と向き合い、自分自身の今と将来を見極める能力を身につける。

個別目標：1　ボランティア活動を通じて、自ら考えて行動することができる。
2　ボランティア活動の経験から得た情報や意見を報告会等で積極的に交換し、自身の言葉で社会貢献活動の意義を説明できる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

以下の 4 点の条件をすべて充たすこと。

1　ボランティア講習会（理論編・実践編）の受講
2　学外施設・団体等における 60 時間以上の活動
3　活動日誌と終了レポートの作成
4　ボランティア活動報告会への参加

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （フィールドワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （活動日誌及び終了レポートの作成、活動報告会等で使用する。）

▌教科書

適宜指示する。

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ボランティア講習会(理論編)** 授業内容：ボランティアの理論を学ぶ 事前学修 2.0hr：ボランティアとは何かを調べる 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを復習する
2回	**授業テーマ：ボランティア講習会(実践編)** 授業内容：ボランティアの実践を学ぶ 事前学修 2.0hr：ボランティアの心構えやマナーを調べる 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを復習する
3回	**授業テーマ：ボランティア活動①** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者と打合せを行う 事後学修 2.0hr：打合せで確認した活動内容等をまとめる
4回	**授業テーマ：ボランティア活動②** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
5回	**授業テーマ：ボランティア活動③** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
6回	**授業テーマ：ボランティア活動④** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
7回	**授業テーマ：ボランティア活動⑤** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
8回	**授業テーマ：ボランティア活動⑥** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
9回	**授業テーマ：ボランティア活動⑦** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
10回	**授業テーマ：ボランティア活動⑧** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
11回	**授業テーマ：ボランティア活動⑨** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる

12回	**授業テーマ：ボランティア活動⑩** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
13回	**授業テーマ：ボランティア活動⑪** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
14回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：活動内容をレポートにまとめる 事前学修 2.0hr：活動内容を振り返り、レポート作成の準備をする 事後学修 2.0hr：作成したレポートを確認し、活動内容や活動を通じて感じたこと等が簡潔にまとめられているか確認する
15回	**授業テーマ：ボランティア活動報告会** 授業内容：これまでの活動成果についてプレゼンテーションする 事前学修 2.0hr：報告会に向けて発表の準備をする 事後学修 2.0hr：これまでの活動のまとめを行う

ボランティア活動 B

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

国外における社会貢献活動（ボランティア活動）の成果に対して単位を認定する科目である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：自己実現に向け努力することができるよう、ボランティア活動という経験を通して、社会と向き合い、自分自身の今と将来を見極める能力を身につける。

個別目標：1　ボランティア活動を通じて、自ら考えて行動することができる。
2　ボランティア活動の経験から得た情報や意見を報告会等で積極的に交換し、自身の言葉で社会貢献活動の意義を説明できる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

以下の 5 点の条件をすべて充たすこと。

1　国際ボランティア団体主催の事前オリエンテーション等への参加
2　事前・事後学修を含み総活動時間 90 時間以上の活動
3　活動日誌と終了レポートの作成
4　国際ボランティア団体が発行したプログラム修了証明書の提出
5　ボランティア活動報告会への参加

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （フィールドワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （活動日誌及び終了レポートの作成、活動報告会等で使用する。）

▌教科書

適宜指示する。

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ボランティア活動①** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者と打合せを行う 事後学修 2.0hr：打合せで確認した活動内容等をまとめる
2回	**授業テーマ：ボランティア活動②** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
3回	**授業テーマ：ボランティア活動③** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
4回	**授業テーマ：ボランティア活動④** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
5回	**授業テーマ：ボランティア活動⑤** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
6回	**授業テーマ：ボランティア活動⑥** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
7回	**授業テーマ：ボランティア活動⑦** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
8回	**授業テーマ：ボランティア活動⑧** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
9回	**授業テーマ：ボランティア活動⑨** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
10回	**授業テーマ：ボランティア活動⑩** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる

11回	**授業テーマ：ボランティア活動⑪** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
12回	**授業テーマ：ボランティア活動⑫** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
13回	**授業テーマ：ボランティア活動⑬** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
14回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：活動内容をレポートにまとめる 事前学修 2.0hr：活動内容を振り返り、レポート作成の準備をする 事後学修 2.0hr：作成したレポートを確認し、活動内容や活動を通じて感じたこと等が簡潔にまとめられているか確認する
15回	**授業テーマ：ボランティア活動報告会** 授業内容：これまでの活動成果についてプレゼンテーションする 事前学修 2.0hr：報告会に向けて発表の準備をする 事後学修 2.0hr：これまでの活動のまとめを行う

日本の歴史

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

野田　有紀子（のだ　ゆきこ）

▌授業の概要

高校まで「歴史」の授業を受けてきた皆さんは、「歴史」というと昔の年号や用語の “暗記” ばかりの学問という印象を持っているかもしれませんが、実は「歴史」という学問は、歴史上の出来事や人物や物品を通して、現代までの流れを “考える” ための学問です。また、日本の歴史を考えるためには、日本のことだけでなく、日本と海外との “交流” や “比較” という視点も重要です。この講義では日本の歴史、とくに古代 (飛鳥時代・奈良時代・平安時代) のなかで、皆さんが身近に感じられるようないくつかの具体的テーマをとりあげて、国内外の文献や絵画、地図や系図、遺跡や文化財の写真など、さまざまな歴史資料を用いて、多角的・視覚的に解説します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：日本の歴史に関するさまざまな資料を観察し、その背景を知ることにより、現代の日本の姿は、過去の歴史の流れの上に形成されてきたものであることを理解できるようにしましょう。また、海外との交流や、外国人からの視点、日本と海外との比較といった、国際的な観点からも日本を見る姿勢を養いましょう。

個別目標：①日本の歴史を理解するために、さまざまな歴史資料を観察して、その背景や価値を理解できるようになる。
②日本と海外との交流や比較といった国際的視野を身につけられる。

▌履修条件

特にありませんが、日本の歴史や文化に興味をもって授業にのぞんでください。

▌評価基準・方法

定期試験は実施しません。
毎回、授業中～後に manaba から事後課題(小テスト)を提出してもらうことによって、内容理解を確認します。
全 15 回分の事後課題(小テスト)の提出率・合計点、授業への参加姿勢を合わせて、総合的に評価します(100 %)。
＊原則として、5 分の 4 以上の出席を評価対象とします。
＊授業を欠席した場合でも、事後課題(小テスト)は必ず提出してください。
＊欠席した場合は、事後課題(小テスト)に加え、manaba から【欠席者★追加課題】を提出してください。出席扱いとします。(公欠の場合をのぞく)

▌フィードバック方法

事後課題(小テスト)のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。
＊質問などがあれば、manaba から連絡してください。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

使用しません。
＊毎回の授業前に、manaba を通じて資料 pdf を配布しますので、各自ダウンロードして予習してください。

▌参考書

特に指定しません。
(ある場合は授業ごとに紹介します)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：《はじめに》文化財の基礎知識①文化財保護法～「保存」と「活用」** 授業内容：この講義では、「日本の歴史」を学習する上で「国宝」や「史跡」といった、文化財をたくさん紹介します。そこで第 1 回目の今回は、文化財の基礎知識として、①「文化財保護法」の目的、②文化財の分類のうち「有形文化財」(国宝など)について、③博物館の機能について学びます。 事前学修 2.0hr：興味のある文化財の内容について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
2回	**授業テーマ：文化財の基礎知識②「記念物」～飛鳥の「史跡」めぐり** 授業内容：前半は、「文化財保護法」での分類のうち「記念物」(史跡など)について説明します。後半では、飛鳥時代(592～710)に宮都が置かれた「飛鳥」(奈良県明日香村)の史跡めぐりをしましょう。 事前学修 2.0hr：飛鳥時代のおもな舞台となった奈良県明日香村の地理や史跡について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
3回	**授業テーマ：古代の遷都～大和朝廷から律令国家へ〔古墳時代～飛鳥時代〕** 授業内容：古墳時代の「歴代遷宮」から、飛鳥時代の藤原京(694 年遷都)まで、古代の都の史跡をたどりながら、律令国家が形成されていく過程について学びます。 事前学修 2.0hr：古墳時代から飛鳥時代までの遷都や歴史の流れについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
4回	**授業テーマ：平城京遷都～正倉院の世界〔奈良時代〕** 授業内容：日本古代の「遷都」は、「律令国家の形成」と深い関係があります。今回は奈良の都「平城京」(710 年遷都)の史跡めぐりと、遷都の理由、さらに今日まで伝わる正倉院宝物の歴史について学びます。 事前学修 2.0hr：平城京への遷都や律令・戸籍の施行など、奈良時代の歴史の流れについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
5回	**授業テーマ：平安京遷都～千年の都〔平安時代〕** 授業内容：いよいよ平安京に到着です!!まず平安京へ遷都(794 年)した過程と理由について学習します。さらに、平安宮跡が現在どのように保存されているか確認しながら、史跡めぐりをしましょう。 事前学修 2.0hr：平安京への遷都や、京都の地理や史跡について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
6回	**授業テーマ：〈計画都市〉平安京～「かたち」と「くらし」〔平安時代〕** 授業内容：〈計画都市〉として建設された「平安京」が、遷都後しだいに、かたちを変えていった過程と理由について学びます。さらに、平安京での都市民のくらしをさぐりましょう。 事前学修 2.0hr：平安時代の歴史の流れについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
7回	**授業テーマ：日本古代の風習と唐風化〔弥生時代～平安時代初期〕** 授業内容：『魏志倭人伝』や、人物埴輪に見える日本古代の風習が、律令国家の形成とともに、どのように「唐風化」していったかを学びます。 事前学修 2.0hr：魏志倭人伝の内容や、遣隋使・遣唐使の役割について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。

8回	**授業テーマ：唐風文化から国風文化へ〜「ひらがな」と「十二単」の誕生〔平安時代中期〕** 授業内容：９世紀までの唐風文化が、１０世紀から国風文化(かな文字・かな文学、十二単などの衣装)に発展していった過程を学習します。 事前学修 2.0hr：かな文字・かな文学、十二単などの衣装に代表される、平安時代の国風文化について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
9回	**授業テーマ：天皇と貴族「藤原氏」〜中臣鎌足から藤原道長まで〔飛鳥時代〜平安時代中期〕** 授業内容：今回と次回は、平安貴族社会における「天皇と貴族との関係」がテーマです。今回の前半は、「貴族」とは何かを説明します。後半では、貴族のなかで「藤原氏」(北家本流)が、天皇との関わりのなかで、どうやって貴族のトップを独占するようになったかを、中臣鎌足の「藤原氏の誕生」から、藤原道長の「全盛期」までの軌跡をたどって学びます。 事前学修 2.0hr：飛鳥時代から摂関期までの政治の流れについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
10回	**授業テーマ：古代の専門職〜貴族社会をどう生きるか〔平安時代中期〕** 授業内容：貴族社会において、藤原氏北家本流以外の氏族がどうやって生き残っていったかを、①地方に土着 (武士化・武士団) コース、②専門職を世襲コース、③権力者に奉仕コースに分けて学習します。 事前学修 2.0hr：陰陽師や武士など、平安時代のさまざまな職業について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
11回	**授業テーマ：日本古代の子ども〜誕生から成人まで〔平安時代中期〕** 授業内容：現代日本で行われている「誕生〜成人までの通過儀礼」は、平安時代(９世紀)から記録されています。今回は平安貴族家庭の、結婚儀礼と、誕生から成人までの通過儀礼を学習し、今日行われている結婚儀礼・通過儀礼とのつながりを学びましょう。 事前学修 2.0hr：子どもの誕生や成長に関する儀礼について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
12回	**授業テーマ：平安貴族女性の教育と仕事〜「女房」と「斎王」〔平安時代中期〕** 授業内容：まず平安貴族家庭の男子と女子の教育の違いについて説明します。つぎに、貴族女性の仕事をテーマに、皇族・貴族に仕える侍女「女房」と、伊勢神宮の巫女「斎王」について習びましょう。 事前学修 2.0hr：紫式部や清少納言といった平安時代の女性について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
13回	**授業テーマ：欧米から見た日本①日本情報の報告〔鎌倉時代〜江戸時代〕** 授業内容：今回と次回は、これまで学んできた古代の「唐風化」と比較するため、近代の「欧米化」について学習します。今回は中世〜近世の日本情報を、欧米人がどのように記録・報告したかを学びましょう。 事前学修 2.0hr：宣教師の来日や、江戸時代の鎖国と出島について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
14回	**授業テーマ：欧米から見た日本②文明開化と欧米化〔江戸時代末期〜明治時代初期〕** 授業内容：１９世紀後半(江戸時代末期〜明治時代初期)、訪日した欧米人が見た日本の風習と、明治政府による風習の欧米化政策を学びましょう。 事前学修 2.0hr：明治時代の文明開化について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
15回	**授業テーマ：《おわりに》海外に流出した日本文化財〔明治時代〜現代〕** 授業内容：１９世紀後半以降、日本の文化財が軽視・廃棄され、海外に流出した背景と、それを防ぐための文化財保護の法律や政策について学習します。 事前学修 2.0hr：文化財保護の法律や制度について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。

国際関係論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

東　夢子（あずま　ゆめこ）

▌授業の概要

この授業の目的は多極化する世界に移行し、不確実性を増しつつある今日において、日本をめぐる国際関係を考え、日本の重要性を認識し、明日の国際関係を洞察する力を養うことにある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：今まで日本にとって、一番重要な国際関係ー日米関係、日英関係、日露関係、日韓関係、日中関係、日本と東南アジアの関係などを顧みることによって、先人の英知を学び、危機の状況下における物事の見方、考え方を身に付けることができる。

個別目標：未来の国際社会で活躍する時に必要な先見性、合理性、国際関係に対する分析力を身に付けるということを目標とする。

▌履修条件

学習する意欲のある者。自己学習の習慣を有する者。特に自分で調べることがレポート作成の上で重要なので、自己学習能力が是非とも必要である。

▌評価基準・方法

①期末テストの代わりに、毎回のレポート 50 %、レポートに必要な予備知識のアンケート 10 %と授業への参加 (DVD をきちんと見て、レスポンに感想を書く）40%等で総合的に評価する。また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

②レポートの提出が 12 回以上でなければ、不合格となる。

③毎回のレポートに字数の規定(毎回、3 問の課題があり、1 問は大体 300 文字～400 文字)があり、極端に字数が少ない場合、評価不能とされることがあるので、ご注意ください。

④レポートの提出と質問へのフィードバックは manaba を経由する。

▌フィードバック方法

授業中で説明します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

岩下哲典著『近現代日本の国際関係』北樹出版 ISBN978-4-7793-0285-5 C3021

▌参考書

1、國史大辭典 /国史大辞典編集委員会編出版 東京：吉川弘文館 , 1979.3-1997.4

2、教科書の参考文献及び各授業中で流す DVD の内容に沿う学術論文と著作。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：江戸幕府の政治構造と授業スタイルについての説明。 事前学修 2.0hr：1820 年代から 1950 年までの日本をめぐる大事件について簡単に調べる。 事後学修 2.0hr：授業中で指示された歴史用語について調べる。
2回	**授業テーマ：日本とオランダの関係＝シーボルトと日本開国** 授業内容：シーボルトと日本開国 事前学修 2.0hr：シーボルトについて「國史大辭典」などで調べる。 事後学修 2.0hr：シーボルトの伝記を読む。
3回	**授業テーマ：日米関係(日米和親条約)** 授業内容：ペリー来航幕府が知っていた。 事前学修 2.0hr：ペリー来航前後の日本をめぐる世界情勢について調べる。 事後学修 2.0hr：老中阿部正弘について調べる。
4回	**授業テーマ：日米関係** 授業内容：(日米修好通商条約)＝通商か亡国か 。ハリスと幕府交渉の過程。 事前学修 2.0hr：ハリスについて調べる。 事後学修 2.0hr：安政の五か国条約について調べる。
5回	**授業テーマ：慶喜大政奉還ー松平春嶽の構想** 授業内容：立憲思想の日本に芽生える過程。 事前学修 2.0hr：松平春嶽と徳川慶喜について調べる。 事後学修 2.0hr：日本立憲制度導入の思想的な基盤と過程について調べる。
6回	**授業テーマ：外交立国いまだ死なず** 授業内容：函館政権と国際関係法 事前学修 2.0hr：榎本武揚について調べる。 事後学修 2.0hr：明治新政府と列強との関係について調べる。
7回	**授業テーマ：大久保利通暗殺の悲劇** 授業内容：廃藩置県と武士の反乱とその背景。 事前学修 2.0hr：大久保利通と明治新政府の課題について調べる。 事後学修 2.0hr：征韓論について調べる。
8回	**授業テーマ：銀行は人々のために 。** 授業内容：日本における銀行誕生の経緯 事前学修 2.0hr：渋沢栄一について調べる。 事後学修 2.0hr：日本の近代経済について調べる。
9回	**授業テーマ：日露関係と日英関係** 授業内容：日清戦争と日露戦争の背景 事前学修 2.0hr：日清戦争について調べる。 事後学修 2.0hr：当時の国際情勢と日韓関係について調べる。
10回	**授業テーマ：日中関係** 授業内容：満州事変及び日中戦争 事前学修 2.0hr：三国干渉について調べる。 事後学修 2.0hr：満州建国と日中戦争について調べる。

11回	**授業テーマ：日独関係** 授業内容：三国同盟の締結と当時の国際情勢 事前学修 2.0hr：松岡洋右と当時の国際情勢について調べる。 事後学修 2.0hr：当時の日独関係と日米関係について調べる。
12回	**授業テーマ：日米関係 ＝日米開戦を回避せよ** 授業内容：日米開戦前夜の国際情勢 事前学修 2.0hr：南進論について調べる。 事後学修 2.0hr：チャーチル及び蒋介石について調べる。
13回	**授業テーマ：日米関係＝ 現在日米関係の原点** 授業内容：マッカーサーと天皇との会見 事前学修 2.0hr：サンフランシスコ講和条約などについて調べる。 事後学修 2.0hr：戦後の占領政策とマッカーサーについて調べる。
14回	**授業テーマ：海上自衛隊はこうして生まれた。** 授業内容：海上自衛隊と戦前海軍 事前学修 2.0hr：日米安保条約の流れについて調べる。 事後学修 2.0hr：自衛隊の誕生と日本の軍事力について調べる。
15回	**授業テーマ：原爆の絵** 授業内容：原爆の投下について考える 事前学修 2.0hr：1 回目～14 回目のレポートを紙で再提出する。 事後学修 2.0hr：戦争と原爆についての感想を書く。

国際貢献論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

小川 正純（おがわ まさずみ）

▌授業の概要

国際貢献や国際協力について、日本が開発途上国を支援する政府開発援助 (ODA) や NGO、民間団体が行う支援、持続可能な開発目標 (SDGs) など様々な観点から考えます。国際貢献を知るだけでなく、支援を選び、考え、説明する力を身につけることを目指します。また、善意だけでなく、なぜその支援が必要かを論理的に考える視点を養います。本講義は、グループワーク、プレゼンテーションを通じて、国際貢献や国際協力についての理解を向上させます。なお、この授業は「ボランティア講義」の内容と一部関連・重複する部分があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：開発途上国をはじめとする地球規模の問題と国際貢献の意義を理解し、国際貢献を実際に行うための知識・スキルを身につける。

個別目標：1．国際社会がどのような国際貢献や国際協力を行っているか説明できる。
2．開発途上国の課題に対して 適切な支援方法を考えられる。
グループワークで他者と協力して課題に取り組み、気づきを得るとともに、自分の考えを説明できる。最終プレゼンテーションでは、社会課題を整理し、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。

▌履修条件

1. 国際貢献や国際協力に関心を持ち、学ぶ意欲があること。
2. グループワークや発表に、積極的に挑戦する意欲があること。
3. 将来、国際的な仕事に興味がある人はもちろん国際貢献を自分の言葉で考えられるようになりたい人にもおすすめです。

▌評価基準・方法

グループワーク、プレゼンテーションへの関与度合い 45 %、毎回のレポート 45 %、授業における参加姿勢 10 %を基に総合的に評価する。考えようとする姿勢を重視し、グループ内での役割分担や協力姿勢も評価する。原則として５分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

授業時間内での総評及び manaba の個別指導（コレクション）などでフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （ただし、プレゼンテーション資料の作成及び発表は PC の利用が好ましい。）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション:国際協力とは何かについて** 授業内容：講義の目的、授業、グループワーク、プレゼンテーションの進め方、到達目標、評価方法とともに、国際貢献と国際協力について解説する。授業テーマについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：国際貢献や国際協力について関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
2回	**授業テーマ：日本の国際協力** 授業内容：日本が国際機関や他国から受けた援助と日本が行っている政府開発援助 (ODA) について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、考えを言語化する。 事前学修 2.0hr：国際貢献や国際協力について関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
3回	**授業テーマ：世界の状況を知る** 授業内容：グループワークにより、世界がどのように変化しているか理解する。また、国際社会の取り組みと成果を知り「持続可能」の意味を考え、他者の視点と比較する。 事前学修 2.0hr：近年の国際会議と国際社会の取り組みについて関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
4回	**授業テーマ：「地球にやさしい」とは？** 授業内容：グループワークにより、私たちが日常的に使っている製品が、世界のどこで・誰の暮らしとつながっているかを考え、多様な意見に触れる。 事前学修 2.0hr：国際貢献や国際協力について関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
5回	**授業テーマ：持続可能な開発目標 (SDGs) について** 授業内容：持続可能な開発目標 (SDGs) の内容、特徴、目標、企業の SDGs の取り組み等について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：SDGs について関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
6回	**授業テーマ：気候変動** 授業内容：グループワークにより、気候変動によって影響を受けている人々について知り、その立場を想像して自分事として捉える。私たちの生活とのつながりや自分に何ができるか考え、他者の視点と比較する。 事前学修 2.0hr：気候変動について関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
7回	**授業テーマ：人道援助** 授業内容：人道援助の人道・公平・中立・独立という原則の意味と国際緊急援助隊（JDR）と NGO の特徴を具体例から解説し、授業テーマについてグループディスカッションを行い、自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：人道援助について関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
8回	**授業テーマ：NGO** 授業内容：日本及び海外の国際 NGO がどのような活動を行っているか、また NGO がどのように国際社会に貢献しているか具体例を示して解説した後、授業テーマについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：NGO の関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習、レポート作成。

9回	**授業テーマ：JICA 海外協力隊について** 授業内容：JICA 主催の JICA 海外協力隊セミナーを実施し、海外協力隊の事業概要、海外協力隊経験者体験談を聞き、海外協力隊がどのようなものかについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：JICA 海外協力隊の関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
10回	**授業テーマ：フェアトレードについて** 授業内容：フェアトレードとはどのようなものかと意義、認証ラベル、普及状況、今後のフェアトレードの方向性について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：フェアトレードについての関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
11回	**授業テーマ：一村一品運動の世界への広がり** 授業内容：大分県発祥である一村一品運動に関する世界への広がりについて、キルギス一村一品プロジェクトについて解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：キルギスと一村一品運動について関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
12回	**授業テーマ：プロジェクト選定の視点/開発途上国と私たちのつながり** 授業内容：開発プロジェクトの種類や選定の手法を習得し、開発プロジェクトをどのような視点で選ぶべきかを整理する。また、開発途上国の子どもと私たちの生活のつながりについて意見交換し、考えを言語化する。 事前学修 2.0hr：開発プロジェクトについて関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
13回	**授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの準備** 授業内容：開発途上国で技術協力をする際の支援内容について学ぶ。グループワークにより支援内容と裨益効果を考え、第 15 回の授業で発表するプレゼンテーションの準備を行う。 事前学修 2.0hr：関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーション作成の準備。講義の復習。レポート作成。
14回	**授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの作成** 授業内容：グループワークによりプレゼンテーション資料を作成する。発表資料は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。発表資料の作成により、自分の意見を表現する力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。
15回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：プレゼンテーションと意見交換を行う。発表は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。自分の意見を発表することにより、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。 事後学修 2.0hr：授業全体のふりかえり。レポート作成。

民族と宗教

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

岩田　成就（いわた　しげなり）

▌授業の概要

「我々はどこから来たか？　我々は何者か？　我々はどこへ行くのか？」　このような問いに、現代の科学は必ずしも答えてはくれません。しかし、科学的知識をどう用い、この世界でどう生きていくかは、この問いにどう答えるかにかかっています。もし、この問いに答える営みを「宗教」ないしは「宗教性」と呼ぶなら、どのような「宗教」「宗教性」をもつかによって、現代の世界で私たちが出会うさまざまな取り組みは、大きな影響をうけるのではないでしょうか。科学技術の革新が飛躍的に進むこれからの社会で、生きる意味を問い、深みを持った生活を送るために、「宗教」について知り、「宗教性」への感受性を身につけていきたいと思います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：自分の生まれ育った文化やその基盤となる宗教について意識し、自覚的にとらえなおすこと。以外の民族の文化や考え方を知り、人間の多様性を受け入れ、他者を受容するとともに、自分自身を理解すること。

個別目標：「宗教」についての偏見を取り除き、「宗教」がどんな人間にも関わりのある普遍的な営みであることを理解すること。世界の主要宗教（仏教、キリスト教、イスラム教など）や日本人の宗教性についての基本的な理解を持ち、信仰をもつ人の気持ちを理解できるようになること。今日の社会における宗教をめぐる様々な問題について理解し、自分の意見を述べることできるようになること。自分以外の民族の文化や考え方を知り、人間の多様性を受け入れ、他者を受容するとともに、人間の宗教性一般について理解し、自らの宗教性について自覚的になること。

▌履修条件

とくにありませんが、上記のような問いを考えたことがある人、宗教や宗教が関わる問題に関心がある人、世界の歴史や世界の現在の情勢に関心のある人に受講していただきたいと思います。

▌評価基準・方法

期授業への積極的な取り組み（リアペ、コメント、質問など）（40%）、および最終授業日に行う試験（60 %）により評価する。

▌フィードバック方法

授業内容へのコメント、質問などをリアクションペーパー、コメントとして提出してもらい次の授業で回答したり、必要に応じて簡単な課題を出したりする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業で配布するプリントが教科書のかわりとなる。

▌参考書

授業で多くの文献を紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：世界の文明と宗教** 授業内容：オリエンテーション／宗教復興説／宗教衰退説／宗教変容説 事前学修 2.0hr：[宗教」という言葉で自分が何を思い浮かべているか考えておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえ
2回	**授業テーマ：日本人の宗教性** 授業内容：日本人は「無宗教」か／創唱宗教と自然宗教／神様と仏様（神仏習合） 事前学修 2.0hr：「初詣」に行ったことのある人は、それが「宗教」かどうかを考えておくといよい。行ったことのない人は、「墓参り」「お祭り」「クリスマス」などについてでもよい。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
3回	**授業テーマ：ヒンドゥー教** 授業内容：インド宗教史／ヒンドゥー教の神々／世界観と教え／生活規範／ショナリズム 事前学修 2.0hr：高校の世界史の教科書で、古代インドの歴史を復習しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
4回	**授業テーマ：仏教①** 授業内容：釈迦の生涯と教え 事前学修 2.0hr：自分の苦しみの原因は何か？ 考えておく 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
5回	**授業テーマ：仏教②** 授業内容：大乗仏教と密教 事前学修 2.0hr：「仏」と「菩薩」の違い、「成仏」と「往生」の違いについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
6回	**授業テーマ：仏教③** 授業内容：日本の仏教（国家仏教／鎌倉新仏教／江戸国家仏教） 事前学修 2.0hr：家の人に聞くなどして、自分の家の宗教が何かを調べ、自分がそれを受け継いでいくかどうかについて考えておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
7回	**授業テーマ：儒教と道教** 授業内容：中国人の死生観／儒教／道教／共産主義 事前学修 2.0hr：身の回りのもの、考え方、習慣などの中に、中国由来のものがないか考えておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
8回	**授業テーマ：神道** 授業内容：神道の原型／神話の原型／神道の教え／神仏習合／様々な神道 事前学修 2.0hr：近くにある神社にどんな神さが祀られており、どんな由来のある神社かを調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
9回	**授業テーマ：ユダヤ教** 授業内容：「ユダヤ人」の歴史／ユダヤ教の聖典（TNK）と「旧約聖書」／ユダヤ教の教え 事前学修 2.0hr：高校の世界史の教科書で古代オリエントや古代イスラエルの歴史について確認しておく 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる

10回	**授業テーマ：キリスト教①** 授業内容：イエスの教えとキリスト教信仰 事前学修 2.0hr：高校の歴史の教科書で古代ローマ帝国やキリスト教の発生などについて確認しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
11回	**授業テーマ：キリスト教②** 授業内容：キリスト教の歴史(カトリック、オーソドックス、プロテスタント) 事前学修 2.0hr：高校の歴史の教科書で「宗教改革」について確認しておく 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえっておく
12回	**授業テーマ：イスラム教①** 授業内容：ムハンマドの生涯／「イスラム世界」の展開／「イスラム世界」の現状 事前学修 2.0hr：高校の世界史の教科書で、イスラム世界のはじまりついて確認しておく 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえっておく
13回	**授業テーマ：イスラム教②** 授業内容：イスラムの教えと規範 事前学修 2.0hr：ムスリム(イスラム教徒)の人たちの生活や習慣について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえっておく
14回	**授業テーマ：宗教過激主義と現代社会** 授業内容：「オウム真理教」と「イスラム過激主義」 事前学修 2.0hr：「地下鉄サリン事件」(1995 年)や「9.11 同時多発テロ事件」について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえっておく
15回	**授業テーマ：試験** 授業内容：授業内容への把握を問う試験を行う。 事前学修 2.0hr：プリントやノートを読み返し、授業内容を振り返っておく 事後学修 2.0hr：授業全体をふりかえる

異文化コミュニケーション論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

岡田　麻唯（おかだ　まい）

▌授業の概要

異文化コミュニケーションの概念や理論を学び、理解する。それらを用いて、日常の出来事から異文化コミュニケーションについて考え、異なる文化背景の人々と、より良いコミュニケーションをするにはどうしたらよいかを考える。本クラスでは、講義だけでなく、個人ワーク、ペアワーク、グループワークを通して、学びを深めていくため、積極的な参加が求められる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：異文化コミュニケーションの基礎概念を理解する
個別目標：①自己の価値観や考え方、コミュニケーションの取り方を理解し、異なる他者の世界を理解することができる
②社会的課題や身近な人間関係を振り返り、異文化コミュニケーションの理論を用いて分析できる

▌履修条件

①授業は毎回受講し、授業の終わりに振り返りシートを提出すること。
②授業中のペアワーク、グループワーク等に積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

グループワークの貢献度(20%)、理解度チェッククイズ(20%)、グループプロジェクト課題(40%)、レポート(20 %)
※なお、５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

manaba、または授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （回によってペアワークおよびグループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （グループプロジェクト準備に利用。毎回の振り返りシートは、Google form 使用のため、PC もしくは携帯から記入、提出すること。）

▌教科書

特定の教科書はありません。必要資料は授業で配布します。

▌参考書

授業内で紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：シラバスの内容について説明する。学生同士の自己紹介と異文化コミュニケーションのケーススタディについて話し合う。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、授業全体の流れを確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
2回	**授業テーマ：コミュニケーションとは何か** 授業内容：コミュニケーションの定義と特徴について学ぶ。異文化コミュニケーションとは何か知識を深める。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
3回	**授業テーマ：文化とは何か** 授業内容：文化の定義と特徴について学び、日本文化の特徴について考える。文化とコミュニケーションの関係について知識を深める。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
4回	**授業テーマ：自己とアイデンティティ、理解度チェッククイズ①** 授業内容：自己の価値観や物の見方に影響を受けた文化について、ペアワークで振り返る。社会的アイデンティティとは何かを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
5回	**授業テーマ：非言語コミュニケーション①** 授業内容：非言語コミュニケーションとは何か。表情、アイコンタクト、ジェスチャー、空間と対人距離、時間の感覚など、文化によって捉え方にどのような違いがあるのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
6回	**授業テーマ：非言語コミュニケーション②** 授業内容：表情、アイコンタクト、ジェスチャー、空間と対人距離、時間の感覚など、文化によって捉え方にどのような違いがあるのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
7回	**授業テーマ：コミュニケーション・スタイル①　コンテクスト** 授業内容：ハイコンテクスト文化とローコンテクスト文化について知識を深め、コンテクストとコミュニケーションの関係性を理解する。中間課題を提出する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
8回	**授業テーマ：コミュニケーション・スタイル②　３つのスタイル** 授業内容：アグレッシブ・パッシブ・アサーティブのコミュニケーション・スタイルの事例を学び、自己のコミュニケーション・スタイルの傾向を分析する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
9回	**授業テーマ：カルチャーショックと異文化適応、理解度チェックのクイズ②** 授業内容：カルチャーショックとは何か、その特徴と対処法について知識を深める。異文化適応プロセスについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
10回	**授業テーマ：異文化センシティビティモデル①** 授業内容：異文化センシティビティモデルについて学ぶ。自文化優越主義ステージの特徴について知識を深め、ケーススタディを用いてグループで話し合いを行う。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

11回	**授業テーマ：異文化センシティビティモデル②** 授業内容：異文化センシティビティモデルの文化相対主義ステージの特徴について知識を深め、ケーススタディを用いてグループで話し合いを行う。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
12回	**授業テーマ：グループプロジェクトの準備①** 授業内容：グループに分かれて、プロジェクトの話しあいと資料作成の準備を行う。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
13回	**授業テーマ：グループプロジェクトの準備②** 授業内容：異文化コミュニケーション場面で誤解が起きた事例を紹介し、これまで学んだ異文化コミュニケーションの理論を使って分析したことを、パワーポイントを用いてまとめる。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
14回	**授業テーマ：グループプロジェクトの準備③、プロジェクト提出** 授業内容：異文化コミュニケーション場面で誤解が起きた事例を紹介し、これまで学んだ異文化コミュニケーションの理論を使って分析したことを、パワーポイントを用いてまとめて、授業内に提出する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
15回	**授業テーマ：グループプロジェクトの振り返りレポート提出、異文化コミュニケーション・スキル(まとめ)** 授業内容：グループプロジェクトの自己評価と他者評価のレポート提出を行う。これまでの学びから、異文化コミュニケーションに必要な能力とは何か、また日常の人間関係において、それをどのように活かせるのかについて考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

日本語と日本文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：留学生選択科目

川勝　麻里（かわかつ　まり）

▌授業の概要

宮崎駿（ジブリ）のアニメーションは、日本の文学と日本文化の背景を学べる宝庫です。アニメーションに引用されている「ダイダラボッチ」「笠地蔵」「猿蟹合戦」などの神話伝説や昔話を、リスニングとリーディングの力を育てることも意識しながら、学んでいきます。また、昔話や神話を読み解くことが、明治時代の日本になぜ民俗学として必要とされたのか、その後の高度経済成長期には、民俗学はどのように消費されていくのか。古来の画像をもとに水木しげるが作り出した妖怪のビジュアルや、神々が零落したものが妖怪だとする柳田國男の理解を通して、日本文化のありようも学びます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：柳田國男という日本を代表する民俗学者の仕事を、ひとつの日本文化の生成のあり方として捉え、世界各国との交流が日本の伝統文化の再発見につながったことを知る。

個別目標：妖怪とは何か、幽霊との違いを、日本文化のありようとして説明できるようになる。
また、日本の文学・文化を学びつつ、日本の古典や昔話・神話を読むことができるようになる。

▌履修条件

※当該言語（日本語）を母語とする学生は、履修できません。

同じ高度経済成長期の日本の文化を扱うので、「日本語と日本文化B（留）」とセットで受講することが望ましい。

▌評価基準・方法

授業内リアクションペーパー 40%と、期末テスト 60%で総合的に評価する。5 分の 4 以上の出席を評価の前提とする。

課題等のフィードバックは、教室内での質疑応答の形で行う。

▌フィードバック方法

manaba を使った課題の実施をおこない、その場で講評をおこなう。また、リアクションペーパーに対してのコメントや回答を授業内でフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パソコンはあれば便利だが、スマートフォンがあればよい。）

▌教科書

毎回、プリントを配布する。

▌参考書

授業内で指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：はじめに（作業のためのガイダンス）** 授業内容：授業のガイダンス。 事前学修 1.0hr：シラバスをよく読み、授業目的を理解して参加。 事後学修 3.0hr：授業内で示したキーワードをもとに半期の学習計画を立てる。
2回	**授業テーマ：高度経済成長期の妖怪** 授業内容：日本の高度経済成長期の文化を学ぶ、というのがこの授業の目的なので、高度経済成長とは何かの説明、そして、そこに妖怪がどうかかわるのかを学ぶ。 事前学修 1.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 3.0hr：授業をふまえて、プリントをもう一度読み直す。
3回	**授業テーマ：水木しげると日本の妖怪** 授業内容：日本の妖怪研究の第一人者であり、妖怪というものに、私たちがよくしっているビジュアルを与えたのが、水木しげるなので、DVD をもとに、日本にはどういう妖怪がいるのか学ぶ。自分の国にいる妖怪とくらべながら、学んでもらう。 事前学修 1.0hr：自国の妖怪についてピックアップしてくる。 事後学修 3.0hr：プリントで妖怪のなりたちと時代背景を復習する。
4回	**授業テーマ：『となりのトトロ』と昔話(1)日本の高度経済成長で消えていく妖怪たち** 授業内容：日本の高度経済成長が、このアニメーションにどう反映しているのかを考えながら、高度経済成長で消えかかっている妖怪が、このアニメーションにでてくる意味について考える。 事前学修 1.0hr：妖怪とは何かを考えてくる。 事後学修 3.0hr：妖怪の民俗学的定義を踏まえて、トトロやマックロクロスケを理解する。
5回	**授業テーマ：『となりのトトロ』と昔話(2)柳田國男の『妖怪談義』** 授業内容：柳田國男による妖怪の学術的定義と、アニメーションに描かれている妖怪を比べてみる。柳田が定義したことを、しっかり守って、アニメーションが作られていることがわかる。「妖怪」と「幽霊」の違いは何かについても考える。 事前学修 1.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 3.0hr：「妖怪」と「幽霊」の違いを理解し、柳田民俗学が映画にどう反映されているかまとめる。
6回	**授業テーマ：『となりのトトロ』と昔話(3)「笠地蔵」「猿蟹合戦」と、中尾佐助の照葉樹林文化論** 授業内容：『となりのトトロ』には「笠地蔵」「猿蟹合戦」の２つの昔話が引用されています。私自身の研究ももとにしながら、昔話をまず読んで学び、そのうえで、アニメーションにそれらがどう生かされているのかを考える。 事前学修 1.0hr：自国の昔話を思い出してくる。 事後学修 3.0hr：アジア文化（照葉樹林文化）の中で昔話の話型を理解する。
7回	**授業テーマ：柳田國男と民俗学、授業の中間まとめ** 授業内容：中間まとめ。manaba による理解テスト (練習問題) なども取り入れる。※テスト実施回は授業進度の都合で、ずれることがある。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を復習してくる。 事後学修 2.0hr：文明開化と民俗学の発展について、また、同じ話でも語り手によって異なる「語りの自由領域」について、理解する。
8回	**授業テーマ：『もののけ姫』と昔話・神話伝説(1)『古事記』** 授業内容：『もののけ姫』のなかに出てくる大和王権と蝦夷の関係について、『古事記』の漫画と現代語訳をプリントで読みながら、学ぶ。 事前学修 2.0hr：プリントで『古事記』の現代語訳を読んでくる。 事後学修 2.0hr：日本の昔話や神話のルーツを理解する。
9回	**授業テーマ：『もののけ姫』と昔話・神話伝説(2)「花咲爺さん」** 授業内容：『もののけ姫』のなかで引用されている昔話「花咲爺さん」を読む。 事前学修 2.0hr：必要があれば各国語の『もののけ姫』を予習してくる。 事後学修 2.0hr：「花咲爺さん」の話が製鉄民の民話であることを理解する。

10回	**授業テーマ：『もののけ姫』と昔話・神話伝説(3)ダイダラボッチ** 授業内容：『もののけ姫』のなかで引用されている「ダイダラボッチ」の伝説について、プリントを読み、日本の土地のなりたちと、ダイダラボッチの関係、製鉄をおこなっている土地 (タタラ場) とダイダラボッチの関係について、考える。 事前学修 1.0hr：巨人伝説について調べてくる。 事後学修 3.0hr：日本各地でダイダラボッチの語られ方が違うことを理解する。
11回	**授業テーマ：『もののけ姫』と昔話・神話伝説(4)リスニングとまとめ** 授業内容：『もののけ姫』を民俗学から読み解くまとめ。※リスニングの実施回は授業進度やコロナの感染状況によって変更することがある。 事前学修 1.0hr：リスニングの予習。 事後学修 3.0hr：リスニングの復習。
12回	**授業テーマ：『千と千尋の神隠し』(1)バブル崩壊** 授業内容：バブル崩壊について、アニメーションを通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：必要があれば各国語の『千と千尋の神隠し』を予習してくる。 事後学修 2.0hr：物語の背景となるバブル崩壊について理解する。
13回	**授業テーマ：『千と千尋の神隠し』(2)神々の零落と、日本の神話** 授業内容：テーマパーク建設のために埋め立てられたり、信仰されなくなったことで力を失った神々が、アニメーションにどのように描かれているのか読み解くとともに、日本の神話がどのように反映されているのかも読み解く。また、「妖怪」とは何なのかについて考える。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：神が零落して妖怪になっていくこと、日本神話の反映などを理解する。
14回	**授業テーマ：『千と千尋の神隠し』(3)リスニングとまとめ** 授業内容：リスニングとまとめ。※リスニングの実施回は授業進度やコロナの感染状況によって変更することがある。 事前学修 2.0hr：リスニングの予習。 事後学修 2.0hr：リスニングの復習。プリントを整理しておく。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：まとめ。 事前学修 3.0hr：試験に備えた学習。 事後学修 1.0hr：試験問題の不明点の復習。

日本語と日本文化Ｂ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：留学生選択科目

川勝　麻里（かわかつ　まり）

▌授業の概要

前期の「日本語と日本文化Ａ」で、高度経済成長期の日本文化を学んだことを生かし、後期は、映画を通して、高度経済成長期の文化を学ぶ。推理小説『点と線』、直木賞受賞作『江分利満氏の優雅な生活』、ＳＦ小説『日本沈没』を通して、〈日本人〉がどのような国民として描かれてきたかにも注目していく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：映像も参考にしながら、高度経済成長期の文学や、高度経済成長期に新しく作り出された言葉について学ぶ。それとともに、終戦からオイルショックまでの日本の歴史や文化を知ることができる。

個別目標：日本を研究したり、日本を訪れたりした外国人が見た「日本人らしさ」とは何なのかを考えることができる。

▌履修条件

※当該言語（日本語）を母語とする学生は、履修できません。

「日本語と日本文化Ａ（留）」とセットで受講することが望ましいが、Ａを受講していなくても問題ない。

▌評価基準・方法

授業内の作業 40%とテスト 60%で総合的に評価する。授業内の作業のなかには、リアクションペーパーも含まれる。

5 分の 4 以上の出席を評価の前提とする。

課題等のフィードバックは、教室内での質疑応答の形で行う。

▌フィードバック方法

manaba を使った課題の実施をおこない、その場で講評をおこなう。また、リアクションペーパーに対してのコメントや回答を授業内でフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パソコンはあれば便利だが、スマートフォンがあれば問題ない。）

▌教科書

毎回、プリントを配布する。

▌参考書

授業内で適宜、指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：はじめに** 授業内容：ガイダンス。 事前学修 1.0hr：シラバスをよく読み、授業目的を理解して参加。 事後学修 3.0hr：授業内で示したキーワードをもとに半期の授業計画を立てる。
2回	**授業テーマ：松本清張と芥川賞―『点と線』がブームを呼び起こすまでの軌跡** 授業内容：松本清張についての概説と、高度経済成長期より少し前の日本の文化が、『点と線』にどのようにかかわるのかを説明。 事前学修 1.0hr：新聞のドラマ欄で松本清張を探してみる。 事後学修 3.0hr：プリントで復習。
3回	**授業テーマ：1950 年代(1)松本清張『点と線』(昭和 32 年)―映画と単語ノート** 授業内容：分からない言葉を調べながら一緒にミステリー小説を読む。授業内で答え合わせする。小説に対応する場面の映画を見て、さらに理解を深める。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読み、分からない単語をピックアップしてくる。 事後学修 2.0hr：単語ノートの復習。
4回	**授業テーマ：1950 年代(2)『点と線』―映画とクイズ** 授業内容：犯人を推理しながら、manaba の機能を使いながら理解度クイズをおこなう。※クイズの実施回は進度などによって変更することがある。 事前学修 2.0hr：プリントを読み、犯人は誰か推理してくる。 事後学修 2.0hr：東京駅「４分間の空白」のトリックを復習。
5回	**授業テーマ：1950 年代(3)『点と線』―まとめ** 授業内容：『点と線』では、犯人がなぜ犯罪を犯したのかという心理的な動機が描かれる。その動機を理解するとともに、そうした動機を描こうとすることじたいが、当時のミステリーでは新しく、松本清張によって新しい文学が作られたことを文学史的に理解できるようにする。 事前学修 2.0hr：プリントを読み、犯人がなぜ犯罪をおかしたのか、動機を考えてくる。 事後学修 2.0hr：文学史のなかの清張の役割を復習。
6回	**授業テーマ：団地とマイホームの時代(附：ニュース映像ＤＶＤ)** 授業内容：ニュース映像 DVD を見ながら、高度経済成長期の日本文化を理解できるようにする。サラリーマン人口が増えて専業主婦が誕生すること、光化学スモッグなどの公害が車社会の到来によって始まり、核家族が多数となり、団地が郊外につくられ、海外旅行が自由化され、パンダブームが到来し、万博開催に合わせて新幹線が開通し、電化製品をそろえてマイホームを作ることが理想とされ、特に庭つきの住宅が憧れとなるといった時代背景を理解できるようにする。 事前学修 2.0hr：６０～７０年代日本で普及した電化製品を調べてくる。 事後学修 2.0hr：高度経済成長の復習(サラリーマンと専業主婦誕生、公害、団地、核家族、交通戦争等)。
7回	**授業テーマ：山口瞳と直木賞―『江分利満氏の優雅な生活』が出来るまで** 授業内容：『江分利満氏の優雅な生活』の概説。エブリマン(everyman)という名前であり、平均的でどこにでもいるような日本人として描かれた主人公を通して、高度経済成長期の日本人の生活を学ぶ。電化製品の普及、サントリーという会社が海外旅行自由化に合わせて広告で発信していた情報や、文化的に果たした意義なども考える。 事前学修 2.0hr：直木賞について調べてくる。 事後学修 2.0hr：主人公(東西電機社員)と山口瞳の実際(サントリー社員)の違いを理解する。
8回	**授業テーマ：1960 年代(1)山口瞳『江分利満氏の優雅な生活』(昭和 37 年)―映画と単語ノート** 授業内容：映画「江分利満氏の優雅な生活」を見て理解を深めながら、サラリーマンと主婦、社宅、核家族として構成された小説のなかの家族像を、読み解いていく。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んで、分からない単語をピックアップしてくる。 事後学修 2.0hr：サラリーマン＋主婦、社宅、核家族等の同時代的要素を理解する。

9回	**授業テーマ：1960 年代(2)『江分利満氏の優雅な生活』―映画とクイズ** 授業内容：プリントを読み映画で内容を確認。manaba の機能を利用して理解度クイズをおこなう。※クイズの実施回は進度などによって変更することがある。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んでくる。 事後学修 2.0hr：公害、交通戦争、団地生活の弊害がどのように描かれているか理解する。
10回	**授業テーマ：1960 年代(3)『江分利満氏の優雅な生活』―『菊と刀』の日本人論** 授業内容：アメリカ人による日本人理解として全世界で有名になった『菊と刀』を読みながら、日本人の平均的サラリーマンであり、なおかつ日本人論の典型的特徴をそなえた人物として江分利が描かれていることを理解する。キリスト教世界では人間の弱さを示す飲酒が日本では人間らしさとして許容されており、勤勉に生きる日本人の努力は、個人ではなく村や社会や国家のためのものであって、期待される人間であろうとするのが日本人だとするなど、『菊と刀』は鵜呑みに出来ない部分もあるが、小説にはそうした日本人論のステレオタイプがそっくり反映されていると思われるので、それを読み解いていくことで、当時の日本人の理想的な生活や憧れが何だったのかを考える。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んでくる。 事後学修 2.0hr：江分利満(everyman)が日本人の典型として描かれていることを日本人論から理解する。
11回	**授業テーマ：オイルショックと『日本沈没』** 授業内容：オイルショックについての説明をしたあと、オイルショックと『日本沈没』をめぐる世紀末ブームとの関係を考える。 事前学修 2.0hr：オイルショックについて調べてくる。 事後学修 2.0hr：オイルショックと『日本沈没』ブームの関係を理解し、７０年代日本をキーワードで記憶する。
12回	**授業テーマ：1970 年代(1)小松左京『日本沈没』―小松左京の紹介** 授業内容：高度経済成長期になぜこの小説が書かれたのか、万国博覧会のテーマ企画との関係や、田中角栄の『日本列島改造論』との関係について説明する。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んで、分からない単語をピックアップしてくる。 事後学修 2.0hr：小松左京の仕事の総体を理解する。単語ノートを復習。
13回	**授業テーマ：1970 年代(2)小松左京『日本沈没』―映画と原作** 授業内容：小説公開当時に作られた特撮映画「日本沈没」を DVD で補助として見ながら、『日本沈没』を読む。国土を失った日本人が、外交上、文化上、どのように生きていけるのか、地球人として生きていくために何が必要かを小説から考えるとともに、そうしたテーマが、東京オリンピックや万国博覧会で世界に活躍し始めた日本人の世界的地位に関係があることを読み解いていく。また、国土開発と自然破壊のテーマについても考察する。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んでくる。 事後学修 2.0hr：『日本列島改造論』(国土開発)、万博の未来学、などのキーワードを理解して復習する。
14回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：50 年代、60 年代、70 年代、と 10 年ごとに授業を進めてきた。そのまとめと試験対策。 事前学修 2.0hr：これまでの授業をキーワードでまとめる復習作業をする。 事後学修 2.0hr：高度経済成長の様子が、授業で取り上げた小説にどのように描かれていたかをまとめておく。
15回	**授業テーマ：テストと振り返り** 授業内容：テストと振り返り。 事前学修 3.0hr：テストに備えた学習。 事後学修 1.0hr：テストの不明点の復習。

フランス語とフランス文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

馬越　洋平（うまこし　ようへい）

▌授業の概要

フランス語やフランス文化を学ぶ授業になります。フランス語については、発音や文法などの基礎的な学習から始めてゆきます。フランス語入門者のための授業です。グループワーク(アクティブラーニング)として、教科書を用いながら学生同士でフランス語の会話の練習なども実施します。この授業を受けることで、フランスを旅行するのに十分な語学力を身に着けることができるでしょう。また、いくつかのテーマに分けてフランス文化の講義も行います。フランス文化を様々なテーマから取り上げる予定です。半期で一区切りとなります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：・発音、文法などの初歩的なフランス語を身につけて、平易な表現を使えるようにする。
　　・文化、歴史、生活などの面から、フランスという国の特色を理解する。異文化への理解を育む。
個別目標：・フランス語の仕組みを理解し、あいさつ、自己紹介、注文など、簡単な日常会話ができる。
　　・フランスという国の特徴を、文化、歴史、生活などの面から理解し、説明できる。

▌履修条件

フランス語を母語とする学生、及びそれと同等の語学力(フランス語)を有する学生は履修できません。

▌評価基準・方法

試験(６０%)、授業の参加度(２０%)、課題提出(２０%)。これらを総合的に判断して成績が決まります。原則として５分の４以上の出席を前提条件とします。

▌フィードバック方法

授業や manaba を通して伝える。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

カフェ・フランセ<新装版>、ニコラ・ガイヤール (著), 加藤豊子 (著), 中川高行 (著), フロランス・容子・シュードル (著), 柳嶋周 (著)、朝日出版社、(初版２０１６年)

▌参考書

必須ではないが、フランス語の辞書を手に入れていることが望ましい。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、アルファベ** 授業内容：授業のガイダンスから始める。フランス語のアルファベの読み方を確認する。フランスの地理や、日本語のなかに溶け込んだフランス語を取り上げる。 事前学修 2.0hr：フランスについてイメージしておく 事後学修 2.0hr：フランス語のアルファベの復習
2回	**授業テーマ：母音の発音、子音の発音、リエゾン、アンシェヌマン** 授業内容：フランス語の発音の勉強をする。母音、子音をフランス語の単語を例に確認する。リエゾンやアンシェヌマンと言った発音上の現象を学ぶ。 事前学修 2.0hr：フランス語のアルファベの復習 事後学修 2.0hr：「これは何ですか？」などの確認した表現の復習
3回	**授業テーマ：発音のまとめ、「フランスのカフェ文化」** 授業内容：前回の授業で学んだ発音の規則を復習する。「フランスのカフェ文化」の講義を行う。フランス文化がカフェという場所を中心に育まれていった経緯を学ぶ。 事前学修 2.0hr：発音の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
4回	**授業テーマ：第１課　自己紹介と挨拶、主語人称代名詞と動詞「です」** 授業内容：自己紹介と挨拶の表現を学ぶ。そのために主語人称代名詞や動詞「～です」などの文法の確認から始める。具体的に会話文で練習する。 事前学修 2.0hr：発音の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、確認した表現を覚える
5回	**授業テーマ：第１課　国籍、数字、「フランスの年中行事」** 授業内容：引き続き、自己紹介と挨拶の表現を学ぶ。国籍や数字もフランス語で言えるようにする。「フランスの年中行事」を知ることで、フランス人の一年の営みを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：主語人称代名詞、動詞「です」の復習
6回	**授業テーマ：第２課　はいといいえ、職業・身分の表現、住んでいる場所を言う** 授業内容：フランス語で職業や身分を言えるようにする。はいといいえを用いた応答を学ぶ。「住む」という動詞を確認する。 事前学修 2.0hr：主語人称代名詞、動詞「です」の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、動詞「住む」の復習
7回	**授業テーマ：第２課　er 動詞、「フランスの美術」** 授業内容：er 動詞の活用を確認する。前回の授業で学んだ表現を用いて、学生同士で会話の練習をする。「フランスの美術」を、映像で主要美術館をめぐりながら学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：er 動詞の活用を覚える
8回	**授業テーマ：第３課　否定文、不定冠詞、注文する** 授業内容：名詞の性と数、否定文、不定冠詞などの文法の確認から始める。フランスのカフェで注文するのに必要な表現を学ぶ。学生同士で会話の練習をする。 事前学修 2.0hr：er 動詞の活用の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、否定文、不定冠詞の復習
9回	**授業テーマ：第３課　注文する、「フランスの小説」** 授業内容：注文の表現の練習を引き続き行う。「フランスの小説」の主要作品を紹介する。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習

10回	**授業テーマ：第４課　動詞「持っている」、否定の de、疑問文** 授業内容：動詞「持っている」の活用を確認する。否定の de を学ぶ。フランス語の疑問文を学ぶ。身の回り品に冠詞をつけてみる。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、動詞「持っている」の活用を覚える
11回	**授業テーマ：第４課　年齢やメールアドレスを聞く、「フランス映画」** 授業内容：例文を参考に、年齢やメールアドレスを聞けるようにする。フランス映画史をたどりながら、重要な「フランス映画」を紹介する。 事前学修 2.0hr：動詞「持っている」の活用復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
12回	**授業テーマ：第５課　所有形容詞、疑問詞、形容詞の性と数、人物を描写する** 授業内容：「私の」「君の」などの所有形容詞を覚える。「誰」、「どこ」などの疑問詞を学ぶ。形容詞を用いて人物を描写してみる。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：所有形容詞、形容詞の性と数、疑問詞の復習
13回	**授業テーマ：第５課　人物を描写する、国名、「シャンソンを聴くⅠ」** 授業内容：前回の授業で学んだ文法を思い出しながら、人物を問い、人物を描写する練習をする。シャンソンの名曲を、フランス語で歌詞を読みながら聴く。 事前学修 2.0hr：前回の文法の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
14回	**授業テーマ：前期のフランス語の復習、「シャンソンを聴くⅡ」** 授業内容：フランス語の練習問題を解いて、前期に習ったフランス語の復習を行う。授業時間内に答え合わせと解説を行う。フランス語の歌詞を読みながら、シャンソンの名曲を聴く。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した問題の復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：前期の授業のまとめを行う。 事前学修 2.0hr：前回確認した問題の復習 事後学修 2.0hr：全体の復習

フランス語とフランス文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

西村　美穂（にしむら　みほ）

▌授業の概要

テクストのタイトル『 Ça sonne bien! 』は、音の響きがステキ！ という意味です。フランス語会話、シャンソン(歌)、ポエム(詩)、映画などを鑑賞しながら、フランス語の音をたくさん聞き、みんなで一緒にフランス語の音やフレーズを何度も声に出し、友達と協力しながら、使えるフランス語を身につけていきましょう。まずは、Alphabet（アルファベ)から。

フランス語と英語の似ているところと違うところを考えながら、フランスの文化、そしてフランス語圏の文化についても理解を深めていきましょう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：フランス語圏の人に、フランス語で簡単な自己紹介ができるようにする。

個別目標：①フランス語の母音を理解し、フランス語圏の人に理解してもらえる発音を目指す。
②綴り字の規則を覚え、フランス語が読めるようにする。
③友達と協力しながら、使えるフランス語を覚える。
④フランスやフランス語圏の文化に触れてみる。

▌履修条件

フランス語を母語とする学生は履修不可。

▌評価基準・方法

評価基準・方法：課題・小テスト 40 %、評価テスト 60 %

評価テスト：最終回 15 回目に行う。詳しくは授業中に指示する。

▌フィードバック方法

授業内、または学修支援システム manaba を使用。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

" Ça sonne bien! ", Atsuko Nakamura, 駿河台出版社, 2017.

▌参考書

ドラ・トーザン　『パリジェンヌのパリ 20 区散歩』　ポプラ社

S. リキエル　『ソニア・リキエルのパリ散歩』　集英社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Alphabet** 授業内容：①ガイダンス　②フランス語の簡単な挨拶　③アルファベ　La chanson de l'Alphabet 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
2 回	**授業テーマ：発音記号の読み方＆綴り字の読み方** 授業内容：①フランス語母音字の発音記号の読み方＆綴り字の読み方　②発音記号を見ながら正しい発音で　Alphabet を読む 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
3 回	**授業テーマ：C'est un musée.** 授業内容：①名詞の性と数　③不定冠詞と定冠詞　③提示表現 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
4 回	**授業テーマ：Je suis contente.** 授業内容：①動詞 être　②形容詞(国籍、性格、職業、色) 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
5 回	**授業テーマ：Nous n'avons plus de croissants.** 授業内容：①動詞 avoir　②部分冠詞 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
6 回	**授業テーマ：J'étudie le français.** 授業内容：① -er 動詞　②疑問文 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
7 回	**授業テーマ：Je finis mon travail à 18 heures.** 授業内容：① -ir 動詞　②指示形容詞　③所有形容詞 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
8 回	**授業テーマ：Bilan 1 自己紹介をしよう！** 授業内容：Écouter et Parler 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
9 回	**授業テーマ：Qu'est-ce qu'il fait dans la vie ?** 授業内容：①疑問代名詞 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
10 回	**授業テーマ：Où est-ce que vous passez vos vacances?** 授業内容：①動詞 aller,partir ②前置詞と定冠詞の縮約　③近接未来　④疑問副詞 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題

11回	**授業テーマ：Je viens d'acheter une chemise rose.** 授業内容：①動詞 venir ②前置詞と前置詞の縮約　③近接過去　④指示代名詞 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
12回	**授業テーマ：Je vous vois dimanche.** 授業内容：①動詞 voir, descendre　②直接目的語・強勢形の人称代名詞　③命令法 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
13回	**授業テーマ：Dis-lui bonjour de ma part.** 授業内容：①動詞 écrire,dire　②間接目的語の人称代名詞　③非人称構文 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
14回	**授業テーマ：Bilan 2　道を尋ねる** 授業内容：Écouter et Parler 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
15回	**授業テーマ：Ça sonne bien !** 授業内容：総復習 事前学修 2.0hr：学習内容総復習 事後学修 2.0hr：総復習

フランス語とフランス文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

馬越　洋平（うまこし　ようへい）

▌授業の概要

フランス語やフランス文化を学ぶ授業になります。前期に引き続き、文法を中心にフランス語の基礎を学んでゆきます。フランス語は入門レベルの授業です。グループワーク(アクティブ・ラーニング)として、教科書を用いて学生同士でフランス語の会話の練習なども行います。比較級など前期の授業よりもより発展した内容になります。この授業を受けることで、フランスを旅行するのに十分な語学力を身に着けることができるでしょう。また、様々なテーマから、フランス文化の講義も行います。半期で一区切りとなります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：・発音、文法などの初歩的なフランス語を身につけて、平易な表現を使えるようにする。
　　・文化、歴史、生活などの面から、フランスという国の特色を理解する。異文化への理解を育む。
個別目標：・フランス語の仕組みを理解し、あいさつ、自己紹介、尋ねる、注文など、簡単な日常会話ができる。
　　・フランスという国の特徴を、文化、歴史、生活などの面から理解し、説明できる。

▌履修条件

フランス語を母語とする学生、及びそれと同等の語学力(フランス語)を有する学生は履修できません。

▌評価基準・方法

試験(６０%)、授業参加度(２０%)、課題提出(２０%)。これらを総合的に判断して成績が決まります。原則として５分の４以上の出席を前提条件とします。

▌フィードバック方法

授業や manaba を通して伝える。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

カフェ・フランセ<新装版>、ニコラ・ガイヤール (著), 加藤豊子 (著), 中川高行 (著), フロランス・容子・シュードル (著), 柳嶋周 (著)、朝日出版社、(初版２０１６年)

▌参考書

必須ではないが、フランス語の辞書を手に入れておくことが望ましい。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、前期の内容の復習** 授業内容：授業についてのガイダンスを行う。教科書とプリントを用いて、前期に習ったフランス語の文法のおさらいをする。 事前学修 2.0hr：発音、動詞の活用などの復習 事後学修 2.0hr：確認した文法の復習
2回	**授業テーマ：第６課　これは何ですか？　物の位置を言う** 授業内容：定冠詞や場所を表す語句を学んで、物の位置を表せるようにする。「これは何ですか」というフレーズを使って会話してみる。 事前学修 2.0hr：前回の文法の復習 事後学修 2.0hr：「これは何ですか？」などの確認した表現の復習
3回	**授業テーマ：第６課　定冠詞、場所を表す語句、「フランスのことわざと名言」** 授業内容：前回に引き続き、場所の表現を応用して会話の練習を行う。場所の表現と定冠詞に親しむ。フランスの「ことわざ」と「名言」を取り上げて考察する。 事前学修 2.0hr：前回確認した表現の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
4回	**授業テーマ：第７課　好みを言う、形容詞の位置、～があります** 授業内容：「～が好きです」という表現を学ぶ。好きなこと、その程度も言えるようにする。「～があります」などの重要表現も学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回確認した表現の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、確認した表現を覚える
5回	**授業テーマ：第７課　様々な好みを言う、「パリについて」** 授業内容：フランス語で好みを聞き、好みを言ってみる。文化講義として「パリ」について歴史や文化などの観点から学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：好みの表現や形容詞の位置について復習
6回	**授業テーマ：第８課　天気の表現、比較級、非人称構文** 授業内容：フランス語の天気を表す表現を学ぶ。非人称構文、比較級などの文法知識も習得する。学生同士で、フランス語で天気や洋服について話してみる。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
7回	**授業テーマ：第８課　色と洋服、「フランスの地方について」** 授業内容：洋服や色に関する表現に親しむ。実際に人・物を比較級で比べてみる。「フランス地方」の魅力を様々な都市を取り上げて学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：比較級の復習
8回	**授業テーマ：第９課　部分冠詞、中性代名詞、動詞「取る」と「する」** 授業内容：部分冠詞や中性代名詞を学ぶ。頻出動詞「取る」と「する」の活用を覚える。それらを会話文のなかで実際に使ってみる。 事前学修 2.0hr：比較級の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
9回	**授業テーマ：第９課　～をします、朝食をとる、「フランスの世界遺産」** 授業内容：「朝食に～をとる」などをフランス語で言えるようにする。パリから地方まで「フランスの世界遺産」を映像などを用いて学ぶ。 事前学修 2.0hr：動詞「取る」、「する」の活用の復習 事後学修 2.0hr：朝食をとるなどの確認した表現の復習
10回	**授業テーマ：第１０課 ～に行く、中性代名詞 y** 授業内容：動詞「行く」を学ぶ。他の頻出動詞も学ぶ。動詞「行く」や中性代名詞 y を使って会話する。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習

11回	**授業テーマ：第１０課　乗り物、曜日や場所、招待する、「ワインについて」** 授業内容：乗り物を使った表現や、曜日、場所を組み合わせて文を作ってみる。フランス語で招待できるようにする。フランス文化における「ワイン」の重要性を講義する。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：動詞「行く」など確認した表現の復習
12回	**授業テーマ：第１１課　日常生活と時間の表現、代名動詞** 授業内容：フランス語の時間の表現について学ぶ。代名動詞を使えるようにする。日常生活を語るための表現を覚える。 事前学修 2.0hr：動詞「行く」などの確認した表現の復習 事後学修 2.0hr：時間・代名動詞などの確認した表現の復習
13回	**授業テーマ：第１１課　時間の言い方、代名動詞、「シャンソンを聴くⅢ」** 授業内容：前回覚えた時間の表現や代名動詞などを用いて、一日を描写してみる。「シャンソンを聴くⅢ」では前期と同様で、歌詞を確認しながらシャンソンの名曲を聴く。 事前学修 2.0hr：前回の文法の復習 事後学修 2.0hr：時間の表現、代名動詞の復習
14回	**授業テーマ：後期のフランス語の復習、「シャンソンを聴くⅣ」** 授業内容：後期のフランス語の内容をおさらいするために練習問題を解く。授業時間内に答え合わせと解説を行う。「シャンソンを聴くⅣ」では、フランス文化を学びながらシャンソンを聴く。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した問題の復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：後期の授業のまとめを行う。 事前学修 2.0hr：前回確認した問題の復習 事後学修 2.0hr：全体の復習

フランス語とフランス文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

西村　美穂（にしむら　みほ）

▌授業の概要

フランス語とフランス文化Ａで使用したテクスト『 Ça sonne bien! 』を引き続き勉強します。この題名は、音の響きがステキ！ という意味です。フランス語会話、シャンソン(歌)、ポエム(詩)、映画などを鑑賞しながら、フランス語の音をたくさん聞き、みんなで一緒に、フランス語の音やフレーズを何度も声に出し、友達と協力しながら、使えるフランス語を身につけていきましょう。まずは、フランス文化Ａで学習したフランス語の読みから。

フランス語と英語の似ているところと違うところを考えながら、フランスの文化、そしてフランス語圏の文化についても理解を深めていきましょう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：フランス語圏の人に、フランス語で簡単な自己紹介ができるようにする。

個別目標：①フランス語の母音を理解し、フランス語圏の人に理解してもらえる発音を目指す。
②綴り字の規則を覚え、フランス語が読めるようにする。
③友達と協力しながら、使えるフランス語を覚える。
④フランスやフランス語圏の文化に触れてみる。

▌履修条件

フランス語を母語とする学生は履修不可。

▌評価基準・方法

評価基準・方法：課題・小テスト 40 %、評価テスト 60 %

評価テスト：最終回 15 回目に行う。詳しくは授業中に指示する。

▌フィードバック方法

授業内、または学修支援システム manaba を使用。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

" Ça sonne bien! ", Atsuko Nakamura, 駿河台出版社, 2017.

▌参考書

ドラ・トーザン　『パリジェンヌのパリ 20 区散歩』　ポプラ社

S. リキエル　『ソニア・リキエルのパリ散歩』　集英社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：復習１** 授業内容：①ガイダンス　②フランス語母音字の発音記号の読み方＆綴り字の読み方　③アルファベ　④数字 1-20 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
2 回	**授業テーマ：復習２** 授業内容：①時刻、数詞 20-60 ②６文型 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
3 回	**授業テーマ：復習３** 授業内容：①月、曜日、数詞 70-100　③疑問文 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
4 回	**授業テーマ：復習４** 授業内容：①名詞　②冠詞　③形容詞　③疑問文 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
5 回	**授業テーマ：Dépêche-toi!** 授業内容：①題名動詞 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
6 回	**授業テーマ：Ma mère m'a téléphné.** 授業内容：①直接法複合過去 １　② puvoir, devoir 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
7 回	**授業テーマ：Nous sommes montés à la tour Eiffel.** 授業内容：①直接法複合過去 ２　② croire, lire 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
8 回	**授業テーマ：Des citrons, j'en prends deux.** 授業内容：① 中性代名詞 ② vouloir, savoir 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
9 回	**授業テーマ：Quelle est la meilleure saison ?** 授業内容：①比較級　②最上級　③ connaitre, courir 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
10 回	**授業テーマ：Bilan 1 日記を書こう！** 授業内容：Écouter et Parler 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題

11回	**授業テーマ：L'été, j'allais à la mer.** 授業内容：①直接法半過去　②直接法大過去 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
12回	**授業テーマ：Quelle est la région que tu aimes le plus ?** 授業内容：①関係代名詞 ② offrir, recevoir 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
13回	**授業テーマ：Tu viendras avec nous.** 授業内容：①直接法単純未来　②受動態 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
14回	**授業テーマ：Bilan 2　グリーティングカード(誕生日カード、クリスマスカード、年賀状)を書こう！** 授業内容：Écouter et Parler 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
15回	**授業テーマ：Ça sonne bien !** 授業内容：総復習 事前学修 2.0hr：学習内容総復習 事後学修 2.0hr：課題

ドイツ語とドイツ文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

諏佐　ランカ（すさ　らんか）

▌授業の概要

ドイツと聞いて初めに何を想像しますか？ まずは誰もがビールにソーセージ、自動車産業にサッカーなどを連想するでしょう。そして第二次世界大戦や冷戦期の東西ドイツの分断なども思い出すことでしょう。しかしそれだけではありません。日本では明治時代以降、ドイツの様々な文化や社会制度を手本として取り入れて来ました。この授業では、ドイツの歴史、社会や文化、法律、そしてドイツ語の基礎を学ぶことを通じて、同時に私たちが住んでいる日本という国についての理解も深めていきます。前期の授業では歴史を中心に学ぶ予定ですが、授業テーマは随時変更することがあります。各テーマについて積極的に考えてもらうため、授業中の発言や意見交換をする機会を定期的に作ります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日本の社会システムや問題点について理解するためには、海外の状況と比較することが有効です。外国の制度とそれに至るまでの歴史的過程を知ることで、日本とは異なった視点があることを知ることができ、日本の制度の特色や問題点に気づくことができます。日本の価値観や考え方だけにとらわれず、多面的でバランスのとれた見方ができるようになることがこの授業の到達目標です。また、ドイツ語の基礎知識を織り交ぜることで、新たな言語に対する理解を深めます。

個別目標：1. ドイツの歴史を中心に、社会制度や文化など、様々な特徴や問題について考え、日本との違いを説明できるようになる。
2. ドイツ語という言語の基礎知識を知って知的視野を広げる。

▌履修条件

ドイツという国およびドイツ語への興味関心、日本と異なる文化や考え方を学ぶ探求心、そして主体的に課題に取り組める方をお待ちしています。
※当該言語（ドイツ語）を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。

▌評価基準・方法

授業中の課題（授業中の発言・意見交換、小テスト等）：30 %
期末試験：70%
※期末試験は公欠を除いた 5 分の 4 以上（15 回授業の場合は 12 回以上）出席した場合のみ受験資格を認める
※ manaba や respon アプリ（ルーム等）で課題提出を行う。成績に影響するため、メールの通知設定も含めて必ず事前準備しておくこと

▌フィードバック方法

質問がある場合、授業後に担当者に直接聞いて下さい。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （必要に応じて意見交換やディスカッションを行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要に応じて課題等で使用する）

▌教科書

伊藤直子 /吉村暁子 /小野寺賢一『ひらめき、発見、ドイツ語文法 (Sei aktiv!)』朝日出版社
授業時間の約半分はドイツ語学習です。ドイツ語の文法説明と練習問題で毎週使用するため、必ず持参すること。
その他、担当者が作成したレジュメやパワーポイントなどの追加資料を併用して授業を進める。

▌参考書

特になし。必要に応じて参考書を履修者に提示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：はじめに：ドイツについて** 授業内容：数ある外国の中でなぜドイツに興味を持ったのかを考える。ドイツの制度や文化について、何をどう学んでいきたいかを説明する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
2 回	**授業テーマ：ドイツの宗教と祭り** 授業内容：ドイツのキリスト教文化と代表的な祭り（カーニバル、イースター、クリスマスマーケット）について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
3 回	**授業テーマ：ドイツの生活文化と価値観** 授業内容：ドイツにおける生活文化の違いや価値観について、動画を視聴しながら学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
4 回	**授業テーマ：歴史①ドイツの成り立ち（前編）** 授業内容：18 世紀頃までのドイツの歴史を概観する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
5 回	**授業テーマ：歴史②ドイツの成り立ち（後編）** 授業内容：19〜20 世紀初頭までのドイツの歴史を概観する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
6 回	**授業テーマ：歴史③第二次世界大戦前〜戦後ドイツ** 授業内容：第二次世界大戦が始まるまで、そして戦後ドイツの状況を概観する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
7 回	**授業テーマ：EU とドイツ** 授業内容：EU ができるまでの歴史的発展を概説する。EU 組織の基礎知識と制度やシステムについて説明する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
8 回	**授業テーマ：ドイツの移民について** 授業内容：ドイツの移民に関する歴史や政策、現在の課題について概説する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

9回	**授業テーマ：ドイツとトルコ系移民(前編)** 授業内容：本テーマにまつわる映画を視聴して、ドイツにおけるトルコ系移民について知見を深める。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
10回	**授業テーマ：ドイツとトルコ系移民(後編)** 授業内容：本テーマにまつわる映画を視聴して、ドイツにおけるトルコ系移民について知見を深める。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
11回	**授業テーマ：ドイツの政治** 授業内容：ドイツの政治、選挙システム、政党について概説する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
12回	**授業テーマ：ドイツとジェンダー①憲法の母たち** 授業内容：ドイツの歴史をジェンダー視点から振り返る。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
13回	**授業テーマ：ドイツとジェンダー②選択的夫婦別姓と専業主婦** 授業内容：ドイツが選択的夫婦別姓制度を取り入れた経緯を概説する。また、専業主婦に対する考え方が日本と異なることを説明する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
14回	**授業テーマ：ドイツの観光** 授業内容：ドイツにおける有名な観光地・グルメについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
15回	**授業テーマ：まとめ：総復習** 授業内容：全体の復習と今後の展望について説明する。この授業を通じて何を学んだか、そしてこれから何をどう学んでいくかを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

ドイツ語とドイツ文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

リースナー　フランク　ペーター

▌授業の概要

ドイツ語については、発音をしっかり身につけ、やさしい日常会話に必要な文法を習得してもらい、初歩的な日常会話を練習します。
文化については、履修者は文化的なトピックについて特別な課題に取り組み、先生からフィードバックを受けます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日本の社会の仕組みやそこに生起する問題について深く理解するための 1 つの方法は、外国の状況と比較することである。外国の制度や問題解決を参照することにより、日本におけるのとは異なった方法があることを知ることができる。また、外国の状況を知ることによりはじめて、日本の制度や文化のもつ際立った特色や問題点について気づくこともできる。こうした比較のためにドイツはきわめて適している。履修者がこうした、多面的でバランスのとれた見方ができるようになるための一助とすることを授業の到達目標としたい。

個別目標：日本とドイツのそれぞれの社会制度や文化、言語について、それぞれの特色や問題点を指摘し、相互に比較しながらそれぞれの利害得失について説明できるようになること、である。この授業を通して履修者が、ドイツ語という言語と、その言語が使われているドイツ社会に大いに関心をもち、知的視野を広げてくれることを願っている。
「ドイツ語検定 5 級」に合格できる。

▌履修条件

当該言語（ドイツ語）を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。主体的に課題に取り組み、自分にとって未知の問題でも、積極的に取り組もうという気持ちをもった学生に履修してほしい。

▌評価基準・方法

授業への参加度（授業への参加姿勢＋課題の提出の有無・出来具合）50 %、期末試験 50 %の結果に基づき、総合的に評価します。

▌フィードバック方法

期末試験の具体的内容については、試験の 1,2 週間前に、説明します。
尚、課題および定期試験のフィードバックは、授業中行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （必要に応じて、プレゼンテーションを課したり、ディベートを行ってもらう。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

森公正・Frank Riesner『ドイツ語の泉』、同学社　ISBN 978-4-8102-0977-8

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：アルファベット、発音(母音、子音)** 授業内容：ドイツ語ではどれだけの文字を使うのかを説明します(英語で使用する文字に、さらに 4 文字余計に使用します)。 それらの文字が、語のなかでどのように発音されるかが、発音の問題です。初回の授業では、発音について、説明・練習をします。 事前学修 2.0hr：シラバスをもう一度確認し、テキストの発音部分を眺めておく。 事後学修 2.0hr：ドイツ語の文字の確認と、母音や子音の発音の復習。
2 回	**授業テーマ：発音(母音, 子音)、動詞の現在人称変化** 授業内容：発音の説明・練習の続きです。発音を終らせます。動詞、動詞の現在人称変化を導入します。 ドイツ語では、主語の人称(1 人称単数(「私は」)・2 人称単数(「君は」)……)に応じて、動詞が変化するという現象があります。それを人称変化と言います。 事前学修 2.0hr：テキストの今回の発音の部分を眺めておく。 事後学修 2.0hr：英語と比較しての、ドイツ語の動詞の確認する。
3 回	**授業テーマ：定動詞の位置、動詞の現在人称変化の練習** 授業内容：規則動詞の現在人称変化を練習し、文中の動詞の位置に注意すること。口調上注意すべき動詞の現在人称を導入すること。 「ドイツ文化」のテーマは歴史です。 事前学修 2.0hr：テキストの口調上注意すべき動詞の現在人称変化や文中の動詞の位置の部分を予習しておく。 事後学修 2.0hr：口調上注意すべき動詞の現在人称変化や文中の動詞の位置の部分の復習しておく。
4 回	**授業テーマ：sein (である) の現在人称変化、動詞の現在人称変化の練習** 授業内容：sein 動詞の不規則現在人称変化の練習・規則現在人称変化復習です。 「ドイツ文化」のテーマは歴史です。 事前学修 2.0hr：テキストの動詞の現在人称変化の部分を予習しておく。 事後学修 2.0hr：動詞の現在人称変化の復習しておく。
5 回	**授業テーマ：名詞の性** 授業内容：名詞の性、男性名詞、女性名詞、中性名詞の特徴を導入すること。 「ドイツ文化」のテーマは歴史です。 事前学修 2.0hr：テキストの第 2 課を予習しておく。 事後学修 2.0hr：男性名詞、女性名詞、中性名詞の復習しておく。
6 回	**授業テーマ：名詞の性、冠詞の格変化(1)** 授業内容：名詞の性、冠詞の格変化の 1,4 格を導入すること。 「ドイツ文化」のテーマは歴史です。 事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：冠詞の格変化の 1,4 の復習しておく。
7 回	**授業テーマ：名詞の性、冠詞の格変化 (2)** 授業内容：名詞の性、冠詞の格変化の 2,3 格を導入すること。 「ドイツ文化」のテーマは旧東西ドイツです。 事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：冠詞の格変化の 2,3 の復習しておく。

8回	**授業テーマ：不規則動詞 sein を復習、haben の導入** 授業内容：ドイツ語で圧倒的に使われる”sein”と、2 番目によく使われる”haben”という動詞の現在人称変化、および、発音の都合上、規則的な現在人称変化と若干変化が異なる動詞を扱います。 「ドイツ文化」のテーマは旧東西ドイツです。 事前学修 2.0hr：テキストの 2 課を予習しておく。 事後学修 2.0hr：不規則動詞 sein や haben の現在人称変化の復習しておく。
9回	**授業テーマ：複数形** 授業内容：複数形の形が紹介されています。どのような語尾がありますか。 「ドイツ文化」のテーマはベルリンの壁崩壊です。 事前学修 2.0hr：複数形を予習しておく。 事後学修 2.0hr：複数形の復習しておく。
10回	**授業テーマ：複数形の格変化** 授業内容：複数形の格変化の導入 「ドイツ文化」のテーマは連邦州 (1) です。 事前学修 2.0hr：3 課の文法事項を予習しておく。 事後学修 2.0hr：複数形の格変化の復習しておく。
11回	**授業テーマ：男性弱変化名詞** 授業内容：複数形の使い方と特殊な形を紹介します。。 「ドイツ文化」のテーマは連邦州 (2) です。 事前学修 2.0hr：3 課の文法事項を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
12回	**授業テーマ：教科書の第 1、第 2、第 3 課の復習** 授業内容：動詞の現在人称変化、名詞の 1,2,3,4 格 「ドイツ文化」のテーマは連邦州 (3) です。 事前学修 2.0hr：テキストで第 1、第 2、第 3 課を予習しておく。 事後学修 2.0hr：テキストで第 1、第 2、第 3 課を復習しておく。
13回	**授業テーマ：定冠詞の格変化の復習** 授業内容：定冠詞の使い方 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (1) です。 事前学修 2.0hr：定冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
14回	**授業テーマ：不定冠詞の格変化の復習** 授業内容：不定冠詞のの練習 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (2) です。 事前学修 2.0hr：不定冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
15回	**授業テーマ：第 1 課から第 3 課までの繰り返し** 授業内容：前期にやったことのまとめ 事前学修 2.0hr：これまでにやったことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：これまでにやったことを確実に身につけておく。

ドイツ語とドイツ文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

諏佐　ランカ（すさ　らんか）

▌授業の概要

日本では明治時代以降、ドイツの様々な文化や社会制度を手本として取り入れて来ました。この授業では、ドイツ社会や文化、法律、そしてドイツ語の基礎を学ぶことを通じて、同時に私たちが住んでいる日本という国についての理解も深めていきます。履修者には各テーマについて積極的に考えてもらうため、授業中の発言や意見交換をする機会を定期的に作ります。なお、この科目は、前期「ドイツ語とドイツ文化 A」の後半部分です。歴史にまつわるテーマが中心だった前期に比べて、後期はドイツの社会制度や文化に関する割合が多くなっています。※授業内容は随時変更されることがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日本の社会システムや問題点について理解するためには、外国の状況と比較することが有効です。外国の制度を知ることで、日本とは異なった視点があることを知ることができ、さらに日本の制度・文化の特色・問題点に気づくこともできます。日本の価値観や考え方だけにとらわれず、多面的でバランスのとれた見方ができるようになることがこの授業の到達目標です。また、ドイツ語の基礎知識を織り交ぜることで、新たな言語に対する理解を深めます。

個別目標：1. 日本とドイツの社会制度や文化・考え方など、様々な特徴や問題点を指摘し、相互を比較して違いを説明できるようになる。
2. ドイツ語という言語の基礎知識を知って知的視野を広げる。

▌履修条件

ドイツという国およびドイツ語への興味関心、日本と異なる文化や考え方を学ぶ探求心、そして主体的に課題に取り組める方をお待ちしています。
※当該言語（ドイツ語）を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。
※ドイツ語の文法は前期からの継続となります。後期から履修される方は事前に教科書の前半を読んで、ある程度キャッチアップしておいて下さい。

▌評価基準・方法

授業中の課題（授業中の発言・意見交換、小テスト等）：30 %
期末試験：70%
※期末試験は公欠を除いた 5 分の 4 以上（15 回授業の場合は 12 回以上）出席した場合のみ受験資格を認める
※ manaba や respon アプリ（ルーム等）で課題提出を行う。成績に影響するため、メールの通知設定も含めて必ず事前準備しておくこと

▌フィードバック方法

質問がある場合、授業後に担当者に直接聞いて下さい。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （必要に応じて意見交換やディスカッションを行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要に応じて課題等で使用する）

▌教科書

伊藤直子 /吉村暁子 /小野寺賢一『ひらめき、発見、ドイツ語文法 (Sei aktiv!)』朝日出版社
授業時間の約半分はドイツ語学習です。ドイツ語の文法説明と練習問題で毎週使用するため、必ず持参すること。
その他、担当者が作成したレジュメやパワーポイントなどの追加資料を併用して授業を進める。

▌参考書

特になし。必要に応じて参考書を履修者に提示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：はじめに：ドイツについて** 授業内容：前期の授業を振り返りながら、ドイツという国とその制度や文化について、どのように知識を深めていきたいかを改めて考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
2 回	**授業テーマ：ドイツの教育制度** 授業内容：ドイツの教育システムを学びながら、日本の教育システムとの違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
3 回	**授業テーマ：ドイツの大学制度** 授業内容：ドイツの大学制度を学びながら、日本の大学制度との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
4 回	**授業テーマ：旧東ドイツ①社会状況と日常生活** 授業内容：旧東ドイツ（DDR）時代の人々の日常生活について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
5 回	**授業テーマ：旧東ドイツ②オスタルギーとは（前編）** 授業内容：東西ドイツ再統一とその後の旧東ドイツの状況について、映画を視聴しながら学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
6 回	**授業テーマ：旧東ドイツ③オスタルギーとは（後編）** 授業内容：東西ドイツ再統一とその後の旧東ドイツの状況について、映画を視聴しながら学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
7 回	**授業テーマ：ドイツの職業訓練と仕事観** 授業内容：ドイツ人の職業に対する意識と仕事観について学びながら、日本との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
8 回	**授業テーマ：ドイツの産業と企業** 授業内容：ドイツを代表する企業やドイツの産業について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

9回	**授業テーマ：ドイツと貧困** 授業内容：ドイツにおける人々の経済事情や貧困について学び、日本との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
10回	**授業テーマ：ドイツ人の働き方** 授業内容：ドイツ国内の仕事事情について学び、日本との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
11回	**授業テーマ：ドイツの税金と社会保険** 授業内容：ドイツの税金制度や社会保険システムを学び、日本との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
12回	**授業テーマ：ドイツに留学しよう①各地域の特色** 授業内容：ドイツ留学を検討する際に考えるべき、選ぶべき地域の特色について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
13回	**授業テーマ：ドイツに留学しよう②食文化や生活習慣** 授業内容：ドイツ留学を検討する際に考えるべき、ドイツ人の食文化や生活習慣について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
14回	**授業テーマ：ドイツに留学しよう③外国人として生活する** 授業内容：ドイツ留学を検討する際、自身が外国人として生活することについて考えてみる。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
15回	**授業テーマ：まとめ：総復習** 授業内容：全体の復習を行う。この授業を通じて何を学んだか、そしてこれから何をどう学んでいくかを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

ドイツ語とドイツ文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

リースナー　フランク　ペーター

▌授業の概要

ドイツ語については、『ドイツ語とドイツ文化 A』に引き続き、やさしい日常会話に慣れ親しんでもらうことを目指します。
文化については、履修者は文化的なトピックについての特別な課題に取り組み、先生からフィードバックを受けます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日本の社会の仕組みやそこに生起する問題について深く理解するための 1 つの方法は、外国の状況と比較することである。外国の制度や問題解決を参照することにより、日本におけるのとは異なった方法があることを知ることができる。また、外国の状況を知ることによりはじめて、日本の制度や文化のもつ際立った特色や問題点について気づくこともできる。こうした比較のためにドイツはきわめて適している。履修者がこうした、多面的でバランスのとれた見方ができるようになるための一助とすることを授業の到達目標としたい。

個別目標：日本とドイツのそれぞれの社会制度や文化、言語について、それぞれの特色や問題点を指摘し、相互に比較しながらそれぞれの利害得失について説明できるようになること、である。この授業を通して履修者が、ドイツ語という言語と、その言語が使われているドイツ社会に大いに関心をもち、知的視野を広げてくれることを願っている。
「ドイツ語検定 5 級」に合格できる。

▌履修条件

当該言語（ドイツ語）を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。
尚、ドイツ語に関しては、『ドイツ語とドイツ文化 A』のレベルの内容（具体的には、ドイツ語の発音、現在人称変化、名詞の性・格の知識）を前提とすることを、承知しておいてください。

▌評価基準・方法

・授業への参加度（授業への参加姿勢＋課題の提出の有無・出来具合）50 %、期末試験 50 %の結果に基き、総合的に評価します。期末試験の具体的内容については、試験の 1,2 週間前に、説明します。

▌フィードバック方法

課題および定期試験のフィードバックは、授業中行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （必要に応じて、プレゼンテーションを課したり、ディベートを行ってもらう。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

森公正・Frank Riesner『ドイツ語の泉』、同学社 ISBN 978-4-8102-0977-8

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ドイツとドイツ語の基本情報** 授業内容：ドイツ語については、「ドイツ語とドイツ文化 A」で勉強した内容の復習 事前学修 2.0hr：これまでに学習したことを予習しておく。 事後学修 2.0hr：初回の授業の内容を復習しておく。
2 回	**授業テーマ：動詞の現在人称変化(不規則)** 授業内容：不規則動詞の現在人称変化の導入。 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (1) です。 事前学修 2.0hr：動詞の現在人称変化の予習をしておく。 事後学修 2.0hr：不規則動詞の現在人称変化の復習をしておく。
3 回	**授業テーマ：命令形** 授業内容：命令形の導入。 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (2) です。 事前学修 2.0hr：命令形の予習をしておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
4 回	**授業テーマ：nicht の位置** 授業内容：否定文の導入 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (3) です。 事前学修 2.0hr：否定文の予習をしておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
5 回	**授業テーマ：定冠詞類** 授業内容：定冠詞類の導入 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (4) です。 事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。(１格、２格、３格、４格) 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
6 回	**授業テーマ：不定冠詞類** 授業内容：不定冠詞類んの導入、所有代名詞の使い方 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (5) です。 事前学修 2.0hr：不冠詞の格変化を予習しておく。(１格、２格、３格、４格) 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
7 回	**授業テーマ：人称代名詞　１格、３格、４格** 授業内容：人称代名詞の導入、定冠詞類や不定冠詞類の練習 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (6) です。 事前学修 2.0hr：テキストの第５課を予習しておく。(２９ページ) 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。

8回	**授業テーマ：文法的否定形 nicht , kein** 授業内容：nicht, kein の使い分け 「ドイツ文化」のテーマは 法制度 (1) です。 事前学修 2.0hr：nicht, kein を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
9回	**授業テーマ：２、３，４格支配の前置詞** 授業内容：２、３，４格支配の前置詞の導入。 「ドイツ文化」のテーマは 法制度 (2) です。 事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。(２格、３格、４格) 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
10回	**授業テーマ：２、３，４格支配の前置詞の復習** 授業内容：３格、４格、スイッチ型前置詞のを復習しておく。 「ドイツ文化」のテーマは経済 (1) です。 事前学修 2.0hr：３格、４格の前置詞と冠詞類を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
11回	**授業テーマ：前置詞の融合形** 授業内容：前置詞と冠詞の組み合わせ方 「ドイツ文化」のテーマは経済 (2) です。 事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
12回	**授業テーマ：縦続接続詞と副文** 授業内容：主文と副文の特徴の説明、副文の構造の導入。 「ドイツ文化」のテーマは経済 (３) です。 事前学修 2.0hr：動詞の位置を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
13回	**授業テーマ：第 4 の復習** 授業内容：第 4 の復習 「ドイツ文化」のテーマは教育 (1) です。 事前学修 2.0hr：命令形と動詞の現在人称不規則変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
14回	**授業テーマ：第 5、第 6 の復習** 授業内容：第 5、第 6 の復習 「ドイツ文化」のテーマは教育 (2) です。 事前学修 2.0hr：前置詞と冠詞類を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
15回	**授業テーマ：第課 4 から第 6 課までの繰り返し** 授業内容：後期にやったことのまとめ 事前学修 2.0hr：これまでにやったことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。

スペイン語とスペイン文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

ゴンサレス　ガブリエル

▌授業の概要

スペイン語は、使用人口が世界で 3 番目に多く、20 を超える国々で話されています。
本講座の中心目標は、スペイン語の基本を習得することです。それを通じて、スペイン語文化圏の理解にも努めます。
スペイン語圏を紹介するビデオも数回見ます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：スペイン語の基本を身に付けること。
　　スペイン語で最低限の会話のやり取りができるようになること。
個別目標：スペインとスペイン語圏の国の文化や習慣など理解できること。
　　スペイン語圏、スペイン語圏のビジネス界を理解する。

▌履修条件

1 年次からの開講科目。
スペイン語を母語とする学生は履修できません。

▌評価基準・方法

授業への参加度と宿題: 20%
学期中の小テスト: 20%
期末試験: 60%

▌フィードバック方法

Manaba の個別指導。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業で積極的な参加）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Manaba）

▌教科書

スペイン語とわたし
－日本とスペイン語圏、くらべてコミュニケーション！ －
El español y yo. スペイン語教材研究会編者、2025 年 (改訂版)、朝日出版社

▌参考書

「本気で学ぶスペイン語」菅原昭江著、2011 年、同学社
「スペイン語ワークブック」小川雅美編著、2007 年、同学社
「先生と学ぶスペイン語」山下好孝、森淳子共著、2009 年、同学社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：スペイン語のアルファベット** 授業内容：授業の進め方について　2と3ページスペイン語のアルファベット、発音について 事前学修 2.0hr：2と3ページを読む 事後学修 2.0hr：スペイン語のアルファベット、発音について
2回	**授業テーマ：スペイン語の国際言葉** 授業内容：ユニットすでに知っているスペイン語の言葉4－7ページ. Preliminar: Tú ya sabes cosas 事前学修 2.0hr：4－7ページを読む 事後学修 2.0hr：固有名詞、教室で役に立つ表現、数字(0－10)
3回	**授業テーマ：スポーツ I** 授業内容：ユニット1スポーツとわたし　8－10ページ　Unidad 1: Los deportes y yo 事前学修 2.0hr：8－10ページを読む 事後学修 2.0hr：名詞の性、名詞の数、定冠詞、主語代名詞を勉強する
4回	**授業テーマ：スポーツ　II** 授業内容：ユニット1スポーツとわたし　11-13ページ　Unidad 1: Los deportes y yo 事前学修 2.0hr：11-13ページを読む 事後学修 2.0hr：「ser」動詞の現在形、疑問文、否定文を勉強する
5回	**授業テーマ：食べ物と料理　I** 授業内容：ユニット2食べ物とわたし14-16ページ 事前学修 2.0hr：14-16ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(名詞、定冠詞、主語)を勉強する
6回	**授業テーマ：食べ物と料理　II** 授業内容：ユニット2食べ物とわたし17-19ページ.　Unidad 2: Las comidas y yo 事前学修 2.0hr：17-19ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(「ser」動詞、疑問文、否定文)を勉強する
7回	**授業テーマ：レビュー** 授業内容：ユニット1、2の中の小テストトレーニング 事前学修 2.0hr：ユニット1と2を小テストトレーニングする 事後学修 2.0hr：小テストトレーニングの振り返りをする
8回	**授業テーマ：旅行 I** 授業内容：ユニット旅行とわたし20-22ページ. Unidad 3: Los viajes y yo 事前学修 2.0hr：20-22ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(数字) を勉強する
9回	**授業テーマ：旅行 II** 授業内容：ユニット旅行とわたし23-25ページ. Unidad 3: Los viajes y yo 事前学修 2.0hr：23-25ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(職業、国籍) を勉強する

10回	**授業テーマ：音楽 I** 授業内容：ユニット音楽とわたし２６- ２８ページ. Unidad 4: La música y yo 事前学修 2.0hr：２６-２８ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(不定冠詞、品質形容詞)を勉強する
11回	**授業テーマ：音楽 II** 授業内容：ユニット音楽とわたし２９- ３１ページ. Unidad 4: La música y yo 事前学修 2.0hr：２９-３１ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(所有詞前置形)を勉強する
12回	**授業テーマ：趣味と仕事** 授業内容：ユニット趣味対仕事３２- ３３ページ. Unidad 5: Aficiones vs. trabajo 事前学修 2.0hr：３２-３３ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(「tener」動詞、疑問詞)を勉強する
13回	**授業テーマ：仕事** 授業内容：ユニット趣味対仕事３４-３５ページ. Unidad 5: Aficiones vs. trabajo 事前学修 2.0hr：３４-３５ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(指示の形容詞と代名詞)を勉強する
14回	**授業テーマ：趣味** 授業内容：ユニット趣味対仕事３６-３７ページ. Unidad 5: Aficiones vs. trabajo 事前学修 2.0hr：３６-３７ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(「estar」動詞、「haber」動詞)を勉強する
15回	**授業テーマ：レビュー** 授業内容：まとめ　ユニット３、４と５の試験のトレーニング 事前学修 2.0hr：ユニット３、４と５を勉強トレーニングする 事後学修 2.0hr：前期の復習を勉強する

スペイン語とスペイン文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

ゴンサレス　ガブリエル

▌授業の概要

スペイン語は、使用人口が世界で 3 番目に多く、20 を超える国々で話されています。
本講座の中心目標は、スペイン語の基本を習得することです。それを通じて、スペイン語文化圏の理解にも努めます。
スペイン語圏を紹介するビデオも数回見ます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：スペイン語の基本を身に付けること。
　　スペイン語で最低限の会話のやり取りができるようになること。
個別目標：スペインとスペイン語圏の国の文化や習慣など理解できること。
　　スペイン語圏、スペイン語圏のビジネス界を理解する。

▌履修条件

1 年次からの開講科目。
スペイン語を母語とする学生は履修できません。

▌評価基準・方法

授業への参加度と宿題: 20%
学期中の小テスト: 20%
期末試験又は小テスト: 60%

▌フィードバック方法

Manaba の個別指導。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業で積極的な参加）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Manaba）

▌教科書

スペイン語とわたし
－日本とスペイン語圏、くらべてコミュニケーション！ －
El español y yo. スペイン語教材研究会編者、2025 年 (改訂版)、朝日出版社

▌参考書

「本気で学ぶスペイン語」菅原昭江著、2011 年、同学社
「スペイン語ワークブック」小川雅美編著、2007 年、同学社
「先生と学ぶスペイン語」山下好孝、森淳子共著、2009 年、同学社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：授業の進め方について 事前学修 2.0hr：前期の復習 事後学修 2.0hr：前期の復習を勉強する
2 回	**授業テーマ：ショーとエンターテイメント I** 授業内容：ユニット６ユニット映画　演劇等とわたし３８-４０ページ Unidad 6: Los espectáculos y yo 事前学修 2.0hr：３８-４０ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(GUSTAR 動詞)を勉強す
3 回	**授業テーマ：ショーとエンターテイメント II** 授業内容：ユニット６ユニット映画　演劇等とわたし４１-４３ページ Unidad 6: Los espectáculos y yo 事前学修 2.0hr：４１-４３ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(GUSTAR と同じように用いられる動詞、比較表現 II)を勉強する
4 回	**授業テーマ：伝統 I** 授業内容：ユニット７色々な習慣４４-４５ページ Unidad 7: Costumbres diferentes 事前学修 2.0hr：４４-４５ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(語幹母音変化動詞)を勉強する
5 回	**授業テーマ：伝統 II** 授業内容：ユニット７色々な習慣４６-４７ページ Unidad 7: Costumbres diferentes 事前学修 2.0hr：４６-４７ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(再帰動詞)を勉強する
6 回	**授業テーマ：伝統 III** 授業内容：ユニット７色々な習慣４８- ４９ページ Unidad 7: Costumbres diferentes 事前学修 2.0hr：４８-４９ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(居間、天候表現)を勉強する
7 回	**授業テーマ：レビュー** 授業内容：ユニット６と７の中の小テスト 事前学修 2.0hr：ユニット６と７を小テストトレーニングする 事後学修 2.0hr：小テストの振り返りをする
8 回	**授業テーマ：買い物に行く I** 授業内容：ユニット８買い物に行く５０-５１ページ Unidad 8: Ir de compras 事前学修 2.0hr：５０-５１ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(食べ物と飲み物)を勉強する
9 回	**授業テーマ：買い物に行く II** 授業内容：ユニット８買い物に行く５２-５３ページ Unidad 8: Ir de compras 事前学修 2.0hr：５２-５３ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(レシピ)を勉強する

10回	**授業テーマ：買い物に行く III** 授業内容：ユニット８買い物に行く５４-５５ページ Unidad 8: Ir de compras 事前学修 2.0hr：５４-５５ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(衣服とアクセサリー、品質形容詞、色)を勉強する
11回	**授業テーマ：家族と友達 I** 授業内容：ユニット９家族と友人５６-５８ページ Unidad 9: Familia y amigos 事前学修 2.0hr：５６-５８ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(体の部分の名称)を勉強する
12回	**授業テーマ：家族と友達 II** 授業内容：ユニット９家族と友人５９-６１ページ Unidad 9: Familia y amigos 事前学修 2.0hr：５９-６１ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(状態、体調・感情表現)を勉強する
13回	**授業テーマ：祭り I** 授業内容：ユニット１０行事　お祭り等とわたし６２-６４ページ Unidad 10: Las fiestas y yo 事前学修 2.0hr：６２-６４ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(日常生活を表す動詞)を勉強する
14回	**授業テーマ：祭り II** 授業内容：ユニット１０行事　お祭り等とわたし６５-６８ページ Unidad 10: Las fiestas y yo 事前学修 2.0hr：６５-６８ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(曜日、頻度を表す副詞表現)を勉強する
15回	**授業テーマ：レビュー** 授業内容：まとめ　ユニット８、９と１０の試験のトレーニング 事前学修 2.0hr：ユニット８、９と１０を勉強する 事後学修 2.0hr：後期の復習を勉強する

韓国語と韓国文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

全　イジョング（じょん　いじょんぐ）

▌授業の概要

韓国の言葉と文化に対する理解を深め、音声や文字、語彙、表現、文構造などについて、日本語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読み書きに慣れ親しみ、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、活用できる基礎的な技能を身につけていく授業です。また、ハングルキーボード使用法の習熟なども行われます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：(1) 自然なイントネーションや正確な発音を身につける。
(2) 綴り字と発音の違いについて習得し、単語やフレーズを正しく発音できる。
(3) 積極的なコミュニケーション能力の素地を養う。
(4) ハングルキーボード使用法の習熟を図り、ハングルワードの作成やネット検索ができる。

個別目標：(1) 正しく発音できて、音声を聴き正しく書き取れる。
(2) 発話練習を繰り返し、簡単な挨拶、自己紹介ができる。
(3) パソコンを使った検索やハングルワードの作成ができる。

▌履修条件

・韓国語や朝鮮語を母語とする学生及びそれと同等に堪能な学生は履修できない。
・授業は毎回必ず受講し、内容をしっかり理解すること。
・教科書は必ず購入すること。
・履修者の抽選を行うので第 1 回目の授業に出席しないと履修ができない。

▌評価基準・方法

・学期末試験 (40%)、授業時の小テスト及び「振り返りシート」(30%)、課題・学習態度 (30%) によって総合的に評価する。
・5 分の４以上の出席を評価の前提条件とする。
・課題などのフィードバックは学修支援システム manaba を通して行う。
＊学期末テストの再試験は行わない。

▌フィードバック方法

課題をはじめ「小テスト」、授業後の質疑応答などは大学の学修支援システム (manaba) を利用し行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ワードソフトを搭載したノートパソコンを持参すること）

▌教科書

ジョン・イジョング著 『一人でできる韓国語発音トレーニング』(ask 出版)

▌参考書

適宜資料を紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション、「ハングルとは何か」** 授業内容：ハングルができる前の朝鮮半島の文字生活に身て、それからハングルの制字原理や制字思想など、ハングル誕生に関わるいくつかの事柄について触れて行く。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、授業の概要を理解する。 事後学修 2.0hr：配布された資料を読み直し「確認問題」に取り組む。講義動画を閲覧する。
2 回	**授業テーマ：「短母音、半母音Ⅰ」** 授業内容：短母音 8 つと半母音 (ヤ系) 6つの習得する (書き方、発音方法などをしっかり覚える)。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧しハングル母音について学修する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、課題に取り組む。
3 回	**授業テーマ：「半母音Ⅱ、二重母音、基本子音字」/小テスト** 授業内容：半母音 (ワ系) 6つと二重母音 1 つの書き方、発音方法を覚え、発音の練習を行う。また、14 個の基本子音字の書き方、発音方法などを覚え、母音と組み合わせて読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、課題に取り組む。
4 回	**授業テーマ：「二重子音字、ハングル字母表の読み練習」** 授業内容：基本子音字と二重子音字の音の違いを理解し発音練習に取り組む。ハングル字母表をつくり、読みの練習をする。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、課題に取り組む。
5 回	**授業テーマ：「パッチム、聞き取り小テスト」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。パッチムの仕組み、読み方などの説明。パッチムのついた単語の聞き分け、言い分けの練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧しバッチムについて予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、課題に取り組む。
6 回	**授業テーマ：「バッチムの読み練習、ハングルキーボード使用法」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。パッチムがついた単語を読む練習。書き取りテスト実施。ハングルキーボード使用法を習熟に取り組む。ワード入力練習やハングルでネット検索を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧する。読みながら書く練習をする。 事後学修 2.0hr：バッチムを繰り返し音読する。ワードの打ち方を習熟させる。
7 回	**授業テーマ：「読み書き練習、仮名のハングル表記/小テスト」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。単語を聴き正確に書き取る練習を繰り返し行う。日本語の仮名をハングル表記法を覚え、人名や地名を使い書き方の練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を声に出して数回読み予習する。 事後学修 2.0hr：声の上がり下がりの調子や息の出し方に注意し発話練習をする。

8回	**授業テーマ：「発音のルール」(連音化、弱音化)/小テスト」** 授業内容：綴りと発音について把握し発音のルールを覚える。歌の歌詞を使い、連音化と弱音化を身につける。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：「発音のルール」(濃音化、激音化、流音化)/小テスト」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。歌の歌詞、簡単な語彙を使い、濃音化、激音化、流音化を身につける。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：「発音のルール」(鼻音化、口蓋音化 、添加)** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。歌の歌詞、簡単な語彙を使い、鼻音化、口蓋音化 、添加を身につける。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：「韓国語の文法の仕組み、品詞について」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。日本語と韓国語の文章を比較しながら共通点と違いを把握する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、「確認問題」に取り組む。
12回	**授業テーマ：「日常の挨拶の言葉」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。簡単な挨拶言葉の発音をチェックし、発話の練習に取り組む。 事前学修 2.0hr：音声教材を聴き何度も音読する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：「体言の叙述」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。体言の叙述表現について習得する。作文に取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、「確認問題」に取り組む。
14回	**授業テーマ：「体言の否定形、自己紹介発表/小テスト」** 授業内容：フィードバックを行う。体言の否定形表現について習得する。作文に取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。自己紹介文を作成しておく。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：まとめ、各自発表 (品物や人物、場所などを紹介する)** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。学習してきた内容をおさらいする。グループ別に発表する。 事前学修 2.0hr：試験に備えてまとめをする。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。

韓国語と韓国文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

全 イジョング（じょん いじょんぐ）

▌授業の概要

TOPIK2 級レベルのの実用的な表現やよりネイティブに近い言い回しを覚え、韓国語で発信するための準備運動(作文作り、内容をコンパクトにまとめる) をし、話すステップへ移行していきます。誰かに説明する時に求められる語彙力や要約力を高め、上手に話せる力をしっかり磨きます。また、K-POP や韓国ドラマ等にも触れ、自然で伝わりやすい表現方法を丁寧に説明します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：基礎文法を固めながら語彙力や要約力を高め、読解力を養うとともにプレゼンテーションに役立つ能力を身に付ける。

個別目標：・文章を読む上で必要な読解力を高めていく。
・文章の要点を掴んで簡潔にまとめる力を養う。
・韓国語の TOPIK2-３級の合格を目指す。

▌履修条件

・「韓国語と韓国文化 A」を履修ずみであることが望ましい。(履修済みでない場合は担当教員へご相談ください)。
・授業は毎回必ず受講し、内容をしっかり理解すること。
・グループワークを行うことが多いので遅刻や欠席をしないこと。
・履修者の抽選を行いますので必ず第１回目の授業にご出席ください。

▌評価基準・方法

・学期末試験 (40%)、授業時の小テスト及び「振り返りシート」(30%)、課題・学習態度 (30%) によって総合的に評価する。
・5 分の４以上の出席を評価の前提条件とする。
・課題などのフィードバックは学修支援システム manaba を通して行う。
＊再試験は行わない。

▌フィードバック方法

課題のフィドバックをはじめ「レポート提出」、「小テスト」、「授業後の質疑応答」などは大学の学修支援システム (manaba) を利用し行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ワードソフトを搭載したノートパソコンを持参すること）

▌教科書

テキストは学修支援システム manaba に掲載する。

▌参考書

Never 検索辞書
ジョンイジョング著『一人でできる韓国語トレーニング』(ask 出版)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：用言の叙述表現** 授業内容：用言の叙述表現につて学習する。作文づくりあり。発話練習に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義概要を理解する。講義動画を閲覧する。 事後学修 2.0hr：講義動画を閲覧し学習した内容を復習し、課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：不規則用言について/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。不規則用言活用をする用例を確認し、作文づくりに取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：指示詞と疑問詞/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。指示詞と疑問詞を学習する。グループ別に発表する。 事前学修 2.0hr：疑問詞と指示詞の講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習したものを復習し、課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：動詞・形容詞の否定形/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。用言の否定形について学習する。文章作りに取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：漢数字/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。漢数字を学習しテキストの「練習問題」に取り組む。会話練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：存在詞/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。存在詞の言い回しをまとめる。日本語の文章を韓国語に替えて話す練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：固有数字/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。固有数字について学習。日本語の文章から韓国語に替えて話す練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：過去形/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。過去形を学習した後、テキストの「練習問題」に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：文の接続 (状態・動作の羅列)** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。文の接続表現について学習する。テキストの「練習問題」に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。

10回	**授業テーマ：仮定・条件表現/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。仮定・条件表現叙述表現について学習する。テキストの「練習問題」に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：許可・不許可表現/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。許可・不許可表現について学習する。テキストの「練習問題」に取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：勧誘形表現/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。勧誘表現について学習する。テキストの「練習問題」に取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：連体形/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。連体形について学習する。連体形を使った文章作りをし発話練習に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：可能・不可能表現/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。可能・不可能表現について学習する。日本語の文章から韓国語に替えて話す練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：基本文法のまとめ。振り返りシート完成** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。前期の授業で学習された内容を確認し、「振り返りシート」を完成する。 事前学修 2.0hr：基礎文法のまとめ、振り返りシートを作成する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習する。

中国語と中国文化 A

開講学科等：日英経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

于　明明 (う　めいめい)

▌授業の概要

初心者を対象に、中国語を学ぶ楽しさを知り、文化として中国語を学ぶ意味を主眼に置きながら、初級中国語を習得する。具体的に、発音の表記記号ピンインから始まり、初級文法(入門編)を系統的に学び、簡単な会話を習得していく。また、中国の生活、社会、歴史など文化的な要素に触れ、中国語を学ぶ意味を深めていく。中国語学習をメインとする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：中国語の発音については、仕組みの特徴を理解し、読み書きできる。中国語の文字については、日本語漢字との違いを区別することができ、書けるようになる。独力で基礎的な中国語を学習していく能力を身につける。中国の文化については、中国の生活、社会などに関することを概略的に言える。

個別目標：初級文法を学習し、簡単な会話で使えるようになる。
日常挨拶、買い物、レストランでの注文、道尋ね、家族構成の紹介、旅行や留学など日常生活についての表現ができる。

▌履修条件

初学者を対象とする。
当該言語 (中国語) を母語とする学生及びそれと同等に堪能な学生は履修不可。

▌評価基準・方法

①試験 60 %：学習到達度を測定するため、授業内で小テストを実施する。テストの成績によって、以降の授業の進み方を見直し、改善していくことができる。
②受講状況 40 %：授業内容によって、課題提出や口頭発表等のこともある。また、しっかり出席することも重要。
原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

manaba 実施

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （対話練習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

教科書：『しゃべっていいとも中国語 トータル版』
著者：陳淑梅 劉光赤
朝日出版社

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：「中国語」の仕組みと発音の慣らし** 授業内容：授業の進め方、予習の方法、評価方法などについて説明する。今後中国語学習していく上での目標を定めましょう。 「中国語」の仕組みと発音記号ピンインの構造についての説明及び数字の発音の慣らし。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、授業概要を理解する。 事後学修 2.0hr：本日学習した内容を復習する。
2 回	**授業テーマ：「発音編」第 1 課～第 4 課、基本挨拶の学習** 授業内容：声調、単母音、複母音、声調記号のつけ方の学習。日常の挨拶の学習。 事前学修 2.0hr：中国語を学ぶ意味について考え、テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：「発音編」第 1 課～第 4 課の内容を復習する。
3 回	**授業テーマ：「発音編」第 1 課～第 4 課、基本挨拶の学習** 授業内容：子音 (1)、子音 (2) の学習。日常の挨拶の学習。 事前学修 2.0hr：中国語を学ぶ意味について考え、テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：「発音編」第 1 課～第 4 課の内容を復習する。
4 回	**授業テーマ：「発音編」第 1 課～第 4 課、基本挨拶の学習** 授業内容：鼻母音 (-n,-ng を伴う母音)、軽声、声調変化、声調の組み合わせ。日常の挨拶の学習。 事前学修 2.0hr：中国語を学ぶ意味について考え、テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：「発音編」第 1 課～第 4 課の内容を復習する。
5 回	**授業テーマ：第 5 課　〈迎接〉 出迎える** 授業内容：姓の言い方、名前(フルネーム)の言い方の学習。人称代名詞、名前の尋ね方の学習。 事前学修 2.0hr：ピンイン、数字と基本の挨拶の暗唱、テキストの予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 5 課 初対面挨拶の仕方の確認。 第 5 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
6 回	**授業テーマ：第 6 課　〈歓迎会〉 歓迎パーティー** 授業内容：①動詞「是 shì」、助詞「的 de」、疑問詞の学習。②肯定文、否定文、疑問文の学習。 事前学修 2.0hr：第 5 課 人称代名詞の復習、第 6 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 6 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 6 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
7 回	**授業テーマ：第 7 課　〈打的〉 タクシーに乗る** 授業内容：基本語順(S+V+O)と二つ以上の動詞からなる文―連動文の学習。 事前学修 2.0hr：第 5 課～第 6 課の内容の復習、第 7 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 7 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 7 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
8 回	**授業テーマ：第 8 課　〈住宿〉 宿泊する** 授業内容：①希望や願望を表す助動詞「想 xi ǎ ng」の学習。②所有と存在を表す動詞、指示代名詞の学習。指示代名詞の導入。 事前学修 2.0hr：第 7 課の内容の復習、第 8 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 8 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 8 課の単語を覚え、会話文を熟読し、ホテルでチェックインする時の言い方を覚える。
9 回	**授業テーマ：第 9 課　〈問路〉 道を尋ねる** 授業内容：所在を表す動詞、方位詞、前置詞の学習。動詞「在 zài」、方向位置を表すことば―方位詞、前置詞「从 cóng」、「往 w ǎ ng」など。 事前学修 2.0hr：第 8 課の内容の復習、第 9 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 9 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 9 課の単語を覚え、会話文を熟読し、道の尋ね方を確認すること。

10回	**授業テーマ：第 10 課　〈買東西〉 ショッピングをする** 授業内容：①数の言い方、中国語のお金の言い方、値段の尋ね方の学習。②形容詞、副詞、形容詞述語文の学習。 事前学修 2.0hr：第 9 課の内容の復習、第 10 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 10 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 10 課の単語を覚え、会話文を熟読し、買い物の場面の会話確認。
11回	**授業テーマ：第 11 課　〈聊天儿〉 おしゃべりをする** 授業内容：年月日、曜日、年齢の言い方、年齢の尋ね方の学習。 事前学修 2.0hr：第 10 課の内容の復習、第 11 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 11 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 11 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
12回	**授業テーマ：第 12 課　〈点菜〉 料理を注文する** 授業内容：①量詞、動詞の重ね型の学習。②料理の名前、注文の仕方の学習。 事前学修 2.0hr：第 11 課の内容の復習、第 12 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 12 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 12 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
13回	**授業テーマ：第 13 課　〈買足球票〉 サッカーのチケットを買う** 授業内容：時間の長さの言い方、動作行為の完了を表す助詞「了 le」の学習。 事前学修 2.0hr：第 12 課の内容の復習、第 13 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 13 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 13 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
14回	**授業テーマ：第 1 課～第 13 課を復習** 授業内容：①前期授業内容を復習。②これまでの内容を復習し、既出の単語（意味とピンイン、簡体字）、文法などを覚える。また、日本語から中国語訳ができるようにする。 事前学修 2.0hr：第 1 課～第 13 課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：第 1 課～第 13 課の内容の復習。
15回	**授業テーマ：授業のまとめ** 授業内容：総括及び学習到達度確認、今学期学んだ事を中心として確認テストなどを行う。 事前学修 2.0hr：第 1 課～第 13 課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：特になし

中国語と中国文化 A

開講学科等：日英経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

中島　祝（なかじま　はじめ）

▌授業の概要

初学者を対象に中国語「普通話」の基礎を学ぶ科目である。中国および中国語の概要に始まり、発音、文法、表現などについて、講義および演習を通じて理解を促す。さらに中国文化についても紹介する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：中国の現状を知るとともに、中国語で簡単な文章を理解し、聴き取り、話し、読み、書くことができる。

個別目標：1. 中国と中国文化について知る。
2. ピンインを読むことができる。
3. 基本文型を用いて表現できる。

▌履修条件

中国語を母語とする学生は履修できない。

▌評価基準・方法

学期末試験もしくはそれに代わる課題を主とする。必要に応じて中間試験や追加課題等を課し、授業成果と併せて成績を評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは教場またはオンラインで行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『中国語ポイント 55』本間史・孟広学著、白水社

▌参考書

授業中に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：中国と中国語の概要** 授業内容：中国がどのような国であり、中国語がどのような言語であるか説明する。 事前学修 2.0hr：中国について文献等の資料を読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、さらに自ら資料を精読して理解を深める。
2回	**授業テーマ：普通話、ピンイン、簡体字** 授業内容：普通話がどのようなものであるか説明し、普通話と不可分のピンインや簡体字を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
3回	**授業テーマ：文の構造** 授業内容：中国語の文を構成するには主語、述語、目的語などを適切な語順で配列する必要があることを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
4回	**授業テーマ：人称代名詞、是** 授業内容：一人称、二人称、三人称、単数、複数などの人称代名詞を紹介し、動詞「是」を用いた文の構成方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
5回	**授業テーマ：疑問文、名前** 授業内容：疑問文の作り方、および氏名の名乗り方を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
6回	**授業テーマ：動詞述語文、指示代名詞** 授業内容：近称や遠照の指示代名詞を紹介し、それらを用いて動詞述語文を構成する方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
7回	**授業テーマ：疑問詞、的** 授業内容：疑問詞を用いた疑問文のつくり方、および「的」を用いた定語の用法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
8回	**授業テーマ：形容詞述語文、有** 授業内容：形容詞述語文のつくり方、および動詞「有」の用法について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
9回	**授業テーマ：反復疑問文、也、都** 授業内容：反復疑問文を紹介するとともに、状語として副詞を用いる方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
10回	**授業テーマ：場所代名詞、在** 授業内容：場所を指示する代名詞を紹介し、さらに動詞「在」を用いて文を構成する方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
11回	**授業テーマ：動詞の重ね型、省略疑問文** 授業内容：動詞の重ね型について説明し、さらに語気助詞を用いた省略疑問文を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。

12回	**授業テーマ：数詞、量詞** 授業内容：数の発音を練習し、1 個のりんご、3 冊の本などをどう表現するか説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
13回	**授業テーマ：幾と多少、語気助詞** 授業内容：疑問詞を用いて数量を尋ねる方法を紹介し、さらに語気助詞について詳説する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
14回	**授業テーマ：存在、連動文** 授業内容：動詞「有」を用いて存在を表現する方法を説明し、さらに連動文という型を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
15回	**授業テーマ：月日、時刻** 授業内容：月日、曜日、時刻などの表現方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。

中国語と中国文化 B

開講学科等：日英経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

于　明明（う　めいめい）

▌授業の概要

後期の授業では、前期で学んだ発音や基本的な文法をさらに発展させ、簡単な日常会話に必要な表現や語彙を習得していく。前期で学んだピンインに基づく発音をさらに磨き、音の変化や声調の使い分けを実践的に学び、発音力を高めることを目指す。初級文法(ステップアップ編)をしっかりと学習し、基本的な文の構造や表現を理解し、簡単な会話で使えるようになる。また、簡単な日常会話で使うフレーズを繰り返し練習する。中国の習慣、社会、歴史的背景を学ぶことで、言語が持つ意味や背景を理解し、中国語を使う楽しさと重要性を実感する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：後期の授業では、中国語の発音と基本文法をマスターして、発音、会話、文法、文化の理解を深めることを目標にしている。中国語の発音に関して、前期で学んだピンインや声調の理解を深め、正確に発音できるようになる。中国語の文字について、日本語漢字との違いをより詳細に理解し、実際に書けるようになる。

個別目標：学生は日常的なシチュエーションで使われるフレーズや表現を習得し、簡単な会話をスムーズにこなせるようになる。
中国語検定試験 4 級に合格できるレベルの文法、語彙、会話スキルを習得する。

▌履修条件

初学者を対象とする。
当該言語 (中国語) を母語とする学生及びそれと同等に堪能な学生は履修不可。

▌評価基準・方法

①試験 60 %：学習到達度を測定するため、授業内で小テストを実施する。テストの成績によって、以降の授業の進み方を見直し、改善していくことができる。
②受講状況 40 %：授業内容によって、課題提出や口頭発表等のこともある。また、しっかり出席することも重要。
原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

manaba 実施。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （対話練習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

教科書：『しゃべっていいとも中国語　トータル版』
著者：陳淑梅　劉光赤
朝日出版社

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション、第 14 課の予習** 授業内容：前期の内容を復習する。前期の皆さんの中国語学習の状況について確認する。後期の授業の進め方、予習の方法、評価方法などについて説明する。第 14 課を予習する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、後期授業概要を理解する。第 14 課の内容を復習する。テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：学習した内容の復習。
2 回	**授業テーマ：第 14 課　〈做足底按摩〉 足裏マッサージ** 授業内容：①時間の長さの言い方の学習。②動作行為の完了を表す助詞「了 le」の学習。 事前学修 2.0hr：第 13 課の内容の復習、第 14 課の予習。テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 14 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 14 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
3 回	**授業テーマ：第 15 課　〈在前台〉 フロントで** 授業内容：前置詞「給 g ě i」、助動詞「可以 k ě y ǐ 」、「能 néng」の学習。 事前学修 2.0hr：第 14 課の内容の復習、第 15 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 15 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 15 課の単語を覚え、会話文を熟読し、ホテルフロントでの様々な頼みことができるかの確認。
4 回	**授業テーマ：第 16 課　〈打電話〉 電話をかける** 授業内容：動詞の現在進行形、助動詞「会 huì」の学習。 事前学修 2.0hr：第 15 課の内容の復習、第 16 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 16 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 16 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
5 回	**授業テーマ：第 17 課　〈打工〉 アルバイトする** 授業内容：前置詞「在 zài」 、二重目的語をとる動詞の学習。 事前学修 2.0hr：第 16 課の内容の復習、第 17 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 17 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 17 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
6 回	**授業テーマ：第 18 課　〈在飯店〉 レストランで** 授業内容：経験を表す助詞「過 guo」、選択疑問文の学習。 事前学修 2.0hr：第 17 課の内容の復習、第 18 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 18 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 18 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
7 回	**授業テーマ：第 19 課　〈去唱卡拉 OK〉 カラオケに行く** 授業内容：助動詞「得 d ě i」、「一～就 y ī ～jiù」構文の学習。 事前学修 2.0hr：第 18 課の内容の復習、第 19 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 19 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 19 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
8 回	**授業テーマ：第 20 課　〈你唱得真好〉 あなたは歌がうまい** 授業内容：結果補語、様態補語の学習。 事前学修 2.0hr：第 19 課の内容の復習、第 20 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 20 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 20 課の単語を覚え、会話文を熟読する。

9回	**授業テーマ：第 21 課　〈全家福〉 家族写真** 授業内容：「是～的 shì～de」構文、比較表現―前置詞「比 b ǐ 」の学習。 事前学修 2.0hr：第 20 課の内容の復習、第 21 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 21 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 21 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
10回	**授業テーマ：第 22 課　〈買襯衫〉 シャツを買う** 授業内容：方向補語①単純方向補語、「有点儿 y ǒ udi ǎ nr」と「一点儿 yìdi ǎ nr」の学習。 事前学修 2.0hr：第 21 課の内容の復習、第 22 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 22 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 22 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
11回	**授業テーマ：第 23 課　〈生日晚会〉 誕生パーティー** 授業内容：「把 b ǎ 」構文の学習、方向補語(2)複合方向補語の学習。 事前学修 2.0hr：第 22 課の内容の復習、第 23 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 23 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 23 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
12回	**授業テーマ：第 24 課　〈看 DVD〉 DVD を見る** 授業内容：程度補語、可能補語の学習。 事前学修 2.0hr：第 23 課の内容の復習、第 24 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 24 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 24 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
13回	**授業テーマ：第 25 課　〈看病〉 診察を受ける** 授業内容：主述述語文、受け身表現の学習。 事前学修 2.0hr：第 24 課の内容の復習、第 25 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 25 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 25 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
14回	**授業テーマ：第 26 課　〈回国之前〉 帰国前** 授業内容：「就要～了 jiùyào～le」、使役日表現の学習。 事前学修 2.0hr：第 25 課の内容の復習、第 26 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 26 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 26 課の単語を覚え、会話文を熟読する。 第 13 課～第 26 課の内容の復習。
15回	**授業テーマ：授業のまとめ** 授業内容：総括及び学習到達度確認、今学期学んだ事を中心として確認テストなどを行う。 事前学修 2.0hr：第 13 課～第 26 課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：特に無し

中国語と中国文化 B

開講学科等：日英経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

中島　祝（なかじま　はじめ）

▌授業の概要

前学期に引き続き、中国語「普通話」の基礎を学ぶための授業である。発音について復習した後に、より進んだ内容の講義と演習を行い、中国語の基礎を確かなものにする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：中国の現状を広く理解するとともに、中国語で様々な文章を理解し、聴き取り、話し、読み、書くことができる。

個別目標：1. 中国と中国文化について広く知る。
2. 定語、状語、補語を加えた文を理解することができる。
3. 基本文型を応用して表現できる。

▌履修条件

中国語を母語とする学生は履修できない。

▌評価基準・方法

学期末試験もしくはそれに代わる課題を主とする。必要に応じて中間試験や追加課題等を課し、授業成果と併せて成績を評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは教場またはオンラインで行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『中国語ポイント 55』本間史・孟広学著、白水社

▌参考書

授業中に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：中国語と中国文化** 授業内容：中国とはどのような国か、中国語とはどのような言語か、中国文化圏がどのように広がっているか説明する。 事前学修 2.0hr：中国について文献等の資料を読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、さらに自ら資料を精読して理解を深める。
2 回	**授業テーマ：普通話、ピンイン、簡体字** 授業内容：普通話において用いられる簡体字とピンインについて説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
3 回	**授業テーマ：文の構造** 授業内容：主語、述語、目的語、状語などを用いて中国語の文を構成する方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
4 回	**授業テーマ：要、想、在、従** 授業内容：助動詞を用いて願望を表現する方法を紹介し、さらに前置詞を状語として用いることを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
5 回	**授業テーマ：完了** 授業内容：助詞「了」について、語気助詞としての用法と動態助詞としての用法を紹介し、完了の概念を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
6 回	**授業テーマ：能、会、可以** 授業内容：助動詞を用いて可能を表現する方法を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
7 回	**授業テーマ：経験、動量詞** 授業内容：動態助詞を用いて経験を表現する方法、および動量詞を補語として用いる方法を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
8 回	**授業テーマ：給、対、正在** 授業内容：前置詞「給」「対」の用法と、副詞を用いて進行を表現する方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
9 回	**授業テーマ：着、要、快** 授業内容：動態助詞を用いて持続を表現する方法と、近未来の表現方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
10 回	**授業テーマ：結果補語** 授業内容：結果補語の用法と語義について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
11 回	**授業テーマ：様態補語、還是** 授業内容：様態補語の用法を説明し、さらに選択疑問文の構成方法を詳説する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。

12回	**授業テーマ：方向補語** 授業内容：方向補語の用法と語義を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
13回	**授業テーマ：把、比** 授業内容：前置詞「把」「比」を紹介し、それらが状語として用いられることを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
14回	**授業テーマ：可能補語、二重目的語** 授業内容：可能補語の用法と、例外的な二重目的語について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
15回	**授業テーマ：是と的** 授業内容：強調構文を構成し、動作の時間、場所、方法を強調する方法を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。

英語文化研究 A

開講学科等：日中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

諏佐　ランカ（すさ　らんか）

▌授業の概要

英語圏と聞いて、皆さんがまず思い浮かべるのはアメリカとイギリスだと思います。しかし他にもたくさんの国々があります。例えばカナダやオーストラリア、ニュージーランドはもちろん、アイルランド、インド、シンガポール、フィリピンなども英語圏です。この授業では、英語圏の様々な国々の社会や文化を学び、異文化の知見を深めます。また、英語圏の国々の社会や文化を知ることで、日本の社会や文化について考える姿勢も養います。
同時に英語力の向上にも力を入れます。教科書は全て英語で書かれているため、英文や問題集を通して読解力や語彙の強化に取り組みます。グループワークや会話練習では話す力を、トピックに関連した英語の動画を視聴して聴く力を養います。授業前は、教科書の指定箇所の内容を事前学習していることが求められます。
なお、こちらはオーリングリッシュの授業ではありません。しかし履修人数や履修者の英語レベルに応じて、短い発表練習を行ったり、ごく簡単な英語を授業中に取り入れて、日常会話を英語で受け答えする練習も行います。会話練習はあくまで声出しが目的なので、成績には一切影響しません。イングリッシュカフェのような、英会話道場のような感覚ですので、単語の羅列だったり日本語が混じっていても全然 OK です。発音も一切考慮しなくて良いです。片言でも間違っていても通じれば良いので安心してください。完全な文章で話す必要はありません。英語をチャンク（ひとかたまりのブロック）として気軽に発言できるようになることを目標に楽しく学びましょう。
※この授業は、前期は「英語文化研究 A」で後期は「英語文化研究 B」となります。1 年間を通して継続的に学ぶことが可能な科目です。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：1. 英語圏の国々の文化・社会を知ることで、他国について自ら興味を持って学んでいく姿勢を身につける。
2. 長めの英文を読んだり、自分の考えを書いたりすることで、読解力と語彙力を強化する。
3. 会話練習を行うことで、英会話に対する瞬発力、表現力を高める。
4. 英語で配信された動画を視聴することでトピックに関する視野を広げ、リスニング力を向上させる。

個別目標：1. 教科書で紹介されたトピックについて、内容を一通り理解して説明できる。
2. 教科書で紹介されたトピックについて、自分の考えを述べることができる。
3. 英語圏の国々の社会や文化を知り、日本の状況と比較できる。
4. 英語のチャンク（ひとかたまりのブロック）を用いて簡単な日常会話ができる。

▌履修条件

1. 英語を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません
2. 教科書を購入して毎回持参すること（常に授業で使うため、教科書を購入しない場合は単位の取得は出来ません）
3. 授業までに教科書の指定箇所の内容を事前学習しておくこと（内容を知っている前提で授業が進みます）
4. 会話練習、グループワーク、意見交換など積極的に参加すること ※出席＆期末試験だけで単位取得はできません

▌評価基準・方法

授業への積極的参加（授業中の発言・意見交換、グループワーク、小テスト、授業外の課題提出等）：60 %
期末試験：40%（期末試験を受けないと単位の認定はできません）
※期末試験は公欠を除いた 5 分の 4 以上（15 回授業の場合は 12 回以上）出席した場合のみ受験資格を認める
※ manaba や respon アプリ（ルーム）等で課題提出を行う。成績に影響するため、必ず事前準備しておくこと
※履修人数によって評価割合に変更が生じる可能性がある。変更がある場合は授業中に速やかに周知する。

▌フィードバック方法

授業時間内は口頭でフィードバックする。授業時間外は manaba または Google Classroom を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （会話練習や教科書のトピックについてグループワークや意見交換をする）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon（ルーム等）または Google Classroom を用いて授業時間内で課題・小テストなどに取り組む）

▌教科書

著者：Jesse Elam/Dawn Grimes-MacLellan/JA Kusaka/Dax Thomas
書名：Intercultural Pathways to the English-speaking World（グローバル・マインドでひろがる異文化の世界）
出版社：松柏社
※常に授業で使用するため、必ず購入して持参してください

▌参考書

英和/和英辞書（紙の辞書・電子辞書共に可。大学入学までに使用してきたもので構いません）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：はじめに** 授業内容：この授業の概要を説明する。なぜこの授業に興味を持ったのかを共有する。英語圏の国々の社会や文化について、何をどう学んでいきたいかを考える。毎回の授業の流れや評価方法、出席登録や respon 等のシステム操作方法など重要なことを説明するため、可能な限り出席すること。※この日に教科書の紹介も行います 事前学修 2.0hr：シラバスを確認して、書店で教科書を手に取って試し読みする。履修が確定している場合は必ず購入しておくこと。 事後学修 2.0hr：教科書を購入したら目次を読んで、各チャプターがどのような内容であるか確認しておく。
2回	**授業テーマ：Chapter 1: Introduction (1)** 授業内容：教科書の使い方の説明、および各チャプターの内容を紹介する。教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
3回	**授業テーマ：Chapter 1: Introduction (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
4回	**授業テーマ：Chapter 2: The UK (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。

5回	**授業テーマ：Chapter 2: The UK (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
6回	**授業テーマ：Chapter 3: Ireland (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
7回	**授業テーマ：Chapter 3: Ireland (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
8回	**授業テーマ：Chapter 6: New Zealand (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
9回	**授業テーマ：Chapter 6: New Zealand (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
10回	**授業テーマ：Chapter 7: Australia (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
11回	**授業テーマ：Chapter 7: Australia (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
12回	**授業テーマ：Chapter 9: Singapore (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
13回	**授業テーマ：Chapter 9: Singapore (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
14回	**授業テーマ：前期の総復習** 授業内容：これまでの授業の総復習を行う。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返って疑問点を確認して、試験の準備をする。 事後学修 2.0hr：前期の授業全体を復習して試験に備える。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：前期授業で取り上げたトピックについて振り返り、自分の考えをまとめる。 事前学修 2.0hr：前期の授業全体を復習して試験に備える。 事後学修 2.0hr：試験の振り返りをする。

英語文化研究 B

開講学科等：日中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

諏佐　ランカ（すさ　らんか）

▌授業の概要

英語圏と聞いて、皆さんがまず思い浮かべるのはアメリカとイギリスだと思います。しかし他にもたくさんの国々があります。例えばカナダやオーストラリア、ニュージーランドはもちろん、アイルランド、インド、シンガポール、フィリピンなども英語圏です。この授業では、英語圏の様々な国々の社会や文化を学び、異文化の知見を深めます。また、英語圏の国々の社会や文化を知ることで、日本の社会や文化について考える姿勢も養います。
同時に英語力の向上にも力を入れます。教科書は全て英語で書かれているため、英文や問題集を通して読解力や語彙の強化に取り組みます。グループワークや会話練習では話す力を、トピックに関連した英語の動画を視聴して聴く力を養います。授業前は、教科書の指定箇所の内容を事前学習していることが求められます。
なお、こちらはオーリングリッシュの授業ではありません。しかし履修人数や履修者の英語レベルに応じて、短い発表練習を行ったり、ごく簡単な英語を授業中に取り入れて、日常会話を英語で受け答えする練習も行います。会話練習はあくまで声出しが目的なので、成績には一切影響しません。イングリッシュカフェのような、英会話道場のような感覚ですので、単語の羅列だったり日本語が混じっていても全然 OK です。発音も一切考慮しなくて良いです。片言でも間違っていても通じれば良いので安心してください。完全な文章で話す必要はありません。英語をチャンク（ひとかたまりのブロック）として気軽に発言できるようになることを目標に楽しく学びましょう。
※この授業は、前期は「英語文化研究 A」で後期は「英語文化研究 B」となります。1 年間を通して継続的に学ぶことが可能な科目です。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：1. 英語圏の国々の文化・社会を知ることで、他国について自ら興味を持って学んでいく姿勢を身につける。
2. 長めの英文を読んだり、自分の考えを書いたりすることで、読解力と語彙力を強化する。
3. 会話練習を行うことで、英会話に対する瞬発力、表現力を高める。
4. 英語で配信された動画を視聴することでトピックに関する視野を広げ、リスニング力を向上させる。

個別目標：1. 教科書で紹介されたトピックについて、内容を一通り理解して説明できる。
2. 教科書で紹介されたトピックについて、自分の考えを述べることができる。
3. 英語圏の国々の社会や文化を知り、日本の状況と比較できる。
4. 英語のチャンク（ひとかたまりのブロック）を用いて簡単な日常会話ができる。

▌履修条件

1. 英語を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません
2. 教科書を購入して毎回持参すること（常に授業で使うため、教科書を購入しない場合は単位の取得は出来ません）
3. 授業までに教科書の指定箇所の内容を事前学習しておくこと（内容を知っている前提で授業が進みます）
4. 会話練習、グループワーク、意見交換など積極的に参加すること ※出席＆期末試験だけで単位取得はできません

▌評価基準・方法

授業への積極的参加（授業中の発言・意見交換、グループワーク、小テスト、授業外の課題提出等）：60 %
期末試験：40%（期末試験を受けないと単位の認定はできません）
※期末試験は公欠を除いた 5 分の 4 以上（15 回授業の場合は 12 回以上）出席した場合のみ受験資格を認める
※ manaba や respon アプリ（ルーム）等で課題提出を行う。成績に影響するため、必ず事前準備しておくこと
※履修人数によって評価割合に変更が生じる可能性がある。変更がある場合は授業中に速やかに周知する。

▌フィードバック方法

授業時間内は口頭でフィードバックする。授業時間外は manaba または Google Classroom を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （会話練習や教科書のトピックについてグループワークや意見交換をする）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon（ルーム等）または Google Classroom を用いて授業時間内で課題・小テストなどに取り組む）

▌教科書

著者：Jesse Elam/Dawn Grimes-MacLellan/JA Kusaka/Dax Thomas
書名：Intercultural Pathways to the English-speaking World（グローバル・マインドでひろがる異文化の世界）
出版社：松柏社
※前期/後期で共通です。常に授業で使用するので、後期からの新規履修生は必ず購入して持参して下さい

▌参考書

英和/和英辞書（紙の辞書・電子辞書共に可。大学入学までに使用してきたもので構いません）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：はじめに** 授業内容：新規履修生に向けて、この授業の概要を改めて説明する。なぜこの授業に興味を持ったのかを共有して、英語圏の国々の社会や文化について何をどう学んでいきたいかを考える。毎回の授業の流れや評価方法、出席登録や respon 等のシステム操作方法など重要なことを説明するため、可能な限り出席すること。※新規履修生がいない場合は前期の復習を行う。 事前学修 2.0hr：新規履修生は、書店で教科書を手に取って試し読みする。履修が確定している場合は必ず購入しておくこと。 事後学修 2.0hr：新規履修生は、教科書を購入したら目次を読んでおく。継続履修生は、前期で学んだことを振り返っておくこと。
2 回	**授業テーマ：Chapter 8: World Englishes (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
3 回	**授業テーマ：Chapter 8: World Englishes (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
4 回	**授業テーマ：Chapter 10: India (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。

5回	**授業テーマ：Chapter 10: India (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
6回	**授業テーマ：Chapter 11: The Philippines (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
7回	**授業テーマ：Chapter 11: The Philippines (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
8回	**授業テーマ：Chapter 13: The USA (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
9回	**授業テーマ：Chapter 13: The USA (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
10回	**授業テーマ：Chapter 14: Canada (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
11回	**授業テーマ：Chapter 14: Canada (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
12回	**授業テーマ：Chapter 15: The Commonwealth (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
13回	**授業テーマ：Chapter 15: The Commonwealth (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
14回	**授業テーマ：後期の総復習** 授業内容：これまでの授業の総復習を行う。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返って疑問点を確認して、試験の準備をする。 事後学修 2.0hr：後期の授業全体を復習して試験に備える。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：後期授業で取り上げたトピックについて振り返り、自分の考えをまとめる。 事前学修 2.0hr：後期の授業全体を復習して試験に備える。 事後学修 2.0hr：試験の振り返りをする。

国際理解ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

小川　正純（おがわ　まさずみ）

▌授業の概要

世界で起きている戦争、差別、難民問題は、決して「遠い世界の話」ではありません。このゼミでは、世界で起きている出来事を、事実や背景から読み解く力を身につけます。話し合いを通して、「世界と自分とのつながり」を自分の言葉で考えていきます。人種や民族、多様性、多文化共生、難民問題、宗教が世界情勢に及ぼす影響などについて学び、国際問題を「感情」ではなく「背景」から考えられるようになります。グループワーク、プレゼンテーションを通じて、異なる価値観を持つ人と話すことへの抵抗が少なくなります。正解を覚えるのではなく、考え、話し合いながら理解を深めていくゼミです。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：世界情勢や宗教、人種問題などの多様性と多文化共生などについて理解し、世界を正しく読み解く知識・スキルを身につける。

個別目標：1. 世界の情勢とその背景、多様性や多文化共生、宗教が世界に及ぼす影響などについて自分の言葉で話せる。

2. 国際問題を遠い話ではなく、自分とつながる話として捉えることができる。
グループワークで他者と協力して課題に取り組み、気づきを得るとともに、自分の考えを説明できる。最終プレゼンテーションでは、社会課題を整理し、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。

▌履修条件

1．世界情勢や宗教、人種問題などの多様性と多文化共生など異文化、人種・性などの多様性などに関心を持ち、学ぶ意欲があること。
2．グループワークや発表に、積極的に挑戦する意欲があること。
3．専門知識や経験は不要であり、初めて学ぶ学生も歓迎する。

▌評価基準・方法

グループワーク、プレゼンテーションへの関与度合い 45 %、毎回のレポート 45 %、授業における参加姿勢 10 %を基に総合的に評価する。考えようとする姿勢を重視し、グループ内での役割分担や協力姿勢も評価する。原則として５分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

授業時間内での総評及び manaba の個別指導（コレクション）などでフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （ただしプレゼンテーション資料の作成及び発表は PC の利用が好ましい。）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション、国際理解とは何か、経済と人間の尊厳** 授業内容：講義の目的、授業、グループワーク、プレゼンテーションの進め方、到達目標、評価方法とともに、資源・経済の価値と、人間の尊厳・未来の価値を対比して考えるグループディスカッションを行い、考えを言語化する。 事前学修 2.0hr：開発途上国の状況について関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
2回	**授業テーマ：日本を取り巻く世界情勢** 授業内容：日本を取り巻く領土問題、日米同盟、日本の外交の取り組みなどについて解説した後、グループディスカッションを行い、多様な意見に触れる。 事前学修 2.0hr：日本を取り巻く世界情勢などについてのニュースを見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
3回	**授業テーマ：世界を正しく読み解く** 授業内容：クイズとグループワークにより、先入観や思い込みでなく、事実やデータに基づき正しく世界を読み解く視点を身につける。授業テーマについてグループディスカッションを行い、他者の視点と比較する。 事前学修 2.0hr：世界情勢についての関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
4回	**授業テーマ：世界情勢①　アメリカ、ヨーロッパの動向** 授業内容：アメリカ、ヨーロッパの動向、ウクライナ情勢について解説した後、国際情勢は、同じ出来事でも立場によって見え方が大きく異なることについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：欧米の状況についてのニュースを見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
5回	**授業テーマ：世界情勢②　アジアの動向** 授業内容：中国を軸にしたアジア情勢と台湾、朝鮮半島、インドが、なぜ重要な場所になっているのかについて解説した後、国際問題を善悪や感情ではなく、国家の立場から考えて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：アジアの情勢について関連のニュースを見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
6回	**授業テーマ：グローバルサウスの動向** 授業内容：グローバルサウスは、世界に大きな影響力を持つ存在で、国際秩序を左右する主体であることを解説した後、国際問題を国の立場と利害から考えられる視点について意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：グローバルサウスについて関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
7回	**授業テーマ：多文化共生について** 授業内容：多文化共生とは何か、なぜ差別が起きるのか、その背景にある不安や制度の問題について解説した後、私たちはどう向き合うべきかについてグループディスカッションを行い、他者の視点と比較する。 事前学修 2.0hr：多文化共生の関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
8回	**授業テーマ：ダイバーシティ(多様性)について** 授業内容：ダイバーシティ(多様性)とは何か、人種、民族、性の多様性について解説した後、授業テーマについて、自分の立場や日常生活と結びつけてグループディスカッションを行い、多様な意見に触れる。 事前学修 2.0hr：ダイバーシティ(多様性)について関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。

9回	**授業テーマ：難民問題について** 授業内容：難民問題に関するワークショップを実施し、難民問題に対する基礎的な事実を把握するとともに、日本の難民受け入れをめぐる状況について考える。その後、グループディスカッションを行い、自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：難民問題の関連の情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
10回	**授業テーマ：宗教が世界に及ぼす影響** 授業内容：イスラム教、キリスト教、ユダヤ教が世界に及ぼす影響について解説した後、宗教が政治・社会問題に影響する理由ついてグループディスカッションを行い、多様な意見に触れる。 事前学修 2.0hr：世界情勢と宗教の関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
11回	**授業テーマ：宗教紛争の本質** 授業内容：宗教紛争の多くは、宗教そのものが直接の原因ではなく、対立を正当化する論理として使われていることについて解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、他者の視点と比較する。 事前学修 2.0hr：世界情勢と宗教の関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
12回	**授業テーマ：「世界がもし 100 人の村だったら」ワークショップ** 授業内容：世界には、多様な言語や文化を持つ人びとが住んでおり、そこには大きな貧富の差があることを、シミュレーション(疑似体験)のワークショップで体験し、私たちが暮らす日本は世界のどこに位置するのか考える。 事前学修 2.0hr：世界情勢についてのニュースなどを見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
13回	**授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの準備** 授業内容：各グループで関心がある国際問題を選定し、テーマとプレゼンテーションをする内容について話し合う。ディスカッションを基に第 15 回に発表するプレゼンテーションの資料作成の準備を行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションを行う国際問題のテーマを考えておく。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーション作成の準備。講義の復習。レポート作成。
14回	**授業テーマ：グループワーク:プレゼンテーション資料の作成** 授業内容：グループワークによりプレゼンテーション資料を作成する。発表資料は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。発表資料の作成により、自分の意見を表現する力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。 事後学修 2.0hr：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。
15回	**授業テーマ：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。** 授業内容：プレゼンテーションを行い、全員で意見交換を行う。発表は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。自分の意見を発表することにより、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。

異文化実地研修 A・B

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

本学と協定を締結している海外の大学等において、特定の分野について集中的な研修を行うとともに、異なる文化社会の側面に触れることにより、より高度な知識や技能を備えた国際社会に活躍する人材を育成することを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：学部・学科、派遣先によって異なる。
詳細については、当該年度の募集要項及びオリエンテーション等で確認すること。
個別目標：学部・学科、派遣先によって異なる。
詳細については、当該年度の募集要項及びオリエンテーション等で確認すること。

▌履修条件

GPA 及び修得単位等による出願資格を設ける。
詳細については、当該年度の募集要項及びオリエンテーション等で確認すること。

▌評価基準・方法

学部・学科、派遣先によって異なり、国内における事前・事後研修への参加及び派遣先での研修期間を修了することにより単位認定する。
詳細については、当該年度の募集要項及びオリエンテーション等で確認すること。

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （フィールドワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （報告書の作成）

▌教科書

派遣大学等で別途指示する。

▌参考書

派遣大学等で別途指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

異文化実地研修

授業内容

60 時間相当分の研修内容とする。
派遣先、研修時期・期間及び認定される単位数等詳細については、履修の手引を参照すること。

事前学修

15 時間相当分の事前学修とする。
事前のオリエンテーション等で指示する。

事後学修

15 時間相当分の事後学修とする。
事前のオリエンテーション等で指示する。

法学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

櫻井　博子 (さくらい　ひろこ)

▌授業の概要

社会のルールの一つである法は、私たちの生活の様々な場面で関わっている。そのため、法律に関する基礎的な知識や考え方を学ぶことは、社会生活を送るうえでも有用である。
この授業では、私たちの生活に身近な法制度に関する基礎的知識を理解するし、現実の社会の具体的問題を「法的」に検討することを目的とする。
また、法を学ぶことを通じ、法律の規定にも様々な解釈の仕方があること、物事の解決に「唯一の正解」は存在しないことを知り、物事を多面的にとらえることを意識し、自分自身で考えてみるための基礎となる力を涵養する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：将来社会人となった際、直面し得る問題を、自身で処理できる能力を身に着けられるよう、法の論理的なものの考え方の重要性を理解した上で、基礎的な法律の知識を身につける。
個別目標：(1) 社会のなかで法が果たす役割や法の意義を、具体的な事例とともに説明できる。
(2) 具体的な法制度の機能を、その制度の成り立ちや社会での現実的な意義等を踏まえて評価できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

各回の講義内容を復習する確認問題(小テスト)と期末試験の結果の合計(90 %)、授業内における参加姿勢等(10 %)、
到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。
なお、講義ごとの課題は、学修支援システム manaba を通して行い、次回の授業で解説を行う。

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レスポンの入力(スマートフォンで可能)）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

初回講義と講義中に適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション、私たちの生活にかかわる法の種類とその分類** 授業内容：法とは何か、法の種類、法の分類 事前学修 1.5hr：ニュースや新聞等で、「法」に関わるものがどれくらいあるのか確認してみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
2回	**授業テーマ：ルールとその「適用」** 授業内容：法の適用による紛争の解決、解釈の必要性、条文の構造、法の解釈、解釈の技術 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
3回	**授業テーマ：国の仕組みに関する法(1)** 授業内容：憲法の役割と構造、人権(人権の種類、人権の制約、精神的自由、経済的自由、社会権) 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
4回	**授業テーマ：国の仕組みに関する法(2)** 授業内容：統治(三権分立、立法権(国会)の役割、行政権と議院内閣制、司法権の役割) 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
5回	**授業テーマ：取引社会と法(1)** 授業内容：日常生活を取り巻く契約と民法、契約と債権の発生、自由で健全な意思が結ぶ契約関係 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
6回	**授業テーマ：取引社会と法(２)** 授業内容：意思表示の構造、意思表示の瑕疵と意思の不存在、消費者保護のための特別法 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
7回	**授業テーマ：取引社会と法(３)** 授業内容：契約の意義、契約成立後の法律関係、履行遅滞、履行不能、その他の債務不履行、損害賠償 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
8回	**授業テーマ：取引社会と法(４)** 授業内容：住まいをめぐる法律関係、不法行為に基づく責任 (契約によらない債権債務の発生)、製造物責任法による消費者の保護 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
9回	**授業テーマ：家族にかかわる法(１)** 授業内容：夫婦間の法律関係、親子関係、離婚 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
10回	**授業テーマ：家族にかかわる法(２)** 授業内容：相続、法定相続人と法定相続分、相続の承認と放棄、遺産分割 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。

11回	**授業テーマ：犯罪にかかわる法** 授業内容：刑法とは、犯罪の成立と構成要件、犯罪の成立を阻却する事由 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
12回	**授業テーマ：責任と裁判制度** 授業内容：裁判と裁判手続の種類、裁判所と審級、民事裁判、刑事裁判 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
13回	**授業テーマ：企業に関する法** 授業内容：法人制度、法人に関する法律、法人の活動、会社 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
14回	**授業テーマ：雇用と労働関係に関する法** 授業内容：労働契約、労働者を保護する様々な制度、派遣労働における労働形態 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
15回	**授業テーマ：講義のまとめ** 授業内容：これまでの授業内容の総括 事前学修 1.5hr：これまでの講義内容を復習する。 事後学修 2.5hr：これまで学んできた内容を復習し、課題に解答する。

日本国憲法

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

吉田　成利 (よしだ　なるとし)

▌授業の概要

日本国憲法に関する身近な事例を素材とし、日本国民の権利義務や国家統治について学ぶ。
毎回の講義後、小レポートを条件に従い Manaba へ期限内に提出することが求められる。体育会の活動や就活、インターンなどで講義に出席できない場合や、履修修正などで遅れて履修を開始した場合には、必ず Manaba かメールで担当教員に連絡すること。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：日本国憲法に関する知識を習得し、客観的で公正な法的思考を会得する。
個別目標：(1) 日本国憲法が日本の国益を守り、国際未来社会における「この国のかたち」を描けていけるのか、各人が合理的な意見を創造する。
(2) 偏りのある意見や報道に惑わされることなく、日本の現実に即した憲法のあるべき姿について、各人が説明できる。
(3) 日々のニュースを憲法の観点からとらえ、自分なりの説明ができる。

▌履修条件

(1) 必ず指定された教科書を購入すること。教科書がないと、レポートが作成できません。
(2) 毎回の小レポートを、期限までに条件を守って本講義の Manaba の指定された提出先へ提出すること。

▌評価基準・方法

各自が所有する指定された教科書のみ持込可能である期末試験(60 %)、
毎回の講義終了後に提出する小レポート(30%)、
授業内の発言・姿勢(10%。講義内で教員により指名された際に真摯に回答しないと加点されない。)
毎回の講義冒頭に、前回の講義内容および小レポートについてフィードバックがなされる。

▌フィードバック方法

毎回の小レポート提出後に講義内でフィードバックを行います。必ず期限までに小レポートを提出してください。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回または 2 回に一度、教員にあてられ自分の意見を求められる）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回の講義資料を Manaba にアップし、レポート作成も PC で行う。）

▌教科書

吉田 成利著『大学生のための日本国憲法入門』(慶應義塾大学出版会、2020 年)

▌参考書

適宜指定する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：法学における憲法の位置づけ** 授業内容：序論とオリエンテーション。 事前学修 2.0hr：憲法改正のニュースについて調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
2回	**授業テーマ：日本国憲法の基本原理と基本構造** 授業内容：日本国憲法の核となる原理と構造について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
3回	**授業テーマ：天皇と譲位** 授業内容：我が国の象徴である天皇について、憲法はどのように規定しているのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
4回	**授業テーマ：人権保障とその限界** 授業内容：人権や自由は人としての当然の権利である一方、絶対ではないことを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
5回	**授業テーマ：信教の自由と靖国神社参拝** 授業内容：宗教を信じる自由と信じなくても良い自由について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
6回	**授業テーマ：表現の自由とプライヴァシー侵害** 授業内容：言いたいことを言う自由について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
7回	**授業テーマ：婚姻の自由と同性婚** 授業内容：結婚とは男女の合意に基づくものであると日本国憲法が規定していることについて、LGBTQ の問題について、憲法が果たすべき役割について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
8回	**授業テーマ：学問の自由と教育無償化** 授業内容：教育について憲法はどのように規定しているのか学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
9回	**授業テーマ：社会権と勤労の義務** 授業内容：我々が労働するという行為について憲法はどのように規定しているのか学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
10回	**授業テーマ：国会と参政権** 授業内容：立法府こそが国家権力の最高機関であることを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。

11回	**授業テーマ：内閣と行政機構** 授業内容：内閣総理大臣は日本で最強の権力者なのか？ 学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
12回	**授業テーマ：司法府と裁判員制度** 授業内容：裁判所と国民の司法参加について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
13回	**授業テーマ：地方自治と地方創生** 授業内容：地方分権を進めれば日本はより活性化するのだろうか？ 学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
14回	**授業テーマ：憲法９条と集団的自衛権** 授業内容：憲法 9 条と平和主義、自衛隊、そして日米安保条約の存在意義について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
15回	**授業テーマ：憲法改正とその必然性** 授業内容：憲法改正の歴史的・社会的必然性について学び、結論付ける。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。

経済のしくみ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

野口　尚洋 (のぐち　なおひろ)

▌授業の概要

本講義では、経済の仕組みについて理論と現実の両面から説明していきます。経済学の理論はミクロ経済学とマクロ経済学に大きく分けることが出来ます。前半はミクロ経済学の分野で市場の話を中心に説明していきます。後半はマクロ経済学の分野で日本の国全体の経済について説明していきます。「経済のしくみ」という講義名にあるように、経済学の理論だけでなく、経済学の理論を使って現実の経済のしくみを理解することを主眼に置き、なるべく身近な例を用いて説明していきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：身の回りに起こっている経済の問題について、自分で考えを持てるようにことができるようになります。経済の話は、アルバイトなど普段の生活から、就職活動や就職後も常に関係するものです。そのときの判断の基礎となるものだと考えています。また、現実のデータやグラフを多く紹介する予定です。一般常識としての知識も得ることができます。

個別目標：身の回りに現実に起きている経済問に興味をもち，その理由を自分で考え，行動判断の基礎とできる。

▌履修条件

80 %以上出席することが履修条件です。また、経済学はグラフを多用しますので、自分で手を動かしながら自分で頭で考えることが重要です。したがって、主体的に授業に参加できる学生の履修を望みます。また、授業中に静粛を保てない学生の履修は遠慮下さい。

▌評価基準・方法

小テスト (30%)、期末試験 (70%) で評価します。学生の履修状況、講義の進度によっては中間試験を課すこともあります。また、原則 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件としますが、成績評価の対象にはしません。

▌フィードバック方法

小テストと期末試験のフィードバックは学習支援システム manaba を通して行いますので、必ず確認してください。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特に指定しません。プリントにより授業を行います。授業で使用したプリントは manaba のコースコンテンツにもアップロードいたしますので、欠席した回の授業に関するプリントは、各自ダウンロードし、プリント・アウトして下さい。

▌参考書

参考書は適宜指定します。代表的な参考書として以下を挙げておきます。

前半のミクロ経済学分野：安藤至大『ミクロ経済学の第１歩』有斐閣 2013 年

後半のマクロ経済学分野：柴田章久・宇南山卓『マクロ経済学の第一歩』有斐閣　2013 年

全体の参考書：伊藤元重 『入門　経済学　第４版』日本評論社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・履修に当たっての諸注意と授業内容全体の説明・経済学独特の考え方(インセンティブ)** 授業内容：授業内容の全体と注意事項等、履修にあたり必要と思われる内容を説明します。その後に授業を行います。また、授業中に DVD を視聴します。 事前学修 1.0hr：繰り返し，シラバスをよく読んでくること 事後学修 3.0hr：この授業の履修に当たっての約束事項と授業の全般的内容を確認すること．経済学独特の考え方に触れる。manaba のアンケートの答える。
2回	**授業テーマ：経済学独特の考え方(トレード・オフ、交換の利益、機会費用)** 授業内容：貿易の比較優位の理論を例に、トレード・オフ、交換の利益、機会費用について説明していきます。具体的な数値例を用いて説明していきます。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを読み、インセンティブについて復習しておく。 事後学修 2.0hr：トレード・オフ、機会費用について現実の実例を考える。期限までに、manaba の小テストを受験する。
3回	**授業テーマ：企業の諸費用費用と利潤最大化** 授業内容：企業の費用についてグラフを描きながら解説していきます。特に「限界」の概念は経済学で必須の概念ですので丁寧に説明していきます。その後に企業の利潤最大化行動を考えます。最後にオリエンタルランドを例にとり損益分岐点における入場者数を求めていきます。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントにある問題を解き、間違えた問題は考え方をまとめておく。 事後学修 2.0hr：各費用の図を自分で導出し、自分で描いてみる。期限までに、manaba の小テストを受験する。
4回	**授業テーマ：市場の均衡と価格調整** 授業内容：市場についてみていきます。財の種類と需要曲線、供給曲線の変化の関係を分析していきます。また、次回の導入として、余剰の基本的な概念まで説明します。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントにある問題を解き、間違えた問題は考え方をまとめておく。 事後学修 2.0hr：非常に大事な「余剰」の概念を復習する。期限までに、manaba の小テストを受験する。
5回	**授業テーマ：余剰分析** 授業内容：余剰の概念について説明し、その後に課税の効果について説明します。内容的には「経済のしくみ」の中で最も難しい内容だと思いますが、経済学の独特の考え方につながりますので、しっかり授業を聞いてください。 事前学修 2.0hr：供給曲線と需要曲線の導出をもう１度確認する。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題に関して、余剰の図を自分で描き、消費者余剰・生産者余剰・総余剰について確認する。期限までに、manaba の小テストを受験する。
6回	**授業テーマ：保険のしくみ** 授業内容：消費者の効用最大について簡単に触れ、その後、保険のしくみと情報の非対称性について説明していきます。 事前学修 2.0hr：限界の概念をもう一度復習しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。情報の非対称性があるときの対策をまとめる。期限までに、manaba の小テストを受験する。
7回	**授業テーマ：ゲーム理論について理解する** 授業内容：色々な例を交えながらゲーム理論について説明していきます。具体的にはナッシュ均衡をメインに説明していきます。 事前学修 2.0hr：第４回の配布プリントの問題を解きながら、企業の利潤最大化をもう１度確認する 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。期限までに、manaba の小テストを受験する。

8回	**授業テーマ：経済をマクロからとらえる** 授業内容：この回からはマクロ経済学の分野に入ります。GDP など一般常識として知っておくべき言葉の説明と戦後の日本経済の歩みについて説明していきます。 事前学修 2.0hr：配布プリントの GDP 成長率の図の指定の年に何があったか調べておく。 事後学修 2.0hr：戦後、日本の GDP の動きと、GDE と GDI の各構成要素のデータを調べる。期限までに、manaba の小テストを受験する。
9回	**授業テーマ：財市場の分析** 授業内容：財市場を分析し、GDP の大きさがどのように決まるのかを説明する。その後、財政政策の効果について説明する。 事前学修 2.0hr：公共事業の具体例や減税についての近年の各党の主張を調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題をとき、財政政策の有効性を確認する。期限までに、manaba の小テストを受験する。
10回	**授業テーマ：貨幣市場の分析** 授業内容：貨幣とは何かから始まり、貨幣市場の説明をしていきます。実際に日本銀行のホームページを見ながら貨幣の歴史も振り返ります。 事前学修 2.0hr：日本銀行のホームページから貨幣博物館のサイトへいき、貨幣の歴史について調べる。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題をとき、貨幣の需要と供給、金融政策についてまとめる。期限までに、manaba の小テストを受験する。
11回	**授業テーマ：物価の変動と失業を理解する** 授業内容：物価とインフレについて実際のデータを見ながら解説していきます。また、労働市場についても説明していきます。 事前学修 2.0hr：第 8 回のプリントから物価の上昇した時期と低下した時期にどのような経済的出来事があったかを調べておく。 事後学修 2.0hr：インフレとデフレの仕組みと影響，労働市場について復習しておく。期限までに、manaba の小テストを受験する。
12回	**授業テーマ：利子、債券、株についての理解する。** 授業内容：複利計算を説明していきます。また、債権と株の違いを説明し債券価格と株価の決まり方を説明していきます。 事前学修 2.0hr：第 6 回講義の余剰を復習しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。期限までに、manaba の小テストを受験する。
13回	**授業テーマ：為替レートの決定と貿易の関係を理解する。** 授業内容：為替レートの決定を短期と長期に分けて説明します。また、為替レートの変動が貿易に与える影響についてもみていきます。さらに、国際収支統計を確認し、現在に日本の貿易状況を説明します。 事前学修 2.0hr：第 2 回のプリントから、絶対優位・比較優位の理論を復習する。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。期限までに、manaba の小テストを受験する。
14回	**授業テーマ：日本の財政と社会保障制度** 授業内容：現実の日本財政を予算、税、国債、プライマリー・バランスに分けて解説していきます。また、年金を中心に社会保障制度についても触れていきます。 事前学修 2.0hr：第 7 回講義の保険のしくみを復習しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。期限までに、manaba の小テストを受験する。
15回	**授業テーマ：これまでの復習と授業内試験** 授業内容：これまでの復習を行い、授業内試験を実施後その解説を行う。 事前学修 3.0hr：manaba で受験した小テストをもう一度復習する。manaba で配布する昨年度の問題を解いて答え合わせを行う。 事後学修 2.0hr：授業内試験で間違えた問題をもう一度解き直し、理解を深める。

社会と生活

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

櫻井　博子 (さくらい　ひろこ)

▌授業の概要

私たちが生活している社会の仕組みは、そのほとんどが「法律」によって作られている。この授業では、私たちの生活に身近な法制度に関する基礎的知識を理解し、現実の社会の具体的問題を「法的」に検討する。履修者が社会生活を送るなかでかかわる法律の仕組みを正確に、またより深く理解することができるようになるという「社会人基礎力」と、法を学ぶことを通じ、法律の規定にも様々な解釈の仕方があること、物事の解決に「唯一の正解」は存在しないことを知り、物事を多面的にとらえることができるようになる「論理力」を身に着けることを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：将来社会人となった際、直面し得る問題を、自身で処理できる能力を涵養するために、法の論理的なものの考え方の重要性を理解した上で、基礎的な法律の知識を身につける。

個別目標：(1) 社会のなかで法が果たす役割や法の意義を、具体的な事例とともに説明できる。
(2) 具体的な法制度の機能を、その制度の成り立ちや社会での現実的な意義等を踏まえて評価できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

各回の講義内容を復習する確認問題(小テスト、40 %)と期末試験の結果の合計(80 %)、授業内における参加姿勢等(10 %)、
到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。
なお、講義ごとの課題は、学修支援システム manaba を通して行い、次回の授業で解説を行う。

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レスポンの入力(スマートフォンで可能)）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

初回講義と講義中に適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション、私たちの生活にかかわる法の種類とその分類** 授業内容：法とは何か、法の種類、法の分類 事前学修 1.5hr：ニュースや新聞等で、「法」に関わるものがどれくらいあるのか確認してみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
2回	**授業テーマ：ルールとその「適用」** 授業内容：法の適用による紛争の解決、解釈の必要性、条文の構造、法の解釈、解釈の技術 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
3回	**授業テーマ：取引社会と法(1)** 授業内容：日常生活を取り巻く契約と民法、契約と債権の発生、自由で健全な意思が結ぶ契約関係 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
4回	**授業テーマ：取引社会と法(2)** 授業内容：契約の成立をめぐる問題：意思表示の構造、意思表示の瑕疵と意思の不存在、 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
5回	**授業テーマ：取引社会と法(3)** 授業内容：消費者を保護するための法、制限行為能力者制度 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
6回	**授業テーマ：取引社会と法(4)** 授業内容：契約成立後の法律関係：履行遅滞、履行不能、その他の債務不履行、損害賠償 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
7回	**授業テーマ：取引社会と法(5)** 授業内容：住まいをめぐる法律関係、不法行為に基づく責任 (契約によらない債権債務の発生)、 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
8回	**授業テーマ：取引社会と法(5)** 授業内容：金銭の貸借に関する制度：人的担保、物的担保、割賦販売法 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
9回	**授業テーマ：家族にかかわる法 (1)** 授業内容：夫婦間の法律関係、親子関係、離婚 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
10回	**授業テーマ：家族にかかわる法(2)** 授業内容：相続、法定相続人と法定相続分、相続の承認と放棄、遺産分割 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。

11回	**授業テーマ：犯罪にかかわる法** 授業内容：刑法の役割、犯罪の成立と構成要件、犯罪の成立を阻却する事由 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
12回	**授業テーマ：裁判の役割** 授業内容：裁判と裁判手続の種類、裁判所と審級、民事裁判、刑事裁判 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
13回	**授業テーマ：企業に関する法** 授業内容：法人制度、法人に関する法律、法人の活動、会社 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
14回	**授業テーマ：雇用と労働関係、社会保障に関する法** 授業内容：労働契約、労働者を保護する様々な制度、派遣労働における労働形態、社会保障制度 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
15回	**授業テーマ：講義のまとめ** 授業内容：これまでの授業内容の総括 事前学修 1.5hr：これまでの講義内容を復習する。 事後学修 2.5hr：これまで学んできた内容を復習し、課題に解答する。

社会と生活

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：留学生クラス

田川　麻央（たがわ　まお）

▌授業の概要

絶えず変化し複雑化する日本社会の特徴を多角的に捉えることを目的とし、その背景や要因、今後のあり方について考察する。毎回、特定の社会領域に焦点を当て、資料の読解を通して理解を深めるとともに、日本語で自分の意見を整理し、クラスメートと意見交換を行う。コース前半では基礎的な語彙や表現の定着を確認する小テストを実施し、後半ではグループまたは個人による学習成果の発表と質疑応答を通して、学びを深化させる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：日本の現代社会におけるさまざまな問題について正しく理解し、適切な判断、提言ができる。

個別目標：(1) 現代社会における問題を取り上げた資料を正確に読み取ることができる。
(2) 現代社会における問題について資料を集め、因果関係、取り組みなどを体系的に整理できる。
(3) 集めた資料をもとに、倫理性に配慮しながら他者に向けて自分の言葉で説明したり自分の立場でできることを提言したりできる。
(4) 他者との意見交換を通じて自分とは異なる価値観や考え方について比較対照し、一定の理解ができる。

▌履修条件

留学生である。
manaba の情報を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。
積極的に発言する。

▌評価基準・方法

テスト 40%、課題の内容 30%、発表 20 %、授業参加度 10%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは対面授業および manaba から行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回グループワークがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （発表準備の回で利用する。また、manaba、respon を使用する。）

▌教科書

開講時に提示する。

▌参考書

随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、テスト** 授業内容：授業目標、授業の進め方を伝える。現在の社会の中で自分はどのような立場でどのような役割を担っているのか考え、考察する。 事前学修 2.0hr：日本の新聞を読んで現代社会の問題をみつける。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：深夜営業** 授業内容：現代社会における深夜営業の役割を取り上げ、利便性や経済効果と、労働環境・地域社会への影響の両面から考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：家族関係** 授業内容：社会集団としての家族の定義や範囲の多様性を踏まえ、核家族化が進む日本における家族関係の特徴や背景、家族に求められる役割を資料から考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：若者言葉** 授業内容：若者言葉を社会集団の言語使用の一例として取り上げ、その特徴や生まれる背景、世代間の認識の違いを資料から考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：学校** 授業内容：日本の学校制度と世界の学校制度を比較して日本の学校の特徴を明らかにし、あわせて日本の学校が抱える課題とその背景を資料をもとに考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：ジェンダー** 授業内容：性別による社会的格差を取り上げ、その背景を複数の概念やデータから読み解き、社会において平等や公平性が十分に保たれていない場面について考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：人間関係** 授業内容：大人にとっての「友達」の数や偏りを踏まえて検討し、「友達」に限らない多様な人間関係に着目しながら、日本社会における人間関係の特性や課題について考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：情報通信インフラ整備と社会** 授業内容：情報通信インフラ整備を取り上げ、社会における利便性や公共性と、地域住民の不安や対立の関係を資料から読み解き、考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：格差社会** 授業内容：日本人の階層意識が「一億総中流」から格差社会へと変化してきた経緯を学習したうえで、格差拡大の現状や背景について考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

10回	**授業テーマ：経済・働き方** 授業内容：日本の経済的活力の長期的推移を示す資料を読み、働くことへの考え方を他国と比較して分析し、日本の働き方の特徴を整理したうえで、将来の働き方について考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：政治・社会参加** 授業内容：「民主主義」とはどのようなものかいくつかの議論を参照する。日本の若者の政治意識を検討し、なぜ若者の政治意識が低調になっているのかいくつかの仮説を読んで、意見をまとめる。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：発表準備①データ収集** 授業内容：これまで学習してきたテーマの中から関心のある課題を選び、問題意識を明確にしたうえで問いを立て、関連する資料を収集・整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：発表準備②資料作成** 授業内容：集めた資料を整理し、発表原稿を書く。その後、ポスターとしてまとめる。原稿、ポスターをもとに話し方の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：発表** 授業内容：質問の種類や目的、適切なタイミングとマナーについて学んだうえでポスター発表会を実施する。発表では質疑応答を通して相互理解を深め、建設的な議論を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：学習のまとめと振り返り** 授業内容：第 1 回から第 14 回までの学習内容を総合的に振り返り、ノートを整理しながら理解の定着を確認する。あわせてテストを実施し、知識や思考の変化を振り返ることで、自らの学習の成果や成長を実感する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

政治のしくみ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

河野　武司 (こうの　たけし)

▌授業の概要

本講義では、政治のしくみ(制度と過程)について、理論と現実の両面から説明します。具体的には、日本政治を前提に、選挙制度など代議制民主主義を支える様々な制度や、政・官・財の「鉄の三角関係」、メディア、インターネットなどが政策決定に及ぼす影響を中心に、政策決定における現実について紹介していく予定です。その際、必要に応じて、政治に関する専門用語や理論を解説します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：日本政治の現実を理解し、他者に対してどうしてそうなのかを理論的に説明できる力を身に付けていただければと思っています。
個別目標：選挙において、主体的に選び、投票することができる情報を持った有権者となることを目指していただければと思っています。

▌履修条件

私が話したこと、板書したことを要領よくまとめ、自らの手でこの講義を受講したことの証としてのノートを作成して、持込可を予定している期末試験に臨んでください。ノートを充実させるにあたっては、授業中や予習・復習での生成 AI の活用を推奨します。そのため、授業中のスマフォや PC の利用を認めます。

▌評価基準・方法

期末試験 (80 %)、平常点(20 %：私からの質問に対する回答や疑問点に対する問題の提起といった普段の受講態度、場合によっては小テストも実施し、その結果も含める場合があります)で評価します。

▌フィードバック方法

定期試験等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特に指定しません。

▌参考書

授業中に適宜指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス(インセンティブ)** 授業内容：・履修に当たっての諸注意と授業内容の説明。 事前学修 2.0hr：シラバスを繰り返し読んでおいてください。 事後学修 2.0hr：この授業の履修に当たっての約束事項と授業の全般的内容を確認してください。
2回	**授業テーマ：政治とは何か** 授業内容：・政治と国家→政治概念論争、様々な政治の定義の紹介 事前学修 2.0hr：アリストテレスによる「ポリスを必要としない者は、神か野獣に違いない」という言葉を調べましょう。 事後学修 2.0hr：自らの政治に関する定義について考えてください。
3回	**授業テーマ：民主主義とは何か** 授業内容：・プラトンが理想とした哲人王による政治は民主主義か、直接民主制と間接民主制の長短 事前学修 2.0hr：民主主義とは何かについて考えておいてください。 事後学修 2.0hr：民主主義に関する説明を整理してください。
4回	**授業テーマ：民主主義を支えるしくみ①** 授業内容：・立憲主義、三権分立、様々な政治システム(大統領制、半大統領制、議院内閣制)、議会における一院制と二院制 事前学修 2.0hr：「絶対的権力は絶対的に腐敗する」という言葉を調べましょう。 事後学修 2.0hr：日本に首相公選制が相応しいか否か考えてみましょう。
5回	**授業テーマ：民主主義を支えるしくみ②　様々な選挙制度** 授業内容：・代表の意味(国民代表、地域代表、職能代表)、様々な選挙制度(小選挙区制、大選挙区制、比例代表制、混合システム) 事前学修 2.0hr：日本の衆議院の選挙制度(小選挙区比例代表並立制)について調べておいてください。 事後学修 2.0hr：日本の衆議院に相応しい選挙制度について、自身の考えをまとめましょう。
6回	**授業テーマ：日本の選挙の諸問題** 授業内容：・政治的景気循環と政治的波乗り(7 条解散の是非)、一強多弱、重複立候補の是非 事前学修 2.0hr：自身が特に感じる日本政治における問題点を一つ挙げてみましょう。 事後学修 2.0hr：自身が挙げた日本政治の問題点の解決策について考えましょう。
7回	**授業テーマ：民主主義を支えるしくみ③　政党** 授業内容：・政党システム論とデュヴェルジェの法則、日本の政党システムとしての 55 年体制 事前学修 2.0hr：55 年体制について調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：日本の政党システムにおける問題点についてまとめましょう。
8回	**授業テーマ：民主主義を支えるしくみ④　民主的選挙の 5 原則** 授業内容：・普通選挙、平等選挙、直接選挙、秘密選挙、投票の自由 事前学修 2.0hr：間接投票を採用しているアメリカの大統領選挙のしくみについて調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：義務投票制の是非について考察してみましょう。
9回	**授業テーマ：民主主義を支えるしくみ⑤　投票参加** 授業内容：・投票参加の計算式(期待効用モデル)、投票率の向上策 事前学修 2.0hr：投票参加の計算式について調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：自身のオリジナルな投票率の向上策について考えましょう。
10回	**授業テーマ：民主主義を支える仕組み⑥　投票方向の決定** 授業内容：・選挙における選択の基準(支持政党、争点、業績評価、選挙区に利益をもたらす政治家か否か) 事前学修 2.0hr：自身の過去の選挙における投票を振り返っておいてください。 事後学修 2.0hr：どのような基準で投票を行うのがよいかについて考えてみましょう。
11回	**授業テーマ：政策決定における諸問題①　メディアの役割** 授業内容：・メディアは政府の活動を監視する番犬か、政府の飼い犬か、選挙におけるアナウンスメント効果 事前学修 2.0hr：メディアの報道によって自身の考えや行動が変わったことがあるか否かについて思い出してください。 事後学修 2.0hr：メディアの政治的役割について自身の考えをまとめましょう。

12回	**授業テーマ：政策決定における諸問題②　選挙政治と利益団体政治** 授業内容：・圧力団体政治と鉄の三角形、利益団体自由主義（多元主義と労働抜きのコーポラティズム） 事前学修 2.0hr：アメリカで最大の利益団体として知られる全米ライフル協会について調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：政策を巡る自由市場が機能するか否かについて考えましょう。
13回	**授業テーマ：政策決定における諸問題③　利益の集中とコストの分散** 授業内容：・市民における合理的無知と政策決定における反消費者生産者支持の偏向、利益の組織化と政治的企業家 事前学修 2.0hr：孔子の「民は之に由らしむべし、知らしむべからず」という言葉を調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：政治現象を合理的選択という観点から説明することの妥当性について考えましょう。
14回	**授業テーマ：インターネットと民主主義** 授業内容：・インターネットは民主主義の敵か、インターネットが可能とする新しい民主主義の形（陪審制デモクラシー、カウンターデモクラシー） 事前学修 2.0hr：キャス・サンスティーンが書いた『民主主義はインターネットの敵か』の内容について調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：インターネットを利用した 21 世紀にふさわしい新たな民主主義のしくみについて自身で考えてみましょう。
15回	**授業テーマ：授業の総括と質疑応答** 授業内容：まとめとして、これまでの授業内容を振り返るとともに、受講生からの質問に答えます。 事前学修 3.0hr：自らがまとめたノートを確認し、疑問点を抽出しておいてください。 事後学修 3.0hr：自らがまとめたノートを試験に備えて完成させ、繰り返し確認してください。

社会思想史

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

上野　大樹 (うえの　ひろき)

▌授業の概要

経済学をはじめとする社会科学を学ぶ上で必須となるのが、近代社会についての思想・理論についての理解である。本講義では、社会思想・社会理論・経済思想・政治思想について歴史的な視点から学んでいく。今日われわれが生きている複雑な社会をトータルに理解するためには、表層的な現象面だけでなく、その背景にある構造を把握する必要がある。しかし、経済学を含む社会科学は専門分化が著しく、個々の専門科目を修めていくだけでは社会の全体像をつかみ取ることは容易ではない。本講義では、社会について総合的・学際的な視点から分析を重ねた思想家たちの考えを、その歴史的背景とも関連づけながら詳しく紹介していく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：(1) 社会を総合的な視点から理解するための思想・理論について理解を深める。
(2) 人類社会の歴史的・段階的な発展について、俯瞰的な視座から把握することができる。
(3) 経済や政治など機能分化した諸領域と全体社会との関係について、歴史的な観点から説明することができる。

個別目標：(1) 古代ギリシア・ローマ世界の思想・文化がその後の世界にどのような影響を与えたのかを理解し、説明できる。
(2) ヨーロッパで出現した近代社会の基本的な特徴について、歴史的な観点から把握し説明することができる。
(3) 近代社会の経済面での大きな特徴である資本主義・産業化について、アダム・スミスやカール・マルクスといった社会思想家がどのように分析を行ったのかを理解し、説明できる。
(4) 20 世紀以降の人類社会・地球社会が直面するさまざまな課題について、本授業で学ぶ社会思想家の考え方や理論を用いて自分なりの見解を提示することができる。

▌履修条件

高校世界史(あるいは歴史総合)の教科書を復習しておくことが望ましい。特に 15・16 世紀から現代史まで。

▌評価基準・方法

期末試験 60 %、授業内容を振り返るための小レポート(3 回程度) 30%、授業時の積極的な参加や質問 10 %

▌フィードバック方法

小レポートの内容や授業後に受けた質問について各回の授業冒頭等で全体と(匿名で)共有して答えるとともに、以降の授業内容にも適宜フィードバックを行っていく。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

【前期】大澤真幸『社会学史』(講談社現代新書、2019 年)
【後期】木村俊道『西洋政治思想の文脈』(放送大学教育振興会、2025 年)

▌参考書

山脇直司『ヨーロッパ社会思想史　新版』(東京大学出版会、2024 年)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：社会思想史・概論** 授業内容：社会思想史とはなにか？　なぜ社会思想史を学ぶのか？ 事前学修 2.0hr：【前期】インターネットの検索エンジンなどを使って、「社会思想史」についての事典上の定義を複数(3 つ以上)調べてきてください。／【後期】第 1 章「西洋政治思想の探究」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：教科書を入手し、まずは序と目次を熟読する。本書序文の内容と授業で説明したこととがどのように関連するか、あるいは異なる部分があるとすればどこか、考えてくること。
2 回	**授業テーマ：現代の社会問題と社会思想の視点** 授業内容：現代社会における医療・福祉に関する諸問題を取り上げ、社会思想の歴史からみたときに何が言えるのかを考える。それを通じて、社会思想史を学ぶことのアクチュアリティを理解する。 事前学修 2.0hr：【前期】現代日本の医療・福祉や社会政策について昨今どのようなことが問題となっているか、調べてくる。／【後期】第 2 章「デモクラシーの系譜」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえて、あらためて現代日本の医療福祉の課題や将来像について考えてみる。
3 回	**授業テーマ：古代ギリシア・ローマの政治思想** 授業内容：政治や国家の語源ともなったポリス(都市国家)で展開された民主主義・共和主義とその思想的基盤について学ぶ。 事前学修 2.0hr：【前期】『社会学史』第 1 部・1「古代の社会理論　アリストテレス」を読んでくる。理解できた点と分からなかった点を腑分けしておく。／【後期】第 3 章「政治と教養」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえてもう一度教科書の該当箇所を読み、理解の進展を確認する。
4 回	**授業テーマ：古代ギリシア・ローマの経済思想と社会思想** 授業内容：公的領域で展開された政治に比して、大家族を中心とした私的領域で営まれた経済活動への評価は低かったが、現代の家政学や経営学にも通じる理論を展開した古代の思想家を概観する。 事前学修 2.0hr：【前期】前回登場したキーワードについて事典類で調べてくる。／【後期】第 4 章「ポリスの政治学」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：配布資料を読む。
5 回	**授業テーマ：中世の社会思想** 授業内容：宗教(特にキリスト教)と世俗社会の関係について学ぶとともに、キリスト教世界のもとでの政治と経済の位置づけについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：【前期】前回登場したキーワードについて事典類で調べてくる。／【後期】第 5 章「レス・プブリカ」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：今回登場したキーワードについて事典類で調べてくる。
6 回	**授業テーマ：社会契約論 (1)：ホッブズ・ロック** 授業内容：近代社会の理論的・思想的基礎を構築した社会契約説について学ぶ。 事前学修 2.5hr：【前期】『社会学史』第 1 部 2「社会契約の思想」を読んでくる。／【後期】第 6 章「帝国とキリスト教」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえてもう一度教科書の該当箇所を読み、理解の進展を確認する。
7 回	**授業テーマ：社会契約論 (2)：ルソーとフランス革命** 授業内容：近代社会の理論的・思想的基礎を構築した社会契約説について学ぶ。 事前学修 2.5hr：【前期】『社会学史』第 1 部 2「社会契約の思想」を再読してくる。／【後期】第 7 章「キリスト教共同体」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：高校世界史の教科書をもとに市民革命(英米仏の諸革命)と産業革命について復習する。

8回	**授業テーマ：社会契約説批判と歴史社会学の誕生** 授業内容：スコットランド啓蒙について学ぶ。 事前学修 2.0hr：【前期】配布資料を読む。／【後期】第 8 章「ルネサンスと人文主義」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習。
9回	**授業テーマ：アダム・スミスと経済学の生誕** 授業内容：ヒュームとアダム・スミスの社会思想・歴史叙述・政治経済学について概観する。 事前学修 2.0hr：【前期】配布資料を読む。／【後期】第 9 章「統治のアート」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習。
10回	**授業テーマ：社会科学の誕生と初期社会主義の潮流** 授業内容：フランス革命以降の産業社会・労働社会をめぐる思想と実践について概観する。 事前学修 2.5hr：【前期】『社会学史』第１部３「社会科学の誕生」を読んでくる。／【後期】第 10 章「『リヴァイアサン』と『ビヒモス』」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえて、もう一度教科書の該当箇所を再読する。
11回	**授業テーマ：スミスからマルクスへ** 授業内容：労働価値説と古典派経済学に対する 19 世紀産業革命以降の批判的展開について、ドイツを中心に理解する。 事前学修 2.5hr：【前期】『社会学史』第１部４「マルクス」を読んでくる。／【後期】第 11 章「統治と寛容」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：従業内容の復習。
12回	**授業テーマ：ヴェーバーとジンメルにおける社会学の誕生** 授業内容：18 世紀の啓蒙思想や 19 世紀前半の社会主義・産業主義の思想を踏まえて、近代知としての社会学がどのように出現してきたかを 19 世紀後半以降のドイツに焦点を当てて理解する。 事前学修 3.0hr：【前期】『社会学史』第２部３「ジンメル」、４「ヴェーバー」を読んでくる。／【後期】第 12 章「アンシャン・レジームと啓蒙」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：従業内容の復習。
13回	**授業テーマ：ヴェーバー、フロイト、デュルケーム** 授業内容：社会学と精神分析の関係について、世紀末の時代背景を把握しつつ理解を深める。 事前学修 3.0hr：【前期】『社会学史』第２部１「フロイト」、２「デュルケーム」を読んでくる。／【後期】第 13 章「文明社会」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：従業内容の復習。
14回	**授業テーマ：社会システム論の誕生** 授業内容：20 世紀の社会学、特にパーソンズの構造機能主義と、現象学を基盤とするミクロ社会学の展開について学ぶ。 事前学修 3.0hr：【前期】『社会学史』第３部１「パーソンズ」、２「〈意味〉の社会学」を読んでくる。／【後期】第 14 章「独立・建国・革命」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：従業内容の復習。
15回	**授業テーマ：社会システム論の発展** 授業内容：フランス現代思想の基礎を学び、さらにルーマンによる社会システム論の「転回」についてポストモダンの時代状況と関連づけながら理解を深める。 事前学修 3.0hr：【前期】『社会学史』第３部３「意味構成的なシステムの理論」、４「社会学の未来に向けて」を読んでくる。／【後期】第 15 章「西洋近代の風景」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：従業内容の復習。

日本企業論

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

粟沢　尚志（あわさわ　たかし）

▌授業の概要

本科目は教育目標「人間力形成」達成のための科目です。日本企業の過去・現在・未来に関心をもつ学生を対象に、経済学と経営学の二つの分析視点から、日本企業の組織・行動・成果を体系的に理解するために必要な幅広い教養的知識・技能のほかに、主体的に学ぶ能力の養成を目指しています。授業で探究する主な課題は、日本企業の特徴、グローバル市場での外国企業との競争と協調、組織と戦略の独自性がもたらすイノベーションという日本企業が直面する課題です。特に、「日本資本主義の父」と呼ばれる渋沢栄一の経営哲学「論語と算盤」を学ぶことから、日本型経営の特徴やその強みを理解できるようにします。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：(1) 日本企業の活動を理解するために必要となる経済学と経営学の基本的な考え方を身につけることができる。
(2) 日本の企業・取引システムの歴史と現代日本企業の課題を理解するために必要な基礎的な知識と技能を修得することができる。
(3) 渋沢栄一の経営哲学「論語と算盤」を学ぶことから、日本型経営の特徴やその強みを理解できる。
(4) 競争戦略論やマーケティングの基礎を、日本企業というケーススタディから修得することができる。

個別目標：(1) 日本企業に特徴的な雇用や生産などを理解するのに必要となる経済学的及び経営学的要素を説明できる。
(2) 日本企業の組織と戦略とイノベーションの相互関係を解明する複数の理論モデルを説明できる。
(3) 日本に強く見られる経営倫理観（渋沢栄一の道徳経済合一説）を理解し、その今日的な実践（たとえば SDGs）を卒業後に実践可能にする。

▌履修条件

履修に必要な予備的知識として、日本経済新聞などを通じて日本企業に関する現実の動きをフォローすることが望ましい。

▌評価基準・方法

毎週の課題 60 %、最終試験 40 %の合計点から評価する。ともに出題も採点も manaba を用いる。

▌フィードバック方法

manaba を通じて採点結果や必要に応じてコメントをフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

指定なし。

▌参考書

加護野忠雄・山田幸三編『日本のビジネスシステム』有斐閣、2016 年.
丸山雅祥『経営の経済学　第 3 版』有斐閣、2017 年.
加藤健太・大石直樹『ケースに学ぶ日本の企業』有斐閣、2013 年.
橘川武郎・平野創・板垣暁編『日本の産業と企業』有斐閣、2014 年.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ダイキンエアコン** 授業内容：ダイキンエアコンが「人」を中心とした経営と競争戦略で成功したことを学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）
2 回	**授業テーマ：小松製作所** 授業内容：小松製作所が強みの「組み合わせ」で強力な差別化に成功したことを学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）
3 回	**授業テーマ：ヤマト運輸** 授業内容：ヤマト運輸の源流となるビジネスモデルが、渋沢栄一の経営哲学の特徴である「先義後利」と同じであることを学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）
4 回	**授業テーマ：伊那食品工業** 授業内容：伊那食品工業の「年輪経営」から（渋沢栄一の経営哲学に基づく）長期的な利益の大切さを学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）
5 回	**授業テーマ：村田製作所** 授業内容：企業という組織内に人の持つ「知」を蓄積することで、企業に強さ（競争優位）を生み出すことを学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）
6 回	**授業テーマ：公文（くもん）** 授業内容：教育サービスにおける公文のビジネスモデルの独自性について経営学から学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）
7 回	**授業テーマ：ルミネ** 授業内容：ルミネの強さをコーペティション戦略（協調と競争の組み合わせによって競争優位を高めるような戦略）から学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）
8 回	**授業テーマ：ベネッセ** 授業内容：ベネッセが出版、模試、通信教育、介護へと多角化に成功してきた理由やメカニズムを経済学と経営学から学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）
9 回	**授業テーマ：トヨタ** 授業内容：トヨタの経営の特徴を同社の「パーパス」「ヴィジョン」「ミッション」から学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）

10回	**授業テーマ：サイゼリヤ** 授業内容：サイゼリヤの経営の特徴(＝強さの理由)を競争戦略論から学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出(manaba を通じて)
11回	**授業テーマ：スバル自動車** 授業内容：スバル自動車の経営の特徴(＝強さの理由)を「共通善」の追求という経営戦略から学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出(manaba を通じて)
12回	**授業テーマ：アサヒビール** 授業内容：アサヒビールが業界第 1 位に登りつめた戦略(＝ポジショニングアプローチ)について学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出(manaba を通じて)
13回	**授業テーマ：『ビジョナリーカンパニー』を読む** 授業内容：全世界でベストセラーとなったビジネス書である『ビジョナリーカンパニー』を読んで日本型経営の特徴を学ぶ。 事前学修 2.0hr：プリントを用いた予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出(manaba を通じて)
14回	**授業テーマ：銚子電鉄** 授業内容：銚子電鉄の経営戦略を渋沢栄一の経営哲学から読み解くことで、地域に根差すローカル鉄道の生き残り戦略を学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出(manaba を通じて)
15回	**授業テーマ：企業とは「社会の公器」：明治の偉人たちから学ぶ** 授業内容：明治時代の研究者(北里柴三郎と高峰譲吉)と実業家(渋沢栄一)から企業経営における長期的利益の重要性を学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出(manaba を通じて)

地理と環境

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

池田　和子（いけだ　かずこ）

▌授業の概要

本講義は、人文地理学のなかでも環境と人との相互作用に焦点を当てる。本講義での「環境」は、自然環境にとどまらずそれまでに蓄積された地域の資源や既存の産業、人々の行動様式などを含む。

講義は 2 つの柱からなり、1 つは事例研究を通じて変化の具体的なプロセスとその背景にある地理的な考え方を学習する。もう 1 つは地図の技能に関わるもので、地域の特徴やその変化を地図からよみとる。また作図から、効果的な図とは何かを学んでいく。

なお、2026 年度は前期のみの開講となる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：地域を観察し、地域の個性が多様な要素の絡み合いから生じ、変化し続けている様子を捉えられるようになる。地域をよみとくための基礎知識を習得する。
地図、特に地形図を読むための基礎知識を習得する。また主題図の作図に関する基礎知識を習得し、効果的な作図について工夫できるようになる。

個別目標：・地理的スケールを意識しながら地域を観察することができる。
・地図や統計などの資料を読みとることができる。
・書かれた内容を適切に理解し、自分の考えを述べることができる。
・与えられたテーマについてグループディスカッションができる。

▌履修条件

高校で地理を履修していなくても構いませんが、積極的に学ぶ姿勢を求めます。

▌評価基準・方法

平常評価（講義中の課題）40%、最終試験（教場）60%の割合で評価する。

▌フィードバック方法

講義での課題に対するフィードバックは翌週の講義中に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、地図の作図・読図）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （統計検索、ウェブ GIS の活用）

▌教科書

なし。配付資料にて行う。

▌参考書

適宜指示する。

高校生向けの地図帳や参考書があれば理解を助ける。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：(大学の)地理学とは、本講義の内容や評価方法について理解する。 事前学修 2.0hr：これまでに学校で学んだ「地理」のイメージや印象を考えてみる。 事後学修 2.0hr：「地理」のイメージが変化したかや、授業の内容から考えたことを文章にまとめてみる。
2 回	**授業テーマ：地形図の基本と山地の地形** 授業内容：地形図の基礎を学び、紙の地形図で尾根や谷を見分ける。また地理院地図も使ってみる。 事前学修 2.0hr：「地形図」とは何かを確認する。 事後学修 2.0hr：地理院地図で関心のある場所を見てみる。
3 回	**授業テーマ：浦安を知る①／地理院地図と低地の地形** 授業内容：地形図の基礎を学び、実際に浦安の地形図を読みとる。また低地の土地利用について学ぶ。 事前学修 2.0hr：地理院地図で山と平野の図を見比べて、印象の違いや使用される地図記号の違いを検討する。 事後学修 2.0hr：地理院地図で機能のいくつかを利用してみる。
4 回	**授業テーマ：浦安を知る②／「地図感覚」をやしなう** 授業内容：時期の異なる浦安の地形図を比較し、浦安がどのように変化してきたかを読みとる。また、感覚的に地形図を理解することについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：地形図に関する課題に取組む。
5 回	**授業テーマ：浦安を知る③多面的に理解する** 授業内容：浦安の変化を資料から読みとり、地形図の変化にどのように表現されるのかを理解する。 事前学修 2.0hr：浦安市内を歩いて、地図と実際の景観の対応を確認したり、まだ行ったことのない場所を観察する。 事後学修 2.0hr：自分に身近な別の場所を例に調べ、授業の内容があてはまることがあるかを考える。
6 回	**授業テーマ：製造業の盛んな地域①／統計データの利用** 授業内容：実証研究論文を用いて、事例地域の特徴とその変化を読みとる。論文で扱われている統計にはどのようなものがあるかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：関心のある事柄について、統計情報を探してみる。
7 回	**授業テーマ：製造業の盛んな地域②／統計データの分析** 授業内容：工業立地の基礎と、事例となる産業の特徴、戦後日本の工業発展について学ぶ。これを踏まえて改めて論文の内容を理解する。また論文で扱われている統計データを実際に分析してみる。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：6〜7 回目を通して、考えたことをまとめておく。
8 回	**授業テーマ：主題図と GIS（地理情報システム）の利用** 授業内容：主題図および、GIS による作図と分析について学ぶとともに、実際にウェブ GIS を使うなどして主題図を作成する。 事前学修 2.0hr：主題図とは何か調べてみる。 事後学修 3.0hr：主題図作成の課題に取り組む。
9 回	**授業テーマ：よい主題図について検討する** 授業内容：地図の表現にこだわり、適切でわかりやすい主題図にする工夫を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の事後学修で感じたことや考えたことをまとめる。 事後学修 3.0hr：主題図作成の課題に取り組む。

10回	**授業テーマ：第三次産業の盛んな地域①** 授業内容：実証研究論文を用いて、事例地域の特徴とその変化を読みとる。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：身近なサービス業の場について、授業の内容があてはまるか異なるかを考える。
11回	**授業テーマ：第三次産業の盛んな地域②** 授業内容：事例となる産業の、立地の基礎や産業史、近年の動向について理解する。これを踏まえて論文を精読する。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：これまで学んだ事例の、産業としての違いを考える。
12回	**授業テーマ：第三次産業の盛んな地域③** 授業内容：扱う実証研究論文に関係する、発展的な知識について学ぶ。環境と人間との関わりとその変化について、より抽象的に理解する。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：10～12 回目を通して、考えたことをまとめておく。
13回	**授業テーマ：時計の歴史①と地図・緯度・経度** 授業内容：時計の歴史をたどりながら、地図や特に緯度・経度との関わりについて理解する。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：関心を持った事柄について調べる。
14回	**授業テーマ：時計の歴史②と地球・標準時・暦** 授業内容：時計の歴史をたどりながら、地球を知ることや標準時・暦との関わりについて理解する。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：関心を持った事柄について調べる。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：全体のまとめ、試験について 事前学修 3.0hr：これまでの復習をしておく。 事後学修 3.0hr：これまでに学んだことへの理解を深める。

地理と環境

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：留学生クラス

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）

▌授業の概要

地理と環境(留学生クラス)では、文章、図版、データ、写真など様々な情報を統合し、様々な現代的なテーマのシステム的な理解をすることで、現実世界の諸事象の観察や洞察を行う力を養う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：自然と人文環境の両者を理解できるような複眼的な思考ができる。

個別目標：(1) 様々なスケールごとに人と環境の関わりについて、情報を深く読み取り、課題の解決方法を理論的に表現できる。
(2) 文章、地図、図表、写真、統計データなどの資料を集め、倫理性に配慮し、活用できる。
(3) 地図、統計データ等の情報を処理し文章と統合して、内容を正確に理解する。
(4) 課題達成のために他者との協働作業を行うことができる。
(5) 地理と環境に対するシステム的な思考力を適切に評価し、計画をたて、能動的に学習し、正しく振り返ることができる。

▌履修条件

毎回出席し、授業活動に積極的に参加する。
manaba のコースニュースでの連絡を読む。
課題等の提出期限を守る。
使えるリソースを適切に利用する。

▌評価基準・方法

平常評価（通常週の課題提出による評価）50%、最終試験 50%の割合で評価する。
詳細は第 1 回授業で説明をする。

▌フィードバック方法

毎回、コメントシートで質問等を受け付ける。
課題及び試験のフィードバックは manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （コンセプトテスト・ピアインストラクション・コメントシート・ジグソー活動）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （地図、データなどの検索に利用する。）

▌教科書

高橋伸夫ほか　『改定新版ジオグラフィー入門』古今書院

▌参考書

授業で指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：科目の概要、目標、評価基準、授業および課題提出などについての説明を行い、事前テストを行う。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク・アンケート 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。
2回	**授業テーマ：人間環境と人間社会** 授業内容：地形、気候などの自然環境と政治、経済活動などの社会環境との関わりを複眼的に分析する、という地理学の本質的な考え方を理解する。高知県を例にとって日本の産業構造の変化を自然条件、社会条件から分析する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。
3回	**授業テーマ：日本を縮める新幹線** 授業内容：日本の新幹線の延伸を年代別の地図から読み解く。時間距離という概念を理解し、新幹線の延伸の背景にある、日本の人口分布の変化、鉄道を用いた物流システムの変化などから日本経済の発展を分析する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。
4回	**授業テーマ：分布図で見るオーストラリア** 授業内容：オーストラリアの人口分布と耕地の分布を比較する。鉱業、畜産業などの分布図と地域ごとの産業構造を比較した表を対照させてオーストラリアの自然条件と産業構造を理解する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。
5回	**授業テーマ：選挙にみる地理学** 授業内容：衆議院総選挙結果と人口指標の推移、地域別投票率、政党別獲得議席数などから日本の政治の地域性を理解する。一票の格差、ゲリマンダー選挙区など選挙制度上の問題について考える。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。
6回	**授業テーマ：人々の行動を分析する** 授業内容：社会生活基本調査による生活時間の増減と男女有業者の週平均活動時間から日本人の生活活動の分析を時間の側面から把握する。それにパーソントリップ調査を加えて、子どもを持つ夫婦の生活を時間移動から分析し、日本の少子化問題を考える。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：小テスト・レポート・コンセプトマップを作成する。
7回	**授業テーマ：頭のなかの地図** 授業内容：人間が頭の中に持つ認知地図の要素、構造を理解し、いかに形成されるか、どのような要因で認知地図の歪みが生じるかを事例から理解する。認知地図がサーベイマップなのかルートマップなのかという議論を学ぶ。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：レポート・コンセプトマップを作成する。
8回	**授業テーマ：地図は語る** 授業内容：縮尺、地図記号など地形図の見方の基本を学ぶ。1961 年、1970 年、1994 年の浦安市の地形図を比較し、漁師町から住宅・文教・レジャー施設を持つ海浜ニュータウン地域へと変容した浦安の都市化を理解する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：レポート・コンセプトマップを作成する。

9回	**授業テーマ：地形図の読み取り** 授業内容：同じ地域の年代の異なる地形図を読み取り、その地域における産業の変遷などを推測する。ジグソー活動によって、他の学習者と協力してタスクシートを完成させる。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。
10回	**授業テーマ：人はいかに分布するか** 授業内容：人が居住する範囲であるエクメーネにおける人の分布を表す方法として、人口密度、一人あたり面積、人口接近度などの用語を学び、各国のデータを用いて実態を分析する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。
11回	**授業テーマ：人は移動する** 授業内容：移動者数の推移や地域ごとの人口変動のタイプから、地方の中心県が周辺県からの流入と東京への転出を行うという都市システムを理解する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：小テスト
12回	**授業テーマ：都市の内部に構造をみる** 授業内容：都市地理学における古典的内部構造モデル、同心円地帯モデル、セクターモデル、多核心モデルを理解し、都市の内部構造が形成される要因とプロセスを理解する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：レポート・コンセプトマップを作成する。
13回	**授業テーマ：東京一極集中は進む** 授業内容：日本の地域別人口の歴史的変化から東京一極集中の背景を理解する。主要都市の経済的中枢管理機能を比較し東京にある行政的中枢管理機能の集中と首都機能移転を巡る議論を考える。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：レポート・コンセプトマップを作成する。
14回	**授業テーマ：都市は気候を変える** 授業内容：環八雲やヒートアイランドなどの現象を通して都市気候が発生する仕組みを学ぶ。人口集中によって地表面の特性が変わり、代謝熱によるエアロゾルの発生が都市気候の背景にあることを理解する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。
15回	**授業テーマ：最終試験とフィードバック** 授業内容：最終試験を行いフィードバックを行う。コース全体の振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：アンケート

自然環境論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

磯田　尚子（いそだ　しょうこ）

▌授業の概要

現代社会における最も重要な課題のひとつである環境問題について、その原因や発生のメカニズムは何か、何が問題となっているか、そして解決のためにどのようなしくみを構築すべきかを学ぶ。環境法政策学をに中心として、自然保護に関する環境倫理学・環境哲学の知見をも取り入れながら、法的なしくみの現状と課題について学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：環境問題に関する法的なしくみについて、基本的な知識を習得するとともに、持続可能な社会、自然と人間の共生に向けて何が必要かを理解する。

個別目標：環境問題に関する法的な制度やしくみについて、専門用語とその内容を、自分の言葉できちんと説明し、他人に伝えることができるようになる。

▌履修条件

学問に対する誠実な姿勢を有し、自主的、積極的に学ぶ学生を歓迎する。

▌評価基準・方法

筆記試験９０%、レポートまたは授業中の発表・発言１０%を総合して成績評価を行う。
原則として、授業回数１５回のうち５分の４以上の出席を評価の前提基準とする。

▌フィードバック方法

レポートのフィードバックは、授業内で行い、筆記試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

柳憲一郎・森永由紀・磯田尚子(編著)『多元的環境問題論(増補改訂版)』(ぎょうせい)
ISBN978-4-324-08009-2

▌参考書

講義において適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、環境問題の歴史１(公害問題)** 授業内容：初めに、授業の概要・進め方と評価方法、留意事項などについて説明する。続いて、日本の公害の歴史を概観した後、戦前の公害問題の典型例である足尾鉱毒事件を取り上げ、この時代の公害問題の原因や背景を考える。 事前学修 2.0hr：教科書第２章２．１．１を熟読する。 事後学修 2.0hr：足尾鉱毒事件について調べる。
2回	**授業テーマ：環境問題の歴史２(四大公害訴訟)** 授業内容：戦後高度経済成長期に起こった四大公害事件から学びを得るとともに、四大公害訴訟を通じて形成された法理論の内容と意義を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第２章２．１．２～２．１．４を熟読する。 事後学修 2.0hr：四大公害訴訟を通して形成された法理論を４つ挙げて、それぞれについて説明する。
3回	**授業テーマ：環境問題の歴史３(公害の未然防止)** 授業内容：高度経済成長後の公害裁判において課題となった公害の未然防止に関し、差止訴訟の事例を紹介しながら、裁判で用いられた論理を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第２章２．１．５を熟読する。 事後学修 2.0hr：受忍限度論について説明する。
4回	**授業テーマ：環境基本法の制定と環境基本計画** 授業内容：公害問題と環境問題の根本的な違いを知るとともに、環境基本法と環境基本計画の内容を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第２章２．１．６および２．２．１を熟読する。 事後学修 2.0hr：環境基本法の特徴を述べる。
5回	**授業テーマ：環境保全手法** 授業内容：公害問題の時代から有効であった規制的手法と、環境問題の解決のために新たに導入されてきている経済的手法の２つを中心に、協定的手法、情報的・教育的手法その他を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第２章２．２．３～２．２．４を熟読する。 事後学修 2.0hr：規制的手法と経済的手法を比較する。
6回	**授業テーマ：環境保全のための理念と基本原則** 授業内容：環境問題の解決のために採用されている理念や基本原則のうち、持続可能な開発/発展(SD)、汚染者負担原則(PPP)、予防原則について学ぶ。 事前学修 2.0hr：持続可能な開発/発展について調べる。 事後学修 2.0hr：環境と経済の同時達成について具体例を調べる。
7回	**授業テーマ：大気環境１(大気汚染、酸性雨、オゾン層破壊)** 授業内容：大気汚染、国境を越えて被害が生ずる酸性雨、さらに地球規模で影響があるオゾン層破壊について、その発生メカニズムと影響と法的な対策を学ぶ。 事前学修 2.0hr：酸性雨とオゾン層破壊のそれぞれについて、発生メカニズムと影響について説明する。 事後学修 2.0hr：大気汚染、酸性雨、オゾン層破壊のそれぞれについて、どんな対策が取られているか説明する。
8回	**授業テーマ：大気環境２(気候変動)** 授業内容：今世紀最大の環境問題である気候変動について、その発生メカニズム、影響、法的な対策の歴史と現状(気候変動枠組条約、京都議定書、パリ協定)を学ぶ。 事前学修 2.0hr：気候変動(地球温暖化)の発生メカニズムと影響について説明する。 事後学修 2.0hr：京都議定書とパリ協定の内容を説明する。
9回	**授業テーマ：土壌環境(土壌汚染)** 授業内容：土壌汚染の特徴を理解するとともに、土壌汚染問題のタイプと対策の歴史、土壌汚染対策法の内容を意義を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第１章１．４を熟読する。 事後学修 2.0hr：土壌汚染対策法の内容について説明する。

10回	**授業テーマ：廃棄物１（廃棄物法制度の概要）** 授業内容：廃棄物関連の法律の全体像をつかんだ後、廃棄物処理法、資源有効利用促進法、リサイクル関連の法律の内容と意義を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第１章１．６を熟読する。 事後学修 2.0hr：廃棄物処理法、リサイクル関連の法律、グリーン購入法の内容について説明する。
11回	**授業テーマ：廃棄物２（循環型社会形成に向けて）** 授業内容：リサイクル関連の法律の進展を知るとともに、循環型社会形成推進基本法で定める理念や原則を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第１章１．６を熟読する。 事後学修 2.0hr：循環型社会形成推進基本法の内容について説明する。
12回	**授業テーマ：生物環境１（自然の権利）** 授業内容：自然を原告として提訴する自然の権利訴訟について、日本の訴訟とそのモデルとなったアメリカの訴訟を通して、ある地域の開発について地域住民以外の者が法的に意見を述べることについて考えるとともに、自然に権利を付与する法政策的な意義を論じる。 事前学修 2.0hr：教科書第１章１．５．４及び第４章４．２．３を熟読する。 事後学修 2.0hr：自然の権利を主張する意義について論じる。
13回	**授業テーマ：生物環境２（自然環境保全制度）** 授業内容：日本の自然環境保全のための法律４つ（自然公園法、自然環境保全法、種の保存法、鳥獣保護法）の内容を理解し、国法レベルでの自然保護手法の特徴について考える。 事前学修 2.0hr：教科書第１章１．５．３を熟読する。 事後学修 2.0hr：自然環境保全のための４つの法律に共通する考え方を論じる。
14回	**授業テーマ：生物環境３（里山の保全）** 授業内容：近年の里山保全についての政策転換と、里山保全に関する地方自治体の条例の内容を学ぶ。 事前学修 2.0hr：関心のある自然の保護について具体例を調べる。 事後学修 2.0hr：調べた自然保護の具体例において、どのような制度やしくみが用いられているかを調べる。
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：授業で関心を持った事項について、その内容と示唆をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：発表の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業で関心をもった事項について、さらに調べる。

都市と生活

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中嶋　久人 (なかじま　ひさと)

▌授業の概要

20 世紀後半以降の世界は、都市化が進展し、都市的な生活が村落地域でも浸透しているようになっている。それでも、大都市の中心地域は、他地域とは違った様相を示している。本授業では、大都市の中心地域の一例として東京中心部を把握し、微視的に住民それぞれによる都市における生活の様相をとらえ、さらに巨視的に都市全体を俯瞰して経営の対象としての都市を歴史的に考察し、生活と都市という二つの契機が結びついている状況を検討したい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：それぞれの住民にとって大都市において生活することのあり方を把握し、その上で、そのような住民の生活をもとに都市全体を経営することを歴史的に検討する。このことは、学問的課題であると同時に、それぞれにとっての生活的課題であり、さらには都市全体の社会的課題である。この授業で学習したことをもとに、新たな学問的課題に取り組むとともに、都市で生活することの基礎知識を習得し、都市全体を経営する視点を展望することができる。

個別目標：①東京北部を主要な対象としている吉見俊哉『東京裏返し』を教科書にして、講師が「街歩き」＝フィールドワークにおいて撮影した写真や講師自身の生活体験などを交えて、都心部で生活するということについて、地理的環境や前近代の伝統などの影響もふまえて、イメージを形成することができる。

②「破壊と復興が築いた都市」「帝都・首都圏とインフラの拡大」「近代都市を生きる民衆」など七つのテーマで東京全体の近現代都市を考察した源川真希『東京史』を教科書にして、都市全体を俯瞰した都市経営を構想することができる。

③コメントペーパー作成、討論、教場レポート提出、論述試験などを通じて、論理的に自己の考え方を表現することに習熟することができる。

▌履修条件

履修条件は特にない。他用の折でもよいので「街歩き」＝フィールドワークを行い、さらに、教科書や講師の提示した参考文献に目を通すという積極的な姿勢が望まれる。

▌評価基準・方法

評価基準は、試験 60 %平常点 40 %とする。定期試験については五分の四以上の出席を条件とする。平常点は、授業中に教場にてコメントペーパーを提出してもらい、それぞれ採点し、それを中心として、授業態度なども総合して評価する。

▌フィードバック方法

授業でコメントペーパーをもとに討論を行い、それによってフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （コメントペーパーを配布し授業中にそれをもとに討論する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

吉見俊哉『東京裏返し一社会学的街歩きガイド』(集英社新書 1033B 2020 年　980 円＋税)

源川真希『東京史一七つのテーマで巨大都市を読み解く』(ちくま新書 1727 2023 年　900 円＋税)

▌参考書

東京の地理に詳しくないものは東京の地図を持参することが望ましい。その他、教科書に挙げられている文献を中心に授業の進行に合わせて必要に応じ適宜指定する予定である。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス：本授業の運営方法、講師・学生の自己紹介、教科書の概要説明** 授業内容：本授業の運営についてガイダンスを行う。講師の自己紹介の後、学生が自身の自己紹介と本授業に期待することを述べる。その後、本授業の到達目標・運営方法などを説明し、吉見『東京裏返し』と源川『東京史』について、序章にあたる部分を中心にそれぞれの概要を述べる。 事前学修 2.0hr：『東京裏返し』の「はじめに」と『東京史』の「プロローグ」を中心に目を通すこと。本授業に期待することを検討しておくこと。 事後学修 2.0hr：本日の講義内容を把握しておくこと。教科書の序章部分で挙げられた文献に目を通すこと。
2 回	**授業テーマ：「都電荒川線に乗って東京を旅する」(『東京裏返し』第一日)** 授業内容：「都電荒川線に乗って東京を旅する」(『東京裏返し』第一日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
3 回	**授業テーマ：「秋葉原ー上野ー浅草間に路面電車を復活させる」(『東京裏返し』第二日)** 授業内容：「秋葉原ー上野ー浅草間に路面電車を復活させる」(『東京裏返し』第二日)(『東京裏返し』第一日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
4 回	**授業テーマ：「動物園を開放し、公園を夜のミュージアムパークに」(『東京裏返し』第三日)** 授業内容：「動物園を開放し、公園を夜のミュージアムパークに」(『東京裏返し』第三日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
5 回	**授業テーマ：「都市にメリハリをつけながら、古い街並みを守る」(『東京裏返し』第四日)** 授業内容：「都市にメリハリをつけながら、古い街並みを守る」(『東京裏返し』第四日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
6 回	**授業テーマ：「都心北部で大学街としての東京を再生させる」(『東京裏返し』第五日)** 授業内容：「都心北部で大学街としての東京を再生させる」(『東京裏返し』第五日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
7 回	**授業テーマ：「武蔵野台地東端で世界の多様な宗教が連帯する」(『東京裏返し』第六日)** 授業内容：「武蔵野台地東端で世界の多様な宗教が連帯する」(『東京裏返し』第六日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。

8回	**授業テーマ：「未来都市東京を江戸にする」(『東京裏返し』第七日)** 授業内容：「未来都市東京を江戸にする」(『東京裏返し』第七日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
9回	**授業テーマ：「破壊と復興が築いた都市」(『東京史』第１章)** 授業内容：「破壊と復興が築いた都市」(『東京史』第１章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
10回	**授業テーマ：「帝都・首都圏とインフラの拡大」(『東京史』第２章)** 授業内容：「帝都・首都圏とインフラの拡大」(『東京史』第２章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
11回	**授業テーマ：「近代都市を生きる民衆」(『東京史』第３章)** 授業内容：「近代都市を生きる民衆」(『東京史』第３章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
12回	**授業テーマ：「自治と政治」(『東京史』第４章)** 授業内容：「自治と政治」(『東京史』第４章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
13回	**授業テーマ：「工業化と脱工業化のなかで」(『東京史』第５章)** 授業内容：「工業化と脱工業化のなかで」(『東京史』第５章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
14回	**授業テーマ：「繁華街・娯楽と都市社会」(『東京史』第６章)** 授業内容：「繁華街・娯楽と都市社会」(『東京史』第６章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
15回	**授業テーマ：「高いところ低いところ」(『東京史』第７章)** 授業内容：「高いところ低いところ」(『東京史』第７章)について、「エピローグ　東京を通して見た近現代」も含めて、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。

生活と安全

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

笠嶋　義夫（かさしま　よしお）

▌授業の概要

人間が生活をしていく上で、「安全」は最も重要な要素である。しかし、その範囲はあまりに広いので、本講義では、「地球温暖化とエネルギー問題」「食糧問題」「水問題」「廃棄物問題」に焦点をあてる。国連が SDG ｓを提唱してから、世界的に注目され、最も重要でかつ解決しなければならない分野と位置づけされている問題ばかりである。これらの問題から、現代における人間社会の「安全」とは何かを考えてみる。なお、社会情勢と密接に関係している科目のため、社会情勢の変化により、講義の進行順序を入れ替えたり、内容を変更することがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：人間が「生活」していくうえで、避けることのできない問題である、「地球温暖化とエネルギー問題」、「食糧問題」、「水問題」、「廃棄物問題」のかかえている重要な要素を理解する。

個別目標：(1)「地球温暖化とエネルギー問題」、「食糧問題」、「水問題」、「廃棄物問題」それぞれについて、概略を説明できる。
(2)これらの問題について、どのように対応すべきか、個別に説明できる。
(3)これらの問題が身近に差し迫ったとき、どのように、人間が「安全に」生活していけるのか、その道筋を判断できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

4 回の大きなレポート(講義の振り返りを含む)で 64 点満点(16 点満点× 4 回)、講義の振り返りシート(前述の「大きなレポート」以外)が 36 点満点(4 点満点× 9 回)で、合計 100 点満点とします。レポートは、提出したからといって、「満点」が与えられるのではありませんので、くれぐれも注意のこと。レポートは、ほぼ毎回出ることになります。出席は、８０%以上が単位取得の条件となりますので、注意のこと(公欠は除く)。レポート提出は、スクリーンショットや画像ファイルでの提出は認めないので、注意のこと。

▌フィードバック方法

レポートのフィードバックは、講義または manaba で行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （講義の振り返りシートの提出とそのフィードバック）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レポートは、ワードファイルで提出してもらいます。）

▌教科書

「新版(第３版)　環境の科学」中田昌宏・笠嶋義夫　著　(三共出版)
あと、必要に応じてプリントを pdf または jpeg、パワーポイントで manaba にアップします。manaba を見れるものを持参してください(講義でプリントは配布しません)。

▌参考書

「森が消えれば海も死ぬ」第 2 版　松永勝彦　著　(講談社)
「地球の限界」オーウェン・ガフニー/ヨハン・ロックストローム　著　戸田早紀　訳　(河出書房新社)
「もうコメは食えなくなるのか」鈴木宣弘　著　(講談社)
「牡蠣養殖 100 年　汽水の匂いに包まれて」畠山重篤著(株式会社マガジンランド)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンスと本講義の概略** 授業内容：ガイダンスで講義内容・学習方法・評価方法について解説する。その後、本講義の概略を解説し、現代社会の抱えている問題を提起する。 事前学修 2.0hr：インターネットなどで、地球上の環境問題でどんなことが起きているかをしらべてみてください。 事後学修 2.0hr：事前学修と講義を聴いたうえで、自分なりに再度環境問題について考えてみてください。
2回	**授業テーマ：地球温暖化の現況** 授業内容：地球の成り立ちから振り返り、IPCC 報告書をもとに、地球温暖化とはどのような状態であるかを説明する。 事前学修 1.5hr：地球温暖化によって、どのようなことが地球上で起こっているかを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
3回	**授業テーマ：パリ協定** 授業内容：温暖化対策の世界的な取り組みである「パリ協定」について、その成り立ちと中身について解説する。 事前学修 1.5hr：「京都議定書」と「パリ協定」について自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
4回	**授業テーマ：原子力発電** 授業内容：地球温暖化対策の一番手といわれる「原子力発電」。その利点と欠点を探る。あわせて、福島原発の事故についてと、現況についても触れる。 事前学修 1.5hr：原子力発電のしくみと、福島原発の事故と現況について自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
5回	**授業テーマ：再生可能エネルギー** 授業内容：再生可能エネルギーについて、風力発電と、太陽光発電を中心に、その原理と、先進事例について学ぶ。 事前学修 1.5hr：再生可能エネルギー導入事例として、ヨーロッパではどのようなことが行われているかを調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
6回	**授業テーマ：世界の森林問題** 授業内容：世界の森林のあり方について、アマゾンを中心に考える。あわせて、世界各地の森林保護運動にも触れる。 事前学修 1.5hr：世界各地の森林保護運動について、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
7回	**授業テーマ：日本の森林問題** 授業内容：日本の森林のあり方について考える。森林が荒廃している現況、森林がどのように人類の営みに影響を与えているかを考える。 事前学修 1.5hr：日本の森林は、なぜ荒廃しているのか、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
8回	**授業テーマ：森永ヒ素ミルク事件** 授業内容：森永ヒ素ミルク事件が、現代社会に与えた影響を考察する。 事前学修 1.5hr：森永ヒ素ミルク事件について自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。

9回	**授業テーマ：世界の食糧問題** 授業内容：途上国では深刻な食糧問題が、世界で見ると見方が大きく変わる。その点を解説する。 事前学修 1.5hr：現在の世界の食糧事情について、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
10回	**授業テーマ：日本の食糧問題** 授業内容：食料自給率が、先進国の中では最も低い日本。その食糧事情と、食品ロスについて考える。 事前学修 1.5hr：日本の食品ロスについて、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
11回	**授業テーマ：水問題** 授業内容：人間が生きていくうえで最も必要なもの。日本でも世界でも、水を得るためにどのような問題点があるかを考える。 事前学修 1.5hr：日本の食料事情で、どのような問題が起こっているか、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
12回	**授業テーマ：オゾン層と紫外線** 授業内容：オゾン層がどのように「有害紫外線」から、地球上の生き物を守っているか、またオゾンホールを中心にオゾン層破壊の問題について考える。 事前学修 1.5hr：オゾン層破壊のメカニズムを、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
13回	**授業テーマ：代替フロンの問題** 授業内容：オゾン層を破壊しないで、フロンの性質を持つ「代替フロン」。その問題点と、解決方法を探る。 事前学修 1.5hr：代替フロンについて、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
14回	**授業テーマ：廃棄物問題** 授業内容：国土が狭いゆえに抱える日本のアキレス腱。その実態と、世界と日本の新しい取り組みについて説明する。あわせて、「海洋プラスチックゴミ(マイクロプラスチック)」の問題にも触れる。 事前学修 1.5hr：日本と世界の「廃棄物」の処理方法と、有効活用について、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
15回	**授業テーマ：日本はどうあるべきか** 授業内容：今までの講義を振り返りながら、「日本はどうあるべきか」について考える。 事前学修 1.5hr：今までの講義(１４回分)の内容を見返してみてください。 事後学修 3.0hr：講義振り返りシートの作成。

行動科学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

樋口　倫子 (ひぐち　のりこ)

▌授業の概要

行動科学は、人間の行動を心理学・社会学・教育学などの学際的視点から捉え、行動の理解や変容について実証的に検討する学問です。ビジネス領域における動機づけやパフォーマンス向上、保健医療領域における健康行動の形成と維持など、日常生活や専門実践の中で幅広く応用されています。近年、AI をはじめとする情報技術の発展により、人間の行動に関する知識や説明が、あたかも容易に理解できるかのように提示される状況が生じています。理論や情報をどのように解釈し、状況や関係性の中で意味づけ、Well-being を支える行動として選択・調整していく判断は、人に求められる重要な力です。本講義では、Well-being につながる行動科学の諸理論を学び、対話や省察を通して、日常生活に活かす視点を養うことを目的とします。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：人間の行動にかかわる諸理論を理解し、その理論を基盤とした「人と共に、こころ豊かに生きる」ために何ができるかを考える力を涵養する。社会において、互いの多様性を尊重しあい Well-being を実現する態度とコミュニケーション（社会性・合理性・創造性）を身につける。

個別目標：1）人間の行動にかかわる諸理論を、具体的な場面や経験に即して解釈し、その有効性や限界を踏まえて説明できる。
2）様々な場面における人間の行動を、多角的な理論的視点から捉え、行動の選択や調整について考えることができる。
3）ヒューマン・スキルを、固定的な技法としてではなく、状況に応じて選択・調整する視点として理解し、日常生活に活かすことができる。
4）前向きな自己成長行動をとりながら、価値観の異なる他者と、理解や一致を急がずに関わり続けるコミュニケーションの姿勢を持つことができる。

▌履修条件

授業は、対話的にピア・エデュケーション、クリエーティブ・ラーニングの手法で行われます。
そのため、仲間と共に学習し合う姿勢が求められます。
履修者多数の場合、履修動機を基に履修者を決定しますので（最大受講人数 60 名程度）、第 1 回の講義に必ず出席してください。
また、本講義は、多様な背景や特性をもつ履修者が共に学ぶことを前提としています。学修上の困難さがある場合には、個人の努力のみで解決を求めるのではなく、学修環境や参加方法を調整する合理的配慮を行います。配慮を希望する場合は、事前に担当教員または障がい学生支援室に相談すること。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。質問や発言による講義への参加度（25 %）と、学習の成果物①講義ごとの小課題（50 %）、学習の成果物②最終レポート課題（25 %）により総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題に対するフィードバックは、翌週以降の講義冒頭および学修支援システム manaba を通じて全体に対して行う。理解が不十分な場合には補習を実施する。個別指導は、ワークブックへのコメントを通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Think-Pair-Share Thik-Group-Share　Dialogue　Reflecting-Talk）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レスポンの質問への回答　デジタル資料閲覧　データ共有）

▌教科書

1）Well-being の行動科学ワークブック（￥600）
※登校日にワークブックを購入してください。購入方法は、講義内や manaba で案内します。
2）配布資料

▌参考書

授業内で、適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：行動科学入門** 授業内容：1．このコースの学習の進め方をイメージする。 2．この講義では何を学ぶのかを理解する。 3．人々の行動に関する多様な考え方を、身近な事例から考える。 事前学修 2.5hr：行動科学を履修する目的を 400 文字程度でまとめる（manaba で提出を求めます）。 事後学修 1.5hr：タイプ A 行動特性のチェックから、自分の行動のパターンを分析、考察する。
2回	**授業テーマ：Well-being と自己理解（エゴグラムを活用した自己理解）** 授業内容：エゴグラムのワークシートを活用し、自己理解を深める。 エゴグラム特徴と行動パターンをセルフワークで考察する。 Think-Pair-Share により、自己理解・他者理解を深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック第 1 章「Well-being と自己理解」を読み、エゴグラムのチェックを実施する。 事後学修 2.0hr：エゴグラムから、自分の行動のパターンや人間関係を分析、考察する。
3回	**授業テーマ：Well-being と自己理解②（エゴグラムを活用した他者理解）** 授業内容：エゴグラム特徴と、人間関係の特徴をセルフワークで考察する。 人間関係の改善のために、どの領域を高める必要があるかを考える。 Think-Pair-Share により、自己理解・他者理解を深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック第２章「Well-being のコミュニケーション」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：ワークブックに体験から得た気づきをまとめ、日常の非言語コミュニケーションの改善について考察する。
4回	**授業テーマ：安心できる人間関係をつくる①　非言語コミュニケーション・アクティブ・リスニング** 授業内容：気持ちの交流に不可欠な非言語領域（表情、声、視線、姿勢と動作）について理解する。 人間関係に効果的に働く非言語について考える。 気づきを Think-Pair-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 2 章「Well-being の非言語コミュニケーション」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：ワークブックに体験から得た気づきをまとめ、非言語コミュニケーションの改善について考察する。
5回	**授業テーマ：安心できる人間関係をつくる②　沈黙と傾聴** 授業内容：「話す」と「きく」からなるコミュニケーションの半分を占めている「きく」について考える。 沈黙のゲームを通して、「きく」ことの影響力を確かめる。 気づきを Think-Pair-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック３章 「Well-being とリスニング」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：効果的な沈黙姿勢とブロッキングリストをまとめ、これまでの自分の聴き方を分析し、改善策を検討する。

6回	**授業テーマ：自己イメージとグループダイナミクス** 授業内容：自己抑制型行動特性と対人依存型行動特性の視点から、自らのコミュニケーションを振り返る。 価値交流のグループワークを体験する。 体験学習から得たコミュニケーションの気づきを、Think-Group-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック第 1 章「1.5 パーソナリティチェック」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：ワークブックに体験から得た気づきをまとめ、自他の能力を引き出すコミュニケーションを考察する。
7回	**授業テーマ：共感の時代の Well-being** 授業内容：なぜ共感の時代なのかを考える。 共感的な聴き方を、ペアで体験する。 気づきを Think-Pair-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック第 3 章「Well-being のリスニングスキル」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：協力者を得て、共感的な聴き方を再度行ってみる。その結果や気づきをまとめる。
8回	**授業テーマ：コース前半のまとめ** 授業内容：コース前半の内容を振り返る。 ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコースで学んだ重要なことを３つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、Think-group-share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコース前半で学んだ重要なことを３つ選択する。 事後学修 2.0hr：ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコース前半で学んだ重要なことを３つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、レポートをまとめる。
9回	**授業テーマ：Well-being のアサーション①　アサーション入門** 授業内容：自他を尊重したコミュニケーションとしてのアサーションについて知る。 自らの表現型(アサーティヴ、ノンアサーティヴ、アグレッシヴ)を、セルフチェックを通して振り返る。 アサーティヴに、「謝る」「励ます」を、ペアで体験学習し、Think-Pair-Share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章 Well-being のアサーションを読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：共感のワークを、2 名の協力者を得て復習する。
10回	**授業テーマ：Well-being のアサーション②　アサーティヴにお願いする・断る** 授業内容：アサーティヴに「お願いする・断る」ための伝え方を理解する。 アサーティヴに「お願いする・断る」をグループで体験学習し、Think-Group-Share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章 Well-being のアサーションを読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：アサーションを日常会話に取り入れ、自己観察した結果を、分析及び考察する。
11回	**授業テーマ：Well-being を実現する支援スキル①　基本姿勢とコーチング法** 授業内容：援助者コンピテンシー・セルフアセスメントを実施する。 援助の基本姿勢と行動段階ごとの支援法について理解する。 コーチングの理論を理解する。 コーチングのガイドラインを活用し、ペアで体験学習する。 体験からの気づきを Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 6 章 「Well-being の対人援助」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.5hr：協力者を得てコーチングを実施し、そのプロセスを記録し考察する。
12回	**授業テーマ：Well-being を実現する支援スキル②　―カウンセリング法** 授業内容：カウンセリングの理論を理解する。 カウンセリングのガイドラインを活用し、ペアでカウンセリング体験をする。 体験からの気づきを Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 6 章 「Well-being の対人援助」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.5hr：協力者を得てカウンセリングを実施し、そのプロセスを記録し考察する。
13回	**授業テーマ：Well-being のダイアローグ①　対話姿勢と外在化の姿勢** 授業内容：対話と会話の違いについて理解する。 オープンダイアローグの理論と実践について理解する。 オープンダイアローグの動画をみて、モデル学習する。 気づきを Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 5 章 「Well-being のダイアローグ」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.5hr：身近な人との会話の中で、対話(ダイアローグ)の基本姿勢を試し、その結果をまとめる。
14回	**授業テーマ：Well-being のダイアローグ②　リフレクティング・トーク** 授業内容：リフレクティング・トークの理論と実践を理解する。 ガイドラインを活用し、グループでリフレクティング・トークを体験する。 体験からの気づきを Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 2.0hr：5 章の 5.2 オープンダイアローグの講を読んで、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：リフレクティング・トークの体験を振り返り、今後どのように生かせるかを考えてまとめる。
15回	**授業テーマ：コース全体のまとめ** 授業内容：コース全体の内容を振り返る。 ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコースで学んだ重要なことを３つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、Think-group-share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ポートフォリオに目を通し、自らがこのコースで学んだ重要なことを３つ選択し、まとめてくる。 事後学修 2.0hr：このコースでの学びの活用に関する最終課題に取り組む。

データのまとめ方

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

新井　啓（あらい　けい）

▌授業の概要

各学部に設置されている統計関連の専門科目の基礎となる統計学の基礎的な考え方を学ぶ授業です。2018 年ころから GAFA による個人情報の利用が世界的に問題になっており、データの分析技術以前にデータを収集する前の段階において個人情報保護法を理解しなければならない世界になりました。そこでこの授業でも個人情報保護法の基礎的な考え方も説明します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：平均や標準偏差などの統計学の基礎的な知識と個人情報保護法の基礎的な考え方とプライバシー権を理解できること。
個別目標：プライバシー権と個人情報保護法の基礎的な考え方を理解できる。

▌履修条件

統計学に関心があること。

▌評価基準・方法

毎回の授業時に行う manaba の小テスト(50%)、事前・事後学修(50 %)

▌フィードバック方法

小テストや定期試験などの結果は学習支援システムの manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （manaba は利用）

▌教科書

新井啓『プロ野球と経済　２０１８』開成出版。

▌参考書

特に指定しない。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：統計とは？** 授業内容：統計と経済の関係。統計に法律の知識が必要なのはなぜ？ 事前学修 2.0hr：教科書の 1 から 3 ページをよく読むこと。 事後学修 2.0hr：授業ノートの復習
2 回	**授業テーマ：標本と母集団** 授業内容：標本とは？　母集団とは？ 事前学修 2.0hr：教科書の 4 から 6 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 2 回目の授業ノートの復習
3 回	**授業テーマ：個人のデータと個人情報保護法。** 授業内容：個人の情報はなぜ重要なのか？　個人情報の保護はなぜ必要なのか？　フェイスブックと個人情報の経済問題。バックアップデータはどんなデータになるのか？ 事前学修 2.0hr：教科書の 7 から 8 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 3 回目の授業ノートの復習
4 回	**授業テーマ：データをどうまとめるのか？** 授業内容：データの中心の尺度とばらつきの尺度。ヒストグラム。標準偏差の意味。 事前学修 2.0hr：教科書の 9 から 11 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 4 回目の授業ノートの復習
5 回	**授業テーマ：著作権と肖像権** 授業内容：著作権とは？　YouTube を利用する際の注意点　プロスポーツ選手の肖像権 事前学修 2.0hr：教科書の 65 から 68 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 5 回目の授業ノートの復習
6 回	**授業テーマ：インターネットの利用で損害を被った場合** 授業内容：民事訴訟法の基礎 事前学修 2.0hr：教科書 69 ページから 71 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 6 回目の授業ノートの復習
7 回	**授業テーマ：インターネットの利用で犯罪に巻き込まれてしまったら** 授業内容：刑事訴訟法の基礎 事前学修 2.0hr：教科書 67 ページから 72 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 7 回目の授業ノートの復習
8 回	**授業テーマ：個人情報保護法と憲法の基礎。** 授業内容：憲法におけるプライバシー権とは？　SNS を利用する上での表現の自由(憲法 21 条)。三権分立はなぜ必要なのか。 事前学修 2.0hr：教科書 99 ページから 100 ページ読むこと 事後学修 2.0hr：第 8 回目の授業ノートの復習
9 回	**授業テーマ：企業法の基礎** 授業内容：商法と会社法。内部統制制度と企業の情報の管理。 事前学修 2.0hr：教科書 101 ページから 103 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 9 回目の授業ノートの復習
10 回	**授業テーマ：情報法の基礎** 授業内容：モノとしての放映権の経済問題。匿名加工データと深層学習。 事前学修 2.0hr：教科書 115 ページから 118 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 10 回目の授業ノートの復習
11 回	**授業テーマ：情報刑法の基礎** 授業内容：刑法とは？　アメリカの経済とヨーロッパの経済の違い。 事前学修 2.0hr：教科書 110 ページから 113 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 11 回目の授業ノートの復習
12 回	**授業テーマ：SPI の基礎的問題** 授業内容：数学を中心にして、国語・英語・地理歴史。 事前学修 2.0hr：教科書 145 ページから 148 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 12 回目の授業ノートの復習

13回	**授業テーマ：個人情報保護法と民法の基礎。** 授業内容：民法とは？　契約とは？　学籍番号は個人情報？　オプトアウトとオプトインの違い 事前学修 2.0hr：教科書 119, 135 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 13 回目の授業ノートの復習
14回	**授業テーマ：個人情報保護法と行政法の基礎。** 授業内容：行政法とは？　行政法と憲法の関係。行政機関が保有する個人情報とは？　仮名加工データ。社会福祉国家とは。 事前学修 2.0hr：教科書 86 ページから 90 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 14 回目の授業ノートの復習
15回	**授業テーマ：セイバーメトリックス** 授業内容：プロ野球と統計学の関係。日本のプロ野球のドラフト制度。収益分配制度。 事前学修 2.0hr：教科書 136, 144 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 15 回目の授業ノートの復習

数理の世界

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中島　達洋（なかじま　たつひろ）

▌授業の概要

◆数学オムニバス◆【前学期 火 3 /後学期 水 2】本授業は、数学が苦手な学生を主な対象として、数式や計算に重点を置かず、「数理的なものの見方」を学ぶことを目的とします。指数や確率、暗号、ゲーム、数の並びなど、身近で具体的な題材を用いながら、数量的に考えることや、規則性・構造を捉えることの重要性を紹介します。日常生活や社会の中で数理がどのように用いられているかを知ることで、数学が単なる計算技術ではなく、世界を理解し判断するための思考の道具であることを実感できるようにします。オムニバス形式の講義を通じて、文系学生にも数理の面白さと意義が伝わることを目指します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：数理的な視点から物事を捉える重要性を理解し、日常生活や社会における数量的情報を適切に解釈・判断できる力を身につける。
個別目標：① 数や確率、指数的変化などの基本的な考え方を説明できる。
② グラフや数値情報の意味を読み取り、その妥当性を判断できる。
③ 簡単なルールから全体の構造を考える数理的思考を実践できる。

▌履修条件

特に前提となる知識はありませんが、原則として第 1 回から参加することを求めます。履修修正期間中であっても、授業に参加しなかった回は欠席として扱います。数学に苦手意識をもつ学生の受講を想定しています。

▌評価基準・方法

授業内で実施する課題(思考課題・小テスト・ワークシート等)を 100 %として評価します。各回の課題を通して、数理的な考え方を理解し、自分の言葉で説明しようとする姿勢および到達目標の達成度を総合的に評価します。

▌フィードバック方法

授業内課題に対するフィードバックは、授業内での解説および学修支援システム(manaba)を通じて行います。代表的な考え方や解答例を共有し、数理的な視点の整理を行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （数やゲーム、具体的事例を題材とした個人・グループでの思考活動、簡単なディスカッション、授業内課題への取り組みを通じて、学生の主体的な参加を促します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり（授業資料の閲覧や課題への回答に加え、ローンや複利を扱う回では、表計算ソフト(Excel)を用いて数値の変化を簡単に確認します。また、manaba を用いた小テストや課題提出にも PC を利用します。）

▌教科書

使用しません。必要な資料は授業内で配布、または manaba に掲載します。

▌参考書

特にありません。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：導入―数学と数理の違い** 授業内容：本講義の目的を説明し、数学と数理の違い、数理的に考えるとはどういうことかを概観する。評価方法や注意事項についてのガイダンスも行なう。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
2回	**授業テーマ：指数と対数(Ⅰ)―増え方を考える** 授業内容：指数的増加の特徴を例に、直線的な変化との違いを理解する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
3回	**授業テーマ：指数と対数(Ⅱ)―時間と逆算の数理** 授業内容：対数的な考え方を用いて、増加に要する時間や元に戻る過程を考える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
4回	**授業テーマ：ローンと複利の数理** 授業内容：ローンを題材に、時間とお金の関係を指数的変化として捉える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
5回	**授業テーマ：確率と直感(Ⅰ)** 授業内容：確率に関する直感的判断がどのように誤るかを具体例で考える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
6回	**授業テーマ：確率と直感(Ⅱ)―ベイズの定理** 授業内容：情報によって判断を更新する考え方を、身近な事例を通して理解する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
7回	**授業テーマ：石取りゲームの数理** 授業内容：単純なゲームを通して、必勝法と数理的構造の関係を考える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
8回	**授業テーマ：Conway – Coxeter frieze（Ⅰ)―数の並びの遊び** 授業内容：数を埋める規則的な遊びを体験し、数の並びの特徴を観察する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
9回	**授業テーマ：Conway – Coxeter frieze（Ⅱ)―局所ルールと構造** 授業内容：局所的な規則から全体の構造が決まる仕組みを考察する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。

10回	**授業テーマ：暗号と数学** 授業内容：RSA 暗号を例に、解けないことが安全性を生む理由を理解する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
11回	**授業テーマ：無限という概念** 授業内容：無限の性質を例に、直感と数理の違いを考える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
12回	**授業テーマ：数理モデルと予測** 授業内容：天気予報を例に、数理モデルの役割と限界を考える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
13回	**授業テーマ：方程式と解の限界** 授業内容：代数方程式の歴史を通して、解ける問題と解けない問題の違いを考える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
14回	**授業テーマ：数理と社会** 授業内容：お金、情報、リスク判断における数理の役割を整理する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
15回	**授業テーマ：総括―数理的に考えるとは** 授業内容：講義全体を振り返り、数理的思考の特徴と意義を整理する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。

数理の世界

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中島　達洋（なかじま　たつひろ）

▌授業の概要

◆ AI の数学◆【前学期 水 3 /後学期 木 1】
本講義は、AI・機械学習を支える最小限の数学（平均・分散・相関、回帰の考え方、確率・ロジスティック回帰の直感、ベクトル・行列の入門、微分と勾配降下の直感）を、数式を最小限に、図・比喩・軽い計算ワークで理解することを目的とします。Excel などを用いた小規模データの集計・可視化、2 × 2 行列演算、差分近似による “傾き（微分）” の体験などを通して、「AI は何をどのように計算しているか」を自分の言葉で説明できる力を養います。授業はグループワークやペア演習を取り入れ、学びのプロセスを重視していきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：AI の基本的な数理発想を直感と簡単な計算で理解し、身の回りのデータや事例に適用して説明できる力を身につける。
個別目標：① 平均・分散・相関を算出し、散布図で関係性を説明できる。
② 回帰（残差・二乗和）やロジスティックの直感を言語化できる。
③ 2 × 2 行列×ベクトルの演算を行い、“変換” の意味を説明できる。
④ 差分近似を用いて “傾き” を求め、勾配降下の 1 ステップ更新を計算できる。
⑤計算結果を自分の言葉で解釈し、レポートとしてまとめられる。

▌履修条件

特に前提となる知識はありませんが、原則として第 1 回から参加することを求めます。履修修正期間中であっても、授業に参加しなかった回は欠席として扱います。中学数学の復習から始めますし、数式操作は最小限に留めるので、数学が苦手な学生でも履修可能な内容になっています。

▌評価基準・方法

平常点（ワーク提出・参加）40 %、小テスト 20 %、期末レポート 40 %。授業内課題・小テストで基礎計算と理解を確認し、レポートで概念説明と結果の解釈力を評価。出席そのものは評価対象に含めず、課題提出・発表等で学修状況を反映する。

▌フィードバック方法

小テスト・課題は学修支援システム manaba を通じて個別コメントを返却し、授業内で代表例を解説します。レポートはルーブリックに基づき評価観点（正確さ・説明の明瞭さ・解釈）を明示して返却します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回のペア/小グループ演習、ディスカッション、小規模データ分析（Excel）、簡易プレゼンテーションを実施。第 15 回はミニ発表。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （学生は各自 PC を持参すること。Microsoft365 と manaba を利用し、データ集計・可視化、演習提出、スライド作成を行います。授業内の小テストやアンケートでも manaba を利用します。）

▌教科書

特になし（希望者向けに易しい入門書・解説サイトを授業内で随時案内）。

▌参考書

特になし（希望者向けに易しい入門書・解説サイトを授業内で随時案内）。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス／ AI は何を “計算” しているのか** 授業内容：AI と機械学習の全体像、講義方針、評価。ミニ演習「人間が AI のふりをして分類してみる」。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、AI に関して知っていることを 100 字でメモ。 事後学修 2.0hr：身近なサービスで AI が使われていそうな例を 2 つ収集し、200 字で説明。
2 回	**授業テーマ：データの基礎：平均・中央値・分散** 授業内容：小データで平均・中央値・分散を手計算→ Excel で検算・可視化。 事前学修 2.0hr：配布データを眺め、値の範囲を確認。Excel の基本操作チュートリアル。 事後学修 2.0hr：自分の小データ（10 件）を作成し、平均・分散を算出して短い解釈を書く。
3 回	**授業テーマ：相関と散布図：関係の強さを掴む** 授業内容：共分散・相関係数の直感。散布図と相関のサイン（±）。 事前学修 2.0hr：第 2 回の自作データに第 2 変数を追加。相関の読み取り資料を読む。 事後学修 2.0hr：Excel で散布図と相関を作成し、関係を 150 字で記述。
4 回	**授業テーマ：回帰のアイデア：残差と二乗和** 授業内容：2 本の候補直線に対して残差と二乗和を比較。最小二乗の直感。 事前学修 2.0hr：回帰直線の意味の配布資料を読む。例題の散布図に手書きで線を引く。 事後学修 2.0hr：Excel で 2 本の線の残差二乗和を比較し、より良い線を説明。
5 回	**授業テーマ：分類の基本：境界線とスコア** 授業内容：2 特徴の重み付きスコア a × x1+b × x2 の計算で正負分類を体験。 事前学修 2.0hr：メール分類の例を読み、特徴を 2 つ考えてくる。 事後学修 2.0hr：配布データでしきい値を変えたときの誤判定例を記述。
6 回	**授業テーマ：ロジスティックの直感：S 字で “確率” を表す** 授業内容：0 ～ 1 の確率解釈。S 字カーブを Excel で描き、閾値と確率の関係を確認。 事前学修 2.0hr：確率の基礎メモ（0 ～ 1 の意味）を作成（1.0h）。テンプレ Excel に数値入力。 事後学修 2.0hr：2 つのしきい値の違いを図と 100 字で説明。
7 回	**授業テーマ：ベクトルと行列：2 × 2 の変換を体験** 授業内容：ベクトルは “並んだ数”、行列は “変換の装置”。2 × 2 × (2 × 1) の手計算、拡大・回転の直感化。 事前学修 2.0hr：配布の行列入門を読む（1.0h）。例題の計算を 1 問試す。 事後学修 2.0hr：与えられた 2 × 2 行列 2 種をデータ点に適用し、変換前後を散布図で比較。
8 回	**授業テーマ：ニューラルネット①：ニューロンの計算** 授業内容：$z=w\cdot x+b$ と ReLU の手計算。小さなネットの入出力を追う。 事前学修 2.0hr：記号の意味（w,b,x,z）を 30 字ずつ要約。例題の前半を手計算。 事後学修 2.0hr：同型の別パラメータで出力を再計算し、違いを説明。
9 回	**授業テーマ：ニューラルネット②：重みが変わると何が起こるか** 授業内容：重み更新のイメージ。活性化後の影響を可視化し、出力変化を議論。 事前学修 2.0hr：第 8 回のネットに小さな変更を加えて出力を予想。確認用計算。 事後学修 2.0hr：出力変化と “意味” を図と文章で報告。

10回	**授業テーマ：微分の直感：差分で “傾き” を読む** 授業内容：$f(x)=x^2$ の差分近似で傾きを求める。傾きの符号と “進む向き”。 事前学修 2.0hr：差分近似の例を読んで $\Delta y/\Delta x$ を 2 点で計算。 事後学修 2.0hr：別関数 x^2+3x の 2 点で傾きを試算。
11回	**授業テーマ：最適化：勾配降下の 1 ステップ** 授業内容：$E(x)=x^2+3x$、η を指定して $x \to x - \eta \cdot (\Delta E/\Delta x)$ を 1 ～ 2 ステップ。Excel で軌跡を可視化。 事前学修 2.0hr：テンプレ Excel のセル式を確認。$E(x)$ のグラフを概形でスケッチ。 事後学修 2.0hr：初期値・η を変えて比較グラフを作り、200 字で解釈。
12回	**授業テーマ：類似度の数学：コサイン類似度(2 次元で手計算)** 授業内容：内積・長さの直感。2 次元ベクトルで cos θ を算出し、似ている／違うを説明。 事前学修 2.0hr：2 組の 2 次元ベクトルを自作。内積と長さの復習。 事後学修 2.0hr：文書ベクトルの簡易例で “似ている度” を説明。
13回	**授業テーマ：モデルを読み解く：特徴量重要度の基礎** 授業内容：簡易決定木の分岐を手で辿り、効いている特徴を解釈。 事前学修 2.0hr：配布の分岐図を追って結果を予想。用語確認。 事後学修 2.0hr：別ケースで “どの特徴が効いたか” を 100 字で説明。
14回	**授業テーマ：AI と社会：指標で考える公平性** 授業内容：適合率・再現率・誤判定率などを小データで計算し、社会的影響を議論。 事前学修 2.0hr：指標の定義表をまとめる。例題の予測結果表を読む。 事後学修 2.0hr：指標のトレードオフを 150 字で記述。
15回	**授業テーマ：まとめ・ミニ発表会** 授業内容：各自 3 ～ 5 分発表(例：コサイン類似度／勾配降下の比較結果など)、総括。 事前学修 2.0hr：スライド作成(PowerPoint)(2.0h)。原稿練習。 事後学修 2.0hr：学修振り返りシートの提出。返却と講評は学修支援システムで実施。

身近な物理

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中島　達洋（なかじま　たつひろ）

▌授業の概要

この講義では、私たちの身のまわりで起こっているさまざまな現象を題材にして、物理学が自然をどのように理解しているのかを学びます。力学、熱、波、電気・磁気といった古典物理学の基本的な分野を取り上げ、日常生活や身近な技術と結び付けながら説明します。数式の計算を目的とした授業ではありませんが（計算はほとんどしません）、物理学が自然現象を数式という簡潔な言語で表現する学問であることを大切にします。数式を現象どうしの関係を表す表現として読み取り、物理学ならではのものの見方に親しむことを目指します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：身近な物理現象について物理学の基本的な考え方を用いて理解し、自然現象が数式によってどのように表現・整理されているかを説明できるようになる。

個別目標：① 日常生活で経験する運動、熱、音や光、電気に関する現象について、物理学的な視点から説明できる。
② 力学、熱力学、波動、電磁気学における基本的な数式が、どのような現象の関係を表しているかを言葉で説明できる。
③ 数式による表現が、曖昧な理解を整理し、異なる現象を統一的に捉えるために用いられていることを理解する。
④ 物理学の考え方を通して、身近な出来事や技術に対する見方がどのように変化したかを、自身の言葉で振り返ることができる。

▌履修条件

1 回目の授業から参加すること。なお、履修変更（補正）で 1，2 回目の授業に出ていない場合の調整はしません（単純に欠席になります）。

▌評価基準・方法

授業ごとに行う小テスト（計算はしません）および記述課題の合計得点のみで評価します。定期試験は実施しません。
評価にあたっては、物理現象に対する理解度や、数式が表している関係を言葉で説明できているかといった観点を重視します。

▌フィードバック方法

課題や小テストのフィードバックは、学修支援システム manaba を通じて行います。必要に応じて授業内で代表的な回答を取り上げ、考え方の整理や補足説明を行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （身近な物理現象に関する問いについて個人で考え、簡単な記述や意見共有を行う活動を取り入れます。また、数式が表している現象の関係を日本語で説明する課題を通じて、主体的な理解を促します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業資料の閲覧、簡単な小テストやアンケートへの回答、記述課題の作成および提出に PC を使用します。）

▌教科書

特定の教科書は使いません。

▌参考書

朝永振一郎「物理学とは何だろうか 上下」（岩波新書）
西成活裕「東大の先生！　文系の私に超わかりやすく物理を教えてください！」（かんき出版）
鎌田浩毅・米田誠「一生モノの物理学―文系でもわかるビジネスに効く教養」（祥伝社）
松尾泰監修「東京大学の先生伝授　文系のためのめっちゃやさしい物理」（株式会社ニュートンプレス）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス：物理学は何をしている学問か** 授業内容：講義全体の構成と評価方法を説明し、物理学が自然現象を数式で表現する学問であることを身近な例を用いて紹介する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、身のまわりの不思議な現象を一つ考えておく。 事後学修 2.0hr：授業で紹介された現象や人物について調べる。
2 回	**授業テーマ：力学① 位置・時間・速さ** 授業内容：運動を表す基本量を整理し、速さを表す数式の意味を日本語で読み取る。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、日常の移動の例を考える。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、数式が何を表しているか整理する。
3 回	**授業テーマ：力学② 速さが変わる運動** 授業内容：速さが変化する運動を題材に、加速度の概念を整理した上で、運動方程式を紹介する。数式を計算に用いるのではなく、力・質量・運動の変化の関係を表す自然界の基本的なルールとして理解する。 事前学修 2.0hr：身近な「だんだん速くなる」例を考える。 事後学修 2.0hr：授業内課題の復習を行う。
4 回	**授業テーマ：力学③ 円運動と見かけの力** 授業内容：円運動を例に、力を用いた運動の記述と遠心力の考え方を整理する。 事前学修 2.0hr：回転する遊具や乗り物の例を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を言葉でまとめる。
5 回	**授業テーマ：力学④ エネルギーの考え方** 授業内容：仕事とエネルギー、保存則の考え方を導入し、数式が果たす役割を理解する。 事前学修 2.0hr：エネルギーという言葉の使われ方を調べる。 事後学修 2.0hr：保存則の意味を整理する。
6 回	**授業テーマ：熱力学① 熱と温度** 授業内容：雲の発生やエアコンを例に、熱と温度の違いを整理し、熱力学の対象を理解する。 事前学修 2.0hr：身近な温度変化の例を考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の要点をまとめる。
7 回	**授業テーマ：熱力学② 熱とエネルギー保存** 授業内容：熱力学第一法則を通して、熱も含めたエネルギーが保存されることを学ぶ。 事前学修 2.0hr：エネルギー保存の例を調べる。 事後学修 2.0hr：数式が示す関係を言葉で説明する。
8 回	**授業テーマ：熱力学③ 熱力学第二法則と時間の向き** 授業内容：エアコンが万能でない理由を手がかりに、熱現象の不可逆性を考える。 事前学修 2.0hr：関連する身近な現象を調べる。 事後学修 2.0hr：仕組みを文章で説明する。

9回	**授業テーマ：波① 波を表す量** 授業内容：波を特徴づける量と、それらを結び付ける数式の意味を理解する。 事前学修 2.0hr：音や水面波の例を考える。 事後学修 2.0hr：数式の読み取りを整理する。
10回	**授業テーマ：波② 重ね合わせの原理** 授業内容：ノイズキャンセリングを例に、波の重ね合わせを説明する。 事前学修 2.0hr：音に関する技術を調べる。 事後学修 2.0hr：現象を言葉でまとめる。
11回	**授業テーマ：波③ 媒質と観測条件による見え方の違い** 授業内容：媒質によって波の伝わり方が変わる屈折・散乱と、観測者の運動で聞こえ方が変わるドップラー効果を比較する。 事前学修 2.0hr：身近な光の現象やドップラー効果を探してみる。 事後学修 2.0hr：授業内容を整理する。
12回	**授業テーマ：電磁気① 電気の歴史** 授業内容：電気と磁気の発見の歴史を通して、法則が数式化される過程を学ぶ。 事前学修 2.0hr：電気に関する歴史的出来事を調べる。 事後学修 2.0hr：数式化の意義を考える。
13回	**授業テーマ：電磁気② 電場と磁場** 授業内容：電場・磁場の考え方を導入し、見えない量を表す数式の役割を理解する。 事前学修 2.0hr：磁石や電気製品の例を調べる。 事後学修 2.0hr：概念を言葉で整理する。
14回	**授業テーマ：電磁気③ 電磁気の応用** 授業内容：モーターや発電機などの応用を通して、法則と技術の関係を学ぶ。 事前学修 2.0hr：身近な電気機器を調べる。 事後学修 2.0hr：仕組みを文章で説明する。
15回	**授業テーマ：身近な物理の総まとめ** 授業内容：これまでの内容を振り返り、共通する考え方や数式の役割を整理する。 事前学修 2.0hr：これまでの資料を読み返す。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを作成する。

現代物理のはなし

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中島　達洋（なかじま　たつひろ）

▌授業の概要

この講義では、相対性理論と量子力学を中心に、私たちの日常的な感覚や直感とは大きく異なる自然の姿について学びます。時間や空間が絶対的ではないことや、物理量が確定した値ではなく確率として扱われることなど、古典物理学では想定されていなかった考え方を、具体例や歴史的背景とともに紹介します。数式の計算は行いませんが、現代物理学が自然を数式で厳密に記述している学問であることを重視し、数式を世界のルールを表す表現として理解することを目標とします。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：相対性理論および量子力学の基本的な考え方を理解し、私たちの直感とは異なる自然のルールが、数式によってどのように表現されているかを説明できるようになる。

個別目標：① 相対性理論に基づき、時間や空間が観測者や状況によって異なる振る舞いを示すことを説明できる。
② 双子のパラドックスや膨張宇宙論などの具体例を通して、相対論的世界観の特徴を言葉で説明できる。
③ 量子力学において、物理量が確定値ではなく確率として扱われる理由を説明できる。
④ 数式が現代物理において、直感に反する世界のルールを明確に表現する役割を果たしていることを理解する。
⑤ 現代物理学が、現代社会の科学技術や私たちの世界観に与えている影響を振り返り、自身の言葉で表現できる。

▌履修条件

1 回目の授業から参加すること。なお、履修変更（補正）で 1，2 回目の授業に出ていない場合の調整はしません（単純に欠席になります）。

▌評価基準・方法

授業ごとに行う小テスト（計算はしません) および記述課題の合計得点のみで評価します。定期試験は実施しません。
評価にあたっては、相対性理論や量子力学の概念を理解し、数式が表している物理的意味を言葉で説明できているかを重視します。

▌フィードバック方法

課題や小テストのフィードバックは、学修支援システム manaba を通じて行います。必要に応じて授業内で代表的な回答を取り上げ、考え方の整理や補足説明を行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （直感に反する物理現象について個人で考え、簡単な記述や意見共有を行う活動を取り入れます。また、数式が示す物理的意味を日本語で説明する課題を通じて、主体的な理解を促していきます。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業資料の閲覧、簡単な小テストやアンケートへの回答、記述課題の作成および提出に PC を使用します。）

▌教科書

特定の教科書は使いません。

▌参考書

ウォルター・ルーウィン「これが物理学だ！」（文藝春秋）
松尾泰（監修）「文系のためのめっちゃやさしい量子論」（ニュートンプレス）
ヨビノリたくみ「難しい数式はまったくわかりませんが、相対性理論を教えてください! 」（SB クリエイティブ）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス：現代物理はなぜ必要か** 授業内容：古典物理学の成功と限界を概観し、現代物理学が必要になった背景を説明する。合わせて、受講に際しての注意事項や成績評価方法の説明もする。 事前学修 2.0hr：シラバスをよく読んでおく。相対性理論や量子力学について、ネット等で調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、疑問点を整理する。
2 回	**授業テーマ：光速という特別な速さ** 授業内容：光速測定の歴史を通して、光速が特別な意味を持つ理由を解説する。 事前学修 2.0hr：光に関する身近な例を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を文章でまとめる。
3 回	**授業テーマ：同時性の崩壊** 授業内容：「同じ瞬間」が観測者によって異なることを説明し、時間の相対性を理解する。 事前学修 2.0hr：同時という言葉の意味を考える。 事後学修 2.0hr：相対論的な時間観を整理する。
4 回	**授業テーマ：時間の遅れ・空間の収縮** 授業内容：双子のパラドックスを題材に、時間と空間が切り離せないことを説明し、時空という考えを導入する。 事前学修 2.0hr：双子のパラドックスについて調べる。 事後学修 2.0hr：相対論的世界観をまとめる。
5 回	**授業テーマ：質量とエネルギーの等価性** 授業内容：$E=mc^2$ という数式を通して、質量とエネルギーが等価であるという考え方を説明する。 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
6 回	**授業テーマ：重力とは何か？** 授業内容：一般相対性理論の基本的な考え方を紹介し、重力が力ではなく時空の幾何として理解されることを説明する。重力による時間の遅れなどの例を通して世界観の変化を確認する。 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
7 回	**授業テーマ：ブラックホールと膨張する宇宙** 授業内容：一般相対性理論から導かれる現象である、ブラックホール、膨張宇宙論、重力波観測について解説する。 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
8 回	**授業テーマ：量子の誕生** 授業内容：黒体輻射や光電効果を通して、量子概念の誕生を説明する。 事前学修 2.0hr：量子という言葉の使われ方を調べる。 事後学修 2.0hr：古典物理学との違いを整理する。

9回	**授業テーマ：粒子でもあり波でもある何か** 授業内容：二重スリット実験を通して、波動粒子二重性を解説する。 事前学修 2.0hr：干渉現象の例を探す。 事後学修 2.0hr：結果の意味を文章でまとめる。
10回	**授業テーマ：状態という考え方** 授業内容：量子力学における「状態」の考え方を導入し、物理量が確定値ではなく可能性として扱われることを説明する。 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題(小テスト・レポート)を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
11回	**授業テーマ：確率が基本になる世界** 授業内容：量子力学における確率の扱いを取り上げる。確率が基本原理として組み込まれている点を強調する。 事前学修 2.0hr：確率の使われ方を調べる。 事後学修 2.0hr：量子力学的確率を整理する。
12回	**授業テーマ：不確定性原理** 授業内容：測定と物理量の関係を通して、不確定性原理を理解する。 事前学修 2.0hr：測定とは何かを考える。 事後学修 2.0hr：決定論との違いを整理する。
13回	**授業テーマ：重ね合わせと観測問題** 授業内容：重ね合わせの概念と観測問題を紹介し、量子論の解釈に触れる。 事前学修 2.0hr：観測という行為について考える。 事後学修 2.0hr：解釈の違いを整理する。
14回	**授業テーマ：量子力学が作る現代社会** 授業内容：半導体やレーザー、量子コンピューターなどの例を通して、量子力学の応用を解説する。 事前学修 2.0hr：量子技術の例を調べる。 事後学修 2.0hr：理論と技術の関係をまとめる。
15回	**授業テーマ：現代物理が示す世界像** 授業内容：相対性理論と量子力学を総括し、直感とは異なる世界像を整理する。 事前学修 2.0hr：これまでの資料を読み返す。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを作成する。

身近な化学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

藤井　大輔（ふじい　だいすけ）

▌授業の概要

私たちの身の回りには、自然界で産出された物質や、人工的につくられた物質が数多く存在し私たちの生活と密接に結びついています。
本講義は、身の回りにある物質の性質に着目し様々な現象が発現する原理を物理的化学的に捉えるなど、現代を生きるために大切な科学知識を習得し、自らの生活において課題発見・解決を行う力を高めることを目的とします。
日常に着目するなかで様々な科学の法則や構造にも簡単に触れますが高校での化学の履修の有無は問いません。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：化学の面白さや重要性を知り、化学と現代社会の関係を理解するとともに、日常を科学的に見る目を養うなど科学リテラシーを身につける。
個別目標：①様々な物質の性質を理解しこれまでの技術の進歩とこれからの発展について大観できることができる。
②身の回りの現象について科学的に説明することができる。
③科学事象を自らの言葉で表現できるようになるなど、実社会の様々な場面で多面的なものの見方ができるようになり課題解決に必要な基礎力を身に付けることができる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

manaba を活用したアンケート、小テスト（５０%）やレポート（５０%）授業への参加度（授業中に使用する教材ペーパーの完成提出　割合は小テストに含む）等を総合評価する。

▌フィードバック方法

アンケート、小テスト、レポート等のフィードバックは、学修支援システム manabu を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業、グループワーク、講義の度に行う小テストの提出）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （個人所要のスマートフォンや PC（小テストや教材ペーパー等はワードで提出））

▌教科書

使用しない（毎回パワーポイントファイルを用意します。）

▌参考書

特になし　ただし高校で使用した理科・専門（化学関係）の教科書がある場合は適宜参考にしてください。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、科学技術の進歩について考えてみよう** 授業内容：講義の内容、評価方法について解説する。 科学と人間生活をテーマに科学技術全般について、その始まりから今後の活用について概説する。 事前学修 2.0hr：興味がある身の回りの化学現象について調べる。 事後学修 2.0hr：興味を持った化学現象が発現する原因を予測する。
2回	**授業テーマ：水について考えてみよう** 授業内容：水は人体を構成する主な成分です。水の構造や性質を知り、水がもたらす様々な現象の要因について理解する。 キーワード　分子構造、電気陰性度、水素結合、状態変化、浸透圧　超臨界流体、過熱水蒸気、硬水・軟水 事前学修 1.5hr：水について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
3回	**授業テーマ：発酵について考えてみよう** 授業内容：微生物の力を借りて製造する発酵食品について理解する。 キーワード 微生物の役割　アルコール発酵　酒の種類、味噌や醤油の製造 事前学修 1.5hr：発酵について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
4回	**授業テーマ：色と光の科学** 授業内容：色の見え方や化学反応における発色について理解する。 キーワード　光の 3 原則、波長、炎色反応、生物発光 事前学修 1.5hr：色について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
5回	**授業テーマ：栄養の化学について考えてみよう** 授業内容：私たちの体を作り健康を維持するために必要な５代栄養素が体の中でどのような役割を果たしているか理解する。 キーワード　炭水化物、タンパク質　必須アミノ酸　クエン酸回路　酵素 事前学修 1.5hr：栄養素について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
6回	**授業テーマ：薬と毒について考えてみよう** 授業内容：薬の効能と作用の仕方を理解する。また毒の特性を理解し日常生活における安全にむけた態度を養う。 キーワード　薬剤、ペニシリン、抗生物質、ウイルス、自然毒 事前学修 1.5hr：栄養素について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
7回	**授業テーマ：衣類で使われている様々な繊維の性質について考えてみよう** 授業内容：繊維には天然繊維と化学繊維がある。それぞれの特性を理解し繊維製品の上手な利用方法や管理方法について理解する。 キーワード　天然繊維　合成繊維　炭素繊維　機能性繊維 事前学修 1.5hr：衣類に使われている繊維について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
8回	**授業テーマ：衣類の汚れはどのように落とすのか考えてみよう** 授業内容：洗剤の分子構造や汚れが落ちるメカニズムを知り効率的に汚れを取り除く方法を理解する。 キーワード　石鹸　界面活性剤　疎水性　親水性　ミセル　漂白剤　コロナ　消せるボールペン 事前学修 1.5hr：汚れについて知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。

9回	**授業テーマ：日用品に使われている化学のしくみをについて考えてみよう** 授業内容：普段何気なく使用している電化製品に着目してどのような原理が応用されているのか理解する。 キーワード　カイロ　冷蔵庫　ヒートポンプ　調湿　液晶　電子レンジ　オーブン 事前学修 1.5hr：日用品に使われている化学の仕組みについて知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
10回	**授業テーマ：金属の特徴を知り、産業における利用状況を考えてみよう** 授業内容：鉄や銅の性質を知り使用に係る時代変遷を理解する。 キーワード　鉄　銅　さび　合金　めっき 事前学修 1.5hr：金属について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
11回	**授業テーマ：石油からつくられる物質について考えてみよう** 授業内容：プラスチック製品は人間の生活を豊かにしてきたが、昨今は環境汚染問題にも言及されている。プラスチックの製法や種類、リサイクルについて理解する。 キーワード　石油　分留　熱可塑性樹脂　熱硬化性樹脂　マイクロプラスチック　接着剤 事前学修 1.5hr：石油から作られる物質について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
12回	**授業テーマ：生活に必要なエネルギー源の変遷について考えてみよう** 授業内容：人間が生きていくために必要なエネルギーの活用の変遷とその性質について理解し、今後の望ましいエネルギー利用について考える。 キーワード　石炭　石油　天然ガス　原子力発電　太陽光発電　電気　電池 事前学修 1.5hr：エネルギー源の変遷について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
13回	**授業テーマ：地球環境について考えてみよう** 授業内容：大気成分の変化と人間生活に着目し地球環境について考える。 キーワード　大気成分　二酸化炭素　フロン　オゾン層　酸性雨 事前学修 1.5hr：地球環境について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
14回	**授業テーマ：興味を持った身近な科学現象やそれが発現する原理について調べレポートする。**① 授業内容：４月から７月において話題になったことや、今後、発展が予想される技術等について自ら調べた内容をレポートする。 事前学修 3.0hr：題材を決める。 事後学修 1.0hr：他の人の発表を聞き自分の発表にいかす。
15回	**授業テーマ：興味を持った身近な科学現象やそれが発現する原理について調べレポートする。**② 授業内容：４月から７月において話題になったことや、今後、発展が予想される技術等について自ら調べた内容をレポートする。 事前学修 3.0hr：題材を決める。 事後学修 1.0hr：授業全体の振り返りシートを作成する。

身近な化学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

笠嶋　義夫 (かさしま　よしお)

▌授業の概要

本講義は、身近にある化学物質を通して、化学の成り立ち、化学の基礎知識、化学物質の応用例を学ぶとともに、「科学」の発展がいかなるものであったかを、「化学」を通して理解することを目的とする。文系の学生のみなさんにも、わかりやすいように、そこは意識して解説するつもりです。この講義では、化学の基本的な原理や、技術が生まれた背景、歴史的流れなどを中心に扱いますので、「元素記号を覚える」「化学反応式をつくる」というようなことはやりません。なお、講義の進行や社会情勢により、講義の順番を入れ替えることがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：「化学」を通して、社会の発展や現代の生活において、「科学」がどのような役割を担ってきたかを理解する。
個別目標：(1)「化学」が身近な生活にとって必要不可欠なものであることを、実例を挙げて説明することができる。
(2)「化学」の発展が、人間生活と密接につながってきたことを、実例により説明することができる。
(3) 「化学」を通して、「科学」と「人間生活」とのかかわりを説明することが出来る。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

2 回の大きなレポート(20 点満点レポート 1 回、10 点満点レポート 1 回)と、毎回課す講義の振り返りシート(5 点× 14 回＝ 70 点満点)で、合計 100 点満点として評価を行います。なお、すべてのレポートは、評価をつけます。提出したからといって、「満点」とは限りませんので、くれぐれも注意すること。この講義は、８０%以上の出席がないと、単位は出ませんので注意のこと(公欠は除く)。また、レポートの提出は、スクリーンショットや画像ファイルでの提出は認めませんので、注意のこと。

▌フィードバック方法

フィードバックは、manaba の評価欄または講義で行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （講義の振り返りシートの提出とそのフィードバック）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （講義の振り返りシートは、ワードで提出してもらいます。）

▌教科書

初回以外は、jpeg または pdf、パワーポイントファイルを用意します。manaba にアップしますので、manaba が見れるものを用意してください(講義でプリントは配布しませんので、注意のこと)。

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：この講義の内容、進め方、評価方法について解説する。あわせて、「化学」の持つイメージを確認する。 事前学修 3.0hr：「化学」が身近に使われている事例を自分なりに調べてみてください。 事後学修 1.0hr：講義を聴いて、事前学修で調べた内容が正しかったか、検証してみてください。
2 回	**授業テーマ：プルシアンブルー** 授業内容：プルシアンブルーは、「世界で最初に開発された顔料」であるが、これがどのような変遷を経て現代にあるか、また現代での利用法などについて解説する。 事前学修 1.5hr：「プルシアンブルー」とは何かを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
3 回	**授業テーマ：色** 授業内容：色の見え方には発光と補色の 2 通りがある。まず、この違いと、仕組みを学習し、ヒト以外の動物の色の認識、植物の色の認識を学習し、あわせて前回の講義とのつながりを考える。 事前学修 1.5hr：「色」の見え方を自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
4 回	**授業テーマ：花火** 授業内容：化学の技術の「粋」といわれる花火。その原理と構造、歴史的流れについて解説する。 事前学修 1.5hr：打ち上げ花火の構造を自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
5 回	**授業テーマ：古伊万里** 授業内容：日本における窯業の大きな変遷期の一つが、江戸時代の古伊万里の誕生である。窯業のそれまでの流れをみるとともに、古伊万里の製法と化学の関係について探る。 事前学修 1.5hr：「磁器」はどのようにつくられるかを自分なりに調べてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
6 回	**授業テーマ：ファインセラミックス** 授業内容：現代の最先端で使われているセラミックとはどのようなものか、その製法と、前回の講義の古伊万里の製法との関係について、考察する。 事前学修 1.5hr：「ファインセラミックス」とはどのようなものか、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
7 回	**授業テーマ：イベルメクチン** 授業内容：抗寄生虫薬である、イベルメクチンの開発の流れと、現代社会に与えたインパクトについて解説する。 事前学修 1.5hr：「イベルメクチン」とはどういう薬か、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成
8 回	**授業テーマ：接着剤** 授業内容：現代社会では、もはや必須のものとなった接着剤。「ものがくっつく原理」と、接着剤の用途、接着剤がもたらした技術革新について解説する。 事前学修 1.5hr：「でんぷん」とはどのようなものか、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
9 回	**授業テーマ：カロザース** 授業内容：ナイロンと、合成ゴムを開発した、ウォーレス・カロザースの偉業について考えてみる。 事前学修 1.5hr：「ナイロン」はどのように発明されたかを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。

10回	**授業テーマ：ダイヤモンド** 授業内容：天然から人工まで、宝飾用から産業用まで、発見の過程と意外な用途まで探る。 事前学修 1.5hr：「ダイヤモンド」はなぜきらきら光るのかを調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
11回	**授業テーマ：ルビーとサファイア** 授業内容：ルビーとサファイアは、どこが同じで、どこが違うのか、を探るとともに、工業用用途についても考えてみる。 事前学修 1.5hr：サファイアとルビーの違いを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
12回	**授業テーマ：炭素繊維** 授業内容：炭素繊維の開発過程について学ぶとともに、炭素繊維が現代社会にどのような影響を及ぼしたかを考えてみる。 事前学修 1.5hr：炭素繊維はどこに使われているかを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
13回	**授業テーマ：でんぷん(1)でんぷんの種類** 授業内容：でんぷんの種類と、その用途(食品用から、他の用途まで)について解説する。 事前学修 1.5hr：でんぷんの種類について、自分なりに調べてみる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成
14回	**授業テーマ：でんぷん(2)「コメとでんぷん」** 授業内容：「コメ」を炊く過程でどのようにでんぷんが変化するか、でんぷんの種類の違いでコメの食味にどのような変化を与えるか、など、コメとでんぷんの関係について、考察する。 事前学修 1.5hr：コメの中に含まれているでんぷんについて調べておくこと。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
15回	**授業テーマ：リチウムイオン電池** 授業内容：現代において、最も必要とされている 2 次電池の代表格。その原理と応用、そして問題点について考えてみる。 事前学修 1.5hr：リチウムイオン電池がどのようなところに使われているかを調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。

科学技術と社会

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

遠藤　信一（えんどう　しんいち）

▌授業の概要

本科目は，科学技術と社会との関わりをテーマとするが，様々な社会課題の解決に立ち向かえるようにするために，解決すべき目標を設定できること，必要な情報を収集し，加工できることなどを目指す。問題解決にあたっては，建学の精神を問題解決学習の柱と捉え，学修の基礎Ⅰ やⅢ b での学びを前提としながら，加重平均法の手法を採り入れ，他人を説得できるレベルに到達してもらいたい。それゆえ「プレゼンテーションスキルを高めたい」，「どうやって情報収集すれば良いのかわからない」といった悩みを持つ学生諸君のニーズに応えたいと思う。自分のプレゼン力，問題解決力をつけたい諸君を歓迎する。プレゼンは場数を踏むことが重要なので，3 回の制作・発表を必須とする。なお，例年月曜日の履修者が少なく火曜日に集中している（1：5）。月曜日に受講可能な場合は月曜日を選んで欲しい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：社会課題をどの側面から斬っていくのか，建学の精神を道しるべとして，問題解決の方法や手順を身につける。中でも，学修の基礎Ⅰ やⅢ b での学びに基づくデータの利活用は必須と考えている。
また，この授業では，科学技術と社会との関わりに注目し，プレゼンテーションスライドを作成し，発表できるようにする。各自が作成，発表の双方を行うことを必須とする (合理的配慮申請がある場合を除く)。

個別目標：①建学の精神を問題解決学習の柱とすることができる
②課題を自ら発見し，情報を分析し，解決の道筋を考えることができる
③主権者に必要な情報活用能力を身につける
④情報モラル，技術者倫理，企業倫理などについて理解している
⑤他人を説得するために必要なプレゼンテーション作成や発表ができる

▌履修条件

建学の精神に基づいて，プレゼンテーションスキルや問題解決能力を高めたいと考えていること
授業に出席し，発表，ファイルの提出などが出来ること
出席確認は，スマートフォンによる出席確認と授業後半での点呼の 2 回を予定している。

▌評価基準・方法

【評価基準】
1，授業内で指示する「Worksheet」(提出および内容)：5 点× 6 回
2，協働学習によるプレゼンテーションスライドの作成および提出：30 %
3，プレゼンテーションの発表(発表態度など)：40 %
※プレゼンテーションスライドのファイル提出を最終課題の提出とします
※ただし，人前での発表が精神的負担になる場合は，授業者のみにプレゼンをすることで良いこととする。

▌フィードバック方法

課題に対し全体に対する講評，発表など協働学習に対する授業時間内での講評，manaba のコンテンツへの掲載など

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （協働学習による発表）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンスライドの作成などに PC を使用）

▌教科書

指定しない
授業ごとに資料を提示

▌参考書

なし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス　本授業の進め方** 授業内容：この授業の目的，授業方法・課題・評価について説明する。 建学の精神に基づいた明海大学独自の問題解決の手順について理解する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み，授業全体の流れを確認する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，学修ポイントを復習する。
2 回	**授業テーマ：脳に汗をかく(１)心理学的アプローチ** 授業内容：「ハインツのジレンマ」や「カルディアネスの板」などのジレンマ問題について考える。 事前学修 2.0hr：「ハインツのジレンマ」や「カルディアネスの板」について検索する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ送信する。
3 回	**授業テーマ：脳に汗をかく(2)功利主義からのアプローチ** 授業内容：功利主義の考え方について学び，得をすることが人間にとって最も大切なことなのか，考える。 事前学修 2.0hr：功利主義について予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ送信する。
4 回	**授業テーマ：脳に汗をかく(3)データを読む　情報を利用しない弁当屋が潰れる理由** 授業内容：平均 150 個売れる弁当屋が「今日は晴れて行楽日和だから 200 個作る」ということを繰り返していたら潰れてしまった。「間口を広げたら味が落ちた」とはどういうことなのか，その仕組みについてデータ解析の観点から考える。 事前学修 2.0hr：平均と何がわかれば売れる数を予測出来るのか，考える。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，学修ポイントをまとめる。
5 回	**授業テーマ：プレゼンテーションの基礎(1)明海大学独自の問題解決方法** 授業内容：プレゼンテーションの基礎を学び，自分たちが薦めるものの順位を合理的につける。そのための手法を示した上で協働学習を行う。 また，加重平均法について学び，学修の基礎よりワンランク上の比較方法を身につける。 事前学修 2.0hr：グループを作っておく。また，ランキングをつけたいことを選んでおく。 事後学修 3.0hr：プレゼンスライドを完成させる。
6 回	**授業テーマ：プレゼンテーションの基礎(2)明海大学独自の問題解決方法** 授業内容：(1)のスライドを作成し，提出する。 事前学修 3.0hr：発表のためのプレゼンテーションスライドで使用するデータを収集。 事後学修 3.0hr：プレゼンテーションスライドを完成させる。

7回	**授業テーマ：プレゼンテーションの基礎(3)明海大学独自の問題解決方法** 授業内容：(1)のスライドに基づき，発表する。 (※ただし，人前での発表が精神的負担になる場合は，授業者のみにプレゼンをすることで良いこととする。) 事前学修 3.0hr：発表のためのプレゼンテーションスライドを完成させ，発表練習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ送信する。ファイルを提出する。
8回	**授業テーマ：企業人として必要な説得力　説明の理解と説得の違い** 授業内容：他人を説得することについて考える。どのような説得方法があるのか，データを示す必要はないのか，『今日の昼ご飯に何を食べるべきか』を説得出来る材料を用意し，受講者を説得する。 事前学修 2.0hr：他人を説得し，賛同してもらうには何が必要か，考えてくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，学修ポイントをまとめる。
9回	**授業テーマ：科学技術からの国際交流(1)明海大学独自の問題解決方法の実践** 授業内容：国際交流では，エネルギー環境分野を交流テーマとする場合が多い。そのために必要なわが国の電力事情や東南アジアの電力事情について学ぶ。 事前学修 2.0hr：わが国の電力事情について調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，学修ポイントを復習する。
10回	**授業テーマ：科学技術からの国際交流(2)明海大学独自の問題解決方法の実践** 授業内容：東南アジアの学校との交流を念頭に，お勧めする発電方法について提案するため，プレゼンテーションスライドの作成に着手する。 事前学修 3.0hr：プレゼンのテーマを考えておく。グループを作っておく。 事後学修 3.0hr：プレゼンテーションスライドの作成。
11回	**授業テーマ：科学技術からの国際交流(3)明海大学独自の問題解決方法の実践** 授業内容：(2)について，発表を行う。 (※ただし，人前での発表が精神的負担になる場合は，授業者のみにプレゼンをすることで良いこととする。) 事前学修 3.0hr：発表のためのプレゼンテーションスライドを完成させ，発表練習する。 事後学修 3.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ，送信する。
12回	**授業テーマ：魅力ある人とは？(1)明海大学独自の問題解決方法の応用** 授業内容：大学生であっても社会人であっても魅力ある人はいるものである。必ずしも容姿の問題ではなく，どのような人が魅力あると考えられるのか，プレゼンテーションスライドの作成を開始する。 事前学修 2.0hr：グループを作り，提案内容を考えてくる。 事後学修 3.0hr：発表するためのプレゼンテーションスライドの作成に着手する。
13回	**授業テーマ：魅力ある人とは？(2)明海大学独自の問題解決方法の応用** 授業内容：(1)のスライドを作成し，提出する。 事前学修 3.0hr：チームの仲間と十分話し合いをしておく。 事後学修 3.0hr：発表するためのプレゼンテーションスライドを作成し，班員と合成する
14回	**授業テーマ：魅力ある人とは？(3)明海大学独自の問題解決方法の応用** 授業内容：(1)の発表を行い，各チームの内容を検討する。それに基づきスライドを修正し提出する。 (※ただし，人前での発表が精神的負担になる場合は，授業者のみにプレゼンをすることで良いこととする。) 事前学修 3.0hr：プレゼンスライドを完成させ，発表練習をする。 事後学修 3.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ，送信する。修正したプレゼンのファイルを提出する。
15回	**授業テーマ：授業全体のまとめ　明海大学独自の問題解決方法のまとめ** 授業内容：これまでの学修内容をまとめ，他人を説得するためにはどのような説得方法があるのか，どのようなデータを示すことが効果的なのかまとめ，レポートを作成する。 事前学修 2.0hr：いままでのプレゼンスライドなどを振り返る。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ，送信する。

社会生活ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

新井　啓（あらい　けい）

▌授業の概要
有名な文学作品を読むみ、その感想を書く。なお授業の理解力向上のため、SPI に対応するための基礎的問題を解くことを毎回行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）
一般目標：社会人として最低限読んでおくべき、名作のあらすじを理解できること
個別目標：最も関心を持っている文学作品の良さをみんなの前で発表できること

▌履修条件
文学に関心があること

▌評価基準・方法
毎回の授業時に行う manaba の小テスト(50%)、事前・事後学修(30 %)、授業に取り組む姿勢 (20%)。

▌フィードバック方法
小テストや定期試験などの結果は学習支援システムの manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）
なし （manaba は利用）

▌教科書
特になし

▌参考書
特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：夏目漱石** 授業内容：「吾輩は猫である」「坊ちゃん」「こころ」 事前学修 2.0hr：第 1 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 1 回の事後学習の小テスト
2回	**授業テーマ：芥川龍之介** 授業内容：「羅生門」「杜子春」 事前学修 2.0hr：第 2 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 2 回の事後学習の小テスト
3回	**授業テーマ：森鴎外** 授業内容：「舞姫」 事前学修 2.0hr：第 3 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 3 回の事後学習の小テスト
4回	**授業テーマ：太宰治** 授業内容：「走れメロス」「人間失格」 事前学修 2.0hr：第 4 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 4 回の事後学習の小テスト
5回	**授業テーマ：福沢諭吉** 授業内容：「学問のすすめ」 事前学修 2.0hr：第 5 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 5 回の事後学習の小テスト
6回	**授業テーマ：吉川英治** 授業内容：「宮本武蔵」 事前学修 2.0hr：第 6 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 6 回の事後学習の小テスト
7回	**授業テーマ：柳田國男** 授業内容：「遠野物語」 事前学修 2.0hr：第 7 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 7 回の事後学習の小テスト
8回	**授業テーマ：谷崎潤一郎** 授業内容：「細雪」 事前学修 2.0hr：第 8 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 8 回の事後学習の小テスト
9回	**授業テーマ：SPI の一般教養問題** 授業内容：数学、国語(読めそうで読めない漢字が中心)、英語、地理・歴史。 事前学修 2.0hr：第 9 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 9 回の事後学習の小テスト
10回	**授業テーマ：中島敦** 授業内容：「山月記」 事前学修 2.0hr：第 10 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 10 回の事後学習の小テスト
11回	**授業テーマ：梶井基次郎** 授業内容：「檸檬」 事前学修 2.0hr：第 11 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 11 回の事後学習の小テスト
12回	**授業テーマ：小林多喜二** 授業内容：「蟹工船」 事前学修 2.0hr：第 12 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 12 回の事後学習の小テスト

13回	**授業テーマ：中勘助** 授業内容：「銀の匙」 事前学修 2.0hr：第 13 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 13 回の事後学習の小テスト
14回	**授業テーマ：ドストエフスキー** 授業内容：「カラマーゾフの兄弟」 事前学修 2.0hr：第 14 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 14 回の事後学習の小テスト
15回	**授業テーマ：宮沢賢治** 授業内容：「銀河鉄道の夜」 事前学修 2.0hr：第 15 回目の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 15 回目の事後学習の小テスト

社会生活ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中島　達洋（なかじま　たつひろ）

▌授業の概要

SPI3 は、多くの企業で実施されている採用適性検査です。本授業ではそのうち非言語分野を扱います。数学が得意でない学生を主な対象とし、問題を「解法の型」に整理して学ぶことで、基本問題を安定して解ける力を養います。割合、速さ、場合の数、推論などを分野別に扱うのではなく、思考の型ごとに反復演習を行います。授業内では演習と確認小テストを実施し、学修支援システム manaba も活用して理解の定着を図ります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：SPI3 非言語問題の基本問題を安定して正答できる力を身につけるとともに、問題を解法の「型」に分類し、適切なアプローチを選択できる能力を修得する。

個別目標：① 割合・損益・濃度・平均などの問題を分数構造に基づいて処理できる。
② 出会い・追いつき・区間分割を含む速さの問題を図示し、式を立てて解くことができる。
③ 条件を表に整理し、内訳問題を処理できる。
④ 基本的な順列・組合せ・確率の問題を解くことができる。
⑤ 与えられた条件を整理し、論理的に推論できる。

▌履修条件

特にありません。ただし、高校までの基礎的な計算力(分数計算、一次方程式程度)は前提とします。第 1 回からの出席を前提とします(履修修正による 1、2 回目の不在は欠席となります)。

▌評価基準・方法

型別到達チェック 40 %、中間・期末の到達度テスト 40 %、授業内小テスト 20 %の割合で総合的に評価します。型別到達チェックは各解法の型ごとに実施し、再挑戦の機会を設けます。授業内小テストは manaba の自動採点機能を用いて実施する予定です。

▌フィードバック方法

型別到達チェックおよび到達度テストの解説は授業内で行います。解答例や補足資料は manaba を通して提示します。授業内小テストは manaba 上で自動採点結果を確認できるようにし、理解状況をその都度把握できるようにします。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業内での個別演習、ペアでの解法確認、型分類活動、manaba を用いた小テストなどを実施します。問題解決型の学修を取り入れ、学生が主体的に考える時間を確保します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba を用いた小テスト、資料の閲覧、課題の提出などに PC を利用します。BYOD 環境を活用し、各自の端末で確認問題に取り組みます。）

▌教科書

教科書は使用しません。配布プリントおよび manaba 掲載資料を使用します。

▌参考書

市販の SPI3 対策書を、必要に応じて授業内で紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス・SPI3 と「解法の型」** 授業内容：SPI3 の概要と評価方法を説明し、問題を「型」に分類する考え方を導入する。簡単な例題で型分類演習を行う。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、本授業の目的を確認する。 事後学修 2.0hr：配布資料を復習し、型の一覧を整理する。
2 回	**授業テーマ：比例・割合型① 基礎** 授業内容：損益算、濃度、平均を分数構造に統一して扱う。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：前回内容を復習する。 事後学修 2.0hr：演習問題の復習。
3 回	**授業テーマ：比例・割合型② 損益・濃度・平均** 授業内容：損益算、濃度、平均を分数構造に統一して扱う。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：前回内容を復習する。 事後学修 2.0hr：演習問題の復習。
4 回	**授業テーマ：比例・割合型③ 総合演習** 授業内容：基本問題の反復演習を行い、型①到達チェックを実施する。 事前学修 2.0hr：これまでの問題を復習する。 事後学修 2.0hr：間違えた問題を解き直す。
5 回	**授業テーマ：速さ型① 基本と単位変換** 授業内容：距離＝速さ×時間の関係を確認し、図示を徹底する。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：単位換算を復習する。 事後学修 2.0hr：演習問題の復習。
6 回	**授業テーマ：速さ型② 出会い・追いつき** 授業内容：相対速度(和・差)の考え方を学ぶ。図を必ず描く練習を行う。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：前回内容の復習。 事後学修 2.0hr：問題の解き直し。
7 回	**授業テーマ：速さ型③ 区間分割** 授業内容：途中で速度が変わる問題や往復問題を扱う。型②到達チェックを実施する。 事前学修 2.0hr：速さの基本公式の確認。 事後学修 2.0hr：解き直し。
8 回	**授業テーマ：到達度確認(前半内容)** 授業内容：比例・速さ型の総合問題に取り組み、理解度を確認する。 事前学修 2.0hr：第 2～7 回の復習。 事後学修 2.0hr：事後学修： 間違えた問題の再確認。
9 回	**授業テーマ：表作成型① 基本** 授業内容：集合や清算問題を表で整理する方法を学ぶ。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：前回までの復習。 事後学修 2.0hr：問題の解き直し。

10回	**授業テーマ：表作成型② 内訳整理** 授業内容：条件整理と内訳問題の演習を行い、型③到達チェックを実施する。 事前学修 2.0hr：前回内容を復習。 事後学修 2.0hr：間違えた問題の整理。
11回	**授業テーマ：場合の数① 順列・組合せ** 授業内容：書き出しと基本公式を扱う。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：基本的な数え上げを確認。 事後学修 2.0hr：演習問題の復習。
12回	**授業テーマ：場合の数② 確率** 授業内容：基本確率を扱い、型④到達チェックを実施する。 事前学修 2.0hr：前回内容を復習。 事後学修 2.0hr：問題の解き直し。
13回	**授業テーマ：推論型① 命題と並び順** 授業内容：条件整理と真偽判定の基本を扱う。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：条件整理の練習。 事後学修 2.0hr：演習問題の復習。
14回	**授業テーマ：推論型② 複数条件と構造的把握** 授業内容：推論の総合演習を行い、型⑤到達チェックを実施する。 事前学修 2.0hr：推論問題の復習。 事後学修 2.0hr：間違えた問題の整理。
15回	**授業テーマ：総合到達度確認** 授業内容：全範囲の基本問題を解き、学修の成果を確認する。 事前学修 2.0hr：全範囲の復習。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返り。

キャリアプランニング I

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

阿方　由紀枝（あがた　ゆきえ）・**稲田　環菜**（いなだ　かんな）・**大黒　章子**（おおくろ　あきこ）・**高野　紀子**（たかの　のりこ）・**濱﨑　あゆみ**（はまさき　あゆみ）

▌授業の概要

社会で活躍する人材となるため、ジェネリックスキルの伸長を目指す授業である。一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし主体的な学修に導く。この授業では、キャリア観の醸成に焦点をあて①自分を知る②社会を知る③自分と社会の接点を考えるという過程を、アクティビティによる体験と気付きで学ぶ。また、基礎学力向上と就職活動における筆記試験に備えるため、MEIKAI SPI を活用する。

【授業方法】講義

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし、就業観の醸成やジェネリックスキル(対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)の伸長を目的として、グループワーク及びディスカッションによる主体的な学習を実践している。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：① **Well-being を実現**するために、「なりたいじぶん」について言語化する。
②**ジェネリックスキル (対人・対自己・対課題基礎力)** の中身や重要性を理解しその力を伸ばす。

個別目標：【社会人インタビュー】①目的を理解し自分の将来像を意識してインタビューに取り組むことができる②他者のレポートと比較し自分のレポートの改善点を言語化することができる③将来を見据え大学生活で取り組む活動を探り実践できる【自己理解】①自分の強みを文章で伝えることができる②ジェネリックスキルを理解し自己評価できる。

▌履修条件

必修科目である。キャリア形成科目は、授業の目的上「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

▌評価基準・方法

重要課題:30%, 学修内容振り返り:25%, グアム研修への参加やこれまでの経験に基づく課題への取り組みと振り返り：25%, 自己ＰＲ:10%,MEIKAI SPI 模擬試験 (マークシート):10% ※原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。※成績評価の詳細は、初回授業で説明予定。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークおよびディスカッション・毎回実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （インターネットを活用した情報収集や PowerPoint,Word ソフトによる課題の作成・指定授業回）

▌教科書

オリジナル教材を使用。自己 PR の添削にかかる費用として￥3,000(自己負担) を回収する。提出方法や期限については、授業での案内を確認すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標、MEIKAI SPI の目的と使い方について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバス (特に受講ルールについて) を読んで理解し授業に取り組むイメージをする 事後学修 2.0hr：受講ルールや評価方法を読み直し間違いのないように理解する
2回	**授業テーマ：グアム研修等の振り返り (じぶん編)** 授業内容：グアム研修やこれまでの経験で気づいたこと等を文章や図で可視化する。 事前学修 2.0hr：グアム研修やこれまでの経験について振り返りメモしておく 事後学修 3.0hr：授業で取り組んだ内容をさらに改善させる
3回	**授業テーマ：グアム研修等の振り返り (社会編)** 授業内容：グアム研修に参加して実感した社会あるいはこれまでの経験で実感した社会について言語化する。 事前学修 2.0hr：グアム研修やこれまでの経験で社会に触れて気づいたことをメモしておく 事後学修 3.0hr：授業で取り組んだ内容をさらに改善させる
4回	**授業テーマ：グアム研修等の振り返り共有** 授業内容：グアム研修あるいはこれまでの経験の振り返りを共有し他者の気づきからも学ぶ。 事前学修 2.0hr：グアム研修あるいはこれまでの経験を共有する準備をしておく 事後学修 2.0hr：ここまでの学修を踏まえ、学生生活における目標を設定する
5回	**授業テーマ：なりたいじぶんと建学の精神** 授業内容：建学の精神について確認し、自分の将来や学びの方向性などを考える。 事前学修 2.0hr：明海大学の「建学の精神」を再確認し、現時点での自分と照らし合わせる 事後学修 2.0hr：なりたいじぶんを言語化しそれに向かう活動について調べる
6回	**授業テーマ：共生・協働** 授業内容：「共生・協働」をテーマにパネルディスカッションを行い、多様な視点から共に生き・働くための考え方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：「共生・協働」について調べた上で、自分の考えを言語化しておく 事後学修 2.0hr：授業での学修を踏まえ「共生・協働」について情報収集し自分の考えを整理する
7回	**授業テーマ：「働くこと」について考える** 授業内容：プロのライターが取材し作成した社会人のインタビュー記事を読み、仕事との向き合い方について考察する。 事前学修 2.0hr：就職ジャーナルやスタディサプリの記事を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業のワークを参考に就職ジャーナルなどの記事を読む
8回	**授業テーマ：今後のキャリアを考える** 授業内容：キャリア体感ゲームを通じて大学生活が社会人生活に活きることを知る。 事前学修 2.0hr：PROG の結果を見直しジェネリックスキルについて復習しておく 事後学修 2.0hr：授業の学修に基づき、自分の学生生活について計画立案する
9回	**授業テーマ：ディスカッションの流れとポイント** 授業内容：ディスカッションの流れとポイントを学び、グループでディスカッションを体験する。 事前学修 2.0hr：参考にできるグループディスカッションの動画を探す 事後学修 2.0hr：グループディスカッションのテーマについて情報収集する

10回	**授業テーマ：ディスカッション実践** 授業内容：ディスカッションの流れとポイントを意識し、合意形成できるようディスカッションに取り組む。 事前学修 2.0hr：グループディスカッションのテーマについて自分の意見を考えておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションの動画を視聴し自分の課題を整理する
11回	**授業テーマ：自己理解 (価値観探索編)** 授業内容：自分が大切にしたい価値観やその理由について深く考える。 事前学修 2.0hr：自分が大切にしたい価値観を列挙しておく 事後学修 2.0hr：自分が大切にしたい価値観とその理由を文章化する
12回	**授業テーマ：自己理解 (強み探索編)** 授業内容：強み探索ワークを通じて、自分の強みを探索する。また、強みに関係する過去の出来事を言語化する。 事前学修 2.0hr：自分の強みを考え、これまでの出来事を思い出し書き出しておく 事後学修 2.0hr：自分の強みと裏付けるエピソードを文章にする
13回	**授業テーマ：PREP 法で文章作成** 授業内容：自分の強みについて PREP 法を用いて伝わる文章を作成する。 事前学修 2.0hr：PREP 法について調べた上で理解しておく 事後学修 2.0hr：授業で作成した文章を改善し完成させる
14回	**授業テーマ：授業の振り返りと公務員クラスガイダンス** 授業内容：ここまでの学修を振り返り、学んだ内容と自分の気づきや考えについて言語化する。また、公務員クラスについての説明を行う。 事前学修 2.0hr：ここまでの授業内容や記録を見直しておく 事後学修 2.0hr：なりたいじぶんと行動計画について振り返りをする
15回	**授業テーマ：社会人インタビューの共有となりたいじぶん** 授業内容：自分の「社会人インタビュー」を伝え、他者の社会人インタビューを聞き、働くことについて考察する。 事前学修 2.5hr：第 1 回～第 14 回授業の資料を見直す 事後学修 2.5hr：社会人インタビューの気づきを踏まえあらためて「なりたいじぶん」への道筋を検討する

キャリアプランニング I

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラムクラス

阿方　由紀枝（あがた　ゆきえ）

▌授業の概要

社会で活躍する人材となるため、ジェネリックスキルの伸長を目指す授業である。一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし主体的な学修に導く。この授業では、就業観の醸成に焦点をあて①自分を知る②社会を知る③自分と社会の接点を考えるという過程を、アクティビティによる体験と気付きで学ぶ。また、基礎学力向上と就職活動における筆記試験に備えるため、MEIKAI SPI を活用する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：①**日本における就職および就職活動**について情報を収集・整理しながら理解を深める。
②**ジェネリックスキル (対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)** の中身や重要性を理解しその力を伸ばす。

個別目標：【社会環境理解】①日本における就職の知識を習得し、準備に必要な活動について理解する。【自己理解】①自分の強みを文章で伝えることができる②ジェネリックスキルを理解し自己評価できる。【プレゼンテーション】自分の将来についての考えなどをプレゼンテーション形式で伝えることができるようになる。

▌履修条件

必修科目である。キャリア形成科目は、授業の目的上「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

▌評価基準・方法

重要課題:35%, 学修内容振り返り:30%, 国内研修への参加と振り返り：25%,MEIKAI SPI 模擬試験 (マークシート):10%※原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。※成績評価の詳細は、初回授業で説明予定。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークおよびディスカッション・毎回実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （インターネットを活用した情報収集や課題の作成・指定授業回）

▌教科書

オリジナル教材を使用。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバス (特に授業ルールについて) を読んで理解し授業に取り組むイメージをする 事後学修 2.0hr：受講ルールや評価方法を読み直し間違いのないように理解する
2回	**授業テーマ：自己紹介と MEIKAI SPI の活用** 授業内容：自己紹介ワークでクラスメンバーと交流する。MEIKAI SPI の目的と活用方法を理解し操作する。 事前学修 2.0hr：受講ルールやマニュアルを読み返し理解しておく 事後学修 2.0hr：MEIKAI SPI の練習問題を解く
3回	**授業テーマ：日本の就職と就職活動 (知識編)** 授業内容：日本における新卒採用の現状や採用環境について解説を聞き理解する。 事前学修 2.0hr：日本の就職について、関連サイトで探索しておく 事後学修 2.0hr：今後の目標や行動計画について考えを整理する
4回	**授業テーマ：日本の就職と就職活動 (キャリア形成編)** 授業内容：日本における新卒採用の現状や採用環境について理解した上で、自分の日本でのキャリアを考える。 事前学修 2.0hr：第 3 回授業の内容を振り返る 事後学修 2.0hr：日本でのキャリアをどう形成するか検討する
5回	**授業テーマ：MGO 探索とビジネスメール** 授業内容：MGO プログラムを理解し学内で情報収集できる場所を確認する。また、ビジネスメールの書き方を理解する。 事前学修 2.0hr：ビジネスメールについて関連資料を読む 事後学修 2.0hr：授業で確認した情報収集について振り返る
6回	**授業テーマ：なりたいじぶんとアクションプランの作成** 授業内容：卒業時点での目標を考え、1 年・半年・1 ヶ月単位で、具体的な行動計画を立てる。 事前学修 2.0hr：将来のキャリアに向かうための目標や具体的な行動について考えておく 事後学修 2.0hr：アクションプランを実行できるようにスケジューリングする
7回	**授業テーマ：「働く」ことについて考える** 授業内容：プロのライターが取材し作成した社会人のインタビュー記事を読み、仕事との向き合い方について考察する。 事前学修 2.0hr：就職ジャーナルやスタディサプリの記事を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業のワークを参考に就職ジャーナルなどの記事を読む
8回	**授業テーマ：自己分析** 授業内容：大切にしたい価値観を言葉を選びその理由を考え言語化する。 事前学修 2.0hr：これまでの自分を振り返って年代ごとに出来事をメモしておく 事後学修 2.0hr：授業で実施したワークを基に自分について言語化しておく
9回	**授業テーマ：自己理解** 授業内容：強み探索ワークを通じて、自分の強みを探索する。また、強みに関係する過去の出来事を言語化する。 事前学修 2.0hr：自分の強みを考えこれまでの出来事を思い出し書き出しておく 事後学修 2.0hr：自分の強みと裏付けるエピソードを文章にする
10回	**授業テーマ：ここまでの学修を振り返る** 授業内容：ここまでに学修した内容を振り返り、今後必要な活動を整理する。 事前学修 2.0hr：前回までの授業を振り返っておく 事後学修 2.5hr：今後必要な活動について具体的に計画立案する

11回	**授業テーマ：プレゼンテーション理解** 授業内容：プレゼンテーションに必要な要素について学ぶ。 事前学修 2.0hr：インターネット等でプレゼンテーションに必要なことを調べておく 事後学修 3.0hr：授業の内容を基に、プレゼンテーションの内容を検討する
12回	**授業テーマ：プレゼンテーション作成** 授業内容：前回授業で学修したことを踏まえて、自分がプレゼンテーションする内容を決め、スライドを作成する。 事前学修 2.0hr：自分がプレゼンテーションしたい内容を決め情報収集しておく 事後学修 3.0hr：プレゼンテーションで使用するスライドを完成させる
13回	**授業テーマ：プレゼンテーション実践** 授業内容：準備してきた内容を、スライドを使用してプレゼンテーションする。 事前学修 3.0hr：本番での発表を意識しプレゼンテーションの練習をする 事後学修 2.0hr：自分のプレゼンテーションの改善点を明確にしておく
14回	**授業テーマ：なりたいじぶんとアクションプランの振り返り** 授業内容：START を活用し、なりたいじぶんとアクションプランを見直し、今後の活動計画を考える。 事前学修 2.0hr：START の記録を確認し、自分活動状況を整理しておく 事後学修 2.0hr：見直した内容と今後の活動計画を完成させ START に記録しておく
15回	**授業テーマ：授業の振り返りと夏季休暇のアクションプラン作成** 授業内容：第 14 回までの学びを振り返り、進級した後の姿を想像しながら、夏季休暇の行動計画を作成する。 事前学修 2.0hr：第 1 回～第 14 回授業の資料を見直しておく 事後学修 2.0hr：今回の振り返りを基に春季休暇に取り組むことをより具体的にしておく

キャリアプランニング I

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：留学生クラス

小野寺　樹璃 (おのでら　じゅり)・**行田　悦子** (こうだ　えつこ)・**髙橋　亜里沙** (たかはし　ありさ)・**林　苗** (りん　みょう)・**範　弘宇** (はん　こうう)

▌授業の概要

キャリアプランニングでは仕事など社会生活を営むうえで必要な「ジェネリックスキル」の一つであるコミュニケーション能力を育成する。
キャリアプランニング I では、日本社会で触れる話題を正確に理解し、自らの主張を表現するための日本語能力を身につける。授業外に事前学修、事後学修課題がある。ほぼ毎回授業内に小テストを行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日本社会に関わる論理的でやや複雑な文章や抽象度の高い文章の内容を理解し、適切な表現や文体を産出できる。自分の日本語能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 日本文化に関わる文章を読ん正確に理解できる。
(2) 論説、評論などに出てくる語彙・表現が正確に使うことができる。
(3) 論説、評論などの内容を要約し、他者と意見を交換することができる。
(4) 自分の日本語能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、能動的に学習を実行することができる。
(5) 学習成果を正しくふりかえることができる。

▌履修条件

(1) 留学生を対象とするクラスである。
(2) 日本語能力を測る資格試験を受験する。
(3) 毎回出席し、授業活動に積極的に参加する。
(4) 課題の提出日を守る。
(5) 自らの日本語能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。
(6) 授業外の講座に参加する。

▌評価基準・方法

課題提出 30 %、テスト 30%、資格試験 15 %、国内研修への参加とふり返り 25%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークをする。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon を利用する。）

▌教科書

目黒真実『中上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク

▌参考書

友松悦子・宮本淳・和栗雅子『新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、日本語の世界①** 授業内容：授業概要や到達目標、履修条件等についてのガイダンスを行う。「日本語の世界①」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：日本語の世界②** 授業内容：「日本語の世界②」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：日本の文化** 授業内容：「日本の文化」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：日本人の行動様式** 授業内容：「日本人の行動様式」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：言語とコミュニケーション** 授業内容：「言語とコミュニケーション」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：異文化理解** 授業内容：「異文化理解」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：環境と人間** 授業内容：「環境と人間」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8回	**授業テーマ：IT と情報社会** 授業内容：「IT と情報社会」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：生物と自然** 授業内容：「生物と自然」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：人生と生き方** 授業内容：「人生と生き方」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：子どもと教育** 授業内容：「子どもと教育」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：報道とマスコミ** 授業内容：「報道とマスコミ」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：科学と技術** 授業内容：「科学と技術」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：生命と倫理①** 授業内容：「生命と倫理①」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：生命と倫理②、まとめとコース全体の振り返り、テストとフィードバック** 授業内容：「生命と倫理②」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。これまで学修した内容を振り返り、学んだことや気付いたことについてまとめ、グループで意見交換を行う。テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

キャリアプランニング I

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：再履修クラス／留学生

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**範　弘宇**（はん　こうう）

▌授業の概要

キャリアプランニングでは仕事など社会生活を営むうえで必要な「ジェネリックスキル」の一つであるコミュニケーション能力を育成する。
キャリアプランニング I では、日本社会で触れる話題を正確に理解し、自らの主張を表現するための日本語能力を身につける。授業外に事前学修、事後学修課題がある。ほぼ毎回授業内に小テストを行う。

▌到達目標

一般目標：日本社会に関わる論理的でやや複雑な文章や抽象度の高い文章の内容を理解し、適切な表現や文体を産出できる。自分の日本語能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。
個別目標：(1) 日本文化に関わる文章を読ん正確に理解できる。
(2) 論説、評論などに出てくる語彙・表現が正確に使うことができる。
(3) 論説、評論などの内容を要約し、他者と意見を交換することができる。
(4) 自分の日本語能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、能動的に学習を実行することができる。
(5) 学習成果を正しくふりかえることができる。

▌履修条件

(1) 留学生を対象とする再履修クラスである。
(2) 日本語能力を測る資格試験を受験する。
(3) 毎回出席し、授業活動に積極的に参加する。
(4) 課題の提出日を守る。
(5) 自らの日本語能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。
(6) 授業外の講座に参加する。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、課題提出 30 %、テスト 30%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークをする。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon を利用する。）

▌教科書

目黒真実『中上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク

▌参考書

友松悦子・宮本淳・和栗雅子『新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、日本語の世界①** 授業内容：授業概要や到達目標、履修条件等についてのガイダンスを行う。「日本語の世界①」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：日本語の世界②** 授業内容：「日本語の世界②」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：日本の文化** 授業内容：「日本の文化」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：日本人の行動様式** 授業内容：「日本人の行動様式」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：言語とコミュニケーション** 授業内容：「言語とコミュニケーション」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：異文化理解** 授業内容：「異文化理解」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：環境と人間** 授業内容：「環境と人間」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8回	**授業テーマ：IT と情報社会** 授業内容：「IT と情報社会」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：生物と自然** 授業内容：「生物と自然」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：人生と生き方** 授業内容：「人生と生き方」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：子どもと教育** 授業内容：「子どもと教育」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：報道とマスコミ** 授業内容：「報道とマスコミ」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：科学と技術** 授業内容：「科学と技術」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：生命と倫理①** 授業内容：「生命と倫理①」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：生命と倫理②、まとめとコース全体の振り返り、テストとフィードバック** 授業内容：「生命と倫理②」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。これまで学修した内容を振り返り、学んだことや気付いたことについてまとめ、グループで意見交換を行う。テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

キャリアプランニングⅡ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

阿方　由紀枝（あがた　ゆきえ）・**稲田　環菜**（いなだ　かんな）・**大黒　章子**（おおくろ　あきこ）・**高野　紀子**（たかの　のりこ）・**濱﨑　あゆみ**（はまさき　あゆみ）

▌授業の概要

社会で活躍する人材となるため、ジェネリックスキルの伸長を目指す授業である。一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし主体的な学修に導く。この授業では、課題発見と解決に取り組み①自分を知る②社会を知る③自分と社会の接点を考えるという過程を、アクティビティによる体験と気付きで学ぶ。また、基礎学力向上と就職活動における筆記試験に備えるため、MEIKAI SPI を活用する。

【授業方法】講義

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし、企業や仕事を研究する観点を理解し、ジェネリックスキル(対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)の伸長を目的として、グループワーク及びディスカッションによる主体的な学習を実践している。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：①**身近な課題発見**から社会と自分を理解し、進路選択において主体的に活用できるようになる。
②**ジェネリックスキル (対人・対自己・対課題基礎力)** を伸ばすための具体的な行動計画を立て実行することができる。

個別目標：【社会理解】①必要な情報を理解しその情報源を探索することができる②学修するフレームを活用することができる②自分の興味・関心と照らし合わせて考えることができる【自己理解】自分の強みと裏付ける出来事を文章で伝えることができる【目標設定】1 年次の「なりたい自分とアクションプラン」を振り返り改善した上で、実行できる行動計画を立案することができる。

▌履修条件

必修科目である。キャリア形成科目は、授業の目的上「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

▌評価基準・方法

重要課題:40%、学修内容振り返り:40%、自己ＰＲ:10%、MEIKAI SPI 模擬試験 (Web テスティング):10%とする。※原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。※成績評価の詳細は、初回授業で説明予定。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークおよびディスカッション・毎回実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （インターネットを活用した情報収集や課題の作成・指定授業回）

▌教科書

オリジナル教材を使用。自己 PR の添削にかかる費用として￥3,000(自己負担) を回収する。提出方法や期限については、授業での案内を確認すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み授業の概要や評価について理解しておく 事後学修 2.0hr：受講ルールや評価方法を読み直し間違いのないように理解する
2回	**授業テーマ：キャリアの理論** 授業内容：進路の選択肢をイメージし、キャリア形成について考える。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングⅠで考えた自分のキャリアについての資料を見直しておく 事後学修 2.0hr：授業で得たアドバイスやヒントを参考に自分の将来について考える
3回	**授業テーマ：これまでの自分を振り返る** 授業内容：モチベーショングラフを作成し、これまでの自分を振り返る。 事前学修 2.0hr：モチベーショングラフについて検索し情報収集しておく 事後学修 2.0hr：モチベーショングラフで気づいた自分の価値観を整理する
4回	**授業テーマ：なりたいじぶんとアクションプランの作成** 授業内容：キャリアプランニングⅠで考えた「なりたいじぶんとアクションプラン」を基に、あらためて検討し作成してみる。 事前学修 2.0hr：1 年次に受験した PROG の結果報告書と強化書を読み返しておく 事後学修 2.0hr：アクションプランを実行できるようにスケジューリングする
5回	**授業テーマ：社会人に学ぶ** 授業内容：社会人の経験や知識を参考にし、今後の大学生活で取り組む活動を考える。 事前学修 2.0hr：大学在学中に取り組む活動をリストアップしておく 事後学修 2.0hr：大学在学中に取り組む活動を検討しスケジューリングする
6回	**授業テーマ：ディスカッションの復習** 授業内容：キャリアプランニングⅠで学修したディスカッションを復習し、グループディスカッションに取り組む。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングⅠのディスカッション関連の授業を復習しておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションの手本となる動画を探して視聴する
7回	**授業テーマ：ディスカッション実践** 授業内容：前回授業で実施したグループディスカッションを振り返り、改善を目指し実践する。 事前学修 2.0hr：グループディスカッションにおける自分の課題を整理しておく 事後学修 2.0hr：授業で実践したグループディスカッションを振り返る
8回	**授業テーマ：課題発見 (社会理解編)** 授業内容：課題発見の方法を理解し、課題と社会における事業等のつながりを知る。 事前学修 2.0hr：自分の身の回りで課題に感じることを列挙しメモしておく 事後学修 2.0hr：授業で学修したことを復習する

9回	**授業テーマ：課題発見 (自己理解編)** 授業内容：「課題発見を整理していくと自分の価値観が影響している」ことを理解する。 事前学修 2.0hr：課題発見で挙げたものに対する自分の興味・関心を確認しメモしておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を踏まえ、具体的に解決したい課題を列挙しメモしておく
10回	**授業テーマ：課題解決 (社会編)** 授業内容：解決したい課題を 1 つ挙げ、実際にどのように解決されているかを調べる。 事前学修 2.0hr：第 8 回、第 9 回授業の内容を復習し取り上げる課題を吟味する 事後学修 3.0hr：授業で学修した内容をさらに改善し完成させる
11回	**授業テーマ：課題解決 (自分編)** 授業内容：解決したい課題について、自分の価値観や興味・関心がどのようにつながっているか考える。 事前学修 2.0hr：第 8 回〜第 10 回授業の内容を復習し自分とのつながりを考えておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容をさらに改善し完成させる
12回	**授業テーマ：自己理解** 授業内容：キャリアプランニングⅠで探索したストレングス、キャリアプランニングⅡで作成したモチベーショングラフを踏まえて、自分について発見したことや再確認したことを言葉にして伝える。 事前学修 2.0hr：ストレングスとモチベーショングラフを見直しておく 事後学修 2.0hr：自己理解した内容を文章にしてまとめておく
13回	**授業テーマ：自己 PR 作成** 授業内容：前回授業の学修を活用し、自分らしさを伝える自己 PR を作成する。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングⅠで返却された添削データを確認しておく 事後学修 2.0hr：自己 PR を完成させ提出する
14回	**授業テーマ：Well-being を考える** 授業内容：就職活動だけでない「キャリア」について理解する。 事前学修 2.0hr：5 つの Well-being について調べておく 事後学修 2.0hr：Wel-being につながる「なりたいじぶん」をあらためて考える
15回	**授業テーマ：授業の振り返り** 授業内容：授業で学んだことを振り返り、今後の活用を想像し、夏季休暇の過ごし方を考える。 事前学修 2.0hr：第 1 回〜第 14 回授業の資料を見直しておく 事後学修 2.0hr：今回の振り返りを基に夏季休暇に取り組むことをより具体的にしておく

キャリアプランニングⅡ

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：公務員クラス

大道　和夫（おおみち　かずお）

▌授業の概要

本授業では、公務員試験対策に特化した科目の知識を身につける事を目的とする。
公務員は全体の奉仕者として、国民の生活に密着した不可欠なサービスを提供する業務を執行するが、そのために必要な基礎的な知識を修得する事を支援する。教養科目と言われている 5 科目(数的処理・文章理解・社会科学・人文科学・自然科学)と SPI、面接・論文の対策も行う。オムニバス形式の授業である。
※授業の他、全 15 回の講座を実施する。講座の詳細内容は別途指示する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：①公務員試験の試験科目は一般知識・一般知能に分けられ、多岐にわたるが、教養科目には何があるのか、その対策として何をすればよいのかを身につける。
②試験問題には、出題頻度・難易度が様々であるが、基礎的問題を解答出来る能力を身につける。
個別目標：①一般知識は、中学・高校で学んだ知識が問われているので、各科目について高校までの知識を身につける。
②一般知能は公務員試験独自の問題であるが、パターンがあるので、そのパターンの対応能力を身につける。

▌履修条件

必修科目である。
2025 年度キャリアプランニング I の授業内アンケートで本クラスの履修を希望した者およびキャリアサポートセンター窓口で指定の期間に所定の手続きをした者。本授業の他に実施する講座(全 15 回)も必ず受講すること。

▌評価基準・方法

全授業の 4/5 の出席を成績評価の前提とする。本授業だけでなく継続時限で実施する講座も出席することで「授業に出席した」とみなされる。【評価】
授業内で学んだ科目の確認テスト：50 %、指定課題の期限内提出と内容：20 %、定期試験：30 %

▌フィードバック方法

対面授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

オリジナル教材を使用。教材費として￥7,400(自己負担) を回収する。
管理・研究棟 2 階の証紙券売機で￥7,400 の証紙を購入し、第 1 回授業で教員に提出すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・人文科学 1 回目** 授業内容：ガイダンス①公務員試験の概要(職種・試験科目・試験日程)②2年次の授業の目的・到達目標 人文科学　人文科学の各科目の概要(世界史・日本史・地理・思想・文学芸術)、世界史(基礎)：古代、中世、近世 事前学修 2.0hr：シラバスを読み理解しておく 事後学修 2.0hr：公務員試験の概要について復習し授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
2回	**授業テーマ：SPI・数的処理 1 回目** 授業内容：四則逆算、つるかめ算、n 進法、年齢算 事前学修 2.0hr：四則逆算、つるかめ算、n 進法、年齢算について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
3回	**授業テーマ：SPI・数的処理 2 回目** 授業内容：濃度算、命題 事前学修 2.0hr：濃度算、命題について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
4回	**授業テーマ：SPI・数的処理 3 回目** 授業内容：場合の数、確率 事前学修 2.0hr：場合の数、確率について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
5回	**授業テーマ：SPI・数的処理 4 回目** 授業内容：旅人算、流水算、通過算 事前学修 2.0hr：旅人算、流水算、通過算 について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
6回	**授業テーマ：社会科学 1 回目** 授業内容：社会科学のガイダンスと社会保障 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
7回	**授業テーマ：社会科学 2 回目** 授業内容：市場の仕組み・経済循環、国民所得と経済理論 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
8回	**授業テーマ：人文科学 2 回目** 授業内容：世界史(基礎)：近現代、中国史、日本史(基礎)：古代、中世 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
9回	**授業テーマ：人文科学 3 回目** 授業内容：日本史(基礎)：近世、近現代 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく

10回	**授業テーマ：社会科学 3 回目** 授業内容：景気循環、財政・金融政策、国際経済、法律概論、日本国憲法で保障されている人権 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
11回	**授業テーマ：社会科学 4 回目** 授業内容：政治制度、補足・まとめ、問題演習／社会科学前学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
12回	**授業テーマ：人文科学 4 回目** 授業内容：地理(基礎)：自然地理、地誌／人文科学前学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
13回	**授業テーマ：SPI・数的処理 5 回目** 授業内容：仕事算、推論(うそつき、席順、順序) 事前学修 2.0hr：仕事算、推論(うそつき、席順、順序)について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
14回	**授業テーマ：SPI・数的処理 6 回目** 授業内容：損益算、暗号 事前学修 2.0hr：損益算、暗号 について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
15回	**授業テーマ：SPI・数的処理 7 回目** 授業内容：サイコロ、図形、展開図／数的処理前学期確認テスト 事前学修 2.0hr：サイコロ、図形、展開図について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする

キャリアプランニングⅡ

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：留学生クラス

荷見　美有（はすみ　みゆう）・**範　弘宇**（はん　こうう）

▌授業の概要

キャリアプランニングでは仕事など社会生活を営むうえで必要な「ジェネリックスキル」の一つであるコミュニケーション能力を育成する。
キャリアプランニングⅡでは、日本社会で触れる話題を正確に理解し、自らの主張を表現するための日本語能力を身につける。授業外に事前学修、事後学修、課題を行う。ほぼ毎回、小テストがある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日本社会に関わる論理的でやや複雑な文章や抽象度の高い文章の内容を理解することを目指す。
　　自身の日本語能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育成する。
個別目標：(1) 幅広い分野に渡る抽象度の高い日本語の文章を読んで正確に理解できる。
　　(2) 正しい文法知識と語彙を増やし、正確に産出できる。
　　(3) 日本社会に関わる背景知識を増やす。

▌履修条件

留学生クラスである。
日本語能力を測る資格試験を受験する。
課題提出の期限を守る。
積極的に授業に参加する。
授業外の講座、模擬試験に積極的に参加する。

▌評価基準・方法

資格試験 40 %、テスト 20%、課題提出 20 %、講座 10%、授業外模擬試験 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークをする。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を利用する。）

▌教科書

開講時に指示する。

▌参考書

授業時に随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、日本語の世界** 授業内容：教科書の「日本語の世界」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、日本語についての考えをあげ、グループワークを行い、意見交換をする。 事前学修 2.0hr：自身の日本語能力を適切に評価し、能動的に弱点を補うために必要な学習計画を立てる。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：日本の文化** 授業内容：教科書の「日本の文化」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、日本の文化について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：日本人の行動様式** 授業内容：教科書の「日本人の行動様式」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、日本人の行動様式について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：言語とコミュニケーション** 授業内容：教科書の「言語とコミュニケーション」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、言語とコミュニケーションについて意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：異文化理解** 授業内容：教科書の「異文化理解」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、異文化について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：環境と人間** 授業内容：教科書の「環境と人間」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、環境と人間について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：IT と情報社会** 授業内容：教科書の「IT と情報社会」の文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、IT と情報社会について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：生物と自然** 授業内容：教科書の「生物と自然」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、生物と自然について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

9回	**授業テーマ：心理と哲学** 授業内容：教科書の「心理と哲学」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、心理と哲学について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：教育と学び** 授業内容：教科書の「教育と学び」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、教育と学びについて意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：報道とマスコミ** 授業内容：教科書の「報道とマスコミ」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、報道とマスコミについて意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：科学と技術** 授業内容：教科書の「科学と技術」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、科学と技術について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：現代の社会** 授業内容：教科書の「現代の社会」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、現代の社会について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：余暇と娯楽** 授業内容：教科書の「余暇と娯楽」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、余暇と娯楽について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：総まとめと振り返り、テストとフィードバック** 授業内容：これまで学習した内容を振り返り、学んだことや気づいたことについてまとめ、グループで意見交換を行う。テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

キャリアプランニングⅢ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

阿方　由紀枝（あがた　ゆきえ）・**稲田　環菜**（いなだ　かんな）・**大黒　章子**（おおくろ　あきこ）・**高野　紀子**（たかの　のりこ）・**濱﨑　あゆみ**（はまさき　あゆみ）

▌授業の概要

社会で活躍する人材となるため、ジェネリックスキルの伸長を目指す授業である。一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし主体的な学修に導く。この授業では、自分史の作成に取り組み①自分を知る②社会を知る③自分と社会の接点を考えるという過程を、体験と気付きで学ぶ。また、基礎学力向上と就職活動における筆記試験に備えるため、MEIKAI SPI を使用する。
【授業方法】講義
【実務家教員と当該授業科目との関連性】
一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし、相手視点で課題解決に取り組み、ジェネリックスキル(対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)の伸長を目的として、グループワーク及びディスカッションによる主体的な学習を実践している。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：①自分史の作成を通じて、これまでの経験・価値観・学びを整理し、現在の自分の関心や強みを再確認することができる。
②ジェネリックスキル (対人・対自己・対課題基礎力) を伸ばすための具体的な行動計画を立て実行することができる。
個別目標：【自分史作成】①自身のこれまでの経験・価値観・行動を整理し言語化できる②過去の経験から現在の関心・強み・学びの傾向を分析できる③自己理解に基づいてキャリア形成の方向性を検討できる④自分史を他者に共有し、フィードバックを踏まえて内容を改善できる【自己理解】完成度の高い (採用選考通過を見据えた) 自己 PR を作成できる【目標設定】キャリアプランニングⅡの目標と行動計画を振り返り改善した上で、実行できる行動計画を立案することができる

▌履修条件

必修科目である。キャリア形成科目は、授業の目的上「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

▌評価基準・方法

重要課題:40%、学修内容振り返り:40%、自己ＰＲ:10%、MEIKAI SPI 模擬試験 (テストセンター):10%とする。※原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。※成績評価の詳細は、初回授業で説明予定。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークおよびディスカッション・毎回実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （インターネットを活用した情報収集や PowerPoint,Word ソフトによる課題の作成・指定授業回）

▌教科書

オリジナル教材を使用。自己 PR の添削にかかる費用として￥3,000(自己負担) を回収する。提出方法や期限については、授業での案内を確認すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション (授業の目的・受講ルール・評価方法の理解、社会で求められる力の理解)** 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバス (特に受講ルールについて) を読んで理解し授業に取り組むイメージをする 事後学修 2.0hr：受講ルールや評価方法を読み直し間違いのないように理解する
2回	**授業テーマ：なりたいじぶんと Well-being** 授業内容：well-being と「なりたいじぶん」について見直し、今後の活動について検討する。 事前学修 2.0hr：学修ポートフォリオ「START」を見直し自分の Well-being を言語化しておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を踏まえ、今後の活動を検討し決定する
3回	**授業テーマ：自分史とは** 授業内容：自分史の目的と作成の手順を理解する。 事前学修 2.0hr：自分史について情報収集しておく 事後学修 3.0hr：授業で学修した内容を復習しワークシートを改善する
4回	**授業テーマ：これまでの自分** 授業内容：過去の経験から得た自分の強みや価値観、成長のきっかけを言語化する。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングで実施した自己理解ワークを復習しておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を復習しワークシートを改善する
5回	**授業テーマ：これからの自分** 授業内容：過去からつながる今の自分を踏まえ、これからの自分を言語化する。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングで考えた「なりたいじぶん」について復習しておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を復習しワークシートを改善する
6回	**授業テーマ：ディスカッションの振り返り** 授業内容：キャリアプランニングⅠ・Ⅱで実施したグループディスカッションを振り返る。 事前学修 2.0hr：グループディスカッションについて復習しておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションのテーマについて情報収集する
7回	**授業テーマ：ディスカッション実践** 授業内容：キャリアプランニングの集大成としてグループディスカッションに取り組む。 事前学修 2.0hr：グループディスカッションにおける自分の課題を整理しておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションにおける課題が解決できたか振り返る
8回	**授業テーマ：社会に触れる** 授業内容：社会人の経験や知識から、自分のキャリアについて可能性を広げて考える。 事前学修 2.0hr：これまで記録してきたなりたいじぶんについて確認しておく 事後学修 2.0hr：今後のキャリアについて言語化し記録しておく

9回	**授業テーマ：業界・企業理解** 授業内容：業界・企業理解において必要なことを学ぶ。 事前学修 2.0hr：業界地図を確認しておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を復習する
10回	**授業テーマ：企業研究** 授業内容：事業内容、商品・サービス、理念ビジョンなど、企業研究で調べる項目について、同業２社で情報を整理し比較する。 事前学修 2.0hr：業界地図を確認しておく 事後学修 2.0hr：授業で取り上げた業界や企業について情報収集する
11回	**授業テーマ：職種理解** 授業内容：職種においても、企業によって扱うものや関わる組織や人など、違いがあることを理解する。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げた企業の職種について情報収集しておく 事後学修 2.0hr：自分が興味を持った業界や企業、職種についてさらに情報収集する
12回	**授業テーマ：自分史ポスターの作成** 授業内容：第 6 回～第 11 回授業の学修を基に、社会にどう接続していくかを言語化しポスターに集約する。 事前学修 3.0hr：第 6 回～第 11 回授業の学修を振り返る 事後学修 2.0hr：自分史ワークシートに社会との接点を追加して改善する
13回	**授業テーマ：自分史ポスターの完成** 授業内容：自分史ポスターを完成させる (発表できるように準備する)。 事前学修 3.0hr：第 6 回～第 12 回授業の学修を振り返る 事後学修 3.0hr：自分史ポスターを発表できるように準備する
14回	**授業テーマ：授業となりたいじぶんの振り返り** 授業内容：キャリアプランニングⅠ～Ⅲまでを振り返り、何を学び、気づき、今後のキャリア選択に対する準備ができたのかを言語化し伝える。 事前学修 2.0hr：これまでの授業の資料を見直しておく 事後学修 2.0hr：今後の自分のキャリアを考え言語化し記録しておく
15回	**授業テーマ：自分史ポスターの共有と振り返り** 授業内容：作成した自分史をグループとクラスで共有し相互に学び合う。 事前学修 3.0hr：作成した自分史を確認しておく 事後学修 2.0hr：これまでの学修内容と記録を確認し、今後のキャリアに向けた活動を具体的に考え記録する

キャリアプランニングⅢ

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：公務員クラス

大道　和夫（おおみち　かずお）

▌授業の概要

本授業では、公務員試験対策に特化した科目の知識を身につける事を目的とする。
公務員は全体の奉仕者として、国民の生活に密着した不可欠なサービスを提供する業務を執行するが、そのために必要な基礎的な知識を修得する事を支援する。後学期では、数的処理・社会科学・人文科学は演習問題を使用し解き方を身につけていく。文章理解は基礎から学習していく。オムニバス形式の授業である。
※授業の他、全 15 回の講座を実施する。講座の詳細内容は別途指示する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：前学期で修得した知識を基にして、新たな問題についても自分の力で正解にたどり着ける能力を身につける。
個別目標：前学期に学習した問題は確実に解くことができ、新たな問題についても自分の力で解くことができるように、予習復習を繰り返す習慣を身につける。

▌履修条件

必修科目である。
2026 年度前学期開講のキャリアプランニングⅡ (公務員クラス) の単位を取得していること。

▌評価基準・方法

全授業の 4/5 の出席を成績評価の前提とする。本授業だけでなく継続時限で実施する講座も出席することで「授業に出席した」とみなされる。【評価】
授業内で学んだ科目の確認テスト：50 %、指定課題の期限内提出と内容：20 %、定期試験：30 %

▌フィードバック方法

対面授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

オリジナル教材を使用。教材費として￥4,700 円(自己負担)を回収する。管理・研究棟 2 階の証紙券売機で￥4,700 の証紙を購入し、第 1 回授業で担当教員に証紙を提出すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：人文科学 1 回目** 授業内容：世界史(実践)：世界史問題演習(古代、中世、近世、近現代、中国史) 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
2回	**授業テーマ：数的処理 1 回目** 授業内容：n 進法、濃度算、命題の復習、及び約数と倍数、比 事前学修 2.0hr：n 進法、濃度算、命題の復習、及び約数と倍数、比について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
3回	**授業テーマ：文章理解 1 回目** 授業内容：文章理解解き方のポイント 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
4回	**授業テーマ：社会科学 1 回目** 授業内容：消費者と生産者の行動、市場と経済厚生 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
5回	**授業テーマ：社会科学 2 回目** 授業内容：憲法；統治機構、日本国憲法の特徴 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
6回	**授業テーマ：人文科学 2 回目** 授業内容：日本史(実践)：日本史問題演習(古代、中世、近世、近現代) 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
7回	**授業テーマ：社会科学 3 回目** 授業内容：選挙制度、国際政治 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
8回	**授業テーマ：社会科学 4 回目** 授業内容：社会：環境・医療問題、科学技術、文化等 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
9回	**授業テーマ：人文科学 3 回目** 授業内容：地理(実践)：地理問題演習(自然地理、地誌) 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
10回	**授業テーマ：社会科学 5 回目** 授業内容：補足、まとめ、問題演習①、問題演習②／社会科学後学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく

11回	**授業テーマ：数的処理 2 回目** 授業内容：場合の数、確率の復習、及び集合、試合の勝敗 事前学修 2.0hr：場合の数、確率の復習、及び集合、試合の勝敗について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
12回	**授業テーマ：数的処理 3 回目** 授業内容：速さ、仕事算の復習、及び軌跡、一筆書き 事前学修 2.0hr：速さ、仕事算の復習、及び軌跡、一筆書きについて予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
13回	**授業テーマ：数的処理 4 回目** 授業内容：推論、損益算、暗号の復習、及び積み木、切断面 事前学修 2.0hr：推論、損益算、暗号の復習、及び積み木、切断面について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
14回	**授業テーマ：数的処理 5 回目** 授業内容：サイコロ、図形、展開図の復習、及び資料解釈／数的処理後学期確認テスト 事前学修 2.0hr：サイコロ、図形、展開図、資料解釈について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする。
15回	**授業テーマ：人文科学 4 回目** 授業内容：人文科学(総まとめ)：世界史、日本史、地理のポイントチェック／人文科学後学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく

キャリアプランニングⅢ

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：留学生クラス

荷見　美有（はすみ　みゆう）**・範　弘宇**（はん　こうう）

▌授業の概要

キャリアプランニングは仕事など社会生活を営むうえで必要な「ジェネリックスキル」の一つであるコミュニケーション能力を育成する。
キャリアプランニングⅢでは、日本社会で成果をあげるためにビジネス日本語について学習する。授業外に事前学修、事後学修、課題がある。小テストはほぼ毎回、授業内に行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日本社会、文化的な背景、心理的な状況を理解したうえで、ビジネス上の課題に対して適切に対応する力を育成する。限られたビジネス場面で日本語による適切なコミュニケーションができる。

個別目標：(1) 標準的な日本語で話されれば、社内で行われる議論等で担当領域の議論の流れを理解することができる。
(2) 担当領域の文書や記事、メールを読み解くことができる。
(3) 担当領域に関連するテーマについて、多様な選択肢の利点や不利な点を示しながら主張することができる。
(4) 担当領域に関する事柄を詳細に書くことができる。
(5) 自身の考えの根拠を示しながら説明する文章を書くことができる。

▌履修条件

留学生クラスである。
日本語能力を測る資格試験、ビジネス日本語能力を測る資格試験を受験する。
授業活動に積極的に参加する。
課題の提出日を守る。
授業外の講座、模擬試験等に積極的に参加する。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、課題提出 20%、テスト 20%、講座 10%、授業外模擬試験 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

木山三佳・田川麻央『学生・留学生のためのキャリアプランニング』実教出版

▌参考書

授業の中で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：ビジネスで必要な日本語能力とはどのようなものかを確認する。そのうえで、現時点でどの程度のビジネス日本語能力があるのか事前テストで測る。テストの成績をもとに、どのように能力を伸ばしていくか計画を立てる。 事前学修 2.0hr：BJT ビジネス日本語能力テストについて調べる。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：就職活動** 授業内容：就職活動では選考の材料となる提出書類の作成や面接試験など重要なことがある。その中で、エントリーシートなどの書類の書き方、面接時の話し方を学ぶ。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：入社** 授業内容：入社後、新入社員は初対面の人とコミュニケーションをとる機会が多い。その一つとして自己紹介があり、話を聞いた人が記憶に残る一言が言えるよう練習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：基本的な業務** 授業内容：基本的な業務の一つとして伝言を取り上げる。また、稟議についても学ぶ。稟議は、社内で物品を購入するときなどに説明を書類に書いて、承認を受けることで一連の流れを学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：報告** 授業内容：上司や先輩、同僚への報告を取り上げる。仕事は同じ目標を持つ人々とうまく連携できるよう、わかりやすく伝えられるよう学習する。これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：謝罪** 授業内容：謝罪について取り上げる。仕事でミスがあったときに早い段階で上司に正確に事実を報告し、素直に謝罪できるよう学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：インターンシップの受け入れ** 授業内容：インターンシップの受け入れ側の仕事について取り上げる。会社側の立場になって自社を紹介し、業務や職種を理解してもらうとともに、さまざまなリスク管理について学ぶ。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8回	**授業テーマ：会議の準備** 授業内容：会議の準備においては、会場の予約、機器の設置、会議議題の決定、前回の議事録の作成など、様々な資料を作成、配布する、欠席者への対応など一連の業務を学ぶ。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：会議** 授業内容：会議では、各種の報告と意志決定をおこなう審議が行われる。議長の指示に従い、発言したり反対意見を述べたりする。意見の述べ方、議事録の作成など一連のやりとりを学習する。これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：取引** 授業内容：取引について取り上げる。良い関係を築くコミュニケーションを基本とし、正確な情報のやり取りを行う。不明な点がないように、お互いの話を引用した形で質問するなどの工夫も学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：苦情** 授業内容：苦情について取り上げる。苦情の対応を誤ると大きな問題に発展することもあり、より良いコミュニケーションが求められるためその対応方法を学習する。また、関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：商談** 授業内容：商談について取り上げる。相手に必要な情報を正確に伝えるとともに、相談や注文を受けた時の対応の仕方、不明慮な点があるときの聞き返しなどを学習する。また、関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：社会貢献** 授業内容：企業が果たすべき社会的責任について学ぶ。社会貢献としてさまざまな活動を行うときに必要なコミュニケーションについて学習する。また、関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：実力判定テスト、フィードバック** 授業内容：これまで学習した内容が身に付いたかどうか実力判定テストで測る。テストの結果より得られた強み、弱みをもとに学習を振り返る。また教師からもフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：コース全体をふりかえり、改善点をみつける** 授業内容：コースの目標とこれまでの活動を照らし合わせて学習を振り返り、自身のビジネス日本語能力を的確に分析する。就職に向けて活動計画を立てる。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

キャリアデザイン

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

阿方　由紀枝（あがた　ゆきえ）・**稲田　環菜**（いなだ　かんな）・**高野　紀子**（たかの　のりこ）・**濱﨑　あゆみ**（はまさき　あゆみ）

▌授業の概要

一般企業での就業経験があり、キャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験を活かし就職活動において主体的に行動できることを目的として支援する。受講生が納得のいく進路を決定するために就職活動の準備をする。事前準備（企業・仕事研究、自己 PR・志望動機作成）と実践及び振り返りにより改善を重ね就活力を伸ばす。

【授業方法】講義

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

一般企業での就業経験があり、キャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験を活かし、就職活動において主体的に行動できることを目的として、情報の収集や分析、計画立案及び振り返り等、就職活動に活用できる知識を与える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：この授業の目的は、就職活動を乗り越え社会で活躍する人材となるために必要な力とスキルを伸ばすことである。キャリアデザインでは、就職活動準備を就職スキルの向上に焦点をあてる。また、日頃から意識できるよう「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

個別目標：【企業・仕事研究】キャリアプランニングの学修を活用し就職活動における企業選択に十分な情報収集・分析をする【自己 PR】自分の強みと裏付けるエピソードを選考通過レベルで準備する【志望動機】企業・仕事研究で得た情報と自己 PR をつなげ入社後どう貢献できるかを伝えられる【グループディスカッション・面接】選考通過レベルのスキルを身に付ける【インターンシップ】インターンシップに参加し早期選考につなげる

▌履修条件

2 年生修了時に、60 単位以上取得していること（就職活動にある程度の時間が割ける状態）が望ましい。

留学生については、日本語能力試験で N1 を取得しており、MGO 留学生プログラムの要件を満たしていること。

▌評価基準・方法

重要課題:30%、学修内容振り返り:30%、インターンシップ参加：30%、MEIKAI SPI の模擬試験 (テストセンター):10% ※それ以外に、就活コーチとの面談実施・OBOG セミナー参加・学内業界研究セミナー参加を単位認定要件とする。また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。詳細については第 2 回授業で説明する。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークおよびディスカッション・毎回実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （インターネットを活用した情報収集や課題の作成・指定授業回）

▌教科書

オリジナル教材を使用。適職診断テスト受検の費用として￥6,000(自己負担) を回収する。提出方法や期限については、授業での案内を確認すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション(履修登録のルールを理解し正しく手続きする)** 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み理解しておく 事後学修 2.0hr：資料を読み返し正しく履修登録の手続きをする	16回	**授業テーマ：インターンシップを振り返る** 授業内容：参加したインターンシップを振り返り経験について言語化する。 事前学修 2.0hr：インターンシップを振り返る準備をしておく 事後学修 2.0hr：授業の内容を踏まえ、選考を受ける企業を検討する
2回	**授業テーマ：就活スケジュールと準備確認** 授業内容：就活スケジュールを確認し必要な準備を確認する。 事前学修 2.0hr：就職活動の流れについて調べておく 事後学修 2.0hr：就活サイトで企業情報を見ておく	17回	**授業テーマ：PROG 受験** 授業内容：目的を理解し正しく PROG を受験する。 事前学修 2.0hr：1 年生で受験した PROG の結果を見直しておく 事後学修 2.0hr：ジェネリックスキルについて再確認する
3回	**授業テーマ：就活サイトの使い方** 授業内容：就職活動において情報源となる就活サイトの使い方を説明し活用してみる。 事前学修 2.0hr：就活サイトで企業検索をしておく 事後学修 2.0hr：就活サイトで企業情報を検索し、イベント等の予約をする	18回	**授業テーマ：コーチ支援に関する授業** 授業内容：就活コーチの支援を受ける手続き (求人 NAVI) を理解し実践する。 事前学修 2.0hr：求人 NAVI で就活に関する情報を確認する 事後学修 2.0hr：就活コーチの面談予約を確認しスケジュールに入れる
4回	**授業テーマ：なりたいじぶんとアクションプラン** 授業内容：就職活動におけるアクションプランを作成する。 事前学修 2.0hr：記録したなりたいじぶんとアクションプランを確認しておく 事後学修 2.0hr：就職活動におけるアクションプランをスケジューリングする	19回	**授業テーマ：就活の軸を言語化する** 授業内容：これまでの就職活動で得た経験を振り返り就活の軸を再検討する。 事前学修 2.0hr：就職活動の状況を共有できるよう準備しておく 事後学修 2.0hr：就活の軸を使い就活サイト等で選考を受ける企業を選ぶ
5回	**授業テーマ：応募準備：ガクチカ作成** 授業内容：キャリアプランニングで作成と改善を重ねてきた自己 PR を確認しガクチカを作成する。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングで作成した自己 PR をすべて見直しておく 事後学修 2.0hr：明海大学の履歴書に合わせて自己 PR とガクチカを完成させる	20回	**授業テーマ：PROG 結果活用** 授業内容：PROG の結果を参考に自分の強みを確認し、企業選択につなげる。また、1 年次より伸びた力やその要因について考える。 事前学修 2.0hr：PROG の結果を確認しジェネリックスキルを再確認しておく 事後学修 2.0hr：PROG の結果から自分の強みを確認し、紐づく経験を記録する
6回	**授業テーマ：応募準備：志望動機作成** 授業内容：自己 PR・ガクチカとつながりを意識して志望動機を書いてみる。 事前学修 2.0hr：志望動機の書き方について情報収集しておく 事後学修 2.0hr：明海大学の履歴書に合わせて志望動機を作成する	21回	**授業テーマ：就活スキル選考準備 (グループディスカッション)** 授業内容：本選考を見据え、グループディスカッションに取り組む。 事前学修 2.0hr：これまでに取り組んだグループディスカッションを振り返っておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションを振り返り改善点を明確にする
7回	**授業テーマ：R-CAP 結果解説** 授業内容：R-CAP の結果を正しく理解し就職活動への活用法を知る。 事前学修 2.0hr：PROG の結果を読み直し自己理解を深めておく 事後学修 2.0hr：R-CAP の結果をあらためて読み自分について言語化する	22回	**授業テーマ：就活スキル選考準備 (面接)** 授業内容：本選考を見据え、面接練習に取り組む。 事前学修 2.0hr：自己 PR やガクチカ、志望動機を伝えられるようにしておく 事後学修 2.0hr：授業で実践した面接練習を振り返り、改善点を整理する
8回	**授業テーマ：フセンゲーム** 授業内容：ジョブカタログの言葉と KJ 法を使い、自分の就活の軸を言語化する。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り就活の軸を言語化しておく 事後学修 2.0hr：授業のワークを参考に就活の軸を再検討する	23回	**授業テーマ：OBOG セミナー参加準備** 授業内容：OBOG セミナーの目的や概要、必要な事前準備について理解する。 事前学修 2.0hr：OBOG セミナー参加予定企業について調べておく 事後学修 2.0hr：OBOG セミナー当日の動き方を検討する

9回	**授業テーマ：インターンシップの選び方** 授業内容：インターンシップの選択基準を考え実践する。 事前学修 2.0hr：就活サイトや企業のホームページで企業情報を収集する 事後学修 2.0hr：授業の学修を活用しインターンシップの情報を探し企業研究する	24回	**授業テーマ：OBOG セミナー参加** 授業内容：OBOG が参加する企業の説明を聞き、企業や仕事の理解を深める。 事前学修 2.0hr：身だしなみを整え OBOG セミナーに参加する企業について調べる 事後学修 2.0hr：OBOG セミナーで得た情報や気づきを振り返る
10回	**授業テーマ：グループディスカッション実践** 授業内容：グループディスカッションの練習をする。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングで学修した内容を復習しておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションを振り返り課題を明確にしておく	25回	**授業テーマ：OBOG セミナーの振り返り** 授業内容：OBOG セミナーで得たことを言語化し、事前準備が妥当であったかを振り返る。 事前学修 2.0hr：OBOG セミナーで得た情報や気づきを振り返る 事後学修 2.0hr：企業や仕事について知りたいことを整理する
11回	**授業テーマ：面接対策 (非言語編)** 授業内容：デリバリーのプロに、発生や言葉・表現などについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：面接について就活サイトで情報収集しておく 事後学修 2.0hr：就活サイト等でインターンシップの情報を収集しエントリーする	26回	**授業テーマ：面接練習 (1) 会話のキャッチボール** 授業内容：採用選考に向けて企業の意図を理解し、会話のキャッチボールを意識して面接練習する。 事前学修 2.0hr：自己 PR・ガクチカ・志望動機など、応募書類の内容を確認しておく 事後学修 2.0hr：面接練習で改善が必要な点を明確にする
12回	**授業テーマ：先輩(内定した４年生)に学ぶ** 授業内容：パネルディスカッション形式で先輩の体験談を聞き就職活動の参考にする。 事前学修 2.0hr：これまでの就職活動を振り返り悩みや疑問を言語化しておく 事後学修 2.0hr：授業での学修をヒントにし今後の行動計画を立てる	27回	**授業テーマ：面接練習 (2) 自己 PR と志望動機** 授業内容：前回の面接練習を踏まえ改善すべき点を意識しながら、自己 PR と志望動機を伝える練習をする 事前学修 2.0hr：自己 PR・ガクチカ・志望動機など、応募書類の内容を確認しておく 事後学修 2.0hr：面接練習を振り返り、改善点を解決する
13回	**授業テーマ：仕事研究セミナー振り返り** 授業内容：仕事研究セミナーで収集した情報と自分の強みを照らし合わせ、マッチングポイントを考える。 事前学修 2.0hr：仕事研究セミナーを振り返り、情報を整理しておく 事後学修 2.0hr：仕事研究セミナーで経験を踏まえ、今後の就職活動を検討する	28回	**授業テーマ：面接練習 (3) 同窓生と模擬面接** 授業内容：社会人の代表として同窓生をゲストとして迎え、模擬面接を実践する。 事前学修 2.0hr：前回の面接練習で見つけた自分の改善点を意識しておく 事後学修 2.0hr：面接で伝える内容を準備し、自主的に伝える練習をする
14回	**授業テーマ：面接対策 (言語編)** 授業内容：面接において必要なことを復習し模擬面接などの実践から学ぶ。 事前学修 2.0hr：ここまでの就職活動を整理しておく 事後学修 2.0hr：夏季インターンシップを探索しエントリーする	29回	**授業テーマ：就活進度別選考準備 (課題別編)** 授業内容：グループディスカッション、面接、応募書類など、採用選考において準備が必要な面をトレーニングする。 事前学修 2.0hr：自分の選考における課題を確認しておく 事後学修 2.0hr：授業での練習を踏まえ、さらに選考準備を進める
15回	**授業テーマ：夏季休暇の活動計画立案** 授業内容：夏季休暇中に取り組む、就職活動について具体的にしておく 事前学修 2.0hr：夏季休暇中の就職活動計画を整理しておく 事後学修 2.0hr：授業で検討した内容を夏季休暇中の就職活動計画に反映させる	30回	**授業テーマ：就職活動振り返りと今後の行動計画立案** 授業内容：今後の就活において、改善点や具体的な行動について言語化し伝え合う。 事前学修 2.0hr：就職活動の進捗を整理し伝えられるように準備する 事後学修 2.0hr：授業で明確になった現状を見直し今後の計画を再確認する

キャリアデザイン

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：公務員クラス

大道　和夫（おおみち　かずお）

▌授業の概要

本授業では、2 年次に学習した知識をもとに、公務員試験の多くの過去問を解くことにより、実戦力を身につけることを目的とする。
公務員試験においては、過去に出題した問題を、視点を少し変えて再度出題することが多いので、形式に惑わされないように過去問を丁寧に検討することにより、柔軟な対応力を修得する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：2 年次に身につけた知識をもとにして、様々な問題について、正誤を正しく判断できる能力を獲得する。
個別目標：①不得意科目を克服する。
②新しく加わる科目の自然科学・論文・面接の知識を身につける。論文は、過去に出題された課題で出来るだけたくさん書く。

▌履修条件

選択科目である。2025 年度キャリアプランニングⅡ・Ⅲ (公務員クラス) の単位を取得していること。

▌評価基準・方法

全授業の 4/5 の出席を成績評価の前提とする。本授業だけでなく継続時限で実施する講座も出席することで「授業に出席した」とみなされる。【評価】
授業内で学んだ科目の確認テスト：50 %、指定課題の期限内提出と内容：20 %、定期試験：30 %

▌フィードバック方法

授業内と学習支援システム manaba で実施。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

オリジナル教材を使用。教材費として前学期￥6,900・後学期￥8,700・計￥15,600 を自己負担として回収する。それぞれ第 1 回授業で担当教員に証紙を提出すること。管理・研究棟 2 階の証紙券売機で購入すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：人文科学 1 回目** 授業内容：ガイダンス(試験内容の確認、合格に向けて取り組むべきこと)、人文科学：世界史の問題演習と解説講義 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	16回	**授業テーマ：社会科学_後学期 1 回目** 授業内容：民主政治の基本原則・選挙制度、費用曲線と供給曲線の導出・余剰分析 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
2回	**授業テーマ：数的処理 1 回目** 授業内容：整数の性質、濃度計算・割合、速さの考え方 事前学修 2.0hr：整数の性質、濃度計算・割合、速さの考え方について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする	17回	**授業テーマ：数的処理_後学期 1 回目** 授業内容：整数問題、不定方程式・場合の数、経路計算、速度計算 1 事前学修 2.0hr：整数、自然数、無理数、場合の数、速度の計算について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
3回	**授業テーマ：社会科学 1 回目** 授業内容：行政国家に対する統制・選挙制度、市場全体の需要供給曲線と資源配分の最適化・不完全競争市場 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	18回	**授業テーマ：自然科学_後学期 1 回** 授業内容：自然科学(生物)(数学)(物理)配布教材を使用して必要単元の演習と解説講義をする 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
4回	**授業テーマ：文章理解 1 回目** 授業内容：現代文・英文それぞれの解き方やより実践的な問題の解き方等 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	19回	**授業テーマ：自然科学_後学期 2 回目** 授業内容：自然科学(生物)(化学)配布教材を使用して必要単元の演習と解説講義をする／自然科学後学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
5回	**授業テーマ：自然科学 1 回目** 授業内容：ガイダンス・自然科学(地学) 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	20回	**授業テーマ：社会科学_後学期 2 回目** 授業内容：主要国の政治制度・国際法と国際機関、国際貿易の基礎理論・財政政策と金融政策 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
6回	**授業テーマ：自然科学 2 回目** 授業内容：自然科学(数学)(生物)配布教材を使用して必要単元の演習と解説講義をする 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	21回	**授業テーマ：社会科学_後学期 3 回目** 授業内容：日本国憲法が保障する人権・日本の統治制度、国際経済協力・戦後日本経済史／社会科学後学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
7回	**授業テーマ：自然科学 3 回目** 授業内容：自然科学(化学)(物理)配布教材を使用して必要単元の演習と解説講義をする／自然科学前期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	22回	**授業テーマ：面接・論文_後学期 1 回目** 授業内容：前学期の授業内容を踏まえ、取り組みやすい課題を取り上げ、本試験に向けて論文作成を行う。また、公務員試験の面接について最新の情報をもとに、模擬面接(個人)を実施する。 事前学修 2.0hr：面接・論文試験について調べておく 事後学修 2.0hr：授業で習ったことをまとめて活用できるように整理しておく
8回	**授業テーマ：人文科学 2 回目** 授業内容：日本史の問題演習と解説講義 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	23回	**授業テーマ：面接・論文_後学期 2 回目** 授業内容：論文：より発展的な課題を取り上げ、本試験に向けて実践的な授業を行う。面接：１回目の授業を基に、模擬面接(個人及び集団)を行う。 事前学修 2.0hr：前回の面接・論文の授業で学んだ内容について復習しておく 事後学修 2.0hr：授業で習ったことをまとめて活用できるように整理しておく
9回	**授業テーマ：社会科学 2 回目** 授業内容：日本の戦後政治史・国際法と国際関係、財政・金融政策 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	24回	**授業テーマ：時事_後学期 1 回目** 授業内容：社会で起こった出来事について学習する 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく

10回	**授業テーマ：人文科学 3 回目** 授業内容：地理の問題演習と解説講義／人文科学前学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	25回	**授業テーマ：時事_後学期 2 回目** 授業内容：時事試験対策テキストに沿って解説授業を行う／時事確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
11回	**授業テーマ：社会科学 3 回目** 授業内容：日本国憲法の仕組み、戦後の日本の経済事情／社会科学前学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	26回	**授業テーマ：数的処理_後学期 2 回目** 授業内容：速度計算 2、ニュートン算、濃度計算、論理、ベン図の作成、線分図など 事前学修 2.0hr：速度計算 2、ニュートン算、濃度計算、論理、ベン図の作成、線分図について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
12回	**授業テーマ：面接・論文 1 回目** 授業内容：論文 1 回目(基礎編)公務員試験の論文と最近の試験傾向などの説明 面接 1 回目(基礎編)公務員試験の面接と最近の試験傾向などの説明 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	27回	**授業テーマ：数的処理_後学期 3 回目** 授業内容：対応、試合、順序、位置関係の問題など 事前学修 2.0hr：対応、試合、順序、位置関係の問題について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
13回	**授業テーマ：数的処理 2 回目** 授業内容：速度計算、場合の数・確率、図形の性質 事前学修 2.0hr：速度計算、場合の数・確率、図形の性質について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする	28回	**授業テーマ：数的処理_後学期 4 回目** 授業内容：図形、求積の問題、空間把握のパズル、回転体の考え方など 事前学修 2.0hr：図形、求積の問題、空間把握のパズル、回転体の考え方について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
14回	**授業テーマ：数的処理 3 回目** 授業内容：順序、論理、対応、試合の問題など 事前学修 2.0hr：順序、論理、対応、試合の問題について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする	29回	**授業テーマ：数的処理_後学期 5 回目** 授業内容：立体構成、展開図の問題、資料解釈など／数的処理後学期確認テスト 事前学修 2.0hr：立体構成、展開図、資料解釈について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
15回	**授業テーマ：数的処理 4 回目** 授業内容：真偽、位置関係の問題、空間把握の問題／数的処理前学期確認テスト 事前学修 2.0hr：真偽、位置関係、空間把握について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする	30回	**授業テーマ：模擬試験** 授業内容：本番を意識した模擬試験を行う。 事前学修 2.0hr：各科目のまとめをしておく 事後学修 2.0hr：自己採点をもとに試験に向けて学習計画を立てておく

キャリアデザイン

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス

範　弘宇（はん　こうう）

▌授業の概要

キャリアデザインでは、就職活動及び就職後に必要なビジネス日本語能力を総合的に育成することを目的とする。前学期は「聞く」「話す」技能に重点を置き、ビジネス場面での会話理解、適切な応答、報告・連絡・相談などのコミュニケーション能力を高める。後学期は「読む」「書く」技能に重点を置き、ビジネス文書の読解や、メール・報告書などの作成力を高める。さらに、日本の企業文化や職場における考え方への理解を深めるとともに、ビジネス場面で求められる日本語表現、ビジネスマナー、日本の習慣などを実践的に学び、実際の職場で適切に行動し、円滑なコミュニケーションができるようになることを目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：就職活動を円滑に進め、就職後においても社会で活躍できる人材となるために必要なビジネス日本語能力およびコミュニケーション能力を習得する。

個別目標：(1) 日本の企業文化やビジネスマナー、職場におけるコミュニケーションの基本を理解し、状況や相手に応じた適切な語彙・表現を用いて、円滑にやり取りすることができる。

(2) 相手の発言に言葉どおりではない意図や配慮が含まれている場合でも、その意味を的確に読み取り、場面にふさわしい対応をとることができる。

(3) 一般的な社内文書、ビジネス文書、手紙・メールなどを、それぞれの目的や形式に則って、正確かつ適切に書くことができる。

(4) ビジネス場面における報告・連絡・相談などについて、必要な情報を取捨選択し、論理的な構成で、かつ簡潔で分かりやすい文章としてまとめることができる。

▌履修条件

・留学生を対象とするクラスである。
・課題の提出期限を守る。
・資格試験を積極的に受験する。

▌評価基準・方法

課題提出 40%、テスト 30%、資格取得 30%で評価する。
また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba 及び対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業、ロールプレイ、ペアワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

村野節子、山辺真理子、向山陽子『上級レベル ロールプレイで学ぶビジネス日本語』スリーエーネットワーク
村野節子、向山陽子、山辺真理子『タスクで学ぶ日本語ビジネスメール・ビジネス文書』スリーエーネットワーク

▌参考書

白崎佐夜子『8 の基本ルールで学ぶ外国人のための仕事のメールの書き方』スリーエーネットワーク
ビジネス総合研究会『しっかり役立つビジネス文書実例集』法研
羽鳥美由紀『日本で働くための本　就活生から社会人まで』アスク出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、自己紹介を行う（社内）** 授業内容：授業の概要・目的・評価方法を理解する。事前テストを受ける。社内における自己紹介の流れや内容、必要なマナーを理解し、自己紹介時に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、自己紹介の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、本授業について理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題１に取り組む。	16回	**授業テーマ：前学期の復習、ビジネスメールの基本** 授業内容：前学期に学習した日本の企業文化、ビジネスマナー・表現などの復習テストとフィードバックを受ける。社内メールと社外メールの違いを理解する。ビジネスメールの構成、基本マナー、よく使う表現を学び、状況に応じたメールを作成する。 事前学修 2.0hr：ビジネスメールで役に立つ表現の意味と使い方を調べておく。 事後学修 2.0hr：読解練習問題１に取り組む。。
2回	**授業テーマ：自己紹介を行う（社外）** 授業内容：社外における自己紹介の場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。自己紹介時に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、自己紹介の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題２に取り組む。	17回	**授業テーマ：ビジネス文書の基本** 授業内容：社内文章と社外文章の違い、それぞれの種類と特徴を理解する。様々な種類のビジネス文書を読み、構成、書式、表現の共通点と相違点を学ぶ。ビジネス文書の目的、対象者、内容に応じた適切な構成、基本マナー、よく使う表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：ビジネス文書で役に立つ表現の意味と使い方を調べておく。 事後学修 2.0hr：読解練習問題２に取り組む。
3回	**授業テーマ：電話を受ける** 授業内容：電話を受ける際、担当者に取り次ぐ場面と伝言を受ける場面を想定し、それぞれの話の流れや内容、必要なマナーを理解する。電話対応時に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、電話対応の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題３に取り組む。	18回	**授業テーマ：お知らせ（社内）** 授業内容：社内お知らせメールの作成のポイント、お知らせへの返信メールのポイントを理解する。社内お知らせメールの構成、書式、表現を学び、新入社員歓迎会のお知らせメールを作成する。届いたお知らせメールの返信を作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題３に取り組む。
4回	**授業テーマ：アポイントを取る** 授業内容：アポイントを取る場面とアポイントを変更する場面を想定し、それぞれの話の流れや内容、必要なマナーを理解する。アポイントを取る際に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、アポイントを取る事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題４に取り組む。	19回	**授業テーマ：お知らせ（社外）** 授業内容：社外お知らせメールの作成のポイント、お知らせへの返信メールのポイントを理解する。社外お知らせメールの構成、書式、表現を学び、展示会のお知らせメールを作成する。展示会のお知らせへの返信・転送メールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題４に取り組む。

5回	**授業テーマ：会議に参加する** 授業内容：他部門が主催する会議に参加する場面を想定し、会議の流れや内容、必要なマナーを理解する。自分の意見を述べる際に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、会議の会話事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題５に取り組む。	20回	**授業テーマ：お礼(社外)、日報(社内)** 授業内容：お礼メールの作成のポイントを理解し、展示会への来訪のお礼メールを作成する。日報の構成、書式、表現を学び、営業日報を具体的な内容で作成する。ペアワークで作成した営業日報をチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題５に取り組む。
6回	**授業テーマ：クレームを受ける** 授業内容：取引先からクレームの電話を受ける場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。クレーム対応時に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、クレーム対応の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題６に取り組む。	21回	**授業テーマ：送付依頼** 授業内容：送付依頼メールの作成のポイント、送付依頼への返信メールのポイントを理解し、送付依頼メールと返信メールを作成する。発注と受注の違い、それぞれのポイントを理解し、発注メールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題６に取り組む。
7回	**授業テーマ：クレームを報告する** 授業内容：取引先から受けたクレームを上司に報告する場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。上司に報告する際に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、報告の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題７に取り組む。	22回	**授業テーマ：納期延長依頼** 授業内容：納期延長依頼メールの作成のポイント、納期延長依頼への返信メールのポイントを理解し、納期延長依頼メールと返信メールを作成する。代金振込通知メールの作成のポイントを理解し、通知メールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題７に取り組む。
8回	**授業テーマ：クレームを処理する** 授業内容：取引先から受けたクレームを処理する場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。クレームを処理する際に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、クレーム処理の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題８に取り組む。	23回	**授業テーマ：照会(在庫)** 授業内容：在庫照会メールの作成のポイント、在庫照会への回答メールのポイントを理解する。在庫照会メールと回答メールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題８に取り組む。
9回	**授業テーマ：会議で提案する** 授業内容：課内の営業会議で提案する場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。提案する際に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、会議での提案事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題９に取り組む。	24回	**授業テーマ：照会(商品未着・数量不足)** 授業内容：問い合わせメールとお詫びメールの作成のポイントを理解する。商品未着についての問い合わせメールと商品未着のお詫びメールを作成する。納品と納入の違いを理解し、納品数量の照会メールと数量不足のお詫びメールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題９に取り組む。
10回	**授業テーマ：新規顧客を開拓する** 授業内容：新規顧客を開拓するため、既存の取引先に紹介を依頼する場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。依頼する際に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、依頼の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題１０に取り組む。	25回	**授業テーマ：社内会議１(クレームを受ける)** 授業内容：議事録の構成、書式、表現を学び、議事録を具体的な内容で作成する。ペアワークで作成した議事録をチェックし合い、修正する。議事録の送付メールを作成する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題１０に取り組む。
11回	**授業テーマ：新規顧客とアポイントを取る** 授業内容：新規顧客とアポイントを取る場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。アポイントを取る際に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、ビジネス会話の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題１１に取り組む。	26回	**授業テーマ：依頼(セミナーの講師)** 授業内容：依頼メールのポイント、依頼に対する断るメールのポイントを理解する。講師依頼メールと断るメールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題１１に取り組む。
12回	**授業テーマ：商品を売り込む** 授業内容：取引先を訪問して商品を売り込む場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。初対面の表現や営業用語を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、ビジネス会話の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題１２に取り組む。	27回	**授業テーマ：稟議書(伺い書)** 授業内容：稟議書の構成、書式、表現を学び、セミナー関連の稟議書を具体的な内容で作成する。ペアワークで作成した稟議書をチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題１２に取り組む。
13回	**授業テーマ：催促の電話をかける** 授業内容：取引先に返事を促す電話場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。催促電話をかける際に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、催促の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題１３に取り組む。	28回	**授業テーマ：社内会議２(新規顧客を開拓する)** 授業内容：議事録の構成、書式、表現を復習し、議事録を具体的な内容で作成する。注意するメールのポイントを理解し、後輩に議事録について注意するメールを作成する。ペアワークで作成した議事録とメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題１３に取り組む。
14回	**授業テーマ：交渉を進める** 授業内容：取引開始に向けた交渉場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。交渉する際に用いる語彙・表現などを学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、交渉の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題１４に取り組む。	29回	**授業テーマ：出張報告** 授業内容：出張報告書の構成、書式、表現を学び、出張報告書を作成する。ペアワークで作成した報告書をチェックし合い、修正する。催促メールの作成のポイント、催促に対する返信メールの作成のポイントを理解する。出張経費精算書提出の催促メールと催促メールに対する返信を作成する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題１４に取り組む。
15回	**授業テーマ：受注に成功する、まとめ・総合練習、中間テストとフィードバック** 授業内容：取引の具体的内容について話を詰める場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。話を詰める際に用いる語彙・表現などを学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。これまで学習した日本の企業文化、ビジネスマナー・表現を整理する。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題１５に取り組む。	30回	**授業テーマ：始末書、まとめ・総合練習、最終テストとフィードバック** 授業内容：始末書の構成、書式、表現を学び、始末書を具体的な内容で作成する。ペアワークで作成した始末書をチェックし合い、修正する。これまで学習したビジネスメールとビジネス文書の構成や書き方を整理する。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題１５に取り組む。

インターンシップ A・B・C・D

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

本学が定める企業等における実習・研修的な就業体験（インターンシップ）の成果に対して単位を認定する科目である。
この単位認定制度は、学生が自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うことにより、学習意欲を喚起し、さらに、高い就業意識の涵養や自分の適性にあった職業について考える機会を提供することを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：将来のキャリア形成のために、働くこととは何かを理解する。
個別目標：①業種及び職種形態に対するイメージのギャップを解消し、進路の方向性を判断することができる。
②社会人のマナーを理解し、身につけることができる。
③自己の強みや弱みを見つけ、学修における個々の目標を明確にできる。

▌履修条件

目的意識を持って就業体験に臨める学生。
詳細については、当該年度の実施要項及びガイダンス等で確認すること。

▌評価基準・方法

各 5 日以上 40 時間以上の研修時間を要する。
本人レポート、派遣先からの報告書、事前研修会の出席及び報告内容等よって単位を認定する。

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （フィールドワーク、プレゼンテーション等）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （研修機関における資料、レポートの作成及び事後学修におけるレポートの作成等）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：エントリーシート、面接** 授業内容：エントリーシートの書き方、面接の受け方を学ぶ 事前学修 0.5hr：エントリーシートとは何かを調べる 事後学修 0.5hr：面接指導を受ける	16回	**授業テーマ：就業体験⑬** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
2回	**授業テーマ：履歴書** 授業内容：履歴書の書き方を学ぶ 事前学修 0.5hr：履歴書とは何かを調べる 事後学修 0.5hr：履歴書を実際に書く	17回	**授業テーマ：就業体験⑭** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
3回	**授業テーマ：ビジネスマナー** 授業内容：ビジネスマナー等を学ぶ 事前学修 0.5hr：事前研修資料を読み理解する 事後学修 0.5hr：事前研修で学んだことを復習する	18回	**授業テーマ：就業体験⑮** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
4回	**授業テーマ：就業体験①** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：業界・企業等研究を行う 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	19回	**授業テーマ：就業体験⑯** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
5回	**授業テーマ：就業体験②** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	20回	**授業テーマ：就業体験⑰** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
6回	**授業テーマ：就業体験③** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	21回	**授業テーマ：就業体験⑱** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
7回	**授業テーマ：就業体験④** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	22回	**授業テーマ：就業体験⑲** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
8回	**授業テーマ：就業体験⑤** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	23回	**授業テーマ：就業体験⑳** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
9回	**授業テーマ：就業体験⑥** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	24回	**授業テーマ：就業体験㉑** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
10回	**授業テーマ：就業体験⑦** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	25回	**授業テーマ：就業体験㉒** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
11回	**授業テーマ：就業体験⑧** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	26回	**授業テーマ：就業体験㉓** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する

12回	**授業テーマ：就業体験⑨** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	27回	**授業テーマ：就業体験㉔** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
13回	**授業テーマ：就業体験⑩** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	28回	**授業テーマ：就業体験㉕** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
14回	**授業テーマ：就業体験⑪** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	29回	**授業テーマ：就業体験㉖** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
15回	**授業テーマ：就業体験⑫** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	30回	**授業テーマ：報告会** 授業内容：これまでの活動成果についてプレゼンテーションする 事前学修 0.5hr：報告会に向けて発表の準備をする 事後学修 0.5hr：これまでの研修のまとめを行う

特別聴講科目 A・B・C・D

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

【①千葉県私立大学(短期大学を含む。)及び放送大学間の単位互換制度】

専門領域にとらわれない幅広く深い教養を身につけ、豊かな人間性を養うことを目的とし、協定を締結している他の大学等において履修した授業科目について修得した単位を本学における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を認定する。

【②学内において実施する語学研修】

学内において実施する語学研修の成果に対して単位を認定する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

個別目標：①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

▌履修条件

①「派遣学生出願要項(本学)」及び協定大学等における募集要項で確認すること。
なお、協定大学等については「履修の手引」又は「派遣学生出願要項(本学)」を参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

▌評価基準・方法

①協定大学等における開放授業科目の単位を修得した場合、所定の手続きを行うことにより本科目に置き換えて単位の認定をする。
なお、単位認定方法(手続)等については、「履修の手引」又は「派遣学生出願要項(本学)」を参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

▌参考書

①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

特別聴講科目 A・B・C・D

授業内容

30 時間相当分の講義内容とする。
①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

事前学修

30 時間相当分の事前学修とする。
①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

事後学修

30 時間相当分の事後学修とする。
①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

ビジネススキル A・B・C・D

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

TOEFL iBT、TOEIC Listening &Reading Test、実用英語技能検定などの技能審査や、各種資格取得等の成果を本大学における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を認定する科目である。この単位認定制度は、より実践的な技術・技能を身につけることを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：技能審査及び各種資格取得等の合格要件を満たす。
個別目標：技能審査及び各種資格取得等の合格要件に準ずる。

▌履修条件

単位認定科目のため特になし。

▌評価基準・方法

単位の認定には、申請手続きが必要となる。

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

ビジネススキル A・B・C・D

授業内容

30 時間相当分の講義内容とする。
単位認定制度及び単位認定を受けることのできる技能審査・各種資格等の詳細については、履修の手引等を参照すること。

事前学修

30 時間相当分の事前学修とする。

事後学修

30 時間相当分の事後学修とする。

ツーリズム概論

開講学科等：日英中経不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：ＡＮＡツーリズム・ホスピタリティプログラム

松山　豊浩（まつやま　とよひろ）

▌授業の概要

人口減少社会の到来とともに日本のツーリズム (観光) は大きな転換期を迎え、産業全体もその裾野が益々広がっている。近年は訪日外国人旅行者 (インバウンド) が急増し、その大きな経済効果に期待が集まる一方で、日本人の国内・海外旅行需要の底上げ、オーバーツーリズム等の新たな課題、また地域創生や新しい社会システム構築等の様々な動きも注目されている。

本講座では「概論」の主旨に基づき、ニュース記事や VTR 等も活用しながらツーリズム全般を身近にわかりやすく学ぶとともに、”after Corona”の時代にあらためて日本が目指す「観光立国」「観光先進国」への諸課題や将来の姿について多面的に考察する。

なお、本講座は ANA 総合研究所の企業人講師が担当する。

【授業方法】講義

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

自身の職業選択や就職活動に活かすことができるよう、ANA 総合研究所の企業人講師が、日本のツーリズム（観光）全般、関連産業に関する基本知識及びその現状に関する知識を与える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：・日本のツーリズム (観光) 全般および関連産業に関する基本知識、その現状と課題を理解し、経済的・社会的な観点から自身の考えとともに説明する能力を修得する。

個別目標：・「観光立国」への道を進む日本社会において自身が担う役割を明確にイメージでき、今後の職業や日常生活をとおして社会に貢献することができる。

・ツーリズム関連産業を志望する学生は、学修した知識を自身の職業選択や就職活動に活かすことができる。

▌履修条件

・日本のツーリズム (観光) 全般、ツーリズムにかかわる社会動向や関連産業に関心がある学生

・ツーリズム関連産業への就業に興味がある、志望業界として考慮している学生

ほか、学部・学科を問わず、「観光」そのものや「観光業界」に少しでも興味・関心がある学生の受講を歓迎する。

▌評価基準・方法

・期末試験もしくは期末レポート：50%

・課題の取組：グループワーク (2 回)、小レポート 30%

・授業の取組：出欠状況 (5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする)、早退/遅刻の状況、授業参画姿勢、TOPIC 発表、コメントシートの記述 等 20%

以上、合計 100%にて総合的に評価する。

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、各回の授業もしくは学修システム上にて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク/ディスカッション/プレゼンテーション 等を予定）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （但し、事前/事後学修では観光関連情報やデータ等の閲覧、学修システムへのアクセス 等が必要）

▌教科書

使用しない。適宜、教材資料等を配付する。

▌参考書

適宜、参考書籍等を紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス　講座計画と授業の進め方** 授業内容：講座概要 (論点、進捗手法、到達目標等) の説明および講座構成要素 (履修者、講師、配布教材等) の相互確認を行う。講座概要の説明においては、今なぜ日本は「観光立国」を目指すのかについて、日常社会の現象面を紹介するとともに、15 回の授業計画の流れや各回のテーマ等と関連づけて理解することをとおして、講座全般への関心と学修意欲を高める。 事前学修 2.0hr：ツーリズム (観光) への関心を高め、自らのイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：講座の目的や到達目標を理解するとともに、授業計画を把握する。
2 回	**授業テーマ：観光の定義と意義** 授業内容：古典に由来する「観光」の語源をはじめ関連する語句の起源や意味を知り、その歴史的背景を理解する。その上で、基本となる観光の定義、構造、意義や観光資源の位置づけについて理解を深めることと併せ、「観光」が社会に与える様々な影響や効果を踏まえつつ、現在また将来の日本において「観光」に期待される役割を考える。 事前学修 2.0hr：ツーリズム (観光) への関心を高め、自らのイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
3 回	**授業テーマ：日本の旅行・観光に関する全体把握 Ⅰ　「観光立国」への道と政策ビジョン** 授業内容：現代社会において「観光」をどのように捉えるべきか、「観光立国」の意味とともに、その実現を支える観光政策とツーリズム産業が持つ意義と特徴を把握する。また、日本の観光政策の歴史を辿りながら、近年の観光政策と観光立国推進に向けた出来事や取組、日本の経済・社会動向との関連について流れを追って触れることで、現在の訪日外国人急増や全国の観光地域活性化が持つ意味を理解するなど、国の重要戦略を社会における身近な課題として捉え、考察する。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある観光関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
4 回	**授業テーマ：日本の旅行・観光に関する全体把握 Ⅱ　国内旅行・海外旅行・訪日外国人旅行等の動向** 授業内容：資料に集約した日本の旅行・観光の現状を具体的に示す各種図表やデータに幅広く触れ、それをもとに履修者自らが推察する演習等も行うことで、図表に関する読解力と内容の理解力を深めるとともに、各図表や数字から読み取ることができる「日本における旅行・観光の実態」を概括的に把握し、履修者自身の理解・考察につなげる。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある観光関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。

5回	**授業テーマ：グループワーク Ⅰ　日本の旅行・観光の現状と課題を考える** 授業内容：第 4 回までの講義で得た知識を踏まえながら「日本の旅行の現状」にかかわる身近なテーマ (課題) について考える。グループワークとして出題内容に応じてディスカッションを行ったうえでグループの考えや意見を取りまとめ、ワークシートに記述・提出また発表することにより、テーマ (課題) に関する考察力をはじめ課題探究力や明確なアウトプットを見出す力を高める。 事前学修 2.0hr：前回までの授業内容を参考に、ワークに向けて自身の考えを整理する。 事後学修 2.0hr：他者の意見も含めワークでの考察をまとめ、理解の幅を広げる。
6回	**授業テーマ：観光の歴史とツーリズムの広がり** 授業内容：日本と西洋の旅行の起源から現代に至る歴史をひもとき、各時代の社会背景や人々の生活、文化との関連性の違いや共通点を広い視野で理解するとともに、現代および今後の旅行・観光のあり方につながる経緯やトレンドを掴み、ツーリズム全般に関連する「観光立国実現」に向けた課題認識と考察力を高める。 事前学修 2.0hr：社会と観光のかかわりについて考え、興味ある観光関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
7回	**授業テーマ：観光資源と観光地 Ⅰ　分類と特徴** 授業内容：日本・世界の具体的な観光地や観光資源を取り上げ、それらの区分、特徴、価値等について理解を深めるとともに、観光資源保護の重要性に焦点を当て、魅力ある観光地は開発や集客のみでは成り立たず、観光地を構成する自然、文化、景観等の適切な維持や保全が求められることを理解する。また、その前提となる日本の法制度や国際的な条約等の知識を得るとともに、特に世界遺産について具体例をあげながらその種別、登録、意義等に関して考察する。 事前学修 2.0hr：社会と観光のかかわりについて考え、興味ある観光関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
8回	**授業テーマ：観光資源と観光地 Ⅱ　世界遺産と観光資源の保全①** 授業内容：日本・世界の具体的な観光地や観光資源を取り上げ、それらの区分、特徴、価値等について理解を深めるとともに、観光資源保護の重要性に焦点を当て、魅力ある観光地は開発や集客のみでは成り立たず、観光地を構成する自然、文化、景観等の適切な維持や保全が求められることを理解する。また、その前提となる日本の法制度や国際的な条約等の知識を得るとともに、特に世界遺産について具体例をあげながらその種別、登録、意義等に関して考察する。 事前学修 2.0hr：社会と観光のかかわりについて考え、興味ある観光関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
9回	**授業テーマ：観光資源と観光地 Ⅲ　世界遺産と観光資源の保全②** 授業内容：日本・世界の具体的な観光地や観光資源を取り上げ、それらの区分、特徴、価値等について理解を深めるとともに、観光資源保護の重要性に焦点を当て、魅力ある観光地は開発や集客のみでは成り立たず、観光地を構成する自然、文化、景観等の適切な維持や保全が求められることを理解する。また、その前提となる日本の法制度や国際的な条約等の知識を得るとともに、特に世界遺産について具体例をあげながらその種別、登録、意義等に関して考察する。 事前学修 2.0hr：社会と観光のかかわりについて考え、興味ある観光関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
10回	**授業テーマ：グループワーク Ⅱ　これからの観光立国推進を考える** 授業内容：第 9 回までの講義で得た知識を踏まえながら、日本が目指す観光先進国化に向けたテーマ (課題) について考える。グループワークとして自身の新しい感覚と自由な発想を基にディスカッションを行ったうえでグループの考えや意見を取りまとめ、ワークシートに記述・提出また発表することにより、テーマ (課題) に関する考察力をはじめ課題探究力や明確なアウトプットを見出す力を高める。 事前学修 2.0hr：前回までの授業内容を参考に、ワークに向けて自身の考えを整理する。 事後学修 2.0hr：他者の意見も含めワークでの考察をまとめ、理解の幅を広げる。
11回	**授業テーマ：ツーリズム業界研究 Ⅰ　エアライン①** 授業内容：旅行・観光を取り巻く環境は急速に変化を遂げつつあり、ICT 技術の進展や地方創生の役割も重視される中、社会全体に裾野が広がるツーリズム関連産業は各業界とも大きな変革期を迎えている。その中でも代表的な業界を取り上げ、その発展の歴史、特徴、実態、今後に向けて直面する課題等について幅広く触れることにより、各業界に関する理解とともに自身のキャリア形成や職業としての関心につなげる。(エアライン) 事前学修 2.0hr：各産業の役割やしくみについて考え、興味ある業界関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容から新たに得た知識を踏まえ、実体験等から自主考察を行う。
12回	**授業テーマ：ツーリズム業界研究 Ⅱ　エアライン②** 授業内容：旅行・観光を取り巻く環境は急速に変化を遂げつつあり、ICT 技術の進展や地方創生の役割も重視される中、社会全体に裾野が広がるツーリズム関連産業は各業界とも大きな変革期を迎えている。その中でも代表的な業界を取り上げ、その発展の歴史、特徴、実態、今後に向けて直面する課題等について幅広く触れることにより、各業界に関する理解とともに自身のキャリア形成や職業としての関心につなげる。(エアライン) 事前学修 2.0hr：各産業の役割やしくみについて考え、興味ある業界関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容から新たに得た知識を踏まえ、実体験等から自主考察を行う。
13回	**授業テーマ：ツーリズム業界研究 Ⅲ　旅行・宿泊・テーマパーク** 授業内容：旅行・観光を取り巻く環境は急速に変化を遂げつつあり、ICT 技術の進展や地方創生の役割も重視される中、社会全体に裾野が広がるツーリズム関連産業は各業界とも大きな変革期を迎えている。その中でも代表的な業界を取り上げ、その発展の歴史、特徴、実態、今後に向けて直面する課題等について幅広く触れることにより、各業界に関する理解とともに自身のキャリア形成や職業としての関心につなげる。(旅行業/宿泊業/テーマパーク 等) 事前学修 2.0hr：各産業の役割やしくみについて考え、興味ある業界関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容から新たに得た知識を踏まえ、実体験等から自主考察を行う。
14回	**授業テーマ：ツーリズム業界研究 Ⅳ　旅行・宿泊・テーマパーク** 授業内容：旅行・観光を取り巻く環境は急速に変化を遂げつつあり、ICT 技術の進展や地方創生の役割も重視される中、社会全体に裾野が広がるツーリズム関連産業は各業界とも大きな変革期を迎えている。その中でも代表的な業界を取り上げ、その発展の歴史、特徴、実態、今後に向けて直面する課題等について幅広く触れることにより、各業界に関する理解とともに自身のキャリア形成や職業としての関心につなげる。(旅行業/宿泊業/テーマパーク 等) 事前学修 2.0hr：各産業の役割やしくみについて考え、興味ある業界関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容から新たに得た知識を踏まえ、実体験等から自主考察を行う。
15回	**授業テーマ：講座レビュー　/　まとめ** 授業内容：講座全体を振り返り、各回のテーマやキーワードに関するポイントをレビューするとともに、日本の経済・社会全体の変革を意味する「観光立国実現」に向けた重要課題、ツーリズム関連各業界の位置づけと今後の展望に関する理解を確認する。また、本講座をとおして履修者各人が「観光立国」への積極的なかかわりや社会的役割を意識し、ツーリズム関連分野への関心やキャリア形成意欲の向上が図られたか、もしくは、自己成長に向けた目標や指針を得られたか、講座の総括としてあらためて考え、明確化する。 事前学修 2.0hr：各回授業テーマについて資料等をもとに振り返り、理解度を確認する。 事後学修 2.0hr：講座全体の流れを追ってあらためて復習し、自身のまとめを作成する。

エアライン概論

開講学科等：日英中経不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：ＡＮＡツーリズム・ホスピタリティプログラム

松山　豊浩（まつやま　とよひろ）

▌授業の概要

本講義では、国際社会において国境を越える人々の交流や物流を支える交通インフラであり、世界各国の異文化交流やその発展に貢献する産業であり、また今後の日本の新しい姿を実現するツーリズム (観光) 分野の主要産業でもある「航空」をグローバルな視点から取り上げ、ニュース記事や VTR 等も活用しながら「エアラインビジネス」の全体像をわかりやすく学び、またその過程をとおしてビジネス全般にも通用する企業マネジメント戦略の具現化のヒントや実践的なビジネス知識 等の理解も深めていく。
なお、本講座は ANA 総合研究所の企業人講師が担当する。
【授業方法】講義
【実務家教員と当該授業科目との関連性】
自身の職業選択や就職活動に活かすことができるよう、ANA 総合研究所の企業人講師が、航空業 (エアライン) 全般に関する基本知識及びその現状に関する知識を与える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：・民間航空の発展や航空自由化の経緯等をとおして、その展開や歴史的な流れ、社会・経済への影響などを理解する。
・エアラインビジネスの特性や経営戦略・動向等について、自身の考えと言葉で説明できる能力を修得する。
個別目標：・航空関連産業やツーリズム (観光) 産業への就業を志望する学生は、学修した知識を自身の職業選択や就職活動に活かすことができる。

▌履修条件

・「航空 (エアライン) 」全般、「エアラインビジネス」の基本や戦略等に関心がある学生
・「航空関連産業」や「ツーリズム (観光) 産業」への就業に興味がある、志望業界として考慮している学生
ほか、学部・学科を問わず、「航空」「観光」そのものや「航空関連産業」「ツーリズム (観光) 産業」に少しでも興味・関心がある学生の受講を歓迎する。

▌評価基準・方法

・期末試験もしくは期末レポート：50%
・課題の取組：中間レポート 30%
・授業の取組：出欠状況 (5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする)、早退/遅刻の状況、授業参画姿勢、TOPIC 発表、
コメントシートの記述 等 20%
以上、合計 100%にて総合的に評価する。

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、各回の授業もしくは学修システム上にて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （TOPIC 調査に関する発表/小レポート作成 等を予定）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （但し、事前/事後学修では航空関連情報やデータ等の閲覧、学修システムへのアクセス 等が必要）

▌教科書

使用しない。適宜、教材資料等を配付する。

▌参考書

・(株)ANA 総合研究所 『航空産業入門(第 2 版)』 東洋経済新報社 (2017)
・(株)ANA 総合研究所 『エアラインオペレーション入門(改訂新版)』 イカロス出版 (2022)
ほか、適宜参考書籍等を紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス　講座計画と授業の進め方** 授業内容：講座概要 (論点、進捗手法、到達目標等) の説明および講座構成要素 (履修者、講師、配布教材等) の相互確認を行う。講座概要の説明においては、「航空 (エアライン) 」のあらましを紹介するとともに、15 回の授業計画の流れや各回のテーマ等と関連づけて理解することをとおして、講座全般への関心と学修意欲を高める。 事前学修 2.0hr：航空 (エアライン) への関心を高め、自らの正確なイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：講座の目的や到達目標を理解するとともに、授業計画を把握する。
2 回	**授業テーマ：エアラインの基本** 授業内容：航空機の基本知識、航空管制の概要、新しい航空交通管理の考え方 等について。 事前学修 2.0hr：航空 (エアライン) への関心を高め、自らの正確なイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
3 回	**授業テーマ：エアラインの特性** 授業内容：エアラインビジネス全般の特性、経営・経済面の特徴、イベントリスク 等について。 事前学修 2.0hr：航空 (エアライン) への関心を高め、自らの正確なイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
4 回	**授業テーマ：エアラインの業務** 授業内容：運航乗務員・CA・空港スタッフ (グランドスタッフ/グランドハンドリング)・整備士 等のエアラインを支える各職種の役割について。 事前学修 2.0hr：航空 (エアライン) への関心を高め、自らの正確なイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
5 回	**授業テーマ：民間航空の歴史** 授業内容：動力飛行機の発明から現在までの世界と日本の民間航空発展の歴史について。 事前学修 2.0hr：航空 (エアライン) への関心を高め、自らの正確なイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
6 回	**授業テーマ：航空自由化の流れ** 授業内容：航空保護政策から世界的な航空政策の規制緩和への変革の流れについて。 事前学修 2.0hr：航空 (エアライン) への関心を高め、自らの正確なイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
7 回	**授業テーマ：エアラインビジネスの概要Ⅰ　ネットワーク** 授業内容：航空ネットワーク構築の重要性、ハブ&スポークの考え方と効果、乗り継ぎ需要 等について。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある航空関連記事 等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。

8回	**授業テーマ：エアラインビジネスの概要Ⅱ　アライアンス** 授業内容：グローバルアライアンス結成の背景と歴史、アライアンスの意義と効果 等について。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある航空関連記事 等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
9回	**授業テーマ：エアラインビジネスの概要Ⅲ　ブランド/プロダクト&サービス** 授業内容：エアラインのブランド向上と新規プロダクト開発の重要性 等について。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある航空関連記事 等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
10回	**授業テーマ：エアラインビジネスの概要Ⅳ　CS とホスピタリティ** 授業内容：CS(顧客満足)・CX(顧客体験価値)、ホスピタリティの考え方、ES(従業員満足) 等について。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある航空関連記事 等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
11回	**授業テーマ：エアラインビジネスの概要Ⅴ　LCC(ローコストキャリア)** 授業内容：LCC(ローコストキャリア) の登場と発展、新たなビジネスモデルの仕組みと特徴 等について。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある航空関連記事 等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
12回	**授業テーマ：エアラインビジネスの概要Ⅵ　航空とツーリズム** 授業内容：航空がツーリズムや観光活性化に果たす役割、「観光立国」とインバウンドへの貢献 等について。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある航空関連記事 等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
13回	**授業テーマ：航空貨物　/　エアラインビジネスの動向と展望** 授業内容：世界の物流を担う航空貨物、航空業界の最近の動向、エアラインビジネスの将来 等について。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある航空関連記事 等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
14回	**授業テーマ：航空の安全** 授業内容：全てに優先する「航空安全」の考え方、安全運航を堅持するための実践的な対応や取組 等について。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある航空関連記事 等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
15回	**授業テーマ：講座レビュー　/　まとめ** 授業内容：講座全体を振り返り、各回のテーマやポイントをレビューするとともに、本講座をとおして学修した「航空 (エアライン) 」および「エアラインビジネス」全般に関する各自の理解を確認する。また、航空関連分野への関心やキャリア形成意欲の向上が図られたかについてあらためて考え、明確化する。 事前学修 2.0hr：各回授業テーマについて資料等をもとに振り返り、理解度を確認する。 事後学修 2.0hr：講座全体の流れを追ってあらためて復習し、自身のまとめを作成する。

航空サービス論

開講学科等：日英中経不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：ＡＮＡツーリズム・ホスピタリティプログラム

大嵜　史眞子（おおさき　しまこ）

▌授業の概要

本授業では、航空会社および空港における各種業務について、ANA グループの実務事例を交えながら体系的に学ぶ。航空機の運航や空港業務に関わる具体的な仕事内容を理解するとともに、現場で働く人々の役割や価値に着目し、航空業界にとどまらない将来のキャリア形成につながる視点を養うことを目的とする。

また、ANA グループが重視する「安全」「品質」「お客様視点」を基盤としたサービスを多角的に考察することで、ホスピタリティマインドやチームワークの重要性、仕事に対するやりがいについて理解を深める。

授業は、ANA 総合研究所の知見を活かした事例研究、ディスカッション、プレゼンテーションなどの実践的な手法を取り入れ、主体的な学修を促す形式で進める。

なお、本講義は ANA 総合研究所の企業人講師が担当する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：・ANA グループの事例を通して、航空運送事業の基礎知識および航空業界における業務・サービスの多様性が理解できる。
・航空会社が提供するサービスと顧客ニーズについて、安全・品質・ホスピタリティの観点から考察することができる。
・実務において重視されるチームワークおよびコミュニケーションの重要性を理解できる。

個別目標：・航空業界の中から関心のある業務や職種を取り上げ、その内容や特徴について自分なりの見解を述べることができる。
・自身の考えを整理し、相手に分かりやすく伝える力を身につけ、発言や発表を行うことができる。
・プレゼンテーションやディスカッションに必要な情報を適切に収集・整理し、論理的にまとめることができる。

▌履修条件

・航空運送事業、航空関連企業、空港業務に関心を持つ学生
・航空業界への就職を視野に入れている学生
・将来のキャリア形成を見据え、企業視点での学びを就職活動に活かしたい学生

▌評価基準・方法

・各回の課題（小テスト、レポート、振り返りシート、ワークシート、プレゼンテーション等）40 %
・後期試験（プレゼンテーション）50 %
・参加姿勢（積極的な取り組み、発言等）：10 %

以上を総合的に判断し、成績評価を行う。

なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題に対するフィードバックは、各回の授業内、または学習支援システム manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、振り返りシート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba 上の資料閲覧、レスポンス入力、小テストおよび各種課題の実施のため）

▌教科書

使用しない。必要に応じてレジュメを配布する。

▌参考書

・ANA 総合研究所編『エアラインオペレーション入門 改訂新版』イカロス社（2022 年）
・ANA 総合研究所著『航空産業入門』東洋経済新報社（2017 年）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の進め方、学修の目的、課題および評価方法について説明する。 事前学修 2.0hr：全 15 回の授業内容を確認し、授業全体の構成を把握する。 事後学修 2.0hr：授業テーマと学修範囲を整理し、授業への取り組み方を考える。
2回	**授業テーマ：航空運送事業の特性（旅客輸送と貨物輸送）** 授業内容：航空運送事業に関わる基本的な知識と事業特性を学び、現在の業界の状況について学ぶ。 事前学修 2.0hr：航空運送事業の特性について調べる。 事後学修 2.0hr：航空運送事業の特性について整理する。
3回	**授業テーマ：エアラインの提供するサービスⅠ「安全と保安」** 授業内容：航空業界の事例を踏まえ、安全運航および保安体制を支える考え方や仕組みを学ぶ。 事前学修 2.0hr：航空会社の安全対策について調べる。 事後学修 2.0hr：安全と保安の重要性について振り返る。
4回	**授業テーマ：エアラインの提供するサービスⅡ「定時性・利便性・快適性」** 授業内容：ANA が重視する品質をもとに、定時性・利便性・快適性と顧客満足の関係を考察する。 事前学修 2.0hr：航空会社の定時出発率について調べる。 事後学修 2.0hr：安全性を基盤としたサービス提供について考える。
5回	**授業テーマ：エアラインを取り巻く環境変化「SDGs・CSR・ ESG 経営」** 授業内容：環境問題や人権課題への対応を通じて、航空企業の社会的責任について学ぶ。 事前学修 2.0hr：航空業界を取り巻く環境変化に関するトピックスを確認する。 事後学修 2.0hr：外部環境の変化が航空事業に与える影響を整理する。
6回	**授業テーマ：エアラインの人財戦略　「Society5.0 に対応するための人財戦略」** 授業内容：ANA グループの考え方を参考に、人財マネジメントの目的と求められる人財像を考える。 事前学修 2.0hr：Society5.0 の意味について調べる。 事後学修 2.0hr：人材マネジメントの重要性について振り返る。
7回	**授業テーマ：エアライン研究Ⅰ　「プレゼンテーション①」** 授業内容：航空業界の課題について調査研究し、ANA の取り組みを参考に個人の見解を発表する。 事前学修 2.0hr：関心のある業界トピックスを調査・研究する。 事後学修 2.0hr：他者の発表を通じて得た学びを整理する。

8回	**授業テーマ：エアラインの業務Ⅰ　「予約・販売部門」** 授業内容：ANA の事例をもとに、予約・販売部門の業務内容と対人サービスの役割を考察する。 事前学修 2.0hr：航空券の販売や予約方法について調べる。 事後学修 2.0hr：求められるサービスの質について振り返る。
9回	**授業テーマ：エアラインの業務Ⅱ　「グランドスタッフ」** 授業内容：グランドスタッフの業務内容と必要なスキルについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：グランドスタッフの業務について調べる。 事後学修 2.0hr：業務の役割と重要性を整理する。
10回	**授業テーマ：エアラインの業務Ⅲ　「グランドハンドリング」** 授業内容：グランドハンドリング業務の内容と、定時性・安全性を支える役割について学ぶ。 事前学修 2.0hr：グランドハンドリング業務について調べる。 事後学修 2.0hr：業務の重要性について振り返る。
11回	**授業テーマ：エアラインの業務Ⅳ　「航空機の運航をサポートする業務」** 授業内容：機内食や機内清掃など、航空機の運航を支える周辺業務について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ケータリング事業および機内清掃業務について調べる。 事後学修 2.0hr：各業務の役割を整理する。
12回	**授業テーマ：エアラインの業務Ⅴ　「航空オペレーションと運航管理者」** 授業内容：航空機のオペレーション業務および運航管理者の役割と責任について学ぶ。 事前学修 2.0hr：航空オペレーション業務について調べる。 事後学修 2.0hr：運航管理者の役割について振り返る。
13回	**授業テーマ：エアラインの業務Ⅵ　「客室乗務員(キャビンアテンダント)」** 授業内容：ANA のサービス理念を踏まえ、客室乗務員の業務内容と求められるスキルについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：客室乗務員の業務について調べる。 事後学修 2.0hr：業務の役割について整理する。
14回	**授業テーマ：エアラインの業務Ⅶ　「運航乗務員と航空整備士」** 授業内容：運航乗務員および航空整備士の業務と、安全運航を支える役割について学ぶ。 事前学修 2.0hr：両職種の業務内容について調べる。 事後学修 2.0hr：それぞれの役割について振り返る。
15回	**授業テーマ：エアライン研究Ⅱ　「プレゼンテーション②」　(後期試験)** 授業内容：航空業界の現状や将来について調査研究し、個人の見解を発表する。 事前学修 2.0hr：関心のある分野について発表準備を行う。 事後学修 2.0hr：他者の発表を通じて得た学びを整理する。

フライトアテンダント・グランドスタッフ研究

開講学科等：日英中経不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：ＡＮＡツーリズム・ホスピタリティプログラム

青地　香里（あおち　かおり）

▌授業の概要

空のスペシャリスト、フライトアテンダントとグランドスタッフの業務内容を理解するとともに、事例や取り組みをあげて、求められる人材像、必要とされる能力などを理解する。また、変革と改革が進む航空業界で顧客戦略等の業界研究を行い求められる「おもてなし」について考え、研究する。
授業では、表現力向上を目指し、演習やディスカッション、1 分間スピーチ等アウトプットする機会を多く設ける。
なお、本講座は ANA 総合研究所の企業人講師が担当する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：フライトアテンダント・グランドスタッフの職種研究と基本的な接客スキルの習得を通し、「社会に出る」ことを見据えたコミュニケーション力を高める。
個別目標：・相手のために、と考えられる「おもてなし」力を養う。
・グループワークや意見交換を通じて、発信力を身に着ける。
・ビジネスシーンでのヒューマンスキル（接遇力、マナーなど）を習得する。

▌履修条件

・航空業界をはじめとするホスピタリティ業界に興味・関心を持つ学生
・ホスピタリティマインドを持ち合わせた社会人として活躍したい学生
・「受け身」ではなく「自ら学び、考え、表現する」というコミュニケーション力を発揮したい学生

▌評価基準・方法

・スピーチの準備、取り組み 35%
・振り返りシートの提出 30%
・グループプレゼンテーション 20%
・授業への参加姿勢及び授業内での発言など 15 %
以上を総合的に判断し評価する。5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、各回の授業において行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （体験学習・グループワーク・グループディスカッション・プレゼンテーション・振り返りシート・フィードバック）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーションの作成）

▌教科書

使用しない。必要に応じレジュメを配布する。
また DVD などの映像を使用する。

▌参考書

『仕事も人間関係もうまくいく ANA の気づかい』ANA ビジネスソリューション (2015)
『さすが！ といわせる大人のマナー講座』日本マナー・プロトコール協会（2018）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の流れと学ぶ目的、課題の取り組み方、評価について確認する。 事前学修 2.0hr：シラバスに目を通し自分なりの授業のゴールを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
2回	**授業テーマ：航空業界で求められる人材像** 授業内容：自己分析シート、グループでの他己分析などを通し自分のことを言語化する。 事前学修 2.0hr：自分の長所、短所について考え自己紹介文を考える。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
3回	**授業テーマ：業界・企業研究** 授業内容：業界の知識と航空業界の企業群についてグループワークで学ぶ。 事前学修 2.0hr：日本の航空会社について HP を参照し情報を集めておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
4回	**授業テーマ：フライトアテンダント職種研究** 授業内容：客室乗務員の業務について学び、対応事例などをグループで検討する。 事前学修 2.0hr：フライトアテンダントの業務について調べてくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
5回	**授業テーマ：グランドスタッフ職種研究** 授業内容：グランドスタッフの業務について学び、対応事例などをグループで検討する。 事前学修 2.0hr：グランドスタッフの業務について調べてくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
6回	**授業テーマ：お客様対応事例研究** 授業内容：動画視聴を行い客室乗務員・グランドスタッフのお客様対応についてグループ検討を行う。 事前学修 2.0hr：フライトアテンダントの業務について復習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
7回	**授業テーマ：ホスピタリティ業界から学ぶ好印象を与える【第一印象と活舌】** 授業内容：フロントラインに立つスタッフの印象について学び、自分の印象について考える。また機内アナウンスを事例にあげ活舌の実践練習を行う。 事前学修 2.0hr：自分の第一印象を考えておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、表情のトレーニングを行う。振り返りシートの作成。
8回	**授業テーマ：フライトアテンダントの振る舞いから学ぶ【美しい立居振舞い】** 授業内容：フロントラインに立つスタッフの振る舞いについて学び、実践練習を行う。 事前学修 2.0hr：お辞儀について意味や歴史を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、立居振舞いのトレーニングを行う。振り返りシートの作成。

9回	**授業テーマ：接遇用語を学ぶ【美しい日本語】** 授業内容：フロントラインに立つスタッフの接遇用語について学び、実践練習を行う。 事前学修 2.0hr：接遇とは何か、言葉の意味を調べ自分の見解をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、敬語のトレーニングを行う。振り返りシートの作成。
10回	**授業テーマ：お客様に安心、共感を与えるための【コミュニケーション力：聴く力】** 授業内容：ペアワークを通してホスピタリティ業界で必要とされる【傾聴】とは何か、を体感する。 事前学修 2.0hr：コミュニケーション力はどのような場面で必要とされるか考えておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
11回	**授業テーマ：お客様と対等に会話をするための【コミュニケーション力：伝える力】** 授業内容：ペアワークを通して社会人として必要とされる説明力を学ぶ。 事前学修 2.0hr：自身のミスコミュニケーションの経験をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
12回	**授業テーマ：茶の湯からおもてなしを学ぶ【日本文化理解】** 授業内容：千利休の事例より、日本のおもてなし文化を学ぶ。 事前学修 2.0hr：ニュースなどから興味のあるおもてなしについて調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
13回	**授業テーマ：国際的に活躍するための【異文化コミュニケーション】** 授業内容：マナー・プロトコールの観点から、国際社会で求められるマナーとルールがあることを学ぶ。 事前学修 2.0hr：これまでの異文化経験をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
14回	**授業テーマ：プレゼンテーションスキル** 授業内容：グループプレゼンテーションの実施に向けて、準備を行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの内容についてまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
15回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：グループでプレゼンテーションの発表を行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの内容作成と自己練習。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションの振り返り。

ホスピタリティ論Ⅰ (ホスピタリティ基礎・マナー演習)

開講学科等：日英中経不 ｜ 2年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：ＡＮＡツーリズム・ホスピタリティプログラム

大嵜　史眞子（おおさき　しまこ）

▌授業の概要

本授業は、ANA 総合研究所が航空事業をはじめとする実務の中で培ってきた「ホスピタリティ」に関する知見を基盤とし、ホスピタリティの概念について多角的な視点から考察することを目的とする。サービス産業にとどまらず、日常生活や将来の職業生活において必要とされる対人コミュニケーション能力および相互理解力の向上を目指す。

また、就職活動および社会人生活を見据え、「ホスピタリティの概念」を基礎に据えたマナー演習を通じて、社会人として求められる基礎的な能力の育成を図る。授業はエアライン業界のみならず、ホスピタリティ業界全般の事例を用いて、ディスカッション、グループワーク等の実践的な手法で進める。

なお、本講座は ANA 総合研究所の企業人講師が担当する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ◎/M3 ◎）

一般目標：・ホスピタリティの意味とその役割を理解することができる。
・ホスピタリティが生み出す価値の重要性を理解することができる。
・ホスピタリティの発揮に必要なスキルを身につけることができる。
・ホスピタリティに関する自らの見解を形成することができる。

個別目標：・ホスピタリティの価値を理解した上で、「ホスピタリティとは何か」について自分の言葉で表現することができる。
・ホスピタリティの発揮に向けて具体的な行動を示すことができる。

▌履修条件

・ホスピタリティに興味・関心を持つ学生。
・ホスピタリティ産業への就職を希望する学生。
・ホスピタリティマインドを持ち合わせた社会人として活躍したい学生。

▌評価基準・方法

・各回の課題(小テスト・レポート・プレゼンテーションなど）40 %
・前期試験 50%
・参加姿勢及び授業内での発言内容など 10 %

以上を総合的に判断し評価する。

また、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは、各回の授業内において、あるいは学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・グループワーク・振り返りシート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba 上の資料閲覧、レスポンス入力、小テストおよび各種課題の実施のため）

▌教科書

使用しない。必要に応じレジュメを配布する。

▌参考書

なし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：本授業の目的、全体構成、学修方法、課題の取り組み方および成績評価方法について説明する。 事前学修 2.0hr：全 15 回の授業内容を確認し、航空業界およびホスピタリティ産業に対する関心を高める。 事後学修 2.0hr：本授業を通じて身につける姿勢や能力について考える。
2回	**授業テーマ：ホスピタリティの原義** 授業内容：ホスピタリティの原義を確認し、「サービス」との違いからホスピタリティの本質を理解する。 事前学修 2.0hr：「ホスピタリティ」という言葉の意味や由来について調べる。 事後学修 2.0hr：学修した概念を日常生活や身近なサービス体験と結び付けて振り返る。
3回	**授業テーマ：ホスピタリティと文化Ⅰ(ホスピタリティの表出)** 授業内容：文化の違いによるホスピタリティの表れ方について、参考事例をもとに考察する。 事前学修 2.0hr：ホスピタリティやサービスに関連する文化的差異の事例を調べる。 事後学修 2.0hr：学修内容を多文化環境でのコミュニケーションの視点から整理する。
4回	**授業テーマ：ホスピタリティと文化 Ⅱ(日本のホスピタリティの源泉)** 授業内容：「茶の湯」に見られる日本のホスピタリティの精神性から、「相手を思う心」の源泉を考察する。 事前学修 2.0hr：「茶道の心得」について調べ、日本文化の特徴を整理する。 事後学修 2.0hr：日本的ホスピタリティが現代のサービスにどのように活かされているかを考える。
5回	**授業テーマ：ホスピタリティと産業Ⅰ(産業構造の変化とホスピタリティ)** 授業内容：日本の産業構造の変化を踏まえ、ホスピタリティ産業が果たす役割と社会的意義について学ぶ。 事前学修 2.0hr：「日本標準産業分類」におけるホスピタリティ関連業種を確認する。 事後学修 2.0hr：航空・観光産業と自身の将来像との関係について考える。
6回	**授業テーマ：ホスピタリティと産業 Ⅱ(ホスピタリティ企業の研究)** 授業内容：ホスピタリティ企業で実践されているホスピタリティの取り組みを調査研究し、発表する。 事前学修 2.0hr：企業が実践するホスピタリティの具体的事例について調べる。 事後学修 2.0hr：発表内容を振り返り、ANA のサービス理念との共通点や特徴を整理する。
7回	**授業テーマ：ホスピタリティとコミュニケーションⅠ(コミュニケーション能力とは)** 授業内容：コミュニケーション能力の重要性を理解し、実践的なワークを行う。 事前学修 2.0hr：自身のコミュニケーションの特徴について振り返る。 事後学修 2.0hr：相手視点を意識した伝え方を日常生活で実践する。
8回	**授業テーマ：ホスピタリティとコミュニケーションⅡ(コンテクストとは)** 授業内容：航空業界の現場で見られる事例を参考に、コンテクストの重要性について学ぶ。 事前学修 2.0hr：コンテクストの意味を調べる。 事後学修 2.0hr：場面に応じた対応の在り方について具体例とともに整理する。

9回	**授業テーマ：ホスピタリティとコミュニケーションⅢ(チームワークを発揮する)** 授業内容：組織の中でホスピタリティを発揮するための協働のあり方について、ワークを通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：チームワークを発揮した自身の経験を整理する。 事後学修 2.0hr：組織の一員としての役割意識について考える。
10回	**授業テーマ：ホスピタリティとコミュニケーションⅣ(マナー①　挨拶・身だしなみ・敬語)** 授業内容：航空業界で求められる接遇を参考に、社会人として必要な基本的マナーについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：マナーや敬語についての疑問点や不明な点をまとめる。 事後学修 2.0hr：学修した内容について日常生活の中で実践し、理解を深める。
11回	**授業テーマ：ホスピタリティとコミュニケーションⅤ(マナー②　ビジネスメールの基本)** 授業内容：一般企業における実務を想定し、適切なビジネスメールの書き方とマナーを学ぶ。 事前学修 2.0hr：ビジネスマナーについての疑問点や不明な点をまとめる。 事後学修 2.0hr：学修した内容について日常生活の中で実践し、理解を深める。
12回	**授業テーマ：ホスピタリティとコミュニケーションⅥ(マナー③　電話応対)** 授業内容：航空業界の顧客対応を例に、電話応対の基本とホスピタリティを意識した対応について学ぶ。 事前学修 2.0hr：電話応対や電話マナーについての疑問点や不明な点をまとめる。 事後学修 2.0hr：学修した内容について日常生活の中で実践し、理解を深める。
13回	**授業テーマ：ユニバーサルサービスⅠ(ユニバーサルサービスの概要と意義)** 授業内容：ユニバーサルサービスの概要と取り組む意義、サービスを必要とする人々について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ユニバーサルサービスという言葉の意味を調べる。 事後学修 2.0hr：多様な利用者の視点からサービスを考える。
14回	**授業テーマ：ユニバーサルサービスⅡ(ユニバーサルサービス実践のための考え方)** 授業内容：ユニバーサルサービス実践のための具体的な行動と考え方についてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：ユニバーサルサービスの具体的な実践方法について見解をまとめる。 事後学修 2.0hr：学修した内容について日常生活の中で実践し、理解を深める。
15回	**授業テーマ：これまでのまとめ(前期試験)** 授業内容：前期授業全体を振り返り、学修したホスピタリティの考え方を踏まえた上で試験を実施する。 事前学修 2.0hr：これまでの授業内容を総合的に復習する。 事後学修 2.0hr：学修したホスピタリティマインドを将来どのように活かすかについて整理する。

ホスピタリティ論Ⅱ (ホスピタリティと産業)

開講学科等：日英中経不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：ＡＮＡツーリズム・ホスピタリティプログラム

井元　千穂 (いのもと　ちほ)

▌授業の概要

取り巻く環境の変化が激しい現代において、企業によるホスピタリティの発揮は顧客満足度向上にとどまらず、組織内の信頼関係構築や自身のやりがいにも直結することが認識されつつある。
本講義では、「産業や企業のホスピタリティに焦点を当て、ホスピタリティが生み出す価値と影響について理解する」と「企業は組織体として何を捉まえて、消費者にどう伝えるのかを考察する」をテーマに、エアライン、ホテル、テーマパーク、デパート等、認知度の高いホスピタリティ産業を取り上げ、ケーススタディ、グループワーク、ディスカッションを通じて、ホスピタリティとは何かを自分自身で定義する。
なお、本講座は ＡＮＡ 総合研究所の企業講師が担当する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ◎/M3 ◎）

一般目標：・ホスピタリティの意味を理解できる。
・各企業がホスピタリティをどのように捉え、発揮しているかを知る。
・企業活動で求められるホスピタリティを理解し、考え、立案できる。
個別目標：・ホスピタリティ産業について自ら意見を発信することができる。
・ホスピタリティ産業について、グループディスカッションができる。
・集めた情報を精査した上で、自身の考えと併せて発言できる

▌履修条件

・ホスピタリティに興味・関心を持つ学生
・ホスピタリティ産業への就職を希望する学生
・グループワークやディスカッションに積極的に参加できる学生

▌評価基準・方法

・授業、グループワークへの参加姿勢 30%
・最終プレゼンテーション　30%
・事前課題の提出　20%
・レポート　20%
以上を総合的に判断し評価する。5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、各回の授業において行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション・プレゼンテーション・レポート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーションの作成）

▌教科書

使用しない。必要に応じレジュメ、ワークシートを配布する。
DVD などの映像を使用する。

▌参考書

必要に応じ、適宜授業の中で紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の流れと学ぶ目的、課題の取り組み方、評価について確認する。 事前学修 2.0hr：全 15 回の授業内容について確認する。 事後学修 2.0hr：授業で学ぶ内容、自身の興味のある業界・企業について考える。
2回	**授業テーマ：ホスピタリティ産業とは** 授業内容：ホスピタリティとサービスの違いを理解し、ホスピタリティ産業について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ホスピタリティとは何か、自分の見解をまとめておく。 事後学修 2.0hr：ホスピタリティのあり方について実社会の中で実践、理解する。
3回	**授業テーマ：ホスピタリティ産業における商品価値** 授業内容：ホスピタリティ産業の特徴を学び、ホスピタリティ産業における商品価値を考える。 事前学修 2.0hr：商品価値、付加価値について、調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自分の意見をまとめる。
4回	**授業テーマ：企業における顧客満足度と従業員満足度** 授業内容：ホスピタリティ産業における顧客満足度と従業員満足度について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ＣＳ、ＥＳとは何か、調べておく。 事後学修 2.0hr：ＣＳ、ＥＳについて自分の体験や経験から考える。
5回	**授業テーマ：ホスピタリティを発揮する組織とは** 授業内容：ホスピタリティ産業で活躍するために必要なことは何か、自分の学生生活を例に考える。 事前学修 2.0hr：ホスピタリティが高いと思う企業を調べておく。 事後学修 2.0hr：ホスピタリティを発揮するために学生生活の中で取り組むことを考える。
6回	**授業テーマ：1 杯のコーヒーから考える～ホスピタリティの比較①～** 授業内容：目に見えないホスピタリティは比較できるのか、グループワークで意見交換する。 事前学修 2.0hr：普段自分が利用するカフェについてまとめておく。 事後学修 2.0hr：ホスピタリティの比較について、自分の考えをまとめる。
7回	**授業テーマ：1 杯のコーヒーから考える～ホスピタリティの比較②～** 授業内容：事例をもとにグループでホスピタリティの比較検討を行う。 事前学修 2.0hr：グループワークに向けて情報を収集する。 事後学修 2.0hr：グループワークを振り返り、自分の考えをまとめる。
8回	**授業テーマ：ホスピタリティが評価される企業とは** 授業内容：ホスピタリティ産業における企業価値について、学ぶ。 事前学修 2.0hr：興味のある企業が取り組んでいる SDGs について調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自分の意見をまとめる。

9回	**授業テーマ：中間プレゼンテーション** 授業内容：これまで学んだ内容を踏まえて、興味のある企業のホスピタリティについて発表する。 事前学修 2.0hr：興味のある企業が発揮するホスピタリティについて調べる。 事後学修 2.0hr：中間プレゼンテーションの振り返りを行う。
10回	**授業テーマ：事例研究【ホテル】** 授業内容：ホテルの事例を挙げて、顧客満足度についてグループディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：日本のホテル業界について気になるトピックスを調べてくる。 事後学修 2.0hr：事例の顧客満足度について自分の意見をまとめる。
11回	**授業テーマ：事例研究【レストラン】** 授業内容：レストランの事例を挙げて、商品価値についてグループディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：興味のある飲食店について気になるホスピタリティ関連のトピックスを調べてくる。 事後学修 2.0hr：事例の付加価値について自分の意見をまとめる。
12回	**授業テーマ：事例研究【旅行】** 授業内容：旅行業界の事例を挙げて、顧客満足度についてグループディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：日本の旅行業界について気になるトピックスを調べてくる。 事後学修 2.0hr：事例の顧客満足度の比較について自分意見をまとめる。
13回	**授業テーマ：事例研究【百貨店】** 授業内容：百貨店の事例を挙げて、ホスピタリティの発揮についてグループディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：日本の百貨店業界について気になるトピックスを調べてくる。 事後学修 2.0hr：事例のホスピタリティの発揮について自分の意見をまとめる。
14回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：中間プレゼンテーションのフィードバックを活かし、最終プレゼンテーションを行う。 事前学修 2.0hr：興味のある企業のホスピタリティについて調査、プレゼンテーション資料作成を行う。グループで意見をまとめておく。 事後学修 2.0hr：これまでの授業内容について振り返る。
15回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：中間プレゼンテーションのフィードバックを活かし、最終プレゼンテーションを行う。 事前学修 2.0hr：今までの授業内容を復習する、最終プレゼンテーション作成。 事後学修 2.0hr：グループワーク、発表について振り返る。

ビジネスコミュニケーション A・B

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：集中 ｜ 備考：ビジネスコミュニケーションプログラム

豊田　順子（とよだ　じゅんこ）

▌授業の概要

社会人に求められる資質として、コミュニケーション能力はどんな場面においても、人間関係を構築する必要不可欠な能力です。とりわけビジネスにおいては、自身の持つ積極性・責任感を相手に理解してもらい、職場に合った対応力を発揮することで未来を切り拓くことにつながります。この集中プログラムでは、コミュニケーションを理論と実践の面から学び、将来ビジネスで活かしていく基礎力を身につけます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：今まで意識してこなかったコミュニケーションの様々な意味を多角的視点から理解し、個々の能力を改善することによって、就職活動で実践できる力を身につける。

個別目標：ビジネスにおける良いマナーを認識し、自らの課題を客観的に受けとめ、相手に好印象を与える自分自身の表現力を身につける。

▌履修条件

学事課（教務担当）で各自履修申請を行う。学事課（教務担当）の指示に従ってください。
また、1 クラス 10 名以内とし、受講生は先着順とします。

▌評価基準・方法

評価は S・A・B・C の評価ではなく N（認定）の判定とし、担当教員が下記の基準で判断します。
無遅刻、無欠席で受講した場合のみ単位を認定します。

▌フィードバック方法

各授業・最終講義内でコメントを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （他の学生の前で、自己紹介などのスピーチを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （但し、スマートフォンでの録画を行う。）

▌教科書

使用しません。

▌参考書

必要に応じ、授業内で案内します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

第 1 回：コミュニケーション・リテラシー（1）自己紹介
第 2 回：コミュニケーション・リテラシー（2）自己分析
第 3 回：ビジネス・スピーチの基本（1）呼吸法・発声
第 4 回：ビジネス・スピーチの基本（2）発音・滑舌
第 5 回：ビジネス・コミュニケーション（1）正しい敬語表現
第 6 回：ビジネス・コミュニケーション（2）メールの書き方・電話対応の基本
第 7 回：プレゼンテーション演習（1）総合演習
第 8 回：プレゼンテーション演習（2）総合演習

授業内容

第 1 回：現状の自己紹介を客観的に観察し、心理学的理論から第一印象に影響する改善点を発見する。
第 2 回：就職活動・ビジネスシーンにおける自己表現の取り組みを考える。「ガクチカ」と「自己 PR」をいかに表現して、社会人としての自分の可能性をアピールしていくかなどの方法を理解する。
第 3 回：他者とのコミュニケーションにおいて、自分の身体を意識的かつ有効に使うことの重要性を学ぶ。
第 4 回：他者とのコミュニケーションにおいて、身体的な「伝え方」を認識し、意識改革を図る。
第 5 回：日本語の正しい敬語表現を理論的に理解する。
第 6 回：ビジネスにおけるメールのやり取りや、電話での話し方の基本を学ぶ。
第 7 回：模擬面接を実施し（ビデオ撮影）、自分の印象を客観的に確認し、将来の自分の面接に活かすための改善点を認識する。
第 8 回：模擬面接を実施し（ビデオ撮影）、自分の印象を客観的に確認し、将来の自分の面接に活かすための改善点を認識する。

事前学修

第 1・2 回事前学習　2.0hr：1 分間の「自己紹介」で口頭表現できるよう準備しておく。
第 3・4 回事前学習　2.0hr：1 分間の「自己 PR」を口頭表現できるよう準備しておく。
第 5・6 回事前学習　2.0hr：1 分間の「自分が将来なりたい姿」を口頭表現できるよう準備しておく。
第 7・8 回事前学習　2.0hr：模擬面接でどんな質問を投げかけられるかを予想し、自分自身の意見を自らの言葉で表現できるよう準備しておく。

事後学修

第 1 回・第 2 回事後学習　2.0hr：自分の強みを言語化し、常に様々なアピールポイントを表現する応用力を身につける。
第 3 回・第 4 回事後学習　2.0hr：日常生活における自分の話し方を客観的に意識し続ける。
第 5 回・第 6 回事後学習　2.0hr：自分より立場が上の人との言葉遣いを意識し、積極的に学習した内容を実践していく。
第 7 回・第 8 回事後学習　2.0hr：自分自身のプレゼンテーション能力について反省点を整理し、実際の就職活動開始までに、何度もシミュレーションを重ねる。

資本市場の役割と証券投資

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）

廣部　恒忠（ひろべ　つねただ）

▌授業の概要

野村證券株式会社派遣講師が本授業を通じ、資本市場と証券投資に関する知識を与えている。
少子高齢化や人口減少などの人口動態の変化、「金利のある世界」への移行、成年年齢の引き下げなど我々の日常生活を取り巻く環境が著しく変化している中、自己責任の原則の下、一般生活者・消費者或いは貯蓄・投資者として賢くふるまうためには、ファイナンスに関する実践的な知識が必要不可欠となってきている。このような社会情勢等を鑑み、明海大学と野村證券株式会社が、活力ある社会と経済を形成していくための人材を育成する社会的使命を共有しつつ、広く人類・社会のより豊かな発展に寄与するため、「野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）」を開設し、資本市場と証券投資に関して実践的に学んでいくものである。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：・経済ニュースがわかるようになる。
・自分で投資できる力が身につく。
・社会人基礎力が身につく。

個別目標：・リスクとリターンの関係がわかる。　・証券投資におけるリスクを理解できる。
・債券と株式における違いを理解できる。　・投資信託の種類がわかる。

▌履修条件

金融業界に興味のある者。1 クラス 50 名以内とし、これを超える場合は成績等を勘案し選抜する。事前の産学連携教育プログラムガイダンスに出席し、履修すること。

▌評価基準・方法

授業への取り組み（40 %）及び参加態度（60 %）に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

授業中に適宜、或いは manaba を通じて実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし

▌参考書

「新・入門証券論」榊原茂樹、城下賢吾、岡村秀夫、山口聖、月岡靖智、北島孝博著／有斐閣コンパクト

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：ガイダンス 事前学修 2.0hr：シラバスを読んでおくこと 事後学修 2.0hr：第 1 回目授業の復習
2 回	**授業テーマ：経済情報の捉え方** 授業内容：様々な経済情報を通じて、どのように「経済」というものが成り立っているのかを理解していく。企業、家計、国、海外と各項目に分けることによってその関連性を確認し、経済情報の捉え方を学習する。 事前学修 2.0hr：経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 2 回目授業の復習
3 回	**授業テーマ：金融資本市場の役割とその変化** 授業内容：金融市場への理解を深める意味で、金融の仕組み、我が国の資金循環の状況、経済と関連した最近の構造的変化などを解説し、今後の展望を交えながら金融市場の役割を学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 3 回目授業の復習
4 回	**授業テーマ：債券市場の役割と投資の考え方 (基礎編)** 授業内容：債券の基本、債券と株式の違い、債券と預金の違い、債券の種類について学習する。また、債券投資のリスク、利率と利回りの違い、利回り計算の具体例を示し、計算問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 4 回目授業の復習
5 回	**授業テーマ：債券市場の役割と投資の考え方 (応用編)** 授業内容：債券価格（＝金利）の変動と景気・政策・需給などとの関連について理解を深める。また、債券投資に伴う投資リスクについても学習し、グローバルな債券投資についても学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 5 回目授業の復習
6 回	**授業テーマ：外国為替相場とその変動要因** 授業内容：外国為替に関する基本的な用語、メカニズムを学び、経済の動きとの関連に関し学習することにより、日本経済と世界経済との連動に対する理解を深める。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 6 回目授業の復習
7 回	**授業テーマ：リスク・リターンとポートフォリオ分析」** 授業内容：「投資とは」、「リスクとは」、「リターンとは」という基礎知識について学習した後、リスクコントロールの基本的な考え方とその具体的な手法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 7 回目授業の復習
8 回	**授業テーマ：株式市場の役割と投資の考え方 (基礎編)** 授業内容：株式の誕生からその意義、原則などの基礎知識と、株式投資の魅力や株式市場について学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 8 回目授業の復習

9回	**授業テーマ：株式市場の役割と投資の考え方 (応用編)** 授業内容：株価の分析、評価方法を踏まえた銘柄選択の考え方などについて理解を深める。また、投資情報として投資に関するレポートなどを紹介する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 9 回目授業の復習
10回	**授業テーマ：投資信託の役割とその仕組み** 授業内容：「投資信託」という言葉の意味から、特徴、仕組みなどについて学習する。また、投資信託の選び方や最近注目されている投資信託についても、具体的に学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 10 回目授業の復習
11回	**授業テーマ：行動ファイナンス～投資家心理について** 授業内容：証券投資を行なう際の心構えとして、私たちの投資判断に影響を与える様々な心理的バイアスについて理解するとともに、その具体例を通して対処法と投資行動への応用法や「行動ファイナンス」の基本を学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 11 回目授業の復習
12回	**授業テーマ：ライフプランと資産形成** 授業内容：なぜライフプランが必要なのか、充実した将来のために必要な「ライフプラン」についての考え方を学習する。将来に予想される環境の理解と、私たちの暮らしに影響を与える年金制度改革の概要についても学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 12 回目授業の復習
13回	**授業テーマ：公的年金制度について** 授業内容：公的年金制度の仕組みや制度を詳しく学ぶ。年金制度を取り巻く変化や、改正への動きも把握し、自助努力の必要性を理解する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 13 回目授業の復習
14回	**授業テーマ：確定拠出年金について** 授業内容：確定拠出年金の仕組み、企業型と個人型の違いや税制のメリットとその効果等を具体的な運用商品の例も含めて学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 14 回目授業の復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：まとめ 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 1～15 回目授業の復習

はじめての起業講座(Start up Basics)

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：浦安商工会議所起業プログラム(寄附講座)

飯田　信一（いいだ　のぶかず）

▌授業の概要

本授業は、「起業は楽しい、ハードルが低い」というコンセプトのもと、起業を特別な人だけのものではなく、身近な選択肢の一つとして捉え直すことを目的とする。講義だけでなく、創業者の実体験に基づく講演、ワークショップ、グループワーク、プレゼンテーションを中心に構成し、学生自身が社会課題や身近な違和感を出発点としてビジネスアイデアを考え、事業計画として形にすることを目指す。講師陣は浦安商工会議所推薦の、起業に精通した、税理士、中小企業診断士、コンサルタント、起業家、金融機関担当者等の実務家であり、それぞれの実務経験を活かした実践的な内容を学ぶことができる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：①起業・創業の基本的な考え方と心構えを理解する
②社会課題や自身の経験をもとにビジネスアイデアを構想できる
③マーケティング(3C・SWOT・STP 等)の基礎を実践的に使える
④資金調達や収支計画の基本構造を理解する

個別目標：学生が自ら考案したビジネスアイデアについて、事業計画書を作成し、発表できるレベルに到達することをゴールとする。

▌履修条件

２年生以上、起業に関心がある者。履修生は２４名以内とし、これを超える場合は成績等を勘案し選抜する。事前の産学連携教育プログラムガイダンスに出席すること。

▌評価基準・方法

グループワークでの取組み・参加姿勢（３０%）、授業課題の提出（３０%）、事業計画作成・発表（４０%）に基づき総合的に評価する。
なお、原則無欠席者のみ評価対象とする。

▌フィードバック方法

授業中に適宜実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼン資料作成、事業計画書作成など）

▌教科書

特になし

▌参考書

授業中適宜指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：起業とは何か** 授業内容：起業の定義、日本における起業の現状を整理。「起業＝特別な才能が必要」という固定観念を問い直し、小さく始める起業など多様なスタイルを紹介する。 事前学修 2.0hr：起業に対する自らの思い、志の整理 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
2回	**授業テーマ：起業者講演会①** 授業内容：地元・浦安で実際に起業した経営者 2 名による講演。起業のきっかけ、初期の苦労、失敗談、現在に至るまでのプロセスを通じて、リアルな起業像を学ぶ。 事前学修 2.0hr：起業者の事業内容の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
3回	**授業テーマ：起業者講演会②** 授業内容：地元・浦安で実際に起業した経営者 2 名による講演。起業のきっかけ、初期の苦労、失敗談、現在に至るまでのプロセスを通じて、リアルな起業像を学ぶ。 事前学修 2.0hr：起業者の事業内容の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
4回	**授業テーマ：社会課題をテーマとした起業** 授業内容：社会課題解決型ビジネス(ソーシャルビジネス)の考え方を学ぶ。地域活性化(千葉県内)など身近な社会課題をビジネスに結びつける視点を具体的事例を通じて学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
5回	**授業テーマ：自己分析とビジネスアイデアの整理** 授業内容：自身の経験・強み・関心を棚卸し整理し、ビジネスアイデアの種を洗い出す。 事前学修 2.0hr：自己分析、ビジネスアイデア整理の準備作業 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
6回	**授業テーマ：ビジネスアイデアの整理、深堀り** 授業内容：前回で抽出したアイデアをもとに、誰のどんな課題を解決するのかを明確化する。グループワークを通じてアイデアのブラッシュアップを行う。 事前学修 2.0hr：ビジネスアイデアの整理、精査 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
7回	**授業テーマ：マーケティング基礎(戦略・3C・SWOT)** 授業内容：マーケティングの基本的な考え方を学ぶ。戦略概念、3C 分析、SWOT 分析を用いてビジネスアイデアを分析する演習を行う。 事前学修 2.0hr：授業の予習、課題準備 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
8回	**授業テーマ：マーケティング(STP)** 授業内容：STP（セグメンテーション・ターゲティング・ポジショニング)の考え方を学び、演習を行う。 事前学修 2.0hr：授業の予習、課題準備 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習

9回	**授業テーマ：マーケティング(集客・愛顧化)** 授業内容：集客方法や顧客との関係構築(リピート・愛顧化)について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業の予習、課題準備 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
10回	**授業テーマ：マーケティング分析** 授業内容：履修生が自身のビジネスアイデアについてマーケティング分析を行い、発表する(グループワーク)。 事前学修 2.0hr：授業の予習、課題準備 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
11回	**授業テーマ：資金調達(クラウドファンディング)** 授業内容：資金調達の基礎と、クラウドファンディングの仕組みを具体的事例を通じて学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業の予習、課題準備 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
12回	**授業テーマ：資金調達・収支計画の立て方** 授業内容：事業の「お金の流れ」を理解し、収益・費用構造、簡単な収支計画の立て方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業の予習、課題準備 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
13回	**授業テーマ：事業計画書の作成** 授業内容：実現可能性や一貫性を意識しながら、学習内容を整理・統合し、事業計画書を作成する。 事前学修 2.0hr：事業計画書案の作成 事後学修 2.0hr：事業計画書案の見直し、精査
14回	**授業テーマ：事業計画書プレゼンテーション①** 授業内容：履修生によるグループ毎の事業計画書の最終プレゼンテーション(前半)。外部講師からの講評を通じて、実践的な視点を得る。 事前学修 2.0hr：事業計画書の作成、精査 事後学修 2.0hr：講評に基づいた事業計画書の修正、精査
15回	**授業テーマ：事業計画書プレゼンテーション②、まとめ** 授業内容：履修生によるグループ毎の事業計画書の最終プレゼンテーション(後半)。外部講師からの講評を通じて、実践的な視点を得る。授業全体の振り返りを行い、起業を「将来の選択肢」として捉え直す。 事前学修 2.0hr：事業計画書の作成、精査 事後学修 2.0hr：講評に基づいた事業計画書の修正、精査

アカデミック日本語 I

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス

富樫　里真（とがし　りま）

▌授業の概要

アカデミック日本語では、大学での授業の理解および課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語 I の内容は「文法」である。専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテクストの主要な内容を理解するために重要な文法・表現を学習する。授業外には事前学修、事後学修、課題に取り組み、授業内では毎回小テストがある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：大学の授業で使う文法的表現の意味・機能・文法などの規則を、正しく理解して、適切な場面で正しく使うことができる。
自分の文法能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習能力を育てる。

個別目標：(1) 一文レベル、談話レベルで文法的表現を正しく理解できる。
(2) それぞれの文法的表現がどのような場面で使われているかを理解し、一文レベル、および談話レベルで正しく使うことができる。
(3) オンラインリソースを活用し、それぞれの文法的表現がどのような場面でよく使われているか説明することができる。
(4) 自分の文法能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生で N2 を取得している。
課題の提出期限を守る。
manaba による連絡を確認する。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、講座 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークを実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

福島佐知、友松悦子、中村かおり『新完全マスター文法 N1』スリーエーネットワーク

▌参考書

『新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、時間関係** 授業内容：授業の概要、目的、学習の進め方、評価に関する説明を聞き、理解する。その後、事前テストを受ける。時間関係を表す文法表現「～が早いか」「～や否や」「～なり」「そばから」「てからというもの (は)」「～にあって」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 1 を練習する。	16回	**授業テーマ：結末・最終の状態、前学期の復習** 授業内容：結末・最終の状態を表す表現「～に至って」「～に至っては」「～始末だ」「～っぱなしだ」を練習する。第１回から第１５回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 16 を練習する。
2回	**授業テーマ：範囲の始まり・限度** 授業内容：範囲の始まり・限度を表す文法表現「～を皮切りに(して)」「～に至るまで」「～を限りに」「～をもって」「～といったところだ」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 2 を練習する。	17回	**授業テーマ：強調** 授業内容：強調を表す表現「～たりとも～ない」「～すら」「～だに」「～にして」「～あっての」「～からある」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 17 を練習する。
3回	**授業テーマ：限定・非限定・付加** 授業内容：限定・非限定・付加を表す文法表現「～をおいて」「～ならでは」「～にとどまらず」「～はおろか」「～もさることながら」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 3 を練習する。	18回	**授業テーマ：主張・断定** 授業内容：主張・断定を表す表現「～までもない」「～までだ」「～ばそれまでだ」「～には当たらない」「～でなくてなんだろう(か)」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 18 を練習する。
4回	**授業テーマ：例示** 授業内容：例示を表す文法表現「～なり～なり」「～であれ～であれ」「～といい～といい」「～といわず～といわず」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 4 を練習する。	19回	**授業テーマ：評価・感想** 授業内容：評価・感想を表す表現「～に足る」「～に堪える」「～といったらない」「～かぎりだ」「～極まる／極まりない」「～とは」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 19 を練習する。
5回	**授業テーマ：関連・無関係** 授業内容：関連・無関係を表す文法表現「～いかんだ」「～いかんにかかわらず」「～をものともせず(に)」「～をよそに」「～ならいざしらず」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 5 を練習する。	20回	**授業テーマ：心情・強制的思い** 授業内容：心情・強制的思いを表す表現「～てやまない」「～に堪えない」「～ないではすまない」「～ないではおかない」「～禁じ得ない」「～余儀なくされる」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 20 を練習する。
6回	**授業テーマ：様子** 授業内容：様子を表す文法表現「～ばかりだ」「～ばかり(に)」「～ともなく」「～ながらに(して)」「～きらいがある」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 6 を練習する。	21回	**授業テーマ：文の組み立て** 授業内容：文の組み立てルール「後に否定の言い方が来るもの」「疑問詞につくもの」「数字につくもの」、名詞を説明「後に名詞が来るもの」「名詞を説明する形式」「名詞につくもの」「名詞・動詞辞書形につながるもの」「動詞辞書形につながるもの」を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 21 を練習する。
7回	**授業テーマ：付随行動** 授業内容：付随行動を表す文法表現「～がてら」「～かたがた」「～かたわら」を練習する。第１回から第４回の復習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 7 を練習する。	22回	**授業テーマ：時制** 授業内容：時制を表す用法「現在の文の特別な用法」「過去形の文の特別な用法」「動詞のている形の特別な用法」「名詞を説明する文の時制」を整理し、文章の中で使えるよう練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 22 を練習する。

8回	**授業テーマ：逆接** 授業内容：逆接を表す文法表現「～ところを」「～ものを」「～とはいえ」「～といえども」「～と思いきや」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 8 を練習する。	23回	**授業テーマ：条件を表す文** 授業内容：仮定か確定かの判断、反実仮想、前置き表現など条件を表す文法形式を整理し、文章の中で使えるよう練習する。第１回から第２０回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 23 を練習する。
9回	**授業テーマ：条件** 授業内容：条件を表す文法表現「～とあれば」「～たら最後」「～ようでは」「～なしに(は)」「～くらいなら」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 9 を練習する。	24回	**授業テーマ：視点を動かさない手段 1,2** 授業内容：文章にまとまりをもたせ、視点を動かさないようにするための表現「動詞の使い方」「自他動詞の使い分け」を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 24 を練習する。
10回	**授業テーマ：逆接条件** 授業内容：逆接表現「～(よ)うと(も)」「～(よ)うと～まいと」「～であれ」「～たところで」「～ば～で」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 10 を練習する。	25回	**授業テーマ：視点を動かさない手段 3,4** 授業内容：文章にまとまりをもたせ、視点を動かさないようにするための表現「受け身・使役・使役受け身の使い分け」「～てあげる・～てもらう・～てくれるの使い分け」を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 25 を練習する。
11回	**授業テーマ：目的・手段** 授業内容：目的・手段を表す文法表現「～べく」「～んがため(に)」「～をもって」を練習する。第１回～第８回の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 11 を練習する。	26回	**授業テーマ：模擬試験とフィードバック** 授業内容：これまで学習した文法をどの程度理解しているか測定するテストを実施する。その後、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 26 を練習する。
12回	**授業テーマ：原因・理由** 授業内容：原因・理由を表す表現「～ばこそ」「～とあって」「～ではあるまいし」「～手前」「～ゆえ(に)」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 12 を練習する。	27回	**授業テーマ：指示表現「こ・そ・あ」の使い分け、「は・が」の使い分け** 授業内容：文章中に出てくる指示表現の使い分けと「は・が」の使い分けを整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 27 を練習する。
13回	**授業テーマ：可能・不可能・禁止** 授業内容：可能・不可能・禁止を表す表現「～にかたくない」「～に～ない」「～てはいられない」「～べくもない」「～べからず」「～まじき」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 13 を練習する。	28回	**授業テーマ：接続表現** 授業内容：文章の展開を助け、文章のまとまりをもたせる役割をもつ接続表現を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 28 を練習する。
14回	**授業テーマ：話題・評価の基準** 授業内容：話題・評価の基準を表す表現「～ときたら」「～ともなると」「～ともあろう」「～たるもの」「～なりに」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 14 を練習する。	29回	**授業テーマ：省略・繰り返し・言い換え、文体の一貫性、話の流れを考える** 授業内容：文章中の省略、繰り返し、言い換えを理解する。文体の一貫性を保つための表現「硬い表現」「会話で使う表現」を整理し、練習する。話しの進め方にかかわる表現を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 29 を練習する。
15回	**授業テーマ：比較対照、中間テストとフィードバック** 授業内容：比較対照を表す表現「～にひきかえ」「～にもまして」「～ないまでも」を練習する。第１回～第１４回の内容をテストで復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 15 を練習する。	30回	**授業テーマ：最終テストとフィードバック** 授業内容：第１回から第２９回までに学習した内容を最終テストする。その後、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 30 を練習する。

アカデミック日本語 I

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス 2

高柳　奈月（たかやなぎ　なつき）

▌授業の概要

アカデミック日本語では、大学での授業の理解および課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語 I の内容は「文法」である。専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテクストの主要な内容を理解するために重要な文法・表現を学習する。授業外には事前学修、事後学修、課題に取り組み、授業内では毎回小テストがある。

▌到達目標

一般目標：大学の授業で使う文法的表現の意味・機能・文法などの規則を、正しく理解して、適切な場面で正しく使うことができる。
　　自分の文法能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習能力を育てる。

個別目標：(1) 一文レベル、談話レベルで文法的表現を正しく理解できる。
　　(2) それぞれの文法的表現がどのような場面で使われているかを理解し、一文レベル、および談話レベルで正しく使うことができる。
　　(3) オンラインリソースを活用し、それぞれの文法的表現がどのような場面でよく使われているか説明することができる。
　　(4) 自分の文法能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生で N2 相当を対象とする。
課題の提出期限を守る。
manaba による連絡を確認する。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、講座 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークを実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

『文法 Buddy JLPT 日本語能力試験 N2 ―文法からひろげる日本語トレーニング―』The Japan Times

▌参考書

『新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、第１課①～④** 授業内容：授業の概要、目的、学習の進め方、評価に関する説明を聞き、理解する。その後、事前テストを受ける。 事前学修 2.0hr：これまで学習した文法知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	16回	**授業テーマ：第８課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
2回	**授業テーマ：第１課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	17回	**授業テーマ：第 9 課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
3回	**授業テーマ：第２課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	18回	**授業テーマ：第 9 課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
4回	**授業テーマ：第２課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	19回	**授業テーマ：第 10 課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
5回	**授業テーマ：第３課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	20回	**授業テーマ：第 10 課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
6回	**授業テーマ：第３課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	21回	**授業テーマ：第 11 課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
7回	**授業テーマ：第４課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	22回	**授業テーマ：第 11 課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
8回	**授業テーマ：第４課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	23回	**授業テーマ：第 12 課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。

9回	**授業テーマ：第５課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	24回	**授業テーマ：第 12 課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
10回	**授業テーマ：第５課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	25回	**授業テーマ：第 13 課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
11回	**授業テーマ：第６課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	26回	**授業テーマ：第 13 課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
12回	**授業テーマ：第６課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	27回	**授業テーマ：第 14 課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
13回	**授業テーマ：第７課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	28回	**授業テーマ：第 14 課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
14回	**授業テーマ：第７課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	29回	**授業テーマ：第 15 課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
15回	**授業テーマ：第８課①～④、中間テストとフィードバック** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。第１回～第１４回の内容をテストで復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	30回	**授業テーマ：第 15 課⑤～⑧、まとめ・コース全体のふりかえり、最終テストとフィードバック** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。第 1 回～第 29 回の内容をテストで復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。

アカデミック日本語Ⅰ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス（留 H）

髙橋　亜里沙（たかはし　ありさ）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。「アカデミックⅠ」は日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：背景の異なるさまざまな人と一緒に働くことを想定し、社内外の人と担当領域から一般的なものまで幅広い話題について、流暢に、正確に、そして効果的に言葉を用いて、言いたいことを概ね表現できる。その場にふさわしい丁寧さで自然なコミュニケーションをとることができる。

個別目標：(1) 日本語話者を相手に一般的な事柄についてストレスを感じさせることなく流暢に会話することができる。
(2) 日本のビジネスマナー、コミュニケーションスタイルに関する基本的な知識があり、状況に応じた表現を使い分けることができる。
(3) 相手の発言に言葉の内容とは異なる意図が含まれている場合、その意図を概ね理解して的確に対応することができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで、N1 を取得している。
日本語のコミュニケーション能力を客観的に測る資格試験を受験する。
授業への主体的な参加を求める。
課題提出の期限を守る。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、テスト 30%、課題提出 30%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba および対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアおよびグループワークがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon を使用する。）

▌教科書

村野節子・山辺真理子・向山陽子『上級レベル　ロールプレイで学ぶビジネス日本語』スリーエーネットワーク
牧野成一 (監)『PJC 実践日本語コミュニケーション検定ガイドブック』ウィネット出版

▌参考書

JAL アカデミー株式会社『改訂新版 ビジネス日本語用例辞典』アスク
公益財団法人日本電信電話ユーザー協会編『もしもし検定電話対応技能検定３・４級公式問題集』日本経済新聞出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、自己紹介を行う（社内）** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価方法について理解する。そのあと、社内で自己紹介を行う場面の会話を聞いて語彙と表現を学習し、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。 事前学修 2.0hr：ビジネスにおける日本語コミュニケーションにおいて必要な知識をまとめる。 事後学修 2.0hr：自身の日本語ビジネス日本語コミュニケーション能力について客観的に分析し、目標を立てる。	16回	**授業テーマ：私の言い分「私は能力のある人間です」異文化ロールプレイ「自慢話と自己アピール」、前学期の復習** 授業内容：私の言い分「私は能力のある人間です」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「自慢話と自己アピール」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。前学期の復習をする。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。前学期の復習をしておく。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
2回	**授業テーマ：自己紹介を行う（社外）** 授業内容：社外で自己紹介を行う場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開、表現を学習する。PJC の概要を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。PJC について調べる。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	17回	**授業テーマ：私の言い分「お茶くみは誰の仕事？」異文化ロールプレイ「仕事の範囲」、会議・打ち合わせ、面接** 授業内容：私の言い分「お茶くみは誰の仕事？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「仕事の範囲」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。「会議・打ち合わせ、面接」について学習する。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
3回	**授業テーマ：電話を受ける、社会人としての心構え** 授業内容：電話を受ける場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。社会人としての心構えを学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	18回	**授業テーマ：私の言い分「家庭と仕事、どっちが大事？」異文化ロールプレイ「休暇の申請」** 授業内容：私の言い分「家庭と仕事、どっちが大事？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「休暇の申請」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
4回	**授業テーマ：アポイントを取る、人間関係の作り方①コミュニケーションを取る際の留意点、敬語** 授業内容：アポイントを取る場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。コミュニケーションを取る際の留意点、敬語を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	19回	**授業テーマ：私の言い分「会議で使う資料はいつまでに作ればいい？」異文化ロールプレイ「指示の仕方」** 授業内容：私の言い分「会議で使う資料はいつまでに作ればいい？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「指示の仕方」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
5回	**授業テーマ：会議に参加する、人間関係の作り方②効果的な伝え方、話の組み立て方、ビジネスにおける指示の受け方、確認の仕方** 授業内容：会議に参加する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。効果的な伝え方、話の組み立て方、ビジネスにおける指示の受け方、確認の仕方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	20回	**授業テーマ：私の言い分「沈黙は金？」異文化ロールプレイ「ミーティングでの発言」** 授業内容：私の言い分「沈黙は金？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「ミーティングでの発言」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。

6回	**授業テーマ：クレームを受ける、人間関係の作り方③あいづちの打ち方、依頼の断り方、日本文化特有のコミュニケーション** 授業内容：クレームを受ける場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。あいづちの打ち方、依頼の断り方、日本文化特有のコミュニケーションを学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	21回	**授業テーマ：私の言い分「どうして謝らなきゃいけないの？」異文化ロールプレイ「謝罪」** 授業内容：私の言い分「どうして謝らなきゃいけないの？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「謝罪」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
7回	**授業テーマ：クレームを報告する、効率的な仕事の進め方①報告連絡相談、PDCA、仕事の優先順位** 授業内容：クレームを報告する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。報告連絡相談、PDCA、仕事の優先順位を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	22回	**授業テーマ：私の言い分「もう解決したんじゃないの？」異文化ロールプレイ「報告ー解決済みの小さなトラブル」** 授業内容：私の言い分「もう解決したんじゃないの？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「報告ー解決済みの小さなトラブル」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
8回	**授業テーマ：クレームを処理する、効率的な仕事の進め方②来客対応** 授業内容：クレームを処理する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。来客対応を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	23回	**授業テーマ：私の言い分「報連相は大事？」異文化ロールプレイ「報告・連絡・相談」** 授業内容：私の言い分「報連相は大事？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「報告・連絡・相談」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
9回	**授業テーマ：会議で提案する、効率的な仕事の進め方③電話応対** 授業内容：会議で提案する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。電話応対を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	24回	**授業テーマ：私の言い分「情報の共有って？」異文化ロールプレイ「メールでの情報の共有」** 授業内容：私の言い分「情報の共有って？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「メールでの情報の共有」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
10回	**授業テーマ：新規顧客を開拓する、効率的な仕事の進め方④アポイントメント** 授業内容：新規顧客を開拓する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。アポイントメントについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	25回	**授業テーマ：私の言い分「人前で怒るなんて！」異文化ロールプレイ「メンツー人前での叱責」** 授業内容：私の言い分「人前で怒るなんて！」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「メンツー人前での叱責」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
11回	**授業テーマ：新規顧客とアポイントをとる、効率的な仕事の進め方④名刺交換、E メール** 授業内容：新規顧客とアポイントをとる場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。名刺交換、E メールの活用方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	26回	**授業テーマ：私の言い分「目標は高いほうがいいに決まっているじゃない？」異文化ロールプレイ「目標設定と評価」** 授業内容：私の言い分「目標は高いほうがいいに決まっているじゃない？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「目標設定と評価」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
12回	**授業テーマ：商品を売り込む、模擬問題①基礎知識編とフィードバック** 授業内容：商品を売り込む場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。基礎知識の習得を模擬問題で確認する。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	27回	**授業テーマ：私の言い分「能力だけじゃいけないの？」異文化ロールプレイ「同僚の昇進と不満」** 授業内容：私の言い分「能力だけじゃいけないの？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「同僚の昇進と不満」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
13回	**授業テーマ：催促の電話をかける、他社訪問、接遇・接客、クレーム対応** 授業内容：催促の電話をかける場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。他社訪問、接遇・接客、クレーム対応を学習する。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	28回	**授業テーマ：私の言い分「縁故採用のどこが問題？」異文化ロールプレイ「コネ縁故採用」** 授業内容：私の言い分「縁故採用のどこが問題？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「コネ縁故採用」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
14回	**授業テーマ：交渉を進める、模擬問題②事例編とフィードバック** 授業内容：交渉を進める場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。模擬問題②事例編を行い、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	29回	**授業テーマ：私の言い分「残業は当たり前？」異文化ロールプレイ「残業」** 授業内容：私の言い分「残業は当たり前？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「残業」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
15回	**授業テーマ：受注に成功する、中間テストとフィードバック** 授業内容：受注に成功する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。中間テストとフィードバックを受け、学習内容を整理する。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	30回	**授業テーマ：私の言い分「最高の接待はお腹がすくもの？」、最終テストとフィードバック** 授業内容：私の言い分「最高の接待はお腹がすくもの？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：自身の日本語ビジネス日本語コミュニケーション能力について客観的に分析し、１年間の成長をまとめる。

アカデミック日本語Ⅰ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 S)

荷見　美有（はすみ　みゆう）・**範　弘宇**（はん　こうう）・**堀内　貴子**（ほりうち　たかこ）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅰの内容は文法である。専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテクストの主要な内容を理解するために重要な文法・表現を学習する。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：大学の授業で使う文法的表現の意味・機能・文法などの規則を、正しく理解して、適切な場面で正しく使うことができる。
文法的表現がどのような場面でよく使われているか説明することができる。
自分の文法能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習能力を育てる。

個別目標：(1) 一文レベル、談話レベルで文法的表現を正しく理解できる。
(2) それぞれの文法的表現がどのような場面で使われているかを理解し、一文レベル、および談話レベルで正しく使うことができる。
(3) オンラインリソースを活用し、それぞれの文法的表現がどのような場面でよく使われているか説明することができる。
(4) 自分の文法能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで N2 を取得している。
課題の提出期限を守る。
manaba による連絡を確認する。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、講座 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークを実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する(スマートフォン対応可)。）

▌教科書

福島佐知・友松悦子・中村かおり『新完全マスター文法 N1』スリーエーネットワーク

▌参考書

友松悦子・和栗 雅子・宮本 淳『新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、時間関係** 授業内容：授業の概要、目的、学習の進め方、評価に関する説明を聞き、理解する。その後、事前テストを受ける。時間関係を表す文法表現「～が早いか」「～や否や」「～なり」「そばから」「てからというもの(は)」「～にあって」を練習する。 事前学修 2.0hr：これまで学習した文法知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	16回	**授業テーマ：結末・最終の状態** 授業内容：結末・最終の状態を表す表現「～に至って」「～に至っては」「～始末だ」「～っぱなしだ」を練習する。第１回から第１５回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
2回	**授業テーマ：範囲の始まり・限度** 授業内容：範囲の始まり・限度を表す文法表現「～を皮切りに(して)」「～に至るまで」「～を限りに」「～をもって」「～といったところだ」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	17回	**授業テーマ：強調** 授業内容：強調を表す表現「～たりとも～ない」「～すら」「～だに」「～にして」「～あっての」「～からある」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
3回	**授業テーマ：限定・非限定・付加** 授業内容：限定・非限定・付加を表す文法表現「～をおいて」「～ならでは」「～にとどまらず」「～はおろか」「～もさることながら」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	18回	**授業テーマ：主張・断定** 授業内容：主張・断定を表す表現「～までもない」「～までだ」「～ばそれまでだ」「～には当たらない」「～でなくてなんだろう(か)」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
4回	**授業テーマ：例示** 授業内容：例示を表す文法表現「～なり～なり」「～であれ～であれ」「～といい～といい」「～といわず～といわず」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	19回	**授業テーマ：評価・感想** 授業内容：評価・感想を表す表現「～に足る」「～に堪える」「～といったらない」「～かぎりだ」「～極まる／極まりない」「～とは」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
5回	**授業テーマ：関連・無関係** 授業内容：関連・無関係を表す文法表現「～いかんだ」「～いかんにかかわらず」「～をものともせず(に)」「～をよそに」「～ならいざしらず」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	20回	**授業テーマ：心情・強制的思い** 授業内容：心情・強制的思いを表す表現「～てやまない」「～に堪えない」「～ないではすまない」「～ないではおかない」「～禁じ得ない」「～余儀なくされる」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
6回	**授業テーマ：様子** 授業内容：様子を表す文法表現「～ばかりだ」「～ばかり(に)」「～ともなく」「～ながらに(して)」「～きらいがある」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	21回	**授業テーマ：文の組み立て** 授業内容：文の組み立てルール「後に否定の言い方が来るもの」「疑問詞につくもの」「数字につくもの」、名詞を説明「後に名詞が来るもの」「名詞を説明する形式」「名詞につくもの」「名詞・動詞辞書形につながるもの」「動詞辞書形につながるもの」を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

7回	**授業テーマ：付随行動** 授業内容：付随行動を表す文法表現「～がてら」「～かたがた」「～かたわら」を練習する。第１回から第４回の復習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
8回	**授業テーマ：逆接** 授業内容：逆接を表す文法表現「～ところを」「～ものを」「～とはいえ」「～といえども」「～と思いきや」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
9回	**授業テーマ：条件** 授業内容：条件を表す文法表現「～とあれば」「～たら最後」「～ようでは」「～なしに(は)」「～くらいなら」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
10回	**授業テーマ：逆接条件** 授業内容：逆接表現「～(よ)うと(も)」「～(よ)うと～まいと」「～であれ」「～たところで」「～ば～で」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
11回	**授業テーマ：目的・手段** 授業内容：目的・手段を表す文法表現「～べく」「～んがため(に)」「～をもって」を練習する。第１回～第８回の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
12回	**授業テーマ：原因・理由** 授業内容：原因・理由を表す表現「～ばこそ」「～とあって」「～ではあるまいし」「～手前」「～ゆえ(に)」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
13回	**授業テーマ：可能・不可能・禁止** 授業内容：可能・不可能・禁止を表す表現「～にかたくない」「～に～ない」「～て(は)いられない」「べくもない」「～べからず」「～まじき」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
14回	**授業テーマ：話題・評価の基準** 授業内容：話題・評価の基準を表す表現「～ときたら」「～ともなると」「～ともあろう」「～たるもの(は)」「～なりに」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
15回	**授業テーマ：比較対照、総合練習、中間テストとフィードバック** 授業内容：比較対照を表す表現「～にひきかえ」「～にもまして」「～ないまでも」を練習する。第１回～第１４回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
22回	**授業テーマ：時制** 授業内容：時制を表す用法「現在の文の特別な用法」「過去形の文の特別な用法」「動詞のている形の特別な用法」「名詞を説明する文の時制」を整理し、文章の中で使えるよう練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
23回	**授業テーマ：条件を表す文** 授業内容：仮定か確定かの判断、反実仮想、前置き表現など条件を表す文法形式を整理し、文章の中で使えるよう練習する。第１回から第２０回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
24回	**授業テーマ：視点を動かさない手段 1,2** 授業内容：文章にまとまりをもたせ、視点を動かさないようにするための表現「動詞の使い方」「自他動詞の使い分け」を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
25回	**授業テーマ：視点を動かさない手段 3,4** 授業内容：文章にまとまりをもたせ、視点を動かさないようにするための表現「受け身・使役・使役受け身の使い分け」「～てあげる・～てもらう・～てくれるの使い分け」を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
26回	**授業テーマ：模擬試験とフィードバック** 授業内容：これまで学習した文法をどの程度理解しているか測定するテストを実施する。その後、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
27回	**授業テーマ：指示表現「こ・そ・あ」の使い分け、「は・が」の使い分け** 授業内容：文章中に出てくる指示表現「こ・そ・あ」の使い分けと「は・が」の使い分けを整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
28回	**授業テーマ：接続表現** 授業内容：文章の展開を助け文章のまとまりをもたせる役割をもつ接続表現を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
29回	**授業テーマ：省略・繰り返し・言い換え、文体の一貫性、話の流れを考える** 授業内容：文章中の省略、繰り返し、言い換えを理解する。文体の一貫性を保つための表現「硬い表現」「会話で使う表現」を整理し、練習する。話しの進め方にかかわる表現を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
30回	**授業テーマ：最終テストとフィードバック** 授業内容：第１回から第２９回までに学習した内容をテストする。その後、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

アカデミック日本語Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス

林　苗（りん　みょう）

▌授業の概要

「アカデミック日本語」では大学での授業の理解および課題を行うために必要な日本語能力を育成する。「アカデミック日本語Ⅱ」の内容は読解である。さまざまな目的で書かれた長くて複雑な文章の中身を詳細に理解できるようになることを目指す。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：大学の授業で使う教科書や専門書、授業の課題を取り組むために必要な資料等を読んで、正しく内容を理解できる。
　　要点の把握を含め、理解のために多様な読解ストラテジーを駆使でき、文脈上の手がかりから理解の当否を確かめることができる。
　　自分の読解能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の構造を理解して、要旨を把握できる。
　　(2) 文章の論理的な構造（主張と根拠、事実と考察など）を正しく理解できる。
　　(3) 事実と意見を分けるなど文脈上の手がかりを見落とすことなく読むことができる。
　　(4) 読む目的に応じて適切な読解ストラテジーを選択し、使い分けることができる。
　　(5) 書き手の意図を読み取り、正確に別の言葉で言い換えることができる。
　　(6) 自分の読解能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生で N2 を取得している。
各学期に日本語能力を測る資格試験を受験する。
課題の提出日を守る。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、課題提出 30%とテスト 30%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba と対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回ペアワークもしくはグループワークがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

奥山貴之、宇津木奈津子、東会娟『考える人の上級日本語読解』凡人社
上田暢美、内田嘉美、桑島卓男、糠野永未子、吉田歌織、若林佐恵里、安達万里江『とりあえず日本語能力試験対策 読解 N1』ココ出版

▌参考書

授業で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解し、事前テストを受ける。 事前学修 2.0hr：新聞等日本語の文章を読む。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：貿易の基本原理－比較優位** 授業内容：文章「貿易の基本原理－比較優位」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：ゲームの今と将来** 授業内容：文章「ゲームの今と将来」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：グローバル化とどう向き合うか** 授業内容：文章「グローバル化とどう向き合うか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：ゲームは悪影響を及ぼすのか？** 授業内容：文章「ゲームは悪影響を及ぼすのか？」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：ある熟年夫婦の関係性** 授業内容：文章「ある熟年夫婦の関係性」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：私の名は。** 授業内容：文章「私の名は。」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：女性の働き方** 授業内容：文章「女性の働き方」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：多言語状況を考える** 授業内容：文章「多言語状況を考える」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：第 4 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 4 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：第 1 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 1 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：いのちの『終わり』は誰が決めるのか** 授業内容：文章「いのちの『終わり』は誰が決めるのか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：幸福度の低い日本の子ども** 授業内容：文章「幸福度の低い日本の子ども」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22回	**授業テーマ：いのちを “つくって” もいいですか** 授業内容：文章「いのちを “つくって” もいいですか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8回	**授業テーマ：『自尊感情を高めよう』を再考** 授業内容：文章「『自尊感情を高めよう』を再考」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23回	**授業テーマ：科学は魔法？** 授業内容：文章「科学は魔法？」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：第 2 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 2 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24回	**授業テーマ：科学と社会の関係が変わるとき** 授業内容：文章「科学と社会の関係が変わるとき」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：高度経済成長期の日本** 授業内容：文章「高度経済成長期の日本」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25回	**授業テーマ：第 5 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 5 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：高持続可能な社会** 授業内容：文章「高持続可能な社会」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26回	**授業テーマ：研究とは―研究は勉強とまったく違う** 授業内容：文章「研究とは―研究は勉強とまったく違う」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：第 3 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 3 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27回	**授業テーマ：フィールドワーク研究の意義** 授業内容：文章「フィールドワーク研究の意義」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：人生の先輩が教えるキャリアのつくり方** 授業内容：文章「人生の先輩が教えるキャリアのつくり方」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28回	**授業テーマ：レジュメ作成** 授業内容：レジュメ作成例を参考にしながらレジュメを作成する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：変化するキャリア観―自分らしいキャリアとは** 授業内容：文章「変化するキャリア観―自分らしいキャリアとは」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29回	**授業テーマ：レジュメ発表** 授業内容：作成したレジュメの発表を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：中間テストとフィードバック** 授業内容：これまで学習してきた内容を確認するための中間テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30回	**授業テーマ：最終テストとコース全体の振り返り** 授業内容：これまで学習してきた内容を確認するための最終テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス 2

富樫　里真（とがし　りま）

▌授業の概要

「アカデミック日本語」では大学での授業の理解および課題を行うために必要な日本語能力を育成する。「アカデミック日本語Ⅱ」の内容は読解である。さまざまな目的で書かれた文章の中身を理解し、多角的に考察できるようになることを目指す。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標

一般目標：大学の授業で使う教科書や専門書、授業の課題を取り組むために必要な資料等を読んで、正しく内容を理解できる。
多様なテーマについて自ら考え、判断し、表現する力を育成する。
自分の読解能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の構造を理解して、要旨を把握できる。
(2) 文章の論理的な構造（主張と根拠、事実と考察など）を正しく理解できる。
(3) 事実と意見を分けるなど文脈上の手がかりを見落とすことなく読むことができる。
(4) 読む目的に応じて適切な読解ストラテジーを選択し、使い分けることができる。
(5) 書き手の意図を読み取り、正確に別の言葉で言い換えることができる。
(6) 自分の読解能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生で N2 相当を対象とする。
各学期に日本語能力を測る資格試験を受験する。
課題の提出日を守る。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、課題提出 30%とテスト 30%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba と対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回グループワークを実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon を使用する。）

▌教科書

西隈俊哉（編）『読む聞く考える日本語トレーニング』アスク
上田暢美、内田嘉美、桑島卓男、糠野永未子、吉田歌織、若林佐恵里、安達万里江『とりあえず日本語能力試験対策 読解 N2』ココ出版

▌参考書

授業で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、待ち合わせをする** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解し、事前テストを受ける。「待ち合わせをする」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：日本語で書かれたニュース、小説等を読む。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：心理学を学ぶ、芸術を学ぶ** 授業内容：「心理学を学ぶ」「芸術を学ぶ」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：本を選ぶ、荷物を受け取る** 授業内容：「本を選ぶ」「荷物を受け取る」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：旅の話、仕事の話** 授業内容：「旅の話」「仕事の話」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：外食をする、料理を作る** 授業内容：「外食をする」「料理を作る」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：進路の話、大切な人** 授業内容：「進路の話」「大切な人」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：電車を利用する、薬の使い方を確認する** 授業内容：「電車を利用する」「薬の使い方を確認する」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：お悩み相談、開発秘話** 授業内容：「お悩み相談」「開発秘話」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：生活のルールを確認する、イベント** 授業内容：「生活のルールを確認する」「イベント」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：第 4 回 N2 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N2』の第 4 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：第 1 回 N2 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N2』の第 1 回を練習する。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：街角インタビュー、評論** 授業内容：「街角インタビュー」「評論」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：事故、地域** 授業内容：「事故」「地域」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22回	**授業テーマ：動物の気持ち、童話** 授業内容：「動物の気持ち」「童話」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8回	**授業テーマ：災害、トレンド** 授業内容：「災害」「トレンド」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23回	**授業テーマ：タイムスリップ** 授業内容：「タイムスリップ」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：第 2 回 N2 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N2』の第 2 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24回	**授業テーマ：ラブストーリー** 授業内容：「ラブストーリー」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：トラブル、政治** 授業内容：「トラブル」「政治」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25回	**授業テーマ：第 5 回 N2 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N2』の第 5 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：国際、仕事の連絡** 授業内容：「国際」「仕事の連絡」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26回	**授業テーマ：未来の世界** 授業内容：「未来の世界」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：第 3 回 N2 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N2』の第 3 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27回	**授業テーマ：夢の中** 授業内容：「夢の中」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：業務の説明、アンケート結果の分析** 授業内容：「業務の説明」「アンケート結果の分析」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28回	**授業テーマ：時代劇** 授業内容：「時代劇」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：企画会議、調べたことの発表** 授業内容：「企画会議」「調べたことの発表」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29回	**授業テーマ：怪談** 授業内容：「怪談」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：実験結果の発表、中間テストとフィードバック** 授業内容：「実験結果の発表」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。これまで学習してきた内容を確認するための中間テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30回	**授業テーマ：最終テストとコース全体の振り返り** 授業内容：これまで学習してきた内容を確認するための最終テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 H)

髙橋　亜里沙（たかはし　ありさ）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅱの内容は読解である。ビジネスにかかわる新聞記事によく見られる語彙・表現の習得、未知語への対応のしかたなどの練習を通じて正確な理解を身に付ける。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日常的なビジネス文書、ビジネスに関する新聞の資料を読み、内容を正確に理解できる。
個別目標：(1)日本語で新聞記事を正確に読むことができる。
(2)ビジネスにかかわる資料を読んで、企画を提案するプレゼンテーションができる。
(3)他者と意見を交換し、さまざまな価値観、考え方について比較し、対照できる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで N1 を取得している。
manaba からの連絡を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。
各学期にビジネス日本語能力を客観的に測る資格試験を受験する。
自分のビジネス日本語能力を客観的に把握し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、テスト 30%、課題提出 30%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba と対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回、他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon を使用する。）

▌教科書

澁川晶・高橋紗弥子・庵功雄『留学生のためのジャーナリズムの日本語―新聞・雑誌で学ぶ重要語彙と表現―』スリーエーネットワーク
近藤彩・品田潤子・金孝卿・内海美也子『課題達成のプロセスで学ぶビジネスコミュニケーション〈改訂新版〉』ココ出版

▌参考書

授業の中で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：授業の内容、進め方について説明を聞き、これからどんなことを学習するのかイメージし、目的意識を持って学習を進められるよう動機づけを行う。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んでコースの内容を把握する。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：企業の求める人材** 授業内容：仕事で成果を上げるためのスキルについて日本と自国の共通点を見出す。自分の専門分野や関心の範囲で企業ガイダンスや説明会資料を読み、企業の求める人材を理解する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：体に関連のある語彙・表現** 授業内容：体に関連のある語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：企業ガイダンス** 授業内容：企業ガイダンスを聞いて、重要事項を漏らさずノートをとる練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：体に関連のある語彙・表現が含まれた読解** 授業内容：体に関連のある語彙・表現の知識を整理する。体に関連のある語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：会社概要の調査** 授業内容：企業のパンフレット、企業のホームページ等ある程度長い文章にざっと目を通して読み、ポイントを理解する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：背景知識が必要な語彙・表現(1)身近なものに関連のある語彙・表現** 授業内容：身近なものに関連のある語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：就職のための提出書類** 授業内容：長所や短所をはじめ簡単な自己 PR 文を就職のための提出資料に書き、クラスメートと評価しあう。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：身近なものに関連のある語彙・表現を含んだ読解** 授業内容：身近なものに関連のある語彙・表現の知識を整理する。身近なものに関連のある語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：会議の内容** 授業内容：参加した会議の内容を理解して、参加者から出たいろいろな情報や議論をまとめて議事録に書く練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：背景知識が必要な語彙・表現(2)戦いに関連のある語彙・表現** 授業内容：戦いに関連のある語彙・表現語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：図表の理解** 授業内容：社内会議などで企業の販売実績や市場の動向を示すグラフを見ながら、現状を理解する練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

7回	**授業テーマ：戦いに関連のある語彙・表現を含んだ読解** 授業内容：戦いに関連のある語彙・表現語彙・表現の知識を整理する。戦いに関連のある語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22回	**授業テーマ：会議内容の整理と報告** 授業内容：参加した会議の内容を理解して、参加していない人に明瞭で簡潔なメールを書いて報告する練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：背景知識が必要な語彙・表現(３)社会的背景を持つ語彙・表現** 授業内容：社会的背景を持つ語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23回	**授業テーマ：SWOT 分析(１)手順** 授業内容：マーケティングにおける SWOT 分析の方法を学習し、ビジネスに関する記事を特定の視点から分析する練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：社会的背景を持つ語彙・表現を含んだ読解** 授業内容：社会的背景を持つ語彙・表現の知識を整理する。社会的背景を持つ語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24回	**授業テーマ：SWOT 分析(２)資料の収集と分析** 授業内容：自らの関心に従って企業を一つ決め、新聞記事、雑誌記事、企業のホームページの情報を集める。そのうえで、ＳＷＯＴ分析を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：もとの形から変化している語彙・表現** 授業内容：もとの形から変化している語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25回	**授業テーマ：戦略** 授業内容：ＳＷＯＴ分析の結果から、問題解決のための戦略を考える。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：もとの形から変化している語彙・表現を含んだ読解** 授業内容：もとの形から変化している語彙・表現の知識を整理する。もとの形から変化している語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26回	**授業テーマ：戦略の根拠** 授業内容：戦略の根拠を説明するための資料を集める。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：今後の学習にむけて** 授業内容：これまで学習したことを振り返りながら長文を読み、「慣用表現」「時間を表す表現」「カギ括弧のついたことば」「筆者の価値観を表す表現」などにも注目して読む練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27回	**授業テーマ：原稿の作成** 授業内容：プレゼンテーションで受け手に与える影響を考えイメージしながら、伝えること、その表現方法について準備する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：総合練習** 授業内容：これまで学習してきたストラテジーを用いて比較的長い新聞記事を読む練習を行う。内容理解を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28回	**授業テーマ：プレゼンテーション資料の作成** 授業内容：集めた情報や企画のアイデアを整理し、わかりやすいプレゼンテーションの資料を作る。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：現代社会ニュースの紹介** 授業内容：特別な立場や視点から取り上げた現代社会に関する複数の新聞記事を読む。共通点を見抜き、含意された意見や立場を比較しながら詳細に内容を報告する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29回	**授業テーマ：発表と他者評価** 授業内容：用意したプレゼンテーションをはっきりとした声でわかりやすく伝える。プレゼンテーションで話し手の発話を正しく理解したかどうか確認するための質問をしたり説明が曖昧だった部分に対して指摘をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：中間テスト・フィードバック** 授業内容：これまで学習したことをある程度長く複雑な文章の中でも理解できるかどうか中間テストを行う。その後、解答と解説等フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30回	**授業テーマ：コース全体のふりかえり・最終テストとフィードバック** 授業内容：コース全体を振り返り、自らの成長を実感する。これまで学習してきたことが定着しているかどうか最終テストで確かめたあと、解説を聞きフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 S)

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**行田　悦子**（こうだ　えつこ）・**荷見　美有**（はすみ　みゆう）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅱの内容は読解である。さまざまな目的で書かれた長くて複雑な文章の中身を詳細に理解できるようになることを目指す。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：大学の授業で使う教科書や専門書、授業の課題を取り組むために必要な資料等を読んで、正しく内容を理解できる。
要点の把握を含め、理解のために多様な読解ストラテジーを駆使でき、文脈上の手がかりから理解の当否を確かめることができる。
自分の読解能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の構造を理解して、要旨を把握できる。
(2) 文章の論理的な構造(主張と根拠、事実と考察など)を正しく理解できる。
(3) 事実と意見を分けるなど文脈上の手がかりを見落とすことなく読むことができる。
(4) 読む目的に応じて適切な読解ストラテジーを選択し、使い分けることができる。
(5) 書き手の意図を読み取り、正確に別の言葉で言い換えることができる。
(6) 自分の読解能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで、N2 を取得している。
各学期に日本語能力を測定する資格試験を受験する。
manaba からの連絡を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。
自分の読解能力を客観的に把握し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、課題提出 30%とテスト 30%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba と対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回ペアワークもしくはグループワークがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

奥山貴之、宇津木奈津子、東会娟『考える人の上級日本語読解』凡人社
上田暢美、内田嘉美、桑島卓男、糠野永未子、吉田歌織、若林佐恵里、安達万里江『とりあえず日本語能力試験対策 読解 N1』ココ出版

▌参考書

授業で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解し、事前テストを受ける。 事前学修 2.0hr：新聞等日本語の文章を読む。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：貿易の基本原理−比較優位** 授業内容：文章「貿易の基本原理−比較優位」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：ゲームの今と将来** 授業内容：文章「ゲームの今と将来」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：グローバル化とどう向き合うか** 授業内容：文章「グローバル化とどう向き合うか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：ゲームは悪影響を及ぼすのか？** 授業内容：文章「ゲームは悪影響を及ぼすのか？」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：ある熟年夫婦の関係性** 授業内容：文章「ある熟年夫婦の関係性」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：私の名は。** 授業内容：文章「私の名は。」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：女性の働き方** 授業内容：文章「女性の働き方」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：多言語状況を考える** 授業内容：文章「多言語状況を考える」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：第 4 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 4 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：第 1 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 1 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：いのちの『終わり』は誰が決めるのか** 授業内容：文章「いのちの『終わり』は誰が決めるのか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

7回	**授業テーマ：幸福度の低い日本の子ども** 授業内容：文章「幸福度の低い日本の子ども」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22回	**授業テーマ：いのちを “つくって” もいいですか** 授業内容：文章「いのちを “つくって” もいいですか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：『自尊感情を高めよう』を再考** 授業内容：文章「『自尊感情を高めよう』を再考」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23回	**授業テーマ：科学は魔法？** 授業内容：文章「科学は魔法？」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：第 2 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 2 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24回	**授業テーマ：科学と社会の関係が変わるとき** 授業内容：文章「科学と社会の関係が変わるとき」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：高度経済成長期の日本** 授業内容：文章「高度経済成長期の日本」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25回	**授業テーマ：第 5 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 5 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：高持続可能な社会** 授業内容：文章「高持続可能な社会」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26回	**授業テーマ：研究とは―研究は勉強とまったく違う** 授業内容：文章「研究とは―研究は勉強とまったく違う」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：第 3 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 3 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27回	**授業テーマ：フィールドワーク研究の意義** 授業内容：文章「フィールドワーク研究の意義」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：人生の先輩が教えるキャリアのつくり方** 授業内容：文章「人生の先輩が教えるキャリアのつくり方」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28回	**授業テーマ：レジュメ作成** 授業内容：レジュメ作成例を参考にしながらレジュメを作成する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：変化するキャリア観―自分らしいキャリアとは** 授業内容：文章「変化するキャリア観―自分らしいキャリアとは」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29回	**授業テーマ：レジュメ発表** 授業内容：作成したレジュメの発表を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：中間テストとフィードバック** 授業内容：これまで学習してきた内容を確認するための中間テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30回	**授業テーマ：最終テストとコース全体の振り返り** 授業内容：これまで学習してきた内容を確認するための最終テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅲ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス

範　弘宇（はん　こうう）

▌授業の概要

アカデミック日本語では、大学での授業や課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語Ⅲの内容は「聴解」と「漢字」である。「聴解」はニュースを中心に学習する。「漢字」は大学生活、社会における言語活動で必要な文字を学習する。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に取り組み、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：ニュースを正確に聞き取り、内容を正しく理解することができる。
聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換え説明することができる。
大学生活で必要な日本語を理解するために必要な漢字を読んだり書いたりすることができる。

個別目標：(1)一般的なニュースを聞き、内容を正しく理解できる。
(2)聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換えることができる。
(4)講義に必要な漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
(5)自分の聴解能力、漢字能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生で N 2を取得している。
課題の提出日を守る。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、授業外模擬試験 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

佐藤尚子、佐々木仁子『留学生のための漢字の教科書 上級 1000[改訂版] 』 国書刊行会
瀬川由美・紙谷幸子『改訂版 ニュースの日本語聴解 50 中級後半ー上級レベル 』 スリーエーネットワーク
藤田朋世、塩川絵里子、青木幸子『スピードマスター聴解 N1』 J リサーチ出版

▌参考書

授業の中で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、経済・金融１(聴解)、入国手続き(漢字)** 授業内容：授業の概要と目的、学習の進め方、評価について説明する。経済・金融１のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習をする。入国手続きにかかわる漢字を学習する。 事前学修 2.0hr：初級・中級で学習した漢字の上級での読み方を確認する。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１を練習する。	16回	**授業テーマ：社会・生活１(聴解)、自然と災害(漢字)** 授業内容：社会・生活１のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。自然と災害に関わる漢字を学習する。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１６を練習する。シャドーイング練習をする。
2回	**授業テーマ：経済・金融２(聴解)、在留カード(漢字)** 授業内容：経済・金融２のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。在留カードに関する漢字を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２を練習する。シャドーイング練習をする。	17回	**授業テーマ：社会・生活２(聴解)(聴解)、事件(漢字)** 授業内容：社会・生活２のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。事件に関わる漢字を学習する。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１７を練習する。シャドーイング練習をする。
3回	**授業テーマ：経済・金融３(聴解)、大学(漢字)** 授業内容：経済・金融３のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。JLPT の課題理解の練習をする。大学に関する漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル３を練習する。シャドーイング練習をする。	18回	**授業テーマ：社会・生活３(聴解)、事故・裁判(漢字)** 授業内容：社会・生活３のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。事故・裁判に関わる漢字を学習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１８を練習する。シャドーイング練習をする。
4回	**授業テーマ：経済・金融４(聴解)、学生生活(漢字)** 授業内容：経済・金融４のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。学生生活に関わる漢字を練習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル４を練習する。シャドーイング練習をする。	19回	**授業テーマ：社会・生活４(聴解)、政治・経済(漢字)** 授業内容：社会・生活４のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。政治・経済に関わる漢字を学習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１９を練習する。シャドーイング練習をする。
5回	**授業テーマ：経済・金融５(聴解)、就職活動Ⅰ(漢字)** 授業内容：経済・金融５のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。就職活動Ⅰに関わる漢字を練習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル５を練習する。シャドーイング練習をする。	20回	**授業テーマ：社会・生活５(聴解)、国際・スポーツ(漢字)** 授業内容：社会・生活５のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。国際・スポーツに関わる漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２０を練習する。シャドーイング練習をする。
6回	**授業テーマ：経済・金融６(聴解)、就職活動Ⅱ(漢字)** 授業内容：経済・金融６のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。就職活動Ⅱに関する漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル６を練習する。シャドーイング練習をする。	21回	**授業テーマ：社会・生活６(聴解)、社会・産業(漢字)** 授業内容：社会・生活６のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。社会・産業に関わる漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２１を練習する。シャドーイング練習をする。

7回	**授業テーマ：経済・金融7（聴解）、地名（漢字）** 授業内容：経済・金融7のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。地名に関わる漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う 事後学修 2.0hr：漢字ドリル7を練習する。シャドーイング練習をする。	22回	**授業テーマ：社会・生活7（聴解）、芸術（漢字）** 授業内容：社会・生活7のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。芸術に関わる漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２２を練習する。シャドーイング練習をする。
8回	**授業テーマ：経済・金融8（聴解）、歴史（漢字）** 授業内容：経済・金融8のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。歴史に関わる漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル８を練習する。シャドーイング練習をする。	23回	**授業テーマ：社会・生活8（聴解）、農業（漢字）** 授業内容：社会・生活8のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。農業に関わる漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２３を練習する。シャドーイング練習をする。
9回	**授業テーマ：経済・金融9（聴解）、日本文化（漢字）** 授業内容：経済・金融9のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日本文化に関する漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル９を練習する。シャドーイング練習をする。	24回	**授業テーマ：社会・生活9（聴解）、生物学Ⅰ（漢字）** 授業内容：社会・生活9のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。生物学Ⅰに関わる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２４を練習する。シャドーイング練習をする。
10回	**授業テーマ：経済・金融 10（聴解）、世界遺産（漢字）** 授業内容：経済・金融 10 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。世界遺産に関わる漢字を練習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１０を練習する。シャドーイング練習をする。	25回	**授業テーマ：社会・生活 10（聴解）、生物学Ⅱ（漢字）** 授業内容：社会・生活 10 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。生物学Ⅱに関わる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２５を練習する。シャドーイング練習をする。
11回	**授業テーマ：経済・金融 11（聴解）、日常語彙Ⅰ（漢字）** 授業内容：経済・金融 11 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日常語彙Ⅰに関わる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１１を練習する。シャドーイング練習をする。	26回	**授業テーマ：社会・生活 11（聴解）、漢語の語構成（漢字）** 授業内容：社会・生活 11 ニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。漢語の語構成に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２６を練習する。シャドーイング練習をする。
12回	**授業テーマ：聴解の模擬試験とフィードバック、経済・金融 12（聴解）、日常語彙Ⅱ（漢字）** 授業内容：経済・金融 12 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日常語彙Ⅱに関わる漢字を練習する。聴解能力がどのくらいあるか測るためのテストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１２を練習する。シャドーイング練習をする。	27回	**授業テーマ：社会・生活 12（聴解）、熟語の読み方（漢字）** 授業内容：社会・生活 12 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。熟語の読み方にかかわる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２７を練習する。シャドーイング練習をする。
13回	**授業テーマ：経済・金融 13（聴解）、旅行（漢字）** 授業内容：経済・金融 13 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。旅行に関する漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１３を練習する。シャドーイング練習をする。	28回	**授業テーマ：聴解の模擬試験とフィードバック、社会・生活 13（聴解）、様子・態度（漢字）** 授業内容：社会・生活 13 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。様子・態度に関わる漢字を学習する。聴解能力がどのくらいあるか測るためにテストを行ったあと、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２８を練習する。シャドーイング練習をする。
14回	**授業テーマ：経済・金融 14（聴解）、人間の体（漢字）** 授業内容：経済・金融 14 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。人間の体に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１４を練習する。	29回	**授業テーマ：社会・生活 14（聴解）、心情（漢字）** 授業内容：社会・生活 14 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。心情に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２９を練習する。
15回	**授業テーマ：経済・金融 15（聴解）、医療（漢字）、中間テストとフィードバック** 授業内容：経済・金融 15 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。医療に関わる漢字を学習する。これまで学習した聴解の知識とスキルを整理し、中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１５を練習する。	30回	**授業テーマ：まとめ・総合練習、社会・生活 15（聴解）、状態（漢字）、最終テストとフィードバック** 授業内容：社会・生活 15 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。状態に関わる漢字を学習する。これまで学習した聴解の知識とスキルを整理する。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル３０を練習する。

アカデミック日本語Ⅲ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス 2

林　苗（りん　みょう）

▌授業の概要

アカデミック日本語では、大学での授業や課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語Ⅲの内容は「聴解」と「漢字」である。「聴解」はニュースを中心に学習する。「漢字」は大学生活、社会における言語活動で必要な文字を学習する。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に取り組み、授業では小テストがある。

▌到達目標

一般目標：ニュースを正確に聞き取り、内容を正しく理解することができる。
聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換え説明することができる。
大学生活で必要な日本語を理解するために必要な漢字を読んだり書いたりすることができる。

個別目標：（1）一般的なニュースを聞き、内容を正しく理解できる。
（2）聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換えることができる。
（3）講義に必要な漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
（4）自分の聴解能力、漢字能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生で、N2 相当を対象とする。
課題の提出日を守る。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、模擬試験 10%で評価する。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

岡まゆみ(監)『上級へのとびら　きたえよう漢字力　上級へつなげる基礎漢字 800』くろしお出版
瀬川由美・紙谷幸子『改訂版 中級からはじめるニュースの日本語聴解 40』 スリーエーネットワーク
棚橋明美・杉山ますよ・野原ゆかり『N2 聴解スピードマスター』J リサーチ出版

▌参考書

授業の中で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、第１課読み(漢字)、ニュース１(聴解)** 授業内容：授業の概要と目的、学習の進め方、評価について説明を聞いて理解する。第１課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース１を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。 事前学修 2.0hr：これまで学習してきた漢字の知識を整理し、読み方と書き方を確認する。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	16回	**授業テーマ：第８課書き(漢字)、ニュース２６(聴解)** 授業内容：第８課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース２６を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPT の課題理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
2回	**授業テーマ：第１課書き(漢字)、ニュース２(聴解)** 授業内容：第１課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース２を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	17回	**授業テーマ：第９課読み(漢字)、ニュース２７(聴解)** 授業内容：第９課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース２７を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPT の課題理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
3回	**授業テーマ：第２課読み(漢字)、ニュース３(聴解)** 授業内容：第２課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース３を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	18回	**授業テーマ：第９課書き(漢字)、ニュース２８(聴解)** 授業内容：第９課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース２８を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
4回	**授業テーマ：第２課書き(漢字)、ニュース４(聴解)** 授業内容：第２課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース４を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。JLPT ポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	19回	**授業テーマ：第１０課読み(漢字)、ニュース２９(聴解)** 授業内容：第１０課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース２９を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPT のポイント理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
5回	**授業テーマ：第３課読み(漢字)、ニュース５(聴解)** 授業内容：第３課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース５を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。JLPT ポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	20回	**授業テーマ：第１０課書き(漢字)、ニュース３０(聴解)** 授業内容：第１０課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース３０を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPT のポイント理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
6回	**授業テーマ：第３課書き(漢字)、ニュース６(聴解)** 授業内容：第３課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース６を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPT の概要理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	21回	**授業テーマ：第１１課読み(漢字)、ニュース３１(聴解)** 授業内容：第１１課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース３１を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPT の概要理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。

7回	**授業テーマ：第４課読み(漢字)、ニュース７(聴解)** 授業内容：第４課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース７を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの概要理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	22回	**授業テーマ：第１１課書き(漢字)、ニュース３２(聴解)** 授業内容：第１１課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース３２を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。聴解能力を測りフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
8回	**授業テーマ：第４課書き(漢字)、ニュース８(聴解)** 授業内容：第４課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース８を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの即時応答の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	23回	**授業テーマ：第１２課読み(漢字)、ニュース３３(聴解)** 授業内容：第１２課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース３３を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの即時応答の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
9回	**授業テーマ：第５課読み(漢字)** 授業内容：第５課の漢字について「読み」を中心に学習する。小テスト、ディクテーションをする。聴解能力を測りフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	24回	**授業テーマ：第１２課書き(漢字)、ニュース３４(聴解)** 授業内容：第１２課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース３４を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの即時応答の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
10回	**授業テーマ：第５課書き(漢字)、ニュース９(聴解)** 授業内容：第５課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース９を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの即時応答の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	25回	**授業テーマ：第１３課読み(漢字)、ニュース３５(聴解)** 授業内容：第１３課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース３５を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの統合理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
11回	**授業テーマ：第６課読み(漢字)、ニュース１０(聴解)** 授業内容：第６課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース１０を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの統合理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	26回	**授業テーマ：第１３課書き(漢字)、ニュース３６(聴解)** 授業内容：第１３課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース３６を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの統合理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
12回	**授業テーマ：第６課書き(漢字)、ニュース１１(聴解)** 授業内容：第６課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース１１を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの統合理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	27回	**授業テーマ：第１４課読み(漢字)、ニュース３７(聴解)** 授業内容：第１４課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース３７を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
13回	**授業テーマ：第７課読み(漢字)、ニュース１２(聴解)** 授業内容：第７課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース１２を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	28回	**授業テーマ：第１４課書き(漢字)、ニュース３８(聴解)** 授業内容：第１４課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース３８を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
14回	**授業テーマ：第７課書き(漢字)、ニュース１３(聴解)** 授業内容：第７課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース１３を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	29回	**授業テーマ：第１５課読み(漢字)、ニュース３９(聴解)** 授業内容：第１５課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース３９を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
15回	**授業テーマ：第８課読み(漢字)、ニュース１４(聴解)、中間テストとフィードバック** 授業内容：第８課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース１４を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。中間テストとフィードバックを受けて、前学期の学習を振り返る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	30回	**授業テーマ：第１５課書き(漢字)、ニュース４０(聴解)、最終テストとフィードバック** 授業内容：第１５課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース４０を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。これまで学習した聴解の知識とスキルを整理する。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

アカデミック日本語Ⅲ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 H)

沈　伽迪（ちん　かてき）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅲの内容は聴解、聴読解である。スピーチ、講演会、顧客による説明などを理解したり、聞きながら資料を見て要求された課題を達成することを目指す。また、社内外の人との担当領域および一般的な話題について自然なコミュニケーションをとることを目指す。毎回、事前学修、事後学修がある。授業では小テストをほぼ毎回、実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：就労場面でのやりとり、独話を正確に聞き取ることができ、聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換えて説明することができる。社内外の人とその場にふさわしい丁寧さで円滑にコミュニケーションをとることができる。

個別目標：(1) 標準的な日本語で特殊な慣用表現などが使われていなければ、講演会、スピーチ、顧客による説明などを理解することができる。
(2) 自社や競合他社のニュースを聞いて理解することができる。
(3) 社内外の人と担当領域から一般的なものまで幅広い話題について流暢かつ正確に、言いたいことを表現できる。
(4) その場にふさわしい丁寧さで自然なコミュニケーションをとることができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで N1 を取得している。
manaba からの連絡を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。
自分のビジネス日本語能力を客観的に把握し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 50%によって評価する。

▌フィードバック方法

対面授業および manaba でフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回ペアもしくはグループワークがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

木山三佳・田川麻央『学生・留学生のためのキャリアプランニング』実教出版
小野塚 若菜・篠﨑 佳子・島 恭子・吉沢 由香里『改訂版ビジネス日本語 オール・イン・ワン問題集』ジャパンタイムズ

▌参考書

随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：ビジネスで必要な日本語能力とはどのようなものかを確認する。そのうえで、現時点でどの程度のビジネス日本語能力があるのか事前テストで測る。テストの成績をもとに、どのように能力を伸ばしていくか計画を立てる。 事前学修 2.0hr：BJT ビジネス日本語能力テストについて調べる。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：社内一斉メール、会議準備** 授業内容：メールを読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。会議準備に関する話を聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：就職活動** 授業内容：就職活動において選考資料となる提出書類および面接試験を取り上げ、エントリーシート等の書類作成方法や面接時の話し方について学ぶ。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：電話とお詫び** 授業内容：お詫びに関する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。電話でのやりとりを聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：入社** 授業内容：入社後の業務場面を想定し、初対面の相手との自己紹介において、聞き手の記憶に残る一言を伝える練習を行う。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：お知らせ文書** 授業内容：お知らせ文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：基本的な業務** 授業内容：基本的な業務の一つとして伝言を取り上げる。また、稟議についても学ぶ。稟議は、社内で物品を購入するときなどに説明を書類に書いて承認を得るまでの一連の流れを学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：キャッチコピー、同僚との雑談** 授業内容：同僚との雑談を聞き取り、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞き取って、要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：報告** 授業内容：上司・先輩・同僚への報告を取り上げる。共通の目標に向けて円滑に連携できるよう、分かりやすく伝える方法を学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：値下げ交渉** 授業内容：値下げ交渉のやりとりを聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：謝罪** 授業内容：謝罪を取り上げる。業務上のミスが生じた際に、早い段階で上司に事実を正確に報告し、適切に謝罪する方法を学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：営業** 授業内容：営業のやりとりを聞き、公的場面での話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

7回	**授業テーマ：インターンシップの受け入れ** 授業内容：インターンシップの受け入れ側の仕事について取り上げる。会社側の立場に立って自社を紹介し、業務内容や職種への理解を促すとともに、企業活動におけるリスク管理について学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22回	**授業テーマ：売り上げ** 授業内容：売り上げに関する話を聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。売上に関わる文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：会議の準備** 授業内容：会議の準備について取り上げる。会場予約、機器の設置、会議議題の決定、議事録の作成、資料の作成・配布、欠席者への対応など、会議運営に関わる一連の業務を学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23回	**授業テーマ：個人情報** 授業内容：個人情報に関する話を聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。個人情報に関する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：会議** 授業内容：会議における報告および意思決定のための審議を取り上げる。議長の指示に従って発言や反対意見を述べる方法、ならびに議事録作成を含む一連のやりとりを学習する。これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24回	**授業テーマ：顧客満足調査** 授業内容：顧客満足調査に関する話を聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：取引** 授業内容：取引について取り上げる。良好な関係構築を基盤としたコミュニケーションを重視し、正確な情報のやり取りを行う方法を学ぶとともに、不明点を残さないために相手の発言を引用して確認・質問する工夫を学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25回	**授業テーマ：出張** 授業内容：出張に関する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。出張に関する話の聞き取り、話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：苦情** 授業内容：苦情について取り上げる。苦情対応を誤ると大きな問題に発展する可能性があることを踏まえ、より良いコミュニケーションに基づく適切な対応方法を学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26回	**授業テーマ：販売員増員の提案、パッケージ案** 授業内容：販売員増員の提案に関する話を聞き取り、話し方を学ぶ。パッケージ案に関する書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：商談** 授業内容：商談について取り上げる。相手に必要な情報を正確に伝えるとともに、相談や注文を受けた際の対応方法や不明点がある場合の聞き返し方について学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27回	**授業テーマ：インタビュー** 授業内容：インタビューを依頼する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。インタビューを題材として話を聞き取り、公的場面で求められる話し方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：社会貢献** 授業内容：企業が果たすべき社会的責任について取り上げる。社会貢献の目的を理解するとともに、さまざまな活動を行う際に求められるコミュニケーションについて学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28回	**授業テーマ：日程調整、衣料品業界** 授業内容：日程調整に関する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。日程調整、衣料品業界に関するやりとりを聞き取り、公的場面で求められる話し方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：実力判定テスト、フィードバック** 授業内容：これまでに学習した内容の定着状況を実力判定テストによって確認し、その結果から得られた強み・弱みをもとに学習を振り返るとともに、教員からのフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29回	**授業テーマ：展示会、業界フローチャート** 授業内容：展示会に関わる資料、業界フローチャートを見ながら話を聞きとる練習、要求された課題を処理する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：中間テストとフィードバック** 授業内容：中間テストとフィードバックを受け、現時点のビジネス能力を把握する。今後の学習計画を立てる。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30回	**授業テーマ：最終テストとフィードバック** 授業内容：学習内容の理解度を確認し、フィードバックを踏まえてコース全体を振り返り、社会生活への応用を検討する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅲ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 S)

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**髙橋　亜里沙**（たかはし　ありさ）・**田川　麻央**（たがわ　まお）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。アカデミック日本語では、大学での授業や課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語Ⅲの内容は「聴解」と「漢字」である。「聴解」はニュースを中心に学習する。「漢字」は大学生活、社会における言語活動で必要な文字を学習する。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に取り組み、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：ニュースを正確に聞き取り、内容を正しく理解することができる。
聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換え説明することができる。
大学生活で必要な日本語を理解するために必要な漢字を読んだり書いたりすることができる。

個別目標：(1)一般的なニュースを聞き、内容を正しく理解できる。
(2)聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換えることができる。
(3)講義に必要な漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
(4)自分の聴解能力、漢字能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済で、N2 を取得している。
課題の提出日を守る。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、授業外模擬試験 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

佐藤尚子、佐々木仁子『留学生のための漢字の教科書 上級 1000[改訂版] 』 国書刊行会
瀬川由美・紙谷幸子『改訂版 ニュースの日本語聴解 50 中級後半ー上級レベル 』 スリーエーネットワーク
藤田朋世、塩川絵里子、青木幸子『スピードマスター聴解 N1』 J リサーチ出版

▌参考書

授業の中で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、経済・金融１(聴解)、入国手続き(漢字)** 授業内容：授業の概要と目的、学習の進め方、評価について説明する。経済・金融１のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習をする。入国手続きに関わる漢字を学習する。 事前学修 2.0hr：初級・中級で学習した漢字の上級での読み方を確認する。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１を練習する。	16回	**授業テーマ：社会・生活１(聴解)、自然と災害(漢字)** 授業内容：社会・生活１のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。自然と災害に関わる漢字を学習する。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１６を練習する。
2回	**授業テーマ：経済・金融２(聴解)、在留カード(漢字)** 授業内容：経済・金融２のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。在留カードに関わる漢字を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２を練習する。シャドーイングをする。	17回	**授業テーマ：社会・生活２(聴解)(聴解)、事件(漢字)** 授業内容：社会・生活２のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。事件に関わる漢字を学習する。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１７を練習する。シャドーイング練習をする。
3回	**授業テーマ：経済・金融３(聴解)、大学(漢字)** 授業内容：経済・金融３のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。JLPT の課題理解の練習をする。大学に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル３を練習する。シャドーイング練習をする。	18回	**授業テーマ：社会・生活３(聴解)、事故・裁判(漢字)** 授業内容：社会・生活３のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。事故・裁判に関わる漢字を学習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１８を練習する。シャドーイング練習をする。
4回	**授業テーマ：経済・金融４(聴解)、学生生活(漢字)** 授業内容：経済・金融４のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。学生生活に関わる漢字を練習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル４を練習する。シャドーイング練習をする。	19回	**授業テーマ：社会・生活４(聴解)、政治・経済(漢字)** 授業内容：社会・生活４のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。政治・経済に関わる漢字を学習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１９を練習する。シャドーイング練習をする。
5回	**授業テーマ：経済・金融５(聴解)、就職活動Ⅰ(漢字)** 授業内容：経済・金融５のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。就職活動Ⅰに関わる漢字を練習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル５を練習する。シャドーイング練習をする。	20回	**授業テーマ：社会・生活５(聴解)、国際・スポーツ(漢字)** 授業内容：社会・生活５のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。国際・スポーツに関わる漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２０を練習する。シャドーイング練習をする。

6回	**授業テーマ：経済・金融6（聴解）、就職活動Ⅱ（漢字）** 授業内容：経済・金融6のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。就職活動Ⅱに関する漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル６を練習する。シャドーイング練習をする。	21回	**授業テーマ：社会・生活6（聴解）、社会・産業（漢字）** 授業内容：社会・生活6のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。社会・産業にかかわる漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２１を練習する。シャドーイング練習をする。
7回	**授業テーマ：経済・金融7（聴解）、地名（漢字）** 授業内容：経済・金融7のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。地名に関わる漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う 事後学修 2.0hr：漢字ドリル７を練習する。シャドーイング練習をする。	22回	**授業テーマ：社会・生活7（聴解）、芸術（漢字）** 授業内容：社会・生活7のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。芸術に関わる漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２２を練習する。シャドーイング練習をする。
8回	**授業テーマ：経済・金融8（聴解）、歴史（漢字）** 授業内容：経済・金融8のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。歴史に関わる漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル８を練習する。シャドーイング練習をする。	23回	**授業テーマ：社会・生活8（聴解）、農業（漢字）** 授業内容：社会・生活8のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。農業に関わる漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２３を練習する。シャドーイング練習をする。
9回	**授業テーマ：経済・金融9（聴解）、日本文化（漢字）** 授業内容：経済・金融9のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日本文化に関する漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル９を練習する。シャドーイング練習をする。	24回	**授業テーマ：社会・生活9（聴解）、生物学Ⅰ（漢字）** 授業内容：社会・生活9のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。生物学Ⅰに関わる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２４を練習する。シャドーイング練習をする。
10回	**授業テーマ：経済・金融 10（聴解）、世界遺産（漢字）** 授業内容：経済・金融 10 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。世界遺産に関わる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１０を練習する。シャドーイング練習をする。	25回	**授業テーマ：社会・生活 10（聴解）、生物学Ⅱ（漢字）** 授業内容：社会・生活 10 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。生物学Ⅱに関わる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２５を練習する。シャドーイング練習をする。
11回	**授業テーマ：経済・金融 11（聴解）、日常語彙Ⅰ（漢字）** 授業内容：経済・金融 11 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日常語彙Ⅰに関わる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１１を練習する。シャドーイング練習をする。	26回	**授業テーマ：社会・生活 11（聴解）、漢語の語構成（漢字）** 授業内容：社会・生活 11 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。漢語の語構成に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２６を練習する。シャドーイング練習をする。
12回	**授業テーマ：聴解の模擬試験とフィードバック、経済・金融 12（聴解）、日常語彙Ⅱ（漢字）** 授業内容：経済・金融 12 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日常語彙Ⅱに関わる漢字を学習する。聴解能力がどのくらいあるか測るためのテストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１２を練習する。シャドーイング練習をする。	27回	**授業テーマ：社会・生活 12（聴解）、熟語の読み方（漢字）** 授業内容：社会・生活 12 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。熟語の読み方に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２７を練習する。シャドーイング練習をする。
13回	**授業テーマ：経済・金融 13（聴解）、旅行（漢字）** 授業内容：経済・金融 13 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。旅行に関する漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１３を練習する。	28回	**授業テーマ：聴解の模擬試験とフィードバック、社会・生活 13（聴解）、様子・態度（漢字）** 授業内容：社会・生活 13 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。様子・態度にかかわる漢字を学習する聴解能力がどのくらいあるか測るためにテストを行ったあと、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２８を練習する。シャドーイング練習をする。
14回	**授業テーマ：経済・金融 14（聴解）、人間の体（漢字）** 授業内容：経済・金融 14 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。人間の体に関わる漢字を練習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１４を練習する。シャドーイング練習をする。	29回	**授業テーマ：社会・生活 14（聴解）、心情（漢字）** 授業内容：社会・生活 14 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。心情に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２９を練習する。
15回	**授業テーマ：経済・金融 15（聴解）、医療（漢字）、中間テストとフィードバック** 授業内容：経済・金融 15 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。医療に関わる漢字を練習する。これまで学習した聴解の知識とスキルを整理し、中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１５を練習する。	30回	**授業テーマ：まとめ・総合練習、社会・生活 15（聴解）、状態（漢字）、最終テストとフィードバック** 授業内容：社会・生活 15 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。状態に関わる漢字を学習する。これまで学習した聴解の知識とスキルを整理する。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル３０を練習する。

アカデミック日本語Ⅳ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス

荷見　美有（はすみ　みゆう）

▌授業の概要

アカデミック日本語では、大学での授業や課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語Ⅳの内容は語彙と作文である。複雑な話題について明確でしっかりとした構成の詳細なテクストを作る。自己の視点から意見を述べたり説明したりできるようになることを目指して、テクストを構成する字句、結束表現、文法表現等を学習する。毎回事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：大学の学修に必要なレポートおよび文章を明瞭かつ論理的に書くことができる。
重要点を強調し、補助的事項、理由、関連する事例を付け加え、論点を展開し、適切な結論で終わることができる。
自分の語彙・文法表現能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の種類によって適切な構造を持つ文章を書ける。
(2) 文章を書くための準備で、倫理的な行動を選択し、レポートに必要な資料を集められる。
(3) 文章を書くための準備で、資料を読んで正しく理解できる。文章を書く過程で他者との意見交換を通じて他者の視点を取り入れ、文章に反映させられる。
(4) 自分の作文能力、語彙能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生で N2 相当を対象とする。
課題の提出期限を守る。
manaba による連絡を確認する。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 50%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回、グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回、manaba、respon を使用する。）

▌教科書

田中祐輔(編)『《書き込み式》表現するための語彙文法練習ノート〈上〉―語/コロケーション/慣用句/表現文型』 凡人社
田川麻央・德田恵『プロセス重視で学ぶ日本語ライティング』 DTP 出版

▌参考書

友松悦子・宮本淳・和栗雅子『どんなときどう使う日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、レッスン 1 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解する。事前テストを受ける。レッスン 1 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：これまでに学んだ単語を復習しておく。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 1 を練習する。	16回	**授業テーマ：レッスン 8 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 8 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 16 を練習する。
2回	**授業テーマ：レッスン 1 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 1 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 2 を練習する。	17回	**授業テーマ：まずやってみよう** 授業内容：レポートを書くのに必要な知識は何か、どのようなレポートが求められているかを知り、学習意欲を高める。コース終了後のできるようになった自分をイメージする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 17 を練習する。
3回	**授業テーマ：レッスン 2 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 2 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 3 を練習する。	18回	**授業テーマ：書き言葉** 授業内容：レポートに必要な「書き言葉」を学習する。話し言葉と書き言葉の使い分けについて学び、書き換え練習を通じてレポートに必要な表現、言い回しを身に付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 18 を練習する。
4回	**授業テーマ：レッスン 2 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 2 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 4 を練習する。	19回	**授業テーマ：段落** 授業内容：段落とは何か、段落内はどのような構成にするかを学習する。中心文と支持文を区別する練習や、中心文に対して支持文でどう具体的に書くかを練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 19 を練習する。
5回	**授業テーマ：レッスン 3 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 3 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 5 を復習する。	20回	**授業テーマ：三段構成法** 授業内容：序論本論結論の三段構成法を学習する。序論、本論、結論の見分け方、それぞれどのようなことを書くのかを知ったうえで、書く練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 20 を復習する。

6回	**授業テーマ：レッスン 3 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 3 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 6 を練習する。
7回	**授業テーマ：レッスン 4 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 4 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 7 を練習する。
8回	**授業テーマ：レッスン 4 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 4 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 8 を練習する。
9回	**授業テーマ：レッスン 5 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 5 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 9 を練習する。
10回	**授業テーマ：レッスン 5 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 5 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 10 を復習する。
11回	**授業テーマ：レッスン 6 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 6 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 11 を練習する。
12回	**授業テーマ：レッスン 6 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 6 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 12 を練習する。
13回	**授業テーマ：レッスン 7 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 7 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 13 を練習する。
14回	**授業テーマ：レッスン 7 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 7 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 14 を練習する。
15回	**授業テーマ：レッスン 8 文字・語彙・コロケーション、中間テストとフィードバック** 授業内容：レッスン 8 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 15 を復習する。
21回	**授業テーマ：アイデアの抽出** 授業内容：レポートのテーマを考える。ブレーンストーミングの方法を学習し、アイデアを書き出す。そのうえで自分のレポートのテーマを決定する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 21 を練習する。
22回	**授業テーマ：資料検索** 授業内容：図書館や新聞記事のデータベースなど資料の探し方、注意点を学習する。自分のテーマに関わる資料を探して読み、基礎知識を身に付ける。集めた資料を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 22 を練習する。
23回	**授業テーマ：論理的つながりの検討** 授業内容：論理的なつながりのある文章とはどのようなものかを学習する。クラスメートにレポートの構成について説明し、論理的につながっているかどうか評価してもらう。必要があれば、資料を増やしたり減らしたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 23 を練習する。
24回	**授業テーマ：資料の引用** 授業内容：資料の引用方法、注意点を学習する。集めた資料をもとに引用文を書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 24 を練習する。
25回	**授業テーマ：参考文献リストの書き方** 授業内容：参考文献の書き方、注意点を学習する。集めた資料をもとに参考文献リストを書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 25 を復習する。
26回	**授業テーマ：図表の説明** 授業内容：図や表の説明のしかた、注意点を学習する。集めた資料にある図や表を説明する文章を書き、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 26 を練習する。
27回	**授業テーマ：レポートの執筆** 授業内容：これまで学習したレポートの書き方を思い出し、適切な表現を用いて、論理的で説得力のある原稿を執筆する。必要があれば資料を追加したり省いたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 27 を練習する。
28回	**授業テーマ：題名の決定** 授業内容：読み手に内容が伝わり読みたいと思わせるような題名の付け方を学習する。そのうえで、自分のレポートにふさわしい題名を付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 28 を練習する。
29回	**授業テーマ：課題レポートの評価** 授業内容：書き上げたレポートをクラスメートと交換して読み、質疑応答をする。互いに評価をする。必要があれば、レポートを修正し、最終版を作成する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 29 を練習する。
30回	**授業テーマ：まとめ・コース全体のふりかえり、最終テストとフィードバック** 授業内容：レポートを完成するまでのプロセスを思い出し、コンセプトマップを作成する。クラスメートに作成したコンセプトマップを披露し、不足していることがあれば書き足す。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 30 を練習する。

アカデミック日本語Ⅳ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス 2

髙橋　亜里沙（たかはし　ありさ）

▌授業の概要

日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅳの内容は読解と作文である。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細なテクストを作り、自己の視点から説明できるようになることを目指して、テクストを構成する字句、結束表現、文法表現等を身に付ける。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標

一般目標：大学の学修に必要なレポートおよび文章を明瞭かつ論理的に書くために必要な読解能力を身に付ける。
重要点を強調し、補助的事項、理由、関連する事例を付け加え、論点を展開し、適切な結論で終わるレポートを作成することができる。
自分の語彙・文法表現能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の種類によって適切な構造を持つ文章を書ける。
(2) 文章を書くための準備で、倫理的な行動を選択し、レポートに必要な資料を集められる。
(3) 文章を書くための準備で、資料を読んで正しく理解できる。文章を書く過程で他者との意見交換を通じて他者の視点を取り入れ、文章に反映させられる。
(4) 自分の作文能力、語彙能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。
(5) 資料を読み取るための読解能力を育成する。

▌履修条件

留学生で N2 相当を対象とする。
課題の提出期限を守る。
manaba による連絡を確認する。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 50%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回 manaba、respon を使用する）

▌教科書

松浦真理子・宮谷敦美・鈴木健司『日本語パワードリル N2 読解』ask
田川麻央・德田恵『プロセス重視で学ぶ日本語ライティング』DTP 出版

▌参考書

友松悦子・宮本淳・和栗雅子『どんなときどう使う日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、第１回** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解する。事前テストを受ける。第 1 回の読解問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：これまで学んだ語彙を復習する。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	16回	**授業テーマ：第 29 回、まずやってみよう** 授業内容：第 29 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。レポートを書くのに必要な知識は何か、どのようなレポートが求められているかを知り、学習意欲を高める。コース終了後のできるようになった自分をイメージする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
2回	**授業テーマ：第２回、第３回** 授業内容：第２回、第３回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	17回	**授業テーマ：第 30 回、書き言葉** 授業内容：第 30 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。レポートに必要な「書き言葉」を学習する。話し言葉と書き言葉の使い分けについて学び、書き換え練習を通じてレポートに必要な表現、言い回しを身に付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
3回	**授業テーマ：第４回、第５回** 授業内容：第４回、第５回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	18回	**授業テーマ：段落** 授業内容：段落とは何か、段落内はどのような構成にするかを学習する。中心文と支持文を区別する練習や、中心文に対して支持文でどう具体的に書くかを練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
4回	**授業テーマ：集中トレーニング①、第６回** 授業内容：集中トレーニング①、第６回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	19回	**授業テーマ：三段構成法** 授業内容：序論本論結論の三段構成法を学習する。序論、本論、結論の見分け方、それぞれどのようなことを書くのかを知ったうえで、書く練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
5回	**授業テーマ：第７回、第８回** 授業内容：第７回、第８回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	20回	**授業テーマ：アイデアの抽出** 授業内容：レポートのテーマを考える。ブレーンストーミングの方法を学習し、アイデアを書き出す。そのうえで自分のレポートのテーマを決定する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
6回	**授業テーマ：第９回、第 10 回** 授業内容：第９回、第 10 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	21回	**授業テーマ：資料検索** 授業内容：図書館や新聞記事のデータベースなど資料の探し方、注意点を学習する。自分のテーマに関わる資料を探して読み、基礎知識を身に付ける。集めた資料を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

7回	**授業テーマ：集中トレーニング②、第 11 回** 授業内容：集中トレーニング②、第 11 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	22回	**授業テーマ：論理的つながりの検討** 授業内容：論理的なつながりのある文章とはどのようなものかを学習する。クラスメートにレポートの構成について説明し、論理的につながっているかどうか評価してもらう。必要があれば、資料を増やしたり減らしたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
8回	**授業テーマ：第 12 回、第 13 回、集中トレーニング③** 授業内容：第 12 回、第 13 回、集中トレーニング③の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	23回	**授業テーマ：資料の引用** 授業内容：資料の引用方法、注意点を学習する。集めた資料をもとに引用文を書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
9回	**授業テーマ：第 14 回、第 15 回** 授業内容：第 14 回、第 15 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	24回	**授業テーマ：参考文献リストの書き方** 授業内容：参考文献の書き方、注意点を学習する。集めた資料をもとに参考文献リストを書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
10回	**授業テーマ：第 16 回、第 17 回** 授業内容：第 16 回、第 17 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	25回	**授業テーマ：図表の説明** 授業内容：図や表の説明のしかた、注意点を学習する。集めた資料にある図や表を説明する文章を書き、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
11回	**授業テーマ：第 18 回、第 19 回** 授業内容：第 18 回、第 19 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	26回	**授業テーマ：レポートの執筆** 授業内容：これまで学習したレポートの書き方を思い出し、適切な表現を用いて、論理的で説得力のある原稿を執筆する。必要があれば資料を追加したり省いたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
12回	**授業テーマ：第 20 回、集中トレーニング④** 授業内容：第 20 回、集中トレーニング④の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	27回	**授業テーマ：題名の決定** 授業内容：読み手に内容が伝わり読みたいと思わせるような題名の付け方を学習する。そのうえで、自分のレポートにふさわしい題名を付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
13回	**授業テーマ：第 21 回から第 25 回** 授業内容：第 21 回から第 25 回の読解問題を JLPT の模擬試験のつもりで練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	28回	**授業テーマ：課題レポートの評価** 授業内容：書き上げたレポートをクラスメートと交換して読み、質疑応答をする。互いに評価をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
14回	**授業テーマ：第 26 回、第 27 回** 授業内容：第 26 回、第 27 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	29回	**授業テーマ：課題レポートの改善と振り返り** 授業内容：クラスメートや教員から受けた評価をもとにレポートを修正し、最終版を作成する。レポートを完成するまでのプロセスを思い出し、コンセプトマップを作成する。クラスメートに作成したコンセプトマップを披露し、不足していることがあれば書き足す。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
15回	**授業テーマ：第 28 回、中間テストとフィードバック** 授業内容：第 28 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	30回	**授業テーマ：最終テストとフィードバック** 授業内容：最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

アカデミック日本語Ⅳ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 H)

藤本　陽子（ふじもと　ようこ）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅳの内容はビジネス文書の書き方、作成である。実務に役立つ文書作成技能について知識と技能の基本を身に付ける。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日常的な社内文書、ビジネス文書、および手紙やメールなどを自然な言い回し、表現を使って、読み手に負担のないよう書くスキルを身に付ける。

個別目標：(1) 日常的な社内文書、ビジネス文書、および手紙やメールなどの文章を形式を整えて書くことができる。
(2) ビジネス場面での日常的な文書による報告を簡潔に書くことができる。
(3) ビジネス場面での文書にかかわる慣習、マナーなどの知識を獲得する。
(4) 自らのビジネス日本語能力を客観的に把握し、弱点を強化する。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで N1 を取得している。
manaba からの連絡を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。
自分のビジネス文書作成能力を客観的に把握し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

課題提出 50%、テスト 50%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba と対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークを実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon を使用する。）

▌教科書

『ビジネス文書検定第７１回～７５回実問題集３級』早稲田教育出版
『ビジネス文書検定第７１回～７５回実問題集１，２級』早稲田教育出版

▌参考書

随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価についての説明を理解する。その後、ビジネス文章の作成能力がどの程度あるか事前テストを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：3 級第 71 回実務技能** 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：3 級第 75 回表記技能** 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：2 級第 75 回表記技能** 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：3 級第 75 回表現技能** 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：2 級第 75 回表現技能** 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：3 級第 75 回実務技能** 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：2 級第 75 回実務技能** 授業内容：一般の社内文書の書き方、社外文書や社交文書を書く練習をする。日本の受発信事務等文書の取り扱いを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：3 級第 74 回表記技能** 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：2 級第 74 回表記技能** 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：3 級第 74 回表現技能** 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：2 級第 74 回表現技能** 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：3 級第 74 回実務技能** 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22回	**授業テーマ：2 級第 74 回実務技能** 授業内容：一般の社内文書の書き方、社外文書や社交文書を書く練習をする。日本の受発信事務等文書の取り扱いを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8回	**授業テーマ：3 級第 73 回表記技能** 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23回	**授業テーマ：2 級第 73 回表記技能** 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：3 級第 73 回表現技能** 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24回	**授業テーマ：2 級第 73 回表現技能** 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：3 級第 73 回実務技能** 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25回	**授業テーマ：2 級第 73 回実務技能** 授業内容：一般の社内文書の書き方、社外文書や社交文書を書く練習をする。日本の受発信事務等文書の取り扱いを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：3 級第 72 回表記技能** 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26回	**授業テーマ：2 級第 72 回表記技能** 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：3 級第 72 回表現技能** 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27回	**授業テーマ：2 級第 72 回表現技能** 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：3 級第 72 回実務技能** 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28回	**授業テーマ：2 級第 72 回実務技能** 授業内容：一般の社内文書の書き方、社外文書や社交文書を書く練習をする。日本の受発信事務等文書の取り扱いを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：3 級第 71 回表記技能** 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29回	**授業テーマ：2 級第 71 回表記技能** 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：3 級第 71 回表現技能、中間テストとフィードバック** 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30回	**授業テーマ：2 級第 71 回表現技能、最終テストとフィードバック** 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。テストとフィードバックを受ける。コース全体を振り返り、整理する。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅳ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 S)

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**行田　悦子**（こうだ　えつこ）・**範　弘宇**（はん　こうう）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅳの内容は語彙と作文である。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細なテクストを作り、自己の視点から説明できるようになることを目指して、テクストを構成する字句、結束表現、文法表現等を身に付ける。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：**M1 ◎/M2 ◎/M3 ○**）

一般目標：大学の学修に必要なレポートおよび文章を明瞭かつ論理的に書くことができる。重要点を強調し、補助的事項、理由、関連する事例を付け加え、論点を展開し、適切な結論で終わることができる。
自分の語彙・文法表現能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の種類によって適切な構造を持つ文章を書ける。
(2) 文章を書くための準備で、倫理的な行動を選択し、レポートに必要な資料を集められる。
(3) 文章を書くための準備で、資料を読んで正しく理解できる。文章を書く過程で他者との意見交換を通じて他者の視点を取り入れ、文章に反映させられる。
(4) 自分の作文能力、語彙能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで、N2 を取得している。
課題の提出期限を守る。
manaba による連絡を確認する。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 50%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する(スマートフォン対応可)。）

▌教科書

田中祐輔(編)『《書き込み式》表現するための語彙文法練習ノート〈上〉―語/コロケーション/慣用句/表現文型』凡人社
田川麻央・德田恵『プロセス重視で学ぶ日本語ライティング』DTP 出版

▌参考書

友松悦子・宮本淳・和栗雅子『どんなときどう使う日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、レッスン 1 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解する。事前テストを受ける。レッスン 1 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：これまでに学んだ単語を復習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	16回	**授業テーマ：レッスン 8 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 8 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題演習を行なう。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
2回	**授業テーマ：レッスン 1 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 1 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	17回	**授業テーマ：まずやってみよう** 授業内容：レポートを書くのに必要な知識は何か、どのようなレポートが求められているかを知り、学習意欲を高める。コース終了後のできるようになった自分をイメージする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
3回	**授業テーマ：レッスン 2 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 2 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	18回	**授業テーマ：書き言葉** 授業内容：レポートに必要な「書き言葉」を学習する。話し言葉と書き言葉の使い分けについて学び、書き換え練習を通じてレポートに必要な表現、言い回しを身に付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
4回	**授業テーマ：レッスン 2 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 2 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	19回	**授業テーマ：段落** 授業内容：段落とは何か、段落内はどのような構成にするかを学習する。中心文と支持文を区別する練習や、中心文に対して支持文でどう具体的に書くかを練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
5回	**授業テーマ：レッスン 3 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 3 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	20回	**授業テーマ：三段構成法** 授業内容：序論本論結論の三段構成法を学習する。序論、本論、結論の見分け方、それぞれどのようなことを書くのかを知ったうえで、書く練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

6回	**授業テーマ：レッスン 3 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 3 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	21回	**授業テーマ：アイデアの抽出** 授業内容：レポートのテーマを考える。ブレーンストーミングの方法を学習し、アイデアを書き出す。そのうえで自分のレポートのテーマを決定する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
7回	**授業テーマ：レッスン 4 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 4 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	22回	**授業テーマ：資料検索** 授業内容：図書館や新聞記事のデータベースなど資料の探し方、注意点を学習する。自分のテーマに関わる資料を探して読み、基礎知識を身に付ける。集めた資料を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
8回	**授業テーマ：レッスン 4 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 4 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	23回	**授業テーマ：論理的つながりの検討** 授業内容：論理的なつながりのある文章とはどのようなものかを学習する。クラスメートにレポートの構成について説明し、論理的につながっているかどうか評価してもらう。必要があれば、資料を増やしたり減らしたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
9回	**授業テーマ：レッスン 5 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 5 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	24回	**授業テーマ：資料の引用** 授業内容：資料の引用方法、注意点を学習する。集めた資料をもとに引用文を書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
10回	**授業テーマ：レッスン 5 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 5 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	25回	**授業テーマ：参考文献リストの書き方** 授業内容：参考文献の書き方、注意点を学習する。集めた資料をもとに参考文献リストを書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
11回	**授業テーマ：レッスン 6 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 6 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	26回	**授業テーマ：図表の説明** 授業内容：図や表の説明のしかた、注意点を学習する。集めた資料にある図や表を説明する文章を書き、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
12回	**授業テーマ：レッスン 6 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 6 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	27回	**授業テーマ：レポートの執筆** 授業内容：これまで学習したレポートの書き方を思い出し、適切な表現を用いて、論理的で説得力のある原稿を執筆する。必要があれば資料を追加したり省いたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
13回	**授業テーマ：レッスン 7 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 7 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	28回	**授業テーマ：題名の決定** 授業内容：読み手に内容が伝わり読みたいと思わせるような題名の付け方を学習する。そのうえで、自分のレポートにふさわしい題名を付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
14回	**授業テーマ：レッスン 7 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 7 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	29回	**授業テーマ：課題レポートの評価** 授業内容：書き上げたレポートをクラスメートと交換して読み、質疑応答をする。互いに評価をする。必要があれば、レポートを修正し、最終版を作成する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
15回	**授業テーマ：レッスン 8 文字・語彙・コロケーション、中間テストとフィードバック** 授業内容：レッスン 8 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	30回	**授業テーマ：まとめ・コース全体のふりかえり、最終テストとフィードバック** 授業内容：レポートを完成するまでのプロセスを思い出し、コンセプトマップを作成する。クラスメートに作成したコンセプトマップを披露し、不足していることがあれば書き足す。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

［専門科目］

フレッシュパーソンゼミⅠ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前/後　｜　備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

経済学部教員

▌授業の概要

経済学部では、4 年間一貫した必修ゼミ・カリキュラムを設けており、授業を通じて修得した知識を体系的に整理し、その学修成果を発信することを目的としている。その第 1 段階に位置づけられるフレッシュパーソンゼミⅠでは、大学における学修に必要な基本的態度の涵養と、自らの考えを主体的に発信する姿勢の育成を図る。授業では、レポート・論文作成の基礎的な方法を学ぶとともに、グループまたは個人によるプレゼンテーションを繰り返し実施する。その過程を通じて、資料の収集・整理の方法、論理的な構成、適切な引用の方法など、学術的文章作成に必要な基本的能力の習得を目指す。あわせて、グループワークの方法や、人前で自らの意見を的確に表現する能力の育成を図る。
なお、授業運営の方法については、各クラスの実情に応じて変更する場合がある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4/5/6）

一般目標：大学における学修に必要な、主体的に取り組み成果を出す姿勢を身につけることを目的とする。
個別目標：1. グループで協力し、成果を出すことができる（協働力）。
2. 目的に応じたプレゼンテーションを適切に行うことができる（プレゼンテーション力）。
3. 参考文献・資料を適切に引用し、学術的な文章を作成することができる（文章作成スキル）。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

1. 課題（60 %）：授業内で複数の課題を課し、その提出状況および内容に基づいて評価する。
到達目標との対応：①協働力、③文章作成スキル
評価基準：
・課題の提出が期限内かつ完全であること
・内容が論理的に構成され、適切な引用がなされていること
・グループ課題の場合は協働して成果を達成していること
2. 平常点（40 %）：授業への取り組み姿勢を評価する。
到達目標との対応：①協働力、②プレゼンテーション力
評価基準：
・授業への出席状況および参加態度
・発言やディスカッションへの積極性
・グループワークにおける協力の姿勢

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、次回授業時に全員に対してまとめて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、実習形式の授業を実施する）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （グループワーク、データ収集・分析、レポート・発表資料作成等で、毎回使用する）

▌教科書

教科書は使用しない。必要に応じて、教材として、授業資料を学修支援システム manaba にて配布することがある。

▌参考書

・中澤務・森貴史・本村康哲編著（2007）『知のナヴィゲーター』くろしお出版
・佐藤望編著、湯川武・横山千晶・近藤明彦著（2020）『アカデミック・スキルズ：大学生のための知的技法入門（第 4 版）』慶應義塾大学出版会
・前田鎌利著（2019）『プレゼン資料のデザイン図鑑』ダイヤモンド社、2019 年

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：本授業の概要、授業計画および評価方法について説明するとともに、受講者相互の自己紹介を行い、学習活動の円滑な開始を図る。 事前学修 2.0hr：シラバスを確認し、本授業の内容、学習目標および評価方法を理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りや関連資料の確認、課題・レポート作成などを通じて学習内容の定着を図る。
2 回	**授業テーマ：学習支援・管理システム** 授業内容：学習支援システム「manaba」、「respon」「Web ポータルシステム」、学習管理システム「START」、および大学内のメールアドレスの利用方法について説明する。 事前学修 2.0hr：システムへのログイン方法、教材や課題の閲覧方法、提出手続きなどの基本操作を習得し、授業に臨む準備を行う。 事後学修 2.0hr：当該システムを用いて授業後の資料やフィードバックを確認し、課題の振り返りや復習、次回授業への準備を行う。
3 回	**授業テーマ：問いの立て方** 授業内容：関心を学術的な問いへと発展させる方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：身近な疑問や関心を書き出す。 事後学修 2.0hr：テーマ案を作成する。
4 回	**授業テーマ：問いの具体化** 授業内容：問いを具体化し、研究可能な形に整理する。 事前学修 2.0hr：テーマ案を整理し、提出準備を行う 事後学修 2.0hr：問いを修正・改善する
5 回	**授業テーマ：文献の探し方** 授業内容：図書館およびデータベースを用いた文献探索の方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定資料を確認する。 事後学修 2.0hr：文献リストを作成する。
6 回	**授業テーマ：文献の読み方と要約** 授業内容：文献の要点把握と要約の方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定文献を読む。 事後学修 2.0hr：文献メモを作成する。

7回	**授業テーマ：作業時間・個別指導①（テーマ・問いの整理）** 授業内容：進捗を確認し、研究テーマおよび問いの整理を目的とした作業と個別指導を行う。 事前学修 2.0hr：検討中のテーマや問いを整理する。 事後学修 2.0hr：テーマ・問いを確定する。
8回	**授業テーマ：作業時間・個別指導②（構成案作成）** 授業内容：レポート構成案・アウトライン作成を中心とした作業と個別指導を行う。 事前学修 2.0hr：参考文献を確認し、構成案の準備を行う。 事後学修 2.0hr：構成案を完成させる。
9回	**授業テーマ：作業時間・個別指導③（下書き作成）** 授業内容：本文下書き作成を中心とした作業と、文章表現・論理構成に関する個別指導を行う。 事前学修 2.0hr：構成案をもとに本文作成を進める。 事後学修 2.0hr：下書きを修正する。
10回	**授業テーマ：作業時間・個別指導④（修正・仕上げ）** 授業内容：完成原稿に向けた修正作業を行い、最終的な個別フィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：下書きを見直し、修正点を整理する。 事後学修 2.0hr：レポートを完成させる。
11回	**授業テーマ：発表準備** 授業内容：発表資料の構成や効果的な伝え方について学ぶ。 事前学修 2.0hr：原稿を確認する。 事後学修 2.0hr：発表資料を完成させる。
12回	**授業テーマ：学生発表①** 授業内容：成果発表および質疑応答を行う。 事前学修 2.0hr：発表内容を確認する。 事後学修 2.0hr：フィードバックを整理する。
13回	**授業テーマ：学生発表②** 授業内容：成果発表および質疑応答を行う。 事前学修 2.0hr：発表内容を確認する。 事後学修 2.0hr：発表内容を改善する。
14回	**授業テーマ：振り返りと講評** 授業内容：発表全体の講評を行い、学修成果を振り返る。 事前学修 2.0hr：発表内容を整理する。 事後学修 2.0hr：学修成果をまとめる。
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：前期授業の総括を行う。 事前学修 2.0hr：前期内容を整理する。 事後学修 2.0hr：後期の学修目標を設定する。

フレッシュパーソンゼミⅡ

開講学科等：経 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

経済学部教員

▌授業の概要

フレッシュパーソンゼミⅡでは、前期に引き続き、大学における学修に必要な基本的な学びの態度と、積極的に自らの考えを発信する姿勢を養う。具体的には、前期と同様に、グループまたは個人での作業を通じて、個々人が成果を発揮する割合を高めることを目指す。また、レポート作成やプレゼンテーションを通じて、資料の収集・整理、論理的な構成、適切な引用など、学術的文章作成に必要な基本的能力をさらに高める。これらの活動を通じて、グループワークを円滑に進める能力を向上させるとともに、自らの意見を的確に主張する自信をより一層高めることを期待している。
なお、授業運営の方法については、各クラスの実情に応じて変更する場合がある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4/5/6）

一般目標：大学における学修に必要な、主体的に取り組み成果を出す姿勢を身につけることを目的とする。
個別目標：1. グループで協力し、成果を出すことができる（協働力）。
2. 目的に応じたプレゼンテーションを適切に行うことができる（プレゼンテーション力）。
3. 参考文献・資料を適切に引用し、学術的な文章を作成することができる（文章作成スキル）。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

1. 課題（60 %）：授業内で複数の課題を課し、その提出状況および内容に基づいて評価する。
到達目標との対応：①協働力、③文章作成スキル
評価基準：
・課題の提出が期限内かつ完全であること
・内容が論理的に構成され、適切な引用がなされていること
・グループ課題の場合は協働して成果を達成していること
2. 平常点（40 %）：授業への取り組み姿勢を評価する。
到達目標との対応：①協働力、②プレゼンテーション力
評価基準：
・授業への出席状況および参加態度
・発言やディスカッションへの積極性
・グループワークにおける協力の姿勢

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、次回授業時に全員に対してまとめて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、実習形式の授業を実施する）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （グループワーク、データ収集・分析、レポート・発表資料作成等で、毎回使用する）

▌教科書

教科書は使用しない。必要に応じて、教材として、授業資料を学修支援システム manaba にて配布することがある。

▌参考書

・中澤務・森貴史・本村康哲編著（2007）『知のナヴィゲーター』くろしお出版
・佐藤望編著、湯川武・横山千晶・近藤明彦著（2020）『アカデミック・スキルズ：大学生のための知的技法入門（第 4 版）』慶應義塾大学出版会
・前田鎌利著（2019）『プレゼン資料のデザイン図鑑』ダイヤモンド社、2019 年

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：本授業の概要、授業計画および評価方法について説明するとともに、受講者相互の自己紹介を行い、学習活動の円滑な開始を図る。 事前学修 2.0hr：シラバスを確認し、授業内容や学習目標、評価方法について理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りや関連資料の確認、課題・レポート作成などを通じて学習内容の定着を図る。
2回	**授業テーマ：テーマの再設定・発展** 授業内容：前期テーマを発展させる、または新たなテーマを設定する。 事前学修 2.0hr：関心分野を整理する。 事後学修 2.0hr：テーマ案を作成する。
3回	**授業テーマ：情報収集の深化** 授業内容：信頼性の高い情報の収集方法と整理方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：参考文献を収集する。 事後学修 2.0hr：文献メモを作成する。
4回	**授業テーマ：論理的構成の点検** 授業内容：主張・根拠・結論の対応関係を確認し、論理の弱点を見つける方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：構成案を検討する。 事後学修 2.0hr：指摘事項を踏まえ、論点整理メモを作成する。
5回	**授業テーマ：構成と論理展開の改善** 授業内容：前回で整理した論点をもとに、構成案を改善し、説得力のある論理展開へと発展させる。 事前学修 2.0hr：論点整理メモを確認し、修正方針を立てる。 事後学修 2.0hr：改善後の構成案を完成させる。
6回	**授業テーマ：発表準備（構想）** 授業内容：レポート・発表の全体構想を整理する。 事前学修 2.0hr：原稿構想メモを作成する。 事後学修 2.0hr：構想を文章化する。
7回	**授業テーマ：作業時間・個別指導①（テーマ・構成再整理）** 授業内容：研究テーマおよび構成の再整理を目的とした作業と個別面談を行う。 事前学修 2.0hr：本文作成を進める。 事後学修 2.0hr：個別指導を踏まえ、テーマ・構成を確定する。

8回	**授業テーマ：作業時間・個別指導②(下書き作成)** 授業内容：本文下書き作成を中心とした作業と個別面談を行う。 事前学修 2.0hr：構成案をもとに本文作成を進める。 事後学修 2.0hr：下書きを修正する。
9回	**授業テーマ：作業時間・個別指導③(下書き深化)** 授業内容：下書きの深化を目的とした作業と、論証・引用に関する個別面談を行う。 事前学修 2.0hr：本文作成を継続する。 事後学修 2.0hr：原稿を修正・改善する。
10回	**授業テーマ：作業時間・個別指導④(最終調整)** 授業内容：完成原稿および発表内容の最終調整を行い、個別フィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：原稿・資料を見直す。 事後学修 2.0hr：完成原稿・発表資料を仕上げる。
11回	**授業テーマ：発表準備** 授業内容：発表構成および表現方法を整理する。 事前学修 2.0hr：原稿を確認する。 事後学修 2.0hr：発表資料を完成させる。
12回	**授業テーマ：学生発表①** 授業内容：成果発表および質疑応答を行う。 事 事前学修 2.0hr：発表内容を確認する。 事後学修 2.0hr：フィードバックを整理する。
13回	**授業テーマ：学生発表②** 授業内容：成果発表および質疑応答を行う。 事前学修 2.0hr：発表内容を確認する。 事後学修 2.0hr：発表内容を改善する。
14回	**授業テーマ：振り返りと講評** 授業内容：発表全体の講評を行い、学修成果を振り返る。 事前学修 2.0hr：発表内容を振り返る。 事後学修 2.0hr：学修成果をまとめる。
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：後期授業の総括を行う。 事前学修 2.0hr：年間学修を振り返る。 事後学修 2.0hr：今後の学修計画を立てる。

プレゼミⅠ

開講学科等：経　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前/後　｜　備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

経済学部教員

▌授業の概要

経済学部では、４年間一貫した必修ゼミ・カリキュラムがあり、普段の授業で得た知識を整理して学修成果を発信することが求められます。プレゼミⅠでは、３年生以降の専門ゼミ１・２を見据えて、説得力のある成果発表力を養うことを目指します。具体的にはグループや個人でのプレゼンテーションなどを繰り返し行うなかで、課題発見力や情報収集力、分析力、論理的思考力、表現力などを養っていきます。また、クラスのメンバーと知り合い、話し合えるような関係づくりを目指します。

なお、授業運営については、各クラスの実情に合わせて変更することがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4/5/6）

一般目標：大学における学修に必要な「成果を出す姿勢」を身につける。
個別目標：１．グループで協力して成果を出すことができる。
　　２．論理的に思考し、適切な情報を活用することができる。
　　２．プレゼンテーションを適切に行うことができる。

▌履修条件

とくにありません。

▌評価基準・方法

１．課題(50 %)：授業内で複数の課題を課します。提出状況および内容によって評価します。
２．平常点(50 %)：授業への取り組み姿勢を評価します。

▌フィードバック方法

授業内での課題の実施およびフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行うことがあります。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業はグループワークや実習型で進めます。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ワープロソフト、プレゼンテーションソフト、表計算ソフトなどを用います。）

▌教科書

特に指定しません。

▌参考書

必要に応じて指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の概要や授業計画、および評価方法について説明します。 事前学修 2.0hr：シラバスを確認してきて下さい。 事後学修 2.0hr：授業計画、評価方法についての理解を確実にして下さい。
2回	**授業テーマ：アイス・ブレーキング、チーム・ビルディング** 授業内容：チームに分かれて、メンバーをお互いに知ります。また、簡単なゲームなどを行いながら、チームでのディスカッションを経験します。 事前学修 1.0hr：チームを確認して下さい。 事後学修 3.0hr：チームメンバーについて振り返って下さい。学修内容を振り返り、KPT（Keep、Problem、Try）を考えて下さい。
3回	**授業テーマ：プレゼンテーション(１)テーマ設定と情報収集** 授業内容：プレゼンテーションのテーマを設定し、必要な情報を収集します。 事前学修 1.0hr：前回の KPT を確認して下さい。 事後学修 3.0hr：学修内容を振り返り、KPT（Keep、Problem、Try）を考えて下さい。また、自分の役割を確実に実行して下さい。
4回	**授業テーマ：プレゼンテーション(２)プロットの作成** 授業内容：プレゼンテーションのプロットを作成します。 事前学修 1.0hr：前回の KPT を確認して下さい。また、自分の役割について確認して下さい。 事後学修 3.0hr：学修内容を振り返り、KPT（Keep、Problem、Try）を考えて下さい。また、自分の役割を確実に実行して下さい。
5回	**授業テーマ：プレゼンテーション(３)プレゼン資料の作成** 授業内容：プロットに基づいてプレゼンテーションの資料を作成します。 事前学修 1.0hr：前回の KPT を確認して下さい。また、自分の役割について確認して下さい。 事後学修 3.0hr：学修内容を振り返り、KPT（Keep、Problem、Try）を考えて下さい。また、自分の役割を確実に実行して下さい。
6回	**授業テーマ：プレゼンテーション(４)プレゼン資料の修正** 授業内容：プロットに基づいてプレゼンテーションの資料を作成します。 事前学修 1.0hr：前回の KPT を確認して下さい。また、自分の役割について確認して下さい。 事後学修 3.0hr：学修内容を振り返り、KPT（Keep、Problem、Try）を考えて下さい。また、自分の役割を確実に実行して下さい。
7回	**授業テーマ：プレゼンテーション(５)中間発表** 授業内容：中間発表を行い、フィードバックを受けます。 事前学修 1.0hr：前回の KPT を確認して下さい。また、自分の役割について確認して下さい。 事後学修 3.0hr：学修内容を振り返り、KPT（Keep、Problem、Try）を考えて下さい。また、自分の役割を確実に実行して下さい。
8回	**授業テーマ：プレゼンテーション(６)プレゼン資料の初稿完成。第１グループの個別面談** 授業内容：プレゼンテーション資料の初稿を完成させます。同時に、第１グループの個別面談を行います。 事前学修 3.0hr：前回の KPT を確認して下さい。また、自分の役割について確認して下さい。 事後学修 1.0hr：学修内容を振り返り、KPT（Keep、Problem、Try）を考えて下さい。
9回	**授業テーマ：プレゼンテーション(７)発表原稿の作成。第２グループの個別面談** 授業内容：プレゼンテーションの発表原稿と想定質疑応答を作成します。同時に、第２グループの個別面談を行います。 事前学修 2.0hr：前回の KPT を確認して下さい。また、自分の役割について確認して下さい。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、KPT（Keep、Problem、Try）を考えて下さい。また、自分の役割を確実に実行して下さい。
10回	**授業テーマ：プレゼンテーション(８)予備的リハーサル。第３グループの個別面談** 授業内容：原稿に基づいてプレゼンテーションのリハーサルをします。同時に、第３グループの個別面談を行います。 事前学修 2.0hr：前回の KPT を確認して下さい。また、自分の役割について確認して下さい。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、KPT（Keep、Problem、Try）を考えて下さい。また、自分の役割を確実に実行して下さい。

11回	**授業テーマ：プレゼンテーション(9)リハーサル。第4グループの個別面談** 授業内容：原稿を用いずにプレゼンテーションのリハーサルをします。同時に、第4グループの個別面談を行います。 事前学修 2.0hr：前回の KPT を確認して下さい。また、自分の役割について確認して下さい。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、KPT（Keep、Problem、Try）を考えて下さい。また、自分の役割を確実に実行して下さい。
12回	**授業テーマ：プレゼンテーション(10)発表・質疑応答** 授業内容：プレゼンテーションを発表し、質疑応答の練習をします。 事前学修 2.0hr：前回の KPT を確認して下さい。また、自分の役割について確認して下さい。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、KPT（Keep、Problem、Try）を考えて下さい。また、自分の役割を確実に実行して下さい。
13回	**授業テーマ：クラス間プレゼンテーション発表会(1)前半チームの発表** 授業内容：クラス間でのプレゼンテーション発表会を行います。前半チームがプレゼンテーションを発表し、質疑に応答します。 事前学修 2.0hr：前回の KPT を確認して下さい。また、自分の役割について確認して下さい。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、KPT（Keep、Problem、Try）を考えて下さい。
14回	**授業テーマ：クラス間プレゼンテーション発表会(2)後半チームの発表** 授業内容：クラス間でのプレゼンテーション発表会を行います。後半グループがプレゼンテーションを発表し、質疑に応答します。 事前学修 2.0hr：前回の KPT を確認して下さい。また、自分の役割について確認して下さい。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、KPT（Keep、Problem、Try）を考えて下さい。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：これまでの内容について振り返りをします。 事前学修 2.0hr：これまでの学修内容を復習して下さい。 事後学修 2.0hr：期間内の学修内容を振り返り、KPT（Keep、Problem、Try）を考えて下さい。

プレゼミⅡ

開講学科等：経 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

経済学部教員

▌授業の概要

プレゼミⅠでは、プレゼミⅡに引き続き３年生以降の専門ゼミ１・２を見据えて、説得力のある成果発表力を養うことを目指します。具体的にはグループや個人でのプレゼンテーションなどを繰り返し行うなかで、課題発見力や情報収集力、分析力、論理的思考力、表現力などを養っていきます。また、専門ゼミ１・2の選択に向けた取り組みも行います。また、クラスのメンバーと知り合い、話し合えるような関係づくりを目指します。

なお、授業運営については、各クラスの実情に合わせて変更することがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4/5/6）

一般目標：大学における学修に必要な「成果を出す姿勢」を身につける。

個別目標：１．グループで協力して成果を出すことができる。
２．論理的に思考し、適切な情報を活用することができる。
２．プレゼンテーションを適切に行うことができる。

▌履修条件

とくにありません。

▌評価基準・方法

１．課題(50 %)：授業内で複数の課題を課します。提出状況および内容によって評価します。
２．平常点(50 %)：授業への取り組み姿勢を評価します。

▌フィードバック方法

授業内での課題の実施およびフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行うことがあります。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業はグループワークや実習型で進めます。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ワープロソフト、プレゼンテーションソフト、表計算ソフトなどを用います。）

▌教科書

特に指定しません。

▌参考書

必要に応じて指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の概要や授業計画、および評価方法について説明します。 事前学修 2.0hr：シラバスを確認して下さい。 事後学修 2.0hr：授業計画、評価方法についての理解を確実にして下さい。
2回	**授業テーマ：レポート(１)テーマ設定、情報収集** 授業内容：レポートのテーマを設定し、情報を収集します。 事前学修 2.0hr：レポートのテーマを検討してください。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、KPT（Keep、Problem、Try)を考えて下さい。
3回	**授業テーマ：レポート(２)作成** 授業内容：収集した情報を分析し、レポートを作成します。 事前学修 1.0hr：前回の KPT と収集した情報を確認してください。 事後学修 3.0hr：学修内容を振り返り、KPT（Keep、Problem、Try)を考えて下さい。また、レポートを完成させてください。
4回	**授業テーマ：レポート(３)発表** 授業内容：レポートの発表を行ないます。 事前学修 3.0hr：前回の KPT を確認して下さい。また、発表の準備をしてください。 事後学修 1.0hr：学修内容を振り返り、KPT（Keep、Problem、Try)を考えて下さい。
5回	**授業テーマ：専門ゼミの紹介(１)前半** 授業内容：３・４年生の専門ゼミについて、選考方法を確認します。また、各専門ゼミの内容を確認します(前半)。 事前学修 2.0hr：専門ゼミの選考方法を確認して下さい。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、専門ゼミの選考方法を確認するとともに、専門ゼミで何を学びたいのか考えてください。
6回	**授業テーマ：専門ゼミの紹介(２)後半** 授業内容：３・４年生の専門ゼミについて、選考方法や各専門ゼミの内容を確認します(後半)。 事前学修 2.0hr：どのような専門ゼミがあるのか確認して下さい。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、専門ゼミで何を学びたいのか考えてください。
7回	**授業テーマ：専門ゼミの選択と応募** 授業内容：履修したい専門ゼミを選び、応募します。 事前学修 3.0hr：どの専門ゼミに応募するのか考えて下さい。 事後学修 1.0hr：学修内容を振り返り、KPT（Keep、Problem、Try)を考えて下さい。
8回	**授業テーマ：ポスターセッション(１)テーマ設定と情報収集** 授業内容：ポスターセッションのテーマを設定し、関連する情報を収集します。 事前学修 3.0hr：ポスターセッションのテーマについて考えて下さい。 事後学修 1.0hr：学修内容を振り返り、KPT（Keep、Problem、Try)を考えて下さい。
9回	**授業テーマ：ポスターセッション(２)プロットの作成。第１グループの個別面談** 授業内容：ポスターのプロットを作成します。同時に、第１グループの個別面談を行います。 事前学修 2.0hr：前回の KPT を確認して下さい。また、自分の役割について確認して下さい。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、KPT（Keep、Problem、Try)を考えて下さい。また、自分の役割を確実に実行して下さい。
10回	**授業テーマ：ポスターセッション(３)ポスター作成。第２グループの個別面談** 授業内容：ポスターを作成します。同時に、第２グループの個別面談を行います。 事前学修 2.0hr：前回の KPT を確認して下さい。また、自分の役割について確認して下さい。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、KPT（Keep、Problem、Try)を考えて下さい。また、自分の役割を確実に実行して下さい。
11回	**授業テーマ：ポスターセッション(４)ポスター完成。第３グループの個別面談** 授業内容：ポスターを完成させます。同時に、第３グループの個別面談を行います。 事前学修 2.0hr：前回の KPT を確認して下さい。また、自分の役割について確認して下さい。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、KPT（Keep、Problem、Try)を考えて下さい。また、自分の役割を確実に実行して下さい。

12回	**授業テーマ：ポスターセッション(５)リハーサル** 授業内容：ポスターセッションのリハーサルを行います。同時に、第４グループの個別面談を行います。 事前学修 2.0hr：前回の KPT を確認して下さい。また、自分の役割について確認して下さい。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、KPT（Keep、Problem、Try）を考えて下さい。また、自分の役割を確実に実行して下さい。
13回	**授業テーマ：ポスターセッション(６)発表** 授業内容：クラス内でポスターセッションを行います。 事前学修 2.0hr：前回の KPT を確認して下さい。また、自分の役割について確認して下さい。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、KPT（Keep、Problem、Try）を考えて下さい。
14回	**授業テーマ：クラス間ポスターセッション** 授業内容：クラス間でのポスターセッションを行います。 事前学修 2.0hr：前回の KPT を確認して下さい。また、自分の役割について確認して下さい。 事後学修 2.0hr：学修内容を振り返り、KPT（Keep、Problem、Try）を考えて下さい。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：これまでの内容について振り返りをします。 事前学修 2.0hr：これまでの学修内容を復習して下さい。 事後学修 2.0hr：期間内の学修内容を振り返り、KPT（Keep、Problem、Try）を考えて下さい。

専門ゼミ 1

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

飯田　信一（いいだ　のぶかず）

▌授業の概要

本ゼミの目的として、1 つはマーケティングの知識や理論を深堀りし、実際の企業戦略を分析し理解する力を養うこと。それは主にマーケティング関連の書籍・資料の輪読を通じて行います。2 つ目は、コンセプチュアルスキル(概念化能力)の基礎を学ぶことです。コンセプチュアルスキルを身に着ければ、日常的に物事を理論的・創造的に考えることができ、たとえ正解のない問題に直面しても、問題の本質を見極め、皆が納得できる解決策を導き出せるようになります。本ゼミでは、教員の企業での経験を活かしつつ、その基礎的なトレーニングを行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：正解のない事象にも向き合い、広い視野で多面的に物事をとらえ、皆に分かりやすいように可視化し、具体的な解決策を考える習慣づくりを目指す。この習慣を身に着ける過程で、自分の考え方や行動を省みることが大切で、これを積み重ねていくことで、自らの「強み」を見極め、社会で通用する基礎を形成する。

個別目標：1．マーケティングの基礎知識、理論を理解し、実際の企業のマーケティング戦略が理解できるようになる。
2．ロジカルシンキング、他者を説得するする力、分かりやすい表現力を身に着ける。
3．資料やデータを収集し、整理する方法、分析する力、文章に落とし込み編集する力を身に着ける。

▌履修条件

・ゼミ活動に積極的に参加すること。受け身にならず主体的な行動を取ること。
・教員の担当科目「マーケティング論Ⅰ及びⅡ」を履修すること。

▌評価基準・方法

原則、授業の 5 分の 4 以上の出席が評価対象となる。
プレゼンや輪読発表の内容(40 %)、課題の取組状況(40 %)、授業への参加姿勢(20 %)。

▌フィードバック方法

課題やプレゼン、輪読発表についての評価、フィードバックは学修支援システム manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼン、輪読発表、グループディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼン資料作成、輪読レジュメ作成など）

▌教科書

特に使用しない。適宜教員が資料を提示する。

▌参考書

適宜教員が指示。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、イントロダクション** 授業内容：本ゼミの目的、履修内容、年間計画、評価方法について説明します。 事前学修 2.0hr：講義概要の把握 事後学修 2.0hr：自身の問題意識の設定	16回	**授業テーマ：プレゼンテーションの技法を学ぶ(講義)** 授業内容：プレゼンテーションの構想の立て方、構成、手順、資料作成、発表の手法を講義します。ゼミ連発表(明海祭)に備えます。 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.5hr：講義の復習
2回	**授業テーマ：輪読の進め方(講義)** 授業内容：様々な経営者のマーケティング関連著作を輪読形式で読み込んで行く際の留意事項、進め方について講義します。 著作の対象となる業種としては、飲食、小売り、食品、アパレル、化粧品、トイレタリー等、学生にとって親しみやすい衣食住に関わるものを選択する予定です。 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義の復習	17回	**授業テーマ：プレゼンテーション演習** 授業内容：プレゼン技法の講義を踏まえ、各自テーマ設定の上、短いプレゼンテーションに取り組む。 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義の復習
3回	**授業テーマ：輪読基礎演習①** 授業内容：いきなり輪読に入るのではなく、マーケティングに関わるごく短いテキストをまとめて、要約発表するトレーニングを行います。 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義の復習	18回	**授業テーマ：ゼミ連発表の準備活動** 授業内容：ゼミ連発表に備えた活動、テーマ決め、役割分担、資料作成を行う。 小グループでのプレゼン発表、またはポスター製作の準備。 事前学修 2.0hr：ゼミ連発表の準備 事後学修 2.0hr：ゼミ連発表の準備
4回	**授業テーマ：輪読基礎演習②** 授業内容：いきなり輪読に入るのではなく、マーケティングに関わるごく短いテキストをまとめて、要約発表するトレーニングを行います。 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義の復習	19回	**授業テーマ：ゼミ連発表の準備活動** 授業内容：ゼミ連発表に備えた活動、テーマ決め、役割分担、資料作成を行う。 小グループでのプレゼン発表、またはポスター製作の準備。 事前学修 2.0hr：ゼミ連発表の準備 事後学修 2.0hr：ゼミ連発表の準備
5回	**授業テーマ：輪読基礎演習③** 授業内容：いきなり輪読に入るのではなく、マーケティングに関わるごく短いテキストをまとめて、要約発表するトレーニングを行います。 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義の復習	20回	**授業テーマ：ゼミ連発表の準備** 授業内容：ゼミ連発表に備えた活動、テーマ決め、役割分担、資料作成を行う。 小グループでのプレゼン発表、またはポスター製作の準備。 事前学修 2.0hr：ゼミ連発表の準備 事後学修 2.0hr：ゼミ連発表の準備
6回	**授業テーマ：輪読** 授業内容：輪読報告 事前学修 2.0hr：講義の準備 事後学修 2.0hr：講義の復習	21回	**授業テーマ：ゼミ連発表** 授業内容：ゼミ連発表会(明海祭)へ参加、小グループでのプレゼン発表。または、ポスター作成・掲示。 事前学修 2.0hr：ゼミ連発表の準備 事後学修 2.0hr：ゼミ連発表の振り返り
7回	**授業テーマ：輪読** 授業内容：輪読報告 事前学修 2.0hr：輪読準備 事後学修 2.0hr：輪読復習	22回	**授業テーマ：合同ゼミ準備①** 授業内容：武蔵大学3年生(内藤ゼミ)との合同ゼミの準備作業 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義の復習
8回	**授業テーマ：輪読** 授業内容：輪読報告 事前学修 2.0hr：輪読準備 事後学修 2.0hr：輪読復習	23回	**授業テーマ：合同ゼミの準備②** 授業内容：武蔵大学3年生(内藤ゼミ)との合同ゼミの準備作業 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義の復習

9回	**授業テーマ：輪読** 授業内容：輪読報告 事前学修 2.0hr：輪読準備 事後学修 2.0hr：輪読復習	24回	**授業テーマ：合同ゼミの準備③** 授業内容：武蔵大学３年生(内藤ゼミ)との合同ゼミの準備作業 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義の復習
10回	**授業テーマ：輪読** 授業内容：輪読報告 事前学修 2.0hr：輪読準備 事後学修 2.0hr：輪読復習	25回	**授業テーマ：校外実習(予定)** 授業内容：企業の工場現場等を訪問、現場で働く人達との交流。 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義の復習
11回	**授業テーマ：輪読** 授業内容：輪読報告 事前学修 2.0hr：輪読準備 事後学修 2.0hr：輪読復習	26回	**授業テーマ：社会人講演(予定)** 授業内容：実際に企業に勤務する社員による講演。仕事に取り組む姿勢を学ぶ。 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義の復習
12回	**授業テーマ：輪読** 授業内容：輪読報告 事前学修 2.0hr：輪読準備 事後学修 2.0hr：輪読復習	27回	**授業テーマ：マーケティング総合演習①** 授業内容：マーケティングⅠ、Ⅱの講義で学んだことを基礎に、企業事例のショートケースを読み、ケーススタディ形式の演習を行う。 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義の復習
13回	**授業テーマ：ロジカルシンキング基礎(講義)** 授業内容：ロジカルシンキング(物事や情報を整理し、筋道立てて分かりやすくする思考)の基礎を学ぶ。 事前学修 2.0hr：準備 事後学修 2.0hr：復習	28回	**授業テーマ：マーケティング総合演習②** 授業内容：マーケティングⅠ、Ⅱの講義で学んだことを基礎に、企業事例のショートケースを読み、ケーススタディ形式の演習を行う。 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義の復習
14回	**授業テーマ：ロジカルシンキング基礎(演習)** 授業内容：ロジカルシンキング(物事や情報を整理し、筋道立てて分かりやすくする思考)について、基礎的な演習を行う。 事前学修 2.0hr：準備 事後学修 2.0hr：復習	29回	**授業テーマ：マーケティング総合演習③** 授業内容：マーケティングⅠ、Ⅱの講義で学んだことを基礎に、企業事例のショートケースを読み、ケーススタディ形式の演習を行う。 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義の復習
15回	**授業テーマ：前期まとめ(講義)** 授業内容：前期ゼミの振り返り、マーケティングの理論や知識の整理 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義の復習	30回	**授業テーマ：1 年間のゼミ活動総括** 授業内容：ゼミ活動の振り返り、４年生に向けた準備、心構え(マインドセット)、助言を行う。 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義の復習

専門ゼミ 1

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

池田　晋（いけだ　すすむ）

▌授業の概要

本ゼミでは，1・2 年次に学んだ経営学や簿記の知識を使い，収益性や安全性などの財務諸表分析やコーポレートガバナンス，内部統制などについて組織的な分析を行い，経営者や株主などの利害関係者に対して提言をまとめることを目的としている。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：（1）日本の経済社会の動向を理解し，各種データを説明できる。
（2）財務諸表の相互関連性を通して，企業活動に対する基本的な洞察力と判断力を身につける。
（3）企業倫理，コーポレートガバナンス，内部統制の基礎概念を身につける。

個別目標：（1）新聞，雑誌等の経済記事をわかりやすく説明できる。
（2）経済情勢が企業業績に与える影響を説明できる。
（3）個別企業の基本的な経営分析ができる。

▌履修条件

ゼミ活動に積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

発表の内容 (40%)，ディスカッションへの参加（40%），ゼミ行事への参加状況（20%）などで評価する。
授業の 5 分の 4 以上に出席しない場合は評価の対象とならない。

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは，学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word ソフトを搭載したノートパソコンを毎回持参すること）

▌教科書

特に使用しない。

▌参考書

特に使用しない。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：前期ガイダンス，履修者の関心の確認と問題意識の設定** 授業内容：ガイダンス 事前学修 1.5hr：授業の予習 事後学修 1.5hr：自身の問題意識の確定	16 回	**授業テーマ：後期ガイダンス，グループ分け** 授業内容：ガイダンス 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
2 回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：効果的なプレゼンテーションのやり方（講義） 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習	17 回	**授業テーマ：グループワーク** 授業内容：発表準備 事前学修 2.0hr：授業の準備 事後学修 2.0hr：授業内容のまとめ
3 回	**授業テーマ：プレゼンテーションのやり方** 授業内容：効果的なプレゼンテーションのやり方（講義） 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業の復習	18 回	**授業テーマ：グループワーク** 授業内容：発表準備 事前学修 2.0hr：授業の準備 事後学修 2.0hr：授業内容のまとめ
4 回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：担当者による新聞・雑誌記事の報告および解説 事前学修 2.0hr：関心のある経済ニュースの概要の把握、報告の準備 事後学修 2.0hr：授業内容のまとめ	19 回	**授業テーマ：グループワーク** 授業内容：発表準備 事前学修 2.0hr：授業の準備 事後学修 2.0hr：授業内容のまとめ
5 回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：担当者による新聞・雑誌記事の報告および解説 事前学修 2.0hr：関心のある経済ニュースの概要の把握、報告の準備 事後学修 2.0hr：授業内容のまとめ	20 回	**授業テーマ：グループワーク** 授業内容：発表準備 事前学修 2.0hr：授業の準備 事後学修 2.0hr：授業内容のまとめ
6 回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：担当者による新聞・雑誌記事の報告および解説 事前学修 2.0hr：関心のある経済ニュースの概要の把握、報告の準備 事後学修 2.0hr：授業内容のまとめ	21 回	**授業テーマ：グループワーク** 授業内容：発表準備 事前学修 2.0hr：授業の準備 事後学修 2.0hr：授業内容のまとめ
7 回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：担当者による新聞・雑誌記事の報告および解説 事前学修 2.0hr：関心のある経済ニュースの概要の把握、報告の準備 事後学修 2.0hr：授業内容のまとめ	22 回	**授業テーマ：グループワーク** 授業内容：発表準備 事前学修 2.0hr：授業の準備 事後学修 2.0hr：授業内容のまとめ
8 回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：担当者による新聞・雑誌記事の報告および解説 事前学修 2.0hr：関心のある経済ニュースの概要の把握、報告の準備 事後学修 2.0hr：授業内容のまとめ	23 回	**授業テーマ：グループワーク** 授業内容：発表準備 事前学修 2.0hr：授業の準備 事後学修 2.0hr：授業内容のまとめ
9 回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：担当者による新聞・雑誌記事の報告および解説 事前学修 2.0hr：関心のある経済ニュースの概要の把握、報告の準備 事後学修 2.0hr：授業内容のまとめ	24 回	**授業テーマ：経営分析** 授業内容：経営分析の講義 事前学修 2.0hr：授業の準備 事後学修 2.0hr：授業内容のまとめ
10 回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：担当者による新聞・雑誌記事の報告および解説 事前学修 3.0hr：関心のある経済ニュースの概要の把握、報告の準備 事後学修 2.0hr：授業内容のまとめ	25 回	**授業テーマ：経営分析** 授業内容：経営分析の講義 事前学修 2.0hr：授業の準備 事後学修 2.0hr：授業内容のまとめ
11 回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：担当者による新聞・雑誌記事の報告および解説 事前学修 2.0hr：関心のある経済ニュースの概要の把握、報告の準備 事後学修 2.0hr：授業内容のまとめ	26 回	**授業テーマ：経営分析** 授業内容：グループワーク 事前学修 2.0hr：授業の準備 事後学修 2.0hr：授業内容のまとめ

12回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：担当者による新聞・雑誌記事の報告および解説 事前学修 2.0hr：関心のある経済ニュースの概要の把握、報告の準備 事後学修 2.0hr：授業内容のまとめ	27回	**授業テーマ：発表準備** 授業内容：グループワーク 事前学修 2.0hr：授業の準備 事後学修 2.0hr：授業内容のまとめ
13回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：担当者による新聞・雑誌記事の報告および解説 事前学修 2.0hr：関心のある経済ニュースの概要の把握、報告の準備 事後学修 2.0hr：授業内容のまとめ	28回	**授業テーマ：発表準備** 授業内容：グループワーク 事前学修 2.0hr：授業の準備 事後学修 2.0hr：授業内容のまとめ
14回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：担当者による新聞・雑誌記事の報告および解説 事前学修 2.0hr：関心のある経済ニュースの概要の把握、報告の準備 事後学修 2.0hr：授業内容のまとめ	29回	**授業テーマ：発表** 授業内容：経営分析の発表 事前学修 2.0hr：授業の準備 事後学修 2.0hr：授業内容のまとめ
15回	**授業テーマ：前期のまとめ** 授業内容：まとめ(講義) 事前学修 2.0hr：自分が行った報告についてのふりかえり 事後学修 2.0hr：授業内容のまとめ	30回	**授業テーマ：発表** 授業内容：経営分析の発表 事前学修 2.0hr：授業の準備 事後学修 2.0hr：授業内容のまとめ

専門ゼミ 1

開講学科等：経　｜　3 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

呉　東錫（お　どんそく）

▌授業の概要

本ゼミでは、企業の資本構成や資金調達行動が企業価値、株式リターン、マーケットシェアなどに与える影響に関する基礎理論や実証方法を学びます。文献の輪読や政府レポートの閲覧、ディスカッションを通じて、これらの問題の重要性を理解し、自ら意見を発信する力を養います。また、統計学や計量経済学の知識やスキルを習得し、4 年次にはゼミで扱った内容をもとに卒業論文を作成することを目指します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：企業の資本構成や資金調達行動が企業価値および市場成果に与える影響を、理論的・実証的に理解することを通じて、経済的課題に対する分析力と判断力を養う。
　　また、輪読や議論を通じて論理的思考力およびコミュニケーション力を高め、社会的文脈を踏まえた意見形成能力を培う。

個別目標：1. 資本構成や資金調達に関する基礎理論を習得する。
　　2. 統計学や計量経済学の手法を用いて実証分析を行うスキルを身につける。
　　3. 文献やデータを用いた研究を通じて卒業論文のテーマを決める。

▌履修条件

経営分析、財務会計論、統計学、計量経済学を履修済み、あるいは並行履修することが望ましい。

▌評価基準・方法

授業への貢献、レポート等を総合的に評価する

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、基本的に学修支援システム（manaba）を通して行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （文献や新聞記事を基に双方向のディスカッションを行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パソコンを用いた実証分析の演習を行う）

▌教科書

第 1 回目の授業で指示する

▌参考書

第 1 回目の授業で指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス、年間計画について** 授業内容：シラバスの概要を説明するとともに、授業の年間計画について説明します。 事前学修 2.0hr：ゼミで何を学びたいのかを考える。 事後学修 2.0hr：ゼミの分担を確認し、各自の計画を考える。	16 回	**授業テーマ：ガイダンス、後期計画について** 授業内容：後期の授業計画について説明する。 事前学修 2.0hr：ゼミで何を学びたいのかを考える。 事後学修 2.0hr：ゼミの分担を確認し、各自の計画を考える。
2 回	**授業テーマ：卒業までの計画について** 授業内容：卒業までの計画を立て、当該計画についてディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：授業に関連する情報についてインターネットや新聞を探す。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容についてインターネットの情報や参考書などの文献を調べ、自分の考えをまとめる。	17 回	**授業テーマ：統計学 I** 授業内容：本ゼミに必要な統計学の基礎 事前学修 2.0hr：事前に統計学について予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容について復習する。
3 回	**授業テーマ：企業の資本構成に関する基礎理論 1** 授業内容：テキストの輪読、新聞記事の閲覧、ならびにディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：授業に関連する情報について、インターネットや新聞を用いて調査する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容について、インターネット上の情報や参考書等の文献を調べ、自分の考えをまとめる。	18 回	**授業テーマ：統計学 2** 授業内容：本ゼミに必要な統計学の基礎 事前学修 2.0hr：事前に統計学について予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容について復習する。
4 回	**授業テーマ：企業の資本構成に関する基礎理論 2** 授業内容：テキストの輪読、新聞記事の閲覧、ならびにディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：授業に関連する情報について、インターネットや新聞を用いて調査する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容について、インターネット上の情報や参考書等の文献を調べ、自分の考えをまとめる。	19 回	**授業テーマ：計量経済学 1** 授業内容：本ゼミに必要な計量経済学の基礎 事前学修 2.0hr：事前に計量経済学を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容について復習する。
5 回	**授業テーマ：企業の財務諸表分析 1** 授業内容：テキストの輪読、新聞記事の閲覧、ならびにディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：授業に関連する情報について、インターネットや新聞を用いて調査する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容について、インターネット上の情報や参考書等の文献を調べ、自分の考えをまとめる。	20 回	**授業テーマ：計量経済学 2** 授業内容：本ゼミに必要な計量経済学の基礎 事前学修 2.0hr：事前に計量経済学を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容について復習する。
6 回	**授業テーマ：企業の財務諸表分析 2** 授業内容：テキストの輪読、新聞記事の閲覧、ならびにディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：授業に関連する情報について、インターネットや新聞を用いて調査する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容について、インターネット上の情報や参考書等の文献を調べ、自分の考えをまとめる。	21 回	**授業テーマ：分析ツールの基礎操作 1** 授業内容：パソコンを用いて、分析ツールの基礎的な操作演習を行う。 事前学修 2.0hr：事前にパソコンの操作方法を確認する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容について、パソコンを用いて復習する。
7 回	**授業テーマ：企業の負債調達行動 1** 授業内容：テキストの輪読、新聞記事の閲覧、ならびにディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：授業に関連する情報について、インターネットや新聞を用いて調査する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容について、インターネット上の情報や参考書等の文献を調べ、自分の考えをまとめる。	22 回	**授業テーマ：分析ツールの基礎操作 2** 授業内容：パソコンを用いて、分析ツールの基礎的な操作演習を行う。 事前学修 2.0hr：事前にパソコンの操作方法を確認する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容について、パソコンを用いて復習する。
8 回	**授業テーマ：企業の負債調達行動 2** 授業内容：テキストの輪読、新聞記事の閲覧、ならびにディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：授業に関連する情報について、インターネットや新聞を用いて調査する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容について、インターネット上の情報や参考書等の文献を調べ、自分の考えをまとめる。	23 回	**授業テーマ：分析データの収集 1** 授業内容：パソコンを用いて、分析に必要なデータを収集する。 事前学修 2.0hr：事前にパソコンの操作方法を確認する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容について、パソコンを用いて復習する。

9回	**授業テーマ：企業の流動性資産保有の原因１** 授業内容：テキストの輪読、新聞記事の閲覧、ならびにディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：授業に関連する情報について、インターネットや新聞を用いて調査する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容について、インターネット上の情報や参考書等の文献を調べ、自分の考えをまとめる。	24回	**授業テーマ：分析データの収集２** 授業内容：パソコンを用いて、分析に必要なデータを収集する。 事前学修 2.0hr：事前にパソコンの操作方法を確認する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容について、パソコンを用いて復習する。
10回	**授業テーマ：企業の流動性資産保有の原因２** 授業内容：テキストの輪読、新聞記事の閲覧、ならびにディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：授業に関連する情報について、インターネットや新聞を用いて調査する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容について、インターネット上の情報や参考書等の文献を調べ、自分の考えをまとめる。	25回	**授業テーマ：計量分析１** 授業内容：収集したデータを用いて、計量分析をを行う。 事前学修 2.0hr：事前にパソコンの操作方法を確認する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容について、パソコンを用いて復習する。
11回	**授業テーマ：資金制約と資金調達１** 授業内容：テキストの輪読、新聞記事の閲覧、ならびにディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：授業に関連する情報について、インターネットや新聞を用いて調査する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容について、インターネット上の情報や参考書等の文献を調べ、自分の考えをまとめる。	26回	**授業テーマ：計量分析２** 授業内容：収集したデータを用いて、計量分析をを行う。 事前学修 2.0hr：事前にパソコンの操作方法を確認する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容について、パソコンを用いて復習する。
12回	**授業テーマ：資金制約と資金調達２** 授業内容：テキストの輪読、新聞記事の閲覧、ならびにディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：授業に関連する情報について、インターネットや新聞を用いて調査する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容について、インターネット上の情報や参考書等の文献を調べ、自分の考えをまとめる。	27回	**授業テーマ：分析結果の発表１** 授業内容：各自の分析結果についてプレゼンテーションを行い、他のゼミ生とディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：各自の分析結果をまとめる。 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容をまとめる。
13回	**授業テーマ：資金制約と設備投資１** 授業内容：テキストの輪読、新聞記事の閲覧、ならびにディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：授業に関連する情報について、インターネットや新聞を用いて調査する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容について、インターネット上の情報や参考書等の文献を調べ、自分の考えをまとめる。	28回	**授業テーマ：分析結果の発表２** 授業内容：各自の分析結果についてプレゼンテーションを行い、他のゼミ生とディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：各自の分析結果をまとめる。 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容をまとめる。
14回	**授業テーマ：資金制約と設備投資２** 授業内容：テキストの輪読、新聞記事の閲覧、ならびにディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：授業に関連する情報について、インターネットや新聞を用いて調査する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容について、インターネット上の情報や参考書等の文献を調べ、自分の考えをまとめる。	29回	**授業テーマ：分析結果の発表３** 授業内容：各自の分析結果についてプレゼンテーションを行い、他のゼミ生とディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：各自の分析結果をまとめる。 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容をまとめる。
15回	**授業テーマ：前期のまとめ、後期計画について** 授業内容：前期の授業内容のまとめを行う。 事前学修 2.0hr：前期の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：夏季休暇中および後期の計画を立てる。	30回	**授業テーマ：まとめ、次年度の年間計画について** 授業内容：これまでの授業内容のまとめを行うとともに、自身の卒業論文のテーマを決定する。 事前学修 2.0hr：年間の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：春季休暇および来年度の計画を立てる。

専門ゼミ１

開講学科等：経　｜　3 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

大石　隆介（おおいし　りゅうすけ）

▌授業の概要

本ゼミでは、履修生が金融に関する知識を修得することを目的とする。その一環として経理・財務スキル検定【ＦＡＳＳ】の資格取得に必要な知識を修得するための学修を実施する。またゼミの仲間と様々な取り組みを行う。学内活動ではプレゼンテーション大会・討論大会・ポスターセッション等への参加、学外活動では企業訪問などを行い、金融についての知識を現場を見学しながら深めていく。そして次年度の卒業論文執筆に向けて自身が扱いたいテーマについて考え、担当教員と共に執筆計画を練っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：金融についての知識を深め、他の学生たちとのチームワークを構築し、ゼミとしての活動に積極的に取り組めるようになる。
個別目標：卒業論文で扱うテーマについて熟考し、分析、発表、論述ができるようになる。

▌履修条件

ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、マクロ経済学Ⅰ・Ⅱにおいて単位を修得し、経済学の知識を十分に有していることが好ましい。

▌評価基準・方法

授業への取り組み：40 %　　課題・宿題：60 %

▌フィードバック方法

課題・宿題等のフィードバックは Manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

改訂４版 経理・財務スキル検定【ＦＡＳＳ】テキスト＆問題集　CS アカウンティング株式会社　日本能率協会マネジメントセンター

▌参考書

FASS スピード問題集 第 3 版 [経理・財務スキル検定]　ＴＡＣ　ＦＡＳＳ研究会　TAC 出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス(1 年間のスケジュール、運営方法などの説明)** 授業内容：第 1 回授業はガイダンスとし、本科目の概要、履修上の注意点等について確認する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、本講義に期待する内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：ガイダンスに従い、次の講義に向けた準備をする。	16回	**授業テーマ：後学期のガイダンス** 授業内容：第 16 回授業は後学期のガイダンスとし、後学期のスケジュール等を確認する。 事前学修 2.0hr：後学期のスケジュール等について再度確認しておく。 事後学修 2.0hr：次の授業に向けた準備を行う。
2回	**授業テーマ：資産１(教科書第 1 章：第 1 節(売掛債権)第 2 節(買掛債務))** 授業内容：第 2 回授業では教科書第 1 章(第 1 節・第2節)について学修する。ここでは売掛債権・買掛債務について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書該当章を読み、売掛債権・買掛債務について予習しておく。 事後学修 2.0hr：教科書該当章を読み返し、練習問題を解く。	17回	**授業テーマ：学内プレゼンテーション・ポスターセッション・討論大会に向けた準備１** 授業内容：第 17 回授業では後学期に開催される学内プレゼンテーション・ポスターセッション・討論大会に向けた準備(グループ分け・テーマについての検討)を行う。 事前学修 2.0hr：学内プレゼンテーション・ポスターセッション・討論大会に向けて取り扱うテーマについて検討しておく。 事後学修 2.0hr：グループ内で学内プレゼンテーション・ポスターセッション・討論大会に向けた準備(役割分担等)について話し合っておく。
3回	**授業テーマ：資産２(教科書第１章：第 3 節(在庫管理)第 4 節(固定資産)第 5 節(ソフトウェア(クラウドサービス)))** 授業内容：第 3 回授業では教科書第１章(第3節・第4節・第5節)について学修する。ここでは主に在庫管理・固定資産・ソフトウェアについて理解する。 事前学修 2.0hr：教科書該当章を読み、在庫管理・固定資産・ソフトウェアについて予習しておく。 事後学修 2.0hr：教科書該当章を読み返し、練習問題を解く。	18回	**授業テーマ：学内プレゼンテーション・ポスターセッション・討論大会に向けた準備２(グループ１の授業内でのテーマの発表)** 授業内容：第 18 回授業ではグループ１が学内プレゼンテーション・ポスターセッション・討論大会に向けて話し合ったテーマについて授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：発表に向けて準備をしておく。 事後学修 2.0hr：発表後、担当教員等のコメントを踏まえテーマについて再度検討する。
4回	**授業テーマ：決算１(教科書第 2 章：第 1 節(月次業績)第 2 節(単体決算))** 授業内容：第 4 回授業では教科書第 2 章(第１節・第2節)について学修する。ここでは主に月次業績・単体決算について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書該当章を読み、月次業績・単体決算について予習しておく。 事後学修 2.0hr：教科書該当章を読み返し、練習問題を解く。	19回	**授業テーマ：学内プレゼンテーション・ポスターセッション・討論大会に向けた準備３(グループ２の授業内でのテーマの発表)** 授業内容：第 19 回授業ではグループ２が学内プレゼンテーション・ポスターセッション・討論大会に向けて話し合ったテーマについて授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：発表に向けて準備をしておく。 事後学修 2.0hr：発表後、担当教員等のコメントを踏まえテーマについて再度検討する。
5回	**授業テーマ：決算２(教科書第２章：第 3 節(連結決算)第 4 節(外部開示))** 授業内容：第 5 回授業では教科書第２章(第 3 節・第 4 節)について学修する。ここでは連結決算・外部開示について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書該当章を読み、連結決算・外部開示について予習しておく。 事後学修 2.0hr：教科書該当章を読み返し、練習問題を解く。	20回	**授業テーマ：学内プレゼンテーション・ポスターセッション・討論大会に向けた準備４(グループ１の授業内での研究内容の発表)** 授業内容：第 20 回授業ではグループ１が学内プレゼンテーション・ポスターセッション・討論大会に向けて進めた研究内容について授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：発表に向けて準備をしておく。 事後学修 2.0hr：発表後、担当教員等のコメントを踏まえ研究内容について再度検討する。
6回	**授業テーマ：税務１(教科書第３章：第 1 節(税効果計算)第 2 節(消費税申告))** 授業内容：第 6 回授業では教科書第３章(第 1 節・第 2 節)について学修する。ここでは税効果計算・消費税申告について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書該当章を読み、税効果計算・消費税申告について予習しておく。 事後学修 2.0hr：教科書該当章を読み返し、練習問題を解く。	21回	**授業テーマ：学内プレゼンテーション・ポスターセッション・討論大会に向けた準備５(グループ２の授業内での研究内容の発表)** 授業内容：第 21 回授業ではグループ２が学内プレゼンテーション・ポスターセッション・討論大会に向けて進めた研究内容について授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：発表に向けて準備をしておく。 事後学修 2.0hr：発表後、担当教員等のコメントを踏まえ研究内容について再度検討する。
7回	**授業テーマ：税務２(教科書第 3 章：第 3 節(法人税申告)第 4 節(グループ通算申告))** 授業内容：第 7 回授業では教科書第３章(第 3 節・第 4 節)について学修する。ここでは法人税申告・グループ通算申告について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書該当章を読み、法人税申告・グループ通算申告について予習しておく。 事後学修 2.0hr：教科書該当章を読み返し、練習問題を解く。	22回	**授業テーマ：卒業論文計画書の作成１(卒業論文についての理解を深める)** 授業内容：第 22 回授業では、卒業論文計画書の作成に向けた準備を開始する。卒業論文とはどのようなものであるかについて理解する。 事前学修 2.0hr：卒業論文について自身で調べておく。 事後学修 2.0hr：担当教員に説明された内容について復習する。

8回	**授業テーマ：税務３(教科書第 3 章：第 5 節(税務調査)第６節(電子帳簿保存法)第７節(消費税インボイス制度))** 授業内容：第 8 回授業では教科書第３章(第 5 節・第 6 節・第 7 節)について学修する。ここでは税務調査・電子帳簿保存法・消費税インボイス制度について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書該当章を読み、税務調査・電子帳簿保存法・消費税インボイス制度について予習しておく。 事後学修 2.0hr：教科書該当章を読み返し、練習問題を解く。	23回	**授業テーマ：卒業論文計画書の作成２(卒業論文の計画書についての理解を深める)** 授業内容：第 23 回授業では、卒業論文計画書に記載する内容等について理解する。 事前学修 2.0hr：卒業論文計画書について自身で検討しておく。 事後学修 2.0hr：担当教員に説明された内容について復習する。
9回	**授業テーマ：資金１(教科書第 4 章：第 1 節(現金出納)第 2 節(手形))** 授業内容：第 9 回授業では教科書第４章(第 1 節・第 2 節)について学修する。ここでは現金出納・手形について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書該当章を読み、現金出納・手形について予習しておく。 事後学修 2.0hr：教科書該当章を読み返し、練習問題を解く。	24回	**授業テーマ：卒業論文計画書の作成３(卒業論文のテーマについて検討する)** 授業内容：第 24 回授業では、卒業論文計画書の作成に向けて卒論のテーマについて考える。 事前学修 2.0hr：卒業論文執筆に向けて興味のあるテーマを文書で担当教員に提出する。 事後学修 2.0hr：自身が挙げたテーマについて再度考え、より詳細な内容を調べる。
10回	**授業テーマ：資金２(教科書第４章：第 3 節(有価証券)第 4 節(債務保証))** 授業内容：第 10 回授業では教科書第４章(第 3 節・第 4 節)について学修する。ここでは有価証券・債務保証について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書該当章を読み、有価証券・債務保証について予習しておく。 事後学修 2.0hr：教科書該当章を読み返し、練習問題を解く。	25回	**授業テーマ：卒業論文計画書の作成４(卒論のテーマをゼミ内で発表する(グループ１))** 授業内容：第 25 回授業では対象(グループ１)の学生が卒論のテーマをゼミ内で発表する。 事前学修 2.0hr：発表に向けて準備をしておく。 事後学修 2.0hr：担当教員のコメントを踏まえ、テーマについて再度検討する。
11回	**授業テーマ：資金３(教科書第 4 章：第 5 節(貸付金)第 6 節(借入金))** 授業内容：第 11 回授業では教科書第４章(第 5 節・第 6 節)について学修する。ここでは主に貸付金・借入金について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書該当章を読み、貸付金・借入金について予習しておく。 事後学修 2.0hr：教科書該当章を読み返し、練習問題を解く。	26回	**授業テーマ：卒業論文計画書の作成５(卒論のテーマをゼミ内で発表する(グループ２))** 授業内容：第 26 回授業では対象(グループ２)の学生が卒論のテーマをゼミ内で発表する。 事前学修 2.0hr：発表に向けて準備をしておく。 事後学修 2.0hr：担当教員のコメントを踏まえ、テーマについて再度検討する。
12回	**授業テーマ：資金４(教科書第 4 章：第 7 節(社債)第 8 節(デリバティブ取引))** 授業内容：第 12 回授業では教科書第４章(第 7 節・第 8 節)について学修する。ここでは主に社債・デリバティブ取引について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書該当章を読み、社債・デリバティブ取引について予習しておく。 事後学修 2.0hr：教科書該当章を読み返し、練習問題を解く。	27回	**授業テーマ：卒業論文計画書の作成６(卒論の執筆計画をゼミ内で発表する(グループ１))** 授業内容：第 27 回授業では対象(グループ１)の学生が卒論の執筆計画をゼミ内で発表する。 事前学修 2.0hr：グループ１の学生は卒論の執筆計画発表の準備をする。 事後学修 2.0hr：皆で卒論の執筆計画について話し合う。
13回	**授業テーマ：資金５(教科書第 4 章：第 9 節(外貨建取引)第 10 節(資金管理))** 授業内容：第 13 回授業では教科書第４章(第 9 節・第 10 節)について学修する。ここでは主に外貨建取引・資金管理について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書該当章を読み、外貨建取引・資金管理について予習する。 事後学修 2.0hr：教科書該当章を読み返し、練習問題を解く。	28回	**授業テーマ：卒業論文計画書の作成７(卒論の執筆計画をゼミ内で発表する(グループ２))** 授業内容：第 28 回授業では対象(グループ２)の学生が卒論の執筆計画をゼミ内で発表する。 事前学修 2.0hr：グループ２の学生は卒論の執筆計画発表の準備をする。 事後学修 2.0hr：皆で卒論の執筆計画について話し合う。
14回	**授業テーマ：復習(教科書第 1 章・第 2 章・第 3 章・第 4 章)** 授業内容：第 14 回授業ではこれまで学修した内容(教科書第 1 章・第 2 章・第 3 章・第 4 章)の復習をする。 事前学修 2.0hr：教科書該当章を読み、これまでの学修内容を復習する。 事後学修 2.0hr：教科書該当章を読み返し、練習問題を解く。	29回	**授業テーマ：卒業論文計画書の作成８(卒論計画書の提出)** 授業内容：第 29 回授業では卒業論文計画書を仕上げ担当教員に提出する。 事前学修 2.0hr：教員に提出する卒論計画書を仕上げる。 事後学修 2.0hr：提出した卒論計画書を読み返す。
15回	**授業テーマ：1 学期のまとめ** 授業内容：第 15 回授業では 1 学期の学修内容を総括する。 事前学修 2.0hr：1 学期に学修した内容について読み返す。 事後学修 2.0hr：1 学期に解いた練習問題を解きなおす。	30回	**授業テーマ：1 年間の総括** 授業内容：第 30 回授業では 1 年間の活動内容について総括する。 事前学修 2.0hr：ゼミでの 1 年間の活動内容を振り返る。 事後学修 2.0hr：卒業論文計画書をもとに論文の執筆に向けた準備を始める。

専門ゼミ１

開講学科等：経　｜　3 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

岡村　龍輝（おかむら　りょうき）

▌授業の概要

　このゼミの目的は、社会的な課題に対して経営学(戦略論)的手法でアプローチすることです。世の中には大小含めて様々な課題がありますが、そうした課題を解決・改善するために、経営戦略やマーケティングなどの知識を活かして独自性のある対策を考案し、実践ないし実現可能性の検証を行います。これらの活動の一環として、アンケート調査やインタビュー調査、学内外のプレゼン大会への出場、学外の方々との交流を実施します。活動の進捗状況によりますが、人事部の業務のシミュレーションや業界・企業分析などを行う場合もあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：チーム作業を通じて社会的な問題に対して創造的な解決策を提示し、その実現可能性を合理的に判断できるとともに、それらを対外的に効果的に発信することができる。

個別目標：１．社会的な課題に対して多面的に検討し、解決策を提示できる。
　　２．課題に対する多様な解決策を比較検討し、合理的に取捨選択できる。
　　３．効果的なプレゼンテーションをおこなうことができる。
　　４．人的ネットワークを広げ、深めている。

▌履修条件

１．授業の５分の４以上(30 回中 24 回以上)に出席できること。
２．授業外でのゼミ活動に 80 %以上参加できること。

▌評価基準・方法

１．ゼミ活動への参加状況(50 %)
　また、下記の３つの項目について、ルーブリック型手法によって評価します。自己評価、ピアレビュー、教員評価を組み合わせて評価する場合があります。
２．基礎的能力(15 %)
３．専門的知識・スキル(20 %)
４．チームワーク(15 %)
※原則として５分の４以上の出席、および授業外でのゼミ活動への 80 %以上の参加が評価の前提条件となります。

▌フィードバック方法

PBL の過程における成果物の提出およびフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行うことがあります。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業は PBL 型で進めます。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （データ分析、プレゼン資料作成、文書作成など。）

▌教科書

特に指定しません。

▌参考書

・網倉久永・新宅純二郎著(2011)『マネジメント・テキスト経営戦略入門』日本経済新聞社。
・フィリップ・コトラー他著、松野宏監訳(2019)『コトラーのソーシャル・マーケティング－地球環境を守るために』ミネルヴァ書房。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：学修内容と評価基準について説明します。 事前学修 1.0hr：講義概要を確認しておいて下さい。 事後学修 3.0hr：ゼミでの学修内容を振り返り、今後の受講計画を立てて下さい。	16回	**授業テーマ：夏季休暇中の活動のふりかえりと今後の計画** 授業内容：夏季休暇中の活動を総括し、今後の計画を立てます。 事前学修 2.0hr：夏季休暇中の活動内容をふりかえり、今後の活動計画を立てて下さい。 事後学修 2.0hr：自分に割り当てられた役割を、確実に遂行して下さい。
2回	**授業テーマ：アイスブレーキング** 授業内容：自己紹介や簡単なゲームを通じて、アイスブレイクを行ないます。 事前学修 3.0hr：自分の性格など、ゼミ仲間に伝えたいことを考えてきて下さい。 事後学修 1.0hr：ゼミの仲間の名前や性格などを振り返って下さい。	17回	**授業テーマ：外部大会の確認とプレゼン資料の見直し** 授業内容：外部プレゼン大会の日程を確認し、プレゼン資料を見直します。 事前学修 2.0hr：改善点を検討して下さい。 事後学修 2.0hr：自分に割り当てられた役割を、確実に遂行して下さい。
3回	**授業テーマ：プレゼン大会の説明とチームビルディング** 授業内容：参加するプレゼン大会について説明します。また、必要に応じてチームビルディングを行ないます。 事前学修 1.0hr：前回の授業で知った内容を、もう一度振り返って下さい。 事後学修 3.0hr：チームメンバーの名前や性格について振り返って下さい。	18回	**授業テーマ：外部プレゼン大会直前リハーサル** 授業内容：外部プレゼン大会を想定したリハーサルを行ないます。 事前学修 1.0hr：リハーサルの準備をして下さい。 事後学修 3.0hr：リハーサルで明らかになった問題点を修正して下さい。
4回	**授業テーマ：テーマ設定の準備** 授業内容：テーマを設定するにあたり、メンバーの興味・関心について意見を交換し合います。 事前学修 1.0hr：前回の授業で知った内容を、もう一度振り返って下さい。 事後学修 3.0hr：チーム内で自分に割り当てられた役割を、確実に遂行して下さい。	19回	**授業テーマ：外部プレゼン大会のふりかえりと今後の計画** 授業内容：外部プレゼン大会での発表と評価者のコメントをふりかえり、今後、行なうべきことについて検討します。 事前学修 1.0hr：外部プレゼン大会で気づいたことをまとめて下さい。 事後学修 3.0hr：自分に割り当てられた役割を、確実に遂行して下さい。
5回	**授業テーマ：テーマの検討** 授業内容：ブレーンストーミングを通じて、テーマを絞り込みます。 事前学修 2.0hr：どんなテーマにすれば良いか考えてきて下さい。 事後学修 2.0hr：チーム内で自分に割り当てられた役割を、確実に遂行して下さい。	20回	**授業テーマ：内部大会の確認とプレゼン資料の見直し** 授業内容：内部プレゼン大会の日程を確認し、プレゼン資料を見直します。 事前学修 2.0hr：改善点を検討して下さい。 事後学修 2.0hr：自分に割り当てられた役割を、確実に遂行して下さい。
6回	**授業テーマ：テーマの決定** 授業内容：これまでの検討を踏まえて、テーマを決定します。また、必要な情報を収集します。 事前学修 2.0hr：どんなテーマにすれば良いか考えてきて下さい。 事後学修 2.0hr：プレゼン全体の流れを考えて下さい。	21回	**授業テーマ：プレゼン資料の完成** 授業内容：プレゼン資料を完成させます。 事前学修 1.0hr：改善点を検討して下さい。 事後学修 3.0hr：リハーサルの準備をして下さい。
7回	**授業テーマ：プレゼンテーションのプロットの作成** 授業内容：集めた情報を共有し、プレゼンテーションのプロットを作成します。 事前学修 1.0hr：プレゼンの流れについて、考えてきた内容をまとめてきて下さい。 事後学修 3.0hr：自分に割り当てられた役割を、確実に遂行して下さい。	22回	**授業テーマ：内部プレゼン大会直前リハーサル** 授業内容：内部プレゼン大会を想定したリハーサルを行ないます。 事前学修 2.0hr：リハーサルの準備をして下さい。 事後学修 2.0hr：リハーサルで明らかになった問題点を修正して下さい。

8回	**授業テーマ：プレゼンテーション資料の作成** 授業内容：必要な情報をプレゼンテーションのプロットに反映させます。 事前学修 1.0hr：今後の授業計画をふまえて、今回の到達目標を考えてきて下さい。 事後学修 3.0hr：自分に割り当てられた役割を、確実に遂行して下さい。	23回	**授業テーマ：内部プレゼン大会のふりかえり** 授業内容：内部プレゼン大会での発表と評価者のコメントをふりかえり、これまでの活動を総括します。 事前学修 2.0hr：内部プレゼン大会で気づいたことをまとめて下さい。 事後学修 2.0hr：これまでの活動をふりかえり、学んだことを整理して下さい。
9回	**授業テーマ：中間発表の準備** 授業内容：中間発表に向けて役割分担や原稿の作成、練習を行ないます。 事前学修 1.0hr：プレゼン発表の流れと役割について、考えてきて下さい。 事後学修 3.0hr：自分が担当する箇所について、発表の練習をして下さい。	24回	**授業テーマ：企業について知る(1)―企業情報の調べ方** 授業内容：有価証券報告書などの企業情報の調べ方や見方について学びます。 事前学修 1.0hr：自分がどのような企業に就職したいか、考えてきて下さい。 事後学修 3.0hr：自分が興味のある企業の有価証券報告書を探して下さい。
10回	**授業テーマ：中間発表とフィードバック** 授業内容：プレゼンテーションの中間発表を行ない、相互に評価し合います。 事前学修 1.0hr：プレゼン発表の流れと自分の役割を確認してきて下さい。 事後学修 3.0hr：中間発表でもらった意見をもとに、資料を修正して下さい。	25回	**授業テーマ：企業について知る(2)―収益性を見る** 授業内容：損益計算書の見方について学びます。 事前学修 1.0hr：自分が興味のある企業の有価証券報告書を探し、印刷して下さい。 事後学修 3.0hr：自分が興味のある企業の損益計算書を分析して下さい。
11回	**授業テーマ：フィードバックの反映** 授業内容：中間発表とフィードバックを受けて、プレゼンテーション資料を改善します。 事前学修 1.0hr：今後の授業計画をふまえて、今回の到達目標を考えてきて下さい。 事後学修 3.0hr：自分の到達目標を、確実に達成して下さい。	26回	**授業テーマ：企業について知る(3)―安全性を見る** 授業内容：貸借対照表の見方について学びます。 事前学修 1.0hr：自分が興味のある企業の有価証券報告書を探し、印刷して下さい。 事後学修 3.0hr：自分が興味のある企業の貸借対照表を分析して下さい。
12回	**授業テーマ：プレゼンテーション資料の改善** 授業内容：よりよい内容になるよう、プレゼンテーション資料を改善します。 事前学修 1.0hr：今後の授業計画をふまえて、今回の到達目標を考えてきて下さい。 事後学修 3.0hr：自分の到達目標を、確実に達成して下さい。	27回	**授業テーマ：卒業論文作成の流れ** 授業内容：卒業論文を作成する流れについて学びます。 事前学修 2.0hr：どのようなテーマに関心があるか考えて下さい。 事後学修 2.0hr：卒業論文作成の流れを振り返って下さい。
13回	**授業テーマ：プレゼンテーション資料の完成** 授業内容：プレゼンテーション資料を完成させます。 事前学修 1.0hr：資料全体のデザインをどうすればいいか、考えてきて下さい。 事後学修 3.0hr：自分に割り当てられた役割を、確実に遂行して下さい。	28回	**授業テーマ：卒業論文テーマの検討―グループA** 授業内容：卒業論文のテーマについて検討します。 事前学修 3.0hr：発表の準備をして下さい。 事後学修 1.0hr：授業内での意見を参考に、卒業論文のテーマを検討して下さい。
14回	**授業テーマ：前期最終発表に向けた準備** 授業内容：プレゼンテーションの役割分担や原稿の作成を行ない、前期最終発表に向けた練習をします。 事前学修 1.0hr：プレゼン発表の流れと役割について、考えてきて下さい。 事後学修 3.0hr：自分が担当する箇所について、発表の練習をして下さい。	29回	**授業テーマ：卒業論文テーマの検討―グループB** 授業内容：卒業論文のテーマについて検討します。 事前学修 3.0hr：発表の準備をして下さい。 事後学修 1.0hr：授業内での意見を参考に、卒業論文のテーマを検討して下さい。
15回	**授業テーマ：前期最終発表とフィードバック** 授業内容：前期の最終発表を行ない、相互に評価し合います。また、夏季休暇中における計画を立てます。 事前学修 1.0hr：発表の流れを、もう一度確認しておいて下さい。 事後学修 3.0hr：最終発表でもらった意見をもとに、資料を修正して下さい。	30回	**授業テーマ：卒業論文執筆の計画** 授業内容：４年次にどのような流れで卒業論文を執筆するか確認します。 事前学修 1.0hr：授業資料を確認して下さい。 事後学修 3.0hr：卒業論文執筆の計画を立てて下さい。

専門ゼミ 1

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

小黒　曜子（おぐろ　ようこ）

▌授業の概要

「国際金融・国際経済について考える」というゼミのテーマに基づいて、共に学び、議論する。
事実に対して論理的に考え、自分の見解を(経済学の理論とデータを用いて)表現する力を養うことを目的とする。具体的には、輪読と発表、議論・ディベートを通じて思考力と表現力を養い、レポートの書き方についても学習する。４年生での卒業研究にも備える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：現実の社会・経済問題に関心を持ち、論理的に考え、自分の見解を(経済学の理論とデータを用いて)表現できるようになること。
個別目標：現実の社会・経済問題に対して、多角的な視点を持ち、論理的に考えることできるようになること。
現実の社会・経済問題を、経済学の理論とデータを用いて分析できるようになること。
論理的な議論展開が出来るようになること。
自分の見解をプレゼンテーションできるようになること。

▌履修条件

①国際金融・国際経済に関心があること。②きちんと出席し、意欲的に参加すること。(③専門ゼミ 1 と並行して、国際金融論 I・II を履修することが望ましい。)

▌評価基準・方法

平常点 100 %：ゼミへの参加状況、課題の実施状況、担当報告の内容などを総合的に評価する。
5 分の 4 以上の出席を必要とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、講義、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション、ディスカッション、ディベート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （資料作成、PPT 報告）

▌教科書

輪読する文献を、履修者と相談して初回に決定する。

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：自己紹介、年間計画、輪読文献決定 事前学修 2.0hr：シラバスの確認。輪読文献の候補選定。 事後学修 2.0hr：1 回目のゼミで学習した内容を復習し、ノートにまとめる。	16 回	**授業テーマ：夏休み成果報告・個人面談** 授業内容：ゼミ生全員からの夏休み成果報告、(必要に応じて)個人面談 事前学修 3.0hr：夏休み成果まとめ、報告準備。日本経済新聞を読む。 事後学修 1.0hr：ノートをまとめる。
2 回	**授業テーマ：レジュメ作成、発表・ディベート方法について&担当割り当て** 授業内容：レジュメ作成、発表・ディベート方法についての講義、担当の割り当て 事前学修 2.0hr：ディベートとは何かを調べる。日本経済新聞、輪読文献を読む。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、ノートにまとめる。	17 回	**授業テーマ：後学期計画、担当割り当て** 授業内容：後学期の学修内容・計画についての話し合い、担当の割り当て 事前学修 3.0hr：後学期学修内容の事前準備。日本経済新聞を読む。 事後学修 1.0hr：ノートをまとめる。
3 回	**授業テーマ：担当報告・ディスカッション** 授業内容：担当者による報告とゼミ生全員によるディスカッション 事前学修 3.0hr：日本経済新聞、輪読文献を読む。発表資料の作成。 事後学修 1.0hr：学習した内容を復習し、ノートにまとめる。	18 回	**授業テーマ：就職指導** 授業内容：ゲスト・スピーカーによる就職についての講義 事前学修 3.0hr：日本経済新聞を読む。就職活動、SPI について調べる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を復習し、ノートにまとめる。
4 回	**授業テーマ：ディベート** 授業内容：テーマに基づいたディベート 事前学修 3.0hr：ディベート準備。日本経済新聞を読む。 事後学修 1.0hr：ディベートの内容を整理し、ノートにまとめる。	19 回	**授業テーマ：担当報告・ディスカッション** 授業内容：担当者による報告とゼミ生全員によるディスカッション 事前学修 3.0hr：日本経済新聞、輪読文献を読む。発表資料の作成。 事後学修 1.0hr：学習した内容を復習し、ノートにまとめる。
5 回	**授業テーマ：担当報告・ディスカッション** 授業内容：担当者による報告とゼミ生全員によるディスカッション 事前学修 3.0hr：日本経済新聞、輪読文献を読む。発表資料の作成。 事後学修 1.0hr：学習した内容を復習し、ノートにまとめる。	20 回	**授業テーマ：ディベート** 授業内容：テーマに基づいたディベート 事前学修 3.0hr：ディベート準備。日本経済新聞を読む。 事後学修 1.0hr：ディベートの内容を整理し、ノートにまとめる。
6 回	**授業テーマ：ディベート** 授業内容：テーマに基づいたディベート 事前学修 3.0hr：ディベート準備。日本経済新聞を読む。 事後学修 1.0hr：ディベートの内容を整理し、ノートにまとめる。	21 回	**授業テーマ：担当報告・ディスカッション** 授業内容：担当者による報告とゼミ生全員によるディスカッション 事前学修 3.0hr：日本経済新聞、輪読文献を読む。発表資料の作成。 事後学修 1.0hr：学習した内容を復習し、ノートにまとめる。
7 回	**授業テーマ：担当報告・ディスカッション** 授業内容：担当者による報告とゼミ生全員によるディスカッション 事前学修 3.0hr：日本経済新聞、輪読文献を読む。発表資料の作成。 事後学修 1.0hr：学習した内容を復習し、ノートにまとめる。	22 回	**授業テーマ：ディベート** 授業内容：テーマに基づいたディベート 事前学修 3.0hr：ディベート準備。日本経済新聞を読む。 事後学修 1.0hr：ディベートの内容を整理し、ノートにまとめる。
8 回	**授業テーマ：ディベート** 授業内容：テーマに基づいたディベート 事前学修 3.0hr：ディベート準備。日本経済新聞を読む。 事後学修 1.0hr：ディベートの内容を整理し、ノートにまとめる。	23 回	**授業テーマ：担当報告・ディスカッション** 授業内容：担当者による報告とゼミ生全員によるディスカッション 事前学修 3.0hr：日本経済新聞、輪読文献を読む。発表資料の作成。 事後学修 1.0hr：学習した内容を復習し、ノートにまとめる。
9 回	**授業テーマ：担当報告・ディスカッション** 授業内容：担当者による報告とゼミ生全員によるディスカッション 事前学修 3.0hr：日本経済新聞、輪読文献を読む。発表資料の作成。 事後学修 1.0hr：学習した内容を復習し、ノートにまとめる。	24 回	**授業テーマ：ディベート** 授業内容：テーマに基づいたディベート 事前学修 3.0hr：ディベート準備。日本経済新聞を読む。 事後学修 1.0hr：ディベートの内容を整理し、ノートにまとめる。
10 回	**授業テーマ：ディベート** 授業内容：テーマに基づいたディベート 事前学修 3.0hr：ディベート準備。日本経済新聞を読む。 事後学修 1.0hr：ディベートの内容を整理し、ノートにまとめる。	25 回	**授業テーマ：担当報告・ディスカッション** 授業内容：担当者による報告とゼミ生全員によるディスカッション 事前学修 3.0hr：日本経済新聞、輪読文献を読む。発表資料の作成。 事後学修 1.0hr：学習した内容を復習し、ノートにまとめる。

11回	**授業テーマ：担当報告・ディスカッション** 授業内容：担当者による報告とゼミ生全員によるディスカッション 事前学修 3.0hr：日本経済新聞、輪読文献を読む。発表資料の作成。 事後学修 1.0hr：学習した内容を復習し、ノートにまとめる。	26回	**授業テーマ：ディベート** 授業内容：テーマに基づいたディベート 事前学修 3.0hr：ディベート準備。日本経済新聞を読む。 事後学修 1.0hr：ディベートの内容を整理し、ノートにまとめる。
12回	**授業テーマ：インターンシップとインターン先企業１** 授業内容：関心を持った企業についての情報交換・ディスカッション 事前学修 3.0hr：関心を持った企業の事前調査、報告準備。日本経済新聞を読む。 事後学修 1.0hr：取り扱った企業について整理し、ノートにまとめる。	27回	**授業テーマ：担当報告・ディスカッション** 授業内容：担当者による報告とゼミ生全員によるディスカッション 事前学修 3.0hr：日本経済新聞、輪読文献を読む。発表資料の作成。 事後学修 1.0hr：学習した内容を復習し、ノートにまとめる。
13回	**授業テーマ：インターンシップとインターン先企業２** 授業内容：関心を持った企業についての情報交換・ディスカッション 事前学修 3.0hr：関心を持った企業の事前調査、報告準備。日本経済新聞を読む。 事後学修 1.0hr：取り扱った企業について整理し、ノートにまとめる。	28回	**授業テーマ：ディベート** 授業内容：テーマに基づいたディベート 事前学修 3.0hr：ディベート準備。日本経済新聞を読む。 事後学修 1.0hr：ディベートの内容を整理し、ノートにまとめる。
14回	**授業テーマ：担当報告・ディスカッション** 授業内容：担当者による報告とゼミ生全員によるディスカッション 事前学修 3.0hr：日本経済新聞、輪読文献を読む。発表資料の作成。 事後学修 1.0hr：学習した内容を復習し、ノートにまとめる。	29回	**授業テーマ：就職について** 授業内容：就職についての情報交換、ディスカッション 事前学修 3.0hr：日本経済新聞を読む。業界研究をする。 事後学修 1.0hr：学習した内容を復習し、ノートにまとめる。
15回	**授業テーマ：ディベート** 授業内容：テーマに基づいたディベート 事前学修 2.0hr：ディベート準備。日本経済新聞を読む。 事後学修 2.0hr：ディベートの内容を整理し、ノートにまとめる。	30回	**授業テーマ：卒業論文について、1 年間のまとめ** 授業内容：ゼミ生による卒業論文のテーマ案についての報告、ディスカッション 事前学修 2.0hr：日本経済新聞を読む。卒業生の卒業論文を読む。 事後学修 2.0hr：1 年間で学んだこと、卒業論文のテーマ候補をノートにまとめる。

専門ゼミ 1

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

影山　純二（かげやま　じゅんじ）

▌授業の概要

本演習は幸福度について学習し、学んだことを実践します。まず幸福度研究の知識を身につけ、その成果を社会に還元します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：社会を少し幸せにする

個別目標：(1) 幸福度研究について理解する
(2) 学んだことを成果として発表する
(3) 幸福度研究に関するデータセットについて理解する

▌履修条件

特に無し

▌評価基準・方法

授業への取組み度合い (70%)、成果発表 (30%)。課題のフィードバックは、授業中に行う。

▌フィードバック方法

随時、口頭で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッションへの積極的な参加を期待します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レポート作成に必要。）

▌教科書

初回授業時に相談の上、決定します。

▌参考書

随時紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：ガイダンス 事前学修 2.0hr：「自分にとって幸せとは？」という問いに答えられるようにしておく 事後学修 2.0hr：他の人の幸せを参考に、「幸せ」について考えを整理する	16 回	**授業テーマ：夏論文報告 1** 授業内容：夏論文の報告とディスカッション 事前学修 2.0hr：論文作成及び報告準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容を反映して論文修正
2 回	**授業テーマ：グループ報告準備：テーマの決定** 授業内容：グループ報告の準備：テーマの決定 事前学修 2.0hr：グループ報告準備：自分なりにテーマを選択しておく 事後学修 2.0hr：グループ報告準備：ファイル共有等、共同作業方法の確認	17 回	**授業テーマ：夏論文報告 2** 授業内容：夏論文の報告とディスカッション 事前学修 2.0hr：論文作成及び報告準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容を反映して論文修正
3 回	**授業テーマ：グループ報告準備：発表内容の検討** 授業内容：グループ報告の準備：発表内容の検討 事前学修 2.0hr：グループ報告準備：自分なりに目次を作っておく 事後学修 2.0hr：グループ報告準備：アウトライン作成	18 回	**授業テーマ：夏論文報告 3** 授業内容：夏論文の報告とディスカッション 事前学修 2.0hr：論文作成及び報告準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容を反映して論文修正
4 回	**授業テーマ：グループ報告：発表 1** 授業内容：グループ報告とディスカッション 事前学修 2.0hr：グループ報告準備：ファイル作成 事後学修 2.0hr：グループ報告見直し	19 回	**授業テーマ：ゼミ連発表準備：テーマ選択** 授業内容：ゼミ連発表準備：テーマ選択 事前学修 2.0hr：自分なりにテーマを選択しておく 事後学修 2.0hr：ファイル共有等、共同作業方法の確認
5 回	**授業テーマ：グループ報告：発表 2** 授業内容：グループ報告とディスカッション 事前学修 2.0hr：グループ報告準備：ファイル作成 事後学修 2.0hr：グループ報告見直し	20 回	**授業テーマ：ゼミ連発表準備：アウトライン作成** 授業内容：ゼミ連発表準備：アウトライン作成 事前学修 2.0hr：自分なりに目次を作っておく 事後学修 2.0hr：グループでアウトライン完成
6 回	**授業テーマ：輪読 1** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 2.0hr：輪読報告準備 事後学修 2.0hr：輪読ディスカッション内容の整理	21 回	**授業テーマ：ゼミ連発表準備：内容の検討 1** 授業内容：ゼミ連発表準備：内容の検討 1 事前学修 2.0hr：ファイル作成 1 事後学修 2.0hr：ファイル修正 1
7 回	**授業テーマ：輪読 2** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 2.0hr：輪読報告準備 事後学修 2.0hr：輪読ディスカッション内容の整理	22 回	**授業テーマ：ゼミ連発表準備：内容の検討 2** 授業内容：ゼミ連発表準備：内容の検討 2 事前学修 2.0hr：ファイル作成 2 事後学修 2.0hr：ファイル修正 2
8 回	**授業テーマ：輪読 3** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 2.0hr：輪読報告準備 事後学修 2.0hr：輪読ディスカッション内容の整理	23 回	**授業テーマ：ゼミ連発表準備：ゼミ内発表** 授業内容：ゼミ連発表準備：ゼミ内発表＆ディスカッション 事前学修 2.0hr：発表準備 事後学修 2.0hr：発表内容修正
9 回	**授業テーマ：輪読 4** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 2.0hr：輪読報告準備 事後学修 2.0hr：輪読報告準備	24 回	**授業テーマ：ゼミ連発表準備：内容の検討 3** 授業内容：ゼミ連発表準備：内容の検討 3 事前学修 2.0hr：ファイル修正 事後学修 2.0hr：ファイル改善
10 回	**授業テーマ：輪読 5** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 2.0hr：輪読報告準備 事後学修 2.0hr：輪読ディスカッション内容の整理	25 回	**授業テーマ：ゼミ連発表** 授業内容：ゼミ連発表(本番) 事前学修 2.0hr：ファイル完成 事後学修 2.0hr：振り返り
11 回	**授業テーマ：輪読 6** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 2.0hr：輪読報告準備 事後学修 2.0hr：輪読ディスカッション内容の整理	26 回	**授業テーマ：3年次個別レポート準備 1** 授業内容：3年次個別レポート準備 1 事前学修 2.0hr：テーマ決定 事後学修 2.0hr：内容検討
12 回	**授業テーマ：輪読 7** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 2.0hr：輪読報告準備 事後学修 2.0hr：輪読ディスカッション内容の整理	27 回	**授業テーマ：3年次個別レポート準備 2** 授業内容：3年次個別レポート準備 2 事前学修 2.0hr：アウトライン作成 事後学修 2.0hr：内容作成

13回	**授業テーマ：輪読 8** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 2.0hr：輪読報告準備 事後学修 2.0hr：輪読ディスカッション内容の整理	28回	**授業テーマ：3年次個別レポート準備 3** 授業内容：3年次個別レポート準備 3 事前学修 2.0hr：内容完成 事後学修 2.0hr：報告準備
14回	**授業テーマ：輪読 9** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 2.0hr：輪読報告準備 事後学修 2.0hr：輪読ディスカッション内容の整理	29回	**授業テーマ：3年次レポート報告 1** 授業内容：3年次レポートの報告とディスカッション 1 事前学修 2.0hr：報告準備 事後学修 2.0hr：ディスカッションに基づいて内容修正
15回	**授業テーマ：輪読 10** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 2.0hr：輪読報告準備 事後学修 2.0hr：輪読ディスカッション内容の整理	30回	**授業テーマ：3年次レポート報告 2** 授業内容：3年次レポートの報告とディスカッション 2 事前学修 2.0hr：報告準備 事後学修 2.0hr：ディスカッションに基づいて内容修正

専門ゼミ 1

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

蟹澤　啓輔（かにさわ　けいすけ）

▌授業の概要

本ゼミでは日本経済の現状認識を深め日本経済に対する自身の問題意識を培うとともに、統計や計量経済学に関する講義と実践演習によって経済的な実証分析を行う力を身に着けるために、文献の輪読や新聞記事の閲覧、ディスカッション、実証分析の演習などを行い、問題意識や実証分析の結果を自分の言葉で文章にまとめるグループワークを行う。なお、授業の中で興味のある学生がいれば企業の分析についても取り上げていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：日本経済に対する問題意識を持ち、経済的な実証分析を行うことができる力を身につける。
個別目標：日本経済の現状認識を深める。経済的な実証分析に関する理論を理解し、実証分析ツールを使えるようになる。

▌履修条件

統計学入門または経済統計論、計量経済学を履修済みか、並行履修することが望ましい。

▌評価基準・方法

授業への貢献、レポート等を総合的に評価する

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、基本的に学修支援システム（manaba）を通して行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （文献や新聞記事を基に双方向のディスカッションを行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パソコンを用いた実証分析の演習を行う）

▌教科書

第 1 回目の授業で指示する

▌参考書

第 1 回目の授業で指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、年間計画について** 授業内容：シラバスの概要を説明するとともに、授業の年間計画について説明します。 事前学修 2.0hr：ゼミにでなにを学びたいかを考える。 事後学修 2.0hr：ゼミの分担を確認し、個別の計画を考える。	16回	**授業テーマ：ガイダンス、後期計画について** 授業内容：後期の授業計画について説明します。 事前学修 2.0hr：ゼミにでなにを学びたいかを改めて考える。 事後学修 2.0hr：ゼミの分担を確認し、個別の計画を考える。
2回	**授業テーマ：卒業までの計画について** 授業内容：卒業までの計画を考え、当該計画についてディスカッションする 事前学修 2.0hr：授業に関連する情報についてインターネットや新聞を探す。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容についてインターネットの情報や参考書などの文献を調べ、自分の考えをまとめる。	17回	**授業テーマ：統計学について** 授業内容：統計学の基本的な内容について講義する 事前学修 2.0hr：事前に統計学について予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容について復習する。
3回	**授業テーマ：日本経済の現状について－国民経済計算** 授業内容：テキストの輪読や新聞記事の閲覧、ディスカッションを行う 事前学修 2.0hr：授業に関連する情報についてインターネットや新聞を探す。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容についてインターネットの情報や参考書などの文献を調べ、自分の考えをまとめる。	18回	**授業テーマ：統計分析について①** 授業内容：統計分析の基本的な内容について講義する 事前学修 2.0hr：事前に統計学について予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容について復習する。
4回	**授業テーマ：日本経済の現状について－所得や消費** 授業内容：テキストの輪読や新聞記事の閲覧、ディスカッションを行う 事前学修 2.0hr：授業に関連する情報についてインターネットや新聞を探す。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容についてインターネットの情報や参考書などの文献を調べ、自分の考えをまとめる。	19回	**授業テーマ：統計分析について②** 授業内容：統計分析の基本的な内容について講義する 事前学修 2.0hr：事前に統計学について予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容について復習する。
5回	**授業テーマ：日本経済の現状について－生産** 授業内容：テキストの輪読や新聞記事の閲覧、ディスカッションを行う 事前学修 2.0hr：授業に関連する情報についてインターネットや新聞を探す。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容についてインターネットの情報や参考書などの文献を調べ、自分の考えをまとめる。	20回	**授業テーマ：分析ツール（アプリケーション）の基本的な操作演習** 授業内容：パソコンを使って分析ツール（アプリケーション）の基本的な操作演習を行う 事前学修 2.0hr：事前にパソコンの操作方法を確認する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容についてパソコンを使って復習する。
6回	**授業テーマ：日本経済の現状について－労働** 授業内容：テキストの輪読や新聞記事の閲覧、ディスカッションを行う 事前学修 2.0hr：授業に関連する情報についてインターネットや新聞を探す。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容についてインターネットの情報や参考書などの文献を調べ、自分の考えをまとめる。	21回	**授業テーマ：インターネットにおける情報収集①** 授業内容：パソコンを使ってインターネットにおける情報収集の基本的な操作演習を行う 事前学修 2.0hr：事前にパソコンの操作方法を確認する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容についてパソコンを使って復習する。
7回	**授業テーマ：日本経済の現状について－財政政策** 授業内容：テキストの輪読や新聞記事の閲覧、ディスカッションを行う 事前学修 2.0hr：授業に関連する情報についてインターネットや新聞を探す。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容についてインターネットの情報や参考書などの文献を調べ、自分の考えをまとめる。	22回	**授業テーマ：インターネットにおける情報収集②** 授業内容：パソコンを使ってインターネットにおける情報収集の基本的な操作演習を行う 事前学修 2.0hr：事前にパソコンの操作方法を確認する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容についてパソコンを使って復習する。
8回	**授業テーマ：日本経済の現状について－物価や為替統計** 授業内容：テキストの輪読や新聞記事の閲覧、ディスカッションを行う 事前学修 2.0hr：授業に関連する情報についてインターネットや新聞を探す。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容についてインターネットの情報や参考書などの文献を調べ、自分の考えをまとめる。	23回	**授業テーマ：図やグラフを用いた分析** 授業内容：パソコンを使って図やグラフを用いた分析の基本的な操作演習を行う 事前学修 2.0hr：事前にパソコンの操作方法を確認する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容についてパソコンを使って復習する。
9回	**授業テーマ：日本経済の現状について－金融政策** 授業内容：テキストの輪読や新聞記事の閲覧、ディスカッションを行う 事前学修 2.0hr：授業に関連する情報についてインターネットや新聞を探す。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容についてインターネットの情報や参考書などの文献を調べ、自分の考えをまとめる。	24回	**授業テーマ：統計分析の基礎的演習①（基本統計量）** 授業内容：パソコンを使って統計分析の基本的な操作演習を行う 事前学修 2.0hr：事前にパソコンの操作方法を確認する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容についてパソコンを使って復習する。

10回	**授業テーマ：日本経済の問題について①** 授業内容：日本経済の問題について文献の輪読や新聞記事の閲覧、ディスカッションを行う 事前学修 2.0hr：授業に関連する情報についてインターネットや新聞を探す。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容についてインターネットの情報や参考書などの文献を調べ、自分の考えをまとめる。	25回	**授業テーマ：統計分析の基礎的演習②(仮説検定)** 授業内容：パソコンを使って統計分析の基本的な操作演習を行う 事前学修 2.0hr：事前にパソコンの操作方法を確認する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容についてパソコンを使って復習する。
11回	**授業テーマ：日本経済の問題について②** 授業内容：日本経済の問題について文献の輪読や新聞記事の閲覧、ディスカッションを行う 事前学修 2.0hr：授業に関連する情報についてインターネットや新聞を探す。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容についてインターネットの情報や参考書などの文献を調べ、自分の考えをまとめる。	26回	**授業テーマ：回帰分析** 授業内容：パソコンを使って回帰分析の基本的な操作演習を行う 事前学修 2.0hr：事前にパソコンの操作方法を確認する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容についてパソコンを使って復習する。
12回	**授業テーマ：日本経済の問題について③** 授業内容：日本経済の問題について文献の輪読や新聞記事の閲覧、ディスカッションを行う 事前学修 2.0hr：授業に関連する情報についてインターネットや新聞を探す。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容についてインターネットの情報や参考書などの文献を調べ、自分の考えをまとめる。	27回	**授業テーマ：重回帰分析** 授業内容：パソコンを使って重回帰分析の基本的な操作演習を行う 事前学修 2.0hr：事前にパソコンの操作方法を確認する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容についてパソコンを使って復習する。
13回	**授業テーマ：日本経済の問題について④** 授業内容：日本経済の問題について文献の輪読や新聞記事の閲覧、ディスカッションを行う 事前学修 2.0hr：授業に関連する情報についてインターネットや新聞を探す。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容についてインターネットの情報や参考書などの文献を調べ、自分の考えをまとめる。	28回	**授業テーマ：データの収集と実証分析演習①** 授業内容：パソコンを使ってデータの収集と実証分析の総合的な演習を行う 事前学修 2.0hr：事前にパソコンの操作方法を確認する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容についてパソコンを使って復習する。
14回	**授業テーマ：国家の将来と個人の生活** 授業内容：日本経済の問題について文献の輪読や新聞記事の閲覧、ディスカッションを行う 事前学修 2.0hr：授業に関連する情報についてインターネットや新聞を探す。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容についてインターネットの情報や参考書などの文献を調べ、自分の考えをまとめる。	29回	**授業テーマ：データの収集と実証分析演習②** 授業内容：パソコンを使ってデータの収集と実証分析の総合的な演習を行う 事前学修 2.0hr：事前にパソコンの操作方法を確認する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容についてパソコンを使って復習する。
15回	**授業テーマ：前期のまとめ、後期計画について** 授業内容：前期の授業のまとめを行います 事前学修 2.0hr：前期の授業の内容を復習する。 事後学修 2.0hr：夏季休暇や後期の計画を立てる	30回	**授業テーマ：まとめ、次年度の年間計画について** 授業内容：これまでの授業のまとめを行うとともに、専門ゼミ 2 で何を学ぶかについて説明します。 事前学修 2.0hr：年間の授業の内容を復習する。 事後学修 2.0hr：春季休暇や来年度の計画を立てる

専門ゼミ 1

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

工藤　克宜（くどう　かつのり）

▌授業の概要

日本の財政、税制などについて基礎的な知識と理解を得るとともに、これらに関連する幅広いテーマを取り上げ検討します。
財務省・国税庁等の資料、報道記事、各種文献などを題材に論点を整理し議論の上、ゼミ後に各自気付きをまとめます。
議論は乗り降り自由。社会の様々な事象に関心を持ち、ゼミの議論を通じて卒論の個人研究につなげていきます。
ゲスト(行政機関の職員、大学院生等)との意見交換、関係施設の見学なども行う予定です。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：日本の財政、税制に関心を持ち、これらに関連するテーマの情報を収集・分析の上、他者と議論し気付きを得る。
個別目標：日本の財政、税制について基本的な内容を説明できる。
関心を持ったテーマについて調べ自分の考えを説明できる。
他者の意見を聴き気付きを得ることができる。

▌履修条件

日本の財政、税制に関心があること。
ゼミに積極的に参加すること。
(「税法総論」の履修が望ましい。)

▌評価基準・方法

平常点 100 %。(課題の実施、ゼミへの貢献、到達目標の達成度などを総合的に評価する。)
なお。5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

ゼミ及び学修支援システム manaba を通じて随時行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （情報収集、資料作成、課題作成など）

▌教科書

なし

▌参考書

伊藤修一郎『政策リサーチ入門(増補版)』東京大学出版会、2022 年

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：ガイダンス、自己紹介、役割分担 事前学修 2.0hr：関心のあるテーマを探す 事後学修 2.0hr：ゼミの復習	16 回	**授業テーマ：参考書等輪読とディスカッション** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 2.0hr：ゼミの予習、報告準備 事後学修 2.0hr：ゼミ内容のまとめ
2 回	**授業テーマ：参考書輪読とディスカッション** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 2.0hr：ゼミの予習 事後学修 2.0hr：ゼミ内容のまとめ	17 回	**授業テーマ：参考書等輪読とディスカッション** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 2.0hr：ゼミの予習、報告準備 事後学修 2.0hr：ゼミ内容のまとめ
3 回	**授業テーマ：年収の壁はどう変わった？** 授業内容：年収の壁は、令和７年度税制改正、令和８年度税制改正でどうなったのか。 事前学修 2.0hr：ゼミの予習 事後学修 2.0hr：ゼミ内容のまとめ	18 回	**授業テーマ：参考書等輪読とディスカッション** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 2.0hr：ゼミの予習、報告準備 事後学修 2.0hr：ゼミ内容のまとめ
4 回	**授業テーマ：参考書等輪読とディスカッション** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 2.0hr：ゼミの予習、報告準備 事後学修 2.0hr：ゼミ内容のまとめ	19 回	**授業テーマ：明海祭参加準備** 授業内容：明海祭への参加(プレゼンテーション、ポスターセッション等)の準備をする。 事前学修 2.0hr：ゼミの予習、報告準備 事後学修 2.0hr：ゼミ内容のまとめ
5 回	**授業テーマ：参考書等輪読とディスカッション** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 2.0hr：ゼミの予習、報告準備 事後学修 2.0hr：ゼミ内容のまとめ	20 回	**授業テーマ：明海祭参加準備** 授業内容：明海祭参加(プレゼンテーション、ポスターセッション等)の準備をする。 事前学修 2.0hr：ゼミの予習 事後学修 2.0hr：ゼミ内容のまとめ
6 回	**授業テーマ：公的機関見学** 授業内容：実地で公的機関を見学し、職務内容、現状と課題を把握する。 事前学修 2.0hr：公的機関の事前学習 事後学修 2.0hr：ゼミ内容のまとめ	21 回	**授業テーマ：明海祭参加準備** 授業内容：明海祭参加(プレゼンテーション、ポスターセッション等)の準備をする。 事前学修 2.0hr：ゼミの予習、報告準備 事後学修 2.0hr：ゼミ内容のまとめ
7 回	**授業テーマ：参考書等輪読とディスカッション** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 2.0hr：ゼミの予習、報告準備 事後学修 2.0hr：ゼミ内容のまとめ	22 回	**授業テーマ：参考書等輪読とディスカッション** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 2.0hr：ゼミの予習、報告準備 事後学修 2.0hr：ゼミ内容のまとめ
8 回	**授業テーマ：参考書等輪読とディスカッション** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 2.0hr：ゼミの予習、報告準備 事後学修 2.0hr：ゼミ内容のまとめ	23 回	**授業テーマ：公的機関の見学** 授業内容：実地で公的機関を見学し、職務内容、現状と課題を把握する。 事前学修 2.0hr：公的機関の事前学習 事後学修 2.0hr：ゼミ内容のまとめ
9 回	**授業テーマ：参考書等輪読とディスカッション** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 2.0hr：ゼミの予習、報告準備 事後学修 2.0hr：ゼミ内容のまとめ	24 回	**授業テーマ：参考書等輪読とディスカッション** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 2.0hr：ゼミの予習、報告準備 事後学修 2.0hr：ゼミ内容のまとめ
10 回	**授業テーマ：ゲストとの意見交換** 授業内容：ゲスト(行政機関の職員等)との意見交換 事前学修 2.0hr：ゼミの予習 事後学修 2.0hr：ゼミ内容のまとめ	25 回	**授業テーマ：参考書等輪読とディスカッション** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 2.0hr：ゼミの予習、報告準備 事後学修 2.0hr：ゼミ内容のまとめ

11回	**授業テーマ：参考書等輪読とディスカッション** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 2.0hr：ゼミの予習、報告準備 事後学修 2.0hr：ゼミ内容のまとめ	26回	**授業テーマ：公的機関の見学** 授業内容：実地で公的機関を見学し、職務内容、現状と課題を把握する。 事前学修 2.0hr：公的機関の事前学習 事後学修 2.0hr：ゼミ内容のまとめ
12回	**授業テーマ：公的機関見学** 授業内容：実地で公的機関を見学し、職務内容、現状と課題を把握する。 事前学修 2.0hr：公的機関の事前学習 事後学修 2.0hr：ゼミ内容のまとめ	27回	**授業テーマ：卒業論文作成のヒント** 授業内容：論文作成のための参考書輪読報告とディスカッション 事前学修 2.0hr：輪読報告準備 事後学修 2.0hr：ゼミ内容のまとめ
13回	**授業テーマ：参考書等輪読とディスカッション** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 2.0hr：ゼミの予習、報告準備 事後学修 2.0hr：ゼミ内容のまとめ	28回	**授業テーマ：卒業論文テーマの検討** 授業内容：卒業論文テーマについて検討する。 事前学修 2.0hr：ゼミの準備 z 事後学修 2.0hr：ゼミ内容のまとめ
14回	**授業テーマ：参考書等輪読とディスカッション** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 2.0hr：ゼミの予習、報告準備 事後学修 2.0hr：ゼミ内容のまとめ	29回	**授業テーマ：卒業論文テーマの検討** 授業内容：卒業論文のテーマについて検討する。 事前学修 2.0hr：ゼミの準備 事後学修 2.0hr：ゼミ内容のまとめ
15回	**授業テーマ：参考書等輪読とディスカッション** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 2.0hr：ゼミの予習、報告準備 事後学修 2.0hr：ゼミ内容のまとめ	30回	**授業テーマ：卒業論文テーマの検討** 授業内容：卒業論文のテーマについて検討する。 事前学修 2.0hr：ゼミの準備 事後学修 2.0hr：ゼミ内容のまとめ

専門ゼミ 1

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：後 2

佐藤　崇章（さとう　たかあき）

▌授業の概要

演習のテーマ　「近現代国際経済史」

18 世紀以降における主に西洋、ヨーロッパを中心とした歴史についての卒業論文の作成を目指す事を目的とする。国際未来社会に向けた近現代の歴史は、複雑化し、諸問題が山積している。本演習においては、この問題に対して学術的に問いを立て、解決の糸口を探るべく、研究資料のレジュメを作成し、発表を通じて、卒業論文の作成を目指す。その準備のために、最初に、論文の書き方や方法論に関する文献を輪読する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：演習では、文献輪読またはレジメ(発表資料)を作成し、プレゼンテーション、ディスカッションを行える能力を身につけて、4 年次の「演習 2」に備える。

個別目標：・専門的な知識を生かし、効果的なプレゼンテーションを身に付ける。
・ゼミでの作業、親睦会などを通じて人的交流を深めること。

▌履修条件

演習に必ず出席すること。報告者は、担当した箇所を要約するだけでなく、疑問点、重要と思われる箇所、興味がある箇所を詳細に調べ報告する。
9 月進級の 3 年生が主対象です。4 月進級の 3 年生の履修できません。

▌評価基準・方法

演習における通常の報告・レジメの内容、討論の状況(50 %)、レポート(50 %)の結果を総合的に評価する。

▌フィードバック方法

レジュメ、レポートの確認をして、評価につなげる。
manaba を用いた授業資料の閲覧、課題の提出、事前・事後学修(反転流授業の推進)

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、討論を通じて、テーマの内容を深める。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （模範的な論文の問題意識、緒言の書き方等をプレゼンテーションソフトで紹介）

▌教科書

最初の授業にて紹介する。

▌参考書

授業の際、随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：演習のガイダンス(PowerPoint を利用したプレゼン、レジメ)** 授業内容：演習のガイダンス(PowerPoint を利用したプレゼン、レジメ) 事前学修 2.0hr：演習を履修するための心構えを考える。 事後学修 2.0hr：この演習で何ができるかを考える。	16 回	**授業テーマ：後期の演習についてのガイダンス** 授業内容：後期の演習についてのガイダンス 事前学修 2.0hr：後期の演習に参加するための心構えを考える。 事後学修 2.0hr：後期のプレゼンテーションのテーマについて考える。
2 回	**授業テーマ：論文の書き方、方法論についての文献を輪読** 授業内容：論文の書き方、方法論についての文献を輪読 事前学修 2.0hr：論文の書き方、方法論についての文献の最初の部分をサラッと読む 事後学修 2.0hr：論文の書き方、方法論についての文献の輪読を通した着眼点をまとめる。	17 回	**授業テーマ：ゼミ生によるプレゼンテーション** 授業内容：ゼミ生によるプレゼンテーション 事前学修 2.0hr：ゼミ生は質問・討論ためにプレゼンテーションのテーマを調べる。 事後学修 2.0hr：今回のプレゼンテーションのテーマについてまとめる。
3 回	**授業テーマ：論文の書き方、方法論についての文献を輪読** 授業内容：論文の書き方、方法論についての文献を輪読 事前学修 2.0hr：論文の書き方、方法論についての文献の前回より前の部分をサラッと読む 事後学修 2.0hr：論文の書き方、方法論についての文献の輪読を通した着眼点をまとめる。	18 回	**授業テーマ：ゼミ生によるプレゼンテーション** 授業内容：ゼミ生によるプレゼンテーション 事前学修 2.0hr：ゼミ生は質問・討論ためにプレゼンテーションのテーマを調べる。 事後学修 2.0hr：今回のプレゼンテーションのテーマについてまとめる。
4 回	**授業テーマ：論文の書き方、方法論についての文献を輪読** 授業内容：論文の書き方、方法論についての文献を輪読 事前学修 2.0hr：論文の書き方、方法論についての文献の前回より前の部分をサラッと読む 事後学修 2.0hr：論文の書き方、方法論についての文献の輪読を通した着眼点をまとめる。	19 回	**授業テーマ：ゼミ生によるプレゼンテーション** 授業内容：ゼミ生によるプレゼンテーション 事前学修 2.0hr：ゼミ生は質問・討論ためにプレゼンテーションのテーマを調べる。 事後学修 2.0hr：今回のプレゼンテーションのテーマについてまとめる。
5 回	**授業テーマ：論文の書き方、方法論についての文献を輪読** 授業内容：論文の書き方、方法論についての文献を輪読 事前学修 2.0hr：論文の書き方、方法論についての文献の前回より前の部分をサラッと読む 事後学修 2.0hr：論文の書き方、方法論についての文献の輪読を通した着眼点をまとめる。	20 回	**授業テーマ：ゼミ生によるプレゼンテーション** 授業内容：ゼミ生によるプレゼンテーション 事前学修 2.0hr：ゼミ生は質問・討論ためにプレゼンテーションのテーマを調べる。 事後学修 2.0hr：今回のプレゼンテーションのテーマについてまとめる。
6 回	**授業テーマ：論文の書き方、方法論についての文献を輪読** 授業内容：論文の書き方、方法論についての文献を輪読 事前学修 2.0hr：論文の書き方、方法論についての文献の前回より前の部分をサラッと読む 事後学修 2.0hr：論文の書き方、方法論についての文献の輪読を通した着眼点をまとめる。	21 回	**授業テーマ：ゼミ生によるプレゼンテーション** 授業内容：ゼミ生によるプレゼンテーション 事前学修 2.0hr：ゼミ生は質問・討論ためにプレゼンテーションのテーマを調べる。 事後学修 2.0hr：今回のプレゼンテーションのテーマについてまとめる。
7 回	**授業テーマ：論文の書き方、方法論についての文献を輪読** 授業内容：論文の書き方、方法論についての文献を輪読 事前学修 2.0hr：論文の書き方、方法論についての文献の前回より前の部分をサラッと読む 事後学修 2.0hr：論文の書き方、方法論についての文献の輪読を通した着眼点をまとめる。	22 回	**授業テーマ：ゼミ生によるプレゼンテーション** 授業内容：ゼミ生によるプレゼンテーション 事前学修 2.0hr：ゼミ生は質問・討論ためにプレゼンテーションのテーマを調べる。 事後学修 2.0hr：今回のプレゼンテーションのテーマについてまとめる。

8回	**授業テーマ：論文の書き方、方法論についての文献を輪読** 授業内容：論文の書き方、方法論についての文献を輪読 事前学修 2.0hr：論文の書き方、方法論についての文献の前回より前の部分をサラッと読む 事後学修 2.0hr：論文の書き方、方法論についての文献の輪読を通した着眼点をまとめる。	23回	**授業テーマ：ゼミ生によるプレゼンテーション** 授業内容：ゼミ生によるプレゼンテーション 事前学修 2.0hr：ゼミ生は質問・討論ためにプレゼンテーションのテーマを調べる。 事後学修 2.0hr：今回のプレゼンテーションのテーマについてまとめる。
9回	**授業テーマ：論文の書き方、方法論についての文献を輪読** 授業内容：論文の書き方、方法論についての文献を輪読 事前学修 2.0hr：論文の書き方、方法論についての文献の前回より前の部分をサラッと読む 事後学修 2.0hr：論文の書き方、方法論についての文献の輪読を通した着眼点をまとめる。	24回	**授業テーマ：ゼミ生によるプレゼンテーション** 授業内容：ゼミ生によるプレゼンテーション 事前学修 2.0hr：ゼミ生は質問・討論ためにプレゼンテーションのテーマを調べる。 事後学修 2.0hr：今回のプレゼンテーションのテーマについてまとめる。
10回	**授業テーマ：論文の書き方、方法論についての文献を輪読** 授業内容：論文の書き方、方法論についての文献を輪読 事前学修 2.0hr：論文の書き方、方法論についての文献の前回より前の部分をサラッと読む 事後学修 2.0hr：論文の書き方、方法論についての文献の輪読を通した着眼点をまとめる。	25回	**授業テーマ：ゼミ生によるプレゼンテーション** 授業内容：ゼミ生によるプレゼンテーション 事前学修 2.0hr：ゼミ生は質問・討論ためにプレゼンテーションのテーマを調べる。 事後学修 2.0hr：今回のプレゼンテーションのテーマについてまとめる。
11回	**授業テーマ：論文の書き方、方法論についての文献を輪読** 授業内容：論文の書き方、方法論についての文献を輪読 事前学修 2.0hr：論文の書き方、方法論についての文献の前回より前の部分をサラッと読む 事後学修 2.0hr：論文の書き方、方法論についての文献の輪読を通した着眼点をまとめる。	26回	**授業テーマ：ゼミ生によるプレゼンテーション** 授業内容：ゼミ生によるプレゼンテーション 事前学修 2.0hr：ゼミ生は質問・討論ためにプレゼンテーションのテーマを調べる。 事後学修 2.0hr：今回のプレゼンテーションのテーマについてまとめる。
12回	**授業テーマ：論文の書き方、方法論についての文献を輪読** 授業内容：論文の書き方、方法論についての文献を輪読 事前学修 2.0hr：論文の書き方、方法論についての文献の前回より前の部分をサラッと読む 事後学修 2.0hr：論文の書き方、方法論についての文献の輪読を通した着眼点をまとめる。	27回	**授業テーマ：ゼミ生によるプレゼンテーション** 授業内容：ゼミ生によるプレゼンテーション 事前学修 2.0hr：ゼミ生は質問・討論ためにプレゼンテーションのテーマを調べる。 事後学修 2.0hr：今回のプレゼンテーションのテーマについてまとめる。
13回	**授業テーマ：論文の書き方、方法論についての文献を輪読** 授業内容：論文の書き方、方法論についての文献を輪読 事前学修 2.0hr：論文の書き方、方法論についての文献の前回より前の部分をサラッと読む 事後学修 2.0hr：論文の書き方、方法論についての文献の輪読を通した着眼点をまとめる。	28回	**授業テーマ：ゼミ生によるプレゼンテーション** 授業内容：ゼミ生によるプレゼンテーション 事前学修 2.0hr：ゼミ生は質問・討論ためにプレゼンテーションのテーマを調べる。 事後学修 2.0hr：今回のプレゼンテーションのテーマについてまとめる。
14回	**授業テーマ：論文の書き方、方法論についての文献を輪読** 授業内容：論文の書き方、方法論についての文献を輪読 事前学修 2.0hr：論文の書き方、方法論についての文献の前回より前の部分をサラッと読む 事後学修 2.0hr：論文の書き方、方法論についての文献の輪読を通した着眼点をまとめる。	29回	**授業テーマ：ゼミ生によるプレゼンテーション** 授業内容：ゼミ生によるプレゼンテーション 事前学修 2.0hr：ゼミ生は質問・討論ためにプレゼンテーションのテーマを調べる。 事後学修 2.0hr：今回のプレゼンテーションのテーマについてまとめる。
15回	**授業テーマ：前期のまとめ** 授業内容：前期のまとめ 事前学修 2.0hr：前期の演習の総括を考える。 事後学修 2.0hr：論文とは何か演習を振り返る。	30回	**授業テーマ：前期・後期のまとめ、「卒業論文」の説明** 授業内容：ゼミ生によるプレゼンテーション 事前学修 2.0hr：「卒業論文」のテーマを考える。 事後学修 2.0hr：「卒業論文」の構成を考える。

専門ゼミ 1

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

田浦　元 (たうら　げん)

▌授業の概要

「テーマパークを分析し人間行動を研究する」
このゼミナールでは、テーマパークや遊園地、イベント、観光、トラベルなどを題材に、私たち人間がどのような場合にどのような行動をするのかについて研究します。テーマパークは閉ざされた空間でありながら、アトラクション体験、飲食、物販など多数のアクティビティが行なわれる点で社会の縮図と考えることができ、人間行動を分析するのに適しています。そこでこのゼミナールでは、テーマパークや遊園地などを分析し、人間の行動について考えてゆきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：テーマパークや遊園地などを分析し、人間の行動について考えてゆきます。そのためには、ロジカルシンキング(論理的思考)とデータ分析の手法を使いこなし、正しい方法で考えてゆく必要があります。この学びを通じて、「正しく考える」「正しく研究する」方法やスキルを実践的に身に付けます。同時に、プレゼンテーションやディベートのトレーニングも行ないます。これらのゼミ活動を通じ身につけたスキルは、就職活動はもちろん、社会に出てからの強力な武器となるでしょう。

個別目標：1. テーマパークを素材に、ロジカルシンキング(論理的思考法)を用いて思考できる。
2. テーマパークに関する問題を、データを用いて分析できる。
3. グループで協力して問題解決に取り組める。
4. テーマパークを素材に、人間行動について分析できる。

▌履修条件

担当教員の講義科目を 3 年次に履修し修得すること(データサイエンス手法の理論的な理解や、実践的な試みを体験できるのでより有意義な学びが出来ます。すでに修得済みの場合は不要です)。

▌評価基準・方法

レポート、プレゼンテーション、ディスカッション、ゼミへの貢献、出席状況等により評価します。
通年を基準とした場合でも各期を基準とした場合でもいずれも 5 分の 4 以上の出席を満たしていることを単位取得の前提条件とします。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、翌回の講義の中で行なうことを基本とします。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション、ディスカッション、PBL（課題解決型学習）、グループワーク等）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ノートパソコンの持参が望ましい。）

▌教科書

田浦元著「愛知万博アンケート調査による来場者の場内行動についての統計的分析」

▌参考書

上藤一郎・田浦元他『調査と分析のための統計　社会・経済のデータサイエンス(第 2 版)』(丸善出版、2013 年)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：(以下は目安としての標準的な授業計画です。実際はクラスの進展度等により変更されます。) ゼミナールの内容や運営方法等の説明。 事前学修 1.0hr：シラバスを読み直しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。	16 回	**授業テーマ：夏季プレゼンテーション(1)：A グループ** 授業内容：夏休みの研究成果を発表しよう。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 1.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。
2 回	**授業テーマ：アイスブレイク** 授業内容：ゼミのメンバーを知ろう。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 1.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。	17 回	**授業テーマ：夏季プレゼンテーション(2)：B グループ** 授業内容：夏休みの研究成果を発表しよう。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 1.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。
3 回	**授業テーマ：研究テーマの選定(1)：テーマ案の検討** 授業内容：研究テーマ案を検討する。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 1.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。	18 回	**授業テーマ：夏季プレゼンテーション(3)：C グループ** 授業内容：夏休みの研究成果を発表しよう。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 1.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。
4 回	**授業テーマ：研究テーマの選定(2)：テーマ案の検討 2** 授業内容：研究テーマ案を検討する。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 1.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。	19 回	**授業テーマ：グループ学習(4)：後期グループ学習 1** 授業内容：グループで課題解決を目指そう。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 1.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。
5 回	**授業テーマ：研究テーマの選定(3)：テーマ案の決定** 授業内容：研究テーマを決定する。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 1.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。	20 回	**授業テーマ：グループ学習(5)：後期グループ学習 2** 授業内容：グループで課題解決を目指そう。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 1.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。
6 回	**授業テーマ：グループ学習(1)：グループ学習の基礎** 授業内容：グループ学習の方法を検討する。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 1.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。	21 回	**授業テーマ：後期中間プレゼンテーション(1)：A グループ** 授業内容：ここまでの研究成果を発表しよう。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 1.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。
7 回	**授業テーマ：グループ学習(2)：グループ学習の実践 1** 授業内容：グループ学習を実践する。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 1.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。	22 回	**授業テーマ：後期中間プレゼンテーション(2)：B グループ** 授業内容：ここまでの研究成果を発表しよう。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 1.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。
8 回	**授業テーマ：グループ学習(3)：グループ学習の実践 2** 授業内容：グループ学習を実践する。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 1.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。	23 回	**授業テーマ：後期中間プレゼンテーション(3)：C グループ** 授業内容：ここまでの研究成果を発表しよう。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 1.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。

9回	**授業テーマ：前期中間プレゼンテーション(1)：A グループ** 授業内容：ここまでの研究成果を発表しよう。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 1.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。	24回	**授業テーマ：グループ学習(6)：後期グループ学習 3** 授業内容：グループで研究を完成させよう。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 1.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。
10回	**授業テーマ：前期中間プレゼンテーション(2)：B グループ** 授業内容：ここまでの研究成果を発表しよう。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 1.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。	25回	**授業テーマ：グループ学習(7)：後期グループ学習 4** 授業内容：グループで研究を完成させよう。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 1.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。
11回	**授業テーマ：前期中間プレゼンテーションの振り返り** 授業内容：前期中間プレゼンテーションの内容やプレゼンテーションを振り返る。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 1.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。	26回	**授業テーマ：学年末プレゼンテーション(1)：A グループ** 授業内容：年間の研究成果のプレゼンテーション。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 1.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。
12回	**授業テーマ：前期末発表の準備** 授業内容：前期末発表の準備。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 1.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。	27回	**授業テーマ：学年末プレゼンテーション(2)：B グループ** 授業内容：年間の研究成果のプレゼンテーション。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 1.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。
13回	**授業テーマ：期末プレゼンテーション(1)：A グループ** 授業内容：前期の研究成果のプレゼンテーション。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 1.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。	28回	**授業テーマ：学年末プレゼンテーション(3)：C グループ** 授業内容：年間の研究成果のプレゼンテーション。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 1.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。
14回	**授業テーマ：期末プレゼンテーション(2)：B グループ** 授業内容：前期の研究成果のプレゼンテーション。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 1.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。	29回	**授業テーマ：学年末プレゼンテーション(4)：全体の成果発表** 授業内容：年間の研究成果のプレゼンテーション。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 1.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。
15回	**授業テーマ：学期のまとめと振り返り** 授業内容：学期のまとめと振り返りを行なう。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 1.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。	30回	**授業テーマ：年間のまとめと振り返り** 授業内容：年間のまとめと振り返りを行なう。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 1.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。

専門ゼミ 1

開講学科等：経　｜　3 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

友利　厚夫（ともり　あつお）

▌授業の概要

本ゼミでは、人類進化の観点から人間行動や社会の成り立ちを科学的に考える。具体的には、進化論や分子進化の基礎を確認しつつ、ヒトの進化の道のりや生活史、血縁や協力、性淘汰や心の進化、文化と学びの役割を体系的に理解し、人間行動を生物学的進化と文化的進化の両面から考察する。さらに、人類が豊かさを手にした一方で生じた格差に注目し、進化と社会の関係を検討する。自然環境、制度、文化に加え、幾多の技術革新が格差や社会構造にどのような影響を与えたのかを議論し、進化論的視点から現代社会を問い直すことをめざす。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：現実の社会・経済問題を科学的な観点から考えることができるようになること。

個別目標：科学的な思考法とは何かを理解すること。
理論の前提条件とその結論を明確に認識できるようになること。
確率、統計の基礎知識を身につけること。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

平常点 100 %：（プレゼンテーション・ディスカッションの内容・ゼミへの参加度及び貢献度）

▌フィードバック方法

講義内、manaba、及び成績評価にて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （資料作成）

▌教科書

初回授業にて指示する。

▌参考書

長谷川真理子 (2022)『進化と人間行動』東京大学出版会
O. ガロー (2022)『格差の起源　なぜ人類は繁栄し、不平等が生まれたのか』NHK 出版
M. スミス (1985)『進化とゲーム理論: 闘争の論理』産業図書

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス（ゼミの進め方について、プレゼンテーションの方法）** 授業内容：ゼミの進め方について、プレゼンテーションの方法について説明する。 事前学修 1.0hr：効果的なプレゼンテーションとは何かについて考える。 事後学修 3.0hr：効果的なプレゼンテーションの方法について自分の考えをまとめる。	16 回	**授業テーマ：後学期の進め方について** 授業内容：後学期の進め方について説明する。 事前学修 1.5hr：自分の関心のある問題についてノートにまとめる。 事後学修 2.5hr：自分の関心のある問題についてノートにまとめる。
2 回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：履修者による発表とディスカッションを行う。 事前学修 1.5hr：文献を読み、ノートにまとめる。発表資料の作成。 事後学修 2.5hr：ディスカッションの内容を整理し、自分の考えをまとめる。	17 回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：履修者による発表とディスカッションを行う。 事前学修 1.5hr：文献を読み、ノートにまとめる。発表資料の作成。 事後学修 2.5hr：ディスカッションの内容を整理し、自分の考えをまとめる。
3 回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：履修者による発表とディスカッションを行う。 事前学修 1.5hr：文献を読み、ノートにまとめる。発表資料の作成。 事後学修 2.5hr：ディスカッションの内容を整理し、自分の考えをまとめる。	18 回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：履修者による発表とディスカッションを行う。 事前学修 1.5hr：文献を読み、ノートにまとめる。発表資料の作成。 事後学修 2.5hr：ディスカッションの内容を整理し、自分の考えをまとめる。
4 回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：履修者による発表とディスカッションを行う。 事前学修 1.5hr：文献を読み、ノートにまとめる。発表資料の作成。 事後学修 2.5hr：ディスカッションの内容を整理し、自分の考えをまとめる。	19 回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：履修者による発表とディスカッションを行う。 事前学修 1.5hr：文献を読み、ノートにまとめる。発表資料の作成。 事後学修 2.5hr：ディスカッションの内容を整理し、自分の考えをまとめる。
5 回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：履修者による発表とディスカッションを行う。 事前学修 1.5hr：文献を読み、ノートにまとめる。発表資料の作成。 事後学修 2.5hr：ディスカッションの内容を整理し、自分の考えをまとめる。	20 回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：履修者による発表とディスカッションを行う。 事前学修 1.5hr：文献を読み、ノートにまとめる。発表資料の作成。 事後学修 2.5hr：ディスカッションの内容を整理し、自分の考えをまとめる。
6 回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：履修者による発表とディスカッションを行う。 事前学修 1.5hr：文献を読み、ノートにまとめる。発表資料の作成。 事後学修 2.5hr：ディスカッションの内容を整理し、自分の考えをまとめる。	21 回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：履修者による発表とディスカッションを行う。 事前学修 1.5hr：文献を読み、ノートにまとめる。発表資料の作成。 事後学修 2.5hr：ディスカッションの内容を整理し、自分の考えをまとめる。
7 回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：履修者による発表とディスカッションを行う。 事前学修 1.5hr：文献を読み、ノートにまとめる。発表資料の作成。 事後学修 2.5hr：ディスカッションの内容を整理し、自分の考えをまとめる。	22 回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：履修者による発表とディスカッションを行う。 事前学修 1.5hr：文献を読み、ノートにまとめる。発表資料の作成。 事後学修 2.5hr：ディスカッションの内容を整理し、自分の考えをまとめる。
8 回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：履修者による発表とディスカッションを行う。 事前学修 1.5hr：文献を読み、ノートにまとめる。発表資料の作成。 事後学修 2.5hr：ディスカッションの内容を整理し、自分の考えをまとめる。	23 回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：履修者による発表とディスカッションを行う。 事前学修 1.5hr：文献を読み、ノートにまとめる。発表資料の作成。 事後学修 2.5hr：ディスカッションの内容を整理し、自分の考えをまとめる。
9 回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：履修者による発表とディスカッションを行う。 事前学修 1.5hr：文献を読み、ノートにまとめる。発表資料の作成。 事後学修 2.5hr：ディスカッションの内容を整理し、自分の考えをまとめる。	24 回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：履修者による発表とディスカッションを行う。 事前学修 1.5hr：文献を読み、ノートにまとめる。発表資料の作成。 事後学修 2.5hr：ディスカッションの内容を整理し、自分の考えをまとめる。
10 回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：履修者による発表とディスカッションを行う。 事前学修 1.5hr：文献を読み、ノートにまとめる。発表資料の作成。 事後学修 2.5hr：ディスカッションの内容を整理し、自分の考えをまとめる。	25 回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：履修者による発表とディスカッションを行う。 事前学修 1.5hr：文献を読み、ノートにまとめる。発表資料の作成。 事後学修 2.5hr：ディスカッションの内容を整理し、自分の考えをまとめる。

11回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：履修者による発表とディスカッションを行う。 事前学修 1.5hr：文献を読み、ノートにまとめる。発表資料の作成。 事後学修 2.5hr：ディスカッションの内容を整理し、自分の考えをまとめる。	26回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：履修者による発表とディスカッションを行う。 事前学修 1.5hr：文献を読み、ノートにまとめる。発表資料の作成。 事後学修 2.5hr：ディスカッションの内容を整理し、自分の考えをまとめる。
12回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：履修者による発表とディスカッションを行う。 事前学修 1.5hr：文献を読み、ノートにまとめる。発表資料の作成。 事後学修 2.5hr：ディスカッションの内容を整理し、自分の考えをまとめる。	27回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：履修者による発表とディスカッションを行う。 事前学修 1.5hr：文献を読み、ノートにまとめる。発表資料の作成。 事後学修 2.5hr：ディスカッションの内容を整理し、自分の考えをまとめる。
13回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：履修者による発表とディスカッションを行う。 事前学修 1.5hr：文献を読み、ノートにまとめる。発表資料の作成。 事後学修 2.5hr：ディスカッションの内容を整理し、自分の考えをまとめる。	28回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：履修者による発表とディスカッションを行う。 事前学修 1.5hr：文献を読み、ノートにまとめる。発表資料の作成。 事後学修 2.5hr：ディスカッションの内容を整理し、自分の考えをまとめる。
14回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：履修者による発表とディスカッションを行う。 事前学修 1.5hr：文献を読み、ノートにまとめる。発表資料の作成。 事後学修 2.5hr：ディスカッションの内容を整理し、自分の考えをまとめる。	29回	**授業テーマ：卒業論文について** 授業内容：卒業論文について説明する。 事前学修 1.0hr：卒業論文の研究テーマの候補を考えてくる。 事後学修 3.0hr：卒業論文の研究テーマについて考えをまとめる。
15回	**授業テーマ：前学期のまとめと後学期の課題設定** 授業内容：前学期のまとめと後学期の課題設定を行う。 事前学修 1.0hr：これまでに学習した内容を復習する。 事後学修 3.0hr：前学期に学習した内容をレポートとしてまとめる。	30回	**授業テーマ：後学期のまとめ** 授業内容：後学期のまとめを行う。 事前学修 1.0hr：1 年間で学んだこと復習してくる。 事後学修 3.0hr：1 年間で学んだことをレポートとしてまとめる。

専門ゼミ１

開講学科等：経　｜　3 年次　｜　4 単位　｜　開講期：前 2

永井　攻治（ながい　よしはる）

▌授業の概要

演習のテーマ「社会の「今」と向き合う、思考の旅へ！」
本ゼミでは、大学生として理解しておくべき現代社会の諸問題について、映像資料等を用いながら議論を中心とした演習を行う。「貧困ビジネスの実態」「少子高齢化の課題」「死刑制度の是非」「憲法改正の必要性」など多様なテーマを取り上げ、社会的課題を多角的に考察する力を養う。学生が主体的に発言し、自ら学修を深める姿勢を重視する。あわせて、次年度の卒業論文作成を見据え、経済学的視点から論文を構成・執筆するための基礎的知識の修得を目標とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：大学生として必要と思われる身近な経済問題について、経済学的視点から考察できるようになる。
個別目標：他のゼミ生との関わり合いや、ゼミ連行事等に自発的に参加出来るようにする。

▌履修条件

①授業やゼミ行事に積極的に参加すること。
② MOS 検定試験講座やインターンシップ等に積極的に参加する。

▌評価基準・方法

①積極的な学習意欲（毎回の「事前学修」および授業への発言）　最大５０％
②報告内容及び行事等への参加状況　最大５０％
③その他（授業態度により、１０％の範囲内での減点または加点もありえる）
※なお、５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

個別及び授業内で対応する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回により異なる（課題、ディスカッション、プレゼンテーション））

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

開講時に指示する。

▌参考書

必要に応じ、適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション（演習の進め方等の説明）** 授業内容：授業の進め方について説明する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで、本講義の内容を簡単に考えておく。 事後学修 2.0hr：講義で興味を持った箇所の内容について考える。	16回	**授業テーマ：後期の演習の進め方等の説明** 授業内容：後期の授業内容について説明する。 事前学修 2.0hr：夏季休暇中の課題を準備する。 事後学修 2.0hr：研究報告の準備（報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する）。
2回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションで気づいた点をノートに整理し、復習できるようにする（課題が課された場合は、課題をおこなう）。	17回	**授業テーマ：夏期休暇中の学習報告** 授業内容：パワーポイントを使い、夏休みの課題報告をおこなう。 事前学修 2.0hr：研究報告の準備（報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する）。 事後学修 2.0hr：研究報告の準備（報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する）。
3回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションで気づいた点をノートに整理し、復習できるようにする（課題が課された場合は、課題をおこなう）。	18回	**授業テーマ：夏期休暇中の学習報告** 授業内容：パワーポイントを使い、夏休みの課題報告をおこなう。 事前学修 2.0hr：研究報告の準備（報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する）。 事後学修 2.0hr：研究報告の準備（報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する）。
4回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションで気づいた点をノートに整理し、復習できるようにする（課題が課された場合は、課題をおこなう）。	19回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションで気づいた点をノートに整理し、復習できるようにする（課題が課された場合は、課題をおこなう）。
5回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションで気づいた点をノートに整理し、復習できるようにする（課題が課された場合は、課題をおこなう）。	20回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションで気づいた点をノートに整理し、復習できるようにする（課題が課された場合は、課題をおこなう）。
6回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションで気づいた点をノートに整理し、復習できるようにする（課題が課された場合は、課題をおこなう）。	21回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションで気づいた点をノートに整理し、復習できるようにする（課題が課された場合は、課題をおこなう）。
7回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションで気づいた点をノートに整理し、復習できるようにする（課題が課された場合は、課題をおこなう）。	22回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションで気づいた点をノートに整理し、復習できるようにする（課題が課された場合は、課題をおこなう）。

8回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションで気づいた点をノートに整理し、復習できるようにする(課題が課された場合は、課題をおこなう)。	23回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションで気づいた点をノートに整理し、復習できるようにする(課題が課された場合は、課題をおこなう)。
9回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションで気づいた点をノートに整理し、復習できるようにする(課題が課された場合は、課題をおこなう)。	24回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションで気づいた点をノートに整理し、復習できるようにする(課題が課された場合は、課題をおこなう)。
10回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションで気づいた点をノートに整理し、復習できるようにする(課題が課された場合は、課題をおこなう)。	25回	**授業テーマ：就職について考える** 授業内容：就職活動の面接に備えて、「ゼミの研究テーマ」について考える。 事前学修 2.0hr：将来の進路について考える。 事後学修 2.0hr：自分の将来について具体的に考える。
11回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。	26回	**授業テーマ：履歴書・エントリーシートの書き方** 授業内容：履歴書やエントリーシートの書き方(特に、ゼミでの取り組み)について考える。 事前学修 2.0hr：簡単な自分史を考える。 事後学修 2.0hr：興味を持っている業界を調べる。
12回	**授業テーマ：ゼミ生による研究報告** 授業内容：いままでの授業内容で、特に興味をもった内容について、パワーポイント等を用いて発表する。 事前学修 2.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。 事後学修 2.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。	27回	**授業テーマ：ゼミ生による研究報告** 授業内容：いままでの授業内容で、特に興味をもった内容について、パワーポイント等を用いて発表する。 事前学修 2.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。 事後学修 2.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。
13回	**授業テーマ：ゼミ生による研究報告** 授業内容：いままでの授業内容で、特に興味をもった内容について、パワーポイント等を用いて発表する。 事前学修 2.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。 事後学修 2.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。	28回	**授業テーマ：ゼミ生による研究報告** 授業内容：いままでの授業内容で、特に興味をもった内容について、パワーポイント等を用いて発表する。 事前学修 2.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。 事後学修 2.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。
14回	**授業テーマ：ゼミ生による研究報告** 授業内容：いままでの授業内容で、特に興味をもった内容について、パワーポイント等を用いて発表する。 事前学修 2.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。 事後学修 2.0hr：皆の研究報告の内容を振り返る。	29回	**授業テーマ：ゼミ生による研究報告** 授業内容：いままでの授業内容で、特に興味をもった内容について、パワーポイント等を用いて発表する。 事前学修 2.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。 事後学修 2.0hr：皆の研究報告の内容を振り返る。
15回	**授業テーマ：夏季休暇中における課題の説明** 授業内容：夏季休暇中の課題等について話し合う。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：いままでの授業内容を復習し何を学んだかを確認する。	30回	**授業テーマ：まとめ(１年間の学習を振り返って)** 授業内容：１年間の総括と、卒業論文についての説明をおこなう。 事前学修 2.0hr：今までの学習内容を振り返る。 事後学修 2.0hr：講義で習った内容の復習をする。

専門ゼミ１

開講学科等：経　｜　3 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

永井　攻治（ながい　よしはる）

▌授業の概要

演習のテーマ「社会の「今」と向き合う、思考の旅へ！」
本ゼミでは、大学生として理解しておくべき現代社会の諸問題について、映像資料等を用いながら議論を中心とした演習を行う。「貧困ビジネスの実態」「少子高齢化の課題」「死刑制度の是非」「憲法改正の必要性」など多様なテーマを取り上げ、社会的課題を多角的に考察する力を養う。学生が主体的に発言し、自ら学修を深める姿勢を重視する。あわせて、次年度の卒業論文作成を見据え、経済学的視点から論文を構成・執筆するための基礎的知識の修得を目標とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：大学生として必要と思われる身近な経済問題について、経済学的視点から考察できるようになる。
個別目標：他のゼミ生との関わり合いや、ゼミ連行事等に自発的に参加出来るようにする。

▌履修条件

①授業やゼミ行事に積極的に参加すること。
② MOS 検定試験講座やインターンシップ等に積極的に参加する。

▌評価基準・方法

①積極的な学習意欲（毎回の「事前学修」および授業への発言）　最大５０％
②報告内容及び行事等への参加状況　最大５０％
③その他（授業態度により、１０％の範囲内での減点または加点もありえる）
※なお、５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

個別及び授業内で対応する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回により異なる（課題、ディスカッション、プレゼンテーション））

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

開講時に指示する。

▌参考書

必要に応じ、適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション（演習の進め方等の説明）** 授業内容：授業の進め方について説明する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで、本講義の内容を簡単に考えておく。 事後学修 2.0hr：講義で興味を持った箇所の内容について考える。	16回	**授業テーマ：後期の演習の進め方等の説明** 授業内容：後期の授業内容について説明する。 事前学修 2.0hr：夏季休暇中の課題を準備する。 事後学修 2.0hr：研究報告の準備（報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する）。
2回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションで気づいた点をノートに整理し、復習できるようにする（課題が課された場合は、課題をおこなう）。	17回	**授業テーマ：夏期休暇中の学習報告** 授業内容：パワーポイントを使い、夏休みの課題報告をおこなう。 事前学修 2.0hr：研究報告の準備（報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する）。 事後学修 2.0hr：研究報告の準備（報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する）。
3回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションで気づいた点をノートに整理し、復習できるようにする（課題が課された場合は、課題をおこなう）。	18回	**授業テーマ：夏期休暇中の学習報告** 授業内容：パワーポイントを使い、夏休みの課題報告をおこなう。 事前学修 2.0hr：研究報告の準備（報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する）。 事後学修 2.0hr：研究報告の準備（報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する）。
4回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションで気づいた点をノートに整理し、復習できるようにする（課題が課された場合は、課題をおこなう）。	19回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションで気づいた点をノートに整理し、復習できるようにする（課題が課された場合は、課題をおこなう）。
5回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションで気づいた点をノートに整理し、復習できるようにする（課題が課された場合は、課題をおこなう）。	20回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションで気づいた点をノートに整理し、復習できるようにする（課題が課された場合は、課題をおこなう）。
6回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションで気づいた点をノートに整理し、復習できるようにする（課題が課された場合は、課題をおこなう）。	21回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションで気づいた点をノートに整理し、復習できるようにする（課題が課された場合は、課題をおこなう）。
7回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションで気づいた点をノートに整理し、復習できるようにする（課題が課された場合は、課題をおこなう）。	22回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションで気づいた点をノートに整理し、復習できるようにする（課題が課された場合は、課題をおこなう）。

8回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションで気づいた点をノートに整理し、復習できるようにする(課題が課された場合は、課題をおこなう)。	23回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションで気づいた点をノートに整理し、復習できるようにする(課題が課された場合は、課題をおこなう)。
9回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションで気づいた点をノートに整理し、復習できるようにする(課題が課された場合は、課題をおこなう)。	24回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションで気づいた点をノートに整理し、復習できるようにする(課題が課された場合は、課題をおこなう)。
10回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションで気づいた点をノートに整理し、復習できるようにする(課題が課された場合は、課題をおこなう)。	25回	**授業テーマ：就職について考える** 授業内容：就職活動の面接に備えて、「ゼミの研究テーマ」について考える。 事前学修 2.0hr：将来の進路について考える。 事後学修 2.0hr：自分の将来について具体的に考える。
11回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。	26回	**授業テーマ：履歴書・エントリーシートの書き方** 授業内容：履歴書やエントリーシートの書き方(特に、ゼミでの取り組み)について考える。 事前学修 2.0hr：簡単な自分史を考える。 事後学修 2.0hr：興味を持っている業界を調べる。
12回	**授業テーマ：ゼミ生による研究報告** 授業内容：いままでの授業内容で、特に興味をもった内容について、パワーポイント等を用いて発表する。 事前学修 2.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。 事後学修 2.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。	27回	**授業テーマ：ゼミ生による研究報告** 授業内容：いままでの授業内容で、特に興味をもった内容について、パワーポイント等を用いて発表する。 事前学修 2.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。 事後学修 2.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。
13回	**授業テーマ：ゼミ生による研究報告** 授業内容：いままでの授業内容で、特に興味をもった内容について、パワーポイント等を用いて発表する。 事前学修 2.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。 事後学修 2.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。	28回	**授業テーマ：ゼミ生による研究報告** 授業内容：いままでの授業内容で、特に興味をもった内容について、パワーポイント等を用いて発表する。 事前学修 2.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。 事後学修 2.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。
14回	**授業テーマ：ゼミ生による研究報告** 授業内容：いままでの授業内容で、特に興味をもった内容について、パワーポイント等を用いて発表する。 事前学修 2.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。 事後学修 2.0hr：皆の研究報告の内容を振り返る。	29回	**授業テーマ：ゼミ生による研究報告** 授業内容：いままでの授業内容で、特に興味をもった内容について、パワーポイント等を用いて発表する。 事前学修 2.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。 事後学修 2.0hr：皆の研究報告の内容を振り返る。
15回	**授業テーマ：夏季休暇中における課題の説明** 授業内容：夏季休暇中の課題等について話し合う。 事前学修 2.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：いままでの授業内容を復習し何を学んだかを確認する。	30回	**授業テーマ：まとめ(１年間の学習を振り返って)** 授業内容：１年間の総括と、卒業論文についての説明をおこなう。 事前学修 2.0hr：今までの学習内容を振り返る。 事後学修 2.0hr：講義で習った内容の復習をする。

専門ゼミ１

開講学科等：経　｜　3 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

中澤　栄一（なかざわ　えいいち）

▌授業の概要

大学生活の中で、「努力が報われていない」と感じたことはありませんか？　例えば、一生懸命授業に出て勉強しても内容が理解できない科目があった場合、(1) 努力の方向性を間違えている、(2) 教える側のコミュニケーション能力が欠けている、のどちらかが原因です。一方、大学までは、たとえ勉強に失敗しても先生や保護者がある程度フォローしてくれますが、すべてに自己責任が求められる社会人には「頑張ったけど失敗した」は通用しません。この経済学演習では、国際経済や開発経済の重要な問題を徹底的に勉強しながら、就職までの 2 年間に「無駄にならない」努力のしかたを身につけるためのお手伝いをします。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：若年層の失業や所得格差が世界的に大きな問題となっている中で、国際機関等のフォーラムでは、競争力をつけるのための技能 (skills for competitiveness) という概念が注目されています。この演習（ゼミ）では、競争が激化して所得や生活水準の格差が拡大することが確実なこれからの日本と世界の中で、国際的な競争に生き残る人物に不可欠な、(1)「新しい価値を産み出す能力」と、(2)「コミュニケーション能力」を身に付けてもらうことを目的とします。

個別目標：国際経済や開発経済の重要な問題に関して、最新の知識に基づいて自分の意見を展開できるようになることを個別目標とします。

▌履修条件

ゼミのモットーである「よく学び、よく遊べ」を実践すること。

パンデミックの再発等の理由により、対面授業が実施できなくなった場合には、改めてコースニュースを通じて連絡します。

▌評価基準・方法

発表の質とゼミへの貢献度を評価します。

急病や就職活動によってやむを得ず欠席する場合は、理由を証明する文書を提出した場合のみ、学期中最大 2 回まで公欠扱いとします。

▌フィードバック方法

授業中にフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、プレゼンテーション、ディスカッション・ディベート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC 教室が使用できた場合は、パワーポイントを用いた発表を予定しています。）

▌教科書

必要に応じて授業中にアドバイスします。

▌参考書

必要に応じて授業中にアドバイスします。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：自己紹介スピーチ／役職者の決定／就職活動対策（１）** 授業内容：授業の取り進め方や、成績評価の方法などについて、詳細に説明します。また、全員に１～２分の自己紹介をしてもらい、友達の自己紹介の優れた点を学びます。 さらに、就職活動で役に立つプレゼン方法について学びます。 事前学修 2.0hr：自己紹介内容を考える 事後学修 2.0hr：友達の自己紹介から学ぼう	16回	**授業テーマ：夏休みの活動報告／就職活動対策（３）** 授業内容：各自の進路希望に基づき、就職活動の準備を行います。なお、大学全体の就職セミナーが開催される場合は、それに合わせて授業の日程を調整します。 事前学修 2.0hr：活動報告の準備 事後学修 2.0hr：友達の活動報告から学ぼう
2回	**授業テーマ：プレゼンテーション１** 授業内容：これまでの勉強方法を振り返り、他のメンバーの勉強方法の優れた点を学びます。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの準備 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションの反省	17回	**授業テーマ：プレゼンテーションやディベートの練習１** 授業内容：ゼミ連の参加活動に合わせて、チームごとに準備を行います。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションやディベートの練習１の準備 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションやディベートの練習１の反省
3回	**授業テーマ：プレゼンテーション２** 授業内容：前期に研究したいテーマを発表してもらい、グループ研究のテーマを決めます。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの準備 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションの反省	18回	**授業テーマ：プレゼンテーションやディベートの練習２** 授業内容：ひきつづき、ゼミ連の参加活動に合わせて、チームごとに準備を行います。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションやディベートの練習２の準備 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションやディベートの練習２の反省
4回	**授業テーマ：授業内容：プレゼンテーション３** 授業内容：具体的な研究計画についてより詳細な発表をしてもらいます。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの準備 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションの反省	19回	**授業テーマ：プレゼンテーションやディベートの練習３** 授業内容：ひきつづき、ゼミ連の参加活動に合わせて、チームごとに準備を行います。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションやディベートの練習３の準備 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションやディベートの練習の反省
5回	**授業テーマ：前期の研究グループ分け／リーダーの決定** 授業内容：研究の関心が近い履修者のグループ分けをします。 事前学修 2.0hr：グループ分けの準備 事後学修 2.0hr：グループ分けの反省	20回	**授業テーマ：プレゼンテーションやディベートの練習４** 授業内容：ひきつづき、ゼミ連の参加活動に合わせて、チームごとに準備を行います。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションやディベートの練習４の準備 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションやディベートの練習４の反省
6回	**授業テーマ：グループ研究テーマの決定** 授業内容：グループ内で自分の研究テーマをアピールし、各グループの研究テーマを決定します。 事前学修 2.0hr：グループ員説得の準備 事後学修 2.0hr：グループ員説得の反省	21回	**授業テーマ：プレゼンテーションやディベートの練習５** 授業内容：ひきつづき、ゼミ連の参加活動に合わせて、チームごとに準備を行います。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションやディベートの練習５の準備 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションやディベートの練習５の反省
7回	**授業テーマ：グループ別の研究指導** 授業内容：各グループの研究方法について、個別に指導を行います。 事前学修 2.0hr：グループ研究 事後学修 2.0hr：グループ研究	22回	**授業テーマ：プレゼンテーションやディベートの練習６** 授業内容：ひきつづき、ゼミ連の参加活動に合わせて、チームごとに準備を行います。 事前学修 2.0hr：ディベート練習６の準備 事後学修 2.0hr：ディベート練習６の反省
8回	**授業テーマ：グループ別の研究指導** 授業内容：ひきつづき、各グループの研究方法について、個別に指導を行います。 事前学修 2.0hr：グループ研究 事後学修 2.0hr：グループ研究	23回	**授業テーマ：プレゼンテーションやディベートの練習７** 授業内容：ひきつづき、ゼミ連の参加活動に合わせて、チームごとに準備を行います。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションやディベートの練習７の準備 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションやディベートの練習７の反省

9回	**授業テーマ：グループ別の研究指導** 授業内容：各グループの研究内容について、個別に指導を行います。 事前学修 2.0hr：グループ研究 事後学修 2.0hr：グループ研究	24回	**授業テーマ：プレゼンテーションやディベートの練習８** 授業内容：ゼミ連の参加活動に合わせて、チームごとに最終準備を行います。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションやディベートの練習８の準備 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションやディベートの練習８の反省
10回	**授業テーマ：グループ別の研究指導** 授業内容：ひきつづき、各グループの研究内容について、個別に指導を行います。 事前学修 2.0hr：グループ研究 事後学修 2.0hr：グループ研究	25回	**授業テーマ：プレゼンテーションやディベートの練習９** 授業内容：ひきつづき、ゼミ連の参加活動に合わせて、チームごとに最終準備を行います。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションやディベートの練習９の準備 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションやディベートの練習９の反省
11回	**授業テーマ：グループ別の研究指導** 授業内容：ひきつづき、各グループの研究内容について、個別に指導を行います。 事前学修 2.0hr：グループ研究 事後学修 2.0hr：グループ研究	26回	**授業テーマ：グループ別の研究指導** 授業内容：４年生になってからの卒論執筆の準備を行うために、グループ学修を完成させます。 事前学修 2.0hr：グループ研究 事後学修 2.0hr：グループ研究
12回	**授業テーマ：グループ別の研究指導** 授業内容：ひきつづき、各グループの研究内容について、個別に指導を行います。 事前学修 2.0hr：グループ研究 事後学修 2.0hr：グループ研究	27回	**授業テーマ：グループ別の研究指導** 授業内容：４年生になってからの卒論執筆の準備を行うために、グループ学修を完成させます。 事前学修 2.0hr：グループ研究 事後学修 2.0hr：グループ研究
13回	**授業テーマ：グループ別の研究指導** 授業内容：ひきつづき、各グループの研究内容について、個別に指導を行います。 事前学修 2.0hr：グループ研究 事後学修 2.0hr：研究発表の準備	28回	**授業テーマ：グループ別の研究指導** 授業内容：４年生になってからの卒論執筆の準備を行うために、グループ学修を完成させます。 事前学修 2.0hr：グループ研究 事後学修 2.0hr：研究発表の準備
14回	**授業テーマ：グループ別の研究発表** 授業内容：各グループの研究内容について、個別に発表してもらい、他のグループのメンバーおよび担当教員からコメントをします。 事前学修 2.0hr：研究発表の準備 事後学修 2.0hr：研究発表の反省	29回	**授業テーマ：グループ別の研究発表** 授業内容：４年生になってからの卒論執筆の準備を行うために、グループ学修を完成させます。 事前学修 2.0hr：研究発表の準備 事後学修 2.0hr：研究発表の反省
15回	**授業テーマ：就職活動対策（２）** 授業内容：就職活動の準備を行います。なお、大学全体の就職セミナーが開催される場合は、それに合わせて授業の日程を調整します。 事前学修 2.0hr：就職活動対策の準備 事後学修 2.0hr：就職活動対策の反省	30回	**授業テーマ：就職活動対策（４）** 授業内容：各自の進路希望に基づき、就職活動の準備を行います。なお、大学全体の就職セミナーが開催される場合は、それに合わせて授業の日程を調整します。 事前学修 2.0hr：就職活動対策の準備 事後学修 2.0hr：就職活動対策の反省

専門ゼミ 1

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

中平　千彦 (なかひら　かずひこ)

▌授業の概要

今年度の「専門ゼミ 1」(3 年次) では「経済変動論」を学びます。

この講義では、主に、景気循環、経済成長、経済発展の視点から、経済変動論の基礎を習得します。景気循環の観点からは、特に、周期的変動、景気動向指数、相互作用モデルを学びます。経済成長については、まず日本の経済成長の態様を振り返り、次に、統計的事実、そして生産関数、技術代替と技術進歩、成長要因、新古典派経済成長論、内生的成長論に注目します。経済発展については、二重構造論、経済体制の理論と実態を捉えます。また、各種の経済指標、SNA、労働供給と労働需要、物価指数など、経済統計学の基礎知識も拡充します。アクティブ・ラーニング型学習も一部採り入れましょう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：・経済変動論の理論的基礎を理解できるようになる。
・経済変動論に関する基本的問題を理論経済学的に捉えられるようになる。

個別目標：・各受講生が個別の目標を見つけ、努力することによって、経済変動論に関する基本的問題を、理論・実証の両面から捉えられるようになる。

▌履修条件

・『経済学概論Ⅰ』、『経済学概論Ⅱ』、『マクロ経済学Ⅰ』、『マクロ経済学Ⅱ』、『ミクロ経済学Ⅰ』、『ミクロ経済学Ⅱ』、『計量経済学Ⅰ』、『計量経済学Ⅱ』を履修済みであるか、または同時履修することが望ましい。

▌評価基準・方法

・課題 1(45%)+課題 2(45%)+参加度評価 (10%)=評価点 (100%) の評点配分に基づき、ルーブリック型の評価手法も考慮して成績判定を行います。
・課題 1 と課題 2 の提出は義務です。
・全講義数に対して 5 分の 4 を満たす出席数が確認できない場合は単位が認定されません。

▌フィードバック方法

・課題や学習状況のフィードバックは基本的に講義内またはオフィスアワーで個別に行いますが、manaba を利用することもあります。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （アクティブ・ラーニングの要素として、学習課題に、教員提示型の設問に加えて、受講生提示型の設問も含める）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要に応じてノート・パソコンを使った演習を行います）

▌教科書

関根順一 (著)『基礎からわかる経済変動論 (第 3 版)』中央経済社，2021 年

▌参考書

秋山裕 (著)『経済発展論』東洋経済新報社，1999 年
内山誠 (著)『改訂版　景気循環論入門』晃洋書房，2010 年
金指基 (編著)『経済変動論』八千代出版，1996 年
野村紘彦 (著)『経済変動理論』中央経済社，2003 年

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：経済変動と経済変動論 (1)** 授業内容：「日々変化する経済」の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：事前にシラバスを読み、本講義の概略を把握する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。	16 回	**授業テーマ：景気循環論 (6)** 授業内容：「景気判断」(3) の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：事前にシラバスを読み、本講義の概略を把握する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
2 回	**授業テーマ：経済変動と経済変動論 (2)** 授業内容：「主要な経済変動」の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。	17 回	**授業テーマ：経済成長論 (1)** 授業内容：「戦後日本の経済成長」(1) の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：事前にシラバスを読み、本講義の概略を把握する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
3 回	**授業テーマ：メディアで見る日本の経済変動 (1)** 授業内容：「経済報道と経済変動」、「主な経済指標」の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。	18 回	**授業テーマ：経済成長論 (2)** 授業内容：「戦後日本の経済成長」(2) の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：事前にシラバスを読み、本講義の概略を把握する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
4 回	**授業テーマ：メディアで見る日本の経済変動 (2)** 授業内容：「景気動向」の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。	19 回	**授業テーマ：経済成長論 (3)** 授業内容：「戦後日本の経済成長」(3) の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：事前にシラバスを読み、本講義の概略を把握する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
5 回	**授業テーマ：経済統計でわかるマクロ経済 (1)** 授業内容：「国民所得」(1) の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。	20 回	**授業テーマ：経済成長論 (4)** 授業内容：「戦後日本の経済成長」(4) の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：事前にシラバスを読み、本講義の概略を把握する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
6 回	**授業テーマ：経済統計でわかるマクロ経済 (2)** 授業内容：「国民所得」(2) の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。	21 回	**授業テーマ：経済成長論 (5)** 授業内容：「統計的事実」(1) の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：事前にシラバスを読み、本講義の概略を把握する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
7 回	**授業テーマ：経済統計でわかるマクロ経済 (3)** 授業内容：「国民所得」(3) の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。	22 回	**授業テーマ：経済成長論 (6)** 授業内容：「統計的事実」(2) の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：事前にシラバスを読み、本講義の概略を把握する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
8 回	**授業テーマ：経済統計でわかるマクロ経済 (4)** 授業内容：「経済成長」(1) の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。	23 回	**授業テーマ：経済成長論 (7)** 授業内容：「統計的事実」(3) の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：事前にシラバスを読み、本講義の概略を把握する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
9 回	**授業テーマ：経済統計でわかるマクロ経済 (5)** 授業内容：「経済成長」(2) の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。	24 回	**授業テーマ：経済成長論 (8)** 授業内容：「統計的事実」(4) の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：事前にシラバスを読み、本講義の概略を把握する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。

10回	**授業テーマ：経済統計でわかるマクロ経済 (6)** 授業内容：「経済成長」(3) の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。	25回	**授業テーマ：経済発展論 (1)** 授業内容：「近代経済成長」(1) の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：事前にシラバスを読み、本講義の概略を把握する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
11回	**授業テーマ：景気循環論 (1)** 授業内容：「周期的経済変動」(1) の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。	26回	**授業テーマ：経済発展論 (2)** 授業内容：「近代経済成長」(2) の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：事前にシラバスを読み、本講義の概略を把握する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
12回	**授業テーマ：景気循環論 (2)** 授業内容：「周期的経済変動」(2) の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。	27回	**授業テーマ：経済発展論 (3)** 授業内容：「近代経済成長」(3) の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：事前にシラバスを読み、本講義の概略を把握する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
13回	**授業テーマ：景気循環論 (3)** 授業内容：「周期的経済変動」(3) の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。	28回	**授業テーマ：経済発展論 (4)** 授業内容：「経済発展理論」(1) の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：事前にシラバスを読み、本講義の概略を把握する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
14回	**授業テーマ：景気循環論 (4)** 授業内容：「景気判断」(1) の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。	29回	**授業テーマ：経済発展論 (5)** 授業内容：「経済発展理論」(2) の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：事前にシラバスを読み、本講義の概略を把握する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
15回	**授業テーマ：景気循環論 (5)** 授業内容：「景気判断」(2) の項目について学びます。 ＊課題 1 を配布 (提出日は配布時に指示) 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。	30回	**授業テーマ：経済変動論の新展開** 授業内容：「経済変動論の新しい展開」の項目について学びます。 ＊課題 2 を配布 (提出日は配布時に指示) 事前学修 2.0hr：事前にシラバスを読み、本講義の概略を把握する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。

専門ゼミ 1

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

萩原　里紗 (はぎわら　りさ)

▌授業の概要

このゼミでは、データ分析の方法を習得した上で、客観的な証拠に基づいて議論し、自らの意見を相手に理解させる力を養う。前学期では、文献講読を行い、自らの関心のある研究分野を明らかにしていくとともに、プレゼンテーションのスキルを身につける。さらに、ディベートを通じて、客観的な証拠に基づいて議論するスキルを習得する。後学期では、前学期で学んだデータ分析の方法やレポート、論文の書き方を用いてグループ研究を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：研究テーマを自ら設定し、調査・分析を行い、研究成果をまとめ、発表できる能力を身につける。

個別目標：1. 現実社会が抱える様々な問題を引き起こす原因を探れる（問題発見力）
2. 設定した仮説を検証できる適切なデータ・分析方法や研究テーマに関連する先行研究を収集できる (調査力)
3. 設定した仮説を検証するために統計ソフトを使った分析ができる (分析力)

▌履修条件

ゼミでの議論や研究活動、研究発表に積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

ゼミへの積極的な参加と貢献状況等の平常点、そして課題の結果によって総合的に評価する。
（平常点：40 %、課題：60 %）

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、次回授業時に全員に対してまとめて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、実習形式の授業を実施する）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （グループワーク、データ収集・分析、論文・レポート・発表資料作成等で、毎回使用する）

▌教科書

教科書は使用しない。教材として、授業資料を学修支援システム manaba にて配布する。

▌参考書

山本拓・竹内明香『入門計量経済学　Excel による実証分析へのガイド』新世社, 2013
山下隆之・石橋太郎・伊藤暁人・上藤一郎・黄愛珍・鈴木拓也『はじめよう経済学のための情報処理（第 4 版）』日本評論社, 2014
山本勲『実証分析のための計量経済学 正しい手法と結果の読み方』中央経済社, 2015

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：本授業の内容及び進め方について説明する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んで、授業内容を確認する。 事後学修 2.0hr：今後の授業の進め方を復習する。	16 回	**授業テーマ：夏休み期間中のグループ研究の進捗状況の確認** 授業内容：夏休み期間中のグループ研究の進捗状況の確認を行う。 事前学修 2.0hr：発表の準備をする。 事後学修 2.0hr：確認した進捗状況を踏まえ、研究発表の準備を進める。
2 回	**授業テーマ：文献講読の報告担当の割り当て** 授業内容：文献講読の報告担当の割り当てを行う。 事前学修 2.0hr：文献講読で担当したい箇所を決める。 事後学修 2.0hr：指定された文献を読む。	17 回	**授業テーマ：就職活動ガイダンス（エントリーシート、筆記試験について）** 授業内容：就職活動ガイダンス（エントリーシート、筆記試験について）を行う。 事前学修 2.0hr：エントリーシートを作成する。 事後学修 2.0hr：コメントをもとに、エントリーシートを修正する。
3 回	**授業テーマ：レジュメ作成、プレゼンテーション、ディベートの方法** 授業内容：レジュメ作成、プレゼンテーション、ディベートの方法を習得する。 事前学修 2.0hr：インターネット等を用いて、プレゼンテーション、ディベートの仕方を予習する。 事後学修 2.0hr：レジュメ作成、プレゼンテーション、ディベートの方法を復習する。	18 回	**授業テーマ：就職活動ガイダンス（面接について）** 授業内容：就職活動ガイダンス（面接について）を行う。 事前学修 2.0hr：志望動機、自己 PR を考え、話せるように準備する。 事後学修 2.0hr：面接の内容を復習する。
4 回	**授業テーマ：文献講読** 授業内容：文献講読を行い、意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：指定された文献を読む。発表者は発表の準備をする。 事後学修 2.0hr：報告内容を復習する。	19 回	**授業テーマ：グループ研究の中間発表** 授業内容：グループ研究の中間発表を行う。 事前学修 2.0hr：研究発表者は研究発表、それ以外の者は質問の準備をする。 事後学修 2.0hr：ゼミ参加者のコメントをもとに発表の仕方や論文を修正する。
5 回	**授業テーマ：文献講読** 授業内容：文献講読を行い、意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：指定された文献を読む。発表者は発表の準備をする。 事後学修 2.0hr：報告内容を復習する。	20 回	**授業テーマ：グループ研究の中間発表** 授業内容：グループ研究の中間発表を行う。 事前学修 2.0hr：研究発表者は研究発表、それ以外の者は質問の準備をする。 事後学修 2.0hr：ゼミ参加者のコメントをもとに発表の仕方や論文を修正する。
6 回	**授業テーマ：文献講読** 授業内容：文献講読を行い、意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：指定された文献を読む。発表者は発表の準備をする。 事後学修 2.0hr：報告内容を復習する。	21 回	**授業テーマ：グループ研究の中間発表** 授業内容：グループ研究の中間発表を行う。 事前学修 2.0hr：研究発表者は研究発表、それ以外の者は質問の準備をする。 事後学修 2.0hr：ゼミ参加者のコメントをもとに発表の仕方や論文を修正する。
7 回	**授業テーマ：文献講読** 授業内容：文献講読を行い、意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：指定された文献を読む。発表者は発表の準備をする。 事後学修 2.0hr：報告内容を復習する。	22 回	**授業テーマ：グループ研究の中間発表** 授業内容：グループ研究の中間発表を行う。 事前学修 2.0hr：研究発表者は研究発表、それ以外の者は質問の準備をする。 事後学修 2.0hr：ゼミ参加者のコメントをもとに発表の仕方や論文を修正する。
8 回	**授業テーマ：ディベート** 授業内容：ディベートを行い、論理的思考や説得力を駆使し、自信をもって発言する力を養う。 事前学修 2.0hr：ディベートの準備をする。 事後学修 2.0hr：ディベートの内容を復習する。	23 回	**授業テーマ：グループ研究の中間発表** 授業内容：グループ研究の中間発表を行う。 事前学修 2.0hr：研究発表者は研究発表、それ以外の者は質問の準備をする。 事後学修 2.0hr：ゼミ参加者のコメントをもとに発表の仕方や論文を修正する。
9 回	**授業テーマ：グループ研究のための研究テーマ選択、グループ決め** 授業内容：グループ研究のための研究テーマ選択、グループ決めを行う。 事前学修 2.0hr：研究テーマを考える。 事後学修 2.0hr：グループごとに研究計画を立てる。	24 回	**授業テーマ：グループ研究の最終発表に向けての準備** 授業内容：グループ研究の最終発表に向けての準備を行う。 事前学修 2.0hr：最終発表に向けて改善すべき点をまとめる。 事後学修 2.0hr：最終発表に向けて準備を進める。
10 回	**授業テーマ：エクセルを使ったデータ分析（記述統計、回帰分析）** 授業内容：エクセルを使ったデータ分析（記述統計、回帰分析）を習得する。 事前学修 2.0hr：教科書、参考書を読み、分析方法を確認する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったデータと分析方法を用いて、一人で分析ができるようになるまで繰り返し練習する。	25 回	**授業テーマ：グループ研究の最終発表** 授業内容：グループ研究の最終発表を行う。 事前学修 2.0hr：研究発表者は研究発表、それ以外の者は質問の準備をする。 事後学修 2.0hr：研究発表およびゼミ参加者のコメントをもとに復習する。

11回	**授業テーマ：STATA を使ったデータ分析(記述統計、回帰分析)** 授業内容：STATA を使ったデータ分析(記述統計、回帰分析)を習得する。 事前学修 2.0hr：教科書、参考書を読み、分析方法を確認する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったデータと分析方法を用いて、一人で分析ができるようになるまで繰り返し練習する。	26回	**授業テーマ：グループ研究の最終発表** 授業内容：グループ研究の最終発表を行う。 事前学修 2.0hr：研究発表者は研究発表、それ以外の者は質問の準備をする。 事後学修 2.0hr：研究発表およびゼミ参加者のコメントをもとに復習する。
12回	**授業テーマ：STATA を使ったデータ分析(ダミー変数、カテゴリー変数、交差項)** 授業内容：STATA を使ったデータ分析(ダミー変数、カテゴリー変数、交差項)を習得する。 事前学修 2.0hr：教科書、参考書を読み、分析方法を確認する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったデータと分析方法を用いて、一人で分析ができるようになるまで繰り返し練習する。	27回	**授業テーマ：グループ研究の最終発表** 授業内容：グループ研究の最終発表を行う。 事前学修 2.0hr：ディベートの準備をする。 事後学修 2.0hr：研究発表およびゼミ参加者のコメントをもとに復習する。
13回	**授業テーマ：STATA を使ったデータ分析(パネルデータ分析)** 授業内容：STATA を使ったデータ分析(パネルデータ分析)を習得する。 事前学修 2.0hr：教科書、参考書を読み、分析方法を確認する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったデータと分析方法を用いて、一人で分析ができるようになるまで繰り返し練習する。	28回	**授業テーマ：グループ研究の最終発表** 授業内容：グループ研究の最終発表を行う。 事前学修 2.0hr：研究発表者は研究発表、それ以外の者は質問の準備をする。 事後学修 2.0hr：研究発表およびゼミ参加者のコメントをもとに復習する。
14回	**授業テーマ：レポート、論文の書き方** 授業内容：レポート、論文の書き方を習得する。 事前学修 2.0hr：関心のある研究テーマについて書かれたレポート、論文を検索し、読む。 事後学修 2.0hr：レポート、論文の書き方を復習する。	29回	**授業テーマ：グループ研究の最終発表** 授業内容：グループ研究の最終発表を行う。 事前学修 2.0hr：研究発表者は研究発表、それ以外の者は質問の準備をする。 事後学修 2.0hr：研究発表およびゼミ参加者のコメントをもとに復習する。
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：前期授業の総括を行う。 事前学修 2.0hr：これまでの授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：夏休み期間中のグループ研究の進め方を確認する。	30回	**授業テーマ：総括** 授業内容：後期授業の総括を行う。 事前学修 2.0hr：これまでの授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：これまでの授業内容を復習する。

専門ゼミ 1

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

廣部　恒忠 (ひろべ　つねただ)

▌授業の概要

将来有望な AI(人工知能) の最新のテクノロジーの知識と技能の修得を目指します。授業においては、いま一番人気のある Python を取り扱いますが、ブラウザーアプリ作成等への汎用性も考慮し、必要に応じて、他の言語、例えば、JavaScript なども同時並行的に取り扱います。その他、興味のある学生さんのためにゲームプログラミング等の紹介も考えています。もう一つの柱として、昨年度より実施している「Dify プロジェクト」の一環として、Dify を使った生成 AI アプリの開発を受講者/履修者に自ら行ってもらいます。また、Google Codelab、Antigravity、Colaboratory、Cursor、VSCode、ないし、Google AI Studio、Hugging Face Spaces、LangFlow 等を併用した統合開発環境下で最先端の AI・データサイエンス学修を進める予定です。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：AI(人工知能) をはじめとして、急速に進展しているデジタル革命、およびそこから新たに派生してくるであろうと考えられる種々の社会的な要望に応える際に必須となる入門的なプログラミング知識や技術等を習得してもらうことが主要な目標です。具体的には、簡単な AI を実装するなど、各自で実際に体感してみる事により AI 等への理解を深めてもらうこと、また、実際に AI のアプリケーションなどを自分で作成、実装するために必要な基礎的なプログラミング技術を習得してもらうことです。

個別目標：① AI などのデジタル技術の基礎知識と応用力を身につけることができる。
②プログラミングおよびそれに必要なアルゴリズムについて基礎的な知識等を身につけることができる。
③ Dify やその他の IDE のもとで生成 AI アプリ等の開発ができるようになる。

▌履修条件

これまでに、「統計学 1」および「統計学 2」の単位を未修得の人は、今年度に私の担当する「統計学 1」および「統計学 2」を必ず履修登録すること。なお、既に「統計学 1」或いは「統計学 2」のどちらか一方の単位を取得している人は、今年度はまだ単位を取得していないもう一方の科目を履修登録すること(なお、履修予定者は、大学の指定期間中に必ず履修登録等を済ませること)。

▌評価基準・方法

授業時の演習やその他ゼミ活動等への積極的貢献度、レポートなどを含めた提出物などに基づき、ルーブリック手法等を援用しながら総合的に評価します。なお、フィードバックを含め学修過程において、適宜、manaba システム等を利用します。

▌フィードバック方法

manaba 等を利用して課題などのフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業状況に応じて）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業全般で利用予定）

▌教科書

別途お知らせします。

▌参考書

①「すぐに使える!業務で実践できる! Python による AI・機械学習・深層学習アプリのつくり方 TensorFlow2 対応」(ソシム)、②「Kaggle で勝つデータ分析の技術」(技術評論社)、③「Python 機械学習クックブック」、④「直感 Deep Learning ―Python × Keras でアイデアを形にするレシピ」オライリージャパン、⑤ゼロからわかる Dify の教科書(技術評論社)、⑥生成 AI アプリ開発大全(技術評論社)、⑦生成 AI アプリ開発入門 Dify 徹底活用ガイド(SB クリエイティブ)　など

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション(打ち合わせなど)** 授業内容：今後の授業スケジュールの確認および授業内容の全体説明 事前学修 1.0hr：シラバスを参考に、教科書などを読んでみてください。 事後学修 3.5hr：配布プリントなどを復習しましょう。	16 回	**授業テーマ：テキスト処理を行うアプリケーション開発(1)** 授業内容：学修リソースの概要 ガイダンス実施(後期のための導入、準備など) 事前学修 2.0hr：事前にプリントを配布しますので、目を通しましょう。 事後学修 2.0hr：授業で指示したように、各自、復習しましょう。
2 回	**授業テーマ：AI(人工知能) とは？(イントロダクション)** 授業内容：一般論からスタートし、実例等を引きながら、全体説明 事前学修 2.0hr：シラバスを参考に、教科書などを予習しましょう。 事後学修 2.0hr：授業で指示したように、各自、復習しましょう。	17 回	**授業テーマ：テキスト処理を行うアプリケーション開発(2)** 授業内容：変数機能で作るレポート生成アプリ 高度なアプリタイプの基本 事前学修 2.0hr：事前の指示に従い、該当箇所の教科書の予習をしましょう。 事後学修 2.0hr：授業で指示したように、各自、復習しましょう。
3 回	**授業テーマ：AI で扱われる技術・方法論 1(概論)** 授業内容：AI で扱われる技術および方法論に係る概論 事前学修 2.0hr：事前の指示に従い、該当箇所の教科書の予習をしましょう。 事後学修 2.0hr：授業で指示したように、各自、復習しましょう。	18 回	**授業テーマ：テキスト処理を行うアプリケーション開発(3)** 授業内容：文書校正アプリケーションの開発 条件分岐を活用した文書処理アプリの開発 事前学修 2.0hr：事前の指示に従い、該当箇所の教科書の予習をしましょう。 事後学修 2.0hr：授業で指示したように、各自、復習しましょう。
4 回	**授業テーマ：AI で扱われる技術・方法論 2(Python プログラミング 1)** 授業内容：Python プログラミング入門 事前学修 2.0hr：事前の指示に従い、該当箇所の教科書の予習をしましょう。 事後学修 2.0hr：授業で指示したように、各自、復習しましょう。	19 回	**授業テーマ：テキスト処理を行うアプリケーション開発(4)** 授業内容：JSON モードで作る文書アシストアプリ 問い合わせ対応チャットボット開発 事前学修 2.0hr：事前の指示に従い、該当箇所の教科書の予習をしましょう。 事後学修 2.0hr：講義、配布物などをよく復習しましょう。
5 回	**授業テーマ：AI で扱われる技術・方法論 3(Python プログラミング 2)** 授業内容：Python 文法 事前学修 2.0hr：事前の指示に従い、該当箇所の教科書の予習をしましょう。 事後学修 2.0hr：授業で指示したように、各自、復習しましょう。	20 回	**授業テーマ：ファイル処理を行うアプリケーション開発(1)** 授業内容：ファイル処理機能で作る QA 自動生成アプリ チャットフローによる PDF 対話アプリの開発 事前学修 2.0hr：事前の指示に従い、該当箇所の教科書の予習をしましょう。 事後学修 2.0hr：講義、配布物などをよく復習しましょう。
6 回	**授業テーマ：AI で扱われる技術・方法論 4(Python プログラミング 3)** 授業内容：深層学習プログラミング 事前学修 2.0hr：事前の指示に従い、該当箇所の教科書の予習をしましょう。 事後学修 2.0hr：授業で指示したように、各自、復習しましょう。	21 回	**授業テーマ：ファイル処理を行うアプリケーション開発(2)** 授業内容：複数の手法で実現する PDF 要約アプリの開発 ワークフローを活用した複数ファイルの一括要約 事前学修 2.0hr：事前の指示に従い、該当箇所の教科書の予習をしましょう。 事後学修 2.0hr：講義、配布物などをよく復習しましょう。

7回	**授業テーマ：AI で扱われる技術・方法論５（Python プログラミング４）** 授業内容：深層学習プログラミング 事前学修 2.0hr：事前の指示に従い、該当箇所の教科書の予習をしましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容などの復習、必要に応じて宿題をやってもらいます。	22回	**授業テーマ：ファイル処理を行うアプリケーション開発(3)** 授業内容：マルチモーダルモデルによる画像処理の基本 音声処理を活用した議事録作成アプリの開発 事前学修 2.0hr：事前の指示に従い、該当箇所の教科書の予習をしましょう。 事後学修 2.0hr：講義、配布物などをよく復習しましょう。
8回	**授業テーマ：AI で扱われる技術・方法論６（Python プログラミング５）** 授業内容：人工知能概論 事前学修 2.0hr：事前の指示に従い、該当箇所の教科書の予習をしましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容などの復習をしましょう。	23回	**授業テーマ：Dify で実現する RAG アプリケーション開発(1)** 授業内容：RAG によるビジネス課題の解決 はじめての RAG アプリケーション開発 事前学修 2.0hr：事前の指示に従い、該当箇所の教科書の予習をしましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容などの復習、必要に応じて宿題をやってもらいます。
9回	**授業テーマ：AI で扱われる技術・方法論７（Python プログラミング６）** 授業内容：深層学習プログラミング 事前学修 2.0hr：事前の指示に従い、該当箇所の教科書の予習をしましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容などの復習をしましょう。	24回	**授業テーマ：Dify で実現する RAG アプリケーション開発(2)** 授業内容：RAG システムの仕組みと検索技術の基礎 複数の業務文書を活用した RAG アプリケーションの実装 事前学修 2.0hr：事前の指示に従い、該当箇所の教科書の予習をしましょう。 事後学修 2.0hr：講義、配布物などをよく復習しましょう。
10回	**授業テーマ：AI で扱われる技術・方法論８（Python プログラミング７）** 授業内容：Python 開発環境 事前学修 2.0hr：事前の指示に従い、該当箇所の教科書の予習をしましょう。 事後学修 2.0hr：授業で指示したように、各自、復習しましょう。	25回	**授業テーマ：Dify で実現する RAG アプリケーション開発(3)** 授業内容：文脈を考慮した RAG 検索システムの実装 RAG システムの現状と限界 事前学修 2.0hr：事前の指示に従い、該当箇所の教科書の予習をしましょう。 事後学修 2.0hr：講義、配布物などをよく復習しましょう。
11回	**授業テーマ：AI で扱われる技術・方法論９（Python プログラミング８）** 授業内容：Python プログラミング中級 事前学修 2.0hr：事前の指示に従い、該当箇所の教科書の予習をしましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容などの復習、必要に応じて宿題をやってもらいます。	26回	**授業テーマ：ツールを活用した Dify の機能拡張と外部システム連携(1)** 授業内容：ツール機能の基礎 ウェブ検索ツールを活用した情報収集アプリの開発 事前学修 2.0hr：事前の指示に従い、該当箇所の教科書の予習をしましょう。 事後学修 2.0hr：講義、配布物などをよく復習しましょう。
12回	**授業テーマ：大規模言語モデル活用の基本(1)** 授業内容：言語モデルの課題と Dify の必要性 言語モデルの基本理解 事前学修 2.0hr：事前の指示に従い、該当箇所の教科書の予習をしましょう。 事後学修 2.0hr：授業で指示したように、各自、復習しましょう。	27回	**授業テーマ：ツールを活用した Dify の機能拡張と外部システム連携(2)** 授業内容：Google スプレッドシートと連携したデータ管理の基礎 Dify と Google スプレッドシートの連携 事前学修 2.0hr：事前の指示に従い、該当箇所の教科書の予習をしましょう。 事後学修 2.0hr：講義、配布物などをよく復習しましょう。
13回	**授業テーマ：大規模言語モデル活用の基本(2)** 授業内容：言語モデルの仕組みと特性 プロンプトエンジニアリングの基本理解 事前学修 2.0hr：事前の指示に従い、該当箇所の教科書の予習をしましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容などの復習、必要に応じて宿題をやってもらいます。	28回	**授業テーマ：ツールを活用した Dify の機能拡張と外部システム連携(3)** 授業内容：再利用可能なカスタムツールの作成と活用 事前学修 2.0hr：事前の指示に従い、該当箇所の教科書の予習をしましょう。 事後学修 2.0hr：授業で指示したように、各自、復習しましょう。
14回	**授業テーマ：Dify の環境構築とセットアップ(1)** 授業内容：Dify の基本と特徴 Dify で作る初めてのアプリケーション 事前学修 2.0hr：事前の指示に従い、該当箇所の教科書の予習をしましょう。 事後学修 2.0hr：授業で指示したように、各自、復習しましょう。	29回	**授業テーマ：ツールを活用した Dify の機能拡張と外部システム連携(4)** 授業内容：その他の話題など 事前学修 2.0hr：事前の指示に従い、該当箇所の教科書の予習をしましょう。 事後学修 2.0hr：授業で指示したように、各自、復習しましょう。
15回	**授業テーマ：Dify の環境構築とセットアップ(2)** 授業内容：言語モデルの設定と API の基礎 アプリケーションタイプの選択 事前学修 2.0hr：事前の指示に従い、各自で準備をしましょう。 事後学修 2.0hr：前期の総括および後期のための反省、スケジュール調整など。	30回	**授業テーマ：まとめ（専門ゼミ１の総括など）** 授業内容：今年度の授業全般を振り返って 事前学修 3.0hr：指示した参考文献や配布プリントなどに目を通しましょう。 事後学修 1.0hr：授業で指示したように、来年度に向けて、各自準備。

専門ゼミ１

開講学科等：経　｜　3 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

水谷　浩之（みずたに　ひろゆき）

▌授業の概要

４年次の卒業論文において、経営管理論の理論や知識を用いて、実際の企業施策(働き方改革、イノベーション等)や組織現象(モティベーション、リーダーシップ、組織不祥事等)等を分析し、理論的な背景(組織文化等)を考えること、また、分析結果を踏まえ企業施策に対して対策を検討することを目的とする。

そのため、３年次の本ゼミにおいて、次年度に経営管理論の視点から卒業論文を作成できるよう、担当者による新聞または雑誌記事の解説、輪講(専門書を分担して読み込む)、卒業論文テーマのプレゼンテーション等をゼミ生と議論しながら取り組んでいく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：実際の経営問題に関心を持ち、論理的に考え、経営管理論に基づき自分の考え表現できるようになる。

個別目標：１実際の経営問題に対して、多角的な視点を持ち、論理的に考えることできるようになる。

２実際の経営問題に対して、経営管理論の理論を用いて考えることできるようになる。

３自分の考えをプレゼンテーションにより表現、説明できるようになる。

▌履修条件

意欲的に参加できる学生を歓迎します。

▌評価基準・方法

１発表の内容 (50%)

２ディスカッションへの参加(30%)

３夏休みのレポート(20%)

※原則として５分の４以上の出席が評価の前提条件となります。

▌フィードバック方法

発表後にゼミ生に講評を行ないます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーション等で使用します。）

▌教科書

１輪講に使用する教科書はゼミ生と議論して決めます。

２卒業論文作成に関する教科書を後日、指定します。

▌参考書

特に指定しない。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：ゼミの１年間の流れについて説明する。２回目以降の発表の担当者を決める。 事前学修 2.0hr：関心のある内容を説明できるように準備する。 事後学修 2.0hr：ゼミでの議論を踏まえ内容をまとめる。	16回	**授業テーマ：後期ガイダンス** 授業内容：ゼミの後期のスケジュール等について説明する。 事前学修 2.0hr：前期のゼミ学習を踏まえ関心のある内容を説明できるように準備する。 事後学修 2.0hr：ゼミでの議論を踏まえ内容をまとめる。
2回	**授業テーマ：新聞または雑誌記事の報告および解説** 授業内容：担当者が興味や関心のある経営に関する新聞または雑誌記事をプレゼンテーションにより解説をする。また、調べた内容について自分の考えを述べる。 事前学修 2.0hr：関心のある新聞または雑誌記事の概要の把握、報告の準備をする。 事後学修 2.0hr：ゼミでの議論を踏まえ内容をまとめる。	17回	**授業テーマ：輪講** 授業内容：教科書に基づいて経営管理論、組織論の基礎的な理論・フレームワークを学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：ゼミでの議論を踏まえ教科書の該当箇所を復習する。
3回	**授業テーマ：新聞または雑誌記事の解説** 授業内容：担当者が興味や関心のある経営に関する新聞または雑誌記事をプレゼンテーションにより解説をする。また、調べた内容について自分の考えを述べる。 事前学修 2.0hr：関心のある新聞または雑誌記事の概要の把握、報告の準備をする。 事後学修 2.0hr：ゼミでの議論を踏まえ内容をまとめる。	18回	**授業テーマ：輪講** 授業内容：教科書に基づいて経営管理論、組織論の基礎的な理論・フレームワークを学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：ゼミでの議論を踏まえ教科書の該当箇所を復習する。
4回	**授業テーマ：新聞または雑誌記事の解説** 授業内容：担当者が興味や関心のある経営に関する新聞または雑誌記事をプレゼンテーションにより解説をする。また、調べた内容について自分の考えを述べる。 事前学修 2.0hr：関心のある新聞または雑誌記事の概要の把握、報告の準備をする。 事後学修 2.0hr：ゼミでの議論を踏まえ内容をまとめる。	19回	**授業テーマ：輪講** 授業内容：教科書に基づいて経営管理論、組織論の基礎的な理論・フレームワークを学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：ゼミでの議論を踏まえ教科書の該当箇所を復習する。
5回	**授業テーマ：新聞または雑誌記事の解説** 授業内容：担当者が興味や関心のある経営に関する新聞または雑誌記事をプレゼンテーションにより解説をする。また、調べた内容について自分の考えを述べる。 事前学修 2.0hr：関心のある新聞または雑誌記事の概要の把握、報告の準備をする。 事後学修 2.0hr：ゼミでの議論を踏まえ内容をまとめる。	20回	**授業テーマ：輪講** 授業内容：教科書に基づいて経営管理論、組織論の基礎的な理論・フレームワークを学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：ゼミでの議論を踏まえ教科書の該当箇所を復習する。
6回	**授業テーマ：新聞または雑誌記事の解説** 授業内容：担当者が興味や関心のある経営に関する新聞または雑誌記事をプレゼンテーションにより解説をする。また、調べた内容について自分の考えを述べる。 事前学修 2.0hr：関心のある新聞または雑誌記事の概要の把握、報告の準備をする。 事後学修 2.0hr：ゼミでの議論を踏まえ内容をまとめる。	21回	**授業テーマ：輪講** 授業内容：教科書に基づいて経営管理論、組織論の基礎的な理論・フレームワークを学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：ゼミでの議論を踏まえ教科書の該当箇所を復習する。
7回	**授業テーマ：新聞または雑誌記事の解説** 授業内容：担当者が興味や関心のある経営に関する新聞または雑誌記事をプレゼンテーションにより解説をする。また、調べた内容について自分の考えを述べる。 事前学修 2.0hr：関心のある新聞または雑誌記事の概要の把握、報告の準備をする。 事後学修 2.0hr：ゼミでの議論を踏まえ内容をまとめる。	22回	**授業テーマ：卒業論文の書き方** 授業内容：教科書に基づいて卒業論文の書き方について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：ゼミでの議論を踏まえ教科書の該当箇所を復習する。
8回	**授業テーマ：新聞または雑誌記事の解説** 授業内容：担当者が興味や関心のある経営に関する新聞または雑誌記事をプレゼンテーションにより解説をする。また、調べた内容について自分の考えを述べる。 事前学修 2.0hr：関心のある新聞または雑誌記事の概要の把握、報告の準備をする。 事後学修 2.0hr：ゼミでの議論を踏まえ内容をまとめる。	23回	**授業テーマ：卒業論文の書き方** 授業内容：教科書に基づいて卒業論文の書き方について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：ゼミでの議論を踏まえ教科書の該当箇所を復習する。

9回	**授業テーマ：新聞または雑誌記事の解説** 授業内容：担当者が興味や関心のある経営に関する新聞または雑誌記事をプレゼンテーションにより解説をする。また、調べた内容について自分の考えを述べる。 事前学修 2.0hr：関心のある新聞または雑誌記事の概要の把握、報告の準備をする。 事後学修 2.0hr：ゼミでの議論を踏まえ内容をまとめる。	24回	**授業テーマ：卒業論文の書き方** 授業内容：教科書に基づいて卒業論文の書き方について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：ゼミでの議論を踏まえ教科書の該当箇所を復習する。
10回	**授業テーマ：新聞または雑誌記事の解説** 授業内容：担当者が興味や関心のある経営に関する新聞または雑誌記事をプレゼンテーションにより解説をする。また、調べた内容について自分の考えを述べる。 事前学修 2.0hr：関心のある新聞または雑誌記事の概要の把握、報告の準備をする。 事後学修 2.0hr：ゼミでの議論を踏まえ内容をまとめる。	25回	**授業テーマ：卒業論文の書き方** 授業内容：教科書に基づいて卒業論文の書き方について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：ゼミでの議論を踏まえ教科書の該当箇所を復習する。
11回	**授業テーマ：輪講** 授業内容：教科書に基づいて経営管理論、組織論の基礎的な理論・フレームワークを学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：ゼミでの議論を踏まえ教科書の該当箇所を復習する。	26回	**授業テーマ：卒業論文のテーマ、問題意識を発表** 授業内容：担当者が卒業論文のテーマ、問題意識を発表する。 事前学修 2.0hr：卒業論文のテーマ、問題意識をまとめ、発表の準備をする。 事後学修 2.0hr：ゼミでの議論を踏まえ発表内容を発展させる。
12回	**授業テーマ：輪講** 授業内容：教科書に基づいて経営管理論、組織論の基礎的な理論・フレームワークを学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：ゼミでの議論を踏まえ教科書の該当箇所を復習する。	27回	**授業テーマ：卒業論文のテーマ、問題意識を発表** 授業内容：担当者が卒業論文のテーマ、問題意識を発表する。 事前学修 2.0hr：卒業論文のテーマ、問題意識をまとめ、発表の準備をする。 事後学修 2.0hr：ゼミでの議論を踏まえ発表内容を発展させる。
13回	**授業テーマ：輪講** 授業内容：教科書に基づいて経営管理論、組織論の基礎的な理論・フレームワークを学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：ゼミでの議論を踏まえ教科書の該当箇所を復習する。	28回	**授業テーマ：卒業論文のテーマ、問題意識を発表** 授業内容：担当者が卒業論文のテーマ、問題意識を発表する。 事前学修 2.0hr：卒業論文のテーマ、問題意識をまとめ、発表の準備をする。 事後学修 2.0hr：ゼミでの議論を踏まえ発表内容を発展させる。
14回	**授業テーマ：輪講** 授業内容：教科書に基づいて経営管理論、組織論の基礎的な理論・フレームワークを学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：ゼミでの議論を踏まえ教科書の該当箇所を復習する。	29回	**授業テーマ：卒業論文のテーマ、問題意識を発表** 授業内容：担当者が卒業論文のテーマ、問題意識を発表する。 事前学修 2.0hr：卒業論文のテーマ、問題意識をまとめ、発表の準備をする。 事後学修 2.0hr：ゼミでの議論を踏まえ発表内容を発展させる。
15回	**授業テーマ：輪講** 授業内容：教科書に基づいて経営管理論、組織論の基礎的な理論・フレームワークを学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：ゼミでの議論を踏まえ教科書の該当箇所を復習する。	30回	**授業テーマ：卒業論文作成の計画** 授業内容：４年生に向けて卒後論文の計画を確認する。 事前学修 2.0hr：論文作成の計画を考える。 事後学修 2.0hr：論文作成の計画を策定する。

専門ゼミ１

開講学科等：経　｜　3 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

宮崎　礼二（みやざき　れいじ）

▌授業の概要

経済や政治などだけでなく、さまざまな情報を統合しながら経済の動きを予測する能力を育成することを目的に、輪読・報告・議論を行う。
具体的には、アメリカ社会や経済について学びながら、プレゼンテーション・スキルとレポート作成能力を身につける。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：１．アメリカ社会と経済について論じることができる。
　　２．世代を超えてコミュニケーションをできる能力を身につける。
　　３．自信をもって多人数の前でプレゼンテーションができる。
　　４．トランプ大統領の再登場の背景と MAGAnomics について説明できる。
個別目標：１．多文化的な理解をできるようになる。
　　２．相対的に物事を把握する力を獲得する。
　　３．バックグラウンドの異なる人々とのコミュニケーション能力を身につける。

▌履修条件

１．「よく学び、よく遊べ」を実践する意思のあること。
２．他者をリスペクトすること。

▌評価基準・方法

ゼミ参加・貢献（40%）、前後期レポート（15%× 2 回=30%）、最終プレゼンテーション（30%）

▌フィードバック方法

ゼミ内および manaba にてフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba の利用）

▌教科書

開講時に受講者と相談して決める。

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス&イントロダクション** 授業内容：ゼミの進行についての説明。 事前学修 2.0hr：自己紹介内容を考える 事後学修 2.0hr：友達の自己紹介から学ぼう	16回	**授業テーマ：夏休みの活動報告会** 授業内容：夏季休暇中の各自の活動について報告。 事前学修 2.0hr：活動報告の準備 事後学修 2.0hr：友達の活動報告から学ぼう
2回	**授業テーマ：アメリカについて語ろう１** 授業内容：ゼミの中心テーマ：アメリカについての問題関心を発掘する。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション準備：テーマ探し 事後学修 2.0hr：プレゼンテーション準備：テーマ探し	17回	**授業テーマ：アメリカ経済の学習・輪読６** 授業内容：テキストの輪読。 事前学修 2.5hr：レジュメ作成 事後学修 1.5hr：復習
3回	**授業テーマ：アメリカについて語ろう２** 授業内容：前回の継続。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション準備 事後学修 2.0hr：プレゼンテーション準備	18回	**授業テーマ：アメリカ経済の学習・輪読７** 授業内容：テキストの輪読。 事前学修 2.5hr：レジュメ作成 事後学修 1.5hr：復習
4回	**授業テーマ：プレゼンテーション１** 授業内容：各自設定のテーマのプレゼン。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの準備 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションの反省	19回	**授業テーマ：アメリカ経済の学習・輪読８** 授業内容：テキストの輪読。 事前学修 2.5hr：レジュメ作成 事後学修 1.5hr：復習
5回	**授業テーマ：プレゼンテーション２** 授業内容：各自設定のテーマのプレゼン。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション準備 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションの反省	20回	**授業テーマ：アメリカ経済の学習・輪読９** 授業内容：テキストの輪読。 事前学修 2.0hr：レジュメ作成 事後学修 2.0hr：復習
6回	**授業テーマ：アメリカ経済の学習・輪読１** 授業内容：テキストの輪読。 事前学修 2.0hr：レジュメ作成 事後学修 2.0hr：復習	21回	**授業テーマ：アメリカ経済の学習・輪読 10** 授業内容：テキストの輪読。 事前学修 2.5hr：レジュメ作成 事後学修 1.5hr：復習
7回	**授業テーマ：アメリカ経済の学習・輪読２** 授業内容：テキストの輪読。 事前学修 2.5hr：レジュメ作成 事後学修 1.5hr：復習	22回	**授業テーマ：アメリカ経済の学習・輪読 11** 授業内容：テキストの輪読。 事前学修 2.5hr：レジュメ作成 事後学修 1.5hr：復習
8回	**授業テーマ：アメリカ経済の学習・輪読３** 授業内容：テキストの輪読。 事前学修 2.5hr：レジュメ作成 事後学修 1.5hr：復習	23回	**授業テーマ：アメリカ経済の学習・輪読 12** 授業内容：テキストの輪読。 事前学修 2.5hr：レジュメ作成 事後学修 1.5hr：復習
9回	**授業テーマ：アメリカ経済の学習・輪読４** 授業内容：テキストの輪読。 事前学修 2.5hr：レジュメ作成 事後学修 1.5hr：復習	24回	**授業テーマ：アメリカ経済の学習・輪読 13** 授業内容：テキストの輪読。 事前学修 2.5hr：レジュメ作成 事後学修 1.5hr：復習
10回	**授業テーマ：アメリカ経済の学習・輪読５** 授業内容：テキストの輪読。 事前学修 2.5hr：レジュメ作成 事後学修 1.5hr：復習	25回	**授業テーマ：アメリカ経済の学習・輪読 14** 授業内容：テキストの輪読。 事前学修 2.5hr：レジュメ作成 事後学修 1.5hr：復習

11回	**授業テーマ：期末レポート・テーマ選定** 授業内容：レポート・テーマの設定。 事前学修 2.5hr：テーマ探索 事後学修 2.0hr：テーマ探索	26回	**授業テーマ：個別の研究指導** 授業内容：個別面談による指導。 事前学修 2.0hr：レポートテーマ選定 事後学修 2.0hr：グループ研究
12回	**授業テーマ：期末レポート作成** 授業内容：各自によるレポート作成作業。 事前学修 2.5hr：文献・資料渉猟 事後学修 2.0hr：文献・資料渉猟	27回	**授業テーマ：個別の研究指導** 授業内容：個別面談による指導。 事前学修 2.0hr：文献・資料渉猟 事後学修 2.0hr：文献・資料渉猟
13回	**授業テーマ：期末レポート作成** 授業内容：各自によるレポート作成作業。 事前学修 2.5hr：文献サーベイ 事後学修 2.0hr：文献サーベイ	28回	**授業テーマ：個別の研究指導** 授業内容：個別面談による指導。 事前学修 3.0hr：文献・資料サーベイ 事後学修 4.0hr：文献・資料サーベイ、レポート作成
14回	**授業テーマ：期末レポート完成** 授業内容：レポートの最終確認作業。 事前学修 4.0hr：プレゼンテーション準備 事後学修 2.0hr：プレゼンテーション準備	29回	**授業テーマ：研究発表** 授業内容：次年度卒業論文の作成にむけた準備発表。 事前学修 4.0hr：研究発表の準備 事後学修 0.5hr：研究発表の反省
15回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：期末レポートのプレゼン。 事前学修 3.0hr：準備 事後学修 1.0hr：反省	30回	**授業テーマ：研究発表** 授業内容：次年度卒業論文の作成にむけた準備発表。 事前学修 4.0hr：研究発表の準備 事後学修 0.5hr：研究発表の反省

専門ゼミ 1

開講学科等：経　｜　3 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

吉田　敦（よしだ　あつし）

▌授業の概要

吉田敦担当専門ゼミ 1 では、プログラミング研究(言語は主に Visual Basic)を中心に、全授業において PC 操作によるデータ分析を行う。下記の履修条件及び評価基準・方法を正しく理解し、特に前学期前半の授業において欠席や遅刻をしないようにして頂きたい。なお特に後学期には受講生各自に、独創的なプログラミング作品を作って頂く事に重心を置く。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：中級クラスのプログラミング(言語は 主に Visual Basic)ができるようになる。またデータ分析により知見を得られ、4 年進級後の卒業論文作成に役立てられるようになる。

個別目標：①データ分析の有用性について説明できる。
②自分で考えてプログラミング・コードを組み立てられる。

▌履修条件

公欠に関しては『履修の手引き』記載の規則を遵守する。すなわち正式な証明書類の提出できないケースでは、一切公欠を認めない。さらに公欠は出席でも欠席でもないので、授業内課題に代えての得点の機会を与えない。換言すれば、出席しなければ得点は加算されず、欠席もしくは公欠が多ければ不合格となる。

▌評価基準・方法

1. 全授業における課題作成に関わる評価(1 回 2 点、計 60 点)。
2. 経済学部のいわゆる「ゼミ連行事」での発表等、社会人基礎力の修得を目的とした、正規の授業時間外の活動に関わる評価(最高 40 点)。

▌フィードバック方法

授業内課題については、当日授業終了前に必ずチェックし、アドバイスを与える。例えば教員のチェック前に PC の電源を切るなどした場合には、課題作成点を与えない。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ全授業において PC 操作を行って頂く。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （主に Visual Basic によるプログラミングを修得する。）

▌教科書

特に指定しない。

▌参考書

矢野恒太記念会編『日本国勢図会』。同左『世界国勢図会』。同左『データでみる県勢』。
加納悟・浅子和美・竹内明香著『入門経済のための統計学第 3 版』(2011 年、日本評論社)
田中一成著『子どもに教えるためのプログラミング入門－ Excel ではじめる Visual Basic －』(2016 年、オーム社)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：専門ゼミ 1 における目標を詳細に説明する。また Visual Basic の設定方法を習得して頂く。さらに時間制限を設けての自己紹介などもして頂く予定である。 事前学修 2.0hr：シラバスの熟読 事後学修 2.0hr：Visual Basic 設定の再現	16 回	**授業テーマ：Visual Basic を使ったゲームを作る 1** 授業内容：11 月初めの大学祭「ゼミ連行事」での発表に向けて、独自のプログラミング作品を作る。同時にプレゼンテーションの練習を行う。 事前学修 2.0hr：第 2 回～第 14 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習
2 回	**授業テーマ：「マクロの記録」を用いたプログラム作製** 授業内容：Visual Basic では最も簡単なプログラム自動作製機能について学ぶ。 事前学修 2.0hr：インターネット等でプログラミングに関して調べて置く。 事後学修 2.0hr：当該授業の復習	17 回	**授業テーマ：Visual Basic を使ったゲームを作る 2** 授業内容：11 月初めの大学祭「ゼミ連行事」での発表に向けて、独自のプログラミング作品を作る。同時にプレゼンテーションの練習を行う。 事前学修 2.0hr：第 16 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習
3 回	**授業テーマ：ガウスの掃き出し法** 授業内容：Excel を使って、ガウスの掃き出し法による連立方程式の解法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：インターネット等により、「ガウスの掃き出し法」について調べて置く。 事後学修 2.0hr：当該授業の復習	18 回	**授業テーマ：Visual Basic を使ったゲームを作る 3** 授業内容：11 月初めの大学祭「ゼミ連行事」での発表に向けて、独自のプログラミング作品を作る。同時にプレゼンテーションの練習を行う。 事前学修 2.0hr：第 17 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習
4 回	**授業テーマ：多元連立 1 次方程式解答プログラム** 授業内容：上記プログラムを用いて、第 3 回の多元連立 1 次方程式を解く。 事前学修 2.0hr：第 3 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習	19 回	**授業テーマ：Visual Basic を使ったゲームを作る 4** 授業内容：11 月初めの大学祭「ゼミ連行事」での発表に向けて、独自のプログラミング作品を作る。同時にプレゼンテーションの練習を行う。 事前学修 2.0hr：第 18 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習
5 回	**授業テーマ：行列の積・逆行列・単位行列・連立方程式の解法** 授業内容：行列の積・逆行列・単位行列について学び、これらの概念を用いて連立方程式を解答する。 事前学修 2.0hr：インターネット等により、「行列」について調べて置く。 事後学修 2.0hr：当該授業の復習	20 回	**授業テーマ：Visual Basic を使ったゲームを作る 5** 授業内容：11 月初めの大学祭「ゼミ連行事」での発表に向けて、独自のプログラミング作品を作る。同時にプレゼンテーションの練習を行う。 事前学修 2.0hr：第 19 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習
6 回	**授業テーマ：逆行列を用いた多元連立 1 次方程式解答プログラム** 授業内容：上記プログラムを用いて、第 5 回の多元連立 1 次方程式を解く。 事前学修 2.0hr：第 5 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習	21 回	**授業テーマ：Visual Basic を使ったゲームを作る 6** 授業内容：11 月初めの大学祭「ゼミ連行事」での発表に向けて、独自のプログラミング作品を作る。同時にプレゼンテーションの練習を行う。 事前学修 2.0hr：第 20 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習
7 回	**授業テーマ：簡易グラフィック 1** 授業内容：エクセル画面上に数字の 1 を入力し、絵や文字を描く。次に 2 以上の入力により別の色が出るように、プログラミング・コード操作する。 事前学修 2.0hr：第 6 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習	22 回	**授業テーマ：野球ゲームプログラムから条件分岐を学ぶ** 授業内容：上記プログラムの条件分岐の為のプログラミング・コード(これまで勉強したものとはタイプが異なる)を各自で考えて入力して頂く。ただしヒントは与える。 事前学修 2.0hr：第 21 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習

8回	**授業テーマ：簡易グラフィック 2** 授業内容：ループ機能のより、エクセル画面上の上段・中断・下段に別々の絵や文字が出るようにする。 事前学修 2.0hr：第 7 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習	23回	**授業テーマ：多元連立 1 次方程式解答プログラム研究 1** 授業内容：上記プログラム前半のループ機能のプログラミング・コードを空欄とし、受講生各自が考えて当該箇所へ適切なコードを挿入し、完成させる。ただしヒントは与える。 事前学修 2.0hr：第 22 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習
9回	**授業テーマ：簡易グラフィック 3** 授業内容：条件分岐機能のより、エクセル画面上の上段・中断・下段へ、ランダムに別々の絵や文字が出るようにする。 事前学修 2.0hr：第 8 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習	24回	**授業テーマ：多元連立 1 次方程式解答プログラム研究 2** 授業内容：上記プログラム後半のループ機能のプログラミング・コードを空欄とし、受講生各自が考えて当該箇所へ適切なコードを挿入し、完成させる。ただしヒントは与える。 事前学修 2.0hr：第 23 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習
10回	**授業テーマ：度数分布表&ヒストグラム自動作製プログラム研究 1** 授業内容：上記プログラムのパラメータ算出・表示の為のプログラミング・コードを一部空欄とし、例えば最高値・最小値・中央値等について、受講生各自が考えて当該箇所へ適切なコードを挿入し、完成させる。 事前学修 2.0hr：第 9 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習	25回	**授業テーマ：日本留学試験数学 1** 授業内容：コース 1 の過去問に、受講生全員一斉に板書解答して頂く。場合によっては SPI の非言語問題に変更する。 事前学修 2.0hr：第 24 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習
11回	**授業テーマ：度数分布表&ヒストグラム自動作製プログラム研究 2** 授業内容：上記プログラムのデータ移行の為のプログラミング・コード(ループ機能)を空欄とし、受講生各自が考えて当該箇所へ適切なコードを挿入し、完成させる。 事前学修 2.0hr：第 10 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習	26回	**授業テーマ：日本留学試験数学 2** 授業内容：コース 1 の過去問に、受講生全員一斉に板書解答して頂く。場合によっては SPI の非言語問題に変更する。 事前学修 2.0hr：第 25 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習
12回	**授業テーマ：度数分布表&ヒストグラム自動作製プログラム研究 3** 授業内容：上記プログラムの度数分布表作成の為のプログラミング・コード(ループ機能)を空欄とし、受講生各自が考えて当該箇所へ適切なコードを挿入し、完成させる。 事前学修 2.0hr：第 11 授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習	27回	**授業テーマ：日本留学試験数学 3** 授業内容：コース 1 の過去問に、受講生全員一斉に板書解答して頂く。場合によっては SPI の非言語問題に変更する。 事前学修 2.0hr：第 26 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習
13回	**授業テーマ：浦安市郷土博物館カレンダー作製&平休日別入館者数自動集計プログラム 1** 授業内容：上記プログラムのカレンダー作製の為のプログラミング・コードを各自で考えて入力して頂く。ただしヒントは与える。 事前学修 2.0hr：第 12 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習	28回	**授業テーマ：卒論関連の数量データの分析とその結果の発表 1** 授業内容：Excel でのデータ分析を行い、その結果を Word にてまとめ報告し、ファイルを保存する。 事前学修 2.0hr：研究対象について情報を収集して置く事。 事後学修 2.0hr：当該授業で作成した資料、解説文のチェック。
14回	**授業テーマ：浦安市郷土博物館カレンダー作製&平休日別入館者数自動集計プログラム 2** 授業内容：前回より難解な、上記プログラムの入館者集計の為のプログラミング・コードを各自で考えて入力して頂く。ただしヒントは与える。 事前学修 2.0hr：第 13 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習	29回	**授業テーマ：卒論関連の数量データの分析とその結果の発表 2** 授業内容：Excel でのデータ分析を行い、その結果を Word にてまとめ報告し、ファイルを保存する。 事前学修 2.0hr：研究対象について情報を収集して置く事。 事後学修 2.0hr：当該授業で作成した資料、解説文のチェック。
15回	**授業テーマ：浦安市郷土博物館カレンダー作製&平休日別入館者数自動集計プログラム 3** 授業内容：さらに難解な、入館者集計プログラムの中のループ部分について、プログラミング・コードを各自で考えて入力して頂く。ただしヒントは与える。 事前学修 2.0hr：第 14 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習	30回	**授業テーマ：卒論関連の数量データの分析とその結果の発表 3** 授業内容：Excel でのデータ分析を行い、その結果を Word にてまとめ報告し、ファイルを保存する。 事前学修 2.0hr：研究対象について情報を収集して置く事。 事後学修 2.0hr：当該授業で作成した資料、解説文のチェック。

専門ゼミ２(卒業論文を含む。)

開講学科等：経　｜　4 年次　｜　6 単位　｜　開講期：通

飯田　信一 (いいだ　のぶかず)

▌授業の概要

本ゼミの目的は 2 つあります。1 つは、皆さんの学生生活の集大成としての卒業論文の作成です。ビジネスの様々な活動を観察・調査し、関連する文献を調べながら、皆さんの独自の視点を活かし分析を進めて行きます。論文作成には独特な「型」があります。それを学びながら、論理的な思考力、資料やデータを分析する力、文章としてまとめ上げる力を養います。段階的に報告会を行い、皆さんの研究内容を分かり易く発表できるよう、プレゼンスキルも鍛えて行きます。2 つは、皆さんの卒業後の進路に関わる様々な準備です。適宜、皆さんの就職活動について進捗を確認しながら、担当教員の企業経験を織り交ぜながら、個別面談を行いたいと思います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：１)論理的な思考力、他者を説得する力、分かり易い表現力を体得し、それらを卒業論文作成に反映すること。
　　２)社会人として、組織の中で生きて行く上での勘所や、個人としての「多様性」を身に着ける考え方を学ぶ。
個別目標：１)問題意識の持ち方、課題の発見、先行研究の進め方、方法論、構成、編集の仕方等、卒業論文の「型」を学ぶ。
　　２)論理的に考え、自分の考え方を分かり易く伝えるスキルを身に着ける。
　　３)資料やデータを収集し、それを整理する仕方、分析する力、文章に落とし込み編集する力を身に着ける。

▌履修条件

１)原則、授業時間に 5 分の 4 以上(30 回中 24 回以上)出席すること。
２)原則、授業外でのゼミ活動(リモートでの実施を含む)に 80 %以上参加すること。
３) Microsoft Office が使える環境を準備しておくこと。

▌評価基準・方法

１)卒業論文(70 %)
２)授業への参加姿勢、理解度、貢献度(発言、ディスカッション、プレゼン等)(30 %)

▌フィードバック方法

卒業論文の作成に関するフィードバックは、授業の中で段階的に行う報告会席上で、または個別相談、学修支援システム manaba を通じて行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （段階的に行う報告会でのプレゼン）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （卒業論文作成、報告会用のプレゼン作成）

▌教科書

桑田てるみ著『学生のレポート・論文作成トレーニング：スキルを学ぶ 21 のワーク』実教出版

▌参考書

授業の中で適宜指示。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：専門ゼミの目的理解と論文のテーマについて** 授業内容：専門ゼミの主旨、目的を理解すると共に、1 年間の流れを把握します。論文テーマについて、どう深めて行くかアプローチの仕方を示します。卒業論文の作成の全体的な流れを俯瞰し、計画を確認します。 事前学修 3.0hr：ご自身のテーマの準備(固まっていない場合はアイディアや方向性) 事後学修 4.0hr：授業を踏まえ、テーマの深堀り、修正	16回	**授業テーマ：進捗報告(研究の進捗、問題点の共有)(プレゼン)** 授業内容：夏休み中の執筆の状況報告をしていただきます。 事前学修 3.0hr：ご自身の研究進捗についてプレゼン資料の準備。 事後学修 4.0hr：授業を踏まえて、ご自身の研究の振り返り
2回	**授業テーマ：研究の進め方(1)** 授業内容：論文研究の具体的な進め方、先行研究の読み方、「問い」の立て方、研究方法の選択、研究倫理について講義します。 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業を踏まえ、テーマの深堀り、修正	17回	**授業テーマ：研究相談(1)** 授業内容：各自の進捗に合わせ、個別に研究相談を行います。各自で論文の執筆を進めます。 事前学修 3.0hr：ご自身の研究、相談の準備。 事後学修 4.0hr：研究相談の結果を踏まえ、ご自身の研究の振り返り
3回	**授業テーマ：論文の書き方(1)** 授業内容：引用の示し方、引用文献の取扱い、論理的な書き方等、論文執筆の決まり事を講義します。 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業を踏まえ、テーマの深堀り、研究の方向性を考える	18回	**授業テーマ：研究相談(2)** 授業内容：各自の進捗に合わせ、個別に研究相談を行います。各自で論文の執筆を進めます。 事前学修 3.0hr：ご自身の研究、相談の準備。 事後学修 4.0hr：研究相談の結果を踏まえ、ご自身の研究の振り返り
4回	**授業テーマ：研究の進め方(2)** 授業内容：文献資料の集め方、文献リストの作成方法、論文の読み方について講義します。次回の授業の教材として取り上げる過去の卒業 論文を準備します。小グループに分かれて同じ卒業論文を読み込んで行きます。 事前学修 3.0hr：授業の準備。 事後学修 4.0hr：次回授業で取り上げる過去の卒業論文の読み込み	19回	**授業テーマ：研究相談(3)** 授業内容：各自の進捗に合わせ、個別に研究相談を行います。各自で論文の執筆を進めます。 事前学修 3.0hr：ご自身の研究、相談の準備。 事後学修 4.0hr：研究相談の結果を踏まえ、ご自身の研究の振り返り
5回	**授業テーマ：研究の進め方(3)** 授業内容：小グループ毎に、過去の卒業論文を読んだ所感、気づきについてディスカッションします。この気づきをご自身の論文作成に 活かす段取りを理解します。 事前学修 3.0hr：授業の準備。 事後学修 4.0hr：授業での気づきを踏まえ、ご自身の研究に反映。	20回	**授業テーマ：研究相談(4)** 授業内容：各自の進捗に合わせ、個別に研究相談を行います。各自で論文の執筆を進めます。 事前学修 3.0hr：ご自身の研究、相談の準備。 事後学修 4.0hr：研究相談の結果を踏まえ、ご自身の研究の振り返り
6回	**授業テーマ：研究の進め方(4)** 授業内容：研究計画書の書き方、まとめ方について講義します。ご自身のテーマに沿って、研究計画書を実際に着手していきます。 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：ご自身の研究テーマに基づき、研究計画書をまとめてみる。	21回	**授業テーマ：進捗報告(プレゼン)** 授業内容：各自の論文執筆状況を報告していただきます。 事前学修 3.0hr：ご自身の研究進捗について、プレゼン資料の準備。 事後学修 4.0hr：授業を踏まえて、ご自身の研究の振り返り
7回	**授業テーマ：論文の書き方(2)** 授業内容：論文の構成・章立ての仕方、展開の仕方、考察、結論に至るプロセスを講義します。 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：ご自身の研究の振り返り、研究計画書の充実。	22回	**授業テーマ：研究相談2(1)** 授業内容：各自の進捗に合わせ、個別に研究相談を行います。各自で論文の執筆を進めます。 事前学修 3.0hr：ご自身の研究、相談の準備 事後学修 4.0hr：研究相談の結果を踏まえ、ご自身の研究の振り返り、修正

8回	**授業テーマ：研究の進め方(5)分析手法について(1)** 授業内容：定性調査(インタビュー調査結果をテキストにまとめて分析する手法)について講義します。 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業を踏まえ、ご自身の研究手法について考えてみる	23回	**授業テーマ：研究相談2(2)** 授業内容：各自の進捗に合わせ、個別に研究相談を行います。各自で論文の執筆を進めます。 事前学修 3.0hr：ご自身の研究、相談の準備 事後学修 4.0hr：研究相談の結果を踏まえ、ご自身の研究の振り返り、修正
9回	**授業テーマ：研究の進め方(6)分析手法について(2)** 授業内容：定量調査(アンケート調査の結果を統計的に分析する手法)について講義します。 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業を踏まえ、ご自身の研究手法について考えてみる	24回	**授業テーマ：研究相談2(3)** 授業内容：各自の進捗に合わせ、個別に研究相談を行います。各自で論文の執筆を進めます。 事前学修 3.0hr：ご自身の研究、相談の準備 事後学修 4.0hr：研究相談の結果を踏まえ、ご自身の研究の振り返り、修正
10回	**授業テーマ：研究概要の発表(プレゼン)(1)** 授業内容：各自の研究概要(研究テーマ、研究背景、現状調査報告)を発表していただきます。 事前学修 3.0hr：研究概要のプレゼン資料の作成 事後学修 4.0hr：授業を踏まえ、ご自身の研究の振り返り	25回	**授業テーマ：研究相談2(4)** 授業内容：各自の進捗に合わせ、個別に研究相談を行います。各自で論文の執筆を進めます。 事前学修 3.0hr：ご自身の研究、相談の準備 事後学修 4.0hr：研究相談の結果を踏まえ、ご自身の研究の振り返り、修正
11回	**授業テーマ：研究概要の発表(プレゼン)(2)** 授業内容：各自の研究概要(研究テーマ、研究背景、現状調査報告)を発表していただきます。 事前学修 3.0hr：研究概要のプレゼン資料の作成 事後学修 4.0hr：授業を踏まえ、ご自身の研究の振り返り	26回	**授業テーマ：卒業論文初稿(ドラフト)提出** 授業内容：11 月末に卒業論文の初稿(ドラフト。9 割程度書かれているもの)を提出していただきます。形式について改めて詳細をお伝えします。 事前学修 3.0hr：論文の執筆。 事後学修 4.0hr：論文の修正。
12回	**授業テーマ：研究の進め方(7)** 授業内容：各自でリサーチクエスチョンを設定し、研究方法を決めます。 事前学修 3.0hr：ご自身の研究内容の確認、授業の準備 事後学修 4.0hr：授業を踏まえ、ご自身の研究の振り返り	27回	**授業テーマ：卒業論文初稿(ドラフト)確認** 授業内容：卒業論文の初稿(ドラフト)の提出確認をします。修正点を順次指示していきます。 事前学修 3.0hr：論文の執筆。 事後学修 4.0hr：論文の修正。
13回	**授業テーマ：研究の進め方(8)** 授業内容：各自の研究調査内容を吟味し、確定していきます。 事前学修 3.0hr：ご自身の研究、授業の準備。 事後学修 4.0hr：授業を踏まえ、ご自身の研究の振り返り	28回	**授業テーマ：卒業論文発表会の準備** 授業内容：卒論発表会に向けて各自スライドを作成します。 事前学修 3.0hr：論文の執筆。 事後学修 4.0hr：論文の最終確認。
14回	**授業テーマ：論文の書き方(3)** 授業内容：論文の構成を検討し、序論、問題意識、目的、リサーチクエスチョンまでを仕上げて行きます。 事前学修 3.0hr：ご自身の研究、授業の準備。 事後学修 4.0hr：授業を踏まえて、ご自身の研究の振り返り	29回	**授業テーマ：卒業論文発表会** 授業内容：4 年生のゼミ合同で卒論発表会があります(全員必ず参加)。 事前学修 3.0hr：卒論発表会での報告準備。 事後学修 4.0hr：発表会内容を踏まえ、各自論文の最終確認、完成稿仕上げ。
15回	**授業テーマ：研究の進捗、調査内容の発表(プレゼン)** 授業内容：各自の研究の中間発表(研究テーマ、背景、先行研究調査、リサーチクエスチョン、調査方法)をプレゼンしていただきます。 夏休み期間中に何をすべきか、課題を整理して行きます。 事前学修 3.0hr：ご自身の研究進捗について、プレゼン資料の準備。 事後学修 4.0hr：授業を踏まえて、ご自身の研究の振り返り、夏休みに取り組むプランづくり	30回	**授業テーマ：卒業論文の完成稿、要旨の提出、ゼミ振り返り** 授業内容：卒業論文の完成稿を提出してください。また、卒論要旨集に掲載する要旨も提出していただきます。 事前学修 3.0hr：卒業論文の完成稿準備、卒論要旨集の作成。 事後学修 4.0hr：１年間のゼミの振り返り。

専門ゼミ２(卒業論文を含む。)

開講学科等：経　｜　4 年次　｜　6 単位　｜　開講期：通

池田　晋（いけだ　すすむ）

▌授業の概要

本ゼミでは，1・2 年次に学んだ経営学や簿記の知識を使い，収益性や安全性などの財務諸表分析やコーポレートガバナンス，内部統制などについて組織的な分析を行い，経営者や株主などの利害関係者に対して提言をまとめることを目的としている。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：(１)日本の経済社会の動向を理解し，各種データを説明できる。
(２)財務諸表の相互関連性を通して，企業活動に対する基本的な洞察力と判断力を身につける。
(３)企業倫理，コーポレートガバナンス，内部統制の基礎概念を身につける。

個別目標：(１)新聞，雑誌等の経済記事をわかりやすく説明できる。
(２)経済情勢が企業業績に与える影響を説明できる。
(３)個別企業の基本的な経営分析ができる。

▌履修条件

ゼミ活動に積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

卒論の内容・発表(60 %)，ディスカッションやゼミ行事への参加状況(40%)で評価する。
授業の 5 分の 4 以上に出席しない場合は評価の対象とならない。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは，学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word ソフトを搭載したノートパソコンを毎回持参すること）

▌教科書

特に使用しない。

▌参考書

授業内で提示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：前期ガイダンス，研究方法** 授業内容：ガイダンス 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業の復習	16回	**授業テーマ：後期ガイダンス** 授業内容：ガイダンス 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：論文の書き方** 授業内容：論文の書き方(発表) 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業の復習	17回	**授業テーマ：研究方法の習得** 授業内容：研究方法(講義) 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：興味のある論文についての発表 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業の復習	18回	**授業テーマ：卒業研究中間報告** 授業内容：卒業研究中間報告とディスカッション 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：興味のある論文についての発表 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業の復習	19回	**授業テーマ：卒業研究中間報告** 授業内容：卒業研究中間報告とディスカッション 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：興味のある論文についての発表 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業の復習	20回	**授業テーマ：卒業研究中間報告** 授業内容：卒業研究中間報告とディスカッション 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：興味のある論文についての発表 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業の復習	21回	**授業テーマ：卒業研究中間報告** 授業内容：卒業研究中間報告とディスカッション 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：興味のある論文についての発表 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業の復習	22回	**授業テーマ：卒業研究中間報告** 授業内容：卒業研究中間報告とディスカッション 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：興味のある論文についての発表 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業の復習	23回	**授業テーマ：研究方法の習得** 授業内容：研究方法(講義) 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業の復習
9回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：興味のある論文についての発表 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業の復習	24回	**授業テーマ：卒業研究** 授業内容：卒業研究最終報告の準備 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：興味のある論文についての発表 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業の復習	25回	**授業テーマ：卒業研究** 授業内容：卒業研究最終報告の準備 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：卒業研究** 授業内容：卒業研究の要旨の発表 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業の復習	26回	**授業テーマ：卒業研究** 授業内容：卒業研究最終報告の準備 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業の復習

12回	**授業テーマ：卒業研究** 授業内容：卒業研究の要旨の発表 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業の復習	27回	**授業テーマ：卒業研究** 授業内容：卒業研究最終報告の準備 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：卒業研究** 授業内容：卒業研究の要旨の発表 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業の復習	28回	**授業テーマ：卒業研究** 授業内容：卒業研究最終報告の準備 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：研究方法の習得** 授業内容：研究方法(講義) 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業の復習	29回	**授業テーマ：最終報告** 授業内容：卒業研究の最終報告 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：前期のまとめ** 授業内容：総括 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業の復習	30回	**授業テーマ：最終報告** 授業内容：卒業研究の最終報告 事前学修 3.0hr：授業の準備 事後学修 4.0hr：授業の復習

専門ゼミ２(卒業論文を含む。)

開講学科等：経　｜　4 年次　｜　6 単位　｜　開講期：通

呉　東錫（お　どんそく）

▌授業の概要

本講義では、日本企業の財務データ等を用いた実証分析を行う。
本ゼミでは、企業の財務データ等を用いて、資本構成が資金調達や経営意思決定などにどのような影響を与えるのかについて実証分析ができるようになることを目的とし、文献の輪読、ディスカッション、実証分析の演習を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：日本企業の財務データを用いて、実証分析ができるようになる。
個別目標：1. 日本企業の財務状況を分析できるようになる。
2. 企業の財務状況が企業経営に与える影響を分析できるようになる。
3. 経済政策等が企業の資本構成に与える影響を分析できるようになる。

▌履修条件

経営分析、財務会計論、統計学、計量経済学を履修済み、あるいは並行して履修していることが望ましい。

▌評価基準・方法

卒論 60 %
平常点 40 %

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、基本的に学修支援システム Manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （先行研究などを基にディスカッションを行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パソコンを用いた実証分析の演習を行う）

▌教科書

第 1 回目の授業で提示する。

▌参考書

第 1 回目の授業で提示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、年間計画について** 授業内容：シラバスの概要を説明するとともに、年間計画について説明する。 事前学修 3.0hr：卒業論文のテーマと進め方を考えてみる。 事後学修 4.0hr：ゼミの分担を確認し、個別の計画を考える。	16回	**授業テーマ：ガイダンス、後期計画について** 授業内容：後期の計画について説明する。 事前学修 3.0hr：後期の計画を考える。 事後学修 4.0hr：今後の進め方を検討し、自分の考えをまとめる。
2回	**授業テーマ：卒業論文のテーマ決定１** 授業内容：卒業論文のテーマを考え、教員とゼミメンバーとディスカッションする。 事前学修 3.0hr：卒業論文テーマと関係のある文献を探す。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを行った内容を基に、今後の計画を立てる。	17回	**授業テーマ：実証分析結果の発表１** 授業内容：個別の実証方法、分析の結果などを発表すし、教員とゼミメンバーとディスカッションする。 事前学修 3.0hr：実証結果をまとめる。 事後学修 4.0hr：ディスカッションした内容を基に、今後の進め方を考える。
3回	**授業テーマ：卒業論文のテーマ決定 2** 授業内容：卒業論文のテーマを考え、教員とゼミメンバーとディスカッションする。 事前学修 3.0hr：卒業論文テーマと関係のある文献を探す。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを行った内容を基に、今後の計画を立てる。	18回	**授業テーマ：実証分析結果の発表２** 授業内容：個別の実証方法、分析の結果などを発表すし、教員とゼミメンバーとディスカッションする。 事前学修 3.0hr：実証結果をまとめる。 事後学修 4.0hr：ディスカッションした内容を基に、今後の進め方を考える。
4回	**授業テーマ：先行文献の探し方１** 授業内容：卒業論文のテーマに関連する文献の探す方法について説明する。 事前学修 3.0hr：自分のテーマと関係のある文献を探してみる。 事後学修 4.0hr：授業で行ったディスカッションを基に、自分の考えをまとめる。	19回	**授業テーマ：卒業論文の方向性の検討１** 授業内容：卒業論文の方向性について、教員とゼミメンバーとディスカッションする。 事前学修 3.0hr：卒業論文の方向性をまとめる。 事後学修 4.0hr：ディスカッションした内容を基に、今後の進め方を考える。
5回	**授業テーマ：先行文献の探し方２** 授業内容：卒業論文のテーマに関連する文献の探す方法について説明する。 事前学修 3.0hr：自分のテーマと関係のある文献を探してみる。 事後学修 4.0hr：授業で行ったディスカッションを基に、自分の考えをまとめる。	20回	**授業テーマ：卒業論文の方向性の検討２** 授業内容：卒業論文の方向性について、教員とゼミメンバーとディスカッションする。 事前学修 3.0hr：卒業論文の方向性をまとめる。 事後学修 4.0hr：ディスカッションした内容を基に、今後の進め方を考える。
6回	**授業テーマ：先行文献の探し方３** 授業内容：卒業論文のテーマに関連する文献の探す方法について説明する。 事前学修 3.0hr：自分のテーマと関係のある文献を探してみる。 事後学修 4.0hr：授業で行ったディスカッションを基に、自分の考えをまとめる。	21回	**授業テーマ：卒業論文の中間発表１** 授業内容：現時点での研究結果を発表し、教員とゼミメンバーとディスカッションする。 事前学修 3.0hr：発表準備を行う。 事後学修 4.0hr：ディスカッションした内容を基に、今後の進め方を考える。
7回	**授業テーマ：卒業論文の進め方の設計** 授業内容：卒業論文のどのように作成していくかについてディスカッションする。 事前学修 3.0hr：卒業論文の方向性、目的、分析方法などをまとめる。 事後学修 4.0hr：ディスカッションした内容を基に、今後の進め方を決める。	22回	**授業テーマ：卒業論文の中間発表２** 授業内容：現時点での研究結果を発表し、教員とゼミメンバーとディスカッションする。 事前学修 3.0hr：発表準備を行う。 事後学修 4.0hr：ディスカッションした内容を基に、今後の進め方を考える。
8回	**授業テーマ：先行文献の調査１** 授業内容：卒業論文のテーマと関係のある文献の内容を発表し、教員とゼミメンバーとディスカッションする。 事前学修 3.0hr：先行文献の内容を要約する。 事後学修 4.0hr：ディスカッションした内容を基に、今後の進め方を考える。	23回	**授業テーマ：卒業論文の中間発表３** 授業内容：現時点での研究結果を発表し、教員とゼミメンバーとディスカッションする。 事前学修 3.0hr：発表準備を行う。 事後学修 4.0hr：ディスカッションした内容を基に、今後の進め方を考える。
9回	**授業テーマ：先行文献の調査２** 授業内容：卒業論文のテーマと関係のある文献の内容を発表し、教員とゼミメンバーとディスカッションする。 事前学修 3.0hr：先行文献の内容を要約する。 事後学修 4.0hr：ディスカッションした内容を基に、今後の進め方を考える。	24回	**授業テーマ：卒業論文の作成１** 授業内容：今までの実証分析の結果とディスカッションの内容を基に、卒業論文の最終的な方向性を決定する。 事前学修 3.0hr：卒業論文を作成する。 事後学修 4.0hr：ディスカッションした内容を基に、卒業論文を作成する。

10回	**授業テーマ：先行文献の調査３** 授業内容：卒業論文のテーマと関係のある文献の内容を発表し、教員とゼミメンバーとディスカッションする。 事前学修 3.0hr：先行文献の内容を要約する。 事後学修 4.0hr：ディスカッションした内容を基に、今後の進め方を考える。	25回	**授業テーマ：卒業論文の作成２** 授業内容：今までの実証分析の結果とディスカッションの内容を基に、卒業論文の最終的な方向性を決定する。 事前学修 3.0hr：卒業論文を作成する。 事後学修 4.0hr：ディスカッションした内容を基に、卒業論文を作成する。
11回	**授業テーマ：先行文献の調査４** 授業内容：卒業論文のテーマと関係のある文献の内容を発表し、教員とゼミメンバーとディスカッションする。 事前学修 3.0hr：先行文献の内容を要約する。 事後学修 4.0hr：ディスカッションした内容を基に、今後の進め方を考える。	26回	**授業テーマ：卒業論文の作成３** 授業内容：今までの実証分析の結果とディスカッションの内容を基に、卒業論文の最終的な方向性を決定する。 事前学修 3.0hr：卒業論文を作成する。 事後学修 4.0hr：ディスカッションした内容を基に、卒業論文を作成する。
12回	**授業テーマ：卒業論文のアウトラインを発表１** 授業内容：卒業論文のアウトラインを発表し、今日とゼミメンバーとディスカッションする。 事前学修 3.0hr：卒業論文のアウトラインを作成する。 事後学修 4.0hr：ディスカッションした内容を基に、今後の進め方を考える。	27回	**授業テーマ：卒業論文を発表１** 授業内容：卒業論文を発表し、教員とゼミメンバーとディスカッションする。 事前学修 3.0hr：発表準備を行う。 事後学修 4.0hr：ディスカッションした内容を基に、卒業論文を修正する。
13回	**授業テーマ：卒業論文のアウトラインを発表２** 授業内容：卒業論文のアウトラインを発表し、今日とゼミメンバーとディスカッションする。 事前学修 3.0hr：卒業論文のアウトラインを作成する。 事後学修 4.0hr：ディスカッションした内容を基に、今後の進め方を考える。	28回	**授業テーマ：卒業論文を発表２** 授業内容：卒業論文を発表し、教員とゼミメンバーとディスカッションする。 事前学修 3.0hr：発表準備を行う。 事後学修 4.0hr：ディスカッションした内容を基に、卒業論文を修正する。
14回	**授業テーマ：データ収集と分析方法の検討** 授業内容：データの収集方法、分析の方法などについて検討する。 事前学修 3.0hr：事前にパソコンの操作方法などを確認する。 事後学修 4.0hr：ディスカッションした内容を基に、今後の進め方を考える。	29回	**授業テーマ：卒業論文を発表３** 授業内容：卒業論文を発表し、教員とゼミメンバーとディスカッションする。 事前学修 3.0hr：卒業論文を発表し、教員とゼミメンバーとディスカッションする。 事後学修 4.0hr：ディスカッションした内容を基に、卒業論文を修正する。
15回	**授業テーマ：前期のまとめ** 授業内容：前期のまとめを行うとともに、夏休みと後期の計画を考える。 事前学修 3.0hr：事前にパソコンの操作方法などを確認する。 事後学修 4.0hr：ディスカッションした内容を基に、今後の進め方を考える。	30回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：授業の内容をまとめる。 事前学修 3.0hr：年間の授業内容をまとめる。 事後学修 4.0hr：卒業後の計画を考える。

専門ゼミ２(卒業論文を含む。)

開講学科等：経　｜　4 年次　｜　6 単位　｜　開講期：通

大石　隆介（おおいし　りゅうすけ）

▌授業の概要

本ゼミでは専門ゼミ１にて培った経験(プレゼンテーション大会・討論大会・ポスターセッション・企業訪問など)やスキルを活かし、専門ゼミ１で作成した卒業論文計画書をもとに担当教員の指導を受けながら、学生たちは各自卒業論文の執筆に取り組む。各学期中に複数回の報告会を設け、学生たちは自身が執筆している卒業論文について担当教員や他の学生たちに報告し、他者の意見を役立てながら卒業論文の執筆を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：学生自身が、選んだ分析テーマにおいて調査・分析を行い卒業論文を執筆すること。
個別目標：大学で学ぶ 4 年間の集大成として、テーマを選び、卒業論文を執筆、完成させる。

▌履修条件

専門ゼミ１(担当教員：大石隆介)を履修し、単位を修得した者。

▌評価基準・方法

卒業論文：60 %　平常点：40 %

▌フィードバック方法

各授業終了時に担当教員がフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

必要に応じ担当教員が作成したプリントを配布する。

▌参考書

マンキュー経済学Ⅰ　ミクロ編(第 3 版)・マンキュー経済学Ⅱ　マクロ編(第 3 版)著者：N・グレゴリー・マンキュー　訳：足立　英之　石川　城太　小川　英治　地主　敏樹　中馬　宏之　柳川　隆　東洋経済新報社・レクチャー&エクササイズ金融論　著者：森澤　龍也　新世社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス(本年度のゼミのスケジュール・運営方法などの説明)** 授業内容：第 1 回授業はガイダンスとし、本年度のスケジュール、履修上の注意点等について確認する。 事前学修 3.0hr：講義概要を確認しておく。 事後学修 4.0hr：ガイダンスでの説明を参考に卒業論文執筆の計画を立てる。	16回	**授業テーマ：卒業論文の仕上げのための計画を立てる。** 授業内容：第 16 回授業では、前学期に執筆した卒業論文(下書き)を仕上げるための計画を立てる。 事前学修 3.0hr：夏休みの間に卒業論文の下書きの、改善できる部分を修正する。 事後学修 4.0hr：スケジュールを再確認し、卒業論文の仕上げの計画を立てる。
2回	**授業テーマ：卒業論文の書き方１(卒業論文を書く際のルール)** 授業内容：第 2 回授業では、卒業論文を書く際のルール(論文の構成、文献の引用の仕方等)を理解する。 事前学修 3.0hr：専門ゼミ１で学んだ卒業論文の書き方について復習しておく。 事後学修 4.0hr：授業内容の復習をする。	17回	**授業テーマ：卒業論文の進捗状況の報告及び担当教員との面談４(グループ１)** 授業内容：第 17 回授業は卒業論文の進捗状況の報告及び担当教員との面談４を実施する。対象(グループ１)の学生は前学期に執筆した卒業論文(下書き)を修正し、その内容について担当教員とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：前学期に執筆した卒業論文の下書を修正し、報告の準備を行う。 事後学修 4.0hr：担当教員の指示に従い、卒業論文の下書きを修正する。
3回	**授業テーマ：卒業論文の書き方２ (コンピュータの使い方)** 授業内容：第 3 回授業では卒論を執筆するためのコンピュータの使い方について学修する。 事前学修 3.0hr：コンピュータの基本的な操作方法について学んでおく。 事後学修 4.0hr：コンピュータを使用した論文執筆の仕方について復習しておく。	18回	**授業テーマ：卒業論文の進捗状況の報告及び担当教員との面談４(グループ２)** 授業内容：第 18 回授業は卒業論文の進捗状況の報告及び担当教員との面談４を実施する。対象(グループ２)の学生は前学期に執筆した卒業論文(下書き)を修正し、その内容について担当教員とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：前学期に執筆した卒業論文の下書きを修正し、報告の準備を行う。 事後学修 4.0hr：担当教員の指示に従い、卒業論文の下書きを修正する。
4回	**授業テーマ：卒業論文の進捗状況の報告及び担当教員との面談１(グループ１)** 授業内容：第 4 回授業は卒業論文の進捗状況の報告及び担当教員との面談を実施する。対象(グループ１)の学生は、自身が執筆した卒業論文の途中経過について担当教員とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：卒業論文に関する資料及びデータを収集し、報告の準備を行う。 事後学修 4.0hr：担当教員の指示に従い、既存研究の分析を行い執筆する。	19回	**授業テーマ：途中資料の提出及び卒業論文の中間発表２(グループ１)** 授業内容：第 19 回授業では途中資料の提出及び卒業論文の中間発表２を実施する。対象(グループ１)の学生は、卒業論文(修正したもの)についてゼミ内でプレゼンテーションを行う。 事前学修 3.0hr：提出した卒業論文(修正版)の内容の発表を行う為の準備をする。 事後学修 4.0hr：教員の指示に従い、卒業論文の下書きの更なる修正を行う。
5回	**授業テーマ：卒業論文の進捗状況の報告及び担当教員との面談１(グループ２)** 授業内容：第 5 回授業は卒業論文の進捗状況の報告及び担当教員との面談を実施する。対象(グループ２)の学生は、自身が執筆した卒業論文の途中経過について担当教員とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：卒業論文に関連する資料及びデータを収集し、報告の準備を行う。 事後学修 4.0hr：担当教員の指示に従い、既存研究の分析を行い執筆する。	20回	**授業テーマ：途中資料の提出及び卒業論文の中間発表２(グループ２)** 授業内容：第 20 回授業では途中資料の提出及び卒業論文の中間発表２を実施する。対象(グループ２)の学生は、卒業論文(修正したもの)についてゼミ内でプレゼンテーションを行う。 事前学修 3.0hr：提出した卒業論文(修正版)について発表の準備をしておく。 事後学修 4.0hr：教員の指示に従い、卒業論文の下書きの更なる修正を行う。
6回	**授業テーマ：途中資料の提出及び分析の仕方について考える。** 授業内容：第 6 回授業では途中資料を提出し、分析の仕方について考える。学生は卒業論文第 1 章(既存研究の分析)の下書きを書き上げ、担当教員に提出する。 事前学修 3.0hr：既存研究の分析について下書きをまとめ、講義で担当教員に提出する。 事後学修 4.0hr：講義内容を参考に自身のテーマについて分析を行えるか考える。	21回	**授業テーマ：卒業論文の進捗状況の報告及び担当教員との面談５(グループ１)** 授業内容：第 21 回授業は卒業論文の進捗状況の報告及び担当教員との面談５を実施する。対象(グループ１)の学生は、卒業論文(修正したもの)について担当教員とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：卒業論文の下書きを修正し、その状況を報告する為の準備を行う。 事後学修 4.0hr：担当教員の指示に従い、卒業論文の下書きを修正する。
7回	**授業テーマ：データ収集・分析における注意点** 授業内容：第 7 回授業ではデータ収集・分析における注意点について確認する。 事前学修 3.0hr：自身の研究テーマで入手可能なデータについて考えておく。 事後学修 4.0hr：データを収集・分析する際の注意点について講義で学んだ事を復習する。	22回	**授業テーマ：卒業論文の進捗状況の報告及び担当教員との面談５(グループ２)** 授業内容：第 22 回授業は卒業論文の進捗状況の報告及び担当教員との面談５を実施する。対象(グループ２)の学生は、卒業論文(修正したもの)について担当教員とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：卒業論文の下書きを修正し、その状況を報告する為の準備を行う。 事後学修 4.0hr：担当教員の指示に従い、卒業論文の下書きを修正する。
8回	**授業テーマ：卒業論文の進捗状況の報告及び担当教員との面談２(グループ１)** 授業内容：第 8 回授業では卒業論文の進捗状況の報告及び担当教員との面談２を実施する。対象(グループ１)の学生は、既存研究の分析を基に、どのような分析を行うか検討し担当教員とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：既存研究の分析を基に、自身の分析方法を考えておく。 事後学修 4.0hr：担当教員の指示に従い、分析を開始し、その内容を執筆する。	23回	**授業テーマ：途中資料の提出及び卒業論文の中間発表３(グループ１)** 授業内容：第 23 回授業では途中資料の提出及び卒業論文の中間発表３を実施する。対象(グループ１)の学生は、卒業論文(修正を進めたもの)についてゼミ内でプレゼンテーションを行う。 事前学修 3.0hr：提出した卒業論文の下書きの発表を行うための準備をしておく。 事後学修 4.0hr：教員の指示に従い、卒業論文の下書きの更なる修正を考えておく。

9回	**授業テーマ：卒業論文の進捗状況の報告及び担当教員との面談２(グループ２)** 授業内容：第 9 回授業では卒業論文の進捗状況の報告及び担当教員との面談２を実施する。対象(グループ２)の学生は、既存研究の分析を基に、どのような分析を行うか検討し担当教員とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：既存研究の分析を基に、自身の分析方法を考えておく。 事後学修 4.0hr：担当教員の指示に従い、分析を開始し、その内容を執筆する。	24回	**授業テーマ：途中資料の提出及び卒業論文の中間発表３(グループ２)** 授業内容：第 24 回授業では途中資料の提出及び卒業論文の中間発表３を実施する。対象(グループ２)の学生は、卒業論文(修正しを進めたもの)についてゼミ内でプレゼンテーションを行う。 事前学修 3.0hr：提出した卒業論文の下書きの発表を行うための準備をしておく。 事後学修 4.0hr：教員の指示に従い、卒業論文の下書きの更なる修正を考えておく。
10回	**授業テーマ：途中資料の提出及び分析の解説について考える。** 授業内容：第 10 回授業では途中資料を提出し、分析の解説について考える。 事前学修 3.0hr：自身の分析方法・データ及びその結果を講義にて担当教員に提出する。 事後学修 4.0hr：自身が行った分析の結果の解説をどう行えばよいか考える。	25回	**授業テーマ：卒業論文の仕上げ及び担当教員との面談６(グループ１)** 授業内容：第 25 回授業は卒業論文の仕上げ及び担当教員との面談６を実施する。対象(グループ１)の学生は、卒業論文の仕上げに向けて担当教員とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：卒業論文を仕上げ、その状況を報告するための準備を行う。 事後学修 4.0hr：担当教員の指示に従い、仕上げた卒業論文の発表の準備を行う。
11回	**授業テーマ：卒業論文の進捗状況の報告及び担当教員との面談３(グループ１)** 授業内容：第 11 回授業では、卒業論文の進捗状況の報告及び担当教員との面談３を実施する。対象(グループ１)の学生は研究成果の解説の仕方について担当教員とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：研究結果の解説をどのように行うか考えておく。 事後学修 4.0hr：担当教員の指示に従い、研究結果の解説をまとめ、その内容を執筆する。	26回	**授業テーマ：卒業論文の仕上げ及び担当教員との面談６(グループ２)** 授業内容：第 26 回授業は卒業論文の仕上げ及び担当教員との面談６を実施する。対象(グループ２)の学生は、卒業論文の仕上げに向けて担当教員とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：卒業論文を仕上げ、その状況を報告するための準備を行う。 事後学修 4.0hr：担当教員の指示に従い、仕上げた卒業論文の発表の準備を行う。
12回	**授業テーマ：卒業論文の進捗状況の報告及び担当教員との面談３(グループ２)** 授業内容：第 12 回授業では、卒業論文の進捗状況の報告及び担当教員との面談３を実施する。対象(グループ２)の学生は研究成果の解説の仕方について担当教員とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：研究結果の解説をどのように行うか考えておく。 事後学修 4.0hr：担当教員の指示に従い、研究結果の解説をまとめ、その内容を執筆する。	27回	**授業テーマ：卒業論文の最終発表(グループ１)** 授業内容：第 27 回授業は卒業論文の最終発表を行う。対象(グループ１)の学生は卒業論文を仕上げ、ゼミ内でプレゼンテーションを行う。 事前学修 3.0hr：卒業論文を仕上げ、その内容を発表するための準備を行う。 事後学修 4.0hr：卒業論文を提出するための準備を行う。
13回	**授業テーマ：途中資料の提出及び卒業論文の中間発表１(グループ１)** 授業内容：第 13 回授業は途中資料の提出及び卒業論文の中間発表１を行う。対象(グループ１)の学生は、卒業論文の下書きの内容についてゼミ内でプレゼンテーションを行う。 事前学修 3.0hr：卒業論文の下書きの内容について発表するための準備をしておく。 事後学修 4.0hr：教員の指示に従い、卒業論文の下書きの改善点について考える。	28回	**授業テーマ：卒業論文の最終発表(グループ２)** 授業内容：第 28 回授業は卒業論文の最終発表を行う。対象(グループ２)の学生は卒業論文を仕上げ、ゼミ内でプレゼンテーションを行う。 事前学修 3.0hr：卒業論文を仕上げ、その内容を発表するための準備を行う。 事後学修 4.0hr：卒業論文を提出するための準備を行う。
14回	**授業テーマ：途中資料の提出及び卒業論文の中間発表１(グループ２)** 授業内容：第 14 回授業は途中資料の提出及び卒業論文の中間発表１を行う。対象(グループ２)の学生は、卒業論文の下書きの内容についてゼミ内でプレゼンテーションを行う。 事前学修 3.0hr：卒業論文の下書きの内容の発表を行うための準備をしておく。 事後学修 4.0hr：教員の指示に従い、卒業論文の下書きの改善点を考えておく。	29回	**授業テーマ：卒業論文の最終点検** 授業内容：第 29 回授業は卒業論文に不備がないか最終的な確認を行う。 事前学修 3.0hr：仕上げた卒業論文に不備がないか最終的な確認を行う。 事後学修 4.0hr：提出用卒業論文を用意する。
15回	**授業テーマ：前学期の総括** 授業内容：第 15 回授業は前学期の総括を行う。 事前学修 3.0hr：卒業論文の下書きを完成させる。 事後学修 4.0hr：自身の卒業論文の執筆状況について総括し、改善の余地を考える。	30回	**授業テーマ：卒業論文の提出及び総括** 授業内容：第 30 回授業は卒業論文の提出及び本年度の総括を行う。 事前学修 3.0hr：卒業論文を講義にて担当教員に提出し、1 年間の成果を振り返る。 事後学修 4.0hr：履修生全員で 1 年間の総括を行う。

専門ゼミ２(卒業論文を含む。)

開講学科等：経　｜　4 年次　｜　6 単位　｜　開講期：通

岡村　龍輝（おかむら　りょうき）

▌授業の概要

　このゼミの主な目的は２つあります。１つは、卒業論文の作成です。本学経済学部で学位が授与された場合、皆さんは学士(経済学)の称号をもつことになりますので、卒業論文のテーマは経済活動に関連するものである必要があります。このゼミでは、企業活動に焦点をあてた卒業論文の作成を推奨します。もう１つの目的は、グループ・ディスカッションを通して、さまざまな物事や問題に対する視点と解決法を論理的・創造的に提示することができるようになることです。また、これらの活動を通じて生まれるゼミ生同士の強い人的ネットワークは、卒業後のみなさんの人生を豊かにしてくれることでしょう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：　他者とのディスカッションを通じて社会的な課題に対する創造的な解決策を示し合理的に判断するとともに、論文の形式によって対外的に発信することができる。

個別目標：１．社会的な課題に対して強い関心を持ち、それに対する独自かつ合理的な解決策を提案することができる。
　　２．他者とのディスカッションを通じて、論理的・創造的に思考し、結論を導き出すことができる。
　　３．論文や報告書・提案書を作成する技術を身につけている。

▌履修条件

授業外でのゼミ活動(リモートでの実施を含む)に 80 %以上参加できること。

▌評価基準・方法

　下記の項目について、ルーブリック型手法によって評価します。

１．平常点(30 %)

２．卒業論文(70 %)

※原則として５分の４以上の出席、および授業外でのゼミ活動への 80 %以上の参加が評価の前提条件となります。

▌フィードバック方法

PBL の過程における成果物の提出およびフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行うことがあります。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業は PBL 型で行います。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （データ分析、文書作成、プレゼンテーションなど。）

▌教科書

特に指定しません。

▌参考書

ジェイ・B．バーニー著、岡田正大訳(2003)『企業戦略論一競争優位の構築と持続(上・中・下巻)』ダイヤモンド社。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：卒業論文作成の流れとグループ分け** 授業内容：卒業論文を作成する流れについて確認し、発表順を決めます。 事前学修 3.0hr：講義概要を確認しておいて下さい。 事後学修 4.0hr：自分の発表順をふまえて、論文の執筆計画を立てて下さい。	16回	**授業テーマ：第３章の書き方** 授業内容：実証分析の方法や事例記述の方法について学びます。 事前学修 3.0hr：講義資料を確認して下さい。 事後学修 4.0hr：第３章をどのように書くか検討して下さい。
2回	**授業テーマ：先行研究のまとめ方** 授業内容：先行研究の調べ方やまとめ方、参考文献・資料の表記方法について学びます。 事前学修 3.0hr：講義資料を確認して下さい。 事後学修 4.0hr：先行研究を調べて下さい。	17回	**授業テーマ：第３章についての報告とディスカッション―グループA** 授業内容：第３章について報告し、実証分析や記述された事例の内容について検討します。 事前学修 3.0hr：第３章を報告する準備をして下さい。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを振り返り、第３章を再検討して下さい。
3回	**授業テーマ：先行研究についての報告とディスカッション―グループA** 授業内容：先行研究を報告し、卒業論文の独自性について検討します。 事前学修 3.0hr：先行研究について報告する準備をして下さい。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを振り返り、自分の卒業論文の独自性を再検討して下さい。	18回	**授業テーマ：第３章についての報告とディスカッション―グループB** 授業内容：第３章について報告し、実証分析や記述された事例の内容について検討します。 事前学修 3.0hr：第３章を報告する準備をして下さい。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを振り返り、第３章を再検討して下さい。
4回	**授業テーマ：先行研究についての報告とディスカッション―グループB** 授業内容：先行研究を報告し、卒業論文の独自性について検討します。 事前学修 3.0hr：先行研究について報告する準備をして下さい。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを振り返り、自分の卒業論文の独自性を再検討して下さい。	19回	**授業テーマ：第３章についての報告とディスカッション―グループC** 授業内容：第３章について報告し、実証分析や記述された事例の内容について検討します。 事前学修 3.0hr：第３章を報告する準備をして下さい。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを振り返り、第３章を再検討して下さい。
5回	**授業テーマ：「はじめに」の書き方** 授業内容：課題設定や研究方法、論文構成などを中心に、卒業論文の「はじめに」の書き方について学びます。 事前学修 3.0hr：講義資料を確認して下さい。 事後学修 4.0hr：「はじめに」をどのように書くか検討して下さい。	20回	**授業テーマ：第４章の書き方** 授業内容：実証分析結果に対する考察の書き方や、事例分析の方法について学びます。 事前学修 3.0hr：講義資料を確認して下さい。 事後学修 4.0hr：第４章をどのように書くか検討して下さい。
6回	**授業テーマ：「はじめに」についての報告とディスカッション―グループA** 授業内容：「はじめに」について報告し、研究課題と研究方法、および論文構成について検討します。 事前学修 3.0hr：「はじめに」を報告する準備をして下さい。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを振り返り、「はじめに」を再検討して下さい。	21回	**授業テーマ：第４章についての報告とディスカッション―グループA** 授業内容：第４章について報告し、実証分析結果の考察や事例分析の内容について検討します。 事前学修 3.0hr：第４章を報告する準備をして下さい。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを振り返り、第４章を再検討して下さい。
7回	**授業テーマ：「はじめに」についての報告とディスカッション―グループB** 授業内容：「はじめに」について報告し、研究課題と研究方法、および論文構成について検討します。 事前学修 3.0hr：「はじめに」を報告する準備をして下さい。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを振り返り、「はじめに」を再検討して下さい。	22回	**授業テーマ：第４章についての報告とディスカッション―グループB** 授業内容：第４章について報告し、実証分析結果の考察や事例分析の内容について検討します。 事前学修 3.0hr：第４章を報告する準備をして下さい。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを振り返り、第４章を再検討して下さい。
8回	**授業テーマ：第１章の書き方** 授業内容：現状認識と先行研究の到達点・限界をふまえて研究課題を明確にする方法について学びます。 事前学修 3.0hr：講義資料を確認して下さい。 事後学修 4.0hr：第１章をどのように書くか検討して下さい。	23回	**授業テーマ：第４章についての報告とディスカッション―グループC** 授業内容：第４章について報告し、実証分析結果の考察や事例分析の内容について検討します。 事前学修 3.0hr：第４章を報告する準備をして下さい。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを振り返り、第４章を再検討して下さい。

9回	**授業テーマ：第１章についての報告とディスカッション―グループA** 授業内容：第１章について報告し、現状認識の妥当性や先行研究の到達点・限界をふまえた独自性のある課題が設定されているか検討します。 事前学修 3.0hr：第１章を報告する準備をして下さい。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを振り返り、第１章を再検討して下さい。	24回	**授業テーマ：「おわりに」の書き方** 授業内容：論文のまとめ方や、今後の研究課題の設定方法などを中心に、卒業論文の「おわりに」の書き方について学びます。 事前学修 3.0hr：講義資料を確認して下さい。 事後学修 4.0hr：「おわりに」をどのように書くか検討して下さい。
10回	**授業テーマ：第１章についての報告とディスカッション―グループB** 授業内容：第１章について報告し、現状認識の妥当性や先行研究の到達点・限界をふまえた独自性のある課題が設定されているか検討します。 事前学修 3.0hr：第１章を報告する準備をして下さい。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを振り返り、第１章を再検討して下さい。	25回	**授業テーマ：「おわりに」についての報告とディスカッション―グループA** 授業内容：「おわりに」について報告し、論文の課題と各章のまとめ、および今後の研究課題について検討します。 事前学修 3.0hr：「おわりに」を報告する準備をして下さい。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを振り返り、「おわりに」を修正して下さい。
11回	**授業テーマ：第１章についての報告とディスカッション―グループC** 授業内容：第１章について報告し、現状認識の妥当性や先行研究の到達点・限界をふまえた独自性のある課題が設定されているか検討します。 事前学修 3.0hr：第１章を報告する準備をして下さい。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを振り返り、第１章を再検討して下さい。	26回	**授業テーマ：「おわりに」についての報告とディスカッション―グループB** 授業内容：「おわりに」について報告し、論文の課題と各章のまとめ、および今後の研究課題について検討します。 事前学修 3.0hr：「おわりに」を報告する準備をして下さい。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを振り返り、「おわりに」を修正して下さい。
12回	**授業テーマ：第２章の書き方** 授業内容：実証研究における仮説の立て方や事例研究における分析枠組みの設定方法、および調査の仕方について学びます。 事前学修 3.0hr：講義資料を確認して下さい。 事後学修 4.0hr：第２章をどのように書くか検討して下さい。	27回	**授業テーマ：卒業論文の初稿の提出と確認** 授業内容：卒業論文の初稿を提出し、添削を受けます。 事前学修 3.0hr：卒業論文の初稿を完成させて下さい。 事後学修 4.0hr：添削を受けて、卒業論文を修正して下さい。
13回	**授業テーマ：第２章についての報告とディスカッション―グループA** 授業内容：第２章について報告し、仮説や分析枠組み、調査方法の妥当性について検討します。 事前学修 3.0hr：第２章を報告する準備をして下さい。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを振り返り、第２章を再検討して下さい。	28回	**授業テーマ：卒業論文報告会の方法** 授業内容：卒業論文報告会での報告内容や報告資料の作成方法について学びます。 事前学修 3.0hr：講義資料を確認して下さい。 事後学修 4.0hr：卒業論文報告会で報告する内容を検討し、資料にまとめて下さい。
14回	**授業テーマ：第２章についての報告とディスカッション―グループB** 授業内容：第２章について報告し、仮説や分析枠組み、調査方法の妥当性について検討します。 事前学修 3.0hr：第２章を報告する準備をして下さい。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを振り返り、第２章を再検討して下さい。	29回	**授業テーマ：卒業論文報告会** 授業内容：卒業論文報告会で自分の卒業論文のテーマと独自性、分析方法、分析結果と考察、および今後の研究課題について報告します。 事前学修 3.0hr：卒業論文報告会で報告する準備をして下さい。 事後学修 4.0hr：卒業論文報告会でのコメントを振り返り、卒業論文を修正して下さい。
15回	**授業テーマ：第２章についての報告とディスカッション―グループC** 授業内容：第２章について報告し、仮説や分析枠組み、調査方法の妥当性について検討します。 事前学修 3.0hr：第２章を報告する準備をして下さい。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを振り返り、第２章を再検討して下さい。	30回	**授業テーマ：卒業論文の完成稿の提出** 授業内容：卒業論文の完成稿を提出します。 事前学修 3.0hr：卒業論文を完成させて下さい。 事後学修 4.0hr：これまで学んだことをふりかえり、KPT を考えて下さい。

専門ゼミ２(卒業論文を含む。)

開講学科等：経　｜　4 年次　｜　6 単位　｜　開講期：通

小黒　曜子 (おぐろ　ようこ)

▌授業の概要

１年間かけて研究する(国際経済・国際金融に関する)卒業論文のテーマを各自見つけ、卒業研究を進める。卒業論文を作成する過程では、論理的な思考能力を養い、論文の書き方を学び、プレゼンテーション・スキルを磨くことを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：前年度よりも更に、現実の社会・経済問題に関心を持ち、論理的に考え、自分の見解を(経済学の理論とデータを用いて)表現できるようになること。

個別目標：１年間の研究成果を卒業論文としてまとめること。
研究の際には、現実の社会・経済問題に対して、多角的な視点を持ち、論理的に考えること、現実の社会・経済問題を、経済学の理論とデータを用いて分析すること、論理的な議論展開をすることを目標とする。
最後に、完成した卒業論文をプレゼンテーションする。

▌履修条件

①卒業論文に計画的に取り組むこと。
②ゼミにきちんと出席し、積極的に参加すること。
③経済ニュースに常に関心を持つこと。

▌評価基準・方法

ゼミへの参加状況、卒業論文への取り組み方、卒業論文の内容などを総合的に評価する(卒業論文 60%、平常点 40%)。卒業論文の評価は経済学部のルーブリックに基づいて行い、卒業論文を提出することが、評価の前提となる。また、5 分の 4 以上の出席を必要とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、講義、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （卒業論文の執筆過程のプレゼンテーション(報告)、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PPT 報告）

▌教科書

特に指定せず、適宜紹介する。

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：卒業論文の進め方についての講義 事前学修 3.0hr：卒業論文のテーマのリサーチ。日本経済新聞を読む。 事後学修 4.0hr：学習内容の復習。	16回	**授業テーマ：卒業論文の中間報告(3-1)・ディスカッション** 授業内容：報告担当者の報告、ゼミ生からのコメントに基づいてディスカッション 事前学修 3.0hr：卒業研究のデータ収集する。日本経済新聞を読む。中間報告準備。 事後学修 4.0hr：ゼミ参加者からのコメントをもとに修正。
2回	**授業テーマ：卒業論文のテーマの選び方について** 授業内容：卒業論文のテーマの選び方について再確認、ディスカッション 事前学修 3.0hr：指定された文献、日本経済新聞を読む。 事後学修 4.0hr：学習内容の復習。	17回	**授業テーマ：卒業論文の中間報告(3-2)・ディスカッション** 授業内容：報告担当者の報告、ゼミ生からのコメントに基づいてディスカッション 事前学修 3.0hr：卒業研究のデータ収集する。日本経済新聞を読む。中間報告準備。 事後学修 4.0hr：ゼミ参加者からのコメントをもとに修正。
3回	**授業テーマ：卒業論文テーマの報告 (1-1)** 授業内容：報告担当者の報告、ゼミ生からのコメントに基づいてディスカッション 事前学修 3.0hr：卒業研究のための文献、日本経済新聞を読む。中間報告準備。 事後学修 4.0hr：ゼミ参加者からのコメントをもとに修正。	18回	**授業テーマ：卒業論文の中間報告(3-3)・ディスカッション** 授業内容：報告担当者の報告、ゼミ生からのコメントに基づいてディスカッション 事前学修 3.0hr：卒業研究のデータ収集する。日本経済新聞を読む。中間報告準備。 事後学修 4.0hr：ゼミ参加者からのコメントをもとに修正。
4回	**授業テーマ：卒業論文テーマの報告 (1-2)** 授業内容：報告担当者の報告、ゼミ生からのコメントに基づいてディスカッション 事前学修 3.0hr：卒業研究のための文献、日本経済新聞を読む。中間報告準備。 事後学修 4.0hr：ゼミ参加者からのコメントをもとに修正。	19回	**授業テーマ：卒業論文の書き方について(３)** 授業内容：引用方法についての確認 事前学修 3.0hr：卒業研究の作業を進める。日本経済新聞を読む。中間報告準備。 事後学修 4.0hr：学習内容の復習。
5回	**授業テーマ：卒業論文の書き方について** 授業内容：卒業論文の具体的な執筆方法について確認、先輩の卒論を参照 事前学修 3.0hr：卒業研究のための文献、日本経済新聞を読む。中間報告準備。 事後学修 4.0hr：学習内容の復習。	20回	**授業テーマ：卒業論文の中間報告(4-1)・ディスカッション** 授業内容：報告担当者の報告、ゼミ生からのコメントに基づいてディスカッション 事前学修 3.0hr：卒業研究の作業を進める。日本経済新聞を読む。中間報告準備。 事後学修 4.0hr：ゼミ参加者からのコメントをもとに修正。
6回	**授業テーマ：卒業論文テーマの報告 (2-1)** 授業内容：報告担当者の報告、ゼミ生からのコメントに基づいてディスカッション 事前学修 3.0hr：卒業研究のための文献、日本経済新聞を読む。中間報告準備。 事後学修 4.0hr：学習内容の復習。	21回	**授業テーマ：卒業論文の中間報告(4-2)・ディスカッション** 授業内容：報告担当者の報告、ゼミ生からのコメントに基づいてディスカッション 事前学修 3.0hr：卒業研究の作業を進める。日本経済新聞を読む。中間報告準備。 事後学修 4.0hr：ゼミ参加者からのコメントをもとに修正。
7回	**授業テーマ：卒業論文テーマの報告 (2-2)** 授業内容：報告担当者の報告、ゼミ生からのコメントに基づいてディスカッション 事前学修 3.0hr：卒業研究のための文献、日本経済新聞を読む。中間報告準備。 事後学修 4.0hr：ゼミ参加者からのコメントをもとに修正。	22回	**授業テーマ：卒業論文の中間報告(4-3)・ディスカッション** 授業内容：報告担当者の報告、ゼミ生からのコメントに基づいてディスカッション 事前学修 3.0hr：卒業研究の作業を進める。日本経済新聞を読む。中間報告準備。 事後学修 4.0hr：ゼミ参加者からのコメントをもとに修正。
8回	**授業テーマ：ディベート** 授業内容：卒業論文テーマに関連したディベートにより、テーマへの理解を深める。 事前学修 3.0hr：卒業研究のための文献、日本経済新聞を読む。ディベート準備。 事後学修 4.0hr：ゼミ参加者からのコメントをもとに復習。	23回	**授業テーマ：卒業論文の書き方について(４)** 授業内容：卒業論文を正しい方向性で進められているか最終確認 事前学修 3.0hr：卒業研究の作業を進める。日本経済新聞を読む。中間報告準備。 事後学修 4.0hr：学習内容の復習。
9回	**授業テーマ：ディベート** 授業内容：卒業論文テーマに関連したディベートにより、テーマへの理解を深める。 事前学修 3.0hr：卒業研究のための文献、日本経済新聞を読む。ディベート準備。 事後学修 4.0hr：ゼミ参加者からのコメントをもとに復習。	24回	**授業テーマ：卒業論文の中間報告(最終-1)・ディスカッション** 授業内容：報告担当者の報告、ゼミ生からのコメントに基づいてディスカッション 事前学修 3.0hr：卒業研究の作業を進める。日本経済新聞を読む。中間報告準備。 事後学修 4.0hr：ゼミ参加者からのコメントをもとに修正。
10回	**授業テーマ：卒業論文の中間報告(1-1)・ディスカッション** 授業内容：報告担当者の報告、ゼミ生からのコメントに基づいてディスカッション 事前学修 3.0hr：卒業研究のための文献、日本経済新聞を読む。中間報告準備。 事後学修 4.0hr：ゼミ参加者からのコメントをもとに修正。	25回	**授業テーマ：卒業論文の中間報告(最終-2)・ディスカッション** 授業内容：報告担当者の報告、ゼミ生からのコメントに基づいてディスカッション 事前学修 3.0hr：卒業研究の作業を進める。日本経済新聞を読む。中間報告準備。 事後学修 4.0hr：ゼミ参加者からのコメントをもとに修正。

11回	**授業テーマ：卒業論文の中間報告(1-2)・ディスカッション** 授業内容：報告担当者の報告、ゼミ生からのコメントに基づいてディスカッション 事前学修 3.0hr：卒業研究のための文献、日本経済新聞を読む。中間報告準備。 事後学修 4.0hr：ゼミ参加者からのコメントをもとに修正。	26回	**授業テーマ：卒業論文の中間報告(最終-3)・ディスカッション** 授業内容：報告担当者の報告、ゼミ生からのコメントに基づいてディスカッション 事前学修 3.0hr：卒業研究の作業を進める。日本経済新聞を読む。中間報告準備。 事後学修 4.0hr：ゼミ参加者からのコメントをもとに修正。
12回	**授業テーマ：卒業論文の中間報告(1-3)・ディスカッション** 授業内容：報告担当者の報告、ゼミ生からのコメントに基づいてディスカッション 事前学修 3.0hr：卒業研究のための文献、日本経済新聞を読む。中間報告準備。 事後学修 4.0hr：ゼミ参加者からのコメントをもとに修正。	27回	**授業テーマ：卒業論文の中間報告(最終-4)・ディスカッション** 授業内容：報告担当者の報告、ゼミ生からのコメントに基づいてディスカッション 事前学修 3.0hr：卒業研究の作業を進める。日本経済新聞を読む。中間報告準備。 事後学修 4.0hr：ゼミ参加者からのコメントをもとに修正。
13回	**授業テーマ：卒業論文の中間報告(2-1)・ディスカッション** 授業内容：報告担当者の報告、ゼミ生からのコメントに基づいてディスカッション 事前学修 3.0hr：卒業研究のデータ収集する。日本経済新聞を読む。中間報告準備。 事後学修 4.0hr：ゼミ参加者からのコメントをもとに修正。	28回	**授業テーマ：卒業論文最終プレゼンテーション (1)** 授業内容：報告担当者の報告、ゼミ生からのコメントに基づいてディスカッション 事前学修 3.0hr：卒業研究の作業を進める。日本経済新聞を読む。最終報告準備。 事後学修 4.0hr：ゼミ参加者からのコメントをもとに卒業論文を完成させる。
14回	**授業テーマ：卒業論文の中間報告(2-2)・ディスカッション** 授業内容：報告担当者の報告、ゼミ生からのコメントに基づいてディスカッション 事前学修 3.0hr：卒業研究のデータ収集する。日本経済新聞を読む。中間報告準備。 事後学修 4.0hr：ゼミ参加者からのコメントをもとに修正。	29回	**授業テーマ：卒業論文最終プレゼンテーション (2)** 授業内容：報告担当者の報告、ゼミ生からのコメントに基づいてディスカッション 事前学修 3.0hr：卒業研究の作業を進める。日本経済新聞を読む。最終報告準備。 事後学修 4.0hr：ゼミ参加者からのコメントをもとに卒業論文を完成させる。
15回	**授業テーマ：卒業論文の中間報告(2-3)・ディスカッション** 授業内容：報告担当者の報告、ゼミ生からのコメントに基づいてディスカッション 事前学修 3.0hr：卒業研究のデータ収集する。日本経済新聞を読む。中間報告準備。 事後学修 4.0hr：ゼミ参加者からのコメントをもとに修正。	30回	**授業テーマ：卒業論文最終プレゼンテーション (3)** 授業内容：報告担当者の報告、ゼミ生からのコメントに基づいてディスカッション 事前学修 3.0hr：卒業研究の作業を進める。日本経済新聞を読む。最終報告準備。 事後学修 4.0hr：ゼミ参加者からのコメントをもとに卒業論文を完成させる。

専門ゼミ２(卒業論文を含む。)

開講学科等：経　｜　4 年次　｜　6 単位　｜　開講期：通

影山　純二（かげやま　じゅんじ）

▌授業の概要

本演習は幸福度について学習し、学んだことを実践します。まず幸福度研究の知識を身につけ、その成果を社会に還元するとともに、卒業論文を作成します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：社会を少し幸せにする

個別目標：(1) 幸福度研究について理解する
(2) 学んだことを成果として出力する
(3) 幸福度研究に関するデータセットについて理解する

▌履修条件

なし

▌評価基準・方法

卒論 (口頭報告含む)60 %、平常点 40 %。課題及び定期試験のフィードバックは、授業中に行う。

▌フィードバック方法

随時、口頭で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッションへの積極的な参加を期待します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レポート作成に必要。）

▌教科書

３年次の教科書を引き続き利用。

▌参考書

随時紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：ガイダンス 事前学修 3.0hr：春論文発表準備 事後学修 4.0hr：春論文発表準備	16 回	**授業テーマ：ゼミレポート作成：テーマ検討** 授業内容：ゼミレポート作成：テーマ検討 事前学修 3.0hr：自分なりにテーマを選択しておく 事後学修 4.0hr：グループとしてテーマ決定
2 回	**授業テーマ：春論文報告 1** 授業内容：春論文の報告とディスカッション 1 事前学修 3.0hr：春論文発表準備 事後学修 4.0hr：ディスカッションに基づいて内容修正	17 回	**授業テーマ：ゼミレポート作成：アウトライン作成** 授業内容：ゼミレポート作成：アウトライン作成 事前学修 3.0hr：自分なりにアウトラインを作成しておく 事後学修 4.0hr：グループとしてアウトライン作成
3 回	**授業テーマ：春論文報告 2** 授業内容：春論文の報告とディスカッション 2 事前学修 3.0hr：春論文発表準備 事後学修 4.0hr：ディスカッションに基づいて内容修正	18 回	**授業テーマ：ゼミレポート作成：内容作成 1** 授業内容：ゼミレポート作成：内容作成 1 事前学修 3.0hr：ゼミレポート作成準備 事後学修 4.0hr：ゼミレポート内容修正
4 回	**授業テーマ：春論文報告 3** 授業内容：春論文の報告とディスカッション 3 事前学修 3.0hr：春論文発表準備 事後学修 4.0hr：ディスカッションに基づいて内容修正	19 回	**授業テーマ：ゼミレポート作成：内容作成 2** 授業内容：ゼミレポート作成：内容作成 2 事前学修 3.0hr：ゼミレポート完成 事後学修 4.0hr：ゼミレポート発表準備
5 回	**授業テーマ：輪読 1** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 3.0hr：輪読報告準備 事後学修 4.0hr：ディスカッションの内容を元に、自分の考えを整理	20 回	**授業テーマ：ゼミレポート発表** 授業内容：ゼミレポート発表とディスカッション 事前学修 3.0hr：ゼミレポート発表準備 事後学修 4.0hr：ゼミレポート内容修正
6 回	**授業テーマ：輪読 2** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 3.0hr：輪読報告準備 事後学修 4.0hr：輪読報告準備	21 回	**授業テーマ：卒論作成：テーマ決定** 授業内容：卒論作成：テーマ決定 事前学修 3.0hr：テーマを選択しておく 事後学修 4.0hr：テーマの再検討
7 回	**授業テーマ：輪読 3** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 3.0hr：輪読報告準備 事後学修 4.0hr：ディスカッションの内容を元に、自分の考えを整理	22 回	**授業テーマ：卒論発表準備：アウトライン作成** 授業内容：卒論発表準備：アウトライン作成 事前学修 3.0hr：アウトライン作成準備 事後学修 4.0hr：アウトライン再検討
8 回	**授業テーマ：輪読 4** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 3.0hr：輪読報告準備 事後学修 4.0hr：ディスカッションの内容を元に、自分の考えを整理	23 回	**授業テーマ：卒論発表準備：内容作成** 授業内容：卒論発表準備：内容作成 事前学修 3.0hr：内容作成準備 事後学修 4.0hr：内容再検討
9 回	**授業テーマ：輪読 5** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 3.0hr：輪読報告準備 事後学修 4.0hr：ディスカッションの内容を元に、自分の考えを整理	24 回	**授業テーマ：卒論発表 1** 授業内容：卒論発表とディスカッション 事前学修 3.0hr：発表準備 事後学修 4.0hr：ディスカッションに基づいて内容修正
10 回	**授業テーマ：輪読 6** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 3.0hr：輪読報告準備 事後学修 4.0hr：輪読報告準備	25 回	**授業テーマ：卒論発表 2** 授業内容：卒論発表とディスカッション 事前学修 3.0hr：発表準備 事後学修 4.0hr：ディスカッションに基づいて内容修正
11 回	**授業テーマ：輪読 7** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 3.0hr：輪読報告準備 事後学修 4.0hr：ディスカッションの内容を元に、自分の考えを整理	26 回	**授業テーマ：卒論報告 3** 授業内容：卒論発表とディスカッション 事前学修 3.0hr：発表準備 事後学修 4.0hr：ディスカッションに基づいて内容修正

12回	**授業テーマ：輪読 8** 授業内容：輪読報告とディスカッション 事前学修 3.0hr：輪読報告準備 事後学修 4.0hr：ディスカッションの内容を元に、自分の考えを整理	27回	**授業テーマ：卒論報告 4** 授業内容：卒論発表とディスカッション 事前学修 3.0hr：発表準備 事後学修 4.0hr：ディスカッションに基づいて内容修正
13回	**授業テーマ：卒論テーマ報告 1** 授業内容：卒論テーマの報告とディスカッション 事前学修 3.0hr：卒論テーマ報告準備 事後学修 4.0hr：ディスカッションの内容を元に、テーマを再検討	28回	**授業テーマ：卒論文章作成 1** 授業内容：卒論様式に文章を整理 事前学修 3.0hr：卒論作成 事後学修 4.0hr：卒論修正
14回	**授業テーマ：卒論テーマ報告 2** 授業内容：卒論テーマの報告とディスカッション 事前学修 3.0hr：卒論テーマ報告準備 事後学修 4.0hr：ディスカッションの内容を元に、テーマを再検討	29回	**授業テーマ：卒論文章作成 2** 授業内容：卒論様式に文章を整理 事前学修 3.0hr：卒論作成 事後学修 4.0hr：卒論修正
15回	**授業テーマ：卒論テーマ報告 3** 授業内容：卒論テーマの報告とディスカッション 事前学修 3.0hr：卒論テーマ報告準備 事後学修 4.0hr：ディスカッションの内容を元に、テーマを再検討	30回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：各自の卒論についてディスカッション 事前学修 3.0hr：卒論完成 事後学修 4.0hr：ディスカッションに基づいて、卒論を振り返る

専門ゼミ２(卒業論文を含む。)

開講学科等：経　｜　4 年次　｜　6 単位　｜　開講期：通

蟹澤　啓輔（かにさわ　けいすけ）

▌授業の概要

本ゼミでは日本経済の現状認識を深め日本経済に対する自身の問題意識を培うとともに、統計や計量経済学に関する講義と実践演習によって経済的な実証分析を行う力を身に着けるために、文献の輪読や新聞記事の閲覧、ディスカッション、実証分析の演習などを行い、問題意識や実証分析の結果を自分の言葉で文章にまとめるグループワークを行う。なお、授業の中で興味のある学生がいれば企業の分析についても取り上げていく。
専門ゼミ２では、専門ゼミ１で学んだ日本経済の問題意識について、実証分析を行い、卒業論文を制作する。卒業論文についても段階的に授業の中で発表を行い、ディスカッションを通して内容を深めていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：日本経済に対する問題意識を持ち、経済的な実証分析を行うことができ、論文を制作することができる力を身につける。
個別目標：日本経済の現状認識を深める。経済的な実証分析に関する理論を理解し、実証分析ツールを使えるようになる。
　　論文制作に必要な知識と実践を行えるようになる。

▌履修条件

統計学入門または経済統計論、計量経済学を履修済みか、並行履修することが望ましい。

▌評価基準・方法

卒論 60 %・平常点 40 %(授業への貢献、レポート等を総合的に評価する)

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、基本的に学修支援システム(manaba)を通して行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （文献や新聞記事を基に双方向のディスカッションを行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パソコンを用いた実証分析の演習を行う）

▌教科書

第 1 回目の授業で指示する

▌参考書

第 1 回目の授業で指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、年間計画について** 授業内容：シラバスの概要を説明するとともに、授業の年間計画について説明します。 事前学修 3.0hr：この 1 年でなにを学びたいかを考える。 事後学修 4.0hr：ゼミの分担を確認し、個別の計画を考える。	16回	**授業テーマ：ガイダンス、後期計画について** 授業内容：後期の授業計画について説明する 事前学修 3.0hr：後期の計画について考える。 事後学修 4.0hr：ゼミの分担を確認し、個別の計画を考える。
2回	**授業テーマ：卒業論文のテーマ決定①** 授業内容：卒業論文のテーマを考え、教員や他のゼミメンバーとディスカッションする 事前学修 3.0hr：卒業論文のテーマに関連する情報についてインターネットや新聞を探す。 事後学修 4.0hr：授業で扱った内容についてインターネットの情報や参考書などの文献を調べ、自分の考えをまとめる。	17回	**授業テーマ：卒業論文の方向性の検討①** 授業内容：卒業論文の方向性について、教員や他のゼミメンバーとディスカッションする 事前学修 3.0hr：授業に関連する情報についてインターネットや新聞を探す。 事後学修 4.0hr：授業で扱った内容についてインターネットの情報や参考書などの文献を調べ、自分の考えをまとめる。
3回	**授業テーマ：卒業論文のテーマ決定②** 授業内容：卒業論文のテーマを考え、教員や他のゼミメンバーとディスカッションする 事前学修 3.0hr：卒業論文のテーマに関連する情報についてインターネットや新聞を探す。 事後学修 4.0hr：授業で扱った内容についてインターネットの情報や参考書などの文献を調べ、自分の考えをまとめる。	18回	**授業テーマ：卒業論文の方向性の検討②** 授業内容：卒業論文の方向性について、教員や他のゼミメンバーとディスカッションする 事前学修 3.0hr：授業に関連する情報についてインターネットや新聞を探す。 事後学修 4.0hr：授業で扱った内容についてインターネットの情報や参考書などの文献を調べ、自分の考えをまとめる。
4回	**授業テーマ：卒業論文のアウトラインの設計** 授業内容：卒業論文のアウトラインを考える 事前学修 3.0hr：授業に関連する情報についてインターネットや新聞を探す。 事後学修 4.0hr：授業で扱った内容についてインターネットの情報や参考書などの文献を調べ、自分の考えをまとめる。	19回	**授業テーマ：卒業論文の方向性の検討③** 授業内容：卒業論文の方向性について、教員や他のゼミメンバーとディスカッションする 事前学修 3.0hr：授業に関連する情報についてインターネットや新聞を探す。 事後学修 4.0hr：授業で扱った内容についてインターネットの情報や参考書などの文献を調べ、自分の考えをまとめる。
5回	**授業テーマ：卒業論文の序論の検討** 授業内容：卒業論文の序論を考える 事前学修 3.0hr：授業に関連する情報についてインターネットや新聞を探す。 事後学修 4.0hr：授業で扱った内容についてインターネットの情報や参考書などの文献を調べ、自分の考えをまとめる。	20回	**授業テーマ：卒業論文の中間発表①** 授業内容：現時点の研究内容について発表し、教員や他のゼミメンバーとディスカッションする 事前学修 3.0hr：発表準備を行う。 事後学修 4.0hr：授業で扱った内容についてインターネットの情報や参考書などの文献を調べ、自分の考えをまとめる。
6回	**授業テーマ：先行研究の探し方** 授業内容：先行研究の探し方について説明します 事前学修 3.0hr：授業に関連する情報についてインターネットや新聞を探す。 事後学修 4.0hr：授業で扱った内容についてインターネットの情報や参考書などの文献を調べ、自分の考えをまとめる。	21回	**授業テーマ：卒業論文の中間発表②** 授業内容：現時点の研究内容について発表し、教員や他のゼミメンバーとディスカッションする 事前学修 3.0hr：発表準備を行う。 事後学修 4.0hr：授業で扱った内容についてインターネットの情報や参考書などの文献を調べ、自分の考えをまとめる。
7回	**授業テーマ：先行研究の調査①** 授業内容：先行研究の調査演習 事前学修 3.0hr：授業に関連する情報についてインターネットや新聞を探す。 事後学修 4.0hr：授業で扱った内容についてインターネットの情報や参考書などの文献を調べ、自分の考えをまとめる。	22回	**授業テーマ：卒業論文の中間発表③** 授業内容：現時点の研究内容について発表し、教員や他のゼミメンバーとディスカッションする 事前学修 3.0hr：発表準備を行う。 事後学修 4.0hr：授業で扱った内容についてインターネットの情報や参考書などの文献を調べ、自分の考えをまとめる。

8回	**授業テーマ：先行研究の調査②** 授業内容：先行研究の調査演習 事前学修 3.0hr：授業に関連する情報についてインターネットや新聞を探す。 事後学修 4.0hr：授業で扱った内容についてインターネットの情報や参考書などの文献を調べ、自分の考えをまとめる。	23回	**授業テーマ：データの分析結果のまとめ①** 授業内容：データの分析結果をまとめる 事前学修 3.0hr：授業に関連する情報についてインターネットや新聞を探す。 事後学修 4.0hr：授業で扱った内容についてパソコンを使って復習する。
9回	**授業テーマ：先行研究の調査③** 授業内容：先行研究の調査演習 事前学修 3.0hr：授業に関連する情報についてインターネットや新聞を探す。 事後学修 4.0hr：授業で扱った内容についてインターネットの情報や参考書などの文献を調べ、自分の考えをまとめる。	24回	**授業テーマ：データの分析結果のまとめ②** 授業内容：データの分析結果をまとめる 事前学修 3.0hr：授業に関連する情報についてインターネットや新聞を探す。 事後学修 4.0hr：授業で扱った内容についてパソコンを使って復習する。
10回	**授業テーマ：卒業論文のアウトラインの発表①** 授業内容：卒業論文のアウトラインを発表し、教員や他のゼミメンバーとディスカッションする 事前学修 3.0hr：発表の準備を行う。 事後学修 4.0hr：授業で扱った内容についてインターネットの情報や参考書などの文献を調べ、自分の考えをまとめる。	25回	**授業テーマ：卒業論文の結論のまとめ①** 授業内容：卒業論文の結論をまとめる 事前学修 3.0hr：授業に関連する情報についてインターネットや新聞を探す。 事後学修 4.0hr：卒業論文を制作する。
11回	**授業テーマ：卒業論文のアウトラインの発表②** 授業内容：卒業論文のアウトラインを発表し、教員や他のゼミメンバーとディスカッションする 事前学修 3.0hr：発表の準備を行う。 事後学修 4.0hr：授業で扱った内容についてインターネットの情報や参考書などの文献を調べ、自分の考えをまとめる。	26回	**授業テーマ：卒業論文の結論のまとめ②** 授業内容：卒業論文の結論をまとめる 事前学修 3.0hr：授業に関連する情報についてインターネットや新聞を探す。 事後学修 4.0hr：卒業論文を制作する。
12回	**授業テーマ：データの収集と実証分析手法の検討①** 授業内容：卒業論文におけるデータの収集と実証分析手法を検討する 事前学修 3.0hr：事前にパソコンの操作方法を確認する。 事後学修 4.0hr：授業で扱った内容についてパソコンを使って復習する。	27回	**授業テーマ：卒業論文の発表①** 授業内容：卒業論文について発表し、教員や他のゼミメンバーとディスカッションする 事前学修 3.0hr：発表準備を行う。 事後学修 4.0hr：授業で扱った内容についてインターネットの情報や参考書などの文献を調べ、自分の考えをまとめる。
13回	**授業テーマ：データの収集と実証分析手法の検討②** 授業内容：卒業論文におけるデータの収集と実証分析手法を検討する 事前学修 3.0hr：事前にパソコンの操作方法を確認する。 事後学修 4.0hr：授業で扱った内容についてパソコンを使って復習する。	28回	**授業テーマ：卒業論文の発表②** 授業内容：卒業論文について発表し、教員や他のゼミメンバーとディスカッションする 事前学修 3.0hr：発表準備を行う。 事後学修 4.0hr：授業で扱った内容についてインターネットの情報や参考書などの文献を調べ、自分の考えをまとめる。
14回	**授業テーマ：実証分析の実施** 授業内容：実証分析を実施する 事前学修 3.0hr：事前にパソコンの操作方法を確認する。 事後学修 4.0hr：授業で扱った内容についてパソコンを使って復習する。	29回	**授業テーマ：卒業論文の発表③** 授業内容：卒業論文について発表し、教員や他のゼミメンバーとディスカッションする 事前学修 3.0hr：発表準備を行う。 事後学修 4.0hr：授業で扱った内容についてインターネットの情報や参考書などの文献を調べ、自分の考えをまとめる。
15回	**授業テーマ：前期のまとめ、後期計画について** 授業内容：前期のまとめを行うとともに、後期計画について考える 事前学修 3.0hr：前期の授業の内容を復習する。 事後学修 4.0hr：夏季休暇や後期の計画を立てる	30回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：授業のまとめを行う 事前学修 3.0hr：年間の授業の内容を復習する。 事後学修 4.0hr：卒業後の計画を考える。

専門ゼミ２(卒業論文を含む。)

開講学科等：経　｜　4 年次　｜　6 単位　｜　開講期：通

工藤　克宜（くどう　かつのり）

▌授業の概要

本ゼミでは、専門ゼミ１で扱った「日本の財政・税制」に関連するテーマをはじめ、各自が関心を持ったテーマを選定の上、リサーチの計画を立案し、「足を動かして」分析・検討を行い卒業論文を作成する。その際、ゼミでの中間報告を行い議論を深め、気付きを得て卒業論文に反映させる。また、研究成果のプレゼンテーションを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：各自が選定したテーマについて、リサーチを行い卒業論文を作成することを通じて、リサーチの能力を涵養するとともに課題への対応力を高める。

個別目標：①研究の方法論を理解する。
②各自のテーマについて深慮しリサーチの上、卒業論文を作成することができる。
③研究成果を説明することができる。
④他者の意見を聴き気付きを得ることができる。

▌履修条件

専門ゼミ１(担当教員：工藤克宜)を履修し、単位を修得した者。

▌評価基準・方法

卒業論文：60 %　平常点：40 %

▌フィードバック方法

ゼミ及び学修支援システム manaba を通じて随時行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （情報収集・分析、資料作成、卒業論文作成、プレゼンテーション）

▌教科書

なし

▌参考書

伊藤修一郎『政策リサーチ入門　増補版』東京大学出版会、2022 年
ほか、随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：ガイダンス、テーマ選定、研究計画書の作成 事前学修 3.0hr：テーマの選定、研究計画書の作成 事後学修 4.0hr：研究計画書の更新	16回	**授業テーマ：入手したデータ等の分析** 授業内容：データ等の分析・考察を進める。 事前学修 3.0hr：データ等の分析を進める。 事後学修 4.0hr：ゼミ内容を踏まえ考察を進める。
2回	**授業テーマ：研究計画書の作成、担当教員との個別面談** 授業内容：研究計画書を作成し、担当教員との個別面談を通じてリサーチの手順を整理する。 面談のない学生は、各自研究計画書の更新、計画に沿った文献リサーチを進める。 事前学修 3.0hr：研究計画書の更新、文献リサーチ 事後学修 4.0hr：研究計画書の更新、文献リサーチ	17回	**授業テーマ：分析、考察を卒業論文にまとめる** 授業内容：分析、考察した内容を卒業論文にまとめる。 事前学修 3.0hr：考察を論文にまとめる。 事後学修 4.0hr：ゼミを踏まえて卒業論文を書き進める。
3回	**授業テーマ：担当教員との個別面談、文献リサーチ** 授業内容：研究計画書を作成し、担当教員との個別面談を通じてリサーチの手順を整理する。 面談のない学生は、各自研究計画書の更新、計画に沿った文献リサーチを進める。 事前学修 3.0hr：研究計画書の更新、文献リサーチ 事後学修 4.0hr：研究計画書の更新、文献リサーチ	18回	**授業テーマ：担当教員との個別面談①** 授業内容：担当教員との個別面談を実施する。 面談のない学生は、卒業論文の執筆を進める。 事前学修 3.0hr：卒業論文の執筆 事後学修 4.0hr：個別面談を踏まえ、卒業論文を書き進める。
4回	**授業テーマ：担当教員との個別面談、文献リサーチ** 授業内容：研究計画書を作成し、担当教員との個別面談を通じてリサーチの手順を整理する。 面談のない学生は、各自研究計画書の更新、計画に沿った文献リサーチを進める。 事前学修 3.0hr：研究計画書の更新、文献リサーチ 事後学修 4.0hr：研究計画書の更新、文献リサーチ	19回	**授業テーマ：担当教員との個別面談②** 授業内容：担当教員との個別面談を実施する。 面談のない学生は、卒業論文の執筆を進める。 事前学修 3.0hr：卒業論文の執筆 事後学修 4.0hr：個別面談を踏まえ、卒業論文を書き進める。
5回	**授業テーマ：担当教員との個別面談、文献リサーチ** 授業内容：研究計画書を作成し、担当教員との個別面談を通じてリサーチの手順を整理する。 面談のない学生は、各自研究計画書の更新、計画に沿った文献リサーチを進める。 事前学修 3.0hr：研究計画書の更新、文献リサーチ 事後学修 4.0hr：研究計画書の更新、文献リサーチ	20回	**授業テーマ：担当教員との個別面談③** 授業内容：担当教員との個別面談を実施する。 面談のない学生は、卒業論文の執筆を進める。 事前学修 3.0hr：卒業論文の執筆 事後学修 4.0hr：個別面談を踏まえ、卒業論文を書き進める。
6回	**授業テーマ：研究計画書及び進捗状況の発表①** 授業内容：研究計画書及び進捗状況を発表しディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：発表準備、他のゼミ生資料の事前学習 事後学修 4.0hr：発表を踏まえて研究計画書の更新、文献リサーチ	21回	**授業テーマ：担当教員との個別面談④** 授業内容：担当教員との個別面談を実施する。 面談のない学生は、卒業論文の執筆を進める。 事前学修 3.0hr：卒業論文の執筆 事後学修 4.0hr：個別面談を踏まえ、卒業論文を書き進める。
7回	**授業テーマ：研究計画書及び進捗状況の発表②** 授業内容：研究計画書及び進捗状況を発表しディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：発表準備、他のゼミ生資料の事前学習 事後学修 4.0hr：発表を踏まえて研究計画書の更新、文献リサーチ	22回	**授業テーマ：卒業論文完成に向けた検討会①** 授業内容：2,3 名ずつのグループに分かれ、現段階の他者の卒業論文(全文)についてコメントし合う。 事前学修 3.0hr：検討会に向け卒業論文執筆を進める。 事後学修 4.0hr：コメントを踏まえ卒業論文をブラッシュアップする。
8回	**授業テーマ：研究計画書及び進捗状況の発表③** 授業内容：研究計画書及び進捗状況を発表しディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：発表準備、他のゼミ生資料の事前学習 事後学修 4.0hr：発表を踏まえて研究計画書の更新、文献リサーチ	23回	**授業テーマ：卒業論文完成に向けた検討会②** 授業内容：2,3 名ずつのグループに分かれ、現段階の他者の卒業論文(全文)についてコメントし合う。 事前学修 3.0hr：検討会に向け卒業論文執筆を進める。 事後学修 4.0hr：コメントを踏まえ卒業論文をブラッシュアップする。

9回	**授業テーマ：研究計画書及び進捗状況の発表④** 授業内容：研究計画書及び進捗状況を発表しディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：発表準備、他のゼミ生資料の事前学習 事後学修 4.0hr：発表を踏まえて研究計画書の更新、文献リサーチ	24回	**授業テーマ：卒業論文のプレゼンテーション①** 授業内容：対象者は卒業論文のプレゼンテーションを行う。 事前学修 3.0hr：卒業論文を仕上げ、プレゼンテーションの準備をする。 事後学修 4.0hr：卒業論文を提出するための準備を行う。
10回	**授業テーマ：ゲストとの意見交換** 授業内容：ゲスト(行政機関の職員等)との意見交換 事前学修 3.0hr：ゼミの予習 事後学修 4.0hr：ゼミ内容、気付きのまとめ	25回	**授業テーマ：卒業論文のプレゼンテーション②** 授業内容：対象者は卒業論文のプレゼンテーションを行う。 事前学修 3.0hr：卒業論文を仕上げ、プレゼンテーションの準備をする。 事後学修 4.0hr：卒業論文を提出するための準備を行う。
11回	**授業テーマ：文献リサーチ(先行研究、最新情報などの収集・整理)** 授業内容：先行研究、最新情報などの収集・整理を進める。 事前学修 3.0hr：先行研究、最新情報などの収集・整理を進める。 事後学修 4.0hr：先行研究、最新情報などの収集・整理に基づき検討を加える。	26回	**授業テーマ：卒業論文のプレゼンテーション③** 授業内容：対象者は卒業論文のプレゼンテーションを行う。 事前学修 3.0hr：卒業論文を仕上げ、プレゼンテーションの準備をする。 事後学修 4.0hr：卒業論文を提出するための準備を行う。
12回	**授業テーマ：卒業論文の草稿作成** 授業内容：ここまでのリサーチについて卒業論文(前半部分)をまとめる。 事前学修 3.0hr：実際の卒業論文の形式に書き込んでみる。 事後学修 4.0hr：ゼミを踏まえて論文(前半部分)を作成する。	27回	**授業テーマ：卒業論文のプレゼンテーション④** 授業内容：対象者は卒業論文のプレゼンテーションを行う。 事前学修 3.0hr：卒業論文を仕上げ、プレゼンテーションの準備をする。 事後学修 4.0hr：卒業論文を提出するための準備を行う。
13回	**授業テーマ：卒業論文の草稿作成** 授業内容：ここまでのリサーチについて卒業論文(前半部分)をまとめる。 事前学修 3.0hr：実際の卒業論文の形式に書き込む。 事後学修 4.0hr：ゼミを踏まえて論文(前半部分)を作成する。	28回	**授業テーマ：学部卒業論文発表会の準備** 授業内容：学部卒業論文発表会の準備をする。 事前学修 3.0hr：卒業論文を仕上げ、学部卒業論文発表会の準備をする。 事後学修 4.0hr：発表会のコメント等を踏まえ、卒業論文を提出するための準備を行う。
14回	**授業テーマ：データ等取集の準備** 授業内容：分析に必要なデータ等収集の準備をする。 事前学修 3.0hr：研究計画書に基づき具体的なデータ等収集の準備をする。 事後学修 4.0hr：データ等の収集を実施する。	29回	**授業テーマ：卒業論文の最終校正** 授業内容：卒業論文の最終校正を行う。 事前学修 3.0hr：最終的な確認を行う。 事後学修 4.0hr：提出用卒業論文を作成する。
15回	**授業テーマ：前学期の総括** 授業内容：研究計画書の進捗状況の確認、夏季休暇及び後学期に取り組む研究の確認 事前学修 3.0hr：研究計画書の進捗状況、卒業論文草稿の状況を確認し、今後の計画をブラッシュアップする。 事後学修 4.0hr：ゼミ内容の復習	30回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：本ゼミの総括をする。 事前学修 3.0hr：卒業論文を提出し研究成果を総括する。 事後学修 4.0hr：2 年間のゼミ(プロセス)と研究成果を総括する。

専門ゼミ２(卒業論文を含む。)

開講学科等：経 ｜ 4 年次 ｜ 6 単位 ｜ 開講期：前 2

佐藤　崇章（さとう　たかあき）

▌授業の概要

演習のテーマ「近現代国際経済史」

18 世紀以降における主に西洋、ヨーロッパを中心とした歴史についての卒業論文の作成を目指す事を目的とする。国際未来社会に向けた近現代の歴史は、複雑化し、諸問題が山積している。本演習においては、この問題に対して学術的に問いを立て、解決の糸口を探るべく、研究資料のレジュメを作成し、発表を通じて、卒業論文の作成を目指す。その準備のために、最初に、論文の書き方や方法論に関する文献を輪読する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：演習では、「卒業論文」の発表・討議を通じて論文内容に対する認識を深める。自ら考え、ゼミ生とコミュニケーションをはかり、自分の考え方を明確にさせていく力を身につける。

個別目標：卒業論文の作成及び発表する能力を身につける。

(1) 情報を収集・整理して自ら歴史の課題を見つけるようになる。

(2) 自分の考えを論理的に構築できるようなる。

(3) 自分の考えを他人にプレゼンテーションできるようになる。

▌履修条件

卒業論文の中間報告をする。また、ゼミに出席して他人の卒業論文に対する討論に積極的に参加すること。

9 月に 3 年生に進級した 4 年生が主対象です。4 月進級の新 4 年生は履修できません。

▌評価基準・方法

ゼミの通常の報告・レジメの内容、討論の状況(50 %)、レポート(50 %)の結果を総合的に評価する。就職活動などでやむを得ず欠席する場合には、必ず事前に届け出ること。

▌フィードバック方法

レジュメ、レポートの確認をして、評価につなげる。

manaba を用いた授業資料の閲覧、課題の提出、事前・事後学修(反転流授業の推進)

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、討論を通じて、テーマの内容を深める。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （模範的な論文の問題意識、緒言の書き方等をプレゼンテーションソフトで紹介）

▌教科書

最初の授業にて紹介する。

▌参考書

授業の際、随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：前学期のゼミについてのガイダンス、「卒業論文」のテーマの発表** 授業内容：前学期のゼミについてのガイダンス、「卒業論文」のテーマの発表 事前学修 3.0hr：「卒業論文」のテーマを考える。 事後学修 4.0hr：「卒業論文」のテーマを選択した理由をまとめる。	16回	**授業テーマ：後学期のゼミについてのガイダンス(最終報告の説明)** 授業内容：後学期のゼミについてのガイダンス(最終報告の説明) 事前学修 3.0hr：「卒業論文」の最終報告に備える。 事後学修 4.0hr：「卒業論文」の最終報告をまとめる。
2回	**授業テーマ：「卒業論文」作成の説明** 授業内容：「卒業論文」作成の説明。問題の背景の説明、問いを立てるとはどういうことか等を説明する。 事前学修 3.0hr：「卒業論文」の構成をまとめる。 事後学修 4.0hr：「卒業論文」の構成をまとめなおす。	17回	**授業テーマ：「卒業論文」の最終報告(1)** 授業内容：「卒業論文」の最終報告(1) 事前学修 3.0hr：ゼミ生は質問・討論ために「卒業論文」のテーマについて調べる。 事後学修 4.0hr：今回の「卒業論文」のテーマについてまとめる。
3回	**授業テーマ：図書館・インターネットの情報収集について** 授業内容：図書館・インターネットの情報収集について説明する。著作権について、どこまで調べるかについて、先行研究の重要性について説明する。 事前学修 3.0hr：論文作成のための「著作権」について調べる。 事後学修 4.0hr：論文作成のために情報収集をする。	18回	**授業テーマ：「卒業論文」の最終報告(2)** 授業内容：「卒業論文」の最終報告(2) 事前学修 3.0hr：ゼミ生は質問・討論ために「卒業論文」のテーマについて調べる。 事後学修 4.0hr：今回の「卒業論文」のテーマについてまとめる。
4回	**授業テーマ：「論文」の卒業テーマと構成の報告(1)** 授業内容：「論文」の卒業テーマと構成の報告(1) 事前学修 3.0hr：「卒業論文」のテーマと構成を考える。 事後学修 4.0hr：「卒業論文」の序章をまとめる。	19回	**授業テーマ：「卒業論文」の最終報告(3)** 授業内容：「卒業論文」の最終報告(3) 事前学修 3.0hr：ゼミ生は質問・討論ために「卒業論文」のテーマについて調べる。 事後学修 4.0hr：今回の「卒業論文」のテーマについてまとめる。
5回	**授業テーマ：「卒業論文」のテーマと構成の報告(2)** 授業内容：「卒業論文」のテーマと構成の報告(2) 事前学修 3.0hr：「卒業論文」のテーマと構成を考える。 事後学修 4.0hr：「卒業論文」の序章をまとめる。	20回	**授業テーマ：「卒業論文」の最終報告(4)** 授業内容：「卒業論文」の最終報告(4) 事前学修 3.0hr：ゼミ生は質問・討論ために「卒業論文」のテーマについて調べる。 事後学修 4.0hr：今回の「卒業論文」のテーマについてまとめる。
6回	**授業テーマ：「卒業論文」のテーマと構成の報告(3)** 授業内容：「卒業論文」のテーマと構成の報告(3) 事前学修 3.0hr：「卒業論文」のテーマと構成を考える。 事後学修 4.0hr：「卒業論文」の序章をまとめる。	21回	**授業テーマ：「卒業論文」の最終報告(5)** 授業内容：「卒業論文」の最終報告(5) 事前学修 3.0hr：ゼミ生は質問・討論ために「卒業論文」のテーマについて調べる。 事後学修 4.0hr：今回の「卒業論文」のテーマについてまとめる。
7回	**授業テーマ：「卒業論文」の中間報告(1)** 授業内容：「卒業論文」の中間報告(1) 事前学修 3.0hr：ゼミ生は質問・討論ために「卒業論文」のテーマについて調べる。 事後学修 4.0hr：今回の「卒業論文」のテーマについてまとめる。	22回	**授業テーマ：「卒業論文」の最終報告(6)** 授業内容：「卒業論文」の最終報告(6) 事前学修 3.0hr：ゼミ生は質問・討論ために「卒業論文」のテーマについて調べる。 事後学修 4.0hr：今回の「卒業論文」のテーマについてまとめる。
8回	**授業テーマ：「卒業論文」の中間報告(2)** 授業内容：「卒業論文」の中間報告(2) 事前学修 3.0hr：ゼミ生は質問・討論ために「卒業論文」のテーマについて調べる。 事後学修 4.0hr：今回の「卒業論文」のテーマについてまとめる。	23回	**授業テーマ：「卒業論文」の最終報告(7)** 授業内容：「卒業論文」の最終報告(7) 事前学修 3.0hr：ゼミ生は質問・討論ために「卒業論文」のテーマについて調べる。 事後学修 4.0hr：今回の「卒業論文」のテーマについてまとめる。
9回	**授業テーマ：「卒業論文」の中間報告(3)** 授業内容：「卒業論文」の中間報告(3) 事前学修 3.0hr：ゼミ生は質問・討論ために「卒業論文」のテーマについて調べる。 事後学修 4.0hr：今回の「卒業論文」のテーマについてまとめる。	24回	**授業テーマ：「卒業論文」の最終報告(8)** 授業内容：「卒業論文」の最終報告(8) 事前学修 3.0hr：ゼミ生は質問・討論ために「卒業論文」のテーマについて調べる。 事後学修 4.0hr：今回の「卒業論文」のテーマについてまとめる。

10回	**授業テーマ：「卒業論文」の中間報告(4)** 授業内容：「卒業論文」の中間報告(4) 事前学修 3.0hr：ゼミ生は質問・討論ために「卒業論文」のテーマについて調べる。 事後学修 4.0hr：今回の「卒業論文」のテーマについてまとめる。	25回	**授業テーマ：「卒業論文」の最終報告(9)** 授業内容：「卒業論文」の最終報告(9) 事前学修 3.0hr：ゼミ生は質問・討論ために「卒業論文」のテーマについて調べる。 事後学修 4.0hr：今回の「卒業論文」のテーマについてまとめる。
11回	**授業テーマ：「卒業論文」の中間報告(5)** 授業内容：「卒業論文」の中間報告(5) 事前学修 3.0hr：ゼミ生は質問・討論ために「卒業論文」のテーマについて調べる。 事後学修 4.0hr：今回の「卒業論文」のテーマについてまとめる。	26回	**授業テーマ：「卒業論文」の最終報告(10)** 授業内容：「卒業論文」の最終報告(10) 事前学修 3.0hr：ゼミ生は質問・討論ために「卒業論文」のテーマについて調べる。 事後学修 4.0hr：今回の「卒業論文」のテーマについてまとめる。
12回	**授業テーマ：「卒業論文」の中間報告(6)** 授業内容：「卒業論文」の中間報告(6) 事前学修 3.0hr：ゼミ生は質問・討論ために「卒業論文」のテーマについて調べる。 事後学修 4.0hr：今回の「卒業論文」のテーマについてまとめる。	27回	**授業テーマ：「卒業論文」の最終報告(11)** 授業内容：「卒業論文」の最終報告(11) 事前学修 3.0hr：ゼミ生は質問・討論ために「卒業論文」のテーマについて調べる。 事後学修 4.0hr：今回の「卒業論文」のテーマについてまとめる。
13回	**授業テーマ：「卒業論文」の中間報告(7)** 授業内容：「卒業論文」の中間報告(7) 事前学修 3.0hr：ゼミ生は質問・討論ために「卒業論文」のテーマについて調べる。 事後学修 4.0hr：今回の「卒業論文」のテーマについてまとめる。	28回	**授業テーマ：「卒業論文」の最終報告(12)、「卒業論文」の提出** 授業内容：「卒業論文」の最終報告(12)、「卒業論文」の提出 事前学修 3.0hr：ゼミ生は質問・討論ために「卒業論文」のテーマについて調べる。 事後学修 4.0hr：今回の「卒業論文」のテーマについてまとめる。
14回	**授業テーマ：「卒業論文」の中間報告(8)** 授業内容：「卒業論文」の中間報告(8) 事前学修 3.0hr：ゼミ生は質問・討論ために「卒業論文」のテーマについて調べる。 事後学修 4.0hr：今回の「卒業論文」のテーマについてまとめる。	29回	**授業テーマ：「卒業論文」の最終報告(13)** 授業内容：「卒業論文」の最終報告(13) 事前学修 3.0hr：ゼミ生は質問・討論ために「卒業論文」のテーマについて調べる。 事後学修 4.0hr：今回の「卒業論文」のテーマについてまとめる。
15回	**授業テーマ：「卒業論文」の中間報告(9)、前学期ゼミ活動のまとめ** 授業内容：「卒業論文」の中間報告(9)、前学期ゼミ活動のまとめ 事前学修 3.0hr：ゼミ生は質問・討論ために「卒業論文」のテーマについて調べる。 事後学修 4.0hr：今回の「卒業論文」のテーマについてまとめる。	30回	**授業テーマ：2 年間のゼミ活動のまとめ** 授業内容：2 年間のゼミ活動のまとめ 事前学修 3.0hr：2 年間のゼミ活動について考える。 事後学修 4.0hr：2 年間のゼミ活動の総括をする。

専門ゼミ２(卒業論文を含む。)

開講学科等：経　｜　4 年次　｜　6 単位　｜　開講期：通

下田　直樹（しもだ　なおき）

▌授業の概要

４年生のこの専門ゼミ 2 では、基本的にボランティアや社会・地域貢献活動の延長線上に、現在、緊急の国際的課題として提起されている SDGs を取り上げ、調査・研究、場合によってはボランティア活動を実践する。ただし、3 年次には経営学や人的資源管理、また、ファイナンシャルプランナーの学修や研究をしていた学生がほとんどであるので、その学修や研究を継続し、その成果を卒業論文に纏め上げ、客観化することを目的としたい

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：　3 年次の専門ゼミからの学修・研究の継続とともに、本ゼミ固有のテーマである地域課題の発見と、その解決方法をみなさんと一緒に考えていきたい。実際にもボランティア等の活動も行うことで、地域貢献の意味と重要性を理解することが可能となる。また、今年度取り上げる SDGs も含め、ボランティア等について考えたことを纏め上げたい。

個別目標：「ボランティア」について自分なりの考えや意見を持つことができる。また、SDGs についても自分のこととして共感・理解し、その重要性や内容を卒業論文に纏め上げることができる。卒業後の将来のボランティア参加計画を立てることができる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

卒業論文(60 %)とゼミの取組み度合い(40 %)で総合的に評価する。なお、ゼミの成績は、報告・発表点および、可能な範囲でのフィールドワークやボランティア活動等への積極的な参加と貢献状況によって評価する。課題等のフィードバックは、都度、次回のゼミで行い、優秀なものは表彰する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、都度、次回のゼミで行い、優秀なものは表彰する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり　(重要テーマごとに適宜、グループ(チーム)等をつくらせ、話し合わせてプレゼン(発表)させる)

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり　((グループ(チーム)ごとにノートパソコンを用意させ、プレゼン(発表)はパソコンを使って行う。))

▌教科書

特に指定せず、必要に応じて、関係資料等を配付する。

▌参考書

その都度、紹介・案内する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：テーマ、運営方法などの説明、自己紹介等** 授業内容：1 年間のゼミをどのように進めるのか。また、その運営体制をいかにするかなどを決める。 事前学修 3.0hr：ゼミへの期待ややりたいことを「振り返りシート」にまとめておく。 事後学修 4.0hr：授業の内容を「振り返りシート」にまとめておく。	16回	**授業テーマ：後学期のゼミ活動についての説明** 授業内容：後期のゼミの活動について説明する。また、卒論について説明する。 事前学修 3.0hr：各自、夏季休暇中の活動報告を準備しておく。 事後学修 4.0hr：各自、夏季休暇中の活動報告を準備しておく。
2回	**授業テーマ：3 年次からの学修・研究課題の継続ならびに、映像資料、新聞・雑誌等を使った SDGs について学修 1** 授業内容：3 年次からの学修・研究課題の継続ならびに、映像資料や新聞・雑誌記事を使った SDGs 学修。 事前学修 3.0hr：予め SDGs についてネットや雑誌等で調べておく。 事後学修 4.0hr：授業の内容を「振り返りシート」にまとめておく(次回のゼミで提出)。	17回	**授業テーマ：休暇中の学修・研究活動及びボランティア活動等の報告(第一弾)** 授業内容：各自、夏季休暇中の活動について報告(プレゼン)するとともに、意見交換と質疑応答を行う。 事前学修 3.0hr：各自、夏季休暇中の学修・研究活動及び活動報告書を作成する。 事後学修 4.0hr：授業中に受けたアドバイス等を「ワークシート」に整理しておく。
3回	**授業テーマ：3 年次からの学修・研究課題の継続ならびに、映像資料、新聞・雑誌等を使った SDGs について学修 2** 授業内容：3 年次からの学修・研究課題の継続ならびに、映像資料や新聞・雑誌記事を使った SDGs 学修。意見交換も行う。 事前学修 3.0hr：自身の学修・研究課題と併せて、SDGs について、引き続き、ネットや雑誌等で調べ、ゼミで発言できるようにしておく。 事後学修 4.0hr：授業の内容を「振り返りシート」にまとめておく(次回のゼミで提出)。	18回	**授業テーマ：休暇中の学修・研究活動及びボランティア活動等の報告(第二弾)** 授業内容：各自、夏季休暇中の活動について報告(プレゼン)するとともに、意見交換と質疑応答を行う。 事前学修 3.0hr：各自、夏季休暇中の活動報告書を作成する。 事後学修 4.0hr：授業中に受けたアドバイス等を「ワークシート」に整理しておく。
4回	**授業テーマ：3 年次からの学修・研究課題の継続ならびに、統計資料やデータを使った SDGs の学修** 授業内容：3 年次からの学修・研究課題の継続ならびに、SDGs で指摘されている諸問題について、統計資料やデータを使った確認及び情報の共有。 事前学修 3.0hr：事前に配付するゼミ用資料をよく読んで、意見をまとめておく。 事後学修 4.0hr：授業の内容を「振り返りシート」にまとめておく。	19回	**授業テーマ：休暇中の学修・研究活動及びボランティア活動等の報告 3** 授業内容：各自、夏季休暇中の活動について報告(プレゼン)するとともに、意見交換と質疑応答を行う。 事前学修 3.0hr：各自、夏季休暇中の活動報告書を作成する。 事後学修 4.0hr：授業中に受けたアドバイス等を「ワークシート」に整理しておく。
5回	**授業テーマ：3 年次からの学修・研究課題の継続ならびに、SDGs についての調査・研究 1** 授業内容：3 年次からの学修・研究課題の継続ならびに、SDGs の各目標について担当を決め、PC 等を使って調査・研究する 事前学修 3.0hr：SDGs の調査・研究にあたり、自分自身が担当したい箇所を事前に決め、その理由も明らかにしておく。 事後学修 4.0hr：SDGs の担当箇所の内容と調査課題をノート等に書き留めておく。	20回	**授業テーマ：卒業論文作成に向けた準備 1** 授業内容：卒業論文について説明するとともに、卒論のテーマ(タイトル)を決定する。 事前学修 3.0hr：卒業論文のテーマを決めておく。 事後学修 4.0hr：ゼミでの質疑応答をふまえ、卒論のテーマを再検討する。
6回	**授業テーマ：3 年次からの学修・研究課題の継続ならびに、SDGs についての調査・研究 2** 授業内容：類似したカテゴリーごとにグループ(チーム)をつくり、各目標の確認と解決方法を議論する。 事前学修 3.0hr：担当箇所について、事前にいろいろと調べ、意見が出せるようしておく。 事後学修 4.0hr：グループ(チーム)での議論の内容を「振り返りシート」にまとめておく。	21回	**授業テーマ：卒業論文作成に向けた準備2** 授業内容：卒論のテーマとおおまかな内容(概要)について、各自、説明する。 事前学修 3.0hr：卒業論文のテーマを決め、タイトルを練る。 事後学修 4.0hr：卒業論文の執筆計画を立てる。

7回	**授業テーマ：学修成果の確認** 授業内容：グループ(チーム)ごとに議論の内容をまとめ、グループとしての発表原稿を作成する。 事前学修 3.0hr：各自、これまでの調査・研究や議論をもとに発表用のメモを作成しておく。 事後学修 4.0hr：発表にために原稿とあわせ、プレゼン資料を作成する。	22回	**授業テーマ：卒業論文のテーマと執筆計画の発表 1** 授業内容：卒業論文の「執筆要項」を配付し、執筆計画(日程)を立てる。 事前学修 3.0hr：卒業論文のテーマと執筆計画(日程)の発表レジュメを作成する。 事後学修 4.0hr：他のゼミ生の発表などを聞き、得た情報・知見などを「ワークシート」に整理しておく。
8回	**授業テーマ：中間のまとめ** 授業内容：グループ(チーム)ごとに調査・研究したことを、発表原稿とプレゼン資料に基づき、みんなの前で発表する。 事前学修 3.0hr：発表原稿とプレゼン資料を確認する。 事後学修 4.0hr：他のグループ(チーム)の発表を聞き、その内容とポイント、講評を「振り返りシート」に記入する。	23回	**授業テーマ：卒業論文のテーマと執筆計画の発表 2** 授業内容：卒論の「執筆要項」をもとに、卒論の書き方をくわしく説明する。 事前学修 3.0hr：卒業論文の書き方についての疑問等を質問できるように「ワークシート」に整理しておく。 事後学修 4.0hr：ゼミで得た情報・知見などを整理し、ノート等にまとめておく。
9回	**授業テーマ：3 年次からの学修・研究課題の継続と、主に夏季休暇に向けたボランティア参加計画の作成 1** 授業内容：SDGs に係わるボランティア活動に参加するために、市民活動センターやネット上の NPO/NGO についての情報を収集する。 事前学修 3.0hr：夏季休暇中のボランティア参加計画書を作成する。 事後学修 4.0hr：授業中に収集した情報を「ワークシート」に整理しておく。	24回	**授業テーマ：卒論作成のための史料・資料・情報収集法検討 1** 授業内容：卒論作成のための資料・情報収集法を経験などももとにして解説する。 事前学修 3.0hr：卒論作成のための必要資料等を予めリストアップしておく。 事後学修 4.0hr：ゼミで得た情報・知見などを整理し、ノート等にまとめておく。
10回	**授業テーマ：3 年次からの学修・研究課題の継続と、主に夏季休暇に向けたボランティア参加計画の作成 2** 授業内容：参加計画書に基づき、参加のための具体的な手続きと方法をみんなで共有する。 事前学修 3.0hr：夏季休暇中のボランティア参加計画を日程等も入れて作成する。 事後学修 4.0hr：授業中の共有事項を「ワークシート」に整理しておく。	25回	**授業テーマ：卒論作成のための史料・資料・情報収集法検討2** 授業内容：卒論作成のための資料・情報収集法について、質疑応答と意見交換を行う。 事前学修 3.0hr：卒論作成のための必要資料等をリストアップしておく。 事後学修 4.0hr：ゼミで得た情報・知見などを整理し、ノートにまとめておく。
11回	**授業テーマ：3 年次からの学修・研究課題の継続ならびに、SDGs とボランティア活動についての調査・研究 1** 授業内容：SDGs は、目標自体、極めて大きい。それをどう解決しようとしているか。まず、政府や自治体、非政府機関(NGO)の動向について、グループ(チーム)ごとに調べる。 事前学修 3.0hr：テーマについて、自身の考え、意見をまとめておく。 事後学修 4.0hr：調査内容・結果を「ワークシート」にまとめておく。	26回	**授業テーマ：卒業論文の中間発表 1** 授業内容：執筆中の卒業論文について、その進捗状況を中心に各自、報告する。 事前学修 3.0hr：ゼミでの報告のための発表原稿を作成する。 事後学修 4.0hr：ゼミでの質疑応答や教員のコメントを参考に、卒業論文を再検討する。
12回	**授業テーマ：3 年次からの学修・研究課題の継続ならびに、SDGs とボランティア活動についての調査・研究 2** 授業内容：前回に続いて、今回は SDGs に関する日本企業の取組を調査・研究する。 事前学修 3.0hr：SDGs についての日本企業の取組を予め、ピックアップしておく。 事後学修 4.0hr：調査内容・結果を「ワークシート」にまとめておく。	27回	**授業テーマ：卒業論文の中間発表 2** 授業内容：執筆中の卒業論文について、その進捗状況を中心に各自、報告する。 事前学修 3.0hr：ゼミでの報告のための発表原稿を作成する。 事後学修 4.0hr：授業での質疑応答や教員のコメントを参考に、卒業論文を再検討する。
13回	**授業テーマ：3 年次からの学修・研究課題の継続ならびに、SDGs とボランティア活動についての調査・研究 3** 授業内容：今回は SDGs に関する世界の企業の取組を調査・研究・プレゼンする。 事前学修 3.0hr：SDGs についての日本企業の取組を予め、ピックアップしておく。 事後学修 4.0hr：授調査内容・結果を「ワークシート」にまとめておく。	28回	**授業テーマ：卒業論文の中間発表 3** 授業内容：執筆中の卒業論文について、その進捗状況を中心に各自、報告する。 事前学修 3.0hr：ゼミでの報告のための発表原稿を作成する。 事後学修 4.0hr：授業での質疑応答や教員のコメントを参考に、卒業論文を再検討する。
14回	**授業テーマ：SDGs のためのボランティア 1** 授業内容：SDGs の目標達成のために、大学生として身近なところから何ができるかを議論し、意見交換する。 事前学修 3.0hr：前回までの調査・研究内容を再確認し、自分自身の意見をまとめておく。 事後学修 4.0hr：ゼミの議論・意見交換で得た知見などを整理しておく。	29回	**授業テーマ：ゼミ連での卒論発表会 1** 授業内容：ゼミ連での「卒論要旨発表会」に向けて、卒論要旨を作成する。 事前学修 3.0hr：卒論要旨発表会のための原稿を作成する。 事後学修 4.0hr：ゼミでの質疑応答や教員のコメントを参考に、卒業論文の完成を急ぐ。
15回	**授業テーマ：前期のまとめと夏季休暇中のボランティア活動の確認** 授業内容：3 年次からの学修・研究課題、あるいは前学期の調査・研究(学修)内容をまとめる。同時に、夏季休暇中の SDGs のためのボランティア活動について意見交換する。、 事前学修 3.0hr：「振り返り」シートで調査・研究(学修)成果を確認し、「ワークシート」に書き留める。 事後学修 4.0hr：ボランティア活動のための準備を行う。	30回	**授業テーマ：ゼミ連での卒論発表会 2** 授業内容：ゼミ連での「卒論要旨発表会」のリハーサルを行い、講評する。 事前学修 3.0hr：卒論発表会のための原稿を、プレゼン資料とともに完成させる。 事後学修 4.0hr：発表会での質疑応答や教員のコメントを参考に、卒業論文の完成を急ぐ。

専門ゼミ２(卒業論文を含む。)

開講学科等：経　｜　4 年次　｜　6 単位　｜　開講期：通

田浦　元 (たうら　げん)

▌授業の概要

「データ分析とロジカルシンキングでグッドアイデアを生み出す方法を学ぶ」
データとロジカルシンキングを正しく用いてグッドアイデアを生み出す方法を、実践的に学んでゆきます。グッドアイデアをひらめくためには、正しい方法で考えてゆく必要があります。グッドアイデアを生み出すのは、ロジカルシンキング(論理的思考)とデータ分析です。このゼミナールでは、グッドアイデアを生み出すための、正しいロジカルシンキングとデータ分析の方法を、実践的に学びます。また、研究成果を卒業論文にまとめます。これらのゼミ活動を通じ身につけたスキルは、就職活動はもちろん、社会に出てからの強力な武器となります。データとロジカルシンキングを使いグッドアイデアを生み出せる人になることを目指しましょう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：自分の考えていることを相手に理解してもらうということは、コミュニケーションにおいて極めて重要なことです。そのための最もスマートな方法のひとつに、データを示して相手に理解してもらうという方法があります。このゼミナールでは、今まさに世の中で起こっている問題の中から共通テーマを設定し、その解決を目指します。その過程で、データや統計と論理的思考を組み合わせて自分の考えていることを相手に伝える方法を学びます。同時に、プレゼンテーションやディベートのトレーニングも行ないます。また、研究成果を卒業論文にまとめます。

個別目標：1. 世の中で起こっている出来事について、ロジカルシンキング(論理的思考法)を用いて思考できる。
2. 世の中で起こっている出来事について、データを用いて分析できる。
3. グループで協力して問題解決に取り組める。
4. グッドアイデアを生み出せる。
5. 卒業論文を完成させる。

▌履修条件

「専門ゼミ 1 (田浦)」を修得済みであること。担当教員の開講科目をなるべく早期に履修することを強く推奨します(データサイエンス手法の理論的な理解や、実践的な試みを体験できるのでより有意義な学びが出来ます)。

▌評価基準・方法

卒業論文、プレゼンテーション、ディスカッション、ゼミへの貢献、出席状況等により評価します。
通年を基準とした場合でも各期を基準とした場合でもいずれも 5 分の 4 以上の出席を満たしていることを単位取得の前提条件とします。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、翌回の講義の中で行なうことを基本とします。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション、ディスカッション、PBL（課題解決型学習）、グループワーク等）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ノートパソコンの持参が望ましい。）

▌教科書

上藤一郎・田浦元他『調査と分析のための統計　社会・経済のデータサイエンス(第 2 版)』(丸善出版、2013 年)

▌参考書

授業内で適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：(以下は目安としての標準的な授業計画です。実際はクラスの進展度等により変更されます。) ゼミナールの内容や運営方法等の説明。 事前学修 3.0hr：シラバスを読み直しておく。 事後学修 4.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。	16 回	**授業テーマ：夏季プレゼンテーション(1)：A グループ** 授業内容：夏休みの研究成果を発表しよう。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 4.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。
2 回	**授業テーマ：アイスブレイク** 授業内容：ゼミのメンバーを知ろう。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 4.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。	17 回	**授業テーマ：夏季プレゼンテーション(2)：B グループ** 授業内容：夏休みの研究成果を発表しよう。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 4.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。
3 回	**授業テーマ：研究テーマの選定(1)：テーマ案の検討** 授業内容：研究テーマ案を検討する。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 4.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。	18 回	**授業テーマ：夏季プレゼンテーション(3)：C グループ** 授業内容：夏休みの研究成果を発表しよう。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 4.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。
4 回	**授業テーマ：研究テーマの選定(2)：テーマ案の検討 2** 授業内容：研究テーマ案を検討する。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 4.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。	19 回	**授業テーマ：グループ学習(4)：後期グループ学習 1** 授業内容：グループで課題解決を目指そう。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 4.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。
5 回	**授業テーマ：研究テーマの選定(3)：テーマ案の決定** 授業内容：研究テーマを決定する。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 4.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。	20 回	**授業テーマ：グループ学習(5)：後期グループ学習 2** 授業内容：グループで課題解決を目指そう。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 4.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。
6 回	**授業テーマ：グループ学習(1)：グループ学習の基礎** 授業内容：グループ学習の方法を検討する。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 4.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。	21 回	**授業テーマ：後期中間プレゼンテーション(1)：A グループ** 授業内容：ここまでの研究成果を発表しよう。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 4.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。
7 回	**授業テーマ：グループ学習(2)：グループ学習の実践 1** 授業内容：グループ学習を実践する。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 4.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。	22 回	**授業テーマ：後期中間プレゼンテーション(2)：B グループ** 授業内容：ここまでの研究成果を発表しよう。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 4.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。

8回	**授業テーマ：グループ学習(3)：グループ学習の実践 2** 授業内容：グループ学習を実践する。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 4.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。	23回	**授業テーマ：後期中間プレゼンテーション(3)：C グループ** 授業内容：ここまでの研究成果を発表しよう。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 4.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。
9回	**授業テーマ：前期中間プレゼンテーション(1)：A グループ** 授業内容：ここまでの研究成果を発表しよう。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 4.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。	24回	**授業テーマ：グループ学習(6)：後期グループ学習 3** 授業内容：グループで研究を完成させよう。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 4.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。
10回	**授業テーマ：前期中間プレゼンテーション(2)：B グループ** 授業内容：ここまでの研究成果を発表しよう。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 4.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。	25回	**授業テーマ：グループ学習(7)：後期グループ学習 4** 授業内容：グループで研究を完成させよう。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 4.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。
11回	**授業テーマ：前期中間プレゼンテーションの振り返り** 授業内容：前期中間プレゼンテーションの内容やプレゼンテーションを振り返る。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 4.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。	26回	**授業テーマ：学年末プレゼンテーション(1)：A グループ** 授業内容：年間の研究成果のプレゼンテーション。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 4.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。
12回	**授業テーマ：前期末発表の準備** 授業内容：前期末発表の準備。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 4.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。	27回	**授業テーマ：学年末プレゼンテーション(2)：B グループ** 授業内容：年間の研究成果のプレゼンテーション。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 4.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。
13回	**授業テーマ：期末プレゼンテーション(1)：A グループ** 授業内容：前期の研究成果のプレゼンテーション。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 4.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。	28回	**授業テーマ：学年末プレゼンテーション(3)：C グループ** 授業内容：年間の研究成果のプレゼンテーション。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 4.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。
14回	**授業テーマ：期末プレゼンテーション(2)：B グループ** 授業内容：前期の研究成果のプレゼンテーション。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 4.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。	29回	**授業テーマ：学年末プレゼンテーション(4)：全体の成果発表** 授業内容：年間の研究成果のプレゼンテーション。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 4.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。
15回	**授業テーマ：学期のまとめと振り返り** 授業内容：学期のまとめと振り返りを行なう。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 4.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。	30回	**授業テーマ：年間のまとめと振り返り** 授業内容：年間のまとめと振り返りを行なう。 事前学修 3.0hr：発表や議論の準備資料、レジュメ等の作成。 事後学修 4.0hr：授業で学んだこと、発表、議論についてもう一度考えてみる。

専門ゼミ２(卒業論文を含む。)

開講学科等：経　｜　4 年次　｜　6 単位　｜　開講期：通

友利　厚夫 (ともり　あつお)

▌授業の概要

卒業論文の完成に向けて、学術的文章の書き方、プレゼンテーションの技術、研究の進め方について指導する。履修者と相談しながら、各自の研究テーマを設定した上で、研究成果の発表とディスカッションを中心としてゼミを進める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：自分の設定した研究テーマに従って、卒業論文を完成させること。

個別目標：・自ら設定した問題に対し、科学的なアプローチによって分析できるようになること
・学術的文章の書き方の基本を習得すること
・自分の考えを正確に伝えるプレゼンテーションができるようになること

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

卒業論文 60 %・平常点 40 %(プレゼンテーション・ディスカッションの内容、参加状況等)で評価する。

▌フィードバック方法

講義内、manaba、及び成績評価にて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション, ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （資料作成）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

必要に応じてその都度指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：卒業論文作成のスケジュールについて確認する。 事前学修 3.0hr：卒業論文作成のスケジュールについて考えてくる。 事後学修 4.0hr：卒業論文作成の具体的なスケジュールを作成する。	16回	**授業テーマ：後学期の進め方について** 授業内容：後学期の進め方について確認する。 事前学修 3.0hr：発表とディスカッションの準備 事後学修 4.0hr：次回発表の準備
2回	**授業テーマ：卒業論文の研究計画についてのプレゼンテーションとディスカッション** 授業内容：卒業論文の研究計画についてのプレゼンテーションとディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：卒業論文のテーマを決め、研究計画についてのプレゼンテーションの準備を行う。 事後学修 4.0hr：プレゼンテーションとディスカッションで明らかになった課題をまとめる。	17回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：卒業研究の発表とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：発表とディスカッションの準備 事後学修 4.0hr：次回発表の準備
3回	**授業テーマ：卒業論文の研究計画についてのプレゼンテーションとディスカッション(続き)** 授業内容：卒業論文の研究計画についてのプレゼンテーションとディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：卒業論文のテーマを決め、研究計画についてのプレゼンテーションの準備を行う。 事後学修 4.0hr：プレゼンテーションとディスカッションで明らかになった課題をまとめる。	18回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：卒業研究の発表とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：発表とディスカッションの準備 事後学修 4.0hr：次回発表の準備
4回	**授業テーマ：学術的文章の書き方** 授業内容：学術的文章の書き方について講義する。 事前学修 3.0hr：学術的文章の書き方について調べる。 事後学修 4.0hr：学術的文章の書き方についての課題をこなす。	19回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：卒業研究の発表とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：発表とディスカッションの準備 事後学修 4.0hr：次回発表の準備
5回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：卒業研究の発表とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：発表とディスカッションの準備 事後学修 4.0hr：次回発表の準備	20回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：卒業研究の発表とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：発表とディスカッションの準備 事後学修 4.0hr：次回発表の準備
6回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：卒業研究の発表とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：発表とディスカッションの準備 事後学修 4.0hr：次回発表の準備	21回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：卒業研究の発表とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：発表とディスカッションの準備 事後学修 4.0hr：次回発表の準備
7回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：卒業研究の発表とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：発表とディスカッションの準備 事後学修 4.0hr：次回発表の準備	22回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：卒業研究の発表とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：発表とディスカッションの準備 事後学修 4.0hr：次回発表の準備
8回	**授業テーマ：卒業論文についてのプレゼンテーションとディスカッション** 授業内容：卒業研究の発表とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：研究の進捗状況についてのプレゼンテーションの準備を行う。 事後学修 4.0hr：プレゼンテーションとディスカッションで明らかになった課題をまとめる。	23回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：卒業研究の発表とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：これまでの研究を整理し、プレゼンテーションの準備を行う。 事後学修 4.0hr：次回発表の準備
9回	**授業テーマ：卒業論文についてのプレゼンテーションとディスカッション** 授業内容：卒業研究の発表とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：研究の進捗状況についてのプレゼンテーションの準備を行う。 事後学修 4.0hr：プレゼンテーションとディスカッションで明らかになった課題をまとめる。	24回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：卒業研究の発表とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：これまでの研究を整理し、プレゼンテーションの準備を行う。 事後学修 4.0hr：次回発表の準備

10回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：卒業研究の発表とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：発表とディスカッションの準備 事後学修 4.0hr：次回発表の準備	25回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：卒業研究の発表とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：発表とディスカッションの準備 事後学修 4.0hr：次回発表の準備
11回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：卒業研究の発表とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：発表とディスカッションの準備 事後学修 4.0hr：次回発表の準備	26回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：卒業研究の発表とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：発表とディスカッションの準備 事後学修 4.0hr：次回発表の準備
12回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：卒業研究の発表とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：発表とディスカッションの準備 事後学修 4.0hr：次回発表の準備	27回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：卒業研究の発表とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：発表とディスカッションの準備 事後学修 4.0hr：次回発表の準備
13回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：卒業研究の発表とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：発表とディスカッションの準備 事後学修 4.0hr：次回発表の準備	28回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：卒業研究の発表とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：発表とディスカッションの準備 事後学修 4.0hr：次回発表の準備
14回	**授業テーマ：履修者による発表とディスカッション** 授業内容：卒業研究の発表とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：発表とディスカッションの準備 事後学修 4.0hr：次回発表の準備	29回	**授業テーマ：卒論発表** 授業内容：完成した卒業論文の発表を行う。 事前学修 3.0hr：これまでの研究を整理し、プレゼンテーションの準備を行う。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを通じて明らかになった課題を修正する
15回	**授業テーマ：前学期のまとめと後学期の課題設定** 授業内容：前学期のまとめと後学期の課題設定を行う。 事前学修 3.0hr：発表とディスカッションの準備 事後学修 4.0hr：次回発表の準備	30回	**授業テーマ：卒論発表** 授業内容：完成した卒業論文の発表を行う。 事前学修 3.0hr：これまでの研究を整理し、プレゼンテーションの準備を行う。 事後学修 4.0hr：ディスカッションを通じて明らかになった課題を修正する。

専門ゼミ２(卒業論文を含む。)

開講学科等：経　｜　4 年次　｜　6 単位　｜　開講期：通

永井　攻治 (ながい　よしはる)

▌授業の概要

演習のテーマ「社会の「今」を経済学的視点から研究し、卒業論文としてまとめる」
本ゼミでは、専門ゼミ１で学修した現代社会の諸問題を基礎として、各自が関心を持つテーマを明確化し、経済学的視点から卒業論文を作成することを目的とする。これまでの学修内容を整理・精査し、研究課題の設定、分析視角の構築、論文構成の検討を段階的に行う。指導を通じて、自立的に学修を進める力を養い、大学４年間で学び得た学修の集大成として卒業論文の完成を目標とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：①ミクロ・マクロ経済学の基礎的知識(特に社会保障制度についての一般常識)が理解できるようになる。
　　②卒業論文を作成する。
個別目標：卒業論文の発表及び、論文の作法を身につける。

▌履修条件

①授業やゼミ行事に積極的に参加すること。
② MOS 検定試験講座やインターンシップ等に積極的に参加する。
③卒業論文作成を途中で諦めないこと。

▌評価基準・方法

①卒業論文(担当教員の添削を最低５回以上受け、OK をもらったうえで提出)最大６０%
②卒業論文の内容と進捗状況(内容と、授業の最終回までの完成(担当教員の添削済み)で、最大４０%加点)
③その他(授業態度により、１０%の範囲内での減点または加点もありえる)
※なお、５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

個別及び授業内で対応する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回により異なる(課題、ディスカッション、プレゼンテーション)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

開講時に指示する。

▌参考書

必要に応じ、適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション(演習の進め方等の説明)** 授業内容：授業の進め方について説明する。 事前学修 3.0hr：講義概要を読んで、本講義の内容を簡単に考えておく。 事後学修 4.0hr：講義で興味を持った内容について考える。	16回	**授業テーマ：後期の演習の進め方等の説明** 授業内容：卒業論文提出についての詳細説明をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。 事後学修 4.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。
2回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 3.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 4.0hr：講義で興味を持った箇所の内容について考える。	17回	**授業テーマ：夏期休暇中の学習報告** 授業内容：研究報告書に基づいて報告をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。 事後学修 4.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。
3回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 3.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 4.0hr：講義で興味を持った箇所の内容について考える。	18回	**授業テーマ：夏期休暇中の学習報告** 授業内容：研究報告書に基づいて報告をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。 事後学修 4.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。
4回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 3.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 4.0hr：講義で興味を持った箇所の内容について考える。	19回	**授業テーマ：卒業論文指導** 授業内容：卒論の個別指導をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。 事後学修 4.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。
5回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 3.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 4.0hr：講義で興味を持った箇所の内容について考える。	20回	**授業テーマ：卒業論文指導** 授業内容：卒論の個別指導をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。 事後学修 4.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。
6回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 3.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 4.0hr：講義で興味を持った箇所の内容について考える。	21回	**授業テーマ：卒業論文指導** 授業内容：卒論の個別指導をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。 事後学修 4.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。

7回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 3.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 4.0hr：講義で興味を持った箇所の内容について考える。	22回	**授業テーマ：卒業論文指導** 授業内容：卒論の個別指導をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。 事後学修 4.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。
8回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 3.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 4.0hr：講義で興味を持った箇所の内容について考える。	23回	**授業テーマ：卒業論文指導** 授業内容：卒論の個別指導をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。 事後学修 4.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。
9回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 3.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 4.0hr：講義で興味を持った箇所の内容について考える。	24回	**授業テーマ：卒業論文指導** 授業内容：卒論の個別指導をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。 事後学修 4.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。
10回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 3.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 4.0hr：講義で興味を持った箇所の内容について考える。	25回	**授業テーマ：卒業論文指導** 授業内容：卒論の個別指導をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。 事後学修 4.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。
11回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 3.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 4.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。	26回	**授業テーマ：卒業論文指導** 授業内容：卒論の個別指導をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。 事後学修 4.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。
12回	**授業テーマ：ゼミ生による研究報告** 授業内容：卒論の概要についての研究報告をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。 事後学修 4.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。	27回	**授業テーマ：卒業論文指導** 授業内容：卒論の個別指導をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。 事後学修 4.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。
13回	**授業テーマ：ゼミ生による研究報告** 授業内容：卒論の概要についての研究報告をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。 事後学修 4.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。	28回	**授業テーマ：卒業論文指導** 授業内容：卒論の個別指導をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。 事後学修 4.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。
14回	**授業テーマ：ゼミ生による研究報告** 授業内容：卒論の概要についての研究報告をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。 事後学修 4.0hr：皆の研究報告の内容を振り返る。	29回	**授業テーマ：卒業論文指導** 授業内容：卒論の個別指導をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。 事後学修 4.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。
15回	**授業テーマ：夏季休暇中における課題の説明(卒業論文作成の為の資料集め等)** 授業内容：研究計画書の作成方法についての説明をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究報告を基に、卒論の内容を研究する。 事後学修 4.0hr：研究報告を基に、卒論の内容を研究する。	30回	**授業テーマ：卒業論文提出** 授業内容：卒業論文を完成させる。 事前学修 3.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。 事後学修 4.0hr：卒業論文を読み直す(担当教員から修正を指示された場合は、修正をおこなう)。

専門ゼミ２(卒業論文を含む。)

開講学科等：経　｜　4 年次　｜　6 単位　｜　開講期：後 2

永井　攻治 (ながい　よしはる)

▌授業の概要

演習のテーマ「社会の「今」を経済学的視点から研究し、卒業論文としてまとめる」
本ゼミでは、専門ゼミ１で学修した現代社会の諸問題を基礎として、各自が関心を持つテーマを明確化し、経済学的視点から卒業論文を作成することを目的とする。これまでの学修内容を整理・精査し、研究課題の設定、分析視角の構築、論文構成の検討を段階的に行う。指導を通じて、自立的に学修を進める力を養い、大学４年間で学び得た学修の集大成として卒業論文の完成を目標とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：①ミクロ・マクロ経済学の基礎的知識(特に社会保障制度についての一般常識)が理解できるようになる。
　　②卒業論文を作成する。
個別目標：卒業論文の発表及び、論文の作法を身につける。

▌履修条件

①授業やゼミ行事に積極的に参加すること。
② MOS 検定試験講座やインターンシップ等に積極的に参加する。
③卒業論文作成を途中で諦めないこと。

▌評価基準・方法

①卒業論文(担当教員の添削を最低５回以上受け、OK をもらったうえで提出)最大６０%
②卒業論文の内容と進捗状況(内容と、授業の最終回までの完成(担当教員の添削済み)で、最大４０%加点)
③その他(授業態度により、１０%の範囲内での減点または加点もありえる)
※なお、５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

個別及び授業内で対応する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回により異なる(課題、ディスカッション、プレゼンテーション)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

開講時に指示する。

▌参考書

必要に応じ、適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション(演習の進め方等の説明)** 授業内容：授業の進め方について説明する。 事前学修 3.0hr：講義概要を読んで、本講義の内容を簡単に考えておく。 事後学修 4.0hr：講義で興味を持った内容について考える。	16回	**授業テーマ：後期の演習の進め方等の説明** 授業内容：卒業論文提出についての詳細説明をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。 事後学修 4.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。
2回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 3.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 4.0hr：講義で興味を持った箇所の内容について考える。	17回	**授業テーマ：夏期休暇中の学習報告** 授業内容：研究報告書に基づいて報告をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。 事後学修 4.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。
3回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 3.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 4.0hr：講義で興味を持った箇所の内容について考える。	18回	**授業テーマ：夏期休暇中の学習報告** 授業内容：研究報告書に基づいて報告をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。 事後学修 4.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。
4回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 3.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 4.0hr：講義で興味を持った箇所の内容について考える。	19回	**授業テーマ：卒業論文指導** 授業内容：卒論の個別指導をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。 事後学修 4.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。
5回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 3.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 4.0hr：講義で興味を持った箇所の内容について考える。	20回	**授業テーマ：卒業論文指導** 授業内容：卒論の個別指導をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。 事後学修 4.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。
6回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 3.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 4.0hr：講義で興味を持った箇所の内容について考える。	21回	**授業テーマ：卒業論文指導** 授業内容：卒論の個別指導をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。 事後学修 4.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。

7回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 3.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 4.0hr：講義で興味を持った箇所の内容について考える。	22回	**授業テーマ：卒業論文指導** 授業内容：卒論の個別指導をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。 事後学修 4.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。
8回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 3.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 4.0hr：講義で興味を持った箇所の内容について考える。	23回	**授業テーマ：卒業論文指導** 授業内容：卒論の個別指導をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。 事後学修 4.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。
9回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 3.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 4.0hr：講義で興味を持った箇所の内容について考える。	24回	**授業テーマ：卒業論文指導** 授業内容：卒論の個別指導をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。 事後学修 4.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。
10回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 3.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 4.0hr：講義で興味を持った箇所の内容について考える。	25回	**授業テーマ：卒業論文指導** 授業内容：卒論の個別指導をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。 事後学修 4.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。
11回	**授業テーマ：テキスト、参考書等を使った学習** 授業内容：テキストの内容を解説し、その内容について皆でディスカッションする。 事前学修 3.0hr：担当教員が事前に指示した箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 4.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。	26回	**授業テーマ：卒業論文指導** 授業内容：卒論の個別指導をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。 事後学修 4.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。
12回	**授業テーマ：ゼミ生による研究報告** 授業内容：卒論の概要についての研究報告をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。 事後学修 4.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。	27回	**授業テーマ：卒業論文指導** 授業内容：卒論の個別指導をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。 事後学修 4.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。
13回	**授業テーマ：ゼミ生による研究報告** 授業内容：卒論の概要についての研究報告をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。 事後学修 4.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。	28回	**授業テーマ：卒業論文指導** 授業内容：卒論の個別指導をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。 事後学修 4.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。
14回	**授業テーマ：ゼミ生による研究報告** 授業内容：卒論の概要についての研究報告をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究報告の準備(報告者はパワーポイントの準備をし、他の学生は質問内容を準備する)。 事後学修 4.0hr：皆の研究報告の内容を振り返る。	29回	**授業テーマ：卒業論文指導** 授業内容：卒論の個別指導をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。 事後学修 4.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。
15回	**授業テーマ：夏季休暇中における課題の説明(卒業論文作成の為の資料集め等)** 授業内容：研究計画書の作成方法についての説明をおこなう。 事前学修 3.0hr：研究報告を基に、卒論の内容を研究する。 事後学修 4.0hr：研究報告を基に、卒論の内容を研究する。	30回	**授業テーマ：卒業論文提出** 授業内容：卒業論文を完成させる。 事前学修 3.0hr：研究計画書を基に、卒論の作成を行う(担当教員からの指摘箇所を整理する)。 事後学修 4.0hr：卒業論文を読み直す(担当教員から修正を指示された場合は、修正をおこなう)。

専門ゼミ２(卒業論文を含む。)

開講学科等：経　｜　4 年次　｜　6 単位　｜　開講期：通

中澤　栄一 (なかざわ　えいいち)

▌授業の概要

大学生活の中で、「努力が報われていない」と感じたことはありませんか？　例えば、一生懸命授業に出て勉強しても内容が理解できない科目があった場合、 (1) 努力の方向性を間違えている、(2) 教える側のコミュニケーション能力が欠けている、のどちらかが原因です。一方、大学までは、たとえ勉強に失敗しても先生や保護者がある程度フォローしてくれますが、すべてに自己責任が求められる社会人には「頑張ったけど失敗した」は通用しません。この経済学演習では、経済学や経営学の重要な問題を徹底的に勉強しながら、就職までの 2 年間に「無駄にならない」努力のしかたを身につけるためのお手伝いをします。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：若年層の失業や所得格差が世界的に大きな問題となっている中で、国際機関等のフォーラムでは、競争力をつけるのための技能 (skills for competitiveness) という概念が注目されています。この演習(ゼミ)では、競争が激化して所得や生活水準の格差が拡大することが確実なこれからの日本と世界の中で、国際的な競争に生き残る人物に不可欠な、(1)「新しい価値を産み出す能力」と、(2)「コミュニケーション能力」を身に付けてもらうことを目的とします。

個別目標：経済学や経営学の重要な問題に関して、最新の知識に基づいて自分の意見を展開できるようになることを個別目標とします。

▌履修条件

ゼミのモットーである「よく学び、よく遊べ」を実践すること。

パンデミックの再発等の理由により、対面授業が実施できなくなった場合には、改めてコースニュースを通じて連絡します。

▌評価基準・方法

原則的に卒業論文 60 %・平常点 40 %として評価します。

急病や就職活動によってやむを得ず欠席する場合は、理由を証明する文書を提出した場合のみ、学期中最大 2 回まで公欠扱いとします。

フィードバックは、対面授業中に行います。

▌フィードバック方法

授業中にフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、プレゼンテーション、ディスカッション・ディベート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC 教室が使用できた場合は、パワーポイントを用いた発表を予定しています。）

▌教科書

研究テーマごとに、必要に応じて授業中にアドバイスします。

▌参考書

研究テーマごとに、必要に応じて授業中にアドバイスします。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：就職活動の報告(１)** 授業内容：授業の取り進め方や、成績評価の方法などについて、詳細に説明します。さらに、就職活動で役に立つプレゼン方法について、改めて学びます。 事前学修 3.0hr：就職活動の報告準備 事後学修 4.0hr：友達の報告から学ぼう	16 回	**授業テーマ：夏休みの活動報告／就職活動の報告(２)** 授業内容：各自の進路希望に基づき、既に内定を取った学生の経験をゼミ内で共有します。なお、大学全体の就職セミナーが開催される場合は、それに合わせて授業の日程を調整します。 事前学修 3.0hr：活動報告の準備 事後学修 4.0hr：友達の報告から学ぼう
2 回	**授業テーマ：卒業論文のテーマの決定** 授業内容：卒業論文のテーマを決めましょう。 研究を進める中で、テーマを変更する可能性もありますが、自分が本当に関心を持っていることを研究対象にすることで、論文の執筆を楽しめるようなテーマを考えましょう。 事前学修 3.0hr：卒業論文の執筆準備 事後学修 4.0hr：卒業論文の執筆準備	17 回	**授業テーマ：卒業論文の第４章の作成準備** 授業内容：以下は卒論の第４章の構成例です。 第４章　政策提言 (1) ここまでの分析でわかったこと (2) 分析結果に基づく政策提言 (全体で 2000～6000 字程度＋図表など) 事前学修 3.0hr：卒業論文の執筆 事後学修 4.0hr：卒業論文の執筆
3 回	**授業テーマ：卒業論文の研究計画の作成準備** 授業内容：(1) 具体的な研究タイトル(30 字以内) (2) 研究目的(300～1000 字程度) (3) 研究の背景(300～1000 字程度) (4) 研究方法(300～1000 字程度) 事前学修 3.0hr：卒業論文の執筆準備 事後学修 4.0hr：卒業論文の執筆準備	18 回	**授業テーマ：卒業論文の第４章の作成** 授業内容：以下は卒論の第４章の構成例です。 第４章　政策提言 (1) ここまでの分析でわかったこと (2) 分析結果に基づく政策提言 (全体で 2000～6000 字程度＋図表など) 事前学修 3.0hr：卒業論文の執筆 事後学修 4.0hr：卒業論文の執筆
4 回	**授業テーマ：卒業論文の研究計画の完成** 授業内容：(1) 具体的な研究タイトル(30 字以内) (2) 研究目的(300～1000 字程度) (3) 研究の背景(300～1000 字程度) (4) 研究方法(300～1000 字程度) 事前学修 3.0hr：卒業論文の執筆準備 事後学修 4.0hr：卒業論文の執筆	19 回	**授業テーマ：卒業論文の第４章の完成** 授業内容：以下は卒論の第４章の構成例です。 第４章　政策提言 (1) ここまでの分析でわかったこと (2) 分析結果に基づく政策提言 (全体で 2000～6000 字程度＋図表など) 事前学修 3.0hr：卒業論文の執筆 事後学修 4.0hr：卒業論文の執筆
5 回	**授業テーマ：卒業論文の序論の作成準備** 授業内容：以下は卒論の序論の構成例です。 (1) 問題意識 (2) 論文の意義 (3) 論文の構成 (全体で 1000～3000 字程度) 事前学修 3.0hr：卒業論文の執筆 事後学修 4.0hr：卒業論文の執筆	20 回	**授業テーマ：卒業論文の結論の作成準備** 授業内容：以下は卒論の結論の構成例です。 (1) 本論文の結論(前章までのまとめ) (2) 論文の反省点(分析できなかったことなど) (3) 今後の分析課題 (全体で 2000～6000 字程度) 事前学修 3.0hr：卒業論文の執筆 事後学修 4.0hr：卒業論文の執筆

6回	**授業テーマ：卒業論文の序論の完成** 授業内容：以下は卒論の序論の構成例です。 (1) 問題意識 (2) 論文の意義 (3) 論文の構成 （全体で 1000～3000 字程度） 事前学修 3.0hr：卒業論文の執筆 事後学修 4.0hr：卒業論文の執筆	21回	**授業テーマ：卒業論文の結論の作成** 授業内容：以下は卒論の結論の構成例です。 (1) 本論文の結論（前章までのまとめ） (2) 論文の反省点（分析できなかったことなど） (3) 今後の分析課題 （全体で 2000～6000 字程度） 事前学修 3.0hr：卒業論文の執筆 事後学修 4.0hr：卒業論文の執筆
7回	**授業テーマ：卒業論文の第１章の作成準備** 授業内容：以下は卒論の第１章の構成例です。 (1) 研究テーマに関する先行研究（過去の研究成果のサーベイ） (2) 論文で用いる中心的な文献の紹介（２本以上） (3) この論文での分析方法と先行研究との関係 （全体で 2000～6000 字程度） 事前学修 3.0hr：卒業論文の執筆 事後学修 4.0hr：卒業論文の執筆	22回	**授業テーマ：卒業論文の結論の完成** 授業内容：以下は卒論の結論の構成例です。 (1) 本論文の結論（前章までのまとめ） (2) 論文の反省点（分析できなかったことなど） (3) 今後の分析課題 （全体で 2000～6000 字程度） 事前学修 3.0hr：卒業論文の執筆 事後学修 4.0hr：卒業論文の執筆
8回	**授業テーマ：卒業論文の第１章の作成** 授業内容：以下は卒論の第１章の構成例です。 (1) 研究テーマに関する先行研究（過去の研究成果のサーベイ） (2) 論文で用いる中心的な文献の紹介（２本以上） (3) この論文での分析方法と先行研究との関係 （全体で 2000～6000 字程度） 事前学修 3.0hr：卒業論文の執筆 事後学修 4.0hr：卒業論文の執筆	23回	**授業テーマ：卒業論文の発表資料の作成準備** 授業内容：経済学部全体の卒論発表会に向けて、わかりやすく説得力のある発表資料を作成しましょう。 事前学修 3.0hr：卒業論文の執筆 事後学修 4.0hr：卒業論文の執筆
9回	**授業テーマ：卒業論文の第１章の完成** 授業内容：以下は卒論の第１章の構成例です。 (1) 研究テーマに関する先行研究（過去の研究成果のサーベイ） (2) 論文で用いる中心的な文献の紹介（２本以上） (3) この論文での分析方法と先行研究との関係 （全体で 2000～6000 字程度） 事前学修 3.0hr：卒業論文の執筆 事後学修 4.0hr：卒業論文の執筆	24回	**授業テーマ：卒業論文の発表資料の作成** 授業内容：他のメンバーからのコメントを活かして、わかりやすく説得力のある発表資料を改善しましょう。 事前学修 3.0hr：卒業論文の執筆 事後学修 4.0hr：卒業論文の執筆
10回	**授業テーマ：卒業論文の第２章の作成準備** 授業内容：以下は卒論の第２章の構成例です。 第２章　ファクト・ファインディング（歴史的経緯や統計データの提示） (1) 歴史的経緯（過去に起きたことを年表などにまとめて、重要な点を文章で説明する） (2) 統計データ（過去から現在までのの推移や、現状を示す統計データを示す、グラフや図表などを作成して、重要な点を文章で説明する） （全体で 2000～6000 字程度＋図表など） 事前学修 3.0hr：卒業論文の執筆 事後学修 4.0hr：卒業論文の執筆	25回	**授業テーマ：卒業論文の発表資料の完成** 授業内容：ひきつづき、わかりやすく説得力のある発表資料を完成させましょう。 事前学修 3.0hr：卒業論文の執筆 事後学修 4.0hr：卒業論文の執筆
11回	**授業テーマ：卒業論文の第２章の作成** 授業内容：以下は卒論の第２章の構成例です。 第２章　ファクト・ファインディング（歴史的経緯や統計データの提示） (1) 歴史的経緯（過去に起きたことを年表などにまとめて、重要な点を文章で説明する） (2) 統計データ（過去から現在までのの推移や、現状を示す統計データを示す、グラフや図表などを作成して、重要な点を文章で説明する） （全体で 2000～6000 字程度＋図表など） 事前学修 3.0hr：卒業論文の執筆 事後学修 4.0hr：卒業論文の執筆	26回	**授業テーマ：卒業論文の改善** 授業内容：他のメンバーや担当教員からのコメントを活かして、質の高い卒論になるように改善しましょう。 事前学修 3.0hr：卒業論文の執筆 事後学修 4.0hr：卒業論文の執筆
12回	**授業テーマ：卒業論文の第２章の完成** 授業内容：以下は卒論の第２章の構成例です。 第２章　ファクト・ファインディング（歴史的経緯や統計データの提示） (1) 歴史的経緯（過去に起きたことを年表などにまとめて、重要な点を文章で説明する） (2) 統計データ（過去から現在までのの推移や、現状を示す統計データを示す、グラフや図表などを作成して、重要な点を文章で説明する） （全体で 2000～6000 字程度＋図表など） 事前学修 3.0hr：卒業論文の執筆 事後学修 4.0hr：卒業論文の執筆	27回	**授業テーマ：卒業論文の改善** 授業内容：ひきつづき、他のメンバーや担当教員からのコメントを活かして、質の高い卒論になるように改善しましょう。 事前学修 3.0hr：卒業論文の執筆 事後学修 4.0hr：卒業論文の執筆
13回	**授業テーマ：卒業論文の第３章の作成準備** 授業内容：以下は卒論の第３章の構成例です。 第３章　実証分析 (1) 分析の方法（回帰分析、アンケート調査など） (2) 分析結果 (3) 結果の解釈 （全体で 2000～6000 字程度＋図表など） 事前学修 3.0hr：卒業論文の執筆 事後学修 4.0hr：卒業論文の執筆	28回	**授業テーマ：卒業論文の改善** 授業内容：ひきつづき、他のメンバーや担当教員からのコメントを活かして、質の高い卒論になるように改善しましょう。 事前学修 3.0hr：卒業論文の執筆 事後学修 4.0hr：卒論完成
14回	**授業テーマ：卒業論文の第３章の作成** 授業内容：以下は卒論の第３章の構成例です。 第３章　実証分析 (1) 分析の方法（回帰分析、アンケート調査など） (2) 分析結果 (3) 結果の解釈 （全体で 2000～6000 字程度＋図表など） 事前学修 3.0hr：卒業論文の執筆 事後学修 4.0hr：卒業論文の執筆	29回	**授業テーマ：卒業論文の最終発表** 授業内容：完成した卒業論文を全員に発表してもらいます。 事前学修 3.0hr：卒論完成 事後学修 4.0hr：卒論完成
15回	**授業テーマ：卒業論文の第３章の完成** 授業内容：以下は卒論の第３章の構成例です。 第３章　実証分析 (1) 分析の方法（回帰分析、アンケート調査など） (2) 分析結果 (3) 結果の解釈 （全体で 2000～6000 字程度＋図表など） 事前学修 3.0hr：卒業論文の執筆 事後学修 4.0hr：卒業論文の執筆	30回	**授業テーマ：卒論要旨の作成** 授業内容：経済学部の卒論要旨集に掲載する卒論要旨を作成してもらいます。 事前学修 3.0hr：卒論要旨の作成準備 事後学修 4.0hr：1 年間の学修内容を振り返る

専門ゼミ２(卒業論文を含む。)

開講学科等：経 ｜ 4 年次 ｜ 6 単位 ｜ 開講期：通

中原　寛子 (なかはら　ひろこ)

▌授業の概要

本演習の目的は、4 年間の集大成として自ら設定した課題を探求し、卒業論文を完成させることです。 本ゼミでは「人の国際移動」を軸とし、経済学の視点および組織の視点から分析を行うことを共通テーマとします(各自の関心に基づく別テーマの執筆も可能です)。指導にあたっては、学生の関心に合わせた研究の進め方を一緒に考えます。文献調査や事例研究(ケーススタディ)など、それぞれの問いに適したアプローチを検討しながら、日々変化する社会の課題解決に資する実践的な力を養います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：自身の関心領域における先行研究を収集・整理し、経済学や組織の視点を生かして、国際社会や地域社会の諸課題解決に資する論理的な卒業論文を作成できる。

個別目標：・国際経済や組織に関する課題(人の国際移動など)について、自ら問いを設定し探求できる。
・収集したデータや資料に基づき、課題を解決する筋道の立った文章を作成できる。
・自身の主張を分かりやすく伝えるプレゼンスキルを身につける。

▌履修条件

・卒業論文の完成に向けて計画的に取り組むこと。
・ゼミでのディスカッションに積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

卒業論文 (60%)、平常点・授業への取組み度合 (40%) で総合的に評価します。
単位取得には卒業論文の提出が必須です。なお、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とします。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、原則として授業内で行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （論文執筆、データ検索、資料作成等）

▌教科書

特定のテキストは使用せず、必要に応じて資料を配布します。

▌参考書

授業内で適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：ゼミの進め方、年間スケジュールの説明。 事前学修 3.0hr：シラバスを確認する。 事後学修 4.0hr：自身の研究テーマについて考える。	16回	**授業テーマ：後期ガイダンス** 授業内容：後期のスケジュール確認と、夏期休暇中の進捗報告。 事前学修 3.0hr：夏期休暇中の進捗をまとめる。 事後学修 4.0hr：後期の執筆計画を立てる。
2回	**授業テーマ：研究テーマの検討と共有(関心事項の発表)** 授業内容：共通テーマ(人の国際移動)等に関する関心事項の発表とディスカッション。 事前学修 3.0hr：発表準備を行う。 事後学修 4.0hr：指摘を踏まえてテーマを絞り込む。	17回	**授業テーマ：卒業論文の執筆指導 (1) 第 1 章・第 2 章の作成 (構想の確認)** 授業内容：研究の背景、先行研究の整理、および事例の提示(第 1・2 章相当)の執筆状況を報告し、論文の方向性を指導する。 事前学修 3.0hr：対象となる章の執筆を進め、報告準備を行う。 事後学修 4.0hr：指摘を踏まえて原稿を加筆・修正する。
3回	**授業テーマ：研究テーマの検討と共有(テーマの絞り込み)** 授業内容：共通テーマ(人の国際移動)等に関する関心事項の発表とディスカッション。 事前学修 3.0hr：発表準備を行う。 事後学修 4.0hr：指摘を踏まえてテーマを絞り込む。	18回	**授業テーマ：卒業論文の執筆指導 (1) 第 1 章・第 2 章の作成 (原稿の確認)** 授業内容：研究の背景、先行研究の整理、および事例の提示(第 1・2 章相当)の執筆状況を報告し、論文の方向性を指導する。 事前学修 3.0hr：対象となる章の執筆を進め、報告準備を行う。 事後学修 4.0hr：指摘を踏まえて最終調整を行う。
4回	**授業テーマ：先行研究の調査方法(文献検索)** 授業内容：文献検索の方法とレジュメの作成方法について学ぶ。 事前学修 3.0hr：関連するキーワードをリストアップする。 事後学修 4.0hr：実際に文献の収集・読み込みを行う。	19回	**授業テーマ：卒業論文の執筆指導 (2) 第 3 章の作成(分析の確認)** 授業内容：収集した事例やデータに基づく分析結果(第 3 章相当)の執筆状況を報告し、論理的な一貫性について指導・討論を行う。 事前学修 3.0hr：対象となる章の執筆を進め、報告準備を行う。 事後学修 4.0hr：指摘を踏まえて最終調整を行う。
5回	**授業テーマ：先行研究の調査方法(レジュメ作成)** 授業内容：文献検索の方法とレジュメの作成方法について学ぶ。 事前学修 3.0hr：関連するキーワードをリストアップする。 事後学修 4.0hr：実際に文献の収集・読み込みを行う。	20回	**授業テーマ：卒業論文の執筆指導 (2) 第 3 章の作成(原稿の確認)** 授業内容：収集した事例やデータに基づく分析結果(第 3 章相当)の執筆状況を報告し、論理的な一貫性について指導・討論を行う。 事前学修 3.0hr：論文の執筆を進め、報告準備を行う。 事後学修 4.0hr：指摘を踏まえて最終調整を行う。
6回	**授業テーマ：論文作成のルールとモラル** 授業内容：正しい引用の仕方、著作権への配慮、剽窃(コピペ)の防止など、執筆のルールを学ぶ。 事前学修 3.0hr：情報の取り扱いについて調べる。 事後学修 4.0hr：自身の研究における引用のルールを確認する。	21回	**授業テーマ：卒業論文の執筆指導 (3) 第 4 章(結論)の作成(結論の確認)** 授業内容：これまでの分析を踏まえた結論や政策提言(第 4 章相当)の執筆状況を報告し、論文の締めくくり方について指導する。 事前学修 3.0hr：結論部分の執筆を進め、報告準備を行う。 事後学修 4.0hr：指摘を踏まえて最終調整を行う。
7回	**授業テーマ：事例研究(ケーススタディ)の進め方** 授業内容：企業や地域の具体的な事例を収集し、そこから課題を読み解くアプローチを学ぶ。 事前学修 3.0hr：自身のテーマに関連する事例(ニュース等)を一つ探す。 事後学修 4.0hr：事例研究の手法を自身のテーマに応用できないか検討する。	22回	**授業テーマ：卒業論文の執筆指導 (3) 第 4 章(結論)の作成(原稿の確認)** 授業内容：これまでの分析を踏まえた結論や政策提言(第 4 章相当)の執筆状況を報告し、論文の締めくくり方について指導する。 事前学修 3.0hr：結論部分の執筆を進め、報告準備を行う。 事後学修 4.0hr：指摘を踏まえて最終調整を行う。
8回	**授業テーマ：先行研究・事例の報告とディスカッション(前半組)** 授業内容：各自が収集した先行研究や事例について報告とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：報告の準備を行う。 事後学修 4.0hr：指摘を踏まえて研究課題を整理する。	23回	**授業テーマ：論文全体の推敲と個別面談(前半組)** 授業内容：完成に近づいた論文全体を通して読み直し、論理的整合性や引用の正確性について個別面談形式で最終的な指導を行う。 事前学修 3.0hr：論文全体を通読し、推敲する。 事後学修 4.0hr：個別面談での指摘をもとに最終修正を行う。

9回	**授業テーマ：先行研究・事例の報告とディスカッション(中盤組)** 授業内容：各自が収集した先行研究や事例について報告とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：報告の準備を行う。 事後学修 4.0hr：指摘を踏まえて研究課題を整理する。	24回	**授業テーマ：論文全体の推敲と個別面談(後半組)** 授業内容：完成に近づいた論文全体を通して読み直し、論理的整合性や引用の正確性について個別面談形式で最終的な指導を行う。 事前学修 3.0hr：論文全体を通読し、推敲する。 事後学修 4.0hr：個別面談での指摘をもとに最終修正を行う。
10回	**授業テーマ：先行研究・事例の報告とディスカッション(後半組)** 授業内容：各自が収集した先行研究や事例について報告とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：報告の準備を行う。 事後学修 4.0hr：指摘を踏まえて研究課題を整理する。	25回	**授業テーマ：最終報告に向けたリハーサル（前半組）** 授業内容：卒業論文をもとに発表練習を行う。 事前学修 3.0hr：発表資料の作成・修正を行う。 事後学修 4.0hr：指摘を踏まえて最終調整を行う。
11回	**授業テーマ：先行研究・事例の報告とディスカッション(補足と質疑)** 授業内容：各自が収集した先行研究や事例について報告とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：報告の準備を行う。 事後学修 4.0hr：指摘を踏まえて研究課題を整理する。	26回	**授業テーマ：最終報告に向けたリハーサル（後半組）** 授業内容：卒業論文をもとに発表練習を行う。 事前学修 3.0hr：発表資料の作成・修正を行う。 事後学修 4.0hr：指摘を踏まえて最終調整を行う。
12回	**授業テーマ：先行研究・事例の報告とディスカッション(全体総括)** 授業内容：各自が収集した先行研究や事例について報告とディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：報告の準備を行う。 事後学修 4.0hr：指摘を踏まえて研究課題を整理する。	27回	**授業テーマ：卒業論文最終報告会(前半組)** 授業内容：完成した卒業論文の最終報告会を実施する。 事前学修 3.0hr：最終発表の準備を行う。 事後学修 4.0hr：他の学生の発表内容を振り返る。
13回	**授業テーマ：中間報告・研究計画(前半組)** 授業内容：研究計画(アプローチ方法等)の発表とディスカッション。 事前学修 3.0hr：研究計画の発表準備を行う。 事後学修 4.0hr：指摘を踏まえて計画を修正する。	28回	**授業テーマ：卒業論文最終報告会(後半組)** 授業内容：完成した卒業論文の最終報告会を実施する。 事前学修 3.0hr：最終発表の準備を行う。 事後学修 4.0hr：他の学生の発表内容を振り返る。
14回	**授業テーマ：中間報告・研究計画(後半組)** 授業内容：研究計画(アプローチ方法等)の発表とディスカッション。 事前学修 3.0hr：研究計画の発表準備を行う。 事後学修 4.0hr：指摘を踏まえて計画を修正する。	29回	**授業テーマ：提出前の最終チェック** 授業内容：完成した卒業論文について、引用文献の表記ルールや全体の体裁、誤字脱字等の最終チェックを行う。 事前学修 3.0hr：卒業論文の最終原稿を準備する。 事後学修 4.0hr：指摘箇所を修正し、提出可能な状態に仕上げる。
15回	**授業テーマ：前期の総括と夏期課題** 授業内容：前期の活動の振り返りと、夏期休暇中の課題設定。 事前学修 3.0hr：前期の学習内容を整理する。 事後学修 4.0hr：夏期休暇中の調査・執筆を開始する。	30回	**授業テーマ：総括** 授業内容：卒業論文の提出と、ゼミ活動の振り返りを行う。 事前学修 3.0hr：卒業論文の最終点検を行う。 事後学修 4.0hr：1 年間の学びを振り返る。

専門ゼミ２(卒業論文を含む。)

開講学科等：経　｜　4 年次　｜　6 単位　｜　開講期：通

中平　千彦 (なかひら　かずひこ)

▌授業の概要

今年度の「専門ゼミ 2」(4 年次) では、3 年次までに学んだ内容を発展させ、日本経済の計量的実証分析を扱った卒業研究の作成を目指します。既に習得した「経済統計学」と「計量経済学」の知識に「ミクロ (マイクロ) 経済学」と「マクロ経済学」の手法を加え、アクティブ・ラーニング型学習も一部取り入れて、日本経済論をデータ分析の観点から学び、卒業論文の作成を目指します。

このような学習によって、実証分析能力も養成します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：・受講生が、経済統計学、計量経済学、ミクロ (マイクロ) 経済学、マクロ経済学の知識を統合して卒業論文を作成できるようになる。

個別目標：・経済統計学と計量経済学を分析手法として実証経済分析と卒業論文作成ができるようになる。

・経済統計学と計量経済学に関する基本的問題を理論・実証の両面から捉え、卒業論文作成ができるようになる。

▌履修条件

・3 年次における「専門ゼミ 1」の講義を履修済みであること。

▌評価基準・方法

・卒業論文評価 (90%)+参加度評価 (10%)=評価点 (100%) の評点配分で、ルーブリック型の評価手法も考慮して成績判定を行います。

・卒業論文作成プロセス評価と卒業論文評価の点数が基準最低点を下回る場合は単位が認定されません。

▌フィードバック方法

・課題や学習状況のフィードバックは基本的に講義内またはオフィスアワーで個別に行いますが、manaba を利用することもあります。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （アクティブ・ラーニングの要素として、学習課題に、教員提示型の設問に加えて、受講生提示型の設問も含める）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要に応じてノート・パソコンを使った演習を行います）

▌教科書

＊テキストは変更の可能性があります。第 1 回講義時の指示に注意すること。

(変更可能性あり) 小川一夫・得津一郎 (著)『日本経済:実証分析のすすめ』有斐閣, 2002 年

▌参考書

盛山和夫 (著)『統計学入門』筑摩書房，2015 年

釣雅雄 (著)『レクチャー＆エクササイズ 日本経済論』新世社, 2023 年

西山慶彦・新谷元嗣・川口大司・奥井亮 (著)『計量経済学』有斐閣，2019 年

蓑谷千凰彦 (著)『統計学入門』東京図書，2004 年

宮川公男 (著)『基本統計学 (第 5 版)』有斐閣，2022 年

森棟公夫・照井伸彦・中川満・西埜晴久・黒住英司 (著)『統計学 (改定版)』有斐閣, 2015 年

山本拓 (著)『計量経済学 (第 2 版)』新世社, 2022 年

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：国民経済計算体系からみた日本経済 (1)** 授業内容：「供給面から見た経済」、「需要面から見た経済」の項目について学びます。 事前学修 3.0hr：事前にシラバスを読み、本講義の概略を把握する。 事後学修 4.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。	16回	**授業テーマ：金融市場の構造と金融政策 (1)** 授業内容：「金融市場」、「経済主体別の資産選択行動」の項目について学びます。 事前学修 3.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 4.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
2回	**授業テーマ：国民経済計算体系からみた日本経済 (2)** 授業内容：「分配面から見た経済」、「ストック面から見た経済」の項目について学びます。 事前学修 3.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 4.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。	17回	**授業テーマ：金融市場の構造と金融政策 (2)** 授業内容：「金融市場の構造と金利決定」、「金融市場の計量分析」の項目について学びます。 事前学修 3.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 4.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
3回	**授業テーマ：国内総生産の決定 (1)** 授業内容：「需給均衡式」、「エコノメトリック・モデル」の項目について学びます。 事前学修 3.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 4.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。	18回	**授業テーマ：IS-LM 分析と日本経済への応用 (1)** 授業内容：「IS-LM 分析の理論的基礎」、「IS-LM 分析による政策分析」の項目について学びます。 事前学修 3.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 4.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
4回	**授業テーマ：国内総生産の決定 (2)** 授業内容：「分析モデルの拡張」、「経済成長の要因」の項目について学びます。 事前学修 3.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 4.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。	19回	**授業テーマ：IS-LM 分析と日本経済への応用 (2)** 授業内容：「IS-LM 分析の応用」、「IS-LM 分析よる定量的な応用分析」の項目について学びます。 事前学修 3.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 4.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
5回	**授業テーマ：統計学の基礎知識 (1)** 授業内容：「回帰モデル」、「最小 2 乗法」の項目について学びます。 事前学修 3.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 4.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。	20回	**授業テーマ：産業連関分析 (1)** 授業内容：「産業連関表」、「輸入の内生化」の項目について学びます。 事前学修 3.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 4.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
6回	**授業テーマ：統計学の基礎知識 (2)** 授業内容：「標本と母集団」、「標本平均の分布」の項目について学びます。 事前学修 3.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 4.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。	21回	**授業テーマ：産業連関分析 (2)** 授業内容：「産業連関分析による生産構造の把握」、「消費の内生化」の項目について学びます。 事前学修 3.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 4.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
7回	**授業テーマ：計量経済学の基礎知識 (1)** 授業内容：「最小 2 乗推定量の性質」、「自己相関」の項目について学びます。 事前学修 3.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 4.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。	22回	**授業テーマ：経済成長の源泉 (1)** 授業内容：「供給面から見た GDP 成長率の要因分析 (1)」、「供給面から見た GDP 成長率の要因分析 (2)」の項目について学びます。 事前学修 3.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 4.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。

8回	**授業テーマ：計量経済学の基礎知識 (2)** 授業内容：「分散不均一性」、「多重共線性」の項目について学びます。 事前学修 3.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 4.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。	23回	**授業テーマ：経済成長の源泉 (2)** 授業内容：「生産関数による技術進歩率の推定 (1)」、「生産関数による技術進歩率の推定 (2)」の項目について学びます。 事前学修 3.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 4.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
9回	**授業テーマ：計量経済学の基礎知識 (3)** 授業内容：「弾力性一定の回帰モデル」、「分布ラグモデル」の項目について学びます。 事前学修 3.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 4.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。	24回	**授業テーマ：経済成長の源泉 (3)** 授業内容：「技術構造の変化と経済成長 (1)」「技術構造の変化と経済成長 (2)」の項目について学びます。 事前学修 3.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 4.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
10回	**授業テーマ：計量経済学の基礎知識 (4)** 授業内容：「ダミー変数」、「連立方程式モデル」の項目について学びます。 事前学修 3.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 4.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。	25回	**授業テーマ：供給サイドの実証分析 (1)** 授業内容：「労働市場の理論分析 (1)」、「労働市場の理論分析 (2)」の項目について学びます。 事前学修 3.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 4.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
11回	**授業テーマ：消費行動分析 (1)** 授業内容：「家計の消費理論」、「消費関数の定式化と計測」の項目について学びます。 事前学修 3.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 4.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。	26回	**授業テーマ：供給サイドの実証分析 (2)** 授業内容：「労働市場の実証分析 (1)」、「労働市場の実証分析 (2)」の項目について学びます。 事前学修 3.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 4.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
12回	**授業テーマ：消費行動分析 (2)** 授業内容：「費目別消費関数の計測 (1)」、「費目別消費関数の計測 (2)」の項目について学びます。 事前学修 3.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 4.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。	27回	**授業テーマ：統計データの加工** 授業内容：「統計データの加工 (1)」、「統計データの加工 (2)」の項目について学びます。 事前学修 3.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 4.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
13回	**授業テーマ：投資行動分析 (1)** 授業内容：「設備投資理論」、「設備投資関数の特定化」の項目について学びます。 事前学修 3.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 4.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。	28回	**授業テーマ：卒業論文作成作業 (1)** 授業内容：「卒業論文作成作業の点検と修正 (1)」を行います。 事前学修 3.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 4.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
14回	**授業テーマ：投資行動分析 (2)** 授業内容：「設備投資の実証分析」、「住宅投資関数の計測」の項目について学びます。 事前学修 3.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 4.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。	29回	**授業テーマ：卒業論文作成作業 (2)** 授業内容：「卒業論文作成作業の点検と修正 (2)」を行います。 事前学修 3.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 4.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
15回	**授業テーマ：貿易構造と為替レート決定メカニズム** 授業内容：「貿易構造と為替レート決定 (1)」、「貿易構造と為替レート決定 (2)」の項目について学びます。 事前学修 3.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 4.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。	30回	**授業テーマ：卒業論文作成作業 (3)** 授業内容：「卒業論文作成作業の点検と修正 (3)」を行います。 事前学修 3.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 4.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。

専門ゼミ２(卒業論文を含む。)

開講学科等：経　｜　4 年次　｜　6 単位　｜　開講期：通

萩原　里紗 (はぎわら　りさ)

▌授業の概要

このゼミでは、データ分析の方法を習得した上で、客観的な証拠に基づいて議論し、自らの意見を相手に理解させる力を養う。前学期では、卒業論文のテーマに関連する先行研究のサーベイを行い、自らの関心のある研究分野を明らかにしていくとともに、プレゼンテーションのスキルを身につける。さらに、ディベートを通じて、客観的な証拠に基づいて議論するスキルを習得する。後学期では、専門ゼミ 1 や前学期で学んだデータ分析の方法や卒業論文の書き方を用いて、卒業論文を執筆し、その内容を発表する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：研究テーマを自ら設定し、調査・分析を行い、研究成果をまとめ、発表できる能力を身につける。

個別目標：1. 現実社会が抱える様々な問題を引き起こす原因を探れる(問題発見力)
2. 設定した仮説を検証できる適切なデータ・分析方法や研究テーマに関連する先行研究を収集できる (調査力)
3. 設定した仮説を検証するために統計ソフトを使った分析ができる (分析力)

▌履修条件

ゼミでの議論や研究活動、研究発表に積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

ゼミへの積極的な参加と貢献状況等の平常点、そして課題の結果によって総合的に評価する。
(平常点：40 %、課題：60 %)

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、次回授業時に全員に対してまとめて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、実習形式の授業を実施する）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （グループワーク、データ収集・分析、論文・レポート・発表資料作成等で、毎回使用する）

▌教科書

教科書は使用しない。教材として、授業資料を学修支援システム manaba にて配布する。

▌参考書

山本拓・竹内明香『入門計量経済学　Excel による実証分析へのガイド』新世社, 2013
山下隆之・石橋太郎・伊藤暁人・上藤一郎・黄愛珍・鈴木拓也『はじめよう経済学のための情報処理(第 4 版)』日本評論社, 2014
山本勲『実証分析のための計量経済学 正しい手法と結果の読み方』中央経済社, 2015

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：本授業の内容及び進め方について説明する。 事前学修 3.0hr：シラバスを読んで、授業内容を確認する。 事後学修 4.0hr：今後の授業の進め方を復習する。	16回	**授業テーマ：夏休み期間中の卒業論文の進捗状況の確認** 授業内容：夏休み期間中の卒業論文の進捗状況の確認を行う。 事前学修 3.0hr：発表の準備をする。 事後学修 4.0hr：確認した進捗状況を踏まえ、研究発表の準備を進める。
2回	**授業テーマ：卒業論文のテーマ選定** 授業内容：卒業論文のテーマ選定を行う。 事前学修 3.0hr：卒業論文のテーマを選び、関連する文献を複数選出し、概要をまとめる。 事後学修 4.0hr：指定された文献を読み、卒業論文のテーマを具体化する。	17回	**授業テーマ：卒業論文の中間発表に向けての準備** 授業内容：卒業論文の中間発表に向けての準備を行う。 事前学修 3.0hr：中間発表に向けて改善すべき点をまとめる。 事後学修 4.0hr：中間発表に向けて準備を進める。
3回	**授業テーマ：卒業論文で扱う検証仮説の設定** 授業内容：卒業論文で扱う検証仮説の設定を行う。 事前学修 3.0hr：卒業論文で扱う検証仮説を定め、先行研究と照らし合わせて、検証方法を検討する。 事後学修 4.0hr：指定された検証方法について調べて、内容を確認する。	18回	**授業テーマ：卒業論文の中間発表に向けての準備** 授業内容：卒業論文の中間発表に向けての準備を行う。 事前学修 3.0hr：中間発表に向けて改善すべき点をまとめる。 事後学修 4.0hr：中間発表に向けて準備を進める。
4回	**授業テーマ：データの取得方法** 授業内容：データの取得方法を検討する。 事前学修 3.0hr：学生が利用可能なデータの情報を収集する。 事後学修 4.0hr：卒業論文を執筆する際に必要なデータを選び、取得する。	19回	**授業テーマ：卒業論文の中間発表に向けての準備** 授業内容：卒業論文の中間発表に向けての準備を行う。 事前学修 3.0hr：中間発表に向けて改善すべき点をまとめる。 事後学修 4.0hr：中間発表に向けて準備を進める。
5回	**授業テーマ：エクセルを使ったデータ分析(記述統計、回帰分析)** 授業内容：エクセルを使ったデータ分析(記述統計、回帰分析)を習得する。 事前学修 3.0hr：教科書、参考書を読み、分析方法を確認する。 事後学修 4.0hr：授業で扱ったデータと分析方法を用いて、一人で分析ができるようになるまで繰り返し練習する。	20回	**授業テーマ：卒業論文の中間発表、質疑応答** 授業内容：卒業論文の中間発表、質疑応答を行う。 事前学修 3.0hr：研究発表者は研究発表、それ以外の者は質問の準備をする。 事後学修 4.0hr：ゼミ参加者のコメントをもとに発表の仕方や論文を修正する。
6回	**授業テーマ：STATA を使ったデータ分析(記述統計)** 授業内容：STATA を使ったデータ分析(記述統計)を習得する。 事前学修 3.0hr：教科書、参考書を読み、分析方法を確認する。 事後学修 4.0hr：授業で扱ったデータと分析方法を用いて、一人で分析ができるようになるまで繰り返し練習する。	21回	**授業テーマ：卒業論文の中間発表、質疑応答** 授業内容：卒業論文の中間発表、質疑応答を行う。 事前学修 3.0hr：研究発表者は研究発表、それ以外の者は質問の準備をする。 事後学修 4.0hr：ゼミ参加者のコメントをもとに発表の仕方や論文を修正する。
7回	**授業テーマ：STATA を使ったデータ分析(最小二乗法)** 授業内容：STATA を使ったデータ分析(最小二乗法)を習得する。 事前学修 3.0hr：教科書、参考書を読み、分析方法を確認する。 事後学修 4.0hr：授業で扱ったデータと分析方法を用いて、一人で分析ができるようになるまで繰り返し練習する。	22回	**授業テーマ：卒業論文の中間発表、質疑応答** 授業内容：卒業論文の中間発表、質疑応答を行う。 事前学修 3.0hr：研究発表者は研究発表、それ以外の者は質問の準備をする。 事後学修 4.0hr：ゼミ参加者のコメントをもとに発表の仕方や論文を修正する。
8回	**授業テーマ：STATA を使ったデータ分析(ダミー変数、カテゴリー変数、交差項)** 授業内容：STATA を使ったデータ分析(ダミー変数、カテゴリー変数、交差項)を習得する。 事前学修 3.0hr：教科書、参考書を読み、分析方法を確認する。 事後学修 4.0hr：授業で扱ったデータと分析方法を用いて、一人で分析ができるようになるまで繰り返し練習する。	23回	**授業テーマ：卒業論文の中間発表、質疑応答** 授業内容：卒業論文の中間発表、質疑応答を行う。 事前学修 3.0hr：研究発表者は研究発表、それ以外の者は質問の準備をする。 事後学修 4.0hr：ゼミ参加者のコメントをもとに発表の仕方や論文を修正する。

9回	**授業テーマ：STATA を使ったデータ分析（プロビットモデル、ロジットモデル）** 授業内容：STATA を使ったデータ分析（プロビットモデル、ロジットモデル）を習得する。 事前学修 3.0hr：教科書、参考書を読み、分析方法を確認する。 事後学修 4.0hr：授業で扱ったデータと分析方法を用いて、一人で分析ができるようになるまで繰り返し練習する。	24回	**授業テーマ：卒業論文の最終発表に向けての準備** 授業内容：卒業論文の最終発表に向けての準備を行う。 事前学修 3.0hr：最終発表に向けて改善すべき点をまとめる。 事後学修 4.0hr：最終発表に向けて準備を進める。
10回	**授業テーマ：STATA を使ったデータ分析（多項ロジットモデル）** 授業内容：STATA を使ったデータ分析（多項ロジットモデル）を習得する。 事前学修 3.0hr：教科書、参考書を読み、分析方法を確認する。 事後学修 4.0hr：授業で扱ったデータと分析方法を用いて、一人で分析ができるようになるまで繰り返し練習する。	25回	**授業テーマ：卒業論文の最終発表に向けての準備** 授業内容：卒業論文の最終発表に向けての準備を行う。 事前学修 3.0hr：最終発表に向けて改善すべき点をまとめる。 事後学修 4.0hr：最終発表に向けて準備を進める。
11回	**授業テーマ：STATA を使ったデータ分析（順序ロジットモデル）** 授業内容：STATA を使ったデータ分析（順序ロジットモデル）を習得する。 事前学修 3.0hr：教科書、参考書を読み、分析方法を確認する。 事後学修 4.0hr：授業で扱ったデータと分析方法を用いて、一人で分析ができるようになるまで繰り返し練習する。	26回	**授業テーマ：卒業論文の最終発表、質疑応答** 授業内容：卒業論文の最終発表、質疑応答を行う。 事前学修 3.0hr：研究発表者は研究発表、それ以外の者は質問の準備をする。 事後学修 4.0hr：ゼミ参加者のコメントをもとに論文を推敲する。
12回	**授業テーマ：STATA を使ったデータ分析（ヘックマンの二段階最小二乗法、トービットモデル）** 授業内容：STATA を使ったデータ分析（ヘックマンの二段階最小二乗法、トービットモデル）を習得する。 事前学修 3.0hr：教科書、参考書を読み、分析方法を確認する。 事後学修 4.0hr：授業で扱ったデータと分析方法を用いて、一人で分析ができるようになるまで繰り返し練習する。	27回	**授業テーマ：卒業論文の最終発表、質疑応答** 授業内容：卒業論文の最終発表、質疑応答を行う。 事前学修 3.0hr：研究発表者は研究発表、それ以外の者は質問の準備をする。 事後学修 4.0hr：ゼミ参加者のコメントをもとに論文を推敲する。
13回	**授業テーマ：STATA を使ったデータ分析（パネルデータ分析）** 授業内容：STATA を使ったデータ分析（パネルデータ分析）を習得する。 事前学修 3.0hr：教科書、参考書を読み、分析方法を確認する。 事後学修 4.0hr：授業で扱ったデータと分析方法を用いて、一人で分析ができるようになるまで繰り返し練習する。	28回	**授業テーマ：卒業論文の最終発表、質疑応答** 授業内容：卒業論文の最終発表、質疑応答を行う。 事前学修 3.0hr：研究発表者は研究発表、それ以外の者は質問の準備をする。 事後学修 4.0hr：ゼミ参加者のコメントをもとに論文を推敲する。
14回	**授業テーマ：卒業論文の書き方** 授業内容：卒業論文の書き方を習得する。 事前学修 3.0hr：関心のある研究テーマについて書かれた先行研究を検索し、その論文の書き方の手本となる点・改善点をまとめる。 事後学修 4.0hr：卒業論文の書き方を復習し、卒業論文の執筆を進める。	29回	**授業テーマ：卒業論文の最終発表、質疑応答** 授業内容：卒業論文の最終発表、質疑応答を行う。 事前学修 3.0hr：研究発表者は研究発表、それ以外の者は質問の準備をする。 事後学修 4.0hr：ゼミ参加者のコメントをもとに論文を推敲する。
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：前期授業の総括を行う。 事前学修 3.0hr：これまでの授業内容を予習する。 事後学修 4.0hr：夏休み期間中の卒業論文の進め方を確認する。	30回	**授業テーマ：総括** 授業内容：後期授業の総括を行う。 事前学修 3.0hr：これまでの授業内容を予習する。 事後学修 4.0hr：これまでの授業内容を復習する。

専門ゼミ２(卒業論文を含む。)

開講学科等：経　｜　4 年次　｜　6 単位　｜　開講期：通

廣部　恒忠 (ひろべ　つねただ)

▌授業の概要

専門ゼミ 1 に引き続き、専門ゼミ 2 では、更に様々なプログラミング技術の習得および向上を目指します。授業においては、いま AI 関連で一番人気の高い Python を取り扱いますが、ブラウザーアプリ作成等への汎用性も考慮し、他の言語、例えば、JavaScript なども同時並行的に取り扱います。また、皆さんからの要望に応じて、例えば、よりゲーム作成等に特化した Unity などのプログラミング言語を紹介します。また、昨年度に引き続いて、Dify を用いてより高度な生成 AI アプリの開発を行ってもらいます。また、Google Codelab、Antigravity、Colaboratory、Cursor、VSCode、ないし、Google AI Studio、Hugging Face Spaces、LangFlow 等を併用した統合開発環境下で最先端の AI・データサイエンス学修を進める予定です。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：AI(人工知能) をはじめとして、急速に進展しているデジタル革命、およびそこから新たに派生してくるであろうと考えられる種々の社会的な要望に応える際に必須となる入門的なプログラミング知識や技術等を習得してもらうことが主要な目標です。具体的には、簡単な AI を実装するなど、各自で実際に体感してみる事により AI 等への理解を深めてもらうこと、また、実際に AI のアプリケーションなどを自分で作成、実装するために必要な基礎的なプログラミング技術を習得してもらうことです。

個別目標：① AI などのデジタル技術の基礎知識と応用力を身につけることができる。
②プログラミングおよびそれに必要なアルゴリズムについて基礎的な知識等を身につけることができる。
③ Dify やその他の IDE のもとで高度な生成 AI アプリ等の開発ができるようになる。

▌履修条件

これまでに、「統計学 1」および「統計学 2」の単位を未修得の人は、今年度に私の担当する「統計学 1」および「統計学 2」を必ず履修登録すること。なお、既に「統計学 1」或いは「統計学 2」のどちらか一方の単位を取得している人は、今年度はまだ単位を取得していないもう一方の科目を履修登録すること(なお、履修予定者は、大学の指定期間中に必ず履修登録等を済ませること)。

▌評価基準・方法

授業時の演習やその他ゼミ活動等への積極的貢献度、レポートを含めた提出物などに基づき、ルーブリック手法等を援用しながら総合的に評価します。
なお、フィードバックを含め学修過程において、適宜、manaba システム等を利用します。
なお、原則として評価基準は、卒論ないしそれに相当する卒業プロジェクト 60 %、その他 (平常点など)40 %を目安とします。

▌フィードバック方法

manaba 等を利用して課題などのフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業状況に応じて）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業全般で利用予定）

▌教科書

別途お知らせします。

▌参考書

①「すぐに使える!業務で実践できる! Python による AI・機械学習・深層学習アプリのつくり方 TensorFlow2 対応」(ソシム)、②「Kaggle で勝つデータ分析の技術」(技術評論社)、③「Python 機械学習クックブック」、④「直感 Deep Learning ―Python × Keras でアイデアを形にするレシピ」オライリージャパン、⑤ゼロからわかる Dify の教科書(技術評論社)、⑥生成 AI アプリ開発大全(技術評論社)、⑦生成 AI アプリ開発入門 Dify 徹底活用ガイド(SB クリエイティブ)　など

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション(打ち合わせなど)** 授業内容：オリエンテーション(打ち合わせなど) 事前学修 3.0hr：シラバスを参考に、教科書などの予習をしましょう。 事後学修 4.0hr：授業で指示したように、各自、復習しましょう。	16回	**授業テーマ：後期のための導入、準備など (補習のための講義などを含む)** 授業内容：ゲームプログラミング入門(その１) 事前学修 3.0hr：事前にプリントを配布しますので、目を通しましょう。 事後学修 4.0hr：授業で指示したように、各自、復習しましょう。
2回	**授業テーマ：AI エージェントを活用したアプリケーション開発(1)** 授業内容：AI エージェントの基本 事前学修 3.0hr：シラバスを参考に、教科書などの予習をしましょう。 事後学修 4.0hr：授業で指示したように、各自、復習しましょう。	17回	**授業テーマ：Python プログラミング応用１(AI 関連アプリケーション作成・実装等)** 授業内容：ゲームプログラミング入門(その２) 事前学修 3.0hr：シラバスを参考に、教科書などの予習をしましょう。 事後学修 4.0hr：授業で指示したように、各自、復習しましょう。
3回	**授業テーマ：AI エージェントを活用したアプリケーション開発(2)** 授業内容：AI エージェントを活用した基本アプリ 事前学修 3.0hr：シラバスを参考に、教科書などの予習をしましょう。 事後学修 4.0hr：授業で指示したように、各自、復習しましょう。	18回	**授業テーマ：Python プログラミング応用２(AI 関連アプリケーション作成・実装等)** 授業内容：ゲームプログラミング入門(その３) 事前学修 3.0hr：シラバスを参考に、教科書などの予習をしましょう。 事後学修 4.0hr：授業で指示したように、各自、復習しましょう。
4回	**授業テーマ：AI エージェントを活用したアプリケーション開発(3)** 授業内容：AI エージェント導入の考え方 事前学修 3.0hr：シラバスを参考に、教科書などの予習をしましょう。 事後学修 4.0hr：授業で指示したように、各自、復習しましょう。	19回	**授業テーマ：Python プログラミング応用３(AI 関連アプリケーション作成・実装等)** 授業内容：ゲームプログラミング入門(その４) 事前学修 3.0hr：シラバスを参考に、教科書などの予習をしましょう。 事後学修 4.0hr：講義、配布物などをよく復習しましょう。
5回	**授業テーマ：Dify 生成 AI アプリケーション開発の応用(1)** 授業内容：応用例(1) 事前学修 3.0hr：シラバスを参考に、教科書などの予習をしましょう。 事後学修 4.0hr：授業で指示したように、各自、復習しましょう。	20回	**授業テーマ：Python プログラミング応用４(AI 関連アプリケーション作成・実装等)** 授業内容：ゲームプログラミング入門(その５) 事前学修 3.0hr：シラバスを参考に、教科書などの予習をしましょう。 事後学修 4.0hr：講義、配布物などをよく復習しましょう。
6回	**授業テーマ：Dify 生成 AI アプリケーション開発の応用(2)** 授業内容：応用例(2) 事前学修 3.0hr：シラバスを参考に、教科書などの予習をしましょう。 事後学修 4.0hr：授業で指示したように、各自、復習しましょう。	21回	**授業テーマ：Python プログラミング応用５(AI 関連アプリケーション作成・実装等)** 授業内容：ゲームプログラミング応用およびプロジェクト(その１) 事前学修 3.0hr：シラバスを参考に、教科書などの予習をしましょう。 事後学修 4.0hr：講義、配布物などをよく復習しましょう。
7回	**授業テーマ：Python プログラミング１(AI 関連アプリケーション)** 授業内容：機械学習応用編(その１) 事前学修 3.0hr：シラバスを参考に、教科書などの予習をしましょう。 事後学修 4.0hr：授業内容などの復習、必要に応じて宿題をやってもらいます。	22回	**授業テーマ：Python プログラミング応用６(AI 関連アプリケーション作成・実装等)** 授業内容：ゲームプログラミング応用およびプロジェクト(その２) 事前学修 3.0hr：シラバスを参考に、教科書などの予習をしましょう。 事後学修 4.0hr：講義、配布物などをよく復習しましょう。
8回	**授業テーマ：Python プログラミン２(AI 関連アプリケーション)** 授業内容：機械学習応用編(その２) 事前学修 3.0hr：シラバスを参考に、教科書などの予習をしましょう。 事後学修 4.0hr：授業内容などの復習をしましょう。	23回	**授業テーマ：Python プログラミング応用７(AI 関連アプリケーション作成・実装等)** 授業内容：ゲームプログラミング応用およびプロジェクト(その３) 事前学修 3.0hr：シラバスを参考に、教科書などの予習をしましょう。 事後学修 4.0hr：授業内容などの復習、必要に応じて宿題をやってもらいます。

9回	**授業テーマ：Python プログラミング３（AI 関連アプリケーション）** 授業内容：機械学習応用編（その３） 事前学修 3.0hr：シラバスを参考に、教科書などの予習をしましょう。 事後学修 4.0hr：授業内容などの復習をしましょう。	24回	**授業テーマ：Python 以外のプログラミング言語などおよびその応用例１** 授業内容：ゲームプログラミング応用およびプロジェクト（その４） 事前学修 3.0hr：シラバスを参考に、教科書などの予習をしましょう。 事後学修 4.0hr：講義、配布物などをよく復習しましょう。
10回	**授業テーマ：Python プログラミング４（AI 関連アプリケーション）** 授業内容：自然言語処理（その１） 事前学修 3.0hr：シラバスを参考に、教科書などの予習をしましょう。 事後学修 4.0hr：授業で指示したように、各自、復習しましょう。	25回	**授業テーマ：Python 以外のプログラミング言語などおよびその応用例２** 授業内容：ゲームプログラミング応用およびプロジェクト（その５） 事前学修 3.0hr：シラバスを参考に、教科書などの予習をしましょう。 事後学修 4.0hr：講義、配布物などをよく復習しましょう。
11回	**授業テーマ：Python プログラミング５（AI 関連アプリケーション）** 授業内容：自然言語処理（その２） 事前学修 3.0hr：シラバスを参考に、教科書などの予習をしましょう。 事後学修 4.0hr：授業内容などの復習、必要に応じて宿題をやってもらいます。	26回	**授業テーマ：Python 以外のプログラミング言語などおよびその応用例３** 授業内容：ゲームプログラミング応用およびプロジェクト（その６） 事前学修 3.0hr：シラバスを参考に、教科書などの予習をしましょう。 事後学修 4.0hr：講義、配布物などをよく復習しましょう。
12回	**授業テーマ：Python プログラミング６（AI 関連アプリケーション）** 授業内容：自然言語処理（その３） 事前学修 3.0hr：シラバスを参考に、教科書などの予習をしましょう。 事後学修 4.0hr：授業で指示したように、各自、復習しましょう。	27回	**授業テーマ：Python 以外のプログラミング言語などおよびその応用例４** 授業内容：ゲームプログラミング応用およびプロジェクト（その７） 事前学修 3.0hr：シラバスを参考に、教科書などの予習をしましょう。 事後学修 4.0hr：講義、配布物などをよく復習しましょう。
13回	**授業テーマ：Python プログラミング７（AI 関連アプリケーション）** 授業内容：自然言語処理（その４） 事前学修 3.0hr：シラバスを参考に、教科書などの予習をしましょう。 事後学修 4.0hr：授業内容などの復習、必要に応じて宿題をやってもらいます。	28回	**授業テーマ：Python 以外のプログラミング言語などおよびその応用例５** 授業内容：ゲームプログラミング応用およびプロジェクト（その８） 事前学修 3.0hr：シラバスを参考に、教科書などの予習をしましょう。 事後学修 4.0hr：授業で指示したように、各自、復習しましょう。
14回	**授業テーマ：Python プログラミング８（AI 関連アプリケーション）** 授業内容：自然言語処理（その５） 事前学修 3.0hr：シラバスを参考に、教科書などの予習をしましょう。 事後学修 4.0hr：授業で指示したように、各自、復習しましょう。	29回	**授業テーマ：最終報告など** 授業内容：報告事項に関する検討・助言など 事前学修 3.0hr：各自で、報告等の準備をしましょう。 事後学修 4.0hr：授業で指示したように、各自、復習しましょう。
15回	**授業テーマ：中間報告** 授業内容：前期のまとめ 事前学修 3.0hr：各自、自分の報告についての準備をしましょう。 事後学修 4.0hr：前期の総括および後期のためのスケジュール調整など。	30回	**授業テーマ：まとめ（専門ゼミ２の総括など）** 授業内容：今年度の授業全般を振り返って 事前学修 3.0hr：事前の指示に従い、準備しましょう。 事後学修 4.0hr：各自で反省点も含め、自己総括をしましょう。

専門ゼミ２(卒業論文を含む。)

開講学科等：経 ｜ 4 年次 ｜ 6 単位 ｜ 開講期：通

水谷　浩之 (みずたに　ひろゆき)

▌授業の概要

卒業論文の作成に当たり、学術的文章の書き方、プレゼンテーションの方法、研究の進め方について指導する。また、ゼミ生が研究テーマを設定した上で、研究成果の発表とディスカッションを中心にゼミを進める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：設定した研究テーマに沿った卒業論文を完成させる。

個別目標：1 自ら設定した問題に対し、論理的思考により分析できるようになる。
2 学術的文章の書き方の基本を習得する。
3 自分の考えを正確に伝えるプレゼンテーションができるようになる。

▌履修条件

ゼミ活動に積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

卒業論文 60 %・平常点 40 %(プレゼンテーション・ディスカッションの内容)で評価する。
※原則として５分の４以上の出席が評価の前提条件となります。

▌フィードバック方法

発表後にゼミ生に講評を行ないます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーション等で使用します。）

▌教科書

必要に応じて指示する。

▌参考書

必要に応じて指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：研究計画書の作成に当たりポイントを説明する。 事前学修 3.0hr：講義概要を読んでおく 事後学修 4.0hr：研究計画書の作成準備	16回	**授業テーマ：卒業論文(序論)の作成と発表(グループ①)** 授業内容：卒業論文を作成する。当該グループのゼミ生は卒業論文について発表する。 事前学修 3.0hr：卒業論文の作成準備 事後学修 4.0hr：卒業論文の作成
2回	**授業テーマ：研究計画書の作成と発表(グループ①)** 授業内容：研究計画書を作成する。当該グループのゼミ生は研究計画書について発表する。 事前学修 3.0hr：研究計画書の作成準備、発表準備 事後学修 4.0hr：発表後のディスカッションを踏まえ、研究計画書を更新する。	17回	**授業テーマ：卒業論文(序論)の作成と発表(グループ②)** 授業内容：卒業論文を作成する。当該グループのゼミ生は卒業論文について発表する。 事前学修 3.0hr：卒業論文の作成準備 事後学修 4.0hr：卒業論文の作成
3回	**授業テーマ：研究計画書の作成と発表(グループ②)** 授業内容：研究計画書を作成する。当該グループのゼミ生は研究計画書について発表する。 事前学修 3.0hr：研究計画書の作成準備、発表準備 事後学修 4.0hr：発表後のディスカッションを踏まえ、研究計画書を更新する。	18回	**授業テーマ：卒業論文(序論)の作成と発表(グループ③)** 授業内容：卒業論文を作成する。当該グループのゼミ生は卒業論文について発表する。 事前学修 3.0hr：卒業論文の作成準備 事後学修 4.0hr：卒業論文の作成
4回	**授業テーマ：研究計画書の作成と発表(グループ③)** 授業内容：研究計画書を作成する。当該グループのゼミ生は研究計画書について発表する。 事前学修 3.0hr：研究計画書の作成準備、発表準備 事後学修 4.0hr：発表後のディスカッションを踏まえ、研究計画書を更新する。	19回	**授業テーマ：卒業論文(序論)の作成と発表(グループ④)** 授業内容：卒業論文を作成する。当該グループのゼミ生は卒業論文について発表する。 事前学修 3.0hr：卒業論文の作成準備 事後学修 4.0hr：卒業論文の作成
5回	**授業テーマ：研究計画書の作成と発表(グループ④)** 授業内容：研究計画書を作成する。当該グループのゼミ生は研究計画書について発表する。 事前学修 3.0hr：研究計画書の作成準備、発表準備 事後学修 4.0hr：発表後のディスカッションを踏まえ、研究計画書を更新する。	20回	**授業テーマ：卒業論文(先行研究)の作成と発表(グループ①)** 授業内容：卒業論文を作成する。当該グループのゼミ生は卒業論文について発表する。 事前学修 3.0hr：卒業論文の作成準備 事後学修 4.0hr：卒業論文の作成
6回	**授業テーマ：研究計画書の作成と発表(グループ①)** 授業内容：研究計画書を作成する。当該グループのゼミ生は研究計画書について発表する。 事前学修 3.0hr：研究計画書の作成準備、発表準備 事後学修 4.0hr：発表後のディスカッションを踏まえ、研究計画書を更新する。	21回	**授業テーマ：卒業論文(先行研究)の作成と発表(グループ②)** 授業内容：卒業論文を作成する。また、当該グループのゼミ生は卒業論文について発表する。 事前学修 3.0hr：卒業論文の作成準備 事後学修 4.0hr：卒業論文の作成
7回	**授業テーマ：研究計画書の作成と発表(グループ②)** 授業内容：研究計画書を作成する。当該グループのゼミ生は研究計画書について発表する。 事前学修 3.0hr：研究計画書の作成準備、発表準備 事後学修 4.0hr：発表後のディスカッションを踏まえ、研究計画書を更新する。	22回	**授業テーマ：卒業論文(先行研究)の作成と発表(グループ③)** 授業内容：卒業論文を作成する。また、当該グループのゼミ生は卒業論文について発表する。 事前学修 3.0hr：卒業論文の作成準備 事後学修 4.0hr：卒業論文の作成
8回	**授業テーマ：研究計画書の作成と発表(グループ③)** 授業内容：研究計画書を作成する。当該グループのゼミ生は研究計画書について発表する。 事前学修 3.0hr：研究計画書の作成準備、発表準備 事後学修 4.0hr：発表後のディスカッションを踏まえ、研究計画書を更新する。	23回	**授業テーマ：卒業論文(先行研究)の作成と発表(グループ④)** 授業内容：卒業論文を作成する。また、当該グループのゼミ生は卒業論文について発表する。 事前学修 3.0hr：卒業論文の作成準備 事後学修 4.0hr：卒業論文の作成
9回	**授業テーマ：研究計画書の作成と発表(グループ④)** 授業内容：研究計画書を作成する。当該グループのゼミ生は研究計画書について発表する。 事前学修 3.0hr：研究計画書の作成準備、発表準備 事後学修 4.0hr：発表後のディスカッションを踏まえ、研究計画書を更新する。	24回	**授業テーマ：卒業論文の作成(事例の概要・分析結果)と発表(グループ①)** 授業内容：卒業論文を作成する。また、当該グループのゼミ生は卒業論文について発表する。 事前学修 3.0hr：卒業論文の作成準備 事後学修 4.0hr：卒業論文の作成

10回	**授業テーマ：研究計画書の作成と発表(グループ①)** 授業内容：研究計画書を作成する。当該グループのゼミ生は研究計画書について発表する。 事前学修 3.0hr：研究計画書の作成準備、発表準備 事後学修 4.0hr：発表後のディスカッションを踏まえ、研究計画書を更新する。	25回	**授業テーマ：卒業論文(事例の概要・分析結果)の作成と発表(グループ②)** 授業内容：卒業論文を作成する。また、当該グループのゼミ生は卒業論文について発表する。 事前学修 3.0hr：卒業論文の作成準備 事後学修 4.0hr：卒業論文の作成
11回	**授業テーマ：研究計画書の作成と発表(グループ②)** 授業内容：研究計画書を作成する。当該グループのゼミ生は研究計画書について発表する。 事前学修 3.0hr：研究計画書の作成準備、発表準備 事後学修 4.0hr：発表後のディスカッションを踏まえ、研究計画書を更新する	26回	**授業テーマ：卒業論文(事例の概要・分析結果)の作成と発表(グループ③)** 授業内容：卒業論文を作成する。当該グループのゼミ生は卒業論文について発表する。 事前学修 3.0hr：卒業論文の作成準備 事後学修 4.0hr：卒業論文の作成
12回	**授業テーマ：研究計画書の作成と発表(グループ③)** 授業内容：研究計画書を作成する。当該グループのゼミ生は研究計画書について発表する。 事前学修 3.0hr：研究計画書の作成準備、発表準備 事後学修 4.0hr：発表後のディスカッションを踏まえ、研究計画書を更新する。	27回	**授業テーマ：卒業論文(事例の概要・分析結果)の作成と発表(グループ④)** 授業内容：卒業論文(事例の概要・分析結果)を作成する。また、当該グループのゼミ生は卒業論文について発表する。 事前学修 3.0hr：卒業論文の作成準備 事後学修 4.0hr：卒業論文の作成
13回	**授業テーマ：研究計画書の作成と発表(グループ④)** 授業内容：研究計画書を作成する。当該グループのゼミ生は研究計画書について発表する。 事前学修 3.0hr：研究計画書の作成準備、発表準備 事後学修 4.0hr：発表後のディスカッションを踏まえ、研究計画書を更新する。	28回	**授業テーマ：卒業論文の作成(考察・まとめ)と発表(グループ①、②)** 授業内容：卒業論文を作成する。また、当該グループのゼミ生は卒業論文について発表する。 事前学修 3.0hr：卒業論文の作成準備 事後学修 4.0hr：卒業論文の作成
14回	**授業テーマ：研究計画書の作成と発表(グループ①、②)** 授業内容：研究計画書を作成する。当該グループのゼミ生は研究計画書について発表する。 事前学修 3.0hr：研究計画書の作成準備、発表準備 事後学修 4.0hr：発表後のディスカッションを踏まえ、研究計画書を更新する。	29回	**授業テーマ：卒業論文(考察・まとめ)の作成と発表(グループ③、④)** 授業内容：卒業論文を作成する。また、当該グループのゼミ生は卒業論文について発表する。 事前学修 3.0hr：卒業論文の作成準備 事後学修 4.0hr：卒業論文の作成
15回	**授業テーマ：研究計画書の作成と発表(グループ③、④)** 授業内容：研究計画書を作成する。当該グループのゼミ生は研究計画書について発表する。 事前学修 3.0hr：研究計画書の作成準備、発表準備 事後学修 4.0hr：発表後のディスカッションを踏まえ、研究計画書を更新する。	30回	**授業テーマ：完成した卒業論文の発表** 授業内容：2 年間のまとめとして、完成した卒業論文を発表する。 事前学修 3.0hr：発表に向けた準備 事後学修 4.0hr：卒業論文の提出

専門ゼミ２(卒業論文を含む。)

開講学科等：経　｜　4 年次　｜　6 単位　｜　開講期：通

宮崎　礼二 (みやざき　れいじ)

▌授業の概要

このゼミの主な３つの目的：① 卒業論文の作成。学士(経済学)の称号を授与されるために、卒業論文が必須である。② グループ・ディスカッションを通して、さまざまな物事や問題に対する視点と解決法を論理的・創造的に提示することができるようになること。③ これらの活動を通じて生まれるゼミ生同士の強い人的ネットワークを構築すること。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：社会的な課題に対する創造的な解決策を示し、その実現可能性について合理的に判断するとともに、論文の形式によってそれを対外的に発信することができる。

個別目標：１．社会的な課題に対して強い関心を持ち、それに対する解決策を提案することができること。
２．論理的・創造的に思考し、結論を導き出すことができること。
３．論文や報告書・提案書を作成する技術を身につけていること。
４．人的ネットワークを広げ、深めること。

▌履修条件

１．授業の５分の４以上(30 回中 24 回以上)出席すること。
２．授業外での作業に積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

１．情報収集力・課題発見力・論理的思考力(20 %)
２．チームワーク・積極性・実行力(20 %)
３．専門知識の応用力・IT 等のスキル(20 %)
４．卒業論文(40 %)

▌フィードバック方法

ゼミ内と manaba でフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba の利用）

▌教科書

とくに指定しない。

▌参考書

各自の卒業論文テーマに応じて適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：ゼミ進行と卒業論文の作成について説明。 事前学修 3.0hr：新聞、雑誌、ネットなどを利用して最新の経済動向を知る 事後学修 4.0hr：本年度の行動計画の作成	16回	**授業テーマ：ガイダンス：今後の予定** 授業内容：卒業論文の完成までのロードマップの共有。 事前学修 3.0hr：卒業論文執筆の進捗状況の報告準備 事後学修 4.0hr：論文の執筆計画の見直し
2回	**授業テーマ：行動計画の発表** 授業内容：卒業論文の完成までのロードマップについて説明。 事前学修 3.0hr：行動計画の発表資料準備 事後学修 4.0hr：ゼミでのアドバイスや意見を踏まえて再検討	17回	**授業テーマ：就職活動についてのディスカッション** 授業内容：就職活動に関する指導。 事前学修 3.0hr：就職活動の状況報告会の準備 事後学修 4.0hr：ディスカッションを振り返り、就職活動の見直し
3回	**授業テーマ：卒業論文テーマの選定** 授業内容：各自による研究テーマの選定作業。 事前学修 3.0hr：卒業論文のテーマを複数準備 事後学修 4.0hr：ゼミでのアドバイスや意見を踏まえてテーマを絞り込む	18回	**授業テーマ：一次中間報告とディスカッション** 授業内容：卒業論文の第一次報告会。 事前学修 3.0hr：卒業論文の構想発表資料の準備 事後学修 4.0hr：ディスカッションを振り返り、卒業論文の構想を再検討
4回	**授業テーマ：卒業論文テーマの選定** 授業内容：各自による研究テーマの選定作業。 事前学修 3.0hr：絞り込んだテーマの発表資料準備 事後学修 4.0hr：ゼミでのアドバイスや意見を踏まえて精緻化	19回	**授業テーマ：一次中間報告とディスカッション** 授業内容：卒業論文の第一次報告会。 事前学修 3.0hr：卒業論文の構想発表資料の準備 事後学修 4.0hr：ディスカッションを振り返り、卒業論文の構想を再検討
5回	**授業テーマ：テーマについての報告とディスカッション** 授業内容：研究テーマの報告とディスカッション。 事前学修 3.0hr：卒業論文の構想を発表 事後学修 4.0hr：ディスカッションを振り返り、テーマを再検討	20回	**授業テーマ：二次中間報告とディスカッション** 授業内容：卒業論文の第二次報告会。 事前学修 3.0hr：卒業論文の構想の再検討の結果報告準備 事後学修 4.0hr：ディスカッションを振り返り、卒業論文の構想の再々検討
6回	**授業テーマ：テーマについての報告とディスカッション** 授業内容：研究テーマの報告とディスカッション。 事前学修 3.0hr：卒業論文の構想を発表 事後学修 4.0hr：ディスカッションを振り返り、テーマを再検討	21回	**授業テーマ：二次中間報告とディスカッション** 授業内容：卒業論文の第二次報告会。 事前学修 3.0hr：卒業論文の構想の再々検討結果報告資料の準備 事後学修 4.0hr：ディスカッションを振り返り、卒業論文の構想の再々検討
7回	**授業テーマ：卒業論文のテーマ仮確定** 授業内容：第一次テーマ確定と具体化の構想作り。 事前学修 3.0hr：卒業論文の構想の再検討結果の報告 事後学修 4.0hr：ディスカッションを振り返り再検討	22回	**授業テーマ：執筆状況報告** 授業内容：各自による執筆状況の報告。 事前学修 3.0hr：執筆 事後学修 4.0hr：執筆
8回	**授業テーマ：論文の一般的な構成** 授業内容：論文構成の指導。 事前学修 3.0hr：論文の構成とは何か、各自調べてくること。 事後学修 4.0hr：卒業論文の構成を各自考える	23回	**授業テーマ：執筆状況報告** 授業内容：各自による執筆状況の報告。 事前学修 3.0hr：執筆 事後学修 4.0hr：執筆
9回	**授業テーマ：構成についての報告とディスカッション** 授業内容：各自の論文構成の発表とディスカッション。 事前学修 3.0hr：卒業論文の構成を準備 事後学修 4.0hr：ディスカッションを振り返り、構成を再検討	24回	**授業テーマ：執筆状況報告** 授業内容：各自による執筆状況の報告。 事前学修 3.0hr：執筆 事後学修 4.0hr：ゼミでのアドバイスや意見を踏まえて修正作業

10回	**授業テーマ：構成についての報告とディスカッション** 授業内容：各自の論文構成の発表とディスカッション。 事前学修 3.0hr：卒業論文の構成を準備 事後学修 4.0hr：ディスカッションを振り返り、構成を再検討	25回	**授業テーマ：執筆状況報告** 授業内容：各自による執筆状況の報告。 事前学修 3.0hr：執筆 事後学修 4.0hr：ゼミでのアドバイスや意見を踏まえて修正作業
11回	**授業テーマ：資料収集の方法** 授業内容：論文資料の収集方法の指導。 事前学修 3.0hr：各自テーマの資料を収集 事後学修 4.0hr：資料収集の再検討	26回	**授業テーマ：執筆状況報告** 授業内容：各自による執筆状況の報告。 事前学修 3.0hr：執筆 事後学修 4.0hr：ゼミでのアドバイスや意見を踏まえて修正作業
12回	**授業テーマ：資料収集作業** 授業内容：各自による論文資料の収集作業。 事前学修 3.0hr：資料収集作業 事後学修 4.0hr：資料収集作業	27回	**授業テーマ：執筆状況報告** 授業内容：各自による執筆状況の報告。 事前学修 3.0hr：執筆 事後学修 4.0hr：執筆
13回	**授業テーマ：資料収集** 授業内容：各自による論文資料の収集作業。 事前学修 3.0hr：資料収集作業 事後学修 4.0hr：資料収集作業	28回	**授業テーマ：最終報告とディスカッション** 授業内容：卒業論文準備段階での最終報告。 事前学修 3.0hr：卒業論文の要旨作成 事後学修 4.0hr：ディスカッションを振り返り、卒業論文を修正
14回	**授業テーマ：論文における注と参考文献の扱い方** 授業内容：論文作法としての資料の取り扱い方の指導。 事前学修 3.0hr：各自の資料を参照しながら注と参考文献のサンプルを作成 事後学修 4.0hr：自分の卒業論文の注と参考文献の扱い方の見直し	29回	**授業テーマ：最終報告とディスカッション** 授業内容：卒業論文準備段階での最終報告。 事前学修 3.0hr：卒業論文の要旨作成 事後学修 4.0hr：ディスカッションを振り返り、卒業論文を修正
15回	**授業テーマ：就職活動についての「気づき」報告会** 授業内容：就職活動に関する指導。 事前学修 3.0hr：自分の就職活動での「気づき」報告会の準備 事後学修 4.0hr：ディスカッションを振り返り、就職活動を見直す	30回	**授業テーマ：ゼミ活動の振り返りとディスカッション** 授業内容：総括の共有。 事前学修 3.0hr：２年間のゼミ活動を振り返りをまとめる 事後学修 4.0hr：ゼミでの活動をふまえて、将来計画を立てる

専門ゼミ２(卒業論文を含む。)

開講学科等：経　｜　4 年次　｜　6 単位　｜　開講期：通

吉田　敦（よしだ　あつし）

▌授業の概要

卒業論文を作成できなかった学生は、可視的な「学修の成果」を他者に提示できず、４年間の大学生活の意義を問われかねない。したがって「専門ゼミ２」では例外なく(就職活動とは全く関係なく)、卒業論文の作成と提出を単位認定の「絶対的な条件」とする。なお現時点では日程を明示できないが、「卒業論文中間発表会」については欠席厳禁とする。また同様に日程を明らかにできないが、「卒業論文提出日」を設定する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1、経営コース 2）

一般目標：「専門ゼミ２」の到達目標は、数量分析(データ分析)を基礎とする「卒業論文の完成」である。これこそが大学における勉学の集大成であり、その過程において分析力等もさることながら、社会人として不可欠な忍耐力や責任感を培うことができるのである。

個別目標：①課題研究において数量分析が有用である事を説明できる。
②学士課程修了の為に、なぜ卒業論文を作成しなければならないかについて説明できる。

▌履修条件

1. 吉田敦担当専門ゼミ 1 を受講し、4 年進級前に単位認定インターンシップ、ボランティア或いは海外研修へ参加している事が、本来の履修条件である。2. 公欠に関しては『履修の手引き』記載規則を遵守する。すなわち正式な証明書類の提出できないケースでは公欠を認めない。例えば説明会出席は条件を満たさない。さらに公欠は出席でも欠席でもないので、授業内課題に代えての得点の機会を与えない。

▌評価基準・方法

1. 授業内における卒業論文作成作業―各 2 点(30 回分, 合計 60 点)
2. 卒業論文中間発表会での発表－最大 10 点
3. アブストラクト及び卒業論文の期限までの作成提出―最大 30 点

▌フィードバック方法

全授業終了前において、その時点での卒業論文作成内容を発表して頂く。その際に必ず何らかのコメントをする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （全授業においてその日の研究成果を発表して頂く。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Excel でのデータ分析結果のみを上記の成果として認める。）

▌教科書

特に指定しない。

▌参考書

矢野恒太記念会編『日本国勢図会』。同左『世界国勢図会』。同左『データでみる県勢』。
加納悟・浅子和美・竹内明香著『入門経済のための統計学第 3 版』(2011 年、日本評論社)
田中一成著『子どもに教えるためのプログラミング入門－ Excel ではじめる Visual Basic －』(2016 年、オーム社)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：評価方法・卒業論文(以下卒論)作成等に関する説明** 授業内容：専門ゼミ 2 の授業運営方針を説明し、かつ各自卒論の概要を発表する。 事前学修 3.0hr：卒論の概要について考えて置く事。 事後学修 4.0hr：卒論の修正案について考えて置く事。	16回	**授業テーマ：前学期におけるデータ分析結果の取りまとめ作業** 授業内容：前学期の研究成果を卒論用に編集し、その日の結果を発表する。 事前学修 3.0hr：データ分析結果の編集・発表資料の作成。 事後学修 4.0hr：発表資料の修正
2回	**授業テーマ：卒論関連の数量データの分析とその結果の発表** 授業内容：Excel でのデータ分析を行い、その結果を Word にてまとめ報告し、ファイルを保存する。 事前学修 3.0hr：研究対象について情報を収集して置く事。 事後学修 4.0hr：当該授業で作成した資料、解説文のチェック。	17回	**授業テーマ：前学期におけるデータ分析結果の取りまとめ作業** 授業内容：前学期の研究成果を卒論用に編集し、その日の結果を発表する。 事前学修 3.0hr：データ分析結果の編集・発表資料の作成。 事後学修 4.0hr：発表資料の修正
3回	**授業テーマ：卒論関連の数量データの分析とその結果の発表** 授業内容：Excel でのデータ分析を行い、その結果を Word にてまとめ報告し、ファイルを保存する。 事前学修 3.0hr：研究対象について情報を収集して置く事。 事後学修 4.0hr：当該授業で作成した資料、解説文のチェック。	18回	**授業テーマ：前学期におけるデータ分析結果の取りまとめ作業** 授業内容：前学期の研究成果を卒論用に編集し、その日の結果を発表する。 事前学修 3.0hr：データ分析結果の編集・発表資料の作成。 事後学修 4.0hr：発表資料の修正
4回	**授業テーマ：卒論関連の数量データの分析とその結果の発表** 授業内容：Excel でのデータ分析を行い、その結果を Word にてまとめ報告し、ファイルを保存する。 事前学修 3.0hr：研究対象について情報を収集して置く事。 事後学修 4.0hr：当該授業で作成した資料、解説文のチェック。	19回	**授業テーマ：前学期におけるデータ分析結果の取りまとめ作業** 授業内容：前学期の研究成果を卒論用に編集し、その日の結果を発表する。 事前学修 3.0hr：データ分析結果の編集・発表資料の作成。 事後学修 4.0hr：発表資料の修正
5回	**授業テーマ：卒論関連の数量データの分析とその結果の発表** 授業内容：Excel でのデータ分析を行い、その結果を Word にてまとめ報告し、ファイルを保存する。 事前学修 3.0hr：研究対象について情報を収集して置く事。 事後学修 4.0hr：当該授業で作成した資料、解説文のチェック。	20回	**授業テーマ：前学期におけるデータ分析結果の取りまとめ作業** 授業内容：前学期の研究成果を卒論用に編集し、その日の結果を発表する。 事前学修 3.0hr：データ分析結果の編集・発表資料の作成。 事後学修 4.0hr：発表資料の修正
6回	**授業テーマ：卒論関連の数量データの分析とその結果の発表** 授業内容：Excel でのデータ分析を行い、その結果を Word にてまとめ報告し、ファイルを保存する。 事前学修 3.0hr：研究対象について情報を収集して置く事。 事後学修 4.0hr：当該授業で作成した資料、解説文のチェック。	21回	**授業テーマ：卒論としての編集作業** 授業内容：上記の作業を行い、その日の結果を発表する。 事前学修 3.0hr：卒論としての編集作業 事後学修 4.0hr：発表結果の修正
7回	**授業テーマ：卒論関連の数量データの分析とその結果の発表** 授業内容：Excel でのデータ分析を行い、その結果を Word にてまとめ報告し、ファイルを保存する。 事前学修 3.0hr：研究対象について情報を収集して置く事。 事後学修 4.0hr：当該授業で作成した資料、解説文のチェック。	22回	**授業テーマ：卒論としての編集作業** 授業内容：上記の作業を行い、その日の結果を発表する。 事前学修 3.0hr：卒論としての編集作業 事後学修 4.0hr：発表結果の修正
8回	**授業テーマ：卒論関連の数量データの分析とその結果の発表** 授業内容：Excel でのデータ分析を行い、その結果を Word にてまとめ報告し、ファイルを保存する。 事前学修 3.0hr：研究対象について情報を収集して置く事。 事後学修 4.0hr：当該授業で作成した資料、解説文のチェック。	23回	**授業テーマ：卒論としての編集作業** 授業内容：上記の作業を行い、その日の結果を発表する。 事前学修 3.0hr：卒論としての編集作業 事後学修 4.0hr：発表結果の修正

9回	**授業テーマ：卒論関連の数量データの分析とその結果の発表** 授業内容：Excel でのデータ分析を行い、その結果を Word にてまとめ報告し、ファイルを保存する。 事前学修 3.0hr：研究対象について情報を収集して置く事。 事後学修 4.0hr：当該授業で作成した資料、解説文のチェック。	24回	**授業テーマ：卒論としての編集作業** 授業内容：上記の作業を行い、その日の結果を発表する。 事前学修 3.0hr：卒論としての編集作業 事後学修 4.0hr：発表結果の修正
10回	**授業テーマ：卒論関連の数量データの分析とその結果の発表** 授業内容：Excel でのデータ分析を行い、その結果を Word にてまとめ報告し、ファイルを保存する。 事前学修 3.0hr：研究対象について情報を収集して置く事。 事後学修 4.0hr：当該授業で作成した資料、解説文のチェック。	25回	**授業テーマ：卒論としての編集作業** 授業内容：上記の作業を行い、その日の結果を発表する。 事前学修 3.0hr：卒論としての編集作業 事後学修 4.0hr：発表結果の修正
11回	**授業テーマ：卒論関連の数量データの分析とその結果の発表** 授業内容：Excel でのデータ分析を行い、その結果を Word にてまとめ報告し、ファイルを保存する。 事前学修 3.0hr：研究対象について情報を収集して置く事。 事後学修 4.0hr：当該授業で作成した資料、解説文のチェック。	26回	**授業テーマ：卒論の校正作業** 授業内容：その日の作業報告。箇条書きでも良い。 事前学修 3.0hr：卒論の校正作業 事後学修 4.0hr：その日の校正箇所の再校
12回	**授業テーマ：卒論関連の数量データの分析とその結果の発表** 授業内容：Excel でのデータ分析を行い、その結果を Word にてまとめ報告し、ファイルを保存する。 事前学修 3.0hr：研究対象について情報を収集して置く事。 事後学修 4.0hr：当該授業で作成した資料、解説文のチェック。	27回	**授業テーマ：卒論の校正作業** 授業内容：その日の作業報告。箇条書きでも良い。 事前学修 3.0hr：卒論の校正作業 事後学修 4.0hr：その日の校正箇所の再校
13回	**授業テーマ：卒論関連の数量データの分析とその結果の発表** 授業内容：Excel でのデータ分析を行い、その結果を Word にてまとめ報告し、ファイルを保存する。 事前学修 3.0hr：研究対象について情報を収集して置く事。 事後学修 4.0hr：当該授業で作成した資料、解説文のチェック。	28回	**授業テーマ：卒論の校正作業** 授業内容：その日の作業報告。箇条書きでも良い。 事前学修 3.0hr：卒論の校正作業 事後学修 4.0hr：その日の校正箇所の再校
14回	**授業テーマ：卒論関連の数量データの分析とその結果の発表** 授業内容：Excel でのデータ分析を行い、その結果を Word にてまとめ報告し、ファイルを保存する。 事前学修 3.0hr：研究対象について情報を収集して置く事。 事後学修 4.0hr：当該授業で作成した資料、解説文のチェック。	29回	**授業テーマ：卒論の校正作業** 授業内容：その日の作業報告。箇条書きでも良い。 事前学修 3.0hr：卒論の校正作業 事後学修 4.0hr：その日の校正箇所の再校
15回	**授業テーマ：卒論関連の数量データの分析とその結果の発表** 授業内容：Excel でのデータ分析を行い、その結果を Word にてまとめ報告し、ファイルを保存する。 事前学修 3.0hr：研究対象について情報を収集して置く事。 事後学修 4.0hr：当該授業で作成した資料、解説文のチェック。	30回	**授業テーマ：振り返り会** 授業内容：2 年間のゼミ活動について、各自が総括し、その内容を発表する。 事前学修 3.0hr：上記の準備。 事後学修 4.0hr：後輩達に向けてのメッセージを作成する。

経済学概論 I

開講学科等：経 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

サマド　アブドス・永井　攻治 (ながい　よしはる)・**中原　寛子** (なかはら　ひろこ)・**中平　千彦** (なかひら　かずひこ)・**廣部　恒忠** (ひろべ　つねただ)・**吉田　敦** (よしだ　あつし)

▌授業の概要

この授業は、経済学の基礎的な知識の習得を目的とします。現実社会で起こる様々な出来事を理解するためには、現実の知識そのものと、それを理解するための手段とが同時に必要になります。その手段、すなわち「理解のための枠組み」が「経済学」であり、その入口となるのが経済学概論です。なお、経済学概論 I ではミクロ的視点 (家計・企業・政府それぞれの経済活動) の内容に重点を置きます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：ミクロ経済学の全体像を把握し、基礎的な用語や概念が理解できるようになること。

個別目標：(1) ミクロ経済学の考え方を身に付けること。

(2) 需要供給ダイアグラムが理解できること。

(3) その他、ミクロ経済学が用いる基本的ツールを理解すること。

▌履修条件

(1) 経済・経営数学入門 I を同時に履修すること。

(2) 経済学検定試験対策講座に必ず出席すること。

▌評価基準・方法

原則、全クラス共通の統一試験（８０%）と、クラス独自の試験等（２０%）の結果を合わせて単位認定を行う。なお、クラス独自の試験等については、各担当教員より指示する。

※５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

試験及び各教員の個別対応等による。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回により異なる(課題、ディスカッション)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

講義ノートと下記の参考書を利用する。

▌参考書

嶋村・佐々木・横山・片岡・高瀬 (著)(2002)『入門ミクロ経済学』, 中央経済社 (ISBN：9784502645303).

その他、別途担当教員より manaba 等で指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：経済学概論 I の学修内容についての説明をおこなう。 事前学修 2.0hr：経済学とは何かについて自分なりに考え、授業時に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：授業内容をノートにまとめ、復習しやすいように整理する(課題が課された場合は、課題をおこなう)。
2回	**授業テーマ：経済学とは？ ミクロ経済学とマクロ経済学** 授業内容：近代経済学の仕組みについての説明をおこなう。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：授業内容をノートにまとめ、復習しやすいように整理する(課題が課された場合は、課題をおこなう)。
3回	**授業テーマ：ミクロ経済学の考え方：希少性と資源配分** 授業内容：資源についての説明をおこなう。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：授業内容をノートにまとめ、復習しやすいように整理する(課題が課された場合は、課題をおこなう)。
4回	**授業テーマ：市場と価格メカニズム：需要供給ダイアグラム、曲線のシフト** 授業内容：需要曲線と供給曲線の仕組みを説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：授業内容をノートにまとめ、復習しやすいように整理する(課題が課された場合は、課題をおこなう)。
5回	**授業テーマ：市場と価格メカニズム：連立方程式で示す** 授業内容：市場均衡の求め方を説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：授業内容をノートにまとめ、復習しやすいように整理する(課題が課された場合は、課題をおこなう)。
6回	**授業テーマ：市場の効率性と政府介入の弊害：余剰分析、政府が価格を決める弊害** 授業内容：社会的総余剰等の求め方を説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：授業内容をノートにまとめ、復習しやすいように整理する(課題が課された場合は、課題をおこなう)。
7回	**授業テーマ：市場の失敗：外部性** 授業内容：外部経済を外部不経済の仕組みについて説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：授業内容をノートにまとめ、復習しやすいように整理する(課題が課された場合は、課題をおこなう)。
8回	**授業テーマ：市場の失敗：独占** 授業内容：独占市場や寡占市場について説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：授業内容をノートにまとめ、復習しやすいように整理する(課題が課された場合は、課題をおこなう)。
9回	**授業テーマ：政府の役割：市場の失敗の是正** 授業内容：政府の役割はどのようなものかを説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：授業内容をノートにまとめ、復習しやすいように整理する(課題が課された場合は、課題をおこなう)。
10回	**授業テーマ：人間行動：効用最大化** 授業内容：家計の経済行動について説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：授業内容をノートにまとめ、復習しやすいように整理する(課題が課された場合は、課題をおこなう)。

11回	**授業テーマ：企業行動：利潤最大化** 授業内容：企業はどのようにして、利潤を生みだすのかを説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：授業内容をノートにまとめ、復習しやすいように整理する(課題が課された場合は、課題をおこなう)。
12回	**授業テーマ：企業行動：競争環境の類型** 授業内容：完全競争市場を不完全競争市場の仕組みを説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：授業内容をノートにまとめ、復習しやすいように整理する(課題が課された場合は、課題をおこなう)。
13回	**授業テーマ：ゲーム理論による行動分析** 授業内容：ゲーム理論についての説明をおこなう。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：授業内容をノートにまとめ、復習しやすいように整理する(課題が課された場合は、課題をおこなう)。
14回	**授業テーマ：情報の経済学に基づく行動分析** 授業内容：経済活動における情報の働きについて説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：授業内容をノートにまとめ、復習しやすいように整理する(課題が課された場合は、課題をおこなう)。
15回	**授業テーマ：最終試験に向けてのレビュー** 授業内容：統一試験についての説明をおこなう。 事前学修 2.0hr：レジュメ・教科書等で、講義全体を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：試験準備をおこなう。

経済学概論Ⅱ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前/後

サマド　アブドス・永井　攻治 (ながい　よしはる)・**中原　寛子** (なかはら　ひろこ)・**中平　千彦** (なかひら　かずひこ)・**廣部　恒忠** (ひろべ　つねただ)・**吉田　敦** (よしだ　あつし)

▌授業の概要

この授業は、経済学の基礎的な知識の習得を目的とします。現実社会で起こる様々な出来事を理解するためには、現実の知識そのものと、それを理解するための手段とが同時に必要になります。その手段、すなわち「理解のための枠組み」が「経済学」であり、その入口となるのが経済学概論です。なお、経済学概論Ⅱではマクロ的視点 (国全体の経済活動) の内容に重点を置きます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：マクロ経済学の全体像を把握し、基礎的な用語や概念が理解できるようになること。
個別目標：(1) マクロ経済学の考え方を理解できるようになること。
(2) GDP などの基本的統計データや 45 度線モデルなど、マクロ経済学の基本的ツールを理解すること。
(3) 財政政策と金融政策を理解すること。

▌履修条件

(1) 経済・経営数学入門Ⅱを同時に履修すること。
(2) 経済学検定試験対策講座に必ず出席すること。

▌評価基準・方法

原則、全クラス共通の統一試験（８０%）と、クラス独自の試験等（２０%）の結果を合わせて単位認定を行う。なお、クラス独自の試験等については、各担当教員より指示する。
※５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

試験及び各教員の個別対応等による。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回により異なる(課題、ディスカッション)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

講義ノートと下記の参考書を利用する。

▌参考書

嶋村・佐々木・横山・畫間・横田・片岡 (著)(1999)『入門マクロ経済学』, 中央経済社 (ISBN：9784502637520).
その他、別途担当教員より manaba 等で指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：経済学概論Ⅱの学修内容についての説明をおこなう。 事前学修 2.0hr：経済学概論Ⅰの復習をおこない、質問されたときに答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：授業内容をノートにまとめ、復習しやすいように整理する(課題が課された場合は、課題をおこなう)。
2回	**授業テーマ：マクロ経済学の考え方** 授業内容：ミクロ経済学とマクロ経済学の違いを説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：授業内容をノートにまとめ、復習しやすいように整理する(課題が課された場合は、課題をおこなう)。
3回	**授業テーマ：経済規模を測る：フローとストック、GDP** 授業内容：フローちストックのデータの違いとは何かについて理解する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：授業内容をノートにまとめ、復習しやすいように整理する(課題が課された場合は、課題をおこなう)。
4回	**授業テーマ：経済規模を測る：成長率、失業率、インフレ・デフレ** 授業内容：国全体の経済の大きさを数値で確認する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：授業内容をノートにまとめ、復習しやすいように整理する(課題が課された場合は、課題をおこなう)。
5回	**授業テーマ：経済規模を測る：名目と実質** 授業内容：名目値を実質値の数値が示す意味について説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：授業内容をノートにまとめ、復習しやすいように整理する(課題が課された場合は、課題をおこなう)。
6回	**授業テーマ：総需要と総供給と景気：総需要の重要性** 授業内容：三面等価の仕組みについて説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：授業内容をノートにまとめ、復習しやすいように整理する(課題が課された場合は、課題をおこなう)。
7回	**授業テーマ：経済規模の決定：45 度線モデル** 授業内容：景気のメカニズムについて説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：授業内容をノートにまとめ、復習しやすいように整理する(課題が課された場合は、課題をおこなう)。
8回	**授業テーマ：財政政策：政府支出と租税の乗数** 授業内容：財政政策の仕組みについて説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：授業内容をノートにまとめ、復習しやすいように整理する(課題が課された場合は、課題をおこなう)。
9回	**授業テーマ：貨幣と金融システム** 授業内容：貨幣の役割と金融機関の仕組みについて説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：授業内容をノートにまとめ、復習しやすいように整理する(課題が課された場合は、課題をおこなう)。
10回	**授業テーマ：金融政策：マネーサプライと利子率と投資、マネーサプライ** 授業内容：金融政策の仕組みについて説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：授業内容をノートにまとめ、復習しやすいように整理する(課題が課された場合は、課題をおこなう)。

11回	**授業テーマ：日本の財政** 授業内容：データから、日本の財政状況について確認する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：授業内容をノートにまとめ、復習しやすいように整理する(課題が課された場合は、課題をおこなう)。
12回	**授業テーマ：日本のマクロ経済政策** 授業内容：物価の安定や雇用問題と経済成長の関わりについて説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：授業内容をノートにまとめ、復習しやすいように整理する(課題が課された場合は、課題をおこなう)。
13回	**授業テーマ：マクロ経済政策論争** 授業内容：財政政策や金融政策の必要性について説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：授業内容をノートにまとめ、復習しやすいように整理する(課題が課された場合は、課題をおこなう)。
14回	**授業テーマ：経済成長** 授業内容：我が国のデータから、これからの経済成長はどのように変化するのかについて考える。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：授業内容をノートにまとめ、復習しやすいように整理する(課題が課された場合は、課題をおこなう)。
15回	**授業テーマ：最終試験に向けてのレビュー** 授業内容：統一試験についての説明をおこなう。 事前学修 2.0hr：レジュメ・教科書等で、講義全体を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：試験準備をおこなう。

経営学総論Ⅰ

開講学科等：経　｜　1年次　｜　2単位　｜　開講期：前/後

飯田　信一（いいだ　のぶかず）・**呉　東錫**（お　どんそく）・**岡村　龍輝**（おかむら　りょうき）・**黒木　英昭**（くろき　ひであき）・**水谷　浩之**（みずたに　ひろゆき）

▌授業の概要

企業は、私たちの生活と深いかかわりを持っています。この講義の目的は、企業とは何か、私たちとどのように関わっているのかについて、経営学の基礎的知識の習得を通して理解することです。この授業を通じて、将来社会人となった時に必要とされるビジネス・経営に関する用語・概念等を理解する一助となるでしょう。

講義は経営学総論Ⅰ・Ⅱを通じて、「企業論」、「経営戦略論」、「機能別戦略」、「人的資源管理論・組織構造論」、「経営管理論・経営組織論」の５部構成となっており、これらのうち経営学総論Ⅰでは「企業論」「経営戦略論」について学びます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生 3）

一般目標：経営学の諸分野のうち、企業論と経営戦略論の基礎知識を身につけている。

個別目標：１．企業・会社の種類、および株式会社を中心とした会社の基本的な仕組みについて理解している。

２．経営戦略のうち、全社戦略と事業戦略の基礎理論について理解している。

▌履修条件

１．事前の知識は特に必要ありませんが、企業活動・経営学の体系的な理解のために、経営学総論ⅠとⅡを順番に履修することをお勧めします。

２．授業の回により、アクティブラーニング型の授業を行いますので、積極的に授業に「参加」する姿勢が不可欠となります。

▌評価基準・方法

１．毎回の小テスト（30 %）

２．中間テスト（20 %）

３．学期末試験（50 %）

中間テストを受験するためには事前にドリルを受験し、一定の点数を取る必要があります。

クラスの状況にあわせて評価基準・方法を変更する場合があります。

▌フィードバック方法

授業内での課題と小テストの実施およびフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行うことがあります。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （クラス・授業回により、参加型の授業を行う場合があります。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

一般社団法人日本経営協会編（2023）『マネジメント検定試験公式テキストⅢ級：経営学の基本（第７版）』中央経済社。

その他に、必要に応じて授業内で配布するプリント資料に沿って授業を進めます。

▌参考書

コーポレート・ガバナンスを考えるための好著として、ロナルド・ドーア著（2006）『誰のための会社にするか』岩波書店をお勧めします。

このほかの参考書は、授業内で紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：講義計画と評価基準について説明します。 事前学修 2.0hr：講義概要で講義計画・評価基準を確認しておいて下さい。 事後学修 2.0hr：授業内で説明した講義計画・評価基準を確実に理解して下さい。
2回	**授業テーマ：第一部：経営学から何を学ぶか** 授業内容：企業の役割、経営学を学ぶ意義について学びます。 事前学修 2.0hr：企業とは何かについて、メディアや自己の経験等から考えてきて下さい。 事後学修 2.0hr：身の回りの企業を観察し、どのような活動をしているか調べて下さい。
3回	**授業テーマ：第一部：企業のかたち（１）会社の種類** 授業内容：企業の形態、法律が定める会社の種類について学びます。 事前学修 2.0hr：企業とは何かについて調べてきて下さい。 事後学修 2.0hr：身の回りの企業を観察し、どのような特徴を持っているか調べて下さい。
4回	**授業テーマ：第一部：企業のかたち（２）企業の種類** 授業内容：公企業と私企業、ベンチャー企業とアントレプレナーシップについて学びます。 事前学修 2.0hr：企業とは何かについて調べてきて下さい。 事後学修 2.0hr：身の回りの企業を観察し、どのような特徴を持っているか調べて下さい。
5回	**授業テーマ：第一部：大規模な株式会社における企業統治（１）所有と経営、コーポレートガバナンス** 授業内容：大規模な株式会社における経営と所有、コーポレートガバナンスについて学びます。 事前学修 2.0hr：企業統治の方法について調べてきて下さい。 事後学修 2.0hr：身の回りの株式会社をとりあげ、三権分立の様子を調べて下さい。
6回	**授業テーマ：第一部：大規模な株式会社における企業統治（２）機関設計と株主総会の変化** 授業内容：大規模な株式会社における機関設計、株主総会の変化と株式持ち合いについて学びます。 事前学修 2.0hr：株式会社とは何かについて調べてきて下さい。 事後学修 2.0hr：株式会社と株主総会の事例について調べて下さい。
7回	**授業テーマ：第一部：日本型企業システム** 授業内容：日本的雇用慣行、日本型企業システムを支えた制度、日本的な集団的意思決定と稟議制度、日本型の企業統治について学びます。 事前学修 1.0hr：日本型企業システムの特質は何か、調べてきてください。 事後学修 3.0hr：企業論についてこれまで学んだ内容を復習し、課題を行ってください。
8回	**授業テーマ：第二部：企業経営と全社戦略（１）経営戦略の概念と策定プロセス** 授業内容：戦略とは何か、経営戦略の策定、全社戦略の策定、企業全体の方向性について学びます。 事前学修 2.0hr：企業戦略の類型について、調べてきてください。 事後学修 2.0hr：身の回りの株式会社をいくつかとりあげ、企業戦略をまとめて下さい。

9回	**授業テーマ：第二部：企業経営と全社戦略（2）全社戦略の基本** 授業内容：経営資源、SWOT 分析、事業領域を表すドメインの決定について学びます。 事前学修 2.0hr：SWOT 分析とは何かについて調べてきて下さい。 事後学修 2.0hr：SWOT 分析を用いた企業経営について、いろいろな事例を調べて下さい。
10回	**授業テーマ：第二部：全社戦略としての成長戦略** 授業内容：成長戦略、アンゾフの成長ベクトル、M ＆ A と企業連携について学びます。 事前学修 2.0hr：M ＆ A の利点と課題について調べてきて下さい。 事後学修 3.0hr：身の回りの企業を取り上げ、その全社戦略について調べてください。
11回	**授業テーマ：第二部：ケース・スタディ（スシロー）** 授業内容：「スシロ―の経営戦略」に関する動画を視聴し、どのような成長戦略をとり、差別化をはかっているかを理解します。 事前学修 2.0hr：全社戦略に関するこれまでの学修内容を復習してください。 事後学修 2.0hr：ケーススタディに関する課題を行ってください。
12回	**授業テーマ：第二部：全社的な経営資源の配分** 授業内容：経営資源を配分するための PPM モデルについて学びます。 事前学修 2.0hr：PPM モデルについて調べてきて下さい。 事後学修 2.0hr：具体的に PPM モデルを導入する企業事例を調べて下さい。
13回	**授業テーマ：第二部：事業ごとの競争戦略 (事業戦略)** 授業内容：事業戦略と競争戦略、ポーターの競争戦略論、事業戦略から機能別戦略へのつながりについて学びます。 事前学修 2.0hr：事業戦略、競争戦略、機能別戦略とは何かについて調べてきて下さい。 事後学修 2.0hr：いくつかの企業をとりあげ、各社の事業戦略を比較検討してください。
14回	**授業テーマ：第二部：経営戦略論の時代的変遷** 授業内容：経営戦略論のまとめ、比較的新しい経営戦略論の流れについて学びます。 事前学修 1.0hr：近年の企業の経営戦略について調べてきて下さい。 事後学修 3.0hr：経営戦略についてこれまでに学んだ内容を復習し、課題を行ってください。
15回	**授業テーマ：まとめ：企業と社会の関係** 授業内容：第一部・第二部の学修内容を振り返ります。 事前学修 1.0hr：これまでの学修内容をおさらいしてきて下さい。 事後学修 3.0hr：試験の出題形式・評価基準を確認し、試験のための学修を進めて下さい。

経営学総論Ⅱ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前/後

飯田　信一（いいだ　のぶかず）・**呉　東錫**（お　どんそく）・**岡村　龍輝**（おかむら　りょうき）・**黒木　英昭**（くろき　ひであき）・**水谷　浩之**（みずたに　ひろゆき）

▌授業の概要

企業は、私たちの生活と深いかかわりを持っています。この講義の目的は、企業とは何か、私たちとどのように関わっているのかについて、経営学の基礎的知識の習得を通して理解することです。この授業を通じて、将来社会人となった時に必要とされるビジネス・経営に関する用語・概念等を理解する一助となるでしょう。

講義は経営学総論Ⅰ・Ⅱを通じて、「企業論」、「経営戦略論」、「機能別戦略」、「人的資源管理論・組織構造論」、「経営管理論・経営組織論」の５部構成となっており、これらのうち経営学総論Ⅱでは、「機能別戦略（マーケティング、研究開発と生産、財務）」と「人的資源管理論・組織構造論」、および「経営管理論・経営組織論」について学修します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生 3）

一般目標：経営学の諸分野のうち、機能別戦略と人的資源管理論と経営組織論（組織構造論含む）、経営管理論について基礎的な知識を身につけている。

個別目標：１．マーケティング戦略、研究開発・生産戦略、財務戦略の基礎理論を理解している。

２．人的資源管理論と組織構造論の基礎理論を理解している。

３．経営管理論と経営組織論の基礎理論を理解している。

▌履修条件

１．事前の知識は特に必要ありませんが、企業活動・経営学の体系的な理解のために、経営学総論ⅠとⅡを順番に履修することをお勧めします。

２．授業の回により、アクティブラーニング型の授業を行いますので、積極的に授業に「参加」する姿勢が不可欠となります。

▌評価基準・方法

１．毎回の小テスト（30 %）

２．中間テスト（20 %）

３．学期末試験（50 %）

中間テストを受験するためには事前にドリルを受験し、一定の点数を取る必要があります。

クラスの状況にあわせて評価基準・方法を変更する場合があります。

▌フィードバック方法

授業内での課題と小テストの実施およびフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行うことがあります。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （クラス・授業回により、参加型の授業を行う場合があります。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

一般社団法人日本経営協会編（2023）『マネジメント検定試験公式テキストⅢ級：経営学の基本（第７版）』中央経済社。

その他に、必要に応じて授業内で配布するプリント資料に沿って授業を進めます。

▌参考書

授業内で紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：講義計画と評価基準について説明します。 事前学修 2.0hr：講義概要で講義計画・評価基準を確認しておいて下さい。 事後学修 2.0hr：授業内で説明した講義計画・評価基準をしっかり理解して下さい。
2回	**授業テーマ：第三部：マーケティング戦略（１）マーケティングのプロセス** 授業内容：マーケティングのプロセスについて学びます。 事前学修 2.0hr：マーケティングについて、メディアや自己の経験等から考えてきて下さい。 事後学修 2.0hr：身の回りの企業を観察し、どんな活動をしているか調べて下さい。
3回	**授業テーマ：第三部：マーケティング戦略（２）マーケティング・ミックス** 授業内容：マーケティング・ミックスについて学びます。 事前学修 2.0hr：マーケティング・ミックスとは何かについて調べてきて下さい。 事後学修 2.0hr：身の回りの企業を観察し、どのような活動を行っているか調べて下さい。
4回	**授業テーマ：第三部：研究開発戦略と生産戦略の基礎** 授業内容：研究開発戦略、生産戦略について学びます。 事前学修 2.0hr：研究開発戦略、生産戦略とは何かについて調べてきて下さい。 事後学修 3.0hr：身の回りの企業を取り上げ、その研究開発戦略や生産戦略を調べてください。
5回	**授業テーマ：第三部：ケース・スタディ（カルビー、サンコー）** 授業内容：「カルビーとサンコーの経営戦略」に関する動画を視聴し、どのような研究開発戦略・生産戦略をとっているかを学びます。 事前学修 2.0hr：これまでの内容を復習してきてください。 事後学修 2.0hr：カルビーやサンコーの最近の状況について調べてください。
6回	**授業テーマ：第三部：財務戦略の基礎（会計）（１）決算書** 授業内容：会社の目的と仕組み、決算書について学びます。 事前学修 2.0hr：財務戦略とは何かについて調べてきて下さい。 事後学修 3.0hr：様々な企業の決算書を調べて下さい。
7回	**授業テーマ：第三部：財務戦略の基礎（会計）（２）財務諸表とその活用** 授業内容：損益計算書、貸借対照表、会計情報の活用について学びます。 事前学修 1.0hr：損益計算書、貸借対照表について調べてきてください。 事後学修 3.0hr：機能別戦略についてこれまで学んだ内容を振り返り、課題を行ってください。
8回	**授業テーマ：第四部：人と組織のマネジメント** 授業内容：雇用管理や人事評価、労働条件に関する管理、人材育成と能力委開発など、人的資源管理にかかわる課題について学びます。 事前学修 2.0hr：人的資源管理とは何かについて、調べてきてください。 事後学修 2.0hr：アルバイト先等、身近の企業の人事管理・従業員の働き方について調べ、考えてきてください。

9回	**授業テーマ：第四部：経営組織の形態(１)職能分化と組織形態の基本** 授業内容：企業組織の職能分化と、基本的な組織形態について学びます。 事前学修 2.0hr：アルバイト先等、身近な企業の組織形態について調べてきて下さい。 事後学修 2.0hr：身の回りの組織を取り上げ、その職能分化について調べて下さい。
10回	**授業テーマ：第四部：経営組織の形態(２)さまざまな組織形態と経営戦略** 授業内容：さまざまな組織形態について学ぶとともに、経営戦略との関係を理解します。 事前学修 2.0hr：特徴ある組織形態を持つ企業の事例について調べてきて下さい。 事後学修 2.0hr：身の回りの企業を取り上げ、経営戦略と組織形態の関係について調べて下さい。
11回	**授業テーマ：第四部：伝統的な管理論と人間関係論** 授業内容：ホーソン実験、人間関係論について学びます。 事前学修 2.0hr：ホーソン実験、人間関係論について調べてきて下さい。 事後学修 2.0hr：これらの実験結果・理論をもとに自身の経験をとらえなおし、考えて下さい。
12回	**授業テーマ：第四部：近代的な管理論** 授業内容：バーナードの協働体系的組織論、サイモンの意思決定論的組織論、近代的組織論以降の展開について学びます。 事前学修 2.0hr：組織管理論の類型について、調べてきてください。 事後学修 2.0hr：組織管理論の潮流と近年の特徴について、復習してください。
13回	**授業テーマ：第五部：行動科学にもとづく動機づけとリーダーシップの理論** 授業内容：フォレットによる統合の哲学、動機づけ理論、リーダーシップの理論について学びます。 事前学修 2.0hr：動機づけ理論、リーダーシップの理論について調べてきて下さい。 事後学修 2.0hr：様々なリーダーシップ理論を応用した、リーダーの事例を調べて下さい。
14回	**授業テーマ：第五部：比較的新しい組織論の分野、中間テストの説明** 授業内容：組織のコンティンジェンシー理論、組織間関係論、組織文化論について学びます。 事前学修 1.0hr：企業文化の変革に取り組む企業事例を調べてきてください。 事後学修 3.0hr：経営組織と経営管理についてこれまで学んだ内容を振り返り、課題を行ってください。
15回	**授業テーマ：まとめ―企業と社会の関係** 授業内容：第三部・第四部・第五部の学修内容を復習し、試験に向けた準備を行います。 事前学修 1.0hr：これまでの学修内容をおさらいしてきて下さい。 事後学修 3.0hr：試験の出題形式・評価基準を確認し、試験のための学習を進めて下さい。

ミクロ経済学Ⅰ

開講学科等：経　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前/後

王　佳星（おう　かせい）・**小黒　曜子**（おぐろ　ようこ）・**永井　攻治**（ながい　よしはる）・**萩原　里紗**（はぎわら　りさ）

▌授業の概要

ミクロ経済学は、家計や企業などの経済主体がそれぞれの目的と置かれている制約の下でどのような行動をとるのか、そしてそのことが経済全体にどのような現象を引き起こすのかを明らかにする学問である。ミクロ経済学で重要なキーワードは市場である。市場では経済主体が需要者と供給者として行動し、互いに影響を及ぼし合っている。それぞれの経済主体は、効用や利潤を最大にするように行動をとっており、そうした個々の利益を追求する試みが社会全体にとって最善の状態を達成させるよう市場メカニズムは働く。ミクロ経済学を学ぶことで社会・経済現象について考える力を養う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：社会・経済における資源配分に関する諸問題の重要性について理解し、それらに対する基礎的な分析手法を身につける。

個別目標：1. 現実の経済が抱える諸々の問題を引き起こす原因を探れるようになる（問題発見力）
2. ミクロ経済学の基礎となる理論に基づいた、問題に対する解決策を講じられるようになる（問題解決力）
3. ミクロ経済学の基礎となる理論を用いて、図や数式等で説明できるようになる（説明力）

▌履修条件

1.「経済学概論Ⅰ・Ⅱ」を原則として履修済みであること
2.「経済・経営数学入門Ⅰ・Ⅱ／経済数学Ⅰ・Ⅱ」を履修中もしくは履修済み、あるいは中学・高校レベルの基礎的な数学（具体的には「連立方程式」「一次関数」「二次関数」「一変数関数の微分」「多変数関数の微分」）について習熟していること

▌評価基準・方法

試験（70 %）、課題提出・授業への参加度等の平常点（30 %）の結果により評価する。
評価に際しては、ERE（経済学検定試験）による合格基準点を設ける。

▌フィードバック方法

講義内、manaba、及び成績評価にて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

開講時に指示する.。

▌参考書

芦谷 政浩 『ミクロ経済学』有斐閣, 2009
ピンダイク&ルビンフェルド『ミクロ経済学Ⅰ』中経出版、2014 年
S. レヴィット他『ミクロ経済学　基礎編』東洋経済新報社、2017 年
P. クルーグマン&R. ウェルス『ミクロ経済学 (第 2 版)』東洋経済新報社、2017 年
その他、適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、経済数学（連立方程式、一次関数、二次関数）の復習** 授業内容：ガイダンス、経済数学（連立方程式、一次関数、二次関数）の復習を行う。 事前学修 2.0hr：連立方程式、一次関数、二次関数について復習をしておく。 事後学修 2.0hr：連立方程式、一次関数、二次関数に関する練習問題を解く。
2回	**授業テーマ：経済数学（一変数関数の微分、多変数関数の微分）の復習** 授業内容：経済数学（一変数関数の微分、多変数関数の微分）の復習を行う。 事前学修 2.0hr：一変数関数の微分、多変数関数の微分について復習しておく。 事後学修 2.0hr：一変数関数の微分、多変数関数の微分に関する練習問題を解く。
3回	**授業テーマ：需要と供給（市場均衡、弾力性）** 授業内容：市場均衡、弾力性について講義する。 事前学修 2.0hr：市場均衡、需要の価格弾力性と供給の価格弾力性について調べておく。 事後学修 3.0hr：市場均衡、需要の価格弾力性と供給の価格弾力性に関する練習問題を解く。
4回	**授業テーマ：消費者行動の理論 1（効用、無差別曲線、限界効用、限界代替率）** 授業内容：効用、無差別曲線、限界効用、限界代替率について講義する。 事前学修 2.0hr：効用、無差別曲線、限界効用、限界代替率について調べておく。 事後学修 3.0hr：効用、無差別曲線、限界効用、限界代替率に関する練習問題を解く。
5回	**授業テーマ：消費者行動の理論 2（予算制約線、最適消費点）** 授業内容：予算制約線、最適消費点について講義する。 事前学修 2.0hr：予算制約線、最適消費点について調べておく。 事後学修 3.0hr：予算制約線、最適消費点に関する練習問題を解く。
6回	**授業テーマ：消費者行動の理論 3（所得・価格の変化と最適消費点）** 授業内容：所得・価格の変化と最適消費点について講義する。 事前学修 2.0hr：所得・価格の変化と予算制約線との関係について調べておく。 事後学修 3.0hr：所得・価格の変化と最適消費点についての練習問題を解く。
7回	**授業テーマ：消費者行動の理論 4（代替効果、所得効果）** 授業内容：代替効果、所得効果について講義する。 事前学修 2.0hr：代替効果と所得効果について調べておく。 事後学修 3.0hr：代替効果と所得効果に関する練習問題を解く。
8回	**授業テーマ：消費者行動の理論 5（異時点間の効用最大化）** 授業内容：異時点間の効用最大化について講義する。 事前学修 2.0hr：異時点間の効用最大化について調べておく。 事後学修 3.0hr：異時点間の効用最大化に関する練習問題を解く。
9回	**授業テーマ：消費者行動の理論 6（最適労働供給）** 授業内容：最適労働供給について講義する。 事前学修 2.0hr：最適労働供給について調べておく。 事後学修 3.0hr：最適労働供給に関する練習問題を解く。

10回	**授業テーマ：生産者行動の理論 1（費用曲線）** 授業内容：費用曲線について講義する。 事前学修 2.0hr：費用曲線について調べておく。 事後学修 3.0hr：費用曲線に関する練習問題を解く。
11回	**授業テーマ：生産者行動の理論 2（利潤最大化）** 授業内容：利潤最大化について講義する。 事前学修 2.0hr：利潤最大化について調べておく。 事後学修 3.0hr：利潤最大化に関する練習問題を解く。
12回	**授業テーマ：生産者行動の理論 3（損益分岐点、操業停止点、供給曲線）** 授業内容：損益分岐点、操業停止点、供給曲線について講義する。 事前学修 2.0hr：損益分岐点、操業停止点、供給曲線について調べておく。 事後学修 3.0hr：損益分岐点、操業停止点、供給曲線に関する練習問題を解く。
13回	**授業テーマ：生産者行動の理論 4（長期費用曲線、産業の長期均衡）** 授業内容：長期費用曲線、産業の長期均衡について講義する。 事前学修 2.0hr：長期費用曲線、産業の長期均衡について調べておく。 事後学修 3.0hr：長期費用曲線、産業の長期均衡に関する練習問題を解く。
14回	**授業テーマ：生産者行動の理論 5（生産関数、等量曲線、技術的限界代替率）** 授業内容：生産関数、等量曲線、技術的限界代替率について講義する。 事前学修 2.0hr：生産関数、等量曲線、技術的限界代替率について調べておく。 事後学修 3.0hr：生産関数、等量曲線、技術的限界代替率に関する練習問題を解く。
15回	**授業テーマ：生産者行動の理論 6（生産費用最小化、利潤最大化）** 授業内容：生産費用最小化、利潤最大化について講義する。 事前学修 2.0hr：生産費用最小化、利潤最大化について調べておく。 事後学修 3.0hr：生産費用最小化、利潤最大化に関する練習問題を解く。

ミクロ経済学Ⅱ

開講学科等：経　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前/後

王　佳星（おう　かせい）・**小黒　曜子**（おぐろ　ようこ）・**永井　攻治**（ながい　よしはる）・**萩原　里紗**（はぎわら　りさ）

▌授業の概要

ミクロ経済学は、家計や企業などの経済主体がそれぞれの目的と置かれている制約の下でどのような行動をとるのか、そしてそのことが経済全体にどのような現象を引き起こすのかを明らかにする学問である。ミクロ経済学で重要なキーワードは市場である。市場では経済主体が需要者と供給者として行動し、互いに影響を及ぼし合っている。それぞれの経済主体の利益を追求する試みが社会全体にとって最善の状態を達成させるよう市場メカニズムは働くが、うまく機能しない場合もある。そのような場合にはどのような解決策を講じればよいのかを、ミクロ経済学を学ぶことで考える力を養う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：社会・経済における資源配分に関する諸問題の重要性について理解し、それらに対する基礎的な分析手法を身につける。

個別目標：1. 現実の経済が抱える諸々の問題を引き起こす原因を探れるようになる（問題発見力）
2. ミクロ経済学の基礎となる理論に基づいた、問題に対する解決策を講じられるようになる（問題解決力）
3. ミクロ経済学の基礎となる理論を用いて、図や数式等で説明できるようになる（説明力）

▌履修条件

1.「経済学概論 I・II」「ミクロ経済学 I」を原則として履修済みであること
2.「経済・経営数学入門 I・II ／経済数学 I・II」を履修中もしくは履修済み、あるいは中学・高校レベルの基礎的な数学（具体的には「連立方程式」「一次関数」「二次関数」「一変数関数の微分」「多変数関数の微分」）について習熟していること

▌評価基準・方法

試験（70 %）、課題提出・授業への参加度等の平常点（30 %）の結果により評価する。
評価に際しては、ERE（経済学検定試験）による合格基準点を設ける。

▌フィードバック方法

講義内、manaba、及び成績評価にて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

開講時に指示する。

▌参考書

芦谷 政浩 『ミクロ経済学』有斐閣, 2009
ピンダイク&ルビンフェルド『ミクロ経済学Ⅱ』中経出版、2014 年
S. レヴィット他『ミクロ経済学　発展編』東洋経済新報社、2018 年
その他、適宜指示する。
P. クルーグマン&R. ウェルス『ミクロ経済学 (第 2 版) 』東洋経済新報社、2017 年
アセモグル他『ミクロ経済学』東洋経済新報社、2020 年

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス、ミクロ経済学 I の復習** 授業内容：ガイダンス、ミクロ経済学 I の復習を行う。 事前学修 1.0hr：ミクロ経済学 I の復習をしておく。 事後学修 3.0hr：市場、消費者理論、生産者理論に関する練習問題を解く。
2 回	**授業テーマ：部分均衡分析（余剰分析、課税の帰結）** 授業内容：余剰分析、課税の帰結について講義する。 事前学修 1.0hr：部分均衡分析について調べておく。 事後学修 3.0hr：余剰分析、課税の帰結に関する練習問題を解く。
3 回	**授業テーマ：一般均衡分析 1（パレート効率性、エッジワース・ボックス）** 授業内容：パレート効率性、エッジワース・ボックスについて講義する。 事前学修 1.0hr：パレート効率性、エッジワース・ボックスについて調べておく。 事後学修 3.0hr：パレート効率性とエッジワース・ボックスに関する練習問題を解く。
4 回	**授業テーマ：一般均衡分析 2（交換経済、厚生経済学の基本定理）** 授業内容：交換経済、厚生経済学の基本定理について講義する。 事前学修 1.0hr：交換経済、厚生経済学の基本定理について調べておく。 事後学修 3.0hr：交換経済、厚生経済学の基本定理に関する練習問題を解く。
5 回	**授業テーマ：外部性 1（ピグー税）** 授業内容：ピグー税について講義する。 事前学修 1.0hr：外部性、ピグー税について調べておく。 事後学修 3.0hr：外部性、ピグー税に関する練習問題を解く。
6 回	**授業テーマ：外部性 2（コースの定理）** 授業内容：コースの定理について講義する。 事前学修 1.0hr：コースの定理について調べておく。 事後学修 3.0hr：外部性、コースの定理に関する練習問題を解く。
7 回	**授業テーマ：公共財** 授業内容：公共財について講義する。 事前学修 1.0hr：公共財について調べておく。 事後学修 3.0hr：公共財に関する練習問題を解く。
8 回	**授業テーマ：独占** 授業内容：独占について講義する。 事前学修 1.0hr：独占について調べておく。 事後学修 3.0hr：独占に関する練習問題を解く。
9 回	**授業テーマ：不確実性下の意思決定** 授業内容：不確実性下の意思決定について講義する。 事前学修 1.0hr：不確実性下の意思決定について調べておく。 事後学修 3.0hr：不確実性に関する練習問題を解く。

10回	**授業テーマ：ゲーム理論 1（ナッシュ均衡）** 授業内容：ナッシュ均衡について講義する。 事前学修 1.0hr：ナッシュ均衡について調べておく。 事後学修 3.0hr：ナッシュ均衡に関する練習問題を解く。
11回	**授業テーマ：ゲーム理論 2（寡占への応用：クールノー・モデル、ベルトラン・モデル）** 授業内容：クールノー・モデル、ベルトラン・モデルについて講義する。 事前学修 1.0hr：クールノー・モデル、ベルトラン・モデルについて調べておく。 事後学修 3.0hr：クールノー・モデル、ベルトラン・モデルに関する練習問題を解く。
12回	**授業テーマ：ゲーム理論 3（混合戦略ナッシュ均衡）** 授業内容：混合戦略ナッシュ均衡について講義する。 事前学修 1.0hr：混合戦略ナッシュについて調べておく。 事後学修 3.0hr：混合戦略ナッシュ均衡に関する練習問題を解く。
13回	**授業テーマ：ゲーム理論 4（部分ゲーム完全均衡、シュタッケルベルク・モデル）** 授業内容：部分ゲーム完全均衡、シュタッケルベルク・モデルについて講義する。 事前学修 1.0hr：部分ゲーム完全均衡、シュタッケルベルク・モデルについて調べておく。 事後学修 3.0hr：部分ゲーム完全均衡、シュタッケルベルク・モデルに関する練習問題を解く。
14回	**授業テーマ：情報の経済学 1（モラルハザード）** 授業内容：モラルハザードについて講義する。 事前学修 1.0hr：モラルハザードについて調べておく。 事後学修 3.0hr：モラルハザードに関する練習問題を解く。
15回	**授業テーマ：情報の経済学 2（逆淘汰）** 授業内容：逆淘汰について講義する。 事前学修 1.0hr：逆淘汰について調べておく。 事後学修 3.0hr：逆淘汰に関する練習問題を解く。

マクロ経済学Ⅰ

開講学科等：経　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前/後

粟沢　尚志（あわさわ　たかし）・**島本　昌和**（しまもと　まさかず）・**中平　千彦**（なかひら　かずひこ）

▌授業の概要

最近の新聞を開いてみると、景気改善、失業率低下、インフレ、金利上昇、円安、財政危機、減税といった言葉をよく目にします。これらの事柄はすべてマクロ経済学の分析対象であり、マクロ経済学Ⅰ、Ⅱは、それらの関係を整理・理解し、その結果を日本経済に当てはめて分析できるようになることを目的とします。なお、日々変化する世界や日本の経済事情を講義の題材とするため、講義内容が変化する時があります。また各回に行う内容についての詳しい内容は manaba を参考にして下さい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：マクロ経済学Ⅰでは一国の経済状況を分析する手法を修得することに重点を置き、上記の事柄の関連を理解すること。
個別目標：(1) 景気を分析する理論的枠組みを理解すること。
(2) 日本経済がどのような状況にあるか全体像を把握すること。

▌履修条件

(1)「経済学概論Ⅰ・Ⅱ」を原則として履修済みであること。
(2)「経済・経営数学入門Ⅰ・Ⅱ／経済数学Ⅰ・Ⅱ」を履修中もしくは履修済み、あるいは中学・高校レベルの基礎的な数学（具体的には「連立方程式」「一次関数」「二次関数」「一変数関数の微分」）について習熟していること。

▌評価基準・方法

小テストおよび宿題 30%、レポート 20%、ERE および期末試験 50%。詳細は担当教員より初回授業時に指示があります。課題及び定期試験のフィードバックは、manaba 等を通して行います。

▌フィードバック方法

随時，口頭および manaba などを通じて行います.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （規模が小さいクラスでは、ディスカッションへの積極的な参加を期待します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レポート作成に必要。）

▌教科書

講義ノートと下記の参考書を利用します。詳細は初回講義時までに manaba 等を通して担当教員より指示があります。

▌参考書

浅田統一郎『マクロ経済学基礎講義 (第 4 版)』中央経済社、齊藤誠 (他)『マクロ経済学 (新版)』有斐閣、中谷巌『入門マクロ経済学 (第 5 版)』日本評論社、井堀利宏『入門マクロ経済学 (第 3 版)』新世社、岩田規久男『マクロ経済学 (第 2 版)』新世社。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：イントロダクション 事前学修 2.0hr：経済学概論の復習 事後学修 2.0hr：経済学概論の復習。加えてレポート作成用の新聞記事を探し始めること。
2 回	**授業テーマ：マクロ経済学の基礎** 授業内容：マクロ経済学の説明と経済学概論の復習 事前学修 2.0hr：対象となる章について、教員指定のレジメ・教科書を読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：課題を行うとともに、講義内容をノートにまとめ提出準備。
3 回	**授業テーマ：マクロ経済学の基礎** 授業内容：マクロ経済学の説明と経済学概論の復習 事前学修 2.0hr：対象となる章について、教員指定のレジメ・教科書を読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：課題を行うとともに、講義内容をノートにまとめ提出準備。
4 回	**授業テーマ：財市場 1** 授業内容：消費について：基礎 事前学修 2.0hr：対象となる章について、教員指定のレジメ・教科書を読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：課題を行うとともに、講義内容をノートにまとめ提出準備。
5 回	**授業テーマ：財市場 2** 授業内容：消費について：45 度線モデル 事前学修 2.0hr：対象となる章について、教員指定のレジメ・教科書を読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：課題を行うとともに、講義内容をノートにまとめ提出準備。
6 回	**授業テーマ：財市場 3** 授業内容：投資について 事前学修 2.0hr：対象となる章について、教員指定のレジメ・教科書を読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：課題を行うとともに、講義内容をノートにまとめ提出準備。
7 回	**授業テーマ：財市場 4** 授業内容：輸出・輸入について 事前学修 2.0hr：対象となる章について、教員指定のレジメ・教科書を読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：課題を行うとともに、講義内容をノートにまとめ提出準備。
8 回	**授業テーマ：貨幣市場** 授業内容：貨幣需要と貨幣供給について 事前学修 2.0hr：対象となる章について、教員指定のレジメ・教科書を読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：課題を行うとともに、講義内容をノートにまとめ提出準備。
9 回	**授業テーマ：財市場と貨幣市場の統合** 授業内容：IS-LM 分析：IS 曲線 事前学修 2.0hr：対象となる章について、教員指定のレジメ・教科書を読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：課題を行うとともに、講義内容をノートにまとめ提出準備。
10 回	**授業テーマ：財市場と貨幣市場の統合** 授業内容：IS-LM 分析：LM 曲線 事前学修 2.0hr：対象となる章について、教員指定のレジメ・教科書を読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：課題を行うとともに、講義内容をノートにまとめ提出準備。

11回	**授業テーマ：財市場と貨幣市場の統合** 授業内容：IS-LM 分析：IS-LM モデル 事前学修 2.0hr：対象となる章について、教員指定のレジメ・教科書を読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：課題を行うとともに、講義内容をノートにまとめ提出準備。
12回	**授業テーマ：経済政策分析 1** 授業内容：財政政策 事前学修 2.0hr：対象となる章について、教員指定のレジメ・教科書を読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：課題を行うとともに、講義内容をノートにまとめ提出準備。
13回	**授業テーマ：経済政策分析 2** 授業内容：金融政策 事前学修 2.0hr：対象となる章について、教員指定のレジメ・教科書を読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：課題を行うとともに、講義内容をノートにまとめ提出準備。
14回	**授業テーマ：近年の日本経済について** 授業内容：時事問題を元に日本経済について解説 事前学修 2.0hr：対象となる章について、教員指定のレジメ・教科書を読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：課題を行うとともに、講義内容をノートにまとめ提出準備。
15回	**授業テーマ：レビュー** 授業内容：復習 事前学修 2.0hr：講義全体を振り返り、自分の理解度を確認しておくこと。 事後学修 3.0hr：試験に備えておくこと。

マクロ経済学Ⅱ

開講学科等：経　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前/後

粟沢　尚志（あわさわ　たかし）・**島本　昌和**（しまもと　まさかず）・**中平　千彦**（なかひら　かずひこ）

▌授業の概要

最近の新聞を開いてみると、景気改善、失業率低下、インフレ、金利上昇、円安、財政危機、減税といった言葉をよく目にします。これらの事柄はすべてマクロ経済学の分析対象であり、マクロ経済学Ⅰ、Ⅱは、それらの関係を整理・理解し、その結果を日本経済に当てはめて分析できるようになることを目的とします。なお、日々変化する世界や日本の経済事情を講義の題材とするため、講義内容が変化する時があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：一国の経済状況を体系的に分析することができるようになること。
個別目標：日本や他国の経済状況をマクロ経済学を使って体系的に理解すること。

▌履修条件

(1)「経済学概論 I・II」を原則として履修済みであること。
(2)「経済・経営数学入門 I・II ／経済数学 I・II」を履修中もしくは履修済み、あるいは中学・高校レベルの基礎的な数学（具体的には「連立方程式」「一次関数」「二次関数」「一変数関数の微分」）について習熟していること。

▌評価基準・方法

小テストおよび宿題 30%、レポート 20%、ERE および期末試験 50%。詳細は担当教員より初回授業時に指示があります。課題及び定期試験のフィードバックは、manaba 等を通して行います。

▌フィードバック方法

随時，口頭および manaba などを通じて行います.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （規模が小さいクラスでは、ディスカッションへの積極的な参加を期待します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レポート作成に必要。）

▌教科書

講義ノートと下記の参考書を利用します。詳細は初回講義時までに manaba 等を通して担当教員より指示があります。

▌参考書

浅田統一郎『マクロ経済学基礎講義 (第 4 版)』中央経済社、齊藤誠 (他)『マクロ経済学 (新版)』有斐閣、中谷巌『入門マクロ経済学 (第 5 版)』日本評論社、井堀利宏『入門マクロ経済学 (第 3 版)』新世社、岩田規久男『マクロ経済学 (第 2 版)』新世社、影山純二『マクロ経済学講義ノート』開成出版。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：マクロ経済学 I の復習** 授業内容：IS-LM モデルの復習 事前学修 2.0hr：マクロ経済学 I を復習 事後学修 2.0hr：課題を行うとともに、講義内容をノートにまとめ提出準備。
2 回	**授業テーマ：IS-LM モデル理解を深める 1** 授業内容：IS-LM モデルの間接的な数式記述 事前学修 2.0hr：対象となる章について、教員指定のレジメ・教科書を読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：課題を行うとともに、講義内容をノートにまとめ提出準備。
3 回	**授業テーマ：IS-LM モデル理解を深める 2** 授業内容：IS-LM モデルの直接的な数式記述 事前学修 2.0hr：対象となる章について、教員指定のレジメ・教科書を読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：課題を行うとともに、講義内容をノートにまとめ提出準備。
4 回	**授業テーマ：物価を導入した分析 1** 授業内容：AD-AS モデルの基礎 事前学修 2.0hr：対象となる章について、教員指定のレジメ・教科書を読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：課題を行うとともに、講義内容をノートにまとめ提出準備。
5 回	**授業テーマ：物価を導入した分析 2** 授業内容：AD-AS モデルから理解する物価変動 事前学修 2.0hr：対象となる章について、教員指定のレジメ・教科書を読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：課題を行うとともに、講義内容をノートにまとめ提出準備。
6 回	**授業テーマ：物価を導入した分析 3** 授業内容：マクロ経済政策論争 事前学修 2.0hr：対象となる章について、教員指定のレジメ・教科書を読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：課題を行うとともに、講義内容をノートにまとめ提出準備。
7 回	**授業テーマ：経済成長** 授業内容：経済成長の意義 事前学修 2.0hr：対象となる章について、教員指定のレジメ・教科書を読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：課題を行うとともに、講義内容をノートにまとめ提出準備。
8 回	**授業テーマ：経済成長** 授業内容：収束の議論 事前学修 2.0hr：対象となる章について、教員指定のレジメ・教科書を読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：課題を行うとともに、講義内容をノートにまとめ提出準備。
9 回	**授業テーマ：労働市場と失業** 授業内容：労働市場と失業の解説 事前学修 2.0hr：対象となる章について、教員指定のレジメ・教科書を読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：課題を行うとともに、講義内容をノートにまとめ提出準備。
10 回	**授業テーマ：財政 1** 授業内容：財政と国債について 事前学修 2.0hr：対象となる章について、教員指定のレジメ・教科書を読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：課題を行うとともに、講義内容をノートにまとめ提出準備。
11 回	**授業テーマ：財政 2** 授業内容：日本の財政について 事前学修 2.0hr：対象となる章について、教員指定のレジメ・教科書を読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：課題を行うとともに、講義内容をノートにまとめ提出準備。

12回	**授業テーマ：金融 1** 授業内容：金融政策と中央銀行について 事前学修 2.0hr：対象となる章について、教員指定のレジメ・教科書を読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：課題を行うとともに、講義内容をノートにまとめ提出準備。
13回	**授業テーマ：金融 2** 授業内容：金融危機の仕組み 事前学修 2.0hr：対象となる章について、教員指定のレジメ・教科書を読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：課題を行うとともに、講義内容をノートにまとめ提出準備。
14回	**授業テーマ：株価の決定** 授業内容：資産価格の決定とマクロ経済学について 事前学修 2.0hr：対象となる章について、教員指定のレジメ・教科書を読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：レポート準備。
15回	**授業テーマ：日本のマクロ経済政策の評価** 授業内容：時事問題を元に日本のマクロ経済政策について考察 事前学修 2.0hr：講義全体を振り返り、自分の理解度を確認しておくこと。 事後学修 2.0hr：試験に備えておくこと。

実践経済学Ⅰ

開講学科等：経　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前/後

影山　純二（かげやま　じゅんじ）・**島本　昌和**（しまもと　まさかず）・**下田　直樹**（しもだ　なおき）・**友利　厚夫**（ともり　あつお）

▌授業の概要

この授業では、1 年次の経済学概論Ⅰ・Ⅱや経済・経営数学入門Ⅰ・Ⅱ、統計学入門Ⅰ・Ⅱ等で学んだミクロ経済学及びマクロ経済学の基礎及び重要事項について再確認するとともに、それを応用して現実の経済現象を理解し説明したり、経済学に関する演習問題を解くなどして実践力を身につけることを目標とする。「ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ」と「マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ」も同時開講されているので、それとの相乗効果も意図している。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1）

一般目標：　外部試験である経済学検定試験 (ERE ミクロ・マクロ)で、所定のランク（B 以上）に達する力を身につけることを目標とする。ただし、前期は授業内で行う期末試験の点数によって単位認定を行う。なお、経済学検定試験（ERE）は、CBT 方式により、週日、個人受験が可能であるほか、7 月と 12 月には、直前対策講座とセットで団体受験を本学を会場として実施する予定である。

個別目標：経済学に関する種々の演習問題を解くことができるような実践力を身につける。

▌履修条件

2 年生は前期に実践経済学Ⅰ、後期に実践経済学Ⅱを履修・受講すること。前期のⅡは留年した再履修者のみとする。

▌評価基準・方法

前期の実践経済学Ⅰは毎回の授業への取組姿勢ならびにネット上での宿題の履行状況に加え、期末試験で所定の成績を収めた場合に単位を認定する。

▌フィードバック方法

遂行済み課題等へのフィードバックは、基本的に学修支援システム manaba を通して行うが、次回の授業内でも講評等のうえ、優秀なものは披露する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり　（授業中に manaba の小テストやドリル等に取り組んでもらい、各自にその成果を披露してもらう。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり　（授業中に PC を使って、manaba の小テストやドリル等に取り組む。）

▌教科書

経済学部編集の独自のテキストを各自に配付する。

▌参考書

経済法令研究会編『ERE〔経済学検定試験〕問題集』経済法令研究会。また、伊藤元重著『入門/経済学（第 4 版）』日本評論社、ほか、必要に応じて指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス(実践経済学Ⅰの方針、内容、目標等の説明)** 授業内容：本授業（実践経済学Ⅰ）の半年間の目標、内容、方針等のガイダンスを行う。 事前学修 2.0hr：1 年次に学んだ経済学概論等の内容を、その教科書や授業時に配付されたプリントや小テストで確認する。 事後学修 2.0hr：ガイダンスの話をもとに、経済学検定試験（ERE ミクロ・マクロ)受験を想定した学修プランを作成する。
2 回	**授業テーマ：昨年度実施の経済学検定試験の総括（1）** 授業内容：昨年度の経済学検定試験（ERE）に対する全体講評と解答のポイントについて解説する。 事前学修 2.0hr：過去に受験した経済学検定試験等について再度自己採点し、間違った箇所をチェックしておく。 事後学修 2.0hr：再度、過去に受験した経済学検定試験の問題を復習し、解答する。
3 回	**授業テーマ：昨年度実施の経済学検定試験の総括（2）** 授業内容：引き続き、昨年度の経済学検定試験（ERE）に対する全体講評と解答のポイントについて解説する。 事前学修 2.0hr：過去に受験した経済学検定試験等について再度自己採点し、間違った箇所をチェックしておく。 事後学修 2.0hr：再度、過去に受験した経済学検定試験の問題を復習し、解答する。
4 回	**授業テーマ：1 年次の経済学概論等の復習・補足（1）** 授業内容：1 年次に学修した経済学概論のミクロ経済学とマクロ経済学についての復習と小テストを行う（プレゼンあり。宿題あり）。 事前学修 2.0hr：1 年次の経済学概論等の内容を教科書や配付されたプリントをもとに総復習しておく。 事後学修 2.0hr：ネット上から宿題にアクセスし、解答する。
5 回	**授業テーマ：1 年次の経済学概論等の復習・補足（2）** 授業内容：1 年次に学修した経済学概論のミクロ経済学とマクロ経済学についての復習と小テストを行う（プレゼンあり。宿題あり）。 事前学修 2.0hr：1 年次の経済学概論等の内容を教科書や配付されたプリントをもとに総復習しておく。 事後学修 2.0hr：ネット上から宿題にアクセスし、解答する。
6 回	**授業テーマ：ミクロ経済学及びマクロ経済学の重要事項の再確認と演習問題への解答（1）** 授業内容：「実践経済学講義ノート」(無償配付)に基づき、ミクロ経済学とマクロ経済学の重要事項を再確認し、manaba のドリル等に取り組む(宿題あり)。 事前学修 2.0hr：ミクロ経済学とマクロ経済学の重要事項について教科書を読んで理解するとともに、疑問点などをまとめる。 事後学修 2.0hr：ネット上から宿題にアクセスし、解答する。
7 回	**授業テーマ：ミクロ経済学の重要事項の再確認と演習問題への解答（2）** 授業内容：「実践経済学講義ノート」(無償配付)に基づき、ミクロ経済学とマクロ経済学の重要事項を再確認し、manaba のドリル等に取り組む(宿題あり)。 事前学修 2.0hr：ミクロ経済学とマクロ経済学の重要事項について教科書を読んで理解するとともに、疑問点などをまとめる。 事後学修 2.0hr：ネット上から宿題にアクセスし、解答する。
8 回	**授業テーマ：ミクロ経済学の重要事項の再確認と演習問題への解答（3）** 授業内容：「実践経済学講義ノート」(無償配付)に基づき、ミクロ経済学とマクロ経済学の重要事項を再確認し、manaba のドリル等に取り組む(宿題あり)。 事前学修 2.0hr：ミクロ経済学のとマクロ経済学の重要事項について教科書を読んで理解するとともに、疑問点などをまとめる。 事後学修 2.0hr：ネット上から宿題にアクセスし、解答する。
9 回	**授業テーマ：ミクロ経済学とマクロ経済学の重要事項について再確認と演習問題への解答（4）** 授業内容：「実践経済学講義ノート」(無償配付)に基づき、ミクロ経済学とマクロ経済学の重要事項を再確認し、manaba のドリル等に取り組む(宿題あり)。 事前学修 2.0hr：前回授業終了時に配付した予習プリントに解答のこと。 事後学修 2.0hr：ネット上から宿題にアクセスし、解答する。
10 回	**授業テーマ：経済学検定試験の過去問題への解答と解説（1）** 授業内容：「実践経済学講義ノート」(無償配付)に掲載の過去問（基本問題と応用問題)に取組み、答え合わせを行う（宿題あり)。 事前学修 2.0hr：教科書に掲載の経済学検定試験（ERE) の過去問に解答する。 事後学修 2.0hr：ネット上から宿題にアクセスし、解答する。

11回	**授業テーマ：経済学検定試験の過去問題への解答と解説（2）** 授業内容：「実践経済学講義ノート」(無償配付)に掲載の過去問(基本問題と応用問題)に取組み、答え合わせを行う(宿題あり)。 事前学修 2.0hr：教科書に掲載の経済学検定試験(ERE) の過去問に解答する。 事後学修 2.0hr：ネット上から宿題にアクセスし、解答する。
12回	**授業テーマ：経済学検定試験の自己採点と解説（1）** 授業内容：経済学検定試験の過去問をもとにつくられた本試験に取組み、公開された解答で答え合わせをし、解説を理解する(宿題あり)。 事前学修 2.0hr：教科書に掲載の経済学検定試験(ERE) の過去問に解答する。 事後学修 2.0hr：ネット上から宿題にアクセスし、解答する。
13回	**授業テーマ：経済学検定試験の正解解説（2）** 授業内容：経済学検定試験の過去問をもとにつくられた本試験等に取組み、公開された解答で答え合わせをし、解説を理解する(宿題あり)。 事前学修 2.0hr：教科書に掲載の経済学検定試験(ERE) の過去問に解答する。 事後学修 2.0hr：ネット上から宿題にアクセスし、解答する。
14回	**授業テーマ：経済学検定試験の正解解説（3）** 授業内容：経済学検定試験の過去問をもとにつくられた本試験等に取組み、公開された解答で答え合わせをし、解説を理解する(宿題あり)。 事前学修 2.0hr：教科書に掲載の経済学検定試験(ERE) の過去問に解答する。 事後学修 2.0hr：ネット上から宿題にアクセスし、解答する。
15回	**授業テーマ：半期のまとめ(復習と予告)** 授業内容：半年間の授業内容を復習するとともに(「まとめプリント配付)、再度、重要ポイントを確認する。 事前学修 2.0hr：「まとめプリント」の内容を再確認しておく。 事後学修 2.0hr：半期の内容について振り返り、教科書をもとに「まとめプリント」に解答する。

実践経済学Ⅰ

開講学科等：経 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能(アクトモデル用)

池田 晋 (いけだ すすむ)

▌授業の概要

「履修モデル」の中の会計学を選択した 2 年生の進級要件となる重要な科目です。本科目および実践経済学Ⅱの単位を取得することが，3 年生に進級するためには必要です。授業内容は簿記論Ⅲのスケジュールと連動しており，問題演習が中心となります。日商簿記 3 級の知識があることを前提に授業を進めます。具体的な授業の進め方・評価方法などの詳細は，授業開始時に教員の指示にしたがうこと。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4/5/6）

一般目標：仕訳から決算までの簿記一巡の流れを学び，中規模企業および連結企業の経理担当者として活躍することが可能となるような日商簿記 2 級合格レベルの知識を得る。

個別目標：日商簿記 2 級合格。

▌履修条件

原則として，日商簿記 3 級合格者が対象です。3 級に合格していなくても，履修は可能です。

▌評価基準・方法

期中の課題と期末テストあるいは日商簿記 2 級の試験結果で評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは，学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『合格トレーニング　日商簿記 2 級　商業簿記』　TAC 出版 最新の Version

『合格テキスト　日商簿記 2 級　商業簿記』　TAC 出版 最新の Version

▌参考書

『合格するための本試験問題集　日商簿記 2 級』TAC 出版　最新の Version

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス，財務諸表** 授業内容：ガイダンス，財務諸表の問題演習 事前学修 2.0hr：授業範囲の通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：商品売買** 授業内容：商品売買の問題演習 事前学修 2.0hr：授業範囲の通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：現金および預金** 授業内容：現金および預金の問題演習 事前学修 2.0hr：授業範囲の通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：債権・債務** 授業内容：債権・債務の問題演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：有価証券** 授業内容：有価証券の問題演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：有形固定資産１** 授業内容：有形固定資産１の問題演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：有形固定資産２** 授業内容：有形固定資産２の問題演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：リース取引，無形固定資産等と研究開発費** 授業内容：リース取引，無形固定資産等と研究開発費の問題演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
9回	**授業テーマ：引当金** 授業内容：引当金の問題演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：外貨換算会計，税金** 授業内容：外貨換算会計，税金の問題演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：課税所得の算定と税効果会計** 授業内容：課税所得の算定と税効果会計の問題演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習

12回	**授業テーマ：株式の発行，剰余金の配当と処分** 授業内容：株式の発行，剰余金の配当と処分の問題演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：決算手続，収益・費用の認識基準** 授業内容：決算手続，収益・費用の認識基準の問題演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：本支店会計** 授業内容：本支店会計の問題演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：前期のまとめ** 授業内容：まとめ 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習

実践経済学Ⅱ

開講学科等：経　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前/後

影山　純二（かげやま　じゅんじ）・**島本　昌和**（しまもと　まさかず）・**下田　直樹**（しもだ　なおき）・**友利　厚夫**（ともり　あつお）

▌授業の概要

この授業では、1 年次の経済学概論Ⅰ・Ⅱや経済・経営数学入門Ⅰ・Ⅱ、統計学入門Ⅰ・Ⅱ等で学んだミクロ経済学及びマクロ経済学の基礎及び重要事項について再確認するとともに、それを応用して現実の経済現象を理解し説明したり、経済学に関する演習問題を解くなどして実践力を身につけることを目標とする。「ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ」と「マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ」も同時開講されているので、それとの相乗効果も意図している。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1）

一般目標：　外部試験である経済学検定試験 (ERE ミクロ・マクロ)で、所定のランク（B以上）に達する力を身につけることを目標とする。なお、経済学検定試験（ERE）は、CBT 方式により、週日、個人受験が可能であるほか、(7 月と) 12 月には、直前対策講座とセットで団体受験を本学を会場として実施する。

個別目標：経済学に関する種々の演習問題を解くことができるような実践力を身につける。

▌履修条件

前学期に実践経済学Ⅰを履修・修得した 2 年生は、後学期に実践経済学Ⅱを履修登録・受講すること。しかし前学期に実践経済学Ⅰを履修し忘れた者、あるいは修得できなかった者は、後学期に実践経済学Ⅰ・Ⅱを同時履修・受講すること。

▌評価基準・方法

毎回の授業への取組姿勢ならびに、manaba のドリルや課題等の履行状況に加え、CBT 方式での受験、あるいは（前期の場合は 7 月）、後学期の場合には 12 月の本学での経済学検定試験で所定のランクに達した場合、もしくは 12、1 月に行う模擬試験等で所定の成績を収めた場合に単位を認定する。

▌フィードバック方法

遂行済み課題等へのフィードバックは、基本的に学修支援システム manaba を通して行うが、次回の授業内でも講評等のうえ、優秀なものは披露する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業中に manaba の小テストやドリル等に取り組んでもらい、各自にその成果を披露してもらう。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業中に PC を使って、manaba の小テストやドリル等に取り組む。）

▌教科書

経済学部編集の独自のテキストを配付する。

▌参考書

経済法令研究会編『ERE〔経済学検定試験〕問題集』経済法令研究会。また、伊藤元重著『入門/経済学（第 4 版）』日本評論社、ほか、必要に応じて指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス（実践経済学Ⅰの方針、内容、目標等の説明）** 授業内容：前学期の実践経済学Ⅰ及び、1 年次の経済学概論Ⅰ・Ⅱ、前学期のミクロ経済学Ⅰ、マクロ経済学Ⅰの学修成果を踏まえ、半年間の実践経済学Ⅱの目標、授業内容、方針等についてガイダンスを行う。 事前学修 2.0hr：前学期の実践経済学Ⅰや 1 年次に学んだ経済学概論等の内容を、その教科書や授業時に配付されたプリントや小テストで確認する。 事後学修 2.0hr：ガイダンスの話をもとに、後学期の経済学検定試験（ERE ミクロ・マクロ）受験を想定した学修プランを作成する。
2回	**授業テーマ：昨年度実施の経済学検定試験の総括（1）** 授業内容：昨年度 7 月に実施した、ミクロ経済学とマクロ経済学の全体講評と課題を述べる。 事前学修 2.0hr：前学期に受験した試験等について再度自己採点し、間違った箇所をチェックしておく。 事後学修 2.0hr：授業中に指摘がなされた課題について、自分なりに取り組む。
3回	**授業テーマ：昨年度実施の経済学検定試験の総括（2）** 授業内容：昨年度の 12 月に実施した経済学検定試験（ERE）について全体講評と課題を述べる。 事前学修 2.0hr：授業中に提示された経済学検定試験について取り組み、自己採点する。 事後学修 2.0hr：授業中に指摘がなされた課題について、自分なりに取り組む。
4回	**授業テーマ：1 年次の経済学概論等の復習・補足（1）** 授業内容：1 年次に学修した経済学概論Ⅰ・Ⅱを再確認し、ミクロ経済学（需要・供給曲線）及びマクロ経済学（経済活動を測る指標、財市場：消費と貯蓄）について復習する（宿題あり）。 事前学修 2.0hr：1 年次の経済学概論等の内容を教科書や配付されたプリントをもとに総復習しておく。 事後学修 2.0hr：ネット上から宿題にアクセスし、解答する。
5回	**授業テーマ：1 年次の経済学概論等の復習・補足（2）** 授業内容：1 年次に学修した経済学概論Ⅰ・Ⅱについて、ミクロ経済学（消費者行動、企業による利潤最大化）及びマクロ経済学（財市場、消費と貯蓄、45 度線モデル、貨幣、IS ー LM モデル、マクロ経済政策等）について復習する（宿題あり）。 事前学修 2.0hr：1 年次の経済学概論等の内容を教科書や配付されたプリントをもとに総復習しておく。 事後学修 2.0hr：ネット上から宿題にアクセスし、解答する。
6回	**授業テーマ：ミクロ経済学・マクロ経済学の重要事項の再確認と演習問題への解答（1）** 授業内容：「実践経済学講義ノート」（無償配付）をもとに、ミクロ経済学とマクロ経済学の重要ポイントを再確認し、manaba の小テスト、ドリルに取り組む（プレゼンあり。宿題あり）。 事前学修 2.0hr：ミクロ経済学及びマクロ経済学の重要事項を教科書を読んで理解するとともに、疑問点などをまとめる。 事後学修 2.0hr：ネット上から宿題にアクセスし、解答する。
7回	**授業テーマ：ミクロ経済学とマクロ経済学の重要事項の再確認と演習問題への解答（2）** 授業内容：「実践経済学講義ノート」（無償配付）をもとに、ミクロ経済学とマクロ経済学の重要ポイントを再確認し、manaba の小テスト、ドリルに取り組む（プレゼンあり。宿題あり）。 事前学修 2.0hr：マクロ経済学の重要事項を教科書を読んで理解するとともに、疑問点などをまとめる。 事後学修 2.0hr：ネット上から宿題にアクセスし、解答する。
8回	**授業テーマ：ミクロ経済学とマクロ経済学の重要事項の再確認と演習問題への解答（3）** 授業内容：「実践経済学講義ノート」（無償配付）をもとに、ミクロ経済学とマクロ経済学の重要ポイントを再確認し、manaba の小テスト、ドリルに取り組む（プレゼンあり。宿題あり）。 事前学修 2.0hr：ミクロ経済学とマクロ経済学の重要事項を教科書を読んで理解するとともに、疑問点などをまとめる。 事後学修 2.0hr：ネット上から宿題にアクセスし、解答する。
9回	**授業テーマ：ミクロ経済学とマクロ経済学の重要事項の再確認と演習問題への解答（4）** 授業内容：「実践経済学講義ノート」（無償配付）をもとに、マクロ経済学の重要ポイントを再確認し、manaba の小テスト、ドリルに取り組む（プレゼンあり。宿題あり）。 事前学修 2.0hr：前回授業終了時に配付した予習プリントに解答すること。 事後学修 2.0hr：ネット上から宿題にアクセスし、解答する。

10回	**授業テーマ：経済学検定試験の過去問題への解答と解説（1）** 授業内容：過去問を中心につくられた「実践経済学講義ノート」の基本問題と練習問題に取組み、答え合わせを行う（宿題あり）。 事前学修 2.0hr：「実践経済学講義ノート」に掲載の経済学検定試験（ERE) の過去問に解答する。 事後学修 2.0hr：ネット上から宿題にアクセスし、解答する。
11回	**授業テーマ：経済学検定試験の過去問題への解答と解説（2）** 授業内容：過去問を中心につくられた「実践経済学講義ノート」の基本問題と練習問題に取組み、答え合わせを行う（宿題あり）。 事前学修 2.0hr：「実践経済学講義ノート」に掲載の経済学検定試験（ERE) の過去問に解答する。 事後学修 2.0hr：ネット上から宿題にアクセスし、解答する。
12回	**授業テーマ：経済学検定試験の自己採点と解説（1）** 授業内容：経済学検定試験の過去問をもとにつくられた本試験に取組み、自己採点後、解説を聞いて正解を理解する（宿題あり）。 事前学修 2.0hr：「実践経済学講義ノート」に掲載の経済学検定試験（ERE) の過去問に解答する。 事後学修 2.0hr：ネット上から宿題にアクセスし、解答する。
13回	**授業テーマ：経済学検定試験の自己採点と解説（2）** 授業内容：経済学検定試験の過去問をもとにつくられた本試験に取組み、自己採点後、解説を聞いて正解を理解する（宿題あり）。 事前学修 2.0hr：「実践経済学講義ノート」に掲載の経済学検定試験（ERE) の過去問に解答する。 事後学修 2.0hr：ネット上から宿題にアクセスし、解答する。
14回	**授業テーマ：経済学検定試験受験の準備** 授業内容：経済学検定試験の過去問をもとにつくられた本試験に取組み、自己採点後、解説を聞いて正解を理解する（宿題あり） 事前学修 2.0hr：経済学検定試験（団体受験）に向けて、受験のための準備を行う。 事後学修 2.0hr：経済学検定試験（団体受験）に向けて、受験のための準備を行う。
15回	**授業テーマ：半期のまとめ（復習と予告）** 授業内容：半年間の実践経済学Ⅱの学修内容を再確認し、重要ポイントを「まとめプリント」に整理する。 事前学修 2.0hr：「まとめプリント」の内容を再確認しておく。 事後学修 2.0hr：半期の内容について振り返り、「実践経済学講義ノート」をもとに「まとめプリント」に解答する。

実践経済学Ⅱ

開講学科等：経 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能(アクトモデル用)

池田　晋 (いけだ　すすむ)

▌授業の概要

「履修モデル」の中の会計学を選択した 2 年生の進級要件となる重要な科目です。本科目および実践経済学Ⅰの単位を取得することが，3 年生に進級するためには必要です。授業内容は簿記論Ⅳのスケジュールと連動しており，問題演習が中心となります。実践経済学Ⅰを履修済みであることを前提に授業を進めます。具体的な授業の進め方・評価方法などの詳細は，授業開始時に教員の指示にしたがうこと。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4/5/6）

一般目標：仕訳から決算までの簿記一巡の流れを学び，中規模企業および連結企業の経理担当者として活躍することが可能となるような日商簿記 2 級合格レベルの知識を得る。

個別目標：日商簿記 2 級合格。

▌履修条件

実践経済学(簿記)Ⅰの単位取得者。

▌評価基準・方法

期中の課題と期末テストあるいは日商簿記 2 級の試験結果で評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは，学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『合格するための本試験問題集　日商簿記 2 級』TAC 出版　最新の Version

『合格トレーニング　日商簿記 2 級　商業簿記』　TAC 出版 最新の Version

▌参考書

『合格テキスト　日商簿記 2 級　商業簿記』　TAC 出版 最新の Version

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス，合併と事業譲渡** 授業内容：合併と事業譲渡の問題演習 事前学修 2.0hr：授業範囲の通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：連結会計Ⅰ** 授業内容：連結会計の問題演習 事前学修 2.0hr：授業範囲の通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：連結会計Ⅱ** 授業内容：連結会計の問題演習 事前学修 2.0hr：授業範囲の通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：連結会計Ⅲ** 授業内容：連結会計の問題演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：連結会計Ⅳ** 授業内容：連結会計の問題演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：過去問題演習** 授業内容：第１回本試験演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：過去問題演習** 授業内容：第２回本試験演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：過去問題演習** 授業内容：第３回本試験演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
9回	**授業テーマ：過去問題演習** 授業内容：第４回本試験演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：過去問題演習** 授業内容：第５回本試験演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：過去問題演習** 授業内容：第６回本試験演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習

12回	**授業テーマ：過去問題演習** 授業内容：第７回本試験演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：過去問題演習** 授業内容：第８回本試験演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：過去問題演習** 授業内容：第９回本試験演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：過去問題演習** 授業内容：まとめ 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習

経済・経営数学入門Ⅰ

開講学科等：経　｜　1年次　｜　2単位　｜　開講期：前

小黒　曜子（おぐろ　ようこ）

▌授業の概要

この講義では、経済学や経営学を学ぶ上で必須かつ最低限の数学を効率良くマスターできるように内容を精選しています。また、単なる「数学のお勉強」になってしまう事を極力避けるため、経済学や経営学のトピックを適宜取り上げて、その中で使う数学を初歩から学んでいくというスタイルで進めていきます。なお、受講者の学力や必要に応じて、全体の難易度或いは下記講義内容について、適宜変更を加える場合がありますが、その際には事前にお知らせする予定です。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/4/5/6、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：経済、経営学を学ぶ上で最低限必要になる数学の基礎力が身につく。
個別目標：①経済、経営学で扱われる様々な問題を、数理的に捉えられるようになる。
②連立方程式などを解くことができるようになる。
③1変数関数の微分ができ、利潤最大化問題を解くことができるになる。

▌履修条件

特にありません。
ただし、経済・経営数学入門Ⅰ → 経済・経営数学入門Ⅱの順で、両科目とも履修することを強く勧めます。

▌評価基準・方法

期末試験（７０%）、演習・課題・小テスト（３０%）で評価するが、学期末試験において十分に到達目標に達していることが確認できた場合には、学期末試験の結果を大きく尊重する。　＜※ 詳細は、初回講義で説明する。＞
原則、５分の４以上の出席が無い場合は、評価の対象とならない。
学修過程において、適宜、manaba システムを利用する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、講義、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （講義中の問題演習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Excel 演習）

▌教科書

白石俊輔『経済学で出る数学　ワークブックでじっくり攻める』日本評論社

▌参考書

尾山大輔、安田洋祐『経済学で出る数学　高校数学からきちんと攻める』日本評論社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：講義内容の紹介、受講に際しての注意事項や成績評価方法の説明、実力確認テスト 事前学修 1.5hr：シラバスやテキストの目次に目を通しておく。 事後学修 2.5hr：実力確認テストの復習など。
2回	**授業テーマ：１次関数と市場メカニズム１** 授業内容：１次関数、グラフについて 事前学修 1.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 3.0hr：授業内容の復習、課題演習等。
3回	**授業テーマ：１次関数と市場メカニズム２** 授業内容：連立方程式、交点について 事前学修 1.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 3.0hr：授業内容の復習、課題演習等。
4回	**授業テーマ：１次関数と市場メカニズム３** 授業内容：マーシャルの罠と逆関数について 事前学修 1.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 3.0hr：授業内容の復習、課題演習等。
5回	**授業テーマ：１次関数と市場メカニズム４** 授業内容：連立方程式、市場均衡について 事前学修 1.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 3.0hr：授業内容の復習。
6回	**授業テーマ：１次関数と市場メカニズム５** 授業内容：グラフと余剰分析について 事前学修 1.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 3.0hr：授業内容の復習、課題演習等。
7回	**授業テーマ：１次関数と市場メカニズム６** 授業内容：直線の式の決定、損益分岐点分析について 事前学修 1.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 3.0hr：授業内容の復習、課題演習等。
8回	**授業テーマ：２次関数と独占・寡占市場１** 授業内容：２次関数の展開と因数分解について 事前学修 1.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 3.0hr：授業内容の復習、課題演習等。
9回	**授業テーマ：２次関数と独占・寡占市場２** 授業内容：２次関数のグラフについて 事前学修 1.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 3.0hr：授業内容の復習、課題演習等。
10回	**授業テーマ：２次関数と独占・寡占市場３** 授業内容：２次関数の応用について 事前学修 1.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 3.0hr：授業内容の復習、課題演習等。

11回	**授業テーマ：１変数関数の微分と利潤最大化１** 授業内容：微分の基礎 事前学修 1.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 3.0hr：授業内容の復習。
12回	**授業テーマ：１変数関数の微分と利潤最大化２** 授業内容：２次関数の微分について 事前学修 1.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 3.0hr：授業内容の復習、課題演習等。
13回	**授業テーマ：１変数関数の微分と利潤最大化３** 授業内容：１変数関数の最適化(２次関数)、独占企業の利潤最大化について 事前学修 1.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 3.0hr：授業内容の復習。
14回	**授業テーマ：１変数関数の微分と利潤最大化４** 授業内容：多項式関数の微分、１変数関数の最適化(多項式関数)について 事前学修 1.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 3.0hr：授業内容の復習、課題演習等。
15回	**授業テーマ：総まとめ** 授業内容：前学期の内容全体の総まとめ、復習 事前学修 3.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習、課題演習等。

経済・経営数学入門 I

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

中島　達洋（なかじま　たつひろ）

▌授業の概要

経済学や経営学では、数量的な関係を数式やグラフで表し、それをもとに現象を考察することが求められます。本授業では、一次関数・二次関数、変化率、指数・対数、微分といった基礎的な数学を用いて、需要と供給、市場均衡、国民所得、利潤最大化、投資評価などの基本的な経済モデルを扱います。計算手順の習得だけでなく、「何を求めているのか」「得られた結果が経済的に何を意味するのか」を重視し、数学に苦手意識をもつ学生でも段階的に理解できるよう、例題と演習を中心に授業を進めます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/4/5/6、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：経済・経営学において用いられる基本的な数学の役割を理解し、1 変数の関数や微分を用いて経済現象を数量的に捉える力を身につける。
個別目標：① 一次関数・二次関数の性質を説明し、簡単な経済モデルに適用できる。
② 需要と供給を数式やグラフで表し、市場均衡を判断できる。
③ 変化率、指数、対数の考え方を用いて、成長や割引の意味を説明できる。
④ 微分を用いて限界概念や最適化の考え方を説明できる。

▌履修条件

特にありません。ただし、高校数学の基礎（一次関数・二次関数、分数計算など）に不安がある場合は、事前に復習しておくことが望ましいです。また、必ず 1 回目の授業から出席してください。履修修正時の不在は欠席となります。

▌評価基準・方法

学期末試験 50 %、授業内小テスト・ドリルおよびレポート 50 %の割合で、到達目標の達成度に基づき総合的に評価します。なお、学期末試験において十分に到達目標に達していることが確認できた場合は、その結果を大きく尊重します。

▌フィードバック方法

課題、小テスト、レポートおよび定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通じて行います。必要に応じて授業内でも解説を行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （事前に講義資料で基本事項を確認し、授業では演習問題への取り組みや解説を中心に行う反転授業の形式を取り入れます。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （配布資料の閲覧、課題への取り組み、計算結果の確認などを目的として PC を利用します。表計算ソフト等を用いて計算過程や結果を確認し、理解を深めます。）

▌教科書

教科書は使用しません。必要な資料はプリントとして配布し、学修支援システム manaba からも閲覧・ダウンロードできるようにします。

▌参考書

Ian Jacques「MATHEMATICS FOR ECONOMICS AND BUSINESS」（Pearson Education Limited、第 10 版 2023）【これは英語の教科書ですが、この教科書を中心に授業を組み立てる予定です。ただし、高額なので購入する必要はありません。】
尾山大輔・安田洋祐「経済学で出る数学　高校数学からきちんと攻める」（日本評論社、2013）など

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス・数式の取り扱い基礎** 授業内容：講義全体の進め方と評価方法を説明した後、文字式や分数計算など、数式を扱う際の基本的なルールを確認する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、授業の流れを確認する。 事後学修 2.0hr：基礎的な計算練習問題に取り組む。
2 回	**授業テーマ：1 次方程式と等式の変形** 授業内容：一次方程式の解法と、式を変形して特定の変数について解く方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：一次方程式の解き方を復習する。 事後学修 2.0hr：練習問題に取り組み、計算手順を確認する。
3 回	**授業テーマ：一次関数と需要・供給** 授業内容：一次関数のグラフと性質を確認し、需要曲線・供給曲線を用いて市場均衡を考える。 事前学修 2.0hr：一次関数のグラフの描き方を確認する。 事後学修 2.0hr：均衡価格を求める問題に取り組む。
4 回	**授業テーマ：国民所得決定モデル** 授業内容：一次関数を用いて国民所得決定の基本モデルを数式と図で理解する。 事前学修 2.0hr：マクロ経済の基本用語を確認する。 事後学修 2.0hr：モデルの計算問題に取り組む。
5 回	**授業テーマ：二次関数とグラフ** 授業内容：二次関数のグラフの形や最大値・最小値の考え方を確認する。 事前学修 2.0hr：二次関数の基本事項を確認する。 事後学修 2.0hr：グラフを描く練習を行う。
6 回	**授業テーマ：収入・費用・利潤** 授業内容：収入関数・費用関数・利潤関数の関係を理解し、最大化の考え方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の二次関数の内容を復習する。 事後学修 2.0hr：利潤を計算する問題に取り組む。
7 回	**授業テーマ：変化率と複利計算** 授業内容：変化率の考え方を導入し、単利と複利の違いを数式で確認する。 事前学修 2.0hr：割合や比の計算を復習する。 事後学修 2.0hr：複利計算の練習問題に取り組む。
8 回	**授業テーマ：割引現在価値** 授業内容：将来の金額を現在の価値に換算する考え方を学び、投資評価に応用する。 事前学修 2.0hr：複利計算を復習する。 事後学修 2.0hr：現在価値を求める問題に取り組む。
9 回	**授業テーマ：指数関数と対数（経済での使い方）** 授業内容：指数関数と対数の基本的な役割を確認し、成長率や期間計算への応用を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指数法則を確認する。 事後学修 2.0hr：指数・対数を用いた計算練習を行う。

10回	**授業テーマ：微分の考え方** 授業内容：微分を変化の度合いや接線の傾きとして捉え、その意味を理解する。 事前学修 2.0hr：関数のグラフを確認する。 事後学修 2.0hr：簡単な微分計算に取り組む。
11回	**授業テーマ：微分の基本公式と計算** 授業内容：代表的な微分公式を用いて、典型的な関数の微分計算を練習する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を復習する。 事後学修 2.0hr：計算練習問題に取り組む。
12回	**授業テーマ：限界概念と弾力性** 授業内容：限界○○や弾力性の意味を微分と結び付けて理解する。 事前学修 2.0hr：微分の基本を確認する。 事後学修 2.0hr：経済的解釈を意識した問題に取り組む。
13回	**授業テーマ：関数の増減と極値** 授業内容：微分を用いて関数の増減や極大・極小を調べる方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：微分計算を復習する。 事後学修 2.0hr：グラフの概形を描く練習を行う。
14回	**授業テーマ：利潤最大化問題** 授業内容：これまでの内容を用いて、利潤最大化の典型的な問題を解く。 事前学修 2.0hr：関連する公式を整理する。 事後学修 2.0hr：総合問題に取り組む。
15回	**授業テーマ：試験対策講座** 授業内容：第 1 回授業～第 14 回授業を総括した試験対策模試問題を配布し、その解説をする。 事前学修 2.0hr：全体を復習する 事後学修 2.0hr：理解が不十分な点を復習する。

経済・経営数学入門 I

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

廣部　恒忠 (ひろべ　つねただ)

▌授業の概要

この講義では、経済学や経営学を学ぶ上で必須かつ最低限の数学を効率良くマスターできるように内容を精選しています。また、単なる「公式の暗記」になってしまう事を極力避けるため、経済学や経営学のトピックを適宜取り上げて、その中で使う数学を初歩から学んでいくというスタイルで進めていきます。なお、受講者の興味・関心や必要に応じて、全体の難易度或いは下記講義内容について、適宜変更を加える場合がありますが、その際には事前にお知らせする予定です。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/4/5/6、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：経済、経営学を学ぶ上で最低限必要になる数学の基礎力が身につく。

個別目標：①経済、経営学で扱われる様々な問題を、数理的に捉えられるようになる。
②高校数学の復習を経て、初等的かつ基礎的な大学数学の素養を身につけられる。
③初等的な確率論等を含め、統計学やデータサイエンスを学ぶ上で最低限必要な数学の知識を習得することができる。

▌履修条件

第 1 回目の授業時に「プレースメントテスト」を実施しますので必ず受験のこと。また、第 1 回目の授業に必ず出席し、必要なアドバイスを受けること(以上、必須条件)。

なお、下記授業スケジュール等についてはあくまで予定であり、授業の進捗状況等に拠り、適宜、柔軟に調整、修正、変更いたします。

▌評価基準・方法

原則、学期末テスト 60 %、授業中の演習や課題などその他の項目を 40 %として、総合評価します。

演習課題の提出により評価する。また、適宜、小テストなどその他の評価型式も加えた上で、総合評価します。

なお、フィードバックを含め学修過程において、適宜、manaba システム等を利用します。

▌フィードバック方法

manaba 等を利用して課題などのフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業状況に応じて(実施可能かどうかは利用教室の環境次第)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業全般で利用予定(実施可能かどうかは利用教室の環境次第)）

▌教科書

小林幹『経済学のための数学の基礎 15 講』新世社

▌参考書

小林幹、吉田博之『経済数学 15 講』新世社

白石俊輔『経済学で出る数学　ワークブックでじっくり攻める』日本評論社

尾山大輔、安田洋祐『経済学で出る数学　高校数学からきちんと攻める』日本評論社　など

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス：講義内容の紹介、受講に際しての注意事項や成績評価方法の説明、プレイスメントテスト等** 授業内容：ガイダンスを実施(講義内容の紹介、受講に際しての注意事項や成績評価方法の説明、プレイスメントテスト等を含む) 事前学修 1.5hr：シラバスやテキストの目次に目を通しておく。 事後学修 2.5hr：プレイスメントテストの復習など。
2 回	**授業テーマ：数と関数、整式、展開、因数分解、割合** 授業内容：数、関数とグラフ、整式、展開、因数分解、割合、百分率、歩合など 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習等。
3 回	**授業テーマ：1 次関数とそのグラフ** 授業内容：1 次関数とそのグラフ、直線の交点、1 次不等式と領域、経済学における 1 次関数の応用：需要・供給関数など 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習等。
4 回	**授業テーマ：2 次関数とそのグラフ 1** 授業内容：2 次関数とそのグラフ、2 次関数のグラフの頂点の座標など 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習等。
5 回	**授業テーマ：2 次関数とそのグラフ 2** 授業内容：2 次関数の平方完成、2 次関数の最大値・最小値など 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習。
6 回	**授業テーマ：2 次方程式** 授業内容：2 次方程式とその解、2 次方程式の解と 2 次関数のグラフなど 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習等。
7 回	**授業テーマ：指数** 授業内容：指数、指数関数とそのグラフなど 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習等。
8 回	**授業テーマ：対数** 授業内容：対数、対数関数とそのグラフ、常用対数など 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習等。
9 回	**授業テーマ：数列** 授業内容：数列、等差数列、等比数列など 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習等。

10回	**授業テーマ：微分 1** 授業内容：極限、微分など 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習等。
11回	**授業テーマ：微分 2** 授業内容：関数の積に関する微分、関数の商に関する微分、合成関数の微分など 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習。
12回	**授業テーマ：微分の応用** 授業内容：接線の方程式、関数の微分とグラフ、関数の極値など 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習等。
13回	**授業テーマ：場合の数** 授業内容：場合の数、和の法則、積の法則、順列、組み合わせなど 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習。
14回	**授業テーマ：確率** 授業内容：確率、加法定理、独立な試行の乗法定理、条件つき確率と乗法定理など 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習等。
15回	**授業テーマ：復習など（学力考査等も含む）** 授業内容：前学期の復習など 事前学修 3.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習、課題演習等。

経済・経営数学入門 I

開講学科等：経 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

永井　攻治 (ながい　よしはる)

▌授業の概要

本講義では、経済学・経営学を学修するうえで必要とされる基礎的な数学知識の修得を目的とする。計算の基礎、方程式、関数および微分の基本的な考え方について、理解の定着を重視しながら段階的に学修を進める。

講義では、数学的手法が経済学・経営学においてどのように用いられるのかを意識し、数量関係を数式やグラフで捉える力の育成を目指す。受講者の理解度や到達状況を踏まえ、必要に応じて復習や演習を取り入れながら、今後の専門科目の学修につながる基礎力を養う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/4/5/6、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：経済学・経営学を学修するために必要となる基礎的な数学的知識および思考力を身につける。

個別目標：① 経済学で扱われる数量関係を、数式やグラフを用いて理解できるようになる。
② 方程式や関数の基礎的な操作を行い、簡単な経済的問題を数理的に整理できるようになる。
③ 微分の基本的な法則を理解し、経済学における基礎的な分析の考え方を把握できるようになる。

▌履修条件

特に設けない。

▌評価基準・方法

成績評価は、授業への参加状況(授業態度)を重視し、レポート等の課題および期末試験の内容を総合的に評価する(評価の詳細については、授業内で適宜説明する)。

なお、授業への著しい不参加や学修上の不適切な行為が認められた場合には、成績評価に反映することがある。

原則として、授業回数の 5 分の 4 以上の出席がない場合は、評価の対象としない。

▌フィードバック方法

試験および講義内容に関する解説・フィードバックは、必要に応じて講義内および学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （講義中の基礎的な問題演習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業開始時に指示する。

なお、授業内容や受講者の理解度に応じて、プリントを中心に学修を進める場合がある。

▌参考書

必要に応じて、授業開始時または講義内で指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス／学修方法の確認・計算の基礎** 授業内容：講義全体の進め方を確認し、数量を扱うための基礎的な考え方について整理する。 事前学修 1.5hr：シラバス等でどのような学修をするのか目を通しておく。 事後学修 2.5hr：授業内容を復習する。
2 回	**授業テーマ：数と式の基礎(四則演算、分数・小数、符号)** 授業内容：数や式の基本的な扱い方を確認し、計算に関する基礎的事項を整理する。 事前学修 2.0hr：授業内容に対応する課題等の予習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
3 回	**授業テーマ：割合・比と数量データの読み方** 授業内容：割合や比といった数量関係について、経済データを意識しながら理解を深める。 事前学修 2.0hr：授業内容に対応する課題等の予習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
4 回	**授業テーマ：文字式と式の変形** 授業内容：文字式を用いた表現方法を確認し、数量関係を式で表す考え方を学修する。 事前学修 2.0hr：授業内容に対応する課題等の予習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
5 回	**授業テーマ：一次方程式の考え方** 授業内容：一次方程式の考え方を整理し、経済的な数量関係との対応を確認する。 事前学修 2.0hr：授業内容に対応する課題等の予習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
6 回	**授業テーマ：連立方程式の基礎** 授業内容：連立方程式を用いた数量関係の整理方法について理解を深める。 事前学修 2.0hr：授業内容に対応する課題等の予習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
7 回	**授業テーマ：経済学への接続①(需要・供給を数式で表す)** 授業内容：需要・供給の考え方を数式で捉え、経済学における数量分析の基礎を学修する。 事前学修 2.0hr：授業内容に対応する課題等の予習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
8 回	**授業テーマ：関数の基礎(変数・対応関係)** 授業内容：関数の基本的な考え方を確認し、変数間の関係について理解を深める。 事前学修 2.0hr：授業内容に対応する課題等の予習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
9 回	**授業テーマ：一次関数とグラフ** 授業内容：一次関数とグラフの読み取りを通じて、数量変化の捉え方を学修する。 事前学修 2.0hr：授業内容に対応する課題等の予習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
10 回	**授業テーマ：経済学への接続②(直線の式と損益分岐点)** 授業内容：直線の式を用いて、経済的な数量関係を整理する方法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業内容に対応する課題等の予習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。

11回	**授業テーマ：文章題と数式化** 授業内容：文章で与えられた条件を数式で表現する方法について理解を深める。 事前学修 2.0hr：授業内容に対応する課題等の予習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
12回	**授業テーマ：微分の基本法則** 授業内容：微分の基本的な考え方および法則を確認し、変化を捉える視点を学修する。 事前学修 2.0hr：授業内容に対応する課題等の予習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
13回	**授業テーマ：総合演習①** 授業内容：これまでに学修した内容を用いて、基礎的な問題について総合的に確認する。 事前学修 2.0hr：授業内容に対応する課題等の予習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
14回	**授業テーマ：総合演習②** 授業内容：いままでの重要事項の整理および理解の確認を行う。 事前学修 2.0hr：授業内容に対応する課題等の予習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
15回	**授業テーマ：総まとめ** 授業内容：講義全体の総まとめを行い、学修内容を体系的に整理する。 事前学修 2.0hr：いままでの学修箇所を見直し、試験についての説明に備える。 事後学修 2.0hr：いままでの授業内容を復習し何を学んだかを確認する。

経済・経営数学入門Ⅱ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

小黒　曜子（おぐろ　ようこ）

▌授業の概要

経済・経営数学入門 I に引き続き、この講義でも経済学や経営学で遭遇する必要不可欠な数学について基本から学んでいきます。「I」に比べると少し発展的な話題を扱いますが、必要となる予備知識はなるべく最小限に抑え、演習問題などを通じて効率良くマスターできるように内容を構成してあります。経済学や経営学のトピックを通じて学ぶというスタイルも「I」と同様です。なお、受講者の学力や必要に応じて、全体の難易度或いは下記講義内容について、適宜変更を加える場合がありますが、その際には事前にお知らせする予定です。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/4/5/6、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：学部課程で学ぶ様々な経済、経営学のテーマに対して応用できるようになること。

個別目標：①経済学原論、計量経済学、或いは統計学などで応用するために必要な数学の知識を身につけることができる。
②指数・対数に慣れ親しみ、使いこなすことができるようになる。
③経済、経営学で扱われる様々な最適化問題に（微分法を中心に）取り組むことができるようになる。

▌履修条件

履修するにあたっては、「経済・経営数学入門 I」を受講している (但し、単位取得済みかどうかは問わない) 事を前提とします。
従って、原則として「I」と「Ⅱ」は独立に履修できますが、「I」を履修せずに「Ⅱ」を履修しようとしても、講義内容の理解などが困難になるかもしれません。

▌評価基準・方法

期末試験（７０%）、演習・課題・小テスト（３０%）で評価するが、学期末試験において十分に到達目標に達していることが確認できた場合には、学期末試験の結果を大きく尊重する。　＜※ 詳細は、初回講義で説明する。＞
原則、５分の４以上の出席が無い場合は、評価の対象とならない。
学修過程において、適宜、manaba システムを利用する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、講義、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （講義中の問題演習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Excel 演習）

▌教科書

白石俊輔『経済学で出る数学　ワークブックでじっくり攻める』日本評論社

▌参考書

尾山大輔、安田洋祐『経済学で出る数学　高校数学からきちんと攻める』日本評論社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：講義内容の紹介、受講に際しての注意事項や成績評価方法の説明、前学期の復習 事前学修 1.5hr：シラバスやテキストの目次に目を通しておく。 事後学修 2.5hr：プレイスメントテストの復習など。
2回	**授業テーマ：指数・対数と金利１** 授業内容：単利と複利、累乗の計算と指数法則について 事前学修 1.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 3.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
3回	**授業テーマ：指数・対数と金利２** 授業内容：割引現在価値について 事前学修 1.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 3.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
4回	**授業テーマ：指数・対数と金利３** 授業内容：対数とは、対数の使用について 事前学修 1.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 3.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
5回	**授業テーマ：ベクトルと予算制約１** 授業内容：予算制約について 事前学修 1.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 3.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
6回	**授業テーマ：ベクトルと予算制約２** 授業内容：ベクトルについて 事前学修 1.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 3.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
7回	**授業テーマ：１変数関数の微分と利潤最大化（応用）１** 授業内容：１変数関数の微分と利潤最大化の復習 事前学修 1.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 3.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
8回	**授業テーマ：１変数関数の微分と利潤最大化（応用）２** 授業内容：完全競争企業の利潤最大化について 事前学修 1.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 3.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
9回	**授業テーマ：１変数関数の微分と利潤最大化（応用）３** 授業内容：損益分岐価格と操業停止価格について 事前学修 1.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 3.0hr：授業内容の復習、課題演習など。

10回	**授業テーマ：１変数関数の微分と利潤最大化(応用)４** 授業内容：よく出る関数と微分公式について 事前学修 1.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 3.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
11回	**授業テーマ：１変数関数の微分と利潤最大化(応用)５** 授業内容：独占企業の利潤最大化について 事前学修 1.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 3.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
12回	**授業テーマ：１変数関数の微分と利潤最大化(応用)６** 授業内容：弾力性について 事前学修 1.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 3.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
13回	**授業テーマ：多変数関数の微分と効用最大化１** 授業内容：偏微分、制約なしの最適化について 事前学修 1.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 3.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
14回	**授業テーマ：多変数関数の微分と効用最大化２** 授業内容：制約条件がある場合の最適化問題(ラグランジュの未定乗数法)について 事前学修 1.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 3.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
15回	**授業テーマ：総まとめ** 授業内容：後学期の内容の総まとめ・復習 事前学修 3.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習、課題演習など。

経済・経営数学入門Ⅱ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

中島　達洋（なかじま　たつひろ）

▌授業の概要

本授業では、経済現象を数式で表し、その構造を数量的に分析するための基礎的な数学手法を学びます。具体的には、偏微分、制約付き最適化、行列を用いた連立方程式の扱い方を中心に、複数の要因が同時に関係する経済モデルをどのように理解し、結論を導くのかを考えます。計算の正確さだけでなく、計算の手順や結果が経済的に何を意味しているのかを重視し、例題や演習を通して段階的に理解を深めます。数学に苦手意識をもつ学生でも取り組めるよう、扱う内容は基本的な型に絞って授業を進めます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/4/5/6、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：偏微分や行列といった数学的手法を用いて、経済モデルを数量的に分析するための基礎的な考え方を理解する。

個別目標：① 偏微分の意味を説明し、限界生産や限界効用を計算できる。
② 制約条件のもとでの最適化問題を、決まった手順に従って解くことができる。
③ 行列を用いて連立方程式を表し、簡単な経済モデルとして解釈できる。
④ 産業連関表を用いて、需要変化や政策の影響を説明できる。

▌履修条件

「経済・経営数学入門Ⅰ」を履修していることが望ましいです。1 回目の授業から出席してください。履修修正による不参加は欠席として扱います。

▌評価基準・方法

学期末試験 50 %、授業内小テスト・ドリルおよびレポート 50 %の割合で、到達目標の達成度に基づき総合的に評価します。なお、学期末試験において十分に到達目標に達していることが確認できた場合は、学期末試験の結果を大きく尊重します。評価方法の詳細は、第 1 回授業の「ガイダンス」で説明します。

▌フィードバック方法

課題、小テスト、レポートおよび定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通じて行います。必要に応じて授業内でも解説を行います。必要に応じて授業内でも解説を行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （事前に講義資料で基本事項を確認し、授業では演習問題への取り組みや解説を中心に行う反転授業の形式を取り入れます。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （産業連関表や行列計算の理解を助けるため、Excel 等を用いた簡単な計算や確認作業を行います。）

▌教科書

教科書は使用しません。必要な資料はプリントとして配布し、学修支援システム manaba からも閲覧・ダウンロードできるようにします。

▌参考書

Ian Jacques「MATHEMATICS FOR ECONOMICS AND BUSINESS」(Pearson Education Limited、第 10 版 2023)【これは英語の教科書ですが、この教科書を中心に授業を組み立てる予定です。ただし、高額なので購入する必要はありません。】
尾山大輔・安田洋祐「経済学で出る数学　高校数学からきちんと攻める」(日本評論社、2013)など

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス・微分の復習** 授業内容：講義全体の進め方を確認した後、1 変数関数の微分を復習し、Ⅱで扱う内容とのつながりを整理する。 事前学修 2.0hr：Ⅰで学んだ微分の内容を復習する。 事後学修 2.0hr：基本的な微分計算を確認する。
2 回	**授業テーマ：指数・対数の復習と式変形** 授業内容：指数法則や対数の基本的な性質を確認し、式変形に慣れる。 事前学修 2.0hr：指数・対数の基本事項を確認する。 事後学修 2.0hr：簡単な式変形の練習を行う。
3 回	**授業テーマ：指数関数・対数関数の微分** 授業内容：指数関数・対数関数の微分を行い、グラフの形や増減の特徴を確認する。 事前学修 2.0hr：微分の基本公式を復習する。 事後学修 2.0hr：代表的な関数の微分練習を行う。
4 回	**授業テーマ：2 変数関数の見方** 授業内容：2 変数関数をグラフや等高線で捉え、変数を固定する意味を理解する。 事前学修 2.0hr：1 変数関数との違いを確認する。 事後学修 2.0hr：図を用いて関数の特徴を整理する。
5 回	**授業テーマ：偏微分と限界概念** 授業内容：偏微分の考え方を学び、限界生産や限界効用との関係を理解する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を復習する。 事後学修 2.0hr：偏微分の計算練習を行う。
6 回	**授業テーマ：2 変数関数の最適化(制約なし)** 授業内容：偏微分を用いて、制約のない最適化問題を解く手順を確認する。 事前学修 2.0hr：偏微分の計算を復習する。 事後学修 2.0hr：典型的な最適化問題に取り組む。
7 回	**授業テーマ：制約付き最適化** 授業内容：ラグランジュの未定乗数法を用いて、制約条件のある最適化問題を解く。 事前学修 2.0hr：制約のない場合の手順を整理する。 事後学修 2.0hr：代表的な問題に取り組む。
8 回	**授業テーマ：効用最大化問題** 授業内容：消費者の効用最大化問題を例に、制約付き最適化の考え方を確認する。 事前学修 2.0hr：ラグランジュ法の手順を復習する。 事後学修 2.0hr：計算と経済的解釈を整理する。
9 回	**授業テーマ：行列の基本計算** 授業内容：行列の加法・乗法など基本的な計算方法を確認する。 事前学修 2.0hr：連立方程式の解法を復習する。 事後学修 2.0hr：行列計算の練習問題に取り組む。

10回	**授業テーマ：行列式(連立方程式との関係)** 授業内容：行列式の意味と計算方法を学び、行列式の値が 0 かどうかが「解が一意に定まるか」と関係することを理解する。2 × 2 行列を中心に扱い、3 × 3 行列については余因子展開の考え方を通して一般化の視点を確認する。 事前学修 2.0hr：行列の基本計算(加法・乗法)を復習する。 事後学修 2.0hr：2 × 2 行列式の計算練習を行い、3 × 3 行列では余因子展開の手順を整理する。
11回	**授業テーマ：逆行列(解き方としての意味)** 授業内容：逆行列の定義と性質を確認し、逆行列を用いて行列方程式を解く考え方を学ぶ。2 × 2 行列を中心に計算を行い、3 × 3 行列については余因子展開との対応関係を通して構成方法を理解する。 事前学修 2.0hr：行列式の計算方法を復習する。 事後学修 2.0hr：2 × 2 逆行列の計算練習を行い、3 × 3 の場合の構成手順を確認する。
12回	**授業テーマ：クラーメルの公式と連立方程式** 授業内容：クラーメルの公式を用いて連立一次方程式を解く方法を学び、行列による解法との対応関係を確認する。 事前学修 2.0hr：行列式の計算方法を復習する。 事後学修 2.0hr：クラーメルの公式を用いた計算練習に取り組む。
13回	**授業テーマ：行列を用いた経済モデル** 授業内容：行列と連立方程式を用いて表される簡単な経済モデルを扱い、解の意味を経済的に解釈する。 事前学修 2.0hr：クラーメルの公式の手順を確認する。 事後学修 2.0hr：モデルの解釈を文章で整理する。
14回	**授業テーマ：産業連関表と波及効果** 授業内容：産業連関表を用いて、需要の変化が他産業に与える影響を数値例を通して考える。 事前学修 2.0hr：行列による連立方程式の考え方を復習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱った数値例を再計算し、結果を整理する。
15回	**授業テーマ：試験対策講座** 授業内容：第 1 回授業～第 14 回授業を総括した試験対策模試問題を配布し、それらの問題解説をする。 事前学修 2.0hr：全体を復習する。 事後学修 2.0hr：理解が不十分な点を復習する。

経済・経営数学入門Ⅱ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

廣部　恒忠 (ひろべ　つねただ)

▌授業の概要

経済・経営数学入門 I ／経済数学 I に引き続き、この講義でも経済学や経営学で遭遇する必要不可欠な数学について基本から学んでいきます。「I」に比べると発展的な話題も扱いますが、必要となる予備知識はなるべく最小限に抑え、演習問題などを通じて効率良くマスターできるように内容を構成しています。経済学や経営学のトピックを通じて学ぶというスタイルも「I」と同様です。なお、受講者の興味・関心や必要に応じて、全体の難易度或いは下記講義内容について、適宜変更を加える場合がありますが、その際には事前にお知らせする予定です。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/4/5/6、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：学部課程で学ぶ様々な経済、経営学のテーマに対して応用できるようになること(例えば、最大、最小化問題を含む最適化の概念を理解し、扱えるようになることなど)。

個別目標：①経済原論、計量経済学、或いは統計学などで必要な数学の知識を身につけることができる。
②初等的な大学数学にも慣れ親しみ、また経済、経営学分野の諸問題に応用できるようになる。
③中級以上のデータサイエンスを学ぶ際に必要な微積分学、線形代数等の数学的素養が身につけられる。

▌履修条件

原則として、履修するにあたっては「経済・経営数学入門 I」を受講していること(必要に応じてプレースメントテストを受けてもらうことがあります)。
また、第 1 回目の授業に必ず出席し、必要なアドバイスを受けること(必須条件)。
なお、下記授業スケジュール等についてはあくまで予定であり、授業の進捗状況等に拠り、適宜、柔軟に調整、修正、変更いたします。

▌評価基準・方法

原則、学期末テスト 60 %、授業中の演習や課題などその他の項目を 40 %として、総合評価します。
演習課題の提出により評価する。また、適宜、小テストなどその他の評価型式も加えた上で、総合評価します。
なお、フィードバックを含め学修過程において、適宜、manaba システム等を利用します。

▌フィードバック方法

manaba 等を利用して課題などのフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業状況に応じて(実施可能かどうかは利用教室の環境次第)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業全般で利用予定(実施可能かどうかは利用教室の環境次第)）

▌教科書

小林幹、吉田博之『経済数学 15 講』新世社

▌参考書

小林幹『経済学のための数学の基礎 15 講』新世社
白石俊輔『経済学で出る数学　ワークブックでじっくり攻める』日本評論社
尾山大輔、安田洋祐『経済学で出る数学　高校数学からきちんと攻める』日本評論社　など

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス：講義内容の紹介、受講に際しての注意事項や成績評価方法の説明、プレイスメントテスト(必要に応じて)など** 授業内容：ガイダンスを実施(講義内容の紹介、受講に際しての注意事項や成績評価方法の説明、必要に応じてプレイスメントテスト実施など) 事前学修 1.5hr：シラバスやテキストの目次に目を通しておく。 事後学修 2.5hr：プレイスメントテストの復習など。
2 回	**授業テーマ：微分 1―1 変数関数の微分** 授業内容：微分、対数関数の微分、指数関数の微分、高次の導関数 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
3 回	**授業テーマ：微分 2―2 変数関数の微分** 授業内容：多変数関数、2 変数関数の偏微分、全微分、合成関数の微分、2 次偏導関数など 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
4 回	**授業テーマ：微分 3―2 変数関数の極値問題** 授業内容：2 変数関数の極値、2 変数関数の極値問題、制約条件つきの 2 変数関数の極値問題 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
5 回	**授業テーマ：積分 1―不定積分と定積分** 授業内容：不定積分、不定積分の性質、定積分、定積分の性質、定積分と面積 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
6 回	**授業テーマ：積分 2―積分の計算法** 授業内容：置換積分、部分積分、有理式の積分 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
7 回	**授業テーマ：線形代数 1―行列の基礎** 授業内容：行列の定義、様々な行列、行列の演算、行列の演算の性質など 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
8 回	**授業テーマ：線形代数 2―行列を用いた連立 1 次方程式の解法** 授業内容：連立 1 次方程式と行列、掃き出し法、逆行列を用いた連立 1 次方程式の解法、クラメルの公式を用いた解法など 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
9 回	**授業テーマ：線形代数 3―固有値，固有ベクトル** 授業内容：固有値，固有ベクトル、行列の対角化など 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習など。

10回	**授業テーマ：線形代数 4(経済学への応用)―市場均衡と 45 度線モデル** 授業内容：完全競争市場における均衡、ケインズの 45 度線モデル、比較静 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
11回	**授業テーマ：線形代数 5(経済学への応用)―産業連関分析とマルコフ連鎖** 授業内容：産業連関分析：2 産業モデル、産業連関分析：n 産業モデル、マルコフ連鎖、n 個の状態を推移するマルコフ連鎖、発展的話題：ホーキンス・サイモン条件など 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
12回	**授業テーマ：微分 4(経済学への応用)―1 変数の関数** 授業内容：生産関数、弾力性、企業による利潤最大化行動、独占企業による利潤最大化行動、発展的話題：凹関数と関数の最大値など 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
13回	**授業テーマ：微分 5(経済学への応用―2 変数の関数** 授業内容：効用関数と生産関数：概説、生産関数：限界生産力と規模に関する収穫、効用関数と無差別曲線、生産要素を 2 種類投入する完全競争企業の利潤最大化行動など 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
14回	**授業テーマ：微分 6(経済学への応用)―制約条件のある最適化** 授業内容：消費者による効用最大化：2 財モデル、2 期間モデルにおける消費者行動、ラグランジュ乗数の意味など 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
15回	**授業テーマ：通時的経済―微分方程式、差分方程式、積分； 経済動学** 授業内容：経済成長率、割引現在価値、期待形成、政府の異時点間の予算制約、1 変数 1 階差分方程式、ソロー型経済成長モデル、経済成長モデルにおけるカオスなど 事前学修 3.0hr：授業内容に対応するテキスト等の予習。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習、課題演習など。

統計学入門Ⅰ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

新井　啓（あらい　けい）

▌授業の概要

この授業では、実証的な経済学や実証的な経済分析を学ぶ上で必要な、統計学の基礎的な知識や方法について学びます。データの基本統計量(平均や分散など)、度数分布表の作成など、およそ統計検定 4 級程度の内容を学びます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/3/4/5/6、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：基本統計量(中心的傾向の特性値(相加平均、相乗平均、メディアン、モード)，変動の特性値(分散、標 準偏差)など)、成長率(増減率)、指数など、経済学を学んでゆく上で必要となる基礎的な統計的計算ができるようになること。また、これらを Excel でも計算できるとともに、度数分布表(度数、相対度数、累積度数、累積相対度数)を Excel で描画できること。

個別目標：データの中心化の傾向とは何を意味するのかを理解できる。標準偏差の計算方法を理解できる。Excel の基本的な操作を行うことができる。

▌履修条件

データサイエンスⅠ･Ⅱを履修済みか、Excel で簡単な表やグラフを描画できること。

データサイエンスⅠ･Ⅱを未履修の場合は、データサイエンスⅠを同時履修することが望ましい。

▌評価基準・方法

毎回の授業時に行う manaba の小テスト(50%)、事前・事後学修(50 %)

▌フィードバック方法

小テストや定期試験などの結果は学習支援システムの manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （manaba は利用）

▌教科書

新井啓『プロ野球と経済　２０１８』開成出版。

▌参考書

特に指定しない。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：統計とは？** 授業内容：経済学で統計を必要とするのはなぜ？ 事前学修 2.0hr：経済学ではどのようなデータを扱うのかを調べてくること 事後学修 2.0hr：授業ノートの復習
2 回	**授業テーマ：標本をどう集めるのか？** 授業内容：財とサービスのデータ。データを収集する際の注意点。 事前学修 2.0hr：教科書の 4 から 6 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 2 回目の授業ノートの復習
3 回	**授業テーマ：母集団と標本。** 授業内容：母集団と標本の違い。 事前学修 2.0hr：教科書の 7 から 8 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 3 回目の授業ノートの復習
4 回	**授業テーマ：記述統計** 授業内容：記述統計とは？ 事前学修 2.0hr：教科書の 9 から 11 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 4 回目の授業ノートの復習
5 回	**授業テーマ：推測統計** 授業内容：推測統計とは？ 事前学修 2.0hr：教科書の 65 から 68 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 5 回目の授業ノートの復習
6 回	**授業テーマ：セーバーメトリックス** 授業内容：プロ野球でのデータの取り扱い。プロ野球の経済制度。 事前学修 2.0hr：教科書 69 ページから 71 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 6 回目の授業ノートの復習
7 回	**授業テーマ：変量とは？** 授業内容：変数と変量の違い 事前学修 2.0hr：教科書 67 ページから 72 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 7 回目の授業ノートの復習
8 回	**授業テーマ：確率** 授業内容：場合の数。集合。比率の計算。 事前学修 2.0hr：教科書 99 ページから 100 ページ読むこと 事後学修 2.0hr：第 8 回目の授業ノートの復習
9 回	**授業テーマ：データを視覚化する** 授業内容：データを整理し可視化する。Excel による度数分布表の作成方法 事前学修 2.0hr：教科書 101 ページから 103 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 9 回目の授業ノートの復習
10 回	**授業テーマ：データの平均** 授業内容：データの中心を知る。 事前学修 2.0hr：教科書 115 ページから 118 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 10 回目の授業ノートの復習
11 回	**授業テーマ：標準偏差** 授業内容：データのばらつきの度合いを知る。 事前学修 2.0hr：教科書 110 ページから 113 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 11 回目の授業ノートの復習

12回	**授業テーマ：分布の歪みとは？** 授業内容：分布の歪みの意味。 事前学修 2.0hr：教科書 145 ページから 148 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 12 回目の授業ノートの復習
13回	**授業テーマ：正規分布** 授業内容：正規分布の特徴。正規分布において標準偏差はどんな意味を持つのか？ 事前学修 2.0hr：教科書 119, 135 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 13 回目の授業ノートの復習
14回	**授業テーマ：標本平均の分布を考える** 授業内容：標本の分布と標本平均の分布の違い。 事前学修 2.0hr：教科書 86 ページから 90 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 14 回目の授業ノートの復習
15回	**授業テーマ：母集団の平均を推定する** 授業内容：統計学における推定の意味 事前学修 2.0hr：教科書 136, 144 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 15 回目の授業ノートの復習

統計学入門Ⅰ

開講学科等：経 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

田浦　元 (たうら　げん)

▌授業の概要

現代、データは金やダイヤモンドのように非常に高い価値を持っており、データを上手に活用することは社会人として求められる素養の一つとなっています。この授業では、データを活用するために必要な基礎的な知識や方法を一から学びます。データの基本統計量(平均や分散)の計算や度数分布表の作成など、統計検定 4 級程度の内容を中心に学習します。このクラスでは特に、アンケート調査を実際に実施し、その調査結果を分析することを中心に学びます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/3/4/5/6、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：統計検定 4 級程度の内容を理解し、コンピューターでデータを活用できるようになること。例えば、中心的傾向の特性値(平均、メディアン、モード)、ばらつきの特性値(分散、標準偏差)、成長率、指数といった基本統計量や度数分布表を活用できるようになること。アンケート調査を実施し、その結果を分析できること。

個別目標：1. 現実の経済分析に広く用いられるいくつかの代表的な統計分析についての基礎理論を理解できる。
2. 主に Excel を用いて、これらの分析手法を使いこなせるようになる。
3. アンケート調査を自身で作成し、実施できること。
4. 自身が実施したアンケート調査の調査結果を、適切に分析できること。

▌履修条件

データサイエンス Ⅰ･Ⅱ を履修済みか、エクセルで簡単な表やグラフを描画できること。「統計学入門Ⅱ」とあわせて履修することが望ましい。データサイエンス Ⅰ･Ⅱ を未履修の場合は、データサイエンス Ⅰ を同時履修することが望ましい。履修定員のある科目であるので、第 1 回授業で履修者の選考を行なう。履修を希望する学生は第 1 回授業に必ず出席すること。

▌評価基準・方法

成績評価は、学期試験(授業最終週実施予定。全て計算を要する問題) 50 %、レポート課題(自身で実施したアンケート調査の調査結果の分析レポート) 50 %の割合で評価する。5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、翌回の講義の中で行なうことを基本とする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （各自の関心に従いアンケート調査を実施し、結果レポートを作成する。エクセル課題等を作成する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC 教室で実施。）

▌教科書

上藤一郎・田浦元他『調査と分析のための統計 社会・経済のデータサイエンス(第 2 版)』(丸善出版、2013 年)

▌参考書

参考書：特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：統計とは。統計学とは。統計学を学ぶ意義。 事前学修 1.0hr：教科書をざっと眺めておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。
2 回	**授業テーマ：中心的傾向の特性値** 授業内容：中心的傾向の特性値について学ぶ。相加平均，相乗平均，メディアン，モード等について学ぶ。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。
3 回	**授業テーマ：変動の特性値 (1)：分散** 授業内容：変動の特性値について学ぶ。分散について学ぶ。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。
4 回	**授業テーマ：変動の特性値 (2)：標準偏差** 授業内容：変動の特性値について学ぶ。標準偏差について学ぶ。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。
5 回	**授業テーマ：中心的傾向の特性値と変動の特性値のデータ分析** 授業内容：Excel を用いた中心的傾向の特性値と変動の特性値の分析方法について学ぶ。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。
6 回	**授業テーマ：アンケート調査 (1)：アンケート調査の基礎** 授業内容：アンケート調査の基礎理論について学ぶ。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容に基づいて、アンケート調査の準備を進める。
7 回	**授業テーマ：アンケート調査 (2)：調査の設計、調査票の作成** 授業内容：アンケート調査の方法について学ぶ。調査の設計について学ぶ。調査票の作成について学ぶ。 事前学修 1.0hr：授業で学んだ内容に基づいて、アンケート調査の準備を進める。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容に基づいて、アンケート調査の準備を進める。
8 回	**授業テーマ：アンケート調査 (3)：調査の実施** 授業内容：アンケート調査の方法について学ぶ。アンケート調査を実施する。 事前学修 1.0hr：授業で学んだ内容に基づいて、アンケート調査の準備を進める。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容に基づいて、アンケート調査の回収作業を行なう。
9 回	**授業テーマ：アンケート調査 (4)：調査結果の集計** 授業内容：アンケート調査の方法について学ぶ。アンケート調査の調査結果を集計する。 事前学修 1.0hr：授業で学んだ内容に基づいて、アンケート調査の集計・分析を進める。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容に基づいて、アンケート調査の集計・分析を進める。

10回	**授業テーマ：アンケート調査 (5)：調査結果の分析** 授業内容：アンケート調査の方法について学ぶ。アンケート調査の調査結果を分析する。 事前学修 1.0hr：授業で学んだ内容に基づいて、アンケート調査の集計・分析を進める。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容に基づいて、アンケート調査の集計・分析を進める。
11回	**授業テーマ：レポート課題の作成** 授業内容：実施したアンケート調査の調査結果から、授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。 事前学修 1.0hr：授業で学んだ内容に基づいて、アンケート調査の集計・分析を進める。 事後学修 3.0hr：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。
12回	**授業テーマ：レポート課題の提出** 授業内容：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成し、提出する。 事前学修 3.0hr：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。 事後学修 1.0hr：レポート課題の発表の準備をする。
13回	**授業テーマ：レポート課題の発表 (1)：A グループ** 授業内容：実施したアンケート調査の調査結果から、授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。その成果を発表する。 事前学修 3.0hr：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題の発表の準備をする。 事後学修 1.0hr：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題の発表の準備をする。
14回	**授業テーマ：レポート課題の発表 (2)：B グループ** 授業内容：実施したアンケート調査の調査結果から、授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。その成果を発表する。 事前学修 3.0hr：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題の発表の準備をする。 事後学修 1.0hr：発表したレポート課題の内容について振り返りをする。
15回	**授業テーマ：学期の復習とまとめ** 授業内容：学期の復習とまとめを行なう。 事前学修 3.0hr：前回の授業までで学んだ内容を復習しておく。 事後学修 1.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。

統計学入門 I

開講学科等：経 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

吉田　敦（よしだ　あつし）

▌授業の概要

現代、データは金やダイヤモンドのように非常に高い価値を持っており、データを上手に活用することは社会人として求められる素養の一つとなっています。この授業では、データを活用するために必要な基礎的な知識や方法を一から学びます。データの基本統計量（平均や分散）の計算や度数分布表の作成など、統計検定 4 級程度の内容を中心に学習します。

なお吉田敦担当の統計学入門 1 では、第 1 回～第 9 回までは Excel だけでなく、プログラミング（Visual Basic 言語）についても学習して頂きます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/3/4/5/6、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：統計検定 4 級程度の内容を理解し、コンピューターでデータを活用できるようになること。例えば、中心的傾向の特性値（平均、メディアン、モード）、ばらつきの特性値（分散、標準偏差）、成長率、指数といった基本統計量や度数分布表を活用できるようになること。

個別目標：①データ分析の有用性について説明できる。
②プログラミングの有用性について説明できる。

▌履修条件

1. データサイエンス I · II を履修済みか、エクセルで簡単な表やグラフを描画できること。
2. データサイエンス I · II を未履修の場合は、データサイエンス I を同時履修することが望ましい。
3. 公欠に関しては正式な証明書類の提出できないケースでは一切認めない。さらに公欠は出席でも欠席でもないので、授業内課題に代えての得点の機会を与えない。

▌評価基準・方法

1. 期末試験は実施しない。毎回の授業内課題での得点の合計により成績評価を行う。
2. 初授業における課題作成点（2 点）
3. 第 2 回～第 15 回授業における課題作成点（1 回 7 点、計 98 点）。

▌フィードバック方法

第 1 回～第 9 回の授業内課題については、当日授業終了前に必ずチェックし、アドバイスを与える。例えば教員のチェック前に PC の電源を切るなどした場合には、課題作成点を与えない。第 10 回以降の授業内課題については、次週までに採点し、授業冒頭において返却する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ全授業において PC 操作や板書解答を行って頂く。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （主に Visual Basic によるプログラミングを修得する。）

▌教科書

特に指定しない。

▌参考書

矢野恒太記念会編『日本国勢図会』。同左『世界国勢図会』。同左『データでみる県勢』。
加納悟 · 浅子和美 · 竹内明香著『入門経済のための統計学第 3 版』（2011 年、日本評論社）
田中一成著『子どもに教えるためのプログラミング入門－ Excel ではじめる Visual Basic －』（2016 年、オーム社）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：「マクロの記録」を用いたプログラム作製** 授業内容：Visual Basic の設定方法、及び Visual Basic では最も簡単なプログラム自動作製機能について学ぶ。 事前学修 2.0hr：シラバスの熟読 事後学修 2.0hr：当該授業の復習
2 回	**授業テーマ：浦安市郷土博物館カレンダー作製＆平休日別入館者数自動集計プログラム 1** 授業内容：上記プログラムの 1 部分を授業時間内に作製して頂く。ただしヒントは与える。 事前学修 2.0hr：第 1 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習
3 回	**授業テーマ：浦安市郷土博物館カレンダー作製＆平休日別入館者数自動集計プログラム 2** 授業内容：前回より難解な、上記プログラムの 1 部分を授業時間内に作製して頂く。ただしヒントは与える。 事前学修 2.0hr：第 2 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習
4 回	**授業テーマ：浦安市郷土博物館カレンダー作製＆平休日別入館者数自動集計プログラム 3** 授業内容：さらに難解な、上記プログラムの 1 部分を授業時間内に作製して頂く。ただしヒントは与える。 事前学修 2.0hr：第 3 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習
5 回	**授業テーマ：1985 年及び 95 年都道府県別失業率データの比較分析（Excel）** 授業内容：Excel 関数を用いて、上述のデータの平均 · 分散の算出、度数分布表やヒストグラムを作成する。 事前学修 2.0hr：第 4 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習
6 回	**授業テーマ：1975～85 年及び 86～95 年住宅地価上昇率データの比較分析（Excel）** 授業内容：Excel 関数を用いて、上述のデータの平均 · 分散の算出、度数分布表やヒストグラムを作成する。 事前学修 2.0hr：第 5 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習
7 回	**授業テーマ：度数分布表＆ヒストグラム自動作製プログラムの使用法 1** 授業内容：上記プログラムを用いて、第 5 回及び第 6 回のデータ分析を行う。 事前学修 2.0hr：第 6 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習
8 回	**授業テーマ：度数分布表＆ヒストグラム自動作製プログラムの使用法 2** 授業内容：より扱い方の難しい、近年の 47 都道府県別農業データを素材としてデータ分析を行う。 事前学修 2.0hr：第 7 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習
9 回	**授業テーマ：度数分布表＆ヒストグラム自動作製プログラムの解説** 授業内容：学生達自身により、上記プログラムのコード解説して頂く。ただしヒントは与える。 事前学修 2.0hr：第 8 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習

10回	**授業テーマ：平均、分散、標準偏差と変数変換** 授業内容：上記の 3 つの指標の算出方法を学んで頂く。穴埋め問題であるが、課題 1 及び 2 ともに全ての空欄に正しい数値が記載されていなければ 0 点とする。 事前学修 2.0hr：第 5 回及び第 6 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習
11回	**授業テーマ：標準化と偏差値** 授業内容：上記の二つの概念について学んで頂く。穴埋め問題であるが、課題 1 及び 2 ともに全ての空欄に正しい数値が記載されていなければ 0 点とする。 事前学修 2.0hr：第 10 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習
12回	**授業テーマ：正規分布を用いた確率計算（初級編）** 授業内容：課題 1 は「標準化」についての復習の穴埋め問題であり、全ての空欄に正しい数値が記載されていなければ 0 点とする。課題 2 では上記のテーマにつき、第 1 問については教員が解答例を示し、第 2 問については指名した学生に「板書解答」をして頂く。残る 2 問については、学生各自で解答作業をして頂く。 事前学修 2.0hr：第 11 授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習
13回	**授業テーマ：正規分布を用いた確率計算（中級編）** 授業内容：課題 1 及び課題 2 において、1 問については教員が解答例を示し、もう 1 問については指名した学生に「板書解答」をして頂く。残る問題については、学生各自で解答作業をして頂く。 事前学修 2.0hr：第 12 授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習
14回	**授業テーマ：正規分布を用いた確率計算（上級編）** 授業内容：課題 1 及び課題 2 において、第 1 問については教員が解答例を示し、もう 1 問については指名した学生に「板書解答」をして頂く。残る各 1 問については、学生各自で解答作業をして頂く。 事前学修 2.0hr：第 13 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習
15回	**授業テーマ：正規分布を用いた確率計算（応用編）** 授業内容：課題 1 の第 1 問については指名した学生に「板書解答」して頂く。第 2 問については学生各自で解答作業をして頂く。課題 2 の第 1 問については教員が解答例を示し、第 2 問については学生各自で解答作業をして頂く。 事前学修 2.0hr：第 14 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習

統計学入門Ⅱ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

新井　啓（あらい　けい）

▌授業の概要

この授業では、実証的な経済学や実証的な経済分析を学ぶ上で必要な、統計学の基礎的な知識や方法について学びます。相関分析の基礎を中心に学びます。およそ統計検定 3 級程度の内容のうち回帰分析以外のトピックについて学びます。「統計学入門 2」と「統計学 1」を合わせて履修すると、およそ統計検定 3 級程度の内容を学ぶことができます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/3/4/5/6、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：相関分析の基礎的な理論を理解できること。相関係数を計算できること。Excel で散布図を描画できること。Excel で相関係数を計算できること。

個別目標：経済の分析で Excel などを利用した場合の回帰分析の結果を理解できることです。

▌履修条件

統計学入門 I を履修済みであること。

データサイエンス I・II を未履修の場合は、データサイエンス II を同時履修することが望ましい。

▌評価基準・方法

毎回の授業時に行う manaba の小テスト（50%）、事前・事後学修（50 %）

▌フィードバック方法

小テストや定期試験などの結果は学習支援システムの manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （manaba は利用）

▌教科書

新井啓『プロ野球と経済　２０１８』開成出版。

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：正規分布** 授業内容：正規分布と標準偏差の関係 事前学修 2.0hr：前期に講義した正規分布の復習 事後学修 2.0hr：第 1 回目の授業課題の復習
2 回	**授業テーマ：標本平均の分布** 授業内容：標本の分布と標本平均の分布の違い 事前学修 2.0hr：教科書の 191 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 2 回目の授業課題の復習
3 回	**授業テーマ：母集団の平均を推定する** 授業内容：統計学における推測統計の方法 事前学修 2.0hr：教科書の 192 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 3 回目の授業課題の復習
4 回	**授業テーマ：標本の比較** 授業内容：データを比較する方法 事前学修 2.0hr：教科書の 193 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 4 回目の授業課題の復習
5 回	**授業テーマ：有意性検定** 授業内容：統計学における検定とは？　帰無仮説とは？ 事前学修 2.0hr：教科書の 195 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 5 回目の授業課題の復習
6 回	**授業テーマ：分散の比較** 授業内容：データの散らばり具合を比較するためには？ 事前学修 2.0hr：教科書の 196 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 6 回目の授業課題の復習
7 回	**授業テーマ：両側検定と片側検定** 授業内容：両側検定と片側検定の違い 事前学修 2.0hr：教科書の 197 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 7 回目の授業課題の復習
8 回	**授業テーマ：t 検定** 授業内容：t 検定と有意性 事前学修 2.0hr：教科書の 198 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 8 回目の授業課題の復習
9 回	**授業テーマ：比率の検定** 授業内容：データの比率を比較する 事前学修 2.0hr：教科書の 199 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 9 回目の授業課題の復習
10 回	**授業テーマ：相関分析** 授業内容：相関の強さとは？　相関係数と相関分析 事前学修 2.0hr：Excel で相関係数をどのような計算するのかを調べてくること 事後学修 2.0hr：第 10 回目の授業課題の復習
11 回	**授業テーマ：GDP の計算と国民経済計算** 授業内容：マクロ経済学における国民経済計算 事前学修 2.0hr：時系列データ、横断面データとはどのようなデータであるのかを調べてくること 事後学修 2.0hr：第 11 回目の授業課題の復習

12回	**授業テーマ：相関分析** 授業内容：Excel による相関分析の方法 事前学修 2.0hr：教科書の 200 ページを読んでくること 事後学修 2.0hr：第 12 回目の授業課題の復習
13回	**授業テーマ：回帰分析** 授業内容：経済学や経営学で分析の中心になっている回帰分析とはどのようなものなのか？ 事前学修 2.0hr：Excel の回帰分析をやり方を調べてくること 事後学修 2.0hr：第 13 回目の授業課題の復習
14回	**授業テーマ：計量経済学への応用** 授業内容：計量経済学とは？ 事前学修 2.0hr：需要曲線と供給曲線の導出方法を復習すること 事後学修 2.0hr：第 14 回目の授業課題の復習
15回	**授業テーマ：データサイエンスへの応用** 授業内容：統計ソフト R によるプログラミング　ChatGPT によるデータ分析方法 事前学修 2.0hr：情報処理・データサイエンス関係の授業の復習をすること 事後学修 2.0hr：第 15 回目の授業課題の復習

統計学入門Ⅱ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

田浦　元 (たうら　げん)

▌授業の概要

現代、データは金やダイヤモンドのように非常に高い価値を持っており、データを上手に活用することは社会人として求められる素養の一つとなっています。この授業では、統計学入門 I に引き続き、データを活用するために必要な基礎的な知識や方法について学びます。相関分析の基礎を中心に、統計検定 3 級の内容の学習に着手します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/3/4/5/6、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：相関分析について理解し、コンピューターを用いて相関分析に必要な計算や描画ができるようになること。

個別目標：1. 相関分析を中心に、現実の経済分析に広く用いられるいくつかの代表的な統計分析についての基礎理論を理解できる。

2.Excek を用いて、相関分析およびこれらの分析手法を使いこなせるようになる。

▌履修条件

「統計学入門Ⅰ」を履修済みであること。(「統計学入門Ⅰ」を既に修得していることを前提として授業を行ないます。)データサイエンス I・II を未履修の場合は、データサイエンス II を同時履修することが望ましい。履修定員のある科目であるので、第 1 回授業で履修者の選考を行なう。履修を希望する学生は第 1 回授業に必ず出席すること。

▌評価基準・方法

成績評価は、学期試験(授業最終週実施予定。全て計算を要する問題) 50 %、レポート課題(自身で実施した相関分析の分析結果レポート) 50 %の割合で評価する。5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、翌回の講義の中で行なうことを基本とする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （各自の関心に従いデータ分析を行ないレポート課題およびエクセル課題を作成する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC 教室で実施。）

▌教科書

上藤一郎・田浦元他『調査と分析のための統計　社会・経済のデータサイエンス(第 2 版)』(丸善出版、2013 年)

▌参考書

参考書：特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：イントロダクション。統計的データ分析の意義。 事前学修 1.0hr：教科書をざっと眺めておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。
2 回	**授業テーマ：中心的傾向の特性値、変動の特性値の復習** 授業内容：統計学入門Ⅰで学んだ内容の概要の復習。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。
3 回	**授業テーマ：相関分析の基礎** 授業内容：相関とは。相関分析の基礎理論を学ぶ。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。
4 回	**授業テーマ：散布図と相関分析** 授業内容：散布図の作図。散布図と相関分析の基礎を学ぶ。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。
5 回	**授業テーマ：相関係数の導出** 授業内容：相関係数の導出について学ぶ。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。
6 回	**授業テーマ：相関係数の計算** 授業内容：相関係数の計算について学ぶ。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。
7 回	**授業テーマ：Excel による相関分析 (1)：相関分析の基礎** 授業内容：Excel を用いた相関分析の方法の基礎を学ぶ。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。
8 回	**授業テーマ：Excel による相関分析 (2)：データの収集** 授業内容：Excel を用いた相関分析の方法を学ぶ。特にデータの収集について学ぶ。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。
9 回	**授業テーマ：Excel による相関分析 (3)：相関係数** 授業内容：Excel を用いた相関分析の方法を学ぶ。特に相関係数の導出について学ぶ。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。
10 回	**授業テーマ：Excel による相関分析 (4)：相関分析の方法** 授業内容：Excel を用いた相関分析の方法を学ぶ。特に相関分析の全体的な評価について学ぶ。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。
11 回	**授業テーマ：レポート課題の作成** 授業内容：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。 事前学修 3.0hr：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。 事後学修 1.0hr：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。

12回	**授業テーマ：レポート課題の提出** 授業内容：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成し、提出する。 事前学修 3.0hr：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。 事後学修 1.0hr：レポート課題の発表の準備をする。
13回	**授業テーマ：レポート課題の発表 (1)：A グループ** 授業内容：相関分析の分析結果(レポート課題の内容)を発表する。 事前学修 3.0hr：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題の発表の準備をする。 事後学修 1.0hr：レポート課題の発表の準備をする。
14回	**授業テーマ：レポート課題の発表 (2)：B グループ** 授業内容：相関分析の分析結果(レポート課題の内容)を発表する。 事前学修 3.0hr：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題の発表の準備をする。 事後学修 1.0hr：発表したレポート課題の内容について振り返りをする。
15回	**授業テーマ：学期の復習とまとめ** 授業内容：学期の復習とまとめを行なう。 事前学修 1.0hr：前回の授業までで学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。

統計学入門Ⅱ

開講学科等：経 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

吉田　敦（よしだ　あつし）

▌授業の概要

この授業では、統計学入門 I に引き続き、データを活用するために必要な基礎的な知識や方法について学びます。相関分析の基礎を中心に、統計検定 3 級の内容の学習に着手します。

また吉田敦担当の統計学入門 2 では、特に中盤において「統計的仮説検定」について重点的に学んで頂きます。したがって統計学入門 1 の復習から始めますが、おそらく途中から難解に感じる事が予想されるので注意して下さい。なお「数式の組み立て方=解答の導き方」について厳格に指導し、統計学の分析手法に関して正しいイメージを構築して頂きます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/3/4/5/6、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：1. 相関分析について理解し、コンピューターを用いて相関分析に必要な計算や描画ができるようになること。
2. 統計学の初歩的な範囲ではあるが、数式を合理的に組み立てて解答を導けるようになること。これはプログラミングに通じる勉強です。

個別目標：1. 平均や分散の「推定」に関する、基本概念を説明できるようになる。
2. さらにそれにより、統計学の分析手法に関して、正しいイメージを形成できるようになる。

▌履修条件

1.「吉田敦担当の」統計学入門 I を履修済みであること。
2. データサイエンス I・II を未履修の場合は、データサイエンス II を同時履修することが望ましい。
3.. 公欠に関しては正式な証明書類の提出できないケースでは一切認めない。さらに公欠は出席でも欠席でもないので、授業内課題に代えての得点の機会を与えない。

▌評価基準・方法

期末試験・レポート等は実施しない。以下の得点配分での授業内課題によってのみ、成績評価を行う。
1. 初回、2 点満点。
2. 第 2 回～第 15 回、7 点満点。

▌フィードバック方法

上記の授業内課題については毎週分添削し、次週授業冒頭において返却（フィードバック）する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （第 1 回授業から指名した学生に「板書解答」をして頂く。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （第 14 回及び第 15 回授業において Excel を用いての共分散、相関係数の算出方法等について教授する。）

▌教科書

特に指定しない。

▌参考書

加納悟・浅子和美・竹内明香著『入門経済のための統計学［第 3 版］』（2011 年、日本評論社）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：変数変換―標準化と偏差値** 授業内容：上記テーマにつき、課題 1 は概念理解の為の穴埋め問題であるが、全空欄に正しい数値が記載されていなければ 0 とする。課題 2 の第 1 問については教員が解答例を示し、残りの問題ついては学生各自で解答作業をして頂く。 事前学修 2.0hr：統計学入門 1 の上記範囲に関する復習。 事後学修 2.0hr：統計学入門 1 の上記範囲に関する復習。
2 回	**授業テーマ：正規分布を用いた確率計算（基礎編）** 授業内容：課題 1 第 1 問については指名した学生に「板書解答」して頂き、残りの問題ついては学生各自で解答作業をして頂く。課題 2 についても同様である。 事前学修 2.0hr：正規分布を用いた確率計算に関する復習 事後学修 2.0hr：正規分布を用いた確率計算（基礎編）に関する復習
3 回	**授業テーマ：正規分布を用いた確率計算（応用編）** 授業内容：課題 1 第 1 問については指名した学生に「板書解答」して頂き、残りの問題ついては学生各自で解答作業をして頂く。課題 2 第 1 問については教員が解答例を示し、残りの問題ついては学生各自で解答作業をして頂く。 事前学修 2.0hr：正規分布を用いた確率計算（基礎編）に関する復習 事後学修 2.0hr：正規分布を用いた確率計算（応用編）に関する復習
4 回	**授業テーマ：２つの確率変数の和の分布** 授業内容：上記テーマにつき、課題 1 は概念を学ぶ為の穴埋め問題であり、全ての空欄に正しい数値が記載されていなけば 0 点とする。課題 2 はその応用問題である。全 4 問について途中まで教員が解説し、後半部分については学生各自で解答作業をして頂く。 事前学修 2.0hr：正規分布を用いた確率計算（応用編）に関する復習 事後学修 2.0hr：２つの確率変数の和の分布に関する復習
5 回	**授業テーマ：平均と分散の点推定 正規分布を用いた平均の区間推定 1** 授業内容：上記の二つの概念について学んで頂く。穴埋め問題であるが、課題 1 及び 2 ともに全空欄に正しい数値が記載されていなけば 0 点とする。 事前学修 2.0hr：２つの確率変数の和の分布に関する復習 事後学修 2.0hr：上記授業テーマに関する復習
6 回	**授業テーマ：正規分布を用いた平均の区間推定 2** 授業内容：課題 1 の第 1 問については指名した学生に「板書解答」して頂く。第 2 問については学生各自で解答作業をして頂く。課題 2 第 1 問については教員が解答例を示し、第 2 問については学生各自で解答作業をして頂く。 事前学修 2.0hr：正規分布を用いた平均の区間推定 1 に関する復習 事後学修 2.0hr：正規分布を用いた平均の区間推定 2 に関する復習
7 回	**授業テーマ：t 分布を用いた平均の区間推定 1** 授業内容：課題 1 の第 1 問については指名した学生に「板書解答」して頂く。第 2 問については学生各自で解答作業をして頂く。課題 2 第 1 問については教員が解答例を示す。 事前学修 2.0hr：正規分布を用いた平均の区間推定 2 に関する復習 事後学修 2.0hr：t 分布を用いた平均の区間推定 1 に関する復習

8回	**授業テーマ：t 分布を用いた平均の区間推定 2** 授業内容：課題 1 の第 1 問については指名した学生に「板書解答」して頂く。第 2 問及び課題 2 全問については学生各自で解答作業をして頂く。 事前学修 2.0hr：t 分布を用いた平均の区間推定 1 に関する復習 事後学修 2.0hr：t 分布を用いた平均の区間推定 2 に関する復習
9回	**授業テーマ：統計的仮説検定 1** 授業内容：課題 1 の第 1 問については教員が解答例を示し、第 2 問については指名した学生に「板書解答」して頂く。課題 2 の全問については学生各自で解答作業をして頂く。 事前学修 2.0hr：t 分布を用いた平均の区間推定 2 に関する復習 事後学修 2.0hr：統計的仮説検定 1 に関する復習
10回	**授業テーマ：統計的仮説検定 2** 授業内容：課題 1 の第 1 問については指名した学生に「板書解答」して頂く。第 2 問及び課題 2 全問については学生各自で解答作業をして頂く。 事前学修 2.0hr：統計的仮説検定 1 に関する復習 事後学修 2.0hr：統計的仮説検定 2 に関する復習
11回	**授業テーマ：統計的仮説検定 3** 授業内容：課題 1 の第 1 問については指名した学生に「板書解答」して頂く。第 2 問及び課題 2 全問については学生各自で解答作業をして頂く。 事前学修 2.0hr：統計的仮説検定 2 に関する復習 事後学修 2.0hr：統計的仮説検定 3 に関する復習
12回	**授業テーマ：統計的仮説検定 4** 授業内容：課題 1 第 1 問については教員が解答例を示し、第 2 問については指名した学生に「板書解答」して頂く。課題 2 全問については学生各自で解答作業をして頂く。 事前学修 2.0hr：統計的仮説検定 3 に関する復習 事後学修 2.0hr：統計的仮説検定 4 に関する復習
13回	**授業テーマ：統計的仮説検定 5** 授業内容：課題 1 の第 1 問については指名した学生に「板書解答」して頂く。第 2 問及び課題 2 全問については学生各自で解答作業をして頂く。 事前学修 2.0hr：統計的仮説検定 4 に関する復習 事後学修 2.0hr：統計的仮説検定 5 に関する復習
14回	**授業テーマ：共分散、相関係数の概念（PC を使う為、教室変更の予定）** 授業内容：上記の概念について解説し、Excel を用いて各自算出して頂く。 事前学修 2.0hr：共分散、相関係数の概念について調べる。 事後学修 2.0hr：各自の発案調査により、様々な 2 種類のデータの相関係数を計算する。
15回	**授業テーマ：相関係数の概念（PC を使う為、教室変更の予定）** 授業内容：上記の概念について解説し、Excel を用いて各自算出して頂く。 事前学修 2.0hr：第 14 回授業の復習 事後学修 2.0hr：当該授業の復習

簿記論Ⅰ

開講学科等：経 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

大坪　史治（おおつぼ　ふみはる）

▌授業の概要

簿記は、企業の活動を記録・管理するための技術・手法です。簿記によって作成される様々な計算書は、企業経営や企業評価のために必須のものとして広く使われます。この講義では、簿記の基礎となる技術・手法を学びます。具体的には、簿記の処理方法や財務諸表の構造の理解を目指します。
講義の進め方としては、前学期に日商簿記検定 3 級の内容の主要部分について講義を行い、後学期（簿記論Ⅱ）においてその他不足部分を補いながら内容のさらなる理解を深めていきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2/3）

一般目標：最終的に日商簿記 3 級レベルの内容を理解し、受講者全員の検定合格に目標を置いている。なお、 簿記は会計学およびその関連科目に密接する重要科目なので、処理方法のみならず、理論的解説もあわせておこなう。
個別目標：日商簿記 3 級の取得が第一目的であり、日商簿記検定試験をなるべく早く受験し合格を目指す。

▌履修条件

初回のオリエンテーションに必ず出席すること。

▌評価基準・方法

複数回のテスト（100%）により評価します。

▌フィードバック方法

各回の講義後半に質疑応答およびテストのフィードバックを予定しています。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッションの実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業資料の閲覧、演習問題の実施）

▌教科書

『合格トレーニング日商簿記 3 級』TAC 出版
その他必要に応じて、レジュメも配布します。

▌参考書

『合格テキスト日商簿記 3 級』TAC 出版　最新版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：簿記の基礎** 授業内容：簿記の社会での役立ちや学習する意義について理解する。決算書類の構造を理解する。 事前学修 2.0hr：テキスト冒頭を一読しておくこと。 事後学修 2.0hr：簿記の意義と決算書類について復習する
2回	**授業テーマ：取引の仕訳と転記** 授業内容：仕訳と転記の基本原理を習得する。 事前学修 2.0hr：貸借対照表と損益計算書を復習しておくこと。 事後学修 2.0hr：練習問題を通じて仕訳と転記の方法を理解する。
3回	**授業テーマ：商品売買①** 授業内容：商品売買に関する仕訳処理について習得する。 事前学修 2.0hr：仕訳の基本を復習すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。
4回	**授業テーマ：商品売買②** 授業内容：商品売買に関わる仕訳処理と補助簿の記入について習得する。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。
5回	**授業テーマ：現金・預金** 授業内容：現金・預金・小口現金に関わる仕訳処理を習得する。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。
6回	**授業テーマ：売掛金と買掛金** 授業内容：売掛金と買掛金の基本的理解に加え、補助簿の記入、クレジット他に関係する取引についての仕訳処理を習得する。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。
7回	**授業テーマ：手形取引** 授業内容：手形に関する基本的知識を養うと同時に、手形に関わる取引についての仕訳処理を習得する。また電子記録を利用した取引について理解し、仕訳処理を習得する。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。
8回	**授業テーマ：その他の取引①** 授業内容：各種取引を通じて様々な勘定科目を理解し、その仕訳処理を習得する。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。
9回	**授業テーマ：その他の取引②** 授業内容：各種取引を通じて様々な勘定科目を理解し、その仕訳処理を習得する。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。
10回	**授業テーマ：有形固定資産** 授業内容：有形固定資産に関する取引についての仕訳処理を習得する。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。
11回	**授業テーマ：有形固定資産の減価償却** 授業内容：有形固定資産の減価償却に関する仕訳処理を習得する。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。

12回	**授業テーマ：資本金** 授業内容：株式会社の構造を理解したうえで、純資産の部に関係する取引についての仕訳処理を習得する。 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。
13回	**授業テーマ：税金** 授業内容：税金の種類や仕組みを理解し、企業活動に関わる税金についての仕訳処理を習得する。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。
14回	**授業テーマ：伝票会計** 授業内容：伝票会計システムを理解し、起票から転記までの一連の手続きを理解する。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。
15回	**授業テーマ：前期復習** 授業内容：前期に取り扱った取引とその仕訳処理について総復習をおこなう。 事前学修 2.0hr：これまでの授業範囲を復習すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。

簿記論Ⅱ

開講学科等：経 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

大坪　史治（おおつぼ　ふみはる）

▌授業の概要

前学期(簿記論Ⅰ)に学んだ簿記一巡の手続きと仕訳処理に基づき、決算手続きを主に学びます。特に、試算表の作成、決算手続き、8 桁精算表の作成、財務諸表の作成等を学習していきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2/3）

一般目標：最終的に日商簿記 3 級程度の内容を理解し、受講者全員の検定合格に目標を置いている。なお、 簿記は会計学およびその関連科目に密接する重要科目なので、処理方法のみならず、理論的解説もあわせておこなう。

個別目標：日商簿記 3 級の取得が第一目的であり、日商簿記検定試験をなるべく早く受験し合格を目指す。

履修条件

▌履修条件

簿記論Ⅰの内容の続きになるので、簿記論Ⅰを履修済であることが望ましい。電卓を持参すること。

また、本科目と併せて、「簿記特別演習Ⅱ」の受講を推奨します。

▌評価基準・方法

複数回のテスト(100%)により評価します。

▌フィードバック方法

毎回の講義後半で質疑応答および課題等に対するフィードバックの時間を予定しています。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッションの実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業資料の閲覧、演習問題の実施）

▌教科書

『合格トレーニング日商簿記 3 級』TAC 出版

その他必要に応じて、レジュメも配布します。

▌参考書

『合格テキスト日商簿記 3 級』TAC 出版　最新版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：決算** 授業内容：決算の一連の流れを理解する 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること 事後学修 2.0hr：授業範囲を復習する
2回	**授業テーマ：試算表** 授業内容：試算表の役割を理解したうえで、試算表の作成を習得する 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること 事後学修 2.0hr：授業範囲を復習する
3回	**授業テーマ：決算整理仕訳①** 授業内容：現金過不足に関する決算整理仕訳を習得する 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する
4回	**授業テーマ：決算整理仕訳②** 授業内容：貯蔵品、当座借越に関する決算整理仕訳を習得する 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する
5回	**授業テーマ：決算整理仕訳③** 授業内容：売上原価と売上総利益の計算方法を理解し、決算整理仕訳を習得する 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する
6回	**授業テーマ：決算整理仕訳④** 授業内容：貸倒れに関する決算整理仕訳を習得する 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する
7回	**授業テーマ：決算整理仕訳⑤** 授業内容：減価償却に関する決算整理仕訳を習得する 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する
8回	**授業テーマ：決算整理仕訳⑥** 授業内容：経過勘定に関する決算整理仕訳を習得する。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する
9回	**授業テーマ：精算表①** 授業内容：精算表の基本構造を理解し、作成方法を習得する 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること 事後学修 2.0hr：授業範囲を復習する
10回	**授業テーマ：精算表②** 授業内容：より複雑な決算整理仕訳を前提に、作成方法を習得する 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること 事後学修 2.0hr：授業範囲を復習する
11回	**授業テーマ：精算表③** 授業内容：実践問題を通じて理解の定着を図る 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること 事後学修 2.0hr：授業範囲を復習する

12回	**授業テーマ：BS と PL** 授業内容：BS と PL の基本的構造を理解し、作成方法を習得する。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること 事後学修 2.0hr：授業範囲を復習する
13回	**授業テーマ：模擬問題演習①** 授業内容：検定試験を想定した問題を解き、実践力を養う 事前学修 2.0hr：これまでの授業範囲を復習すること 事後学修 2.0hr：授業範囲を復習する
14回	**授業テーマ：模擬問題演習②** 授業内容：検定試験を想定した問題を解き、実践力を養う 事前学修 2.0hr：これまでの授業範囲を復習すること 事後学修 2.0hr：弱点を識別し、補強する
15回	**授業テーマ：模擬問題演習③** 授業内容：検定試験を想定した問題を解き、実践力を養う 事前学修 2.0hr：これまでの授業範囲を復習すること 事後学修 2.0hr：弱点を識別し、補強する

簿記特別演習 I

開講学科等：経 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

大坪　史治（おおつぼ　ふみはる）

▌授業の概要

この授業は、簿記論 I を受講した後、簿記論 I の講義内容を復習理解するためのものであり、簿記の学習に積極的に取り組み、日商簿記簿記 3 級検定試験の受験を目指した学生のための履修プログラムである。したがって、簿記論 I の毎回の学習内容についての修得知識を十分に問題演習にて再確認を行うとともに、より実践的な問題を行い、その解法やポイント解説を行う。学習項目は、簿記の基本原理を中心に、いわゆる簿記一巡の手続きに関するものである。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3）

一般目標：最終的に日商簿記検定試験 3 級の内容を理解し、検定試験に合格できる実践的な力が身に着く。
個別目標：日商簿記 3 級の取得が第一目的であり、日商簿記検定試験をなるべく早く受験し合格を目指す。

▌履修条件

新 1 年生対象。簿記論 I を履修する者または同等の知識を有する者。簿記の学習に積極的で、資格取得を考えている学生であること。初回授業時に履修ガイダンスを行うので、必ず出席すること。また毎回問題演習を行うため、電卓を持参すること。

▌評価基準・方法

日商簿記検定 3 級試験の点数(90%)と授業での取り組み(10%)で評価します。

▌フィードバック方法

毎回の講義後半に質疑応答および課題等に対するフィードバックの時間を予定しています。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク・ディスカッションの実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業資料の閲覧、演習問題の実施）

▌教科書

『合格トレーニング日商簿記 3 級』TAC 出版
その他必要に応じて、レジュメも配布します。

▌参考書

『合格テキスト日商簿記 3 級』TAC 出版　最新版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：簿記の基礎** 授業内容：演習問題を通じて決算書類に関する理解の定着と応用力を養う。 事前学修 2.0hr：テキスト冒頭を一読しておくこと。 事後学修 2.0hr：BS と PL の基本構造を復習すること。
2 回	**授業テーマ：取引の仕訳と転記** 授業内容：演習問題を通じて仕訳と転記に関する理解の定着と応用力を養う。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。
3 回	**授業テーマ：商品売買①** 授業内容：演習問題を通じて商品売買取引に関する理解の定着と応用力を養う。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。
4 回	**授業テーマ：商品売買②** 授業内容：演習問題を通じて商品売買取引に関する理解の定着と応用力を養う。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。
5 回	**授業テーマ：現金・預金** 授業内容：演習問題を通じて現金預金取引に関する理解の定着と応用力を養う。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。
6 回	**授業テーマ：売掛金と買掛金** 授業内容：演習問題を通じて売掛金と買掛金に関する理解の定着と応用力を養う。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。
7 回	**授業テーマ：手形** 授業内容：演習問題を通じて手形取引に関する理解の定着と応用力を養う。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。
8 回	**授業テーマ：その他の取引①** 授業内容：演習問題を通じて各種取引に関する理解の定着と応用力を養う。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。
9 回	**授業テーマ：その他の取引②** 授業内容：演習問題を通じて各種取引に関する理解の定着と応用力を養う。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。
10 回	**授業テーマ：有形固定資産** 授業内容：演習問題を通じて有形固定資産に関する理解の定着と応用力を養う。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。
11 回	**授業テーマ：有形固定資産と減価償却** 授業内容：演習問題を通じて減価償却に関する理解の定着と応用力を養う。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。

12回	**授業テーマ：資本金** 授業内容：演習問題を通じて資本取引に関する理解の定着と応用力を養う。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。
13回	**授業テーマ：税金** 授業内容：演習問題を通じて税金に関する理解の定着と応用力を養う。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。
14回	**授業テーマ：伝票** 授業内容：演習問題を通じて伝票に関する理解の定着と応用力を養う。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。
15回	**授業テーマ：前期復習** 授業内容：演習問題を通じて前期内容の理解の定着と応用力を養う。 事前学修 2.0hr：これまでの授業範囲を復習すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。

簿記特別演習Ⅱ

開講学科等：経 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

大坪　史治（おおつぼ　ふみはる）

▌授業の概要

簿記特別演習Ⅱは、簿記の学習に積極的に取り組み、検定試験の受験などを考えている学生のための履修プログラムとなっている。簿記特別演習Ⅱは後期開講の「簿記論Ⅱ」に合わせ、11 月または 2 月の日商簿記検定試験の受験に対応している。授業は、毎回の学習内容について、最初に復習を行い、次に実践的な問題演習を行ったのち、最後に検定試験レベルのより高度な問題演習にチャレンジする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3）

一般目標：最終的に日商簿記検定試験 3 級の内容を理解し、検定試験に合格できる実践的な力が身に着く。
個別目標：日商簿記 3 級の取得が第一目的であり、日商簿記検定試験をなるべく早く受験し合格を目指す。

▌履修条件

簿記論Ⅱを履修する者または同等の知識を有する者。簿記の学習に積極的で、資格取得を考えている学生であること。初回授業時に履修ガイダンスを行うので、必ず出席すること。また毎回問題演習を行うため、電卓を持参すること。

▌評価基準・方法

日商簿記検定 3 級試験の点数(90%)と授業での取り組み(10%)で評価します。

▌フィードバック方法

毎回の講義後半に質疑応答および課題等に対するフィードバックの時間を予定しています。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク・ディスカッションの実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業資料の閲覧、演習問題の実施）

▌教科書

『合格トレーニング日商簿記 3 級』TAC 出版
その他必要に応じて、レジュメも配布します。

▌参考書

『合格テキスト日商簿記 3 級』TAC 出版　最新版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：決算** 授業内容：演習問題を通じて決算に関する理解の定着と応用力を養う。 事前学修 2.0hr：テキスト冒頭を一読しておくこと。 事後学修 2.0hr：BS と PL の基本構造を復習すること。
2回	**授業テーマ：試算表** 授業内容：演習問題を通じて試算表に関する理解の定着と応用力を養う。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。
3回	**授業テーマ：決算整理仕訳①** 授業内容：演習問題を通じて決算整理仕訳(現金過不足他)に関する理解の定着と応用力を養う。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。
4回	**授業テーマ：決算整理仕訳②** 授業内容：演習問題を通じて決算整理仕訳(貯蔵品、当座借越他)に関する理解の定着と応用力を養う。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。
5回	**授業テーマ：決算整理仕訳③** 授業内容：演習問題を通じて決算整理仕訳(売上原価)に関する理解の定着と応用力を養う。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。
6回	**授業テーマ：決算整理仕訳④** 授業内容：演習問題を通じて決算整理仕訳(貸倒れ)に関する理解の定着と応用力を養う。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。
7回	**授業テーマ：決算整理仕訳⑤** 授業内容：演習問題を通じて決算整理仕訳(減価償却)に関する理解の定着と応用力を養う。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。
8回	**授業テーマ：決算整理仕訳⑥** 授業内容：演習問題を通じて決算整理仕訳(経過勘定)に関する理解の定着と応用力を養う。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。
9回	**授業テーマ：精算表①** 授業内容：演習問題を通じて精算表に関する理解の定着と応用力を養う。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。
10回	**授業テーマ：精算表②** 授業内容：発展問題を通じて精算表に関する理解の定着と応用力を養う。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。
11回	**授業テーマ：精算表③** 授業内容：実践問題を通じて精算表に関する理解の定着と応用力を養う。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。

12回	**授業テーマ：BL と PL** 授業内容：演習問題を通じて BL と PL 作成に関する理解の定着と応用力を養う。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：授業範囲の仕訳を復習する。
13回	**授業テーマ：模擬問題演習①** 授業内容：演習問題を通じて総合的な実践力を養う。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：弱点を識別し、補強する。
14回	**授業テーマ：模擬問題演習②** 授業内容：演習問題を通じて総合的な実践力を養う。 事前学修 2.0hr：授業範囲を事前に一読すること。 事後学修 2.0hr：弱点を識別し、補強する。
15回	**授業テーマ：模擬問題演習③** 授業内容：演習問題を通じて総合的な実践力を養う。 事前学修 2.0hr：これまでの授業範囲を復習すること。 事後学修 2.0hr：弱点を識別し、補強する。

経営管理論Ⅰ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前　｜　備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

水谷　浩之（みずたに　ひろゆき）

▌授業の概要

経営管理論とは、企業の適切な運営を管理的な側面から追求する学問です。他人の協力を取り付け、組織を運営し、難しい事業を達成することが経営管理の本質になります。本講義では、企業の経営管理に必要とされている理論を体系的に理解し、現実の経営管理の実践に役立てることを目的とします。本講義は、経営管理論の前期の講義として位置づけ、主に経営組織等の視点からモティベーション、リーダーシップ等の各理論、考え方を説明します。その際、理論どうしのつながりを説明するとともに、適宜、企業の事例を取り上げていきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）

一般目標：　経営管理論を構成する基本的な研究分野の理論やフレームワークを理解することで、経営管理論ならではの発想や視点を修得することができる。

個別目標：１経営管理論を実際の企業活動と結び付けて考えられることができる。
２経営管理論で取り上げられている理論やフレームワークを分かり易く説明することができる。

▌履修条件

積極的に経営管理論を学ぼうとする学生を歓迎します。

▌評価基準・方法

１レポート、グループワーク（40%）取組状況、発表内容を評価します。

２期末試験（60%）

※原則として５分の４以上の出席および期末試験の受験が評価の前提条件となります。
講義で積極的に発言した場合は加点します。

▌フィードバック方法

グループワークでは、発表後にグループ毎に講評を行ないます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークを行なう回があります。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （グループワークで使用します。）

▌教科書

野恭裕・馬場大治編著（2023）『経営管理論（ベーシック＋）』中央経済社

▌参考書

適宜、講義の中で提示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：経営管理論とはどのような学問か、また、評価方法、注意事項について、説明する。 事前学修 2.0hr：シラバスで学修内容・評価基準を確認する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容の振り返りを行なう。
2回	**授業テーマ：マネジメントの誕生①（科学的管理法等）** 授業内容：科学的管理法、人間関係論について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第３章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
3回	**授業テーマ：マネジメントの誕生②（人間関係論等）** 授業内容：人間関係論、現代マネジメントへの役立ちについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第３章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
4回	**授業テーマ：組織マネジメントの展開** 授業内容：個人と組織、組織の存続条件、意思決定のマネジメントについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第４章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
5回	**授業テーマ：モティベーション論①（実体理論等）** 授業内容：モティベーションとは、実体理論、プロセス理論について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第５章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
6回	**授業テーマ：モティベーション論②（プロセス理論等）** 授業内容：プロセス理論、モティベーションを生み出すマネジメントについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第５章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
7回	**授業テーマ：リーダーシップ論①（基礎）** 授業内容：リーダーシップの基礎、リーダーシップのコンティンジェンシー理論について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第６章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
8回	**授業テーマ：リーダーシップ論②（トップとミドル等）** 授業内容：トップとミドルのリーダーシップ、リーダーシップ研究の新展開について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第６章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
9回	**授業テーマ：組織構造のマネジメント** 授業内容：組織構造とは何か、官僚制組織と逆機能、組織形態について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第７章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
10回	**授業テーマ：組織文化のマネジメント** 授業内容：組織文化とは何か、組織文化の機能と逆機能、組織文化の形成と変革について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第８章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。

11回	**授業テーマ：経営組織の環境適応①** 授業内容：環境適応の必要性、コンティンジェンシー理論の誕生・発展、同理論の意義と限界について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書(第９章)により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
12回	**授業テーマ：経営組織の環境適応②** 授業内容：コンティンジェンシー理論の誕生・発展、同理論の意義と限界について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書(第９章)により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
13回	**授業テーマ：グループワーク①** 授業内容：グループで課題に取り組むとともに、発表の準備をする。 事前学修 2.0hr：担当箇所等について、調査する。自分の意見や考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：発表に向けた準備をする。
14回	**授業テーマ：グループワーク②** 授業内容：グループごとに発表をする。 事前学修 2.0hr：発表に向けた準備をする。自分の意見や考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：他グループも含めた発表内容を振り返り、教科書の該当箇所を復習する。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：講義で取り上げた内容について、各テーマに沿って重要な箇所を振り返る。 事前学修 3.0hr：これまでの授業内容を復習する。 事後学修 3.0hr：試験に向けてこれまでの授業内容を復習する。

経営管理論Ⅱ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後　｜　備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

水谷　浩之（みずたに　ひろゆき）

▌授業の概要

経営管理論とは、企業の適切な運営を管理的な側面から追求する学問です。他人の協力を取り付け、組織を運営し、難しい事業を達成することが経営管理の本質になります。本講義では、企業の経営管理に必要とされている理論を体系的に理解し、現実の経営管理の実践に役立てることを目的とします。本講義は、経営管理論の後期の講義として位置づけ、主に経営戦略、財務管理等の視点から各戦略、日本企業のマネジメント等の各理論、考え方を説明します。その際、理論どうしのつながりを説明するとともに、適宜、企業の事例を取り上げていきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）

一般目標：経営管理論を構成する基本的な研究分野の理論やフレームワークを理解することで、経営管理論ならではの発想や視点を修得することができる。

個別目標：１経営管理論を実際の企業活動と結び付けて考えられることができる。
２経営管理論で取り上げられている理論やフレームワークを分かり易く説明することができる。

▌履修条件

１経営管理論Ⅰを履修していることが望ましいですが、必須ではありません。
２積極的に経営管理論を学ぼうとする学生を歓迎します。

▌評価基準・方法

１レポート、グループワーク（40%）取組状況、発表内容を評価します。
２期末試験（60%）
※原則として５分の４以上の出席および期末試験の受験が評価の前提条件となります。
講義で積極的に発言した場合は加点します。

▌フィードバック方法

グループワークでは、発表後にグループ毎に講評を行ないます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークを行なう回があります。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （グループワークで使用します。）

▌教科書

上野恭裕・馬場大治編著（2023）『経営管理論（ベーシック＋）』中央経済社
※経営管理論Ⅰ（前期）と同じ教科書を使用します。

▌参考書

適宜、講義の中で提示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：経営管理論とはどのような学問か、また、評価方法、注意事項について、説明する。 事前学修 2.0hr：シラバスで学修内容・評価基準を確認する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容の振り返りを行なう。
2回	**授業テーマ：企業戦略のマネジメント①（ドメインの設定等）** 授業内容：企業戦略とは何か、ドメインの設定等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第 10 章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
3回	**授業テーマ：企業戦略のマネジメント②（多角化）** 授業内容：多角化、多角化企業の資源配について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて予め教科書（第 10 章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
4回	**授業テーマ：競争戦略のマネジメント** 授業内容：競争優位とは何か、ポジショニング・アプローチ、経営資源アプローチについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第 11 章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
5回	**授業テーマ：イノベーションのマネジメント①** 授業内容：イノベーションとは何か、イノベーションの発生について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第 12 章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
6回	**授業テーマ：イノベーションのマネジメント②** 授業内容：イノベーションの発生、イノベーションの全体像について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第 12 章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
7回	**授業テーマ：日本企業における人のマネジメント①** 授業内容：人のマネジメントの特殊性、日本的経営と人のマネジメントについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第 13 章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
8回	**授業テーマ：日本企業における人のマネジメント②** 授業内容：人のマネジメントの特殊性、日本的経営と人のマネジメントについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第 13 章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
9回	**授業テーマ：生産管理とその日本的特徴①（生産技術の進化等）** 授業内容：生産管理と経営、生産技術の進化について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第 14 章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。

10回	**授業テーマ：生産管理とその日本的特徴②(品質の理論等)** 授業内容：品質の理論、生産管理と企業の優位性について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書(第 14 章)により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
11回	**授業テーマ：日本企業の財務管理とコーポレート・ガバナンス①** 授業内容：財務管理とコーポレート・ガバナンス、日本企業の資本調達について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書(第 15 章)により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
12回	**授業テーマ：日本企業の財務管理とコーポレート・ガバナンス②** 授業内容：コーポレート・ガバナンス、日本企業の資本調達について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書(第 15 章)により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
13回	**授業テーマ：グループワーク①** 授業内容：グループで課題に取り組むとともに、発表の準備をする。 事前学修 2.0hr：担当箇所等について、調査する。自分の意見や考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：発表に向けた準備をする。
14回	**授業テーマ：グループワーク②** 授業内容：グループごとに発表をする。 事前学修 2.0hr：発表に向けた準備をする。自分の意見や考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：他グループも含めた発表内容を振り返り、教科書の該当箇所を復習する。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：講義で取り上げた内容について、各テーマに沿って重要な箇所を振り返る。 事前学修 3.0hr：これまでの授業内容を復習する。 事後学修 3.0hr：試験に向けてこれまでの授業内容を復習する。

データサイエンス I

開講学科等：経 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

王　佳星 (おう　かせい)

▌授業の概要

データサイエンスはデータを用いて有用な知見を引き出し、問題解決に役立つ学問であり、統計学・数学・プログラミングなどの知識が統合されています。

この講義では、データサイエンスの入門として、まずはデータサイエンスという学問の全体像について学びます。そして、Excel を用いたデータ処理の方法を学んでいきます。データサイエンスについて正しく捉え、データ処理・データを用いた問題解決に対する基本的な認識を育てることは、この講義の目的です。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/3/4/5/6）

一般目標：　データサイエンスの入門として、学問の役割を理解し、データ処理ができることを目標とします。

個別目標：①データサイエンスが現代社会における役割を理解すること。
②データサイエンスや AI がもたらす便益と問題点を理解し、AI と正しく向き合うことができること。
③ Excel の計算機能・関数を活用できること。
④データを収集し、Excel を用いてデータ処理を行えること。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

平常点 40% + 期末レポート 60%で評価します。

▌フィードバック方法

manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Excel による実習）

▌教科書

特に指定しません。配布資料を使用します。

▌参考書

小暮厚之, 吉田靖(2025).『Excel と R で学ぶビジネスデータサイエンス入門』. 講談社.
馬奈木俊介 編著(2021).『AI は社会を豊かにするのか：人工知能の経済学 II』. ミネルヴァ書房.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス：データサイエンスとは** 授業内容：データサイエンスとは何かについて説明します。また、この講義の内容、学習目標について説明し、講義の進行方法、成績評価の方法も提示します。 事前学修 2.0hr：シラバスの内容をよく読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：次回の講義資料を入手し、内容を読むこと。
2回	**授業テーマ：現代社会におけるデータサイエンス** 授業内容：データサイエンスの社会的実装とあり方について説明します。 事前学修 2.0hr：講義資料を入手し、内容をよく読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、理解を深めること。
3回	**授業テーマ：データサイエンスとビジネス** 授業内容：ビジネスにおけるデータサイエンスの応用例を紹介します。 事前学修 2.0hr：講義資料を入手し、内容をよく読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、理解を深めること。
4回	**授業テーマ：AI の活用と国際競争力** 授業内容：AI の活用や発展などに関する国際比較。 事前学修 2.0hr：講義資料を入手し、内容をよく読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、理解を深めること。
5回	**授業テーマ：AI による働き方改革** 授業内容：AI の普及と雇用の構造変化、働き方の変革について説明します。 事前学修 2.0hr：講義資料を入手し、内容をよく読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、理解を深めること。
6回	**授業テーマ：AI への過度な依存：自動運転から考える** 授業内容：自動運転を例に AI 依存症について考えます。 事前学修 2.0hr：講義資料を入手し、内容をよく読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、理解を深めること。
7回	**授業テーマ：大学生活における AI の活用と知っておくべきこと** 授業内容：AI の利用とその注意点について勉強します。 事前学修 2.0hr：講義資料を入手し、内容をよく読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、理解を深めること。
8回	**授業テーマ：Excel 入門 1：基本操作** 授業内容：Excel を使うための基本操作を学びます。 事前学修 2.0hr：講義資料を入手し、内容をよく読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、Excel の操作を練習すること。
9回	**授業テーマ：Excel 入門 2：データの入力** 授業内容：データ入力の演習を行います。 事前学修 2.0hr：講義資料を入手し、内容をよく読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、Excel の操作を練習すること。
10回	**授業テーマ：Excel による表計算** 授業内容：数式、割合、参照など、Excel を用いた計算方法を学びます。 事前学修 2.0hr：講義資料を入手し、内容をよく読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、Excel の操作を練習すること。

11回	**授業テーマ：Excel の関数を利用した計算** 授業内容：関数を用いた計算を行います。 事前学修 2.0hr：講義資料を入手し、内容をよく読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、Excel の関数の使い方を練習すること。
12回	**授業テーマ：データの取得とデータの処理 1： 公的統計の紹介** 授業内容：e-Stat などの公的統計やファイナンス・ビジネス関係のデータの入手方法について説明します。 事前学修 2.0hr：講義資料を入手し、内容をよく読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、公開データを調べてみること。
13回	**授業テーマ：データの入手とデータの処理 2：不動産情報を例に(1)** 授業内容：不動産情報のデータを入手し、Excel の計算機能を利用してデータの分析について勉強します。 事前学修 2.0hr：講義資料を入手し、内容をよく読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、Excel 実習を復習すること。
14回	**授業テーマ：データの入手とデータの処理 2：不動産情報を例に(2)** 授業内容：不動産情報のデータを入手し、Excel の計算機能を利用してデータの分析について勉強します。 事前学修 2.0hr：講義資料を入手し、内容をよく読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、Excel 実習を復習すること。
15回	**授業テーマ：全体のまとめ** 授業内容：第 1 ～ 14 回の授業内容を振り返ります。 事前学修 2.0hr：前回までの内容に不明点があるかどうかについて確認すること。 事後学修 2.0hr：講義内容を全般的に復習し、理解度を確認すること。

データサイエンスⅠ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前　｜　備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

田浦　元（たうら　げん）

▌授業の概要

現代、データは金やダイヤモンドのように非常に高い価値を持っており、データを上手に活用することは社会人として求められる素養の一つとなっています。本授業では、その素養を身に付ける第一歩として、データ活用の意義や目的、基本的方法を学習します。「データサイエンスって何？」という方でも大丈夫です。本授業ではエクセルを用いますが、その基本から学びます。また様々なデータを用いた演習を通じてデータサイエンスを「感じる」ことができます。所属するモデルに関わらず、ぜひ履修して下さい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/3/4/5/6）

一般目標：データ活用の意義や目的を理解し、エクセルの初歩的な活用方法も含め、ビジネスに活用する基礎的素養を身に付けること。
個別目標：1.Excel を用いて、表およびグラフ(棒、折れ線、円、散布図)の描画、ワークシート等の基本的操作ができるようになること。
　　2.Excel を用いて、経済データ等を適切に分析し、その結果をレポートとして適切に示せること。

▌履修条件

「データサイエンスⅡ」とあわせて履修すること。
履修定員のある科目であるので、第 1 回授業で履修者の選考を行なう。履修を希望する学生は第 1 回授業に必ず出席すること。

▌評価基準・方法

成績評価は、学期試験(授業最終週実施予定) 50 %、レポート課題(授業内提出) 30 %、課題(授業内提出) 20 %の割合で評価する。5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。遅刻や早退は 1 回で欠席 0.5 回分とする。30 分以上の遅刻は欠席とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、翌回の講義の中で行なうことを基本とする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （エクセル等で課題を作成する。エクセル等でレポートを作成する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC 教室で実施。）

▌教科書

特に使用しない。

▌参考書

上藤一郎・田浦元他『調査と分析のための統計 社会・経済のデータサイエンス(第 2 版)』(丸善出版、2013 年)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクションと履修許可者の選考** 授業内容：授業概要の説明。履修許可者の選考。 事前学修 1.0hr：シラバスを読んでおく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習する。
2 回	**授業テーマ：Excel の基本操作** 授業内容：ワークシートの入力、保存、計算式、簡単な関数、グラフの作成、印刷等について学ぶ。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題(課題)を見直し、修正しておく。
3 回	**授業テーマ：ワークシートの基礎** 授業内容：行、列のしくみ。行、列の削除・挿入・移動等について学ぶ。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題(課題)を見直し、修正しておく。
4 回	**授業テーマ：ワークシートの基本** 授業内容：相対参照と絶対参照。基本的な関数等について学ぶ。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題(課題)を見直し、修正しておく。
5 回	**授業テーマ：グラフの基礎** 授業内容：基礎的な棒グラフ・折れ線グラフ・円グラフ等の作成について学ぶ。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題(課題)を見直し、修正しておく。
6 回	**授業テーマ：グラフの基本** 授業内容：複合グラフや、やや応用的なグラフの作成等の作成について学ぶ。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題(課題)を見直し、修正しておく。
7 回	**授業テーマ：可視化の基礎** 授業内容：可視化の手法の基礎について学ぶ。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題(課題)を見直し、修正しておく。
8 回	**授業テーマ：データの種類** 授業内容：データの種類について学ぶ。公的統計の利用。民間データの利用。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題(課題)を見直し、修正しておく。
9 回	**授業テーマ：データの入手と可視化 (1)：データの入手** 授業内容：データの入手方法について学ぶ。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容に基づいて、レポート作成の準備を進める。
10 回	**授業テーマ：データの入手と可視化 (2)：可視化の実践** 授業内容：実際のデータを用いた可視化について学ぶ。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容に基づいて、レポート作成の準備を進める。
11 回	**授業テーマ：レポート課題の作成 (1)：レポートの作成** 授業内容：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。 事前学修 3.0hr：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。 事後学修 1.0hr：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。

12回	**授業テーマ：レポート課題の作成 (2)：レポートの完成** 授業内容：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。 事前学修 3.0hr：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。 事後学修 1.0hr：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。
13回	**授業テーマ：レポート課題の提出** 授業内容：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成し、提出する。 事前学修 3.0hr：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。 事後学修 1.0hr：提出したレポート課題の内容について振り返りをする。
14回	**授業テーマ：レポート課題の振り返り** 授業内容：提出したレポート課題の内容について振り返りをする。 事前学修 3.0hr：提出したレポート課題の内容について振り返りをする。 事後学修 1.0hr：提出したレポート課題の内容について振り返りをする。
15回	**授業テーマ：学期の復習とまとめ** 授業内容：学期の復習とまとめを行なう。 事前学修 3.0hr：前回の授業までで学んだ内容を復習しておく。 事後学修 1.0hr：授業で学んだ内容を復習する。

データサイエンスⅠ／情報処理入門Ⅰ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

高橋　奈佳（たかはし　なか）

▌授業の概要

データサイエンスで用いる基本ソフトである Microsoft 社の表計算ソフトウェア Excel を使い、Excel を活用する際に必要な基本事項や、業務データの計算および整理、グラフの作成、データの分析などで必要となる基本的スキルを身につけることを目的としている。
なお、後期開講科目「データサイエンスⅡ」は、原則として本科目の単位を取得していないと履修できないので、「データサイエンスⅡ」の履修希望者は注意すること。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/3/4/5/6、2020 年度以前入学生 4）

一般目標：表計算ソフトウェアの基本的な使い方を習得する。
　この程度の内容は高校卒業時に体得済みの学生もある程度いるので、できる学生をよりできるようにすることが目的ではなく、これまでに Excel のような表計算ソフトを使う機会がなかった学生や、できないと信じきっていて躓いている学生を一定水準まで引き上げることを目標とする。
個別目標：①表計算ソフトを用いて、データの計算や集計ができるようになる。
　②表計算ソフトを用いて、目的に合った適切なグラフを作成できるようになる。
　③表計算ソフトを用いて、データの並べ替えや抽出などのデータベースの処理ができるようになる。

▌履修条件

特に制限はない。
しかしながら自宅にて Excel（バージョンは問わない）を使用できる環境にあることが望ましい。
表計算ソフトの基本を身につけることができる科目なので、多くの学生に受講してほしい。
受講希望者が教室の席数を上回る場合は抽選とする。そのため 1 回目の授業には遅刻・欠席しないこと。

▌評価基準・方法

授業への取り組みや課題提出状況(20%)、中間課題と総合課題(80%)の合計点で評価する。
授業態度不良(教科書不携行、遅刻、授業中の私語など)のときは適宜減点を行う。
遅刻および早退 3 回で欠席 1 回、30 分以上の遅刻は欠席とみなす。

▌フィードバック方法

それぞれの課題や提出物については、manaba を用いてフィードバックする。
また次回の開始時に、前回の提出課題の出来栄えや間違いの多かった点等について解説を行う。
実技科目のため毎回の提出物で基準に満たないものを再提出してもらうこともある。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Excel を使った実習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC 教室での開講ですが、自分のパソコンを持参して取り組んでもかまいません。）

▌教科書

実教出版企画開発部編　『30 時間でマスター　Excel2021（Windows11 対応）』　実教出版　2022 年

▌参考書

参考となる図書やウェブページがある場合は別途指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス：講義の概要と進め方、Excel での日本語入力・保存・提出。** 授業内容：講義の進め方についての説明と表計算ソフトである Excel について、解説を行う。 受講数が教室人数を上回る場合は抽選を行う。 1 年生は manaba に慣れること。 事前学修 2.0hr：本科目のシラバスを読んでおく。 事後学修 2.0hr：教科書の 1 章を復習する。manaba システムでできることを確認しておくこと。
2 回	**授業テーマ：Excel 入門(前半)** 授業内容：データ入力、SUM 関数、オートフィル、再計算について学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の 2 章を読んでおく。教材を確認し、事前に取り組んでみると良い。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
3 回	**授業テーマ：Excel 入門(後半)** 授業内容：グラフの作成、編集について学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の 2 章と 5 章 104～107、109～112 ページを読んでおく。教材を確認し、事前に取り組んでみると良い。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
4 回	**授業テーマ：便利なデータ入力とオートカルクの紹介、第 1-3 回の復習と演習** 授業内容：これまでに学修してきた基本的な計算、表の編集、グラフ作成、ワークシート操作を復習する。 事前学修 2.0hr：教科書 1～2 章と、これまでに学習してきた内容を確認する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
5 回	**授業テーマ：教科書 3 章** 授業内容：オートフィル、AVERAGE 関数、小数点以下操作を学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の 3 章を読んでおく。教材を確認し、事前に取り組んでみると良い。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
6 回	**授業テーマ：教科書 4 章** 授業内容：絶対参照、MIN・MAX・COUNT・COUNTA 関数を学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の 4 章を読んでおく。教材を確認し、事前に取り組んでみると良い。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
7 回	**授業テーマ：IF 関数と関数の入れ子、第 5-7 回の復習と演習** 授業内容：関数を用いた計算、表をきれいに見せる方法を復習する。 事前学修 2.0hr：教科書 1～4 章と、これまでに学習してきた内容を確認する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。

8回	**授業テーマ：中間課題(テスト方式)** 授業内容：これまでに学修してきた内容をテスト方式で復習する。 事前学修 2.0hr：これまでの授業内容から、理解の不十分な項目を重点的に復習する。 事後学修 2.0hr：全員の提出があった段階で模範解答を掲示するので、確認すること。
9回	**授業テーマ：5 章と 6 章のダイジェスト** 授業内容：これまでに学習したグラフより複雑なグラフ、複合グラフ、グラフの高度な編集について学習する。 事前学修 2.0hr：教科書 5 章と 6 章を読んでおく。教材を確認し、事前に取り組んでみると良い。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
10回	**授業テーマ：教科書 7 章前半** 授業内容：データベースについての操作：オートコンプリート機能、日付、ふりがな、データの並べ替えについて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書 7 章を読んでおく。教材を確認し、事前に取り組んでみると良い。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
11回	**授業テーマ：教科書 7 章後半** 授業内容：データベースについての操作：データの抽出、条件の書き方、データの集計について学習する。 事前学修 2.0hr：教科書 7 章を読んでおく。教材を確認し、事前に取り組んでみると良い。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
12回	**授業テーマ：教科書 8 章の一部** 授業内容：検索関数(VLOOKUP、HLOOKUP 関数)、データベース関数について学習する。 事前学修 2.0hr：教科書 8 章の該当部分を読んでおく。教材を確認し、事前に取り組んでみると良い。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
13回	**授業テーマ：第 9-12 回の復習と演習** 授業内容：グラフ作成と編集、データベースについての操作を復習する。 事前学修 2.0hr：教科書 5〜8 章を確認する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
14回	**授業テーマ：知っていると便利な Excel の機能** 授業内容：ROUND 関数、条件付き書式、スパークライン、セルの結合など知っていると便利な機能を教科書も含めて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んでおく。教材を確認し、事前に取り組んでみると良い。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
15回	**授業テーマ：総合課題(テスト方式)** 授業内容：これまでにこの科目で学修してきた内容のすべてをテスト方式で復習する。 事前学修 2.0hr：教科書の例題と実習問題を中心に総復習する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返り、理解できなかった項目を重点的に復習する。

データサイエンスⅠ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前　｜　備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

高橋　奈佳（たかはし　なか）

▌授業の概要

データサイエンスで用いる基本ソフトである Microsoft 社の表計算ソフトウェア Excel を使い、Excel を活用する際に必要な基本事項や、業務データの計算および整理、グラフの作成、データの分析などで必要となる基本的スキルを身につけることを目的としている。
なお、後期開講科目「データサイエンスⅡ」は、原則として本科目の単位を取得していないと履修できないので、「データサイエンスⅡ」の履修希望者は注意すること。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/3/4/5/6）

一般目標：表計算ソフトウェアの基本的な使い方を習得する。
　この程度の内容は高校卒業時に体得済みの学生もある程度いるので、できる学生をよりできるようにすることが目的ではなく、これまでに Excel のような表計算ソフトを使う機会がなかった学生や、できないと信じきっていて躓いている学生を一定水準まで引き上げることを目標とする。
個別目標：①表計算ソフトを用いて、データの計算や集計ができるようになる。
　②表計算ソフトを用いて、目的に合った適切なグラフを作成できるようになる。
　③表計算ソフトを用いて、データの並べ替えや抽出などのデータベースの処理ができるようになる。

▌履修条件

特に制限はない。
しかしながら自宅にて Excel（バージョンは問わない）を使用できる環境にあることが望ましい。
表計算ソフトの基本を身につけることができる科目なので、多くの学生に受講してほしい。
受講希望者が教室の席数を上回る場合は抽選とする。そのため 1 回目の授業には遅刻・欠席しないこと。

▌評価基準・方法

授業への取り組みや課題提出状況(20%)、中間課題と総合課題(80%)の合計点で評価する。
授業態度不良(教科書不携行、遅刻、授業中の私語など)のときは適宜減点を行う。
遅刻および早退 3 回で欠席 1 回、30 分以上の遅刻は欠席とみなす。

▌フィードバック方法

それぞれの課題や提出物については、manaba を用いてフィードバックする。
また次回の開始時に、前回の提出課題の出来栄えや間違いの多かった点等について解説を行う。
実技科目のため毎回の提出物で基準に満たないものを再提出してもらうこともある。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Excel を使った実習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC 教室での開講ですが、自分のパソコンを持参して取り組んでもかまいません。）

▌教科書

実教出版企画開発部編　『30 時間でマスター　Excel2021（Windows11 対応）』　実教出版　2022 年

▌参考書

参考となる図書やウェブページがある場合は別途指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス：講義の概要と進め方、Excel での日本語入力・保存・提出。** 授業内容：講義の進め方についての説明と表計算ソフトである Excel について、解説を行う。 受講数が教室人数を上回る場合は抽選を行う。 1 年生は manaba に慣れること。 事前学修 2.0hr：本科目のシラバスを読んでおく。 事後学修 2.0hr：教科書の 1 章を復習する。manaba システムでできることを確認しておくこと。
2 回	**授業テーマ：Excel 入門(前半)** 授業内容：データ入力、SUM 関数、オートフィル、再計算について学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の 2 章を読んでおく。教材を確認し、事前に取り組んでみると良い。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
3 回	**授業テーマ：Excel 入門(後半)** 授業内容：グラフの作成、編集について学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の 2 章と 5 章 104～107、109～112 ページを読んでおく。教材を確認し、事前に取り組んでみると良い。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
4 回	**授業テーマ：便利なデータ入力とオートカルクの紹介、第 1-3 回の復習と演習** 授業内容：これまでに学修してきた基本的な計算、表の編集、グラフ作成、ワークシート操作を復習する。 事前学修 2.0hr：教科書 1～2 章と、これまでに学習してきた内容を確認する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
5 回	**授業テーマ：教科書 3 章** 授業内容：オートフィル、AVERAGE 関数、小数点以下操作を学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の 3 章を読んでおく。教材を確認し、事前に取り組んでみると良い。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
6 回	**授業テーマ：教科書 4 章** 授業内容：絶対参照、MIN・MAX・COUNT・COUNTA 関数を学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の 4 章を読んでおく。教材を確認し、事前に取り組んでみると良い。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
7 回	**授業テーマ：IF 関数と関数の入れ子、第 5-7 回の復習と演習** 授業内容：関数を用いた計算、表をきれいに見せる方法を復習する。 事前学修 2.0hr：教科書 1～4 章と、これまでに学習してきた内容を確認する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。

8回	**授業テーマ：中間課題(テスト方式)** 授業内容：これまでに学修してきた内容をテスト方式で復習する。 事前学修 2.0hr：これまでの授業内容から、理解の不十分な項目を重点的に復習する。 事後学修 2.0hr：全員の提出があった段階で模範解答を掲示するので、確認すること。
9回	**授業テーマ：5 章と 6 章のダイジェスト** 授業内容：これまでに学習したグラフより複雑なグラフ、複合グラフ、グラフの高度な編集について学習する。 事前学修 2.0hr：教科書 5 章と 6 章を読んでおく。教材を確認し、事前に取り組んでみると良い。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
10回	**授業テーマ：教科書 7 章前半** 授業内容：データベースについての操作：オートコンプリート機能、日付、ふりがな、データの並べ替えについて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書 7 章を読んでおく。教材を確認し、事前に取り組んでみると良い。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
11回	**授業テーマ：教科書 7 章後半** 授業内容：データベースについての操作：データの抽出、条件の書き方、データの集計について学習する。 事前学修 2.0hr：教科書 7 章を読んでおく。教材を確認し、事前に取り組んでみると良い。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
12回	**授業テーマ：教科書 8 章の一部** 授業内容：検索関数(VLOOKUP、HLOOKUP 関数)、データベース関数について学習する。 事前学修 2.0hr：教科書 8 章の該当部分を読んでおく。教材を確認し、事前に取り組んでみると良い。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
13回	**授業テーマ：第 9-12 回の復習と演習** 授業内容：グラフ作成と編集、データベースについての操作を復習する。 事前学修 2.0hr：教科書 5〜8 章を確認する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
14回	**授業テーマ：知っていると便利な Excel の機能** 授業内容：ROUND 関数、条件付き書式、スパークライン、セルの結合など知っていると便利な機能を教科書も含めて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んでおく。教材を確認し、事前に取り組んでみると良い。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
15回	**授業テーマ：総合課題(テスト方式)** 授業内容：これまでにこの科目で学修してきた内容のすべてをテスト方式で復習する。 事前学修 2.0hr：教科書の例題と実習問題を中心に総復習する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返り、理解できなかった項目を重点的に復習する。

データサイエンスⅠ／情報処理入門Ⅰ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

渡部　綾子（わたべ　あやこ）

▌授業の概要

現代、データは金やダイヤモンドのように非常に高い価値を持っており、データを上手に活用することは社会人として求められる素養の一つとなっています。本授業では、その素養を身に付ける第一歩として、データ活用の意義や目的、基本的方法を学習します。

「データサイエンスって何？」という方でも大丈夫です。本授業ではエクセルを用いますが、その基本から学びます。また様々なデータを用いた演習を通じてデータサイエンスを「感じる」ことができます。所属するモデルに関わらず、ぜひ履修して下さい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/3/4/5/6、2020 年度以前入学生 4）

一般目標：データ活用の意義や目的を理解し、エクセルの初歩的な活用方法も含め、ビジネスに活用する基礎的素養を身に付けること。

個別目標：①データサイエンスとは何かを説明でき、活用できる。

② Excel を用いてデータ分析をするための基礎を身につける。

▌履修条件

・前期「データサイエンスⅠ」と後期「データサイエンスⅡ」を両方履修すること。

・パソコン（Excel 中心）を使って授業を行うので、授業に積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

提出物・小テスト（毎授業 70 %）とまとめテスト（1 回 30 %）

▌フィードバック方法

提出物、小テストのフィードバックは学修支援システム manaba にておこなう。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （事前学修、事後学修において小テストをおこなう。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業はパソコン教室でおこなう。）

▌教科書

実教出版企画開発部（編）『30 時間でマスター　Excel2021（Windows11 対応）』実教出版

竹村彰通・姫野哲人・高田聖治（編）『データサイエンス入門』（第 3 版）学術図書出版社

▌参考書

なし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス：講義の概要とパソコン（manaba・Excel）の使い方** 授業内容：①講義の概要と進め方について説明する。②パソコンの使い方、表計算ソフト Excel について簡単な解説をおこなう。③簡単な数学の問題を解く。（時間によっては事後学修とする） 事前学修 2.0hr：シラバスを読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業の流れ、パソコン、manaba の使い方を確認する。（簡単な数学の問題）
2 回	**授業テーマ：現代社会におけるデータサイエンス（1）データサイエンスの役割** 授業内容：ビッグデータ、サイエンティスト、AI について解説。各自コメントを manaba に提出する。 事前学修 2.0hr：データサイエンスという用語を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、授業で使用した用語を調べる。
3 回	**授業テーマ：現代社会におけるデータサイエンス（2）データサイエンスと情報倫理** 授業内容：倫理・法律、個人情報保護、情報セキュリティについて解説。各自コメントを manaba に提出する。 事前学修 2.0hr：情報倫理について調べておく。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、授業で使用した用語を調べる。
4 回	**授業テーマ：現代社会におけるデータサイエンス（3）データ分析のためのデータ取得と管理** 授業内容：データ分析の対象、目的　データの形、容量、取得方法　ビックデータの利用について解説。各自コメントを manaba に提出する。 事前学修 2.0hr：ビッグデータとは何か調べておく。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、授業で使用した用語を調べる。
5 回	**授業テーマ：Excel の基本操作** 授業内容：ワークシートの入力、保存、計算式、簡単な関数、グラフの作成、印刷 事前学修 2.0hr：Excel の使い方を確認する。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。復習問題をやる。
6 回	**授業テーマ：Excel 基本的なワークシートの編集** 授業内容：行、列の削除・挿入・移動　表示形式の変更　罫線 事前学修 2.0hr：Excel の使い方を確認する。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。復習問題をやる。
7 回	**授業テーマ：Excel ワークシートの活用 (1)** 授業内容：セル番地の絶対参照　関数（SUM、AVERAGE、MAX、MIN、COUNT、COUNTA） 事前学修 2.0hr：前講義を復習しておく 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。復習問題をやる。
8 回	**授業テーマ：Excel ワークシートの活用 (2)** 授業内容：条件判定（IF 関数）とネスト 事前学修 2.0hr：前講義を復習しておく 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。復習問題をやる。
9 回	**授業テーマ：演習問題** 授業内容：これまでに学修してきた Excel の基本的な操作を復習する 事前学修 2.0hr：これまでの講義を復習しておく 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。
10 回	**授業テーマ：グラフ（基本）** 授業内容：棒グラフ・折れ線グラフ・円グラフ 事前学修 2.0hr：教科書を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。復習問題をやる。

11回	**授業テーマ：グラフ(応用)** 授業内容：複合グラフ・レーダー・散布図 事前学修 2.0hr：教科書を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。復習問題をやる。
12回	**授業テーマ：Excel の応用 (1)** 授業内容：順位付け(RANK.EQ)、条件付き集計 (COUNTIFS、SUMIFS) 事前学修 2.0hr：教科書を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。復習問題をやる。
13回	**授業テーマ：Excel の応用 (2)** 授業内容：VLOOKUP 関数、HLOOKUP 関数 事前学修 2.0hr：教科書を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。復習問題をやる。
14回	**授業テーマ：データベース機能** 授業内容：データの並べ替え、検索、置換、データ集計(ピポットテーブル) 事前学修 2.0hr：教科書を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。復習問題をやる。
15回	**授業テーマ：まとめ課題(テスト形式)** 授業内容：これまでに学修してきた内容をテスト方式で復習する。 事前学修 3.0hr：授業で行った課題を中心に総復習する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返り、理解できなかった項目を重点的に復習する。

データサイエンスⅠ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前　｜　備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

渡部　綾子（わたべ　あやこ）

▌授業の概要

現代、データは金やダイヤモンドのように非常に高い価値を持っており、データを上手に活用することは社会人として求められる素養の一つとなっています。本授業では、その素養を身に付ける第一歩として、データ活用の意義や目的、基本的方法を学習します。

「データサイエンスって何？」という方でも大丈夫です。本授業ではエクセルを用いますが、その基本から学びます。また様々なデータを用いた演習を通じてデータサイエンスを「感じる」ことができます。所属するモデルに関わらず、ぜひ履修して下さい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/3/4/5/6）

一般目標：データ活用の意義や目的を理解し、エクセルの初歩的な活用方法も含め、ビジネスに活用する基礎的素養を身に付けること。

個別目標：①データサイエンスとは何かを説明でき、活用できる。

② Excel を用いてデータ分析をするための基礎を身につける。

▌履修条件

・前期「データサイエンスⅠ」と後期「データサイエンスⅡ」を両方履修すること。

・パソコン（Excel 中心）を使って授業を行うので、授業に積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

提出物・小テスト（毎授業 70 %）とまとめテスト（1 回 30 %）

▌フィードバック方法

提出物、小テストのフィードバックは学修支援システム manaba にておこなう。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （事前学修、事後学修において小テストをおこなう。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業はパソコン教室でおこなう。）

▌教科書

実教出版企画開発部（編）『30 時間でマスター　Excel2021（Windows11 対応）』実教出版

竹村彰通・姫野哲人・高田聖治（編）『データサイエンス入門』（第 3 版）学術図書出版社

▌参考書

なし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス：講義の概要とパソコン（manaba・Excel）の使い方** 授業内容：①講義の概要と進め方について説明する。②パソコンの使い方、表計算ソフト Excel について簡単な解説をおこなう。③簡単な数学の問題を解く。（時間によっては事後学修とする） 事前学修 2.0hr：シラバスを読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業の流れ、パソコン、manaba の使い方を確認する。（簡単な数学の問題）
2回	**授業テーマ：現代社会におけるデータサイエンス（1）データサイエンスの役割** 授業内容：ビッグデータ、サイエンティスト、AI について解説。各自コメントを manaba に提出する。 事前学修 2.0hr：データサイエンスという用語を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、授業で使用した用語を調べる。
3回	**授業テーマ：現代社会におけるデータサイエンス（2）データサイエンスと情報倫理** 授業内容：倫理・法律、個人情報保護、情報セキュリティについて解説。各自コメントを manaba に提出する。 事前学修 2.0hr：情報倫理について調べておく。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、授業で使用した用語を調べる。
4回	**授業テーマ：現代社会におけるデータサイエンス（3）データ分析のためのデータ取得と管理** 授業内容：データ分析の対象、目的　データの形、容量、取得方法　ビックデータの利用について解説。各自コメントを manaba に提出する。 事前学修 2.0hr：ビッグデータとは何か調べておく。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、授業で使用した用語を調べる。
5回	**授業テーマ：Excel の基本操作** 授業内容：ワークシートの入力、保存、計算式、簡単な関数、グラフの作成、印刷 事前学修 2.0hr：Excel の使い方を確認する。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。復習問題をやる。
6回	**授業テーマ：Excel 基本的なワークシートの編集** 授業内容：行、列の削除・挿入・移動　表示形式の変更　罫線 事前学修 2.0hr：Excel の使い方を確認する。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。復習問題をやる。
7回	**授業テーマ：Excel ワークシートの活用 (1)** 授業内容：セル番地の絶対参照　関数（SUM、AVERAGE、MAX、MIN、COUNT、COUNTA） 事前学修 2.0hr：前講義を復習しておく 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。復習問題をやる。
8回	**授業テーマ：Excel ワークシートの活用 (2)** 授業内容：条件判定（IF 関数）とネスト 事前学修 2.0hr：前講義を復習しておく 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。復習問題をやる。
9回	**授業テーマ：演習問題** 授業内容：これまでに学修してきた Excel の基本的な操作を復習する 事前学修 2.0hr：これまでの講義を復習しておく 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。
10回	**授業テーマ：グラフ（基本）** 授業内容：棒グラフ・折れ線グラフ・円グラフ 事前学修 2.0hr：教科書を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。復習問題をやる。

11回	**授業テーマ：グラフ(応用)** 授業内容：複合グラフ・レーダー・散布図 事前学修 2.0hr：教科書を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。復習問題をやる。
12回	**授業テーマ：Excel の応用 (1)** 授業内容：順位付け(RANK.EQ)、条件付き集計 (COUNTIFS、SUMIFS) 事前学修 2.0hr：教科書を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。復習問題をやる。
13回	**授業テーマ：Excel の応用 (2)** 授業内容：VLOOKUP 関数、HLOOKUP 関数 事前学修 2.0hr：教科書を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。復習問題をやる。
14回	**授業テーマ：データベース機能** 授業内容：データの並べ替え、検索、置換、データ集計(ピポットテーブル) 事前学修 2.0hr：教科書を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。復習問題をやる。
15回	**授業テーマ：まとめ課題(テスト形式)** 授業内容：これまでに学修してきた内容をテスト方式で復習する。 事前学修 3.0hr：授業で行った課題を中心に総復習する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返り、理解できなかった項目を重点的に復習する。

データサイエンスⅡ

開講学科等：経 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

王　佳星（おう　かせい）

▌授業の概要

この講義は、「データサイエンス I」の続きとなり、R によるデータサイエンスについて学びます。R は高度な統計ソフトであり、データサイエンスにおいても広く使われています。まずは、基本操作から R の使い方を学び、プログラミングの学習もします。経済学における最適化問題を取り上げて、データサイエンスが問題の解決にどのように応用するかについて、R による実習を通して学びます。R でプログラミングを実行でき、経済学におけるデータサイエンスの役割を理解した上で活用できることは、この講義の目的です。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/3/4/5/6）

一般目標：　実際問題の解決にデータサイエンスがどのように応用されるかについて、R の学習を通して学ぶことを目標とします。

個別目標：① RStudio での操作を熟せること。
②簡単なプログラミングの設計・実行することができること。
③経済学的な考え方を R を用いた最適化問題の解決を通して身につけること。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

平常点 40% + 期末レポート 60%で評価します。

▌フィードバック方法

manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （R による実習）

▌教科書

特に指定しません。配布資料を使用します。

▌参考書

小暮厚之, 吉田靖(2025).『Excel と R で学ぶビジネスデータサイエンス入門』. 講談社.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス：データサイエンスと R** 授業内容：R と RStudio をインストールします。また、この講義の内容、学習目標について説明し、講義の進行方法、成績評価の方法も提示します。 事前学修 2.0hr：シラバスの内容をよく読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：次回の講義資料を入手し、内容を読むこと。
2回	**授業テーマ：RStudio と R スクリプト** 授業内容：RStudio と R スクリプトを説明し、簡単な操作を行います。 事前学修 2.0hr：講義資料を入手し、内容をよく読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：RStudio の操作を練習すること。
3回	**授業テーマ：R の基本操作 1：データの入力と計算** 授業内容：R でデータの入力と計算の方法を勉強します。 事前学修 2.0hr：講義資料を入手し、内容をよく読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、R 実習を練習すること。
4回	**授業テーマ：R の基本操作 2：数式と関数の利用** 授業内容：数式と関数を用いた計算を勉強します。 事前学修 2.0hr：講義資料を入手し、内容をよく読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、R 実習を練習すること。
5回	**授業テーマ：R の基本操作 3：パッケージの使い方** 授業内容：パッケージとは何かについて説明し、常用パッケージの入手と使用について勉強します。 事前学修 2.0hr：講義資料を入手し、内容をよく読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、パッケージを使って R 実習を行うこと。
6回	**授業テーマ：データファイルの種類とファイルの読み込み** 授業内容：R に外部のデータファイルの読み込み方法について勉強します。 事前学修 2.0hr：講義資料を入手し、内容をよく読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、データファイルの読み込みを練習すること。
7回	**授業テーマ：グラフの種類と R によるグラフの作成 1** 授業内容：棒グラフと折れ線グラフを R で作成します。 事前学修 2.0hr：講義資料を入手し、内容をよく読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、R 実習を練習すること。
8回	**授業テーマ：グラフの種類と R によるグラフの作成 2** 授業内容：ヒストグラムと円グラフを R で作成します。 事前学修 2.0hr：講義資料を入手し、内容をよく読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、R 実習を練習すること。
9回	**授業テーマ：データサイエンスと最適化問題** 授業内容：最適化とは何かについて説明し、最適化問題におけるデータサイエンスの活用を紹介します。 事前学修 2.0hr：講義資料を入手し、内容をよく読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、理解を深めること。
10回	**授業テーマ：最適化問題 1：Excel による解法** 授業内容：Excel による最適化問題の解き方を学びます。 事前学修 2.0hr：講義資料を入手し、内容をよく読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、Excel 実習を練習すること。
11回	**授業テーマ：最適化問題 2：R による解法** 授業内容：R による最適化問題の解き方を学びます。 事前学修 2.0hr：講義資料を入手し、内容をよく読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、R 実習を練習すること。

12回	**授業テーマ：資産配分の最適化問題 1：ポートフォリオ** 授業内容：最適化問題の応用例として、ポートフォリオの理論を学びます。 事前学修 2.0hr：講義資料を入手し、内容をよく読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、理解を深めること。
13回	**授業テーマ：資産配分の最適化問題 2：Excel による解法** 授業内容：Excel によるポートフォリオの最適化を行います。 事前学修 2.0hr：講義資料を入手し、内容をよく読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、Excel 実習を練習すること。
14回	**授業テーマ：資産配分の最適化問題 3：R による解法** 授業内容：R によるポートフォリオの最適化を行います。 事前学修 2.0hr：講義資料を入手し、内容をよく読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、R 実習を練習すること。
15回	**授業テーマ：全体のまとめ** 授業内容：第 1 ～ 14 回の授業内容を振り返ります。 事前学修 2.0hr：前回までの内容に不明点があるかどうかについて確認すること。 事後学修 2.0hr：講義内容を全般的に復習し、理解度を確認すること。

データサイエンスⅡ

開講学科等：経 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

田浦　元（たうら　げん）

▌授業の概要

本授業では、データサイエンス I に引き続き、エクセルを用いてデータ活用の意義や目的、基本的方法を学習します。「データサイエンスって何？」という方でも大丈夫です。所属するモデルに関わらず、ぜひ履修して下さい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/3/4/5/6）

一般目標：データ活用の意義や目的を理解し、エクセルを用いて、表およびグラフ(棒、折れ線、円、散布図)の描画やソートなど、データの基本的操作ができるようになること。

個別目標：1.Excel を用いて、表およびグラフ(棒、折れ線、円、散布図)の描画やソートなどデータの基本的操作ができるようになること。
2.Excel を用いて、散布図を用いた分析によって経済データ等を適切に分析できること。また、その結果をレポートとして適切に示せること。

▌履修条件

「データサイエンス I 」を履修済みであること。
履修定員のある科目であるので、第 1 回授業で履修者の選考を行なう。履修を希望する学生は第 1 回授業に必ず出席すること。

▌評価基準・方法

成績評価は、学期試験(授業最終週実施予定) 50 %、レポート課題(授業内提出) 30 %、課題(授業内提出) 20 %の割合で評価する。5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。遅刻や早退は 1 回で欠席 0.5 回分とする。30 分以上の遅刻は欠席とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、翌回の講義の中で行なうことを基本とする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （エクセル等で課題を作成する。エクセル等でレポートを作成する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC 教室で実施。）

▌教科書

特に使用しない。

▌参考書

上藤一郎・田浦元他『調査と分析のための統計 社会・経済のデータサイエンス(第 2 版)』(丸善出版、2013 年)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクションと履修許可者の選考** 授業内容：授業概要の説明。履修許可者の選考。 事前学修 1.0hr：シラバスを読んでおく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習する。
2 回	**授業テーマ：グラフと可視化** 授業内容：データの可視化について学ぶ。やや応用的なグラフの作成等の作成について学ぶ。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題(課題)を見直し、修正しておく。
3 回	**授業テーマ：散布図** 授業内容：データの可視化について学ぶ。散布図の描画等について学ぶ。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題(課題)を見直し、修正しておく。
4 回	**授業テーマ：データベース** 授業内容：データベース機能について学ぶ。並べ替え、フィルタ等について学ぶ。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題(課題)を見直し、修正しておく。
5 回	**授業テーマ：関数の基礎 (1)：条件付き集計** 授業内容：基礎的な関数について学ぶ。条件付き集計関数(COUNTIFS、SUMIFS)等について学ぶ。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題(課題)を見直し、修正しておく。
6 回	**授業テーマ：関数の基礎 (2)：検索** 授業内容：基礎的な関数について学ぶ。検索関数(VLOOKUP、HLOOKUP)等について学ぶ。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題(課題)を見直し、修正しておく。
7 回	**授業テーマ：関数の基礎 (3)：理論** 授業内容：基礎的な関数について学ぶ。理論関数(IFS)等について学ぶ。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題(課題)を見直し、修正しておく。
8 回	**授業テーマ：関数の基礎 (4)：理論関数の応用** 授業内容：基礎的な関数について学ぶ。理論関数(IFS)の応用等について学ぶ。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題(課題)を見直し、修正しておく。
9 回	**授業テーマ：データの入手と分析 (1)：データの入手** 授業内容：データの入手方法について学ぶ。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容に基づいて、レポート作成の準備を進める。
10 回	**授業テーマ：データの入手と分析 (2)：データ分析の実践** 授業内容：実際のデータを用いた分析について学ぶ。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容に基づいて、レポート作成の準備を進める。
11 回	**授業テーマ：レポート課題の作成 (1)：レポートの作成** 授業内容：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。 事前学修 3.0hr：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。 事後学修 1.0hr：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。

12回	**授業テーマ：レポート課題の作成 (2)：レポートの完成** 授業内容：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。 事前学修 3.0hr：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。 事後学修 1.0hr：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。
13回	**授業テーマ：レポート課題の提出** 授業内容：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成し、提出する。 事前学修 3.0hr：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。 事後学修 1.0hr：提出したレポート課題の内容について振り返りをする。
14回	**授業テーマ：レポート課題の振り返り** 授業内容：提出したレポート課題の内容について振り返りをする。 事前学修 3.0hr：提出したレポート課題の内容について振り返りをする。 事後学修 1.0hr：提出したレポート課題の内容について振り返りをする。
15回	**授業テーマ：学期の復習とまとめ** 授業内容：学期の復習とまとめを行なう。 事前学修 3.0hr：前回の授業までで学んだ内容を復習しておく。 事後学修 1.0hr：授業で学んだ内容を復習する。

データサイエンスⅡ／情報処理入門Ⅱ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

高橋　奈佳（たかはし　なか）

▌授業の概要

前期開講科目「データサイエンスⅠ」において、表計算ソフト Excel の基礎的技術を学んだ。この科目はその続編として、データアナリティクスの基礎技術を修得する。
インターネットによる様々なデータの検索、質的データと量的データの基礎的分析について学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/3/4/5/6、2020 年度以前入学生 4）

一般目標：表計算ソフト Excel によるデータアナリティクスの入門的技術を修得する。
個別目標：①インターネットによる様々なデータの検索とその利用ができるようになる。
　　②表計算ソフト Excel を用いて、質的データと量的データの基礎的な分析ができるようになる。

▌履修条件

「データサイエンスⅠ（高橋奈佳担当）」の単位を取得済、もしくは同等の Excel 基礎力があること（判定は個別に担当教員が行う）。
自宅にて　Excel（バージョンは問わない）を使えることが望ましい。
遅刻および早退 3 回で欠席 1 回、30 分以上の遅刻は欠席とみなす。
受講希望者が教室の席数を上回る場合は抽選とする。そのため 1 回目の授業には遅刻・欠席しないこと。

▌評価基準・方法

授業への取り組みや課題提出状況（20%）、中間課題と総合課題（80%）の合計点で評価する。
授業態度不良（教科書の未携行、遅刻、授業中の私語など）のときは適宜減点を行う。

▌フィードバック方法

それぞれの課題や提出物については、manaba を用いてフィードバックする。
また次回の開始時に、前回の提出課題の出来栄えや間違いの多かった点等について解説を行う。
実技科目のため毎回の提出物で基準に満たないものを再提出してもらうこともある。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Excel を使った実習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC 教室での開講ですが、自分のパソコンを持参して取り組んでもかまいません。）

▌教科書

日本統計学会編『データアナリティクス基礎　日本統計学会公式認定　統計検定データサイエンス基礎対応』　日本能率協会マネジメントセンター　2024 年 5 月初版第 2 刷
実教出版企画開発部編『30 時間でマスター　Excel2021（Windows11 対応）』　実教出版　2022 年（前期科目「データサイエンスⅠ」の教科書）

▌参考書

木村幸子著　『Excel ピボットテーブル　データ集計・分析の「引き出し」が増える本』　翔泳社　2020 年初版第 5 刷

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：前期の復習 1** 授業内容：前期に学習したデータ入力と作表を復習し、応用の内容を確認する。 事前学修 2.0hr：『Excel2021』の 1〜5 章と前期に学修した内容を見直しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
2 回	**授業テーマ：前期の復習 2** 授業内容：前期に学習した相対参照と絶対参照の復習し、応用の内容を確認する。 事前学修 2.0hr：『Excel2021』の 1〜5 章と前期に学修した内容を見直しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
3 回	**授業テーマ：前期の復習 3** 授業内容：前期に学習した IF 関数を復習し、応用の内容を確認する。 事前学修 2.0hr：『Excel2021』の 4 章と前期に学修した内容を見直しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
4 回	**授業テーマ：前期の復習 4** 授業内容：前期に学習した集計とデータベースについて復習して、再度機能と使い方を確認する。 事前学修 2.0hr：『Excel2021』の 7 章と前期に学修した内容を見直しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
5 回	**授業テーマ：前期の復習 5** 授業内容：前期に学習したピボットテーブルに再度取り組んで確認する。 事前学修 2.0hr：『Excel2021』の 7 章の「データの集計」と前期に学修した内容を見直しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
6 回	**授業テーマ：前期の復習 6** 授業内容：前期に学習したグラフの復習と応用内容を確認する。 事前学修 2.0hr：『Excel2021』の 5〜6 章と前期に学修した内容を見直しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
7 回	**授業テーマ：6 回目までの振り返り（試験方式）** 授業内容：これまでに学習（復習）してきた内容を試験方式で復習する。 事前学修 2.0hr：今期の 1〜6 回に取り組んだ内容を見直しておく。 事後学修 2.0hr：全員の提出があった段階で模範解答を掲示するので、確認すること。
8 回	**授業テーマ：データの構造化とデータマネジメント** 授業内容：量的・質的変数の確認、欠損値処理などデータベースの基本的処理方法に取り組む。 事前学修 4.0hr：『データアナリティクス基礎』の 1 章を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
9 回	**授業テーマ：重点志向とパレート分析** 授業内容：重点志向とパレート分析の層別パレート分析を学習する。 事前学修 2.0hr：『データアナリティクス基礎』の 2 章を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。

10回	**授業テーマ：量的データの分析** 授業内容：基本統計量と変動係数に取り組む。 事前学修 2.0hr：『データアナリティクス基礎』の 4 章を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
11回	**授業テーマ：8〜10 回の復習と確認** 授業内容：8〜10 回の内容を復習し、確認する。 事前学修 2.0hr：『データアナリティクス基礎』の 1・2・4 章を見直しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
12回	**授業テーマ：相関と予測** 授業内容：量的データを用いて 2 変数の相関と予測(回帰分析)の方法を学習する。 事前学修 2.0hr：『データアナリティクス基礎』の 5 章を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
13回	**授業テーマ：時系列データの分析と 8〜12 回の復習と確認** 授業内容：時系列データ分析の計算方法を学習し、8〜12 回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：『データアナリティクス基礎』の 8 章を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
14回	**授業テーマ：8 回以降の振り返り(試験方式)** 授業内容：これまでに学習してきた内容を試験方式で復習する。 事前学修 4.0hr：『データアナリティクス基礎』の 1・2・4・5・8 章を復習する。 事後学修 2.0hr：全員の提出があった段階で模範解答を掲示するので、確認すること。
15回	**授業テーマ：インターネットでデータを探し、分析する** 授業内容：e-stat　もしくは　他のデータベースよりデータを検索し、分析してみる。 事前学修 4.0hr：manaba のコースコンテンツを確認する 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する

データサイエンスⅡ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後　｜　備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

高橋　奈佳（たかはし　なか）

▌授業の概要

前期開講科目「データサイエンスⅠ」において、表計算ソフト Excel の基礎的技術を学んだ。この科目はその続編として、データアナリティクスの基礎技術を修得する。
インターネットによる様々なデータの検索、質的データと量的データの基礎的分析について学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/3/4/5/6）

一般目標：表計算ソフト Excel によるデータアナリティクスの入門的技術を修得する。
個別目標：①インターネットによる様々なデータの検索とその利用ができるようになる。
②表計算ソフト Excel を用いて、質的データと量的データの基礎的な分析ができるようになる。

▌履修条件

「データサイエンスⅠ（高橋奈佳担当）」の単位を取得済、もしくは同等の Excel 基礎力があること（判定は個別に担当教員が行う）。
自宅にて　Excel（バージョンは問わない）を使えることが望ましい。
遅刻および早退 3 回で欠席 1 回、30 分以上の遅刻は欠席とみなす。
受講希望者が教室の席数を上回る場合は抽選とする。そのため 1 回目の授業には遅刻・欠席しないこと。

▌評価基準・方法

授業への取り組みや課題提出状況（20%）、中間課題と総合課題（80%）の合計点で評価する。
授業態度不良（教科書の未携行、遅刻、授業中の私語など）のときは適宜減点を行う。

▌フィードバック方法

それぞれの課題や提出物については、manaba を用いてフィードバックする。
また次回の開始時に、前回の提出課題の出来栄えや間違いの多かった点等について解説を行う。
実技科目のため毎回の提出物で基準に満たないものを再提出してもらうこともある。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Excel を使った実習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC 教室での開講ですが、自分のパソコンを持参して取り組んでもかまいません。）

▌教科書

日本統計学会編『データアナリティクス基礎　日本統計学会公式認定　統計検定データサイエンス基礎対応』　日本能率協会マネジメントセンター　2024 年 5 月初版第 2 刷
実教出版企画開発部編『30 時間でマスター　Excel2021（Windows11 対応）』　実教出版　2022 年（前期科目「データサイエンスⅠ」の教科書）

▌参考書

木村幸子著　『Excel ピボットテーブル　データ集計・分析の「引き出し」が増える本』　翔泳社　2020 年初版第 5 刷

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：前期の復習 1** 授業内容：前期に学習したデータ入力と作表を復習し、応用の内容を確認する。 事前学修 2.0hr：『Excel2021』の 1〜5 章と前期に学修した内容を見直しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
2 回	**授業テーマ：前期の復習 2** 授業内容：前期に学習した相対参照と絶対参照の復習し、応用の内容を確認する。 事前学修 2.0hr：『Excel2021』の 1〜5 章と前期に学修した内容を見直しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
3 回	**授業テーマ：前期の復習 3** 授業内容：前期に学習した IF 関数を復習し、応用の内容を確認する。 事前学修 2.0hr：『Excel2021』の 4 章と前期に学修した内容を見直しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
4 回	**授業テーマ：前期の復習 4** 授業内容：前期に学習した集計とデータベースについて復習して、再度機能と使い方を確認する。 事前学修 2.0hr：『Excel2021』の 7 章と前期に学修した内容を見直しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
5 回	**授業テーマ：前期の復習 5** 授業内容：前期に学習したピボットテーブルに再度取り組んで確認する。 事前学修 2.0hr：『Excel2021』の 7 章の「データの集計」と前期に学修した内容を見直しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
6 回	**授業テーマ：前期の復習 6** 授業内容：前期に学習したグラフの復習と応用内容を確認する。 事前学修 2.0hr：『Excel2021』の 5〜6 章と前期に学修した内容を見直しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
7 回	**授業テーマ：6 回目までの振り返り（試験方式）** 授業内容：これまでに学習（復習）してきた内容を試験方式で復習する。 事前学修 2.0hr：今期の 1〜6 回に取り組んだ内容を見直しておく。 事後学修 2.0hr：全員の提出があった段階で模範解答を掲示するので、確認すること。
8 回	**授業テーマ：データの構造化とデータマネジメント** 授業内容：量的・質的変数の確認、欠損値処理などデータベースの基本的処理方法に取り組む。 事前学修 4.0hr：『データアナリティクス基礎』の 1 章を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
9 回	**授業テーマ：重点志向とパレート分析** 授業内容：重点志向とパレート分析の層別パレート分析を学習する。 事前学修 2.0hr：『データアナリティクス基礎』の 2 章を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。

10回	**授業テーマ：量的データの分析** 授業内容：基本統計量と変動係数に取り組む。 事前学修 2.0hr：『データアナリティクス基礎』の 4 章を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
11回	**授業テーマ：8〜10 回の復習と確認** 授業内容：8〜10 回の内容を復習し、確認する。 事前学修 2.0hr：『データアナリティクス基礎』の 1・2・4 章を見直しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
12回	**授業テーマ：相関と予測** 授業内容：量的データを用いて 2 変数の相関と予測(回帰分析)の方法を学習する。 事前学修 2.0hr：『データアナリティクス基礎』の 5 章を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
13回	**授業テーマ：時系列データの分析と 8〜12 回の復習と確認** 授業内容：時系列データ分析の計算方法を学習し、8〜12 回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：『データアナリティクス基礎』の 8 章を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
14回	**授業テーマ：8 回以降の振り返り(試験方式)** 授業内容：これまでに学習してきた内容を試験方式で復習する。 事前学修 4.0hr：『データアナリティクス基礎』の 1・2・4・5・8 章を復習する。 事後学修 2.0hr：全員の提出があった段階で模範解答を掲示するので、確認すること。
15回	**授業テーマ：インターネットでデータを探し、分析する** 授業内容：e-stat　もしくは　他のデータベースよりデータを検索し、分析してみる。 事前学修 4.0hr：manaba のコースコンテンツを確認する 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する

データサイエンスⅡ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後　｜　備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

渡部　綾子（わたべ　あやこ）

▌授業の概要

本授業では、データサイエンス I に引き続き、エクセルを用いてデータ活用の意義や目的、基本的方法を学習します。
「データサイエンスって何？」という方でも大丈夫です。所属するモデルに関わらず、ぜひ履修して下さい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/3/4/5/6）

一般目標：データ活用の意義や目的を理解し、エクセルを用いて、表およびグラフ(棒、折れ線、円、散布図)の描画やソートなど、データの基本的操作ができるようになること。

個別目標：①データサイエンスにおいて必要な能力、進め方を理解する。
②データサイエンスにおけるデータ分析を Excel でおこない基本を身につける。

▌履修条件

・データサイエンス I を履修済みであること。
・パソコン(Excel 中心)を使って授業を行うので、授業に積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

提出物・小テスト(毎授業 70 %)とレポート(1 回 30 %)

▌フィードバック方法

提出物、小テストのフィードバックは学修支援システム manaba にておこなう。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （事前学修、事後学修において小テストをおこなう。 グループディスカッションをおこなう。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業はパソコン教室でおこなう。）

▌教科書

竹村彰通・姫野哲人・高田聖治(編)『データサイエンス入門』(第 3 版)学術図書出版社

▌参考書

日花ひろ子『Excel データ分析の教科書』SB Creative
『よくわかる Excel ではじめるデータ分析入門』富士通ラーニングメディア

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、データサイエンス I の振り返り** 授業内容：授業の進め方を説明する。データサイエンス I で学んだことを確認する。用語の小テストをおこなう。 事前学修 2.0hr：データサイエンス I の講義内容を確認しておく 事後学修 2.0hr：疑問点を調べる。用語を確認する。
2回	**授業テーマ：Excel の復習** 授業内容：データサイエンス I で学んだ関数を使った Excel の問題をおこなう。 事前学修 2.0hr：データサイエンス I の講義内容を確認しておく。 事後学修 2.0hr：できなかった問題を復習する。
3回	**授業テーマ：データ分析の基礎** 授業内容：ヒストグラム・箱ひげ図・平均値と分散について解説。各自コメントを manaba に提出する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。復習問題をやる。
4回	**授業テーマ：Excel のデータ分析の目的** 授業内容：データ分析にもとめられることを学習する　オープンデータの利用　データ分析の３ステップ(PPDAC サイクル)　統計データなど 事前学修 2.0hr：Excel の使い方を確認する。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、授業で使用した用語を調べる。
5回	**授業テーマ：データの代表値を知る** 授業内容：データの代表値(レンジ、平均値、中央値、最頻値など)を関数で求める。 事前学修 2.0hr：代表値(高校の復習)問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、授業で使用した関数を確認する。
6回	**授業テーマ：度数分布表とヒストグラム** 授業内容：度数分布表を関数で求めて、ヒストグラムを作成する。 事前学修 2.0hr：度数分布表、ヒストグラム(高校の復習)問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、授業で使用した関数を確認する。
7回	**授業テーマ：データのばらつきを知る** 授業内容：レンジ・標準偏差・四分位数とばらつきを求める。外れ値をみつける。 事前学修 2.0hr：レンジ等の(高校の復習)問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。復習問題をやる。
8回	**授業テーマ：データ分析で使うグラフ (1)** 授業内容：数量を比較するグラフ(棒グラフ)と変化を確認するグラフ(折れ線グラフ)を Excel で作成し、分析する。 事前学修 2.0hr：グラフの種類、役割を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。復習問題をやる。
9回	**授業テーマ：データ分析で使うグラフ (2)** 授業内容：内訳を比較するグラフ(積み上げ横棒グラフ、帯グラフ、円グラフ)を Excel で作成し、分析する。 事前学修 2.0hr：授業で使うグラフを調べておく。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。復習問題をやる。
10回	**授業テーマ：データ分析で使うグラフ (3)** 授業内容：全体像を把握するグラフ(ヒストグラム、箱ひげ図)を Excel で作成し、分析する。 事前学修 2.0hr：授業で使うグラフを調べておく。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。復習問題をやる。
11回	**授業テーマ：データ分析で使うグラフ (4)** 授業内容：全体像を把握するグラフ(散布図)を Excel で作成し、分析する。 事前学修 2.0hr：授業で使うグラフを調べておく。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。復習問題をやる。

12回	**授業テーマ：統計知識をデータ分析に利用する (1)** 授業内容：相関分析　相関係数　ジッタリングを Excel でおこなう。 事前学修 2.0hr：統計用語を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。
13回	**授業テーマ：統計知識をデータ分析に利用する (2)** 授業内容：データのばらつきを表す分散を求める。ピボットテーブルを作成する。 事前学修 2.0hr：統計用語を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。
14回	**授業テーマ：生成 AI を使用したデータ分析** 授業内容：生成 AI を活用して、結果をもとにアドバイスをもらいビジネス等に生かす。 事前学修 2.0hr：教科書の該当する箇所を熟読する。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
15回	**授業テーマ：まとめのレポート作成** 授業内容：データサイエンスの応用事例(マーケッティング・品質管理・金融・画像・音声・医学など)について、教科書を参考に Word でレポートを作成する。 事前学修 2.0hr：テーマをひとつ選び、レポートの内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを整理し、理解力を高める。

データサイエンスⅡ／情報処理入門Ⅱ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

渡部　綾子（わたべ　あやこ）

▌授業の概要

本授業では、データサイエンス I に引き続き、エクセルを用いてデータ活用の意義や目的、基本的方法を学習します。
「データサイエンスって何？」という方でも大丈夫です。所属するモデルに関わらず、ぜひ履修して下さい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/3/4/5/6、2020 年度以前入学生 4）

一般目標：データ活用の意義や目的を理解し、エクセルを用いて、表およびグラフ(棒、折れ線、円、散布図)の描画やソートなど、データの基本的操作ができるようになること。

個別目標：①データサイエンスにおいて必要な能力、進め方を理解する。
②データサイエンスにおけるデータ分析を Excel でおこない基本を身につける。

▌履修条件

・データサイエンス I を履修済みであること。
・パソコン(Excel 中心)を使って授業を行うので、授業に積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

提出物・小テスト(毎授業 70 %)とレポート(1 回 30 %)

▌フィードバック方法

提出物、小テストのフィードバックは学修支援システム manaba にておこなう。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （事前学修、事後学修において小テストをおこなう。 グループディスカッションをおこなう。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業はパソコン教室でおこなう。）

▌教科書

竹村彰通・姫野哲人・高田聖治(編)『データサイエンス入門』(第 3 版)学術図書出版社

▌参考書

日花ひろ子『Excel データ分析の教科書』SB Creative
『Excel ではじめるデータ分析入門』富士通ラーニングメディア

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス、データサイエンス I の振り返り** 授業内容：授業の進め方を説明する。データサイエンス I で学んだことを確認する。用語の小テストをおこなう。 事前学修 2.0hr：データサイエンス I の講義内容を確認しておく 事後学修 2.0hr：疑問点を調べる。用語を確認する。
2 回	**授業テーマ：Excel の復習** 授業内容：データサイエンス I で学んだ関数を使った Excel の問題をおこなう。 事前学修 2.0hr：データサイエンス I の講義内容を確認しておく。 事後学修 2.0hr：できなかった問題を復習する。
3 回	**授業テーマ：データ分析の基礎** 授業内容：ヒストグラム・箱ひげ図・平均値と分散について解説。各自コメントを manaba に提出する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読んでおく。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。復習問題をやる。
4 回	**授業テーマ：Excel のデータ分析の目的** 授業内容：データ分析にもとめられることを学習する　オープンデータの利用　データ分析の３ステップ(PPDAC サイクル)　統計データなど 事前学修 2.0hr：Excel の使い方を確認する。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、授業で使用した用語を調べる。
5 回	**授業テーマ：データの代表値を知る** 授業内容：データの代表値(レンジ、平均値、中央値、最頻値など)を関数で求める。 事前学修 2.0hr：代表値(高校の復習)問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、授業で使用した関数を確認する。
6 回	**授業テーマ：度数分布表とヒストグラム** 授業内容：度数分布表を関数で求めて、ヒストグラムを作成する。 事前学修 2.0hr：度数分布表、ヒストグラム(高校の復習)問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、授業で使用した関数を確認する。
7 回	**授業テーマ：データのばらつきを知る** 授業内容：レンジ・標準偏差・四分位数とばらつきを求める。外れ値をみつける。 事前学修 2.0hr：レンジ等の(高校の復習)問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。復習問題をやる。
8 回	**授業テーマ：データ分析で使うグラフ (1)** 授業内容：数量を比較するグラフ(棒グラフ)と変化を確認するグラフ(折れ線グラフ)を Excel で作成し、分析する。 事前学修 2.0hr：グラフの種類、役割を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。復習問題をやる。
9 回	**授業テーマ：データ分析で使うグラフ (2)** 授業内容：内訳を比較するグラフ(積み上げ横棒グラフ、帯グラフ、円グラフ)を Excel で作成し、分析する。 事前学修 2.0hr：授業で使うグラフを調べておく。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。復習問題をやる。
10 回	**授業テーマ：データ分析で使うグラフ (3)** 授業内容：全体像を把握するグラフ(ヒストグラム、箱ひげ図)を Excel で作成し、分析する。 事前学修 2.0hr：授業で使うグラフを調べておく。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。復習問題をやる。
11 回	**授業テーマ：データ分析で使うグラフ (4)** 授業内容：全体像を把握するグラフ(散布図)を Excel で作成し、分析する。 事前学修 2.0hr：授業で使うグラフを調べておく。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。復習問題をやる。

12回	**授業テーマ：統計知識をデータ分析に利用する (1)** 授業内容：相関分析　相関係数　ジッタリングを Excel でおこなう。 事前学修 2.0hr：統計用語を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。
13回	**授業テーマ：統計知識をデータ分析に利用する (2)** 授業内容：データのばらつきを表す分散を求める。ピボットテーブルを作成する。 事前学修 2.0hr：統計用語を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。
14回	**授業テーマ：生成 AI を使用したデータ分析** 授業内容：生成 AI を活用して、結果をもとにアドバイスをもらいビジネス等に生かす。 事前学修 2.0hr：教科書の該当する箇所を熟読する。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
15回	**授業テーマ：まとめのレポート作成** 授業内容：データサイエンスの応用事例(マーケッティング・品質管理・金融・画像・音声・医学など)について、教科書を参考に Word でレポートを作成する。 事前学修 2.0hr：テーマをひとつ選び、レポートの内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを整理し、理解力を高める。

海外研修 I

開講学科等：経　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

大石　隆介（おおいし　りゅうすけ）**・サマド　アブドス**

▌授業の概要

本学部にはいくつかの海外研修プログラムがあり、その 1 つに 1 週間程度の期間で、アジア諸国における経済活動（現地企業の活動や日本政府関連機関の現地での活動等）を視察するプログラムがある。本講義では、この海外研修プログラムに向けた事前学習を行う。
研修先国の社会や経済についての学修のほか、英語力の向上をはかり、企業訪問・大学間交流時にコミュニケーションをとれるようになる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5、2020 年度以前入学生 5）

一般目標：日本と異なるアジア諸国の経済・文化を理解し、国際的な視野を持てるようになる。
実際に日本企業がどのようにアジア諸国でビジネスを展開しているのかを見学し理解する。
大学間交流を通じ、日本の教育制度とアジアの教育制度の違いを理解する。
日常的な英会話を含む、国際的なコミュニケーション能力を高める。
個別目標：アジア諸国の経済・文化を理解し、国際的な視野を持てるようになる。
日本企業がどのようにアジア諸国でビジネスを展開しているのかを理解する。
大学間交流を通じ、日常的な英会話を含む、国際的なコミュニケーション能力を高める。

▌履修条件

講義終了後に実施する、海外研修に参加すること。
明海大学からの奨学金給付を受けるために必要な条件（GPA2.0 以上）を満たしていること。
初回授業の際に実施する個別面談で担当教員から履修の許可を得ること（履修希望者数が多すぎて研修の実施が困難になると担当教員が判断した場合は、履修者の選抜を行うことがあります）。

▌評価基準・方法

授業貢献度（60 %）：授業への参加や貢献度を評価する。
個別評価（40 %）：情報収集力・課題発見力・資料作成力・協調性・積極性を評価する。

▌フィードバック方法

各授業終了時に担当教員がフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特定のテキストは指定せず、必要に応じてプリント資料を配付する。

▌参考書

特に指定しない。プレゼンテーションの作成や英語力の向上のために必要であれば、適宜、授業内で紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス―海外研修先と学習内容、および評価基準の確認、個別面談** 授業内容：第 1 回授業はガイダンスとし、本科目の概要、評価基準、履修上の注意点等について確認する。 そして担当教員が履修者と個別面談を実施する。 事前学修 2.0hr：講義内容を確認する。また、成績表を用意すること。 事後学修 2.0hr：研修に参加するかどうか、検討すること。
2 回	**授業テーマ：アイスブレーキング** 授業内容：第 2 回授業では、グループワークを行うためのアイスブレーキングを行う。 事前学修 2.0hr：自分の性格や特技、将来の夢など、研修仲間に伝えたいことを考えてくること。 事後学修 2.0hr：研修仲間の名前や性格など、授業で知った内容を振り返ること。
3 回	**授業テーマ：グループビルディング** 授業内容：第 3 回授業では、グループワークを行うためのグループビルディングを行う。 事前学修 2.0hr：前回の授業で知った内容を、もう一度振り返ること。 事後学修 2.0hr：チームメンバーの名前や性格、およびチームでの作業方法について振り返ること。
4 回	**授業テーマ：研修先についての調査学習①国の地理・歴史** 授業内容：第 4 回授業では研修先についての調査学習①として、研修先の国の地理・歴史について学生たちが自身で調査した内容をクラス内で発表する。 事前学修 2.0hr：研修先の国の地理・歴史について自身で調査した内容を発表出来るように準備する。 事後学修 2.0hr：研修先の国の地理・歴史について自身で発表した内容、クラスメートが発表した内容を復習する。
5 回	**授業テーマ：研修先についての調査学習②国の経済・文化** 授業内容：第 5 回授業では研修先についての調査学習②として、研修先の国の経済・文化について学生たちが自身で調査した内容をクラス内で発表する。 事前学修 2.0hr：研修先の国の経済・文化について自身で調査した内容を発表出来るように準備する。 事後学修 2.0hr：研修先の国の経済・文化について自身で発表した内容、クラスメートが発表した内容を復習する。
6 回	**授業テーマ：研修先についての調査学習③訪問する政府機関・企業・大学①** 授業内容：第 6 回授業では研修先についての調査学習③として、訪問する政府機関・企業・大学①について学生たちが自身で調査した内容をクラス内で発表する。 事前学修 2.0hr：訪問する政府機関・企業・大学①について自身で調査した内容を発表出来るように準備する。 事後学修 2.0hr：訪問する政府機関・企業・大学①について自身で発表した内容、クラスメートが発表した内容を復習する。
7 回	**授業テーマ：研修先についての調査学習④訪問する政府機関・企業・大学①** 授業内容：第 7 回授業では研修先についての調査学習④として、調査学習③の内容をもとに訪問企業等で質問等をする準備を行う。 事前学修 2.0hr：調査学習③の内容をもとに訪問企業等で質問等をする準備を行い、授業内で発表出来るようにする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、復習する。
8 回	**授業テーマ：研修先についての調査学習⑤訪問する政府機関・企業・大学②** 授業内容：第 8 回授業では研修先についての調査学習⑤として、訪問する政府機関・企業・大学②について学生たちが自身で調査した内容をクラス内で発表する。 事前学修 2.0hr：訪問する政府機関・企業・大学②について自身で調査した内容を発表出来るように準備する。 事後学修 2.0hr：訪問する政府機関・企業・大学②について自身で発表した内容、クラスメートが発表した内容を復習する。

9回	**授業テーマ：研修先についての調査学習⑥訪問する政府機関・企業・大学②** 授業内容：第 9 回授業では研修先についての調査学習⑥として、調査学習⑤の内容をもとに訪問企業等で質問等をする準備を行う。 事前学修 2.0hr：調査学習⑤の内容をもとに訪問企業等で質問等をする準備を行い、授業内で発表出来るようにする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、復習する。
10回	**授業テーマ：研修先についての調査学習⑦訪問する政府機関・企業・大学③** 授業内容：第 10 回授業では研修先についての調査学習⑦として、訪問する政府機関・企業・大学③について学生たちが自身で調査した内容をクラス内で発表する。 事前学修 2.0hr：訪問する政府機関・企業・大学③について自身で調査した内容を発表出来るように準備する。 事後学修 2.0hr：訪問する政府機関・企業・大学③について自身で発表した内容、クラスメートが発表した内容を復習する。
11回	**授業テーマ：研修先についての調査学習⑧訪問する政府機関・企業・大学③** 授業内容：第 11 回授業では研修先についての調査学習⑧として、調査学習⑦の内容をもとに訪問企業等での質問等をする準備を行う。 事前学修 2.0hr：調査学習⑦の内容をもとに訪問企業等で質問等をする準備を行い、授業内で発表出来るようにする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、復習する。
12回	**授業テーマ：政府機関・企業・大学①に訪問する際の準備** 授業内容：第 12 回授業では政府機関・企業・大学①に訪問する際に質問等するためのリハーサルを行う。 事前学修 2.0hr：政府機関・企業・大学①に訪問する際に質問等するための練習をしておく。 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を復習する。
13回	**授業テーマ：政府機関・企業・大学②に訪問する際の準備** 授業内容：第 13 回授業では政府機関・企業・大学②に訪問する際に質問等するためのリハーサルを行う。 事前学修 2.0hr：政府機関・企業・大学②に訪問する際に質問等するための練習をしておく。 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を復習する。
14回	**授業テーマ：政府機関・企業・大学③に訪問する際の準備** 授業内容：第 14 回授業では政府機関・企業・大学③に訪問する際に質問等するためのリハーサルを行う。 事前学修 2.0hr：政府機関・企業・大学③に訪問する際に質問等するための練習をしておく。 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を復習する。
15回	**授業テーマ：目標設定・まとめ** 授業内容：第 15 回授業では本科目の内容を総括する。 事前学修 2.0hr：海外研修で達成したい目標を再度考える 事後学修 2.0hr：海外研修の到達目標を定め、決定する。

海外研修Ⅱ

開講学科等：経　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

大石　隆介（おおいし　りゅうすけ）**・サマド　アブドス**

▌授業の概要

本学部にはいくつかの海外研修プログラムがあり、その 1 つに 1 週間程度の期間で、アジア諸国における経済活動（現地企業の活動や日本政府関連機関の現地での活動等）を視察するプログラムがある。本講義では、この海外研修プログラムに向けた事前学習を行う。
研修先国の社会や経済についての学修のほか、英語力の向上をはかり、企業訪問・大学間交流時にコミュニケーションをとれるようになる。なお、原則として海外研修Ⅰと海外研修Ⅱの研修先は異なる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/4/5、2020 年度以前入学生 5）

一般目標：日本と異なるアジア諸国の経済・文化を理解し、国際的な視野を持てるようになる。
日本企業がどのようにアジア諸国でビジネスを展開しているのかを実際に見学し理解する。
大学間交流を通じ、日本の教育制度とアジアの教育制度の違いを理解する。
日常的な英会話を含む、国際的なコミュニケーション能力を高める。
個別目標：アジア諸国の経済・文化を理解し、国際的な視野を持てるようになる。
日本企業がどのようにアジア諸国でビジネスを展開しているのかを理解する。
大学間交流を通じ、日常的な英会話を含む、国際的なコミュニケーション能力を高める。

▌履修条件

講義終了後に実施する、海外研修に参加すること。
明海大学からの奨学金給付を受けるために必要な条件（GPA2.0 以上）を満たしていること。
初回授業の際に実施する個別面談で担当教員から履修の許可を得ること（履修希望者数が多すぎて研修の実施が困難になると担当教員が判断した場合は、履修者の選抜を行うことがあります）。

▌評価基準・方法

授業貢献度（60 %）：授業への参加や貢献度を評価する。
個別評価（40 %）：情報収集力・課題発見力・資料作成力・協調性・積極性を評価する。

▌フィードバック方法

各授業終了時に担当教員がフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特定のテキストは指定せず、必要に応じてプリント資料を配付する。

▌参考書

特に指定しない。プレゼンテーションの作成や英語力の向上のために必要であれば、適宜、授業内で紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス―海外研修先と学習内容、および評価基準の確認、個別面談** 授業内容：第 1 回授業はガイダンスとし、本科目の概要、評価基準、履修上の注意点等について確認する。 そして担当教員が履修者と個別面談を実施する。 事前学修 2.0hr：講義内容を確認する。また、成績表を用意すること。 事後学修 2.0hr：研修に参加するかどうか、検討すること。
2 回	**授業テーマ：海外研修への参加目的を考える** 授業内容：第 2 回授業では、海外研修の参加目的を考える。研修への参加意思を固めるため、研修で学んだ事が自身の将来にどのように役立つか考える。 事前学修 2.0hr：研修に参加する目的を、自己の将来との関係でしっかりと考えてくること。 事後学修 2.0hr：面接内容を振り返り、研修への参加意思をしっかりと固めること。
3 回	**授業テーマ：自己紹介とアイスブレーキング** 授業内容：第 3 回授業ではグループワークを行うため、各学生が自己紹介を行い、その後アイスブレーキングを行う。 事前学修 2.0hr：自分の性格や特技、将来の夢など、研修仲間に伝えたいことを考えてくること。 事後学修 2.0hr：研修仲間の名前や性格など、授業で知った内容を振り返ること。
4 回	**授業テーマ：グループビルディング** 授業内容：第 4 回授業ではグループワークを行うためのグループビルディングを行う。 事前学修 2.0hr：前回の授業で知った内容を、もう一度振り返ること。 事後学修 2.0hr：チームメンバーの名前や性格、およびチームでの作業方法について振り返ること。
5 回	**授業テーマ：研修先についての調査学習①国の地理・歴史** 授業内容：第 5 回授業では研修先についての調査学習①として、研修先の国の地理・歴史について学生たちが自身で調査した内容をクラス内で発表する。 事前学修 2.0hr：研修先の国の地理・歴史について自身で調査した内容を発表出来るように準備する。 事後学修 2.0hr：研修先の国の地理・歴史について自身で発表した内容、クラスメートが発表した内容を復習する。
6 回	**授業テーマ：研修先についての調査学習②訪問する政府機関・企業・大学①** 授業内容：第 6 回授業では研修先についての調査学習②として、訪問する政府機関・企業・大学①について学生たちが自身で調査した内容をクラス内で発表する。 事前学修 2.0hr：訪問する政府機関・企業・大学①について自身で調査した内容を発表出来るように準備する。 事後学修 2.0hr：訪問する政府機関・企業・大学①について自身で発表した内容、クラスメートが発表した内容を復習する。
7 回	**授業テーマ：研修先についての調査学習③訪問する政府機関・企業・大学①** 授業内容：第 7 回授業では研修先についての調査学習③として、調査学習②の内容をもとに訪問企業等での質問等をする準備を行う。 事前学修 2.0hr：調査学習②の内容をもとに訪問企業等で質問等をする準備を行い、授業内で発表出来るようにする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、復習する。
8 回	**授業テーマ：研修先についての調査学習④訪問する政府機関・企業・大学②** 授業内容：第 8 回授業では研修先についての調査学習④として、訪問する政府機関・企業・大学②について学生たちが自身で調査した内容をクラス内で発表する。 事前学修 2.0hr：訪問する政府機関・企業・大学②について自身で調査した内容を発表出来るように準備する。 事後学修 2.0hr：訪問する政府機関・企業・大学②について自身で発表した内容、クラスメートが発表した内容を復習する。

9回	**授業テーマ：研修先についての調査学習⑤訪問する政府機関・企業・大学②** 授業内容：第 9 回授業では研修先についての調査学習⑤として、調査学習④の内容をもとに訪問企業等での質問等をする準備を行う。 事前学修 2.0hr：調査学習④の内容をもとに訪問企業等で質問等をする準備を行い、授業内で発表出来るようにする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、復習する。
10回	**授業テーマ：研修先についての調査学習⑥訪問する政府機関・企業・大学③** 授業内容：第 10 回授業では研修先についての調査学習⑥として、訪問する政府機関・企業・大学③について学生たちが自身で調査した内容をクラス内で発表する。 事前学修 2.0hr：訪問する政府機関・企業・大学③について自身で調査した内容を発表出来るように準備する。 事後学修 2.0hr：訪問する政府機関・企業・大学③について自身で発表した内容、クラスメートが発表した内容を復習する。
11回	**授業テーマ：研修先についての調査学習⑦訪問する政府機関・企業・大学③** 授業内容：第 11 回授業では研修先についての調査学習⑦として、調査学習⑥の内容をもとに訪問企業等での質問等をする準備を行う。 事前学修 2.0hr：調査学習⑥の内容をもとに訪問企業等で質問等をする準備を行い、授業内で発表出来るようにする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、復習する。
12回	**授業テーマ：政府機関・企業・大学①に訪問する際の準備** 授業内容：第 12 回授業では政府機関・企業・大学①に訪問する際に質問等するためのリハーサルを行う。 事前学修 2.0hr：政府機関・企業・大学①に訪問する際に質問等するための練習をしておく。 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を復習する。
13回	**授業テーマ：政府機関・企業・大学②に訪問する際の準備** 授業内容：第 13 回授業では政府機関・企業・大学②に訪問する際に質問等するためのリハーサルを行う。 事前学修 2.0hr：政府機関・企業・大学②に訪問する際に質問等するための練習をしておく。 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を復習する。
14回	**授業テーマ：政府機関・企業・大学③に訪問する際の準備** 授業内容：第 13 回授業では政府機関・企業・大学③に訪問する際に質問等するためのリハーサルを行う。 事前学修 2.0hr：政府機関・企業・大学③に訪問する際に質問等するための練習をしておく。 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を復習する。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：第 15 回授業では本科目の内容を総括する。 事前学修 2.0hr：海外研修で達成したい目標を再度考える 事後学修 2.0hr：海外研修の到達目標を定め、決定する。

統計学Ⅰ

開講学科等：経　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

高橋　奈佳（たかはし　なか）

▌授業の概要

この科目では、統計学の基礎的な知識と能力としてデータ分析の手法により身近な問題に生かす力を身に付ける。具体的には身近にある様々なデータについて収集する術を知ることから、それを分類、集計、視覚化、特徴の把握を行い、そこから読み取れる情報を解釈することを学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/4/5、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：この科目を履修することによって、データの整理、統計量の計算・読み方・解釈、そして図表の作成ができるようになる。
個別目標：この科目では OdysseyCommunications のビジネス統計スペシャリスト・ベーシックのテキストを教科書として使用するので、受講する学生はこのビジネス検定の取得を目標に頑張ってみよう。

▌履修条件

1 年次必修科目である「学修の基礎Ⅲ B」で使用する教科書の Excel 部分を理解できていることを前提として授業を進めていく。
自宅にて MicrosoftExcel2010 以降（バージョンは問わない）を使用できる環境にあること。
受講希望者が教室の席数を上回る場合は抽選とする。このため、1 回目の授業には遅刻をせず必ず出席すること。

▌評価基準・方法

試験 70%、課題など科目への取り組み 30%の割合で総合的に評価する。ただし試験に替えてレポート提出とする場合がある。
なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、教科書不携帯、欠席や遅刻が多い、私語など教室内での態度がよろしくない場合は減点する。
30 分以上の遅刻は欠席とみなす。

▌フィードバック方法

それぞれの課題や提出物については、manaba を用いてフィードバックする。
また次回の開始時に、前回の提出課題の出来栄えや間違いの多かった点等について解説を行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Excel を使った実習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC 教室での開講ではあるが、自分のパソコンを持参して取り組んでもかまわない）

▌教科書

玄場公規、湊宣明、豊田裕貴著　『公式テキスト　ビジネス統計スペシャリスト　Excel 分析一般』Odyssey 社　2024 年 12 月初版（2024 年度まで使用していた教科書とは内容がかなり変わっている）

▌参考書

木村幸子著　『Excel ピボットテーブル　データ集計・分析の「引き出し」が増える本』　翔泳社　2020 年初版 5 刷
1 年次開講科目　「学修の基礎Ⅲ B」の教科書
後藤正幸著　『ビジネス統計のための基礎理論』　Odyssey communications 社　2023 年 2 月

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス・質的変数と量的変数** 授業内容：この科目の進め方を確認する。質的変数と量的変数について理解（2 年生以上は思い出し）する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んで、授業内容を確認する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
2 回	**授業テーマ：代表値の考え方と処理** 授業内容：代表値の計算方法を関数と分析ツールを使って実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所（第 1～第 5 章）予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
3 回	**授業テーマ：はずれ値の考え方と処理** 授業内容：はずれ値についての考え方を理解し、その方法を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所（第 6 章）を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
4 回	**授業テーマ：フィルターで数える** 授業内容：フィルター機能と関数を用いた度数の数え方を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する学習内容を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
5 回	**授業テーマ：絶対参照で数える** 授業内容：絶対参照・複合参照を用いた度数の数え方を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する内容を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
6 回	**授業テーマ：ピボットテーブルで数える** 授業内容：ピボットテーブルの機能を用いて度数の数え方を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する内容を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
7 回	**授業テーマ：度数分布表の考え方と処理** 授業内容：度数分布表はいかなるものかを理解し、その利用方法を実習・体得する。またそのための関数である FREQUENCY 関数を使いこなせるようにする。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所（第 7 章）、事前に提示する内容を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
8 回	**授業テーマ：ここまで学修の総括①（テスト方式）** 授業内容：量的・質的変数の違い、代表値の処理方法、度数分布の処理方法を確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所（第 1～7 章）、これまでの内容を復習する。 事後学修 2.0hr：時間後に提示する確認内容と自分の取り組みを整理し、内容を復習する。
9 回	**授業テーマ：標準化の考え方と処理** 授業内容：標準化の考え方を理解し、処理方法を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所（第 8 章）を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。

10回	**授業テーマ：移動平均の考え方と処理** 授業内容：移動平均について理解し、処理方法を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 9 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
11回	**授業テーマ：季節調整の考え方と処理** 授業内容：季節調整について理解し、処理方法を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 10 章)を復習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
12回	**授業テーマ：集計の考え方と処理** 授業内容：ピボットテーブルの機能を利用して、2 変数の関係性を理解する方法を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 11 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
13回	**授業テーマ：相関・散布図の考え方と処理** 授業内容：相関係数とそれを図(グラフ)の形で表示する散布図を用いて 2 変数の関係性を理解する方法を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 12・13 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
14回	**授業テーマ：これまでの学修の総括②(テスト方式)** 授業内容：これまでに学修した、標準化から散布図と相関の内容を確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 8〜13 章)を復習する。 事後学修 2.0hr：時間後に提示する確認内容と自分の取り組みを整理し、内容を復習する。
15回	**授業テーマ：回帰分析と最適化の考え方と処理** 授業内容：回帰分析と最適化の考え方を理解し、単回帰分析の処理方法を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 14・第 15 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。

統計学 I

開講学科等：経 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

廣部　恒忠 (ひろべ　つねただ)

▌授業の概要

現代では、データは金やダイヤモンドのように非常に高い価値を持っており、データを上手に活用することは社会人として求められる素養の一つとなっています。この授業では、統計学入門 1・2 に引き続き、データを活用するために必要な知識や方法について学びます。特に、統計学入門 2 に上乗せする形で回帰分析の初歩となる単回帰分析を学び、統計検定 3 級程度の内容を学習し終えます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/4/5、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：回帰分析について理解し、コンピューターを用いて回帰曲線を計算・描画できるようになること。
個別目標：回帰分析等に関し、その初歩および基礎を学修する。
　　初等的なプログラミング技術を習得する。
　　今後、中級レベル以上のデータサイエンスを学ぶために必要となる入門的な準備を行う。

▌履修条件

データサイエンス 1・2 を履修済みか、エクセルで簡単な表やグラフを描画できること。
データサイエンス 1・2 を未履修の場合は、データサイエンス I を同時履修することが望ましい。
※上記履修条件は、原則であるが、これについて何か質問等がある人は、必ず第 1 回目の授業に出席し、その旨、個人的に相談し、指導を受けること。

▌評価基準・方法

原則、学期末テスト、或いはプロジェクト 60 %、授業中の演習や課題などその他の項目（演習課題の提出、また、適宜、小テストなど）40 %として、総合評価します。なお、フィードバックを含め学修過程において、適宜、manaba システム等を利用します。

▌フィードバック方法

manaba 等を利用して課題などのフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業状況に応じて）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業全般で利用予定）

▌教科書

馬場真哉（2022）『Python で学ぶあたらしい統計学の教科書 第 2 版 (AI &TECHNOLOGY)』翔泳社

▌参考書

吉田雅裕（2023）『Python で学ぶはじめてのデータサイエンス』技術評論社
金明哲（2017）『R によるデータサイエンス (第 2 版):データ解析の基礎から最新手法まで』森北出版
白砂堤津耶（2015）『例題で学ぶ初歩からの統計学 (第 2 版)』日本評論社
村井潤一郎（2013）『はじめての R: ごく初歩の操作から統計解析の導入まで』北大路書房
浅野正彦 ほか（2018）『はじめての RStudio: エラーメッセージなんかこわくない』オーム社
緒賀郷志（2019）『R による心理・調査データ解析 第 2 版』東京図書
川端一光ほか（2018）『R による多変量解析入門 データ分析の実践と理論』オーム社
星野匡郎ほか（2023）『R による実証分析（第 2 版）』オーム社　など

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：第 1 部 統計学をはじめよう(1)およびガイダンス：講義内容の紹介、受講に際しての注意事項や成績評価方法の説明など** 授業内容：統計学(記述統計、推測統計)の話およびガイダンスほか 事前学修 2.0hr：シラバスやテキストの目次に目を通しておく。テキストを読んで、授業内容を確認する。 事後学修 2.0hr：配布プリントなどを復習する。
2 回	**授業テーマ：第 1 部 統計学をはじめよう（2）** 授業内容：なぜ記述統計が必要か 事前学修 2.0hr：テキストを読んで、授業内容を確認する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習等。
3 回	**授業テーマ：第 1 部 統計学をはじめよう(3)** 授業内容：なぜ推測統計が必要か 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキストなど該当箇所の予習。 事後学修 2.0hr：授業で指示したように、各自で復習する。
4 回	**授業テーマ：第 2 部 Python と Jupyter Notebook の基本(1)** 授業内容：コードエディタの準備・プログラム環境整備など 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキストなど該当箇所の予習。 事後学修 2.0hr：授業で指示したように、各自で復習する。
5 回	**授業テーマ：第 2 部 Python と Jupyter Notebook の基本(2)** 授業内容：Jupyter Notebook の基本 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキストなど該当箇所の予習。 事後学修 2.0hr：授業で指示したように、各自で作業および復習。
6 回	**授業テーマ：第 2 部 Python と Jupyter Notebook の基本(3)** 授業内容：Python プログラミング 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキストなど該当箇所の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
7 回	**授業テーマ：第 3 部 記述統計(1)** 授業内容：データの分類、数式の読み方、度数分布 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキストなど該当箇所等の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容などの復習、必要に応じて課題演習など。
8 回	**授業テーマ：第 3 部 記述統計(2)** 授業内容：1 変量データ、多変量データ 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキストなど該当箇所の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習など。

9回	**授業テーマ：第 3 部 記述統計(3)** 授業内容：層別分析、グラフ解析 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキストなど該当箇所の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
10回	**授業テーマ：第 4 部 確率と確率分布の基本(1)** 授業内容：確率論の基本、確率分布の基本 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキストなど該当箇所の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
11回	**授業テーマ：第 4 部 確率と確率分布の基本(2)** 授業内容：二項分布 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキストなど該当箇所の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
12回	**授業テーマ：第 4 部 確率と確率分布の基本(3)** 授業内容：正規分布 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキストなど該当箇所の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
13回	**授業テーマ：第 5 部 統計的推定(1)** 授業内容：統計的推測の考え方、母集団からの標本抽出シミュレーション 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキストなど該当箇所の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容などの復習、必要に応じて課題演習など。
14回	**授業テーマ：第 5 部 統計的推定(2)** 授業内容：母平均の推定、母分散の推定 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキストなど該当箇所の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
15回	**授業テーマ：第 5 部 統計的推定(3)** 授業内容：正規母集団から派生した確率分布、区間推定 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキストなど該当箇所の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習など。

統計学Ⅱ

開講学科等：経　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

高橋　奈佳（たかはし　なか）

▌授業の概要

この科目では、統計学の基礎的な知識と能力としてデータ分析の手法により身近な問題に生かす力を身に付ける。具体的には身近にある様々なデータについて収集する術を知ることから、それを分類、集計、視覚化、特徴の把握を行い、そこから読み取れる情報を解釈することを学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/4/5、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：この科目を履修することによって、データの整理、統計量の計算・読み方・解釈、そして図表の作成ができるようになる。
個別目標：この科目では OdysseyCommunications のビジネス統計スペシャリスト・エクセル分析スペシャリストのテキストを教科書として使用するので、受講する学生はこのビジネス検定の取得を目標に頑張ってみよう。

▌履修条件

「統計学Ⅰ」(髙橋奈佳担当)の単位を取得済みであること。
未取得の場合は履修確認課題を課し、履修可の判断を行う。
自宅にて MicrosoftExcel2010 以降(バージョンは問わない)を使用できる環境にあること。
受講希望者が教室の席数を上回る場合には抽選とする。このため、1 回目の授業には遅刻せず必ず出席をすること。

▌評価基準・方法

試験 70%、課題など科目への取り組み 30%の割合で総合的に評価する。ただし試験に替えてレポート提出とする場合がある。
なお、5 分の 4 以上の出席(もしくは毎回のレポート提出)を評価の前提条件とし、教科書不携帯、欠席や遅刻が多い、私語など教室内での態度がよろしくない場合は減点する。
30 分以上の遅刻は欠席とみなす。

▌フィードバック方法

それぞれの課題や提出物については、manaba を用いてフィードバックする。
また次回の開始時に、前回の提出課題の出来栄えや間違いの多かった点等について解説を行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Excel を使った実習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC 教室での開講ではあるが、自分のパソコンを持参して取り組んでもかまわない）

▌教科書

豊田裕貴著『Excel で学ぶ実践ビジネスデータの分析　ビジネス統計スペシャリスト・エクセル分析スペシャリスト対応』Odyssey 社

▌参考書

木村幸子著『Excel ピボットテーブル　データ集計・分析の「引き出し」が増える本』翔泳社　2020 年初版 5 刷
玄場公規、湊宣明、豊田裕貴著　『公式テキスト　ビジネス統計スペシャリスト　Excel 分析一般』Odyssey 社　2024 年 12 月初版(前期開講科目統計学Ⅰの教科書)
後藤正幸著　『ビジネス統計のための基礎理論』Odyssey_communications 社　2023 年初版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンスと財務関数の初歩** 授業内容：この科目の進め方について説明する。 教科書外の財務関数を用いて Excel を愉しむ。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んでおく。財務関数は、教員の配布資料を使う。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
2回	**授業テーマ：データの理解について(おさらいを兼ねて)** 授業内容：さまざまな形態のデータを確認し、データ数と予測精度の関係を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 1 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
3回	**授業テーマ：1 変量データのまとめ方** 授業内容：1 つの変数を容易に理解するためのグラフと代表値について確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 2・第 3 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
4回	**授業テーマ：2 変量データのまとめ方** 授業内容：2 つの変数の関係性を理解するためのグラフとクロス表について確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 4 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
5回	**授業テーマ：χ^2（かいじじょう)検定の考え方と処理** 授業内容：χ^2 検定は質的変数間の関係性を検定する大基本である。「検定」という考え方、利用方法と手順を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 5 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
6回	**授業テーマ：平均の比較とその検定についての考え方と処理(1)** 授業内容：量的変数間の関係性を検定するための「平均値の差の検定」には教科書で扱っている 3 種類が基本となる。その 3 種類を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 6 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
7回	**授業テーマ：平均の比較とその検定についての考え方と処理(2)** 授業内容：量的変数間の関係性を検定するための「平均値の差の検定」を教科書では扱っていない関数で計算する方法を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 6 章)、事前提示内容を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
8回	**授業テーマ：ここまでの総括 1(テスト方式)** 授業内容：ここまで学んできた内容を総括して復習する。 事前学修 2.0hr：これまでの内容を総復習する。 事後学修 2.0hr：時間後に提示する確認内容と自分の取り組みを整理し、内容を復習する。

9回	**授業テーマ：相関・回帰分析の考え方と処理** 授業内容：相関関係の検定についての方法を実習し、単回帰分析の方法を確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 7 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
10回	**授業テーマ：質的変数を結果にした回帰分析の考え方と処理** 授業内容：質的変数は量化して(ダミー変数)回帰分析に投入する。ここではダミー変数を用いての回帰分析を実習・体得する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 8 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
11回	**授業テーマ：重回帰分析の考え方と処理(1)** 授業内容：複数の原因系変数を用いて、量的変数を結果系変数として行う回帰分析を実習し、解釈方法を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 9 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
12回	**授業テーマ：重回帰分析の考え方と処理(2)** 授業内容：複数の原因系変数を用いて、質的変数を結果系変数として行う回帰分析を実習し、解釈方法を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 10 章)を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
13回	**授業テーマ：回帰分析の応用** 授業内容：回帰分析を教科書以外の利用法としていくつか紹介する。利用方法が変わればさまざまに応用できることを体得する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する内容を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
14回	**授業テーマ：次回総括での出題ポイントを概説する** 授業内容：この科目で取り組んだ仮説を検証するための全手法(χ^2 検定、平均値の差の検定、相関の検定、回帰分析)を再度レビューし、確認する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所(第 5〜10 章)を復習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
15回	**授業テーマ：これまでの学修の総括 2（テスト方式）** 授業内容：これまでに学修した仮説検証方法と回帰分析を確認する。 事前学修 2.0hr：これまでの授業内容(特に教科書 5 章以降)を総復習する。 事後学修 2.0hr：時間後に提示する確認内容と自分の取り組みを整理し、内容を復習する。

統計学Ⅱ

開講学科等：経　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

廣部　恒忠 (ひろべ　つねただ)

▌授業の概要

この授業では、統計学 1 に引き続き、データを活用するために必要な知識や方法を学びます。具体的には、統計検定 2 級の内容のうち推定や統計的仮説検定に関連するトピックを中心に学びます。計量経済学 1・2 と合わせると、統計検定 2 級程度の内容を学ぶことができます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/4/5、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：推定および統計的仮説検定の基礎的な理論を理解し、コンピュータ上で活用できるようになること。例えば、基礎的な確率計算、母集団と標本の関係の理解、標準正規分布や t 分布を利用した統計的仮説検定ができるようになること。

個別目標：「一般目標」に加え、AI を含む最新のデータ分析関連情報およびその理解のために必要な最低限必要な知識と技術の習得など。

▌履修条件

統計学入門 1 を履修済みであることが望ましい。

データサイエンス 1・2 を未履修の場合は、データサイエンス 2 を同時履修することが望ましい。

※上記履修条件は、原則であるが、これについて何か質問等がある人は、必ず第 1 回目の授業に出席し、その旨、個人的に相談し、指導を受けること。

▌評価基準・方法

原則、学期末テスト、或いはプロジェクト 60 %、授業中の演習や課題などその他の項目を 40 %として、総合評価します。

なお、フィードバックを含め学修過程において、適宜、manaba システム等を利用します。

▌フィードバック方法

manaba 等を利用して課題などのフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業状況に応じて）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業全般で利用予定）

▌教科書

馬場真哉(2022)『Python で学ぶあたらしい統計学の教科書 第 2 版 (AI &TECHNOLOGY)』翔泳社

▌参考書

吉田雅裕(2023)『Python で学ぶはじめてのデータサイエンス』技術評論社

データの分析と知識発見〔改訂版〕NHK 出版

金明哲(2017)『R によるデータサイエンス (第 2 版):データ解析の基礎から最新手法まで』森北出版

白砂堤津耶(2015)『例題で学ぶ初歩からの統計学 (第 2 版)』日本評論社

村井潤一郎(2013)『はじめての R: ごく初歩の操作から統計解析の導入まで』北大路書房

緒賀郷志(2019)『R による心理・調査データ解析 第 2 版』東京図書

川端一光ほか(2018)『R による多変量解析入門 データ分析の実践と理論』オーム社

星野匡郎ほか(2023)『R による実証分析(第 2 版)』オーム社　など

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：第 6 部 統計的仮説検定(1)およびガイダンス：講義内容の紹介、受講に際しての注意事項や成績評価方法の説明など** 授業内容：母平均に関する 1 標本の t 検定およびガイダンスほか 事前学修 2.0hr：シラバスやテキスト類の目次に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントなどを復習。
2 回	**授業テーマ：第 6 部 統計的仮説検定(2)** 授業内容：平均値の差の検定、分割表の検定 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキストなど該当箇所の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容に対応するテキストなど該当箇所の予習。
3 回	**授業テーマ：第 6 部 統計的仮説検定(3)** 授業内容：統計的仮説検定 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキストなど該当箇所の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容に対応するテキストなど該当箇所の予習。
4 回	**授業テーマ：第 7 部 統計モデルの基本(1)** 授業内容：統計モデル、線形モデル 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキストなど該当箇所の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
5 回	**授業テーマ：第 7 部 統計モデルの基本(2)** 授業内容：さまざまなモデル、パラメータ推定(その 1) 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキストなど該当箇所の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
6 回	**授業テーマ：第 7 部 統計モデルの基本(3)** 授業内容：パラメータ推定(その 2)、モデルの評価法ほか 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキストなど該当箇所の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習等。
7 回	**授業テーマ：第 8 部 正規線形モデル(1)** 授業内容：単回帰分析、残差評価ほか 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキストなど該当箇所の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習等。
8 回	**授業テーマ：第 8 部 正規線形モデル(2)** 授業内容：分散分析(その 1) 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキストなど該当箇所の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
9 回	**授業テーマ：第 8 部 正規線形モデル(3)** 授業内容：分散分析(その 1)、多変量モデルほか 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキストなど該当箇所の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習等。

10回	**授業テーマ：第 9 部 一般化線形モデル(1)** 授業内容：一般化線形モデル 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキストなど該当箇所の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習等。
11回	**授業テーマ：第 9 部 一般化線形モデル(2)** 授業内容：ロジスティック回帰モデル、一般化線形モデルの残差 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキストなど該当箇所の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
12回	**授業テーマ：第 9 部 一般化線形モデル(3)** 授業内容：ポアソン回帰モデル 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキストなど該当箇所の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習等。
13回	**授業テーマ：第 10 部 統計学と機械学習(1)** 授業内容：機械学習 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキストなど該当箇所の予習。。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習など。
14回	**授業テーマ：第 10 部 統計学と機械学習(2)** 授業内容：正則化技法(Ridge 回帰と Lasso 回帰(その 1)) 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキストなど該当箇所の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習等。
15回	**授業テーマ：第 10 部 統計学と機械学習(3)** 授業内容：Ridge 回帰と Lasso 回帰(その 2)、ニューラルネットワーク 事前学修 2.0hr：授業内容に対応するテキストなど該当箇所の予習。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習、課題演習など。

ビジネス英語Ⅰ

開講学科等：経 ｜ 2年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：前

大石　隆介（おおいし　りゅうすけ）**・サマド　アブドス**

▌授業の概要

As the world becomes more globalized, opportunities to work with people from different countries and demand for workers' English skills are increasing.
This course focuses on learning English content that is particularly useful in business situations.
The aim of this course is to prepare students to thrive in the global environment and emphasizes students to acquire listening and speaking skills in addition to reading and writing.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/4、2020 年度以前入学生 4）

一般目標：Acquire the English skills necessary to be successful in the global environment.
個別目標：Acquire practical skills in the four English skills (reading, writing, listening and speaking).

▌履修条件

It is preferable that students have earned credits in 英語Ⅰ-a、英語Ⅰ-b、英語Ⅱ-a、英語Ⅱ-b.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated via Homework (30%), In-class presentations (30%), and Final Examination (40%).

▌フィードバック方法

The lecturer gives verbal comments at each class and also provide feedback on Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Presentations and discussions ）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

English at work 2, Richard Shearn, Andrew Ferris, Greg Tackett. Cengage

▌参考書

English at work 1, Richard Shearn, Andrew Ferris, Greg Tackett. Cengage

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance** 授業内容：The 1st class will be a guidance session where students will be introduced to the outline and the in-class rules of the course. 事前学修 2.0hr：Check the syllabus and think about what you expect from this course. 事後学修 2.0hr：Review the guidance contents and prepare for the class starting the next week.
2回	**授業テーマ：Job Interviews: Describing Experience (Job Duties etc.) Unit 1 of the Textbook** 授業内容：In the 2nd class, we will cover sections 1 to 6 of Unit 1 of the textbook. 事前学修 2.0hr：Study unit 1 (the class content) of the textbook and prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review unit 1 (the class content) of the textbook.
3回	**授業テーマ：Job Interviews: Describing Experience (Job Interview etc.) Unit 1 of the Textbook** 授業内容：In the 3rd class, we will cover sections 7 to 12 of Unit 1 of the textbook. In addition, students will give the presentations in the class. 事前学修 2.0hr：Study unit 1 (the class content) of the textbook and prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review unit 1 (the class content) of the textbook.
4回	**授業テーマ：Socializing with Confidence: At Dinner (A Dinner Invitation etc.) Unit 2 of the Textbook** 授業内容：In the 4th class, we will cover sections 1 to 6 of Unit 2 of the textbook. In addition, students will give the presentations in the class. 事前学修 2.0hr：Study unit 2 (the class content) of the textbook and prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review unit 2 (the class content) of the textbook.
5回	**授業テーマ：Socializing with Confidence: At Dinner (Ordering Dinner etc.) Unit 2 of the Textbook** 授業内容：In the 5th class, we will cover sections 7 to 11 of Unit 2 of the textbook. In addition, students will give the presentations in the class. 事前学修 2.0hr：Study unit 2 (the class content) of the textbook and prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review unit 2 (the class content) of the textbook.
6回	**授業テーマ：Communicating on the Phone: Messages (Phone Terms etc.) Unit 3 of the Textbook** 授業内容：In the 6th class, we will cover sections 1 to 6 of Unit 3 of the textbook. In addition, students will give the presentations in the class. 事前学修 2.0hr：Study unit 3 (the class content) of the textbook and prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review unit 3 (the class content) of the textbook.
7回	**授業テーマ：Communicating on the Phone: Messages (A Phone Message etc.) Unit 3 of the Textbook** 授業内容：In the 7th class, we will cover sections 7 to 13 of Unit 3 of the textbook. In addition, students will give the presentations in the class. 事前学修 2.0hr：Study unit 3 (the class content) of the textbook and prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review unit 3 (the class content) of the textbook.
8回	**授業テーマ：Job Hunting: Companies (Job Advertisement etc.) Unit 4 of the Textbook** 授業内容：In the 8th class, we will cover sections 1 to 6 of Unit 4 of the textbook. In addition, students will give the presentations in the class. 事前学修 2.0hr：Study unit 4 (the class content) of the textbook and prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review unit 4 (the class content) of the textbook.
9回	**授業テーマ：Job Hunting: Companies (Applying for an Internship etc.) Unit 4 of the Textbook** 授業内容：In the 9th class, we will cover sections 7 to 10 of Unit 4 of the textbook. In addition, students will give the presentations in the class. 事前学修 2.0hr：Study unit 4 (the class content) of the textbook and prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review unit 4 (the class content) of the textbook.

10回	**授業テーマ：Business Writing: Quotations and Orders (Office Supplies etc.) Unit 5 of the Textbook** 授業内容：In the 10th class, we will cover sections 1 to 6 of Unit 5 of the textbook. In addition, students will give the presentations in the class. 事前学修 2.0hr：Study unit 5 (the class content) of the textbook and prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review unit 5 (the class content) of the textbook.
11回	**授業テーマ：Business Writing: Quotations and Orders (Ordering Stationery etc.) Unit 5 of the Textbook** 授業内容：In the 11th class, we will cover sections 7 to 12 of Unit 5 of the textbook. In addition, students will give the presentations in the class. 事前学修 2.0hr：Study unit 5 (the class content) of the textbook and prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review unit 5 (the class content) of the textbook.
12回	**授業テーマ：Powerful Presentations: Reporting the News (Presentations in Daily Life etc.) Unit 6 of the Textbook** 授業内容：In the 12th class, we will cover sections 1 to 6 of Unit 6 of the textbook. In addition, students will give the presentations in the class. 事前学修 2.0hr：Study unit 6 (the class content) of the textbook and prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review unit 6 (the class content) of the textbook.
13回	**授業テーマ：Powerful Presentations: Reporting the News (Court News etc.) Unit 6 of the Textbook** 授業内容：In the 13th class, we will cover sections 7 to 9 of Unit 6 of the textbook. In addition, students will give the presentations in the class. 事前学修 2.0hr：Study unit 6 (the class content) of the textbook and prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review unit 6 (the class content) of the textbook.
14回	**授業テーマ：The Exam (Listening)** 授業内容：The 14th lecture will be for the final exam (Listening). 事前学修 2.0hr：Review the class contents learned and prepare for the exam. 事後学修 2.0hr：Review the exam content.
15回	**授業テーマ：The Exam (Reading)** 授業内容：The 15th lecture will be for the final exam (Reading). 事前学修 2.0hr：Review the class contents learned and prepare for the exam. 事後学修 2.0hr：Review the exam content.

ビジネス英語Ⅱ

開講学科等：経 ｜ 2年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：後

大石　隆介（おおいし　りゅうすけ）**・サマド　アブドス**

▌授業の概要

The aim of this course is for students to acquire the English skills necessary to be active in a global environment.
This course will build on the content learned in ビジネス英語 I.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/4、2020 年度以前入学生 4）

一般目標：Acquire English skills that enables students to thrive in a global environment.
個別目標：Acquire English skills that is useful in business situations.

▌履修条件

It is preferable that students have earned a credit in ビジネス英語Ⅰ.
This course is conducted on an assumption that students have an understanding of the contents of ビジネス英語Ⅰ.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated via Homework (30%), In-class presentations (30%), and Final Examination Task (40%).

▌フィードバック方法

The lecturer gives verbal comments at each class and also provide feedback on Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Presentations and discussions）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

English at work 2, Richard Shearn, Andrew Ferris, Greg Tackett. Cengage

▌参考書

English at work 1, Richard Shearn, Andrew Ferris, Greg Tackett. Cengage

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Guidance** 授業内容：The 1st class will be a guidance session where students will be introduced to the outline and the in-class rules of the course. 事前学修 2.0hr：Check the syllabus and think about what you expect from this course. 事後学修 2.0hr：Review the guidance contents and prepare for the class starting the next week.
2回	**授業テーマ：Participating in a Meeting: In the Meeting (Opinions etc.) Unit 7 of the Textbook** 授業内容：In the 2nd class, we will cover sections 1 to 6 of Unit 7 of the textbook. In addition, students will give the presentations in the class. 事前学修 2.0hr：Study unit 7 (the class content) of the textbook and prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review unit 7 (the class content) of the textbook.
3回	**授業テーマ：Participating in a Meeting: In the Meeting (Meeting Minutes etc.) Unit 7 of the Textbook** 授業内容：In the 3rd class, we will cover sections 7 to 10 of Unit 7 of the textbook. In addition, students will give the presentations in the class. 事前学修 2.0hr：Study unit 7 (the class content) of the textbook and prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review unit 7 (the class content) of the textbook.
4回	**授業テーマ：Introducing Companies and Products: Company Information (Shopping List etc.) Unit 8 of the Textbook** 授業内容：In the 4th class, we will cover sections 1 to 6 of Unit 8 of the textbook. In addition, students will give the presentations in the class. 事前学修 2.0hr：Study unit 8 (the class content) of the textbook and prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review unit 8 (the class content) of the textbook.
5回	**授業テーマ：Introducing Companies and Products: Company Information (Business Report etc.) Unit 8 of the Textbook** 授業内容：In the 5th class, we will cover sections 7 to 10 of Unit 8 of the textbook. In addition, students will give the presentations in the class. 事前学修 2.0hr：Study unit 8 (the class content) of the textbook and prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review unit 8 (the class content) of the textbook.
6回	**授業テーマ：Negotiating for Success: Discussing Price (Discounts etc.) Unit 9 of the Textbook** 授業内容：In the 6th class, we will cover sections 1 to 6 of Unit 9 of the textbook. In addition, students will give the presentations in the class. 事前学修 2.0hr：Study unit 9 (the class content) of the textbook and prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review unit 9 (the class content) of the textbook.
7回	**授業テーマ：Negotiating for Success: Discussing Price (Types of Negotiator etc.) Unit 9 of the Textbook** 授業内容：In the 7th class, we will cover sections 7 to 10 of Unit 9 of the textbook. In addition, students will give the presentations in the class. 事前学修 2.0hr：Study unit 9 (the class content) of the textbook and prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review unit 9 (the class content) of the textbook.
8回	**授業テーマ：Traveling on Business: Flying (Flying etc.) Unit 10 of the Textbook** 授業内容：In the 8th class, we will cover sections 1 to 6 of Unit 10 of the textbook. In addition, students will give the presentations in the class. 事前学修 2.0hr：Study unit 10 (the class content) of the textbook and prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review unit 10 (the class content) of the textbook.
9回	**授業テーマ：Traveling on Business: Flying (Modals of Necessity etc.) Unit 10 of the Textbook** 授業内容：In the 9th class, we will cover sections 7 to 14 of Unit 10 of the textbook. In addition, students will give the presentations in the class. 事前学修 2.0hr：Study unit 10 (the class content) of the textbook and prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review unit 10 (the class content) of the textbook.
10回	**授業テーマ：Technology: Knowing Industries (Industries etc.) Unit 11 of the Textbook** 授業内容：In the 10th class, we will cover sections 1 to 6 of Unit 11 of the textbook. In addition, students will give the presentations in the class. 事前学修 2.0hr：Study unit 11 (the class content) of the textbook and prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review unit 11 (the class content) of the textbook.

11回	**授業テーマ：Technology: Knowing Industries (Industry Profile etc.) Unit 11 of the Textbook** 授業内容：In the 11th class, we will cover sections 7 to 10 of Unit 11 of the textbook. In addition, students will give the presentations in the class. 事前学修 2.0hr：Study unit 11 (the class content) of the textbook and prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review unit 11 (the class content) of the textbook.
12回	**授業テーマ：Solving Problems: Everyday Problems (Problems etc.) Unit 12 of the Textbook** 授業内容：In the 12th class, we will cover sections 1 to 6 of Unit 12 of the textbook. In addition, students will give the presentations in the class. 事前学修 2.0hr：Study unit 12 (the class content) of the textbook and prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review unit 12 (the class content) of the textbook.
13回	**授業テーマ：Solving Problems: Everyday Problems (Responding to a Complaint etc.) Unit 12 of the Textbook** 授業内容：In the 13th class, we will cover sections 7 to 8 of Unit 12 of the textbook. In addition, students will give the presentations in the class. 事前学修 2.0hr：Study unit 12 (the class content) of the textbook and prepare for the class. 事後学修 2.0hr：Review unit 12 (the class content) of the textbook.
14回	**授業テーマ：The Exam (Listening)** 授業内容：The 14th lecture will be for the final exam (Listening). 事前学修 2.0hr：Review the class contents learned and prepare for the exam. 事後学修 2.0hr：Review the exam content.
15回	**授業テーマ：The Exam (Reading)** 授業内容：The 15th lecture will be for the final exam (Reading). 事前学修 2.0hr：Review the class contents learned and prepare for the exam. 事後学修 2.0hr：Review the exam content.

税法総論

開講学科等：経　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前/後

工藤　克宜（くどう　かつのり）

▌授業の概要

この講義の目的は、社会人として必要な税及び税法に関する基礎的な知識の修得である。税は国や地方の財政基盤として経済社会の礎であり、税の仕組みや各税法の概要について学ぶことは極めて重要である。そこで、本講では、まず、税や税制の基礎知識と税法の基本的な考え方について学ぶ。これらを踏まえて、私たちの仕事に密接な税である所得税と会社などの法人の所得に課税される法人税の概要について学ぶ。次に、私たちの誰もが知っておくべき相続税及び贈与税の概要について学ぶ。最後に、個人・法人すべての経済取引に関わる生活に身近な税である消費税の概要について学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 3、2020 年度以前入学生経営コース 2）

一般目標：私たちの生活に身近な主な国税についての基礎的な仕組みや税法の基本的な考え方を修得するとともに、財政や税制のあり方について関心や理解を深め自分の意見を持つことができる。

個別目標：1　私たちの生活に身近な所得税、法人税、相続税、贈与税及び消費税の概要及び計算の仕組みについての基礎的な知識を修得し社会生活に役立てることができる。

2　税法の基本的な考え方や税制に関する理解が深まり税制のあり方について自ら考え自分の意見を持つことができるようになる。

▌履修条件

1　毎回のレジュメについて予め manaba のコンテンツ欄に載せておくので予習すること。

2　授業を真剣に受講し、毎回の課題を提出すること。

▌評価基準・方法

成績評価は、原則として、以下のウェイトを目安とする。

(1) 定期試験　：５０％

(2) 毎回の課題など授業への取組状況：５０％

▌フィードバック方法

授業の履修状況に関して必要なフィードバックやアドバイスは各回の授業及び manaba の「個別指導コレクション」により行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （税制や財政の在り方に関する授業の回において各自の意見を発表し意見交換を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回の授業を踏まえて PC 等を活用して manaba の課題等を作成する。）

▌教科書

毎回、manaba のコンテンツにレジュメを作成し搭載するとともに授業で配付するので教科書は特に指定はしない。

▌参考書

川田剛　著　「租税法入門」（二十訂版）（一般財団法人・大蔵財務協会）（新版が出た場合はその版）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス及び導入授業** 授業内容：当授業のガイダンスを実施するとともに、導入授業として税や税制のあり方と深く関わる日本の財政の現状及について確認し財政や税制が抱える課題について考え各自の意見を表明する。 事前学修 2.0hr：我が国の国家予算及び財政状況について自分なりに調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し課題を提出する。
2回	**授業テーマ：税の基礎知識Ⅰ** 授業内容：税の意義・性質・機能・租税原則等について理解するとともに、日本の税の体系等についての全体像をつかむ。 事前学修 2.0hr：事前に manaba に搭載するコンテンツを予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し課題を提出する。
3回	**授業テーマ：税法の基礎知識Ⅱ** 授業内容：第 2 回授業を踏まえ、税負担のあり方（負担の公平）について考えるとともに、税法の２つの基本原則（「租税法律主義」と「租税公平主義」）について理解する。 事前学修 2.0hr：事前に manaba に搭載するコンテンツを予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し課題を提出する。
4回	**授業テーマ：所得法Ⅰ** 授業内容：所得税の仕組みや特色など所得税の概要について学び、所得税の計算の基本について理解する。 事前学修 2.0hr：事前に manaba に搭載するコンテンツを予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し課題を提出する。
5回	**授業テーマ：所得税法Ⅱ** 授業内容：第 4 回授業を踏まえ、垂直的公平性に優れる所得税は、制度上、所得区分、所得金額の計算、各種の所得控除及び税額控除並びに税率構造（「超過累進税率」）など種々の配慮がなされている点について理解する。 事前学修 2.0hr：事前に manaba に搭載するコンテンツを予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し課題を提出する。
6回	**授業テーマ：所得税法Ⅲ** 授業内容：私たちに身近な「給与所得」に係る所得税の計算の仕組みについて理解する（具体的なケースについて計算する）。 事前学修 2.0hr：事前に manaba に搭載するコンテンツを予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し課題を提出する。
7回	**授業テーマ：法人税法Ⅰ** 授業内容：会社などの法人の所得に対して課税される法人税の概要と特色などについて学ぶとともに、企業会計との関係について理解する。 事前学修 2.0hr：事前に manaba に搭載するコンテンツを予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し課題を提出する。
8回	**授業テーマ：法人税法Ⅱ** 授業内容：第７回授業を踏まえ、法人税の計算の仕組みと申告・納付方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に manaba に搭載するコンテンツを予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し課題を提出する。
9回	**授業テーマ：相続税法Ⅰ** 授業内容：亡くなった人の財産（「遺産」）を相続する人（「相続人」）に対して課税される相続税の概要について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に manaba に搭載するコンテンツを予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し課題を提出する。

10回	**授業テーマ：相続税法Ⅱ** 授業内容：第 9 回授業を踏まえ、相続税の具体的な計算方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に manaba に搭載するコンテンツを予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し課題を提出する。
11回	**授業テーマ：相続税法Ⅲ（贈与税）** 授業内容：個人が資産を贈与した場合に資産を譲り受けた人（「受贈者」）に対して課税される贈与税の概要について学ぶとともに、相続税の課税方式とも関係について理解する。 事前学修 2.0hr：事前に manaba に搭載するコンテンツを予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し課題を提出する。
12回	**授業テーマ：消費税法Ⅰ** 授業内容：私たちの生活に身近な税である消費税の概要及びその使い道などについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に manaba に搭載するレジュメを予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し課題を提出する。
13回	**授業テーマ：消費税法Ⅱ** 授業内容：第 12 回授業を踏まえ、課税事業者の納付税額の計算の原則と特例について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に manaba に搭載するコンテンツを予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し課題を提出する。
14回	**授業テーマ：消費税法Ⅲ** 授業内容：第 12 回及び第 13 回授業を踏まえ、日本の消費税制度の特徴と問題点について理解し、今後の消費税制度のあり方について考える。 事前学修 2.0hr：事前に manaba に搭載するコンテンツを予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し課題を提出する。
15回	**授業テーマ：全体のまとめ** 授業内容：前回までの授業全体を総括し、日本の税制について各自の意見をまとめる。 事前学修 2.0hr：14 回目までの授業を復習するとともに、事前に manaba に搭載するコンテンツを予習する。 事後学修 3.0hr：授業で使用した資料等について十分復習し試験に臨むこと（試験は持込不可）。

国際経済学Ⅰ

開講学科等：経　｜　2年次　｜　2単位　｜　開講期：前

シャルチ　エンシエ

▌授業の概要

本講義では、国際経済の動きを把握するため、ヒト・モノ・カネの側面から基礎となる国際貿易の仕組みについて取り上げます。最初の数回では、世界経済史とグローバル化について学ぶことで世界の動きを理解し、後に理論面、実体面の両方の側面から見た貿易政策について詳しく取り上げていきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/4/5、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：基礎的な経済学の知識を用いながら、１ステップ上の経済学を学び、関連記事を読み解くことで、複雑に絡み合った世界経済の動きを理解する力を身に付ける。

個別目標：経済史を把握・理解する。
現代の経済動向を解説し、自分の考えを述べることができる。

▌履修条件

モデルを使った理論的な内容も多く含んでいるので、事前にミクロ経済学の復習をすること。

▌評価基準・方法

中間試験３０%、期末試験５０%、平常の授業への参加態度・取組状況２０%の割合で総合的に評価します。中間試験は第７回の講義中、期末試験は第１５回の講義中に行います。

上記の評価で単位取得が不安な生徒のために、レポートも設けます。レポートは、１０点満点として評価に加算します。

▌フィードバック方法

課題の確認及び提出や、そのフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。
必要に応じて対面授業でも補足説明をします。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （実体験を踏まえたグループディスカッションを行う時もあります。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

なし

▌参考書

講義の中で紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：講義概要と評価方法について** 授業内容：講義の進め方と、出席の取り方、評価方法等について説明します。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：次回以降に備えて参考書などを入手。
2回	**授業テーマ：世界経済小史** 授業内容：1920 年代から現在に至るまでの世界経済の歩みを辿っていきます。(前半) 事前学修 2.0hr：講義テーマに関連した本や新聞記事に目を通す。 事後学修 2.0hr：配布されたプリントに沿って復習し、関連記事や参考書を読んで知識を深める。
3回	**授業テーマ：世界経済の動き** 授業内容：1920 年代から現在に至るまでの世界経済の歩みを辿っていきます。(後半) 事前学修 2.0hr：講義テーマに関連した本や新聞記事に目を通す。 事後学修 2.0hr：配布されたプリントに沿って復習し、関連記事や参考書を読んで知識を深める。
4回	**授業テーマ：グローバル化の動き** 授業内容：モノ・ヒト・カネの側面からグローバル化の動きについてみていきます。 事前学修 2.0hr：講義テーマに関連した本や新聞記事に目を通す。 事後学修 2.0hr：配布されたプリントに沿って復習し、関連記事や参考書を読んで知識を深める。
5回	**授業テーマ：ミクロ経済学の復習** 授業内容：ミクロ経済で学ぶ需要・供給曲線と価格決定メカニズムの基礎を復習します。 事前学修 2.0hr：講義では時間に限りがあり、足早な説明となるので、自身でもミクロ経済学の復習をすること 事後学修 2.0hr：次回以降の講義でモデルを使うので、配布されたプリントに沿ってミクロ経済学を復習しておくこと。
6回	**授業テーマ：国際経済における貿易(国際分業)** 授業内容：自給自足経済から国際分業を推進する経済体制に移行するメリットとデメリットについて考えていきます。 事前学修 2.0hr：講義テーマに関連した本や新聞記事に目を通す。 事後学修 2.0hr：中間試験に備えて勉強する。
7回	**授業テーマ：中間試験　(これまでの講義内容の復習)** 授業内容：これまで学習した内容の復習として、記述式の試験を行います。 事前学修 3.0hr：中間試験に備えて勉強する。 事後学修 2.0hr：試験でわからなかった箇所を再度復習する。
8回	**授業テーマ：開放経済と自由貿易** 授業内容：自足経済と開放経済を需給曲線上に表し、その変化を見比べていきます。 事前学修 2.0hr：講義テーマに関連した本や新聞記事に目を通す。 事後学修 2.0hr：配布されたプリントに沿って復習し、関連記事や参考書を読んで知識を深める。
9回	**授業テーマ：貿易政策手段** 授業内容：様々な貿易政策手段を紹介し、違いと効果についてみていきます。 事前学修 2.0hr：講義テーマに関連した本や新聞記事に目を通す。 事後学修 2.0hr：配布されたプリントに沿って復習し、関連記事や参考書を読んで知識を深める。
10回	**授業テーマ：貿易政策(関税)** 授業内容：保護貿易政策の関税措置について需給曲線上に表し、その効果を詳しくみていきます。 事前学修 2.0hr：講義テーマに関連した本や新聞記事に目を通す。 事後学修 2.0hr：配布されたプリントに沿って復習し、関連記事や参考書を読んで知識を深める。
11回	**授業テーマ：貿易政策(保護貿易)** 授業内容：関税措置以外の保護貿易政策について紹介し、効果を見比べていきます。 事前学修 2.0hr：講義テーマに関連した本や新聞記事に目を通す。 事後学修 2.0hr：配布されたプリントに沿って復習し、関連記事や参考書を読んで知識を深める。

12回	**授業テーマ：貿易政策(数量制限)** 授業内容：保護貿易政策の輸入数量割当の効果を、関税措置と比較しながらみていきます。 事前学修 2.0hr：講義テーマに関連した本や新聞記事に目を通す。 事後学修 2.0hr：配布されたプリントに沿って復習し、関連記事や参考書を読んで知識を深める。
13回	**授業テーマ：グローバル化と国際貿易** 授業内容：グローバル化が進む中で、国際貿易がどのような役割を果たしているのか考え、 地域統合が行われる意義を囚人のジレンマというモデルを使ってみていきます。 事前学修 2.0hr：講義テーマに関連した本や新聞記事に目を通す。 事後学修 2.0hr：配布されたプリントに沿って復習し、関連記事や参考書を読んで知識を深める。
14回	**授業テーマ：講義内容の総復習１** 授業内容：前期の講義内容の総復習を行い、最終回に向けて新聞記事を使った学習をします。 事前学修 2.0hr：今学期の講義で学んだことを復習しておくこと。 事後学修 2.0hr：配布されたプリントに沿って復習し、関連記事や参考書を読んで最終回に備える。
15回	**授業テーマ：講義内容の総復習２** 授業内容：前期の後半で学習した内容の総復習として、記述式の問題を解きます。 事前学修 3.0hr：今学期の学習内容を復習する。 事後学修 2.0hr：今学期の講義内容に関する文献や参考書を読む。

国際経済学 I

開講学科等：経 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

中原　寛子 (なかはら　ひろこ)

▌授業の概要

本授業は、現代の国際経済に関する基礎理論と概念を体系的に学ぶ入門科目です。前半では、戦後から現在に至る世界経済の変遷をたどり、グローバル化の進展を概観します。後半では、国際貿易の基礎理論を中心に、各種の貿易政策や地域貿易協定の仕組みを学びます。 特徴として、アジアの産業構造や日本の外国人労働者受け入れなど、教員自身の現場調査に基づく事例を授業に取り入れます。これらを通じて、経済理論が現実社会でどのように生かされているかを共に考えていきます。図解や実例を使い、日々の国際経済ニュースを自ら読み解く基礎力を身につけることを目指します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/4/5、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：世界経済の変遷やグローバル化の流れを理解し、複雑な国際経済のニュースを自ら読み解く基礎力を身につける。

個別目標：・世界経済の変遷と、グローバル化の主要な流れを説明できる。
・比較優位、機会費用、要素賦存など、国際貿易に関する概念をイメージで理解する。
・関税・数量制限などの貿易政策のしくみと効果、地域貿易協定の役割を説明できる。
・国際経済の理論を、アジア・日本の身近な事例(外国人労働者・産業構造など)と関連づけて考えることができる。

▌履修条件

ミクロ経済学の基礎知識があると理解が深まりますが、授業内でも適宜復習しながら進めます。日頃からニュース等で国際経済の動向に関心を持つ姿勢を期待します。

▌評価基準・方法

期末試験 (60 %)、小テスト・リアクションペーパー (20 %)、授業への参加状況(ペアワーク等への積極性) (20 %) の割合で総合的に評価します。なお、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とします。

▌フィードバック方法

小テストやリアクションペーパーに対するフィードバックは、次回の授業内、または学修支援システム(manaba)を通じて行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業内で 2 ～ 3 名のペアワークや短い意見交換、グループディスカッションを取り入れます）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba を用いた資料閲覧や課題提出等）

▌教科書

特定のテキストは使用せず、資料を配布します。

▌参考書

授業内で適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の進め方、成績評価の方法、および参考書などについて説明します。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、授業全体の流れを把握する。 事後学修 2.0hr：次回以降に向けて、経済ニュースに触れる。
2 回	**授業テーマ：国際経済を学ぶ意義と世界経済の歩み①** 授業内容：国際経済が日常生活にどう関わるかを紹介し、戦後復興や GATT など世界経済の流れを概観します。 事前学修 2.0hr：関心を持った経済ニュースを 1 つ選ぶ。 事後学修 2.0hr：配布資料とノートを見直し、ポイントを整理する。
3 回	**授業テーマ：世界経済の歩み②：グローバル化の進展** 授業内容：1980 年代以降の貿易自由化や、モノ・ヒト・カネの移動といったグローバル化の基本を学びます。 事前学修 2.0hr：前回の内容を復習する。 事後学修 2.0hr：配布資料とノートを見直し、ポイントを整理する。
4 回	**授業テーマ：需要・供給と価格決定(ミクロ経済学の復習)** 授業内容：今後の理論を理解するために不可欠な、ミクロ経済学の基礎(需要と供給)を皆でゆっくり確認します。 事前学修 2.0hr：前回の内容を復習する。 事後学修 2.0hr：配布資料とノートを見直し、ミクロ経済の基礎を定着させる。
5 回	**授業テーマ：リカードの比較優位①：直感的理解** 授業内容：機会費用や絶対優位との違いを交えながら、比較優位の概念を直感的にイメージします。 事前学修 2.0hr：前回の内容を復習する。 事後学修 2.0hr：配布資料とノートを見直し、ポイントを整理する。
6 回	**授業テーマ：リカードの比較優位②：モデルの理解** 授業内容：2 国 2 財モデルを図や表を用いて理解し、簡単なペアワークで理解度を確認します。 事前学修 2.0hr：前回の内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内で解いたモデルの問題を再度自分で解き直す。
7 回	**授業テーマ：前半のまとめと理解度確認(小テスト等)** 授業内容：ここまでの内容の総復習を行い、簡単な小テストや質疑応答を通じて理解を深めます。 事前学修 2.0hr：第 1 回から第 6 回までの内容を総復習する。 事後学修 2.0hr：小テストで間違えた箇所を再度復習する。
8 回	**授業テーマ：ヘクシャー＝オリーンモデル** 授業内容：要素賦存と財の特性、労働・資本の比率に基づく貿易パターンについて紹介します。 事前学修 2.0hr：前回の内容を復習する。 事後学修 2.0hr：配布資料とノートを見直し、ポイントを整理する。
9 回	**授業テーマ：貿易政策①：関税の効果** 授業内容：関税の効果について、消費者余剰・生産者余剰などの観点から図で理解します。 事前学修 2.0hr：前回の内容を復習する。 事後学修 2.0hr：配布資料とノートを見直し、ポイントを整理する。
10 回	**授業テーマ：貿易政策②：非関税障壁(数量制限・補助金など)** 授業内容：数量制限など、関税以外の代表的な政策手段を比較し、実際の事例を紹介します。 事前学修 2.0hr：前回の内容を復習する。 事後学修 2.0hr：配布資料とノートを見直し、ポイントを整理する。

11回	**授業テーマ：地域貿易協定：FTA・EPA・関税同盟** 授業内容：RCEP や EU などを例に挙げ、地域統合の段階とその経済的効果について学びます。 事前学修 2.0hr：前回の内容を復習する。 事後学修 2.0hr：配布資料とノートを見直し、ポイントを整理する。
12回	**授業テーマ：国際経済と外国人労働者：日本の事例** 授業内容：日本の農業・製造などで外国人労働者が果たす役割を紹介し、国際労働移動について考えます。 事前学修 2.0hr：前回の内容を復習する。 事後学修 2.0hr：配布資料とノートを見直し、ポイントを整理する。
13回	**授業テーマ：ニュースを用いたディスカッション** 授業内容：これまでの学びを踏まえ、最新の新聞記事やニュースを題材としたグループディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：関連する経済ニュースに目を通しておく。 事後学修 2.0hr：ディスカッションでの意見を振り返り、自身の考えを深める。
14回	**授業テーマ：講義内容の総復習** 授業内容：これまでの講義内容全体の総復習を行い、試験に向けて新聞記事を使った学習をします。 事前学修 2.0hr：今学期の講義で学んだことを復習しておく。 事後学修 2.0hr：総復習でわからなかった箇所を再度確認し、試験に備える。
15回	**授業テーマ：最終試験** 授業内容：授業内で最終試験を実施し、最後に全体の簡単なまとめと解説を行います。 事前学修 2.0hr：最終試験に向けて総復習を行う。 事後学修 2.0hr：今学期の学修内容全体を振り返り、学習内容を体系的に整理する。

国際経済学Ⅱ

開講学科等：経　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

シャルチ　エンシエ

▌授業の概要

本講義では、国際経済の動きを把握するため、ヒト・モノ・カネの側面から基礎となる国際貿易の仕組みについて取り上げます。後期では国際貿易のモデルの復習も兼ねながら、国際貿易の知識を深めます。世界の様々な地域の実態など国際経済の展開を広い視点で見ていきたいと思います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/4/5、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：基礎的な経済学の知識を用いながら、１ステップ上の経済学を学び、関連記事を読み解くことで、複雑に絡み合った世界経済の動きを理解する力を身に付ける。

個別目標：経済史を把握・理解する。
現代の経済動向を解説し、自分の考えを述べることができる。

▌履修条件

モデルを使った理論的な内容も多く含んでいるので、事前にミクロ経済学の復習をすること。

▌評価基準・方法

中間試験３０%、期末試験５０%、平常の授業への参加態度・取組状況２０%の割合で総合的に評価します。中間試験は第７回の講義中、期末試験は第１５回の講義中に行います。

上記の評価で単位取得が不安な生徒のために、レポートも設けます。レポートは、１０点満点として評価に加算します。

▌フィードバック方法

課題の確認及び提出や、そのフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

必要に応じて対面授業でも補足説明をします。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （実体験を踏まえたグループディスカッションを行う時もあります。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

なし

▌参考書

講義の中で紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：講義概要と評価方法について** 授業内容：講義の進め方と、出席の取り方、評価方法等について説明します。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んでおく。 事後学修 2.0hr：次回以降の講義に備えて参考書などを入手。
2回	**授業テーマ：前期の復習(世界経済とグローバル化)** 授業内容：前期の復習として、1920 年代から現在に至るまでの世界経済の歩み、そしてモノ・ヒト・カネの側面からグローバル化の動きをみていきます。 事前学修 2.0hr：前期の配布プリントに加え、講義テーマに関連した本や新聞記事に目を通す。 事後学修 2.0hr：配布されたプリントに沿って復習し、関連記事や参考書を読んで知識を深める。
3回	**授業テーマ：前期の復習(国際貿易政策)** 授業内容：前期の復習として、国際貿易の要素を取り入れた需要・供給曲線と価格決定メカニズムを、モデルを使って表します。 事前学修 2.0hr：前期の配布プリントに加え、講義テーマに関連した本や新聞記事に目を通す。 事後学修 2.0hr：配布されたプリントに沿って復習し、関連記事や参考書を読んで知識を深める。
4回	**授業テーマ：リカード・モデル** 授業内容：リカードの国際分業について学習し、２国２財モデルを解いていきます。(前半) 事前学修 2.0hr：講義テーマに関連した本や新聞記事に目を通す。 事後学修 2.0hr：配布されたプリントに沿って復習し、関連記事や参考書を読んで知識を深める。
5回	**授業テーマ：リカード・モデル** 授業内容：リカードの国際分業について学習し、２国２財モデルを解いていきます。(後半) 事前学修 2.0hr：講義テーマに関連した本や新聞記事に目を通す。 事後学修 2.0hr：配布されたプリントに沿って復習し、関連記事や参考書を読んで知識を深める。
6回	**授業テーマ：国際経済の理論と実態** 授業内容：国際貿易が進む中で、理論で学んできたことと実態経済との比較をし、複雑な国際経済について考察していきます。 事前学修 2.0hr：講義テーマに関連した本や新聞記事に目を通す。 事後学修 2.0hr：配布されたプリントに沿って復習し、関連記事や参考書を読んで知識を深める。
7回	**授業テーマ：中間試験　(これまでの講義内容の復習)** 授業内容：これまで学習した内容の復習として、記述式の試験を行います。 事前学修 3.0hr：中間試験に備えて勉強する。 事後学修 2.0hr：試験でわからなかった箇所を再度復習する。
8回	**授業テーマ：現代国際経済** 授業内容：後期の前半では理論を中心に学習し、後半では各地域の経済状況をみていきます。 まず、いろいろな統計データを使って世界の経済状況を把握し、今後の課題について考察していきます。 事前学修 2.0hr：講義テーマに関連した本や新聞記事に目を通す。 事後学修 2.0hr：配布されたプリントに沿って復習し、関連記事や参考書を読んで知識を深める。
9回	**授業テーマ：先進国経済　(アメリカ)** 授業内容：アメリカ合衆国の経済史を辿りながら、その発展について言及し、統計データでその特質や課題についても考察していきます。 事前学修 2.0hr：講義テーマに関連した本や新聞記事に目を通す。 事後学修 2.0hr：配布されたプリントに沿って復習し、関連記事や参考書を読んで知識を深める。
10回	**授業テーマ：先進国経済(ヨーロッパ)** 授業内容：ヨーロッパの経済史を辿りながら、その発展について言及し、統計データでその特質や課題についても考察していきます。 事前学修 2.0hr：講義テーマに関連した本や新聞記事に目を通す。 事後学修 2.0hr：配布されたプリントに沿って復習し、関連記事や参考書を読んで知識を深める。

11回	**授業テーマ：発展途上国経済(アジア)** 授業内容：アジアの経済史を辿りながら、その発展について言及し、統計データでその特質や課題についても考察していきます。 事前学修 2.0hr：講義テーマに関連した本や新聞記事に目を通す。 事後学修 2.0hr：配布されたプリントに沿って復習し、関連記事や参考書を読んで知識を深める。
12回	**授業テーマ：発展途上国経済(その他の国々)** 授業内容：これまで取り上げてこなかった国・地域の経済史を辿りながら、その発展について言及し、統計データでその特質や課題についても考察していきます。 事前学修 2.0hr：講義テーマに関連した本や新聞記事に目を通す。 事後学修 2.0hr：配布されたプリントに沿って復習し、関連記事や参考書を読んで知識を深める。
13回	**授業テーマ：日本経済** 授業内容：日本の経済史を辿りながら、その発展について言及し、統計データでその特質や課題についても考察していきます。 事前学修 2.0hr：講義テーマに関連した本や新聞記事に目を通す。 事後学修 2.0hr：配布されたプリントに沿って復習し、関連記事や参考書を読んで知識を深める。
14回	**授業テーマ：講義内容の総復習１** 授業内容：後期の講義内容の総復習を行い、最終回に向けて新聞記事を使った学習をします。 事前学修 2.0hr：今学期の講義で学んだことを復習しておくこと。 事後学修 2.0hr：配布されたプリントに沿って復習し、関連記事や参考書を読んで最終回に備える。
15回	**授業テーマ：講義内容の総復習２** 授業内容：後期の後半で学習した内容の総復習として、記述式の問題を解きます。 事前学修 3.0hr：今学期の学習内容を復習する。 事後学修 2.0hr：今学期の講義内容に関する文献や参考書を読む。

国際経済学Ⅱ

開講学科等：経 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

中原　寛子 (なかはら　ひろこ)

▌授業の概要

本授業は、前期「国際経済学Ⅰ」で学んだ基礎理論を現実社会の動きに当てはめ、より実践的に理解を深める応用科目です。世界経済全体のデータを比較して構造変化を読み解くほか、多国籍企業の活動や国際労働移動の仕組みについても学んでいきます。 また、アジアの新興国や日本の地域産業における産業人材育成など、現実の事例も交えて授業を進めます。これらを通じて、経済理論が現実社会でどのように生かされているのかを共に考え、世界経済の動向を自ら読み解く基礎力を身につけます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/4/5、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：前期で学んだ基礎理論を応用し、世界各地域の経済構造や、企業・人の国際的な移動について、データと事例をもとに自らの言葉で説明できる。

個別目標：・アメリカ、ヨーロッパ、アジア等、主要な国・地域の経済構造と課題を説明できる。
・多国籍企業と国際生産ネットワーク(サプライチェーン)の仕組みを理解する。
・国際労働移動の要因と経済的影響について、理論と事例の両面からイメージできる。
・新興国の産業発展や人的資本形成のプロセスを、具体的な事例から説明できる。

▌履修条件

「国際経済学Ⅰ」を履修済み、または同等の基礎知識があることが望ましいが、授業内でも適宜復習しながら進めます。日頃から国際経済のニュースに関心を持つ姿勢を期待します。

▌評価基準・方法

期末試験 (60 %)、小テスト・リアクションペーパー (20 %)、授業への参加状況(ペアワーク等への積極性) (20 %) の割合で総合的に評価します。なお、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とします。

▌フィードバック方法

小テストやリアクションペーパーに対するフィードバックは、次回の授業内、または学修支援システム(manaba)を通じて行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業内で 2 ～ 3 名のペアワークや短い意見交換、データを用いた簡単な演習を取り入れます）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba を用いた資料閲覧や課題提出等）

▌教科書

特定のテキストは使用せず、資料を配布します。

▌参考書

授業内で適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：前期の概念を簡単に復習し、後期で扱う「地域」「企業」「人材」という視点を提示します。また、世界銀行などのデータ読解の基本に触れます。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、後期の授業全体の流れを把握する。 事後学修 2.0hr：ガイダンス内容を復習する。
2 回	**授業テーマ：先進国経済①：アメリカ経済** 授業内容：アメリカの経済史、技術革新、産業構造の変化、および貿易ネットワークを概観します。 事前学修 2.0hr：前回の内容を復習し、関連する経済ニュースに目を通す。 事後学修 2.0hr：配布資料とノートを見直し、ポイントを整理する。
3 回	**授業テーマ：先進国経済②：ヨーロッパ経済と EU** 授業内容：単一市場・通貨統合の特徴や、ブレグジット後の課題などについて理解を深めます。 事前学修 2.0hr：前回の内容を復習し、関連する経済ニュースに目を通す。 事後学修 2.0hr：配布資料とノートを見直し、ポイントを整理する。
4 回	**授業テーマ：東アジア経済：東アジアの発展モデル** 授業内容：東アジア特有の発展モデルや、製造業の強み、サプライチェーンの形成について学びます。 事前学修 2.0hr：前回の内容を復習し、関連する経済ニュースに目を通す。 事後学修 2.0hr：配布資料とノートを見直し、ポイントを整理する。
5 回	**授業テーマ：ASEAN・新興国の成長と課題** 授業内容：ASEAN 経済共同体(AEC)や、新興国の産業政策、労働力構造の変化を扱います。 事前学修 2.0hr：前回の内容を復習し、関連する経済ニュースに目を通す。 事後学修 2.0hr：配布資料とノートを見直し、ポイントを整理する。
6 回	**授業テーマ：南アジア・アフリカ：開発課題と成長可能性** 授業内容：人的資本やインフラなどの課題を取り上げ、新興地域の今後の成長可能性を検討します。 事前学修 2.0hr：前回の内容を復習し、関連する経済ニュースに目を通す。 事後学修 2.0hr：配布資料とノートを見直し、ポイントを整理する。
7 回	**授業テーマ：前半のまとめと理解度確認(小テスト等)** 授業内容：各地域経済についての総復習を行い、簡単な小テストや質疑応答を通じて理解を深めます。 事前学修 2.0hr：1 回から第 6 回までの内容を総復習する。 事後学修 2.0hr：小テストで間違えた箇所を再度復習する。
8 回	**授業テーマ：外国直接投資(FDI)の基礎** 授業内容：企業が海外進出する理由や、外国直接投資(FDI)の仕組みなど、国際生産の基礎を学びます。 事前学修 2.0hr：前回の内容を復習し、関連する経済ニュースに目を通す。 事後学修 2.0hr：配布資料とノートを見直し、ポイントを整理する。
9 回	**授業テーマ：多国籍企業②：アジアのサプライチェーン** 授業内容：アジアにおける製造業ネットワークや、現場事例を用いた日本企業・外資企業の役割を紹介します。 事前学修 2.0hr：前回の内容を復習し、関連する経済ニュースに目を通す。 事後学修 2.0hr：配布資料とノートを見直し、ポイントを整理する。

10回	**授業テーマ：国際労働移動と経済①：基礎理論** 授業内容：人々が国境を越えて移動する要因や、人材移動の経済効果(頭脳流出と頭脳循環など)を理解します。 事前学修 2.0hr：前回の内容を復習し、関連する経済ニュースに目を通す。 事後学修 2.0hr：配布資料とノートを見直し、ポイントを整理する。
11回	**授業テーマ：国際労働移動と経済②：日本の事例** 授業内容：技能実習・特定技能などの制度や、産業別(農業・製造・介護)の特徴を具体例から解説します。 事前学修 2.0hr：前回の内容を復習し、関連する経済ニュースに目を通す。 事後学修 2.0hr：配布資料とノートを見直し、ポイントを整理する。
12回	**授業テーマ：新興国の産業人材育成：ベトナムの事例** 授業内容：教員の現場調査の知見をもとに、企業内教育や技術移転のプロセスを具体的な事例を用いて説明します。 事前学修 2.0hr：前回の内容を復習し、関連する経済ニュースに目を通す。 事後学修 2.0hr：配布資料とノートを見直し、ポイントを整理する。
13回	**授業テーマ：日本の地域産業と人材不足** 授業内容：農業や地域中小企業における人材不足問題と国際労働移動を、これまでの理論と結びつけて考えます。 事前学修 2.0hr：前回の内容を復習し、関連する経済ニュースに目を通す。 事後学修 2.0hr：配布資料とノートを見直し、ポイントを整理する。
14回	**授業テーマ：後期の総復習とディスカッション** 授業内容：総復習を行うとともに、関連する最新ニュースを題材とした短い意見交換を行います。 事前学修 2.0hr：今学期の講義で学んだことを復習しておく。 事後学修 2.0hr：総復習でわからなかった箇所を再度確認し、試験に備える。
15回	**授業テーマ：最終試験とまとめ** 授業内容：授業内で最終試験を実施し、最後に全体の簡単なまとめと解説を行います。 事前学修 2.0hr：最終試験に向けて総復習を行う。 事後学修 2.0hr：今学期の学習内容全体を振り返り、学習内容を体系的に整理する。

日本経済論Ⅰ

開講学科等：経　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

田浦　元 (たうら　げん)

▌授業の概要

私達が暮らしている日本経済は、どのような特徴を持っているのでしょうか。また、日本経済には現在どのような問題があり、その問題はどのように解決されるべきでしょうか。この授業ではこれらの点について、ミクロ経済学、マクロ経済学の理論と、データ分析の手法を中心に接近してゆきます。なお、この授業では各自の関心に従って事例研究を行なってもらい、その成果をレポートにまとめ授業内で発表してもらいます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/5、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：日本経済の特徴や日本経済の抱えている諸問題について、ミクロ経済学、マクロ経済学の理論とデータ分析の手法を用いて分析することができる。

個別目標：1. 日本経済の諸問題について、経済理論(ミクロ経済理論、マクロ経済学)に基づいて説明できる。
2. 日本経済の諸問題について、データ分析の手法を用いて分析することができる。
3. その分析結果を授業内発表会で発表できる。

▌履修条件

ミクロ経済学およびマクロ経済学の基礎的な理論(1 年次の「経済学概論Ⅰ・Ⅱ」レベル程度)を理解していること。また、Excel の基礎的な操作ができること。自身で行なった事例研究の成果を人前で発表できること。「日本経済論Ⅱ」と合わせて履修することが望ましい。履修定員のある科目であるので、第 1 回授業で履修者の選考を行なう。履修を希望する学生は第 1 回授業に必ず出席すること。

▌評価基準・方法

成績評価は、学期試験(授業最終週実施予定) 50 %、レポート課題および授業内発表会での発表 50 %の割合で評価する。5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、翌回の講義の中で行なうことを基本とする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （各自の関心に従いデータ分析を行ないレポート課題を作成し、発表する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC 教室で実施、あるいは、ノートパソコンの持参が望ましい。）

▌教科書

上藤一郎・田浦元他『調査と分析のための統計 社会・経済のデータサイエンス(第 2 版)』(丸善出版、2013 年)
飯田幸裕・岩田幸訓『入門経済学(第 4 版)』(創成社、2018 年)

▌参考書

授業内で適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：日本経済論とは。日本経済論を学ぶ意義。 事前学修 1.0hr：教科書をざっと眺めておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、教科書の該当箇所を読む。
2 回	**授業テーマ：日本経済と経済理論 (1)　需要と供給** 授業内容：需要、供給についての基礎理論を学ぶ。日本経済における事例を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。
3 回	**授業テーマ：日本経済と経済理論 (2)　消費者と需要関数** 授業内容：需要関数、限界効用関数についての基礎理論を学ぶ。日本経済における事例を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。
4 回	**授業テーマ：日本経済と経済理論 (3)　生産者と供給関数** 授業内容：供給関数についての基礎理論を学ぶ。日本経済における事例を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。
5 回	**授業テーマ：日本経済と経済理論 (4)　生産者と費用関数** 授業内容：平均費用関数、限界費用関数についての基礎理論を学ぶ。日本経済における事例を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。
6 回	**授業テーマ：データでみる日本経済 (1)　データ分析の基礎** 授業内容：データ分析の基礎的な手法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。
7 回	**授業テーマ：データでみる日本経済 (2)　国土** 授業内容：日本経済の特徴について、理論とデータを用いて実践的に学ぶ。各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なう。 事前学修 1.0hr：教科書の該当箇所を読む。各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なう。 事後学修 3.0hr：各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なう。
8 回	**授業テーマ：データでみる日本経済 (3)　人口** 授業内容：日本経済の特徴について、理論とデータを用いて実践的に学ぶ。各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なう。 事前学修 1.0hr：教科書の該当箇所を読む。各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なう。 事後学修 3.0hr：各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なう。
9 回	**授業テーマ：データでみる日本経済 (4)　産業** 授業内容：日本経済の特徴について、理論とデータを用いて実践的に学ぶ。各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なう。 事前学修 1.0hr：教科書の該当箇所を読む。各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なう。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。
10 回	**授業テーマ：事例研究 (1)　レポート課題の提出** 授業内容：各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なう。授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成し、提出する。 事前学修 3.0hr：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。 事後学修 1.0hr：レポート課題の発表の準備をする。

11回	**授業テーマ：事例研究 (2)　研究成果の発表 (1)：A グループ** 授業内容：各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なう。研究成果(レポート課題の内容)を発表する。 事前学修 3.0hr：レポート課題の発表の準備をする。 事後学修 1.0hr：レポート課題の発表の準備をする。
12回	**授業テーマ：事例研究 (3)　研究成果の発表 (2)：B グループ** 授業内容：各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なう。研究成果(レポート課題の内容)を発表する。 事前学修 3.0hr：レポート課題の発表の準備をする。 事後学修 1.0hr：レポート課題の発表の準備をする。
13回	**授業テーマ：事例研究 (4)　研究成果の発表 (3)：C グループ** 授業内容：各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なう。研究成果(レポート課題の内容)を発表する。 事前学修 3.0hr：レポート課題の発表の準備をする。 事後学修 1.0hr：レポート課題の発表の準備をする。
14回	**授業テーマ：事例研究 (5)　研究成果発表の振り返り** 授業内容：各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なった研究成果発表の振り返りを行なう。 事前学修 2.0hr：研究成果発表について、振り返りを行なう。 事後学修 2.0hr：研究成果発表について、振り返りを行なう。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：学期の復習とまとめを行なう。 事前学修 2.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。

日本経済論Ⅱ

開講学科等：経 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

田浦　元 (たうら　げん)

▌授業の概要

私達が暮らしている日本経済は、どのように形造られ、どのような特徴を持っているのでしょうか。また、日本経済には現在どのような問題があり、その問題はどのように解決されるべきでしょうか。この授業ではこれらの点について、「日本経済論Ⅰ」に引き続き、ミクロ経済学、マクロ経済学の理論と、データ分析の手法を中心に接近してゆきます。なお、この授業では各自の関心に従ってデータを用いた事例研究を行なってもらい、その成果をレポートにまとめ授業内で発表してもらいます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/5、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：日本経済の特徴や日本経済の抱えている諸問題について、ミクロ経済学、マクロ経済学の理論とデータ分析の手法を用いて分析することができる。また、そのような特徴を持つに至った歴史的背景について考察できる。

個別目標：1. 日本経済の諸問題について、経済理論(ミクロ経済理論、マクロ経済学)に基づいて説明できる。
2. このような日本経済が形成された歴史的背景について考察できる。
3. 日本経済の諸問題について、データ分析の手法を用いて分析することができる。
4. その分析結果を授業内発表会で発表できる.
3. 日本経済の直面している諸問題について、ミクロ経済学、マクロ経済学、データ分析の手法を用いて分析することができる。

▌履修条件

「日本経済論Ⅰ(田浦)」を修得済みであること。ミクロ経済学およびマクロ経済学の基礎的な理論を理解していること。Excel の基礎的な操作ができること。自身で行なった事例研究の成果を人前で発表できること。履修定員のある科目であるので、第 1 回授業で履修者の選考を行なう。履修を希望する学生は第 1 回授業に必ず出席すること。

▌評価基準・方法

成績評価は、学期試験(授業最終週実施予定) 50 %、レポート課題および授業内発表会での発表 50 %の割合で評価する。5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、翌回の講義の中で行なうことを基本とする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （各自の関心に従いデータ分析を行ないレポート課題を作成し、発表する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC 教室で実施、あるいは、ノートパソコンの持参が望ましい。）

▌教科書

上藤一郎・田浦元他『調査と分析のための統計 社会・経済のデータサイエンス(第 2 版)』(丸善出版、2013 年)
飯田幸裕・岩田幸訓『入門経済学(第 4 版)』(創成社、2018 年)

▌参考書

授業内で適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：日本経済論とは。日本経済論を学ぶ意義。 事前学修 1.0hr：教科書をざっと眺めておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、教科書の該当箇所を読む。
2 回	**授業テーマ：データでみる日本経済 (1)　データ分析の基礎** 授業内容：データ分析の基礎的な手法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。
3 回	**授業テーマ：データでみる日本経済 (2)　産業構造と歴史的変遷** 授業内容：日本経済の特徴について、データを用いて学ぶ。産業構造の変遷について学ぶ。各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なう。 事前学修 2.0hr：各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なう。 事後学修 2.0hr：各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なう。
4 回	**授業テーマ：データでみる日本経済 (3)　農業** 授業内容：日本経済の特徴について、データを用いて学ぶ。農業について各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なう。 事前学修 2.0hr：各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なう。 事後学修 2.0hr：各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なう。
5 回	**授業テーマ：データでみる日本経済 (4)　製造業** 授業内容：日本経済の特徴について、データを用いて学ぶ。製造業について各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なう。 事前学修 2.0hr：各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なう。 事後学修 2.0hr：各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なう。
6 回	**授業テーマ：データでみる日本経済 (5)　流通・商業** 授業内容：日本経済の特徴について、データを用いて学ぶ。流通・商業について各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なう。 事前学修 2.0hr：各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なう。 事後学修 2.0hr：各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なう。
7 回	**授業テーマ：データでみる日本経済 (6)　サービス業** 授業内容：日本経済の特徴について、データを用いて学ぶ。サービス業について各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なう。 事前学修 2.0hr：各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なう。 事後学修 2.0hr：各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なう。
8 回	**授業テーマ：事例研究 (1)　レポート課題の作成** 授業内容：各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なう。授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。 事前学修 2.0hr：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。
9 回	**授業テーマ：事例研究 (2)　レポート課題の提出** 授業内容：各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なう。授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成し、提出する。 事前学修 3.0hr：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。 事後学修 1.0hr：レポート課題の発表の準備をする。

10回	**授業テーマ：事例研究 (3)　研究成果の発表 (1)：A グループ** 授業内容：各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なう。研究成果(レポート課題の内容)を発表する。 事前学修 3.0hr：レポート課題の発表の準備をする。 事後学修 1.0hr：レポート課題の発表の準備をする。
11回	**授業テーマ：事例研究 (4)　研究成果の発表 (2)：B グループ** 授業内容：各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なう。研究成果(レポート課題の内容)を発表する。 事前学修 3.0hr：レポート課題の発表の準備をする。 事後学修 1.0hr：レポート課題の発表の準備をする。
12回	**授業テーマ：事例研究 (5)　研究成果の発表 (3)：C グループ** 授業内容：各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なう。研究成果(レポート課題の内容)を発表する。 事前学修 3.0hr：レポート課題の発表の準備をする。 事後学修 1.0hr：レポート課題の発表の準備をする。
13回	**授業テーマ：事例研究 (6)　研究成果の発表 (4)：D グループ** 授業内容：各自の関心に沿って日本経済に関する研究を行なう。研究成果(レポート課題の内容)を発表する。 事前学修 3.0hr：レポート課題の発表の準備をする。 事後学修 1.0hr：レポート課題の発表の準備をする。
14回	**授業テーマ：事例研究 (7)　研究成果発表の振り返り** 授業内容：研究成果(レポート課題の内容)発表の振り返りをする。 事前学修 1.0hr：研究成果発表について、振り返りを行なう。 事後学修 3.0hr：研究成果発表について、振り返りを行なう。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：学期の復習とまとめを行なう。 事前学修 2.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。

社会保障論Ⅰ

開講学科等：経　｜　2年次　｜　2単位　｜　開講期：前

下田　直樹（しもだ　なおき）

▌授業の概要

社会保障や福祉というと、弱者救済と思いがちであるが、そうではない。「弱者」と呼ばれる特定の階層が最初から存在するわけでもない。現代は、誰もが時と場合によっては「弱者」となる可能性をもった社会である。社会保障とはそうした万が一の事態に対応するセーフティ・ネット(安全網)である。実際、先進工業諸国の社会保障は、すべての国民を対象として、「ゆりかごから墓場まで」の一生涯の生活の安定を保障している。また、発展途上国も社会保障を整えつつある。この社会保障論Ⅰは、社会保障とは何かを理解し、その歴史や現代の経済社会における役割や機能について理解することを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 6、2020 年度以前入学生経済コース 1）

一般目標：　社会保障とは何かを理解できる。また、その歴史的な生成はもちろん、その必然性や現代の市場経済社会における社会保障・福祉の役割・機能について理解し、自分のこととして引き付けて考えることができる。

個別目標：　社会保障がどのような意味で個人や社会にとって重要なのかを理解し、他人に論理的に説明することができる。社会保障を支える考え方を理解し、社会保障がどのようなケースに対応する仕組みなのかを考えることができる。

▌履修条件

Ⅰでは特に定めない。

▌評価基準・方法

前期の定期試験中に実施する試験の成績を基本とし(60 %)、これに授業中に行う確認小テスト及び宿題等の提出状況の点数を加えて(40 %)、総合的に評価する。

▌フィードバック方法

宿題(課題)等へのフィードバックは、都度、次回の対面授業内で行い、優秀なものは内容を披露・紹介する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり　（重要テーマごとに適宜、グループ(チーム)等をつくらせ、話し合わせてプレゼン(発表)させる）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり　（事前に manaba のコースコンテンツにアップした授業資料を各自、見ながら、授業に参加）

▌教科書

特定の教科書は使用しない、毎回、事前に manaba に穴埋めを中心とした授業資料をアップし、その資料を使って授業を行う。

▌参考書

香取照幸著『教養としての社会保障』東洋経済新報社 ほか。授業中に必要に応じて案内・紹介する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：開講にあたっての諸説明 (ガイダンス)** 授業内容：半年間の社会保障論Ⅰの授業テーマと授業方法、進行方法についてガイダンスを行う。 事前学修 2.0hr：社会保障や福祉で、どんなことに興味・関心があるか、希望等をまとめ、manaba の「レポート」から前日までに提出する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返る。自分自身が関心ある社会保障問題についてネットで調べる。
2回	**授業テーマ：不安の時代におけるセーフティ・ネットの課題** 授業内容：私たちが暮らす市場経済は、社会全体に豊かさをもたらした反面、様々な理由で働けなくなると、生存すら脅かされる経済社会である。グローバル化が進むと、人々の不安感は一層、高まる。不安の時代に求められるセーフティ・ネットについて説明する。 事前学修 2.0hr：今日の市場経済社会が直面する問題について、manaba の授業資料で事前に閲覧・学修しておく。 事後学修 2.0hr：manaba の授業資料あるいは授業中に配付したプリントをもとに、授業内容を復習する(次回の授業で提出)
3回	**授業テーマ：セーフティ・ネットの必要性と役割** 授業内容：セーフティ・ネットはいろいろな場面で使われるが、主には社会保障制度のことを指す。これが現代の市場経済に必要とされている理由と、社会的に果たしている役割について解説する。 事前学修 2.0hr：セーフティ・ネットの意味について、manaba の授業資料で事前に閲覧・学修しておく。 事後学修 2.0hr：manaba の授業資料あるいはプリントをもとに、授業内容を復習する。次回の小テストに備える。
4回	**授業テーマ：資本主義(市場経済)の発展と社会保障の歴史** 授業内容：社会保障の制度は、資本主義(市場経済)の発展とともに生成・発展してきた。資本主義は私たちの社会に豊かさをもたらした反面、疾病やケガで働けなくなった際には、私たちに生存すら脅かす。そこで社会保障制度がつくられるが、その歴史的な発展の様子を解説する。 事前学修 2.0hr：社会保障の歴史について、manaba の授業資料で事前に閲覧・学修しておく。 事後学修 2.0hr：manaba の授業資料あるいはプリントをもとに、授業内容を復習する。宿題に答える。
5回	**授業テーマ：社会保障の生成―社会保険の登場** 授業内容：社会保障制度は、社会保険という方法を中心にして、万が一の際の生活危機を防止し、安全な生活を保障する。近代につくられた「保険」の仕組みを社会保険は応用しているが、それはどういうことか。これについて、皆さんと検討する。 事前学修 2.0hr：社会保険についてネット等で調べ、かつ、manaba の授業資料で事前に閲覧・学修しておく。 事後学修 2.0hr：manaba の授業資料あるいはプリントをもとに、授業内容を復習する。宿題に答える。
6回	**授業テーマ：救貧法と公的扶助及び小テスト** 授業内容：社会保障制度は、社会保険を中心にしながら、公的扶助も取り入れ、社会福祉も配置している。公的扶助は救貧法にルーツを持つが、両者の違いは生存権保障に基づく権利か否かである。この公的扶助の意味について明らかにする。 事前学修 2.0hr：救貧法について、manaba の授業資料で事前に閲覧・学修しておく。 事後学修 2.0hr：manaba の授業資料あるいはプリントをもとに、授業内容を復習する。宿題に答える。
7回	**授業テーマ：大恐慌とアメリカ社会保障法の成立** 授業内容：社会保障という言葉は、1929 年からの大恐慌時のアメリカで生まれた。社会主義的な生活への干渉を意味する社会保障という言葉がなぜ自由の国・アメリカで誕生したのか。その謎と理由に迫る(グループワークあり)。 事前学修 2.0hr：アメリカの大恐慌について、、manaba の授業資料で事前に閲覧・学修しておく。また、小テストのため、総復習をしておく。 事後学修 2.0hr：manaba の授業資料あるいはプリントをもとに、授業内容を復習する。
8回	**授業テーマ：福祉国家の成立** 授業内容：第二次世界大戦後、西側の資本主義諸国はほぼ例外なく「福祉国家」に生まれ変わった。それはなぜであろうか。その理由について明らかにする。 事前学修 2.0hr：福祉国家についてネット等で調べ、かつ、manaba の授業資料で事前に閲覧・学修しておく。 事後学修 2.0hr：manaba の授業資料あるいはをもとに、授業内容を復習する。宿題に答える。

9回	**授業テーマ：福祉国家のいわゆる「危機」とは何か** 授業内容：第二次大戦後、「福祉国家」として再生した西側資本主義国家は、高度な経済成長と共に、理想的な「福祉国家」を創り上げた。しかし、1970 年代後半から、経済成長の低下と相まって、「福祉国家」の危機が言われるようになった。その現状と解決法について、皆さんと一緒に考える。 事前学修 2.0hr：福祉国家の問題点について、manaba の授業資料で事前に閲覧・学修しておく。 事後学修 2.0hr：manaba の授業資料あるいはプリントをもとに、授業内容を復習する。
10回	**授業テーマ：世代間扶養と公的年金の意義** 授業内容：社会保障制度の一つ、公的年金は、社会的な世代間扶養として、高齢者を貧困から守ってきた。しかし、近年の経済の低成長や少子高齢化で、この仕組みの維持が困難になってきた。その現状と解決法について考える。 事前学修 2.0hr：公的年金について、manaba の授業資料で事前に閲覧・学修しておく。 事後学修 2.0hr：manaba の授業資料あるいはプリントをもとに、授業内容を復習する。宿題に答える。
11回	**授業テーマ：医療保障の意義と課題** 授業内容：社会保障制度の一つ、医療保障制度は、疾病やケガの際に安価な医療サービスを保障し、死亡率の低下や長寿化に貢献してきた。特に「国民皆保険」の日本は、世界的に見ても優れた医療システムを持つ国と賞賛されてきた。しかし、近年の少子高齢化や慢性疾患等の増加は医療費を膨張させた。これからの医療について皆さんと一緒に考える（グループワークあり）。 事前学修 2.0hr：医療保険についてネット等で調べ、かつ、manaba の授業資料で事前に閲覧・学修しておく。 事後学修 2.0hr：manaba の授業資料あるいはプリントをもとに、授業内容を復習する。小テストのため、総復習をしておく
12回	**授業テーマ：労働・雇用の変容と失業・雇用保険** 授業内容：1990 年代以降、グローバル化の進展とともに、非正規雇用が激増し、現在では 37 %にも達している。かつて日本は低失業、正規雇用社会と言われてきたが、大きく様変わりしたといえる。このような事態に、雇用保険は対応できるのか。この問題について考える。 事前学修 2.0hr：雇用保険について、、manaba の授業資料で事前に閲覧・学修しておく。 事後学修 2.0hr：manaba の授業資料あるいはプリントをもとに、授業内容を復習する。宿題に答える。
13回	**授業テーマ：労働災害の補償** 授業内容：いまなお労働災害は形を変えて頑強に存在している。昔は炭鉱や工場が中心であったが、現在では IT 化に伴う身体不良や、パワハラ、あるいは長時間労働による精神面の労災も増加している。労災補償はこれに対応できるのか。これを皆さんと一緒に考える。 事前学修 2.0hr：労働災害について、manaba の授業資料で事前に閲覧・学修しておく。 事後学修 2.0hr：manaba の授業資料あるいはプリントをもとに、授業内容を復習する。
14回	**授業テーマ：公的扶助＝生活保護の役割** 授業内容：公的扶助（日本でいう）生活保護は、社会保障制度の一つであるとともに、最後の拠り所である。しかし、生活保護受給者は往々にして白い目で見られ、本人のスティグマ（恥ずかしさ）を感じている場合が少なくない。これでよいのか。これについて皆さんと一緒に考える。 事前学修 2.0hr：生活保護について、manaba の授業資料で事前に閲覧・学修しておく。 事後学修 2.0hr：manaba の授業資料あるいはプリントをもとに、授業内容を復習する。
15回	**授業テーマ：前期のまとめ** 授業内容：前期の学修内容と皆さんの発表内容をまとめ、解説と講評を行う。「まとめプリント」も配付する。 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料をもとに、これまでの授業内容を再確認しておく。 事後学修 2.0hr：試験に向けて、まとめプリントをもとに前期の総復習をする。

社会保障論Ⅱ

開講学科等：経　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

下田　直樹（しもだ　なおき）

▌授業の概要

社会保障はすべての国民・住民を対象として、「ゆりかごから墓場まで」の一生涯にわたる生活の安定を保障するセーフティ・ネット（安全網）である。しかし近年、少子・高齢化の進展や家族や地域の変容、働き方や価値観の変化によって社会保障・福祉へのニーズは高まる一方、財源問題は深刻化している。この社会保障論Ⅱは、Ⅰで学んだ社会保障・福祉の知識をベースに、現在の世界や日本の社会保障が抱える問題や改革の現状と課題を、私たちの「暮らし」の観点から点検・検証し、今後の社会保障のあるべき姿を考えていきたい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 6、2020 年度以前入学生経済コース 1）

一般目標：　現在、社会保障が直面している諸課題を、自らの生活等に引き付けて理解することができる。また、その解決のための方法を具体的に考えることができる。

個別目標：　社会保障の制度全般に関して、その概要と課題を理解し、他人に説明することができる。社会保障に関する新聞報道やニュース等に常に目を通し、社会保障の改革について自分なりの意見を持って、他人と議論することができる。

▌履修条件

できるだけ社会保障論Ⅰを履修済みであることが望ましい。

▌評価基準・方法

試験期間中に行う定期テストの点数を基本とし（60 %）、これに授業中に行う小テスト及び課題等の提出状況の点数を加えて（40 %）、総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題等へのフィードバックは、都度、次回の対面授業内で行い、優秀なものは内容を披露・紹介する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり　（重要テーマごとに適宜、グループ（チーム）等をつくらせ、話し合わせてプレゼン（発表）させる）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり　（事前に manaba のコースコンテンツにアップした授業資料を各自、見ながら、授業に参加）

▌教科書

特定の教科書は使用しない、毎回、事前に manaba に穴埋めを中心とした授業資料をアップし、その資料を使って授業を行う。

▌参考書

香取照幸著『教養としての社会保障』東洋経済新報社、ほか、授業中に必要に応じて案内・紹介する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：前期の復習と後期の説明** 授業内容：前期の社会保障論Ⅰでの学修内容を確認・復習するとともに、後期の授業内容と進め方等についてガイダンスを行う。 事前学修 1.5hr：社会保障制度の中で関心のある制度についてまとめ、授業日の前日までに manaba の「レポート」から提出する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、重要な事柄を再度、整理し書き留めておく。
2回	**授業テーマ：高齢化を巡る虚実** 授業内容：今後の高齢化については、不安なことばかりが喧伝されることが多い。しかし、本来。高齢化・長寿化は慶賀すべき現象である。高齢化が不安要素として語られるのは、それに社会の仕組みが対応できていないからである。その視点から、高齢化問題を検討する。 事前学修 2.0hr：人口高齢化の現状について、manaba の授業資料で事前に閲覧・学修しておく。 事後学修 2.0hr：manaba の授業資料あるいは授業中配付のプリントをもとに、授業内容を復習する。
3回	**授業テーマ：超高齢社会の諸問題と対応** 授業内容：日本だけでなく、多くの先進諸国は、「高齢社会」から「超高齢社会」へと変化する。それに対して社会保障制度はどう対応するか。いろいろな国の経験を検討する（グループワークあり）。 事前学修 2.0hr：高齢化の問題についてネット等で調べ、かつ manaba の授業資料で事前に閲覧・学修しておく。 事後学修 2.0hr：manaba の授業資料あるいはプリントをもとに、授業内容を復習する。次回の小テストに備える。
4回	**授業テーマ：少子化の問題点** 授業内容：日本はじめ、韓国や台湾、そして中国でも合計特殊出生率が低下して、少子化が進行している。高齢化と違って少子化は、将来社会のさまざまな部面に影響を及ぼすため、大問題であると言わざるをえない。その現状と原因に迫る。 事前学修 2.0hr：少子化の現状について、manaba の授業資料で事前に閲覧・学修しておく。 事後学修 2.0hr：manaba の授業資料あるいはプリントをもとに、授業内容を復習する。
5回	**授業テーマ：少子化対策の検討** 授業内容：少子化の進行する国々では、それを食い止めようと少子化対策が行われている。日本でも「異次元の少子化対策」が始動する。しかし、少子化対策に効果を期待するなら、少子化の原因を正しく理解しなければならない。そこで、この授業では少子化の原因と対策を皆さんと一緒に考えていきたい（グループワークあり）。 事前学修 2.0hr：少子化対策について、、manaba の授業資料で事前に閲覧・学修しておく。 事後学修 2.0hr：manaba の授業資料あるいはプリントをもとに、授業内容を復習する。
6回	**授業テーマ：失業の増大と雇用の多様化にどう向き合うか** 授業内容：かつて低失業国で正規雇用社会出会った日本は、グローバル化の波を受けて、高失業と非正規雇用の社会へと大きく様変わりした。このような事態を雇用保険によるフォローもそうだが、政策的に対応できるのであろうか。この問題を皆さんと一緒に考えていきたい（グループワークあり）。 事前学修 2.0hr：失業問題について、manaba の授業資料で事前に閲覧・学修しておく。 事後学修 2.0hr：manaba の授業資料あるいは授業中配付のプリントをもとに、授業内容を復習する。
7回	**授業テーマ：現代の労働災害と社会保障** 授業内容：かつての労災の多くは身体のケガ等を中心とするものであった。しかし、いまやいわゆるブラック企業等も横行し、パワハラや超長時間労働が原因の、精神面で労災が増加している。外国人も多く働く日本の労災制度は、これにしっかりと対応できるのであろうか。いくつかの事例を取り上げながら検討する。 事前学修 2.0hr：労災保険について、、manaba の授業資料で事前に閲覧・学修しておく。 事後学修 2.0hr：manaba の授業資料あるいはプリントをもとに、授業内容を復習する。小テストのために配付済みの授業プリントを見直す。
8回	**授業テーマ：医療保険制度の役割と課題** 授業内容：病気やケガは、直接に生活崩壊や貧困化に繋がるだけに、医療保障は社会保障の中心といえる。しかし、様々な問題も起こっており、これを解決する必要性も大きい。そこで本授業では、今一度、医療保障制度の仕組みを理解するとともに、経済学的に課題を検討する。 事前学修 2.0hr：医療保険について、、manaba の授業資料で事前に閲覧・学修しておく。 事後学修 2.0hr：manaba の授業資料あるいはプリントのもとに、授業内容を復習する。

9回	**授業テーマ：医療費問題を考える視点** 授業内容：医療保障制度に係わる大きな問題の一つは、医療費問題である。医療サービスに向けられる物財も貴重な資源である以上、医療費の上昇をある程度、抑制することは必要だが、自己負担増による受診抑制は、医療保障の原則に反するものといえる。授業では、この医療費問題をどう考えたらよいかを議論したい。 事前学修 2.0hr：医療費の問題について、manaba の授業資料で事前に閲覧・学修しておく。 事後学修 2.0hr：manaba の授業資料あるいは授業中配付のプリントをもとに、授業内容を復習する。
10回	**授業テーマ：公的年金の意義と問題点** 授業内容：少子高齢化と経済の低成長で、その制度としての維持が厳しくなっている公的年金制度について、改めてその原点に返って、制度創設の意義と今後の改革の方向を考える。 事前学修 2.0hr：公的年金の存在意義について、、manaba の授業資料で事前に閲覧・学修しておく。 事後学修 2.0hr：manaba の授業資料あるいはプリントをもとに、授業内容を復習する。
11回	**授業テーマ：持続可能な年金とベーシック・インカム論** 授業内容：現在、新しい社会保障＝所得保障の一つとして、ベーシック・インカムが提唱されている。果たしてこれは社会保障と見た時、どんなメリットとデメリットを持つのであろうか。北欧の一都市での実験結果も交えながら、ベーシック・インカムについて考える。 事前学修 2.0hr：年金の問題についてネット等で調べ、かつ manaba の授業資料で事前に閲覧・学修しておく。 事後学修 2.0hr：manaba の授業資料あるいはプリントをもとに、授業内容を復習する。小テストのため、総復習をしておく
12回	**授業テーマ：生活保護の重要性** 授業内容：生活保護は、日本国憲法第 25 条の生存権保証のための制度である。しかし、資金源が税金であるため、受給者に対する社会の目は厳しい。そこで、この授業では、誤解の多い生活保護者の現状と、生活保護の重要性について明らかにする。 事前学修 2.0hr：生活保護について、manaba の授業資料で事前に閲覧・学修しておく。 事後学修 2.0hr：manaba の授業資料あるいはプリントをもとに、授業内容を復習する。
13回	**授業テーマ：介護保険は朗報か** 授業内容：高齢化とともに、要介護者の人数も増加する。日本では長いこと、老親の介護は家族の問題として片づけられ、数々の悲劇を生んできた。そこで、2000 年、社会保障制度の一つとして、介護の社会化を進める介護保険が創設された。この介護保険の現状と課題をデータを使って見ていきたい。 事前学修 2.0hr：介護保険について、manaba の授業資料で事前に閲覧・学修しておく。 事後学修 2.0hr：manaba の授業資料あるいは授業中配付のプリントをもとに、授業内容を復習する。
14回	**授業テーマ：社会福祉の課題** 授業内容：現代の社会保障制度は、社会保険と公的扶助、社会福祉から成り立っている。中でも社会福祉は、対人・個別社会サービスを担う制度として、重要な役割を果たしてきた。その社会福祉について解説する。 事前学修 2.0hr：障がい者福祉について、manaba の授業資料で事前に閲覧・学修しておく。 事後学修 2.0hr：manaba の授業資料あるいはプリントをもとに、授業内容を復習する。
15回	**授業テーマ：後期のまとめ** 授業内容：後期の学修内容のまとめを行うとともに、グループワークの成果について講評する。 事前学修 2.0hr：プリント(まとめ)をもとに、これまでの授業の総復習をする。 事後学修 2.5hr：manaba の授業資料あるいはプリントをもとに授業を復習し、試験に向けてこれまでの授業内容を再確認する。

経営組織論Ⅰ

開講学科等：経　｜　2年次　｜　2単位　｜　開講期：前

水谷　浩之（みずたに　ひろゆき）

▌授業の概要

本講義では、経営組織に必要とされている理論を体系的に理解し、現実の組織運営に役立てることを目的とします。
また、本講義は、経営組織論の前期の講義として位置づけ、主に組織構造と組織デザイン、組織の意思決定等の各理論、考え方を説明します。その際、理論どうしのつながりを説明するとともに、適宜、企業の事例を取り上げていきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021年度以降入学生 2、2020年度以前入学生経営コース 3）

一般目標：経営組織論を構成する基本的な研究分野の理論やフレームワークを理解することで、経営組織論ならではの発想や視点を修得することができる。
個別目標：１経営組織論を実際の企業活動と結び付けて考えられることができる。
　　２経営組織論で取り上げられている理論やフレームワークを分かり易く説明することができる。

▌履修条件

積極的に経営組織論を学ぼうとする学生を歓迎します。

▌評価基準・方法

１グループワーク（40%）取組状況、発表内容を評価します。
２期末試験（60%）
※原則として５分の４以上の出席および期末試験の受験が評価の前提条件となります。
講義で積極的に発言した場合は加点します。

▌フィードバック方法

グループワークでは、発表後にグループ毎に講評を行ないます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークを行なう回があります。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （グループワークで使用します。）

▌教科書

安藤史江・稲水伸行・西脇暢子・山岡徹（2023）『経営組織論（ベーシック＋）』中央経済社

▌参考書

適宜、講義の中で提示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：経営組織論とはどのような学問か、また、評価方法、注意事項について、説明する。 事前学修 2.0hr：シラバスで学修内容・評価基準を確認する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容の振り返りを行なう。
2回	**授業テーマ：組織とは何か** 授業内容：組織の基本、組織の役割等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第１章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
3回	**授業テーマ：組織の基礎理論①（古典的組織管理論等）** 授業内容：古典的組織管理論、近代組織理論について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第２章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
4回	**授業テーマ：組織の基礎理論②（組織均衡論等）** 授業内容：組織均衡論、組織理論の現代的意義について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第２章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
5回	**授業テーマ：組織構造と組織デザイン①（組織デザインの要諦等）** 授業内容：組織デザインの要諦、組織の基本構造とその特徴について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第３章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
6回	**授業テーマ：組織構造と組織デザイン②（組織デザインの応用と実例等）** 授業内容：組織デザインの応用と実例、組織デザインの留意点について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第３章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
7回	**授業テーマ：組織におけるモチベーション①（モチベーションとは等）** 授業内容：モチベーションとは、モチベーションの内容理論について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第４章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
8回	**授業テーマ：組織におけるモチベーション②（モチベーションの過程理論等）** 授業内容：モチベーションの過程理論、仕事とモチベーションについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第４章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
9回	**授業テーマ：集団力学①（集団という概念等）** 授業内容：集団という概念、集団の生産性について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第５章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
10回	**授業テーマ：集団力学②（集団による意思決定バイアス等）** 授業内容：集団による意思決定バイアス、集団力学を左右する諸要因について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第５章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。

11回	**授業テーマ：組織の意思決定①(合理的な意思決定等)** 授業内容：合理的な意思決定、限定された合理性による意思決定について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書(第6章)により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
12回	**授業テーマ：組織の意思決定②(組織決定のごみ箱モデル等)** 授業内容：組織決定のごみ箱モデル、限定された合理性を克服するための組織づくりについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書(第6章)により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
13回	**授業テーマ：組織と環境①(合理的モデル等)** 授業内容：合理的モデルと自然システム・モデルについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書(第7章)により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
14回	**授業テーマ：組織と環境②(技術と環境からの影響の遮断等)** 授業内容：技術と環境からの影響の遮断、タスク環境と依存関係のマネジメントについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書(第7章)により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：講義で取り上げた内容について、各テーマに沿って重要な箇所を振り返る。 事前学修 2.0hr：これまでの授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：試験に向けてこれまでの授業内容を復習する。

経営組織論Ⅱ

開講学科等：経　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

水谷　浩之（みずたに　ひろゆき）

▌授業の概要

本講義では、経営組織に必要とされている理論を体系的に理解し、現実の組織運営に役立てることを目的とします。
また、本講義は、経営組織論の後期の講義として位置づけ、主に組織構造のダイナミクス、組織間関係、組織変革等の各理論、考え方を説明します。その際、理論どうしのつながりを説明するとともに、適宜、企業の事例を取り上げていきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 2、2020 年度以前入学生経営コース 3）

一般目標：　経営組織論を構成する基本的な研究分野の理論やフレームワークを理解することで、経営組織論ならではの発想や視点を修得することができる。
個別目標：１経営組織論を実際の企業活動と結び付けて考えられることができる。
　　２経営組織論で取り上げられている理論やフレームワークを分かり易く説明することができる。

▌履修条件

積極的に経営組織論を学ぼうとする学生を歓迎します。

▌評価基準・方法

１グループワーク（40%）取組状況、発表内容を評価します。
２期末試験（60%）
※原則として５分の４以上の出席および期末試験の受験が評価の前提条件となります。
　講義で積極的に発言した場合は加点します。

▌フィードバック方法

グループワークでは、発表後にグループ毎に講評を行ないます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークを行なう回があります。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （グループワークで使用します。）

▌教科書

安藤史江・稲水伸行・西脇暢子・山岡徹（2023）『経営組織論（ベーシック＋）』中央経済社

▌参考書

適宜、講義の中で提示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：経営組織論とはどのような学問か、また、評価方法、注意事項について、説明する。 事前学修 2.0hr：シラバスで学修内容・評価基準を確認する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容の振り返りを行なう。
2回	**授業テーマ：組織構造のダイナミクス①（コンティンジェンシー理論等）** 授業内容：コンティンジェンシー理論と不確実性等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第８章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
3回	**授業テーマ：組織構造のダイナミクス②（横断的関係の構築等）** 授業内容：横断的関係の構築等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第８章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
4回	**授業テーマ：組織間関係①（組織間関係とは等）** 授業内容：組織関係とは、組織間関係から享受できるメリットについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第９章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
5回	**授業テーマ：組織間関係②（組織関係から被るデメリット等）** 授業内容：組織関係から被るデメリット、組織間のネットワークについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第９章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
6回	**授業テーマ：組織変革の捉え方①（組織変革の必要性等）** 授業内容：組織変革の必要性、組織変革の対象について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第 10 章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
7回	**授業テーマ：組織変革の捉え方②（組織変革のプロセス等）** 授業内容：組織変革のプロセス、変革への抵抗について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第 10 章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
8回	**授業テーマ：組織変革の進め方①（組織変革の理論的アプローチ等）** 授業内容：組織変革の理論的アプローチ、各アプローチの落とし穴について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第 11 章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
9回	**授業テーマ：組織変革の進め方②（統合的な発想が持つ力等）** 授業内容：統合的な発想が持つ力、カスタマイズの必要性ついて学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第 11 章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
10回	**授業テーマ：成功の罠等** 授業内容：成功の罠、組織の個体群生態学について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書（第 12、13 章）により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。

11回	**授業テーマ：リーダーシップ論①(基礎)** 授業内容：リーダーシップの基礎、リーダーシップのコンティンジェンシー理論について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて資料により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
12回	**授業テーマ：リーダーシップ論②(トップとミドル)** 授業内容：トップとミドルのリーダーシップ、リーダーシップ研究の新展開について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて資料により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
13回	**授業テーマ：組織の不祥事①(企業不祥事の要因)** 授業内容：企業不祥事の事例を取り上げ、不祥事が起こる要因について学ぶ。また、グループワークを行う。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて資料により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
14回	**授業テーマ：組織の不祥事②(企業不祥事後の対応)** 授業内容：企業不祥事の事例を取り上げ、不祥事後の対応について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて教科書(第7章)により予習する。 事後学修 2.0hr：授業で説明した内容を復習する。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：講義で取り上げた内容について、各テーマに沿って重要な箇所を振り返る。 事前学修 3.0hr：これまでの授業内容を復習する。 事後学修 3.0hr：試験に向けてこれまでの授業内容を復習する。

経営戦略論Ⅰ

開講学科等：経 ｜ 2年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2021年度以降入学生のみ履修可能

岡村　龍輝（おかむら　りょうき）

▌授業の概要

企業を取り巻く外部環境が大きく変化するなかで、企業が存続するためには、企業の外部環境と企業内部の資源や能力をうまく適合させなければなりません。このための長期的な道筋を示したものが、経営戦略です。経営戦略には、個別の事業を対象とする事業戦略（競争戦略）と、複数の事業の編成を対象とする全社戦略があります。経営戦略論Ⅰでは、前者の事業戦略に焦点を当てて、その理論と戦略策定のツールを理解し、事業戦略に関する体系的で実践的な知識を身につけます。抽象的な理論が理解しやすくなるように、具体的な事例を取りあげながら授業を進めていきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）

一般目標：事業戦略とは何かを理解し、個別事業における競争優位の源泉を分析した上で、初歩的な事業戦略を策定できる。

個別目標：1．事業戦略についての理論と戦略策定のツールを理解している。
2．個別事業の競争優位の源泉を分析することができる。
3．ビジネスにおける初歩的（包括的）な戦略を策定することができる。

▌履修条件

全社戦略を理解するためには、事業戦略についての知識が必要です。このため経営戦略論ⅠとⅡは連続で受講することをお勧めします。

▌評価基準・方法

1．授業内での課題（30％）：毎回、授業内で課題を課します。その合計点を30点満点に換算して成績に反映させます。
2．中間テスト（20％）：中間テストを複数回課します。その合計点を20点満点に換算して成績に反映させます。
3．期末試験（50％）
※原則として５分の４以上の出席および期末試験の受験が評価の前提条件となります。

▌フィードバック方法

授業内での課題と小テストの実施およびフィードバックは、学修支援システムmanabaを通して行うことがあります。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業の回によりディスカッション型の授業を行うことがあります。）

▌授業でのPCの利用（利用内容）

なし

▌教科書

・見吉英彦編著（2024）『基礎からの経営戦略論』みらい。

▌参考書

・網倉久永・新宅純二郎著（2011）『マネジメント・テキスト：経営戦略入門』日本経済新聞社。
・犬飼知徳著（2024）『グラフィック経営戦略論』新世社。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：学修内容と評価基準について確認します。 事前学修 2.0hr：講義概要で学修内容・評価基準を確認してきて下さい。 事後学修 2.0hr：授業内で説明した学修内容・評価基準を確実に理解し、これからの受講計画を立てて下さい。
2回	**授業テーマ：経営戦略とは何か** 授業内容：経営戦略の概念・類型と戦略策定プロセスについて学びます。 事前学修 1.0hr：経営戦略とは何かについて、メディアや自己の経験等から考えてきて下さい。 事後学修 3.0hr：身の回りの出来事のなかで、経営戦略にあてはまる例を探して下さい。
3回	**授業テーマ：マクロ環境と市場の分析** 授業内容：PEST分析、市場（製品・顧客）の分析について学びます。 事前学修 1.0hr：景気や為替相場などの経済的な環境の例を、メディアや自己の経験等から考えてきて下さい。 事後学修 3.0hr：身の回りの企業を例にとって、その企業が対象とする市場の規模がどれくらいあるか考えて下さい。
4回	**授業テーマ：競争相手の分析（1）既存の競争相手** 授業内容：５フォース分析のうち、既存の競争相手について学びます。 事前学修 1.0hr：ライバル関係にある企業同士の例を、メディアや自己の経験等から考えてきて下さい。 事後学修 3.0hr：いくつかの業界について、HHIを計算し、どちらの業界が競争が激しいか比較して下さい。
5回	**授業テーマ：競争相手の分析（2）新規参入と代替品の脅威** 授業内容：５フォース分析のうち、新規参入と代替品の脅威について学びます。 事前学修 1.0hr：新規参入や代替品が見られる業界の例を、メディアや自己の経験等から考えてきて下さい。 事後学修 3.0hr：自分が新しく事業を始めるとしたら、どの業界なら参入しやすいか考えて下さい。
6回	**授業テーマ：競争相手の分析（3）買い手と売り手の交渉力** 授業内容：５フォース分析のうち、買い手と売り手の交渉力について学びます。 事前学修 1.0hr：仕入れ先および顧客と交渉する例を、メディアや自己の経験等から考えてきて下さい。 事後学修 3.0hr：自分が交渉担当者になったとしたら、どのように交渉すれば良いか考えて下さい。
7回	**授業テーマ：ダイナミックな相互作用（1）ゲーム理論とバリューネット** 授業内容：バリューネットの考え方とゲーム理論の基礎について学びます。 事前学修 2.0hr：ゲーム理論とは何かについて調べてきて下さい。 事後学修 2.0hr：今回学んだ内容を振り返り、確実に理解しておいて下さい。
8回	**授業テーマ：ダイナミックな相互作用（2）ゲーム理論による戦略分析** 授業内容：ゲーム理論による戦略分析の方法について学びます。 事前学修 1.0hr：企業同士が駆け引きしている例を、メディアや自己の経験等から考えてきて下さい。 事後学修 3.0hr：ライバル関係にある２つの企業を例にとって、その駆け引きをゲーム理論を用いて分析して下さい。
9回	**授業テーマ：経営資源と組織能力の分析（1）価値連鎖とARCによる資源・能力の特定** 授業内容：経営資源・組織能力の種類、および価値連鎖による特定方法について学びます。 事前学修 1.0hr：企業の強みとは何かについて、メディアや自己の経験等から考えてきて下さい。 事後学修 3.0hr：異なる２つの業界から１社ずつ選び、各社の価値連鎖を書き出して比較して下さい。
10回	**授業テーマ：経営資源と組織能力の分析（2）ＶＲＩによる資源・能力の評価** 授業内容：経営資源・組織能力が持つ経済的価値と稀少性、および模倣困難性について学びます。 事前学修 2.0hr：成功している企業の価値連鎖を調べ、成功につながる理由を考えてきて下さい。 事後学修 2.0hr：身の回りの企業を例にとって、その企業の経営資源・能力をVRIOで評価して下さい。

11回	**授業テーマ：戦略の立案(１)競争優位性** 授業内容：競争優位性の概念について学びます。 事前学修 1.0hr：成功している企業の例を取り上げ、なぜ成功しているのか調べてきて下さい。 事後学修 3.0hr：いくつかの企業を取り上げ、それらの企業が扱っている商品の価格と品質について比較して下さい。
12回	**授業テーマ：戦略の立案(２)コスト優位** 授業内容：コスト優位の源泉となるコスト・ドライバーについて学びます。 事前学修 1.0hr：安売りをしている企業には、どのようなものがあるか調べてきて下さい。 事後学修 3.0hr：安売りで成功した企業と、安売りで失敗した企業を探し、その違いが生じる理由を考えて下さい。
13回	**授業テーマ：戦略の立案(２)ＷＴＰ優位、二重の優位** 授業内容：ＷＴＰ優位の源泉となる差別化のドライバーと、二重の優位について学びます。 事前学修 1.0hr：ブランド力のある企業には、どのようなものがあるか調べてきて下さい。 事後学修 3.0hr：品質が良いのに値段が安い企業を探し、それがなぜ可能なのかを考えて下さい。
14回	**授業テーマ：ケーススタディ** 授業内容：ファーストリテイリングのケーススタディを通して、事業戦略の全体像と企業実体との関連について学びます。 事前学修 1.0hr：ファーストリテイリングについて、調べてきて下さい。 事後学修 3.0hr：ファーストリテイリングと似たような戦略を採用している企業を探し、成功・失敗要因を分析して下さい。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：これまで学んだ内容をふりかえり、試験に備えます。 事前学修 2.0hr：これまでの学修内容を、おさらいしてきて下さい。 事後学修 2.0hr：試験の出題形式・評価基準を確認し、試験のための学修を進めて下さい。

経営戦略論Ⅱ

開講学科等：経　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後　｜　備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

岡村　龍輝（おかむら　りょうき）

▌授業の概要

経営戦略には、個別の事業を対象とする事業戦略（競争戦略）と、複数の事業の編成を対象とする全社戦略があります。ある企業が 1 つの事業しか営んでいないとすれば、事業戦略は全社的な戦略とほぼ同じですが、市場の成熟・衰退に伴って、事業を強化したり、新たな分野に進出したりすることが必要となります。それでは、企業はどのような分野に進出すればよいのでしょうか。またその方法にはどのようなものがあるのでしょうか。経営戦略論Ⅱでは、この複数の事業を抱える企業の戦略、つまり全社戦略についての理論と戦略策定のツールを理解し、全社戦略に関する体系的かつ実践的な知識を身につけます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）

一般目標：全社戦略とは何かを理解し、基礎的なツールを用いて初歩的な全社戦略を策定することができる。
個別目標：１．全社戦略についての理論と戦略策定のツールを理解している。
　　２．全社戦略を策定するため基礎的なツールを用いることができる。
　　３．企業の発展の方向性と資源獲得の方法における企業間の違いを分析することができる。

▌履修条件

全社戦略を理解するためには、事業戦略についての知識が必要です。このため経営戦略論ⅠとⅡは連続で受講することをお薦めします。

▌評価基準・方法

１．授業内での課題（30 %）：毎回、授業内で課題を課します。その合計点を 30 点満点に換算して成績に反映させます。
２．中間テスト（20 %）：中間テストを複数回課します。その合計点を 20 点満点に換算して成績に反映させます。
３．期末試験（50 %）
※原則として５分の４以上の出席および期末試験の受験が評価の前提条件となります。

▌フィードバック方法

授業内での課題と小テストの実施およびフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行うことがあります。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業の回によりディスカッション型の授業を行います。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

・見吉英彦編著（2024）『基礎からの経営戦略論』みらい。

▌参考書

・網倉久永・新宅純二郎著（2011）『マネジメント・テキスト：経営戦略入門』日本経済新聞社。
・ジェイ・B. バーニー著、岡田正太訳（2003）『企業戦略論』ダイヤモンド社。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：学修内容と評価基準について確認します。 事前学修 2.0hr：講義概要で学修内容・評価基準を確認してきて下さい。 事後学修 2.0hr：授業内で説明した学修内容・評価基準を確実に理解し、これからの受講計画を立てて下さい。
2回	**授業テーマ：経営戦略とは何か** 授業内容：経営戦略の概念・類型と戦略策定プロセスについて学びます。 事前学修 1.0hr：経営戦略とは何かについて、メディアや自己の経験等から考えてきて下さい。 事後学修 3.0hr：身の回りの出来事のなかで、経営戦略にあてはまる例を探して下さい。
3回	**授業テーマ：ドメインの定義** 授業内容：ドメインの概念と顧客・ニーズ・技術からなるドメイン定義の方法、およびドメイン定義の注意点について学びます。 事前学修 2.0hr：いくつかの企業を例にとって、その企業が対象としている顧客とニーズ、技術は何かを調べてきて下さい。 事後学修 2.0hr：ドメインが再定義された例を探し、顧客・ニーズ・技術のどれがどのように変更されたのか調べて下さい。
4回	**授業テーマ：垂直統合戦略（１）垂直統合の概念と生産コスト** 授業内容：垂直統合の概念について学とともに、生産コスト構造との関連で make or buy の選択について検討します。 事前学修 1.0hr：垂直統合とは何かを調べ、垂直統合した企業を探してきて下さい。 事後学修 3.0hr：１つの業界から２つの企業をとりあげ、垂直的な段階に違いが見られるかどうか調べて下さい。
5回	**授業テーマ：垂直統合戦略（２）取引コスト、独自の経営資源・組織能力** 授業内容：取引コストの概念や、独自の経営資源・組織能力の利用・強化といった観点から make or buy の選択について検討します。 事前学修 1.0hr：生産コストの削減とは別の理由で垂直統合した企業を探してきて下さい。 事後学修 3.0hr：１つの業界から垂直的な段階が異なる２つの企業をとりあげ、その違いが生じる理由を分析して下さい。
6回	**授業テーマ：多角化戦略（１）多角化の概念と類型** 授業内容：多角化の概念と類型について学びます。 事前学修 1.0hr：多角化とは何かを調べ、多角化している企業を探してきて下さい。 事後学修 3.0hr：いくつかの企業をとりあげ、多角化度と関連率を調べて類型化して下さい。
7回	**授業テーマ：多角化戦略（２）事業運営上の範囲の経済** 授業内容：シナジーの概念と事業運営上の範囲の経済について学びます。 事前学修 2.0hr：多角化している企業を探し、その企業がなぜ多角化しているのかを調べてきて下さい。 事後学修 2.0hr：身の回りの出来事を例にとって、どのような場合に事業運営上の範囲の経済を発揮できるか考えて下さい。
8回	**授業テーマ：多角化戦略（３）財務上の範囲の経済** 授業内容：財務上の範囲の経済と反競争的な範囲の経済について学びます。 事前学修 1.0hr：持株会社とは何かを調べ、持株会社の例を探してきて下さい。 事後学修 3.0hr：税効果を得るためには、グループ内の企業同士でどのような取引をすれば良いか考えて下さい。
9回	**授業テーマ：多角化戦略（４）事業間の資源配分** 授業内容：事業間の資源配分方法として、プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント（ＰＰＭ）を取り上げ，その背景にある基礎理論について学びます。 事前学修 2.0hr：多角化している企業を探し、どの事業がどのような特徴を持っているか調べてきて下さい。 事後学修 2.0hr：興味のある業界を取り上げ、その業界における各社の市場シェアを調べてください。

10回	**授業テーマ：多角化戦略（5）ＰＰＭと戦略経営** 授業内容：プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント（ＰＰＭ）の運用方法について学ぶとともに、戦略経営との関係について学修します。 事前学修 1.0hr：経験効果とプロダクトライフサイクルについて確認してください. 事後学修 3.0hr：多角化している企業をとりあげ、その企業が抱える事業群をＰＰＭで分析して下さい。
11回	**授業テーマ：国際戦略（1）活動の配置と国のダイヤモンド** 授業内容：活動の配置における分散・集中戦略と立地選択における国のダイヤモンド、および進出モードについて学びます。 事前学修 2.0hr：国際展開している企業を探し、どんな国にどんな活動を置いているのか調べてきて下さい。 事後学修 2.0hr：国際展開している企業を探し、ある国にある活動を配置する理由を考えて下さい。
12回	**授業テーマ：国際戦略（2）活動の調整と IR グリッド** 授業内容：活動の調整における統合・適応の概念と基本的な組織形態、およびそれと結びついた国際戦略について学びます。 事前学修 1.0hr：世界中で同じ商品を売っている企業を探してきて下さい。 事後学修 3.0hr：国際化している企業をいくつかとりあげ、各企業の調整方法にどんな違いが見られるかを調べて下さい。
13回	**授業テーマ：経営資源・組織能力の獲得（1）経営資源・組織能力の種類と入手のしやすさ** 授業内容：経営資源・組織能力の種類と、それによる入手のしやすさについて学びます。 事前学修 1.0hr：市場で取引されている資源と、企業が自分で育てている資源の例を探してきて下さい。 事後学修 3.0hr：自分の夢を実現するために、市場で買える資源と自分で育てなければならない資源を考えて下さい。
14回	**授業テーマ：経営資源・組織能力の獲得（2）経営資源・組織能力の獲得方法とM＆A** 授業内容：経営資源・組織能力の獲得方法について、市場取引・内部成長・中間取引といった種類や。M＆Aにおける持株比率と買収方法、および敵対的買収の防衛策について学びます。 事前学修 2.0hr：M＆Aとは何かを調べ、M＆Aをした企業の例を探してきて下さい。 事後学修 2.0hr：M＆Aをした企業を例にとって、M＆Aの方法とその理由を考えて下さい。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：これまで学んだ内容をふりかえり、試験に備えます。 事前学修 2.0hr：これまでの学修内容を、おさらいしてきて下さい。 事後学修 2.0hr：試験の出題形式・評価基準を確認し、試験のための学修を進めて下さい。

財政学Ⅰ

開講学科等：経　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

蟹澤　啓輔（かにさわ　けいすけ）

▌授業の概要

財政学における国や地方自治体の「財政」とはなにかを理解するとともに、財政の具体的な制度について学習する。財政学Ⅰでは日本の主な歳出である、年金、福祉、医療、教育、生活、公共投資等に関連する財政支出の具体的な内容や制度について解説します。講義では財政学を学ぶことの意義を説明することによって目的意識を持って学ぶことを促すとともに、講義の際には具体的な国や地方自治体の予算や統計資料などを参照しながら解説することによって、原典ないしは原データを使って分析を行う実践力を養います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 6、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：財政学とはなにか、基本的な概念を理解するとともに、歳出側の主な財政制度の概要を説明できる程度に習熟することを目標とします。
個別目標：日本の主な歳出である、年金、福祉、医療、教育、生活、公共投資等に関連する財政支出の具体的な内容や制度について理解する。

▌履修条件

「財政学Ⅱ」と併せて履修することが望ましい。経済学概論、マクロ経済学、ミクロ経済学を履修済みであることが望ましい。

▌評価基準・方法

平常点（授業への参加態度等）30%、期末試験 70%

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム（manaba）を通して行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業内容を元にディスカッションを行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

レジュメを配布します

▌参考書

畑農鋭矢・林正義・吉田浩著『財政学をつかむ 新版』有斐閣
小西砂千夫著『財政学』日本評論社
宇波弘貴著『図説　日本の財政』東洋経済新報社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、財政学とは、財政学を学ぶ意義** 授業内容：シラバスの概要を説明するとともに、授業科目である財政学の定義の解説を通して授業の全体像について説明します。 事前学修 2.0hr：財政とはなにかを事前に情報収集して自分なりのイメージをつかむ 事後学修 2.0hr：新聞やインターネットで財政学に関連した記事を読み、財政学が社会の中でどのように活かされているかを考える
2回	**授業テーマ：予算、国家の歳入と歳出の構成** 授業内容：財政の基本的な構成要素である歳入と歳出について説明するとともに、予算の概念と作成方法について解説します。 事前学修 2.0hr：新聞やインターネットで日本の主な歳入と歳出の構成を調べる 事後学修 2.5hr：講義の復習（レジュメや参考書等の再読）、講義で紹介した年度以外の日本の主な歳入と歳出について政府のホームページを調べて比較する。
3回	**授業テーマ：年金に関する制度①、公的年金制度の概要** 授業内容：年金について経済学的な理論を解説するとともに、日本の公的年金制度の概要について説明します。 事前学修 2.0hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：講義の復習（レジュメや参考書等の再読）、新聞やインターネットで公的年金に関連した記事を読み、講義内容を考える。
4回	**授業テーマ：年金に関する制度②、現代の課題** 授業内容：年金に関する現代日本の課題について解説します。 事前学修 2.0hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：講義の復習（レジュメや参考書等の再読）、新聞やインターネットで年金制度の問題に関連した記事を読み、講義内容を考える。
5回	**授業テーマ：福祉に関する制度、生活保護** 授業内容：生活保護などの社会福祉制度について、経済学的な理論を解説するとともに、日本の制度の概要について説明します。 事前学修 2.0hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：講義の復習（レジュメや参考書等の再読）、新聞やインターネットで生活保障に関連した記事を読み、講義内容を考える。
6回	**授業テーマ：医療に関する制度①、国民健康保険** 授業内容：健康保険などの医療に関する制度について、経済学的な理論を解説するとともに、日本の国民健康保険制度の概要について説明します。 事前学修 2.0hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：講義の復習（レジュメや参考書等の再読）、新聞やインターネットで国民健康保険に関連した記事を読み、講義内容を考える。
7回	**授業テーマ：医療に関する制度②、現代の課題** 授業内容：医療に関する現代日本の課題について解説します。 事前学修 2.0hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：講義の復習（レジュメや参考書等の再読）、新聞やインターネットで医療制度の問題に関連した記事を読み、講義内容を考える。
8回	**授業テーマ：労働に関する制度①、雇用保険** 授業内容：雇用保険などの労働に関する制度について、経済学的な理論を解説するとともに、日本の雇用保険制度の概要について説明します。 事前学修 2.0hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：講義の復習（レジュメや参考書等の再読）、新聞やインターネットで雇用保険に関連した記事を読み、講義内容を考える。
9回	**授業テーマ：労働に関する制度②、育休制度** 授業内容：育休に関する制度について、経済学的な理論を解説するとともに、日本の育休制度の概要について説明します。 事前学修 2.0hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：講義の復習（レジュメや参考書等の再読）、新聞やインターネットで育休制度に関連した記事を読み、講義内容を考える。
10回	**授業テーマ：教育に関する制度、公的教育や教育支援** 授業内容：公的教育や教育支援に関する制度について、経済学的な理論を解説するとともに、日本の制度の概要について説明します。 事前学修 2.0hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：講義の復習（レジュメや参考書等の再読）、新聞やインターネットで教育財政に関連した記事を読み、講義内容を考える。
11回	**授業テーマ：生活に関する制度①、警察・消防その他** 授業内容：警察・消防などの制度に関して、経済学的な理論を解説するとともに、日本の制度の概要について説明します。 事前学修 2.0hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：講義の復習（レジュメや参考書等の再読）、新聞やインターネットで生活インフラに関連した記事を読み、講義内容を考える。

12回	**授業テーマ：生活に関する制度②、震災復興** 授業内容：震災復興に関して、経済学的な理論を解説するともに、日本の制度の概要について説明します。 事前学修 2.0hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：講義の復習（レジュメや参考書等の再読）、新聞やインターネットで震災復興に関連した記事を読み、講義内容を考える。
13回	**授業テーマ：社会資本に関する制度、公共投資** 授業内容：公共投資などの社会資本に関する制度について、経済学的な理論を解説するともに、日本の制度の概要について説明します。 事前学修 2.0hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：講義の復習（レジュメや参考書等の再読）、新聞やインターネットで公共投資に関連した記事を読み、講義内容を考える。
14回	**授業テーマ：企業に関する制度、産業振興** 授業内容：産業振興などの企業に関する制度について、経済学的な理論を解説するともに、日本の制度の概要について説明します。 事前学修 2.0hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：講義の復習（レジュメや参考書等の再読）、新聞やインターネットで企業に関連した制度に関連した記事を読み、講義内容を考える。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：これまでの授業のまとめを行います。 事前学修 2.0hr：前期の復習 事後学修 2.5hr：講義の総復習（レジュメや参考書等の再読）

財政学Ⅰ

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

中平　千彦 (なかひら　かずひこ)

▌授業の概要

財政学は、公権力体としての政府あるいは公共部門の経済活動を考察する、応用経済学の一分野です。あるいは、財政学は、国や地方公共団体などの公的機関がいかに財源確保とその運用を行うかを考察する、経済学の一領域です。

本講義「財政学Ⅰ」では、財政の基礎理論、民間経済と公共経済、資源配分機能、所得再分配機能、経済安定機能、地方財政、課税の根拠と税の分類、租税原則と公平性、中立性、所得税、消費税、法人税、地方税制などの項目を学びます。この学習は、秋学期『財政学Ⅱ』の準備過程となります。

なお、講義には、アクティブ・ラーニング型学習も一部採り入れましょう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 6、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：・財政学の理論的基礎を理解できるようになる。
・財政学に関する基本的問題を理論経済学的に捉えられるようになる。
個別目標：・各受講生が個別の目標を見つけ、努力することによって、財政学に関する基本的問題を、理論・実証の両面から捉えられるようになる。

▌履修条件

・『経済学概論Ⅰ』、『経済学概論Ⅱ』、『マクロ経済学Ⅰ』、『マクロ経済学Ⅱ』、『ミクロ経済学Ⅰ』、『ミクロ経済学Ⅱ』を履修済みであるか、あるいは、並行履修することが望ましい。

▌評価基準・方法

・課題 1(10%)+課題 2(10%)+定期試験 (80%)=評価点 (100%) の評点配分に基づき、ルーブリック型の評価手法も考慮して成績判定を行います。
・課題 1 と課題 2 の提出は義務です。また、課題の点数が基準最低点を下回った場合は単位が認定されません。
・全講義数に対して 5 分の 4 を満たす出席数が確認できない場合は単位が認定されません。

▌フィードバック方法

・課題などのフィードバックは基本的に manaba を利用して行いますが、講義内またはオフィスアワーで個別に対応することもあります。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （アクティブ・ラーニングの要素として、学習課題に、教員提示型の設問に加えて、受講生提示型の設問も含める）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

林宏昭, 玉岡雅之, 桑原美香, 石田和之 (著)『入門 財政学 (第 3 版)』中央経済社, 2021 年

▌参考書

角野浩 (著)『財政学 (三訂版)』同友館, 2024 年
土居丈朗 (著)『入門 財政学 (第 2 版)』日本評論社, 2021 年
橋本恭之 (著)『入門 財政 (第 4 版)』税務経理協会, 2024 年
林宜嗣 (著)『基礎コース 財政学 (第 4 版)』新世社, 2019 年
林正義 (著)『財政学: 課税と給付の経済学』有斐閣, 2025 年
持田信樹 (著)『財政学』東京大学出版会, 2009 年

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：財政と財政構造** 授業内容：「民間経済と公共経済」、「日本の財政構造」、「日本の予算制度」、「日本財政の課題」の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：事前にシラバスを読み、本講義の概略を把握する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
2 回	**授業テーマ：資源配分機能 (1)** 授業内容：「公共財の特性」、「公共財の理論①」の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
3 回	**授業テーマ：資源配分機能 (2)** 授業内容：「公共財の理論②」、「公共財の供給量の決定」の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
4 回	**授業テーマ：所得再分配機能** 授業内容：「最低限の生活保障」、「不平等の是正」、「日本の社会保障制度」の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
5 回	**授業テーマ：経済安定機能 (1)** 授業内容：「国民所得の決定」、「財政政策の効果①」の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
6 回	**授業テーマ：経済安定機能 (2)** 授業内容：「財政政策の効果②」、「日本の財政政策」の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
7 回	**授業テーマ：地方財政** 授業内容：「国と地方の役割」、「地方の歳入」、「地方の税財政制度と国の政策」の項目について学びます。 ＊課題 1 を配布 (提出日は配布時に指示) (講義進度の調整によって課題配布日が変更されることがあります) 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
8 回	**授業テーマ：課税の根拠と税の分類** 授業内容：「税の根拠と役割」、「税の分類」、「課税標準と税率」、「日本の税制」の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。

9回	**授業テーマ：租税原則⑴現代の租税原則と公平性** 授業内容：「現代の租税原則」、「公平性」の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
10回	**授業テーマ：租税原則⑵中立性** 授業内容：「市場経済の効率性」、「税の導入」、「消費行動への中立性」、「効率性とその他の基準」の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
11回	**授業テーマ：租税原則⑶簡素，徴税費と納税協力費** 授業内容：「簡素の原則」、「徴税費最小の原則」、「税制の簡素化と課題」の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
12回	**授業テーマ：所得税** 授業内容：「所得課税、所得税を巡る論点」、「所得税を巡る課題」の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
13回	**授業テーマ：消費税** 授業内容：「消費課税の分類」、「付加価値税の仕組み」、「消費税の課題」の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
14回	**授業テーマ：法人税** 授業内容：「法人税負担の帰着」、「日本の法人税」の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
15回	**授業テーマ：地方税制** 授業内容：「地方税の制度と税収構造」、「地方税原則」、「主な地方税の仕組みとその考え方」の項目について学びます。 ＊課題 2 を配布 (提出日は配布時に指示) 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。

財政学Ⅱ

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

蟹澤　啓輔（かにさわ　けいすけ）

▌授業の概要

財政学における国や地方自治体の「財政」とはなにかを理解するとともに、財政の具体的な制度について学習する。財政学Ⅱでは日本の主な歳入である、税制について体系的に理解するとともに公債に関する制度や理論について解説します。講義では財政学を学ぶことの意義を説明することによって目的意識を持って学ぶことを促すとともに、講義の際には具体的な国や地方自治体の予算や統計資料などを参照しながら解説することによって、原典ないしは原データを使って分析を行う実践力を養います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 6、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：財政学とはなにか、基本的な概念を理解するとともに、歳入側の主な財政制度の概要を説明できる程度に習熟することを目標とします。
個別目標：日本財政の歳入について、主な歳入である税制について体系的に理解するとともに公債に関する制度や理論について理解する。

▌履修条件

「財政学Ⅰ」と併せて履修することが望ましい。経済学概論、マクロ経済学、ミクロ経済学を履修済みであることが望ましい。

▌評価基準・方法

平常点（授業への参加態度等）30%、期末試験 70%

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム（manaba）を通して行います

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業内容を元にディスカッションを行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

レジュメを配布します

▌参考書

畑農鋭矢・林正義・吉田浩著『財政学をつかむ新版』有斐閣
小西砂千夫著『財政学』日本評論社
宇波弘貴著『図説　日本の財政』東洋経済新報社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、財政学とは、財政学を学ぶ意義** 授業内容：シラバスの概要を説明するとともに、授業科目である財政学の定義の解説を通して授業の全体像について説明します。 事前学修 2.0hr：財政とはなにかを事前に情報収集して自分なりのイメージをつかむ 事後学修 2.0hr：新聞やインターネットで財政学に関連した記事を読み、財政学が社会の中でどのように活かされているかを考える
2回	**授業テーマ：経済学から見る政府の役割** 授業内容：資本主義社会における政府の役割について、公共経済学などを紹介しつつ、経済学の観点から解説を行います。 事前学修 2.0hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：講義の復習（レジュメや参考書等の再読）、新聞やインターネットで政府の役割に関連した記事を読み、講義内容を考える。
3回	**授業テーマ：地方分権と地方財政** 授業内容：地方財政の前提となる地方分権について説明します。 事前学修 2.0hr：考書の事前通読 事後学修 2.5hr：講義の復習（レジュメや参考書等の再読）、新聞やインターネットで地方財政に関連した記事を読み、講義内容を考える。
4回	**授業テーマ：地方財政の歳入と歳出の構成** 授業内容：地方財政について、中央政府の財政と比較しつつ、主な歳入や歳出について説明します。 事前学修 2.0hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：講義の復習（レジュメや参考書等の再読）、新聞やインターネットで地方財政に関連した記事を読み、講義内容を考える。
5回	**授業テーマ：租税の経済学、日本の税制体系と税収** 授業内容：租税国家の概要と日本の租税制度の全体像について説明します。 事前学修 2.0hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：講義の復習（レジュメや参考書等の再読）、新聞やインターネットで税制や税制改正に関連した記事を読み、講義内容を考える。
6回	**授業テーマ：所得税の基礎** 授業内容：所得税について、経済学的な理論を解説するとともに、日本の所得税制度の概要について説明します。 事前学修 2.0hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：講義の復習（レジュメや参考書等の再読）、新聞やインターネットで所得税に関連した記事を読み、講義内容を考える。
7回	**授業テーマ：法人税の基礎** 授業内容：法人税について、経済学的な理論を解説するとともに、日本の法人税制度の概要について説明します。 事前学修 2.0hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：講義の復習（レジュメや参考書等の再読）、新聞やインターネットで法人税に関連した記事を読み、講義内容を考える。
8回	**授業テーマ：消費税の基礎** 授業内容：消費税について、経済学的な理論を解説するとともに、日本の消費税制度の概要について説明します。 事前学修 2.0hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：講義の復習（レジュメや参考書等の再読）、新聞やインターネットで消費税に関連した記事を読み、講義内容を考える。
9回	**授業テーマ：資産課税の基礎** 授業内容：資産課税について、経済学的な理論を解説するとともに、日本の固定資産税制度の概要について説明します。 事前学修 2.0hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：講義の復習（レジュメや参考書等の再読）、新聞やインターネットで資産税に関連した記事を読み、講義内容を考える。
10回	**授業テーマ：相続税の基礎** 授業内容：相続税について、経済学的な理論を解説するとともに、日本の相続税制度の概要について説明します。 事前学修 2.0hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：講義の復習（レジュメや配布資料の再読）、新聞やインターネットで相続税に関連した記事を読み、講義内容を考える。
11回	**授業テーマ：関税その他の税制** 授業内容：関税について、経済学的な理論を解説するとともに、日本の関税制度の概要について説明します。 事前学修 2.0hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：講義の復習（レジュメや参考書等の再読）、新聞やインターネットで関税（TPP や FTA など）に関連した記事を読み、講義内容を考える。

12回	**授業テーマ：公債に関する経済学の基礎** 授業内容：公債について、経済学的な理論を解説するとともに、日本の公債制度の概要について説明します。 事前学修 2.0hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：講義の復習(レジュメや参考書、配布資料の再読)。
13回	**授業テーマ：公債の発行と償還** 授業内容：日本の公債を発行する制度及び償還する制度の概要について説明します。 事前学修 2.0hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：講義の復習(レジュメや参考書等の再読)、新聞やインターネットで国債に関連した記事を読み、講義内容を考える。
14回	**授業テーマ：日本財政の問題と課題** 授業内容：日本財政の問題と課題について説明するとともに、日本財政に関する様々な意見について紹介します。 事前学修 2.0hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：講義の復習(レジュメや参考書等の再読)、新聞やインターネットで日本財政の問題に関連した記事を読み、講義で紹介した内容を考える。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：これまでの授業のまとめを行います。 事前学修 2.0hr：後期の復習 事後学修 3.0hr：講義の総復習(レジュメや参考書等の再読)

財政学Ⅱ

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

中平　千彦 (なかひら　かずひこ)

▌授業の概要

財政学は、公権力体としての政府あるいは公共部門の経済活動を考察する、応用経済学の一分野です。あるいは、財政学は、国や地方公共団体などの公的機関がいかに財源確保とその運用を行うかを考察する、経済学の一領域です。

本講義「財政学Ⅱ」では、租税システムの構造と、社会保障、外部性と環境政策、財政政策を学びます。具体的には、租税の基礎理論、所得税、所得再分配、法人税の課税効果、法人税の転嫁と帰着、消費税、公債、社会保障システムと年金制度、外部性の理論、課税政策、環境税などを学びます。

なお、講義には、アクティブ・ラーニング型学習も一部採り入れましょう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 6、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：・財政学の理論的基礎を理解できるようになる。
・財政学に関する基本的問題を理論経済学的に捉えられるようになる。
個別目標：・各受講生が個別の目標を見つけ、努力することによって、財政学に関する基本的問題を、理論・実証の両面から捉えられるようになる。

▌履修条件

・『経済学概論Ⅰ』、『経済学概論Ⅱ』、『マクロ経済学Ⅰ』、『マクロ経済学Ⅱ』、『ミクロ経済学Ⅰ』、『ミクロ経済学Ⅱ』を履修済みであるか、あるいは、並行履修することが望ましい。

▌評価基準・方法

・課題 1(10%)+課題 2(10%)+定期試験 (80%)=評価点 (100%) の評点配分に基づき、ルーブリック型の評価手法も考慮して成績判定を行います。
・課題 1 と課題 2 の提出は義務です。また、課題の点数が基準最低点を下回った場合は単位が認定されません。
・全講義数に対して 5 分の 4 を満たす出席数が確認できない場合は単位が認定されません。

▌フィードバック方法

・課題などのフィードバックは基本的に manaba を利用して行いますが、講義内またはオフィスアワーで個別に対応することもあります。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （アクティブ・ラーニングの要素として、学習課題に、教員提示型の設問に加えて、受講生提示型の設問も含める）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

角野浩 (著)『財政学 (三訂版)』同友館,2024 年

▌参考書

土居丈朗 (著)『入門 財政学 (第 2 版)』日本評論社,2021 年
橋本恭之 (著)『入門 財政 (第 4 版)』税務経理協会,2024 年
林宜嗣 (著)『基礎コース財政学 (第 4 版)』新世社,2019 年
林宏昭, 玉岡雅之, 桑原美香, 石田和之 (著)『入門 財政学 (第 3 版)』中央経済社,2021 年
林正義 (著)『財政学:課税と給付の経済学』有斐閣,2025 年

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：日本の財政** 授業内容：「公共部門としての政府の役割」、「高齢化の進展と社会保障」、「国の財政と国民経済」の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：事前にシラバスを読み、本講義の概略を把握する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
2 回	**授業テーマ：所得税 (1)** 授業内容：「租税の基礎理論」、「所得税の仕組み」の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
3 回	**授業テーマ：所得税 (2)** 授業内容：「所得税の労働供給への影響」、「所得再分配効果」、「不平等度の測定」の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
4 回	**授業テーマ：法人税 (1)** 授業内容：「法人税の課税根拠」、「法人税の経済効果」の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
5 回	**授業テーマ：法人税 (2)** 授業内容：「法人税と二重課税の調整問題」、「法人税の転嫁と帰着」の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
6 回	**授業テーマ：消費税 (1)** 授業内容：「消費税の仕組み」、「消費税の租税帰着問題」の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
7 回	**授業テーマ：消費税 (2)** 授業内容：「価格転嫁と価格弾力性」、「最適課税の理論」の項目について学びます。 ＊課題 1 を配布 (提出日は配布時に指示) (講義進度の調整によって課題配布日が変更されることがあります) 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
8 回	**授業テーマ：公債 (1)** 授業内容：「公債とは何か」、「公債負担論」の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
9 回	**授業テーマ：公債 (2)** 授業内容：「等価定理」、「中立性命題」の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。

10回	**授業テーマ：社会保障 (1)** 授業内容：「社会保障とは何か」、「社会保障制度の歴史」の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
11回	**授業テーマ：社会保障 (2)** 授業内容：「拠出制年金制度」、「公的年金の経済効果」、「医療」の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
12回	**授業テーマ：外部性と環境政策 (1)** 授業内容：「環境政策」、「外部性の理論」、「自発的交渉による外部性の内部化」の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
13回	**授業テーマ：外部性と環境政策 (2)** 授業内容：「公的介入による外部性の内部化」、「政府による直接規制」、「排出権市場の創設」の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
14回	**授業テーマ：財政政策の諸政策 (1)** 授業内容：「課税政策と租税優遇措置」、「課税政策と脱税問題」、「租税改革論」の項目について学びます。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。
15回	**授業テーマ：財政政策の諸政策 (2)** 授業内容：「社会保障制度」、「公的扶助の方法」、「外部性存在下での財政政策」、「環境税と二重配当仮説」の項目について学びます。 ＊課題 2 を配布 (提出日は配布時に指示) 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を事前に読む。 事後学修 2.0hr：講義ノートを復習し、関連事項について調べる。

金融論Ⅰ

開講学科等：経　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

大石　隆介（おおいし　りゅうすけ）

▌授業の概要

本科目は、金融における基本的な知識を身に着けることを目的とする。金融とは何か、その基本的な理解の獲得からはじめ、金融機関の役割、金融取引、その際のリスク管理などについて考察していく。本科目では金融に関する各分野の基礎理論に加え、現実の世界で起こっている様々な事例を取り上げることで、学生たちが実践的に活用できる知識やスキルの蓄積を目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 6、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：金融における各分野(金融機関の役割、金融市場の機能、金融におけるリスク管理など)の基本的な知識を身に着ける。
個別目標：金融における各分野の基礎理論を学び、実践的に活用できる知識やスキルの蓄積を目指す。

▌履修条件

ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、マクロ経済学Ⅰ・Ⅱにおいて単位を修得し、経済学の知識を十分に有していることが望ましい。

▌評価基準・方法

コースワーク(宿題、クラス内テストなど) 40 %　　定期試験 60 %

▌フィードバック方法

コースワーク等のフィードバックは Manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

レクチャー&エクササイズ　金融論　著者：森澤　龍也　発行：新生社　発売：サイエンス社

▌参考書

指定なし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：第 1 回授業はガイダンスとし、本科目の概要、履修上の注意点等について確認する。 事前学修 2.0hr：講義概要をよく読み、本講義に期待する内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：ガイダンスに従い次の授業の準備をする。
2回	**授業テーマ：金融取引とは(教科書第 1 章：レクチャー 1.1)** 授業内容：第 2 回授業では教科書第 1 章：レクチャー 1.1 を学修する。ここでは金融取引の意義について理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、金融および金融取引とは何かを調べておく。分からない箇所は質問できるように準備する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野を復習し、金融に関する専門用語と金融取引に関する具体的なイメージを理解する。
3回	**授業テーマ：日本の資金循環(教科書第 1 章：レクチャー 1.2)** 授業内容：第 3 回授業では教科書第 1 章：レクチャー 1.2 を学修する。ここでは日本のこれまでの資金過不足の状況の変化について詳細に分析していく。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、過去の日本の資金過不足の状況について調べておく。分からない箇所は質問できるように準備する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野を復習し、過去の日本経済における各経済部門の資金過不足の状況とは何かをよく考えてみる。
4回	**授業テーマ：貨幣とは(教科書第 1 章：レクチャー 1.3)** 授業内容：第 4 回授業では教科書第 1 章：レクチャー 1.3 を学修する。ここでは貨幣に焦点をあて、取引において貨幣が果たす役割、貨幣の機能等について理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、’物々交換と欲求の二重の一致’を踏まえて調べ、分からない箇所は質問できるように準備する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野を復習し、貨幣の機能、流動性とは何かを理解する。
5回	**授業テーマ：利子(金利)とは(教科書第 1 章：レクチャー 1.4)** 授業内容：第 5 回授業では教科書第 1 章：レクチャー 1.4 を学修する。ここでは利子(金利)に焦点をあて、その源泉や期間構造等について理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、利子とは何かを調べておく。分からない箇所は質問できるように準備する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野を復習し、なぜ貸し手は借り手に利子を要求するのか、そして利子率の期間構造について理解する。
6回	**授業テーマ：金融市場と金融取引(教科書第 2 章：レクチャー 2.1)** 授業内容：第 6 回授業は教科書第 2 章：レクチャー 2.1 を学修する。ここでは金融市場でどのような事が行われているか、金融取引の種類(短期・長期等)について理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、金融市場とは何かについて調べておく。分からない箇所は質問できるように準備する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野を復習し、短期と長期の金融取引について理解する。
7回	**授業テーマ：日本の金融市場(教科書第 2 章：レクチャー 2.2)** 授業内容：第 7 回授業は教科書第 2 章：レクチャー 2.2 を学修する。ここでは日本の金融市場(短期、長期)について理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、日本の金融市場の状況について調べておく。分からない箇所は質問できるように準備する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野を復習し、日本の各種(短期、長期)金融市場とはどういうものか理解する。
8回	**授業テーマ：日本の金融機関(教科書第 2 章：レクチャー 2.3)** 授業内容：第 8 回授業では教科書第 2 章：レクチャー 2.3 を学修する。ここでは日本の金融機関に焦点をあて、金融取引に伴う困難や金融機関の存在意義について理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、金融取引の際に生じる不都合について考える。分からない箇所は質問できるように準備する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野を復習し、金融取引の際、金融機関が果たす役割について理解する。
9回	**授業テーマ：金融機関と金融組織(教科書第 2 章：レクチャー 2.4)** 授業内容：第 9 回授業では教科書第 2 章：レクチャー 2.4 を学修する。ここでは金融システムに焦点をあて、商業銀行主義、総合銀行主義の違い等について理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、金融システムの設計(商業銀行主義、総合銀行主義)について調べ、準備をしておく。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野を復習し、金融システムの設計に関連する規制とはどのようなものか理解する。
10回	**授業テーマ：直接金融と間接金融(教科書第 3 章：レクチャー 3.1)** 授業内容：第 10 回授業は教科書第 3 章：レクチャー 3.1 を学修する。ここでは直接金融と間接金融の違いや金融仲介におけるリスク負担等について理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、内部金融と外部金融の違いについて理解する。分からない箇所は質問できるように準備する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野を復習し、直接金融と間接金融とはどのようなものか理解する。

11回	**授業テーマ：日本経済と金融システム１(高度経済成長期と銀行中心型の金融システム)(教科書第 3 章：レクチャー 3.2)** 授業内容：第 11 回授業では教科書第 3 章：レクチャー 3.2 を学修する。ここでは日本における金融システムの変化(高度経済成長と銀行中心型の金融システム、金融自由化等)について理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、戦後の時代の日本の経済、金融システムについて調べ、分からない箇所は質問できるようにする。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野を復習し、金融自由化への流れについて理解する。
12回	**授業テーマ：日本経済と金融システム２(ドル高是正と平成バブルの発生)(教科書第 3 章：レクチャー 3.3)** 授業内容：第 12 回授業では教科書第 3 章：レクチャー 3.3 を学修する。ここではドル高是正、平成バブルとは何か理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、高度経済成長終焉後の日本の経済とドル高是正について調べ、準備をしておく。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野を復習し、１９８０年代後半に日本で発生したバブルについて理解する。
13回	**授業テーマ：日本経済と金融システム３(不良債権問題と金融システムの動揺)(教科書第 3 章：レクチャー 3.3)** 授業内容：第 13 回授業では教科書第 3 章：レクチャー 3.3 を学修する。ここでは平成バブルの崩壊に伴う不良債権問題と金融システムの動揺について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、バブルの崩壊が日本の金融市場に与えた影響について調べ、準備をしておく。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野を復習し、バブルの崩壊により不良債権がどのように発生するかを理解する。
14回	**授業テーマ：市場型間接金融(教科書第 3 章：レクチャー 3.4)** 授業内容：第 14 回授業では教科書第 3 章：レクチャー 3.4 を学修する。ここでは過去の金融システムと比較しながら市場型間接金融について理解する。 事前学修 2.0hr：日本経済と金融システム１・２・３を復習し、日本における間接金融について考える。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野を復習し、市場型間接金融について理解する。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：第 15 回授業では本科目の内容を総括する。 事前学修 2.0hr：過去 14 回の授業を振り返る。 事後学修 2.0hr：本科目の内容を理解し、練習問題を解けるようにする。

金融論Ⅱ

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

大石　隆介（おおいし　りゅうすけ）

▌授業の概要

本科目は金融論Ⅰで得た基本的な知識を基に、金融についてより専門的な知識を身に着けることを目的とする。情報の非対称性が存在する場合、それが金融取引にどのような影響を与えるか、金融取引における銀行の役割、日本における金融政策などについて理解できるようになることを目指す。本科目では金融に関する各分野での知識を深めるとともに、現実の世界で起こっている様々な事例を取り上げることで、学生たちが実践的に活用できる知識やスキルの蓄積を目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 6、2020 年度以前入学生 1）

一般目標：金融論Ⅰで学んだ金融の基本的な知識をより深化させ、情報の非対称性が存在する場合、それが金融取引にどのような影響を与えるか、金融取引における銀行の役割、日本における金融政策などについて理解できるようになることを目指す。

個別目標：本科目で学んだ内容を基に、現実の社会で実践的に活用できる知識やスキルを身に付けることが出来る。

▌履修条件

履修条件

金融論Ⅰの単位を修得していることが好ましい。

※ 本科目では金融論Ⅰの内容を学生が理解していることを前提に授業を進めていく。

▌評価基準・方法

コースワーク（宿題、クラス内テスト等）40 %　定期試験 60 %

▌フィードバック方法

コースワーク等のフィードバックは Manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

レクチャー＆エクササイズ　金融論　著者：森澤　龍也　発行：新生社　発売：サイエンス社

▌参考書

指定なし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：第 1 回授業はガイダンスとし、本科目の概要、履修上の注意点等を確認する。 事前学修 2.0hr：講義概要をよく読み、本講義で何を学びたいか、何を身に付けたいか考えておく。 事後学修 2.0hr：ガイダンスに従い次の授業の準備をする。
2 回	**授業テーマ：情報の非対称性（教科書第 4 章：レクチャー 4.1）** 授業内容：第 2 回授業では教科書第 4 章：レクチャー 4.1 を学修する。ここでは情報の非対称性とは何か、そしてそれが金融取引にどのような影響を与えるかについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、情報の非対称性とは何かを調べておく。分からない箇所は質問できるように準備する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野の復習をし、取引の各時点（事前・期中・事後）における情報の非対称性について理解する。
3 回	**授業テーマ：逆選択（教科書第 4 章：レクチャー 4.2）** 授業内容：第 3 回授業では教科書第 4 章：レクチャー 4.2 を学修する。ここでは逆選択とは何か、そして貸出市場で逆選択が起こる原因について理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、逆選択とは何かを調べる。分からない箇所は質問できるように準備する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野の復習をし、貸出市場における逆選択の状況について理解する。
4 回	**授業テーマ：モラル・ハザード（教科書第 4 章：レクチャー 4.3）** 授業内容：第 4 回授業では教科書第 4 章：レクチャー 4.3 を学修する。ここではモラル・ハザードとは何か、貸出市場でモラル・ハザードが起こる原因について理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、モラル・ハザードとは何か調べておく。分からない箇所は質問できるように準備する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野の復習をし、貸出市場で起こるモラルハザードについて理解する。
5 回	**授業テーマ：金融機関と情報の非対称性（教科書第 4 章：レクチャー 4.4）** 授業内容：第 5 回授業では教科書第 4 章：レクチャー 4.4 を学修する。ここでは金融機関が情報の非対称性を軽減するため方法（情報生産、担保等）についての理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、情報の非対称性による金融取引の問題について調べ、分からない箇所は質問できるように準備する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野の復習をし、情報の非対称性を軽減するために金融機関が何を行っているのか理解する。
6 回	**授業テーマ：金融仲介機関としての銀行・信用創造機能 1（預金構造のメカニズム）（教科書第 5 章：レクチャー 5.1・5.2）** 授業内容：第 6 回授業では教科書第 5 章：レクチャー 5.1・5.2 を学修する。ここでは銀行の金融仲介機能、資産変換機能、決済機能、信用創造機能等について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、銀行の金融仲介・資産変換・決済機能とは何か調べ、分からない箇所は質問できるように準備する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野の復習をし、銀行の信用創造機能について理解する。
7 回	**授業テーマ：信用創造機能 2（マネー・ストックの決定）（教科書第 5 章：レクチャー 5.3）** 授業内容：第 7 回授業は教科書第 5 章：レクチャー 5.3 を学修する。ここではマネー・ストックとは何か、マネー・ストックと信用創造機能の関係性について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、マネー・ストックとは何か調べておく。分からない箇所は質問できるように準備する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野の復習をし、マネー・ストックと信用創造機能の関係性について理解する。
8 回	**授業テーマ：銀行の健全性と自己資本比率規制（教科書第 5 章：レクチャー 5.4）** 授業内容：第 8 回授業では教科書第 5 章：レクチャー 5.4 を学修する。ここでは銀行の自己資本比率規制とは何か、そしてそれが銀行の健全性とどのように関係しているかを理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、銀行の情報開示とはどういったことか調べ、分からない箇所は質問できるように準備する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野の復習をし、銀行の自己資本比率規制について理解する。
9 回	**授業テーマ：金融政策の目的と中央銀行（教科書第 6 章：レクチャー 6.1）** 授業内容：第 9 回授業では教科書第 6 章：レクチャー 6.1 を学修する。ここでは中央銀行、そして金融政策とは何かについて理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、中央銀行の機能について調べておく。分からない箇所は質問できるように準備する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野の復習をし、中央銀行が行う金融政策について理解する。

10回	**授業テーマ：金融政策の手段(教科書第 6 章：レクチャー 6.2)** 授業内容：第 10 回授業では教科書第 6 章：レクチャー 6.2 を学修する。ここでは中央銀行が行う金融政策にはどのような種類のものがあるか理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、金融政策と経済の関係性について理解しておく。分からない箇所は質問できるように準備する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野の復習をし、金融調節の手段について理解する。
11回	**授業テーマ：金融政策の効果(教科書第 6 章：レクチャー 6.3)** 授業内容：第 11 回授業は教科書第 6 章：レクチャー 6.3 を学修する。ここでは金融政策の効果やその波及経路について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、金融政策の波及経路について調べておく。分からない箇所は質問できるように準備する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野の復習をし、金融政策の効果について理解する。
12回	**授業テーマ：非伝統的金融政策(教科書第 6 章：レクチャー 6.4)** 授業内容：第 12 回授業では教科書第 6 章：レクチャー 6.4 を学修する。ここでは伝統的金融政策と非伝統的金融政策の違い、非伝統的金融政策の種類・効果について理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、伝統的金融政策と非伝統的金融政策について調べ、分からない箇所は質問できるように準備する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野の復習をし、非伝統的金融政策の種類・効果について理解する。
13回	**授業テーマ：金利計算の基礎(教科書第 7 章：レクチャー 7.1)** 授業内容：第 13 回授業では教科書第 7 章：レクチャー 7.1 を学修する。ここでは金利計算、その中でも単利と複利の違いについて理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、金利計算とは何か調べておく。分からない箇所は質問できるように準備する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野の復習をし、金利計算における単利と複利の違いについて理解する。
14回	**授業テーマ：割引現在価値の考え方と資産価格の決定(教科書第 7 章：レクチャー 7.2)** 授業内容：第 14 回授業では教科書第 7 章：レクチャー 7.2 を学修する。ここでは割引現在価値の考え方と資産価格の決定について理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、割引とは何か理解しておく。分からない箇所は質問できるように準備する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野の復習をし、割引現在価値と資産価格の関係について理解する。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：第 15 回授業では本科目の内容を総括する。 事前学修 2.0hr：過去 14 回の授業内容を振り返る。 事後学修 2.0hr：本科目の講義内容を全て理解し、練習問題を解けるようにする。

経済政策論 I

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

宮崎　礼二 (みやざき　れいじ)

▌授業の概要

本講義では、経済政策の２つの柱である≪財政政策≫と≪金融政策≫の基本概念とメカニズムを学習することを目的とする。
「経済政策」とは、ある目標達成のための、経済過程（＝市場）に対する外部（政府と中央銀行）からの働きかけである。
講義の重点は、① 現代マクロ経済の成立とその要因を歴史的に明らかにし、② マクロ経済を「現代」たらしてめている財政政策の意義を解説し、③ もう１つの柱である金融政策の変化≪伝統的→非伝統的≫についてリーマンショック後の主要国の「出口」戦略、インフレ進行における金融政策を現実展開を参照しながら検討する。
　なお、講義テーマおよび進行については、実際の経済情勢や進行状況に応じて変更することがあることを承知おき願いたい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/4/5、2020 年度以前入学生経済コース 1）

一般目標：１．現実経済の展開をよりリアルに把握し説明できる。
　　２．経済政策論を踏まえて経済関連ニュースを説明できる。
　　３．経済政策の変遷とその背後にある経済思想を歴史的に説明できる。
個別目標：１．ノートテーキング能力を向上させる。
　　２．個別的・具体的な事象を理論的・論理的に構成する能力を獲得する。
　　３．論理的に説明する能力を身につける。
　　４．政策として現象する経済思想を「可視化」させることができる。

▌履修条件

１．講義内容に関心のない者、あるいは学習意欲のない者は、登録をしないこと！
２．毎講義での確認の復習のための課題（成績評価 40 %）がある。

▌評価基準・方法

事前・事後学習の確認を講義内で不定期に小テスト形式で行うことがある．小テストの受験が 4 ／ 5 以上かつ合格点を満たした場合には，期末試験の結果に平常点として加点される。
学期末テスト + 小テスト= 100 %

▌フィードバック方法

授業内および manaba でフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba の利用）

▌教科書

とくに指定しない。

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンスとイントロダクション：経済政策の意義** 授業内容：講義の進行方法について解説。 講義全体の概要について提示。 事前学修 2.0hr：新聞、雑誌、ネットなどを利用して経済の動向を知る 事後学修 2.0hr：イントロダクションの復習と確認テストの準備
2 回	**授業テーマ：経済政策とは何か？** 授業内容：経済政策とは何かについて解説。 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と確認テストの準備 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習
3 回	**授業テーマ：財政政策：目的・目標** 授業内容：経済政策の目的・目標について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と確認テストの準備 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習と確認テストの準備
4 回	**授業テーマ：財政政策：政策メカニズム①** 授業内容：財政政策のメカニズムについて解説。 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と確認テストの準備 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習と確認テストの準備
5 回	**授業テーマ：財政政策：政策メカニズム②** 授業内容：財政政策のメカニズムについて解説。 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と確認テストの準備 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習と確認テストの準備
6 回	**授業テーマ：財政政策：政策メカニズ③** 授業内容：財政政策のメカニズムについて解説。 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と確認テストの準備 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習と確認テストの準備
7 回	**授業テーマ：金融政策：目的・目標** 授業内容：金融政策の目的と目標について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と確認テストの準備 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習と確認テストの準備
8 回	**授業テーマ：金融政策：政策メカニズム①** 授業内容：金融政策のメカニズムについて解説。 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と確認テストの準備 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習と確認テストの準備

9回	**授業テーマ：金融政策：政策メカニズム②** 授業内容：金融政策のメカニズムについて解説。 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と確認テストの準備 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習と確認テストの準備
10回	**授業テーマ：金融政策：政策メカニズム③** 授業内容：金融政策のメカニズムについて解説。 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と確認テストの準備 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習と確認テストの準備
11回	**授業テーマ：為替平衡操作①** 授業内容：為替平衡操作とは何か、その目的と目標について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と確認テストの準備 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習と確認テストの準備
12回	**授業テーマ：為替平衡操作②** 授業内容：為替平衡操作のメカニズムについて解説。 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と確認テストの準備 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習と確認テストの準備
13回	**授業テーマ：経済政策思想の変遷①** 授業内容：1930 年代世界大恐慌と「現代」の始まり 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と確認テストの準備 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習と確認テストの準備
14回	**授業テーマ：経済政策思想②** 授業内容：ケインズ主義から新自由主義への転換 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と確認テストの準備 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習と確認テストの準備
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：経済政策とは何かについての総括。 事前学修 3.0hr：これまでの全講義の復習と確認テストの準備 事後学修 3.0hr：これまでの全講義ノートの整理と復習と期末テストの準備

経済政策論Ⅱ

開講学科等：経　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

宮崎　礼二（みやざき　れいじ）

▌授業の概要

本講義は、第 2 次世界大戦から現代までの約 70 年間の国際経済政策の展開を学習し、以下の 2 点に重点を置いて解説する。

① 1990 年代以降のグローバリゼーションの興隆についての理解を深めることを目的としている。一見、国家の「退場」を推し進めるかに見えたグローバリゼーションでさえも、各国の経済政策のせめぎ合いの結果生まれた秩序なのであり、国民国家は依然として重要な政策主体である。グローバリゼーション促進の経済政策の推進力はどこから発生しているのかを考察する。② とどまるところ知らないかに進展してきたグローバリゼーションは、新型コロナ・パンデミック、米中対立、ロシアによるウクライナ侵略、トランプ大統領の再登場といった経済外要因によって停滞あるいは逆流を見せているのが今日の状況である。経済と政治、グローバリゼーションと国民国家の関係性について考察する。

なお、講義テーマ・進行については、現実の経済情勢や進行状況に応じて柔軟に変更・調整することは承知おき願いたい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/4/5、2020 年度以前入学生経済コース 1）

一般目標：1．経済学を踏まえて経済関連ニュースを説明できる。
2．今日の経済状況を歴史的観点から説明できる。
3．グローバリゼーションとはどのような経済現象か説明できる。

個別目標：1．ノートテーキング能力を向上させる。
2．個別的・具体的な事象を理論的・論理的に構成する能力を獲得する。
3．論理的に説明する能力を身につける。
4．政策として現象する経済思想を「可視化」することができる。

▌履修条件

1．講義内容に関心のない者、あるいは学習意欲のない者は、登録をしないこと！
2．講義ノート作成が必須である。

▌評価基準・方法

事前・事後学習の確認を講義内で不定期に小テスト形式で行うことがある．また、小テストは口頭試問形式で行うこともある。小テストの受験が 4 ／ 5 以上かつ合格点を満たした場合には，期末試験の結果に平常点として加点される。

学期末テスト ＋ 小テスト＝ 100 %

▌フィードバック方法

授業内・manaba でフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業内ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba の利用）

▌教科書

新岡智・板木雅彦・増田正人編『国際経済政策論』有斐閣

▌参考書

アラン・グリーンスパン『波乱の時代』上・下巻、特別版、日本経済新聞社
斎藤修・古川純子編『分水嶺にたつ市場と社会』文眞堂

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：講義ガイダンスとイントロダクション** 授業内容：講義の進行方法。 講義全体の概要説明。 事前学修 2.0hr：新聞、雑誌、ネットなどを利用して今日のグローバル経済について知る 事後学修 3.0hr：イントロダクションの復習と確認課題 1
2 回	**授業テーマ：戦後国際経済政策の枠組みの形成―自由貿易体制の確立をめざして―** 授業内容：政策目標としての自由貿易の起源と戦後的特徴について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義ノートの復習 事後学修 2.0hr：復習と課題2
3 回	**授業テーマ：戦後国際経済政策の枠組み（終戦～ 50 年代）―ブレトンウッズ体制と自由貿易―** 授業内容：戦後自由貿易体制の制度的枠組みの形成について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義ノートの復習 事後学修 2.0hr：復習と課題3
4 回	**授業テーマ：戦後国際経済の枠組み成立（終戦～ 50 年代）―戦後復興と経済援助政策―** 授業内容：自由貿易始動の戦後的条件と政策対応について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義ノートの復習 事後学修 2.0hr：復習と課題4
5 回	**授業テーマ：戦後国際経済の基盤形成（40 年代後半～ 60 年代）―石油をめぐる国際政治と経済―** 授業内容：戦後世界秩序の基盤としての「石油」について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義ノートの復習 事後学修 2.0hr：復習と課題5
6 回	**授業テーマ：国際経済政策の対立と協調（60 年代～ 71 年）―ブレトンウッズ体制の崩壊とドル危機その 1 ―** 授業内容：戦後国際経済秩序としてブレトンウッズ体制の崩壊要因について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義ノートの復習 事後学修 2.0hr：復習と課題6
7 回	**授業テーマ：国際経済政策の対立と協調（60 年代～ 71 年）―ブレトンウッズ体制の崩壊とドル危機その 2 ―** 授業内容：「新しい」国際金融市場の台頭と戦後秩序の揺らぎについて解説。 事前学修 2.0hr：前回講義ノートの復習 事後学修 2.0hr：復習と課題7
8 回	**授業テーマ：国際経済政策の対立と協調（70 年代）―オイル・ショックと国際政策協調―** 授業内容：オイル・ショックに対する政策対応と現実展開について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義ノートの復習 事後学修 2.0hr：復習と課題8

9回	**授業テーマ：国際経済政策の対立と協調(70 年代)―オイル・ダラーをめぐる政策―** 授業内容：オイル・ダラー還流と政策展開について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義ノートの復習 事後学修 2.0hr：復習と課題9
10回	**授業テーマ：日米貿易摩擦の時代(80 年代)―アメリカの「双子の赤字」―** 授業内容：日米間の貿易摩擦を題材に政治経済学を解説。 事前学修 2.0hr：前回講義ノートの復習 事後学修 2.0hr：復習と課題 10
11回	**授業テーマ：プラザ合意の国際的影響―日本のバブル経済誘発―** 授業内容：日本の不動産・株バブルの生成・崩壊の国際的要因について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義ノートの復習 事後学修 2.0hr：復習と課題 11
12回	**授業テーマ：ポスト冷戦とグローバリゼーションの時代** 授業内容：米ソ冷戦の終結と新たな国際経済政策の展開について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義ノートの復習 事後学修 2.0hr：復習と課題 12
13回	**授業テーマ：資本移動の自由化と通貨・金融危機(90 年代～)** 授業内容：1980 年代以降頻発する通貨・金融危機の国際的波及について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義ノートの復習 事後学修 2.0hr：復習と課題 13
14回	**授業テーマ：多国籍企業時代の国際経済政策(90 年代～)―多国籍企業と国民国家―** 授業内容：グローバリゼーションの原動力である多国籍企業の全面展開の時代における経済政策について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義ノートの復習 事後学修 2.0hr：復習と課題 14
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：国際経済政策について総括する。 事前学修 3.0hr：全講義ノートの復習 事後学修 3.0hr：全講義の復習と期末課題

企業法(ビジネス法) Ⅰ

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

酒巻　雅純 (さかまき　まさずみ)

▌授業の概要

企業はあらゆる法律に規制されながら活動している。本講義(企業法Ⅰ)では、ビジネスに欠かせない企業法の中でも、特に、株式会社法の「理論と実務」を中心にを取り上げる。できる限り平易に身近な例を用いて講義を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 2/3、2020 年度以前入学生経営コース 3）

一般目標：「株式会社法」の基礎と応用の考え方を修得し、その理解をもって実践的に企業経営(実務)に活かすことができる。
個別目標：ビジネス法務に就職の活路を見出す者にとって有用となる。

▌履修条件

ビジネス法(特に、株式会社法及び金融商品取引法)に関心を持っている者。
なお、本講義は、会社法の応用及び実務も対象としているため、「会社法Ⅰ、Ⅱ」の発展科目となる。
したがって、会社法を履修済みであることが前提となる。

▌評価基準・方法

定期試験 100 %とする。

▌フィードバック方法

フィードバックや質疑応答は、manaba 上にて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション(課題)等を通して問題解決へのアプローチ方法を身につけることを目標とする。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

中東正文 他著『会社法』第 2 版　有斐閣(2021)
(なお、「会作法Ⅰ、Ⅱ」で使用する教科書と同じものとなる)

▌参考書

会社法等の法規集。
(なお、参考書などは必要に応じて、講義の中で紹介する)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション：　イントロダクション(学修の範囲の確認)** 授業内容：イントロダクションとして、株式会社法とは、どのようなことを定めている法律なのか、その概略を学修する。 事前学修 2.0hr：株式会社の特徴とは何か、について考える。 事後学修 2.0hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：株式会社法とは** 授業内容：株式会社の特徴と会社法の役割・目的等について学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：会社法の制定 (2005 年)とその後の会社法の改正について** 授業内容：会社法の制定 (2005 年)の背景やその後の会社法の改正について学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：株式会社の機関 ①** 授業内容：なぜ、会社法は株式会社に機関を要求するのかを、整理した上で、会社法における複雑な機関設計について学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：株式会社の機関 ② 株主総会** 授業内容：株主総会とは何か、株主総会の招集、株主総会での議決権、議事と決議の方法について学修する。さらに、応用編として、日本の実際の株主総会の実態やあり方について学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：株式会社の機関 ③ 取締役・取締役会** 授業内容：取締役・取締役会の意義、社外取締役、代表取締役について学修する。さらに、応用編として、「企業統治(コーポレート・ガバナンス)」についても学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：株主会社の機関 ④ 監査役** 授業内容：監査とは何か、監査役、監査役会、会計監査人について学修する。さらに、応用編として、上場会社の「会計不正」についても、学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：株式会社の機関 ⑤ 委員会設置会社** 授業内容：委員会設置会社について、その意義や実態を中心に学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
9回	**授業テーマ：株式会社の資金調達 ① 株式と資金調達** 授業内容：株式発行による資金調達(エクイティ・ファイナンス)について学修する。さらに、応用編として、上場会社の資金調達の推移や特徴点について学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：株式会社の資金調達 ② 株式とは何か、社債とは何か** 授業内容：株式とは何か、株主の権利と義務等に関して学修する。さらに社債について学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習

11回	**授業テーマ：株式会社の設立** 授業内容：株式会社の設立(設立とは、発起設立と募集設立、定款の記載事項等)について学修する。さらに、応用編として、合同会社(出資者と経営者が同一な会社形態)について学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：会社の組織再編　①** 授業内容：会社は、事業の拡大などのため、他の会社を合併・買収したり、事業を売却したりすることがある。ここでは、応用編として、組織再編の方法(M&A)、事業譲渡、合併・分割について学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：会社の組織再編　②** 授業内容：株式公開買い付け(TOB)及び敵対的買収と対策に関して学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：会社の解散・清算** 授業内容：会社解散・清算の基本的な手続きに関して学修する。さらに清算型の倒産手続き(特別清算、破産)や再建型の倒産手続き(民事再生、会社更生)などについて学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：株式会社法の総まとめ** 授業内容：株式会社法の総まとめ講義を行う。 事前学修 3.0hr：14 回までのテキストの通読 事後学修 2.0hr：疑問点の解明

企業法(ビジネス法)Ⅱ

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

酒巻　雅純（さかまき　まさずみ）

▌授業の概要

本講義(企業法Ⅱ)では、金融商品取引法について、できうる限り平易に講義を行う。
金融商品取引法の全体像や基本的な考え方を学ぶことは、ビジネスに必須の知識である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 2/3、2020 年度以前入学生経営コース 3）

一般目標：金融商品取引法(特に、有価証券の規制、企業の開示(ディスクロジャー)規制、金融商品取引業と規制、公開買付制度など)の基礎知識を得ることができる。
これから実社会に出て、企業へ就職する者にとって、有用となる。
個別目標：①金融商品取引法のしくみや基本的な考え方を説明することができる。
②日本の資本(証券)市場について、法規制から見る問題点を説明することができる。

▌履修条件

資本(証券)市場や証券取引に関心をもっている者。
なお、金融商品取引法の理解に欠かせない証券市場の制度・理論については、参考書などを使用して補うことになる。

▌評価基準・方法

定期試験 100 %。その他、総合的に勘案して評価する。

▌フィードバック方法

授業などのフィードバックは、manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション(課題)等を通して問題解決へのアプローチ方法を身につけることを目標とする。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業の中で、紹介する予定である。

▌参考書

資本(証券)市場についての参考書を紹介する。
授業では、金融商品取引法の理解に欠かせない証券市場についての参考書も使用する予定である。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション　金融商品取引法　序論　①** 授業内容：資本(証券)市場は、どのような市場なのかについて学修する。市場には、企業、投資家、証券会社などが存在する。このうち、企業は、投資家から資金を調達する。 事前学修 2.0hr：資本(証券)市場について、自分なりに調べておこう。 事後学修 2.0hr：なぜ、企業は、市場から資金を集めるのかを考える。
2回	**授業テーマ：金融商品取引法　序論　②** 授業内容：金融商品取引法とは、どのような法律なのか(国民経済の健全な発展と投資家を保護するための法律)について概説する。 事前学修 2.0hr：テキスト・参考書の通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：金融商品取引法　序論　③** 授業内容：ここでは、金融商品とは何か、株式、国債・地方債、社債などに関して学修する。 事前学修 2.0hr：テキスト等の通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：有価証券の規制　①** 授業内容：有価証券とデリバティブ(金融派生商品)の規制に関して学修する。 事前学修 2.0hr：テキスト等の通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：有価証券の規制　②** 授業内容：金融商品取引所及び株式公開(上場)について学修する。 事前学修 2.0hr：テキスト等の通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：有価証券の規制　③** 授業内容：投資信託の仕組みとその規制について学修する。 事前学修 2.0hr：テキスト等の通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：開示規制　①** 授業内容：発行開示制度と、その規制(有価証券届出書、目論見書)について学修する。 事前学修 2.0hr：テキスト等の通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：開示規制　②** 授業内容：上場会社の継続開示制度(有価証券報告書、内部統制報告書など)について学修する。さらに、財務計算書類の監査制度について学修する。 事前学修 2.0hr：テキスト等の通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
9回	**授業テーマ：金融商品取引業と規制　①** 授業内容：ここでは、金融商品取引業(証券会社など)について、その登録や開業規制に関して学修する。 事前学修 2.0hr：テキスト等の通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：金融商品取引業と規制　②** 授業内容：金融商品仲介業制度や顧客に対しての義務と規制について学修する。 事前学修 2.0hr：テキスト等の通読 事後学修 2.0hr：授業の復習

11回	**授業テーマ：公開買付制度　①** 授業内容：公開買付制度の概要、仕組み、情報開示規制について学修する。 事前学修 2.0hr：テキスト等の通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：公開買付制度　②** 授業内容：公開買付の方法、株券等を大量に保有する者の義務、大量保有報告書に関して学修する。 事前学修 2.0hr：テキスト等の通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：不公正な取引と規制　①** 授業内容：インサイダー取引に関して学修する。 事前学修 2.0hr：テキスト等の通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：不公正な取引と規制　②** 授業内容：金融商品取引業者が不公正な取引をした場合の規制、課徴金制度及び証券取引等監視委員会について学修する。 事前学修 2.0hr：テキスト等の通読 事後学修 2.0hr：授業の総復習
15回	**授業テーマ：金融商品取引法の総まとめ** 授業内容：第 1 回から第 14 回までの総まとめ講義を行う。 事前学修 2.0hr：テキスト等の全体の通読 事後学修 2.0hr：テキスト等の再確認

労働経済論 I

開講学科等：経　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

萩原　里紗（はぎわら　りさ）

▌授業の概要

労働経済学は、労働に関して、家計や企業などの経済主体がそれぞれの目的と置かれている制約の下でどのような行動をとるのか、そしてそのことが経済全体にどのような影響を及ぼすのかを明らかにする学問である。労働経済学 I では、労働経済分析を行うための基礎理論を講義・演習を通じて学び、社会・経済現象について考える力を養う。一部グループワークによるアクティブラーニングも実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1）

一般目標：現実の経済が抱える諸々の問題を解決するために、図や数式による説明を理解し、労働経済学の考え方を身につける。

個別目標：1. 現実の経済が抱える諸々の問題を引き起こす原因を探れるようになる（問題発見力）

2. 労働経済学の基礎となる理論に基づいた、問題に対する解決策を講じられるようになる（問題解決力）

3. 労働経済学の基礎となる理論を用いて、図や数式等で説明できるようになる（説明力）

▌履修条件

労働経済論 I とⅡをあわせて履修することを希望する。

▌評価基準・方法

確認問題及びコメントシート、グループワーク、レポートの結果で評価する。

（確認問題及びコメントシート：40 %、グループワーク：20 %、レポート：40 %）

確認問題及びコメントシートは毎回実施し、コメントシートには講義中の質問等を記入してもらう。

グループワークは授業の一部に導入し、参加度及び内容を評価基準に加える。

レポートは、各授業時に出される授業内容を問うレポート、最終授業時に出される全授業を通じた内容を問うレポートを課す。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、次回講義時に全員に対してまとめて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、実習形式の授業を実施する）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （グループワーク、データ収集・分析、レポート・発表資料作成等で、毎回使用する）

▌教科書

教科書は使用しない。教材として、授業資料を学修支援システム manaba にて配布する。

▌参考書

川口 大司 『日本の労働市場－経済学者の視点』有斐閣, 2017

清家 篤・風神 佐知子 『労働経済』東洋経済新報社, 2020

大森 義明・永瀬 伸子　『労働経済学をつかむ』有斐閣, 2021

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：本授業の内容及び進め方について説明する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んで、授業内容を確認する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
2 回	**授業テーマ：労働経済学の分析対象** 授業内容：労働経済学の分析対象とは何かについて学修する。 事前学修 2.0hr：授業資料の該当箇所を予習する。予習をしたのち、manaba 上の問題を授業前に解いておく。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
3 回	**授業テーマ：労働供給の決定** 授業内容：労働供給の決定はどのようにして行われるのかについて学修する。 事前学修 2.0hr：授業資料の該当箇所を予習する。予習をしたのち、manaba 上の問題を授業前に解いておく。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
4 回	**授業テーマ：労働時間の決定** 授業内容：労働時間の決定はどのようにして行われるのかについて学修する。 事前学修 2.0hr：授業資料の該当箇所を予習する。予習をしたのち、manaba 上の問題を授業前に解いておく。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
5 回	**授業テーマ：労働需要の決定** 授業内容：労働需要の決定はどのようにして行われるのかについて学修する。 事前学修 2.0hr：授業資料の該当箇所を予習する。予習をしたのち、manaba 上の問題を授業前に解いておく。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
6 回	**授業テーマ：労働市場の均衡メカニズム** 授業内容：労働市場の均衡メカニズムとは何かについて学修する。 事前学修 2.0hr：授業資料の該当箇所を予習する。予習をしたのち、manaba 上の問題を授業前に解いておく。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
7 回	**授業テーマ：失業と雇用調整** 授業内容：失業と雇用調整について学修する。 事前学修 2.0hr：授業資料の該当箇所を予習する。予習をしたのち、manaba 上の問題を授業前に解いておく。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
8 回	**授業テーマ：フィリップス曲線、UV 分析** 授業内容：フィリップス曲線、UV 分析とは何かについて学修する。 事前学修 2.0hr：授業資料の該当箇所を予習する。予習をしたのち、manaba 上の問題を授業前に解いておく。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
9 回	**授業テーマ：グループワーク** 授業内容：失業対策について、グループワークを実施する。 事前学修 2.0hr：これまでの学習範囲を復習し、グループワーク課題について議論できるように資料の収集を行う。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。グループワークのレポートをまとめる。

10回	**授業テーマ：内部労働市場と外部労働市場** 授業内容：内部労働市場と外部労働市場とは何かについて学修する。 事前学修 2.0hr：授業資料の該当箇所を予習する。予習をしたのち、manaba 上の問題を授業前に解いておく。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
11回	**授業テーマ：年功序列賃金** 授業内容：年功序列賃金とは何かについて学修する。 事前学修 2.0hr：授業資料の該当箇所を予習する。予習をしたのち、manaba 上の問題を授業前に解いておく。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
12回	**授業テーマ：人的資本理論** 授業内容：人的資本理論とは何かについて学修する。 事前学修 2.0hr：授業資料の該当箇所を予習する。予習をしたのち、manaba 上の問題を授業前に解いておく。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
13回	**授業テーマ：労働問題と法制度** 授業内容：労働問題と法制度について学修する。 事前学修 2.0hr：授業資料の該当箇所を予習する。予習をしたのち、manaba 上の問題を授業前に解いておく。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
14回	**授業テーマ：労働組合** 授業内容：労働組合とは何かについて学修する。 事前学修 2.0hr：授業資料の該当箇所を予習する。予習をしたのち、manaba 上の問題を授業前に解いておく。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：本授業の内容の振り返りを行い、試験に備える。 事前学修 2.0hr：これまでの授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。

労働経済論Ⅱ

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

萩原　里紗（はぎわら　りさ）

▌授業の概要

労働経済学は、労働に関して、家計や企業などの経済主体がそれぞれの目的と置かれている制約の下でどのような行動をとるのか、そしてそのことが経済全体にどのような影響を及ぼすのかを明らかにする学問である。労働経済学Ⅱでは、労働経済分析を行うための応用理論を講義・演習を通じて学び、近年取り沙汰されている若年者、高齢者、女性、外国人労働者に関する問題とその解決策について考える力を養う。一部グループワークによるアクティブラーニングも実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1）

一般目標：現実の経済が抱える諸々の問題を解決するために、図や数式による説明を理解し、労働経済学の考え方を身につける。

個別目標：1. 現実の経済が抱える諸々の問題を引き起こす原因を探れるようになる（問題発見力）
2. 労働経済学の基礎となる理論に基づいた、問題に対する解決策を講じられるようになる（問題解決力）
3. 労働経済学の基礎となる理論を用いて、図や数式等で説明できるようになる（説明力）

▌履修条件

労働経済論ⅠとⅡをあわせて履修することを希望する。

▌評価基準・方法

確認問題及びコメントシート、グループワーク、レポートの結果で評価する。
（確認問題及びコメントシート：40 %、グループワーク：20 %、レポート：40 %）
確認問題及びコメントシートは毎回実施し、コメントシートには講義中の質問等を記入してもらう。
グループワークは授業の一部に導入し、参加度及び内容を評価基準に加える。
レポートは、各授業時に出される授業内容を問うレポート、最終授業時に出される全授業を通じた内容を問うレポートを課す。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、次回講義時に全員に対してまとめて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、実習形式の授業を実施する）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （グループワーク、データ収集・分析、レポート・発表資料作成等で、毎回使用する）

▌教科書

教科書は使用しない。教材として、授業資料を学修支援システム manaba にて配布する。

▌参考書

川口 大司 『日本の労働市場－経済学者の視点』有斐閣, 2017
清家 篤・風神 佐知子 『労働経済』東洋経済新報社, 2020
大森 義明・永瀬 伸子　『労働経済学をつかむ』有斐閣, 2021

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：本授業の内容及び進め方について説明する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んで、授業内容を確認する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
2回	**授業テーマ：就業形態の種類** 授業内容：就業形態の種類について学修する。 事前学修 2.0hr：授業資料の該当箇所を予習する。予習をしたのち、manaba 上の問題を授業前に解いておく。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
3回	**授業テーマ：働き方の多様化** 授業内容：働き方の多様化について学修する。 事前学修 2.0hr：授業資料の該当箇所を予習する。予習をしたのち、manaba 上の問題を授業前に解いておく。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
4回	**授業テーマ：若年者就業** 授業内容：若年者就業について学修する。 事前学修 2.0hr：授業資料の該当箇所を予習する。予習をしたのち、manaba 上の問題を授業前に解いておく。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
5回	**授業テーマ：進学と就業の選択** 授業内容：進学と就業の選択はどのようにして行われるのかについて学修する。 事前学修 2.0hr：授業資料の該当箇所を予習する。予習をしたのち、manaba 上の問題を授業前に解いておく。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
6回	**授業テーマ：高齢化と高齢者就業** 授業内容：高齢化と高齢者就業について学修する。 事前学修 2.0hr：授業資料の該当箇所を予習する。予習をしたのち、manaba 上の問題を授業前に解いておく。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
7回	**授業テーマ：定年延長の影響** 授業内容：定年延長の影響について学修する。 事前学修 2.0hr：授業資料の該当箇所を予習する。予習をしたのち、manaba 上の問題を授業前に解いておく。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
8回	**授業テーマ：仕事と介護の両立** 授業内容：仕事と介護の両立について学修する。 事前学修 2.0hr：授業資料の該当箇所を予習する。予習をしたのち、manaba 上の問題を授業前に解いておく。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
9回	**授業テーマ：グループワーク** 授業内容：働き方の多様化について、グループワークを実施する。 事前学修 2.0hr：これまでの学習範囲を復習し、グループワーク課題について議論できるように資料の収集を行う。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。グループワークのレポートをまとめる。

10回	**授業テーマ：少子化と女性就業** 授業内容：少子化と女性就業について学修する。 事前学修 2.0hr：授業資料の該当箇所を予習する。予習をしたのち、manaba 上の問題を授業前に解いておく。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
11回	**授業テーマ：仕事と子育ての両立** 授業内容：仕事と子育ての両立について学修する。 事前学修 2.0hr：授業資料の該当箇所を予習する。予習をしたのち、manaba 上の問題を授業前に解いておく。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
12回	**授業テーマ：雇用差別** 授業内容：雇用差別とは何かについて学修する。 事前学修 2.0hr：授業資料の該当箇所を予習する。予習をしたのち、manaba 上の問題を授業前に解いておく。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
13回	**授業テーマ：外国人労働者受け入れによる国内労働者への影響** 授業内容：外国人労働者受け入れによる国内労働者への影響について学修する。 事前学修 2.0hr：授業資料の該当箇所を予習する。予習をしたのち、manaba 上の問題を授業前に解いておく。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
14回	**授業テーマ：各国における外国人労働者受け入れの現状** 授業内容：各国における外国人労働者受け入れの現状について学修する。 事前学修 2.0hr：授業資料の該当箇所を予習する。予習をしたのち、manaba 上の問題を授業前に解いておく。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：本授業の内容の振り返りを行い、試験に備える。 事前学修 2.0hr：これまでの授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：講義ノートを整理し、授業内容を復習する。

日本経済史

開講学科等：経 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

吉田　敦（よしだ　あつし）

▌授業の概要

ほぼ全週授業において、貿易データ分析による近現代日本経済史研究を行う。ただしコロナ禍前後から始まり、東日本大震災前後、戦後復興期から高度成長期を経てバブル崩壊後の日本経済、幕末・明治初期から第 2 次世界大戦直前までの日本経済、最後にポストコロナ禍の日本経済と、学生諸子の理解しやすいように、直近の問題から歴史を遡って研究を進めて行く。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1、2020 年度以前入学生経済コース 1）

一般目標：全週授業において小論文を執筆・提出して頂く。よって本講義における到達目標としては、卒業論文作成に通ずる、大学生に相応しい文章作成能力の修得を掲げる。

個別目標：データ分析の意義について説明できる。

▌履修条件

「授業内に作成する」小論文が成績評価上重要となる。よって公欠(出席でも欠席でもない)を含めて、出席数が少なければ、必然的に不合格となる。

▌評価基準・方法

(1) 小論文－ 1 回提出・合格に付き 6 点(全 14 回計 84 点)。

(2) 最終講義冒頭提出のレポート 2 作品(必ず前日までに作成してくる事)－ (各 8 点満点、配点については詳細に提示)。

▌フィードバック方法

小論文については毎週添削し、次週授業冒頭において返却(フィードバック)する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （全授業において小論文を作成する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

無し。

▌参考書

矢野恒太記念会編「日本国勢図会」及び「世界国勢図会」

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：データ分析の方法及び小論文の書き方について教授する。 事前学修 2.0hr：高校の日本史教科書等により、幕末以降の日本史について復習する。 事後学修 2.0hr：ガイダンスを踏まえて、データ分析の方法及び小論文の書き方について調べる。
2 回	**授業テーマ：コロナ禍前後の日本経済①** 授業内容：2019 年、2020 年、2021 年の日本の貿易データを分析し、その結果を論述して頂く。 事前学修 1.0hr：コロナ禍前後の日本経済について調べる。 事後学修 3.0hr：当該日の貿易データを再分析する。
3 回	**授業テーマ：コロナ禍前後の日本経済②** 授業内容：2019 年と 2020 年の日本の対サウジアラビア及びアラブ首長国連邦との貿易データを分析し、その結果を論述して頂く。 事前学修 1.0hr：前週の貿易データを再分析する。 事後学修 3.0hr：当該日の貿易データを再分析する。
4 回	**授業テーマ：コロナ禍前後の日本経済③** 授業内容：2019 年と 2020 年の日本の対オーストラリア及びロシアとの貿易データを分析し、その結果を論述して頂く。 事前学修 1.0hr：前週の貿易データを再分析する。 事後学修 3.0hr：当該日の貿易データを再分析する。
5 回	**授業テーマ：コロナ禍前後の日本経済④** 授業内容：2019 年と 2020 年の日本の貿易相手国に関するデータを分析し、その結果を論述して頂く。 事前学修 1.0hr：前週の貿易データを再分析する。 事後学修 3.0hr：当該日の貿易データを再分析する。
6 回	**授業テーマ：コロナ禍前後の日本経済⑤** 授業内容：2019 年、2020 年、2021 年の日本の対中国貿易データを分析し、その結果を論述して頂く。 事前学修 1.0hr：前週の貿易データを再分析する。 事後学修 3.0hr：当該日の貿易データを再分析する。
7 回	**授業テーマ：コロナ禍前後の日本経済⑥** 授業内容：2019 年、2020 年、2021 年の日本の対アメリカ貿易データを分析し、その結果を論述して頂く。 事前学修 1.0hr：前週の貿易データを再分析する。 事後学修 3.0hr：当該日の貿易データを再分析する。
8 回	**授業テーマ：東日本大震災前後の日本経済** 授業内容：2010 年、2011 年、2012 年の日本の貿易データを分析し、その結果を論述して頂く。 事前学修 1.0hr：前週の貿易データを再分析する。 事後学修 3.0hr：当該日の貿易データを再分析する。
9 回	**授業テーマ：戦後復興期から高度成長期までの日本経済** 授業内容：1950 年、1960 年、1970 年の日本の貿易データを分析し、その結果を論述して頂く。 事前学修 1.0hr：前週の貿易データを再分析する。 事後学修 3.0hr：当該日の貿易データを再分析する。
10 回	**授業テーマ：石油危機からバブル崩壊後までの日本経済** 授業内容：1980 年、1990 年、2000 年の日本の貿易データを分析し、その結果を論述して頂く。 事前学修 1.0hr：前週の貿易データを再分析する。 事後学修 3.0hr：当該日の貿易データを再分析する。
11 回	**授業テーマ：幕末から明治前期の日本経済** 授業内容：1865 年と 1885 年の日本の貿易データを分析し、その結果を論述して頂く。 事前学修 1.0hr：前週の貿易データを再分析する。 事後学修 3.0hr：当該日の貿易データを再分析する。

12回	**授業テーマ：明治後期から大正初期の日本経済** 授業内容：1899 年と 1913 年の日本の貿易データを分析し、その結果を論述して頂く。 事前学修 1.0hr：前週の貿易データを再分析する。 事後学修 3.0hr：当該日の貿易データを再分析する。
13回	**授業テーマ：大正期の日本経済** 授業内容：1917 年と 1924 年の日本の貿易データを分析し、その結果を論述して頂く。 事前学修 1.0hr：前週の貿易データを再分析する。 事後学修 3.0hr：当該日の貿易データを再分析する。
14回	**授業テーマ：昭和戦前期の日本経済** 授業内容：1936 年の日本の貿易データを分析し、その結果を論述して頂く。 事前学修 1.0hr：前週の貿易データを再分析する。 事後学修 3.0hr：当該日の貿易データを再分析する。
15回	**授業テーマ：ポストコロナ禍の日本経済** 授業内容：2020 年、2021 年、2022 年、2023 年、2024 年の日本の輸入相手国、オーストラリアからの輸入の推移、石炭と原油輸入の推移及びロシア貿易の推移についてデータを分析し、その結果を論述して頂く。 事前学修 1.0hr：前週の貿易データを再分析する。 事後学修 3.0hr：当該日の貿易データを再分析する。

経済学史Ⅰ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

佐藤　崇章（さとう　たかあき）

▌授業の概要

経済学の理論を歴史的に理解することだけが目的ではなく、その理論がいかなる歴史的・社会的現実のもとで、いかなる理論的な使命を担って形成されたかを、理論と現実との関連を明らかにすることによって理解し、単なる知識として蓄えることではなく、われわれが今日、現実に対応する姿勢を学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 6、2020 年度以前入学生経済コース 1）

一般目標：経済学は机上の空論ではなく、それぞれの時代の抱える諸問題に取り組む中から生まれた。この授業では、経済学の理論を歴史的に理解することだけでなく、現実の経済の仕組みを理解する手がかりをみつけ、経済学への興味を持つことを目的としている。
(1)どのような歴史的背景の中から経済学の理論が生まれてきたのか。(2)経済の分析手法がどのように変化したのか。

個別目標：経済学の歴史・系譜を把握し、経済学の「面白さ」に触れること。
経済学の理論が生まれたときの時代的な背景を理解して、先人の思想を考える力を身に付ける。

▌履修条件

履修者数の観点から、4 年生の履修を優先する場合があります。

▌評価基準・方法

レポート（５０%）及び定期テスト（５０%）

▌フィードバック方法

レポートの確認をして、評価につなげる。
manaba を用いた授業資料の閲覧、課題の提出、事前・事後学修（反転流授業の推進）

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （DVD 映像資料を見せた後、マナバのレポートに感想を書く事）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーションソフトで授業の細かな用語を説明。）

▌教科書

井上義朗 著 『経済学コア・テキスト 8 経済学史』 新世社 2004 年

▌参考書

伊藤 誠 編 『経済学史』 有斐閣 1996 年

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、経済学史とは、経済学の誕生、経済学における思想と理論** 授業内容：ガイダンスとして講義内容は、どうするか、評価はどうするか説明する。 事前学修 2.0hr：なぜ「経済学」の歴史を学ぶのかを考える。 事後学修 2.0hr：経済学史はどこから始めるか、経済学の発達は政治・経済思想の展開とどのように関係にあるのかをまとめる。
2回	**授業テーマ：重商主義的諸学説(重商主義の時代的背景)** 授業内容：重商主義とは、おおよそ 15 世紀から 18 世紀末にかけてヨーロッパ諸国が展開した経済政策を総称するものとして、アダム・スミスが用いた言葉ある。 事前学修 2.0hr：重商主義の時代的背景を調べる。 事後学修 2.0hr：重商主義的諸学説についてまとめる。
3回	**授業テーマ：重商主義的諸学説(重商主義の特徴、重金主義、貿易差額論)** 授業内容：重商主義とは、おおよそ 15 世紀から 18 世紀末にかけてヨーロッパ諸国が展開した経済政策を総称するものとして、アダム・スミスが用いた言葉ある。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：重金主義と貿易差額論との比較をまとめる。
4回	**授業テーマ：過渡的諸学説(ペティの「労働価値説」とステュアートの体系)** 授業内容：いかなる時代であろうとも人間の生の営みに軽重があるわけはないから、ある世紀を特別の意味あるものとしたり、あるいは別の世紀よりも重要だとみなしたりすることは、後代の人間の放漫といわれても仕方ないであろう。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：ペティの経済学史における位置を明らかにし、ステュアートの『経済学原理』の特徴をまとめる。
5回	**授業テーマ：重農学派を支えた思想(自然法思想)** 授業内容：その思想はフィジオクラシーとも呼ばれています。physio という接頭辞は、「物理学的な」とか「物理的な」という意味ですが、要するに、天然・自然の倫理を意味するものと考えればいいでしょう。 事前学修 2.0hr：重農主義の時代的背景と自然法思想について調べる。 事後学修 2.0hr：コルベール主義と農村の荒廃についてまとめる。
6回	**授業テーマ：重農学派の形成と展開(フィジオクラシー)** 授業内容：その思想はフィジオクラシーとも呼ばれています。physio という接頭辞は、「物理学的な」とか「物理的な」という意味ですが、要するに、天然・自然の倫理を意味するものと考えればいいでしょう。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：フランスでは重商主義に対する批判が重農主義の主張として展開されたのはなぜかについてまとめる。
7回	**授業テーマ：ケネーの『経済表』(「再生産論」)** 授業内容：その思想はフィジオクラシーとも呼ばれています。physio という接頭辞は、「物理学的な」とか「物理的な」という意味ですが、要するに、天然・自然の倫理を意味するものと考えればいいでしょう。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：ケネーの「再生産論」についてまとめる。
8回	**授業テーマ：テュルゴーの経済理論と重農学派** 授業内容：その思想はフィジオクラシーとも呼ばれています。physio という接頭辞は、「物理学的な」とか「物理的な」という意味ですが、要するに、天然・自然の倫理を意味するものと考えればいいでしょう。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：テュルゴーの経済理論と重農学派についてまとめる。
9回	**授業テーマ：古典派経済学の確立(アダム・スミスの思想と時代的背景)** 授業内容：「個々の人間の利己心は社会全体の富を生み出す」こう主張したアダム・スミスは、18 世紀後半、ヨーロッパへのタバコ貿易の中継港をもち、新しい商工業都市として成長しはじめていたスコットランドのグランスゴーで" 経済学の父" となるべき思想を育まれた。 事前学修 2.0hr：アダム・スミスの思想と時代的背景について調べる。 事後学修 2.0hr：国民の富の増大について、重商主義者のとらえ方とスミスの考え方との違いをまとめる。

10回	**授業テーマ：古典派経済学の確立(『道徳情操論』と経済人)** 授業内容：「個々の人間の利己心は社会全体の富を生み出す」こう主張したアダム・スミスは、18 世紀後半、ヨーロッパへのタバコ貿易の中継港をもち、新しい商工業都市として成長しはじめていたスコットランドのグランスゴーで" 経済学の父" となるべき思想を育まれた。 事前学修 2.0hr：『道徳情操論』について調べる。 事後学修 2.0hr：スミスの理論体系をまとめる。
11回	**授業テーマ：古典派経済学の確立(『国富論』の体系)** 授業内容：「個々の人間の利己心は社会全体の富を生み出す」こう主張したアダム・スミスは、18 世紀後半、ヨーロッパへのタバコ貿易の中継港をもち、新しい商工業都市として成長しはじめていたスコットランドのグランスゴーで" 経済学の父" となるべき思想を育まれた。 事前学修 2.0hr：『国富論』について調べる。 事後学修 2.0hr：『国富論』の全体像をまとめる。
12回	**授業テーマ：古典派経済学の確立(「分業論」)** 授業内容：「個々の人間の利己心は社会全体の富を生み出す」こう主張したアダム・スミスは、18 世紀後半、ヨーロッパへのタバコ貿易の中継港をもち、新しい商工業都市として成長しはじめていたスコットランドのグランスゴーで" 経済学の父" となるべき思想を育まれた。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：富と分業についてまとめる。
13回	**授業テーマ：古典派経済学の確立(「価値論」)** 授業内容：「個々の人間の利己心は社会全体の富を生み出す」こう主張したアダム・スミスは、18 世紀後半、ヨーロッパへのタバコ貿易の中継港をもち、新しい商工業都市として成長しはじめていたスコットランドのグランスゴーで" 経済学の父" となるべき思想を育まれた。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：スミスの「価値論」についてまとめる。
14回	**授業テーマ：古典派経済学の確立(リカードとマルサス、「穀物法論争」)** 授業内容：アダム・スミスの後を受けて、事実上、古典派経済学を完成の域にまで導いたのが、デイヴィッド・リカードです。リカードは、スミスの議論に残されていた曖昧な要素を払拭し、古典派経済学に一つの完成された体系を与えました。マルサスは、リカードほど精緻な理論体系を作った人物ではありませんが、リカードよりも、ある意味で現実的な感性に優れた面があり、後にケインズによって大成される有効需要の原理に、きわめて近い内容の議論も展開しました。 事前学修 2.0hr：リカードとマルサスの「穀物法論争」について調べる。 事後学修 2.0hr：「比較優位の原理」についてまとめる。
15回	**授業テーマ：古典派経済学の確立(『経済学および課税の原理』の全体像)** 授業内容：アダム・スミスの後を受けて、事実上、古典派経済学を完成の域にまで導いたのが、デイヴィッド・リカードです。リカードは、スミスの議論に残されていた曖昧な要素を払拭し、古典派経済学に一つの完成された体系を与えました。マルサスは、リカードほど精緻な理論体系を作った人物ではありませんが、リカードよりも、ある意味で現実的な感性に優れた面があり、後にケインズによって大成される有効需要の原理に、きわめて近い内容の議論も展開しました。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：リカードの「差額地代論」についてまとめる。試験に備えて講義内容を復習する。

経済学史Ⅱ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

佐藤　崇章（さとう　たかあき）

▌授業の概要

経済学の理論を歴史的に理解することだけが目的ではなく、その理論がいかなる歴史的・社会的現実のもとで、いかなる理論的な使命を担って形成されたかを、理論と現実との関連を明らかにすることによって理解し、単なる知識として蓄えることではなく、われわれが今日、現実に対応する姿勢を学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 6、2020 年度以前入学生経済コース 1）

一般目標：経済学は机上の空論ではなく、それぞれの時代の抱える諸問題に取り組む中から生まれた。この授業では、経済学の理論を歴史的に理解することだけでなく、現実の経済の仕組みを理解する手がかりをみつけ、経済学への興味を持つことを目的としている。
(1)どのような歴史的背景の中から経済学の理論が生まれてきたのか。(2)経済の分析手法がどのように変化したのか。

個別目標：経済学の歴史・系譜を把握し、経済学の「面白さ」に触れること。
経済学の理論が生まれたときの時代的な背景を理解して、先人の思想を考える力を身に付ける。

▌履修条件

履修者数の観点から、4 年生の履修を優先する場合があります。

▌評価基準・方法

レポート（５０%）及び定期テスト（５０%）

▌フィードバック方法

レポート確認をして、評価につなげる。
manaba を用いた授業資料の閲覧、課題の提出、事前・事後学修（反転流授業の推進）

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （DVD 映像資料を見せた後、マナバのレポートに感想を書く事）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーションソフトで授業の細かな用語を説明。）

▌教科書

井上義朗 著 『経済学コア・テキスト 8 経済学史』 新世社 2004 年、

▌参考書

伊藤 誠 編 『経済学史』 有斐閣 1996 年

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、講義内容と評価について** 授業内容：ガイダンスとして講義内容はどうするか、評価はどうするか、説明する。 事前学修 2.0hr：なぜ「経済学」の歴史を学ぶのかを考える。 事後学修 2.0hr：教科書をざっと見る
2回	**授業テーマ：歴史学派(リストの『経済学の国民的体系』)** 授業内容：歴史学派は、" ドイツに生まれたドイツのための経済学" である。歴史学派の経済学者たちは、他国のための経済学や誰のためかわからない抽象的な経済理論は無意味だと主張し、ドイツの発展に貢献することのみを目的とした経済学を発展させた。これは一見して偏狭なナショナリズム経済学と受け取られやすい。しかし経済学が何のため、誰のためかを考えるときには、歴史学派の議論を素通りすることはできない。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：リストの「国民的生産諸力の理論」についてまとめる。
3回	**授業テーマ：歴史学派** 授業内容：歴史学派は、" ドイツに生まれたドイツのための経済学" である。歴史学派の経済学者たちは、他国のための経済学や誰のためかわからない抽象的な経済理論は無意味だと主張し、ドイツの発展に貢献することのみを目的とした経済学を発展させた。これは一見して偏狭なナショナリズム経済学と受け取られやすい。しかし経済学が何のため、誰のためかを考えるときには、歴史学派の議論を素通りすることはできない。 事前学修 2.0hr：歴史学派を調べる 事後学修 2.0hr：復習する
4回	**授業テーマ：歴史学派** 授業内容：歴史学派は、" ドイツに生まれたドイツのための経済学" である。歴史学派の経済学者たちは、他国のための経済学や誰のためかわからない抽象的な経済理論は無意味だと主張し、ドイツの発展に貢献することのみを目的とした経済学を発展させた。これは一見して偏狭なナショナリズム経済学と受け取られやすい。しかし経済学が何のため、誰のためかを考えるときには、歴史学派の議論を素通りすることはできない。 事前学修 2.0hr：歴史学派を調べる 事後学修 2.0hr：復習する
5回	**授業テーマ：歴史学派** 授業内容：歴史学派は、" ドイツに生まれたドイツのための経済学" である。歴史学派の経済学者たちは、他国のための経済学や誰のためかわからない抽象的な経済理論は無意味だと主張し、ドイツの発展に貢献することのみを目的とした経済学を発展させた。これは一見して偏狭なナショナリズム経済学と受け取られやすい。しかし経済学が何のため、誰のためかを考えるときには、歴史学派の議論を素通りすることはできない。 事前学修 2.0hr：歴史学派を調べる 事後学修 2.0hr：復習する
6回	**授業テーマ：マルクス経済学(資本論)** 授業内容：私有財産制を指摘しただけでは、そこからなぜ階級分裂が起こり、なぜ貧しき労働者が生み出され、なぜ好況と不況が繰り返されるのか、この課題を自らに課し、新しい経済社会体制としての、社会主義の理論を打ち立てたのが、カール・マルクスとフリードリヒ・エンゲルスでした。 事前学修 2.0hr：資本論について調べる 事後学修 2.0hr：復習する
7回	**授業テーマ：新古典派経済学とは(限界効用価値論)** 授業内容：この学説によって、古典派ではくわしく展開されなかった市場についての分析が、きわめて精緻な内容をもっておこなわれるようになりました。そのため市場経済がますます隆盛を極めるに従い、彼らを起点とする新古典派経済学が、いつしか経済学の主流派と目されるようになりました。そのため、この 3 人による限界原理の同時提唱を、今日では限界革命と表現することがあります。 事前学修 2.0hr：新古典派経済学とは何かを調べる。 事後学修 2.0hr：「限界革命」の３人と３大学派についてまとめる。
8回	**授業テーマ：メンガーの「効用価値論」** 授業内容：この学説によって、古典派ではくわしく展開されなかった市場についての分析が、きわめて精緻な内容をもっておこなわれるようになりました。そのため市場経済がますます隆盛を極めるに従い、彼らを起点とする新古典派経済学が、いつしか経済学の主流派と目されるようになりました。そのため、この 3 人による限界原理の同時提唱を、今日では限界革命と表現することがあります。 事前学修 2.0hr：「水とダイヤモンドのパラドックス」について調べる。 事後学修 2.0hr：メンガーの「効用価値論」についてまとめる。

9回	**授業テーマ：ワルラスの「一般均衡理論」** 授業内容：この学説によって、古典派ではくわしく展開されなかった市場についての分析が、きわめて精緻な内容をもっておこなわれるようになりました。そのため市場経済がますます隆盛を極めるに従い、彼らを起点とする新古典派経済学が、いつしか経済学の主流派と目されるようになりました。そのため、この 3 人による限界原理の同時提唱を、今日では限界革命と表現することがあります。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：需要曲線はなぜ右下がりか、供給曲線はなぜ右上がりかをまとめる。
10回	**授業テーマ：マーシャルの『経済学原理』** 授業内容：この学説によって、古典派ではくわしく展開されなかった市場についての分析が、きわめて精緻な内容をもっておこなわれるようになりました。そのため市場経済がますます隆盛を極めるに従い、彼らを起点とする新古典派経済学が、いつしか経済学の主流派と目されるようになりました。そのため、この 3 人による限界原理の同時提唱を、今日では限界革命と表現することがあります。 事前学修 2.0hr：マーシャルの時代的背景と 19 世紀末のイギリス経済について調べる。 事後学修 2.0hr：マーシャルの動態的市場理論についてまとめる。
11回	**授業テーマ：シュンペーターの『経済発展の理論』** 授業内容：イノベーション、日本語では「新結合」などと訳されている。これは、企業家がたえず新しい製品や生産技術を開発したり、新しい市場や資源を開拓したり、新しい組織を作ったりすることを意味する。古いものが破壊されて新しいアイディアが実現する事で進歩が起こるーこれをシュンペーターは「創造的破壊」と呼び、これが彼の経済発展理論のキャッチフレーズとなり核となった。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：シュンペーターの景気循環についてまとめる。
12回	**授業テーマ：ケインズ経済学(『雇用・利子および貨幣の一般理論』)** 授業内容：高度に知的な両親の下に生まれたジョン・メイナード・ケインズ。彼はエリート中のエリートであったが、単なる理論家には終わらず、２つの世界大戦という圧倒的な現実の中で国際政治と世界経済を動かした壮大なる存在でもあった。 事前学修 2.0hr：世界恐慌について調べる。 事後学修 2.0hr：なぜ失業者が現れるのか、新古典派・ケインズの考え方をまとめる。
13回	**授業テーマ：ケインズ経済学(「有効需要の原理」)** 授業内容：高度に知的な両親の下に生まれたジョン・メイナード・ケインズ。彼はエリート中のエリートであったが、単なる理論家には終わらず、２つの世界大戦という圧倒的な現実の中で国際政治と世界経済を動かした壮大なる存在でもあった。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：ケインズの「有効需要の原理」についてまとめる。
14回	**授業テーマ：ケインズ経済学(ケインズ理論の発展)** 授業内容：高度に知的な両親の下に生まれたジョン・メイナード・ケインズ。彼はエリート中のエリートであったが、単なる理論家には終わらず、２つの世界大戦という圧倒的な現実の中で国際政治と世界経済を動かした壮大なる存在でもあった。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：ケインズの『一般理論』の体系についてまとめる。
15回	**授業テーマ：経済学史のまとめ** 授業内容：目標(経済学は机上の空論ではなく、それぞれの時代の抱える諸問題に取り組む中から生まれた。この授業では、経済学の理論を歴史的に理解することだけでなく、現実の経済の仕組みを理解する手がかりをみつけ、経済学への興味を持つことを目的としている。)を達成したか確認する。 (1)どのような歴史的背景の中から経済学の理論が生まれてきたのか。(2)経済の分析手法がどのように変化したのか。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：試験に備えて講義内容を復習する。

西洋経済史Ⅰ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

佐藤　崇章（さとう　たかあき）

▌授業の概要

経済史という学問は、経済学の一分野であると同時に、歴史学の一部門であるともされている。一般的には、歴史学は、過去の政治や経済を扱うもの、経済学は、現在の経済を対象とするものと考えられているから、その２つの領域にまたがる経済史は、過去と現在をつなぐ学問ということもできる。歴史学も経済学も現在に対しての関心から出発している。今日の成り立ちを勉強するにあたり、本講義においては、中世の西洋経済史（６世紀～）から始める事を目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/4、2020 年度以前入学生経済コース 1）

一般目標：（１）本講義においては、中世（６世紀～１５世紀）についての一般的な概念である農業の発展や中世都市と商工業の発達を理解できる。
（２）本講義においては、中世における地理的な歴史観を定着させる事ができる。

個別目標：歴史学を通じて知的な能力を鍛え、過去についての知識だけでなく現在や未来についての見識や洞察力を養う事。
過去の事実を歴史的に関連づけ、現在との関係で意味を探ることが出来る能力を養う事。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

テスト（５０%）、レポート（５０%）

▌フィードバック方法

レポートの確認をして、評価につなげる。
manaba を用いた授業資料の閲覧、課題の提出、事前・事後学修（反転流授業の推進）

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （DVD 映像資料を見せた後、マナバのレポートに感想を書く事）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーションソフトで授業の細かな用語を説明。）

▌教科書

岡田泰男（他）著『西洋経済史』八千代出版　１９９５年

▌参考書

奥西孝至（他）著『西洋経済史』有斐閣アルマ　２０１０年、馬場哲（他）著『エレメンタル欧米経済史』晃洋書房　2012 年

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：この講義におけるガイダンス、講義内容、評価等** 授業内容：この講義におけるガイダンスとして講義内容は、何を教えるか、評価はどのようにするか等を説明する。 事前学修 2.0hr：一般的な西洋経済史の教科書をざっと見てみること 事後学修 2.0hr：ガイダンスの理解と復習
2回	**授業テーマ：中世農村と農業の発展（１）封建社会の成立** 授業内容：４世紀末のゲルマン民族の移動による西ローマ帝国の滅亡以降の封建制度、荘園制度等を説明する。 事前学修 2.0hr：参考書で予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：中世農村と農業の発展（２）集村化と三圃農法** 授業内容：民族大移動後のゲルマン人は、定住して「原初村落」を形成した。気候の温暖化が見られた 8 世紀半以降、「集村化」と呼ばれる現象が、西ヨーロッパの平野地帯で進行した。 事前学修 2.0hr：参考書で予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：人口増加と開墾・植民運動** 授業内容：ヨーロッパにおける８世紀半から 13 世紀は、経済の発展・拡張の時代であった。冶金術の進歩による大型重量有輪犂の導入、牛馬けいが法の発達および三圃制度の発展といった農業技術上の革新や水車の普及によって、農業生産力が飛躍的に増大した。 事前学修 2.0hr：参考書で予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：商業の復活と中世都市の成立** 授業内容：２世紀の「ローマの平和」の時代に繁栄の極に達した古代商業は、9 世紀に入るとほぼ完全に衰退した。確かに東方との奢侈品取引や奴隷貿易は、シリヤ人やユダヤ人によって細々と続けられていたとはいえ、ヨーロッパにおいては商業中心地たる都市が衰微した。 事前学修 2.0hr：参考書で予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：中世都市の特質と同職ギルド** 授業内容：コミューン運動後のヨーロッパの中世都市は、都市特権として都市の自由を有していた。すなわち、市壁内においては、農村における農奴のような身分的隷属性は存在しなかったのであり、人格的自由を認められた市民は、農奴が負担した賦役やその他の封建的義務を免れることができた。 事前学修 2.0hr：参考書で予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：中世の世界経済** 授業内容：「商業の復活」の中心となった地中海商業圏と北海・バルト海商業圏とを結ぶ結節点となったのが、シャンパーニュの大市であり、12～13 世紀に繁栄を極めた。 事前学修 2.0hr：参考書で予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：農村の変化** 授業内容：ヨーロッパ経済史上における１ 4～15 世紀は、経済停滞・縮小の時代であった。ヨーロッパでは、寒くそして雨の多い夏が長く続いた。この結果、それまで耕作が可能であった限界耕地が耕作不能となった。この結果引き起こされた食料不足などそれ以降の事を説明する。 事前学修 2.0hr：参考書で予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
9回	**授業テーマ：都市の変化** 授業内容：ツンフト闘争以降の話やツンフトの変化を説明する。 事前学修 2.0hr：参考書で予習 事後学修 2.0hr：授業の復習

10回	**授業テーマ：近世ヨーロッパ世界と重商主義国家** 授業内容：貨幣経済や市場経済がさらに広がりを見せた時代だった。16〜18 世紀の商業資本主義時代を説明する。 事前学修 2.0hr：参考書で予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：人口の趨勢, 都市化, 物価と賃金の動向** 授業内容：近世ヨーロッパ社会を近代国家の誕生や宗教改革といった出来事だけから説明することはもちろんできない。まず検討しなければならないのは人口である。 事前学修 2.0hr：参考書で予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：１６世紀　農業の拡大, 農村と農業制度** 授業内容：近世初頭のヨーロッパは、一部の限られた地域をのぞけば圧倒的に農業と農民からなる社会だった。16 世紀の人口増加、農産物価格の上昇、都市化の進展は、この農業社会に様々な方向から大きな影響を及ぼし、それを変えていった。 事前学修 2.0hr：参考書で予習 事後学修 2.0hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：大航海時代の商工業** 授業内容：大航海時代はヨーロッパ商業に新しい世界を開いた。しかし、それが与えたインパクトは、当然、地域により時期により異なっていた。 事前学修 2.0hr：教科書を精読、わからない語彙は調べる事 事後学修 2.0hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：不況の 17 世紀　工業の再編とプロト工業化** 授業内容：17 世紀は危機の時代ともいわれる。たしかに、拡大の 16 世紀を特徴づけていた諸指標の動きは、17 世紀には逆転する。人口増加と物価、とりわけ農産物価格の上昇はほぼどこでも 17 世紀なかごろまでには終わりを遂げ、下落の一途をたどっていた実質賃金は上昇に転じた。その説明は単純ではない。 事前学修 2.0hr：教科書を精読、わからない語彙は調べる事 事後学修 2.0hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：イギリスの産業革命と各国の産業革命とそれ以降の歴史** 授業内容：イギリスの経済史家ピーター・マサイアスは、その著『最初の工業国家』の中で、18 世紀以降のイギリスの経済変動について次のように述べている。「イギリスの工業化は〜」彼のこの言葉は、イギリス産業革命の重要な特徴の１つを正確に言い当てている。おそらくアメリカは別として、他のヨーロッパ諸国、ロシア、あるいは日本のように、イギリスの後を追って産業革命を経験した国々の工業化は自発的なものではなく、多かれ少なかれ目的意識的なものであった。産業革命について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書を精読、わからない語彙は調べる事 事後学修 2.0hr：授業の復習

西洋経済史Ⅱ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

佐藤　崇章（さとう　たかあき）

▌授業の概要

経済史は、ある時代を定めて、その時代の時間軸の流れで事象を一つ一つ理解していく事にある。事に現代の経済から近い時代から始めるとなれば、統計的な数字による理解も可能となる。本講義においては、第１次大戦と第２次大戦の間の戦間期の国際経済を理解する事を目的にする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/4、2020 年度以前入学生経済コース 1）

一般目標：・戦間期の経済政策を理解できる。
　　・戦間期の現実の状況を数値により理解できる。
個別目標：歴史学を通じて知的な能力を鍛え、過去についての知識だけでなく現在や未来についての見識や洞察力を養う事。
　　過去の事実を歴史的に関連づけ、現在との関係で意味を探ることが出来る能力を養う事。

▌履修条件

西洋経済史Ⅰを履修している事が望ましい。第 1 回目のガイダンスに教科書を持ってくる事。

▌評価基準・方法

テスト（５０%）、レポート（５０%）

▌フィードバック方法

レポート確認をして、評価につなげる。
manaba を用いた授業資料の閲覧、課題の提出、事前・事後学修（反転流授業の推進）

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （DVD 映像資料を見せた後、マナバのレポートに感想を書く事）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーションソフトで授業の細かな用語を説明。）

▌教科書

ジャック・ネレ著　岩田文夫訳『１９２９年の恐慌』現代図書２０１４年出版

▌参考書

ジョン・ｋ・ガルブレイス著　村井章子訳『大暴落１９２９』日経 BP 社　２００８年出版、アダム・ファーガソン著　黒輪篤嗣、桐谷知未訳『ハイパーインフレの悪夢』新潮社　２０１１年出版、岩田文夫著『戦間期の国際経済』経済往来社　昭和６１年出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：この講義におけるガイダンス、授業内容、評価。** 授業内容：この講義におけるガイダンスとして授業内容は、どのような内容にするのか、評価はどうするか等を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書をざっと見ること 事後学修 2.0hr：ガイダンスの理解
2 回	**授業テーマ：通貨混乱と１９２１年の恐慌** 授業内容：通貨混乱と１ 921 年の恐慌を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書で予習 事後学修 2.0hr：講義の復習（教科書の精読、問題点の整理）
3 回	**授業テーマ：戦争による均衡喪失** 授業内容：この研究は１ 914 年－ 1918 年の戦争、すなわち第 1 次大戦によって引き起こされた破壊や損失の算定、評価から始めようと思った。しかし、よく考えてみると戦争による破壊の結果はむしろ、その後の経済活動を刺激することになり、それ自体は恐慌の要因ではない。 事前学修 2.0hr：教科書で予習 事後学修 2.0hr：講義の復習
4 回	**授業テーマ：通貨体制の崩壊** 授業内容：1914 年、戦争当初において、全ての参戦国は彼らの通貨の強制流通を布告していた。すなわち、紙幣はその後、金との交換が停止された（金本位制の停止）。その結果、それまでそれぞれの国が定めていた金平価、すなわち紙幣と金との間に固定されていた公定の交換比率が停止された事により、諸国の通貨間の交換比率、あるいは相対価値は変わりえることになり、とりわけ中立諸国の金融市場では、実際にそれが変動を始めた。 事前学修 2.0hr：教科書で予習 事後学修 2.0hr：講義の復習
5 回	**授業テーマ：１９２１年の恐慌** 授業内容：全般的な欠乏状態は、休戦によっても、また和平の調印によってさえ終結をみなかったので、1919 年と 1920 年の一部期間中、物価は上昇し続けた。 事前学修 2.0hr：教科書で予習 事後学修 2.0hr：講義の復習
6 回	**授業テーマ：当時のいくつかの説明** 授業内容：1921 年の恐慌は初めて、多くの観察者と有力言論界に、発生した経済不安の重大さを理解させる事になる。 事前学修 2.0hr：教科書で予習 事後学修 2.0hr：講義の復習
7 回	**授業テーマ：通貨と信用の諸現象** 授業内容：後に１ 921 年恐慌の原因が問われた時、当たり前のように提示された理論は、たぶん次のように言い表される。すなわち、戦争の間、交戦諸国はすぐには満たすことのできない需要を蓄積していた。 事前学修 2.0hr：教科書で予習 事後学修 2.0hr：講義の復習
8 回	**授業テーマ：中央および東ヨーロッパの通貨崩壊（対面授業）** 授業内容：1921 年の恐慌の後、人々は全く新しい現象を目撃する。すなわち、いくつかの国の通貨の下落が速まり、これらの通貨は全く価値を失い、もはや交換手段としての本来の役割を果たすことができなくなるに至ったことである。 事前学修 2.0hr：教科書で予習 事後学修 2.0hr：講義の復習
9 回	**授業テーマ：ジェノア（イタリア）会議と安定恐慌** 授業内容：ジェノア会議と安定恐慌について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書で予習 事後学修 2.0hr：講義の復習

10回	**授業テーマ：経済と政治の最初の相互交渉** 授業内容：何よりもイギリスに打撃を与えた１９２１年恐慌は、イギリス政治の非常に重要な転換期を画した、あるいはいずれにしてもそれを加速した。 事前学修 2.0hr：教科書で予習 事後学修 2.0hr：講義の復習
11回	**授業テーマ：ジェノア会議（１９２２年4-5月）** 授業内容：１９１９年以降、国際会議は数々開かれているが、ジェノア会議は初めて純粋に経済的目標を定めており、大きくはヨーロッパの経済再建を意図していた。 事前学修 2.0hr：教科書で予習 事後学修 2.0hr：講義の復習
12回	**授業テーマ：通貨安定政策** 授業内容：ジェノア会議の金融勧告案は、その時すぐに留保条件や反対意見が出されたにも関わらず、事実上、遅れることなくかなり広く受け入れられた。 事前学修 2.0hr：教科書で予習 事後学修 2.0hr：講義の復習
13回	**授業テーマ：オーストリア** 授業内容：オーストリアは、インフレで無価値になってしまった通貨を新しい通貨に切り替えた最初の国であった。それはまた、ジェノア会議によって勧告されていた国際協力の恵まれた例であった。 事前学修 2.0hr：教科書で予習 事後学修 2.0hr：講義の復習
14回	**授業テーマ：ドイツ** 授業内容：ドイツの場合は、技術的にはオーストリアのケーズとかなり類似していたが、大きな政治的相違を見せた。 事前学修 2.0hr：教科書で予習 事後学修 2.0hr：講義の復習
15回	**授業テーマ：ウォール街の株式大暴落とアメリカの恐慌** 授業内容：ベンジャミン・ストロングや同様にアメリカと世界における金融安定の確保に努めていた人たちが恐れていたのは、大きな投機圧力がアメリカのもろい均衡状態をくつがえすことになるのではないか、ということであった。 事前学修 2.0hr：教科書で予習 事後学修 2.0hr：講義の復習

簿記論Ⅲ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

池田　晋（いけだ　すすむ）

▌授業の概要

履修モデルの中の会計学を選択した 2 年生の進級要件にかかわる科目です。
授業内容は、日商簿記検定 2 級取得の講義科目です。講義・解説が中心となります。授業の進め方・評価方法などは、授業開始時に教員の指示にしたがうこと。基本的に、実践経済学Ⅰ（簿記）と同じスケジュールです。具体的な授業の進め方・評価方法などの詳細は，授業開始時に教員の指示にしたがうこと。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3）

一般目標：仕訳から決算までの簿記一巡の流れを学び，中規模企業および連結企業の経理担当者として活躍することが可能となるような日商簿記 2 級合格レベルの知識を得る。
個別目標：日商簿記検定 2 級合格

▌履修条件

日商簿記 3 級に合格していることが望ましい。

▌評価基準・方法

期中の課題と期末テストあるいは日商簿記 2 級の試験結果で評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは，学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『合格テキスト　日商簿記 2 級　商業簿記』　TAC 出版社 最新の Version
『合格トレーニング　日商簿記 2 級　商業簿記』　TAC 出版社 最新の Version

▌参考書

『合格するための本試験問題集　日商簿記 2 級』TAC 出版　最新の Version

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス、　財務諸表** 授業内容：合格テキストのテーマ 00 と 01（予定） 事前学修 2.0hr：授業範囲の通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
2 回	**授業テーマ：商品売買** 授業内容：合格テキストのテーマ 02（予定） 事前学修 2.0hr：授業範囲の通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
3 回	**授業テーマ：現金および預金** 授業内容：合格テキストのテーマ 03（予定） 事前学修 2.0hr：授業範囲の通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
4 回	**授業テーマ：債権・債務** 授業内容：合格テキストのテーマ 04（予定） 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
5 回	**授業テーマ：有価証券** 授業内容：合格テキストのテーマ 05（予定） 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
6 回	**授業テーマ：有形固定資産（Ⅰ）** 授業内容：合格テキストのテーマ 06（予定） 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
7 回	**授業テーマ：有形固定資産（Ⅱ）** 授業内容：合格テキストのテーマ 07（予定） 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
8 回	**授業テーマ：リース取引、無形資産等と研究開発費** 授業内容：合格テキストのテーマ 08 と 09（予定） 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
9 回	**授業テーマ：引当金** 授業内容：合格テキストのテーマ 10（予定） 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
10 回	**授業テーマ：外貨換算会計、税金** 授業内容：合格テキストのテーマ 11 と 12（予定） 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
11 回	**授業テーマ：課税所得の算定と税効果会計** 授業内容：合格テキストのテーマ 13（予定） 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習

12回	**授業テーマ：株式の発行、剰余金の配当と処分** 授業内容：合格テキストのテーマ 14 と 15（予定） 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：決算手続、収益・費用の認識基準** 授業内容：合格テキストのテーマ 16 と 17（予定） 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：本支店会計** 授業内容：合格テキストのテーマ 18（予定） 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：前期のまとめ** 授業内容：前期まとめ 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習

簿記論Ⅳ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

池田　晋（いけだ　すすむ）

▌授業の概要

履修モデルの中の会計学を選択した 2 年生の進級要件にかかわる科目です。
授業内容は、日商簿記検定 2 級取得の講義科目です。講義・解説が中心となります。授業の進め方・評価方法などは、授業開始時に教員の指示にしたがうこと。基本的に、実践経済学Ⅱ（簿記）と同じスケジュールです。具体的な授業の進め方・評価方法などの詳細は，授業開始時に教員の指示にしたがうこと。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3）

一般目標：仕訳から決算までの簿記一巡の流れを学び，中規模企業および連結企業の経理担当者として活躍することが可能となるような日商簿記 2 級合格レベルの知識を得る。
個別目標：日商簿記 2 級合格。

▌履修条件

簿記論Ⅲを履修していること。
日商簿記 3 級に合格していることが望ましい。

▌評価基準・方法

期中の課題と期末テストあるいは日商簿記 2 級の試験結果で評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは，学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『合格するための本試験問題集　日商簿記 2 級』TAC 出版　最新の Version
『合格トレーニング　日商簿記 2 級　商業簿記』　TAC 出版 最新の Version

▌参考書

『合格テキスト　日商簿記 2 級　商業簿記』　TAC 出版 最新の Version

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス，合併と事業譲渡** 授業内容：合併と事業譲渡の問題演習 事前学修 2.0hr：授業範囲の通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：連結会計Ⅰ** 授業内容：連結会計の講義 事前学修 2.0hr：授業範囲の通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：連結会計Ⅱ** 授業内容：連結会計の講義 事前学修 2.0hr：授業範囲の通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：連結会計Ⅲ** 授業内容：連結会計の講義 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：連結会計Ⅳ** 授業内容：連結会計の講義 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：過去問題演習** 授業内容：第１回本試験演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：過去問題演習** 授業内容：第２回本試験演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：過去問題演習** 授業内容：第３回本試験演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
9回	**授業テーマ：過去問題演習** 授業内容：第４回本試験演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：過去問題演習** 授業内容：第５回本試験演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：過去問題演習** 授業内容：第６回本試験演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習

12回	**授業テーマ：過去問題演習** 授業内容：第７回本試験演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：過去問題演習** 授業内容：第８回本試験演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：過去問題演習** 授業内容：第９回本試験演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：過去問題演習** 授業内容：まとめ 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習

簿記特別演習Ⅲ

開講学科等：経 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

池田　晋（いけだ　すすむ）

▌授業の概要

日商簿記 1 級の商業簿記・会計学の分野での講義を中心に，問題演習も行います。日商簿記 2 級の知識があることが前提です。具体的な授業の進め方・評価方法などの詳細は，授業開始時に教員の指示にしたがうこと。
簿記資格の最高峰である日商簿記 1 級に合格するためには，2 級の約 3 倍の知識が必要と言われています。まず，2 級の知識を確実に身につけてから，授業に臨むようにしてください。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3）

一般目標：大企業の経理担当者として活躍することが可能となるような日商簿記 1 級レベルの知識を得る。
個別目標：日商簿記 1 級合格

▌履修条件

日商簿記 2 級合格者

▌評価基準・方法

小テスト（クイズ）と期末テストあるいは日商簿記 1 級の試験結果で評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは，学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『合格テキスト　日商簿記 1 級　商業簿記・会計学Ⅰ』　TAC 出版 最新の Version
『合格トレーニング　日商簿記 1 級　商業簿記・会計学Ⅰ』　TAC 出版 最新の Version

▌参考書

『合格するための過去問題集　日商簿記 1 級』TAC 出版　最新の Version

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：ガイダンス 事前学修 2.0hr：事前配布資料の通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
2 回	**授業テーマ：2 級の復習** 授業内容：2 級（商業簿記）の演習 事前学修 2.0hr：事前配布資料の通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
3 回	**授業テーマ：商業簿記・会計学総論** 授業内容：商業簿記・会計学総論の講義・演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
4 回	**授業テーマ：商品売買の会計処理と原価率・利益率** 授業内容：商品売買の会計処理の講義・演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
5 回	**授業テーマ：商品売買の会計処理と原価率・利益率** 授業内容：商品売買の会計処理の講義・演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
6 回	**授業テーマ：棚卸資産** 授業内容：棚卸資産の講義・演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
7 回	**授業テーマ：棚卸資産** 授業内容：棚卸資産の講義・演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
8 回	**授業テーマ：収益の認識基準** 授業内容：収益の認識基準の講義・演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
9 回	**授業テーマ：工事契約** 授業内容：工事契約の講義・演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
10 回	**授業テーマ：割賦販売** 授業内容：割賦販売の講義・演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
11 回	**授業テーマ：委託販売** 授業内容：委託販売の講義・演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習

12回	**授業テーマ：試用販売** 授業内容：試用販売の講義・演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：未着品販売** 授業内容：未着品販売の講義・演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：演習** 授業内容：過去問題に取り組む 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：演習** 授業内容：過去問題に取り組む 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習

簿記特別演習Ⅳ

開講学科等：経 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

池田　晋（いけだ　すすむ）

▌授業の概要

日商簿記 1 級の商業簿記・会計学の分野での講義を中心に，問題演習も行います。日商簿記 2 級の知識があることが前提です。具体的な授業の進め方・評価方法などの詳細は，授業開始時に教員の指示にしたがうこと。
簿記資格の最高峰である日商簿記 1 級に合格するためには，2 級の約 3 倍の知識が必要と言われています。まず，2 級の知識を確実に身につけてから，授業に臨むようにしてください。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3）

一般目標：大企業の経理担当者として活躍することが可能となるような日商簿記 1 級レベルの知識を得る。
個別目標：日商簿記 1 級合格

▌履修条件

日商簿記 2 級合格者

▌評価基準・方法

小テスト（クイズ）と期末テストあるいは日商簿記 1 級の試験結果で評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは，学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『合格テキスト　日商簿記 1 級　商業簿記・会計学Ⅱ』　TAC 出版 最新の Version
『合格トレーニング　日商簿記 1 級　商業簿記・会計学Ⅱ』　TAC 出版 最新の Version

▌参考書

『合格するための過去問題集　日商簿記 1 級』TAC 出版　最新の Version

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス，税金・税効果会計** 授業内容：ガイダンスと税金・税効果会計の講義・演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
2 回	**授業テーマ：現金預金** 授業内容：現金預金の講義・演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
3 回	**授業テーマ：金銭債権・貸倒引当金** 授業内容：金銭債権・貸倒引当金の講義・演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
4 回	**授業テーマ：商品売買の会計処理と原価率・利益率** 授業内容：商品売買の会計処理の講義・演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
5 回	**授業テーマ：有価証券** 授業内容：有価証券の講義・演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
6 回	**授業テーマ：外貨換算会計** 授業内容：外貨換算会計の講義・演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
7 回	**授業テーマ：デリバティブ取引** 授業内容：デリバティブ取引の講義・演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
8 回	**授業テーマ：有形固定資産** 授業内容：有形固定資産の講義・演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
9 回	**授業テーマ：リース取引** 授業内容：リース取引の講義・演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
10 回	**授業テーマ：無形固定資産・投資その他の資産** 授業内容：無形固定資産・投資その他の資産の講義・演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
11 回	**授業テーマ：繰延資産, 研究開発費等** 授業内容：繰延資産, 研究開発費等の講義・演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習

12回	**授業テーマ：引当金** 授業内容：引当金の講義・演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：退職給付会計** 授業内容：退職給付会計の講義・演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：社債** 授業内容：社債の講義・演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：純資産** 授業内容：純資産の講義・演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習

工業簿記Ⅰ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

蟹澤　啓輔（かにさわ　けいすけ）

▌授業の概要

「7つの履修モデル」の中の会計学を選択した 2 年生の進級要件にかかわる科目です。
授業内容は、日商簿記検定 2 級程度の工業簿記の知識の講義科目です。授業内容は講義・解説と問題演習が中心となります。授業の進め方・評価方法などは、授業開始時に教員の指示にしたがうこと。
基本的に、授業では、合格テキストを使用して講義を中心になる。講義以外の時間に合格トレーニングを使って、継続的に問題を解いてください。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 3、2020 年度以前入学生経営コース 2）

一般目標：工業簿記における計算技法など諸手続きについて理解することを目標とします。
個別目標：日商簿記検定 2 級合格

▌履修条件

日商簿記 3 級合格していることが望ましい。
また、本年度に日商簿記 2 級を受験する予定のある人は、簿記Ⅲも履修することを強く勧めます。

▌評価基準・方法

期末テストあるいは日商簿記 2 級の試験結果（合格者は単位認定）で評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム（manaba）を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業内容を元にディスカッションを行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『合格テキスト　日商簿記 2 級　工業簿記』　TAC 出版社 最新の Version
『合格トレーニング　日商簿記 2 級　工業簿記』　TAC 出版社 最新の Version

▌参考書

『合格するための本試験問題集　日商簿記 2 級』TAC 出版　最新の Version

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、　工業簿記の基礎** 授業内容：合格テキストテーマ 01 と 02（予定） 事前学修 2.0hr：授業範囲の通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：材料費Ⅰ** 授業内容：合格テキストテーマ 03（予定） 事前学修 2.0hr：授業範囲の通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：材料費Ⅱ** 授業内容：合格テキストテーマ 04（予定） 事前学修 2.0hr：授業範囲の通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：労務費Ⅰ** 授業内容：合格テキストテーマ 05（予定） 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：労務費Ⅱ** 授業内容：合格テキストテーマ 06（予定） 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：経費** 授業内容：合格テキストテーマ 07 ＋復習小テスト（予定） 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：個別原価計算Ⅰ** 授業内容：合格テキストテーマ 08（予定） 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：個別原価計算Ⅱ** 授業内容：合格テキストテーマ 09（予定） 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
9回	**授業テーマ：部門別個別原価計算Ⅰ** 授業内容：合格テキストテーマ 10（予定） 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：部門別個別原価計算Ⅱ** 授業内容：合格テキストテーマ 11（予定） 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：総合原価計算Ⅰ** 授業内容：合格テキストテーマ 12（予定） 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.5hr：授業の復習

12回	**授業テーマ：総合原価計算Ⅱ** 授業内容：合格テキストテーマ 13（予定） 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：総合原価計算Ⅲ** 授業内容：合格テキストテーマ 14（予定） 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：総合原価計算Ⅳ・Ⅴ** 授業内容：合格テキストテーマ 15 と 16（予定） 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：まとめ 事前学修 2.0hr：いままでの復習 事後学修 2.0hr：授業の復習

工業簿記Ⅱ

開講学科等：経 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

蟹澤　啓輔（かにさわ　けいすけ）

▌授業の概要

「7つの履修モデル」の中の会計学を選択した 2 年生の進級要件にかかわる科目です。
授業内容は、日商簿記検定 2 級程度の工業簿記の知識の講義科目です。授業内容は講義・解説、問題演習が中心となります。授業の進め方・評価方法などは、授業開始時に教員の指示にしたがうこと。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 3、2020 年度以前入学生経営コース 2）

一般目標：工業簿記における計算技法など諸手続きについて理解することを目標とします。
個別目標：日商簿記検定 2 級合格

▌履修条件

日商簿記 3 級合格していることが望ましい。
また、本年度に日商簿記 2 級を受験する予定のある人は、簿記Ⅳも履修することを強く勧めます。
工業簿記Ⅰを履修済みであることを強く勧めます。未履修者は授業が始まる前までにテキストの総合原価計算の章まで自主的に学習したうえで履修してください。

▌評価基準・方法

期末テストあるいは日商簿記 2 級の試験結果（合格者は単位認定）で評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム（manaba）を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業内容を元にディスカッションを行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『合格テキスト　日商簿記 2 級　工業簿記』　TAC 出版社 最新の Version
『合格トレーニング　日商簿記 2 級　工業簿記』　TAC 出版社 最新の Version
『合格するための本試験問題集　日商簿記 2 級』TAC 出版　最新の Version

▌参考書

なし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、　財務諸表** 授業内容：合格テキストテーマ 17（予定） 事前学修 2.0hr：授業範囲の通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：標準原価計算Ⅰ** 授業内容：合格テキストテーマ 18（予定） 事前学修 2.0hr：授業範囲の通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：標準原価計算Ⅱ** 授業内容：合格テキストテーマ 19（予定） 事前学修 2.0hr：授業範囲の通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：直接原価計算Ⅰ** 授業内容：合格テキストテーマ 20（予定） 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：直接原価計算Ⅱ** 授業内容：合格テキストテーマ 21（予定） 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：本社工場会計** 授業内容：合格テキストテーマ 22（予定） 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：過去問演習** 授業内容：過去問演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：過去問演習** 授業内容：過去問演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
9回	**授業テーマ：過去問演習** 授業内容：過去問演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：過去問演習** 授業内容：過去問演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習

11回	**授業テーマ：過去問演習** 授業内容：過去問演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：過去問演習** 授業内容：過去問演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.5hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：過去問演習** 授業内容：過去問演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：過去問演習** 授業内容：過去問演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：過去問演習** 授業内容：過去問演習 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習

情報処理検定講座

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

山本　祥弘（やまもと　よしひろ）

▌授業の概要

本科目は、「IT パスポート」を念頭に置いている。「IT パスポート」は、もっともポピュラーな IT 系の資格の一つで、就職活動にも有用とみなされている。授業では「IT パスポート」の頻出事項の解説をするとともに、練習問題・過去問題に取り組む。本科目は「IT パスポート」合格を目標としいるが、受験は必須ではない。IT に関して基本的な知識を身につけたいというだけでも受講可能である。なお、本科目の内容は、「IT パスポート」と類似の資格である「情報活用試験」の受験対策としても使える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 4、2020 年度以前入学生 4）

一般目標：ストラテジ系（経営全般）、マネジメント系（IT 管理）、テクノロジ系（IT）の３つ分野の基本的知識を身につける。これらは「IT パスポート」で出題されるの３つの分野であるが、それと同時に社会人として知っておくべき基本的な知識でもある。社会人として必要とされる IT 系の基本知識を身につけること、それらが身についていることを「IT パスポート」によって資格として証明すること（受験は任意）、これがこの科目の目標である。

個別目標：経営戦略（ストラテジ系分野）、IT 関連の管理（マネジメント系分野）、IT（テクノロジ系分野）には、大量の専門用語や略語がある。これは「IT パスポート」の受験だけでなく、実務においても必要な知識である。本科目ではそれらの意味を多く学ぶことができる。また、それらは IT 分野全般においての基礎知識であるため、「IT パスポート」以外のより専門的な資格（例えば「基本情報技術者試験」）を受験するための予備学習にもなる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

基本的に 2 回のテスト（①前期テスト 50%、②後期テスト 50%）の合計得点で評価する。出題形式は択一式とする。5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。その他授業への受講態度などを含め、総合的に評価する。

▌フィードバック方法

前期テスト（第 14 回授業で実施）のフィードバックは、第 15 回授業で行う。質問等は基本的に授業中に受け付け、その場で回答する。授業に関する連絡がある場合は、manaba で通知する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特定の教科書は使用しない（毎回プリントを配布する）。

▌参考書

高橋京介『いちばんやさしい IT パスポート 絶対合格の教科書＋出る順問題集　令和 8 年度』SB クリエイティブ

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の進め方、IT 系資格の概要、「IT パスポート」の概要と勉強の仕方など 事前学修 2.0hr：「IT パスポート」公式 web 上で公開されている過去問などを一読。参考書を概観。 事後学修 2.0hr：自分なりの「IT パスポート」勉強、あるいは受験の計画を立てる。	16回	**授業テーマ：ストラテジ系⑤　経営戦略と最新ビジネスモデル** 授業内容：API エコノミー、シェアリングエコノミー、FinTech、AI 活用など 事前学修 2.0hr：参考書等の該当箇所を一読。 事後学修 2.0hr：配布プリント復習、必要に応じて参考書も用いて不明な点を確認。
2回	**授業テーマ：ストラテジ系①　企業活動、法務** 授業内容：組織形態、CSR、著作権、個人情報保護法、労働関連法など 事前学修 2.0hr：参考書等の該当箇所を一読。 事後学修 2.0hr：配布プリント復習、必要に応じて参考書も用いて不明な点を確認。	17回	**授業テーマ：ストラテジ系⑥　情報システム戦略と業務改善** 授業内容：JIT、MRP、かんばん方式、品質管理手法など 事前学修 2.0hr：参考書等の該当箇所を一読。 事後学修 2.0hr：配布プリント復習、必要に応じて参考書も用いて不明な点を確認。
3回	**授業テーマ：ストラテジ系②　経営分析とマーケティング** 授業内容：SWOT 分析、3C 分析、4P、PPM、顧客満足など 事前学修 2.0hr：参考書等の該当箇所を一読。 事後学修 2.0hr：配布プリント復習、必要に応じて参考書も用いて不明な点を確認。	18回	**授業テーマ：ストラテジ系⑦　知的財産権と最新法規** 授業内容：特許侵害、不正競争防止法、サイバーセキュリティ基本法など 事前学修 2.0hr：参考書等の該当箇所を一読。 事後学修 2.0hr：配布プリント復習、必要に応じて参考書も用いて不明な点を確認。
4回	**授業テーマ：ストラテジ系③　ビジネス・業務システム** 授業内容：SCM、CRM、ERP、EC、POS、ネットビジネス、DX など 事前学修 2.0hr：参考書等の該当箇所を一読。 事後学修 2.0hr：配布プリント復習、必要に応じて参考書も用いて不明な点を確認。	19回	**授業テーマ：マネジメント系⑤　高度な開発手法とテスト** 授業内容：ホワイトボックス・ブラックボックス、リグレッションテスト、CI/CD など 事前学修 2.0hr：参考書等の該当箇所を一読。 事後学修 2.0hr：配布プリント復習、必要に応じて参考書も用いて不明な点を確認。
5回	**授業テーマ：ストラテジ系④　企業会計と損益計算** 授業内容：B/S、P/L の読み方、変動費と固定費、損益分岐点 事前学修 2.0hr：参考書等の該当箇所を一読。 事後学修 2.0hr：配布プリント復習、必要に応じて参考書も用いて不明な点を確認。	20回	**授業テーマ：マネジメント系⑥　タイムマネジメント** 授業内容：アローダイアグラム（PERT 図）、クリティカルパスの特定など 事前学修 2.0hr：参考書等の該当箇所を一読。 事後学修 2.0hr：配布プリント復習、必要に応じて参考書も用いて不明な点を確認。
6回	**授業テーマ：マネジメント系①　システム開発** 授業内容：ウォーターフォール、アジャイルなど 事前学修 2.0hr：参考書等の該当箇所を一読。 事後学修 2.0hr：配布プリント復習、必要に応じて参考書も用いて不明な点を確認。	21回	**授業テーマ：マネジメント系⑦　システム監査とガバナンス** 授業内容：監査の独立性、内部統制、IT 統制、IT ガバナンスなど 事前学修 2.0hr：参考書等の該当箇所を一読。 事後学修 2.0hr：配布プリント復習、必要に応じて参考書も用いて不明な点を確認。
7回	**授業テーマ：マネジメント系②　プロジェクトマネジメント** 授業内容：PMBOK、スコープ、スケジュール管理、WBS、ガントチャートなど 事前学修 2.0hr：参考書等の該当箇所を一読。 事後学修 2.0hr：配布プリント復習、必要に応じて参考書も用いて不明な点を確認。	22回	**授業テーマ：テクノロジ系⑤　論理演算と真理値表** 授業内容：AND・OR・NOT を用いた演算、真理値表の読み書き 事前学修 2.0hr：参考書等の該当箇所を一読。 事後学修 2.0hr：配布プリント復習、必要に応じて参考書も用いて不明な点を確認。
8回	**授業テーマ：マネジメント系③　サービスマネジメント** 授業内容：SLA、インシデント管理、ITIL など 事前学修 2.0hr：参考書等の該当箇所を一読。 事後学修 2.0hr：配布プリント復習、必要に応じて参考書も用いて不明な点を確認。	23回	**授業テーマ：テクノロジ系⑥　疑似言語 (1) 基本** 授業内容：アルゴリズムの３基本形、「IT パスポート」の疑似言語問題の基本構文 事前学修 2.0hr：参考書等の該当箇所を一読。 事後学修 2.0hr：配布プリント復習、必要に応じて参考書も用いて不明な点を確認。

9回	**授業テーマ：マネジメント系④　品質管理とリスク管理** 授業内容：定量的品質管理、リスクアセスメント(特定・分析・評価) 事前学修 2.0hr：参考書等の該当箇所を一読。 事後学修 2.0hr：配布プリント復習、必要に応じて参考書も用いて不明な点を確認。	24回	**授業テーマ：テクノロジ系⑦　疑似言語 (2) 過去問** 授業内容：「IT パスポート」の疑似言語の過去問の解説 事前学修 2.0hr：参考書等の該当箇所を一読。 事後学修 2.0hr：配布プリント復習、必要に応じて参考書も用いて不明な点を確認。
10回	**授業テーマ：テクノロジ系①　コンピュータの仕組みと構成** 授業内容：CPU/メモリ、入出力デバイス、USB 等の規格、OS の役割、ファイル形式、圧縮・伸張、OSS など 事前学修 2.0hr：参考書等の該当箇所を一読。 事後学修 2.0hr：配布プリント復習、必要に応じて参考書も用いて不明な点を確認。	25回	**授業テーマ：テクノロジ系⑧　情報の表現** 授業内容：2 進数、16 進数、変換 事前学修 2.0hr：参考書等の該当箇所を一読。 事後学修 2.0hr：配布プリント復習、必要に応じて参考書も用いて不明な点を確認。
11回	**授業テーマ：テクノロジ系②　ネットワーク・通信 (1) 基本** 授業内容：TCP/IP、OSI 参照モデル、アドレスなど 事前学修 2.0hr：参考書等の該当箇所を一読。 事後学修 2.0hr：配布プリント復習、必要に応じて参考書も用いて不明な点を確認。	26回	**授業テーマ：総復習①　ストラテジ系** 授業内容：ストラテジ系の重要事項について総復習 事前学修 2.0hr：配布プリント復習、必要に応じて参考書も用いて不明な点を確認。 事後学修 2.0hr：配布プリント復習、必要に応じて参考書も用いて不明な点を確認。
12回	**授業テーマ：テクノロジ系③　ネットワーク・通信 (2) 各論** 授業内容：DNS の仕組み、IPv4 と IPv6 など 事前学修 2.0hr：参考書等の該当箇所を一読。 事後学修 2.0hr：配布プリント復習、必要に応じて参考書も用いて不明な点を確認。	27回	**授業テーマ：総復習②　マネジメント系** 授業内容：マネジメント系の重要事項について総復習 事前学修 2.0hr：配布プリント復習、必要に応じて参考書も用いて不明な点を確認。 事後学修 2.0hr：配布プリント復習、必要に応じて参考書も用いて不明な点を確認。
13回	**授業テーマ：テクノロジ系④　情報セキュリティ** 授業内容：情報セキュリティの 3 要素、サイバー攻撃、セキュリティ対策技術(暗号化・電子署名・認証技術など) 事前学修 2.0hr：参考書等の該当箇所を一読。 事後学修 2.0hr：配布プリント復習、必要に応じて参考書も用いて不明な点を確認。	28回	**授業テーマ：総復習③　テクノロジ系** 授業内容：テクノロジ系の重要事項について総復習 事前学修 2.0hr：配布プリント復習、必要に応じて参考書も用いて不明な点を確認。 事後学修 2.0hr：配布プリント復習、必要に応じて参考書も用いて不明な点を確認。
14回	**授業テーマ：前期テスト** 授業内容：第 13 回までの内容についての確認テスト 事前学修 2.0hr：第 13 回までの内容を復習 事後学修 2.0hr：テストで不明だった事項について、配布プリント、参考書等で確認。	29回	**授業テーマ：捕捉(全分野)** 授業内容：全分野を対象に、授業で触れなかったいくつかの事項について説明。 事前学修 2.0hr：これまでの配布プリント、参考書も用いて不明な点を確認。 事後学修 2.0hr：配布プリント復習、必要に応じて参考書も用いて不明な点を確認。
15回	**授業テーマ：前期テストのフィードバック** 授業内容：前期テストを返却し、解説。 事前学修 2.0hr：テストで不明だった事項について、配布プリント、参考書等で確認。 事後学修 2.0hr：テストで間違えた問題について、配布プリント、参考書等で再確認。	30回	**授業テーマ：後期テスト** 授業内容：これまでの内容に関するまとめのテスト 事前学修 2.0hr：これまでの配布プリント、参考書も用いて不明な点を確認。 事後学修 2.0hr：これまでの配布プリント、参考書も用いて不明な点を確認。

民法

開講学科等：経 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

酒巻　雅純（さかまき　まさずみ）

▌授業の概要

民法は、私たちの生活に深くかかわる法律で、その理解は、あらゆる法律を理解するための大前提となるものです。しかし、民法は、その条文の数だけでも 1000 条を超える大きな法律で、その構成は、「民法総則、物権法、担保物権法、債権総論、債権各論、親族相続など」と分けられます。
本講義は、市民生活に民法がどのように関連するかを分かりやすく説明し、「民法全体の姿を見わたすこと」を目的としています。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 2/4/6、 2020 年度以前入学生 1）

一般目標：民法の基礎を修得することにより、その理解をもって会社法、企業法をはじめ多くの法律の前提となる考え方を修得することができる。
個別目標：各種資格取得を目指す者や民法の基礎知識を習得したい者にとって有用となる。

▌履修条件

履修条件は、ありません(民法の仕組みやその考え方に関心を持っている者を希望します)。

▌評価基準・方法

リアクションペーパー(もしくは課題) 20%、期末試験 80 %として、総合的に評価します。

▌フィードバック方法

授業のフィードバックや質疑応答などは、授業の中や manaba にて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （課題(もしくはグループディスカッション)等を通して問題解決へのアプローチ方法を身につけることを目標とする。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

教科書は、授業の中で紹介する。

▌参考書

参考書は必要に応じて紹介する。また、下記の講義内容は、前後する場合がある。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション(学修の範囲の確認)** 授業内容：民法を学ぶにあたって、その学修範囲の確認を行う。民法と他の法律(会社法など)との関係(全体構造)について学修する。 事前学修 2.0hr：予め教科書などを概観した上で、民法を学ぶ際の基本的な視点や考え方がどこにあるのか、考えてみよう。 事後学修 3.5hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：民法の全体構造** 授業内容：民法とは、何か。私法(つまり、人と人の間を規律する法律)上の法律関係はどのように決まるか(一般法と特別法、私的自治の原則、契約自由の原則など)について学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：財産法と家族法(民法の構成)** 授業内容：民法は、「財産法」と「家族法」の分野からなるため、まず、その構成について学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：財産法を学ぶ ①** 授業内容：権利・義務の主体に関して学修する。特に、自然人(人間)の権利能力、意思能力、行為能力について学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：財産法を学ぶ ②** 授業内容：自然人とならぶ権利義務の主体である法人について学修する。特に、法人の対外的取引、利益相反取引を中心に学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：財産法を学ぶ ③** 授業内容：契約の成立(申込みと承諾)、契約が有効であるための要件(客観的有効要件、主観的有効要件)について学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：財産法を学ぶ ④** 授業内容：代理(代理権の発生原因よる違いによる法定代理と任意代理、無権代理、表見代理など)及び契約の効果の発生に関する条件と期限について学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：財産法を学ぶ ⑤** 授業内容：契約について、特に、その分類(典型契約、非典型契約、双務契約、片務契約、有償契約、無償契約)について学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
9回	**授業テーマ：財産法を学ぶ ⑥** 授業内容：契約が成立しても債権者の履行請求が認められない「同時履行の抗弁権」及び債務の履行ができない「債務不履行」について学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：財産法を学ぶ ⑦** 授業内容：債権の消滅(弁済、相殺、消滅時効など)について学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：財産法を学ぶ ⑧** 授業内容：金銭の支払債務を負う債務者がその支払いをしないとき、債権者がどのように債権回収を図るか(強制執行、責任財産の保全、債権担保など)について学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習

12回	**授業テーマ：財産法を学ぶ ⑨** 授業内容：物の所有権はどのように決まるのか、所有権(返還請求権など物権的請求権、承継取得など物権変動、取得時効など)について学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：家族法を学ぶ ①** 授業内容：法律(民法)からみた家族関係(婚姻、離婚、親子)に関して学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：家族法を学ぶ ②** 授業内容：法律(民法)からみた家族間での財産の引継ぎ(相続、相続人、相続の承認と放棄、遺言)に関して学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：民法の総まとめ講義** 授業内容：その他のテーマの補足(不法行為など)と、講義内容の総まとめを行う。 事前学修 3.5hr：14 回までのテキストの通読 事後学修 2.0hr：疑問点の解明

キャリア講座 I

開講学科等：経 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

佐伯　祥子（さえき　しょうこ）・**永井　攻治**（ながい　よしはる）

▌授業の概要

本講義の目的は、MOS（Microsoft Office Specialist）の Excel 検定試験（Specialist レベル）の資格取得を目指すことである。近年、Excel の操作スキルは、社会人として仕事をする上で欠かせないものとなっており、学生が Excel の操作能力を証明する資格を取得することは、キャリア形成において重要だと考えられる。本講義では、MOS の認定資格試験対策テキストを使用し、Excel 検定試験の資格取得に必要なスキルを身に付け、さらに、演習を通して実践的な操作能力を高め、Excel の操作能力の一層の向上を図る。また、今年度から BYOD（Bring Your Own Device）が導入され、授業で学んだ内容を自分の環境で実践しながら Excel を活用する力を身に付けることができる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 5、 2020 年度以前入学生 4/5）

一般目標：MOS Excel365（Specialist レベル）の資格を取得できるスキルを身に付ける。
個別目標：MOS Excel365（Specialist レベル）の試験に合格し、履歴書に書ける資格を取得する。

▌履修条件

パソコンおよび Excel の基本操作（簡単な表作成）ができる。
日本語の文字入力ができる。
予習・復習のために、以下の条件を満たしたパソコンが必要となる。
・Windows11 の OS に Office365 または Office2021 がインストールされている
※講義内容の性質上、Mac のパソコンやスマホだけの学習はできない

▌評価基準・方法

授業最終回の試験によって評価する（授業中の課題・受講態度等も参考にする）。
授業態度不良（テキスト忘れ、私語、スマホの使用など）、および相応の理由のない欠席・遅刻は所定の減点を行う。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Windows11 の OS に Office365 または Office2021 がインストールされている【注意】Mac のパソコンは MOS 試験プログラムに対応していない）

▌教科書

『MOS 攻略問題集 Excel 365　改訂新版』日経 BP 社, 2026 年
※ BYOD または、自宅のパソコンに出版社が指定するサイトから模擬テストプログラムをインストールする必要がある
※学習環境を整えるために、授業開始までに必ず購入しておくこと

▌参考書

参考となる図書や Web ページがある場合は別途指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション／ MOS 試験の概要／ Excel の概要** 授業内容：本講義の目的や受講条件の理解・MOS 試験の概要と合格基準・パソコンおよび Excel の基本的な用語と操作方法の確認 事前学修 2.0hr：各自でパソコンおよび Excel の操作技術のレベルを事前に確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、BYOD または、自宅のパソコンに模擬テストおよび実習データをインストールする。
2 回	**授業テーマ：ワークシートやブックの管理 1（インポート、移動、書式設定）** 授業内容：外部データをブックにインポート・ブック内の移動・ハイパーリンクの設定・ワークシートやブックの書式の設定 事前学修 2.0hr：教科書の講義範囲をあらかじめ予習し、操作しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、問題文を読んで手順を見ずに操作できるようにする。
3 回	**授業テーマ：ワークシートやブックの管理 2（オプションと表示の切り替え、印刷）** 授業内容：プロパティの変更・ワークシートの行や列の固定・複数のワークシートをウィンドウに整列・印刷の設定 事前学修 2.0hr：教科書の講義範囲をあらかじめ予習し、操作しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、問題文を読んで手順を見ずに操作できるようにする。
4 回	**授業テーマ：ワークシートやブックの管理 3（共同作業用の設定）、および第 1 章の復習-模擬テスト使用** 授業内容：共同作業と配布のための準備と管理・模擬テストを使った第 1 章の復習 事前学修 2.0hr：教科書の講義範囲をあらかじめ予習し、操作しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、模擬テストを使って第 1 章の復習を行う。
5 回	**授業テーマ：セルやセル範囲のデータの管理 1（シートのデータの操作、書式設定）** 授業内容：コピーと複数の貼り付けの種類・オートフィル・セルの書式設定・関数による数値データの生成 事前学修 2.0hr：教科書の講義範囲をあらかじめ予習し、操作しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、問題文を読んで手順を見ずに操作できるようにする。
6 回	**授業テーマ：セルやセル範囲のデータの管理 2（スタイル、書式のコピー、スパークライン、名前付き範囲）** 授業内容：書式のコピー/貼り付け、スタイルの設定・名前付き範囲の定義・スパークラインの挿入 事前学修 2.0hr：教科書の講義範囲をあらかじめ予習し、操作しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、問題文を読んで手順を見ずに操作できるようにする。
7 回	**授業テーマ：セルやセル範囲のデータの管理 3（条件付き書式）、および第 2 章の復習-模擬テスト使用** 授業内容：条件付き書式の適用/削除・模擬テストを使った第 2 章の復習 事前学修 2.0hr：教科書の講義範囲をあらかじめ予習し、操作しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、模擬テストを使って第 2 章の復習を行う。
8 回	**授業テーマ：テーブルとテーブルとデータ管理 1** 授業内容：データベース概要・テーブルの作成と編集 事前学修 2.0hr：教科書の講義範囲をあらかじめ予習し、操作しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、問題文を読んで手順を見ずに操作できるようにする。
9 回	**授業テーマ：テーブルとテーブルとデータ管理 2、および第 3 章の復習-模擬テスト使用** 授業内容：フィルター・並べ替え・模擬テストを使った第 3 章の復習 事前学修 2.0hr：教科書の講義範囲をあらかじめ予習し、操作しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、模擬テストを使って第 3 章の復習を行う。

10回	**授業テーマ：数式や関数を使用した演算の実行 1（四則演算、基本関数）** 授業内容：セルの参照方法・四則演算を使った数式の作成・基本関数の使い方 事前学修 2.0hr：教科書の講義範囲をあらかじめ予習し、操作しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、問題文を読んで手順を見ずに操作できるようにする。
11回	**授業テーマ：数式や関数を使用した演算の実行 2（COUNT 系・IF・文字列操作関数）** 授業内容：COUNT 系の関数・IF 関数・文字列操作関数の使い方 事前学修 2.0hr：教科書の講義範囲をあらかじめ予習し、操作しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、問題文を読んで手順を見ずに操作できるようにする。
12回	**授業テーマ：数式や関数を使用した演算の実行 3（第 4 章の復習-模擬テスト使用）** 授業内容：第 4 章(参照方法、数式および関数)の総括・模擬テストを使った第 4 章の復習 事前学修 2.0hr：第 4 章で学習した参照方法、数式の作成、関数について再確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、模擬テストを使って第 4 章の復習を行う。
13回	**授業テーマ：グラフの管理 1** 授業内容：グラフの作成と編集・グラフの移動、ソースデータの入れ替え 事前学修 2.0hr：教科書の講義範囲をあらかじめ予習し、操作しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、問題文を読んで手順を見ずに操作できるようにする。
14回	**授業テーマ：グラフの管理 2、および全体復習-模擬テスト使用** 授業内容：模擬テストを使った第 5 章の復習・模擬テストの本番モードを使った全体復習 事前学修 2.0hr：教科書の講義範囲をあらかじめ予習し、操作しておく。 事後学修 2.0hr：教科書全体を復習し、模擬テスト 1 から 5 の本番モードで 700 点以上がとれるようにする。
15回	**授業テーマ：テスト・まとめ** 授業内容：まとめテストの実施　※模擬テスト 1 から 5 の本番モードのどれか 1 つを当日提示する 事前学修 2.0hr：模擬テスト 1 から 5 の本番モードで 700 点以上がとれるように練習する。 事後学修 2.0hr：テストで出来なかったところを復習し、実際の試験に合格できるように学習する。

キャリア講座Ⅰ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

都甲　裕文 (とこう　ひろふみ)

▌授業の概要

近年、東南アジアをはじめとしてイスラーム圏の人々が日本を訪れる機会がますます多くなっている。しかし、イスラームの理念と深く結びついている食文化などの生活習慣や金融などの商習慣について正確な知識を欠いている場合も少なくない。そのため、この授業では、イスラーム経済の歴史をたどりながら、イスラーム圏の人々の考え方を理解し、ビジネスに必要な知識を身につけて行きたい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 5、 2020 年度以前入学生 4/5）

一般目標：日本に滞在・居住するイスラームの人々の生活習慣について理解する。
個別目標：イスラームなどの異文化的背景を持った人々とのビジネスの際に注意しなければならない点を説明できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

事前学修・復習小テスト 40 %と期末試験 60 %の結果に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

事前学修・復習小テストと期末試験のフィードバックは、授業や manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （イスラーム経済に特徴的なトピックスについてディスカッションを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回 manaba に配信する PDF 版のテキストプリントをダウンロードして受講することができる。）

▌教科書

使用しない。テキストプリントを使用する。

▌参考書

加藤博『イスラム世界の経済史』NTT 出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス：イスラームとは何か** 授業内容：1)『コーラン』の言葉アラビア語…イスラーム世界(16 億人以上)の共通語、2)ムスリムの生活 事前学修 2.0hr：イスラームについて知っていることをまとめて、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：ガイダンスのプリントを見直し、復習小テストの準備をする。
2回	**授業テーマ：イスラームの基礎知識** 授業内容：1)アラビア半島から世界に広がるイスラーム…西アジア・北アフリカ・イベリア半島・南アジア・東南アジア・中国・アフリカ・ヨーロッパ・アメリカ・日本 事前学修 2.0hr：プリント０を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント０を見直し、復習小テストの準備をする。
3回	**授業テーマ：イスラームと市場** 授業内容：1)市場経済システム、2)イスラーム経済…もう一つの市場経済システム、3)経済…広義の経済と狭義の経済、4)労働あるいは社会的実践…肉体的に弱いため集団を組織して(分業・協業) 事前学修 2.0hr：プリント１を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント１を見直し、復習小テストの準備をする。
4回	**授業テーマ：経済史：時間と空間** 授業内容：1)歴史…時間の重層性、2)ブローデルの全体史…長期持続、中期局面、出来事の３層の時間、3)地域…歴史が集積する場、4)フランスのアナール歴史学派…「時間」と「空間」は同じ研究対象 事前学修 2.0hr：プリント２を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント２を見直し、復習小テストの準備をする。
5回	**授業テーマ：市場経済と資本主義** 授業内容：1)市場経済と資本主義の定義と両者の関係、2)ヒックスの同質論、3)ポランニーの同質論、4)ブローデル…市場経済・資本主義異質論、4)「発見」の手段としての市場、5)ヒックスの「利益の均霑」 事前学修 2.0hr：プリント３を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント３を見直し、復習小テストの準備をする。
6回	**授業テーマ：市場と制度** 授業内容：1)市場と外部条件、2)制度」としての市場…個々の具体的な経済取引の集積として歴史的に形成、3)初期条件と経路依存性、4)文化信念共有で社会的アイデンティティと経済的仕組み 事前学修 2.0hr：プリント４を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント４を見直し、復習小テストの準備をする。
7回	**授業テーマ：初期条件(1)生態系・地理的条件** 授業内容：1)砂漠性乾燥気候…農耕可能な年間降水量 250mm に満たない地域がほとんどで過酷な自然環境、2)イスラーム商業の繁栄…イスラーム世界が一つの経済圏であったというよりも、国際交易ネットワークの結節点 事前学修 2.0hr：プリント５を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント５を見直し、復習小テストの準備をする。
8回	**授業テーマ：初期条件(2)宗教・文化** 授業内容：1)経済史上の「イスラームの時代」、2)イスラームの都市…大商人の国際貿易とイスラーム法学者の契約作成、3)イスラーム世界の科学と知識、4)イスラームの学問…つなぎ役ではなく独自の知的世界 事前学修 2.0hr：プリント６を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント６を見直し、復習小テストの準備をする。
9回	**授業テーマ：経路依存性** 授業内容：1)イスラームにおける経済観、2)利子リバー禁止…社会的不公正防止と社会的福祉増大、3)伝統的なイスラーム契約…商人の企業慣習反映、4)イスラームにおける契約観…経路依存性のある「制度」と結びつき 事前学修 2.0hr：プリント７を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント７を見直し、復習小テストの準備をする。
10回	**授業テーマ：市場社会の指標** 授業内容：1)市場感応性と経済波及効果、2) 14 世紀末のエジプト経済危機…飢饉と物価高が原因、3)利潤を生み出す「差異」…投資の機会に満ちたイスラーム世界、4)イブン =ハルドゥーンの市場経済論 事前学修 2.0hr：プリント８を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント８を見直し、復習小テストの準備をする。

11回	**授業テーマ：イスラーム世界における公共性** 授業内容：1)社会福祉マスラハと「公共性」…社会の中で正しく生きること、2)イスラームにおける「公と私」…相互の関係概念、土着の文化・文明による違い、3)市場監視官制度…都市の行政、4)公正価格と「神の価格」…国家の統治 事前学修 2.0hr：プリント9を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント9を見直し、復習小テストの準備をする。
12回	**授業テーマ：市場を支えた制度(1)法** 授業内容：1)イスラーム法体系…イスラーム法・行政法・慣行の3規範体系が関係・補完、2)イスラーム司法制度…調停・裁判機関や手続き、3)イスラーム所有権構造…「所有」と「用益」、4)イスラーム税制 事前学修 2.0hr：プリント 10 を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント 10 を見直し、復習小テストの準備をする。
13回	**授業テーマ：市場を支えた制度(2)貨幣** 授業内容：1)統治術としての貨幣政策、2)イスラーム貨幣史…時代区分、3)貨幣偽造にみる国家と市場…国家による「贋金づくり」は偽造貨幣ではなく模倣貨幣 事前学修 2.0hr：プリント 11 を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント 11 を見直し、復習小テストの準備をする。
14回	**授業テーマ：市場を支えた制度(3)寄進** 授業内容：1)ワクフとは何か…イスラームの五行の喜捨ザカートに基づく寄進行為、2)ワクフ制度の特徴…法的規定、3)ワクフの社会的機能…イスラーム世界に広く普及した理由、4)経済統合としてのワクフ 事前学修 2.0hr：プリント 12 を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント 12 を見直し、総復習テストの準備をする。
15回	**授業テーマ：まとめ：イスラーム経済史総論** 授業内容：1)イスラーム経済と「現在」、2)イスラームの知と近代経済学、3)「イスラーム経済史」の成立、4)市場経済における二つの道 事前学修 3.0hr：総復習テストをするので全てのテキストプリントを見直す。 事後学修 1.0hr：総復習テストの結果を踏まえて今後の学習について考える。

キャリア講座Ⅰ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

若林　優子（わかばやし　ゆうこ）

▌授業の概要

◆社会人準備講座前半である。◆想像力の欠如は実務処理を誤らせる。そこで、常に予測に立って対応する秘書実務のあり方から、ビジネスパーソンにとって人をサポートする為に求められる執務要件を認識し、個々の業務における実務処理能力＝秘書的センスを養う。◆Ⅰはビジネスマナーが中心。正しい敬体表現、状況に即応した話し方やマナー一般の習得により社会人性を養う。◆企業に於ける人間関係構築の重要性を説き、他者への理解や配慮のあり方、情報収集やその扱い、組織人としてのもののとらえ方等を理解させる。◆現場が求めるコミュニケーション力（４本の柱）の養成

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 5、 2020 年度以前入学生 4/5）

一般目標：●基礎実務の習得●社会人としてわきまえるべき応対用語・応対・立居振舞の基本を身につける。●現場で発生している事例を題材に，予測に基づいた対応・処理のあり方を理論的に理解し，実際実務で求められる「読む・書く・聴く・話す」力には，「正確な理解・判断・対処」が伴うことを認識する。●情報を正しく扱うことにより，初めて適切な状況対応ができることを理解する。●実務処理の共通項を見出し，持論を展開できるまでに押し上げ，そのうえで「何のために働くのか」について一定の結論をもって就職活動の一歩を踏み出す。

個別目標：①ビジネスマナーとして「受付～退出」までの一連の動作が適切に実行できるようになる。②面接・電話会話での社内外の対象に対して、適切な対応と応対用語が使えるようになる。③相手の意図することを正しく受け留め、状況に応じた実務処理について，適切な判断ができるようになる。④社会常識としてのマナー一般の知識を豊富に蓄え「使えるマナー」に引き上げる。⑤就職面接での改まりの表現や自分の心を形にする表現方法を獲得する。

▌履修条件

①毎回出題する課題レポートは締切りまでに必ず提出すること②課題の解説・解答は第二のテキストともなり得ることから必ず熟読すること③原則，４日以上の欠席は期末試験の受験資格に関わることを認識しておくこと。また，事情あっての欠席については必ず「個別コレクション」にて連絡すること。

▌評価基準・方法

期末試験 80 %・受講姿勢（含，課題レポート）20 %の結果に基づき総合的に評価する。成果物はそれぞれ添削ののち，毎回到達目標の達成度に基づき成績評価をつけ，コメントとともに個別に通知する。なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点する。

▌フィードバック方法

課題レポートのフィードバックは，学修支援システム manaba を通し個別に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

購入する教科書はない。毎回作成し配付する「授業資料」をテキストとする。なお，各回実施する課題の「解説」も第二のテキストとして位置づけている。

▌参考書

秘書検定実問題／（財）実務技能検定協会）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス（授業の流れと目的・評価／秘書的センス／コミュニケーション力／就職活動前の準備について）** 授業内容：◆授業の目的・流れ・課題提出◆メモ作成ほか演習による秘書的センスの説明と勉強法◆コミュニケーションの４本の柱と重要なポイント等の説明・解説◆就職活動前の確認点と質疑応答での表現方法・所作についての助言 事前学修 2.0hr：講義概要を読み学習内容を確認し，本講義に期待する内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：本講座が目指すことと授業の進め方，更に受講に関する約束を確認する。
2回	**授業テーマ：組織の進化・企業知識（組織の成立過程より仕事の責任と権限を考える。企業知識一般）** 授業内容：◆成立過程や５つの組織原則から，組織・業務姿勢を考える。◆マネジメントの分化・横の分業等の説明から発展し，企業知識一般を解説していく。 事前学修 2.0hr：企業における組織の意味を考えておく。 事後学修 2.0hr：今回の課題を復習し，組織の形成過程にみられる人材の意味とあるべき姿勢を自分の言葉でまとめておく。
3回	**授業テーマ：話し方と人間関係①（敬語の基礎演習）** 授業内容：◆敬語と社会人性◆５種類の敬語より，尊敬語・謙譲語を中心に「交換用語・敬度・型・誤用」について説明◆クッション言葉を用いる意味，依頼の言葉の敬度の違いとその根拠を確認し「応対用語」の実際を演習する 事前学修 2.0hr：高校までに学んできた敬語について復習しておく。 事後学修 2.0hr：丁寧語の最敬体，尊敬語・謙譲語の交換敬語と型を確実にしておく。課題解説も熟読し誤用を再度確認しておく。
4回	**授業テーマ：話し方と人間関係②（応対用語／情報の扱い・状況対応・演習）** 授業内容：◆情報の扱いについて留意点を具体的に説明する。◆様々な来訪者・上司の在不在等，ケースに即応した対応と応対用語を考える。◆設定した状況に対する応対用語を演習する。 事前学修 2.0hr：実生活での丁寧な表現について，その相手・その場面・その表現はどのようなものか考えておく。 事後学修 2.0hr：学習した必須の言葉を，根拠とともにまとめておく。課題解説を熟読し，見落とした状況や考える視点を確認しておく。
5回	**授業テーマ：話し方と人間関係③（様々なシーンでの話し方と対応／効果的な話し方／言葉と所作）** 授業内容：◆指示の受け方，報告・説明・依頼・説得・逆説得・苦情処理の仕方，注意や忠告の仕方・受け方について説明◆ YTT 方式・PREP 法・５ W ３ H 等を用いて効果的な話し方を解説◆話の聞き方話し方を，配慮と所作から考える 事前学修 2.0hr：前回学んだ応対用語を，感情移入しスムーズな表現ができるよう練習しておく。 事後学修 2.0hr：課題でも確認した適切な報告の仕方，不充分な話を聴き取る工夫について復習しておく。
6回	**授業テーマ：応対業務①（状況対応の基本／ケーススタディ「上司在不在時の対応」）** 授業内容：第３回から学んできた「言葉遣い・状況対応・情報の扱い（ホワイト・グレー・ブラックゾーン）」をふまえ，上司の在不在時における様々なケースの対応を，演習により確認していく。 事前学修 2.0hr：前回配付プリントの中から，会話の発生する場面を大きくブロック化しておく。 事後学修 2.0hr：それぞれのケースに必須の言葉と対応，所作をまとめておく。
7回	**授業テーマ：応対業務②（印象形成／来訪者への対応の仕方ー受付・名刺の扱い・来客の案内～見送りまで** 授業内容：◆第一印象の決定要因と重要性を説明◆来客応対の一連の流れを説明し，個々の場面における対応のあり方を，言葉と所作を連動しながら解説していく◆イレギュラーなケースにおける対応と言葉を考える 事前学修 2.0hr：美しいお辞儀と笑顔とはどのようなものか，なぜそれが大切なのかを考えておく。 事後学修 2.0hr：言葉と連動して今回学んだ所作を復習し，場面に応じ，浅～深と段階的に練習しておく。

8回	**授業テーマ：応対業務③(接遇と立居振舞ー室内への出入り・席次・茶菓のサービスの仕方と受け方・物の渡し方と受け方他)** 授業内容：◆来客応対・訪問時のマナー両面から，入室～退出までを解説。◆マナーー般としてわきまえておくべき事柄を説明する 事前学修 2.0hr：例えば就職活動時。訪問した会社の応接室。どこに座る？ お茶が出されたら？ 考えておこう。 事後学修 2.0hr：課題解説の熟読。漠然とした場面でなく会社訪問(就活)等を念頭に，一つひとつの所作を練習し確実にしておく。
9回	**授業テーマ：指示の受け方報告の仕方(留意点と効率的な話し方・メモのとり方まとめ方)** 授業内容：◆第５回の復習から入り，より詳しくポイントを説明◆演習により基本事項を確認◆要約とメモの取り方の工夫，復唱・不明点の確認の仕方，誤った対応の指摘と適切な処理などを，Exercise ５題により訓練する。 事前学修 2.0hr：ガイダンスで演習した，対象を考え作成する効率的なメモの書き方のポイントを復習しておく。 事後学修 2.0hr：望ましく効率的でもある話の構成について，指示の受け方・報告の仕方に関する留意点から確認・復習しておく。
10回	**授業テーマ：電話応対①(かけ方・受け方の基本)** 授業内容：◆電話応対の３つの原則から留意点を細かく説明◆状況対応・マナーと心得に関しては，ロールプレイングにより適切な対応と言葉遣いを確認しあう◆ Exercise で電話メモの書き方を訓練する。 事前学修 2.0hr：前回まで配付の応対用語のプリントを復習しておく。 事後学修 2.0hr：演習と課題でミスしたところや表現の足りなかった部分を中心に，適切な表現が身につくまで練習しておく。
11回	**授業テーマ：電話応対②(まとめの演習／名指し人不在時の対応・注意すべき情報の扱いについて)** 授業内容：◆情報の扱いについての復習も含め，前回の内容をふまえて総合演習をする。◆「電話会話の受け方」の演習・解説◆かけ方については今回の課題でも演習し，添削と解説を加える。 事前学修 2.0hr：電話会話の基本を場面ごとにブロック化してノートにまとめておく。 事後学修 2.0hr：言葉遣いを復習。更に，情報の扱いについてはケースごとにまとめておく。
12回	**授業テーマ：マナーー般①(「作法」：マナーの意味と意義／和室のマナー)** 授業内容：◆訪問の仕方(玄関の上がり方・和室の歩き方・手土産の渡し方・座布団の座り方と下り方等)◆来客の迎え方(ふすまの開け方閉め方)◆和室での接待のケース(流れと席次・その他留意事項)などを中心に説明 事前学修 2.0hr：マナーとは？ なぜ必要なのか，なぜ大切なこととされているのか。考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：相手に寄せる自分の心の分量の表し方を，学んだ作法から浅～深へと段階的に練習しておく。
13回	**授業テーマ：マナーー般②(慶弔に関する基礎知識)** 授業内容：◆贈答の基本について説明(陰と陽・合わせ・賀寿・六曜・のし・水引・祝儀不祝儀袋の扱いと注意点・お札の向き等入れ方について・大字・訪問の日取りや時間帯，品や口上他) 事前学修 2.0hr：喜びごと・悲しみごとには，実際どのようなことがあって，どのような言葉をよせるのか考えておく。 事後学修 2.0hr：今回学んだ慶弔のマナーの重要項目を，まとめ方を工夫して，分かりやすい一覧にしてみる。
14回	**授業テーマ：マナーー般③(交際業務／ドレスコード・慶弔に関する発生業務・弔事に関する用語と意味他)** 授業内容：◆ドレスコード◆家紋について位置と格◆和服の格◆喪服着用時の留意点◆慶弔金品の贈り方と上書き◆慶事弔事の受付(受ける側と差し出す側の言葉と所作)◆返信はがきの書き方◆葬儀の流れと用語・礼拝の仕方などを説明 事前学修 2.0hr：前回の授業資料と自分のまとめた内容に目を通し受講する。 事後学修 2.0hr：実務処理に関する項目を確認し，特にその留意点については確実にまとめておく。
15回	**授業テーマ：就職活動に関して(電話・面接会話の留意点と効率的な表現方法他)** 授業内容：◆準備しておくこと(自己ＰＲと志望動機の表現方法(含 ES)・持ち物)◆マナー(建物に入る前・受付・入室・質問の仕方・退出)◆電話会話と留意点等を解説する。※ IR 情報と企業情報の活用のポイント，説明会の種類・臨み方，e-mail は後期に扱う。 事前学修 2.0hr：就職面接での基本的な質問に対して，どのように答えるのがベストか考えておく。 事後学修 2.0hr：相手の心深くに響く，快い話し方や態度とはどのようなものか考えて，自分らしい表現を作ってみる。

キャリア講座Ⅱ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前/後

佐伯　祥子（さえき　しょうこ）

▌授業の概要

本講義の目的は、MOS（Microsoft Office Specialist）の PowerPoint 検定試験（Specialist レベル）の資格取得を目指すことである。近年、PowerPoint の操作スキルは、社会人として仕事をする上で欠かせないものとなっており、学生が PowerPoint の操作能力を証明する資格を取得することは、キャリア形成において重要だと考えられる。本講義では、MOS の認定資格試験対策テキストを使用し、PowerPoint 検定試験の資格取得に必要なスキルを身に付け、さらに、演習を通して実践的な操作能力を高め、PowerPoint の操作能力の一層の向上を図る。また、今年度から BYOD（Bring Your Own Device) が導入され、授業で学んだ内容を自分の環境で実践しながら PowerPoint を活用する力を身に付けることができる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 5、 2020 年度以前入学生 4/5）

一般目標：MOS PowerPoint365（Specialist レベル）の資格を取得できるスキルを身に付ける。
個別目標：MOS PowerPoint365（Specialist レベル）の試験に合格し、履歴書に書ける資格を取得する。

▌履修条件

パソコンおよび PowerPoint の基本操作（簡単な表作成）ができる。
日本語の文字入力ができる。
予習・復習のために、以下の条件を満たしたパソコンが必要となる。
・Windows11 の OS に Office365 または Office2021 がインストールされている
※講義内容の性質上、Mac のパソコンやスマホだけの学習はできない

▌評価基準・方法

授業最終回の試験によって評価する（授業中の課題・受講態度等も参考にする）。
授業態度不良（テキスト忘れ、私語、スマホの使用など）、および相応の理由のない欠席・遅刻は所定の減点を行う。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Windows11 の OS に Office365 または Office2021 がインストールされている【注意】Mac のパソコンは MOS 試験プログラムに対応していない）

▌教科書

『MOS 攻略問題集 PowerPoint 365　改訂新版』日経 BP 社, 2026 年
※ BYOD または、自宅のパソコンに出版社が指定するサイトから模擬テストプログラムをインストールする必要がある
※学習環境を整えるために、授業開始までに必ず購入しておくこと

▌参考書

参考となる図書や Web ページがある場合は別途指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション／ MOS 試験の概要／ PowerPoint の概要** 授業内容：本講義の目的や受講条件の理解・MOS 試験の概要と合格基準・パソコンおよび PowerPoint の基本的な用語と操作方法の確認 事前学修 2.0hr：各自でパソコンおよび PowerPoint の操作技術のレベルを事前に確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、BYOD または、自宅のパソコンに模擬テストおよび実習データをインストールする。
2 回	**授業テーマ：プレゼンテーションの管理 1（各マスターの操作・表示の変更）** 授業内容：スライド、配布資料、ノートのマスターの変更・オプションや表示の変更 事前学修 2.0hr：教科書の講義範囲をあらかじめ予習し、操作しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、問題文を読んで手順を見ずに操作できるようにする。
3 回	**授業テーマ：プレゼンテーションの管理 2（印刷設定・スライドショーの設定）** 授業内容：各表示モードの印刷設定・スライドショーの詳細設定 事前学修 2.0hr：教科書の講義範囲をあらかじめ予習し、操作しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、問題文を読んで手順を見ずに操作できるようにする。
4 回	**授業テーマ：プレゼンテーションの管理 3（共同作業用の設定）および第 1 章の復習-模擬テスト使用** 授業内容：コメント・パスワードの設定・保護・模擬テストを使った第 1 章の復習 事前学修 2.0hr：教科書の講義範囲をあらかじめ予習し、操作しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、模擬テストを使って第 1 章の復習を行う。
5 回	**授業テーマ：スライドの管理 1（インポート、スライドの挿入と変更）** 授業内容：別データからスライドをインポート・スライドの挿入と設定の変更 事前学修 2.0hr：教科書の講義範囲をあらかじめ予習し、操作しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、問題文を読んで手順を見ずに操作できるようにする。
6 回	**授業テーマ：スライドの管理 2（並べ替え、グループ化）および第 2 章の復習-模擬テスト使用** 授業内容：スライドの並べ替え・セクション・模擬テストを使った第 2 章の復習 事前学修 2.0hr：教科書の講義範囲をあらかじめ予習し、操作しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、模擬テストを使って第 2 章の復習を行う。
7 回	**授業テーマ：テキスト、図形、画像の挿入と書式設定 1（テキスト、リンク、図の挿入）** 授業内容：テキストの書式設定・リンク（ハイパーリンク・ズームリンク）の挿入・図の挿入と書式設定 事前学修 2.0hr：教科書の講義範囲をあらかじめ予習し、操作しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、問題文を読んで手順を見ずに操作できるようにする。
8 回	**授業テーマ：テキスト、図形、画像の挿入と書式設定 2（図形と配置・アクセシビリティ）** 授業内容：図形の挿入と編集・図形の並べ替えやグループ化、アクセシビリティの設定 事前学修 2.0hr：教科書の講義範囲をあらかじめ予習し、操作しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、問題文を読んで手順を見ずに操作できるようにする。
9 回	**授業テーマ：模擬テストを使った第 3 章までの復習** 授業内容：模擬テストを使った第 3 章の復習（いままで未実施の各章の模擬テストも実施） 事前学修 2.0hr：第 3 章を復習し、問題文を読んで手順を見ずに操作できるかを確認する。 事後学修 2.0hr：授業内でできなかった模擬テストを各自行う。

10回	**授業テーマ：表、グラフ、SmartArt の挿入** 授業内容：表の挿入と書式設定・グラフの挿入と書式設定・SmartArt の挿入と編集 事前学修 2.0hr：教科書の講義範囲をあらかじめ予習し、操作しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、問題文を読んで手順を見ずに操作できるようにする。
11回	**授業テーマ：3D モデル、メディアの挿入** 授業内容：3D モデルの挿入と編集・メディアの挿入と設定 事前学修 2.0hr：教科書の講義範囲をあらかじめ予習し、操作しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、問題文を読んで手順を見ずに操作できるようにする。
12回	**授業テーマ：模擬テストを使った第 4 章までの復習** 授業内容：模擬テストを使った第 4 章の復習(いままで未実施の各章の模擬テストも実施) 事前学修 2.0hr：第 4 章を復習し、問題文を読んで手順を見ずに操作できるかを確認する。 事後学修 2.0hr：授業内でできなかった模擬テストを各自行う。
13回	**授業テーマ：画面切り替えやアニメーションの適用および第 5 章の復習-模擬テスト使用** 授業内容：画面切り替えの適用と編集・アニメーションの適用と編集　模擬テストを使った第 5 章の復習 事前学修 2.0hr：教科書の講義範囲をあらかじめ予習し、操作しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、問題文を読んで手順を見ずに操作できるようにする。
14回	**授業テーマ：全体復習および模擬テストの本番モードの実施** 授業内容：今まで学習した範囲で分からなかった箇所の復習・模擬テストの本番モードの実施 事前学修 2.0hr：今まで学習した範囲で分からなかった箇所を復習しておく。 事後学修 2.0hr：教科書全体を復習し、模擬テスト 1 から 5 の本番モードで 700 点以上がとれるようにする。
15回	**授業テーマ：授業テーマ：テスト・まとめ** 授業内容：まとめテストの実施　※模擬テスト 1 から 5 の本番モードのどれか 1 つを当日提示する 事前学修 2.0hr：模擬テスト 1 から 5 の本番モードで 700 点以上がとれるように練習する。 事後学修 2.0hr：テストで出来なかったところを復習し、実際の試験に合格できるように学習する。

キャリア講座Ⅱ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

都甲　裕文 (とこう　ひろふみ)

▌授業の概要

今日のグローバルなビジネスの中では、企業の規模や業種にかかわらず、海外との結びつきを持つ機会が増えてきている。当然ながら現地の社会を理解することなしには、効率の良いビジネスは望めない。そのため、この授業では、アフリカから東南アジアに広がるイスラームの国々の社会的特徴を人口学による分析を通して理解し、現地社会と向かい合うために不可欠な知識を身につけて行きたい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 5、 2020 年度以前入学生 4/5）

一般目標：イスラーム世界の中でも地域によって社会生活に違いがあることを理解する。
個別目標：イスラームの国々など異文化社会でのビジネスの際に注意しなければならない点を説明できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

事前学修・復習小テスト 40 %と期末試験 60 %の結果に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

事前学修・復習小テストと期末試験のフィードバックは、授業や manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （イスラーム社会に特徴的なトピックスについてディスカッションを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回 manaba に配信する PDF 版のテキストプリントをダウンロードして受講することができる。）

▌教科書

使用しない。テキストプリントを使用する。

▌参考書

E・トッド、Y・クルバージュ(石崎晴己訳)『文明の接近「イスラーム vs 西洋」の虚構』藤原書店

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス：イスラーム社会の現状** 授業内容：1)「ジャスミン革命」…チュニジアでの市民によるベンアリ政権打倒、2)革命の広がり…「アラブの春」、3)イスラーム社会の変化、4)文明の衝突か接近か 事前学修 2.0hr：イスラーム世界に関する最近のニュースを調べて、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：ガイダンスのプリントを見直し、復習小テストの準備をする。
2回	**授業テーマ：危機の本質** 授業内容：1)危機感と無力感…リーマン・ブラザーズ破綻による金融危機・不況が世界に波及、2)フランス人の経済意識、3)文化的下意識…各国の文化レベルの運動、4)文化的・経済的ダイナミズムの多様性 事前学修 2.0hr：プリント１を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント１を見直し、復習小テストの準備をする。
3回	**授業テーマ：グローバリゼーションと社会** 授業内容：1)人類学的無意識、2)二つの家族類型・社会経済的調整モデル・資本主義、3)共同的信念のゆらぎと無気力感、4)経済グローバリゼーションと国民の内部分裂の因果関係 事前学修 2.0hr：プリント２を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント２を見直し、復習小テストの準備をする。。
4回	**授業テーマ：経済学と人類学** 授業内容：1)人類学的観点から見た母胎、2)４つの家族類型、3)個人主義の水準…逆に個人の集団への統合の水準でもある、4)共同的信念と経済的管理、5)共同的信念の起源 事前学修 2.0hr：プリント３を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント３を見直し、復習小テストの準備をする。
5回	**授業テーマ：文明の衝突か接近か** 授業内容：1)人口学的・文化的・心性的革命、2)移行期危機…イスラーム原理主義によるテロリズムと脱宗教化、3)その他の分析方法…経済的説明変数と政治的側面 事前学修 2.0hr：プリント４を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント４を見直し、復習小テストの準備をする。
6回	**授業テーマ：識字化と出生率の低下** 授業内容：1)全世界的識字化状態へ前進…人間精神の上昇運動、2)出生率の低下…イスラーム圏独自のスピードだが到達点同じ、3)男女の識字化が出生率の低下と関連…女性の識字化以前に男性の識字率が高いと早く出生率の変化が現れる 事前学修 2.0hr：プリント５を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント５を見直し、復習小テストの準備をする。
7回	**授業テーマ：イスラーム圏と「世界の脱呪術化」** 授業内容：1)宗教の役割…個人と形而上学的彼岸との絆を定義、2)ヨーロッパの宗教的信仰の崩壊と出生率低下、3)ロシア・中国・日本の出生率低下、4)イスラーム圏の脱宗教化 事前学修 2.0hr：プリント６を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント６を見直し、復習小テストの準備をする。
8回	**授業テーマ：移行期危機** 授業内容：1)識字化、出産調整、流血革命、2)ピューリタン革命、フランス革命、ロシア革命、中国革命、3)イスラーム諸国の移行期危機…文化的近代化・伝統的権威構造の崩壊・移行期暴力の結合 事前学修 2.0hr：プリント７を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント７を見直し、復習小テストの準備をする。
9回	**授業テーマ：イスラーム主義の未来** 授業内容：1)イスラーム主義と未来予測、2)心性革命…識字化の進展と出生調整の一般化による大衆的政治混乱と暴力、3)識字率と出生率…一般モデルに照らして近代化の進展状況を確定し、イデオロギー的・宗教的・政治的現状を説明する 事前学修 2.0hr：プリント８を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント８を見直し、復習小テストの準備をする。

10回	**授業テーマ：アラブの家族** 授業内容：1)家族構造と移行期危機、2)父系と夫方居住、3)『コーラン』の「婦人」章…かなり複雑な相続、4)イスラーム圏の家族システム、5)アラブ家族の夫方居住、6)シーア派の相続法 事前学修 2.0hr：プリント9を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント9を見直し、復習小テストの準備をする。
11回	**授業テーマ：アラブの内婚制** 授業内容：1)内婚制…イトコ同士の結婚アラブ圏結婚全体の 25-40 %、2)内婚制の心理的・イデオロギー的帰結、3)アラブの家族…夫方居住、内婚制、4)近代化による内婚率の低下5)伝統的家族構造への固執 事前学修 2.0hr：プリント 10 を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント 10 を見直し、復習小テストの準備をする。
12回	**授業テーマ：非アラブ圏のイスラーム女性** 授業内容：1)マレーシア・インドネシアの妻方居住、2)軍事的征服ではなく、商業によるイスラームの浸透、3)サハラ以南アフリカの大衆的一夫多妻制、4)サハラ以南アフリカではイスラーム以前に家族システム形成・差異化 事前学修 2.0hr：プリント 11 を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント 11 を見直し、復習小テストの準備をする。
13回	**授業テーマ：アラブ圏の人口学的移行** 授業内容：1)識字化と石油収入、2)原油価格暴落と出生率の低下、3)マグリブの移行期加速化とフランス、4)アラビア半島へのエジプト人移民 事前学修 2.0hr：プリント 12 を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント 12 を見直し、復習小テストの準備をする。
14回	**授業テーマ：シリアとアラビア半島** 授業内容：1)シリアの遅れと分断…スンナ派とアラウイ派、2)人口増加論と出産奨励、3)人口動態の地域的多様性の原因、4)アラビア半島の異種混合性、5)人口学的移行の遅れたイエメン 事前学修 2.0hr：プリント 13 を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント 13 を見直し、総復習テストの準備をする。
15回	**授業テーマ：まとめ：イスラーム社会総論** 授業内容：1)イスラーム社会の多様性、2)アラブ伝統社会への固執と移行期危機、3)東南アジア・サハラ以南アフリカの女性、4)石油収入の変動と家族形態、5)移民・出稼ぎによる家族観の変化 事前学修 3.0hr：総復習テストをするので全てのテキストプリントを見直す。 事後学修 1.0hr：総復習テストの結果を踏まえて今後の学習について考える。

キャリア講座Ⅱ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

若林　優子（わかばやし　ゆうこ）

▌授業の概要

◆社会人準備講座後半である。◆実務処理能力向上のためには、秘書業務のケーススタディが最適との考えから、秘書にみる予測と配慮をもった対応の仕方を各項目により学び、実務処理センスを養う。◆Ⅱは、記録実務が中心だが、文書作成力養成のみに焦点をあてない。コミュニケーションの４本の柱がどのように活用されていくのか具体的な場面で確認し，最善の状況対応を考える。それにより，人をサポートする為に求められる執務要件・情報の扱いについての認識を深め、実務の基本的対応力をトータルで養成する。◆毎回演習あり◆就職活動時における自己表現のあり方を文書・口頭両面で探る。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 5、 2020 年度以前入学生 4/5）

一般目標：●社会人としてわきまえるべき書式・慣用句・慣用表現等，記録業務の基本を習得し、簡単な社内外文書を自力で作成できるようになる。●現場で発生している事例を題材に，予測に基づいた対応・処理のあり方を理論的に理解し，実際実務で求められる「読む・書く・聴く・話す」力には，「正確な理解と判断・対処」が伴うことを認識する。●求められる執務要件への理解を基に，自身が抱く職業観を深化・形成していく。

個別目標：①ビジネス文書の基礎知識を得，簡単な社内外文書が作成できる。②口頭での文書作成指示や伝票処理に対しても，速やかに処理ができるようになる。③当講座Ⅰもふまえ，様々な状況の問題解決への発想を育て，即応した言葉の選択をしたうえで、自分の最も伝えたい事柄を確実に表現できる。(含就職活動)

▌履修条件

①実務の基本的認識を要する。前期Ⅰに続く受講が望ましい②文書を扱うため労作業が伴う。途中で投げ出さない気持ちの強さも必要③毎回出題する課題は締切日までに必ず提出④「課題の解説」の熟読⑤原則４日以上の欠席は期末試験受験資格に関わる点を認識⑥欠席連絡等は個別コレクションを使用

▌評価基準・方法

期末試験 80 %・受講態度(含，課題レポート) 20 %の結果に基づき総合的に評価する。成果物はそれぞれ添削ののち，毎回到達目標の達成度に基づき成績評価をつけ，コメントとともに個別に通知する。なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点する。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは、学修支援システム manaba を通し個別に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

購入する教科書はない。毎回作成し配付する「授業資料」をテキストとする。なお，各回実施する課題の「解説」も第二のテキストとして位置づけている。

▌参考書

秘書検定・ビジネス文書検定実問題／(財)実務技能検定協会)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス (授業の流れと目的・評価等) ／文書について(機能・種類・要約等)** 授業内容：◆授業の目的，流れと評価，約束事などを伝える◆課題レポートの提出と添付「解説・解答」について説明◆文書の機能・種類，文章の要約などについて解説 事前学修 2.0hr：文書の特徴と目的について考える。 事後学修 2.0hr：授業での約束事を確認しておく。情報の効率的なまとめ方について復習する。
2回	**授業テーマ：会議について／会議用語／会議の準備／議事録について** 授業内容：◆会議と会合の違い◆会議の目的と形式・株式会社の重要会議・主な会議用語◆上司出席・上司主催それぞれの会議における，開始前・中・後に発生する業務の説明◆議事録の様式・書き方の留意点等を解説◆演習(議事録) 事前学修 2.0hr：議事録とは何か。内容の構成と必須項目を調べておく。 事後学修 2.0hr：会議開催に伴う実務面と演習した議事録について復習しておく。
3回	**授業テーマ：会計業務(伝票に慣れる／伝票の起こし方／会計処理の仕方／現金管理と勘定科目・借方貸方)** 授業内容：◆小口現金管理(定額資金前渡制)について説明◆小口現金集計表や振替伝票を題材に，起票の仕方・勘定科目・仕訳・借方貸方などについて説明する。◆①経費精算書②請求書③小口現金集計表について演習する。 事前学修 2.0hr：家族に頼まれたり自分のものの買い物。購入品をグループで分けるとどうなるでしょう？ 確認してみよう。 事後学修 2.0hr：課題の解説の熟読(振替伝票の各項目の説明・複式簿記のルーツと借方貸方の話)
4回	**授業テーマ：出張業務(発生から精算まで／旅程表・仮払金・旅費精算書の書き方・精算の仕方と証憑書類など)** 授業内容：◆出張補佐業務を，前・中・後に分けて説明◆仮払請求◆演習「旅程表作成」により，効率的かつ見やすさを工夫した書き方を考える◆旅費精算書の説明◆帳票書類・証憑書類の解説◆説明をもとに旅費精算書作成(本日の課題) 事前学修 2.0hr：屋外施設を借りるテニスやサッカーなど，何についてどれくらいの費用がかかるか想像し，数字を出してみる。 事後学修 2.0hr：旅程表作成の工夫，仮払請求，精算書記入と添付書類について留意点を確認しておく。
5回	**授業テーマ：社内文書①(書式と言葉)** 授業内容：◆社内・社外文書の違いについて◆社内文書の書式・言葉遣い・慣用表現を説明する。◆演習により言葉の用い方，文章表現の仕方を訓練する。◆最後の演習で簡単な「社内案内文」を全文作成。書式と言葉遣いの確認をする。 事前学修 2.0hr：例えば友人との遊びの約束。どのような言葉でどのようなことを確認し合うか書いておく。 事後学修 2.0hr：ビジネス文書の効率性，社内と社外の書式・言葉の違いをきちっと書き留めておく。
6回	**授業テーマ：社内文書②(わかりやすい文章への工夫／簡単な社内文書の作成)** 授業内容：◆演習により，①わかりやすい文章について，句読点・パラグラフと文章の構成を考える。②社内文書の書式をふまえ，簡単な案内文・通知文・依頼文を全文作成する。◆データとグラフの説明，グラフ作成(本日の課題２) 事前学修 2.0hr：例えば就職活動時，ある企業が説明会をするとの情報を得たが詳細不明。確認事項を書いてみる。 事後学修 2.0hr：文書構成の基礎要素を確認しておく。課題２の解説(市場占有率～AIDCAS 迄)を熟読する。
7回	**授業テーマ：社内文書③(簡単な通知文・依頼文・報告書等の説明と演習)** 授業内容：◆通知文・依頼文・報告書について書き方のポイントと注意点を整理・解説◆通知文・依頼文・報告書を実践練習として，各２題演習する。 事前学修 2.0hr：例えば次の月曜日に部活のミーティングをするとして，皆に知らせる項目は？ 箇条書きにしておく。 事後学修 2.0hr：書式と慣用表現を再度確認し，まずは簡単な案内文と通知文を，全文自力で書けるよう復習しておく。

8回	**授業テーマ：社内文書④(やや長い文章の構成をつかみ，端的にまとめる工夫について考える)※社内文書のまとめ(演習／課題)** 授業内容：演習①起承転結の段落を意識し主旨をつかむ②公用文方式の項目番号・細別符号を用いて内容を整理。箇条書きの訓練をする③やや複雑な状況の出張内容を「出張報告書」にまとめる➡事実と所感の立分，必要な報告内容のまとめ方，項目番号の用い方を訓練 事前学修 2.0hr：今までの講座で学んだ「伝えるべきことの探し方・端的に伝えるための工夫」を復習しておく 事後学修 2.0hr：特に Exercise ３を振り返り，全体の流れを読み取って，文書の構成を確認しておく。
9回	**授業テーマ：社外文書①(社外文書の書式・卑称尊称・慣用句・慣用表現／敬体表現の復習／簡単な社外文書の作成)** 授業内容：◆社外文書の書式と特徴(頭語と結語・時候の挨拶等前文の構成・末文の表現)◆業務文書と社交文書◆社内文書と異なる言葉遣い等の説明◆慣用句・慣用表現を用いる演習◆社外文書として適切な文章に変換する演習◆書き取り 事前学修 2.0hr：社内文書の慣用句・慣用表現にチェックを入れまとめておく。 事後学修 2.0hr：社内文書との違いを確認。本文の構成・慣用句・慣用表現を復習。課題の解説を熟読し言葉の意味を確実にしておく。
10回	**授業テーマ：社外文書②(慣用句の意味の確認・転語／簡単な商取引文書・見積書作成／小切手・手形の説明他)** 授業内容：◆演習により慣用句の書き取りをし，言葉の意味を詳細に解説◆転語と用いる漢字◆「見積書」の演習と送付状の解説◆演習「送金礼状」適切な文章に変換◆演習「注文請書送付状」指定内容をもとに全文完成◆小切手・手形・電子化について説明する。 事前学修 2.0hr：ここで前回まで記録してきた授業内容を整理して，オリジナルの資料を作っておく。 事後学修 2.0hr：解説をよく読み，課題の復習をしておく。特に謙譲表現については，このように書く意味もとらえておくこと。
11回	**授業テーマ：社外文書③(領収証・通信業務・受発信文書の処理・秘扱い文書他)** 授業内容：◆領収証についての説明・大字◆受発信業務の解説と演習◆秘文書の扱いについての説明と演習◆ Exercise「これまでの復習問題」 事前学修 2.0hr：日常生活で，本や CD 等品物を予約注文するとき，何を店員に伝えるか考え，書いてみる。 事後学修 2.0hr：情報共有や守り方について具体的に何をどのようにすべきかをまとめておく。解説「平仮名で書くべき言葉」も要確認
12回	**授業テーマ：社外文書④社交文書全般(慣用句・慣用表現の演習／祝い状・礼状・招待状・見舞状等)** 授業内容：◆演習(意味から慣用句を答える)◆演習・祝い状・案内状・見舞状(指定箇所に適切な言葉を入れる／指定箇所を改まった丁寧な表現に変換／本文を適切な文章に変換)◆演習・礼状(言葉のリレーで文章作成／書き取り) 事前学修 2.0hr：慰めやその他のことで，あなたが他者に言ってほしくない言葉を列挙しておく。 事後学修 2.0hr：業務文書との違い，心の表現部分，基本的な慣用表現・慣用句を確認。自在に活用できるまで何度も書いてみる。
13回	**授業テーマ：社外文書⑤印鑑の知識・出欠はがきの書き方・就任挨拶状について他／小テスト(ここまでの復習)** 授業内容：◆印鑑について(用語・種類・位置・封緘印)の説明と演習◆返信用出欠はがきの書き方◆就任・交代挨拶状について説明と演習◆小テストは，第９回課題の「卑称・尊称」より出題。書き取り問題 事前学修 2.0hr：文書を簡潔にまとめる用語や敬体表現を再確認し，誤字のないよう書けるようにしておく。 事後学修 2.0hr：演習してきた課題を参考に，社内・外文書の要素を確認。社内通知文・社外案内文を中心に自力で作成してみる。
14回	**授業テーマ：総合演習(上司の指示を受ける―現場での一般的な一連の業務の流れで演習する)** 授業内容：◆仕事の優先順位の説明◆設定した「上司外出中に処理」との８つの指示事項について，優先順位を考える。◆授業では至急の処理事項２件からから始める。電話・通知状作成・略式紹介状作成・歳暮の礼状まで。他は課題レポートとする。 事前学修 2.0hr：難しい・多すぎる・分かりにくい指示内容，厳しい指示のされ方等に対する向き合い方を考えておく。 事後学修 2.0hr：どんな指示に対しても，常に「はい」と言える自分になるために，今何をしておくべきか考える。
15回	**授業テーマ：就職活動に関して(e-mail 日程調整の依頼・お礼・返信)／重点箇所の復習** 授業内容：◆就職活動に関しては前期Ⅰで「準備・電話会話」を解説している。その流れから，文書の領域である ES での自己 PR・志望動機の表現方法も含めた為，後期では IR 情報と企業情報の活用ポイント・会社説明会の種類と臨み方・e-mail の説明にとどめる。◆前回までの重要部分を中心に復習する。 事前学修 2.0hr：相手企業にこれだけは伝えておきたいと思う言葉を書きとめておく。自分の心や考えをまとめてみる。 事後学修 2.0hr：就活中最も多い依頼のシーン。mail，電話・面接会話での，気持ち伝える「自分の言葉」を考え，書きとめておく。

キャリア講座Ⅲ

開講学科等：経 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

佐伯　祥子（さえき　しょうこ）

▌授業の概要

本講義の目的は、MOS（Microsoft Office Specialist）の Word 検定試験（Specialist レベル）の資格取得を目指すことである。近年、Word の操作スキルは、社会人として仕事をする上で欠かせないものとなっており、学生が Word の操作能力を証明する資格を取得することは、キャリア形成において重要だと考えられる。本講義では、MOS の認定資格試験対策テキストを使用し、Word 検定試験の資格取得に必要なスキルを身に付け、さらに、演習を通して実践的な操作能力を高め、Word の操作能力の一層の向上を図る。また、今年度から BYOD（Bring Your Own Device）が導入され、授業で学んだ内容を自分の環境で実践しながら Word ｔを活用する力を身に付けることができる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 5、 2020 年度以前入学生 5）

一般目標：MOS Word365（Specialist レベル）の資格を取得できるスキルを身に付ける。
個別目標：MOS Word365（Specialist レベル）の試験に合格し、履歴書に書ける資格を取得する。

▌履修条件

パソコンおよび Word の基本操作（簡単な表作成）ができる。
日本語の文字入力ができる。
予習・復習のために、以下の条件を満たしたパソコンが必要となる。
・Windows11 の OS に Office365 または Office2021 がインストールされている
※講義内容の性質上、Mac のパソコンやスマホだけの学習はできない

▌評価基準・方法

授業最終回の試験によって評価する（授業中の課題・受講態度等も参考にする）。
授業態度不良（テキスト忘れ、私語、スマホの使用など）、および相応の理由のない欠席・遅刻は所定の減点を行う。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Windows11 の OS に Office365 または Office2021 がインストールされている【注意】Mac のパソコンは MOS 試験プログラムに対応していない）

▌教科書

『MOS 攻略問題集 Word 365　改訂新版』日経 BP 社, 2026 年
※ BYOD または、自宅のパソコンに出版社が指定するサイトから模擬テストプログラムをインストールする必要がある
※学習環境を整えるために、授業開始までに必ず購入しておくこと

▌参考書

参考となる図書や Web ページがある場合は別途指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション／ MOS 試験の概要／ Word の概要** 授業内容：本講義の目的や受講条件の理解・MOS 試験の概要と合格基準・パソコンおよび Word の基本的な用語と操作方法の確認 事前学修 2.0hr：各自でパソコンおよび Word の操作技術のレベルを事前に確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、BYOD または、自宅のパソコンに模擬テストおよび実習データをインストールする。
2 回	**授業テーマ：文書の管理 1（文書内の移動、文書全体の書式）** 授業内容：文書内の移動・ハイパーリンクの設定・文書全体の書式設定 事前学修 2.0hr：教科書の講義範囲をあらかじめ予習し、操作しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、問題文を読んで手順を見ずに操作できるようにする。
3 回	**授業テーマ：文書の管理 2（保存と共有、文書の検査）および第 1 章の復習-模擬テスト使用** 授業内容：文書の保存と共有・印刷・文書の検査・模擬テストを使った第 1 章の復習 事前学修 2.0hr：教科書の講義範囲をあらかじめ予習し、操作しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、模擬テストを使って第 1 章の復習を行う。
4 回	**授業テーマ：文字、段落の書式設定** 授業内容：文字列の挿入・検索と段落の書式設定 事前学修 2.0hr：教科書の講義範囲をあらかじめ予習し、操作しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、問題文を読んで手順を見ずに操作できるようにする。
5 回	**授業テーマ：セクションの挿入と書式設定および第 2 章の復習-模擬テスト使用** 授業内容：セクションの挿入と書式設定・模擬テストを使った第 2 章の復習 事前学修 2.0hr：教科書の講義範囲をあらかじめ予習し、操作しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、模擬テストを使って第 2 章の復習を行う。
6 回	**授業テーマ：表の管理** 授業内容：表の作成と編集 事前学修 2.0hr：教科書の講義範囲をあらかじめ予習し、操作しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、問題文を読んで手順を見ずに操作できるようにする。
7 回	**授業テーマ：リストの管理および第 3 章の復習-模擬テスト使用** 授業内容：行頭文字や段落番号の挿入と編集・模擬テストを使った第 3 章の復習 事前学修 2.0hr：教科書の講義範囲をあらかじめ予習し、操作しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、模擬テストを使って第 3 章の復習を行う。
8 回	**授業テーマ：脚注や文末脚注・資料文献** 授業内容：脚注や文末脚注の挿入と変更・資料文献の挿入と編集 事前学修 2.0hr：教科書の講義範囲をあらかじめ予習し、操作しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、問題文を読んで手順を見ずに操作できるようにする。
9 回	**授業テーマ：目次や参考文献の挿入および第 4 章の復習-模擬テスト使用** 授業内容：目次や参考文献の挿入・模擬テストを使った第 4 章の復習 事前学修 2.0hr：教科書の講義範囲をあらかじめ予習し、操作しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、模擬テストを使って第 4 章の復習を行う。

10回	**授業テーマ：グラフィック要素やテキストボックスの挿入と編集** 授業内容：グラフィック要素(画像・図形・3D モデル・SmartArt)の挿入と編集 事前学修 2.0hr：教科書の講義範囲をあらかじめ予習し、操作しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、問題文を読んで手順を見ずに操作できるようにする。
11回	**授業テーマ：グラフィック要素の変更** 授業内容：文書内のグラフィック要素の配置の修正や移動・代替テキストの追加 事前学修 2.0hr：教科書の講義範囲をあらかじめ予習し、操作しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、問題文を読んで手順を見ずに操作できるようにする。
12回	**授業テーマ：模擬テストを使った第 5 章までの復習-模擬テスト使用** 授業内容：模擬テストを使った第 5 章の復習(いままで未実施の各章の模擬テストも実施) 事前学修 2.0hr：第 5 章を復習し、問題文を読んで手順を見ずに操作できるかを確認する。 事後学修 2.0hr：授業内でできなかった模擬テストを各自行う。
13回	**授業テーマ：文書の共同作業の管理および第 6 章の復習-模擬テスト使用** 授業内容：コメントの追加と変更・変更履歴の管理 事前学修 2.0hr：教科書の講義範囲をあらかじめ予習し、操作しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、問題文を読んで手順を見ずに操作できるようにする。
14回	**授業テーマ：全体復習および模擬テストの本番モードの実施** 授業内容：今まで学習した範囲で分からなかった箇所の復習・模擬テストの本番モードの実施 事前学修 2.0hr：今まで学習した範囲で分からなかった箇所を復習しておく。 事後学修 2.0hr：教科書全体を復習し、模擬テスト 1 から 5 の本番モードで 700 点以上がとれるようにする。
15回	**授業テーマ：テスト・まとめ** 授業内容：まとめテストの実施 ※模擬テスト 1 から 5 の本番モードのどれか 1 つを当日提示する 事前学修 2.0hr：模擬テスト 1 から 5 の本番モードで 700 点以上がとれるように練習する。 事後学修 2.0hr：テストで出来なかったところを復習し、実際の試験に合格できるように学習する。

キャリア講座Ⅲ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

サマド　アブドス

▌授業の概要

このキャリア講座 III では、グローバル人材の育成を目標に、貧困撲滅や人権擁護、発展途上国における子供の教育環境及び住環境等の改善について考え、どのような実践や支援が必要かを考える。そして、この授業は単に授業を聞くだけではなく、グループワークと共にフィールドワークを通じて、自ら上記の諸問題に取り組み主体的な学びを重視する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 5、 2020 年度以前入学生 5）

一般目標：世界や日本の地域に存在する様々な諸問題・諸課題を発見し、その原因と解決法を自ら頭で考え、それを提案等というかたちで発信できる。
個別目標：この授業により、グローバル人材の育成を目標に、世界のことを幅広く学ぶことができます。

▌履修条件

授業参加と共に５分の４以上の出席を履修条件とします。

▌評価基準・方法

平常の授業への取り組み状況をベースに（８５%）、レポート（１回分）１５%に基づき総合的に評価します。

▌フィードバック方法

授業の復習

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （(世界について楽しく学ぶ)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

毎回、資料を配布、あるいは受講者に持参してもらうので、教科書は使用しません。

▌参考書

必要に応じて対応します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：講義全体についての説明 事前学修 2.0hr：世界あるいは地域の問題について、予めノート等に整理しておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を学習し、まとめる。
2回	**授業テーマ：発展途上国の諸問題について (1)** 授業内容：世界食料問題について 事前学修 2.0hr：前回の内容を確認する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を学習し、まとめる。
3回	**授業テーマ：発展途上国の諸問題について (2)** 授業内容：環境及び地球温暖化防止について 事前学修 2.0hr：前回の内容を確認する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を学習し、まとめる。
4回	**授業テーマ：発展途上国の諸問題について (3)** 授業内容：世界の水資源について 事前学修 2.0hr：前回の内容を確認する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を学習し、まとめる。
5回	**授業テーマ：発展途上国の諸問題について (4)** 授業内容：エネルギー問題について 事前学修 2.0hr：前回の内容を確認する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を学習し、まとめる
6回	**授業テーマ：発展途上国の諸問題について (5)** 授業内容：教育の機会平等について 事前学修 2.0hr：前回の内容を確認する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を学習し、まとめる。
7回	**授業テーマ：発展途上国の諸問題について (6)** 授業内容：少子高齢化の社会的な課題について 事前学修 2.0hr：前回の内容を確認する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を学習し、まとめる。
8回	**授業テーマ：発展途上国の諸問題について (7)** 授業内容：フェアトレードの経済てきな活動について 事前学修 2.0hr：前回の内容を確認する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を学習し、まとめる。
9回	**授業テーマ：発展途上国の諸問題について (8)** 授業内容：社会企業家により社会の様々な課題を成し遂げたことについて 事前学修 2.0hr：前回の内容を確認する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を学習し、まとめる。
10回	**授業テーマ：発展途上国の諸問題について (9)** 授業内容：グローバル化により国際市場の拡大について 事前学修 2.0hr：前回の内容を確認する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を学習し、まとめる。
11回	**授業テーマ：発展途上国の諸問題について (10)** 授業内容：円高・円安問題について 事前学修 2.0hr：前回の内容を確認する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を学習し、まとめる。
12回	**授業テーマ：発展途上国の諸問題について (11)** 授業内容：円高・円安問題について 事前学修 2.0hr：前回の内容を確認する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を学習し、まとめる。

13回	**授業テーマ：グローバルな課題について (1)** 授業内容：社会企業家のグローバル的な活動について 事前学修 2.0hr：前回の内容を確認する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を学習し、まとめる。
14回	**授業テーマ：グローバルな課題について (2)** 授業内容：マイクロファイナンスの仕組みについて 事前学修 2.0hr：前回の内容を確認する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を学習し、まとめる。
15回	**授業テーマ：講義全体のまとめ。** 授業内容：15 回に渡って学習したことを再確認する 事前学修 2.0hr：前回の内容を確認する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を学習し、まとめる。

キャリア講座Ⅲ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

永井　節（ながい　たかし）

▌授業の概要

就職試験の状況が大きく変化しいています。
特にコロナ禍後、自宅受験の積極的導入により、公務員試験や一般企業の筆記試験も毎年変化しています。
公務員試験あるいは公務員試験と同一内容のＣＡＢ、ＧＡＢ、ＳＰＩ、入社試験で出題された本試験問題を教材に、問題の解法と就職試験で必要とされるスキルを習得するための講義と演習を行います。
微分、行列だけではなく、小学生で習った鶴亀算から、論理命題、暗号、地震波、の確認や昨今の、戒厳令や弾劾等についても確認していきます。
社会に出る前に、基礎的な語彙や計算能力の穴をなくしていきましょう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 5、 2020 年度以前入学生 5）

一般目標：県庁・市役所・警視庁・消防庁レベルの問題が解けるようになること。
　　昨今配点比重の高まっているコンピテンシー面接のためのアピール力を習得すること。
　　近年の公務員試験は受かりやすい傾向にありますので、民間試験の SPI を中心にお考えの学生にも、充分公務員試験合格のチャンスがありますので是非トライしてみてください。
個別目標：就職学年　　…　内定。
　　それ以外の学部生　…　県庁・上場企業合格レベルの学力の習得。
　　社会人として学び続けられるよう、リベラルアーツの取得。

▌履修条件

高校までの知識の蓄積量は問いません。自分の目指す目標に到達するために、今後の生活を学業中心に過ごす強い決意がある学生が望ましい。
そのため出席は必須で、欠席時は必ず授業内容の補完をしておくこと。

▌評価基準・方法

出席日数は 5 分の 4 以上を評価の前提条件とし、欠席・遅刻は減点の対象とする。
評価は、毎回の授業後の提出物 60 %、課題についてのレポート 30 %、授業態度 10%の割合で評価する。

▌フィードバック方法

提出物を元に個別に指示します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （個人課題を課します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （補助資料はネットを通じて配信する予定。）

▌教科書

公務員試験　過去問題集(問題）（市役所編・警察編）　過去問研究会
解答は授業で告知。
自治体が発行する広報など。それぞれの自治体の職員ハンドブックが手に入れば尚可。

▌参考書

六法、国語辞典、学部で使用するテキスト、高校までに使用した教科書。
公務員試験過去問集。
SPI 問題集。
上級職や国家公務員を目指す方は、行政書士など他の資格試験の問題集。わからない場合は相談してください。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：就職試験概要** 授業内容：春の県庁試験の合格を目標に問題を解ききる実践演習を行ないます。 少々ハードな内容になりますが、早期合格を目指し頑張ってください。 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで、センター試験の全範囲の問題を見ておくこと。 事後学修 2.0hr：浦安港ヨットハーバー事件の問題点について纏めること。
2回	**授業テーマ：知能分野・非言語分野、論理命題** 授業内容：論理の展開方法から、解らないことを確定させてから論理を展開する方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：対偶・ドモルガンについて調べておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題について提出。
3回	**授業テーマ：知識分野・言語分野、政治** 授業内容：権力、法のヒエラルキー。 事前学修 2.0hr：権力、法のヒエラルキーについて調べておくこと。。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題について提出。
4回	**授業テーマ：知能分野・非言語分野、順序関係** 授業内容：与えられた条件から、年齢や重さ長さの比較から順序関係を確定させていく。 事前学修 2.0hr：例題を見ておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題について提出。
5回	**授業テーマ：知識分野・言語分野、GDP** 授業内容：マクロ経済学概要。 事前学修 2.0hr：日本経済の状況を調べておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題について提出。
6回	**授業テーマ：知能分野・非言語分野、対応関係** 授業内容：対応表の作成技術の習得。 事前学修 2.0hr：例題を見ておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題について提出。
7回	**授業テーマ：知識分野・言語分野、都市論** 授業内容：生き物である都市を、世俗都市、中世都市、アメリカの都市から見ていく。 事前学修 2.0hr：都市病理について調べておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題について提出。

8回	**授業テーマ：知能分野・非言語分野、集合** 授業内容：ベン図、キャロル図、ベン図の使い分け方。 事前学修 2.0hr：例題を見ておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題について提出。
9回	**授業テーマ：知識分野・言語分野、選挙制度** 授業内容：アメリカ大統領選挙を教材に、政党、政治システムを見ていく。 事前学修 2.0hr：アメリカ大統領選挙についての報道を見ておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題について提出。
10回	**授業テーマ：知能分野・非言語分野、証言** 授業内容：発言内容とその発言者の立場から、証言の真実さと他の証言者の立場を確定させていく。 事前学修 2.0hr：例題を見ておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題について提出。
11回	**授業テーマ：知識分野・言語分野、財の性質** 授業内容：上級財、自由財、代替財などの性質について。 事前学修 2.0hr：市場での財の使われ方について調べておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題について提出。
12回	**授業テーマ：知能分野・非言語分野、位置** 授業内容：距離感の先入観をどう活かすか。 事前学修 2.0hr：例題を見ておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題について提出。
13回	**授業テーマ：知識分野・言語分野、家族論** 授業内容：家族の壊れ方につてい。 事前学修 2.0hr：どのような家族形態があるか、また家族の問題について考えておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題について提出。
14回	**授業テーマ：知能分野・非言語分野、試合** 授業内容：トーナメントとリーグ戦。 事前学修 2.0hr：例題を見ておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題について提出。
15回	**授業テーマ：知識分野・言語分野、民法総則** 授業内容：法改正がなされる民法分野の基礎。 事前学修 2.0hr：成年年齢、親権、性別について調べておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題について提出。

キャリア講座Ⅳ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

サマド　アブドス

▌授業の概要

このキャリア講座 IV では、グローバル人材の育成を目標に、貧困撲滅や人権擁護、発展途上国における子供の教育環境及び住環境等の改善について考え、どのような実践や支援が必要かを考える。そして、この授業は単に授業を聞くだけではなく、グループワークと共にフィールドワークを通じて、自ら上記の諸問題に取り組み主体的な学びを重視する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 5、 2020 年度以前入学生 5）

一般目標：世界や日本の地域に存在する様々な諸問題・諸課題を発見し、その原因と解決法を自ら頭で考え、それを提案等というかたちで発信できる。
個別目標：この授業により、グローバル人材の育成を目標に、世界のことを幅広く学ぶことができます。

▌履修条件

授業参加と共に５分の４以上の出席を履修条件とします。

▌評価基準・方法

平常の授業への取り組み状況をベースに（８５%）、レポート（１回分）１５%に基づき総合的に評価します。

▌フィードバック方法

授業の復習

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （(世界について楽しく学ぶ)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

毎回、資料を配布、あるいは受講者に持参してもらうので、教科書は使用しません。

▌参考書

必要に応じて対応します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：講義全体についての説明 事前学修 2.0hr：講義概要を理解すること。 事後学修 2.0hr：講義全体を理解すること。
2回	**授業テーマ：発展途上国の諸問題について (1)** 授業内容：SDGs の重要性及び仕組みについて 事前学修 2.0hr：前回の内容を確認する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を学習し、まとめる。
3回	**授業テーマ：発展途上国の諸問題について (2)** 授業内容：貧困緩和の取り組みについて 事前学修 2.0hr：前回の内容を確認する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を学習し、まとめる。
4回	**授業テーマ：発展途上国の諸問題について (3)** 授業内容：栄養失調の改善について 事前学修 2.0hr：前回の内容を確認する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を学習し、まとめる。
5回	**授業テーマ：発展途上国の諸問題について (4)** 授業内容：福祉の充実について 事前学修 2.0hr：前回の内容を確認する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を学習し、まとめる。
6回	**授業テーマ：発展途上国の諸問題について (5)** 授業内容：男女平等の課題について 事前学修 2.0hr：前回の内容を確認する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を学習し、まとめる。
7回	**授業テーマ：発展途上国の諸問題について (6)** 授業内容：持続可能なエネルギーについて 事前学修 2.0hr：前回の内容を確認する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を学習し、まとめる。
8回	**授業テーマ：発展途上国の諸問題について (7)** 授業内容：労働環境の充実性について 事前学修 2.0hr：前回の内容を確認する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を学習し、まとめる。
9回	**授業テーマ：発展途上国の諸問題について (8)** 授業内容：技術革新及びイノベーションについて 事前学修 2.0hr：前回の内容を確認する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を学習し、まとめる。
10回	**授業テーマ：発展途上国の諸問題について (9)** 授業内容：地域格差により経済的な格差について 事前学修 2.0hr：前回の内容を確認する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を学習し、まとめる。
11回	**授業テーマ：発展途上国の諸問題について (10)** 授業内容：持続可能な消費と生産について 事前学修 2.0hr：前回の内容を確認する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を学習し、まとめる。
12回	**授業テーマ：発展途上国の諸問題について (11)** 授業内容：持続可能な海洋資源について 事前学修 2.0hr：前回の内容を確認する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を学習し、まとめる。

13回	**授業テーマ：グローバルな課題について (1)** 授業内容：UNICEF により様々なグローバル的な活動について 事前学修 2.0hr：前回の内容を確認する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を学習し、まとめる。
14回	**授業テーマ：グローバルな課題について (2)** 授業内容：国民総幸福量 (GNH) について 事前学修 2.0hr：前回の内容を確認する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を学習し、まとめる。
15回	**授業テーマ：講義全体のまとめ。** 授業内容：15 回に渡って学習したことを再確認する 事前学修 2.0hr：講義全体のまとめ。 事後学修 2.0hr：授業の内容を学習し、まとめる。

キャリア講座Ⅳ

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

永井　節（ながい　たかし）

▌授業の概要

カリキュラム的にはキャリア講座Ⅲに繋がる講座ですが、内容的には次年度の試験に向けての講座になります。公務員試験あるいは公務員試験と同一内容のＣＡＢ、ＧＡＢ、ＳＰＩ、入社試験で出題された本試験問題を教材に、問題の解法と就職試験で必要とされるスキルを習得するための講義と演習を行う。
毎回の講義では、教養分野と専門分野から最頻出 30 論点につき講義を進める。
外資系企業の採用試験も視野に入れている方、留学生の方も積極的に参加してください。
コロナ禍以降、試験自体も大きく変化しています。就職試験全体の状況も見ながら学習をしていってください。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 5、 2020 年度以前入学生 5）

一般目標：県庁・市役所・警視庁・消防庁上級職レベルの問題が解けるようになること。
　　昨今配点比重の高まっているコンピテンシー面接のためのアピール力を習得すること。
　　近年の公務員試験は受かりやすい傾向にありますので、民間試験の SPI を中心にお考えの学生にも、充分公務員試験合格のチャンスがありますので是非トライしてみてください。
個別目標：就職学年　　…　内定。
　　それ以外の学部生　…　県庁・上場企業合格レベルの学力の習得。
　　社会人として学び続けられるよう、リベラルアーツの取得。

▌履修条件

高校までの知識の蓄積量は問いません。自分の目指す目標に到達するために、今後の生活を学業中心に過ごす強い決意がある学生が望ましい。
そのため出席は必須で、欠席時は必ず授業内容の補完をしておくこと。

▌評価基準・方法

出席日数は 5 分の 4 以上を評価の前提条件とし、欠席・遅刻は減点の対象とする。
評価は、毎回の授業後の提出物 60 %、課題についてのレポート 30 %、授業態度 10%の割合で評価する。

▌フィードバック方法

提出物を元に個別に指示します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （あり（個人課題を課します。））

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （あり（補助資料はネットを通じて配信する予定。））

▌教科書

公務員試験　過去問題集(問題）（市役所編・警察編）　過去問研究会
解答は授業で告知。
自治体が発行する広報など。それぞれの自治体の職員ハンドブックが手に入れば尚可。

▌参考書

六法、国語辞典、学部で使用するテキスト、高校までに使用した教科書。
公務員試験過去問集。
SPI 問題集。
上級職や国家公務員を目指す方は、行政書士など他の資格試験の問題集。わからない場合は相談してください。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：就職試験概要** 授業内容：就職試験にはどのような準備が必要なのか、どのように勧めていくのか。書籍や本試験問題を教材に学習方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：書店の就職・資格試験コーナーで、SPI などの書籍を概観しておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題について提出。
2回	**授業テーマ：知能分野・非言語分野、暗号** 授業内容：五十音(いろはにを含め)、アルファベット、進数などを使っての解き方、解き終わってからの解答等に到るための基礎知識について。 事前学修 2.0hr：いろはカルタ、国民の休日を暗記しておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題について提出。
3回	**授業テーマ：知識分野・言語分野、政治制度** 授業内容：各国の政治制度の相違と日本の統治機構の特徴。 事前学修 2.0hr：アメリカ、中国の政治状況を新聞で調べておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題について提出。
4回	**授業テーマ：知能分野・非言語分野、手順** 授業内容：ハノイの塔や吊り橋の渡り方。 事前学修 2.0hr：作業量を少なくするためにはどうすべきか調べておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題について提出。
5回	**授業テーマ：知識分野・言語分野、市場均衡** 授業内容：空気の市場が成り立つのはどのような場合か考えていく。 事前学修 2.0hr：市場の均衡とは何か調べておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題について提出。
6回	**授業テーマ：知能分野・非言語分野、軌跡** 授業内容：物が動いた際の物の形、大きさによってでる軌跡について。 事前学修 2.0hr：サイクロイド曲線について調べておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題について提出。
7回	**授業テーマ：知識分野・言語分野、国際関係** 授業内容：近代国家によって形作られた国際社会の概要と、近代国家の変容に伴う国際社会の変容について。 事前学修 2.0hr：ウクライナ、イスラエルの問題を調べておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題について提出。

8回	**授業テーマ：知能分野・非言語分野、切断・投影** 授業内容：正四面体、正六面体、正八面体…多面体の形状と切断面の形状。 事前学修 2.0hr：サッカーボールの白と黒の形や個数について調べておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題について提出。
9回	**授業テーマ：知識分野・言語分野、行政行為** 授業内容：ディズニーランドの埋め立て許可、成田新幹線訴訟など、千葉県での出来事を教材に行政行為を見ていく。 事前学修 2.0hr：浦安市民墓地の計画とディズニーシーの関係を千葉日報から調べておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題について提出。
10回	**授業テーマ：知能分野・非言語分野、資料解釈・数表** 授業内容：数表の正しい見方、計算方法について。 事前学修 2.0hr：受験先の数表の公表資料を調べておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題について提出。
11回	**授業テーマ：知識分野・言語分野、操業停止点・損益分岐点** 授業内容：企業行動について生産面から見ていく。 事前学修 2.0hr：利益が出なくても生産し続ける理由を考えておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題について提出。
12回	**授業テーマ：知能分野・非言語分野、資料解釈・近似値、相関関係** 授業内容：計算のテクニックを習得する。 事前学修 2.0hr：４桁どうし、５桁どうしのかけ算はどのように速くするか考えておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題について提出。
13回	**授業テーマ：知識分野・言語分野、官房学・官僚制** 授業内容：安定的な事務官供給システムについて歴史的経緯から見ていく。 事前学修 2.0hr：日本とアメリカの組織の相違について調べておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題について提出。
14回	**授業テーマ：知能分野・非言語分野、流水算・旅人算** 授業内容：時間と速さの比から問題を解く方法について。 事前学修 2.0hr：飛行機での旅行日程時間差について時間差について調べておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題について提出。
15回	**授業テーマ：知識分野・言語分野、金融政策** 授業内容：売りオペ買いオペなどの金融政策と財政政策の関係について。 事前学修 2.0hr：新聞で日銀の政策を見ておくこと。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題について提出。

人口経済学Ⅰ

開講学科等：経 ｜ 2年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：前

貴志 匡博（きし まさひろ）

▌授業の概要

「人口」は、現代世界のさまざまな社会・経済・政治問題に関わる基本的要素の一つである。少子高齢化、人口爆発、都市化と過疎化に関連する人口移動、移民・難民を含む国際人口移動といった人口現象、人口問題は社会科学の広範囲の分野と関連する。こうした人口現象や人口問題を正しく理解するには、各種統計やデータについて、客観的な分析や論理的な考察が必要である。本講義では、現代社会における諸問題を、「人口」の視点から把握・考察するうえで必要な基本的な概念・指標・分析手法を、具体的な事例を交え概説する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021年度以降入学生 6、 2020年度以前入学生経済コース 1）

一般目標：複雑な社会問題に関して統計データを用いた科学的・客観的な分析を行い、それに基づく論理的な説明を行える能力を習得する。
個別目標：現代の国際社会および日本における社会経済問題を、「人口」の視点から考察するうえで必要な基本的な概念・指標・分析手法を身につける。

▌履修条件

世界の人口問題や日本の少子高齢化問題に関心をもち、授業中に出される課題に真面目に取り組むこと。

▌評価基準・方法

学期中に出題されるレポート課題(50%)、学期末試験(40%)と、授業中の有意義な発言やミニレポート等(10%)の総合評価

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （講義資料の配布は manaba にて PDF で行う。講義中はプロジェクターで表示するが、PC やタブレットでの閲覧を推奨する。）

▌教科書

とくになし。

▌参考書

授業中に適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：講義計画の概説** 授業内容：講義計画の説明。 事前学修 2.0hr：身近な人口問題について考える。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
2回	**授業テーマ：人口統計と人口分析の基礎** 授業内容：人口統計と人口分析の基礎について説明する。 事前学修 2.0hr：新聞や報道で取り上げられる人口統計について考える。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
3回	**授業テーマ：日本と世界の人口の動向** 授業内容：日本と世界の人口の動向について、人口統計を基に学ぶ。 事前学修 2.0hr：人口分析と人口統計の基礎について復習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
4回	**授業テーマ：人口構造** 授業内容：人口構造について学ぶ。 事前学修 2.0hr：新聞や報道で取り上げられる人口の指標をイメージする。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。(復習用エクセルを配布する)
5回	**授業テーマ：死亡、死亡率の分析** 授業内容：死亡、死亡率について学ぶ。 事前学修 2.0hr：エクセルを使った計算方法を確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。(復習用エクセルを配布する)
6回	**授業テーマ：生命表、平均寿命** 授業内容：生命表、平均寿命の計算方法について説明する。 事前学修 2.0hr：エクセルを使った計算方法を確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。(復習用エクセルを配布する)
7回	**授業テーマ：疫学転換と長寿・健康の歴史** 授業内容：疫学転換について説明する。 事前学修 2.0hr：日本と世界の平均寿命の動向について調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
8回	**授業テーマ：出生、出生率の分析** 授業内容：出生、出生率について学ぶ。 事前学修 2.0hr：エクセルを使った計算方法を確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。(復習用エクセルを配布する)
9回	**授業テーマ：人口転換の理論と歴史** 授業内容：人口転換の理論について学ぶ。 事前学修 2.0hr：疫学転換について復習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
10回	**授業テーマ：婚姻と人口** 授業内容：婚姻と人口の関係について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定する文献、統計を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
11回	**授業テーマ：国内人口移動** 授業内容：日本の人口移動について説明する。 事前学修 2.0hr：指定する文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。

12回	**授業テーマ：国際人口移動** 授業内容：国際的な人口移動である移民や出稼ぎについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定する文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
13回	**授業テーマ：将来推計人口** 授業内容：将来の人口を推計する方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定する文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。(復習用エクセルを配布する)
14回	**授業テーマ：日本の人口動向と将来** 授業内容：日本の人口動向から将来の人口を考える。 事前学修 2.0hr：指定する文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
15回	**授業テーマ：人口分析手法のまとめ** 授業内容：復習として、これまでの講義を振り返る。 事前学修 2.0hr：これまでに取り上げた人口分析手法について復習しておく。 事後学修 2.0hr：これまでの授業内容を復習し、試験に備え学習する。

人口経済学Ⅱ

開講学科等：経　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

貴志　匡博（きし　まさひろ）

▌授業の概要

人口経済学Ⅰにて解説した人口分析における基本的な概念、指標、分析手法の理解を前提とし、現代の日本および世界における人口動向と経済・社会問題の関連について学ぶ。この授業の履修の前提とされる人口分析の基礎的な内容については、人口経済学Ⅰの授業概要を確認のこと。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 6、 2020 年度以前入学生経済コース 1）

一般目標：現代社会に関する問題を発見する能力や問題意識を持つ態度を培うとともに、複雑な社会問題を科学的・客観的に分析したうえで論理的に表現する能力を習得する。

個別目標：現代の国際社会および日本における社会経済諸問題を、「人口」の視点から考察するうえで必要な基本的な概念・指標・分析手法を身につける。

▌履修条件

「人口経済学Ⅰ」を履修していること。

世界の人口問題や日本の少子高齢化問題に関心をもち、授業中に出される課題に真面目に取り組むこと。

▌評価基準・方法

学期中に出題されるレポート課題(50%)、学期末試験(40%)と、授業中の有意義な発言やミニレポート等(10%)の総合評価

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （講義資料の配布は manaba にて PDF で行う。講義中はプロジェクターで表示するが、PC やタブレットでの閲覧を推奨する。）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

授業中に適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：講義計画の概説** 授業内容：講義の概要を説明し、履修の前提となる基本知識(人口経済学Ⅰの内容)を確認する。 事前学修 2.0hr：人口経済学Ⅰの履修内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
2回	**授業テーマ：人口経済学とは何か** 授業内容：人口と経済の相依存関係について、人口統計を交え理解する。 事前学修 2.0hr：人口経済学Ⅰの履修内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
3回	**授業テーマ：人口変動と社会経済の変化** 授業内容：人口と経済の関係について、歴史的な過程を踏まえて理解する。 事前学修 2.0hr：人口転換理論について復習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
4回	**授業テーマ：人口経済学の成立と展開①：マルサスからシカゴ学派まで** 授業内容：人口経済学の基本理論について、経済発展の歴史を踏まえて学ぶ。 事前学修 2.0hr：出生に関する指標について復習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
5回	**授業テーマ：人口経済学の成立と展開②：結婚と出生の経済学** 授業内容：主にミクロ経済学の理論から出生力と所得水準の関係、女性の就業と子どもの選択問題、結婚の経済学的なインセンティブについて理解する 事前学修 2.0hr：基本的なミクロ経済学、マクロ経済学の内容について復習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
6回	**授業テーマ：労働市場と人口問題** 授業内容：労働市場を中心に、働き方の変化や女性就業と出生の変化について理解する。 事前学修 2.0hr：基本的なマクロ経済学の内容について復習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
7回	**授業テーマ：人口変動と経済成長①：人口と経済成長の関係** 授業内容：経済成長と人口の基礎的な関係について理解する 事前学修 2.0hr：少子化に関する指標について復習しておく。基本的なマクロ経済学の内容について復習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
8回	**授業テーマ：人口変動と経済成長②：貯蓄・投資と高齢化、技術進歩** 授業内容：人口変動が経済成長に及ぼす影響を経済学の理論を用いて理解する。 事前学修 2.0hr：基本的なマクロ経済学の内容について復習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
9回	**授業テーマ：人口変動と経済成長③：経済成長の必要性** 授業内容：人口減少と経済成長の関係について学ぶ。 事前学修 2.0hr：人口ボーナスと人口オーナスの概念について復習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
10回	**授業テーマ：少子高齢化と格差と貧困** 授業内容：様々な社会経済的格差と人口問題の関係について学ぶ。 事前学修 2.0hr：基本的なマクロ経済学の内容について復習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
11回	**授業テーマ：公的扶助と社会保険** 授業内容：少子高齢化と社会保障の関連について、社会保障制度の役割を中心に理解する。 事前学修 2.0hr：基本的なマクロ経済学の内容について復習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。

12回	**授業テーマ：年金** 授業内容：日本の年金制度の歴史と特徴、その改革について学ぶ。 事前学修 2.0hr：少子化の指標について復習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
13回	**授業テーマ：医療と介護** 授業内容：日本の医療保険制度と介護保険制度の特徴や歴史について理解する。 事前学修 2.0hr：日本の社会保障制度の概要について調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
14回	**授業テーマ：将来推計人口と日本経済の将来** 授業内容：日本の将来推計人口と、将来の人口減少にともなう経済成長へのマイナスの影響を緩和する方策について概観する。 事前学修 2.0hr：日本の将来推計人口について調べ、人口減少と経済について復習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
15回	**授業テーマ：講義のまとめ** 授業内容：これまでの講義について振り返る。 事前学修 2.0hr：これまでの授業の内容を復習する。 事後学修 2.0hr：これまでの授業内容を復習し、試験に備え学習する。

アメリカ経済論 I

開講学科等：経 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

宮崎　礼二（みやざき　れいじ）

▌授業の概要

本講義はアメリカ経済への理解を深めるだけでなく、アメリカ合衆国を知ることで日本と世界の経済についても相対的に捉えられるようにすることを目的としている。日米両国は、第二次世界大戦では敵国、戦後には最大の同盟国、さらには緊密な経済関係を築いてきた。したがって、アメリカ合衆国を知ることなしに、今日の日本経済を知り得ることはないのである。そのためにも、アメリカ経済の特質を把握しなければならない。本講義は、現代アメリカ経済の特徴と特質を読み解くための知識の習得を目的とする。

また昨年の 24 大統領選挙の結果トランプ大統領が再登場してきたが、その背景を解説し、さらにリアルタイムでアメリカ経済と政治の動向を説明する。

なお、講義テーマ・進行については、現実の情勢や進行具合に応じて、柔軟に変更・調整することがあることを承知おき頂きたい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/4/5、 2020 年度以前入学生経済コース 5）

一般目標：1．新聞の経済欄のアメリカ関係の情報を理解できる。
2．アメリカ経済の特殊性を説明できる。
3．アメリカ経済と日本経済との比較から、日本経済を相対的に捉えられる。

個別目標：1．ノートテーキングの能力を高めて、論理的に内容を整理する能力を得る。
2．アメリカとはどのような国なのかを説明できる。
3．トランプ大統領の再登場について政治・経済・社会面から説明できる。

▌履修条件

1．講義中の私語は厳禁。
2．全体の出席状況に応じて授業内で課題を出すことがあるので、欠席はしないように。
3．事前・事後の学習が義務づけられていることを忘れずに！

▌評価基準・方法

事前・事後学習の確認を講義内で不定期に小テスト形式で行うことがある．また、小テストは口頭試問形式で行うこともある。小テストの受験が 4 ／ 5 以上かつ合格点を満たした場合には，期末試験の結果に平常点として加点される。

学期末テスト ＋ 小テスト＝ 100 %

▌フィードバック方法

授業内と manaba でフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業内ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba の利用）

▌教科書

中本悟・宮﨑礼二編『現代アメリカ経済分析』日本評論社

▌参考書

平井・萩原・増田編『概説アメリカ経済』有斐閣
ハワード・ジン『学校では教えてくれない本当のアメリカの歴史』あすなろ書房
その他、講義内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス＆イントロダクション：アメリカ経済を学ぶ意義** 授業内容：講義進行について解説。 講義全体の概要説明。 事前学修 2.0hr：新聞、雑誌、ネットなどを利用して最新のアメリカ経済の動向を知る 事後学修 2.0hr：講義の復習と次回の小テストの準備
2 回	**授業テーマ：アメリカ合衆国の概観** 授業内容：アメリカ合衆国とはどのような国なのかを解説。 事前学修 2.0hr：アメリカ合衆国とはどのような国なのか、について予習 事後学修 2.0hr：講義の復習と次回の小テストの準備
3 回	**授業テーマ：基礎知識①：人工国家アメリカ** 授業内容：アメリカ合衆国の特殊性について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義のノートの復習 事後学修 2.0hr：講義の復習と次回の小テストの準備
4 回	**授業テーマ：基礎知識②：統治機構の特徴** 授業内容：アメリカ合衆国の統治機構の特殊性について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義のノートの復習 事後学修 2.0hr：講義の復習と次回の小テストの準備
5 回	**授業テーマ：現代アメリカ経済の始動①：南北戦争** 授業内容：アメリカの現代的展開の土台としての南北戦争の経済的意味について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義のノートの復習 事後学修 2.0hr：講義の復習と次回の小テストの準備
6 回	**授業テーマ：現代アメリカ経済の始動②：貿易構造** 授業内容：アメリカの国際的ポジションの高まりの時代：19 世紀末～20 世紀初頭について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義のノートの復習 事後学修 2.0hr：講義の復習と次回の小テストの準備
7 回	**授業テーマ：現代アメリカ経済の始動③：ニューディール政策** 授業内容：現代アメリカ経済を「現代」たらしめたニューディール政策を解説。 事前学修 2.0hr：前回講義のノートの復習 事後学修 2.0hr：講義の復習と次回の小テストの準備

8回	**授業テーマ：建国の理念と経済政策を巡る対抗関係の本格化** 授業内容：アメリカ合衆国の精神とニューディール政策との矛盾について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義のノートの復習 事後学修 2.0hr：講義の復習と次回の小テストの準備
9回	**授業テーマ：戦争と経済成長** 授業内容：アメリカ経済の飛躍的成長の契機としての戦争について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義のノートの復習 事後学修 2.0hr：講義の復習と次回の小テストの準備
10回	**授業テーマ：自由貿易の背景と政策 ①** 授業内容：第二次世界大戦後の国際経済秩序の背景としてのアメリカの自由貿易追求の政策目標について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義のノートの復習 事後学修 2.0hr：講義の復習と次回の小テストの準備
11回	**授業テーマ：自由貿易の背景と政策 ②** 授業内容：アメリカの自由貿易追求の根拠と動悸について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義のノートの復習 事後学修 2.0hr：講義の復習と次回の小テストの準備
12回	**授業テーマ：冷戦と日米関係** 授業内容：第二次世界大戦後の日米関係について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義のノートの復習 事後学修 2.0hr：講義の復習と次回の小テストの準備
13回	**授業テーマ：軍産複合体の成立** 授業内容：米ソ冷戦下の国防総省と軍需産業の複合化について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義のノートの復習 事後学修 2.0hr：講義の復習と次回の小テストの準備
14回	**授業テーマ：黄金の 1960 年代と公民権運動** 授業内容：高度経済成長と人権問題について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義のノートの復習 事後学修 2.0hr：講義の復習と次回の小テストの準備
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：アメリカ合衆国とはどのような国なのかを総括。 事前学修 2.0hr：前回までの全講義のノートの復習 事後学修 4.0hr：総復習

アメリカ経済論Ⅱ

開講学科等：経　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

宮崎　礼二（みやざき　れいじ）

▌授業の概要

本講義は、現代アメリカの特質を明らかにすることを目的に、アメリカ経済の変遷を解説する。とりわけ、政権ごとの経済政策の特徴を捉えながら、それがどのような帰結をもたらし、次の時代の経済を形成してきたのかを具体的に学習する。今日の段階においては、トランプ大統領の再登場を軸にして、アメリカ経済社会の特質を明らかにし、トランプ政権の経済政策＝ MAGAnomics について検討を行い、リアルタイムで現在進行中のアメリカ経済と政治を解説する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/4/5、 2020 年度以前入学生経済コース 5）

一般目標：1. 新聞の経済欄のアメリカ関係の情報を理解できる。
2. アメリカ経済の特殊性を説明できる。
3. アメリカ経済と日本経済との比較から、日本経済を相対的に捉えられる。
4. トランプ政権について経済・政治・社会の側面から説明できる。
5. 2026 中間選挙の動向を把握し、選挙結果について説明できる。

個別目標：1．ノートテーキング能力を向上させる。
2．個別的・具体的な事象を理論的・論理的に構成する能力を獲得する。
3．論理的に説明する能力を身につける。

▌履修条件

1．講義中の私語は厳禁。
2．全体の出席状況に応じて授業内で課題を出すことがあるので、欠席はしないように。
3．事前・事後の学習が義務づけられていることを忘れずに！

▌評価基準・方法

事前・事後学習の確認を講義内で不定期に小テスト形式で行うことがある．また、小テストは口頭試問形式で行うこともある。小テストの受験が 4 ／ 5 以上かつ合格点を満たした場合には，期末試験の結果に平常点として加点される。
学期末テスト ＋ 小テスト＝ 100 %

▌フィードバック方法

授業内と manaba でフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba の利用）

▌教科書

中本悟・宮﨑礼二編『現代アメリカ経済分析』日本評論社

▌参考書

河音琢郎・藤木剛康編『オバマ政権の経済政策』ミネルヴァ書房
河音琢郎・藤木剛康編『G・W・ブッシュ政権の経済政策』ミネルヴァ書房

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス&イントロダクション** 授業内容：講義の進行方法について解説。 講義全体について概観を提示。 事前学修 2.0hr：新聞、雑誌、ネットなどを利用して最新のアメリカ経済の動向を知る 事後学修 2.0hr：講義の復習と課題
2回	**授業テーマ：現代におけるアメリカ建国の理念の確認** 授業内容：アメリカ合衆国を理解するための基礎知識の確認。 事前学修 2.0hr：前回講義のノートの復習 事後学修 2.0hr：前回までの講義の復習と課題
3回	**授業テーマ：「黄金の時代」の終焉と不確実性の高まり：1970 年代** 授業内容：戦後アメリカを支えてきた４本の政治経済的基盤の喪失によって、不確実性が高まった 1970 年代の状況について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義のノートの復習 事後学修 2.0hr：前回までの講義の復習と課題
4回	**授業テーマ：スタグフレーションの時代** 授業内容：スタグフレーションの発生によって導かれた政治と経済の思想の転換について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義のノートの復習 事後学修 2.0hr：前回までの講義の復習と課題
5回	**授業テーマ：レーガノミクス①：新自由主義の時代の幕開け** 授業内容：ニューディール＝ケインズ主義から新自由主義への政策思潮の転換の背景・論拠について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義のノートの復習 事後学修 2.0hr：前回までの講義の復習と課題
6回	**授業テーマ：レーガノミクス②：供給重視の経済政策** 授業内容：需要を重視するニューディール＝ケインズ主義から供給重視への政策ターゲットの転換について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義のノートの復習 事後学修 2.0hr：前回までの講義の復習と課題
7回	**授業テーマ：インフレ退治の金融政策：新金融調節** 授業内容：高インフレを収束させた金融政策とその経済的帰結について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義のノートの復習 事後学修 2.0hr：前回までの講義の復習と課題
8回	**授業テーマ：クリントン政権①：ポスト冷戦の時代** 授業内容：第二次世界大戦後の世界を規定してきた米ソ冷戦の崩壊を受けて、アメリカ経済再生を目指すクリントン政権の政策展開について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義のノートの復習 事後学修 2.0hr：前回までの講義の復習と課題

9回	**授業テーマ：クリントン政権②：産業構造の転換促進** 授業内容：製造業から金融・サービスへの基軸的産業の転換を促進したクリントン政権の政策の狙いと帰結について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義のノートの復習 事後学修 2.0hr：前回までの講義の復習と課題
10回	**授業テーマ：住宅バブルの形成・展開・破綻** 授業内容：2009 年国際金融危機をもたらしたリーマンショックの原因について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義のノートの復習 事後学修 2.0hr：前回までの講義の復習と課題
11回	**授業テーマ：アメリカ住宅ローンの特殊性と国際経済連関** 授業内容：ホームエクイティ・ローンの光と影、そしてホームエクイティ・ローンと連動した消費構造が貿易経路を通じて国際的な連関を強化した構造について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義のノートの復習 事後学修 2.0hr：前回までの講義の復習と課題
12回	**授業テーマ：オバマ政権：中間層のための経済政策** 授業内容：中間層を主たるターゲットに据えたオバマ政権の経済政策について解説。 事前学修 2.0hr：前回講義のノートの復習 事後学修 2.0hr：前回までの講義の復習と課題
13回	**授業テーマ：オバマ・バイデン民主党政権と共和党の対抗激化** 授業内容：トランプ大統領が再登場してくる背景を民主党と共和党の政治・政策志向の相違から解説し、その背後にある特殊アメリカ的な本質を捉える。 事前学修 2.0hr：前回講義のノートの復習 事後学修 2.0hr：前回までの講義の復習と課題
14回	**授業テーマ：トランプ政権の誕生：分断化されるアメリカ** 授業内容：トランプ大統領を生み出したアメリカ社会の特徴について解説。 事前学修 2.5hr：前回講義のノートの復習 事後学修 2.0hr：前回までの講義の復習と課題
15回	**授業テーマ：総括―アメリカの行方―** 授業内容：「分断」が進むアメリカの行方について考察する。 事前学修 3.0hr：全講義ノートの整理 事後学修 4.0hr：全講義ノートの復習、期末課題

ヨーロッパ経済論Ⅰ

開講学科等：経　｜　2年次　｜　2単位　｜　開講期：前

佐藤　崇章（さとう　たかあき）

▌授業の概要

EU は経済統合から新たな政治統合の段階に進み、2013 年にクロアチアの加盟を経て、現在 28 カ国体制である。その名目ＧＤＰの規模は、13 兆 3700 億にせまり、世界ののＧＤＰの３０%に達している。現代ＥＵの経済連携を鑑み、その歴史的意義を考察する。イギリスのＥＵからの離脱やスペインカタロニアの独立など不安要素の多いこのＥＵ共同体にあって、どのような経済の結びつきをしているか、教科書で学んでいく。普段遠い国々を扱うため学びは、厳しさを伴うが、普段から新聞などの情報収集をしてもらいたい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/4/5、 2020 年度以前入学生経済コース 5）

一般目標：経済システムを理解する
個別目標：簡単に経済システムを言えるようにする
　　起こった事象を説明できるようにする

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

テスト（５０%）及びレポート（５０%）

▌フィードバック方法

レポートの確認をして、評価につなげる。
manaba を用いた授業資料の閲覧、課題の提出、事前・事後学修（反転流授業の推進）

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （DVD 映像資料を見せた後、マナバのレポートに感想を書く事）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーションソフトで授業の細かな用語を説明。）

▌教科書

ジャック・ネレ著、岩田文夫訳『１９２９年の恐慌』現代図書２０１４年

▌参考書

田中素香『ユーロ危機の中の統一通貨』岩波書店（新書１２８２）2010 年、川野祐司著『ヨーロッパ経済とユーロ』文眞堂２０１６、

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス（授業内容、評価について）** 授業内容：ガイダンスとして授業内容をどうするか、評価どうするか説明する。 事前学修 2.0hr：軽く教科書を読む 事後学修 2.0hr：軽く教科書を読む
2回	**授業テーマ：通貨混乱と１９２１年の恐慌** 授業内容：この研究は１ 914 年－ 1918 年の戦争、すなわち第 1 次大戦によって引き起こされた破壊や損失の算定、評価から始めようと思った。しかし、よく考えてみると、戦争による破壊の結果はむしろ、その後の経済活動を刺激することになり、それ自体は恐慌の要因ではない。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：ジェノア（イタリア）会議と安定恐慌** 授業内容：何よりもイギリスに打撃を与えた１ 921 年恐慌は、イギリス政治の非常に重要な転換期を画した、あるいはいずれにしてもそれを加速した、それは重大であり、政府に世論を驚かす未曾有の政策をも実施せざるをえなくするほどのものであった。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：過剰生産の神話** 授業内容：主として、第 1 次世界大戦から直接、間接に生じた通貨の変遷をたどった。この問題は、既存のシステムを動揺させた。その再建は、厄介であったばかりでなく、不完全でもあった。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：ウォール街の株式大暴落とアメリカの恐慌** 授業内容：ベンジャミン・ストロングや、同様にアメリカと世界における金融安定の確保に努めていた人たちが恐れていたのは、大きな投機圧力がアメリカのもろい均衡状態をくつがえすことになるのではないか、ということであった。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：大暴落** 授業内容：１９２９年秋、一般に幸福感が満ちていた時、突然、ニューヨーク証券市場の株式相場が下がり始める。これらの現象の詳細な叙述は試みても有益ではない。一日一日の上り下がりの変化は株式市場に関しては一般的なことだからである。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：恐慌の世界的拡大** 授業内容：合衆国ほどの重要な経済の突然の後退は、外部世界への重大な影響を持たないわけはない。まず第 1 に、生産活動と商取引の全般的停滞は等しく対外貿易の分野に現れる。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：イギリス、世界からの後退** 授業内容：金本位制の放棄は、イギリスにおいて精神的恐慌状態を引き起こすどころか、一般的に冷静に、多くの社会階層の間で安緒の気持ちと満足感を持って迎えられた。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：授業の復習
9回	**授業テーマ：ロンドン会議（１９３３年）** 授業内容：世界恐慌は対外貿易の著しい減少を引き起こしていた。この、世界全体的な減少はおよそ 3 分の１であり、並外れて大きいように思われる。その要因と要素を分析することは適切である。それは何よりも世界価格の下落から、そして程度はずっと低いが、主要な商業圏について取引商品量の減少から生じている。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：授業の復習

10回	**授業テーマ：ルーズベルトの実験** 授業内容：恐慌の例外的な激しさと長さが、1 932 年秋、当然のことながら合衆国における多数派の交代と、新しい人物の政権獲得を導いた。すなわち、第 1 次大戦後初めて、民主党が共和党に勝利し、フランクリン・D・ルーズベルトが、共和党の大統領フーバーと闘って選出された。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：ドイツのシステム** 授業内容：ヒトラーは、ルーズベルトと同様に、恐慌の真っ最中に権力の座についた。そして、この二人の非常に異なる人物は、同様にほとんど似ていない経済回復の努力に采配を振るった。しかし、それは、国家の指導者たち、あるいは彼らの党があらかじめ思い描いた思想によるものではなかった。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：金ブロック諸国の漠たる目的意識と苦難** 授業内容：少し野心的な用語で＜金ブロック＞と呼ばれたものは、ロンドン会議の混乱から直接に生じた。その誕生の行為は 1933 年 7 月 3 日の「ルーズベルト宣言」によって定められた。この宣言の中で、いくつかの国が、現行平価のままその通貨を金本位制に結び付けて維持する約束をした。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：≪金ブロック≫結成の努力** 授業内容：少し野心的な用語で＜金ブロック＞と呼ばれたものは、ロンドン会議の混乱から直接に生じた。その誕生の行為は 1933 年 7 月 3 日の「ルーズベルト宣言」によって定められた。この宣言の中で、いくつかの国が、現行平価のままその通貨を金本位制に結び付けて維持する約束をした。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：プラニズム(経済計画主義)** 授業内容：もし誰かが、まさに金ブロック諸国において、通貨対策あるいは通貨窮余策の他に、経済の合理的組織化により経済恐慌に終止符を打つことを目指す一連のプロジェクト、あるいはプログラム、あるいはその名も《プラン》なるものの開花を見たとすれば、それはおそらく単なる偶然ではない。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：ベルギー、フランス、イタリア** 授業内容：ベルギーが一最初の不幸な試みの後ーその通貨の安定に成功したのは、やっと 1927 年のことであった。ベルギーはそれゆえ、1930 年の終わりに、世界恐慌によって打撃をうける以前のかなり短い期間しか繁栄の時期を享受できなかった。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：授業の復習

ヨーロッパ経済論Ⅱ

開講学科等：経　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

佐藤　崇章（さとう　たかあき）

▌授業の概要

EU は経済統合から新たな政治統合の段階に進み、2013 年にクロアチアの加盟を経て、現在 28 カ国体制である。その名目ＧＤＰの規模は、13 兆 3700 億にせまり、世界ののＧＤＰの３０%に達している。現代ＥＵの経済連携を鑑み、その歴史的意義を考察する。イギリスのＥＵからの離脱やスペインカタロニアの独立など不安要素の多いこのＥＵ共同体にあって、どのような経済の結びつきをしているか、教科書で学んでいく。普段遠い国々を扱うため学びは、厳しさを伴うが、普段から新聞などの情報収集をしてもらいたい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/4/5、 2020 年度以前入学生経済コース 5）

一般目標：経済システムを理解する
個別目標：簡単に経済システムを言えるようにする
　　起こった事象を説明できるようにする

▌履修条件

ヨーロッパ経済論Ⅰを履修している事がのぞましい

▌評価基準・方法

テスト（５０%）及びレポート（５０%）

▌フィードバック方法

レポートの確認をして、評価につなげる。
manaba を用いた授業資料の閲覧、課題の提出、事前・事後学修（反転流授業の推進）

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （DVD 映像資料を見せた後、マナバのレポートに感想を書く事）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーションソフトで授業の細かな用語を説明。）

▌教科書

ジョセフ・E・スティグリッツ著、峯村利哉訳『ユーロから始まる世界経済の大崩壊　格差と混乱を生み出す通貨システムの破綻とその衝撃』徳間書店　２０１６年

▌参考書

田中素香『ユーロ危機の中の統一通貨』岩波書店（新書１２８２）2010 年、川野祐司著『ヨーロッパ経済とユーロ』文眞堂２０１６、川野祐司著『ヨーロッパ経済の基礎知識　２０２２』文眞堂２０２１、

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス（授業内容、評価について）** 授業内容：ガイダンスとして授業内容はどのようにするか、評価はどのようにするか説明する。 事前学修 2.0hr：軽く教科書を読む 事後学修 2.0hr：軽く教科書を読む
2回	**授業テーマ：イギリスの EU 離脱とヨーロッパの苦難** 授業内容：イギリスの2 016 年 6 月 23 日の国民投票は、５２%対４８%で EU からの離脱が決し、英仏海峡の両岸では、政治と経済の大変動が引き起こされた。デイヴィット・キャメロン首相は早々に辞任し、” 残留” のための活動に熱気が足りなかったとして、野党労働党のトップまでもが退陣を求められている。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：最悪の負け組は欧米の労働者** 授業内容：アメリカが襲われたのと同じ大混乱に、イギリスも程度の差こそあれ呑み込まれてきた。大西洋の両岸で暮らす一般市民はうんざりしきっていた。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：壮大な実験** 授業内容：3分の 1 世紀前、銀行家などのエリートたちは暗黙の約束をしたが、ユーロ創設時と同じく、約束の内容は雑然としていた。グローバル化、経済の金融化、経済統合、法人税と所得税の減税、幅広い規制緩和・・・。彼らはこれらを組み合わせ、” 新たな経済秩序” を構築しようとした。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：中道右派が倍賭けにでる** 授業内容：われわれの現在の病状については、様々な診断と処方箋が入り乱れている。過去 3 分の 1 世紀にわたる” 新自由主義の秩序” の建設は、” 全員” に恩恵をもたらすと” 約束” しながら、あまりにもみじめに失敗し、あまたの人々に悪影響を及ぼしてきた。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：中道左派が新自由主義に取り込まれる** 授業内容：ユーロ圏内の中道左派は、経済低迷以上の惨状をもたらした政策失敗の弁明に追われていた。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：貿易の自由がもたらす害悪** 授業内容：大西洋の両岸では、市民が貿易協定を” 不幸の元区” として非難していた。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：移民問題の核心** 授業内容：移民の問題は、貿易の問題よりも感情の影響を受けてきた。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：授業の復習
9回	**授業テーマ：高圧的なドイツへの反感** 授業内容：イギリスは賢明にもユーロ参加を見送った。イギリス国内では EU に加盟する際も、強い懐疑論が沸き上がった。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：授業の復習

10回	**授業テーマ：ヨーロッパは難民に責任がある** 授業内容：２０１５年半ば以降、世間の注目はユーロ危機から難民危機へ移っていった。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：イギリスの EU 離脱の影響** 授業内容：イギリスの国民投票の直後の余波は、” 残留” 派の主張と同等、もしくはより深刻だった。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：EU が強いる過剰な規制** 授業内容：本講義では、２つの過ちを取り上げる。ひとつは、新自由主義イデオロギーのもと、不公正な競争を恐れるあまり、産業政策を禁止してしまったこと。２つめは、欧州域内で税務政策の協調を怠り、共通の累進課税を導入できなかったこと。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：” 最善の世界” を抜け出して** 授業内容：国民投票の遊説中のデヴィット・キャメロン首相を含め、多くの人々はブレグジット前のイギリスこそが、「考えうる最善の世界」であると示唆していた。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：ユーロ圏を解体する真の要因** 授業内容：ブレグジットの国民投票の直後、経済への影響が注目されたが、イギリスについても EU についても、政治への影響のほうがはるかに重大かもしれない。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：ヨーロッパ色を強めるべし** 授業内容：EU にとどまりたいと望むイギリス人の決まり文句は。「残留と改革」だった。 事前学修 2.0hr：教科書の精読 事後学修 2.0hr：授業の復習

アジア経済論 I

開講学科等：経　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

サマド　アブドス

▌授業の概要
アジア地域は、目ざましい経済成長を遂げる中で世界経済における重要性を益々増しており、世界的に高い注目を集めている。世界人口の多数を占めているアジア各国の経済関係が一層深まる中で、アジア経済に対する関心は非常に高まっている。この授業で、アジア経済と共に世界の経済情勢を理解できるようになり、グローバルな人材に向けて様々な視点から知識を身につける事を望みます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/4、 2020 年度以前入学生経済コース 5）
一般目標：アジア各国の経済に関する知識を習得する事により、アジア経済への理解を深めることができます。
個別目標：この授業により、アジアと共にグローバル経済について、理解を深めることができます。

▌履修条件
授業参加と共に、５分の４以上の出席及び期末試験に参加する事を履修条件とします。

▌評価基準・方法
授業への取り組み度合い(５５%)、期末試験(４５%)に基づき、総合的に評価します。

▌フィードバック方法
授業の復習

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （((アジアについて楽しく学ぶ)))

▌授業での PC の利用（利用内容）
なし

▌教科書
使用しません。毎回プリントを配布します。

▌参考書
必要に応じて対応します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：講義全体についての説明。 事前学修 2.0hr：講義概要を理解すること。 事後学修 2.0hr：講義全体を理解すること。
2回	**授業テーマ：世界経済の中のアジア経済** 授業内容：ヒト、モノ、お金、情報、技術そして、知的財産に国境がないと言うグローバル経済の中で世界の様々な地域と共にアジア市場の拡大について 事前学修 2.0hr：アジア経済の重要性について学習する。 事後学修 2.0hr：アジア経済について理解すること。
3回	**授業テーマ：アジア地域の経済政策** 授業内容：アジア諸国の様々な政策により地域経済の発展について 事前学修 2.0hr：アジア地域の成長の主な要素を学習する。 事後学修 2.0hr：アジア地域の経済政策について理解を深めること。
4回	**授業テーマ：グローバリゼーションとアジア経済** 授業内容：グローバル化は益々進化している時代の中でアジアの更なる発展について 事前学修 2.0hr：経済のグローバル化について知識を高めること。 事後学修 2.0hr：グローバリゼーションとアジア経済との関係について理解を深めること。
5回	**授業テーマ：アジアにおける地域統合** 授業内容：自由貿易協定 (FTA) によりアジア諸国の統合及び地域連携について 事前学修 2.0hr：地域経済における様々な統合について学習する。 事後学修 2.0hr：地域統合の重要性について理解を深めること。
6回	**授業テーマ：ASEAN の経済発展と地域協力** 授業内容：ASEAN 10 カ国の経済的な連携の重要性及び貿易と投資政策について 事前学修 2.0hr：ASEAN について学習する。 事後学修 2.0hr：ASEAN 地域の経済について理解を深めること。
7回	**授業テーマ：NIE ｓ(韓国、台湾、シンガポール、香港)の対外直接投資と国際分業の進展** 授業内容：NIEs の国々の経済力及び海外直接投資 (FDI) について 事前学修 2.0hr：NIE ｓ経済について学ぶこと。 事後学修 2.0hr：NIE ｓ経済について理解を深めること。
8回	**授業テーマ：日本とアジア諸国の貿易** 授業内容：日本とアジア諸国の自由貿易協定 (FTA) 及び日本企業の海外進出について 事前学修 2.0hr：日本とアジア諸国の経済について理解を深めること。 事後学修 2.0hr：アジア諸国と日本との連携について学ぶこと。
9回	**授業テーマ：中国経済のグローバル化と対外経済政策。** 授業内容：グローバル化重視政策として海外直接投資 (FDI) と貿易の拡大及び中国企業の海外進出と共に更なる経済的な仕組みについて 事前学修 2.0hr：中国経済のグローバル化について学習する。 事後学修 2.0hr：中国経済のグローバル化について理解を深めること。
10回	**授業テーマ：インドの新たな経済発展モデルと直面している課題** 授業内容：目覚ましい経済発展を遂げている、インドの経済成長の背景について 事前学修 2.0hr：インドの経済発展について幅広く学ぶこと。 事後学修 2.0hr：インドの経済発展について幅広く学ぶこと。
11回	**授業テーマ：自由貿易の拡大とアジア経済との関係** 授業内容：様々な自由貿易協定によりアジア諸国の経済的な連携の強い結びと地域の安定について 事前学修 2.0hr：自由貿易について学習する。 事後学修 2.0hr：自由貿易協定とアジア諸国の経済について学ぶこと。
12回	**授業テーマ：ASEAN+６の枠組みと RCEP の経済的ビジョン** 授業内容：ASEAN、ASEAN+3、ASEAN+6 及び RCEP により地域統合の重要性と共にアジア経済の拡大について 事前学修 2.0hr：ASEAN+６の枠組みについて学習する。 事後学修 2.0hr：RCEP の経済的ビジョンについて学習する。

13回	**授業テーマ：アジア太平洋地域における地域経済統合** 授業内容：APEC の経済てきな戦略と共に製造及び投資政策について 事前学修 2.0hr：アジア太平洋地域について学ぶこと。 事後学修 2.0hr：アジア太平洋地域の重要性について学習する。
14回	**授業テーマ：IORA の経済的な活動について** 授業内容：IORA 地域の重要性及び経済的な活動について 事前学修 2.0hr：IORA について学習する。 事後学修 2.0hr：IORA について学び、理解すること。
15回	**授業テーマ：講義全体のまとめ。** 授業内容：15 回に渡って学習したことを再確認する 事前学修 3.0hr：授業内容を復習する。 事後学修 3.0hr：学習内容を総括的に理解すること。

アジア経済論Ⅱ

開講学科等：経　｜　2年次　｜　2単位　｜　開講期：後

サマド　アブドス

▌授業の概要

世界人口の多数を占めているアジアの国々の高い経済成長と購買力の上昇が非常に注目されています。アジア諸国間では、貿易取引及び直接投資が活発になってきており、経済圏としての全体が成長しております。この授業で、アジア経済と共に世界の経済情勢を理解できるようになり、グローバルな視点から物事考える力及び国際市場の様々な知識を身につける事が必要であります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/4、 2020 年度以前入学生経済コース 5）

一般目標：ジア各国の経済に関する知識を習得することにより、アジア経済への理解を深めることができます。
個別目標：この授業により、アジア経済及びグローバル経済について幅広く学ぶことができます。

▌履修条件

授業参加と共に５分の４以上の出席及び期末試験に参加する事を履修条件とします。

▌評価基準・方法

授業への取り組み度合い(５５%)、期末試験(４５%)に基づき総合的に評価します。

▌フィードバック方法

授業の復習

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （(アジアについて楽しく学ぶ)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

使用しません。毎回プリントを配布します。

▌参考書

必要に応じて対応します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：講義全体についての説明 事前学修 2.0hr：講義概要を理解すること。 事後学修 2.0hr：講義全体の説明について理解を深めること。
2回	**授業テーマ：韓国ー経済危機と改革** 授業内容：経済危機を克服した韓国経済の確固たる発展及び市場の拡大について 事前学修 2.0hr：韓国の経済について学習する。 事後学修 2.0hr：韓国の経済改革について学習する。
3回	**授業テーマ：アジア太平洋地域における持続可能な開発** 授業内容：アジア太平洋地域の経済的な連携及び様々な持続可能な開発について 事前学修 2.0hr：持続可能な開発経済について学ぶ。 事後学修 2.0hr：持続可能な開発経済について学習する。
4回	**授業テーマ：シンガポールー都市国家の開発体制** 授業内容：金融、貿易、投資及びイノベーションに重点しているシンガポールの経済と共に 事前学修 2.0hr：シンガポール経済の仕組みを学習する。 事後学修 2.0hr：シンガポール経済とグローバル市場について学ぶ。
5回	**授業テーマ：タイー開かれた国家の経済発展戦略** 授業内容：多国籍企業の投資と共に地域統合によりタイの経済発展について 事前学修 2.0hr：タイの経済発展について学習する。 事後学修 2.0hr：タイのグローバル市場について学ぶ。
6回	**授業テーマ：マレーシアー先進国入りを模索する多民族国家** 授業内容：アジア諸国と経済的な連携及び統合により先進国なみの国家として成長を成し遂げた背景について 事前学修 2.0hr：マレーシア経済の発展について学ぶ。 事後学修 2.0hr：マレーシアの貿易と投資について学習する。
7回	**授業テーマ：インドネシアー新しい成長基盤形成への期待** 授業内容：インドネシアー新しい成長基盤形成への期待 事前学修 2.0hr：インドネシアの投資環境について学習する。 事後学修 2.0hr：インドネシアの経済政策について理解を深めること。
8回	**授業テーマ：フィリピンー経済成長への新たなチャレンジ** 授業内容：グローバル経済の変化により多国籍企業の投資の可能性について 事前学修 2.0hr：フィリピン経済の見通しについて学ぶこと。 事後学修 2.0hr：フィリピン経済のグローバル化について学習する。
9回	**授業テーマ：中国ー経済とグローバル市場** 授業内容：経済政策の主な柱として市場の拡大及び自由貿易協定と共にグローバル的な経済活動について 事前学修 2.0hr：グローバル市場における中国経済の仕組みについて学習する。 事後学修 2.0hr：中国の貿易と投資について学ぶ。 10 回
10回	**授業テーマ：ベトナムー経済発展とグローバル市場** 授業内容：海外直接投資 (FDI) 及び貿易の拡大により目覚ましい経済発展について 事前学修 2.0hr：ベトナムの経済発展について学ぶ。 事後学修 2.0hr：ベトナムの製造業及び投資について学ぶ。
11回	**授業テーマ：インドー台頭するグローバルパワー** 授業内容：著しく経済発展と共にグローバル市場に幅広く活動しているインド経済について 事前学修 2.0hr：インドの経済政策について学ぶ。 事後学修 2.0hr：インドのグローバル戦略について学習する。
12回	**授業テーマ：APEC (アジア太平洋経済協力)のデジタル経済イニシアティブ及び投資政策** 授業内容：デジタル経済におけるアジア太平洋地域の投資政策について 事前学修 2.0hr：デジタル経済について学ぶ。 事後学修 2.0hr：デジタル経済及び投資政策について学習する。

13回	**授業テーマ：RCEP の地域経済統合及び経済成長の促進** 授業内容：RCEP の地域統合と共に投資、技術移転及び自由貿易協定の促進について 事前学修 2.0hr：RCEP の地域経済統合について学ぶ。 事後学修 2.0hr：RCEP の地域経済統合について学習する。
14回	**授業テーマ：ESCAP(アジア太平洋経済社会委員会) の経済的な活動について** 授業内容：ESCAP の経済てきな活動及び地域の発展について 事前学修 2.0hr：ESCAP についてついて学ぶ。 事後学修 2.0hr：ESCAP の経済活動について学習する。
15回	**授業テーマ：講義全体のまとめ。** 授業内容：15 回に渡って学習したことを再確認する 事前学修 3.0hr：授業内容を復習する。 事後学修 3.0hr：学習内容を総合的に理解すること。

サービス経済論Ⅰ

開講学科等：経　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

大石　隆介（おおいし　りゅうすけ）

▌授業の概要

一般的に経済社会が発展、成熟するとその産業構造に変化が生じ、サービス産業の占める割合が高まる。これは日本にも当てはまり、日本の経済社会におけるサービス産業の重要性は日に日に高まっている。しかしサービスは他の財とは異なる特徴を持つため、分析には注意が必要となる。本科目ではサービス業において重要なホスピタリティ・マネジメントについて学修する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 6、 2020 年度以前入学生経済コース 1）

一般目標：ホスピタリティ及びサービスの諸概念を理解する。
個別目標：ホスピタリティ・マネジメントについて十分な知識を得る。

▌履修条件

経済学概論Ⅰ・Ⅱにおいて単位を修得し、経済学の基礎的な知識を有していることが望ましい。

▌評価基準・方法

コースワーク（宿題、クラス内テスト）：40 %
定期試験：60 %、

▌フィードバック方法

コースワーク等のフィードバックは Manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

ホスピタリティ・マネジメント（第 3 版）徳江順一郎　同文館出版

▌参考書

指定なし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス（1 学期間のスケジュール、運営方法などの説明）** 授業内容：第 1 回授業はガイダンスとし、本科目の概要や履修上の注意点等について確認する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、本講義に期待する内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：ガイダンスに従い、次の講義に向けた準備をする。
2 回	**授業テーマ：ホスピタリティの現実（教科書第 1 章）** 授業内容：第 2 回授業では教科書第 1 章を学修する。書籍や論文からみる「ホスピタリティ」と内在する問題点について詳細に分析していく。 事前学修 2.0hr：教科書 1 章を読み、ホスピタリティについて調べる。 事後学修 2.0hr：教科書 1 章を復習し、宿題に取り組む。
3 回	**授業テーマ：ホスピタリティの起源・語源と歴史（教科書第 2 章）** 授業内容：第 3 回授業では教科書第 2 章を学修する。ホスピタリティの起源・語源について理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書第 2 章を読み、ホスピタリティの起源について調べる。 事後学修 2.0hr：教科書第 2 章を復習し、宿題に取り組む。
4 回	**授業テーマ：ホスピタリティに関連する諸研究（教科書第 3 章）** 授業内容：第 4 回授業では教科書第 3 章を学修する。ホスピタリティの関連する既存研究、そこから見えてくるこれまでのホスピタリティ研究における課題について確認する。 事前学修 2.0hr：教科書第 3 章を読み、ホスピタリティの先行研究について調べる。 事後学修 2.0hr：教科書第 3 章を復習し、宿題に取り組む。
5 回	**授業テーマ：サービス概念の把握（教科書第 4 章）** 授業内容：第 5 回授業では教科書第 4 章を学修する。サービスとは何かを理解し、これまでのサービス研究の潮流について確認する。 事前学修 2.0hr：教科書第 4 章を読み、サービスの概念について調べる。 事後学修 2.0hr：教科書第 4 章を復習し、宿題に取り組む。
6 回	**授業テーマ：サービスの特性とサービス・マネジメント（教科書第 5 章）** 授業内容：第 6 回授業では教科書第 5 章を学修する。特にサービスの特性（不可分性、同時性、協働の必要性、変動性）等について理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書第 5 章を読み、サービス・マネジメントについて調べる。 事後学修 2.0hr：教科書第 5 章を復習し、宿題に取り組む。
7 回	**授業テーマ：ホスピタリティへのアプローチ 1（教科書第 6 章：第 1・2 節）** 授業内容：第 7 回授業では教科書第 6 章（第 1 節・2 節）を学修する。特にサービス・パッケージにおける課題について理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書第 6 章：第 1・2 節を読み、関係性マネジメントについて調べる。 事後学修 2.0hr：教科書第 6 章：第 1・2 節を復習し、宿題に取り組む。
8 回	**授業テーマ：ホスピタリティへのアプローチ 2（教科書第 6 章：第 3・4 節）** 授業内容：第 8 回授業では教科書第 6 章（第 3 節・4 節）を学修する。特に固定的サービスと応用的サービスの違い、関係性マネジメントについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書第 6 章：第 3・4 節を読み、サービスとホスピタリティについて調べる。 事後学修 2.0hr：教科書第 6 章：第 3・4 節を復習し、宿題に取り組む。
9 回	**授業テーマ：背景理論 1：関係性概念（教科書第 7 章）** 授業内容：第 9 回授業では教科書第 7 章を学修する。ここでは関係性に焦点をあて、関係性研究の系譜等について紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書第 7 章を読み、関係性について調べる。 事後学修 2.0hr：教科書第 7 章を復習し、宿題に取り組む。
10 回	**授業テーマ：背景理論 2：相互信頼関係と安心保障関係（教科書第 8 章）** 授業内容：第 10 回授業では教科書第 8 章を学修する。ここではコミットメント関係や信頼概念について理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書第 8 章を読み、相互信頼と安心保障について調べる。 事後学修 2.0hr：教科書第 8 章を復習し、宿題に取り組む。
11 回	**授業テーマ：トライアド・モデルとホスピタリティ・マネジメント（教科書第 9 章）** 授業内容：第 11 回授業では教科書第 9 章を学修する。ここでは社会的不確実性の制御、トライアド・モデルについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書第 9 章を読み、トライアド・モデルについて調べる。 事後学修 2.0hr：教科書第 9 章を復習し、宿題に取り組む。

12回	**授業テーマ：現場レベルのホスピタリティ・マネジメント(教科書第 10 章)** 授業内容：第 12 回授業では教科書第 10 章を学修する。ここでは現場レベルでのホスピタリティ・マネジメントに焦点をあて、事例研究を基に考察する。 事前学修 2.0hr：教科書第 10 章を読み、現場でのホスピタリティについて調べる。 事後学修 2.0hr：教科書第 10 章を復習し、宿題に取り組む。
13回	**授業テーマ：組織レベルのホスピタリティ・マネジメント(教科書第 11 章)** 授業内容：第 13 回授業では教科書第 11 章を学修する。ここでは組織レベルのホスピタリティ・マネジメントに焦点をあて、旅館やスモール・ラグジュアリー・リゾートにおけるホスピタリティについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書第 11 章を読み、組織でのホスピタリティについて調べる。 事後学修 2.0hr：教科書第 11 章を復習し、宿題に取り組む。
14回	**授業テーマ：トライアド・モデルの拡張(教科書第 12 章)** 授業内容：第 14 回授業では教科書第 12 章を学修する。ここではトライアド・モデルの拡張をテーマにブライダルを例に挙げ考察する。 事前学修 2.0hr：教科書第 12 章を読み、トライアド・モデルの拡張について検討する。 事後学修 2.0hr：教科書第 12 章を復習し、宿題に取り組む。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：第 15 回授業は、まとめとして本科目の内容を総括する。 事前学修 2.0hr：過去１４回の授業を振り返る。 事後学修 2.0hr：本科目の内容を理解し、練習問題を解けるようにする。

サービス経済論Ⅱ

開講学科等：経　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

大石　隆介（おおいし　りゅうすけ）

▌授業の概要
サービス産業は製造業とは異なる特徴を持っている。本科目ではサービスについて、経済やマーケティングの観点から考察していく。サービスの提供体制の設計や品質管理など、サービスを提供するために重要な概念を事例なども踏まえて理解していく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 6、 2020 年度以前入学生経済コース 1）
一般目標：サービスの特性について経済やマーケティングの研究アプローチにより理解を深める。
個別目標：サービスについて経済やマーケティングの研究アプローチから理解を深め、さらに様々な業種の事例について考察できるようになる。

▌履修条件
サービス経済論Ⅰを履修し、単位を修得していることが望ましい。

▌評価基準・方法
コースワーク（宿題、クラス内テスト）　40 %
定期試験　60 %

▌フィードバック方法
コースワーク等のフィードバックは Manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）
なし

▌教科書
サービス・マーケティング概論　編著：神原　理　ミネルヴァ書房

▌参考書
指定なし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：第 1 回授業はガイダンスとし、本科目の概要、履修上の注意点等について確認する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、本講義に期待する内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：ガイダンスに従い次の授業の準備をする。
2回	**授業テーマ：サービス・マーケティングとは（教科書第 1 章）** 授業内容：第 2 回授業では教科書第 1 章を学修する。ここではサービスの概念、サービスマーケティングについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、サービスの基礎的な概念を理解する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野を復習し、サービス経済について理解する。
3回	**授業テーマ：サービス経済の諸特性（教科書第 2 章）** 授業内容：第 3 回授業では教科書第 2 章を学修する。ここではサービス経済、サービス経済化の要因等について理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、サービス経済化のプロセスについて理解する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野を復習し、サービス経済化の要因について理解する。
4回	**授業テーマ：サービスの概念（教科書第３章）** 授業内容：第 4 回授業では教科書第 3 章を学修する。ここではモノとサービスを比較し、サービスの特性について理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、サービスの特性について理解する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野を復習し、モノ（物的な財）とサービスの特徴の違いについて理解する。
5回	**授業テーマ：サービス・デザイン（教科書第４章）** 授業内容：第 5 回授業では教科書第 4 章を学修する。ここではサービス・デザイン、サービス・デリバリー・プロセスの設計と管理等について理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、サービスの提供体制（サービス・デザイン）の概念を理解する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野を復習し、サービス・デザインの設計手法などについて理解する。
6回	**授業テーマ：サービス・クオリティ・マネジメント（教科書第５章）** 授業内容：第 6 回授業では教科書第 5 章を学修する。ここではサービス・クオリティの特徴及びその調査方法について理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、サービス・クオリティの調査、問題点修正の為の作業（サービス・クオリティ・マネジメント）について理解する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野を復習し、サービス・クオリティ・マネジメントの手法や課題等について詳しく理解する。
7回	**授業テーマ：サービスの経験価値（教科書第６章）** 授業内容：第 7 回授業では教科書第 6 章を学修する。ここではサービスの経験価値、その測定方法等について理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、サービスにおける経験価値の概念について理解する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野を復習し、経験によりサービスの評価や価値がどのように変化するか理解する。
8回	**授業テーマ：サービス・リカバリー（教科書第７章）** 授業内容：第 8 回授業では教科書第 7 章を学修する。ここでは顧客の苦情行動や、その際のサービス・リカバリーについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、サービスにおける苦情対応（リカバリー）について理解する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野を復習し、サービス・リカバリーの方法や効果について理解する。
9回	**授業テーマ：ヒューマン・サービスにおける感情労働（教科書第８章）** 授業内容：第 9 回授業では教科書第 8 章を学修する。ここでは顧客と直接対面するヒューマン・サービスと感情労働について理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、サービスにおいて顧客との接触が多いヒューマン・サービスについて理解する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野を復習し、ヒューマン・サービスに従事する者の感情の管理について理解する。
10回	**授業テーマ：非営利組織のサービス・マーケティング（教科書第９章）** 授業内容：第 10 回授業では教科書第 9 章を学修する。ここでは非営利組織に焦点をあて、そのサービス・マーケティングについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、営利組織と非営利組織の違いについて理解する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野を復習し、非営利組織が行うサービス・マーケティングについて理解する。
11回	**授業テーマ：飲食業におけるサービス・マーケティング（教科書第 10 章）** 授業内容：第 11 回授業では教科書第 10 章を学修する。ここでは日本の飲食業に焦点をあて、そのサービス・デリバリー・システムやセグメンテーション等について理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、飲食業の特徴について理解する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野を復習し、飲食業におけるサービス・マーケティングについて理解する。

12回	**授業テーマ：保険業におけるサービス・マーケティング（教科書第 11 章）** 授業内容：第 12 回授業では教科書第 11 章を学修する。ここでは保険業に焦点をあて、そのサービス・マーケティングについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、保険業の特徴について理解する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野を復習し、保険業におけるサービス・マーケティングについて理解する。
13回	**授業テーマ：スポーツビジネスにおけるサービス・マーケティング（教科書第 12 章）** 授業内容：第 13 回授業では教科書第 12 章を学修する。ここではスポーツビジネスに焦点をあて、サッカークラブの事例等を基にサービス・マーケティングについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、スポーツビジネスの特徴について理解する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野を復習し、スポーツビジネスにおけるサービス・マーケティングについて理解する。
14回	**授業テーマ：非営利のサービス・マーケティング（教科書第 15 章）** 授業内容：第 14 回授業では教科書第 15 章を学修する。ここでは地球環境問題や少子高齢化問題等について、非営利のサービス・マーケティングの観点から考察する。 事前学修 2.0hr：教科書の関連分野を読み、非営利組織の活動内容について理解する。 事後学修 2.0hr：教科書の関連分野を復習し、非営利組織のサービス・マーケティングについて紹介されている事例を理解する。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：第 15 回授業は、まとめとして本科目の内容を総括する。 事前学修 2.0hr：過去１４回の授業を振り返る。 事後学修 2.0hr：本科目の内容を理解する。

会計学総論Ⅰ

開講学科等：経　｜　2年次　｜　2単位　｜　開講期：前

蟹澤　啓輔（かにさわ　けいすけ）

▌授業の概要

この授業では基本的な簿記の知識を習得済みあるいは履修中の学生を前提として講義を行います。会社の経済活動等（主に商品売買活動）を、記録・計算・報告する行為を会計といいますが、その意義や役割などについて、現在社会における会社とりわけ株式会社との係りから考えて生きます。また、会計の仕組みや会計制度の構成内容についてより具体的な事例を見ながら学んでいきます。最終的には企業の決算書（財務諸表）が読めるようになることを目指します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021年度以降入学生 3、 2020年度以前入学生経営コース 2）

一般目標：企業会計の基本的仕組み、決算書（財務諸表）の内容が理解でき、有価証券報告書等の財務内容を読んで企業の財務状況の基本的な診断が出来るようになることが到達目標です。

個別目標：会計理論及び企業分析の基礎的知識を習得することが到達目標です。

▌履修条件

基本的な簿記の知識（日商3級レベル）を習得済みであることが望ましい。

▌評価基準・方法

平常点（授業への参加態度等）30%、期末試験 70%

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム（manaba）を通して行います

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業内容を元にディスカッションを行う）

▌授業でのPCの利用（利用内容）

なし

▌教科書

毎回レジュメを配布します。

▌参考書

新井清光、川村義則著『新版　現代会計学（第2版）』中央経済社

菊谷正人、依田俊伸著『財務会計論の基礎と応用』中央経済社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、会計とは、財務諸表とは** 授業内容：シラバスの概要を説明するとともに、授業科目である会計の定義の解説を通して授業の全体像について説明します。 事前学修 2.0hr：テキストの用意 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
2回	**授業テーマ：会計と制度** 授業内容：会計と法律に基づく制度の関係について説明します。また、授業の後半で会計に関する資格についても紹介します。 事前学修 1.5hr：授業範囲の参考書通読と前回の復習 事後学修 2.5hr：授業内容の復習
3回	**授業テーマ：会計の理論的構造と会計基準** 授業内容：会計理論は3階層から構成される理論的構造を持っていますので、構造の全体像と各階層について解説します。また、日本の会計基準の概要と国際的な会計基準についても解説します。 事前学修 1.5hr：授業範囲の参考書通読と前回の復習 事後学修 2.5hr：授業内容の復習
4回	**授業テーマ：基本財務諸表と簿記一巡の手続き** 授業内容：基本財務諸表と呼ばれる貸借対照表及び損益計算書の概要と、簿記一巡の手続きと呼ばれる基本財務諸表を作成するための実務的なプロセスについて解説します。 事前学修 1.5hr：授業範囲の参考書通読と前回の復習 事後学修 2.5hr：授業内容の復習
5回	**授業テーマ：複式簿記の概要** 授業内容：企業が取引をどのように仕訳として記録するのかに関し、複式簿記の概要について説明するとともに、営業活動や投資活動、財務活動など主要な取引別に仕訳の作成方法について解説します。 事前学修 1.5hr：授業範囲の参考書通読と前回の復習 事後学修 2.5hr：授業内容の復習
6回	**授業テーマ：貸借対照表の概論** 授業内容：貸借対照表の全体像と、資産、負債、純資産という貸借対照表を構成する要素について説明するとともに、貸借対照表に関する主要な個別論点や表示について解説します。 事前学修 1.5hr：授業範囲の参考書通読と前回の復習 事後学修 2.5hr：授業内容の復習
7回	**授業テーマ：棚卸資産会計** 授業内容：棚卸資産の定義や産業別にどのような棚卸資産が計上されているのかについて説明するとともに、棚卸資産に関する具体的な会計手続きについて解説します。 事前学修 1.5hr：授業範囲の参考書通読と前回の復習 事後学修 2.5hr：授業内容の復習
8回	**授業テーマ：有形無形固定資産会計** 授業内容：有形無形固定資産の定義や産業別にどのような有形無形固定資産が計上されているのかについて説明するとともに、有形無形固定資産に関する具体的な会計手続きについて解説します。 事前学修 1.5hr：授業範囲の参考書通読と前回の復習 事後学修 2.5hr：授業内容の復習
9回	**授業テーマ：金融商品会計** 授業内容：金融商品の定義、及び、金融資産、金融負債という金融商品を構成する要素の定義、金融商品に関する具体的な会計手続きについて解説します。 事前学修 1.5hr：授業範囲の参考書通読と前回の復習 事後学修 2.5hr：授業内容の復習

10回	**授業テーマ：負債会計** 授業内容：負債の構成要素や負債に関する具体的な会計手続きについて解説します。 事前学修 1.5hr：授業範囲の参考書通読と前回の復習 事後学修 2.5hr：授業内容の復習
11回	**授業テーマ：引当金会計** 授業内容：引当金の定義やどのような引当金が計上されているのかについて説明するとともに、引当金に関する具体的な会計手続きについて解説します。 事前学修 1.5hr：授業範囲の参考書通読と前回の復習 事後学修 2.5hr：授業内容の復習
12回	**授業テーマ：純資産会計** 授業内容：純資産の構成要素や純資産に関する具体的な会計手続きについて解説します。 事前学修 1.5hr：授業範囲の参考書通読と前回の復習 事後学修 2.5hr：授業内容の復習
13回	**授業テーマ：損益会計（その１）** 授業内容：損益計算書の全体像と、収益、費用、利益という損益計算書を構成する要素について説明するとともに、損益計算書に関する主要な個別論点について解説します。 事前学修 1.5hr：授業範囲の参考書通読と前回の復習 事後学修 2.5hr：授業内容の復習
14回	**授業テーマ：損益会計（その２）** 授業内容：損益計算書に関する主要な表示に関する論点について解説します。 事前学修 1.5hr：授業範囲の参考書通読と前回の復習 事後学修 2.5hr：授業内容の復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：これまでの授業のまとめを行います。 事前学修 1.5hr：前期の復習 事後学修 2.5hr：講義の総復習

会計学総論Ⅱ

開講学科等：経 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

蟹澤　啓輔（かにさわ　けいすけ）

▌授業の概要

本講義では、会計学総論Ⅰを履修した人を前提として、財務諸表の理論面と応用面を理解してもらうことを目的とする。決算書の重要性と現代会計の応用領域について平易に解説する。前半では個別財務諸表の内容解説を中心に、後半部分は実際の企業データに基づく簡単な財務諸表分析や連結財務諸表の基礎を学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 3、 2020 年度以前入学生経営コース 2）

一般目標：本講義を通じて、企業の基本財務諸表が読め、かつ簡単な財務諸表分析ができるようになることを目標とする。
個別目標：会計理論及び企業分析の基礎的知識を習得することが個別目標となる。

▌履修条件

基本的な簿記の知識（日商 3 級レベル）を習得済みであることが望ましい。「会計学総論Ⅰ」と併せて履修することが望ましい。

▌評価基準・方法

平常点（授業への参加態度等）30%、期末試験 70%

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム（manaba）を通して行います

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業内容を元にディスカッションを行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

毎回レジュメを配布します

▌参考書

新井清光著『現代会計学』中央経済社
菊谷正人、依田俊伸著『財務会計論の基礎と応用』中央経済社
桜井久勝著『財務会計講義』中央経済社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：シラバスの概要を説明するとともに、授業科目である会計の定義の解説を通して授業の全体像について説明します。 事前学修 1.5hr：前期の復習と参考書一読 事後学修 2.5hr：授業内容の復習
2回	**授業テーマ：連結財務諸表の概要（その１）連結財務諸表とは** 授業内容：連結財務諸表の概論と、基本的な連結財務諸表の作成方法について説明します。 事前学修 1.5hr：前回の復習と参考書一読 事後学修 2.5hr：授業内容の復習
3回	**授業テーマ：連結財務諸表の概要（その２）連結財務諸表の作成方法** 授業内容：連結財務諸表の作成方法について、具体的な会計手続きを紹介しながら解説します。 事前学修 1.5hr：前回の復習と参考書一読 事後学修 2.5hr：授業内容の復習
4回	**授業テーマ：キャッシュ・フロー計算書の概要（その１）** 授業内容：キャッシュ・フロー計算書の全体像と、キャッシュ・フローの定義、キャッシュ・フロー計算書に関する主要な表示内容について説明します。 事前学修 1.5hr：前回の復習と参考書一読 事後学修 2.5hr：授業内容の復習
5回	**授業テーマ：キャッシュ・フロー計算書の概要（その２）** 授業内容：企業の主な活動別のキャッシュ・フローについて、具体的な会計手続きを紹介しながら解説します。 事前学修 1.5hr：前回の復習と参考書一読 事後学修 2.5hr：授業内容の復習
6回	**授業テーマ：財務諸表分析（その２）** 授業内容：財務分析の基本的な手法と、基本的な財務分析の指標について解説するとともに、簡単な財務分析の演習を行います。 事前学修 1.5hr：前回の復習と参考書一読 事後学修 2.5hr：授業内容の復習
7回	**授業テーマ：財務諸表分析（その２）** 授業内容：具体的な企業の財務諸表を基に簡単な財務分析の演習を行います。 事前学修 1.5hr：前回の復習と参考書一読 事後学修 2.5hr：授業内容の復習
8回	**授業テーマ：包括利益計算書の概要** 授業内容：包括利益の定義と他の財務諸表との関係を説明するとともに、基本的な包括利益計算書の作成方法について解説します。 事前学修 1.5hr：前回の復習と参考書一読 事後学修 2.5hr：授業内容の復習
9回	**授業テーマ：企業会計制度（その１）** 授業内容：会計と法律に基づく制度の関係について説明するとともに、一般的な企業会計が前提としている株式会社の仕組みの概要と、会社法会計の概要について説明します。 事前学修 1.5hr：前回の復習と参考書一読 事後学修 2.5hr：授業内容の復習
10回	**授業テーマ：企業会計制度（その２）** 授業内容：会計と法律に基づく制度の関係について説明するとともに、金融商品取引法会計の概要について解説します。 事前学修 1.5hr：前回の復習と参考書一読 事後学修 2.5hr：授業内容の復習、インターネット等で収集した財務諸表に基づいて講義内容の分析を行ってみること。
11回	**授業テーマ：企業会計制度（その３）** 授業内容：会計と法律に基づく制度の関係について説明するとともに、税法会計の概要について解説します。 事前学修 1.5hr：前回の復習と参考書一読 事後学修 2.5hr：授業内容の復習、インターネット等で収集した財務諸表に基づいて講義内容の分析を行ってみること。

12回	**授業テーマ：法令別財務諸表の構成内容** 授業内容：財務諸表の表示や注記について法令別に比較しながら説明するとともに、特殊な産業における損益計算書の表示について解説します。 事前学修 1.5hr：前回の復習と参考書一読 事後学修 2.5hr：授業内容の復習、インターネット等で収集した財務諸表に基づいて講義内容の分析を行ってみること。
13回	**授業テーマ：現代会計の応用領域（その１）** 授業内容：外貨建会計について概要を説明するとともに、具体的な会計手続きを紹介しながら解説します。 事前学修 1.5hr：前回の復習と参考書一読 事後学修 2.5hr：授業内容の復習
14回	**授業テーマ：現代会計の応用領域（その２）** 授業内容：税効果会計について概要を説明するとともに、具体的な会計手続きを紹介しながら解説します。 事前学修 1.5hr：前回の復習と参考書一読 事後学修 2.5hr：授業内容の復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：これまでの授業のまとめを行います。 事前学修 2.0hr：後期の復習 事後学修 3.0hr：講義の総復習

会社法Ⅰ

開講学科等：経 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

酒巻　雅純（さかまき　まさずみ）

▌授業の概要

株式会社はあらゆる法律に規制されながら事業活動を行っている。株式会社に関する法律の中で基本となる重要なものが、会社法である。会社法は、会社の組織、運営、管理等についての事項を定めた法律である。本講義では、ビジネスシーンに欠かせない会社法を平易な表現と身近な例を用いて講義する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 2/3、 2020 年度以前入学生 3）

一般目標：会社法の基礎を修得し、その理解をもって実践的に企業経営に活かすことができる。
個別目標：各種資格取得を目指す者や企業法務に就職の活路を見出す者にとって有用となる。

▌履修条件

株式会社の事業活動・仕組みやその規制に関心を持っている者。原則として、企業法との重複受講は、不可とする。

▌評価基準・方法

リアクションペーパー 20%と定期試験 80 %として、総合的に評価する。

▌フィードバック方法

授業のフィードバックや質疑応答などは、授業の中や manaba にて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （課題(もしくはグループディスカッション)等を通して問題解決へのアプローチ方法を身につけることを目標とする。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

中東正文他著『会社法』第2版、有斐閣(2021)

▌参考書

参考書(酒巻雅純 著『現代証券市場論』(2024)泉文堂)。なお、必要に応じて資料を配布する予定である。したがって、下記の講義内容が前後する場合がある。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション(学修の範囲の確認)** 授業内容：会社法を学ぶにあたって、その学修範囲の確認を行う。 事前学修 2.0hr：予め教科書や参考書を概観した上で、会社法を学ぶ上での基本的な視点がどこにあるのか、自分なりの考えを整理してみよう。 事後学修 3.0hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：会社法の構造** 授業内容：会社法とは、何か、民法との関係や全体構造について学修する。さらに、会社の種類と責任、公開会社と非公開会社、上場会社について学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：株式会社の事業活動** 授業内容：株式会社の事業活動等について学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：株主有限責任制度** 授業内容：株式会社の特徴(所有と経営、株主有限責任等を中心に)に関して学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：株式会社の機関　①　機関設計** 授業内容：会社法上、会社自体の意思決定や活動と認められる会社の組織上の存在のことを「会社の機関」という。具体的には、株主総会、取締役、取締役会、代表取締役、監査役、監査役会、会計監査人、委員会といった機関がある。そこで、株式会社では、いかなる機関設計がありうるのかについて学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：株式会社の機関　②　株主総会** 授業内容：株主総会は、株式会社の意思を決定することができる最高意思決定機関である。ここでは、株主総会の権限、株主総会の招集、株主提案権、株主総会の決議などについて学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：株主会社の機関　③　取締役、取締役会、代表取締役** 授業内容：ここでは、(1)取締役の資格、員数、任期、選任、(2)取締役会の意義、権限、招集、決議、(3)代表取締役の意義、選任、権限などについて学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：株式会社の機関　④　監査役、監査役会、会計監査人** 授業内容：ここでは、(1)監査役の意義、資格、兼任禁止、欠格事由、任期、選任、(2)監査役会の意義、権限、招集、決議、(3)会計監査人の意義、資格、欠格事由、選任、権限などについて学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
9回	**授業テーマ：株式会社の機関　⑤　指名委員会等設置会社** 授業内容：指名委員会等設置会社とは、指名委員会、監査委員会、報酬委員会の 3 つの委員会を通じて経営を監督する取締役と、業務を執行する執行役を分離した組織形態を持つ株式会社をいう。ここでは、この指名委員会等設置会社の意義、仕組み、特徴などについて学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：株式会社の機関　⑥　監査等委員会設置会社** 授業内容：監査等委員会設置会社とは、取締役 3 名以上(過半数は社外取締役)で構成する監査等委員会が、取締役の業務執行を監督する株式会社をいう。ここでは、この監査等委員会設置会社の意義、仕組み、特徴等について学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習

11回	**授業テーマ：株式会社の機関　⑦　役員等の責任** 授業内容：役員(取締役、監査役)の義務(善管注意義務、忠実義務、競業避止義務、利益相反取引回避義務)について学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：株式　①　株式の意義** 授業内容：株式と株主(株式とは何か、株式の内容、株主の権利など)について学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：株式　②　株式譲渡自由の原則とその例外** 授業内容：株式は、原則として、自由に譲渡することができる。ここでは、株式譲渡自由の原則と制限(定款による譲渡制限など)に関して学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：株式　③　株式の譲渡と権利行使の方法** 授業内容：株主の会社に対する各種の権利行使などに関して学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：会社法のまとめ** 授業内容：これまでの講義内容の総まとめを行う。 事前学修 3.5hr：14 回までのテキストの通読 事後学修 4.0hr：疑問点の解明

会社法Ⅱ

開講学科等：経 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

酒巻　雅純（さかまき　まさずみ）

▌授業の概要

株式会社は、あらゆる法律に規制されながら事業活動を行っている。特に、会社法の影響は多大である。
そこで、「会社法Ⅱ」では、会社法の規制の中から資金調達、会社の計算、組織再編 (合併、M&A) などを中心に学修する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 2/3、 2020 年度以前入学生 3）

一般目標：会社法の基礎を修得し、その理解をもって実践的に業務に活かすことができる。
個別目標：各種試験や実務等に応用することができる。

▌履修条件

「会社法Ⅰ」を履修していることが望ましい。

▌評価基準・方法

リアクションペーパー 20%、定期試験 80 %とし、総合的に勘案して評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックなどについては、授業の中や manaba を通して実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （課題(もしくはグループディスカッション)等を通して問題解決へのアプローチ方法を身につけることを目標とする。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

中東正文 他著『会社法』(第 2 版)(有斐閣ストゥディア)有斐閣

▌参考書

参考書については、授業の中で、必要に応じて紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション　会社法の意義** 授業内容：本講義のイントロダクションとして、会社法とは何か、株式会社の特質と会社法の役割等について学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：資金調達　①　株式会社の資金調達の方法の概要** 授業内容：株式による資金調達(エクイティ・ファイナンス)について、会社法の規制の観点から学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：資金調達　②　募集株式の発行** 授業内容：上場会社における株式発行などに関する法規制を中心として学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：資金調達　③　新株予約権** 授業内容：新株予約権とは、何か、その意義、仕組み等について学修する。さらに、ストック・オプションについて、その制度、特徴や問題点を学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：資金調達　④　社債** 授業内容：社債とは何か、社債による資金調達(デット・ファイナンス)について、会社法の規制の観点から学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：会社の計算　①　会社法上の会計の目的** 授業内容：会社法は、会社の計算について詳細な規定を定めている。その趣旨には、株主に対する報告、債権者に対する会社の情報提供及び配当等の分配可能額の算定がある。ここでは、会社の計算に関して学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：会社の計算　②　計算書類などと決算** 授業内容：会社の計算(会計業務、決算)に関して、計算書類などがある。会社の計算(決算)は、公正・妥当な企業会計の慣行に従う必要があり、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書などの「計算書類」を作成する必要がある(計算書類に附属明細書等を含めて「計算書類等」と呼ぶ)ここでは、これらの計算書類について学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：会社の計算　③　連結計算書類** 授業内容：会社の計算に関して、連結計算書類がある。ここでは、連結計算書類の規制(意義、内容など)に関して学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
9回	**授業テーマ：会社の計算　④　剰余金の分配** 授業内容：剰余金の分配などの財源規制について学修する。剰余金と分配可能額の算出、配当の時期を中心に学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：組織再編　①　組織再編** 授業内容：組織再編の代表的な手法には、合併、事業譲渡、会社分割などがある。ここでは、このうち、合併(吸収合併と新設合併)、事業譲渡、会社分割に関して学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：組織再編　②　組織再編と債権者保護** 授業内容：組織再編の手法のうち、株式交換(買収対象を 100%子会社にする場合)、株式移転(グループ企業を統括する純粋持株会社を作る場合)に関して学修する。さらに、組織再編における債権者保護について学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習

12回	**授業テーマ：組織再編　③　組織再編における株主保護** 授業内容：ここでは、組織再編における株主保護(その必要性、手続き)を中心に学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：設立・解散　①　会社の設立** 授業内容：株式会社を設立するには、どうすればよいのか。会社設立とは何か、発起設立と募集設立、定款の記載事項などに関して学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：設立・解散　②　会社の解散・清算** 授業内容：株式会社の解散とは何か、どのような解散の手続きを行うのかに関して学修する。さらに、株式会社の清算とは何か、清算の手続きに関して学修する。 事前学修 2.0hr：テキストの通読 事後学修 2.0hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：会社法の総まとめ** 授業内容：これまでの講義内容の総まとめ(全体のおさらい)を行う。 事前学修 2.0hr：これまでの範囲のテキストの通読 事後学修 2.0hr：総復習

中級ミクロ経済学

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

友利　厚夫 (ともり　あつお)

▌授業の概要

この講義では、2年次の「ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ」で学んだ内容を前提として、学部レベルの標準的なゲーム理論を扱う。具体的には、完備情報の静学ゲーム、完備情報の動学ゲームである。ゲーム理論は複数の主体の意思決定とその相互依存関係を分析するものであり、マクロ経済学、公共経済学、政治経済学といった経済学のほとんど全ての領域において極めて重要な分析ツールとなっている。また、最近では政治学、法学といった他の社会科学領域においても、ゲーム理論に関する知識が必須となっている。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/6、2020 年度以前入学生経済コース 1）

一般目標：ゲーム理論の深い理解を通じて、現実の社会・経済問題をゲーム理論の視点から議論できるようになること。
個別目標：1．ゲーム理論を用いて、ミクロ経済学の諸問題について深く理解する。
　　2．ゲーム理論の必要性について理解し、その基礎的概念と現実問題への対応関係を理解する。

▌履修条件

「ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ」と「経済・経営数学入門Ⅰ・Ⅱ」を履修済みであることが望ましい。

▌評価基準・方法

課題(80 %)、授業参加度等の平常点(20 %)の結果により評価する。

▌フィードバック方法

講義内、manaba、及び成績評価にて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

渡辺隆裕『ゼミナール ゲーム理論入門』日本経済新聞出版社,2008 年

▌参考書

ロバート・ギボンズ『経済学のためのゲーム理論入門』(福岡正夫、須田伸一翻訳)岩波書店,2020 年
グレーヴァ香子『非協力ゲーム理論』知泉書館,2011 年
その他、詳細な参考文献については適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：社会科学においてゲーム理論が必要となる理由について講義する。 事前学修 2.0hr：ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、経済数学について復習しておく。 事後学修 2.0hr：「なぜゲーム理論が必要か」についてノートにまとめる。
2回	**授業テーマ：戦略形ゲームの基礎((戦略形ゲーム、支配戦略)** 授業内容：戦略形ゲーム、支配戦略について講義する。 事前学修 2.0hr：ミクロ経済学Ⅱで扱ったゲーム理論の内容について復習しておく。 事後学修 2.0hr：支配戦略に関する練習問題を解く。
3回	**授業テーマ：戦略形ゲームの基礎 2 (ナッシュ均衡)** 授業内容：ナッシュ均衡について講義する。 事前学修 2.0hr：支配戦略について復習しておく。 事後学修 2.0hr：ナッシュ均衡に関する練習問題を解く。
4回	**授業テーマ：完全情報の展開形ゲーム 1 (完全情報の展開形ゲームとは)** 授業内容：完全情報の展開形ゲームについて講義する 事前学修 2.0hr：ナッシュ均衡について復習しておく。 事後学修 2.0hr：完全情報の展開形ゲームに関する練習問題を解く。
5回	**授業テーマ：完全情報の展開形ゲーム 2 (部分ゲーム完全均衡)** 授業内容：部分ゲーム完全均衡について講義する。 事前学修 2.0hr：完全情報の展開形ゲームについて復習しておく。 事後学修 2.0hr：部分ゲーム完全均衡に関する練習問題を解く。
6回	**授業テーマ：戦略形ゲームの応用 (オークション)** 授業内容：オークションについて講義する。 事前学修 2.0hr：オークションについて調べておく。 事後学修 2.0hr：オークションに関する練習問題を解く。
7回	**授業テーマ：不完全競争市場への応用 1 (クールノー競争)** 授業内容：クールノー競争について講義する 事前学修 2.0hr：ミクロ経済学Ⅱで扱った不完全競争市場について復習しておく。 事後学修 2.0hr：クールノー競争に関する練習問題を解く。
8回	**授業テーマ：不完全競争市場への応用 2 (ベルトラン競争)** 授業内容：ベルトラン競争について講義する 事前学修 2.0hr：クールノー競争について復習しておく。 事後学修 2.0hr：ベルトラン競争に関する練習問題を解く。
9回	**授業テーマ：混合戦略** 授業内容：混合戦略について講義する。 事前学修 2.0hr：ナッシュ均衡について復習しておく。 事後学修 2.0hr：混合戦略に関する練習問題を解く。
10回	**授業テーマ：不完全情報の展開形ゲーム 1 (情報集合、行動戦略)** 授業内容：情報集合、行動戦略について講義する。 事前学修 2.0hr：不完全情報の展開形ゲームについて調べておく。 事後学修 2.0hr：不完全情報の展開形ゲームに関する練習問題を解く。
11回	**授業テーマ：不完全情報の展開形ゲーム 2 (部分ゲーム完全均衡)** 授業内容：部分ゲーム完全均衡について講義する。 事前学修 2.0hr：情報集合、行動戦略について復習しておく。 事後学修 2.0hr：不完全情報の展開形ゲームに関する練習問題を解く。

12回	**授業テーマ：投票とゲーム理論** 授業内容：戦略的投票について講義する。 事前学修 2.0hr：現実社会における選挙制度について調べておく。 事後学修 2.0hr：戦略的投票に関する練習問題を解く。
13回	**授業テーマ：繰り返しゲーム 1（繰り返しゲームとは）** 授業内容：繰り返しゲームの考え方について講義する。 事前学修 2.0hr：最後通牒ゲームについて復習しておく。 事後学修 2.0hr：繰り返しゲームに関する練習問題を解く。
14回	**授業テーマ：繰り返しゲーム 2（繰り返しゲームの解）** 授業内容：繰り返しゲームの解について講義する。 事前学修 2.0hr：繰り返しゲームについて復習しておく。 事後学修 2.0hr：無限回繰り返しゲームに関する練習問題を解く。
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：ゲーム理論の現実社会への適用可能性について議論する。 事前学修 2.0hr：ゲーム理論の基礎概念について復習しておく。 事後学修 2.0hr：ゲーム理論の現実社会への適用可能性について自分の考えをまとめる

中級マクロ経済学

開講学科等：経　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

友利　厚夫（ともり　あつお）

▌授業の概要

この講義では、2年次の「ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ」「マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ」で学んだ内容を前提として、中級マクロ経済学の標準的な内容を講義する。長期と短期の両面からマクロ経済学の主要なトピックについて扱う。新聞・雑誌・テレビなどで取り上げられる日本経済及び世界経済における現実の経済問題を読み解くためにデータと理論との対応関係への理解に重点をおいて講義を進める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/6、2020 年度以前入学生経済コース 1）

一般目標：理論モデルと現実のマクロ経済データとの関係を理解できるようになること。

個別目標：1．新聞・雑誌・テレビなどで取り上げられる現実の経済問題について課題を発見できるようになること。
2．モデルの前提とその結果について深く理解すること。
3．経済政策の有効性を理解するために必要となる能力を身につけること。

▌履修条件

原則として「ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ」「マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ」「経済・経営数学入門Ⅰ・Ⅱ」を履修済みであること。また、「中級ミクロ経済学」を履修していることが望ましい。

▌評価基準・方法

課題８０%、平常点２０%

▌フィードバック方法

講義内、manaba、及び成績評価にて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

開講時に指示する。

▌参考書

ジョーンズ『マクロ経済学Ⅰ』東洋経済新報社、2011 年
ジョーンズ『マクロ経済学Ⅱ』東洋経済新報社、2011 年
マンキュー『マクロ経済学(第４版)基礎編』東洋経済新報社、2017 年
マンキュー『マクロ経済学(第４版)応用編』東洋経済新報社、2018 年
ブランシャール『マクロ経済学 上』東洋経済新報社、2020 年
ブランシャール『マクロ経済学 下』東洋経済新報社、2020 年
齊藤誠・岩本康志・太田聰一・柴田彰久『新版マクロ経済学』有斐閣、2016 年

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：世界経済の概観** 授業内容：世界経済の現状及びデータの見方について講義する。 事前学修 1.5hr：マクロ経済学Ⅰ・Ⅱの内容について復習しておく。 事後学修 2.5hr：授業中に指示されたマクロ経済の動向についてのデータを見直し、その特徴についてノートにまとめる。
2回	**授業テーマ：生産性** 授業内容：生産関数、全要素生産性について講義する。 事前学修 1.5hr：世界経済の概観について復習しておく。 事後学修 2.5hr：生産関数、全要素生産性についての課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：ソローモデル** 授業内容：ソローモデルについて講義する。 事前学修 1.5hr：データの見方について復習しておく。 事後学修 2.5hr：ソローモデルに関する練習問題を解く。
4回	**授業テーマ：成長会計** 授業内容：生産関数、全要素生産性を用いたデータの見方について講義する。 事前学修 1.5hr：生産関数、全要素生産性について復習しておく。 事後学修 2.5hr：成長会計についての課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：アイデアと経済成長** 授業内容：アイデアと経済成長の関係について講義する。 事前学修 1.5hr：ソローモデルについて復習しておく。 事後学修 2.5hr：アイデアと経済成長の関係についての課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：イノーベーションと経済成長** 授業内容：ローマーモデルについて講義する。 事前学修 1.5hr：アイデアと経済成長の関係についてについて復習しておく。 事後学修 2.5hr：ローマーモデルについての課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：国際貿易** 授業内容：グローバリゼーションと貿易について講義する。 事前学修 1.5hr：国際貿易について調べておく。 事後学修 2.5hr：グローバリゼーションと貿易に関する課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：労働市場** 授業内容：失業、不平等、教育について講義する。 事前学修 1.5hr：日本の労働市場について調べておく。 事後学修 2.5hr：失業、不平等、教育に関する課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：インフレーション** 授業内容：インフレーションについて講義する。 事前学修 1.5hr：インフレとは何かについて調べておく。 事後学修 2.5hr：インフレーションに関する課題に取り組む。

10回	**授業テーマ：IS 曲線** 授業内容：短期モデル、IS 曲線、Covid-19 と財政政策について講義する。 事前学修 1.5hr：IS 曲線について調べておく。 事後学修 2.5hr：短期モデル、IS 曲線に関する課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：金融政策とフィリップス曲線** 授業内容：IS-MP モデルについて講義する。 事前学修 1.5hr：日本の金融政策について調べておく。 事後学修 2.5hr：IS-MP モデルに関する課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：安定化政策** 授業内容：金融政策について講義する。 事前学修 1.5hr：IS-MP モデルについて復習しておく。 事後学修 2.5hr：金融政策に関する課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：世界恐慌** 授業内容：世界恐慌について講義する。 事前学修 1.5hr：世界恐慌について調べておく。 事後学修 2.5hr：世界恐慌に関する課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：財政問題** 授業内容：財政問題を中心に、政府とマクロ経済の関係について講義する。 事前学修 1.5hr：日本の財政問題について調べておく。 事後学修 2.5hr：財政問題に関する課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：マクロ経済学の課題について講義する。 事前学修 1.5hr：これまでの講義を振り返り、マクロ経済学の課題について考えておく。 事後学修 2.5hr：これまでの講義を振り返り、マクロ経済学の課題について自分の考えをまとめる。

国際金融論 I

開講学科等：経　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

小黒　曜子 (おぐろ　ようこ)

▌授業の概要

この授業では、国際金融の基礎理論を学ぶことを通じて、日頃の国際金融・経済に関わるニュースや諸問題を論理的に分析する能力を養うことを目的とする。日々変動し、複雑な様相を呈す国際金融の諸問題、現象を正確に理解するためには、分析ツールとしての理論に加え、経済現象を規定する制度的枠組みをも理解することが不可欠である。このような観点から、この国際金融論 I では、理論と制度について丁寧に学習し、現実に起こっている経済ニュース等への関心を深めることも目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/4、2020 年度以前入学生経済コース 1）

一般目標：経済ニュースへの関心を深めること。
　　理論と制度の両面から、国際金融に関わる諸問題について論理的に考えられるようになること。
個別目標：経済ニュース、国際金融に関わる諸問題について、多角的な視点を持ち、論理的に考えることできるようになること。
　　国際金融に関わる諸問題について、経済学・国際金融論の理論を用いて考えることできるようになること。

▌履修条件

①初回から必ず出席すること。　②出席するだけではなく、講義に参加すること。　③国際金融を学んでみたいと思っていること。

▌評価基準・方法

期末試験（７０%）、演習・課題・小テスト（３０%）で評価するが、学期末試験において十分に到達目標に達していることが確認できた場合には、学期末試験の結果を大きく尊重する。　＜※ 詳細は、初回講義で説明する。＞
原則、５分の４以上の出席が無い場合は、評価の対象とならない。
学修過程において、適宜、manaba システムを利用する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、講義、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『コア・テキスト　国際金融論』(第 3 版) 藤井英次 著，新世社，ISBN: 978-4883843879

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス，国際金融とは（１）** 授業内容：この講義で学ぶ内容の説明、到達目標について 事前学修 2.5hr：シラバス確認。ミクロ・マクロ経済学の復習。日経新聞を読む。 事後学修 1.5hr：講義内容(教科書対応箇所、プリント含)の復習。
2回	**授業テーマ：国際金融とは（２）** 授業内容：動画を用いて、国際金融の世界を紹介 事前学修 1.0hr：教科書対応箇所を読む。日本経済新聞を読む。 事後学修 3.0hr：講義内容の復習をし、ノートを整理する。練習問題を解く。
3回	**授業テーマ：国際金融論の基礎１** 授業内容：経済学の基本的な考え方、金融取引の意味と効果について 事前学修 1.0hr：教科書対応箇所を読む。日本経済新聞を読む。 事後学修 3.0hr：講義内容の復習をし、ノートを整理する。練習問題を解く。
4回	**授業テーマ：国際金融論の基礎２** 授業内容：国境を越えた経済取引について 事前学修 1.0hr：教科書対応箇所を読む。日本経済新聞を読む。 事後学修 3.0hr：講義内容の復習をし、ノートを整理する。練習問題を解く。
5回	**授業テーマ：国民経済計算** 授業内容：国民経済計算:国内経済活動の集計について 事前学修 1.0hr：教科書対応箇所を読む。日本経済新聞を読む。 事後学修 3.0hr：講義内容の復習をし、ノートを整理する。練習問題を解く。
6回	**授業テーマ：国際収支表** 授業内容：国際収支会計:対外取引の集計について 事前学修 1.0hr：教科書対応箇所を読む。日本経済新聞を読む。 事後学修 3.0hr：講義内容の復習をし、ノートを整理する。練習問題を解く。
7回	**授業テーマ：国民経済計算と国際収支表** 授業内容：国民経済計算と国際収支表の比較、応用について 事前学修 1.0hr：教科書対応箇所を読む。日本経済新聞を読む。 事後学修 3.0hr：講義内容の復習をし、ノートを整理する。練習問題を解く。
8回	**授業テーマ：貨幣とマクロ経済（１）** 授業内容：貨幣とその役割、資産としての貨幣とその特徴、貨幣需要・供給について 事前学修 1.0hr：教科書対応箇所を読む。日本経済新聞を読む。 事後学修 3.0hr：講義内容の復習をし、ノートを整理する。練習問題を解く。
9回	**授業テーマ：貨幣とマクロ経済（２）** 授業内容：信用乗数と中央銀行によるマネー・サプライの調整について 事前学修 1.0hr：教科書対応箇所を読む。日本経済新聞を読む。 事後学修 3.0hr：講義内容の復習をし、ノートを整理する。練習問題を解く。
10回	**授業テーマ：貨幣とマクロ経済（３）** 授業内容：非伝統的金融政策、多様化する中央銀行の政策目標について 事前学修 1.0hr：教科書対応箇所を読む。日本経済新聞を読む。 事後学修 3.0hr：講義内容の復習をし、ノートを整理する。練習問題を解く。

11回	**授業テーマ：為替レートと外国為替市場１** 授業内容：名目為替レートと実質為替レートについて 事前学修 1.0hr：教科書対応箇所を読む。日本経済新聞を読む。 事後学修 3.0hr：講義内容の復習をし、ノートを整理する。練習問題を解く。
12回	**授業テーマ：為替レートと外国為替市場２** 授業内容：裁定取引、一物一価、購買力平価について 事前学修 1.0hr：教科書対応箇所を読む。日本経済新聞を読む。 事後学修 3.0hr：講義内容の復習をし、ノートを整理する。練習問題を解く。
13回	**授業テーマ：為替レートと外国為替市場３** 授業内容：為替レート、物価(消費者物価指数 CPI)について 事前学修 1.0hr：教科書対応箇所を読む。日本経済新聞を読む。 事後学修 3.0hr：講義内容の復習をし、ノートを整理する。練習問題を解く。
14回	**授業テーマ：為替レートと外国為替市場４** 授業内容：直物 (スポット) レートと先渡 (フォワード) レート、通貨派生取引 (デリバティブ)について 事前学修 1.0hr：教科書対応箇所を読む。日本経済新聞を読む。 事後学修 3.0hr：講義内容の復習をし、ノートを整理する。練習問題を解く。
15回	**授業テーマ：総まとめ** 授業内容：前学期の内容の総まとめ・復習 事前学修 3.0hr：総復習し、分からない箇所を整理する。日本経済新聞を読む。 事後学修 1.0hr：講義内容の復習をし、ノートを整理する。練習問題を解く。

国際金融論Ⅱ

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

小黒　曜子 (おぐろ　ようこ)

▌授業の概要

国際金融論 I では、国際金融の基礎理論を学ぶことを通じて、日頃の国際金融・経済に関わるニュースや諸問題に興味を持ち、論理的に分析する能力を養うことに重点を置いている。この国際金融論 II では、国際金融論 I で学んだ知識を基に、現実に起こっている国際金融、経済諸問題について更に深く考察・分析することに挑戦する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/4、2020 年度以前入学生経済コース 1）

一般目標：理論と制度の両面から、国際金融に関わる諸問題について論理的に考えられるようになること。
　　ニュース等で取り上げられている国際金融の問題について、その原因や理由、結果・影響等を論理的に分析できるようになること。
個別目標：経済ニュース、国際金融に関わる諸問題について、多角的な視点を持ち、論理的に考えることできるようになること。
　　国際金融に関わる諸問題について、経済学・国際金融論の理論を用いて考えることできるようになること。
　　国際金融に関わる諸問題の原因や理由、結果・影響等について、経済学・国際金融論の理論を用いて論理的に分析できるようになること。

▌履修条件

①初回から必ず出席すること。　②出席するだけではなく、講義に参加すること。　③国際金融論 I を受講している (但し、単位取得済みかどうかは問わない) 事を前提とする。　④国際金融を学んでみたいと思っていること。

▌評価基準・方法

期末試験（７０%）、演習・課題・小テスト（３０%）で評価するが、学期末試験において十分に到達目標に達していることが確認できた場合には、学期末試験の結果を大きく尊重する。　＜※ 詳細は、初回講義で説明する。＞
原則、５分の４以上の出席が無い場合は、評価の対象とならない。
学修過程において、適宜、manaba システムを利用する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、講義、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『コア・テキスト　国際金融論』(第 3 版) 藤井英次 著，新世社，ISBN: 978-4883843879

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：講義についてのガイダンス、通貨と世界経済について 事前学修 2.5hr：シラバスの確認。国際金融論 I の復習。日本経済新聞を読む。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習をし、ノートを整理する。練習問題を解く。
2回	**授業テーマ：国際金融の世界** 授業内容：後学期に学ぶ国際金融の世界についての概観 事前学修 2.0hr：教科書対応箇所を読む。日本経済新聞を読む。 事後学修 3.0hr：講義内容の復習をし、ノートを整理する。練習問題を解く。
3回	**授業テーマ：金利と為替レート１** 授業内容：金利裁定とカバー付利子平価について 事前学修 2.0hr：教科書対応箇所を読む。日本経済新聞を読む。 事後学修 3.0hr：講義内容の復習をし、ノートを整理する。練習問題を解く。
4回	**授業テーマ：金利と為替レート２** 授業内容：カバーなし利子平価について 事前学修 2.0hr：教科書対応箇所を読む。日本経済新聞を読む。 事後学修 3.0hr：講義内容の復習をし、ノートを整理する。練習問題を解く。
5回	**授業テーマ：金利と為替レート３** 授業内容：リスク・プレミアムについて 事前学修 2.0hr：教科書対応箇所を読む。日本経済新聞を読む。 事後学修 3.0hr：講義内容の復習をし、ノートを整理する。練習問題を解く。
6回	**授業テーマ：物価と為替レート１** 授業内容：購買力平価に基づく名目為替レートのモデルについて 事前学修 2.0hr：教科書対応箇所を読む。日本経済新聞を読む。 事後学修 3.0hr：講義内容の復習をし、ノートを整理する。練習問題を解く。
7回	**授業テーマ：物価と為替レート２** 授業内容：バラッサ・サミュエルソン効果について 事前学修 2.0hr：教科書対応箇所を読む。日本経済新聞を読む。 事後学修 3.0hr：講義内容の復習をし、ノートを整理する。練習問題を解く。
8回	**授業テーマ：為替レートと実体経済** 授業内容：実質為替レートと国際貿易、マーシャル・ラーナー条件について 事前学修 2.0hr：教科書対応箇所を読む。日本経済新聞を読む。 事後学修 3.0hr：講義内容の復習をし、ノートを整理する。練習問題を解く。
9回	**授業テーマ：為替レートと開放マクロ経済政策１** 授業内容：IS - LM モデル、マンデル・フレミングモデル導入 事前学修 2.0hr：教科書対応箇所を読む。日本経済新聞を読む。 事後学修 3.0hr：講義内容の復習をし、ノートを整理する。練習問題を解く。
10回	**授業テーマ：為替レートと開放マクロ経済政策２** 授業内容：マンデル・フレミング・モデルと金融・財政政策 事前学修 2.0hr：教科書対応箇所を読む。日本経済新聞を読む。 事後学修 3.0hr：講義内容の復習をし、ノートを整理する。練習問題を解く。

11回	**授業テーマ：為替レートと開放マクロ経済政策３** 授業内容：マンデル・フレミング・モデルとユーロ危機について 事前学修 2.0hr：教科書対応箇所を読む。日本経済新聞を読む。 事後学修 3.0hr：講義内容の復習をし、ノートを整理する。練習問題を解く。
12回	**授業テーマ：為替政策：為替介入と為替相場制度** 授業内容：様々な為替相場制度、欧州における通貨統合、ブレトン・ウッズ体制と円について 事前学修 2.0hr：教科書対応箇所を読む。日本経済新聞を読む。 事後学修 3.0hr：講義内容の復習をし、ノートを整理する。練習問題を解く。
13回	**授業テーマ：国際金融を取り巻く問題（１）** 授業内容：ユーロ危機（続）、世界金融危機、リーマンショックについて 事前学修 2.0hr：教科書対応箇所を読む。日本経済新聞を読む。 事後学修 3.0hr：講義内容の復習をし、ノートを整理する。練習問題を解く。
14回	**授業テーマ：国際金融を取り巻く問題（２）** 授業内容：グローバル化の歪みについて 事前学修 2.0hr：教科書対応箇所を読む。日本経済新聞を読む。 事後学修 3.0hr：講義内容の復習をし、ノートを整理する。練習問題を解く。
15回	**授業テーマ：総まとめ** 授業内容：後学期の内容の総まとめ・復習 事前学修 3.0hr：総復習し、分からない箇所を整理する。日本経済新聞を読む 事後学修 2.0hr：講義内容の復習をし、ノートを整理する。練習問題を解く。

開発経済論 I

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

中澤　栄一（なかざわ　えいいち）

▌授業の概要

この授業では、多角的な視点から開発経済学と経済発展論の基礎を学びます。分析の対象とする経済は、開発途上国の経済にとどまらず、いわゆる新興市場経済や中進国の経済の問題も考えていきます。
今年度の授業では単なる講義にとどまらず、討論やプレゼンテーションを隔週で行ってもらいます。
なお、前期の授業では、主に開発経済の国内的側面に焦点を絞って講義を行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/4/5、2020 年度以前入学生経済コース 1）

一般目標：途上国の経済発展を理解することは、先進国の将来の経済発展を考えるためにも役に立ちます。同時に、筋道を立てて問題を議論して意見を発表する能力を磨くことを目標とします。
個別目標：開発経済の重要な問題に関して、最新の知識に基づいて自分の意見を展開できるようになることを個別目標とします。

▌履修条件

必ず自分でノートをとること。
パンデミックの再発等の理由により、対面授業が実施できなくなった場合には、改めてコースニュースを通じて連絡します。

▌評価基準・方法

原則として、授業中の発言内容や課題の提出に基づく平常点によって成績をつけます。たとえ全部の授業に出席しても、まったく発言しないような受講者は不合格になる可能性が高いので、留意してください。
急病や就職活動によってやむを得ず欠席する場合は、理由を証明する文書を提出した場合のみ、学期中最大 2 回まで公欠扱いとします。
フィードバックは、対面授業中に行います。

▌フィードバック方法

授業中にフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転「流」授業、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特に指定しません。

▌参考書

(1) 渡辺利夫『開発経済学入門　第 3 版』東洋経済新報社、2010 年.
(2) 戸堂康之『開発経済学入門　第 2 版』新世社、2021 年.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：講義の概要説明／経済学概論の復習** 授業内容：授業の取り進め方や、成績評価の方法などについて、詳細に説明します。 事前学修 2.0hr：経済学概論の復習 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
2 回	**授業テーマ：開発途上国の経済発展(問題設定と討論)** 授業内容：以下の動画を観て、感想を述べなさい。 (1) Hans Rosling (2006) 最高の統計を披露 (2) Hans Rosling (2007) ハンス・ロスリングは貧困に対する新たな洞察を示します (3) Hans and Ola Rosling (2014) 世界について無知にならないために 事前学修 2.0hr：経済学概論の復習 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
3 回	**授業テーマ：開発途上国の経済発展(講義)** 授業内容：「一人当たり国内総所得」に対する散布図を見て、開発・経済発展に関連するさまざまな「定型化された事実」を見つける。対数グラフの見方も理解すること。 事前学修 2.0hr：経済学概論の復習 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
4 回	**授業テーマ：開発途上国の経済発展(講義の続きと討論)** 授業内容：ひきつづき、「一人当たり国内総所得」に対する散布図を見て、開発・経済発展に関連するさまざまな「定型化された事実」を見つける。対数グラフの見方も理解すること。 事前学修 2.0hr：マクロ経済学の復習 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
5 回	**授業テーマ：貧困のメカニズム(講義)** 授業内容：以下の内容について学びます。 ・収穫逓減の法則と　「マルサスの罠」 事前学修 2.0hr：マクロ経済学の復習 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
6 回	**授業テーマ：貧困のメカニズム(講義の続きと討論)** 授業内容：以下の内容について学びます。 ・途上国の貧困の現状 事前学修 2.0hr：マクロ経済学の復習 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
7 回	**授業テーマ：人口問題と経済発展(問題設定と講義)** 授業内容：以下の内容について学びます。 ・出生率・死亡率と「人口爆発」 事前学修 2.0hr：マクロ経済学の復習 事後学修 2.0hr：授業中に指示する

8回	**授業テーマ：人口問題と経済発展(講義の続きと討論)** 授業内容：以下の内容について学びます。 ・経済発展と「人口転換」 ・「人口転換」に関するモデル分析 事前学修 2.0hr：マクロ経済学の復習 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
9回	**授業テーマ：工業化と経済発展(問題設定と講義)** 授業内容：以下の内容について学びます。 ・ペティ＝クラークの法則 事前学修 2.0hr：マクロ経済学の復習 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
10回	**授業テーマ：工業化と経済発展(講義の続きと討論)** 授業内容：以下の内容について学びます。 ・二部門経済モデル 事前学修 2.0hr：マクロ経済学の復習 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
11回	**授業テーマ：経済体制と経済発展(問題設定と講義)** 授業内容：以下の内容について学びます。 ・市場経済と計画経済 ・「市場の失敗」と政府の役割 事前学修 2.0hr：マクロ経済学の復習 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
12回	**授業テーマ：経済体制と経済発展(講義の続きと討論)** 授業内容：以下の内容について学びます。 ・「政府の失敗」とワシントン・コンセンサス ・開発の政治経済学 事前学修 2.0hr：マクロ経済学の復習 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
13回	**授業テーマ：中国の経済発展(問題設定と討論)** 授業内容：以下の内容について学びます。 ・資本主義市場経済と社会主義計画経済 ・「社会主義市場経済」とは ・最近の展開 事前学修 2.0hr：マクロ経済学の復習 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
14回	**授業テーマ：復習セッション** 授業内容：1. 後期の授業で学んだ以下の主要なトピックのうち、自分にとって最も勉強になったと思う内容を 1 つ選びなさい。 2. 授業で自分にとって特に勉強になったことを簡潔にまとめ、それに対する自分の意見を述べなさい。 (全員にこのテーマに関して 5〜10 分程度のプレゼンテーションを行ってもらいます。) 事前学修 2.0hr：復習セッションの準備 事後学修 2.0hr：最終査定の準備
15回	**授業テーマ：最終査定** 授業内容：最終査定を行いますので、「成績予想」で合格点を取れていない人は、必ず受験してください。 事前学修 2.0hr：最終査定の準備 事後学修 2.0hr：半年間の学修内容を振り返る

開発経済論Ⅱ

開講学科等：経　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

中澤　栄一（なかざわ　えいいち）

▌授業の概要

この授業では、多角的な視点から開発経済学と経済発展論の基礎を学びます。分析の対象とする経済は、開発途上国の経済にとどまらず、いわゆる新興市場経済や中進国の経済の問題も考えていきます。
今年度の授業では単なる講義にとどまらず、討論やプレゼンテーションを隔週で行ってもらいます。
なお、後期の授業では、主に開発経済の国際的側面に焦点を絞って講義を行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/4/5、2020 年度以前入学生経済コース 1）

一般目標：グローバル化が進む現代の世界経済において重要な開発問題を理解すると同時に、筋道を立てて問題を議論して意見を発表する能力を磨くことを目標とします。
個別目標：開発経済の重要な問題に関して、最新の知識に基づいて自分の意見を展開できるようになることを個別目標とします。

▌履修条件

必ず自分でノートをとること。
パンデミックの再発等の理由により、対面授業が実施できなくなった場合には、改めてコースニュースを通じて連絡します。

▌評価基準・方法

原則として、授業中の発言内容や課題の提出に基づく平常点によって成績をつけます。たとえ全部の授業に出席しても、まったく発言しないような受講者は不合格になる可能性が高いので、留意してください。
急病や就職活動によってやむを得ず欠席する場合は、理由を証明する文書を提出した場合のみ、学期中最大 2 回まで公欠扱いとします。
フィードバックは、対面授業中に行います。

▌フィードバック方法

授業中にフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転「流」授業、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特に指定しません。

▌参考書

(1) 渡辺利夫『開発経済学入門　第 3 版』東洋経済新報社、2010 年.
(2) 戸堂康之『開発経済学入門　第 2 版』新世社、2021 年.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：講義の概要説明／経済学概論の復習** 授業内容：授業の取り進め方や、成績評価の方法などについて、詳細に説明します。 事前学修 2.0hr：経済学概論の復習 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
2 回	**授業テーマ：国際貿易と経済発展（問題設定と講義）** 授業内容：以下の内容について学びます。 ・貿易と開発に関する論点 ・新古典派の自由貿易モデル ・新古典派モデルの限界（南北貿易モデル） 事前学修 2.0hr：経済学概論の復習 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
3 回	**授業テーマ：国際貿易と経済発展（講義の続きと討論）** 授業内容：以下の内容について学びます。 ・輸入代替工業化政策 ・輸出志向工業化政策 事前学修 2.0hr：経済学概論の復習 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
4 回	**授業テーマ：直接投資と経済発展（問題設定と講義）** 授業内容：以下の内容について学びます。 ・海外直接投資と多国籍企業 ・海外直接投資を支持する議論 ・海外直接投資に反対する議論 事前学修 2.0hr：経済学概論の復習 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
5 回	**授業テーマ：直接投資と経済発展（講義の続きと討論）** 授業内容：以下の内容について学びます。 ・多国籍企業と開発に関する論点 ・プロダクト・サイクル論 事前学修 2.0hr：ミクロ経済学の復習 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
6 回	**授業テーマ：開発援助と経済発展（問題設定と講義）** 授業内容：以下の内容について学びます。 ・経済協力とＯＤＡ 事前学修 2.0hr：ミクロ経済学の復習 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
7 回	**授業テーマ：開発援助と経済発展（講義の続きと討論）** 授業内容：以下の内容について学びます。 ・二つのギャップ論 事前学修 2.0hr：ミクロ経済学の復習 事後学修 2.0hr：授業中に指示する

8回	**授業テーマ：国際機関と経済発展(問題設定と講義)** 授業内容：以下の内容について学びます。 ・戦後の経済体制と国際機関 ・世界銀行による援助 ・IMF による融資 ・コンディショナリティと問題点 事前学修 2.0hr：ミクロ経済学の復習 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
9回	**授業テーマ：国際機関と経済発展(講義の続きと討論)** 授業内容：以下の内容について学びます。 ・持続可能な開発目標(SDGs) 事前学修 2.0hr：ミクロ経済学の復習 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
10回	**授業テーマ：国際金融と経済発展(問題設定と講義)** 授業内容：以下の内容について学びます。 ・国際収支表と国際金融 ・途上国の借り入れと債務 事前学修 2.0hr：ミクロ経済学の復習 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
11回	**授業テーマ：国際金融と経済発展(講義の続きと討論)** 授業内容：以下の内容について学びます。 ・ラテン・アメリカの累積債務問題 ・東アジアの金融危機 ・金融危機と金融制度改革 事前学修 2.0hr：ミクロ経済学の復習 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
12回	**授業テーマ：経済発展のケーススタディ：インド** 授業内容：今回の授業では、以下の３本の動画を観ます。 (1) サンジャイ・プラハン: オープンデータは国際援助をどう変えるのか (2012) (2) ルトガー・ブレグマン: 貧困は「人格の欠如」ではなく「金銭の欠乏」である (2017) (3) チェトナ・ガラ・シンハ: インド農村部の女性が勇気を資本に変えた方法 (2018) 事前学修 2.0hr：ミクロ経済学の復習 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
13回	**授業テーマ：経済発展のケーススタディ：アフリカ** 授業内容：今回の授業では、以下の６本の動画を観ます。 (1) チャールズ・ロバートソン (2013) 次はアフリカ―急成長を迎える大陸 (2) ンゴジ・オコンジョ=イウェアラ (2016) アフリカが躍進を継続させる方法 (3) チャリティ・ワユア (2017) 政府を正すには (4) ニティ・バーン (2017) 非公式経済における隠れたチャンス (5) ロバート・ニューワース (2017) 昔からあるアフリカのシェアリングエコノミー: そして何故それを広めるべきなのか (6) マガット・ウェード (2017) アフリカで事業を始めることが難しすぎる理由:どうすればそれを変えられるか 事前学修 2.0hr：ミクロ経済学の復習 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
14回	**授業テーマ：復習セッション** 授業内容：1. 後期の授業で学んだ以下の主要なトピックのうち、自分にとって最も勉強になったと思う内容を 1 つ選びなさい。 2. 授業で自分にとって特に勉強になったことを簡潔にまとめ、それに対する自分の意見を述べなさい。 (全員にこのテーマに関して 5〜10 分程度のプレゼンテーションを行ってもらいます。) 事前学修 2.0hr：復習セッションの準備 事後学修 2.0hr：最終査定の準備
15回	**授業テーマ：最終査定** 授業内容：最終査定を行いますので、「成績予想」で合格点を取れていない人は、必ず受験してください。 事前学修 2.0hr：最終査定の準備 事後学修 2.0hr：半年間の学修内容を振り返る

計量経済学 I

開講学科等：経　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

中澤　栄一（なかざわ　えいいち）

▌授業の概要

これまで大学で勉強してきたミクロやマクロの経済学が、社会に出てからどう役立つのか疑問に思っている人も多いと思います。このような理論の理解が苦手な人でも、実際の経済データを使って実証分析を行えば、実社会で役立つ経済分析の方法をスポーツのように体で覚えることができます。
前期の計量経済学 I の授業では、統計学や計量経済学の初学者を対象とし、経済学や経営学の実証分析に必要な基礎的な知識を、初歩から教えます。なお、受講者が適正な人数の場合には、可能な限りコンピュータを用いた演習形式で行う予定です。
なお、木曜日の授業は初心者向け、金曜日の授業はデータサイエンスの上級者向けの内容を予定しています。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 6、2020 年度以前入学生経済コース 1）

一般目標：経済学の実証分析に必要な基礎的な知識を身につけることを目標とします。
個別目標：経済学やビジネスの諸問題に関して、自力で数量的な分析ができるようになることを個別目標とします。

▌履修条件

授業は演習形式で行いますので、欠席すると訳がわからなくなるかもしれません。したがって、他の履修者と協力してお互いに助け合う態度が求められます。
パンデミックの再発等の理由により、対面授業が実施できなくなった場合には、改めてコースニュースを通じて連絡します。

▌評価基準・方法

授業の最後に、演習課題の作業結果を提出してもらい、それをもとに絶対評価で成績を評価します。毎回出席して課題を提出した人は、よい成績を期待できると思います。出席状況と課題提出が単位取得条件に満たない者のみ学期末にレポートを提出してもらいます。
急病や就職活動によってやむを得ず欠席する場合は、理由を証明する文書を提出した場合のみ、学期中最大 2 回まで公欠扱いとします。
フィードバックは、対面授業中に行います。

▌フィードバック方法

授業中にフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転「流」授業）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Excel を用いた統計分析）

▌教科書

特に指定しません。

▌参考書

松浦寿幸『独習! ビジネス統計』東京図書、2012 年.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：授業の概要説明** 授業内容：授業の取り進め方や、成績評価の方法などについて、詳細に説明します。 事前学修 2.0hr：学修の基礎 III - b（情報リテラシー）の復習 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
2 回	**授業テーマ：Excel を用いた実証分析：入門編** 授業内容：日本の経済成長率の推移を表すグラフを作成し、経済成長率がマイナス成長となっている年の理由を説明してもらいます。 事前学修 2.0hr：学修の基礎 III - b（情報リテラシー）の復習 事後学修 2.0hr：授業で行った演習課題を自力で再現できるようにすること。
3 回	**授業テーマ：回帰分析の基礎：散布図の作成** 授業内容：マクロ経済学で学んだ消費関数を求める準備として、所得を投資との関係をあらわす散布図を描いてもらいます。 事前学修 2.0hr：学修の基礎 III - b（情報リテラシー）の復習 事後学修 2.0hr：授業で行った演習課題を自力で再現できるようにすること。
4 回	**授業テーマ：回帰分析の基礎：消費関数の推定** 授業内容：単回帰分析の公式にもとづき、Excel を用いて消費関数を求めてもらいます。 事前学修 2.0hr：学修の基礎 III - a の復習 事後学修 2.0hr：授業で行った演習課題を自力で再現できるようにすること。
5 回	**授業テーマ：回帰分析の基礎:財政支出乗数の推定（閉鎖経済のケース）** 授業内容：マクロ経済学で学ぶ「乗数効果」の理論的知識を用いて、前回までに求めた消費関数の推定結果の意味を解釈します 。 事前学修 2.0hr：学修の基礎 III - a の復習 事後学修 2.0hr：授業で行った演習課題を自力で再現できるようにすること。
6 回	**授業テーマ：回帰分析の基礎:財政支出乗数の推定（開放経済のケース）** 授業内容：今回はさらに、輸入関数を推定することにより、開放経済における政府支出乗数を計算し、前回の閉鎖経済のケースと比較します。 事前学修 2.0hr：学修の基礎 III - a の復習 事後学修 2.0hr：授業で行った演習課題を自力で再現できるようにすること。
7 回	**授業テーマ：回帰分析の応用：生産関数の直接推定（制約なしモデル）** 授業内容：今回からは、重回帰分析の例として、ミクロ経済学で学ぶ「生産関数」を推定します。今回は、時系列データ (time series data) を用いて「規模に関する収穫一定」の仮定をおかない「制約なしモデル」を推定します。 事前学修 2.0hr：学修の基礎 III - a の復習 事後学修 2.0hr：授業で行った演習課題を自力で再現できるようにすること。
8 回	**授業テーマ：回帰分析の応用：生産関数の直接推定（制約ありモデル）** 授業内容：時系列データを用いて「規模に関する収穫一定」の仮定をおいた「制約ありモデル」を推定し、前回の推定結果と比較します。 事前学修 2.0hr：学修の基礎 III - a の復習 事後学修 2.0hr：授業で行った演習課題を自力で再現できるようにすること。
9 回	**授業テーマ：回帰分析の応用：生産関数の直接推定（分析結果の解釈）** 授業内容：今回は、前回までの２回の授業で推定した、回帰分析の結果の見方を説明します。 事前学修 2.0hr：学修の基礎 III - a の復習 事後学修 2.0hr：授業で行った演習課題を自力で再現できるようにすること。

10回	**授業テーマ：回帰分析の応用：生産関数の直接推定(自力で分析を行えるようになる)** 授業内容：これまでの授業で「製造業」について行った「生産関数の直接推定」の分析作業を、「非製造業(市場経済のみ、住宅・分類不明を除く)」について自力で行ってください。 事前学修 2.0hr：学修の基礎 III - a の復習 事後学修 2.0hr：授業で行った演習課題を自力で再現できるようにすること。
11回	**授業テーマ：回帰分析の応用：生産関数の直接推定(フィードバック)** 授業内容：これまでの授業で「製造業」について行った「生産関数の直接推定」の分析作業を「非製造業(市場経済のみ、住宅・分類不明を除く)」について自力で行い、分析結果に対して個別にフィードバックを行います。 事前学修 2.0hr：学修の基礎 III - a の復習 事後学修 2.0hr：授業で行った演習課題を自力で再現できるようにすること。
12回	**授業テーマ：回帰分析の応用：生産関数の直接推定(横断面データ)** 授業内容：今回は、横断面データ (cross section data) を用いた重回帰分析の方法を学びます。 事前学修 2.0hr：学修の基礎 III - a の復習 事後学修 2.0hr：授業で行った演習課題を自力で再現できるようにすること。
13回	**授業テーマ：回帰分析の応用：生産関数の直接推定(パネル・データ)** 授業内容：今回は、パネル・データ (panel data) を用いた重回帰分析の方法を学びます。 事前学修 2.0hr：学修の基礎 III - b (情報リテラシー)の復習 事後学修 2.0hr：レポートの作成準備
14回	**授業テーマ：レポートの作成準備** 授業内容：与えられたデータの「第２次産業」(ピンク色に塗られている産業)の中から特定の１産業を選び、生産関数を推計しなさい(分析には最新の時系列データを用いること)。 事前学修 2.0hr：学修の基礎 III - b (情報リテラシー)の復習 事後学修 2.0hr：レポート作成
15回	**授業テーマ：レポートの完成とフィードバック** 授業内容：与えられたデータの「第３次産業」(水色に塗られている産業)の中から特定の１産業を選び、生産関数を推計しなさい(分析には最新の時系列データを用いること)。今回は分析結果に対して個別にフィードバックを行います。 事前学修 2.0hr：レポート完成 事後学修 2.0hr：半年間の学修内容を振り返る

計量経済学Ⅱ

開講学科等：経　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

中澤　栄一（なかざわ　えいいち）

▌授業の概要

前期の授業では、「消費関数」や「生産関数」など、マクロ経済学やミクロ経済学で学ぶ経済モデルの推定を中心に学習してきました。
後期の授業では、ビジネスや会計のデータを用いた分析も扱います。
また、授業の後半では、プログラム言語(木曜日は python、金曜日は R)を用いた分析方法を習得してもらいます。
受講者が適正な人数の場合には、可能な限りコンピュータを用いた演習形式で行う予定です。
なお、木曜日の授業は初心者向け、金曜日の授業はデータサイエンスの上級者向けの内容を予定しています。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 6、2020 年度以前入学生経済コース 1）

一般目標：前期に学んだ分析手法を確実に身につけることを目標とします。
個別目標：経済学やビジネスの諸問題に関して、自力で数量的な分析ができるようになることを個別目標とします。

▌履修条件

授業は演習形式で行いますので、欠席すると訳がわからなくなるかもしれません。したがって、他の履修者と協力してお互いに助け合う態度が求められます。
金曜日の授業はデータサイエンスの上級者向けの内容を予定していますので、統計学関連科目を履修・合格していない学生は木曜日の授業を履修してください。

▌評価基準・方法

授業の最後に、演習課題の作業結果を提出してもらい、それをもとに絶対評価で成績を評価します。毎回出席して課題を提出した人は、よい成績を期待できると思います。出席状況と課題提出が単位取得条件に満たない者のみ学期末にレポートを提出してもらいます。
急病や就職活動によってやむを得ず欠席する場合は、理由を証明する文書を提出した場合のみ、学期中最大 2 回まで公欠扱いとします。
フィードバックは、対面授業中に行います。

▌フィードバック方法

授業中にフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転「流」授業）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プログラミングを用いた統計分析(木曜は python、金曜は R)を予定）

▌教科書

特に指定しません。

▌参考書

特に指定しません。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：授業の概要説明／前期授業の復習** 授業内容：今回は、経済データを用いた前期授業の総復習を行います。 事前学修 2.0hr：統計学の復習 事後学修 2.0hr：授業中に指示する。
2回	**授業テーマ：会計データを用いた実証分析(１)：経営指標の計算と、レーダーチャートの作成** 授業内容：会計データを用いた実証分析を扱います。 今回は手始めに、主な経営指標の計算と、レーダーチャートの作成を行います。 事前学修 2.0hr：統計学の復習 事後学修 2.0hr：授業で行った演習課題を自力で再現できるようにすること。
3回	**授業テーマ：会計データを用いた実証分析(２)：損益分岐点の推計 (1)** 授業内容：今回と次回は、株式会社オリエンタルランドの財務データを用いて、損益分岐点分析を扱う予定です。 今回の分析には、「スキャッターグラフ法」を用います。 事前学修 2.0hr：統計学の復習 事後学修 2.0hr：授業で行った演習課題を自力で再現できるようにすること。
4回	**授業テーマ：会計データを用いた実証分析(３)：損益分岐点の推計 (2)** 授業内容：今回は、前期で学んだ回帰分析の方法を用いて、Excel により複雑な損益分岐点分析を行います。 事前学修 2.0hr：統計学の復習 事後学修 2.0hr：授業で行った演習課題を自力で再現できるようにすること。
5回	**授業テーマ：プログラミングを用いた実証分析(１)：回帰分析 (1)** 授業内容：今回からは、プログラミングによる実証分析を行います。 今回はデータの読み込み方法やプログラミングの基礎を学びます。 事前学修 2.0hr：統計学の復習 事後学修 2.0hr：授業で行った演習課題を自力で再現できるようにすること。
6回	**授業テーマ：プログラミングを用いた実証分析(２)：回帰分析 (2)** 授業内容：今回はプログラミングに慣れるために、前々回の授業で Excel を用いて行った分析を、プログラミングを用いて行ってみます。 事前学修 2.0hr：統計学の復習 事後学修 2.0hr：授業で行った演習課題を自力で再現できるようにすること。
7回	**授業テーマ：プログラミングを用いた実証分析(３)：回帰分析 (3)** 授業内容：今回は横断面データを用いて、Excel では難しい、説明変数の選択をプログラミングによって行います。 事前学修 2.0hr：統計学の復習 事後学修 2.0hr：授業で行った演習課題を自力で再現できるようにすること。
8回	**授業テーマ：プログラミングを用いた実証分析(４)：回帰分析 (4)** 授業内容：今回は Excel では難しい回帰分析に付きまとう問題(多重共線性、不均一分散、系列相関)のテストと対処方法について学びます。 事前学修 2.0hr：統計学の復習 事後学修 2.0hr：授業で行った演習課題を自力で再現できるようにすること。
9回	**授業テーマ：プログラミングを用いた実証分析(５)：パネル分析 (1)** 授業内容：パネル・データを用いて、Excel では難しい高度な分析方法(固定効果モデル、変量効果モデル)を学びます。 事前学修 2.0hr：統計学の復習 事後学修 2.0hr：授業で行った演習課題を自力で再現できるようにすること。

10回	**授業テーマ：プログラミングを用いた実証分析（6）：パネル分析 (2)** 授業内容：パネル分析の結果（プーリング・モデル、固定効果モデル、変量効果モデル）を比較する方法を学びます。 事前学修 2.0hr：統計学の復習 事後学修 2.0hr：授業で行った演習課題を自力で再現できるようにすること。
11回	**授業テーマ：プログラミングを用いた実証分析（7）：パネル分析 (3)** 授業内容：パネル・データを用いた基礎的な動学的分析の方法を学びます。 事前学修 2.0hr：統計学の復習 事後学修 2.0hr：授業で行った演習課題を自力で再現できるようにすること。
12回	**授業テーマ：プログラミングを用いた実証分析（8）：主成分分析 (1)** 授業内容：経営学や自然科学の分野で用いられることの多い、主成分分析 (Principal Component Analysis) の方法を学びます。 事前学修 2.0hr：統計学の復習 事後学修 2.0hr：授業で行った演習課題を自力で再現できるようにすること。
13回	**授業テーマ：プログラミングを用いた実証分析（9）：主成分分析 (2)** 授業内容：主成分分析 (Principal Component Analysis) の結果を解釈する方法について学びます。 事前学修 2.0hr：統計学の復習 事後学修 2.0hr：授業で行った演習課題を自力で再現できるようにすること。
14回	**授業テーマ：プログラミングを用いた実証分析（10）：因子分析 (1)** 授業内容：経営学や心理学の分野で用いられることの多い、因子分析 (Factor Analysis) の方法を学びます。 事前学修 2.0hr：統計学の復習 事後学修 2.0hr：授業で行った演習課題を自力で再現できるようにすること。
15回	**授業テーマ：プログラミングを用いた実証分析（11）：因子分析 (2)** 授業内容：因子分析 (Factor Analysis) の結果を解釈する方法について学びます。 事前学修 2.0hr：統計学の復習 事後学修 2.0hr：半年間の学修内容を振り返る。

地方財政論 I

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

永井　攻治 (ながい　よしはる)

▌授業の概要

地方財政とは、地方政府(都道府県・市町村)の行う経済活動を総合的に捉え、その役割と機能はどのようなものであるべきかを考察する学問である。しかし、地方財政の基礎的知識に不可欠である「地方自治とは何か？」、「行政とは何か？」という予備知識から説明する講義はあまり見受けられない。そこで、本講義の特徴は、地方自治に関する法律・行政・財政の基本的な仕組みと課題を解説することを目的とする。具体的には、前期は「地方自治の仕組みについて」を考察する。特に、地方自治の役割と、国と自治体との関わり等に比重を置いて解説する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/4、2020 年度以前入学生経済コース 1）

一般目標：①地方行財政の仕組みについて理解する。
　　②自治体の機能について理解する。
個別目標：国と地方行政の相違点及び、地方分権について理解する。

▌履修条件

特に設けないが、「①教科書やプリント類は必ず持参する、②他学生の迷惑となる行為はしない、③担当教員の指示には必ず従う」の３点は最低限守ること。

▌評価基準・方法

成績評価は、期末試験の結果を中心に、授業への参加状況(質問・発言等)および授業態度を総合的に評価する。必要に応じてレポート等の課題を課す場合がある。原則として、授業回数の 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

試験及び教員の個別対応等による。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回により異なる(課題、ディスカッション)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

藤巻秀夫編(2012)『地方自治の法と行財政』八千代出版
(その他は授業中に適宜紹介する)

▌参考書

授業中に適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：前期ガイダンス** 授業内容：地方行政の仕組みについて説明する。 事前学修 1.0hr：シラバスの内容と、教科書を簡単に読む。 事後学修 3.0hr：地方自治に関する新聞記事を読んでおく。
2回	**授業テーマ：地方自治とは？** 授業内容：地方自治の役割について説明する。 事前学修 2.0hr：地方自治とはどのようなものかを調べる。 事後学修 2.0hr：試験等に備えて、レジュメ・教科書等を読み直し、ノートに今回の講義内容を整理する(課題がある場合は課題もする)。
3回	**授業テーマ：自治体と国の関係** 授業内容：自治体と国の相違点を説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：試験等に備えて、レジュメ・教科書等を読み直し、ノートに今回の講義内容を整理する(課題がある場合は課題もする)。
4回	**授業テーマ：地方公共団体とは何か？** 授業内容：地方公共団体の役割について説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：試験等に備えて、レジュメ・教科書等を読み直し、ノートに今回の講義内容を整理する(課題がある場合は課題もする)。
5回	**授業テーマ：自治体の事務とは？** 授業内容：自治体の事務にはどのようなものがあるのかを説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：試験等に備えて、レジュメ・教科書等を読み直し、ノートに今回の講義内容を整理する(課題がある場合は課題もする)。
6回	**授業テーマ：住民の権利とは？** 授業内容：住民には、どのような権利があるのかを説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：試験等に備えて、レジュメ・教科書等を読み直し、ノートに今回の講義内容を整理する(課題がある場合は課題もする)。
7回	**授業テーマ：議会とは？** 授業内容：議会の仕組みについて説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：試験等に備えて、レジュメ・教科書等を読み直し、ノートに今回の講義内容を整理する(課題がある場合は課題もする)。
8回	**授業テーマ：執行機関とは？** 授業内容：執行機関とは何かについて説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：試験等に備えて、レジュメ・教科書等を読み直し、ノートに今回の講義内容を整理する(課題がある場合は課題もする)。
9回	**授業テーマ：条例とは？** 授業内容：条例の役割について説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：試験等に備えて、レジュメ・教科書等を読み直し、ノートに今回の講義内容を整理する(課題がある場合は課題もする)。
10回	**授業テーマ：公の施設とは？** 授業内容：公共の施設の役割について説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：試験等に備えて、レジュメ・教科書等を読み直し、ノートに今回の講義内容を整理する(課題がある場合は課題もする)。

11回	**授業テーマ：自治行政に関する法的統制** 授業内容：自治体行政の法律的な意味合いについて説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：試験等に備えて、レジュメ・教科書等を読み直し、ノートに今回の講義内容を整理する(課題がある場合は課題もする)。
12回	**授業テーマ：関与とは何か？** 授業内容：自治体の関与の仕組みについて説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：試験等に備えて、レジュメ・教科書等を読み直し、ノートに今回の講義内容を整理する(課題がある場合は課題もする)。
13回	**授業テーマ：自治体財務法とは？** 授業内容：自治体の財務について、法律的側面から説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：試験等に備えて、レジュメ・教科書等を読み直し、ノートに今回の講義内容を整理する(課題がある場合は課題もする)。
14回	**授業テーマ：地方自治の役割とは何か？** 授業内容：地方自治の役割について説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：試験等に備えて、レジュメ・教科書等を読み直し、ノートに今回の講義内容を整理する(課題がある場合は課題もする)。
15回	**授業テーマ：前期の復習と試験についての諸説明** 授業内容：試験についての説明をおこなう。 事前学修 1.0hr：いままでの学修箇所を見直し、試験についての説明に備える。 事後学修 3.0hr：試験の準備学習をする。

地方財政論Ⅱ

開講学科等：経　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

永井　攻治 (ながい　よしはる)

▌授業の概要

地方財政論Ⅰでは、地方財政の基礎的知識に不可欠である「地方自治とは何か？」、「行政とは何か？」という予備知識の学習をおこなった。
地方財政論Ⅱでは、地方財政論Ⅰで学んだ地方自治の機能に関する知識をベースとして、「自治体行財政の役割」について考察する。特に、「福祉国家と自治行政の役割」や「地方税や地方債の役割等」に比重を置いた講義内容を予定している。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/4、2020 年度以前入学生経済コース 1）

一般目標：①少子高齢化社会における自治体行政の課題について理解する。
　　②これからの自治体行政の在り方について独自に考えることができるようにする。
個別目標：高度成長期における、自治体版福祉国家の意義について理解する。

▌履修条件

地方財政論Ⅰの履修をしていない学生の履修は原則認めない(どうしても地方財政論Ⅱを履修したい場合は担当教員に申し出る事)。その他は前期と同様「①教科書やプリント類は必ず持参する、②他の学生に迷惑となる行為はしない、③担当教員の指示には必ず従う」の３点は最低限守ること。

▌評価基準・方法

成績評価は、期末試験の結果を中心に、授業への参加状況(質問・発言等)および授業態度を総合的に評価する。必要に応じてレポート等の課題を課す場合がある。原則として、授業回数の 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

試験及び教員の個別対応等による。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回により異なる(課題、ディスカッション)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

藤巻秀夫編(2012)『地方自治の法と行財政』八千代出版
(その他は授業中に適宜紹介する)

▌参考書

授業中に適宜紹介する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：後期ガイダンス** 授業内容：後期の授業の進め方について説明する。 事前学修 1.0hr：シラバスの内容と、教科書を簡単に読む。 事後学修 3.0hr：自治体行財政に関する新聞記事を読んでみる。
2回	**授業テーマ：福祉国家の発展・変容と自治行政の在り方** 授業内容：福祉国家の仕組みについて説明する。 事前学修 2.0hr：自治体行財政とはどのようなものかを調べる。 事後学修 2.0hr：試験等に備えて、レジュメ・教科書等を読み直し、ノートに今回の講義内容を整理する(課題がある場合は課題もする)。
3回	**授業テーマ：地方自治とは何か？** 授業内容：地方自治を福祉について説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：試験等に備えて、レジュメ・教科書等を読み直し、ノートに今回の講義内容を整理する(課題がある場合は課題もする)。
4回	**授業テーマ：予算循環とは？** 授業内容：自治体の予算について説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：試験等に備えて、レジュメ・教科書等を読み直し、ノートに今回の講義内容を整理する(課題がある場合は課題もする)。
5回	**授業テーマ：地方税とは？** 授業内容：地方税の仕組みについて説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：試験等に備えて、レジュメ・教科書等を読み直し、ノートに今回の講義内容を整理する(課題がある場合は課題もする)。
6回	**授業テーマ：政府間財政移転とは？** 授業内容：政府間財政移転の意味と役割について説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：試験等に備えて、レジュメ・教科書等を読み直し、ノートに今回の講義内容を整理する(課題がある場合は課題もする)。
7回	**授業テーマ：地方債とは？** 授業内容：地方債が地方財政にどのような影響を及ぼしているかを説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：試験等に備えて、レジュメ・教科書等を読み直し、ノートに今回の講義内容を整理する(課題がある場合は課題もする)。
8回	**授業テーマ：広域連携とは？** 授業内容：広域連携の役割について説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：試験等に備えて、レジュメ・教科書等を読み直し、ノートに今回の講義内容を整理する(課題がある場合は課題もする)。
9回	**授業テーマ：人事管理とは？** 授業内容：地方自治の人事管理について説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：試験等に備えて、レジュメ・教科書等を読み直し、ノートに今回の講義内容を整理する(課題がある場合は課題もする)。
10回	**授業テーマ：政策の形成とは？** 授業内容：自治体の政策について説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：試験等に備えて、レジュメ・教科書等を読み直し、ノートに今回の講義内容を整理する(課題がある場合は課題もする)。
11回	**授業テーマ：政策の実施と協動とは？** 授業内容：政策の実施と協働の意味について説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：試験等に備えて、レジュメ・教科書等を読み直し、ノートに今回の講義内容を整理する(課題がある場合は課題もする)。

12回	**授業テーマ：行政改革と評価について** 授業内容：行政改革の意味について説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：試験等に備えて、レジュメ・教科書等を読み直し、ノートに今回の講義内容を整理する(課題がある場合は課題もする)。
13回	**授業テーマ：危機管理と自治体について** 授業内容：自治体の危機管理について説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：試験等に備えて、レジュメ・教科書等を読み直し、ノートに今回の講義内容を整理する(課題がある場合は課題もする)。
14回	**授業テーマ：地方財政の今後の在り方について** 授業内容：少子高齢化時代の地方行政の今後について説明する。 事前学修 2.0hr：授業内容に該当する箇所のレジュメ・教科書等を読み、担当教員からの質問等に答えられるように準備する。 事後学修 2.0hr：試験等に備えて、レジュメ・教科書等を読み直し、ノートに今回の講義内容を整理する(課題がある場合は課題もする)。
15回	**授業テーマ：後期の復習と試験についての諸説明** 授業内容：後期試験についての説明をおこなう。 事前学修 1.0hr：いままでの学修箇所を見直し、試験についての説明に備える。 事後学修 3.0hr：試験の準備学習をする。

公共経済学

開講学科等：経　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前/後

佐藤　晴彦 (さとう　はるひこ)

▌授業の概要

経済発展と成長に成功してきた国や、高度な社会的安定と結束力を維持している国のほとんどすべての国においては、公共部門は重要な役割を果たしてきている。わが国は経済成長を成し遂げてきたが、必ずしも芳しくない期間があったことから、公共部門を含めた経済に様々な疑問が提示されるようになった。日本経済の長期停滞は、少なくとも部分的には公共部門から生じているというコンセンサスが出来上がっている。本講座は、この問題を理解し、必要な改革について議論できる力を持つことを目的とする。

なお、本講座はグループディスカッション、グループワークを取り入れながら授業内容を深める方式をとる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/4/5、2020 年度以前入学生経済コース 1）

一般目標：・公共部門が存在する根拠は何か、またどのような分野でどのような形で活動を行っているのかについて理解できるようになること。
・公共部門と民間部門が混合した経済では、こうした公共部門と民間部門の協力関係の持つ利点と限界について考えることができるようになること。
・また、外部性環境、公共政策および費用便益分析のための基礎理論、社会保障制度等から上記に関する問題点について理解でき、議論できる力を持つこと

個別目標：・私たちの生活の中で、公共的な財やサービスがどの程度提供されているかを認識できるようになること。
・私たちの生活の中で、公共的な財やサービスが公的にどのように、どのくらい供給されるべきなのか、について案を持てるようになること。

▌履修条件

ミクロ経済学、マクロ経済学を履修済または履修していることが望ましい。

▌評価基準・方法

評価は課題等と期末試験の結果の合計を主とし、平常点 50 %、定期試験 50 %の合計で評価する。平常点には課題、レポートなどが含まれる。なお、５分の４以上の出席回数を評価の前提条件とし、それ未満となる出席回数は評価対象外、減点の対象とする。
なお、課題及び定期試験のフィードバックは manaba を通して行う。

▌フィードバック方法

授業内容を課題或いはグループディスカッションという形で 1 回目を、2 回目は次の授業で解答を解説するという形で復習します。
1 回目から 2 回目にかけて、各自復習しておくことが望ましい。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク・ディスカッション＆グループ代表によるプレゼン）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業中は PC を使います (スマホでも可)）

▌教科書

J・E・スティグリッツ著、藪下史郎訳『公共経済学第 2 版上』東洋経済新報社

▌参考書

■ 参考書
特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：混合経済における公共部門(１)政府の経済的役割** 授業内容：・なぜ政府の役割は、国によって異なっているのだろうか。政府はあまりにも多くの活動をしすぎていないだろうか。計画をきちんと実現しているだろうか。経済的役割をより効率的に実行できるだろうかという問題を考える。 事前学修 1.0hr：「混合経済における公共部門」の課題を読んでおくこと 事後学修 3.0hr：政府とは何か、政府活動の促進要因についてまとめる。
2回	**授業テーマ：混合経済における公共部門(2)公共経済学的な考え方** 授業内容：公共部門の経済学 (公共経済学) が非常に重要であり、かつ興味深いのは、政府活動と民間活動の間の適切な境界がどこかを定めるという問題に混合経済がつねに直面していることを学習する。 事前学修 1.0hr：経済学の分野と公共部門の分野とはどのような違いがあるのかを考えておく。 事後学修 3.0hr：政府が行うこと、政府行動の結果の分析、政府活動に対する評価方法についてまとめる。
3回	**授業テーマ：市場の効率性(１)厚生経済学とパレート効率性** 授業内容：経済学では、限られた資源をどのように用いるかに関して、何が、どのような方法で、誰のために、どのように生産されるべきかについて検討するが、公共経済学ではこれらついて、公共部門での選択、政府の役割に焦点を当てて講義する。 事前学修 1.0hr：経済学の分野と公共部門の分野とはどのような違いがあるのかを考えておく。 事後学修 3.0hr：政府が行うこと、すなわち政府行動の結果の分析や政府活動に対する評価方法についてまとめる。
4回	**授業テーマ：市場の効率性(２)競争市場の効率と公共部門の役割** 授業内容：競争市場は効率的であるならば、政府の役割はきわめて限定されたものになる。従って公共部門の役割を理解するためにはどのようなときに市場がうまく機能するのか、どのような時に、市場はうまく機能しないかを理解しなければならない。これらについて講義する。 事前学修 1.0hr：どのようなときに市場がうまく機能するのかについての概要を読んでおく 事後学修 3.0hr：どのようなときに完全に経済が機能しなかったのかをまとめておく。
5回	**授業テーマ：市場の効率性(３)経済効率性の分析** 授業内容：・需要曲線と供給曲線を用いた基本的分析をより深く進めるために、効率性の三つの側面を考察する。①　交換の効率性 ②　3.3　生産の効率性③　生産物構成の効率性の観点から考察し、次に解説する。 事前学修 1.0hr：効用可能曲線と無差別曲線について調べておくこと。。 事後学修 3.0hr：①　交換の効率性 ②　3.3　生産の効率性③　生産物構成の効率性とはどんなことなのかを復習すること。
6回	**授業テーマ：市場の失敗(１)所有権と契約の実施** 授業内容：　市場が効率的な結果をもたらさない場合と、その場合市場が機能するために政府はどのような役割を果たすべきなのかを考察していただき、次に解説する。 事前学修 1.0hr：市場が結果的にパレート効率性をもたらすためには、完全競争でなければならないことを予習しておくこと。 事後学修 3.0hr：市場がパレート効率的にならない重要な条件が六つあることを復習擦ること。
7回	**授業テーマ：市場の失敗(２)不完備市場、情報の失敗** 授業内容：・経済がパレート効率的であったとしても、政府が市場の資源配分に介入ケースがあることを学ぶ。 事前学修 1.0hr：メリット財(価値財)とは何かを予習しておくこと。 事後学修 3.0hr：「市場の失敗」に対し政府の役割はどのようなものであるのかについて復習すること。

8回	**授業テーマ：市場の失敗(３)所得再分配とメリット財** 授業内容：経済がパレート効率的であるということと所得分配の間には何の関連もないことについて講義する。 事前学修 1.0hr：パレート効率的と不平等な所得分配について認識しておくこと。。 事後学修 3.0hr：所得再分配の方法と温情主義について復習しておくこと。
9回	**授業テーマ：効率と公平(１)社会選択の分析** 授業内容：政府活動の主たる帰結および目的の一つは、所得分配を変えることである。 公共計画を評価するに際して、しばしば経済効率性と所得分配に対する結果を比較しなければならない。それを学ぶ。 事前学修 1.0hr：経済がパレート効率的であるための必要十分条件を調べておく。 事後学修 3.0hr：社会選択の結果、効率性がどうなるのかを復習すること。
10回	**授業テーマ：効率と公平(２)便益の測定** 授業内容：政府のある計画や企画が特定の個人に対して与える便益を測定する方法を学ぶ。 事前学修 1.0hr：支払い意欲とはどのようなものであるかを調べておくこと。 事後学修 3.0hr：便益の測定方法を消費者余剰の測定で確認すること。
11回	**授業テーマ：効率と公平(３)社会選択の 3 つのアプローチ** 授業内容：政府計画がパレート改善をもたらさないような難しい場合において社会選択について論じるための基本的分析方法を社会選択の三つのアプローチから示す。 事前学修 1.0hr：政府計画がパレート改善をもたらさないような難しい場合を調べておくこと。 事後学修 3.0hr：社会選択について三つのアプローチ、補償原理、尺度間のトレードオフ、および加重便益について復習しておくこと。
12回	**授業テーマ：公共財と公的に供給される私的財 (1)　公共財** 授業内容：政府によって供給される財である公共財は、私的に供給される財とどのように違うのだろうかということについて講義する。 事前学修 1.0hr：公共財が私的に供給できない原因は何かを考えてくること。 事後学修 3.0hr：私的財と公共財とを区別するために二つの基本的問題を考察することから、公共財の 2 つの性質をまとめておくこと。
13回	**授業テーマ：公共財と公的に供給される私的財 (2) 公的に供給される私的財** 授業内容：純粋公共財でない財をなぜ政府が供給するのだろうか、また、純粋公共財の効率的供給は何によって決定されるのだろうか。その効率的供給は所得分配の問題によってどのように影響されるのだろうか、これらについて講義する。 事前学修 1.0hr：公共財の性質を復習しておくこと。。 事後学修 3.0hr：純粋公共財と完全には純粋でない公共財の意味の確認と後者を政府が供給する理由をまとめておくこと。
14回	**授業テーマ：公的に供給される私的財(３)公共財のための効率性の条件** 授業内容：価格システムを働かせる費用が非常に大きい場合、たとえ各個人がある財を使用するのに限界費用がかかったとしても、その財を公的に供給する理由をまず考察していただき、その解説をする。 事前学修 1.0hr：公的に私的財を供給する理由を復習しておくこと。 事後学修 3.0hr：公的に供給される私的財の割り当て方法を復習すること。
15回	**授業テーマ：公共財に対する需要曲線** 授業内容：個人は公共財を購入しない。しかしながら公共財をもう 1 単位得るためにある所与の額だけ支払わなければならないならば、彼らがどれだけ需要するかを考察していただき、解説する。 事前学修 1.0hr：租税価格について調べてくること。 事後学修 3.0hr：公共財に対する需要曲線と集計需要曲線についてまとめておくこと。

産業組織論

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

田浦　元 (たうら　げん)

▌授業の概要

産業組織論は、消費者や生産者の行動が社会にとって望ましい生産量や価格等を実現しているかを分析する、ミクロ経済学の応用科目です。市場の競争原理が正しく機能していれば価格は社会的最適水準を実現しますが、競争が不完全であると社会的最適水準を達成できず、消費者や一部の生産者は損失を被ります。では、どのような場合に競争は不完全になるのでしょうか。授業では、社会的最適水準が達成される条件や、達成されない場合にはどのような歪みが生じるのかを学びます。また、この授業では各自の関心に従って事例研究を行なってもらい、その成果をレポート等にまとめ、発表してもらいます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 6、2020 年度以前入学生経済コース 1）

一般目標：市場メカニズムが社会的総余剰を最大化する仕組みを、ミクロ経済理論に基づいて説明できる。また、社会的総余剰が最大化されない場合のメカニズムについて、ミクロ経済学の理論に基づいて説明できる。市場における企業と企業との関係、それに応じた産業や企業の動き、政府の規制政策の果たす役割について理解できる。

個別目標：1. ミクロ経済学の理論に基づき、市場メカニズムが社会的総余剰を最大化する仕組みを理解できる。
2. 社会的総余剰の最大化が達成されない場合に、どのような歪みが生じるかを理解できる。
3. 現実において競争が不完全であるために生じている社会的弊害に対して、どのような政策が必要かを考えることができる。

▌履修条件

産業組織論はミクロ経済学の応用分野であるので、ミクロ経済学の基礎的な理論（1 年次の「経済学概論」レベル程度）を理解していること。また、Excel の基礎的な操作ができること。自身で行なった事例研究の成果を人前で発表できること。履修定員のある科目であるので、第 1 回授業で履修者の選考を行なう。履修を希望する学生は第 1 回授業に必ず出席すること。

▌評価基準・方法

学期試験（授業最終週実施予定）50 %、レポート課題および授業内発表会での発表 50 %の割合で評価する。5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、翌回の講義の中で行なうことを基本とする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （各自の関心に従いレポート課題を作成し、授業内発表会で発表する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC 教室で実施、あるいは、ノートパソコンの持参が望ましい。）

▌教科書

上藤一郎・田浦元他『調査と分析のための統計 社会・経済のデータサイエンス（第 2 版）』（丸善出版、2013 年）
飯田幸裕・岩田幸訓『入門経済学（第 4 版）』（創成社、2018 年）

▌参考書

授業内で適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：産業組織論とは。産業組織論を学ぶ意義。 事前学修 1.0hr：教科書をざっと眺めておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、教科書の該当箇所を読む。
2 回	**授業テーマ：消費者余剰の導出** 授業内容：需要関数、限界効用関数についての基礎理論を学び、消費者余剰を導出する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。
3 回	**授業テーマ：生産者余剰の導出** 授業内容：供給関数、平均費用関数、限界費用関数についての基礎理論を学び、生産者余剰を導出する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。
4 回	**授業テーマ：余剰分析** 授業内容：消費者余剰、生産者余剰、社会的総余剰についての基礎理論を学ぶ。完全競争市場の特徴について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。
5 回	**授業テーマ：独占** 授業内容：独占市場の特徴について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。
6 回	**授業テーマ：寡占** 授業内容：寡占市場の特徴について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。
7 回	**授業テーマ：事例研究 (1)　カルテル、談合** 授業内容：各自の関心に沿って独占禁止法違反の事例に関する研究を行なう。授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。 事前学修 1.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 3.0hr：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。
8 回	**授業テーマ：事例研究 (2)　優越的地位の濫用** 授業内容：各自の関心に沿って独占禁止法違反の事例に関する研究を行なう。授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。 事前学修 1.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 3.0hr：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。
9 回	**授業テーマ：事例研究 (3)　おとり広告** 授業内容：各自の関心に沿って独占禁止法違反の事例に関する研究を行なう。授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。 事前学修 1.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 3.0hr：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。

10回	**授業テーマ：レポート課題の提出** 授業内容：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成し、提出する。 事前学修 3.0hr：授業内で学んだ分析手法を用いてレポート課題を作成する。 事後学修 1.0hr：レポート課題の発表の準備をする。
11回	**授業テーマ：研究成果の発表 (1)：A グループ** 授業内容：研究成果(レポート課題の内容)を発表する。 事前学修 3.0hr：レポート課題の発表の準備をする。 事後学修 1.0hr：レポート課題の発表の準備をする。
12回	**授業テーマ：研究成果の発表 (2)：B グループ** 授業内容：研究成果(レポート課題の内容)を発表する。 事前学修 3.0hr：レポート課題の発表の準備をする。 事後学修 1.0hr：レポート課題の発表の準備をする。
13回	**授業テーマ：研究成果の発表 (3)：C グループ** 授業内容：研究成果(レポート課題の内容)を発表する。 事前学修 3.0hr：レポート課題の発表の準備をする。 事後学修 1.0hr：レポート課題の発表の準備をする。
14回	**授業テーマ：研究成果発表の振り返り** 授業内容：各自のレポート課題の内容を発表し合った研究成果発表について、振り返りを行なう。 事前学修 2.0hr：研究成果発表について、振り返りを行なう。 事後学修 2.0hr：研究成果発表について、振り返りを行なう。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：学期の復習とまとめを行なう。 事前学修 2.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容を復習し、例題を解きなおしておく。

交通経済論 I

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

宮田　淳（みやた　じゅん）

▌授業の概要

現代の我々の日常生活に密接な関わりを持ち、また国際未来社会での重要性が増しつつある交通問題について、最新の事例等を毎週配布するプリントにより紹介、またその裏付けとなる基礎理論から、現代の交通の諸問題や、将来の可能性などを広く学びます。
Manaba 上に講義前日には当日配布用プリントと当日分の講義資料をアップします。
講義の前半部分は、プリントに沿って講義を行う。後半は、講義資料に基づき【授業内容】の中から講義を行います。
講義は録画し、後ほど manaba にリンクをアップします。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1）

一般目標：航空・空港(国内、海外)、鉄道(都市鉄道、高速鉄道、リニア)、道路(一般道路、高速道路)、自動車(バス、タクシー、自動運転、空飛ぶ自動車)などの交通に対して興味を持って接することができるようになることを目標とします。
個別目標：1. 社会人が興味を持って話題にしている常識的な知識レベルに達すること
2. 交通に関する諸問題について、自身で問題提起出来るようになること
3. 交通に関する諸問題の解決策、ひいてはその他の諸問題解決における応用力を身につけること

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

講義への準備と理解(資料・講義動画のチェック等)、講義参加、課題提出によって総合的に評価します。
※成績評価には、4/5 以上の出席が必要です。
(就職活動、課外活動など特別の理由がある欠席については manaba 個別指導コレクションにて相談してください。)

▌フィードバック方法

課題及びフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （講義内プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （講義内プリントの閲覧、用語検索など）

▌教科書

manaba にアップするプリント・講義資料による

▌参考書

新聞各紙、経済誌など

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：授業内容ガイダンス（毎回出席を取ります）** 授業内容：第 1 回目の授業では、これからの授業のガイダンスを行います。 授業の進め方、課題の提出方法、評価の仕組みなどについて説明します。 『配付プリント』は、最新の交通市場の事例の他に、就職を目前に控える学生の皆さんに是非知っておいてもらいたい日経平均株価をはじめとした市場の動向や為替、そして交通産業の個別銘柄株価などの動きをお伝えしていきます。 このプリントについては、毎週レポート形式で課題を提出してもらいます。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
2 回	**授業テーマ：市場メカニズムと完全競争市場** 授業内容：第 2 回目の授業では、『講義資料』を使い「市場メカニズムと完全競争市場」について学びます。 皆さんが学ぶ交通経済では、交通産業という特殊な市場のことを学びます。 なぜ特殊なのか、他の産業とどのように違うのかなどの基礎的なことを理解することを今回の目標にします。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
3 回	**授業テーマ：交通市場のパレート最適** 授業内容：第 3 回目の授業では、「交通市場のパレート最適」について学びます。 完全競争市場で売る人と買う人の両方が目指す状態を学び、一般的な市場の特性を理解します。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
4 回	**授業テーマ：情報の不完全性・非対称性** 授業内容：第 4 回目の授業では、「情報の不完全性・非対称性」について学びます。 交通市場においてパレート最適が達成されない事例を学び、交通市場の特性を理解することを目的とします。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
5 回	**授業テーマ：市場規模の経済** 授業内容：第 5 回目の授業では、「規模の経済」について学びます。 交通市場においてパレート最適が達成されない代表的な事例を学び、交通市場の特性を理解することを目的とします。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
6 回	**授業テーマ：外部経済・外部不経済** 授業内容：第 6 回目の授業では、「外部経済・外部不経済」について学びます。 交通市場においてパレート最適が達成されない事例を学び、交通市場の特性を理解することを目的とします。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
7 回	**授業テーマ：公共財・準公共財の供給** 授業内容：第 7 回目の授業では、「公共財・準公共財の供給」について学びます。 交通市場において起こる市場の失敗の 4 つめの事例について理解します。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習

8回	**授業テーマ：外部性の内部化** 授業内容：第 8 回目の授業では、「外部性の内部化」について学びます。 第 6 回講義で学んだ「市場の失敗」の代表的な事例への対策方法について解説します。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
9回	**授業テーマ：コンテスタブル市場から新しい規制を考える** 授業内容：第 9 回目の授業では、「コンテスタブル市場から新しい規制を考える」について学びます。 新しい時代の規制のスタイルについて理解します。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
10回	**授業テーマ：競争入札理論** 授業内容：第 10 回目の授業では、「競争入札理論」について学びます。 新しい時代の規制のスタイルについて理解します。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
11回	**授業テーマ：開発利益の還元** 授業内容：第 11 回目の授業では、「開発利益と還元」について学びます。 外部性の内部化として学んだ開発利益の問題についてより具体的に理解します。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
12回	**授業テーマ：交通手段のタイプ分け (1)** 授業内容：第 12 回目の授業では、「交通手段のタイプ分け」について学びます。 普段皆さんが使用している交通手段の特徴や新しい交通手段などを紹介します。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
13回	**授業テーマ：交通手段のタイプ分け (2)** 授業内容：第 13 回目の授業では、先週に引き続き「交通手段のタイプ分け」について学びます。 交通手段の特徴や新しい交通手段などより詳しく分類します。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
14回	**授業テーマ：交通需要マネジメント (1)** 授業内容：第 14 回目の授業では、『交通需要マネジメント』について学びます。 新しい混雑緩和の手法を学びます。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習
15回	**授業テーマ：交通需要マネジメント (2)** 授業内容：第 15 回目の授業では、先週に引き続き『交通需要マネジメント』を学びます。 新しい混雑緩和の手法を学びます。 事前学修 2.0hr：朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、授業内容復習

交通経済論Ⅱ

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

宮田　淳（みやた　じゅん）

▌授業の概要

現代の我々の日常生活に密接な関わりを持ち、また国際未来社会での重要性が増しつつある交通問題について、最新の事例等を毎週配布するプリントにより紹介、またその裏付けとなる基礎理論から、現代の交通の諸問題や、将来の可能性などを広く学びます。
Manaba 上に講義前日には当日配布用プリントと当日分の講義資料をアップします。
講義の前半部分は、プリントに沿って講義を行う。後半は、講義資料に基づき【授業内容】の中から講義を行います。
講義は録画し、後ほど manaba にリンクをアップします。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/4/5/6、2020 年度以前入学生経済コース 1）

一般目標：航空・空港(国内、海外)、鉄道(都市鉄道、高速鉄道、リニア)、道路(一般道路、高速道路)、自動車(バス、タクシー、自動運転、空飛ぶ自動車)などの交通に対して興味を持って接することができるようになることを目標とします。
個別目標：1. 社会人が興味を持って話題にしている常識的な知識レベルに達すること
2. 交通に関する諸問題について、自身で問題提起出来るようになること
3. 交通に関する諸問題の解決策、ひいてはその他の諸問題解決における応用力を身につけること

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

講義への準備と理解(資料・講義動画のチェック等)、講義参加、課題提出によって総合的に評価します。
※成績評価には、4/5 以上の出席が必要。
(就職活動、課外活動など特別の理由がある欠席については manaba 個別指導コレクションにて相談してください。)

▌フィードバック方法

課題及びフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （講義内プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （講義内プリントの閲覧、用語検索など）

▌教科書

manaba にアップするプリント・講義資料による

▌参考書

新聞各紙、経済誌

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：授業内容ガイダンス(毎回出席を取ります)** 授業内容：第 1 回目の授業では、『配付プリント』を読み、最新の交通市場の事例を解説を行いながら学んでいきます。 この『配付プリント』については、毎週配付し、課題を出しますので WEB 内レポート形式で提出してもらいます。 『配付プリント』は、最新の交通市場の事例の他に、就職を目前に控える学生の皆さんに是非知っておいてもらいたい日経平均株価をはじめとした市場の動向や為替、そして交通産業の個別銘柄株価などの動きをお伝えしていきます。 第 1 回目は、前期の授業最終日のデータと比較する形でグラフにして掲載してあります。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
2回	**授業テーマ：交通需要を決定する要因** 授業内容：第 2 回目の授業では、『講義資料』を使い、「交通需要を決定する要因」について学びます。 交通という特殊な市場において、その需要がどのような理由によって変動するのかを理解します。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
3回	**授業テーマ：交通需要の価格弾力性** 授業内容：第 3 回目の授業では、『講義資料』を使い、「交通需要の価格弾力性」について学びます。 弾力性とは、価格弾力性とは、そして需要の価格弾力性とは何なのかそして、交通需要の価格弾力性にはどのような傾向があるのかを理解します。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
4回	**授業テーマ：運賃の機能と目的** 授業内容：第 4 回目の授業では、『講義資料』を使い、「運賃の機能と目的」について学びます。 運賃とは何なのか、根本を理解するとともに、その機能と目的について理解していきます。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
5回	**授業テーマ：今の時代にマッチした規制(インセンティブ規制)** 授業内容：第 5 回目の授業では、『講義資料』を使い、「やる気を起こす規制の手法(インセンティブ規制)」について学びます。 規制緩和が進められる近年において、規制の緩和だけが現代にあった方法ではなく、新しい規制の形があることを学んでいきます。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
6回	**授業テーマ：総費用、平均費用、限界費用** 授業内容：第 6 回目の授業では、『講義資料』を使い、「交通サービスの生産費用(総費用、平均費用、限界費用)」について学びます。 経済学で学ぶ総費用曲線、平均費用曲線、限界費用曲線について、具体的な交通産業においてはどのような形になるのかを学びます。また、鉄道事業やバス事業などの具体の交通サービスに当てはめた場合、生産量の決定にどのような意思判断になるのかを学んでいきます。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
7回	**授業テーマ：正規国際航空運賃と格安航空券** 授業内容：第 7 回目の授業では、『講義資料』を使い、「格安交通券のカラクリ」について学びます。 国内の航空運賃、国際航空運賃について学び、続いて馴染み深い旅行代理店による格安航空券の仕組みについて理解します。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作

8回	**授業テーマ：航空会社が販売する割引運賃** 授業内容：第 8 回目の授業では、『講義資料』を使い、「航空会社が販売する割引運賃」について学びます。 航空会社に有利な条件を付して航空会社で直販できる時代が到来しました。航空会社にとって有利な条件とは一体何か学び航空会社の考え方を学びます。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
9回	**授業テーマ：航空機の座席マネジメント** 授業内容：第 9 回目の授業では、『講義資料』を使い、「航空機の座席マネジメント」について学びます。 航空機を満席にして運航するために様々な努力をしていますが、今回は、他の航空会社との連携と座席管理手法について学びます。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
10回	**授業テーマ：国内航空産業の歴史** 授業内容：第 10 回目の授業では、『講義資料』を使い、「国内航空産業の歴史」について学びます。 日本の航空産業の生い立ちから、現在に至るまで様々な出来事を時代を追いかけながら学びます。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
11回	**授業テーマ：米国の航空産業の歴史** 授業内容：第 11 回目の授業では、『講義資料』を使い、「米国の航空産業の歴史」について学びます。 アメリカ国内の航空産業に対する規制から、規制緩和などを紹介します。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
12回	**授業テーマ：ハブスポークシステム (1)** 授業内容：第 12 回目の授業では、『講義資料』を使い、「アメリカの航空戦争(米国の航空産業の歴史)」について学びます。 航空産業に対する規制緩和後に起こった国内各社の激しい争いや、競争の中で生まれた効率的な輸送体制などについて紹介します。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
13回	**授業テーマ：ハブスポークシステム (2)** 授業内容：第 13 回目の授業では、『講義資料』を使い、「ハブスポークシステム」について学びます。アメリカ国内の競争から生まれた効率的な輸送体制は世界を巻き込んでいきました。 アジア各国の航空産業・空港事業の現況と日本を比較検討してみます。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
14回	**授業テーマ：MaaS (1)** 授業内容：第 14 回目の授業では、『講義資料』を使い、「MaaS」について学びます。 サービスとしての交通(MaaS)とは何か学んでいきます。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作
15回	**授業テーマ：MaaS (2)** 授業内容：第 15 回目の授業では、『講義資料』を使い、「MaaS」について学びます。 サービスとしての交通(MaaS)とは何か学んでいきます。 事前学修 2.0hr：配付資料・プリントチェック、朝刊チェック、Web チェック 事後学修 2.0hr：配付資料・プリント重要箇所再確認、夕刊チェック、Web チェック、課題制作

経営分析 I

開講学科等：経　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

呉　東錫（お　どんそく）

▌授業の概要

本講義では、コーポレートファイナンス(企業財務)およびバリュエーション(企業価値評価)の手法を習得することを目的とする。
まず、バリュエーションの基礎を理解したうえで、財務諸表(貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等)から得られる情報を活用し、企業の経営状態の実態や課題を分析する手法を身につける。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 2/3、2020 年度以前入学生経営コース 3）

一般目標：財務諸表から必要な情報を取得し、分析できるようになる。
個別目標：1. バリュエーションの基礎を身につける。
2. 財務数値の意味を理解する。
3. 資本コストを理解する。

▌履修条件

1. 本講義は受講生参加型の講義であるため、受講生の積極的な参加が求められる。
2. 担当教員が指示する演習問題を解くこと。

▌評価基準・方法

平常点(学修への取組み態度・レポート)：40 %
期末試験：60 %

▌フィードバック方法

課題などのフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Excel などを操作し、分析する場合がある。）

▌教科書

朝岡大輔・砂川伸幸・岡田紀子『ゼミナール　コーポレートファイナンス』日本経済新聞出版、2022 年

▌参考書

奈良沙織『企業評価論入門』中央経済社、2019 年
小林俊之『実践！ コーポレートファイナンス』中央経済社、2019 年

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、経営分析とは** 授業内容：本講義の基本的な進め方やルール、経営分析の重要性 事前学修 2.0hr：シラバスを読んでおくこと 事後学修 2.0hr：ガイダンス時に配布する資料を再読すること
2回	**授業テーマ：バリュエーションの基礎 1** 授業内容：バリュエーションの考え方、リスク・リターンと価値、DCF 法、債券とローンの評価 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を事前に読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容および分析方法を復習すること。
3回	**授業テーマ：バリュエーションの基礎 2** 授業内容：株主と債権者、定率成長モデルと定額モデル、株式の評価 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を事前に読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容および分析方法を復習すること。
4回	**授業テーマ：価値の創造 1** 授業内容：サステナブル成長モデル、価値創造の条件 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を事前に読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容および分析方法を復習すること。
5回	**授業テーマ：価値の創造 2** 授業内容：日本企業の事例 事前学修 2.0hr：日本企業における SDGs の事例を検索してみること。また、教科書の該当箇所を事前に読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容および分析方法を復習すること。
6回	**授業テーマ：資本利益率とキャッシュフロー 1** 授業内容：財務諸表、資本利益率、ROE の分解(デュポン恒等式) 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を事前に読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容および分析方法を復習すること。また、一つの企業を選んで実際に分析してみること。
7回	**授業テーマ：資本利益率とキャッシュフロー 2** 授業内容：外部環境、バリューチェーン、M&A などが資本利益率に与える影響 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を事前に読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容および分析方法を復習すること。また、一つの企業を選んで実際に分析してみること。
8回	**授業テーマ：ポートフォリオと CAPM 1** 授業内容：収益率の分布と期待収益率、リスクとボラティリティ、ポートフォリオの効果 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を事前に読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容と分析方法を復習すること
9回	**授業テーマ：ポートフォリオと CAPM 2** 授業内容：市場リスクと固有リスク、市場ポートフォリオとベータ 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：講義内容と分析方法を復習すること、日本企業の事例を分析してみること
10回	**授業テーマ：資本コストの算出 1** 授業内容：CAPM と株式資本コスト、負債の資本コスト、WACC 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を事前に読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容および分析方法を復習すること。

11回	**授業テーマ：資本コストの算出2** 授業内容：アンレバードベータとレバードベータ、事業の資本コスト 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を事前に読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容および分析方法を復習すること。
12回	**授業テーマ：投資評価と財務モデル1** 授業内容：NPV、IRR、競争優位 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を事前に読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容および分析方法を復習すること。
13回	**授業テーマ：投資評価と財務モデル2** 授業内容：投資決定プロセス、投資プロジェクトと財務モデル、リアルオプション 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を事前に読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容および分析方法を復習すること。
14回	**授業テーマ：企業価値評価** 授業内容：エンタープライズ DCF 法、アンレバード FCF と税引後 WACC 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を事前に読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容および分析方法を復習すること。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：第 1 回から第 14 回までの内容を再確認し、質疑を行う。 事前学修 2.0hr：第 1 回から第 14 回までのテキストに目を通し、理解が不十分な点がないかを確認する。 事後学修 2.0hr：理解が不十分な点について、テキスト等を熟読すること。

経営分析Ⅱ

開講学科等：経　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

呉　東錫（お　どんそく）

▌授業の概要

経営分析Ⅱでは、経営分析Ⅰと同様に、コーポレートファイナンス（企業財務）およびバリュエーション（企業価値評価）の手法を学ぶ。
財務諸表（貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等）から得られる情報を活用し、企業の経営状態の実態や課題を分析する手法を習得する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 2/3、2020 年度以前入学生経営コース 3）

一般目標：財務諸表から必要な情報を取得し、分析できるようになる。
個別目標：1. 企業価値評価の基礎を身につける。
2. 資本構成および資金調達の基礎理論を学ぶ。
3. 企業の現金保有が企業経営に与える影響を理解する。

▌履修条件

基礎知識がなくても理解できるように説明するが、経営分析Ⅰを履修したうえで受講することが望ましい。

▌評価基準・方法

平常点（学修への取組み態度・レポート）：40 %
期末試験：60 %

▌フィードバック方法

課題などのフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Excel などを操作し、分析する場合がある。）

▌教科書

朝岡大輔・砂川伸幸・岡田紀子『ゼミナール　コーポレートファイナンス』日本経済新聞出版、2022 年

▌参考書

奈良沙織『企業評価論入門』中央経済社、2019 年
小林俊之『実践！ コーポレートファイナンス』中央経済社、2019 年

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：本講義の基本的な進め方やルール、経営分析の重要性 事前学修 2.0hr：シラバスを読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：ガイダンス時に配布した資料を再読すること。
2回	**授業テーマ：企業価値評価１** 授業内容：ターミナルバリュー、SDGs と企業価値評価、WACC と SDGs 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を事前に読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容および分析方法を復習すること。
3回	**授業テーマ：企業価値評価２** 授業内容：マルチプル法、マルチプル法と DCF の関係、企業価値評価の数値例 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を事前に読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容および分析方法を復習すること。
4回	**授業テーマ：バリュエーションと経営戦略１** 授業内容：競争優位と財務諸表、事業構造とシステマティックリスク、競争劣位企業の事業計画 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を事前に読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容および分析方法を復習すること。
5回	**授業テーマ：バリュエーションと経営戦略２** 授業内容：M&A のバリュエーション、競争優位とバリュエーション、事業ポートフォリオの評価 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を事前に読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容および分析方法を復習すること。
6回	**授業テーマ：クロスボーダーとベンチャーのバリュエーション１** 授業内容：クロスボーダーの投資評価、金利平価と購買力評価、クロスボーダーの投資評価 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を事前に読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容および分析方法を復習すること。
7回	**授業テーマ：クロスボーダーとベンチャーのバリュエーション２** 授業内容：カントリー・リスクプレミアム、期待収益率と目標収益率、ベンチャーキャピタル 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を事前に読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容および分析方法を復習すること。
8回	**授業テーマ：資本構成と資金調達１** 授業内容：資本構成とは、MM 定理、資本構成のトレードオフ理論 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を事前に読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容および分析方法を復習すること。
9回	**授業テーマ：資本構成と資金調達２** 授業内容：情報の非対称性、ペッキングオーダー理論、エージェンシー理論と資本構成 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を事前に読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容および分析方法を復習すること。
10回	**授業テーマ：エクイティファイナンス** 授業内容：エクイティファイナンスと EPS の希薄化、転換社債、資本構成とベータ 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を事前に読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容および分析方法を復習すること。
11回	**授業テーマ：ペイアウトと現金保有１** 授業内容：ペイアウト分析の基本モデル、自社株買いと配当のシグナル機能、エージェンシー理論とペイアウト 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を事前に読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容および分析方法を復習すること。

12回	**授業テーマ：ペイアウトと現金保有2** 授業内容：日本企業のペイアウト、現金保有のデータ分析 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を事前に読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容および分析方法を復習すること。
13回	**授業テーマ：現金保有が企業経営に与える影響** 授業内容：現金保有のトレードオフ理論、現金保有が株式リターンとマーケットシェアに与える影響 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を事前に読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容および分析方法を復習すること。
14回	**授業テーマ：企業と投資家** 授業内容：IR、エンゲージメント、ESG 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を事前に読んでおくこと。 事後学修 2.0hr：講義内容および分析方法を復習すること。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：第 1 回から第 14 回までの内容を再確認し、質疑を行う。 事前学修 2.0hr：第 1 回から第 14 回までのテキストに目を通し、理解が不十分な点がないかを確認する。 事後学修 2.0hr：理解が不十分な点について、テキスト等を熟読すること。

社会関連会計

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

大坪　史治（おおつぼ　ふみはる）

▌授業の概要

本講義の目的は、「企業」と「社会」の関わりについて国際的かつ中長期的視野から理解し、介在する課題について会計学のアプローチから考察することを通じて、外国語能力、国際的視野、ならびに専門知識を養うことである。

社会関連会計は、雇用問題、気候変動問題、多発する企業の不祥事、サステナビリティなどの社会的課題とそれに対する企業の対応が強く求められる、あるいは社会的課題がビジネスモデルに組み込まれる状況のなか、とても関心が高まっている会計領域の一つであり、会計関連の専門科目と環境関連の専門科目で習得した知識をもとに「企業と社会」についてより深く理解できる講義である。最新のデータや資料、企業の実践例に多く触れながら国内外のトレンドを正確に把握するとともに、関連理論を並行して習得する。

なお、業種や職種の志向を問わず多くの経営会計学を学ぶ学生にとって経済活動と社会とのバランス感覚あるいはビジネスセンスを身につけるうえで必要な教養、知識や技術を提供する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 3、2020 年度以前入学生経営コース 2）

一般目標：本講義は、企業活動の基本的仕組みと会計学の基礎知識と応用能力を習得し、現代企業の社会的性格を理解することを通じて課題解決センスや将来に実践しうる知識と技術を身につけることができる。

個別目標：企業と社会の間にはどのような課題があり、そしてその課題を介して両者の関係を論理的に説明することができる。また、会計情報に関する統計分析について触れ、データ分析の重要性について理解する。

▌履修条件

講義に対する関心と意欲を望む。

▌評価基準・方法

授業への取り組み度合(30%)、試験(70%)により評価します。

▌フィードバック方法

講義内および manaba での質疑応答および問題の解説をおこなう。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク・ディスカッションの実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業資料の閲覧、演習問題の実施）

▌教科書

なし

▌参考書

随時紹介

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：講義の概要と社会関連会計の学び方** 授業内容：社会関連会計の発展経緯と時代背景を捉え、現代的意義について理解する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、本講義の内容をイメージしておく。 事後学修 2.0hr：講義に関わりそうな新聞記事、雑誌を読む。
2回	**授業テーマ：会計学の体系と社会関連会計の基礎** 授業内容：会計学の基本と会計学のなかの社会関連会計について理解する。社会関連会計の特徴と現代企業に果たしている役割を理解する。 事前学修 2.0hr：会計学についての予備知識をつけておく。 事後学修 2.0hr：社会関連会計の意義について整理しておく。
3回	**授業テーマ：利益と非財務パフォーマンスの関係** 授業内容：利益と非財務パフォーマンスについて、時代や地域、個別企業、研究者の視点から、捉え方の多様性を理解する。 事前学修 2.0hr：企業にはどのような社会的な責任・役割があるか、自分なりの考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：実際に、興味のある企業の取り組みを調べてみる。紹介する本を手に取る。
4回	**授業テーマ：株式会社の構造と社会貢献** 授業内容：株式会社の構造を整理したうえで、CSV の概念について、企業実践例を踏まえながら考える。 事前学修 2.0hr：キーワード CSV について調べておく。 事後学修 2.0hr：CSR と CSV の違いについて整理しておく。
5回	**授業テーマ：付加価値会計の理論と実践** 授業内容：付加価値指標、労働生産性、労働分配率など CSR 会計関連の指標を理解する。 事前学修 2.0hr：企業活動が社会に与えるプラスの効果とマイナスの効果を考える。 事後学修 2.0hr：付加価値指標について、計算方法のバリュエーションを理解する。
6回	**授業テーマ：企業のサスティナビリティ** 授業内容：現代企業が中長期的に存続するために求められる(評価される)要素を理解する。 事前学修 2.0hr：企業の長期的存続に求められる要件を自分なりに考えておく。 事後学修 2.0hr：実際の企業の短期・中長期目標、リスクの対応について調べてみる。
7回	**授業テーマ：環境マネジメントの便益** 授業内容：環境マネジメントの理論と実践方法について 2 つの考え方を理解する。 事前学修 2.0hr：キーワード「ISO」と「ISO14001」を調べておく。 事後学修 2.0hr：コストの観点から、環境マネジメントの便益について整理する。
8回	**授業テーマ：環境と会計** 授業内容：会計学の基礎を学びながら環境問題の接点について理解する。 事前学修 2.0hr：環境問題と会計学の関わりについてイメージをしておく。 事後学修 2.0hr：紹介した理論のなかから、興味をもった理論についてさらに深く調べる。
9回	**授業テーマ：3 つのタイプの環境会計** 授業内容：環境会計の必要性について複数の理論から整理したうえで、環境会計の多様性を理解する。 事前学修 2.0hr：テキストを読んでおく。 事後学修 2.0hr：それぞれのタイプの環境会計の特徴を整理しておく。
10回	**授業テーマ：環境管理会計(1)** 授業内容：MFCA の目的と意義、ABC の基本原理を理解したうえで、NPO 計算から意思決定に与える影響について考える。 事前学修 2.0hr：伝統的な原価計算の目的を確認しておく。 事後学修 2.0hr：コスト、ボリューム、環境負荷の関連性について整理する。

11回	**授業テーマ：環境管理会計(2)** 授業内容：経済性と環境性の効率性を理解し、その有効性について理解する。 事前学修 2.0hr：「効率性」とは何か調べておく。 事後学修 2.0hr：エコ効率性指標の欠点について考える。
12回	**授業テーマ：企業の利害関係者とマテリアリティ** 授業内容：企業を取り巻く利害関係者と情報ニーズについて理解する。企業が利害関係者に対してどのような対応をとっているかを理解する。 事前学修 2.0hr：企業の利害関係者について調べておく。 事後学修 2.0hr：企業の持続可能性と企業の利害関係者を結び付けて考える。
13回	**授業テーマ：環境情報の重要性と情報開示** 授業内容：企業の情報ディスクロージャーの発展経緯と情報開示の動機について理解し、いくつかの観点から情報群を分類する。 事前学修 2.0hr：環境情報を開示するメリットとデメリットを考えておく。 事後学修 2.0hr：実際の企業の環境情報を読む。
14回	**授業テーマ：サステナビリティ報告書の現状と課題** 授業内容：国内外における報告書の開示状況を理解し、報告書の課題について考える。 事前学修 2.0hr：企業が作成・公表する報告書にはどのような種類があるか調べておく。 事後学修 2.0hr：なぜ企業はボランタリーに環境報告書等を公表するのか整理する。
15回	**授業テーマ：統合報告の国際的進展** 授業内容：財務情報と非財務情報の統合について国際的なトレンドから理解する。 事前学修 2.0hr：統合報告について事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：統合報告のメリットとデメリットを整理する。

証券論

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

酒巻　雅純（さかまき　まさずみ）

▌授業の概要

証券市場での資産運用を考える時代が到来し、「証券市場の仕組み」、「証券市場における価格形成のメカニズム」、「投資対象（株式、債券、デリバティブなど）のリスク・リターンの特性」及び「機関投資家（銀行、生保、年金基金等）の資産運用技法」などについての理解が欠かせません。
受講者が証券市場の仕組みや投資の基礎を修得できるように、分かりやすく講義します。また、能動的に学ぶ姿勢が身につくように、質疑時間等を十分に設けて、知識が実際の問題解決につながるような授業を行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 2、2020 年度以前入学生経営コース 3）

一般目標：株式、債券、デリバティブ等の金融商品や金融サービスの高度化・複雑化が進んでいます。そこで、受講生が、①証券市場や証券投資についての基礎と応用を体系的に学び、修得できること、②複雑な経済社会において「賢明な投資家（つまり、ご自身で考え、判断できる基礎知識を身につけた投資家）」になるための土台を修得できること、を目標とします。

個別目標：まず、金融・証券市場の基本を理解し、その上で、①株式・債券市場の仕組み、②マーケットにおける価格形成のメカニズム、③株式、債券、デリバティブなどのリスクとリターン、④機関投資家の資産運用技法等、証券市場の仕組みや証券投資に関する基礎知識を修得できること、を目標とします。

▌履修条件

必要な基礎知識は講義の中で復習するため、特に履修条件はありません。

▌評価基準・方法

原則、平常点 20 点（授業中のコメント・質疑応答や授業への貢献）及び期末試験（もしくはレポート）80 点として、総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （課題（もしくはグループディスカッション）等を通して問題解決へのアプローチ方法を身につけることを目標とする。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

酒巻雅純著 『現代証券市場論』泉文堂（2024）

▌参考書

その他、適宜、講義の中で紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：金融と証券（金融市場の基礎、資金循環構造、証券市場、発行市場、流通市場、投資の基礎）の基礎** 授業内容：マクロ資金循環構造、発行市場、流通市場、投資の基礎に関して学修する。 事前学修 2.0hr：雑誌・新聞等の証券関連記事を一読して、自分なりに証券市場に関するキーワードを整理しておきましょう。 事後学修 2.0hr：教科書・配布資料等を復習しましょう。
2 回	**授業テーマ：証券の種類①（株式会社、株式などについて学ぶ）** 授業内容：株式会社と株式（意義・内容・特徴）、株主有限責任を中心に学修する。 事前学修 2.0hr：株式会社における所有と経営の分離、コーポレートガバナンスについても調べましょう。 事後学修 2.0hr：教科書等を復習しましょう。
3 回	**授業テーマ：証券の種類②（債券について学ぶ）** 授業内容：債券（意義・種類・内容・特徴など）や金利、利回り、債券の価格などについて学修する。 事前学修 2.0hr：債券の価格と金利の関係、利回りなどについて調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：教科書等を復習しましょう。
4 回	**授業テーマ：証券評価の基本（証券の価値とは何か、時間価値、将来価値、現在価値の考え方について学ぶ）** 授業内容：証券の時間価値、将来価値、現在価値について学修する。 事前学修 2.0hr：証券評価の基本となるキーワードを整理して、調べておきましょう。 事後学修 2.5hr：配布資料の練習問題を復習しましょう。第 1 回～第 4 回までの講義内容のまとめを行いましょう。
5 回	**授業テーマ：株式市場（株式市場の機能、制度を中心に学ぶ）** 授業内容：株式の発行市場・流通市場、株価指数（日経平均、TOPIX）及び株価の尺度（PER、ROE）などについて学修する。 事前学修 2.0hr：株式発行・流通市場、株価指数について調べておきましょう。また、PER、ROE の意義について整理しましょう。 事後学修 2.5hr：会社財務の基本を押さえた上て、教科書・配布資料などの復習をしましょう。
6 回	**授業テーマ：債券市場（特に、企業が資金調達のために発行する社債について学ぶ）** 授業内容：債券とは何か、債券の種類、債券発行・流通市場について学修する。 事前学修 2.0hr：債券の発行・流通市場について調べておきましょう。債券（特に、社債）の基本的性格について調べておきましょう。 事後学修 2.5hr：教科書等を復習しましょう。
7 回	**授業テーマ：新規株式公開（IPO）** 授業内容：株式を公開（上場（じょうじょう））する意義やメリット・デメリットについて学修する。 事前学修 2.0hr：証券取引所に株式を公開する意義について調べておきましょう。 事後学修 2.5hr：教科書・配布資料等を復習しましょう。また、どのような会社が上場できるのか、上場基準などについて調べましょう。
8 回	**授業テーマ：債券の「信用格付け」（情報の非対称性、格付け記号などについて学ぶ）** 授業内容：「格付け」とは何か。さらに、なぜ、「格付け」が注目され、「サブプライムローン問題・世界的金融危機」が発生したのかについて学修する。 事前学修 2.0hr：「格付け」とは何か、そしてなぜ、注目されるのかについて調べておきましょう。 事後学修 3.0hr：第 5 回～第 8 回までの教科書・配布資料等の内容を復習し、質疑応答などにより理解不足のところが無いようにしましょう。
9 回	**授業テーマ：証券投資論・ポートフォリオ理論の基礎①（リスクと証券について学ぶ）** 授業内容：株式等の危険資産の「リスクとリターン」の基本的な考え方について学修する。 事前学修 2.0hr：証券投資論における「リスクとリターン」の基本的な考え方や、なぜリターンがリスクと密接に関係しているかを考えましょう。 事後学修 3.0hr：配布資料等の計算問題を回答して、復習しましょう。
10 回	**授業テーマ：証券投資論・ポートフォリオ理論の基礎②（CAPM：資本価格形成モデルについて学ぶ）** 授業内容：証券投資論における「ポートフォリオ」とは何か、その意義や CAPM について学修する。 事前学修 2.0hr：「ポートフォリオ」とは何か、分散投資によるリスク軽減効果等について考えてみましょう。 事後学修 3.0hr：教科書・配布資料の計算問題を復習しましょう。

11回	**授業テーマ：金融派生商品・デリバティブ①(先物取引について学ぶ)** 授業内容：先物取引とは何か、その仕組みと具体的な活用方法・事例に関して学修する。 事前学修 2.0hr：なぜ、先物取引が必要か、その意義や活用の仕方について調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：配布資料等を復習しましょう。特に、先物取引の投資手法(ヘッジ、アービトラージなど)についてまとめておきましょう。
12回	**授業テーマ：金融派生商品・デリバティブ②(オプション取引について学ぶ)** 授業内容：オプション取引とは何か、その仕組みと活用方法に関して学修する。 事前学修 2.0hr：オプション取引の意義、仕組み、コール・オプション、プット・オプションについて調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：配布資料等を復習しましょう。
13回	**授業テーマ：投資信託** 授業内容：投資信託は、その特性により主要な資産運用商品となるものであるから、その意義、仕組み、分類などについて学修する。 事前学修 2.0hr：投資信託の仕組みについて調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：教科書・配布資料等を復習しましょう.
14回	**授業テーマ：その他のテーマ(証券会社の役割、ESG 投資など)** 授業内容：その他のテーマとして、証券会社の役割、ESG 投資などに関して学修する。 事前学修 2.0hr：これまでの講義の論点の中で、理解できない内容を整理し、理解不足がないように準備しておきましょう。 事後学修 4.0hr：全体講義のまとめを、自分なりに再整理しましょう。
15回	**授業テーマ：全体の講義のまとめと試験要領等の説明** 授業内容：全体講義の内容のまとめ行い、体系的に学修内容の再整理を行う。 事前学修 2.0hr：全体講義の内容を再確認・整理し、不明な点がないように調べておきましょう。 事後学修 4.0hr：不明な点がないように、積極的に質問をしてください。

マーケティング論 I

開講学科等：経　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

飯田　信一（いいだ　のぶかず）

▌授業の概要

本講義ではマーケティングの基礎を学びます。マーケティングについて皆さんに興味を持って頂くことが目的となります。講義の前半は、毎回具体的な企業の事例に基づき、分かり易くマーケティングの基本的な概念や理論について講義を行います。講義の後半では、国際マーケティングも事例を中心に学びます。なお、授業の中で取り上げる企業事例については、皆さんの関心度合いや指向により適宜変更する可能性があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 2、2020 年度以前入学生経営コース 3）

一般目標：1）マーケティングを日常生活場面で、身近な問題として考える姿勢を身につける。
2）マーケティングの基礎的な用語や基本的なフレームワークの意味を理解し、活用できるようになる。
3）グループディスカッションを通じて、自分の考えを分かり易く発信し、他者と共有できるようになる。

個別目標：1）興味、関心がある企業や業界について深堀して考え、ご自身なりに分析や解釈ができるようになること。
2）マーケティングの考え方やフレームワークをご自身の就職活動や今後のキャリアの上で活用することができるようになること。

▌履修条件

マーケティングを社会に出てから必要になると考え、興味を持って授業に参加する学生や将来国際的な仕事に就きたいと考えている学生の受講を歓迎します。普段の授業で行う小テストの評価比重が高いので、継続して出席する意欲が必要です。授業は 1 回毎に完結している訳ではなく、毎回関連性があり繋がって行きます。

▌評価基準・方法

1）授業の理解度と貢献度（小テスト、課題、ディスカッションへの参加等）　60%
2）期末試験　40%
留意：原則として、授業の 5 分の 4 以上の出席および期末試験受験が評価の前提条件となります。

▌フィードバック方法

小テスト、課題は個別のフィードバックはしませんが、翌週の講義で総合的な講評をします。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （適宜グループディスカッション、グループワークを行います。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

必要に応じて資料を提示します。

▌参考書

適宜、授業の中で提示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス、マーケティングの定義** 授業内容：本講義の概要、到達目標の説明、評価方法、マーケティングを学ぶ意義について講義します。 事前学修 2.0hr：マーケティングとはどのような学問か、ご自分で調べてみてください。 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
2 回	**授業テーマ：マーケティングとは何か　概論** 授業内容：マーケティングの定義をスターバックスとドトールコーヒーの事例（予定）を比較しながら考える。「誰に」「何を」「どのように」という切り口で整理して、比較してみる。両者がどのような顧客価値を提供しているか、相違点を浮き彫りにし、何故そのような相違が生まれるのか、考えを深める。 事前学修 2.0hr：スターバックスやドトール等、コーヒーチェーンが顧客にどのような価値を提供しているのか考えてみる。 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
3 回	**授業テーマ：マーケティング活動：　計画を立てる** 授業内容：市場とは何か、市場をどう決めるか。STP（セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニング）の考え方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：市場とは何かについて、自分なりに考えてみる。 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
4 回	**授業テーマ：マーケティング・ミックス（1）プロダクト（商品戦略）** 授業内容：マーケティング・ミックス 4P のうち、プロダクト（商品戦略）の考え方を学ぶ。 事例：日清食品（予定） 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
5 回	**授業テーマ：マーケティング・ミックス（2）プライス（価格戦略）** 授業内容：マーケティング・ミックス 4P のうち、プライス（価格戦略）の考え方を学ぶ。 企業はどのようにして価格を決めているのか、同じ業界内でもなぜ価格戦略に相違があるのか、様々な価格設定方法について理解を深める。 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
6 回	**授業テーマ：マーケティング・ミックス（3）プレイス（流通戦略）** 授業内容：マーケティング・ミックス 4P のうち、プレイス（流通戦略）の考え方を学ぶ。 事例：コンビニエンスストア（セブンイレブン等）の流通戦略について。 従来型の小売業（百貨店、スーパーマーケット等）が衰退し、コンビニエンスストアが主要な流通手段に成長した経緯、出店戦略、商品の仕入れ、物流センターから店舗間の物流の仕組みについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
7 回	**授業テーマ：マーケティング・ミックス（4）プロモーション（コミュニケーション戦略）** 授業内容：マーケティング・ミックス 4P のうち、プロモーション（＝コミュニケーション戦略）の考え方を学ぶ。 各企業の広告マネジメントを消費者対応、競争対応、ブランド対応の観点から評価、理解を深める。 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。

8回	**授業テーマ：顧客価値、顧客満足とは何か** 授業内容：顧客価値、顧客満足について学ぶ。 具体的な企業の顧客マネジメント事例を通じて、顧客価値、顧客満足についての理解を深める。 企業事例：「無印良品」の製品開発手法(予定) 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
9回	**授業テーマ：ブランド戦略** 授業内容：ブランドとは何か、定義を理解し、ブランドの機能や効果を考える。ブランドの優位性はどのように作り出すのかを理解する。 事例：「無印良品」(予定) ブランドの優位性、連想イメージ、企業によるコミュニケーション活動について理解を深める。 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
10回	**授業テーマ：4P (マーケティングミックス)まとめ** 授業内容：これまで学んだ 4P の枠組みを活用し、企業事例にあてはめ分析を行う。 事例企業：コメダ珈琲(予定) 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
11回	**授業テーマ：グローバルマーケティング①** 授業内容：外資系企業が日本市場で競争する事例：　クリスピークリームドーナツ・ジャパン或いはネスレ・ジャパン(予定) 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
12回	**授業テーマ：グローバルマーケティング②** 授業内容：国境を越えるマーケティングの勘所、成功要因について、CAGE 分析など含め、具体的企業事例を通じて学ぶ。 企業事例：　ローソンのアジア場戦略或いは、伊藤園の緑茶飲料の欧州市場戦略(予定) 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
13回	**授業テーマ：サービス・マーケティング戦略** 授業内容：企業事例：　QB ハウス或いはオイシックス(予定) サービス取引の特徴、モノのマーケティングとの相違を企業事例を通じて学ぶ。 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
14回	**授業テーマ：マーケティング総合** 授業内容：企業事例：　ドン・キホーテの経営戦略 ドン・キホーテの経営戦略をひも解き、企業における「強み」の作り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
15回	**授業テーマ：マーケティング論の総括** 授業内容：これまでの講義内容の振り返り、まとめを行う。また、取り扱えなかったテーマについて補足する。 事前学修 2.0hr：これまでの講義の内容、キーワードを復習しておくこと。 事後学修 2.0hr：本講義の内容を振り返り、重要な概念について復習すること。

マーケティング論Ⅱ

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

飯田　信一（いいだ　のぶかず）

▌授業の概要

社会のグローバル化、デジタル化の進行に伴い、マーケティングもそれに従って、より複雑に高度に進化を遂げています。本講義では、変化の激しいマーケティングの様相について、具体的な企業の事例を通じて、皆さんの理解を手助けします。「マーケティング論Ⅰ」では「顧客満足」という視点に軸足を置いてきましたが、「マーケティング論Ⅱ」では「顧客創造」という応用的な観点から進めて行きます。なお、授業の中で取り上げる企業事例は、皆さんの関心度合い、理解度によって適宜変更する可能性があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 2、2020 年度以前入学生経営コース 3）

一般目標：1）最新のマーケティングの考え方を理解し、現代のマーケティングの課題について考える習慣をつけること。
　　2）多様な戦略を学ぶことで、より複雑なマーケティング戦略を分析、理解できる力を身に着けること。
個別目標：1）興味、関心のある企業や業界について深堀し、自分なりに分析や解釈ができるようになること。
　　2）多様な企業や業界を知ることで、ご自身の考え、視野の幅を広げ、マーケティング感度を高めること。

▌履修条件

「マーケティング論 I」の知識を前提として進めるので、「マーケティング論Ⅰ」を履修済みであること。
マーケティングに関心があり、社会に出てからもそれを活かしてみたいと考える学生、将来国際的な仕事に就きたいと考える学生を歓迎します。普段の授業で行う小テストの評価比重が高いので、継続して出席する意欲が必要です。

▌評価基準・方法

1）授業の理解度と貢献度（小テスト、課題、ディスカッションへの参加等）60 %
2）期末試験　40 %（＊記述式）
留意：原則として、授業の 5 分の 4 以上の出席および期末試験の受験が評価の前提条件となります。

▌フィードバック方法

小テスト、課題は個別のフィードバックはしませんが、翌週の授業の中で総合的な講評を行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （適宜グループ・ディスカッション、グループワークを行います。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

必要に応じて資料を提示します。

▌参考書

適宜、授業の中で提示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：マーケティング発想、「顧客創造」の観点** 授業内容：本講義の概要説明、評価方法について説明します。マーケティング発想ににとって重要な「顧客創造」の観点を学びます。 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
2回	**授業テーマ：「顧客創造」の事例研究** 授業内容：企業事例：chocoZAP の成功要因分析（予定） 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
3回	**授業テーマ：競争戦略①基礎** 授業内容：M.E ポーターの「競争戦略」を学ぶ。差別化戦略について。 企業事例：　モスバーガー（予定） 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
4回	**授業テーマ：競争戦略②基礎** 授業内容：M.E ポーターの「競争戦略」を学ぶ。集中戦略（差別化集中）について。 企業事例：　ラッキーピエロ（予定） 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
5回	**授業テーマ：競争戦略③応用** 授業内容：M.E ポーターの「競争戦略」を学ぶ。集中戦略（コスト集中）について。 企業事例：　ガリガリ君（赤城乳業）予定 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
6回	**授業テーマ：サービスマーケティング①基礎** 授業内容：モノとサービスの相違点、特性について。マーケティングミックスの拡張（4P から 7P へ） 企業事例：　東京ディズニーランド（或いは、USJ）予定 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
7回	**授業テーマ：サービスマーケティング②応用** 授業内容：サービストライアングルの考え方を学ぶ。 企業事例：　東京ディズニーランド（或いは、USJ）予定 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
8回	**授業テーマ：戦略の立て方** 授業内容：差別化のみならず、いかに競争優位を持続的に維持し模倣困難性を高めるか、戦略の立て方について学ぶ。 企業事例：　「まいばすけっと」（イオン子会社）の戦略（予定） 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。

9回	**授業テーマ：「製品」開発の秀逸事例** 授業内容：マーケティング論Ⅰで学んだ 4P のうち、「製品」開発についての秀逸事例を取上げる。 企業事例：　ユニクロ(或いは GU)予定 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
10回	**授業テーマ：「価格」設定の秀逸事例** 授業内容：マーケティング論Ⅰで学んだ 4P のうち、「価格」戦略についての秀逸事例を取上げる。。 企業事例：サイゼリヤ　予定 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
11回	**授業テーマ：「プロモーション」の秀逸事例** 授業内容：マーケティング論Ⅰで学んだ 4P のうち、「プロモーション」戦略についての秀逸事例を取上げる。。 企業事例：ユニクロ　予定 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
12回	**授業テーマ：「チャネル」(流通経路)の秀逸事例** 授業内容：マーケティング論Ⅰで学んだ 4P のうち、「チャネル」戦略についての秀逸事例を取上げる。。 企業事例：　ヤクルト或いは資生堂等(予定) 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
13回	**授業テーマ：在庫戦略①基礎** 授業内容：在庫の役割、在庫・生産・販売の連携のあり方について学ぶ。 企業事例：　カルビー(予定) 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
14回	**授業テーマ：在庫戦略②応用** 授業内容：在庫戦略の類型、それぞれのメリット・デメリットを企業事例を通じて学ぶ。 企業事例：　カルビー(予定) 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
15回	**授業テーマ：総括、振り返り** 授業内容：本講義を振り返り、総復習、総括をします。 事前学修 2.0hr：これまで学習した内容、キーワードの振り返り。 事後学修 2.0hr：これまでの講義で学習した内容を復習、確認する。試験準備。

国際経営学Ⅰ

開講学科等：経　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

飯田　信一（いいだ　のぶかず）

▌授業の概要

経済のグローバル化が進み、国境を越え海外で事業を展開し、収益を上げることは，現代の企業にとって重要な経営課題である。本講義では，企業を取り巻く国際環境を政治，経済，歴史などの面から概観し，企業経営の国際化について学ぶ。初めて国際経営を学ぶ者を対象としているため，理論や概念の解説をできる限り簡潔にしつらえ，海外進出企業の事例を取上げて解説して行く。取り上げる企業事例は、履修者の興味・関心の度合いによって適宜変更する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 2、2020 年度以前入学生経営コース 3）

一般目標：グローバルな視点でものごとを考え、国境を越えて活動する企業経営の実情を理解すること。
個別目標：１．グローバルな視点(世界標準化、現地最適化)の理解
　　２．国際経営の基礎的な知識の習得

▌履修条件

まず、海外に関心があること、あるいは将来海外に携わる仕事に就いてみたいという意欲があること。
マーケティング論Ⅰ・Ⅱ、経営戦略論Ⅰ・Ⅱの知識を前提としており、いずれか 1 つを履修済であること。
普段の授業で行う小テストの評価比重が高いので、継続して出席する意欲が必要です。

▌評価基準・方法

小テスト(60 %)、期末テスト(40 %)
なお，原則 5 分の 4 以上の出席および期末試験受験を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは，学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （適宜グループディスカッション、グループワークを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

講義の中で適宜示します。

▌参考書

中川功一，林正，多田和美，大木清弘【著】『はじめての国際経営』 有斐閣ストゥディア

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス，国際経営とは何か** 授業内容：講義全体の流れ、評価基準の説明。 国際経営の本質、難しさについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義の復習
2回	**授業テーマ：海外直接投資** 授業内容：海外直接投資について学ぶ。 企業事例：ダイキン工業のインド市場進出(予定) 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義の復習
3回	**授業テーマ：海外進出後の事業運営** 授業内容：海外進出後の事業運営のあり方について学ぶ。 事例：ローソンのインドネシア進出(予定) 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義の復習。
4回	**授業テーマ：現地適応化** 授業内容：海外進出後の現地適応化のあり方について学ぶ。現地の流通構造にどう対処すべきか。 企業事例：フマキラーのインドネシア進出(予定) 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義の復習。
5回	**授業テーマ：世界標準化** 授業内容：現地適応化に対して、世界標準化をどう進めるか。 企業事例：ヤクルトの海外事業(予定) 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義の復習
6回	**授業テーマ：外資系企業の日本市場戦略①** 授業内容：外資にとって難易度の高いといわれる日本市場攻略について。 日本の流通構造への対応。 事例：コストコの日本市場戦略(予定) 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義の復習
7回	**授業テーマ：外資系企業の日本市場戦略②** 授業内容：外資にとって難易度の高いといわれる日本市場攻略について。 世界標準化の進め方。 事例：イケアの日本市場戦略(予定) 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義の復習
8回	**授業テーマ：海外ブランド戦略** 授業内容：海外ブランドの戦略を学ぶ。 事例：ゴディバジャパン 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義の復習

9回	**授業テーマ：海外ものづくり戦略①** 授業内容：海外市場でのものづくりのあり方を学ぶ。 現地パートナーとの協働、流通戦略。 事例：エースコックのベトナム市場戦略(予定) 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義の復習
10回	**授業テーマ：海外ものづくり戦略②** 授業内容：海外市場でのものづくりのあり方を学ぶ。 市場の高度化への対応、マーケティング戦略。 事例：エースコックのベトナム市場戦略(予定) 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義の復習
11回	**授業テーマ：サービス業の国際化** 授業内容：旅行関連サービス業の国際化戦略。 企業事例：JTB（予定） 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義の復習
12回	**授業テーマ：海外進出のプロセス：段階的な進出①** 授業内容：段階的な海外進出のあり方を学ぶ。 事例：キッコーマンの米国事業(予定) 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義の復習
13回	**授業テーマ：海外進出のプロセス：段階的な進出②** 授業内容：段階的な海外進出のあり方を学ぶ。特に難易度が高いとされる食分野の事例。 事例：ハウス食品の海外進出(予定) 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義の復習
14回	**授業テーマ：グローバル・プラットフォーム** 授業内容：プラットフォーム企業、そのビジネスモデルについて学ぶ。 事例：アマゾン(予定) 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義の復習
15回	**授業テーマ：講義の総まとめ** 授業内容：前期講義の総括、総復習。 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義全体の復習。

国際経営学Ⅱ

開講学科等：経　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

飯田　信一（いいだ　のぶかず）

▌授業の概要

経済のグローバル化が進み、国境を越え海外で事業を展開し、収益を上げることは，現代の企業にとって重要な経営課題である。本講義では，企業を取り巻く国際環境を政治，経済，歴史などの面から概観し，企業経営の国際化について学ぶ。理論や概念の解説をできる限り簡潔にしつらえ，海外進出企業の事例を取上げて解説して行く。「国際経営学Ⅰ」は基礎的な内容であるのに対し、「国際経営学Ⅱ」ではより応用的な内容を扱う。取り上げる企業事例は、履修者の関心度合い、理解度によって適宜変更する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 2、2020 年度以前入学生経営コース 3）

一般目標：グローバルな視点でものごとを考え、国境を越えて活動する企業経営の実情を理解すること。
個別目標：1．国際経営の応用的な知識の把握、理解
　　2．国際経営の現代的な課題についての理解

▌履修条件

まず、海外に関心があること、あるいは、将来海外に携わる仕事に就きたいという希望があること。
1．国際経営学Ⅰでの基礎知識を前提としているため、「国際経営学Ⅰ」を履修済であること。
2．マーケティングⅠ・Ⅱ、経営戦略Ⅰ・Ⅱの知識を前提にしているので、いずれかを履修済であること。
普段の授業で行う小テストの評価比重が高いので、継続して出席する意欲が必要です。

▌評価基準・方法

小テスト(60 %)、期末テスト(40 %)
なお，原則 5 分の 4 以上の出席および期末試験受験を評価の前提条件とする。
＊期末試験は、本科目への深い理解を問うショートケースを読解、解答する「記述式」が主体である。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは，学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （適宜グループディスカッション、グループワークを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜教員が資料を提示

▌参考書

適宜教員が資料を提示

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：異文化経営①** 授業内容：国際経営において、進出先と本国との様々な隔たり(文化的、制度的、地理的、経済的)をどのように克服するかという視点で、CAGE 分析、ホフステード指標などを踏まえ、異文化チームの活かし方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義の復習
2回	**授業テーマ：異文化経営②** 授業内容：前回授業を踏まえ、進出先と本国との隔たりが大きいと言われるアフリカ、中近東等の地域での事業展開を如何に進めるか、 企業事例：ユニ・チャーム(予定)を通じて分析を進める。 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義の復習
3回	**授業テーマ：海外ブランド戦略** 授業内容：企業事例：レクサス(予定)を取り上げ、グローバル・ブランド、ローカル・ブランドの戦略を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義の復習。
4回	**授業テーマ：海外スポーツブランドの戦略** 授業内容：企業事例：バタフライ(卓球ラケット：予定)を取り上げ、海外でのスポーツブランドの競争優位構築の方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義の復習。
5回	**授業テーマ：小売業の国際化①** 授業内容：企業事例としてイオン(予定)を取り上げ、主にアジア地域での進出経緯を辿ることで、同社が進める「グローカル」戦略の在り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義の復習
6回	**授業テーマ：小売業の国際化②** 授業内容：引き続きイオン(予定)を取り上げるが、「流通構造」の捉え方に加え、海外での「事業システム」の構築方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義の復習
7回	**授業テーマ：ボーングローバル企業①** 授業内容：創業間もない段階で海外市場での事業展開を行うボーングローバル企業について、事例：テラモーターズ(予定)を取り上げ、ボーングローバル企業の特徴、戦略の在り方について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義の復習
8回	**授業テーマ：ボーングローバル企業②** 授業内容：前回授業に引き続き、ボーングローバル企業の戦略について取り上げる。事例としては、アフリカで電力の小分け事業に取り組む「WASSHA] (予定)を通じて、ビジネスモデルの全体像を把握していく。 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義の復習
9回	**授業テーマ：海外子会社の育成** 授業内容：海外子会社をどのように自立させ、早期収益化を図るか、その役割進化や親会社からの支援の在り方について分析を進める。 企業事例：コカ・コーラ日本法人(予定) 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義の復習

10回	**授業テーマ：グローバルホテルの戦略** 授業内容：企業事例として、ハイヤットや星野リゾートを取り上げ、グローバル市場を舞台とするホテルビジネスの経営方式を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義の復習
11回	**授業テーマ：飲食ビジネスの国際化** 授業内容：飲食産業の国際化を学ぶ。マクドナルドなどの先行する飲食グローバル企業に対して、事例として取り上げるトリドール(丸亀製麺などを運営)がどのような市場戦略(パートナー連携も含め)を取っているかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義の復習
12回	**授業テーマ：国際パートナーシップ** 授業内容：国際経営はすべてを自社で賄う直接投資のみならず、自社は得意分野、戦略的に重要な分野に集中し、他は市場メカニズムを使いながら他社に任せるという「国際パートナーシップ」戦略もあり得る。具体的な企業事例として、ＥＭＳ企業である鴻海などを取り上げるとともに、様々なパートナーシップ形態を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義の復習
13回	**授業テーマ：総合商社の経営史** 授業内容：総合商社の発展の歴史を追うことで、取引介在型の収益モデルから、バリューチェーン全体に投資し収益を取り込む事業経営モデルへの変遷を学ぶ。企業事例：三菱商事(予定)。 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義の復習
14回	**授業テーマ：リバースイノベーション** 授業内容：新興国で生まれたイノベーションを先進国に展開・移植するというリバースイノベーションについて、国内外の複数企業の事例を通じて学ぶ。リバースイノベーションの類型化と事業化の観点を併せて分析する。 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義の復習
15回	**授業テーマ：講義の総まとめ** 授業内容：後期講義の総括、総復習。 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義全体の復習。

人的資源管理論 I

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

黒木　英昭（くろき　ひであき）

▌授業の概要

企業をはじめとして、組織の経営には、四大経営資源とも呼ばれるヒト、モノ、カネ、情報など様々な資源が必要です。
なかでも「ヒト」、つまり「人的資源」は、他の経営資源を効果的に創造し活用する主体であり、最も重要な経営資源と言えるでしょう。
このため企業では、採用、人材育成、報酬や昇進、労働環境などの制度整備を通じて、従業員が、遺憾なくその能力を発揮できるように努めています。
本講義では、こうした人的資源管理を構成する各要素について、その目的や制度、課題などを概観するとともに、近年の SDGs/ESG 経営の浸透による「働き方改革」やウェル・ビーイングなどの視点も加えて、急速に変化しつつある人的資源管理システムの実際を学びます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 2/5、2020 年度以前入学生経営コース 3）

一般目標：企業組織における人的資源管理システムの主要な構成要素である採用、人材育成、人事評価、報酬や昇進、労働環境の整備、モティベーションを高める方策などについて、その仕組みや設定の背景・経緯、近年の変化などを理解する。
また、従業員の多様性の尊重やウェル・ビーイング(心身の健康や社会的充足感が満たされた状態)を考慮した「働き方改革」など、これからの人的資本管理の展望についても考察できるようになる。

個別目標：将来、就職先の選択をする際に、人的資源管理の仕組みを企業ごとに比較検討・評価できるようになる。
また、自らのキャリア形成やライフデザインをよりよりものにするために、人的資源管理システムの各種制度を適切に活用できる視点を養う。

▌履修条件

人的資源管理ⅠとⅡを通して、人的資源管理システムの全容を理解するため、人的資源管理Ⅱと合わせて履修することを希望する。

▌評価基準・方法

コメントシート(30 %)、小レポートとグループワーク(30 %)、期末試験(40 %)
コメントシートは、毎回の講義後に、最も関心を持ったこと、更に知りたいこと、質問などを記入して貰います。
なお、原則として、全 15 回の講義のうち 5 分の 4 以上の出席と期末試験の受験を評価の前提条件とします。

▌フィードバック方法

コメントシートや授業中の質疑で挙げられた疑問や課題、所感については、次回の講義の際にフィードバックし、全体で共有して理解を深めることとします。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （適宜、グループ・ディスカッションやグループ・ワークを行います）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （但し、講義中のノートの作成や事前・事後学修、小レポートの作成などで積極的に使用することを推奨）

▌教科書

上林憲雄・庭本佳子(編著)(2025)　『人的資源管理(第 2 版)』　中央経済社

▌参考書

講義のテーマに応じて、適宜、教員が紹介する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション：人的資源管理とは(第 1 章 人的資源管理入門)** 授業内容：人的資源管理 (HRM:Human Resource Management) とは何か。人的資源管理システムの意味や主要な仕組みについて学びます。 事前学修 2.0hr：教科書第 1 章の予習。人事部の役割とは何かについて考えてきてください。 事後学修 2.0hr：講義資料や講義を通じて分かったことを復習し、関心を持ったことや疑問について調べてみてください。
2 回	**授業テーマ：第 1 章 人的資源管理入門** 授業内容：人的資源管理の変遷について、特に、近年の特徴的な人的資本のとらえ方や仕組みの変化について学びます。 事前学修 2.0hr：教科書第 1 章の予習。人事労務管理と人的資源管理の違いについて考えてきてください。 事後学修 2.0hr：講義資料や講義を通じて分かったことを復習し、関心を持ったことや疑問について調べてみてください。
3 回	**授業テーマ：第 2 章　戦略的人的資源管理** 授業内容：企業戦略と人的資源管理とを結びつける「戦略的人的資源管理」にかんして、従業員を尊重し、その能力を引き出す活動とはどのようなものかを学びます。 事前学修 2.0hr：教科書第 2 章の予習。スポーツチームを想定し、勝てるチームを作るための人的資源管理とはどのようなものか、考えてきてください。 事後学修 2.0hr：講義資料や講義を通じて分かったことを復習し、関心を持ったことや疑問について調べてみてください。
4 回	**授業テーマ：第 2 章　戦略的人的資源管理** 授業内容：戦略的人的資源管理に関して、具体的にどのように、企業の戦略と人的資源管理を結びつけるのかを、幾つかのケース(事例)をもとに学びます。 事前学修 2.0hr：教科書第 2 章の予習。企業の戦略と人的資源管理システムを連動させるために大事なことは何か、について考えてきてください。 事後学修 2.0hr：講義資料や講義を通じて分かったことを復習し、関心を持ったことや疑問について調べてみてください。
5 回	**授業テーマ：第 3 章　組織構造** 授業内容：企業や官公庁などの組織の構造がどのようなものかを学びます。 特に、組織の分け方(分業のあり方)と分けた組織間の連携・統合の必要性と、それを実現する人の役割を学びます。 事前学修 2.0hr：教科書第 3 章の予習。「分業」とは何か、その意義は何かを考えてきてください。 事後学修 2.0hr：講義資料や講義を通じて分かったことを復習し、関心を持ったことや疑問について調べてみてください。
6 回	**授業テーマ：第 3 章　組織構造** 授業内容：企業や官公庁などの組織の構造がどのようなものかを学びます。 特に、組織の分け方(分業のあり方)に応じて、従業員への仕事の割り当てがどのようにデザインされるのか、これによってどのようなメリットや課題があるのかを学びます。 事前学修 2.0hr：教科書第 3 章の予習。チーム作業(チームとして割り当てられた仕事を達成する)のメリットについて考えてきてください。 事後学修 2.0hr：講義資料や講義を通じて分かったことを復習し、関心を持ったことや疑問について調べてみてください。
7 回	**授業テーマ：第 4 章　モチベーション** 授業内容：人間のモチベーションとは何か、どのように生まれるのか、心理的視点から考察します。 事前学修 2.0hr：教科書第 4 章の予習。マズローの欲求段階説やハーズバーグの職務満足・不満足要因から、自身のモチベーションを高めるもの、下げるものを考えてきてください。 事後学修 2.0hr：講義資料や講義を通じて分かったことを復習し、関心を持ったことや疑問について調べてみてください。

8回	**授業テーマ：第 4 章　モチベーション** 授業内容：仕事や自己成長に対するモティベーションを高めるための仕組みについて、企業などの現状や近年の変化を含め学びます。 事前学修 2.0hr：教科書第 4 章の予習。自分の経験として、サークルやアルバイトで、どのような仕事や役割を面白いと感じるか、考えてきてください。 事後学修 2.0hr：講義資料や講義を通じて分かったことを復習し、関心を持ったことや疑問について調べてみてください。
9回	**授業テーマ：第 5 章 コミットメント** 授業内容：個人が所属する組織に対して抱く感情的・物質的な態度(コミットメント)とはどのようなものかを学びます。 事前学修 2.0hr：教科書第 5 章の予習。自身が所属するサークルやアルバイト先に対して、コミットメントが高い理由(あるいは不満の理由)を考えてきてください。 事後学修 2.0hr：講義資料や講義を通じて分かったことを復習し、関心を持ったことや疑問について調べてみてください。
10回	**授業テーマ：第 5 章 コミットメント** 授業内容：コミットメントを重視した人的資源管理とはどのようなものか、具体的な企業のケース(事例)を通じて学びます。 事前学修 2.0hr：教科書第 5 章の予習。こんな企業や組織で働きたいと思えるような人的資源管理の仕組みにはどのようなものがあるか、考えてきてください。 事後学修 2.0hr：講義資料や講義を通じて分かったことを復習し、関心を持ったことや疑問について調べてみてください。
11回	**授業テーマ：第 6 章　リーダーシップ** 授業内容：人的資源管理を含めて組織のマネジメントを担う「マネジャー」と「リーダー」との違いや、優れたリーダーシップとは何かを学びます。 事前学修 2.0hr：教科書第 6 章の予習。サークルやアルバイト先で、この人についていきたいと思える先輩や上司のリーダーシップの特徴とはどのようなものか、考えてきてください。 事後学修 2.0hr：講義資料や講義を通じて分かったことを復習し、関心を持ったことや疑問について調べてみてください。
12回	**授業テーマ：第 6 章　リーダーシップ** 授業内容：近年の組織のマネジャーに求められる「新たなリーダーシップのあり方」について、幾つかのケース(事例)を通じて学びます。 事前学修 2.0hr：教科書第 6 章の予習。変化の激しい時代に求められるリーダーシップとは何かを考えてきてください。 事後学修 2.0hr：講義資料や講義を通じて分かったことを復習し、関心を持ったことや疑問について調べてみてください。
13回	**授業テーマ：第 7 章　雇用** 授業内容：人と職務のマッチングを図るための雇用管理の仕組みを学びます。特に、雇用の種類と特徴、人事資格・等級などの制度について学びます。 事前学修 2.0hr：教科書第 7 章の予習。人と職務のマッチングを図る雇用管理には、どのような手段があるか、考えてきてください。 事後学修 2.0hr：講義資料や講義を通じて分かったことを復習し、関心を持ったことや疑問について調べてみてください。
14回	**授業テーマ：第 7 章　雇用** 授業内容：人と職務のマッチングを図るための雇用管理の仕組みを学びます。特に、従来の雇用管理形態とは異なる、近年の雇用管理の変化や新たな方向性について学びます。 事前学修 2.0hr：教科書第 7 章の予習。仕事と自身の生活の両立(ワークライフ・バランス)のためには、どのような雇用形態が望ましいか考えてきてください。 事後学修 2.0hr：講義資料や講義を通じて分かったことを復習し、関心を持ったことや疑問について調べてみてください。
15回	**授業テーマ：全体のまとめとレポート作成** 授業内容：これまでの講義や事前・事後学修から分かったこと、主要な課題について振り返り、疑問点を解消します。 また、14 回目の講義で別途指示するテーマに沿って、小レポートを作成し提出して貰います。 事前学修 3.0hr：これまでの学修に関する小レポート作成(テーマは別途指示します) 事後学修 3.0hr：これまでの学修に関する小レポート作成(まとめの講義を踏まえ、事前学修でのレポート作成継続)

人的資源管理論Ⅱ

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

黒木　英昭（くろき　ひであき）

▌授業の概要

前学期に続いて、人的資源管理にかんする様々な仕組みを学びます。
特に、後期では、人材育成や人事評価、人事異動や昇進、賃金体系、労使の関係など、具体的な人的資源管理の制度について理解することを主眼に講義を進めます。
また、近年の SDGs/ESG 経営の浸透による「働き方改革」やウェル・ビーイングなどの視点から、多様性（ダイバーシティ）のマネジメントやワークライフ・バランスの視点からの議論を理解し、急速に変化しつつある人的資源管理システムの実際を学びます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 2/5、2020 年度以前入学生経営コース 3）

一般目標：企業組織における人的資源管理システムの主要な構成要素である採用、人材育成、人事評価、報酬や昇進、労働環境の整備、モティベーションを高める仕組みなどについて、その仕組みや設定の背景・経緯、近年の変化などを理解する。
また、従業員の多様性の尊重やウェル・ビーイング（心身の健康や社会的充足感が満たされた状態）を考慮した「働き方改革」など、これからの人的資本管理の展望についても考察できるようになる。
個別目標：将来、企業や官公庁など就職先の選択をする際、人的資源管理の仕組みを比較検討・評価できるようになる。
また、自らのキャリア形成やライフデザインをよりよりものにするために、人的資源管理システムの各種制度を適切に活用できる視点を養う。

▌履修条件

人的資源管理ⅠとⅡを通して、人的資源管理システムの全容を理解するため、人的資源管理Ⅱと合わせて履修することを希望する。

▌評価基準・方法

コメントシート（30 %）、小レポートとグループワーク（30 %）、期末試験（40 %）
コメントシートは、毎回の講義後に、最も関心を持ったこと、更に知りたいこと、質問などを記入して貰います。
なお、原則として、全 15 回の講義のうち 5 分の 4 以上の出席と期末試験の受験を評価の前提条件とします。

▌フィードバック方法

コメントシートや授業中の質疑で挙げられた疑問や課題、所感については、次回の講義の際にフィードバックし、全体で共有して理解を深めることとします。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （適宜、グループ・ディスカッションやグループ・ワークを行います）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （但し、講義中のノートの作成やまとめ、小レポートの作成などで積極的に使用することを推奨）

▌教科書

上林憲雄・庭本佳子（編著）（2025） 『人的資源管理（第 2 版）』 中央経済社

▌参考書

講義のテーマに応じて、適宜、教員が紹介

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：第 8 章　人材育成** 授業内容：企業などの組織における「人材育成」には、どのような方法があるのか、多様な制度とその特徴などを学びます。 事前学修 2.0hr：教科書第 8 章の予習。企業が人材育成の制度を通じて伸ばそうとしている従業員の能力とはどのようなものか、考えてきてください。 事後学修 2.0hr：講義資料や講義を通じて分かったことを復習し、関心を持ったことや疑問について調べてみてください。
2 回	**授業テーマ：第 8 章　人材育成** 授業内容：従業員一人ひとりのキャリア形成（キャリア・デザイン）とそれを支援するための制度について学びます。 事前学修 2.0hr：教科書第 8 章の予習。自分自身のキャリア・デザインとはどういうことを指すのか、どうありたいか、考えてきてください。 事後学修 2.0hr：講義資料や講義を通じて分かったことを復習し、関心を持ったことや疑問について調べてみてください。
3 回	**授業テーマ：第 9 章　評価** 授業内容：人事評価の目的や、具体的な評価の基準・指標などの人事評価制度について学びます。 事前学修 2.0hr：教科書第 9 章の予習。人事評価が自分自身にとって必要な理由について考えてきてください。 事後学修 2.0hr：講義資料や講義を通じて分かったことを復習し、関心を持ったことや疑問について調べてみてください。
4 回	**授業テーマ：第 9 章　評価** 授業内容：人事評価は誰が行うのか、どのように行うのか、評価における課題や改善点などについて学びます。 事前学修 2.0hr：教科書第 9 章の予習。人が人を評価する際の課題（問題点）について考えてきてください。 事後学修 2.0hr：講義資料や講義を通じて分かったことを復習し、関心を持ったことや疑問について調べてみてください。
5 回	**授業テーマ：第 10 章　異動・昇進** 授業内容：人事異動と昇進の制度について学びます。 特に、人事異動の目的や意義と、どのように人事異動が決まっていくのか、そのプロセスについても幾つかのケース（事例）から学びます。 事前学修 2.0hr：教科書第 10 章の予習。就職後に、人事異動（部署の異動、転勤など）について、どうあって欲しいか、考えてきてください。 事後学修 2.0hr：講義資料や講義を通じて分かったことを復習し、関心を持ったことや疑問について調べてみてください。
6 回	**授業テーマ：第 10 章　異動・昇進** 授業内容：人事異動と昇進の制度について学びます。 特に、人事資格昇格と職位の昇進について、それぞれの制度を学ぶとともに、日本企業における「昇進管理」の慣行と欧米企業との違いなどを学びます。 事前学修 2.0hr：教科書第 10 章の予習。就職後の人事資格の昇格や職位の昇進について、どうあって欲しいか、考えてきてください。 事後学修 2.0hr：講義資料や講義を通じて分かったことを復習し、関心を持ったことや疑問について調べてみてください。
7 回	**授業テーマ：第 11 章　賃金** 授業内容：賃金を構成する多様な要素と、それぞれの決定基準について学びます。 事前学修 2.0hr：教科書第 11 章の予習。賃金の目的とは何か、賃金の種類に応じ、それぞれの目的を考えてきてください。 事後学修 2.0hr：講義資料や講義を通じて分かったことを復習し、関心を持ったことや疑問について調べてみてください。
8 回	**授業テーマ：第 11 章　賃金** 授業内容：賃金体系制度における課題と対応策、これからの賃金のあり方について、幾つかのケース（事例）も使って学びます。 事前学修 2.0hr：教科書第 11 章の予習。賃金を決める際に考慮しなければならないことについて、考えてきてください。 事後学修 2.0hr：講義資料や講義を通じて分かったことを復習し、関心を持ったことや疑問について調べてみてください。

9回	**授業テーマ：第 12 章　労使関係** 授業内容：「労使関係」を管理するとはどういうことか。労使関係において重要な役割を担う「労働組合」とはどのようなものか、を学びます。 事前学修 2.0hr：教科書第 12 章の予習。労使関係で協議の対象になるのはどのようなことか、考えてきてください。 事後学修 2.0hr：講義資料や講義を通じて分かったことを復習し、関心を持ったことや疑問について調べてみてください。
10回	**授業テーマ：第 12 章　労使関係** 授業内容：「労使関係」における現在の課題と、将来の方向性について学びます。 事前学修 2.0hr：教科書第 12 章の予習。会社と働く人々との健全な関係とはどういうものか、考えてきてください。 事後学修 2.0hr：講義資料や講義を通じて分かったことを復習し、関心を持ったことや疑問について調べてみてください。
11回	**授業テーマ：第 13 章　ダイバーシティ＆インクルージョン** 授業内容：企業におけるダイバーシティ・マネジメントとはどのようなことを指すのか、その種類や歴史、目的や意義について学びます。また、これを有効に機能させるためには、どのようなことが必要になるのかを、具体的なケース(事例)を含めて学びます。 事前学修 2.0hr：教科書第 13 章の予習。メンバーの一人ひとりが自由にその発想を発言するために必要なことは何か、考えてきてください。 事後学修 2.0hr：講義資料や講義を通じて分かったことを復習し、関心を持ったことや疑問について調べてみてください。
12回	**授業テーマ：第 13 章　ダイバーシティ＆インクルージョン** 授業内容：ジェンダー・ギャップなど、本邦の企業組織におけるダイバーシティマネジメントの課題や現状、この解消に向けた近年の試みについて、具体的な企業のケース(実例)を用いて学びます。 また、幾つかの企業のアニュアル・レポートなどから、企業毎の具体的な取り組みについて把握する方法を学びます。 事前学修 2.0hr：教科書第 13 章の予習。女性や高齢者、ハンディ・キャップのある人達に、働く環境を整備する意味を考えてきてください。 事後学修 2.0hr：講義資料や講義を通じて分かったことを復習し、関心を持ったことや疑問について調べてみてください。
13回	**授業テーマ：第 14 章　ワーク・ライフ・バランス** 授業内容：ワーク・ライフ・バランスとはどのような概念か、その意味や背景、歴史と現状について、国内外比較を含めて学びます。 また、QOL(クオリティ・オブ・ライフ)やウェル・ビーイングなどの視点も取り上げて、現代の社会や働く人々の就業感・人生観の変化を学びます。 事前学修 2.0hr：教科書第 14 章の予習。就職後に、仕事と私生活に割り当てる時間や労力のバランスをどのようにしたいと思うか、考えてきてください。 事後学修 2.0hr：講義資料や講義を通じて分かったことを復習し、関心を持ったことや疑問について調べてみてください。
14回	**授業テーマ：第 14 章　ワーク・ライフ・バランス** 授業内容：ワーク・ライフ・バランスにおいて、ワークの比重が高くなりすぎる各種要因にかんし、それを改善するための仕組みの現在とこれからについて、具体的なケース(事例)を含めて学びます。 また、幾つかの企業のアニュアル・レポートなどから、企業毎の具体的な取り組みについて把握する方法を学びます。 事前学修 2.0hr：教科書第 14 章の予習。過度な残業、長時間労働が生まれる理由について考えてきてください。 事後学修 2.0hr：講義資料や講義を通じて分かったことを復習し、関心を持ったことや疑問について調べてみてください。
15回	**授業テーマ：全体のまとめとレポート作成** 授業内容：これまでの講義や事前・事後学修から分かったこと、主要な課題について振り返り、疑問点を解消します。 また、14 回目の講義で別途指示するテーマに沿って、小レポートを作成し提出して貰います。 事前学修 3.0hr：これまでの学修に関する小レポート作成(テーマは別途指示します) 事後学修 3.0hr：これまでの学修に関する小レポート作成(まとめの講義を踏まえ、事前学修でのレポート作成継続)

原価計算Ⅰ

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

蟹澤　啓輔（かにさわ　けいすけ）

▌授業の概要

原価計算は，損益計算書および貸借対照表の作成に資する情報を提供するため（財務諸表作成目的），および原価管理ならびに意思決定のための情報を提供するため（経営管理目的）に実施されます。本講義では，原価計算，および原価情報の有用性とそれを活用するための知識と知見の習得を目指し，原価計算技法を中心に，原価計算の仕組みと原価情報の役割について学習します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 3、2020 年度以前入学生経営コース 2）

一般目標：原価計算，および原価情報の有用性とそれを活用するための知識と知見の習得
個別目標：実務に役立てるような原価計算の技法・仕組みを理解する。

▌履修条件

事前に会計学，特に工業簿記の基本的知識を習得していること（日商簿記検定 2 級以上）。あるいは，工業簿記Ⅰ・Ⅱと並行履修していること。

▌評価基準・方法

平常点（授業内演習など）30 %，期末試験 70 %

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム（manaba）を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

TAC 簿記検定講座『合格テキスト 日商簿記 1 級 工業簿記・原価計算 (1) Ver.8.0 ※』TAC 出版
※授業開始日の最新版を購入すること（Ver.8.0 はシラバス執筆時の最新版）

▌参考書

櫻井通晴著『原価計算』同文舘出版
関 浩一郎, 菅野 貴弘『図解&設例 原価計算の本質と実務がわかる本』中央経済社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、原価計算とは** 授業内容：シラバスの説明を含むガイダンス、原価計算の総論についての解説 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
2回	**授業テーマ：原価記録と財務諸表** 授業内容：原価記録と財務諸表の関係についての解説 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
3回	**授業テーマ：個別原価計算について** 授業内容：個別原価計算の基礎についての解説・演習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
4回	**授業テーマ：材料費会計について①** 授業内容：材料費会計の基礎についての解説・演習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
5回	**授業テーマ：材料費会計について②** 授業内容：材料費会計の応用についての解説・演習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
6回	**授業テーマ：労務費会計について①** 授業内容：材料費会計の基礎についての解説・演習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
7回	**授業テーマ：労務費会計について②** 授業内容：材料費会計の応用についての解説・演習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
8回	**授業テーマ：経費会計について** 授業内容：経費会計についての解説・演習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
9回	**授業テーマ：前半の復習** 授業内容：第 8 回までの授業の復習・演習 事前学修 2.0hr：第 8 回までの講義資料および当該範囲を復習してくること 事後学修 2.0hr：復習
10回	**授業テーマ：製造間接費会計について①** 授業内容：材料費会計の基礎についての解説・演習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
11回	**授業テーマ：製造間接費会計について②** 授業内容：材料費会計の応用についての解説・演習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習

12回	**授業テーマ：原価の部門別計算について①** 授業内容：原価の部門別計算の基礎についての解説・演習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
13回	**授業テーマ：原価の部門別計算について②** 授業内容：原価の部門別計算の応用についての解説・演習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
14回	**授業テーマ：個別原価計算における仕損について** 授業内容：個別原価計算における仕損についての解説・演習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：まとめ 事前学修 2.0hr：第 14 回までの講義資料および当該範囲を復習してくること 事後学修 2.0hr：復習

原価計算Ⅱ

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

蟹澤　啓輔（かにさわ　けいすけ）

▌授業の概要

原価計算は，損益計算書および貸借対照表の作成に資する情報を提供するため（財務諸表作成目的），および原価管理ならびに意思決定のための情報を提供するため（経営管理目的）に実施されます。本講義では，原価計算，および原価情報の有用性とそれを活用するための知識と知見の習得を目指し，原価計算技法を中心に，原価計算の仕組みと原価情報の役割について学習します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 3、2020 年度以前入学生経営コース 2）

一般目標：原価計算，および原価情報の有用性とそれを活用するための知識と知見の習得
個別目標：実務に役立てるような原価計算の技法・仕組みを理解する。

▌履修条件

事前に会計学，特に工業簿記の基本的知識を習得していること（日商簿記検定 2 級以上）。あるいは，工業簿記Ⅰ・Ⅱと並行履修していること。

▌評価基準・方法

平常点（授業内演習など）30 %，期末試験 70 %

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム（manaba）を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

TAC 簿記検定講座『合格テキスト 日商簿記 1 級 工業簿記・原価計算 (2) Ver.8.0 ※』TAC 出版
※授業開始日の最新版を購入すること（Ver.8.0 はシラバス執筆時の最新版）

▌参考書

櫻井通晴著『原価計算』同文舘出版
関 浩一郎, 菅野 貴弘『図解&設例 原価計算の本質と実務がわかる本』中央経済社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス、原価計算論Ⅰの復習** 授業内容：シラバスの説明を含むガイダンス、原価計算論Ⅰの復習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
2 回	**授業テーマ：総合原価計算①** 授業内容：総合原価計算の基礎についての解説・演習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
3 回	**授業テーマ：総合原価計算②** 授業内容：仕損・減損が生じる場合の総合原価計算についての解説・演習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
4 回	**授業テーマ：総合原価計算③** 授業内容：仕損・減損が生じる場合の総合原価計算についての解説・演習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
5 回	**授業テーマ：工程別総合原価計算①** 授業内容：工程別総合原価計算についての解説・演習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
6 回	**授業テーマ：工程別総合原価計算②** 授業内容：工程別総合原価計算についての解説・演習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
7 回	**授業テーマ：前半の復習** 授業内容：前半の復習 事前学修 2.0hr：第 6 回までの講義資料および当該範囲を復習してくること 事後学修 2.0hr：復習
8 回	**授業テーマ：組別・等級別総合原価計算①** 授業内容：組別総合原価計算についての解説・演習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
9 回	**授業テーマ：組別・等級別総合原価計算②** 授業内容：等級別総合原価計算についての解説・演習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
10 回	**授業テーマ：連産品の原価計算** 授業内容：連産品の原価計算についての解説・演習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
11 回	**授業テーマ：標準原価計算①** 授業内容：標準原価計算の基礎についての解説・演習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習

12回	**授業テーマ：標準原価計算②** 授業内容：標準原価計算の差異分析についての解説・演習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
13回	**授業テーマ：標準原価計算③** 授業内容：標準原価計算の仕損・減損についての解説・演習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
14回	**授業テーマ：標準原価計算④** 授業内容：標準原価計算における原価差異の会計処理についての解説・演習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：まとめ 事前学修 2.0hr：第 14 回までの講義資料および当該範囲を復習してくること 事後学修 2.0hr：復習

生産管理論Ⅰ

開講学科等：経　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

岡村　龍輝（おかむら　りょうき）

▌授業の概要

企業は、社会にとって不可欠な生産活動を担っている経済主体です。この生産活動を効率的に行うためにはどうすればよいのでしょうか。この授業では、生産現場で行われている組織的な活動がどのようにして企業の経済的な成果につながるのか、つまり企業の「競争力」という視点から、この問題について学びます。より具体的には、競争力の基本的な要素であるコスト・納期・品質・フレキシビリティのうち、とくにコスト・納期を高めるための基本的なロジックと手法について学びます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 2、2020 年度以前入学生経営コース 3）

一般目標：コスト・納期という観点から企業の生産活動を効果的・効率的に行うため知識を身につけ，管理ツールを使うことができる.

個別目標：1．生産管理をコスト・納期の向上という観点から体系的に理解している.

2．コスト・納期の管理に関する具体的ツールを理解し，使うことができる.

3．生産管理を経済的成果に加え，働いている人たちの幸せや，環境問題の改善などの観点からとらえる視点が身についている.

▌履修条件

1．とくに事前の知識は必要ありませんが、新しい概念や用語、計算式がたくさん出てきます。統計学や数学の基礎的な知識があると理解しやすいでしょう。

2．生産管理のコスト・納期・品質・フレキシビリティは相互に関係しているため，生産管理論Ⅰ・Ⅱは連続で受講することをお勧めします。

▌評価基準・方法

1．授業内での課題(50 %)：授業内で課題を複数回課します。その合計点を 50 点満点に換算して成績に反映させます。

2．期末試験(50 %)

※原則として５分の４以上の出席および期末試験の受験が評価の前提条件となります。

▌フィードバック方法

授業内での課題と小テストの実施およびフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行うことがあります。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業の回によりディスカッション型の授業を行うことがあります。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （データ分析、文書作成などを行うことがあります。）

▌教科書

藤本隆宏著(2001)『生産マネジメント入門Ⅰ―生産システム編』日本経済新聞社。

▌参考書

藤本隆宏著(2001)『生産マネジメント入門Ⅱ―生産資源・技術管理編』日本経済新聞社。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の概要、授業計画、評価方法について説明します。 事前学修 2.0hr：シラバスを確認し、テキストの第１章を読んでくること。 事後学修 2.0hr：授業のノートを確認・整理し、授業概要と授業計画、評価方法を確実に理解すること。
2回	**授業テーマ：システムの視点** 授業内容：システムという視点から、企業活動の全体像を理解します。 事前学修 2.0hr：前回のノートを確認し、テキストの第１章を読んでくること。企業活動の具体例を考えてくること。 事後学修 2.0hr：授業のノートを確認・整理し、基本的な概念を確実に理解すること。それらの概念を現実に適用して考えること。
3回	**授業テーマ：生産のプロセス** 授業内容：生産活動を「プロセス」として把握する視点を身につけます。 事前学修 2.5hr：前回のノートを確認し、テキストの第２章と第３章を読んでくること。生産プロセスの具体例を考えてくること。 事後学修 2.5hr：授業のノートを確認・整理し、基本的な概念を確実に理解すること。
4回	**授業テーマ：競争力の指標** 授業内容：競争力の要素について、マーケティング論における競争力と対比して理解します。 事前学修 2.5hr：前回のノートを確認し、テキストの第４章を読んでくること。 事後学修 1.5hr：授業のノートを確認・整理し、基本的な概念を確実に理解すること。競争力の要素を現実に適用して考えること。
5回	**授業テーマ：コストの管理(１)原価管理** 授業内容：競争力の１つの指標であるコストの管理について、原価管理の手法を学習します。 事前学修 2.0hr：前回のノートを確認し、テキストの第５章を読んでくること。原価計算について復習すること。 事後学修 2.5hr：授業のノートを確認・整理し、基本的な概念を確実に理解すること。
6回	**授業テーマ：コストの管理(２)生産性** 授業内容：コストの管理について、生産性の概念とその測定方法について学習します。 事前学修 1.5hr：前回のノートを確認し、テキストの第５章を読んでくること。生産性の具体例を考えてくること. 事後学修 2.5hr：授業のノートを確認・整理し、基本的な概念を確実に理解すること。
7回	**授業テーマ：コストの管理(３)学習効果** 授業内容：コストの改善策の１つとして、規模の経済と学習効果について学びます。 事前学修 2.5hr：前回のノートを確認し、テキストの第５章を読んでくること。 事後学修 1.5hr：授業のノートを確認・整理し、基本的な概念を確実に理解すること。学習効果の概念を現実に適用して考えること。
8回	**授業テーマ：コストの管理(４)改善活動** 授業内容：コストの改善策の１つとして、改善活動によるコスト改善手法について学びます。 事前学修 1.5hr：前回のノートを確認し、テキストの第５章を読んでくること。改善活動の具体例を考えてくること。 事後学修 3.0hr：授業のノートを確認・整理し、基本的な概念を確実に理解すること。
9回	**授業テーマ：納期の管理(１)見込み生産と受注生産** 授業内容：納期の概念と見込み生産・受注生産の違いについて学びます。 事前学修 2.5hr：前回のノートを確認し、テキストの第６章を読んでくること。 事後学修 1.5hr：授業のノートを確認・整理し、基本的な概念を確実に理解すること。見込み生産の概念を現実に適用して考えること。
10回	**授業テーマ：納期の管理(２)日程計画** 授業内容：日程計画や資材所要量計画など、納期を管理するための各種計画の立て方について学習します。 事前学修 1.5hr：前回のノートを確認し、テキストの第６章を読んでくること。計画立案の具体例を考えてくること。 事後学修 2.5hr：授業のノートを確認・整理し、基本的な概念を確実に理解すること。

11回	**授業テーマ：納期の管理（３）生産期間と在庫** 授業内容：生産期間と在庫の関係、および在庫の種類について学びます。 事前学修 1.5hr：前回のノートを確認し、テキストの第６章を読んでくること。 事後学修 2.5hr：授業のノートを確認・整理し、基本的な概念を確実に理解すること。
12回	**授業テーマ：納期の管理（４）定量発注** 授業内容：在庫管理の具体的な手法として定量発注の仕組みについて学びます。 事前学修 2.5hr：前回のノートを確認し、テキストの第６章を読んでくること。 事後学修 1.5hr：授業のノートを確認・整理し、基本的な概念を確実に理解すること、定量発注の手法を現実に適用して考えること。
13回	**授業テーマ：納期の管理（４）安全在庫とＥＯＱ** 授業内容：在庫管理における安全在庫と経済的発注量（ＥＯＱ）について学びます。 事前学修 1.5hr：前回のノートを確認し、テキストの第６章を読んでくること。 事後学修 2.5hr：授業のノートを確認・整理し、基本的な概念を確実に理解すること、安全在庫の手法を現実に適用して考えること。
14回	**授業テーマ：納期の管理（６）定期発注・かんばん方式** 授業内容：在庫管理の具体的な手法として定期発注・かんばん方式の仕組みについて学びます。 事前学修 3.0hr：前回のノートを確認し、テキストの第６章を読んでくること。定期発注の具体例を考えてくること。 事後学修 3.0hr：授業のノートを確認・整理し、基本的な概念を確実に理解すること。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：これまでの授業内容を振り返り、練習問題を行います。 事前学修 3.0hr：これまで学んだ内容を確認すること。 事後学修 3.0hr：練習問題を繰り返し解き、また、これまでのノートを復習すること。

生産管理論Ⅱ

開講学科等：経　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

岡村　龍輝（おかむら　りょうき）

▌授業の概要

企業は、社会にとって不可欠な生産活動を担っている経済主体です。この生産活動を効率的に行うためにはどうすればよいのでしょうか。この授業では、生産現場で行われている組織的な活動がどのようにして企業の経済的な成果につながるのか、つまり企業の「競争力」という視点から、この問題について学びます。より具体的には、競争力の基本的な要素であるコスト・納期・品質・フレキシビリティのうち、とくに品質・フレキシビリティを高めるための基本的なロジックについて学びます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 2、2020 年度以前入学生経営コース 3）

一般目標：品質・フレキシビリティという観点から企業の生産活動を効果的・効率的に行うため知識を身につけ、具体的なツールを使うことができる。
個別目標：1．生産管理を品質・フレキシビリティの向上という観点から体系的に理解している。
2．品質・フレキシビリティの管理に関する具体的ツールを理解し、使うことができる。
3．生産管理を経済的成果に加え、働いている人たちの幸せや、環境問題の改善などの観点からとらえる視点が身についている。

▌履修条件

1．とくに事前の知識は必要ありませんが、新しい概念や用語、計算式がたくさん出てきます。統計学や数学の基礎的な知識があると理解しやすいでしょう。
2．生産管理のコスト・納期・品質・フレキシビリティは相互に関係しているため、生産管理論Ⅰ・Ⅱは連続で受講することをお勧めします。

▌評価基準・方法

1．授業内での課題（30 %）：授業内で課題を課します。その合計点を 30 点満点に換算して成績に反映させます。
2．中間テスト（20 %）：中間テストを複数回課します。その合計点を 20 点満点に換算して成績に反映させます。
3．期末試験（50 %）
※原則として５分の４以上の出席および期末試験の受験が評価の前提条件となります。

▌フィードバック方法

授業内での課題と小テストの実施およびフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行うことがあります。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業の回によりディスカッション型の授業を行います。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （データ分析、文書作成など。）

▌教科書

藤本隆宏著（2001）『生産マネジメント入門Ⅰ―生産システム編』日本経済新聞社。

▌参考書

藤本隆宏著（2001）『生産マネジメント入門Ⅱ―生産資源・技術管理編』日本経済新聞社。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の概要、授業計画、評価方法について説明します。 事前学修 1.5hr：シラバスを確認し、テキストの「はじめに」を読んでくること。 事後学修 1.5hr：授業のノートを確認・整理し、基本的な概念を確実に理解すること。
2回	**授業テーマ：コストの管理** 授業内容：生産管理論Ⅰで学んだコストの管理について復習します。 事前学修 2.5hr：テキストの第２章と第５章を読んでくること。コストの管理の具体例を考えてくること。 事後学修 2.5hr：授業のノートを確認・整理し、基本的な概念を確実に理解すること。
3回	**授業テーマ：納期の管理** 授業内容：生産管理論Ⅰで学んだ納期の管理について復習します。 事前学修 2.5hr：テキストの第６章を読んでくること。納期の管理の具体例を考えてくること。 事後学修 1.5hr：授業のノートを確認・整理し、基本的な概念を確実に理解すること。納期の概念を現実に適用して考えること。
4回	**授業テーマ：品質管理（１）品質の概念** 授業内容：品質の概念を、競争戦略論と生産管理論との対比で理解します。 事前学修 1.5hr：テキストの第７章を読んでくること。良い品質の商品の具体例を考えてくること。 事後学修 2.5hr：授業のノートを確認・整理し、基本的な概念を確実に理解すること。
5回	**授業テーマ：品質管理（２）公差と工程能力** 授業内容：公差と工程能力について、統計的な考え方を踏まえながら学びます。 事前学修 1.5hr：前回のノートを確認し、テキストの第７章を読んでくること、標準偏差の計算方法について確認すること。 事後学修 2.5hr：授業のノートを確認・整理し、基本的な概念を確実に理解すること。
6回	**授業テーマ：品質管理（３）公差・工程能力と品質・コスト** 授業内容：公差・工程能力と、品質・コストの関係を学びます。 事前学修 2.5hr：前回のノートを確認し、テキストの第７章を読んでくること。 事後学修 1.5hr：授業のノートを確認・整理し、基本的な概念を確実に理解すること。品質とコストの関係を現実に適用して考えること。
7回	**授業テーマ：品質管理（４）統計的品質管理** 授業内容：品質管理の手法の１つである統計的品質管理の手法を身につけます。 事前学修 1.5hr：前回のノートを確認し、テキストの第７章を読んでくること。統計的品質管理の具体例を考えてくること。 事後学修 2.5hr：授業のノートを確認・整理し、基本的な概念を確実に理解すること。
8回	**授業テーマ：品質管理（５）ＴＱＣ・ＴＱＭ** 授業内容：品質管理の手法の１つである工程における品質の作り込み、およびＴＱＣ・ＴＱＭについて学びます。 事前学修 1.5hr：前回のノートを確認し、テキストの第７章を読んでくること。TQC の具体例を考えてくること。 事後学修 2.5hr：授業のノートを確認・整理し、基本的な概念を確実に理解すること。
9回	**授業テーマ：フレキシビリティ（１）フレキシビリティの概念と数量変化への対応** 授業内容：フレキシビリティの概念と数量変化に対するフレキシビリティについて学びます。 事前学修 2.5hr：テキストの第８章を読んでくること。 事後学修 1.5hr：授業のノートを確認・整理し、基本的な概念を確実に理解すること。フレキシビリティの概念を現実に適用して考えること。

10回	**授業テーマ：フレキシビリティ(2)部品のフレキシビリティ** 授業内容：製品の多様化や変化に対応するための手法として、部品の共通化を中心に学びます。 事前学修 1.5hr：前回のノートを確認し、テキストの第8章を読んでくること。製品の多様性の具体例を考えてくること。 事後学修 2.5hr：授業のノートを確認・整理し、基本的な概念を確実に理解すること。
11回	**授業テーマ：フレキシビリティ(3)工程のフレキシビリティ** 授業内容：段取り替えなどの工程のフレキシビリティに関する概念や手法について学びます。 事前学修 1.5hr：前回のノートを確認し、テキストの第8章を読んでくること。段取り替えの具体例を考えてくること。 事後学修 2.5hr：授業のノートを確認・整理し、基本的な概念を確実に理解すること。
12回	**授業テーマ：生産戦略(1)経営戦略と生産戦略** 授業内容：生産戦略について経営戦略との関連で体系的に理解します。 事前学修 2.5hr：テキストの第9章を読んでくること。 事後学修 1.5hr：授業のノートを確認・整理し、基本的な概念を確実に理解すること。経営戦略の概念を現実に適用して考えること。
13回	**授業テーマ：生産戦略(2)生産能力の決定** 授業内容：生産能力拡大のタイミングと生産能力の決定について学びます。 事前学修 1.5hr：前回のノートを確認し、テキストの第9章を読んでくること。規模の経済の具体例を考えてくること。 事後学修 2.5hr：授業のノートを確認・整理し、基本的な概念を確実に理解すること。
14回	**授業テーマ：生産戦略(3)生産拠点の配置と調整** 授業内容：生産拠点の配置と調整の考え方について学びます。 事前学修 1.5hr：前回のノートを確認し、テキストの第9章を読んでくること。また、国際戦略の具体例を考えてくること。 事後学修 2.5hr：授業のノートを確認・整理し、基本的な概念を確実に理解すること。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：これまでの授業内容を確認するとともに、練習問題を行います。 事前学修 2.5hr：これまでのノートを見直し、概念や計算方法を確認すること。 事後学修 4.0hr：練習問題を繰り返し解き、また、これまでのノートを復習すること。

財務会計論Ⅰ

開講学科等：経　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

霞　晴久（かすみ　はるひさ）

▌授業の概要

本講義では、企業の財務報告、連結財務諸表を中心とした会計情報、および財務諸表分析と企業価値評価を含む企業分析に関する体系的な知識を習得することを目的とする。財務会計論Ⅰでは、企業会計に関する基礎的な知識を中心に学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 3、2020 年度以前入学生経営コース 2）

一般目標：財務報告書と連結財務諸表を読み、財務報告情報と会計情報を理解・解釈・分析できるようになること
個別目標：１．企業の財務報告書と連結財務諸表を読むことができるようになること
　　２．会計情報を理解・解釈・分析できるようになること

▌履修条件

簿記の知識があった方が良いが、未習得者にはその都度説明する。

▌評価基準・方法

平常点（授業への参加・研究結果のプレゼン）：50 %、期末試験：50 %
また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

フィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループによる財務分析結果のプレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パワーポイント等を利用したプレゼン）

▌教科書

矢部孝太郎『財務報告論　第 4 版』中央経済社、2026 年

▌参考書

必要な都度指定する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：本講義の基本的な進め方やルール、本講義の目的など 事前学修 2.0hr：シラバスを読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：財務報告と会計の意義** 授業内容：企業会計と財務諸表、利害関係者、アカウンタビリティー、連結貸借対照表の構成要素、様式、資産 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：連結財務諸表作成実務（その１）** 授業内容：エクセルの連結精算表を使って連結財務諸表を作成してみる 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：連結財務諸表作成実務（その２）** 授業内容：エクセルの連結精算表を使って連結財務諸表を作成してみる 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：連結貸借対照表の意義** 授業内容：第３回第４回で作成した連結財務諸表からグループ経営の意義を考える 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：連結包括利益計算書・連結株主資本等変動計算書** 授業内容：連結包括利益計算書・連結株西資本等変動計算書の意義、構成要素、会計基準 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：連結キャッシュフロー計算書作成実務（その１）** 授業内容：エクセルの精算表を使って連結キャッシュフロー計算書を作成してみる 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：連結キャッシュフロー計算書作成実務（その２）** 授業内容：エクセルの精算表を使って連結キャッシュフロー計算書を作成してみる 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業の復習
9回	**授業テーマ：連結キャッシュフロー計算書の意義** 授業内容：第７回第８回で作成した計算書によるキャッシュフロー分析、EBITDA を考える 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：プレゼンテーション準備** 授業内容：グループ分け、テーマ設定、必要となる参考文献の洗い出し 事前学修 2.0hr：選択するテーマについて考えておく 事後学修 2.0hr：授業の復習とプレゼンテーション準備
11回	**授業テーマ：連結財務諸表の体系と計算構造** 授業内容：最終損益と利益余剰金の変動、資本の欠損、セグメント情報 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業の復習とプレゼンテーション準備

12回	**授業テーマ：ディスクロージャー制度と IR 情報１** 授業内容：情報開示、有価証券報告書、四半期報告書、有価証券報告書の入手方法 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業の復習とプレゼンテーション準備
13回	**授業テーマ：ディスクロージャー制度と IR 情報２** 授業内容：会社法に基づく情報開示、IR、アニュアルレポート 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業の復習とプレゼンテーション準備
14回	**授業テーマ：株式会社、証券市場、コーポレートファイナンス** 授業内容：株式会社の意義、証券市場の意義、コーポレートファイナンス 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業の復習とプレゼンテーション準備
15回	**授業テーマ：グループによるプレゼンテーション** 授業内容：グループごとにプレゼンテーションを行い、参加者全員で評価する 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション準備 事後学修 2.0hr：試験の出題範囲の検討

財務会計論Ⅱ

開講学科等：経　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

霞　晴久（かすみ　はるひさ）

▌授業の概要

本講義では、企業の財務報告、連結財務諸表を中心とした会計情報、および財務諸表分析と企業価値評価を含む企業分析に関する体系的な知識を習得することを目的とする。財務会計論Ⅱでは、企業情報の分析を中心に講義を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 3、2020 年度以前入学生経営コース 2）

一般目標：財務諸表、有価証券報告書などを用いて企業情報などが分析できるようになる
個別目標：１．有価証券報告書などから企業情報が読み取れるようになる
　　２．財務諸表などから企業価値などが評価できるようになる

▌履修条件

財務会計論Ⅰを履修してから受講することが望ましい

▌評価基準・方法

平常点（授業への参加・研究結果のプレゼン）：50 %、期末試験：50 %
また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題などのフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループによる財務分析結果のプレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パワーポイント等を利用したプレゼン）

▌教科書

矢部孝太郎『財務報告論　第 4 版』中央経済社、2026 年

▌参考書

必要な都度指定する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：本講義の基本的な進め方やルール、本講義の目的など 事前学修 2.0hr：シラバスを読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：企業の概況、事業の状況、事業戦略、M&A、持株会社** 授業内容：有証券報告書から読み取ることができる事業戦略、日本企業の長所と短所 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：設備投資、原価計算** 授業内容：生産能力・販売能力、設備投資、原価計算と管理会計 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：固定資産の減損** 授業内容：減価償却、固定資産の減損と減損損失、資産除去債務 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：税効果会計** 授業内容：税効果会計の基本的仕組みを理解する 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：株主資本** 授業内容：株価、株式時価総額、新株予約権、ストックオプション制度、自社株買い、配当 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：企業倫理と会計不正** 授業内容：最近の企業不祥事について考える 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：財務諸表監査（その１）** 授業内容：監査の種類、監査制度、監査報告書 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業の復習
9回	**授業テーマ：財務諸表監査（その２）** 授業内容：監査基準、監査結果と関西圏 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：プレゼンテーション準備** 授業内容：グループ分け、テーマ設定、必要となる参考文献の洗い出し 事前学修 2.0hr：選択するテーマについて考えておく 事後学修 2.0hr：授業の復習とプレゼンテーション準備
11回	**授業テーマ：財務諸表分析（その 1）** 授業内容：分析アプローチ、財務比率分析、株式投資指標 事前学修 2.0hr：選択するテーマについて考えておく 事後学修 2.0hr：授業の復習とプレゼンテーション準備

12回	**授業テーマ：財務諸表分析（その2）** 授業内容：株価予測、市場評価と企業価値、資本コスト 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業の復習
13回	**授業テーマ：企業価値評価** 授業内容：割引現在価値、将来キャッシュフロー予測 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業の復習
14回	**授業テーマ：プレゼンテーション準備** 授業内容：グループによるプレゼンテーション資料の作成 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション準備 事後学修 2.0hr：プレゼンテーション準備
15回	**授業テーマ：グループによるプレゼンテーション** 授業内容：グループごとにプレゼンテーションを行い、参加者全員で評価する 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション準備 事後学修 2.0hr：試験の出題範囲の検討

管理会計論 I

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

蟹澤　啓輔（かにさわ　けいすけ）

▌授業の概要

会計情報，とりわけ管理会計情報は，企業の中で一つの共通言語として機能し，経営者をはじめ組織構成員にとって重要な情報となります。また，投資家など外部の利害関係者と企業とをつなぐ役目も果たします。このように，企業活動においても重要な役割をもつ管理会計情報は，いつ，どこで，どのように，どんな目的をもって作成されるのか，そして利用者に対してどのようなインパクトを与えるのかを中心に理解すると同時に，企業の意思決定や業績評価にかかわる様々な管理会計技法を理解，習得することを目標とします。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 3、2020 年度以前入学生経営コース 2）

一般目標：管理会計技法と会計情報が利用者に与えるインパクトについて学習し，企業経営における会計情報の有用性と会計情報を有効に活用するための知識と知見の習得する。

個別目標：実務に役立てるような管理会計の技法・仕組みを理解する。具体的には，業績管理会計，意思決定会計などの論点について，十分に理解することを目標とする。

▌履修条件

日商簿記検定 2 級に合格していることが望ましい
2 級未合格者の場合、会計学総論を履修済みまたは履修中であることを推奨する
授業中に問題演習を行うため毎回電卓を持参すること

▌評価基準・方法

平常点（授業内演習など）30 %，期末試験 70 %

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム（manaba）を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

TAC 簿記検定講座『合格テキスト 日商簿記 1 級 工業簿記・原価計算 (3) Ver.8.0 ※』TAC 出版
※授業開始日の最新版を購入すること（Ver.8.0 はシラバス執筆時の最新版）

▌参考書

櫻井通晴（2019）『管理会計（第 7 版）』同文舘出版
駒井 伸俊『基本も実務知識もこれ 1 冊で! 管理会計 本格入門』ソシム

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス、管理会計とは何か** 授業内容：シラバスの説明を含むガイダンス、管理会計とは何かについての解説 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
2 回	**授業テーマ：経営管理のための会計情報** 授業内容：経営管理のための会計情報についての解説 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
3 回	**授業テーマ：管理会計を理解するための基礎知識①** 授業内容：管理会計を理解するための基礎知識について解説、問題演習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
4 回	**授業テーマ：管理会計を理解するための基礎知識②** 授業内容：管理会計を理解するための基礎知識について解説、問題演習（2 回目） 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
5 回	**授業テーマ：直接原価計算について①** 授業内容：直接原価計算①についての解説、問題演習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
6 回	**授業テーマ：直接原価計算について②** 授業内容：直接原価計算についての解説、問題演習（2 回目） 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
7 回	**授業テーマ：前半の復習** 授業内容：前半の復習 事前学修 2.0hr：第 6 回までの講義資料および当該範囲を復習してくること 事後学修 2.0hr：復習
8 回	**授業テーマ：直接標準原価計算について①** 授業内容：直接標準原価計算についての解説、問題演習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
9 回	**授業テーマ：直接標準原価計算について②** 授業内容：直接標準原価計算についての解説、問題演習（2 回目） 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
10 回	**授業テーマ：企業予算の編成①** 授業内容：企業予算の編成についての解説、問題演習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習

11回	**授業テーマ：企業予算の編成②** 授業内容：企業予算の編成についての解説、問題演習(2 回目) 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
12回	**授業テーマ：原価・営業量・利益関係の分析①** 授業内容：原価・営業量・利益関係の分析についての解説、問題演習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
13回	**授業テーマ：原価・営業量・利益関係の分析②** 授業内容：原価・営業量・利益関係の分析についての解説、問題演習(2 回目) 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
14回	**授業テーマ：最適セールスミックスの決定** 授業内容：最適セールスミックスの決定についての解説、問題演習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：まとめ 事前学修 2.0hr：第 14 回までの講義資料および当該範囲を復習してくること 事後学修 2.0hr：復習

管理会計論Ⅱ

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

蟹澤　啓輔（かにさわ　けいすけ）

▌授業の概要

会計情報，とりわけ管理会計情報は，企業の中で一つの共通言語として機能し，経営者をはじめ組織構成員にとって重要な情報となります。また，投資家など外部の利害関係者と企業とをつなぐ役目も果たします。このように，企業活動においても重要な役割をもつ管理会計情報は，いつ，どこで，どのように，どんな目的をもって作成されるのか，そして利用者に対してどのようなインパクトを与えるのかを中心に理解すると同時に，企業の意思決定や業績評価にかかわる様々な管理会計技法を理解，習得することを目標とします。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 3、2020 年度以前入学生経営コース 2）

一般目標：管理会計技法と会計情報が利用者に与えるインパクトについて学習し，企業経営における会計情報の有用性と会計情報を有効に活用するための知識と知見の習得すること。

個別目標：実務に役立てるような管理会計の技法・仕組みを理解する。具体的には，業績管理会計，意思決定会計などの論点について，十分に理解することを目標とする。

▌履修条件

日商簿記検定 2 級に合格していることが望ましい
2 級未合格者の場合、会計学総論を履修済みまたは履修中であることを推奨する
授業中に問題演習を行うため毎回電卓を持参すること

▌評価基準・方法

平常点（授業内演習など）30 %，期末試験 70 %

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム（manaba）を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

TAC 簿記検定講座『合格テキスト 日商簿記 1 級 工業簿記・原価計算 (3) Ver.8.0 ※』TAC 出版
※授業開始日の最新版を購入すること（Ver.8.0 はシラバス執筆時の最新版）

▌参考書

櫻井通晴（2019）『管理会計（第 7 版）』同文舘出版
駒井 伸俊『基本も実務知識もこれ 1 冊で! 管理会計 本格入門』ソシム

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス、管理会計について** 授業内容：シラバスの説明を含むガイダンス、管理会計論Ⅰの復習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
2 回	**授業テーマ：管理会計論Ⅰの復習** 授業内容：管理会計論Ⅰの復習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
3 回	**授業テーマ：事業部の業績測定①** 授業内容：事業部の業績測定についての解説、問題演習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
4 回	**授業テーマ：事業部の業績測定②** 授業内容：事業部の業績測定についての解説、問題演習（2 回目） 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
5 回	**授業テーマ：予算実績差異分析について③** 授業内容：予算実績差異分析についての解説、問題演習 事前学修 3.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
6 回	**授業テーマ：予算実績差異分析について②** 授業内容：予算実績差異分析についての解説、問題演習（2 回目） 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
7 回	**授業テーマ：差額原価収益分析について①** 授業内容：差額原価収益分析についての解説、問題演習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
8 回	**授業テーマ：前半の復習** 授業内容：前半の復習 事前学修 2.0hr：第 7 回までの講義資料および当該範囲を復習してくること 事後学修 2.0hr：復習
9 回	**授業テーマ：業務執行上の意思決定について①** 授業内容：業務執行上の意思決定についての解説、問題演習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
10 回	**授業テーマ：業務執行上の意思決定②** 授業内容：業務執行上の意思決定についての解説、問題演習（2 回目） 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習

11回	**授業テーマ：業務執行上の意思決定③** 授業内容：業務執行上の意思決定についての解説、問題演習(3 回目) 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
12回	**授業テーマ：設備投資の意思決定①** 授業内容：設備投資の意思決定についての解説、問題演習 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
13回	**授業テーマ：設備投資の意思決定②** 授業内容：設備投資の意思決定についての解説、問題演習(2 回目) 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
14回	**授業テーマ：戦略の策定と遂行のための原価計算** 授業内容：戦略の策定と遂行のための原価計算についての解説 事前学修 2.0hr：参考書等で当該範囲を一読してくること 事後学修 2.0hr：復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：まとめ 事前学修 2.0hr：第 14 回までの講義資料および当該範囲を復習してくること 事後学修 2.0hr：復習

監査論 I

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

池田　晋（いけだ　すすむ）

▌授業の概要

この授業は，主に公認会計士監査の存在意義とその在り方を理解し，企業経営を学ぶことを目的とする。具体的な論点は，監査が必要とされる理由，監査の類型にはどんなものがあるか，監査はどのように実施されるのか，会計と監査の基盤である内部統制の概念的な枠組みにはどのようなものがあるか，などである。日商簿記 3 級レベル以上の会計知識があることを前提に授業をすすめる。具体的な授業の進め方・評価方法などの詳細は，授業開始時に教員の指示にしたがうこと。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 3、2020 年度以前入学生経営コース 2）

一般目標：監査制度の歴史的変遷をたどり，監査制度の存在意義とその在り方を理解する。
個別目標：監査制度の存立基盤が何かを理解し，説明できるようになる。

▌履修条件

日商簿記 3 級レベル以上の会計知識があること。

▌評価基準・方法

期末テストと課題の点数で評価する。
なお，5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは，学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業内で提示する。

▌参考書

盛田良久，蟹江章，長吉眞一【編著】『監査論〔第 7 版〕』 中央経済社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス，監査とは何か？** 授業内容：ガイダンス 事前学修 2.0hr：新聞などを利用して企業会計・財務諸表監査の現状を探る。 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習。
2 回	**授業テーマ：会計進化の歴史** 授業内容：講義とクラスディスカッション 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習。
3 回	**授業テーマ：監査の歴史** 授業内容：講義とクラスディスカッション 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習。
4 回	**授業テーマ：公認会計士制度** 授業内容：講義とクラスディスカッション 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習。
5 回	**授業テーマ：財務諸表監査総論①** 授業内容：講義とクラスディスカッション 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習。
6 回	**授業テーマ：財務諸表監査総論②** 授業内容：講義とクラスディスカッション 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習。
7 回	**授業テーマ：監査報告書①** 授業内容：講義とクラスディスカッション 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習。
8 回	**授業テーマ：監査報告書②** 授業内容：講義とクラスディスカッション 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習。
9 回	**授業テーマ：追記情報** 授業内容：講義とクラスディスカッション 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習。
10 回	**授業テーマ：内部統制①** 授業内容：講義とクラスディスカッション 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習。
11 回	**授業テーマ：内部統制②** 授業内容：講義とクラスディスカッション 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習。

12回	**授業テーマ：内部統制③** 授業内容：講義とクラスディスカッション 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習。
13回	**授業テーマ：内部統制④** 授業内容：講義とクラスディスカッション 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習。
14回	**授業テーマ：内部統制⑤** 授業内容：講義とクラスディスカッション 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：講義とクラスディスカッション 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習。

監査論Ⅱ

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

池田　晋（いけだ　すすむ）

▌授業の概要

この授業は，主に公認会計士監査の存在意義とその在り方を理解し，企業経営を学ぶことを目的とする。具体的な論点は，監査が必要とされる理由，監査の類型にはどんなものがあるか，監査はどのように実施されるのか，会計と監査の基盤である内部統制の概念的な枠組みにはどのようなものがあるか，などである。日商簿記 3 級レベル以上の会計知識があることを前提に授業をすすめる。具体的な授業の進め方・評価方法などの詳細は，授業開始時に教員の指示にしたがうこと。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 3、2020 年度以前入学生経営コース 2）

一般目標：監査制度の歴史的変遷をたどり，監査制度の存在意義とその在り方を理解する。
個別目標：監査制度の存立基盤が何かを理解し，説明できるようになる。

▌履修条件

日商簿記 3 級レベル以上の会計知識があること。
監査論Ⅰの単位を取得していることが望ましい。

▌評価基準・方法

期末テストと課題の点数で評価する。
なお，5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは，学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業内で提示する。

▌参考書

盛田良久、蟹江章、長吉眞一【編著】『監査論〔第 7 版〕』 中央経済社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス，監査の実施①** 授業内容：ガイダンス 事前学修 2.0hr：新聞などを利用して企業会計・財務諸表監査の現状を探る。 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習。
2 回	**授業テーマ：監査の実施②** 授業内容：講義とクラスディスカッション 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習。
3 回	**授業テーマ：監査の実施③** 授業内容：講義とクラスディスカッション 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習。
4 回	**授業テーマ：監査の実施④** 授業内容：講義とクラスディスカッション 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習。
5 回	**授業テーマ：監査の実施⑤** 授業内容：講義とクラスディスカッション 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習。
6 回	**授業テーマ：監査の実施⑥** 授業内容：講義とクラスディスカッション 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習。
7 回	**授業テーマ：監査の実施⑦** 授業内容：講義とクラスディスカッション 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習。
8 回	**授業テーマ：不正会計＆監査リスク** 授業内容：講義とクラスディスカッション 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習。
9 回	**授業テーマ：保証業務** 授業内容：講義とクラスディスカッション 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習。
10 回	**授業テーマ：会社法監査制度①** 授業内容：講義とクラスディスカッション 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習。
11 回	**授業テーマ：会社法監査制度②** 授業内容：講義とクラスディスカッション 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習。

12回	**授業テーマ：内部監査①** 授業内容：講義とクラスディスカッション 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習。
13回	**授業テーマ：内部監査②** 授業内容：講義とディスカッション 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習。
14回	**授業テーマ：事例研究** 授業内容：講義とクラスディスカッション 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：講義とクラスディスカッション 事前学修 2.0hr：前回講義の復習と予習。 事後学修 2.0hr：講義ノートの整理と復習。

税務会計論Ⅰ

開講学科等：経　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

霞　晴久（かすみ　はるひさ）

▌授業の概要

所得税法は、租税法の中でも日常生活に最も密着した基本的な税目である。所得税法では、所得の種類が利子所得、配当所得、不動産所得、事業所得、給与所得、退職所得、山林所得、譲渡所得、一時所得、雑所得の 10 種類に分けられ、それぞれの所得ごとに所得金額及び税額計算の方法が異なっている。例えば、会社員の給料、アルバイトを行ったときの給料、事業行って得た利益、銀行預金の利子、株式売買の譲渡益、ビットコインなど暗号資産の利益などの所得及び税金の計算方法はそれぞれ異なるが、どのように課税されるのかを理解する必要がある。本授業では、日常生活に出てくる事象を取り上げながら、所得税の仕組みを学習する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 3、2020 年度以前入学生経営コース 3）

一般目標：所得税法の基本原理、計算構造、所得と税負担の関係を理解する。

個別目標：社会人になったとき、所得税に関する事項について基本的な判断を行うことができるよう、その仕組みについて理解する。具体的には、10 種類の所得について所得金額と税額の計算方法を理解し、将来、自分自身が得た所得について納税額を把握し、適切に申告することができることを目標とする。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

定期試験 70 %、学習姿勢 30%及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

フィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （スマホ、ＰＣを利用し所得税額シミュレーションを行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （e-tax）

▌教科書

税務大学校　税大講本　所得税法（基礎編）令和７年版（https://www.nta.go.jp/about/organization/ntc/kohon/syotoku/pdf/all.pdf）

▌参考書

演習所得税法 令和８年版（清文社）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション、確定申告の実践（その１）** 授業内容：スマホを使って、確定申告書を作成してみる（給与所得・雑所得） 事前学修 2.0hr：シラバスを読んでおくこと 事後学修 2.0hr：自宅にて税額シミュレーションを実施
2回	**授業テーマ：確定申告の実践（その２）** 授業内容：スマホを使って、確定申告書を作成してみる（不動産所得・配当所得） 事前学修 2.0hr：自宅にて税額シミュレーションを実施 事後学修 2.0hr：自宅にて税額シミュレーションを実施
3回	**授業テーマ：所得の種類（給与所得・退職所得・雑所得（一部））** 授業内容：所得の概要、計算方法、申告納税制度、源泉徴収制度 事前学修 2.0hr：教科書第３章の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：教科書の上記内容を熟読・理解する
4回	**授業テーマ：所得の種類（不動産所得・配当所得）** 授業内容：所得の概要、計算方法、青色申告制度、配当所得の申告不要制度 事前学修 2.0hr：教科書第３章の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：教科書の上記内容を熟読・理解する
5回	**授業テーマ：収入金額と必要経費（その１）** 授業内容：収入金額、各種所得の計上時期、物又は権利による収入金額、別段の定めによる収入金額 事前学修 2.0hr：教科書第４章第４節を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：上記を熟読し、授業の復習を行う
6回	**授業テーマ：収入金額と必要経費（その２）** 授業内容：必要経費 事前学修 2.0hr：教科書第４章第５節を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：上記を熟読し、授業の復習を行う
7回	**授業テーマ：所得の種類（一時所得と雑所得（残り））** 授業内容：一時所得と雑所得の主な論点について整理する。一連の馬券訴訟事件について検討する 事前学修 2.0hr：教科書第３章及び４章の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：上記を熟読し、授業の復習を行う
8回	**授業テーマ：所得の種類（譲渡所得その１）** 授業内容：有価証券の譲渡、申告分離制度を理解する 事前学修 2.0hr：教科書第３章及び４章の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：上記を熟読し、授業の復習を行う
9回	**授業テーマ：所得の種類（譲渡所得その２）** 授業内容：不動産の譲渡、譲渡所得に係る各種優遇措置 事前学修 2.0hr：教科書第３章及び４章の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：上記を熟読し、授業の復習を行う
10回	**授業テーマ：損益通算及び損失の繰越控除** 授業内容：損益通算のメカニズムを理解する 事前学修 2.0hr：教科書第４章第７節を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：上記を熟読し、授業の復習を行う
11回	**授業テーマ：所得控除** 授業内容：所得控除の種類と意義、内容を理解する 事前学修 2.0hr：教科書第５章を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：上記を熟読し、授業の復習を行う

12回	**授業テーマ：税額計算・税額控除** 授業内容：税額計算の方法、税額控除、特に住宅ローン控除について理解する 事前学修 2.0hr：教科書第６章を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：上記を熟読し、授業の復習を行う
13回	**授業テーマ：源泉徴収制度、申告・納税・還付、納税義務者、非居住者の納税義務** 授業内容：源泉徴収制度、並びに申告・納税・還付の概要を理解する 事前学修 2.0hr：教科書第７及び８章を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：上記を熟読し、授業の復習を行う
14回	**授業テーマ：確定申告シミュレーション(その１)** 授業内容：設例につき、PC を利用し、国税庁 HP から確定申告書を作成する 事前学修 2.0hr：事前に配賦される設例について教科書の該当箇所を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：自宅にて税額シミュレーションを実施
15回	**授業テーマ：確定申告シミュレーション(その２)** 授業内容：設例につき、PC を利用し、国税庁 HP から確定申告書を作成する 事前学修 2.0hr：事前に配賦される設例について教科書の該当箇所を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：自宅にて税額シミュレーションを実施

税務会計論Ⅱ

開講学科等：経　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

霞　晴久（かすみ　はるひさ）

▌授業の概要

日本には、約 440 万社の法人があり（令和 7 年 8 月）、租税収入のうち法人税は 17.9 兆円で 23.8 %の割合を占めている（令和 6 年度）。法人というと株式会社、合名会社、合資会社、合同会社を思い浮かべるが、法人税法では、法人を普通法人、公共法人、公益法人、協同組合、人格のない社団等に区分し、課税の方法を定めている。本授業では、実務に現れる法人税の話題も取り上げながら、基本的な法人税の仕組みを学習する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 3、2020 年度以前入学生経営コース 3）

一般目標：法人税は、大学卒業後、企業に就職した際に知識として持っていると、様々な社会現象に関する事項を理解するのに役立つ税金である。社会人になったときに役に立つような基本的な法人税の仕組みについて理解する。

個別目標：企業会計の利益と法人税の所得は何が異なるかを理解し、基本的な税額計算の流れを習得して、簡単な法人税の申告書が作成できることを目標とする

▌履修条件

特にないが、財務会計論 I を履修していると理解が早い。

▌評価基準・方法

定期試験 70 %、学習姿勢 30%及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

フィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ＰＣを利用し法人税額シミュレーションを行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （e-tax の利用）

▌教科書

税務大学校　税大講本　法人税法（基礎編）令和 7 年版（https://www.nta.go.jp/about/organization/ntc/kohon/houjin/pdf/all.pdf）

▌参考書

演習法人税法 令和８年版（清文社）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：本講義の基本的な進め方やルール、本講義の目的など 事前学修 2.0hr：シラバスを読んでおくこと 事後学修 2.0hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：課税標準の計算のあらまし** 授業内容：所得の金額の計算、企業会計上の利益と法人税法上の所得、税務調整 事前学修 2.0hr：教科書第２章の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：上記を熟読し、授業の復習を行う。
3回	**授業テーマ：益金の額の計算(その 1)** 授業内容：資産の販売等の収益の額、資産の無償譲渡による収益の額、資産の無償譲受けによる収益の額 事前学修 2.0hr：教科書第３章の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：上記を熟読し、授業の復習を行う。
4回	**授業テーマ：益金の額の計算(その２)** 授業内容：受取配当等、資産の評価益、受増益、還付金等 事前学修 2.0hr：教科書第４章の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：上記を熟読し、授業の復習を行う。
5回	**授業テーマ：損金の額の計算(その１)** 授業内容：棚卸資産、減価償却資産、繰延資産の償却費 事前学修 2.0hr：教科書第５章の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：上記を熟読し、授業の復習を行う。
6回	**授業テーマ：損金の額の計算(その２)** 授業内容：役員の給与、交際費等、寄附金、租税公課等、貸倒損失、その他の経費 事前学修 2.0hr：教科書第６章第 1～6 節の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：上記を熟読し、授業の復習を行う。
7回	**授業テーマ：損金の額の計算(その３)** 授業内容：資産の評価損、圧縮記帳、繰越欠損金 事前学修 2.0hr：教科書第６章第 7～9 節の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：上記を熟読し、授業の復習を行う。
8回	**授業テーマ：損金の額の計算(その４)、有価証券** 授業内容：引当金、貸倒引当金、有価証券 事前学修 2.0hr：教科書第７～８章の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：上記を熟読し、授業の復習を行う。
9回	**授業テーマ：税額の計算** 授業内容：所得に対する法人税、特定同族会社、税額控除 事前学修 2.0hr：教科書第９章の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：上記を熟読し、授業の復習を行う。
10回	**授業テーマ：税務上の純資産の部** 授業内容：資本金等の額、利益積立金、申告書別表四及び五 (一) の関係 事前学修 2.0hr：教科書第 10 章の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：上記を熟読し、授業の復習を行う。
11回	**授業テーマ：グループ通算制度** 授業内容：制度の概要、申告・納税義務 事前学修 2.0hr：教科書第 11 章の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：上記を熟読し、授業の復習を行う。

12回	**授業テーマ：納税義務、確定申告・中間申告、青色申告制度** 授業内容：事業年度、納税地、確定申告、納付と還付 事前学修 2.0hr：教科書第１章の該当部分を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：上記を熟読し、授業の復習を行う。
13回	**授業テーマ：法人税確定申告書作成実務（その１）** 授業内容：設例につき、PC により、E-Tax を利用して確定申告書を作成する 事前学修 2.0hr：事前に配賦される設例について教科書の該当箇所を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：自宅にて税額シミュレーションを実施
14回	**授業テーマ：法人税確定申告書作成実務（その２）** 授業内容：設例につき、PC により、E-Tax を利用して確定申告書を作成する 事前学修 2.0hr：事前に配賦される設例について教科書の該当箇所を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：自宅にて税額シミュレーションを実施
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：まとめ（1〜14 回の授業で取り上げなかった分野の補足） 事前学修 2.0hr：これまでの授業の内容を確認する 事後学修 2.0hr：自宅にて税額シミュレーションを実施

地域研究Ⅰ

開講学科等：経　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

廣部　恒忠（ひろべ　つねただ）・**吉田　敦**（よしだ　あつし）

▌授業の概要

大学の社会的機能として、教育・研究そして地域貢献が挙げられる。この地域研究Ⅰでは、明海大学経済学部が立地する浦安市について、統計学や経済学、日本経済史等の諸分野からアプローチする。その歴史や現状、地域特性、なかでもテーマパークを誘致したことによる経済効果、あるいは直面する諸課題等に関する研究成果を学修・共有・再検証することで、浦安という街をよりよく理解することを目的とする。複数の教員による研究成果に加え、行政や地域住民の視点、ディスカッションなどの手法も取り入れて、多面的な考察・研究を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/4/5、2020 年度以前入学生 5）

一般目標：　大学が立地する浦安市に愛着と関心を持つとともに、浦安市の歴史や現状についてひととおり説明ができる。また、浦安市が抱える地域課題を自分なりに整理し、明確化することができる。

個別目標：　学生が自ら暮らす、あるいは学ぶ浦安という地域に興味・関心を持つとともに、地域に学生として何ができるかを考えるようになる。浦安という地域を多彩な視点から見ることができる。地域の人たちと積極的に交流する意識を持つようになる。

▌履修条件

統計データを読む力や財政学、経営学的な知識が必要になるので、統計学入門や地方財政論、あるいは経営学総論、日本経済史などを履修済み、あるいは並行して履修することが望ましい。

▌評価基準・方法

平素の授業への取組状況をベースに、シートの内容とその提出状況（60 %）ならびに最終報告レポートの点数（40 %）で評価する。

▌フィードバック方法

遂行済み課題等へのフィードバックは、基本的に学修支援システム manaba を通して行うが、次回の授業内でも講評等のうえ、優れた内容のものは紹介する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり　（重要テーマごとにグループ（チーム）をつくらせ、話し合わせてプレゼン（発表）させる）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり　（グループ（チーム）ごとにノートパソコンを用意させ、プレゼン（発表）はパソコンを使って行う。）

▌教科書

本学経済学部編集『地域研究 (浦安学)』。最初の授業で配付予定。

▌参考書

『浦安統計書』など、必要に応じて、適宜、授業中に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：開講にあたっての諸説明 (ガイダンス「地域研究」開講の意義)** 授業内容：「地域研究Ⅰの」授業目標と、半年間の授業内容、方法等についてのガイダンスを行う。 事前学修 2.0hr：自分が住んでいる地域について、どれだけ理解し、理解していないかをノート等にまとめる。 事後学修 2.0hr：大学が立地する浦安市について、自分自身がどの程度、知っているか、理解しているかをノートに書き留めておく。
2回	**授業テーマ：浦安学と浦安市の街の概要** 授業内容：自分自身がイメージする浦安について、グループに分かれて披露し合う。その上で、様々な資料から、そのイメージが果たして正しいか、間違っていたのかを話し合う。 事前学修 2.0hr：浦安市について何が知りたいか、どういう点に興味・関心があるかを、前回の授業で配付したシートにまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業での話をもとに、浦安を研究していくための視点を自分なりに考え、シートにまとめる。
3回	**授業テーマ：浦安市の歴史について（1）** 授業内容：各種資料をもとに、いろいろな角度から浦安市の歴史について検討する。 事前学修 2.0hr：浦安市の歴史について、ネット等で調べておく。 事後学修 2.0hr：授業での話をもとに、授業中に配付したシートに年表等を作成する。
4回	**授業テーマ：浦安市の歴史（2）** 授業内容：埋め立てやディズニーランドの誘致、市域の拡大など近年の浦安市の歴史について、資料をもとに考察し、グループごとに話し合う。 事前学修 2.0hr：浦安市の歴史についてさらに掘下げて知りたい事柄をノートにまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容をシートに整理・記録しておく。
5回	**授業テーマ：浦安市の現在（1）** 授業内容：2011 年の東日本大震災以降の浦安市の再興について、資料をもとに検討する。 事前学修 2.0hr：浦安市の現在の状況について、ネット等で調べておく。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容をシートに整理・記録しておく。
6回	**授業テーマ：浦安市の現在（2）** 授業内容：常に「住みたい街」の上位に登場する浦安市の現状を様々な資料を用いて、検討する。 事前学修 2.0hr：浦安市の現在についてさらに掘下げて知りたい事柄をシートにまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容をシートに整理・記録しておく。
7回	**授業テーマ：浦安市の現在（3）** 授業内容：浦安市について、特に産業面から見た現在の特徴などを資料で検討する（宿題あり）。 事前学修 2.0hr：浦安市の現在について、特に興味・関心を持った事柄、あるいは疑問点をシートにまとめておく。 事後学修 2.0hr：浦安市の現在の状況をまとめたマップをつくり（宿題）、manaba から提出する。
8回	**授業テーマ：浦安市が直面する課題（1）** 授業内容：現在の浦安市が直面する課題について、まずは日頃、感じていることを中心をグループごとに話し合う。 事前学修 2.0hr：浦安市が直面する諸問題について、ネット等で調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内で学んだ内容をシートに整理・記録しておく。
9回	**授業テーマ：浦安市が直面する課題（2）** 授業内容：現在の浦安市が直面する課題について、各種新聞報道や選挙公約、市民活動団体の指摘をもとに掘り下げて考察する。 事前学修 2.0hr：自分自身が浦安市の現在の課題と考える事柄をシートにまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容をふまえ、浦安市の課題シートを作成する。
10回	**授業テーマ：行政から見た浦安（特別講演）** 授業内容：市役所等の行政機関に勤務する職員の方をゲストスピーカーとして招き、授業テーマに沿った講演をしていただくとともに、意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：市のホームページなどを閲覧、市政運営について調べておく。質問事項も用意しておく。 事後学修 2.0hr：講演内容をシートに整理・記録しておく。

11回	**授業テーマ：市民活動から見た浦安** 授業内容：日常的に市民活動を行っておられる市民の方を招き、授業テーマに沿った講演をしていただくとともに、意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：市民活動センターのホームページ等を事前に閲覧、市民活動の状況や課題を把握しておく。 事後学修 2.0hr：講演内容をシートに整理・記録しておく。
12回	**授業テーマ：浦安市とテーマパーク（1）** 授業内容：浦安市を一躍有名にしたテーマパークの誘致に至る歴史的経緯を、各種資料をもとに検討する。 事前学修 2.0hr：浦安市にテーマパークが誘致された経緯について、ネット等で調べておく。 事後学修 2.0hr：授業での話をもとに、テーマパーク開設までの経緯を年表にする。
13回	**授業テーマ：浦安市とテーマパーク（2）** 授業内容：浦安市にテーマパークがあるメリット（経済等の効果）とデメリットについて、様々な角度から検討を行う。また、テーマパーク以外の観光資源についても考察する。 事前学修 2.0hr：テーマパークの経済効果や、浦安市にとってのプラス・マイナスをネットや本で調べておく。 事後学修 2.0hr：授業での話をもとに、テーマパークの経済効果等についてシートにまとめる。
14回	**授業テーマ：ディスカッション** 授業内容：浦安市の歴史や現状、テーマパークの役割や直面する課題を調査・研究した成果をもとに、浦安市の魅力と特色について、グループごとにディスカッションし、その結果を全体にプレゼンする。 事前学修 2.0hr：浦安あるいは浦安市について、興味・関心をを持った事柄を整理し、発表レジュメを作成する。 事後学修 2.0hr：授業で討論した内容をシートに整理・記録し、自分自身の感想等を添える。
15回	**授業テーマ：前期のまとめ（レポートの発表と提出）** 授業内容：前期の調査・研究、学修内容の総まとめを行うとともに、後期の調査・研究課題を考える。 事前学修 2.0hr：前期の地域研究・浦安研究の成果をレポートにまとめる。 事後学修 2.0hr：レポートを見直し、後期の研究課題を考える。

地域研究Ⅱ

開講学科等：経 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

廣部　恒忠（ひろべ　つねただ）・**吉田　敦**（よしだ　あつし）

▌授業の概要

社会が大学に求める役割として、地域貢献がある。そこで、経済学部として新たに開設した地域研究Ⅰでは、浦安あるいは浦安市について、統計学や経済学、日本経済史等の諸分野からその歴史や現状、地域特性、直面する諸課題等にアプローチした。浦安という街をよりよく理解することを目的に、座学を中心とした研究と、その研究内容の共有・再検証を行うこととした。それを受けてⅡでは、その研究成果をもとに、アクティブラーニング等の手法を取り入れ、市民や地域のスポーツ組織、市民団体も巻き込んだ形で教員と学生とが実地調査（フィールドワーク）を含む共同研究を行い、地域課題の明確化とその解決のための方策を検討・提案する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/4/5、2020 年度以前入学生 5）

一般目標：　浦安あるいは浦安市に愛着と関心を持つことはもちろん、浦安市の歴史や現状をふまえて、その地域課題を自分なりに整理・明確化し、その解決のための手段や方策を考え、提案することができる。

個別目標：　浦安という地域について多様な視点から、ひととおりの理解ができている。浦安の地域課題を踏まえ、地域の関係者をも巻き込んだ形で共同研究を行っている。

▌履修条件

なるべく地域研究Ⅰを履修済みであることが望ましい。

▌評価基準・方法

Ⅰと同様、平素の授業への取組状況（課題等の提出状況）をベースに、（毎回の授業で配布の）シートの内容の充実度（60 %）ならびに最終レポートの点数（40 %）で評価する。

▌フィードバック方法

遂行済み課題等へのフィードバックは、基本的に学修支援システム manaba を通して行うが、次回の授業内でも講評等のうえ、優れた内容のものは紹介する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （重要テーマごとにグループ（チーム）をつくらせ、フィールドワークを行ったり、話し合わせてプレゼン（発表）させる）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （グループ（チーム）ごとにノートパソコンを用意させ、プレゼン（発表）はパソコンを使って行う。）

▌教科書

本学経済学部編『地域研究 (浦安学)』。前学期最初に配付したものを引き続き、使用する。

▌参考書

『浦安市統計書』など、必要に応じて、適宜、授業中に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：地域研究Ⅰの「振り返り」と開講にあたっての諸説明 (ガイダンス)** 授業内容：地域研究Ⅰの調査・研究成果の再確認と後期の地域研究Ⅱの授業内容の明確化と共有を行う。 事前学修 2.0hr：地域研究Ⅰで学んだ内容について、再度シートにまとめておく。 事後学修 2.0hr：浦安あるいは浦安市について、調査・研究してみたい事柄をシートの記載する。
2回	**授業テーマ：浦安市についての調査・研究（1）** 授業内容：地域研究Ⅰで行った浦安市について調査・研究の内容と成果を今一度、全体で確認し、足りない点やさらに掘り下げたい点について意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：浦安市について、調査・研究したい事柄をシート等に書き出しておく。 事後学修 2.0hr：調査等の成果をシートにまとめておく。
3回	**授業テーマ：浦安市についての調査・研究（2）** 授業内容：前回の意見交換で出された調査・研究の不足点やさらに掘下げを要する点について、グループごとに話し合う。 事前学修 2.0hr：前回の意見交換の結果をふまえ、さらに掘下げて調査・研究したい事柄をシート等に書き出しておく。 事後学修 2.0hr：調査等の成果をシートにまとめておく。
4回	**授業テーマ：浦安市についての調査・研究（3）** 授業内容：今後の一層の浦安市研究のために、後期の調査・研究課題を明確にする。 事前学修 2.0hr：2 回にわたる意見交換等の結果をふまえ、さらに掘下げて調査・研究したい事柄をシート等に書き出しておく。 事後学修 2.0hr：意見交換等の成果をシートにまとめておく。
5回	**授業テーマ：調査・研究結果の報告（1）** 授業内容：明確化された浦安市の調査・研究課題について、グループごとに取組み、その成果の一端を全体に披露する。 事前学修 2.0hr：各自、調査・研究等の結果を報告できるようにまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業での報告内容をシートに整理・記録しておく。
6回	**授業テーマ：調査・研究結果の報告（2）** 授業内容：明確化された浦安市の調査・研究課題について、グループごとに取組み、さらにその成果の一端を全体に披露する。 事前学修 2.0hr：各自、調査・研究等の結果を報告できるようにまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業での報告内容をシートに整理・記録しておく。
7回	**授業テーマ：調査・研究結果の報告（3）** 授業内容：明確化された浦安市の調査・研究課題について、グループごとに取組み、最終的な成果を全体に披露する。 事前学修 2.0hr：各自、調査・研究等の結果を報告できるようにまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業での報告内容をシートに整理・記録しておく。
8回	**授業テーマ：学生の調査・研究結果に関する教員コメント（1）** 授業内容：学生による浦安市の調査・研究成果発表（プレゼン）に関して、教員としてコメント（講評）する。 事前学修 2.0hr：他の学生の発表を聞いて、自分自身の発表内容の見直し、加筆を行う。 事後学修 2.5hr：教員のコメント内容をシートに整理・記録し、自身の報告内容を訂正・加筆する。
9回	**授業テーマ：学生の調査・研究結果に関する教員コメント（2）** 授業内容：学生による浦安市の調査・研究成果発表（プレゼン）に関して、自身の専門分野から教員がアドバイスを行う。 事前学修 2.0hr：教員コメントをふまえ、再度、自分自身の報告内容の見直し、加筆を行う。 事後学修 2.0hr：教員の専門分野からのアドバイス内容をシートに整理・記録し、さらに自身の報告内容を訂正・加筆する。
10回	**授業テーマ：ディスカッション（1）** 授業内容：浦安市の地域課題について、グループごとにディスカッションし、その結果を全体にプレゼンする。 事前学修 2.0hr：これまでの調査・研究で明らかとなった地域課題について、ノート等に整理しておく。 事後学修 2.0hr：討論内容をふまえ、浦安市の地域課題をシートに整理する。

11回	**授業テーマ：ディスカッション(2)** 授業内容：浦安市の地域課題について、クラス全体で意見交換、ディスカッションを行い、共有する。 事前学修 2.0hr：前回のディスカッションで十分であったかを振り返り、再度、地域課題について整理しておく。 事後学修 2.0hr：討論内容をふまえ、再度、浦安市の地域課題をシートに整理する。
12回	**授業テーマ：ディスカッション(3)** 授業内容：学生たちのディスカッション内容について、教員からコメントし、学生と教員とで再度、ディスカッションを行う。今回は可能な限り、その解決法にまで踏み込む。 事前学修 2.0hr：前回までの討論で明らかになった地域課題を解決するための方策・方法をノート等にまとめておく。 事後学修 2.0hr：討論内容をふまえ、浦安市の地域課題解決の方策・方法をシートにまとめる。
13回	**授業テーマ：ディスカッション(4)** 授業内容：地域課題の明確化とその解決方向について、可能な限り、行政や市民団体、一般市民を交えてディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：前回の討論で提案された地域課題解決の方策・方法をノート等に再度、整理しておく。 事後学修 2.0hr：討論内容をふまえ、浦安市の地域課題解決の方策・方法を再度、シートにまとめる。
14回	**授業テーマ：前・後期のまとめ(1)** 授業内容：前・後期の調査・研究成果、学修内容、ディスカッションの成果などを再度、確認し、その成果を『地域研究』誌に掲載する原稿にまとめ上げていく。 事前学修 2.0hr：これまでの浦安市の調査・研究の成果ならびに討論の内容と結果を整理し、まとめの報告ができるように準備する。 事後学修 2.0hr：授業での報告内容を原稿にまとめる方向で調整する。
15回	**授業テーマ：前・後期のまとめ(成果の原稿化)** 授業内容：後期の調査・研究成果、学修内容、ディスカッションの成果などを再度、確認し、その成果を『地域研究』誌に掲載する原稿にまとめ上げていく。 事前学修 2.0hr：最終報告レポートを今一度、点検し、原稿化を目指す。 事後学修 2.0hr：1 年にわたる地域研究・浦安研究の成果や課題を『地域研究』誌に掲載する。

英語Ⅰ-a

開講学科等：経　｜　1 年次　｜　1 単位　｜　開講期：前

アブデルワヘド　ベンジリル・クリストファ　マタズスキー・コマンドュリ　シリーシャ・ジェラルド　ライト・ティモシー
クレイシンガー・デビッド　マグヌソン・バルブド　プルメル　エスティオコ・マット　ピーターセン

▌授業の概要

English I-a is a foundational language course which focuses on giving students the language needed to interact with the world around them in English. By the end of this course students will be able to initiate, sustain, and end spoken conversation on a variety of topics for practical use in daily life.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/6、2020 年度以前入学生 5）

一般目標：In English I-a, practical language competencies (skills and abilities) are fostered in students so that students become more confident in and develop positive attitudes towards communicating in English. These competencies include, but are not limited to: socializing; asking and answering a variety of conversation questions; and, participating in basic discussions.

個別目標：By the end of this course, students will be able to give greetings in formal and casual situations; introduce themselves and others; ask for, give, and spell names; describe work and school; ask for and give basic opinions; describe daily schedules; talk about prices; discuss preferences; make comparisons; buy and sell things; talk about preferences; make invitations and excuses; talk about families and family members; exchange information about the present; describe family life; ask about and describe routines and exercise; talk about frequency; discuss sports and athletes; talk about abilities; talk about past events; and talk about vacations.

▌履修条件

There are no prerequisites for this course.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated via Active Participation (30%), Homework (10%), Coursework Tasks (30%) and Tests (30%).

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on Manaba. Feedback will also be given in the form of rubrics for performance assessments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Richards, J.C., Hull, J., &Proctor, S.(2021). Interchange Students's Book 1 (5th ed.). Cambridge: Cambridge University Press &Assessment.

▌参考書

To Be Announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction to English I-a** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Students participate in group and pair activities to build a positive communicative class atmosphere. 事前学修 1.0hr：Purchase textbook 事後学修 1.0hr：Write your goals for this semester
2回	**授業テーマ：Unit 1: Where are you from?** 授業内容：Students learn to introduce oneself and others. They learn the language necessary to talk about themselves and learn about others. 事前学修 1.0hr：Preview unit: look up new words, check grammar etc. 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
3回	**授業テーマ：Unit 2: What do you do?** 授業内容：Students learn language to ask and answer questions about jobs. They also learn how to describe routines and daily schedules. 事前学修 1.0hr：Preview unit: look up new words, check grammar etc. 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
4回	**授業テーマ：Task 1** 授業内容：Students participate in a communication performance task that reflects the goals of Units 1 and 2. 事前学修 1.0hr：Prepare for Task 1 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
5回	**授業テーマ：Unit 3: How much are these?** 授業内容：Students learn language to ask about and describe prices. They also learn how to discuss preferences. 事前学修 1.0hr：Preview unit: look up new words, check grammar etc. 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
6回	**授業テーマ：Unit 4: Do you play the guitar?** 授業内容：Students learn language to discuss their likes and dislikes related to entertainment. They also learn how to make, accept, and decline invitations. 事前学修 1.0hr：Preview unit: look up new words, check grammar etc. 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
7回	**授業テーマ：Task 2** 授業内容：Students participate in a communication performance task that reflects the goals of Units 3 and 4. 事前学修 1.0hr：Prepare for Task 2 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
8回	**授業テーマ：Unit 5: What an interesting family** 授業内容：Students learn language to describe families. They also learn how to talk about habitual and current activities. 事前学修 1.0hr：Preview unit: look up new words, check grammar etc. 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
9回	**授業テーマ：Unit 6: How often do you run?** 授業内容：Students learn language to discuss sports and exercise habits. They also learn to ask and answer questions about frequency of free-time activities. 事前学修 1.0hr：Preview unit: look up new words, check grammar etc. 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal

10回	**授業テーマ：Task 3** 授業内容：Students participate in a communication performance task that reflects the goals of Units 5 and 6. 事前学修 1.0hr：Prepare for Task 3 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
11回	**授業テーマ：Unit 7: We went dancing!** 授業内容：Students learn language to describe past daily and free-time activities. They also learn how to describe past vacations. 事前学修 1.0hr：Preview unit: look up new words, check grammar etc. 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
12回	**授業テーマ：Speaking Test Review** 授業内容：Students review the vocabulary and grammar studied in the first seven units. Students begin preparation for the speaking test. 事前学修 1.0hr：Review units 1, 2, 3, 4, 5, 6, and 7 事後学修 1.0hr：Prepare for the Speaking Test
13回	**授業テーマ：Speaking Test Part A** 授業内容：Students participate in a speaking test conducted and assessed by their instructor. 事前学修 2.0hr：Prepare for a comprehensive speaking test by reviewing all of the materials covered in English I-a 事後学修 1.0hr：Make sure all of the entries in the English journal are complete
14回	**授業テーマ：Speaking Test Part B** 授業内容：Students participate in a speaking test conducted and assessed by their instructor. 事前学修 2.0hr：Prepare for a comprehensive speaking test by reviewing all of the materials covered in English I-a 事後学修 1.0hr：Make sure all of the entries in the English journal are complete
15回	**授業テーマ：Final Class: Feedback and Reflection Session /Student Consultations** 授業内容：Students receive general feedback on their performance from the instructor. Students reflect on their performance and set goals for the summer and next term. 事前学修 1.0hr：Be ready to submit English journal 事後学修 1.0hr：Prepare a 2 minute speech to describe what you did in summer vacation

英語Ⅰ-b

開講学科等：経 ｜ 1年次 ｜ 1単位 ｜ 開講期：後

アブデルワヘド　ベンジリル・クリストファ　マタズスキー・コマンドュリ　シリーシャ・ジェラルド　ライト・ティモシー
クレイシンガー・デビッド　マグヌソン・バルブド　プルメル　エスティオコ・マット　ピーターセン

▌授業の概要

A continuation of the skills and abilities learned in English I-a, English I-b is a foundational language course which focuses on giving students the language needed to interact with the world around them in daily life situations through the medium of the English language. The language skills learned in English I-a and I-b form the basis of the rest of the Non-English Majors program, and therefore, these skills will be recycled continuously throughout English II and English III as well. Please see Manaba for details.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021年度以降入学生 1/2/3/6、2020年度以前入学生 5）

一般目標：Similar to the goals of English I-a, in English I-b, practical language competencies (skills and abilities) are fostered in students so that students become more confident in and develop positive attitudes towards communicating in English.

個別目標：By the end of this course, students will be able to ask about and describe people's appearance; identify people; describe past experiences; exchange information about past experiences and events; ask about and describe cities; ask for and give suggestions; talk about travel; talk about health problems; ask for and give advice; make requests; ask for and give suggestions; express likes and dislikes; agree and disagree; order a meal; describe countries; make comparisons; talk about distances and measurements; talk about plans; make invitations; accept and refuse invitations; give reasons; and, take and leave messages.

▌履修条件

It is recommended that students take English I-a before undertaking this course.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated via Active Participation (30%), Homework (10%), Coursework Tasks (30%) and Tests (30%).

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on Manaba. Feedback will also be given in the form of rubrics for performance assessments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業でのPCの利用（利用内容）

なし

▌教科書

Richards, J.C., Hull, J., &Proctor, S.(2021). Interchange Students' s Book 1 (5th ed.). Cambridge: Cambridge University Press &Assessment.

▌参考書

To Be Announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction to English I-b** 授業内容：Students review the syllabus and go over the course schedule. Students participate in group and pair communication activities and discuss what they did during the summer. 事前学修 1.0hr：Prepare summer homework 事後学修 1.0hr：Write your goals for this semester
2回	**授業テーマ：Unit 9: What does she look like?** 授業内容：Students learn language to describe people's physical appearance. They also learn how to identify people by describing how they look and what they're doing. 事前学修 1.0hr：Preview unit: look up new words, check grammar etc. 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
3回	**授業テーマ：Unit 10: Have you ever been there?** 授業内容：Students learn language to describe recent activities. They also learn how to describe experiences from the recent and distant past. 事前学修 1.0hr：Preview unit: look up new words, check grammar etc. 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
4回	**授業テーマ：Task 1** 授業内容：Students participate in a communication performance task that reflects the goals of Units 9 and 10. 事前学修 1.0hr：Prepare for Task 1 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
5回	**授業テーマ：Unit 11: It's a really nice city.** 授業内容：Students learn language to describe hometowns, cities, and countries. They also learn how to make recommendations about place to visit. 事前学修 1.0hr：Preview unit: look up new words, check grammar etc. 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
6回	**授業テーマ：Unit 12: It's important to get rest.** 授業内容：Students learn language to state health problems and give advice. They also learn how to ask for advice and give suggestions about health products. 事前学修 1.0hr：Preview unit: look up new words, check grammar etc. 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
7回	**授業テーマ：Task 2** 授業内容：Students participate in a communication performance task that reflects the goals of Units 11 and 12. 事前学修 1.0hr：Prepare for Task 2 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
8回	**授業テーマ：Unit 13: What would you like?** 授業内容：Students learn language to agree and disagree about food preferences. They also learn how to order food in a restaurant. 事前学修 1.0hr：Preview unit: look up new words, check grammar etc. 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal

9回	**授業テーマ：Unit 14: It's the coldest city!** 授業内容：Students learn language to describe and compare different places in the world. They also learn to describe temperatures, distances, and measurements. 事前学修 1.0hr：Preview unit: look up new words, check grammar etc. 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
10回	**授業テーマ：Task 3** 授業内容：Students participate in a communication performance task that reflects the goals of Units 13 and 14. 事前学修 1.0hr：Prepare for Task 3 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
11回	**授業テーマ：Unit 15: What are you doing later?** 授業内容：Students learn language to discuss future activities and plans. They also learn how to give messages. 事前学修 1.0hr：Preview unit: look up new words, check grammar etc. 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
12回	**授業テーマ：Speaking Test Review** 授業内容：Students review the vocabulary and grammar studied in the seven units covered this semester. Students begin preparation for the speaking test. 事前学修 1.0hr：Review units 9, 10, 11, 12, 13, 14, and 15 事後学修 1.0hr：Prepare for the Speaking Test
13回	**授業テーマ：Speaking Test Part A** 授業内容：Students participate in a speaking test conducted and assessed by their instructor. 事前学修 2.0hr：Prepare for a comprehensive speaking test by reviewing all of the materials covered in English I-b 事後学修 1.0hr：Make sure all of the entries in the English journal are complete
14回	**授業テーマ：Speaking Test Part B** 授業内容：Students participate in a speaking test conducted and assessed by their instructor. 事前学修 2.0hr：Prepare for a comprehensive speaking test by reviewing all of the materials covered in English I-b 事後学修 1.0hr：Make sure all of the entries in the English journal are complete
15回	**授業テーマ：Final Class: Feedback and Reflection Session /Student Consultations** 授業内容：Students receive general feedback on their performance from the instructor. Students reflect on their performance and set goals for future study. 事前学修 0.5hr：Be ready to submit English journal 事後学修 1.0hr：Create a plan for independent English study

英語Ⅱ-a

開講学科等：経 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

アブデルワヘド　ベンジリル・コマンドュリ　シリーシャ・ジェラルド　ライト・ダニエル　ブロガン・ティモシー　クレイシンガー・マーク　ロイ　グッドヒュー・松堂　啓子（まつどう　ひろこ）

▌授業の概要

Whereas English I-a and I-b focus on students' daily lives and English III-a and III-b concentrate on English for the global workplace, English II-a and II-b seek to complement and build on the practical English covered throughout English I-a and I-b. By focusing primarily on reading and vocabulary development skills with a secondary focus on discussion, students will be provided with ample opportunities to engage in both language practice and language use through meaningful and contextualized content delivered thematically.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/6、2020 年度以前入学生 5）

一般目標：In English II-a, practical language competencies (skills and abilities) are fostered in students so that students become more towards analyzing a variety of text types and communicating their ideas in spoken English in preparation for their future careers.

個別目標：By the end of this course, students will be able to demonstrate the ability to read, comprehend, and analyze a variety of text types and to increase their knowledge of English vocabulary, idioms, pronunciation, intonation, and rhythm.

▌履修条件

There are no prerequisites for this course.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated via Active Participation (30%), Homework (10%), Midterm Test(30%), and Final Examination (30%).

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Malarcher, C. (2011). Reading Advantage 1 (3rd ed.). Singapore. Cengage Learning.

▌参考書

To Be Announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction to English II-a** 授業内容：Students review the syllabus and go over the course schedule. Students participate in group and pair activities to help build a good class atmosphere. 事前学修 1.0hr：Purchase textbook 事後学修 1.0hr：Write your goals for this semester
2回	**授業テーマ：Unit 1: Lions** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
3回	**授業テーマ：Unit 2: Ramen** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
4回	**授業テーマ：Unit 3: The Leaning Tower** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
5回	**授業テーマ：Unit 4: A Smart Dog** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
6回	**授業テーマ：Unit 5: Twenty-First Century Books and Mid-Term Test Review** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Prepare for the Midterm test by reviewing all readings and vocabulary in Units 1-5
7回	**授業テーマ：Midterm Test** 授業内容：Students complete a Midterm Test on the readings and vocabulary in Units 1-5. 事前学修 2.0hr：Prepare for the Midterm test by reviewing all readings and vocabulary in Units 1-5. 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal

8回	**授業テーマ：Unit 6: Valentine's Day** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
9回	**授業テーマ：Unit 7: The Taj Mahal** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
10回	**授業テーマ：Unit 8: A Computer Problem** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
11回	**授業テーマ：Unit 9: The Mobius Band** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
12回	**授業テーマ：Unit 10: A Long Weekend** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English Journal
13回	**授業テーマ：Original Reading and Final Exam Review** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Prepare for the Final Examination by reviewing all readings and vocabulary in Units 6-10 事後学修 1.0hr：Prepare for the Final Examination by reviewing all readings and vocabulary in Units 6-10
14回	**授業テーマ：Final Examination** 授業内容：Students complete a Final Examination on the readings and vocabulary in Units 6-10. 事前学修 2.0hr：Prepare for the Final Examination by reviewing all readings and vocabulary in Units 6-10 事後学修 1.0hr：Be ready to submit English journal
15回	**授業テーマ：Final Class: Feedback and Reflection Session /Student Consultations** 授業内容：Students receive general feedback on their performance from the instructor. Students reflect on their performance and set goals for next term. 事前学修 1.0hr：Be ready to submit English journal 事後学修 1.0hr：Prepare a plan for independent English study

英語Ⅱ-b

開講学科等：経 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

アブデルワヘド　ベンジリル・コマンドュリ　シリーシャ・ジェラルド　ライト・ダニエル　ブロガン・ティモシー　クレイシンガー・マーク　ロイ　グッドヒュー・松堂　啓子（まつどう　ひろこ）

▌授業の概要

Whereas English I-a and I-b focus on students' daily lives and English III-a and III-b concentrate on English for the global workplace, English II-a and II-b seek to complement and build on the practical English covered throughout English I-a and I-b. By focusing primarily on reading and vocabulary development skills with a secondary focus on discussion, students will be provided with ample opportunities to engage in both language practice and language use through meaningful and contextualized content delivered thematically.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/6、2020 年度以前入学生 5）

一般目標：Continuing from English II-a, in English II-b, practical language competencies (skills and abilities) are fostered in students so that students become more towards analyzing a variety of text types and communicating their ideas in spoken English in preparation for their future careers.

個別目標：By the end of this course, students will be able to demonstrate the ability to read, comprehend, and analyze a variety of text types and to increase their knowledge of English vocabulary, idioms, pronunciation, intonation, and rhythm.

▌履修条件

There are no prerequisites for this course.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated via Active Participation (30%), Homework (10%), Midterm Test(30%), and Final Examination (30%).

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Malarcher, C. (2011). Reading Advantage 1 (3rd ed.). Singapore. Cengage Learning.

▌参考書

To Be Announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction to English II-b** 授業内容：Students review the syllabus and go over the course schedule. Students participate in group and pair activities to help build a good class atmosphere. 事前学修 1.0hr：Preview the textbook chapters to be covered this semester 事後学修 1.0hr：Write your goals for this semester
2回	**授業テーマ：Unit 11: Women's Sumo** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
3回	**授業テーマ：Unit 12: Studying Abroad** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
4回	**授業テーマ：Unit 13: The Salt Palace** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
5回	**授業テーマ：Unit 14: Lizards** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
6回	**授業テーマ：Unit 15: The Mona Lisa and Mid-Term Test Review** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Prepare for the Midterm test by reviewing all readings and vocabulary in Units 11-15
7回	**授業テーマ：Midterm Test** 授業内容：Students complete a Midterm Test on the readings and vocabulary in Units 11-15. 事前学修 2.0hr：Prepare for the Midterm test by reviewing all readings and vocabulary in Units 11-15 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal

8回	**授業テーマ：Unit 16: Breakfast** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
9回	**授業テーマ：Unit 17: The World Cup** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
10回	**授業テーマ：Unit 18: Blood Types** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
11回	**授業テーマ：Unit 19: Reality TV** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
12回	**授業テーマ：Unit 20: Rodeos** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English Journal
13回	**授業テーマ：Original Reading and Final Examination Review** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Prepare for the Final Examination by reviewing all readings and vocabulary in Units 16-20 事後学修 1.0hr：Prepare for the Final Examination by reviewing all readings and vocabulary in Units 16-20
14回	**授業テーマ：Final Examination** 授業内容：Students complete a Final Examination on the readings and vocabulary in Units 16-20. 事前学修 2.0hr：Prepare for the Final Examination by reviewing all readings and vocabulary in Units 16-20 事後学修 1.0hr：Be ready to submit English journal
15回	**授業テーマ：Final Class: Feedback and Reflection Session /Student Consultations** 授業内容：Students receive general feedback on their performance from the instructor. Students reflect on their performance and set goals for next term. 事前学修 1.0hr：Be ready to submit English journal 事後学修 1.0hr：Prepare a plan for independent English study

英語Ⅲ-a

開講学科等：経 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

クリストファ　マタズスキー・ジェラルド　ライト・ダニエル　ブロガン・ティモシー　オピツ・デビッド　マグヌソン・ピエール　アレック・マット　ピーターセン

▌授業の概要

English III-a builds on both English I and English II by expanding on the concepts and language previously learned. As English III is built on the skills learned in their first year, students will be expected to demonstrate a basic proficiency in English for the workplace. Active learning and interaction will be emphasized throughout the course as students develop their linguistic abilities further with attention to fluency, discussion, and presentation skills.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/6、2020 年度以前入学生 5）

一般目標：The goal of English III-a is to foster in students the practical communicative skills and confidence necessary to enter and excel in an increasingly globalized workplace and to engage in meaningful communication with success and enthusiasm. This is to be achieved through interesting language learning activities that promote the integration of the four skills of speaking, listening, reading, and writing, as well as through independent study.

個別目標：By the end of this course, students will be able to: socialize with confidence; discuss hobbies and other activities; make and receive a phone call, describe personality traits, write job applications, and take a job interview in English.

▌履修条件

It is recommended that students take English I and English II before undertaking this course.

▌評価基準・方法

Students are evaluated via Active Participation (30%), Homework (10%), Coursework Tasks (30%), and Tests (30%)

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on Manaba. Feedback will also be given in the form of rubrics for performance assessments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Shearn, R., Ferris, A., &Tackett, G. (2012). English at work 1. Taipei: Cengage Learning.

▌参考書

To Be Announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction to English III-a** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Students participate in group and pair activities to build a positive communicative class atmosphere. 事前学修 1.0hr：Purchase the textbook 事後学修 1.0hr：Write your goals for this semester
2回	**授業テーマ：Module I Socializing with Confidence: Unit 2 Hobbies and Activities** 授業内容：Students take about hobbies and activities. Students learn new vocabulary and practice a dialogue. Students practice writing a postcard. Students personalize a conversation. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
3回	**授業テーマ：Module I Socializing with Confidence: Unit 2 Adverbs of Frequency** 授業内容：Students study adverbs of frequency. Students interview a partner and make sentences about their partner. Students talk about how often they like to do things. Students read a blog post. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
4回	**授業テーマ：Module I Socializing with Confidence Task** 授業内容：Students complete an integrated task through pair and group work. Students perform the task for assessment using the vocabulary and grammar studied in the unit. 事前学修 1.0hr：Prepare for Task 1 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
5回	**授業テーマ：Module II Communicating on the Phone: Unit 3 Receiving Calls** 授業内容：Students learn how to communicate on the phone. Students learn new vocabulary and practice a dialogue. Students practice taking messages. Students personalize a conversation. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
6回	**授業テーマ：Module II Communicating on the Phone: Unit 3 Polite Requests and Responses** 授業内容：Students learn how to make polite requests and give responses on the phone. Students personalize a dialogue and practice leaving messages to a partner. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
7回	**授業テーマ：Module II Communicating on the Phone Task** 授業内容：Students complete an integrated task through pair work and group work. Students perform the task for assessment using the vocabulary and grammar studied in the unit. 事前学修 1.0hr：Prepare for Task 2 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
8回	**授業テーマ：Module III Job Hunting: Unit 9 Getting Information** 授業内容：Students learn new vocabulary about describing people and practice a dialogue. Students perform the task for assessment using vocabulary and grammar studied in the unit. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal

9回	**授業テーマ：Module III Job Hunting: Unit 9 Contractions** 授業内容：Students learn about contractions and practice making sentences. Students practice writing questions about job skills. Students practice listening to an announcement. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
10回	**授業テーマ：Module IV Job Interviews: Unit 1 Introductions** 授業内容：Students learn about different jobs in a company and related vocabulary. Students practice a dialogue. Students practice writing an application form. Students personalize a conversation. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
11回	**授業テーマ：Module IV Job Interview: Unit 1 Wh- Questions** 授業内容：Students study how to make wh- questions. Students interview a partner and take notes about their partner. Students read an example CV and answer questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
12回	**授業テーマ：Final Examination Review** 授業内容：Students review the vocabulary, grammar and speaking skills studied in units one, two, three and nine. Students prepare for the final examination. 事前学修 1.0hr：Prepare for task 3 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
13回	**授業テーマ：Final Examination: Individual Interviews** 授業内容：Students prepare information based on a task provided by their instructor. Students present this information either orally or in writing to the instructor for assessment. 事前学修 2.0hr：Prepare for a comprehensive speaking test by reviewing all of the materials covered in English III-a 事後学修 1.0hr：Make sure all of the entries in the English journal are complete.
14回	**授業テーマ：Final Examination: Group Interviews** 授業内容：Students interact with one another asking questions and collecting information. Students fill out answers on a task worksheet that must be submitted to the instructor for assessment. 事前学修 2.0hr：Prepare for a comprehensive speaking test by reviewing all of the materials covered in English III-a 事後学修 1.0hr：Make sure all of the entries in the English journal are complete.
15回	**授業テーマ：Final Class: Feedback and Reflection Session /Student Consultations** 授業内容：Students receive general feedback on their performance from the instructor. Students reflect on their performance and set goals for the summer and next term. 事前学修 1.0hr：Be ready to submit English journal 事後学修 1.5hr：Write one paragraph to describe what you did in summer vacation

英語Ⅲ-b

開講学科等：経 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

クリストファ　マタズスキー・ジェラルド　ライト・ダニエル　ブロガン・ティモシー　オピツ・デビッド　マグヌソン・ピエール　アレック・マット　ピーターセン

▌授業の概要

A continuation of the skills and abilities learned in English III-a, English III-b builds on both English I and English II by expanding on the concepts and language previously learned. As English III is built on the skills learned in their first year, students will be expected to demonstrate a basic proficiency in English for the workplace. Active learning and interaction will be emphasized throughout the course as students develop their linguistic abilities further with attention to fluency, discussion, and presentation skills. This course will alternate between on-demand and face-to-face classes. Please see Manaba for details.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2021 年度以降入学生 1/2/3/6、2020 年度以前入学生 5）

一般目標：The goal of English III-b is to foster in students the practical communicative skills and confidence necessary to enter and excel in a globalized workplace and to engage in meaningful communication with success. This is to be achieved through language learning activities that promote the integration of the four skills of speaking, listening, reading, and writing, as well as through independent study.

個別目標：By the end of this course, students will be able to: solve problems; make complaints; introduce companies and products in detail; describe various technologies; and, make well-organized presentations on professional topics.

▌履修条件

It is recommended that students take English I and English II before undertaking this course.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated via Active Participation (30%), Homework (10%), Coursework Tasks (30%) and Tests (30%).

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on Manaba. Feedback will also be given in the form of rubrics for performance assessments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Shearn, R., Ferris, A., &Tackett, G. (2012). English at work 1. Taipei: Cengage Learning.

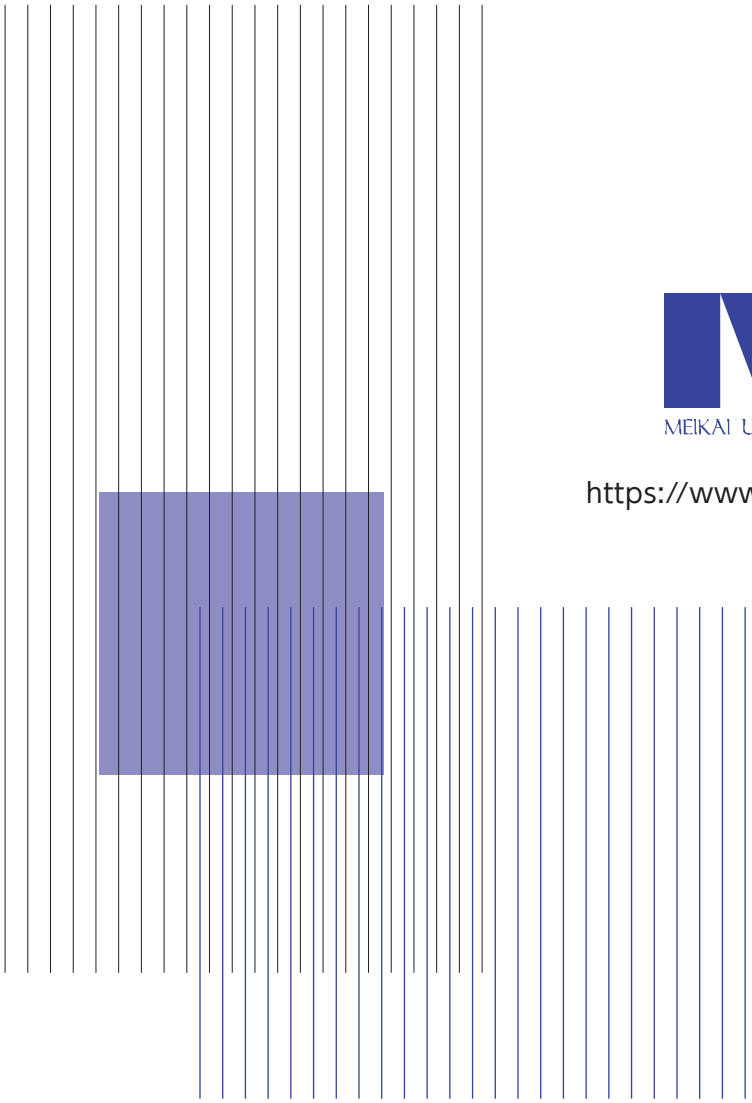
▌参考書

To Be Announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Introduction to English III-b** 授業内容：Students review the syllabus and go over the course schedule. Students participate in a group and pair communication activities and discuss what they did during the summer. 事前学修 1.0hr：Purchase the textbook 事後学修 1.0hr：Write your goals for this semester
2 回	**授業テーマ：Module V Solving Problems: Unit 8 Making Statements** 授業内容：Students talk about everyday items and learn how to make complaints. Students learn new vocabulary and practice a dialogue. Students practice reading a troubleshooting guide. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
3 回	**授業テーマ：Module V Solving Problems: Unit 8 Possessive Forms** 授業内容：Students study how to use the possessive form. Students work with a partner to make sentences. Students write a letter of complaint and practice a role play. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
4 回	**授業テーマ：Module V Solving Problems Task** 授業内容：Students complete an integrated task through pair work and group work. Students perform the task assessment using the vocabulary and grammar studied in the unit. 事前学修 1.0hr：Prepare for Task 1 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
5 回	**授業テーマ：Module VI Introducing Companies and Products Unit 4 Descriptions I** 授業内容：Students talk about their favorite products and describe them using adjectives. Students learn new vocabulary and practice a dialogue. Students practice using the comparative. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
6 回	**授業テーマ：Module VI Introducing Companies and Products Unit 4 Questions with the Be Verb** 授業内容：Students study how to make questions with the verb ”to be.” Students compare countries. Students use adjectives to describe the companies they know. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
7 回	**授業テーマ：Module VI Introducing Companies and Products Task** 授業内容：Students complete an integrated task through pair work and group work. Students perform the task assessment using the vocabulary and grammar studied in the unit. 事前学修 1.0hr：Prepare for Task 2 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
8 回	**授業テーマ：Module VII Technology Unit 7 Descriptions II** 授業内容：Students learn how to describe various technology items. Students learn new vocabulary and practice making sentences. Students read/listen about a new product. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal

9回	**授業テーマ：Module VII Technology Unit 7 Superlatives** 授業内容：Students study how to use and make superlatives. Students practice making sentences. Students write a product description. Students practice agreeing and disagreeing. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
10回	**授業テーマ：Module VIII Powerful Presentations Unit 11 Organizational Structures** 授業内容：Students learn how to live powerful presentations. Students learn the language of presentations and how to effectively make them. Students learn about a company's organizational chart. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
11回	**授業テーマ：Module VIII Powerful Presentations Unit 11 Coordinating Conjunctions** 授業内容：Students study how to use coordinating conjunctions. Students practice making sentences and learn useful phrases. Students outline their presentations. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
12回	**授業テーマ：Final Examination Review** 授業内容：Students review the vocabulary, grammar and speaking skills studied in units four, seven, eight, and eleven. Students prepare for the final examination. 事前学修 1.0hr：Prepare for task 3 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
13回	**授業テーマ：Final Examination: Individual Interviews** 授業内容：Students prepare information based on a task provided by their instructor. Students present the information either orally or in writing to the instructor for assessment. 事前学修 2.0hr：Prepare for a comprehensive speaking test by reviewing all of the materials covered in English III-b 事後学修 1.0hr：Make sure all of the entries in the English journal are complete.
14回	**授業テーマ：Final Examination: Group Interviews** 授業内容：Students interact with one another asking questions and collecting information. Students fill out answers on a task worksheet that must be submitted to the instructor for assessment. 事前学修 2.0hr：Prepare for a comprehensive speaking test by reviewing all of the materials covered in English III-b 事後学修 1.0hr：Make sure all of the entries in the English journal are complete.
15回	**授業テーマ：Final Class: Feedback and Reflection Session /Student Consultations** 授業内容：Students receive general feedback on their performance from the instructor. Students reflect on their performance and set goals for future study. 事前学修 1.0hr：Be ready to submit English journal 事後学修 1.5hr：Develop independent English study plan



MEIKAI UNIVERSITY

https://www.meikai.ac.jp